

令和4年度 文京区高齢者等実態調査報告書



令和5年3月
文京区



目次

	頁
第1章 調査の概要	1
1. 調査目的	3
2. 調査方法	3
3. 調査期間	3
4. 調査設計	4
5. 回収結果	5
6. 報告書の見方	5
第2章 共通質問の比較等	7
■調査結果（区民向け調査）	9
1. 回答者の属性	9
2. 住まい	16
3. 日常生活	18
4. 高齢者あんしん相談センター	21
5. 健康・介護予防	23
6. 認知症	29
7. 就業	32
8. 地域とのつながり・地域活動	36
9. 介護	39
10. 高齢者施策、介護保険事業	53
■調査結果（事業者向け調査）	54
介護サービス事業者調査	54
介護事業従業者調査	65
第3章 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査	75
1. 回答者の属性	79
2. ご自身、家族や暮らし	81
3. お住まい	86
4. 日常生活	90
5. 介護等	121
6. 地域での活動	140
7. たすけあい	148
8. 健康・介護予防	155
9. 医療	170
10. 認知症	180
第4章 50歳以上の現役世代調査	191

1. 回答者の属性	195
2. ご自身、お住まい	197
3. 日常生活	201
4. 介護等	205
5. 地域での活動	219
6. たすけあい	227
7. 健康・介護予防	231
8. 医療	235
9. 認知症	241
第5章 在宅介護実態調査（郵送）	249
1. 回答者の属性	253
2. ご自身、家族や暮らし	254
3. お住まい	260
4. 介護等	265
5. 介護者	302
6. 健康・介護予防	335
7. 医療	344
8. 認知症	355
第6章 在宅介護実態調査（聞き取り）	365
1. 対象者属性	369
2. 介護者	373
3. 介護等	383
4. 主な介護者	397
第7章 介護サービス事業者調査	407
1. 事業概要	411
2. 人材確保（人材確保の取組）	420
3. 人材確保（外国人人材）	441
4. 人材確保（職場環境）	446
5. 危機管理体制	466
6. サービス向上	475
7. 医療との連携	477
8. ダブルケア	480
9. 相談対応	484
10. 事業展開等	485
第8章 介護事業従事者調査	493
1. 基礎情報	497

2. 就業形態	504
3. 資格	517
4. 研修・講習会	521
5. 勤務条件	532
6. 職場環境	542
7. 意見・要望	567
資料編	569
1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	573
2. 50歳以上の現役世代調査	583
3. 在宅介護実態調査（郵送）	589
4. 在宅介護実態調査（聞き取り）	599
5. 介護サービス事業者調査	604
6. 介護事業従事者調査	614

第1章 調査の概要

1. 調査目的

文京区では、高齢になっても住み慣れた地域で、いつまでも安心して生活することができるよう、高齢者施策の更なる充実や地域包括ケアシステムの構築を目指しています。

令和5年度に高齢者・介護保険事業計画（令和6年度～8年度）を策定するに当たり、“区内在住の65歳以上の高齢者で介護保険の要介護1～5以外の第1号被保険者”と“介護や様々な地域活動の担い手として期待される50歳以上の現役世代の方”に対し、日常生活の実態、介護予防や健康への取組等を把握するとともに、“要介護認定を受けている被保険者とその家族”に対し、在宅生活の継続や家族介護者の就労継続に有効な介護サービスの在り方などを検討するため、従来の郵送、聞き取りに加え、インターネット回答による調査を実施しました。

また、“区内介護サービス事業所”に対しては、事業所の概要や状況の把握とともに、防災対策等の危機管理体制、人員確保やサービスの質の向上への取組状況、また、新たに新型コロナウイルス感染症に関する設問を設けました。合わせて、区内介護事業所の従事者を対象に、介護サービスを提供する上での課題、仕事や収入への満足度、ハラスメント被害などについて調査を実施しました。

本書は、この「高齢者等実態調査」について、概要を報告するものです。

2. 調査方法

- ・ 郵送配付、郵送回収
- ・ インターネット回答（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（要介護1～5以外の65歳以上の被保険者）、50歳以上の現役世代調査、在宅介護実態調査（郵送）、介護サービス事業者調査、介護事業従事者調査）
- ・ 訪問聞き取り（在宅介護実態調査（聞き取り））

3. 調査期間

令和4年9月28日（水）～10月21日（金）

4. 調査設計

(1) 区民向け調査

調査名	調査対象者	調査数／抽出方法	主な調査項目
①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査			
	要介護1～5以外の65歳以上の被保険者	3,000人／無作為抽出	日常生活圏域ごとに被保険者の身体及び生活状況、地域活動、生きがい等
②50歳以上の現役世代調査			
	要介護認定を受けていない50～64歳の被保険者	3,000人／無作為抽出	日常生活圏域ごとに被保険者の地域活動、生きがい等
③在宅介護実態調査（郵送）			
	在宅の要介護認定者及びその家族（④の対象者が重複しないように調整）	3,000人／無作為抽出	被保険者本人の心身の状態、サービスの利用実態、ニーズ及び介護者の就労状況等
④在宅介護実態調査（聞き取り）			
	在宅の要介護認定者（要介護4、5）及びその家族（③対象者が重複しないように調整）	※	被保険者本人の心身の状態、サービスの利用実態、ニーズ及び介護者の就労状況等

※④在宅介護実態調査（聞き取り）の調査票は、予備を含めて154件用意し、居宅介護支援事業所の協力体制に応じて137件の調査を行いました。

(2) 事業者向け調査

調査名	調査対象者	調査数／抽出方法	主な調査項目
⑤介護サービス事業者調査			
	区内で介護サービス事業所を運営する事業者	206事業所	事業者概要、今後の事業展開、人材確保策、危機管理、サービスの質の向上への取組、医療との連携、ヤングケアラーやダブルケアなどの見聞状況等
⑥介護事業従事者調査			
	区内の介護サービス事業所に勤務する介護事業従事者等	1,021人 （事業者にできるだけ多くの職種の方に調査票を配付するよう依頼した。）	本人の労働状況や仕事に対する思い、ハラスメント被害の状況等

5. 回収結果

種類	配付数	回収数	有効回答数		有効回答率	
				内インター ネット		内インター ネット※2
①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	3,000	2,100	2,100	208	70.0%	6.9%
②50歳以上の現役世代調査	3,000	1,601	1,601	574	53.4%	19.1%
③在宅介護実態調査（郵送）	3,000	1,807	1,807	186	60.2%	6.2%
④在宅介護実態調査（聞き取り）		137	137			
⑤介護サービス事業者調査	206	107	107	38	51.9%	18.4%
⑥介護事業従事者調査 ※1	1,021	470	470	158	46.0%	15.5%

※1 ⑥介護事業従事者調査については、1事業所当たり5人分の従事者調査票を送付しています。ただし、従業員が5人に満たない事業所も含まれます。

※2 インターネットによる有効回答率は、配付数におけるインターネット回答の割合です。

6. 報告書の見方

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者の総数（人、か所）です。
- ・百分率（%）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示しています。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合があります。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、%の合計が100%を超える場合があります。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合があります。
- ・回答者数が少ない場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合があります。
- ・表の中で、網掛けにしている部分は、各項目の最高値を示しています。
- ・図表下の「※」は補足的な説明です。「(注)」は用語解説です。
- ・クロス集計においては、分析の軸となる表側の項目（性別、年齢別などの属性）の「無回答」は掲載を省略しています。ただし、合計は集計対象の全数を表示しているため、分析の軸となる選択肢の回答者数を合計しても、必ずしも全体の数値とは一致しません。
- ・調査名を以下のように省略して記載している場合があります。

種類	略称
①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 （要介護1～5以外の65歳以上の被保険者）	第1号・要支援
②50歳以上の現役世代調査	50歳以上
③在宅介護実態調査（郵送）	要介護（郵送）
④在宅介護実態調査（聞き取り）	要介護（聞き取り）

第2章 共通質問の比較等

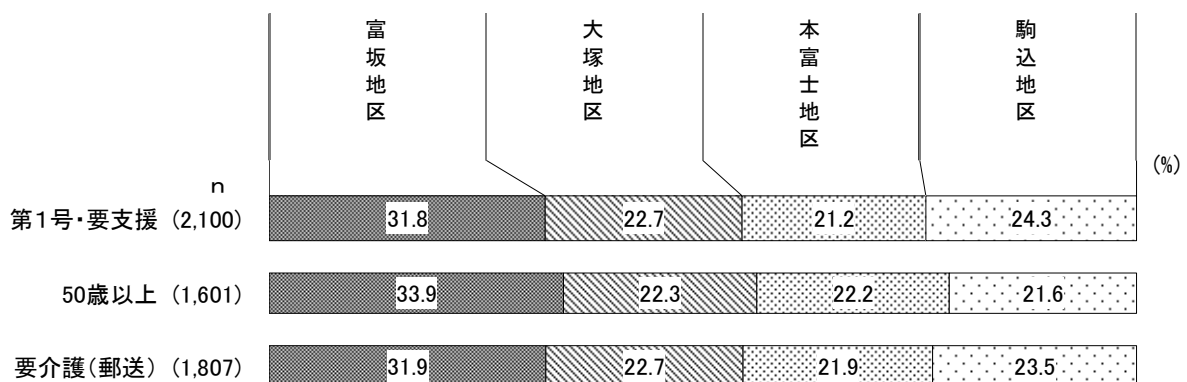
■調査結果（区民向け調査）

- ①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（要介護1～5以外の65歳以上の被保険者）
 ②50歳以上の現役世代調査 ③在宅介護実態調査（郵送） ④在宅介護実態調査（聞き取り）

1. 回答者の属性

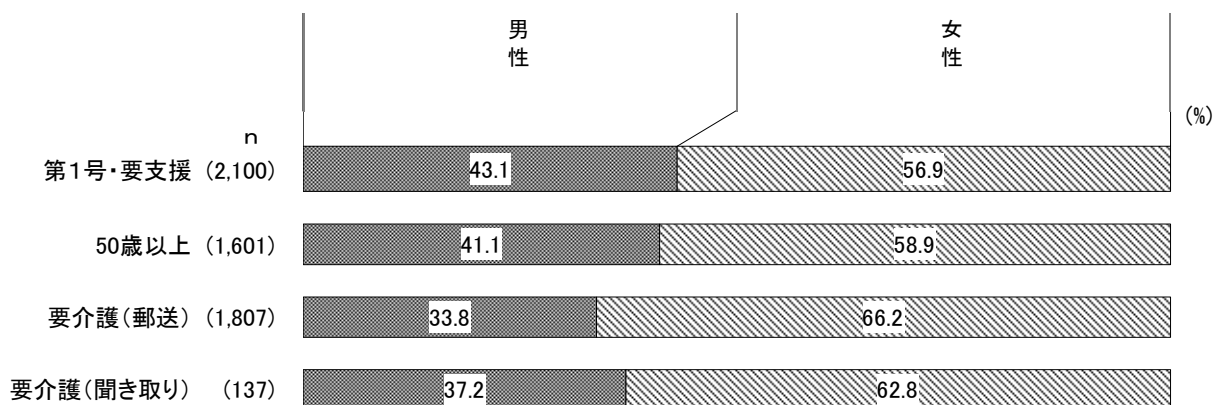
（1）圏域

いずれの調査対象者（要介護（聞き取り）の調査を除く）においても、実際の人口割合とほぼ同様となっています。



（2）性別

いずれの調査対象者においても、「女性」の割合が「男性」を上回っており、「女性」は〈要介護（郵送）〉で66.2%、〈要介護（聞き取り）〉で62.8%、〈50歳以上〉で58.9%、〈第1号・要支援〉で56.9%となっています。



※性別をおたずねする設問回答では、「男性」、「女性」、「その他の性自認」の選択肢を設けましたが、「その他の性自認」を選択する方がいなかった設問は、調査結果上は「男性」と「女性」のみで表記しています。

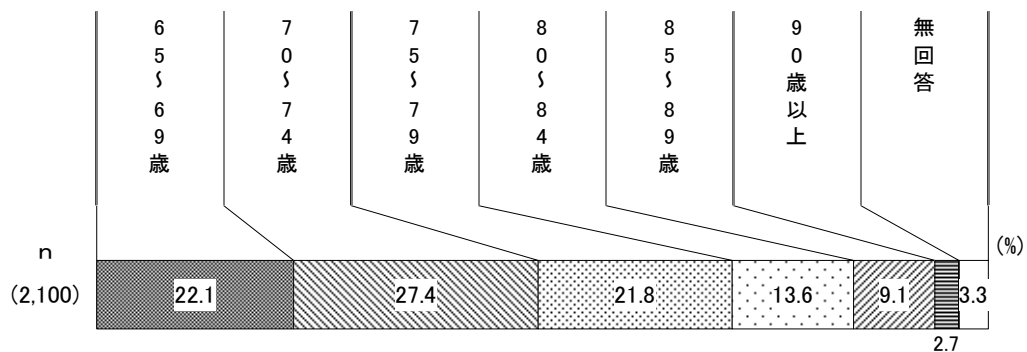
(3) 年齢

〈第1号・要支援〉では、65歳～74歳の「前期高齢者」（以下「前期高齢者」とする。）が49.5%、75歳以上の「後期高齢者」（以下「後期高齢者」とする。）が47.2%となっています。

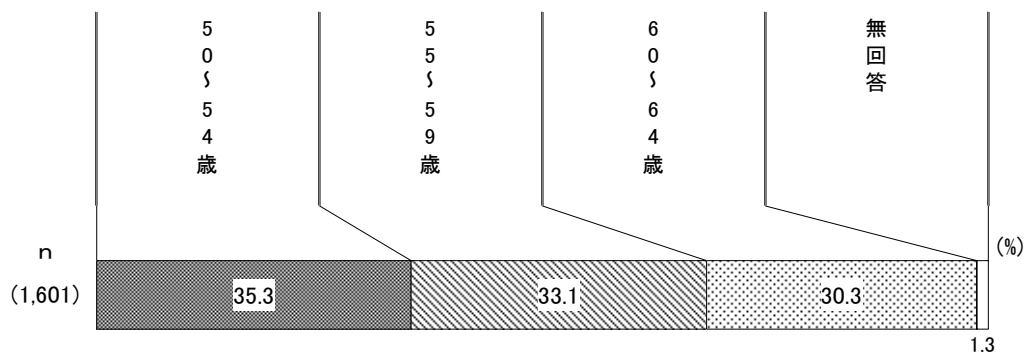
〈50歳以上〉では、「50～54歳」が35.3%、「55～59歳」が33.1%、「60～64歳」が30.3%となっています。

〈要介護（郵送）〉〈要介護（聞き取り）〉では、「後期高齢者」がそれぞれ86.3%、81.0%となっています。

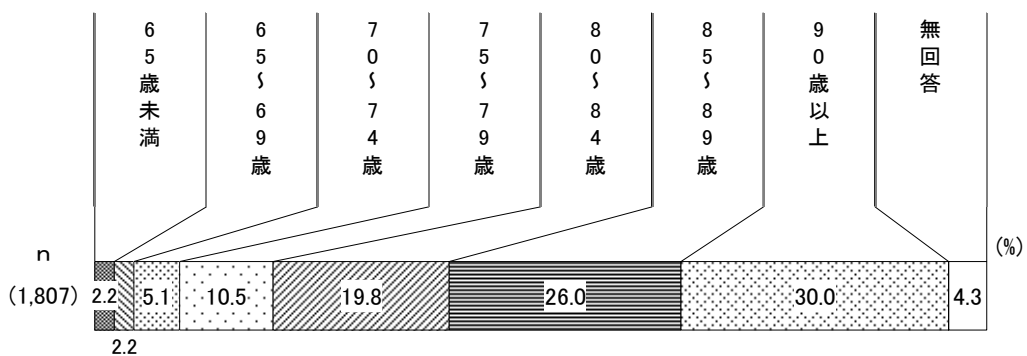
【第1号・要支援】



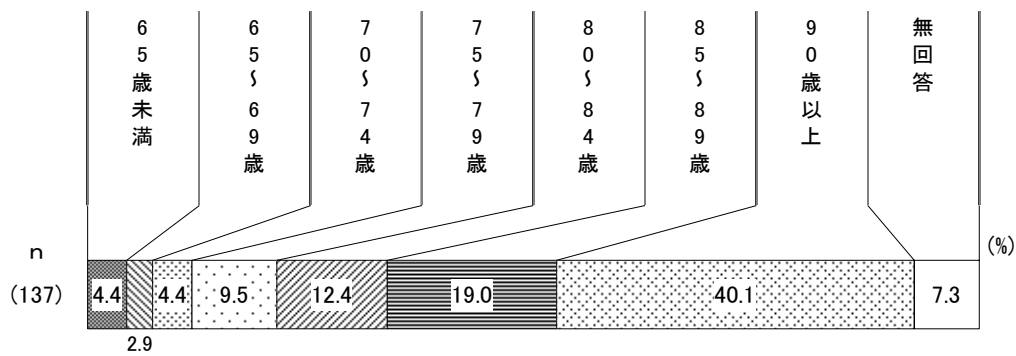
【50歳以上】



【要介護（郵送）】

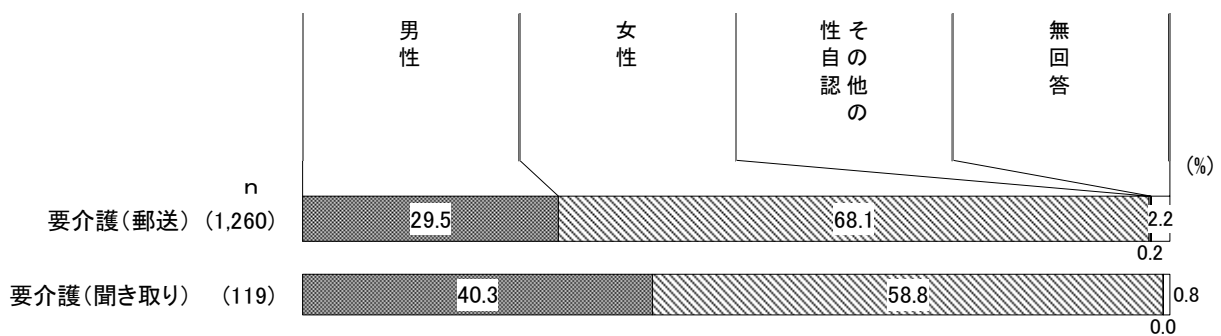


【要介護（聞き取り）】



(4) 主な介護者の性別

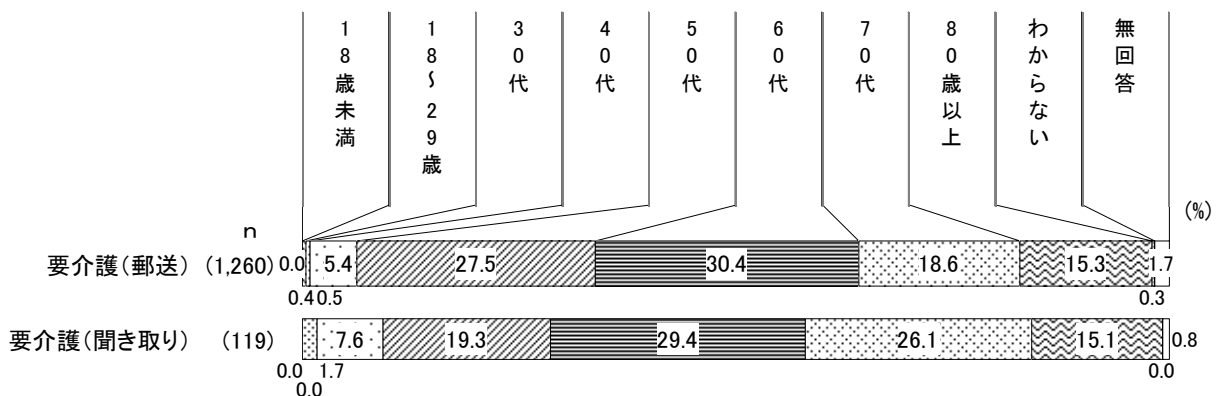
どちらも「女性」の割合が「男性」を上回っており、「女性」は〈要介護（郵送）〉で68.1%、〈要介護（聞き取り）〉で58.8%となっています。



(5) 主な介護者の年齢

〈要介護（郵送）〉では、「60代」が30.4%、「50代」が27.5%と高くなっています。

〈要介護（聞き取り）〉では、「60代」が29.4%、「70代」が26.1%と高くなっています。



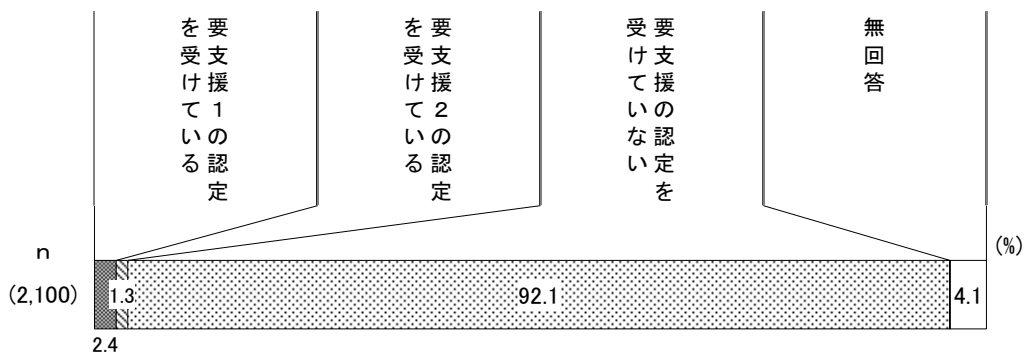
(6) 介護認定の有無（要支援・要介護度）

〈第1号・要支援〉では、要支援認定を受けている割合は3.7%となっています。

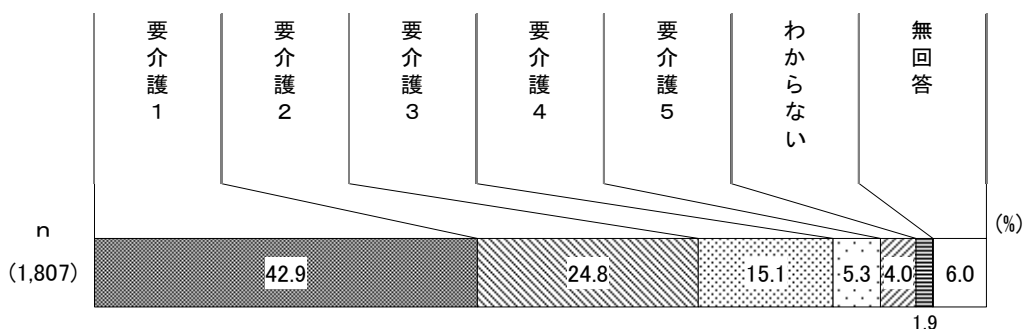
〈要介護（郵送）〉では、「要介護1」、「要介護2」が合わせて67.7%、「要介護3」から「要介護5」が24.4%となっています。

〈要介護（聞き取り）〉では、「要介護4」が48.2%、「要介護5」が51.8%となっています。

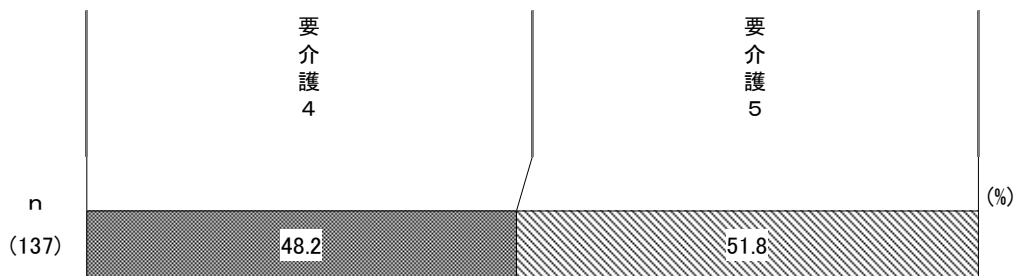
【第1号・要支援】



【要介護（郵送）】



【要介護（聞き取り）】



(7) 家族構成

〈第1号・要支援〉では、「夫婦2人暮らし」が、配偶者65歳以上、64歳以下合わせて40.0%、「1人暮らし」が25.5%、「息子・娘との2世帯」が22.7%となっています。

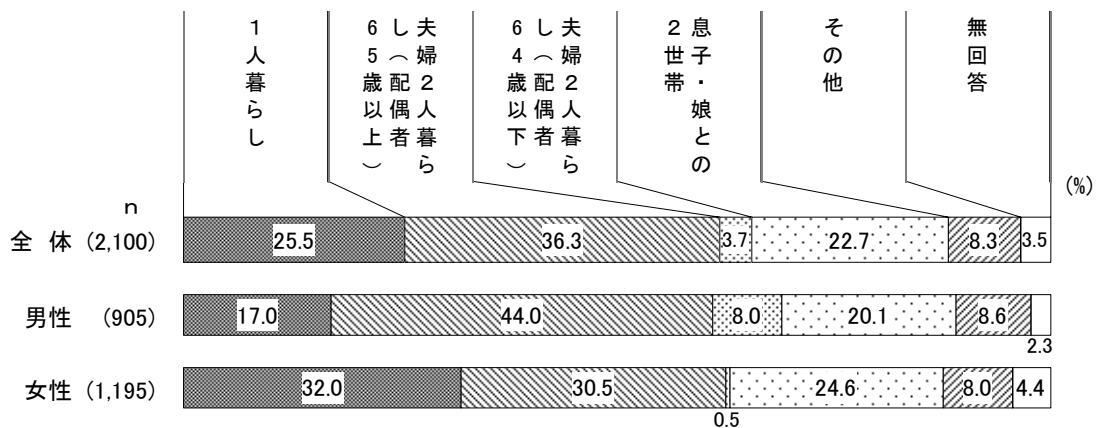
性別で見ると、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上、64歳以下合わせて）」は、男性52.0%、女性31.0%と、男性の方が女性より高くなっています。また、「1人暮らし」は、男性17.0%、女性32.0%となっており、女性で「夫婦2人暮らし」、「1人暮らし」の割合がほぼ並んでいます。

〈要介護（郵送）〉では、同居者を聞いており、「子」が42.0%で最も高く、「配偶者」が36.5%で続いています。一方、「一人暮らし」は23.5%となっています。

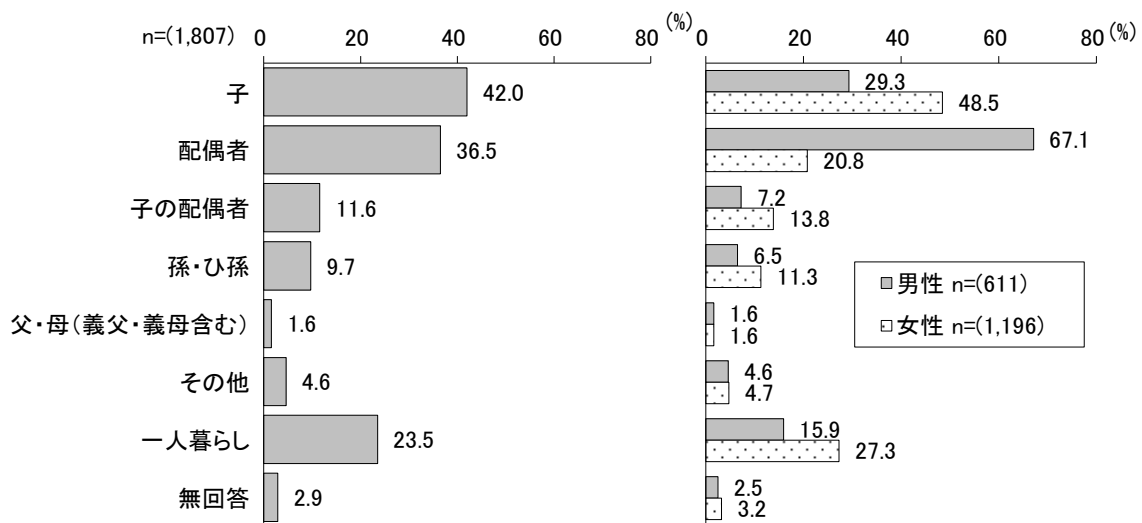
性別で見ると、「子」は、男性29.3%、女性48.5%、「配偶者」は、男性67.1%、女性20.8%、「一人暮らし」では、男性15.9%、女性27.3%となっています。

〈要介護（聞き取り）〉では、「単身世帯」が16.8%、「夫婦のみ世帯」が33.6%となっています。性別で見ると、男性で「夫婦のみ世帯」が58.8%と、女性18.6%を大きく上回っています。

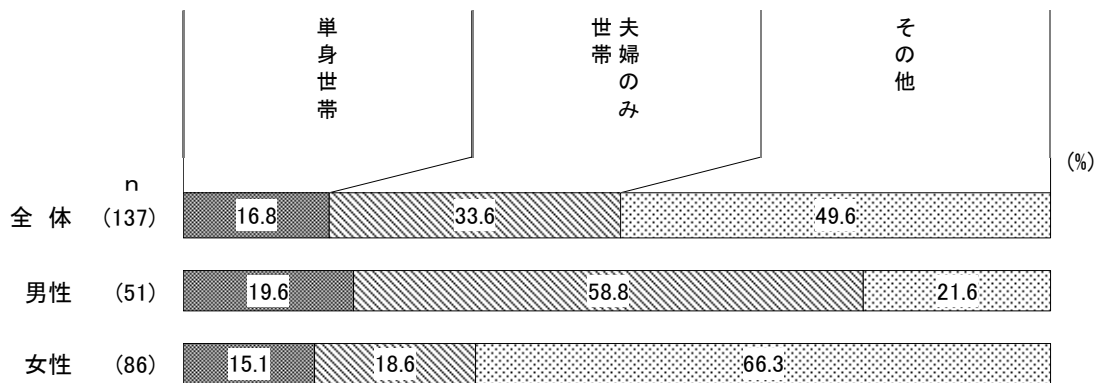
【第1号・要支援／性別】



【要介護（郵送）】（複数回答）



【要介護（聞き取り）／性別】



(8) 暮らしの経済的状況

〈第1号・要支援〉では、「ふつう」が55.6%、「大変苦しい」の4.6%と「やや苦しい」の16.4%を合わせた『苦しい』が21.0%、「ややゆとりがある」の17.0%と「大変ゆとりがある」の3.7%を合わせた『ゆとりがある』は20.7%となっています。

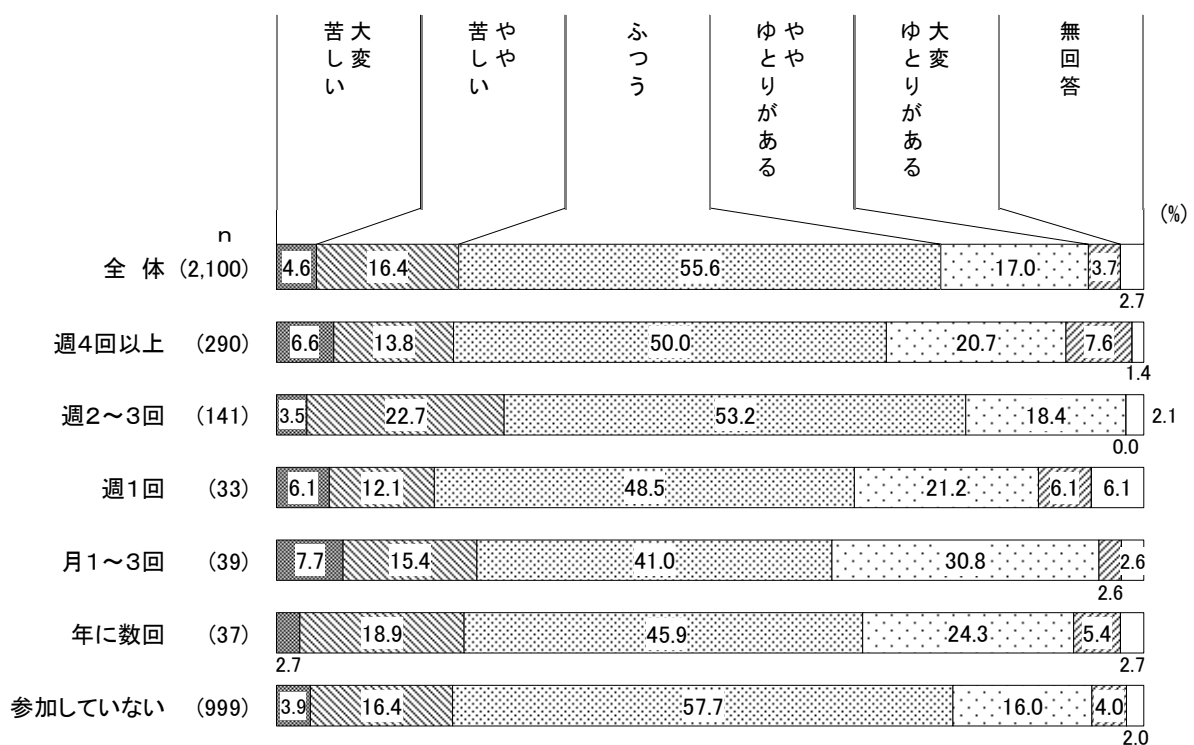
就労状況別でみると、「週2～3回」の就労で『苦しい』が26.2%とやや高くなっています。

〈50歳以上〉では、「ふつう」が49.5%、『苦しい』が22.4%、『ゆとりがある』は26.9%となっています。

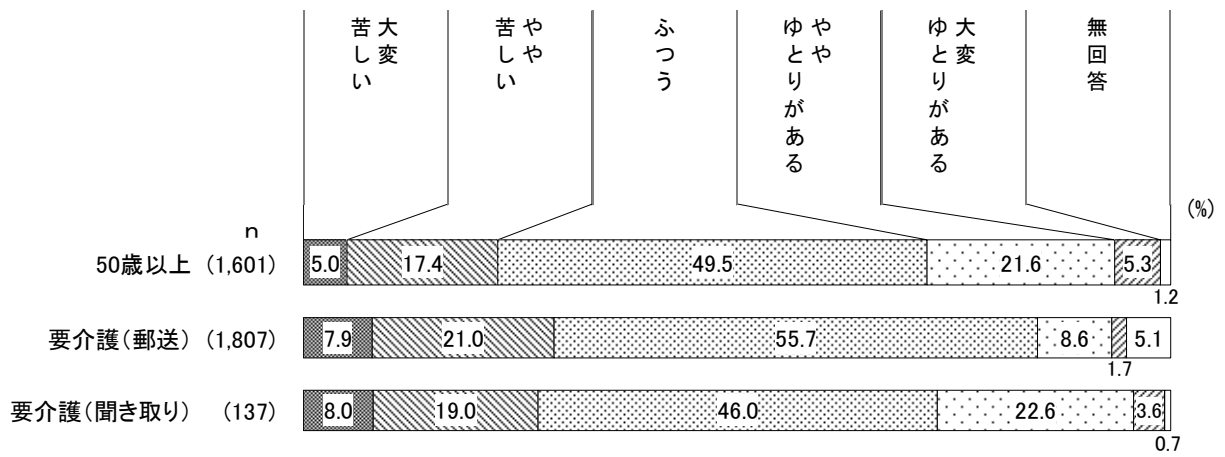
〈要介護（郵送）〉では、「ふつう」が55.7%、『苦しい』が28.9%、『ゆとりがある』は10.3%となっています。

〈要介護（聞き取り）〉では、「ふつう」が46.0%、『苦しい』が27.0%、『ゆとりがある』は26.2%となっています。

【第1号・要支援／就労状況別】



【50歳以上、要介護（郵送）、要介護（聞き取り）】



2. 住まい

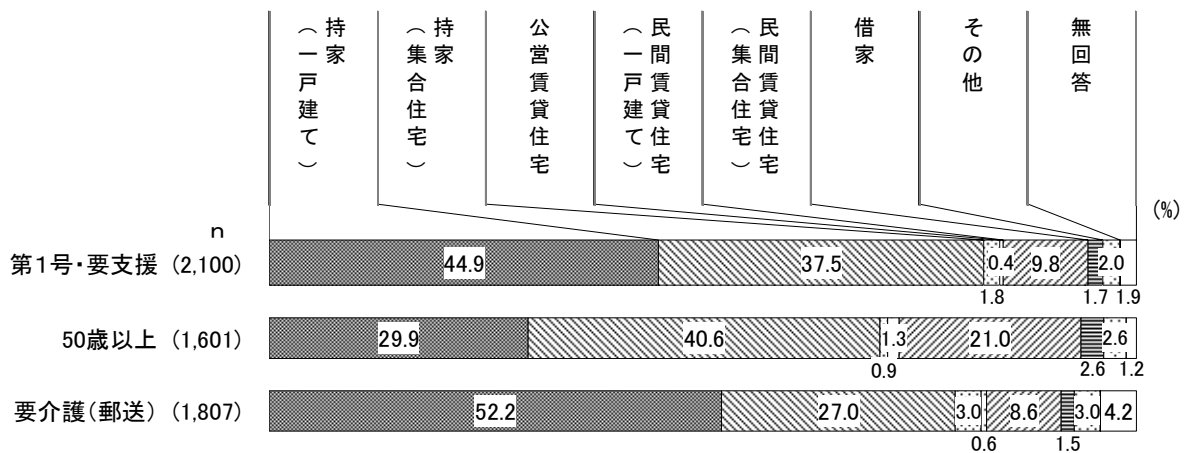
◆ 住まいについて不便や不安を感じている割合は、どの調査でも半数以上となっています。

(1) 住居形態

〈第1号・要支援〉では、「持家（一戸建て）」が44.9%、「持家（集合住宅）」が37.5%となっています。

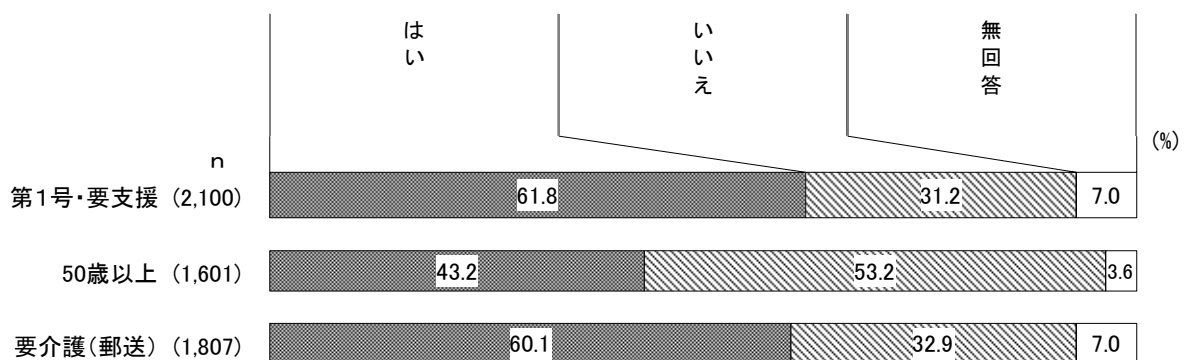
〈50歳以上〉では、「持家（集合住宅）」が40.6%、「持家（一戸建て）」が29.9%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が21.0%となっています。

〈要介護（郵送）〉では、「持家（一戸建て）」が52.2%と半数を超えています。



(2) 現在の住まいでの在宅生活の継続性

〈第1号・要支援〉〈要介護（郵送）〉では、「はい」（住み続けられる住まいである）が、それぞれ61.8%、60.1%と6割を超えているのに対し、〈50歳以上〉では、43.2%にとどまっています。

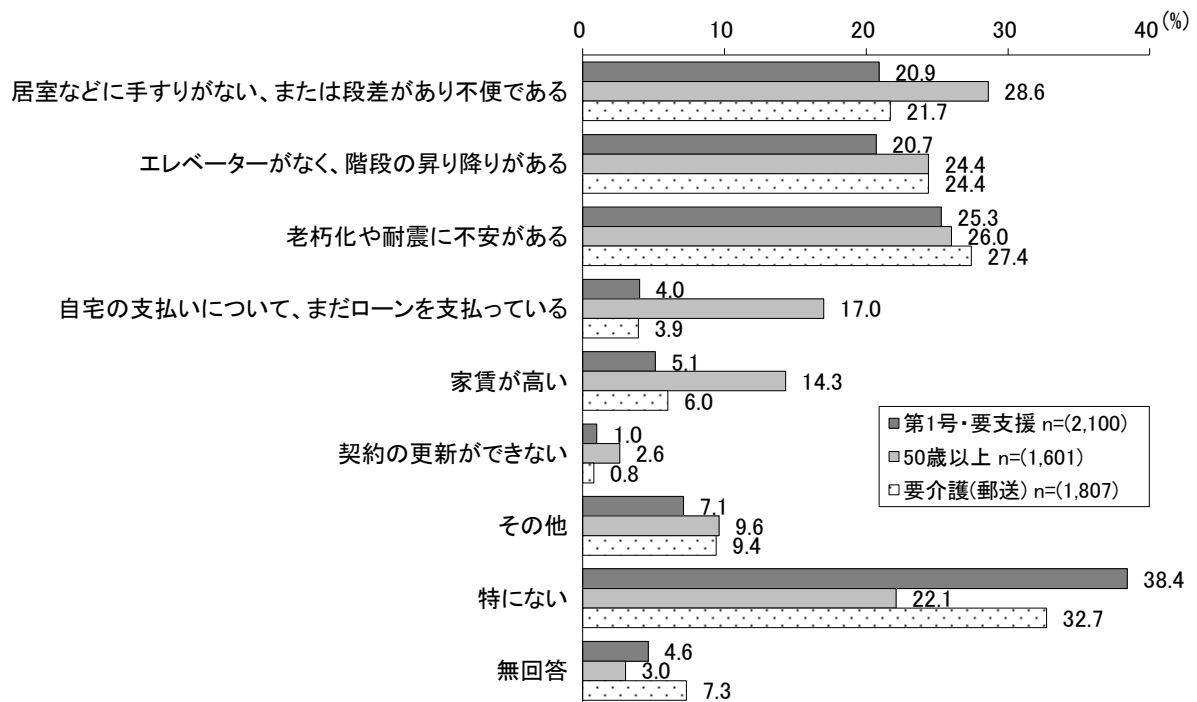


(3) 住まいについての不便や不安

住まいについて不便や不安を感じている割合（特になし、無回答を除いた割合）は、〈50歳以上〉が74.9%で最も多く、〈要介護（郵送）〉が60.0%、〈第1号・要支援〉が57.0%となっています。

具体的な内容としては、どの対象者も、「居室などに手すりがない、または段差があり不便である」、「エレベーターがなく、階段の昇り降りがある」、「老朽化や耐震に不安がある」の3項目が上位で、〈50歳以上〉では、「居室などに手すりがない、または段差があり不便である」が28.6%で最も多くなっています。

（複数回答）



3. 日常生活

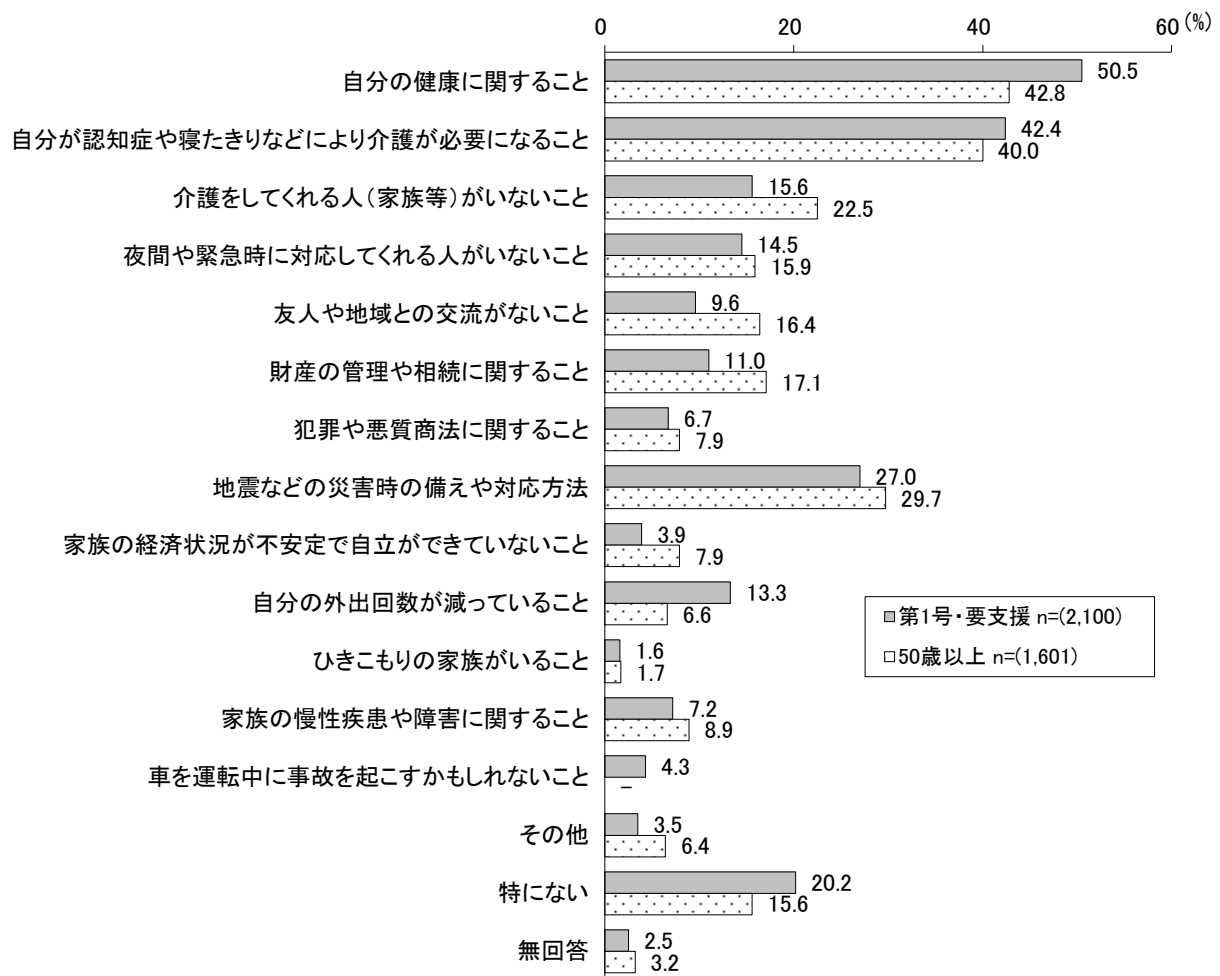
◆ 自身の健康や将来の介護についての不安の割合が高くなっています。

(1) 現在の生活での不安

現在の生活で不安に感じていることがあると回答した割合（特になし、無回答を除いた割合）は、〈第1号・要支援〉が77.3%、〈50歳以上〉が81.2%となっています。

〈第1号・要支援〉、〈50歳以上〉ともに、「自分の健康に関すること」が最も高く、それぞれ50.5%、42.8%となっています。続いて、「自分が認知症や寝たきりなどにより介護が必要になること」は〈第1号・要支援〉が42.4%、〈50歳以上〉が40.0%となっています。

(複数回答)



(2) 新型コロナウイルスワクチン接種情報の取得手段

〈第1号・要支援〉、〈要介護（郵送）〉、〈要介護（聞き取り）〉では、「区報」が最も高く、なかでも〈第1号・要支援〉で6割となっています。また、〈50歳以上〉では、「テレビ、新聞、雑誌、書籍」が50.2%で最も高くなっています。

(複数回答)

(%)

	第1号・ 要支援	50歳以上	要介護 (郵送)	要介護 (聞き取り)
n	2,100	1,601	1,807	137
区のホームページ	28.8	49.3	16.9	16.8
国や都のホームページ	9.9	20.0	4.5	3.6
区報	60.0	39.4	42.4	48.2
区のケーブルテレビ	1.2	0.4	0.9	-
区役所・保健所の窓口	4.3	1.6	3.7	2.9
国や都の広報	13.4	7.1	8.7	4.4
テレビ、新聞、雑誌、書籍	55.6	50.2	39.1	42.3
インターネット	18.9	45.4	6.6	11.7
SNS	1.4	9.9	1.4	2.9
学校や職場	3.2	23.4	0.7	-
病院・薬局	7.3	4.2	9.9	21.9
家族や友人	21.5	19.6	30.5	24.1
高齢者あんしん相談センター	0.4	0.1	1.1	-
区のコールセンター	3.6	1.1	1.8	1.5
国・都のコールセンター	0.3	0.2	0.4	1.5
介護事業者(ケアマネジャー、ヘルパー等)	選択肢なし	選択肢なし	13.7	28.5
その他	3.1	1.6	4.9	10.9
情報を入手していない	0.9	0.8	2.4	0.7
無回答	2.2	2.6	6.6	-

(3) 新型コロナウイルス感染症による生活の変化

〈第1号・要支援〉、〈50歳以上〉、〈要介護（郵送）〉では、「外出の機会が減り、在宅時間が長くなった」が最も高く、〈第1号・要支援〉45.4%、〈50歳以上〉47.1%で、4割台半ばとなっています。また、〈要介護（聞き取り）〉では、半数近くの49.6%が「特に悪い変化はない」となっています。

(複数回答)

(%)

	第1号・ 要支援	50歳以上	要介護 (郵送)	要介護 (聞き取り)
n	2,100	1,601	1,807	137
健康ではないと感じるようになった	5.6	6.6	7.6	6.6
体重が増加した、または減少した	11.7	18.9	8.4	5.8
運動する時間が減少した	22.7	25.7	17.7	13.9
食生活が乱れた	3.9	5.3	3.9	3.6
睡眠時間が減少したり、睡眠の質が下がった	9.5	8.7	7.8	3.6
ストレスが増えた	24.5	31.1	20.4	26.3
(喫煙する人のみ)喫煙量が増加した	0.8	1.0	0.3	0.7
(飲酒する人のみ)飲酒量が増加した	2.6	4.9	0.7	-
家族、友人、同僚や地域とのつながりが減少した	41.8	43.5	30.2	22.6
医療機関を受診する機会が減少した	6.0	9.9	7.5	7.3
外出の機会が減り、在宅時間が長くなった	45.4	47.1	38.8	28.5
その他	2.2	4.4	4.0	2.2
特に悪い変化はない	23.9	18.2	31.7	49.6
無回答	9.6	3.4	12.2	1.5

4. 高齢者あんしん相談センター

◆ 少しずつですが、高齢者あんしんセンターの認知度は向上しています。

(1) 高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）の認知度

高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）について、「知っている」と回答した割合（知らない、聞いたことがない、無回答を除いた割合）は、〈要介護（郵送）〉が79.8%、〈第1号・要支援〉が68.0%、〈50歳以上〉が47.5%となっています。

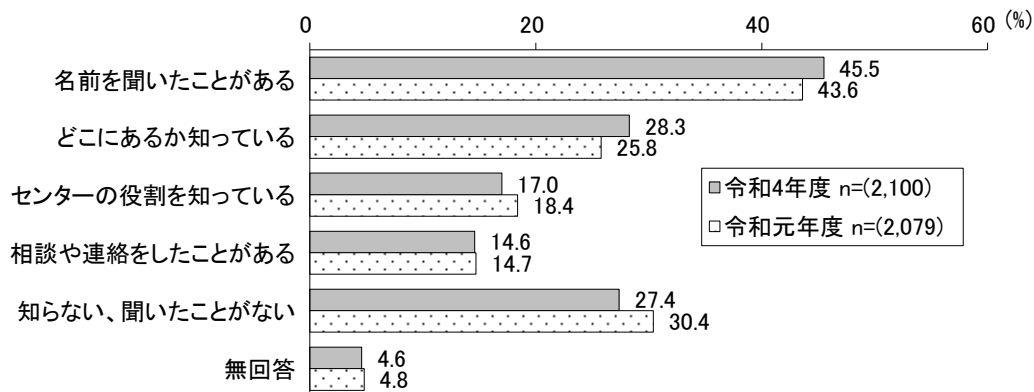
〈第1号・要支援〉、〈50歳以上〉では、「名前を聞いたことがある」が、それぞれ45.5%、32.1%と最も高くなっています。

前回（令和元年度）調査結果と比較すると、ともに特に大きな差異はみられません。

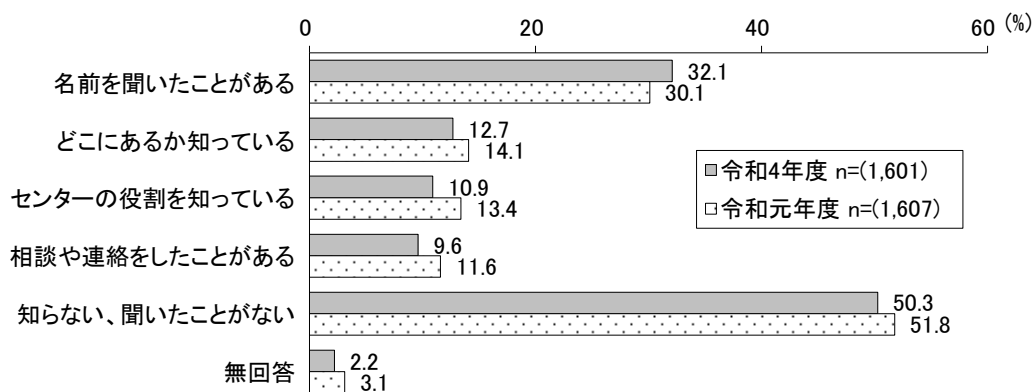
〈要介護（郵送）〉では、「相談や連絡をしたことがある」が41.0%、「名前を聞いたことがある」が38.6%、「どこにあるか知っている」が36.3%で3割台後半から4割台前半となっています。

前回（令和元年度）調査結果と比較すると、「相談や連絡をしたことがある」のみ若干数値が上がっています。

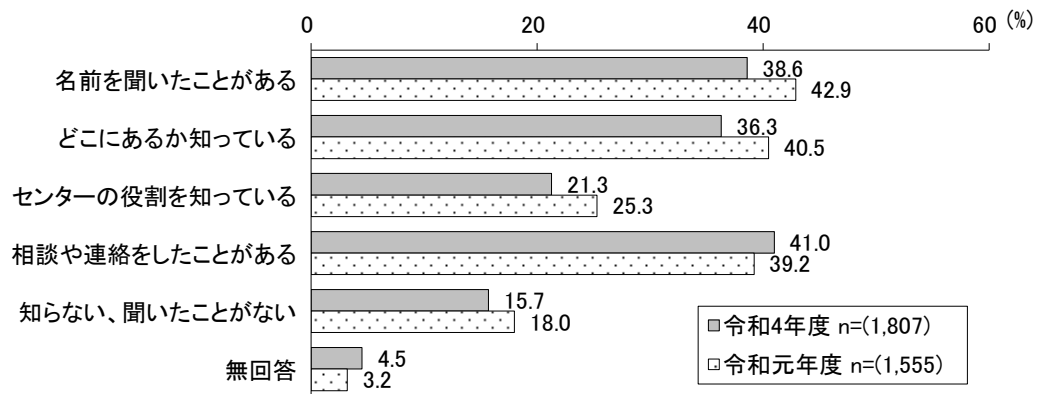
【第1号・要支援／前回調査結果との比較】（複数回答）



【50歳以上／前回調査結果との比較】（複数回答）



【要介護（郵送）／前回調査結果との比較】（複数回答）

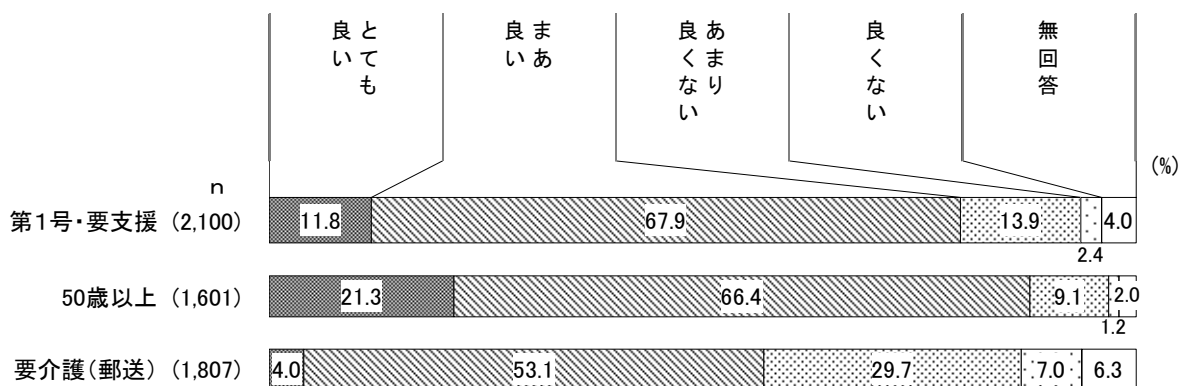


5. 健康・介護予防

- ◆ 現在の健康状態は、〈第1号・要支援〉の約8割の方が『良い』となっています。
- ◆ 〈第1号・要支援〉で介護予防に取り組んでいる方は、6割を超えています。

(1) 現在の健康状態

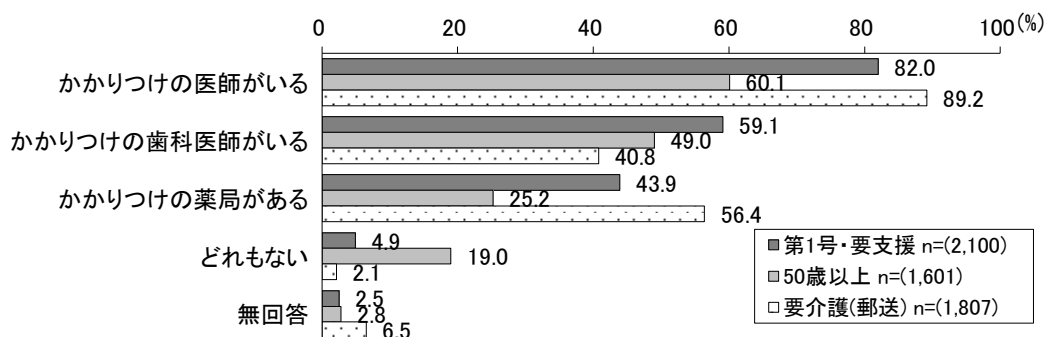
「とても良い」、「まあ良い」を合わせた『良い』の割合は、〈50歳以上〉で87.7%と最も多く、〈第1号・要支援〉が79.7%、〈要介護（郵送）〉が57.1%となっています。また、〈要介護（郵送）〉では、「あまり良くない」、「良くない」を合わせた『良くない』が36.7%となっています。



(2) かかりつけ医・歯科医・薬局の有無

いずれの対象者でも、「かかりつけの医師がいる」が最も高く、なかでも、〈要介護（郵送）〉が89.2%で9割弱、〈第1号・要支援〉が82.0%で8割台前半となっています。また、〈第1号・要支援〉で「かかりつけの歯科医師がいる」が59.1%、〈要介護（郵送）〉で「かかりつけの薬局がある」が56.4%と、他の対象者より高くなっています。

(複数回答)



(3) 病気の状況

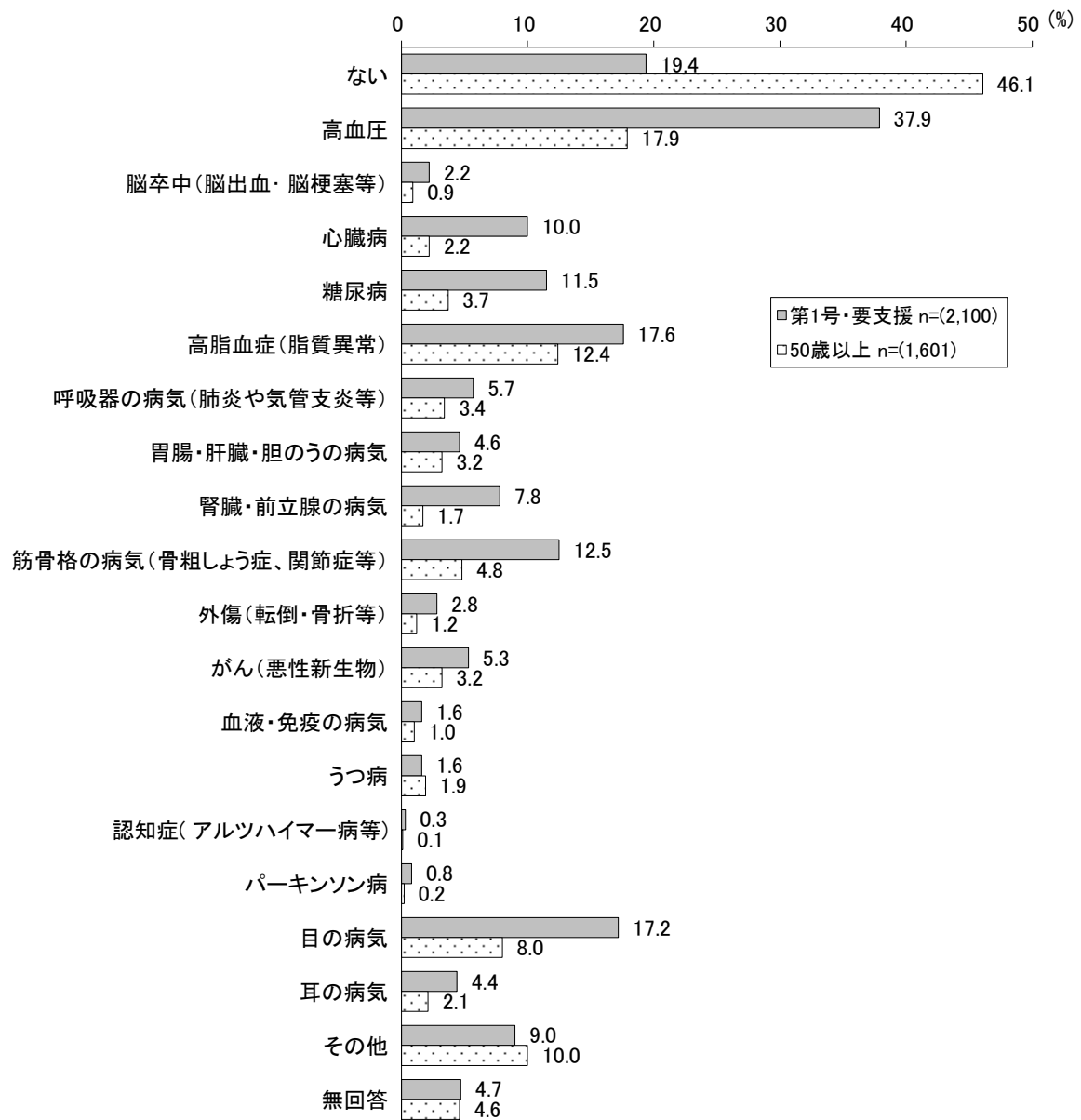
〈第1号・要支援〉では、現在治療中、または後遺症のある病気があると回答した割合（ない、無回答を除いた割合）は75.9%で、その内訳は、「高血圧」が37.9%で最も高く、続いて、「高脂血症（脂質異常）」が17.6%、「目の病気」が17.2%となっています。

〈50歳以上〉では、現在治療中、または後遺症のある病気があると回答した割合は49.3%で、「高血圧」が17.9%で最も高く、「高脂血症（脂質異常）」が12.4%で続いています。

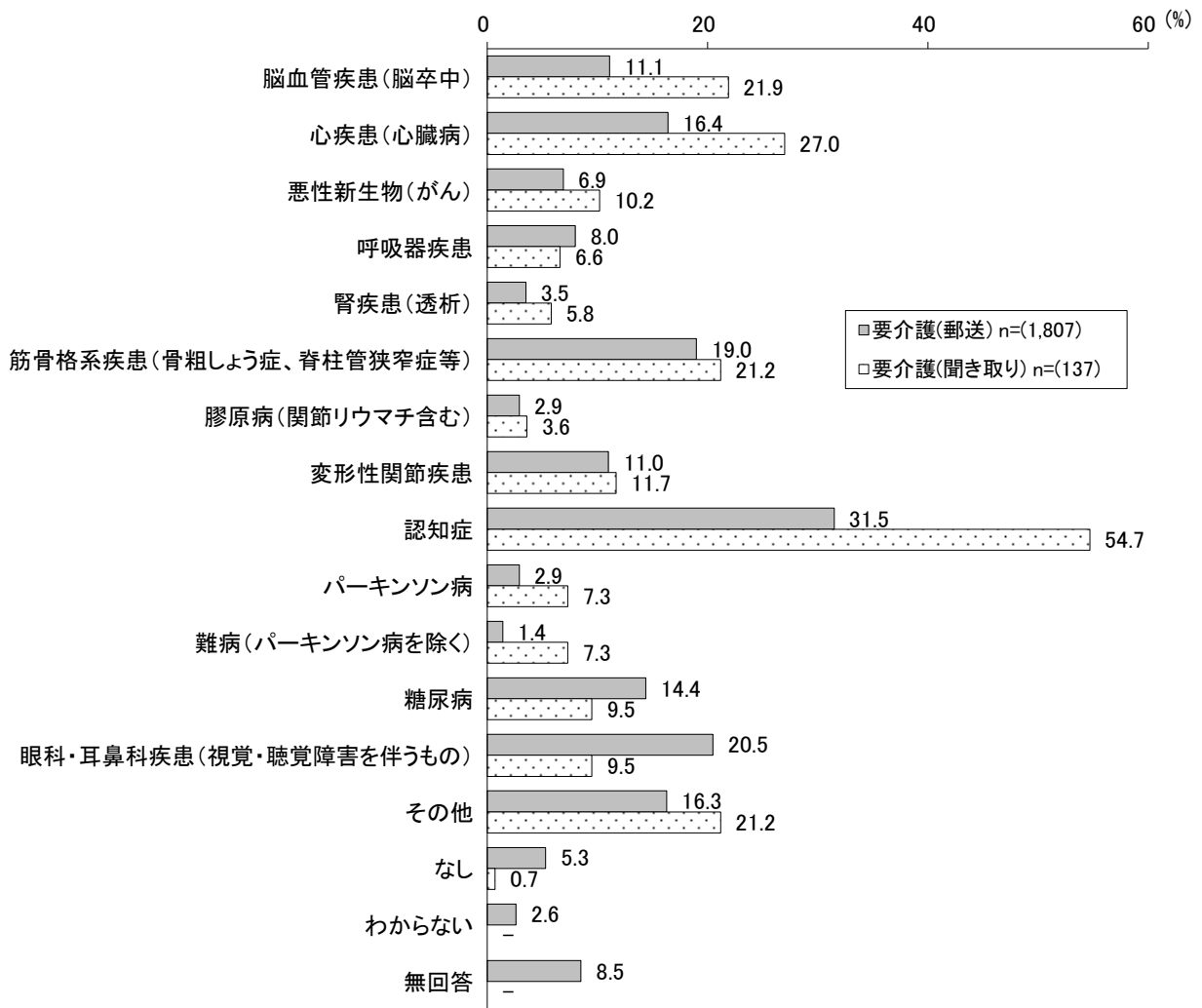
〈要介護（郵送）〉では、現在治療中、または後遺症のある病気があると回答した割合（なし、わからない、無回答を除いた割合）は83.6%で、その内訳は、「認知症」が31.5%で最も高く、続いて、「眼科、耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が20.5%、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が19.0%となっています。

〈要介護（聞き取り）〉では、現在治療中、または後遺症のある病気があると回答した割合は99.3%で、なかでも「認知症」は54.7%と半数を超えています。

【第1号・要支援、50歳以上】（複数回答）

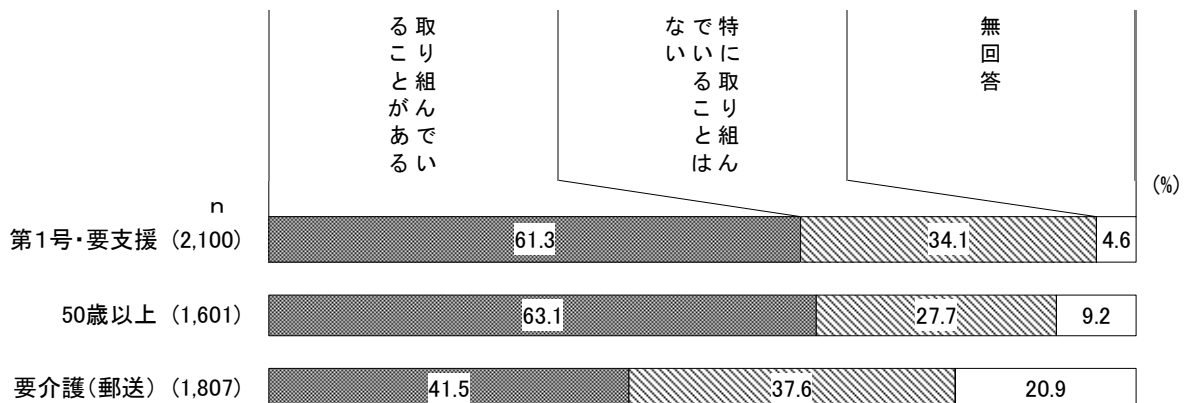


【要介護（郵送）、要介護（聞き取り）】（複数回答）



(4) 介護予防の取組状況

健康維持・増進、介護予防に「取り組んでいることがある」と回答した割合は、〈第1号・要支援〉で61.3%、〈50歳以上〉で63.1%と、6割を超えています。一方、〈要介護（郵送）〉では、41.5%と、他の対象者に比べて低くなっています。

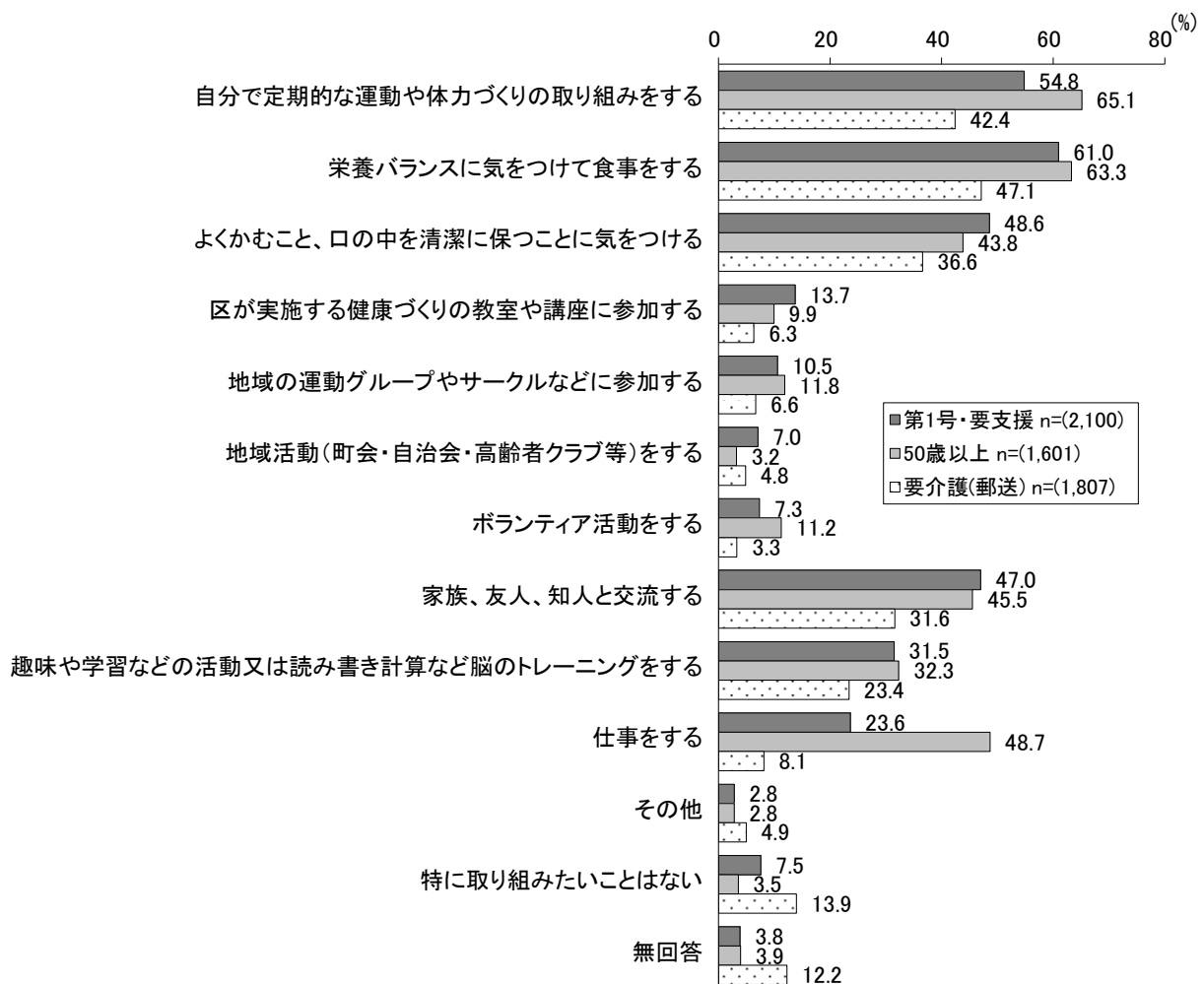


(5) 介護予防のために今後取り組みたいこと

今後取り組んでみたいことがあると回答した割合（特に取り組みたいことはない、無回答を除いた割合）は、〈50歳以上〉で92.6%と、〈第1号・要支援〉の88.7%、〈要介護（郵送）〉の73.9%より高くなっています。

具体的な内容としては、〈50歳以上〉で「自分で定期的な運動や体力づくりの取り組みをする」が65.1%、「栄養バランスに気をつけて食事をする」が63.3%、また、〈第1号・要支援〉でも「栄養バランスに気をつけて食事をする」が61.0%と6割台で高くなっています。

(複数回答)



(6) 運転状況

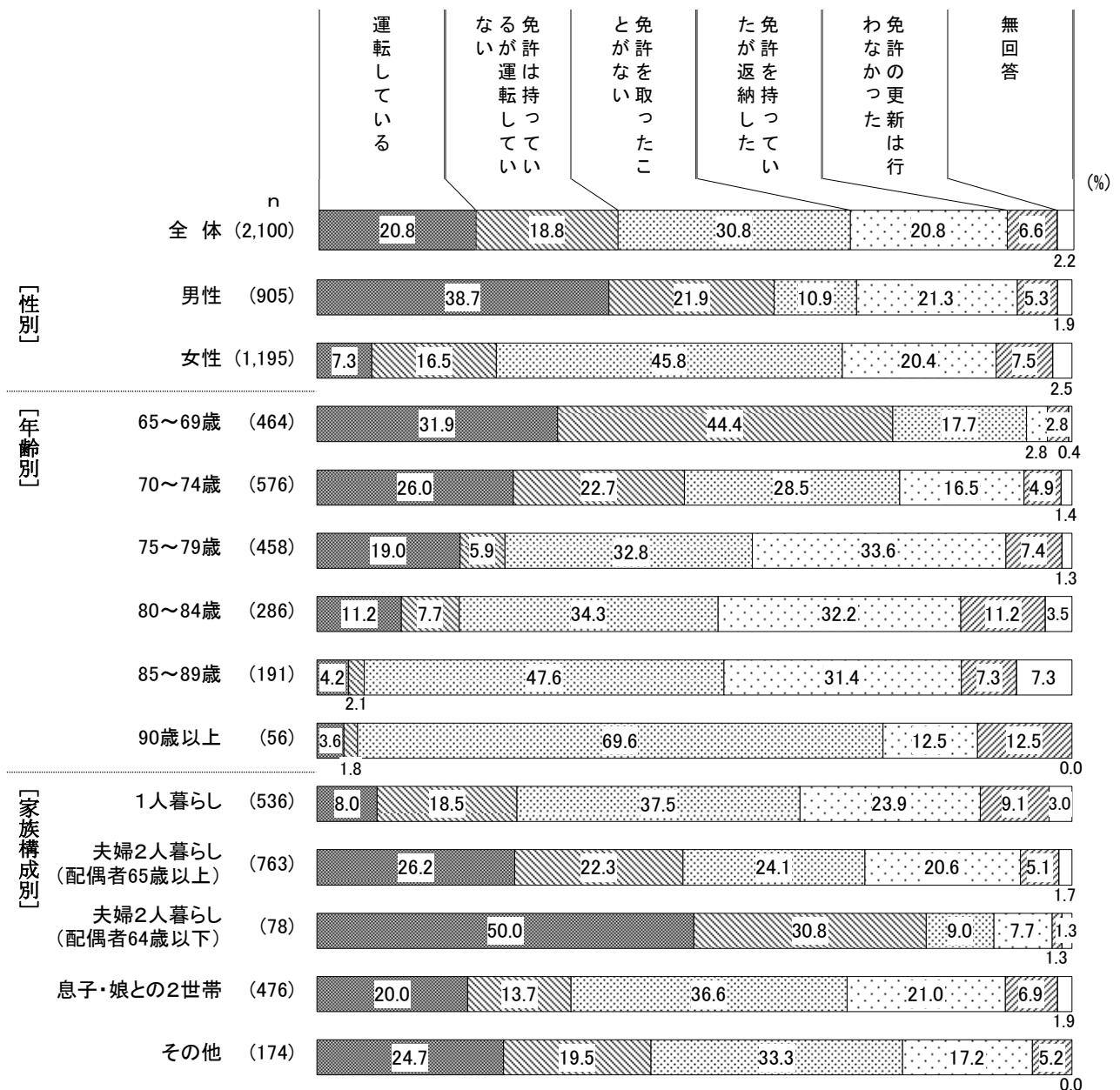
車の運転については、「運転している」が20.8%、「免許は持っているが運転していない」が18.8%で、それらを合わせた『免許保有』が39.6%となっている一方、「免許を持っていたが返納した」は20.8%、「免許の更新は行わなかった」は6.6%となっています。

性別でみると、“男性”で「運転している」が38.7%となっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれ、「運転している」割合が低くなっています。また、「75～89歳」では、「免許を持っていたが返納した」が3割台と高くなっています。

家族構成別では、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」で、「運転している」が半数を占めている一方、「1人暮らし」では8.0%にとどまっています。また、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」では、「免許は持っているが運転していない」も30.8%と高くなっています。

【第1号・要支援／性別、年齢別、家族構成別】

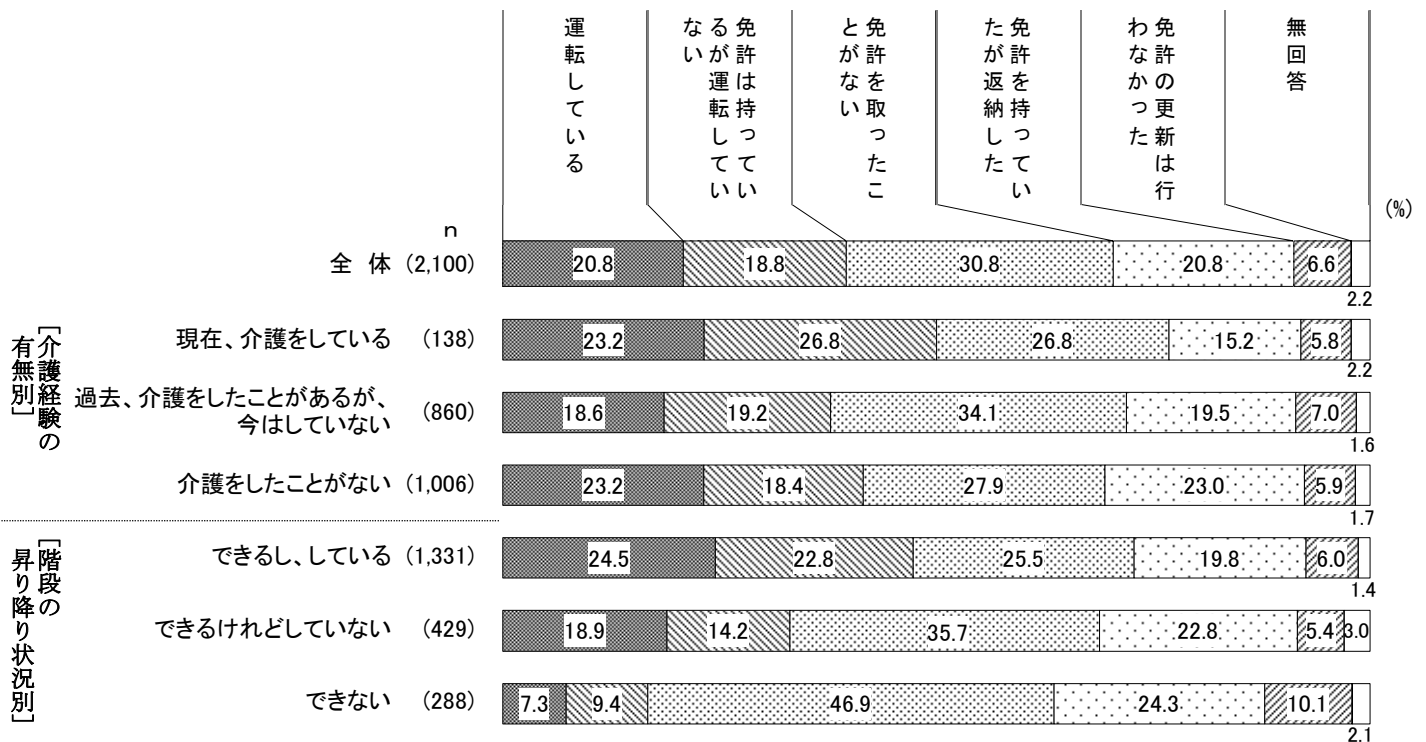


第2章 共通質問の比較等

介護経験の有無別にみると、「現在、介護をしている」では、「運転している」が23.2%、「免許は持っているが運転していない」が26.8%となっています。

階段の昇り状況別でみると、「階段や手すりや壁をつたわずに昇れる（できるし、している）」では、「運転している」は24.5%となっています。一方、「昇れない（できない）」では、「運転している」は7.3%にとどまり、「免許は持っていたが返納した」が24.3%となっています。

【第1号・要支援／介護経験の有無別、階段の昇り降り状況別】



6. 認知症

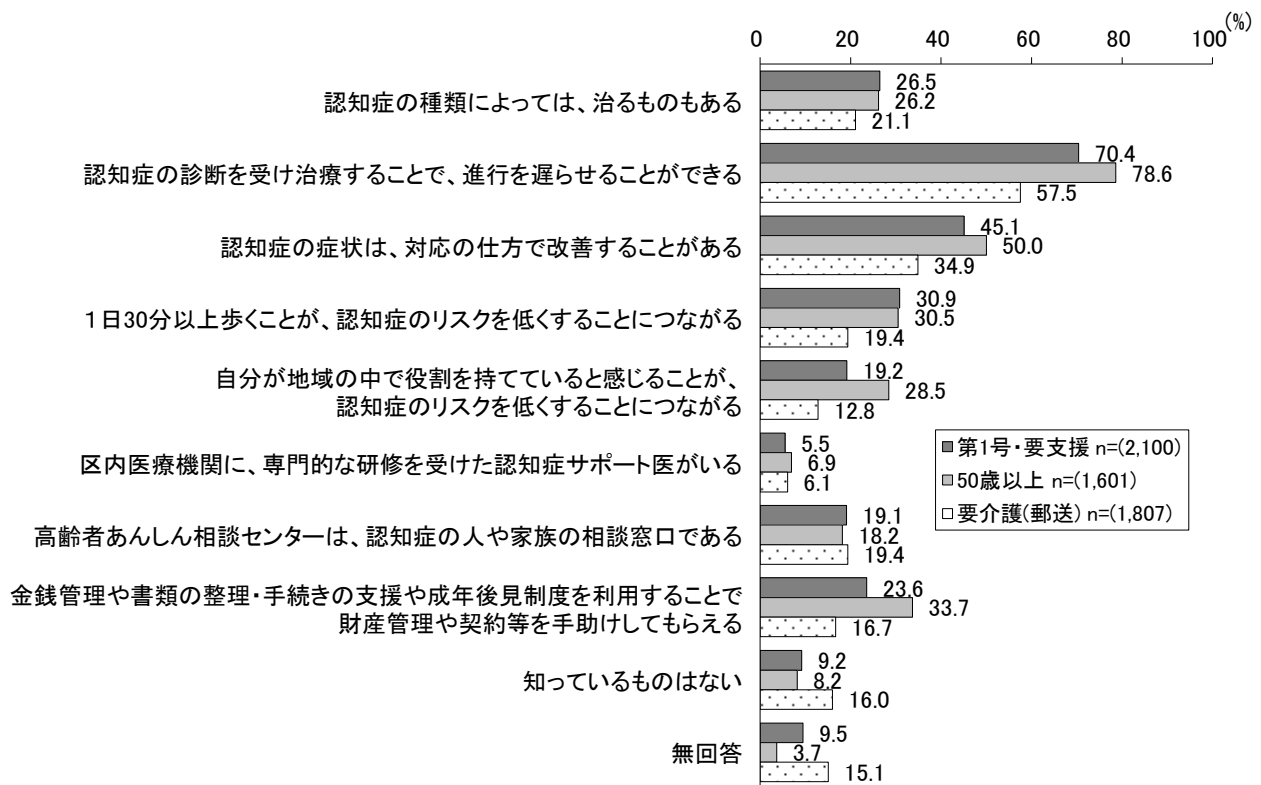
◆ 必要と感じる認知症支援策として、介護者が休息できるサービスの割合が高くなっています。

(1) 認知症に対して認識している内容

認知症のケアや支援制度について知っていることがある割合（知っているものはない、無回答を除いた割合）は、〈50歳以上〉が88.1%で最も高く、〈第1号・要支援〉が81.3%、〈要介護（郵送）〉が68.9%となっています。

いずれの対象者においても、「認知症の診断を受け治療することで、進行を遅らせることができる」が最も高く、〈50歳以上〉が78.6%、〈第1号・要支援〉が70.4%、〈要介護（郵送）〉が57.5%となっています。続いて、「認知症の症状は、対応の仕方でも改善することがある」で、〈50歳以上〉が50.0%、〈第1号・要支援〉が45.1%、〈要介護（郵送）〉が34.9%となっています。

（複数回答）



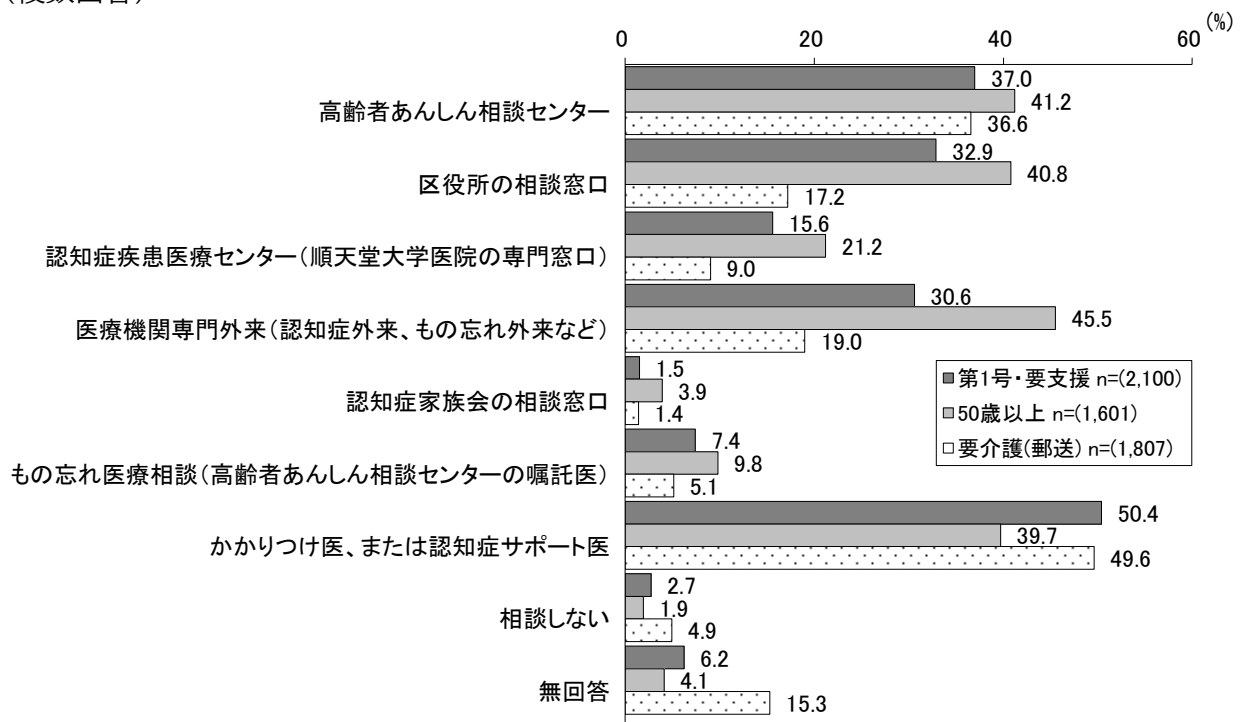
(2) 認知症相談窓口の利用意向

認知症相談窓口に何らかの利用を想定している割合（相談しない、無回答を除いた割合）は、〈50歳以上〉が94.0%で最も高く、〈第1号・要支援〉が91.1%、〈要介護（郵送）〉が79.8%となっています。

具体的な窓口では、〈50歳以上〉が「医療機関専門外来（認知症外来、もの忘れ外来など）」45.5%を筆頭に、「高齢者あんしん相談センター」、「区役所の相談窓口」、「かかりつけ医、または認知症サポート医」も4割前後と、意向が多岐にわたっています。

また、〈第1号・要支援〉、〈要介護（郵送）〉では、「かかりつけ医、または認知症サポート医」がそれぞれ50.4%、49.6%と最も高くなっています。

(複数回答)



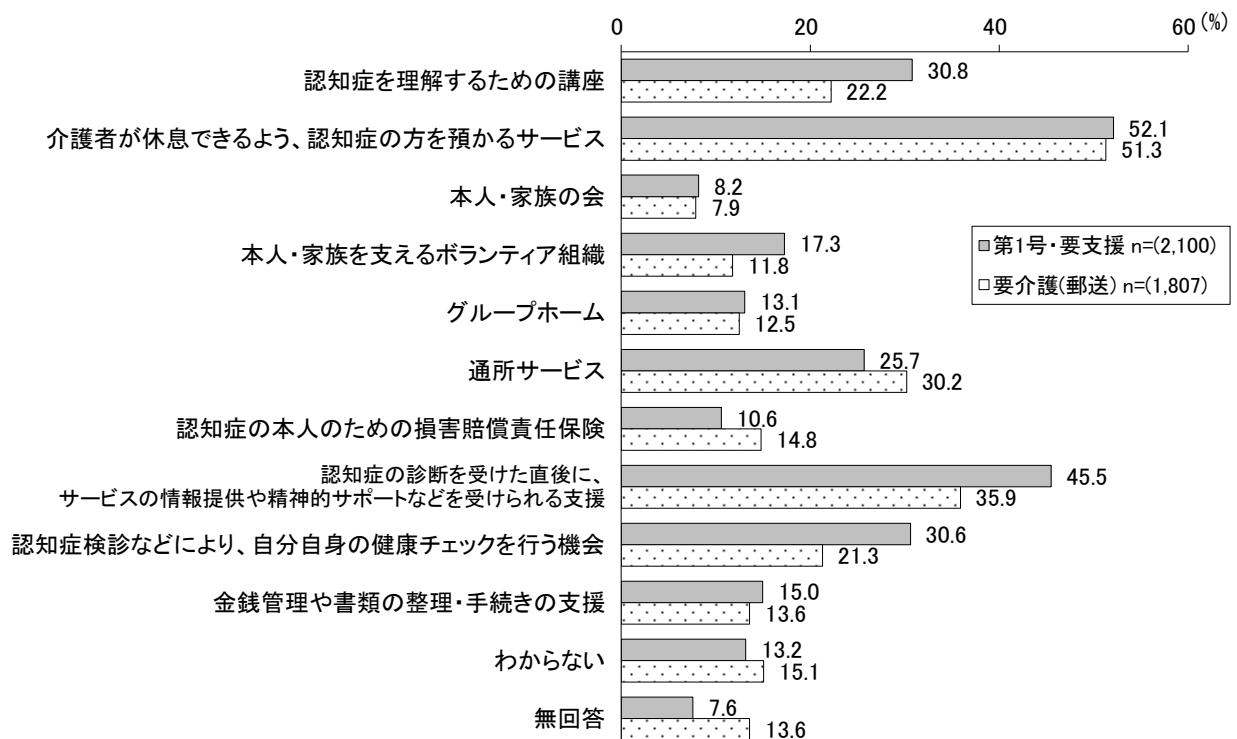
(3) 必要と感じる認知症支援

認知症に対する本人や家族への支援については、〈第1号・要支援〉の79.2%、〈要介護（郵送）〉の71.3%が、何らかの支援が必要と感じています（わからない、無回答を除いた割合）。

具体的には、〈第1号・要支援〉で、「介護者が休息できるよう、認知症の方を預かるサービス」が52.1%と最も高く、続いて、「認知症の診断を受けた直後に、サービスの情報提供や精神的サポートなどを受けられる支援」が45.5%となっています。

〈要介護（郵送）〉でも、〈第1号・要支援〉と同様の傾向にあり、「介護者が休息できるよう、認知症の方を預かるサービス」が51.3%と最も高く、続いて、「認知症の診断を受けた直後に、サービスの情報提供や精神的サポートなどを受けられる支援」が35.9%となっています。

(複数回答)



7. 就業

◆ 仕事と介護の両立に効果があると思う支援として、介護休業・介護休暇等の制度の充実を挙げる人が多くなっています。

(1) 主な介護者の勤務形態

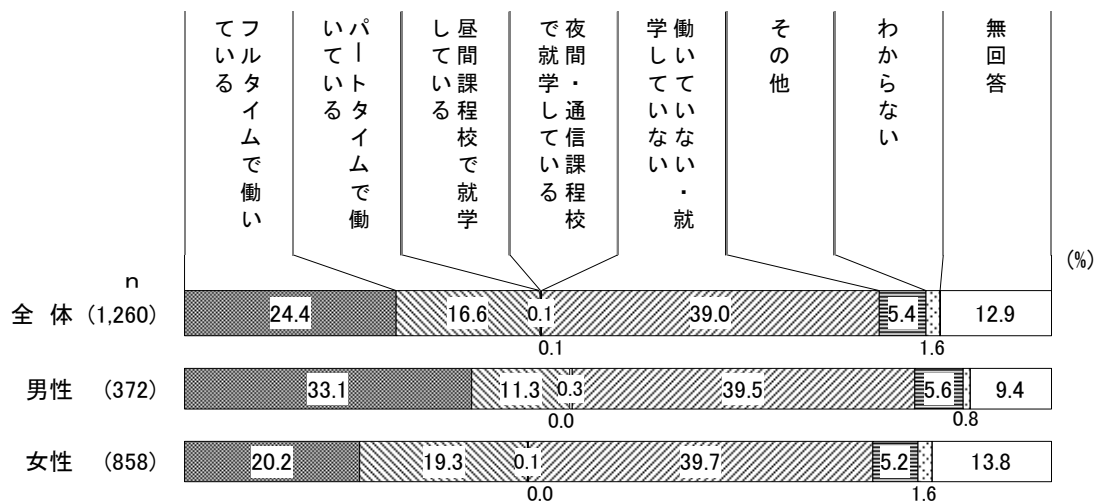
主な介護者の勤務形態は、〈要介護（郵送）〉で「フルタイムで働いている」が24.4%、「パートタイムで働いている」が16.6%となっています。

性別で見ると、男性では、「フルタイムで働いている」が33.1%と女性の20.2%より高く、女性では、「パートタイムで働いている」が19.3%と男性の11.3%より高くなっています。

〈要介護（聞き取り）〉の介護者においては、「フルタイムで働いている」は20.4%、「パートタイムで働いている」は16.1%となっています。

性別で見ると、男性では、「フルタイムで働いている」が27.1%と女性の15.7%より高く、女性では、「パートタイムで働いている」が20.0%と男性の10.4%より高くなっています。

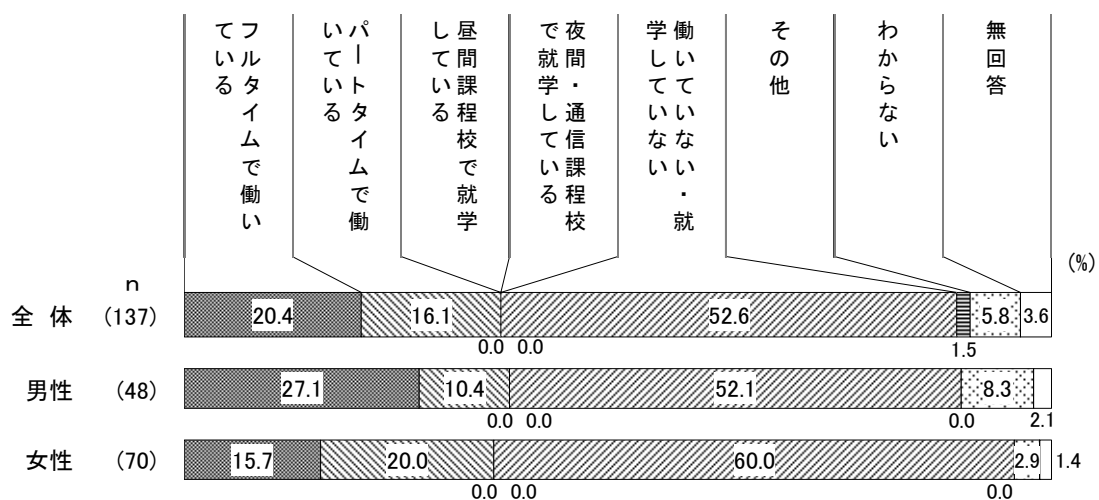
【要介護（郵送）／性別】



※性別は、主な介護者の性別です。(以下同様)

※「その他の性自認」は、回答者2人のため、統計的な分析は行っておりません。(全体には含めています。)

【要介護（聞き取り）／性別】



(2) 仕事と介護の両立に効果があると思う支援

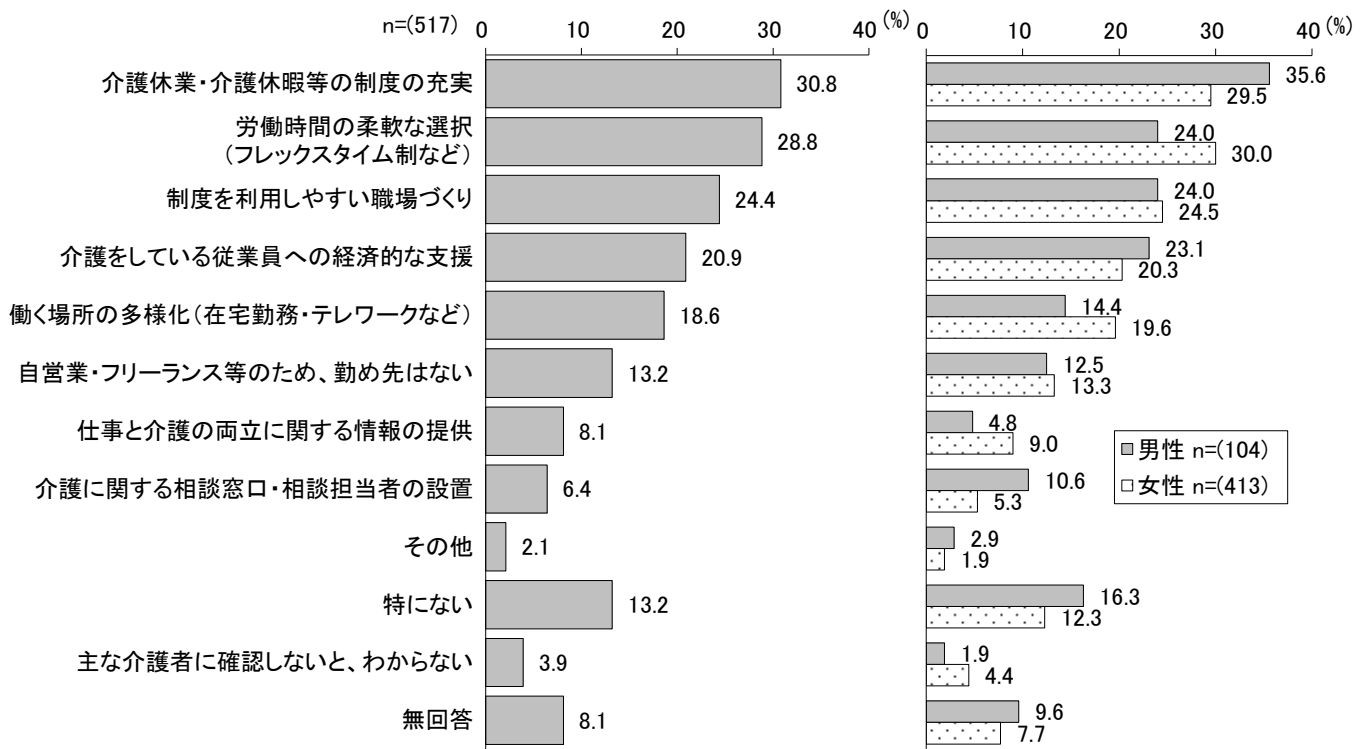
〈要介護（郵送）〉の介護者については、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が30.8%と最も高く、続いて、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」の28.8%、「制度を利用しやすい職場づくり」の24.4%、「介護をしている従業員への経済的な支援」の20.9%までが2割台となっています。

性別でみると、男性では、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が35.6%と高くなっています。「女性」では、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」の30.0%と、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」の29.5%がほぼ並んでいます。

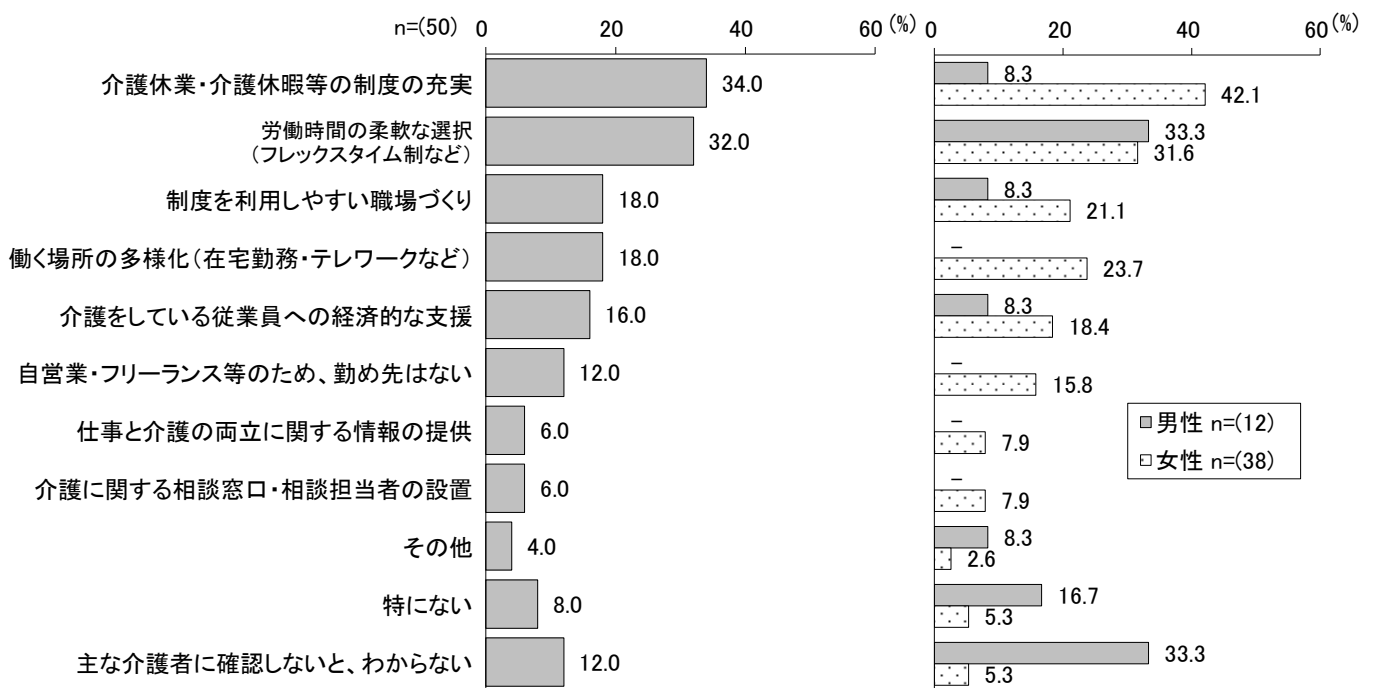
〈要介護（聞き取り）〉の介護者については、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が34.0%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が32.0%となっています。

性別でみると、女性では、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が42.1%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が31.6%となっています。

【要介護（郵送）／性別】（複数回答）



【要介護（聞き取り）／性別】（複数回答）



(3) 働き方の希望

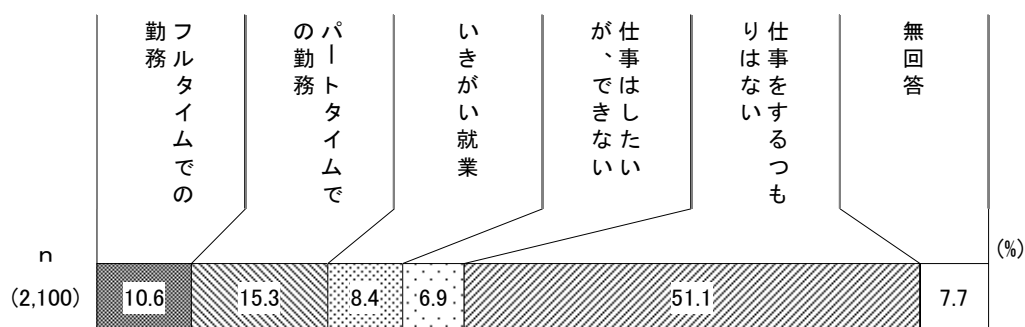
働き方の希望については、〈第1号・要支援〉で「フルタイムでの勤務」が10.6%、「パートタイムでの勤務」が15.3%となっている一方、「仕事はしたいが、できない」は6.9%となっています。

〈50歳以上〉では、「フルタイムでの勤務」が25.8%、「パートタイムでの勤務」は35.9%となっています。

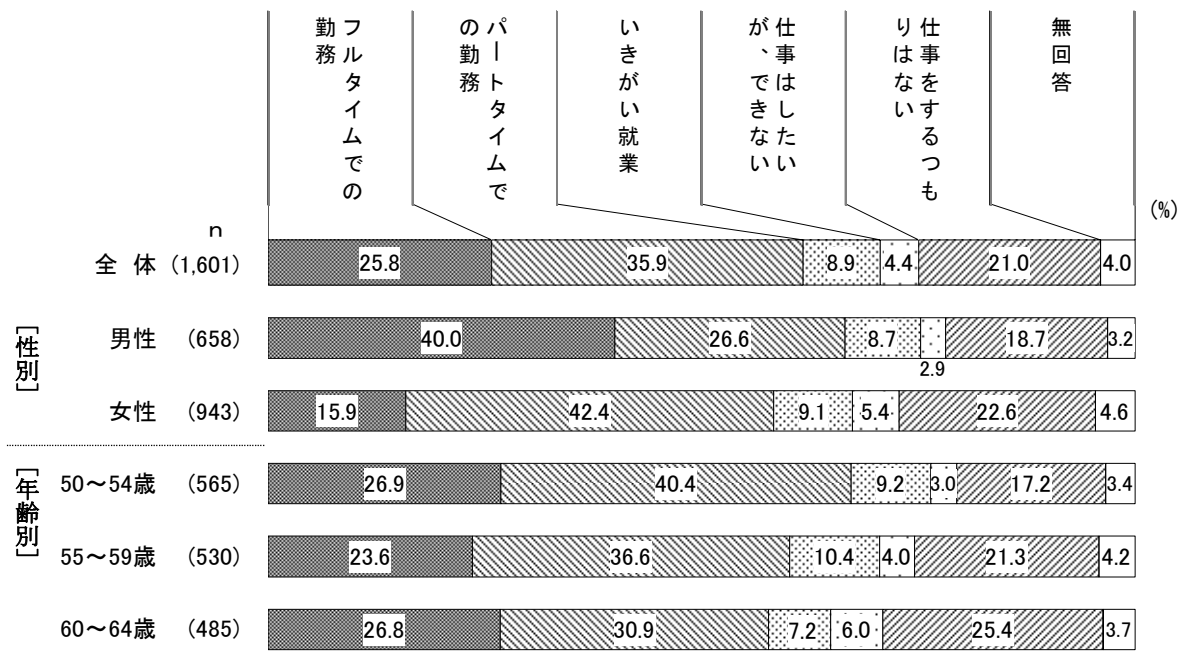
性別で見ると、男性では、「フルタイムでの勤務」が40.0%と女性の15.9%より高く、女性では、「パートタイムでの勤務」が42.4%と男性の26.6%より高くなっています。

年齢別で見ると、「パートタイムでの勤務」では、「50～54歳」の40.4%から「60～64歳」で30.9%まで下がっています。

【第1号・要支援】



【50歳以上／性別、年齢別】



8. 地域とのつながり・地域活動

◆ 会・グループの参加状況は、3年前と比較しておおむね減少傾向にあります。

(1) 会・グループ等への参加

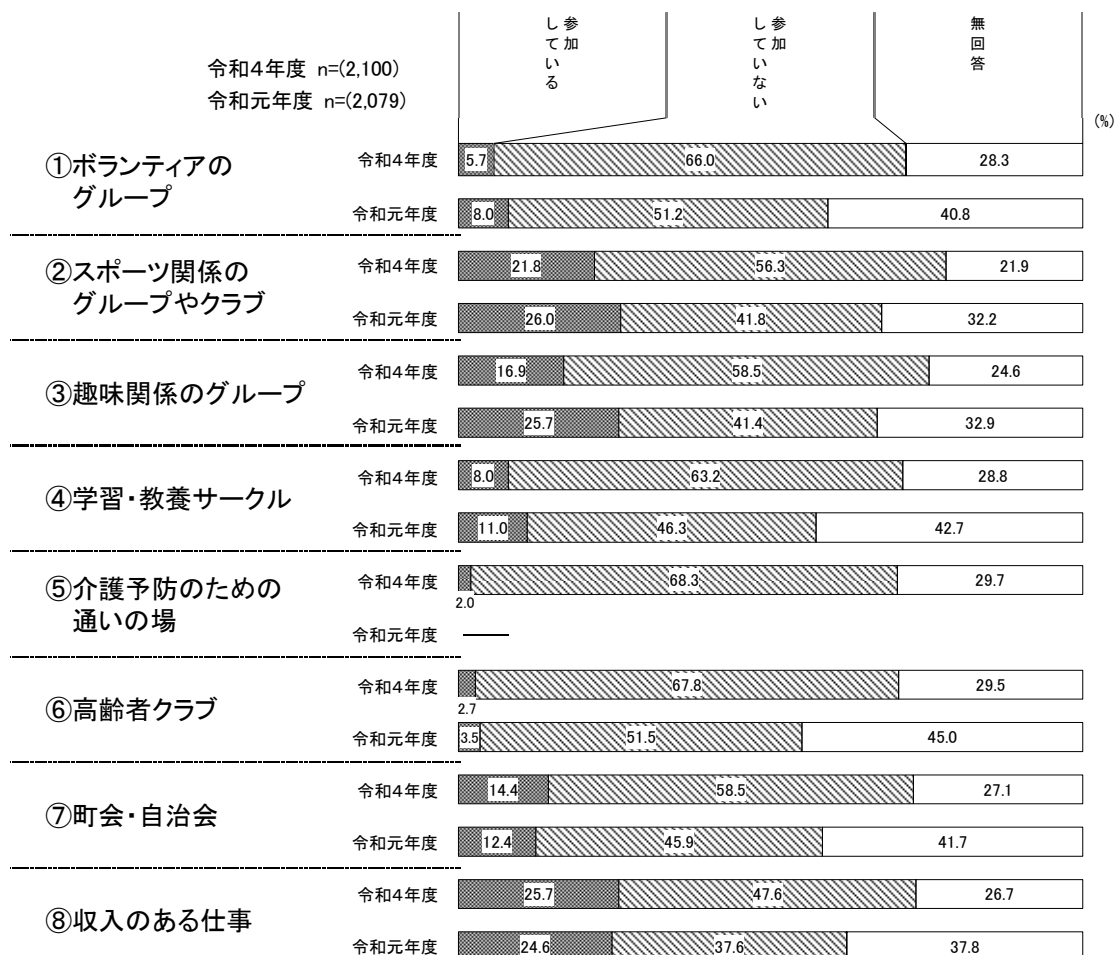
会・グループ等へ「参加している（週4回以上～年に数回）」、「参加していない」に分けてみると、〈第1号・要支援〉では、「スポーツ関係のグループやクラブ」への参加が21.8%と最も高く、続いて、「趣味関係のグループ」が16.9%、「町会・自治会」が14.4%となっています。また、「収入のある仕事」は25.7%となっています。

前回（令和元年度）調査結果と比較すると、「参加している」が「町会・自治会」、「収入のある仕事」を除き、減少傾向にあり、なかでも、「趣味関係のグループ」では8.8ポイント減となっています。

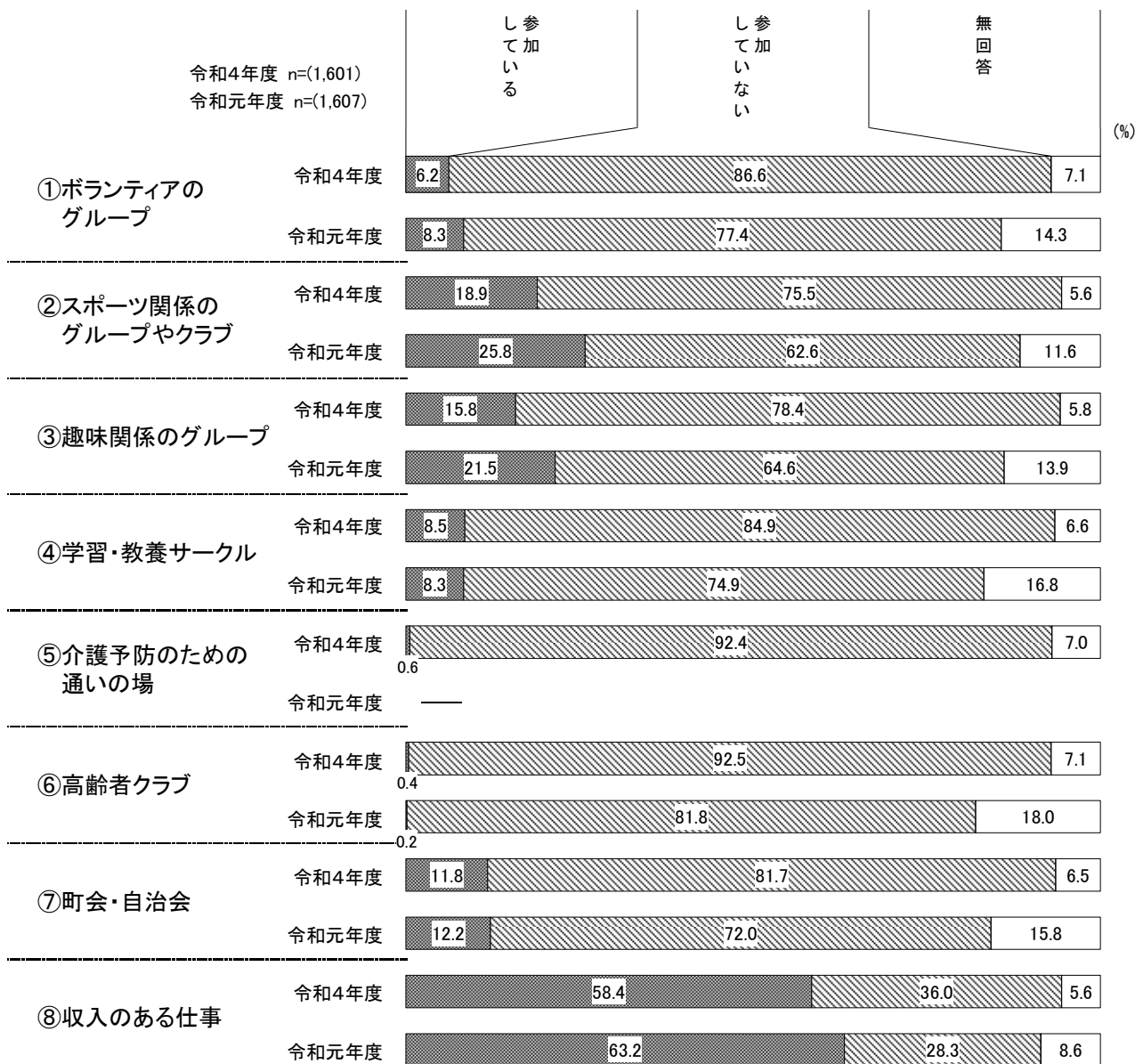
〈50歳以上〉でも、「スポーツ関係のグループやクラブ」への参加が18.9%と最も高く、続いて、「趣味関係のグループ」が15.8%、「町会・自治会」が11.8%となっています。また、「収入のある仕事」は58.4%となっています。

前回（令和元年度）調査結果と比較すると、「スポーツ関係のグループやクラブ」への参加が6.9ポイント、「趣味関係のグループ」が5.7ポイント、「収入のある仕事」で4.8ポイント、それぞれ減少しています。

【第1号・要支援／前回調査結果との比較】



【50歳以上／前回調査結果との比較】



※ 〈⑤介護予防のための通いの場〉は、令和元年度調査にはない設問です。

(2) 看病してくれる人

〈第1号・要支援〉では、「配偶者」が51.9%と最も高く、続いて、「別居の子ども」が25.4%、「同居の子ども」が23.3%となっています。

家族構成別でみると、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上、64歳以下）」で「配偶者」が、それぞれ88.2%、94.9%となっています。また、「息子・娘との2世帯」で「同居の子ども」が72.9%、「1人暮らし」では、「そのような人はいない」が34.9%と高くなっています。

〈50歳以上〉でも、「配偶者」（63.0%）が最も高くなっています。

（複数回答）

(%)

	n	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答	
第1号・要支援	2,100	51.9	23.3	25.4	13.5	1.7	5.5	1.9	11.4	3.8	
家族構成別	1人暮らし	536	1.7	1.7	29.7	23.5	3.4	13.4	3.5	34.9	3.9
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	763	88.2	2.6	30.9	6.8	1.3	2.2	0.7	3.7	3.5
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	78	94.9	3.8	12.8	9.0	-	-	-	1.3	2.6
	息子・娘との2世帯	476	47.5	72.9	18.7	9.0	0.8	2.7	1.7	2.7	2.9
	その他	174	43.1	41.4	13.8	27.0	0.6	5.2	3.4	4.6	5.2
50歳以上	1,601	63.0	30.6	8.2	19.4	1.2	8.4	1.6	11.9	2.1	

9. 介護

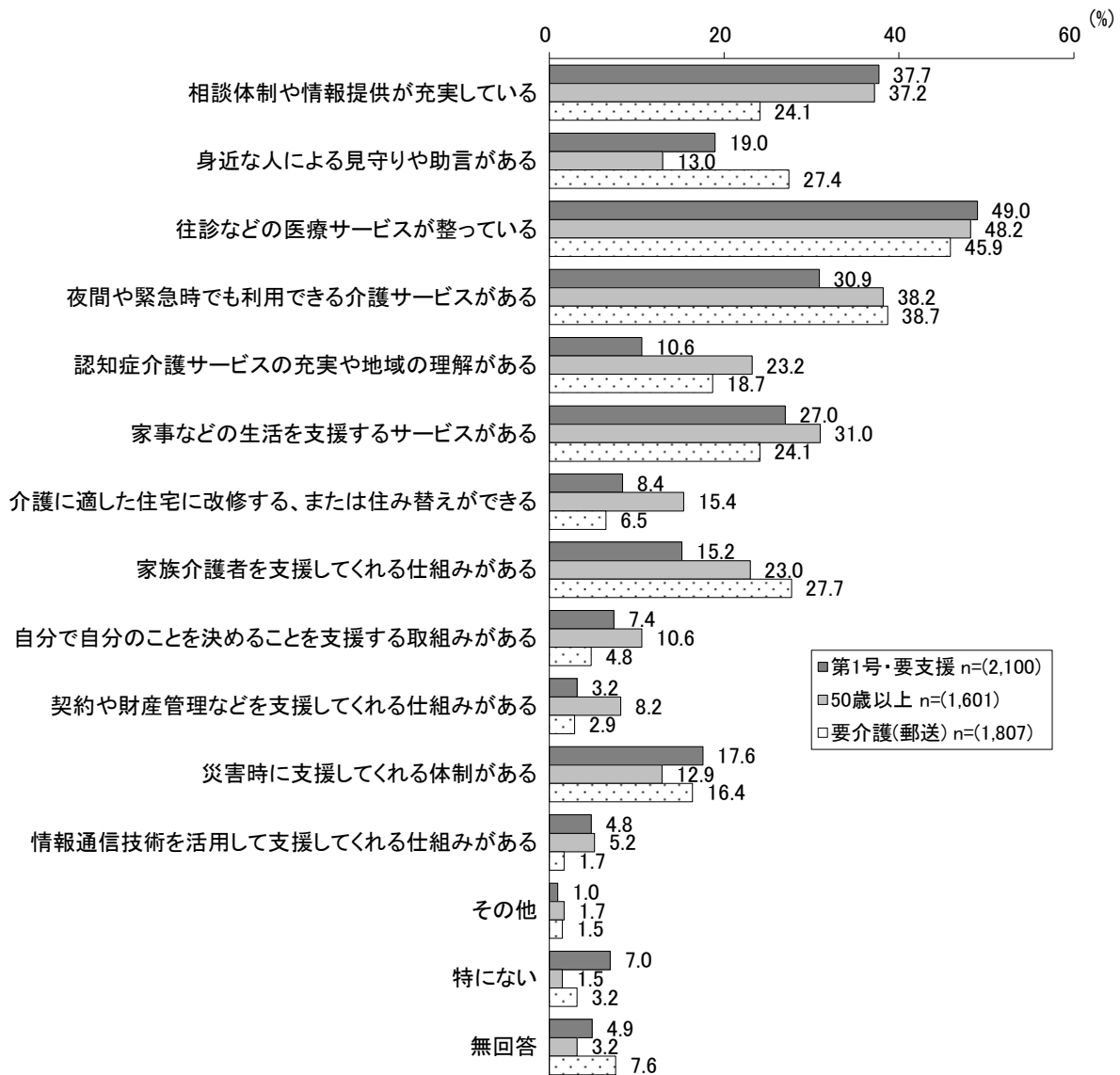
◆ どの年代も、介護が必要になった場合でも自宅で暮らしたい方が半数を超えています。

(1) 介護が必要になっても、地域で暮らし続けるために必要なこと

いずれの調査対象者でも、「往診などの医療サービスが整っている」が最も高く、〈第1号・要支援〉が49.0%、〈50歳以上〉が48.2%、〈要介護（郵送）〉が45.9%となっています。

続いて、〈第1号・要支援〉は、「相談体制や情報提供が充実している」が37.7%、「夜間や緊急時でも利用できる介護サービスがある」が30.9%、〈50歳以上〉は、「夜間や緊急時でも利用できる介護サービスがある」が38.2%、「相談体制や情報提供が充実している」が37.2%、「家事などの生活を支援するサービスがある」が31.0%、〈要介護（郵送）〉は、「夜間や緊急時でも利用できる介護サービスがある」が38.7%、「家族介護者を支援してくれる仕組みがある」が27.7%、「身近な人による見守りや助言がある」が27.4%と、それぞれ続いています。

(複数回答)

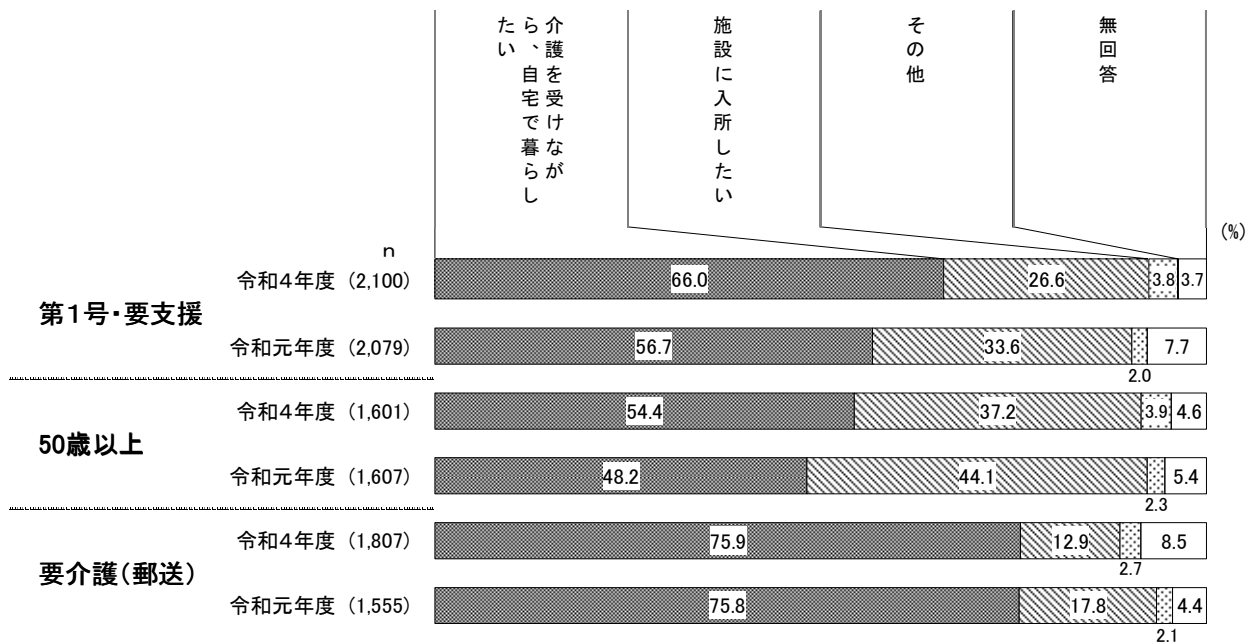


(2) 介護が必要になった場合の暮らし方の実現性

「介護を受けながら、自宅で暮らしたい」は、〈要介護（郵送）〉が75.9%で最も高く、〈第1号・要支援〉が66.0%、〈50歳以上〉が54.4%となっています。

前回（令和元年度）調査結果と比較すると、いずれの対象者でも、「介護を受けながら、自宅で暮らしたい」が高くなっており、〈第1号・要支援〉（前回56.7%）で9.3ポイント、〈50歳以上〉（前回48.2%）で6.2ポイント、それぞれ増加しています。

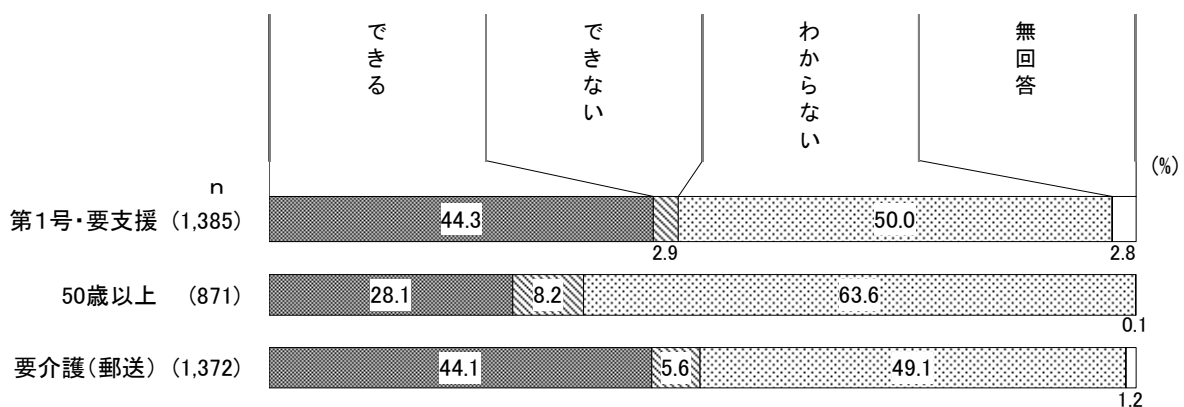
【前回調査結果との比較】



※「施設に入所したい」は、令和元年度調査では、「有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅に住み替えたい」、「特別養護老人ホームや認知症高齢者グループホーム等の介護保険施設に入所したい」の合算になります。

(3) 介護が必要になった場合の在宅生活の実現性

「介護を受けながら、自宅で暮らしたい」の実現性で、「できる」と回答した割合は、〈第1号・要支援〉が44.3%、〈要介護（郵送）〉が44.1%、〈50歳以上〉が28.1%となっています。

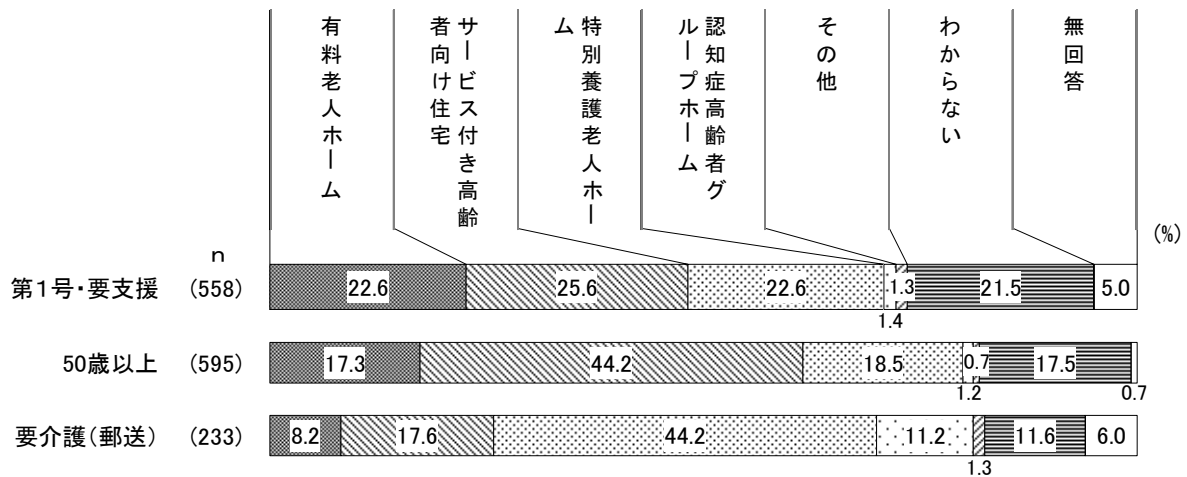


(4) 入所したい施設の種類

「施設に入所したい」と回答した希望施設としては、〈第1号・要支援〉で、「サービス付き高齢者向け住宅」が25.6%、「有料老人ホーム」と「特別養護老人ホーム」がともに22.6%と、3施設に分散しています。

〈50歳以上〉では、「サービス付き高齢者向け住宅」が44.2%と高くなっています。

〈要介護（郵送）〉では、「特別養護老人ホーム」が44.2%と高く、「認知症高齢者グループホーム」も11.2%となっています。

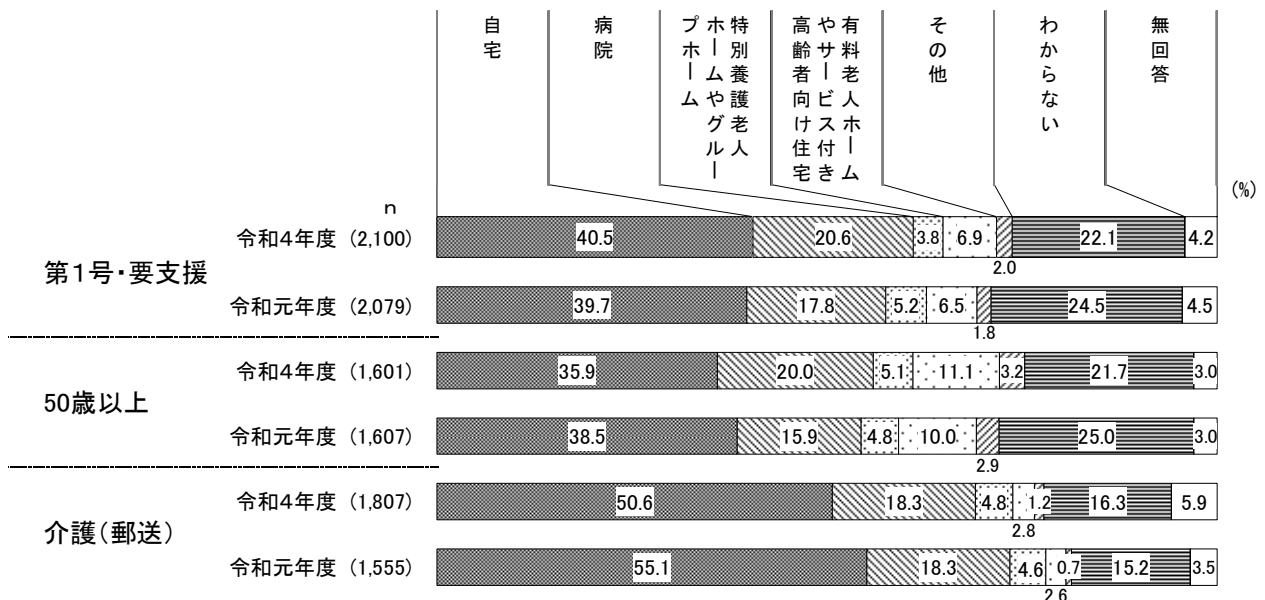


(5) 終末期を迎えたい場所

いずれの対象者でも「自宅」が多く、〈要介護（郵送）〉が50.6%、〈第1号・要支援〉が40.5%、〈50歳以上〉が35.9%となっています。続いて、「病院」が〈第1号・要支援〉が20.6%、〈50歳以上〉が20.0%、〈要介護（郵送）〉が18.3%となっています。

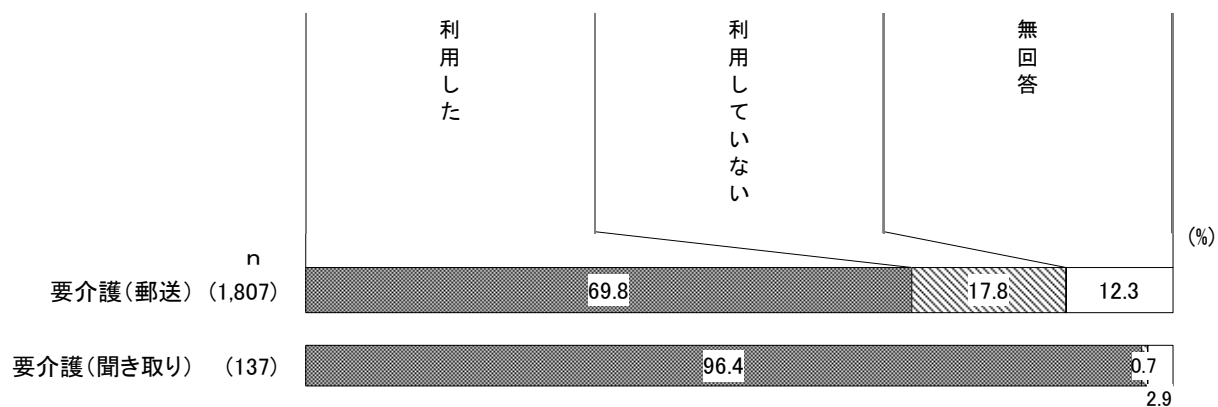
前回（令和元年度）調査結果と比較すると、大きな差異はみられませんが、〈50歳以上〉の「病院」（前回15.9%）で4.1ポイント増、〈要介護（郵送）〉の「自宅」（前回55.1%）で4.5ポイント減となっています。

【前回調査結果との比較】



(6) 介護保険サービスの利用状況

「利用した」は、〈要介護（郵送）〉69.8%、〈要介護（聞き取り）〉96.4%となっています。

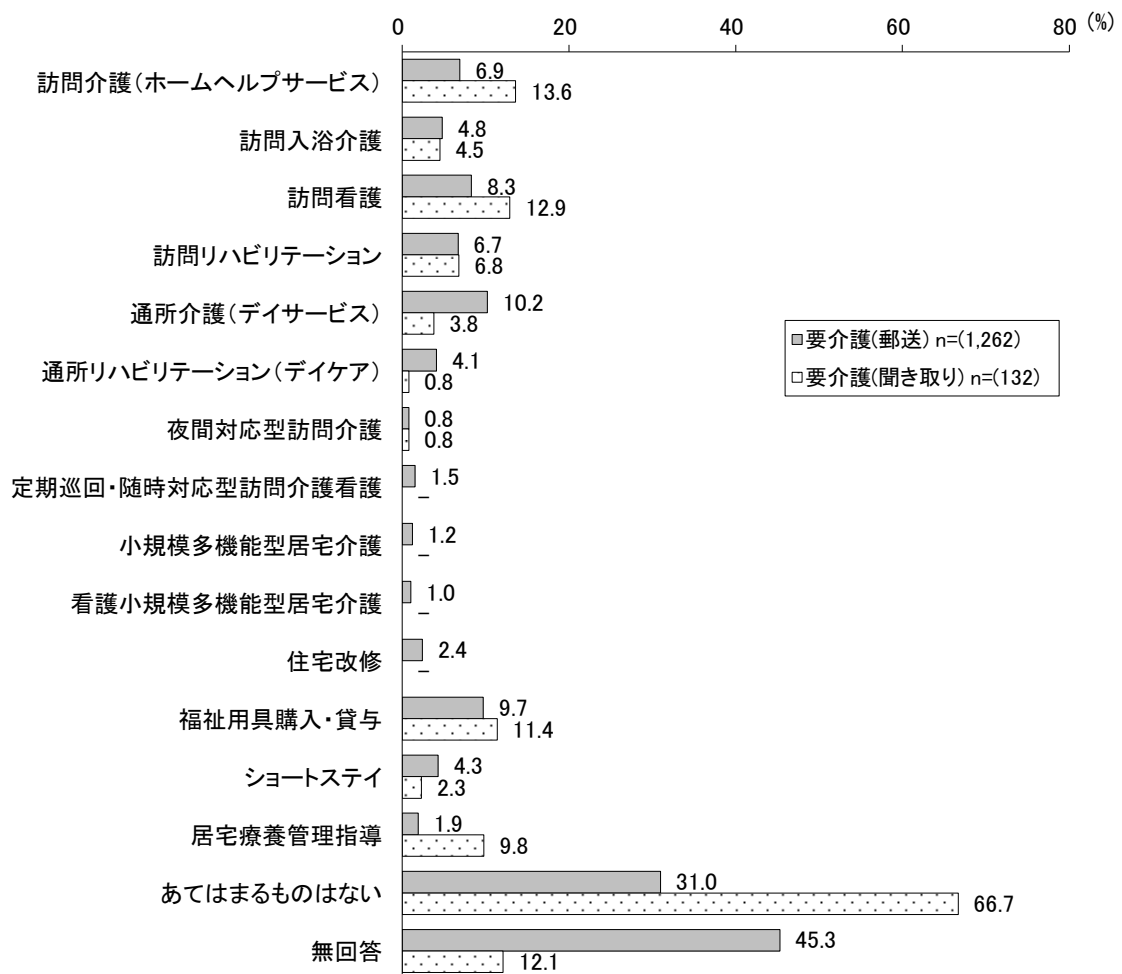


(7) 新型コロナウイルス感染症の影響によるサービスの利用状況

新型コロナウイルス感染症の影響で利用するようになったサービスがあるという割合（あてはまるものはない、無回答を除いた割合）は、〈要介護（郵送）〉で23.7%、〈要介護（聞き取り）〉で21.2%となっています。

具体的には、〈要介護（郵送）〉で、「通所介護（デイサービス）」が10.2%、〈要介護（聞き取り）〉で、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」が13.6%、「訪問看護」が12.9%、「福祉用具購入・貸与」が11.4%となっています。

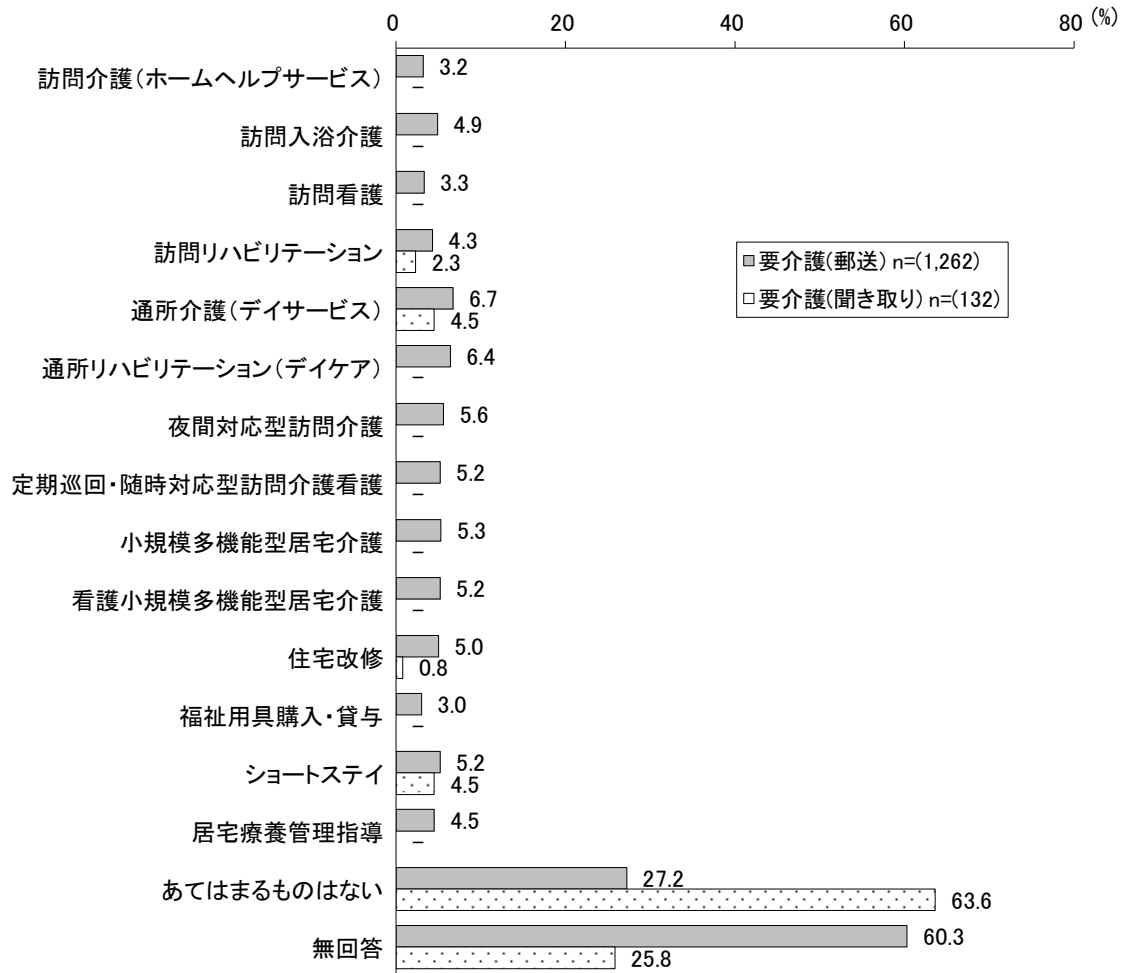
【利用するようになったサービス】（複数回答）



第2章 共通質問の比較等

新型コロナウイルス感染症の影響で利用しなくなったサービスがあるという割合（あてはまるものはない、無回答を除いた割合）は、〈要介護（郵送）〉が12.5%、〈要介護（聞き取り）〉が10.6%となっています。

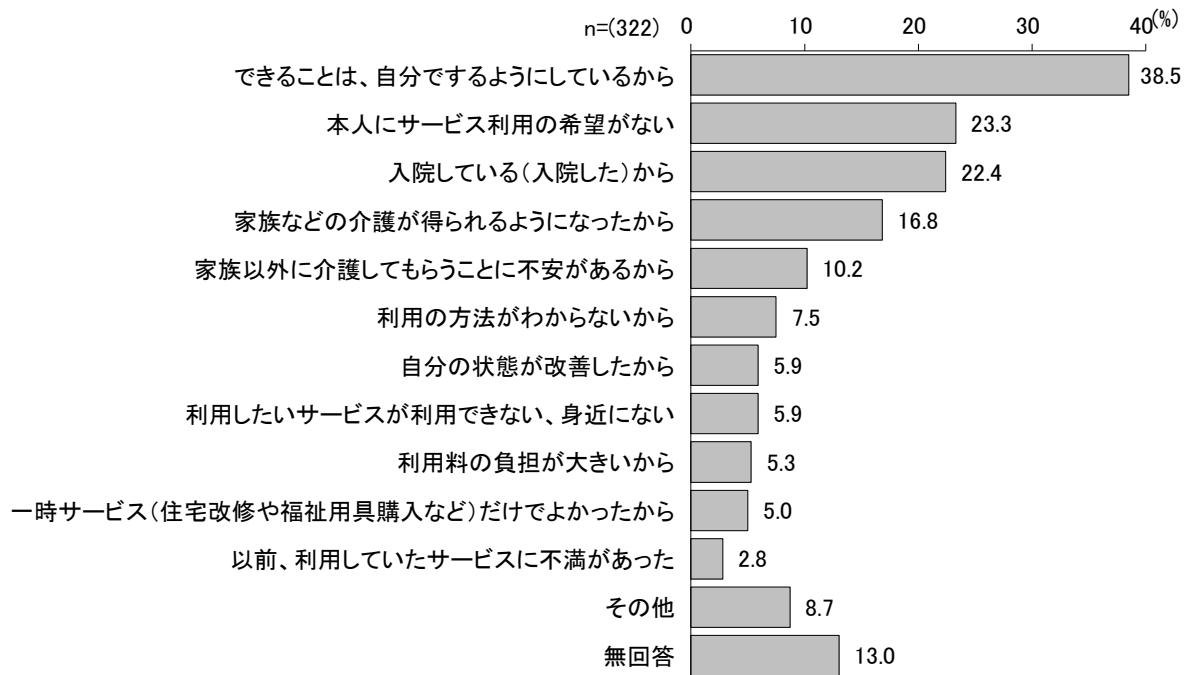
【利用しなくなったサービス】（複数回答）



(8) 介護保険サービスを利用しない理由

〈要介護（郵送）〉では、「できることは、自分でするようにしているから」が38.5%と最も高く、続いて、「本人にサービス利用の希望がない」が23.3%、「入院している（入院した）から」が22.4%、「家族などの介護が得られるようになったから」が16.8%となっています。

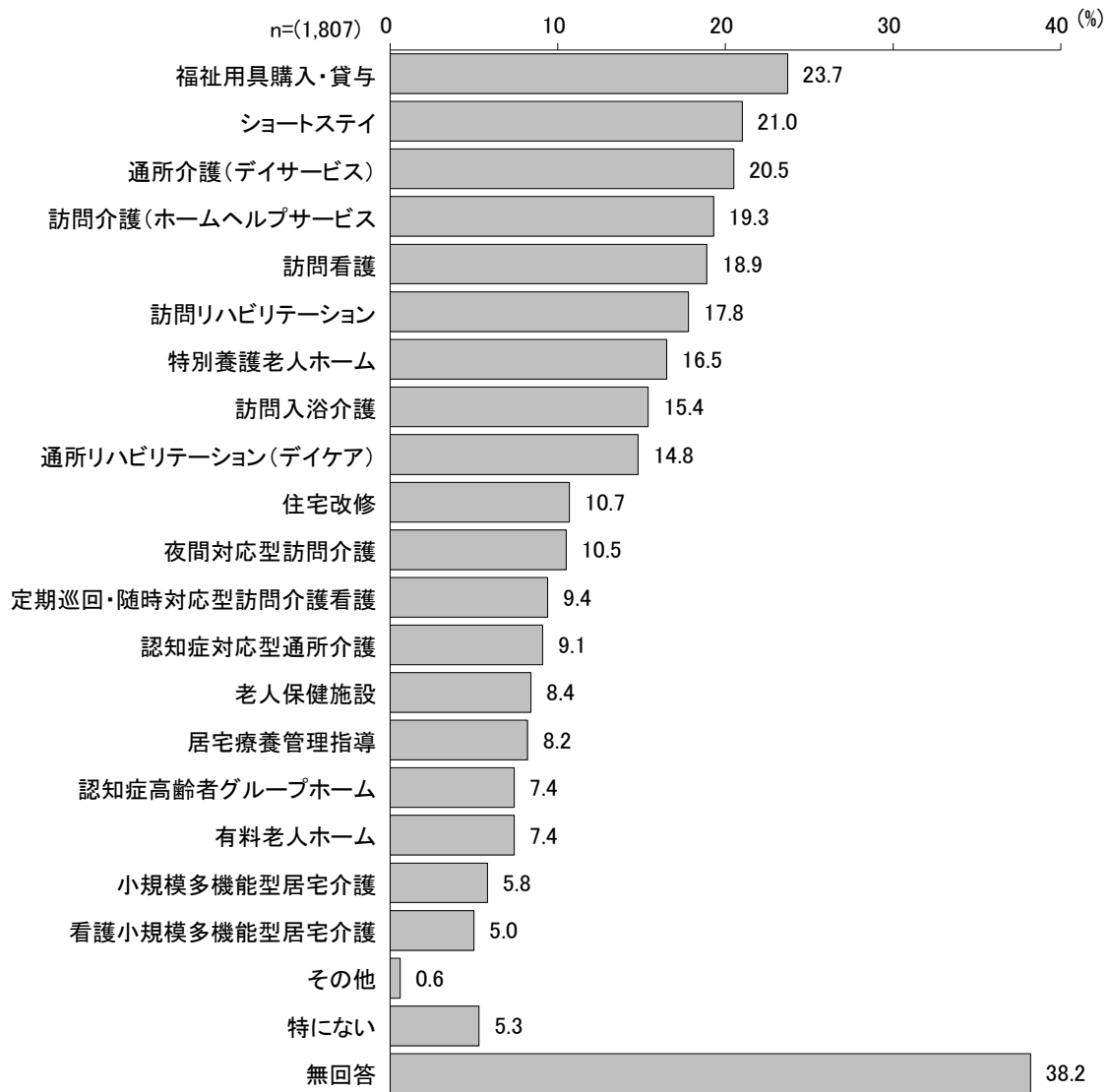
【要介護（郵送）】（複数回答）



(9) 今後利用したい介護保険サービス

利用したいサービスは多岐にわたっていますが、「福祉用具購入・貸与」の23.7%が最も高く、続いて、「ショートステイ」の21.0%、「通所介護（デイサービス）」の20.5%までが2割を超えています。

【要介護（郵送）】（複数回答）



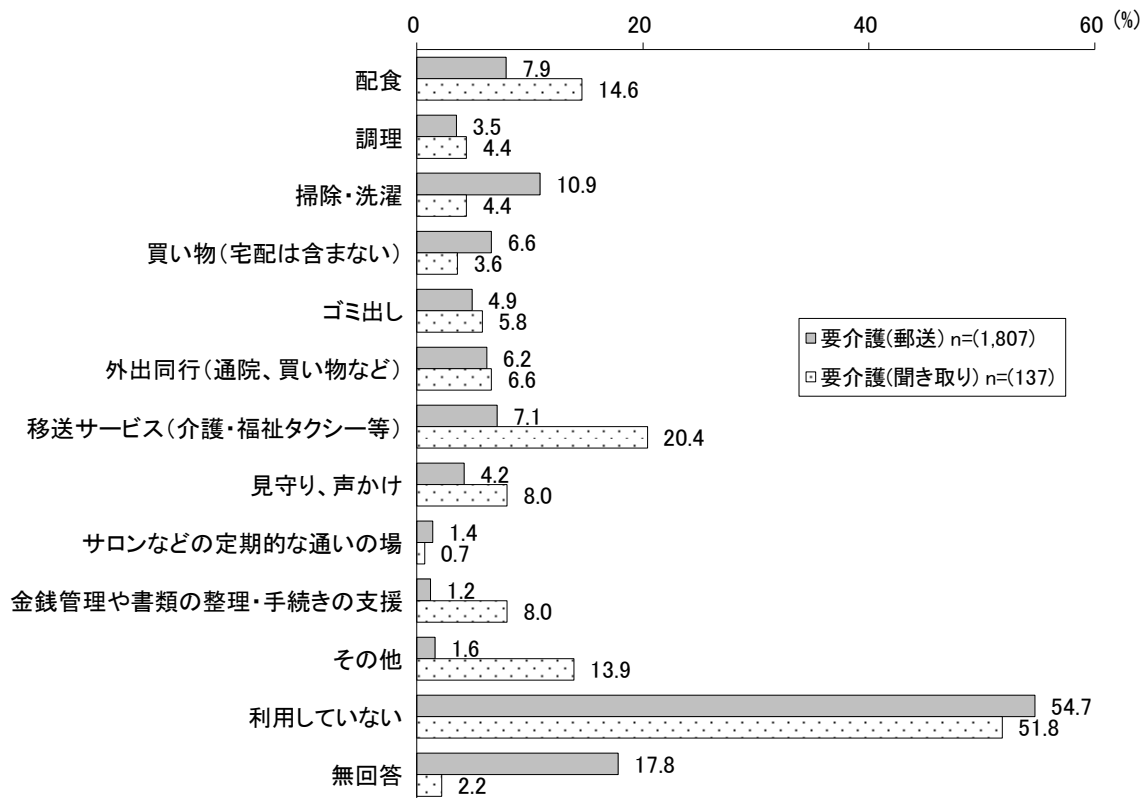
(10) 介護保険サービス以外の利用状況

介護保険サービス以外を利用している割合（利用していない、無回答を除いた割合）は、〈要介護（郵送）〉で27.5%、〈要介護（聞き取り）〉で46.0%となっています。

具体的なサービスとしては、〈要介護（郵送）〉で、「掃除・洗濯」が10.9%と最も高くなっています。

〈要介護（聞き取り）〉では、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が20.4%と最も高く、「配食」が14.6%で続いています。

（複数回答）



(11) 介護の実施状況

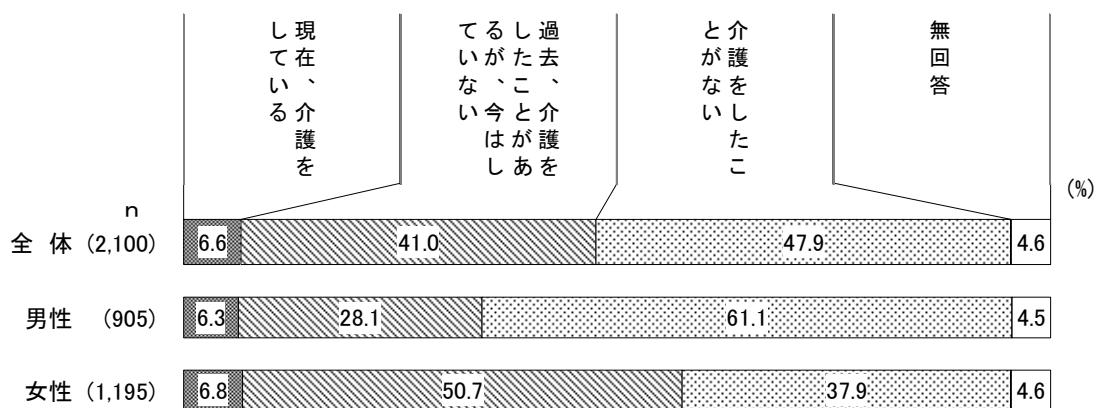
〈第1号・要支援〉では、「現在、介護をしている」の6.6%と「過去、介護をしたことがあるが、今はしていない」の41.0%を合わせた『介護経験あり』が47.6%となっています。

性別で見ると、『介護経験あり』は男性が34.4%、女性が57.5%と、女性が23.1ポイント上回っています。

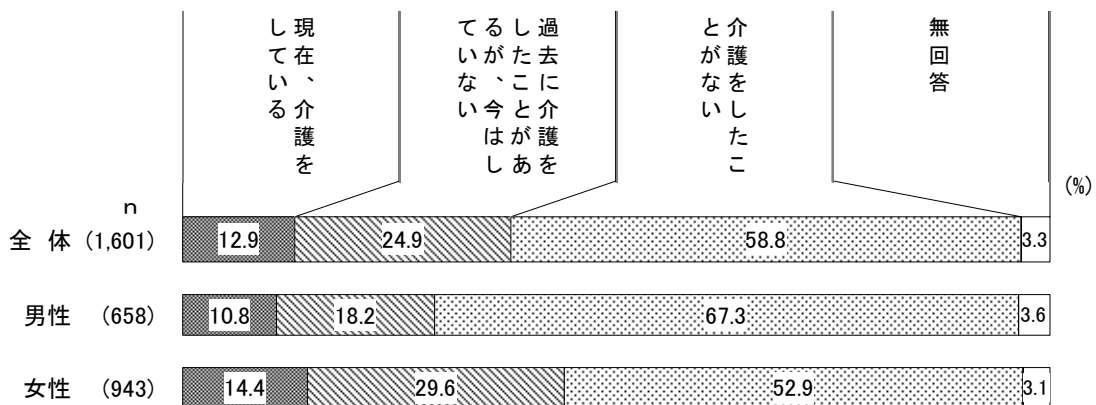
〈50歳以上〉では、「現在、介護をしている」の12.9%、「過去、介護をしたことがあるが、今はしていない」の24.9%を合わせた『介護経験あり』が37.8%となっています。

性別で見ると、『介護経験あり』は男性が29.0%、女性が44.0%と、女性が15.0ポイント上回っています。

【第1号・要支援】



【50歳以上】

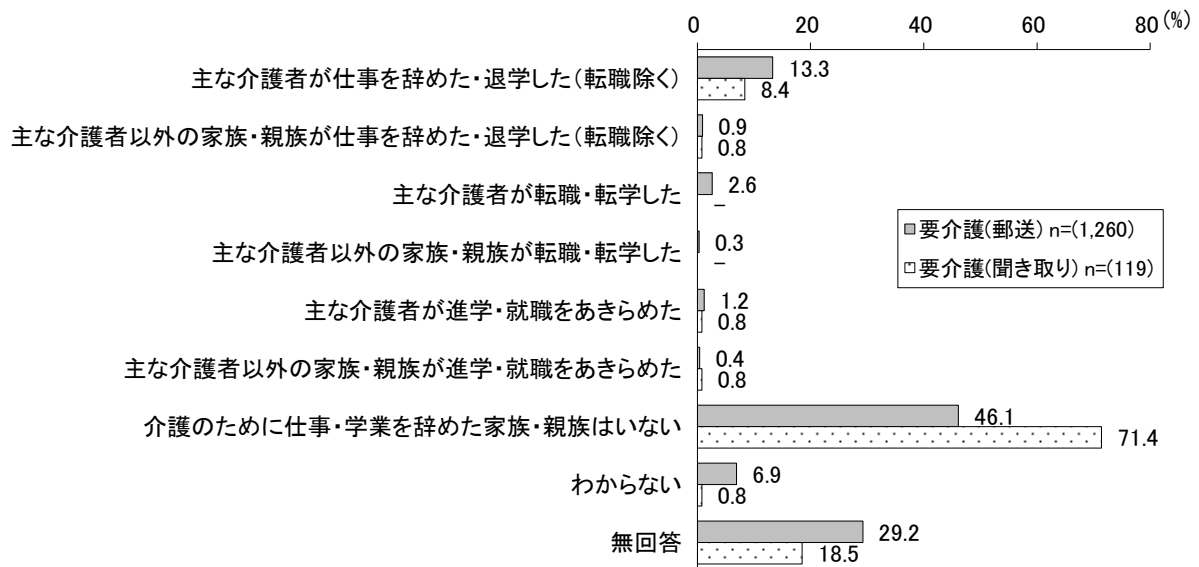


(12) 介護による離職経験

〈要介護（郵送）〉では、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が46.1%であるものの、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が13.3%となっています。

〈要介護（聞き取り）〉では、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が71.4%を占めていますが、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が8.4%となっています。

（複数回答）



(13) 主な介護者が不安に感じる介護等

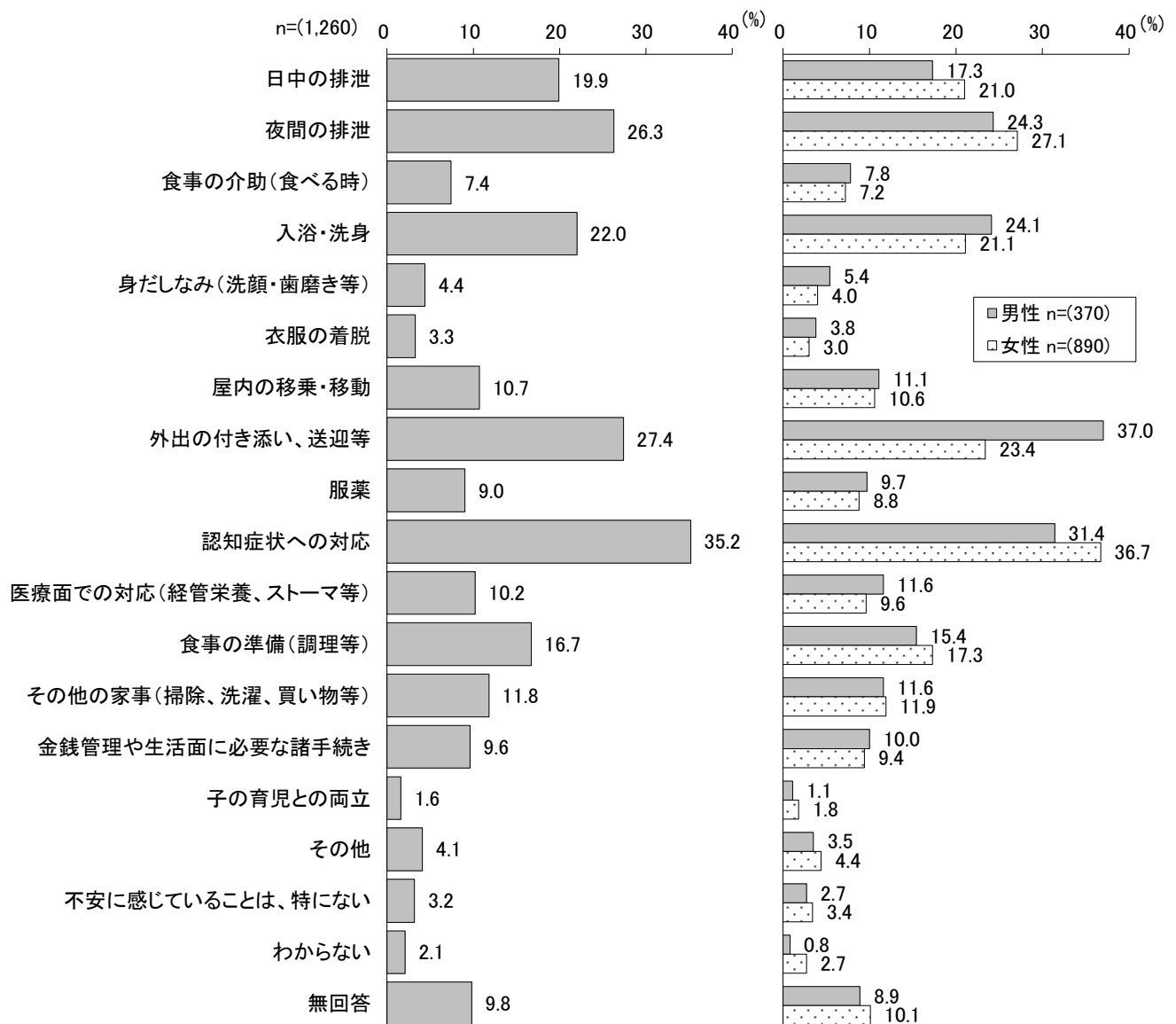
現在の生活を継続していくに当たり、主な介護者が不安に感じる介護等について、〈要介護（郵送）〉では、「認知症状への対応」が35.2%と最も高く、続いて、「外出の付き添い、送迎等」が27.4%、「夜間の排泄」が26.3%、「入浴・洗身」が22.0%となっています。

主な介護者の性別で見ると、男性では、「外出の付き添い、送迎等」が37.0%と女性の23.4%より高くなっています。また、「認知症状への対応」では、男女とも高く、それぞれ31.4%、36.7%となっています。

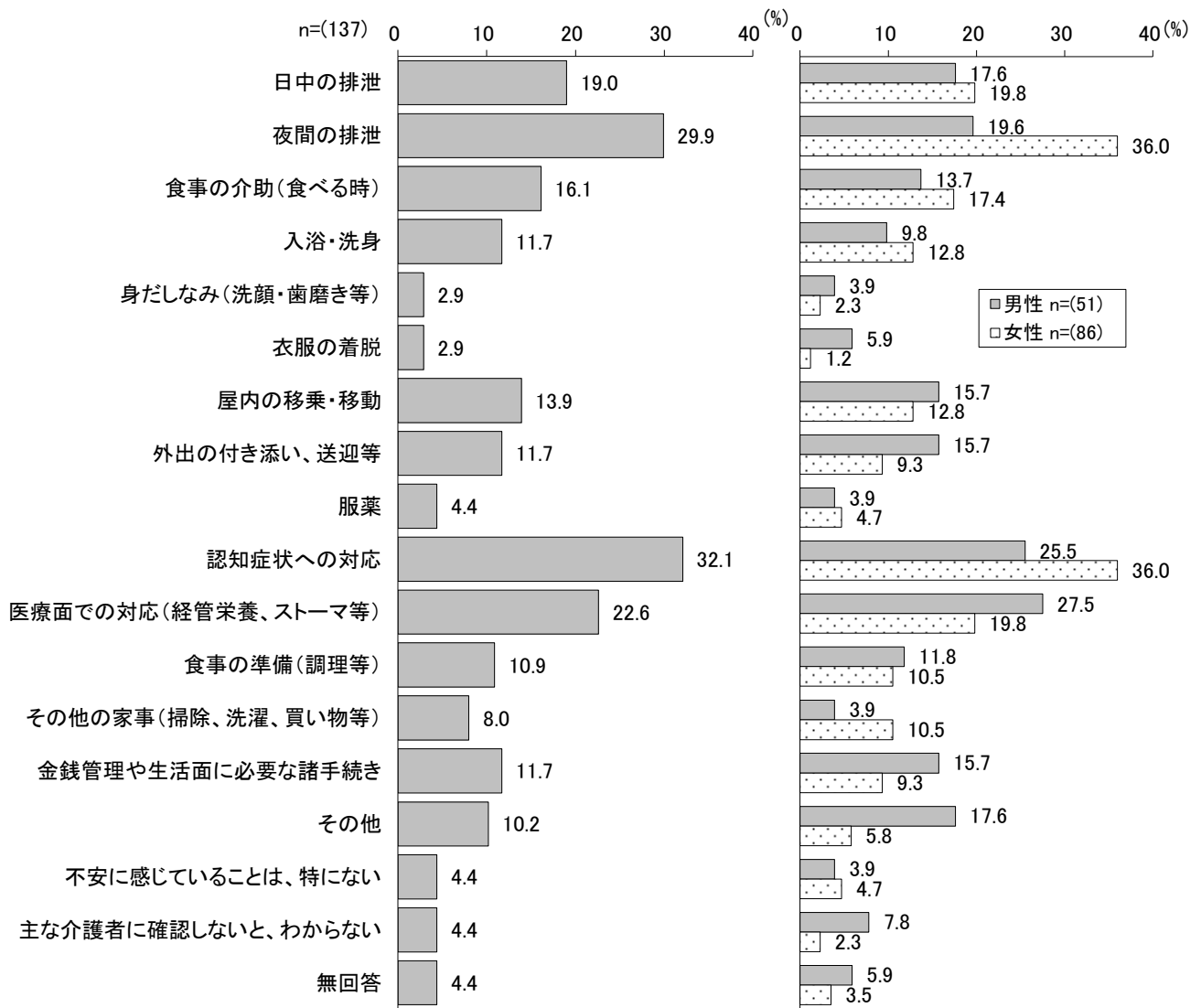
〈要介護（聞き取り）〉では、「認知症状への対応」が32.1%で最も高く、続いて、「夜間の排泄」が29.9%となっています。

主な介護者の性別で見ると、男性では、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」27.5%、「認知症状への対応」が25.5%となっています。女性では、「夜間の排泄」、「認知症状への対応」がともに36.0%と、男性の19.6%、25.5%を上回っています。

【要介護（郵送）／性別】（複数回答）



【要介護（聞き取り）／性別】（複数回答）

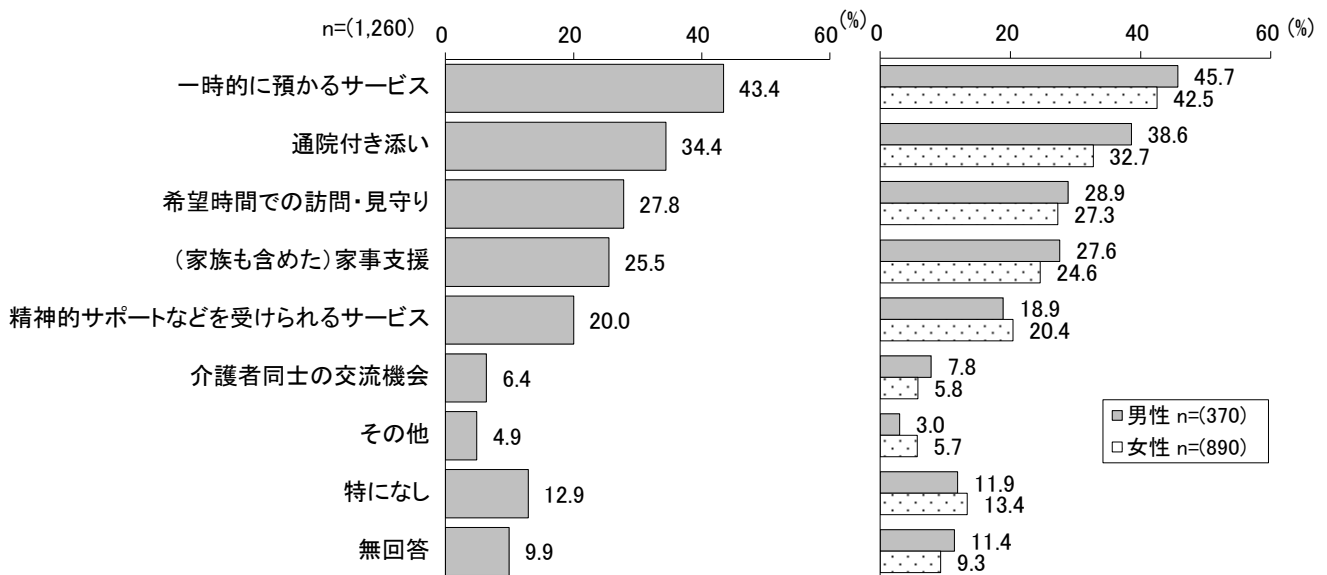


(14) 主な介護者が必要だと思う支援

「一時的に預かるサービス」が43.4%と最も高く、続いて、「通院付き添い」が34.4%、「希望時間での訪問・見守り」が27.8%、「(家族も含めた)家事支援」が25.5%となっています。

主な介護者の性別では、「通院付き添い」が男性で38.6%と、女性の32.7%より5.9ポイント高くなっています。

【要介護（聞き取り）】（複数回答）



10. 高齢者施策、介護保険事業

◆ 認知症の支援や、在宅医療・介護に関する要望が多くなっています。

(1) 今後区に力を入れてほしいこと

〈第1号・要支援〉では、「健康管理、介護予防」が36.0%、〈50歳以上〉では、「特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実」が44.3%、〈要介護（郵送）〉では、「在宅医療・介護」が42.3%と、それぞれ最も高くなっています。また、〈第1号・要支援〉では、「在宅医療・介護」が35.3%、「特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実」が34.3%と続き、〈要介護（郵送）〉では、「認知症高齢者に対する支援」が38.4%、「特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実」が37.5%と続いています。

〈要介護（郵送）〉の結果を主な介護者の年齢別でみると、50代、60代で「在宅医療・介護」がそれぞれ46.4%、49.3%と、4割台後半になっています。

【要介護（郵送）のみ、主な介護者の年齢別】（複数回答）

（%）

	第1号・ 要支援	50歳以上	要介護 (郵送)	主な介護者の年齢別				
				40代以下	50代	60代	70代	80歳以上
n	2,100	1,601	1,807	87	375	406	274	275
高齢者クラブなど交流の場の提供	15.1	14.6	11.5	9.2	12.5	13.1	12.4	11.6
生涯学習	12.0	11.0	4.5	2.3	6.4	3.9	3.3	1.5
就労支援	6.7	22.4	2.2	6.9	3.2	2.2	0.7	1.5
健康管理、介護予防	36.0	34.4	31.0	37.9	29.6	28.6	33.9	30.2
高齢者住宅等への住み替え等 住まいへの支援	18.8	33.5	16.7	16.1	17.9	15.8	18.2	17.5
声かけや見守りサービスの充実	18.1	21.5	23.5	16.1	25.6	20.9	23.7	25.1
認知症高齢者に対する支援	25.3	35.8	38.4	41.4	43.2	41.1	35.8	46.2
高齢者虐待の防止や 成年後見、財産管理等への支援	5.5	12.5	6.6	2.3	7.5	5.4	3.3	7.6
介護保険やサービスの情報提供	31.8	33.7	31.4	33.3	31.5	34.5	32.5	30.2
特別養護老人ホームなどの 施設サービスの充実	34.3	44.3	37.5	33.3	40.3	43.1	35.8	39.6
相談体制の充実	26.6	27.0	25.1	26.4	22.4	25.9	23.7	29.8
地域におけるボランティア組織の育成	4.8	6.9	4.6	3.4	4.3	4.2	3.3	5.8
8050問題への対応	3.2	5.9	6.9	12.6	9.9	7.4	6.2	5.1
ヤングケアラー問題への対応	3.5	4.4	3.0	5.7	3.2	3.7	3.3	2.2
ダブルケア問題への対応	2.9	8.3	7.6	11.5	8.3	9.1	8.4	8.0
在宅医療・介護	35.3	37.1	42.3	33.3	46.4	49.3	38.7	42.2
多世代交流の場の充実	4.3	5.9	2.2	3.4	3.5	2.0	2.2	1.5
地域で暮らし続けるためのサービス	28.6	25.5	27.5	24.1	34.4	21.7	23.7	29.5
その他	1.9	2.7	2.9	2.3	2.9	4.7	1.8	1.1
わからない	5.0	1.5	4.8	8.0	4.3	4.7	3.6	1.8
特にない	3.4	0.7	2.0	3.4	2.4	0.7	3.3	1.1
無回答	4.6	3.0	4.7	2.3	2.7	2.5	4.0	5.8

■調査結果（事業者向け調査）

⑤介護サービス事業者調査 ⑥介護事業従事者調査

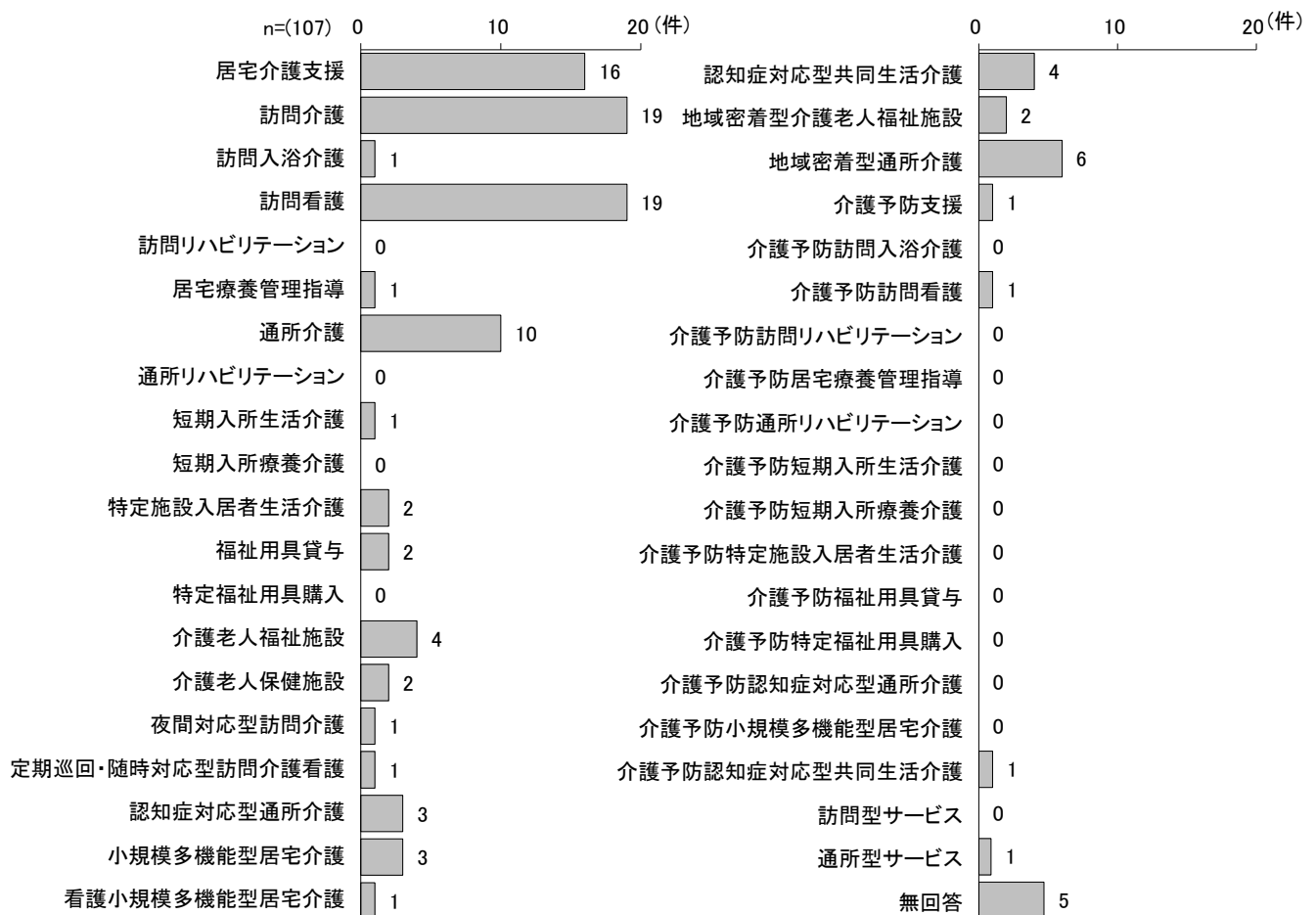
介護サービス事業者調査

1. 事業所情報

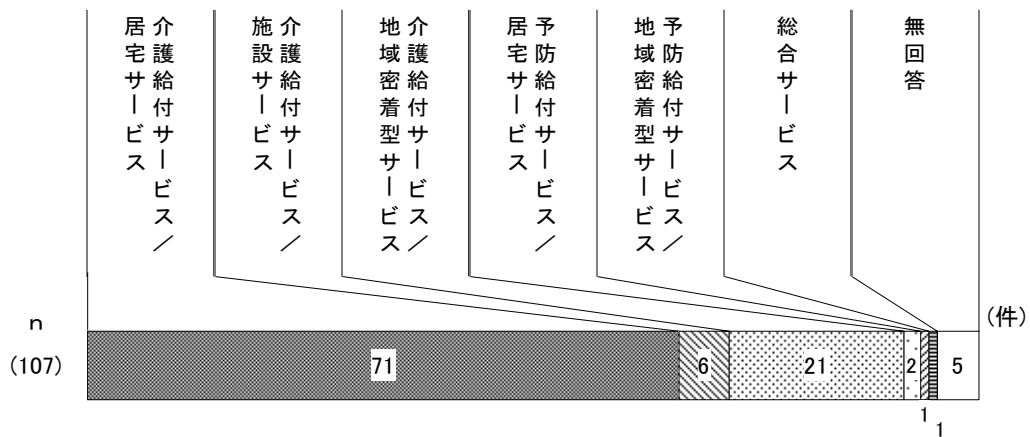
(1) 主とするサービス

主とするサービスは、「訪問介護」、「訪問看護」がともに19件で最も多く、続いて、「居宅介護支援」が16件、「通所介護」が10件となっています。

サービス種別では、〈介護給付サービス／居宅サービス〉が71事業所、〈同／施設サービス〉が6事業所、〈同／地域密着型サービス〉が21事業所、〈予防給付サービス／居宅サービス〉が2事業所、〈同／地域密着型サービス〉が1事業所、〈総合サービス〉が1事業所となっています。

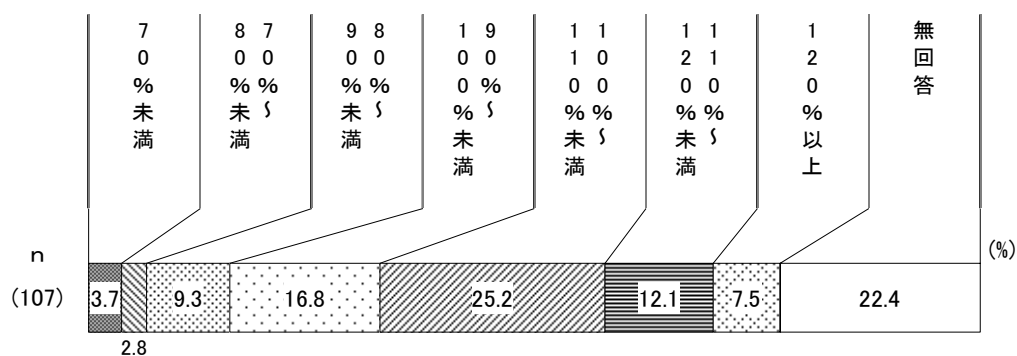


【サービス種別】



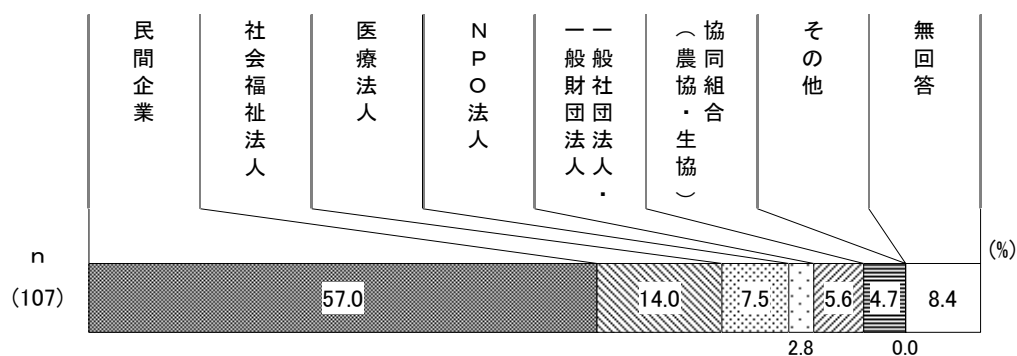
(2) 事業収入指数

区内介護サービス事業所の、令和2年度の事業収入を100とした場合の令和3年度の事業収入指数は、「100%～110%未満」が25.2%、「90%～100%未満」が16.8%、「110%～120%未満」が12.1%となっており、平均で98.5を示しています。



(3) 法人の種類

区内介護サービス事業所の法人の種類は、「民間企業」が57.0%で最も高く、「社会福祉法人」が14.0%となっています。



(4) 従業員数と雇用形態

全従業員のうち、「正規職員」は、「1～4人」が41.1%と最も高く、続いて、「5～9人」が26.2%となっています。

「非正規職員」は、「1～4人」が25.2%と最も高く、続いて、「5～9人」が17.8%となっています。一方、「0人」の事業所も15.9%となっています。

【全従業員数】

		(%)									
	n	0人	1～4人	5～9人	10～14人	15～19人	20～29人	30～39人	40～49人	50人以上	無回答
正規職員	107	0.9	41.1	26.2	8.4	4.7	2.8	3.7	1.9	0.9	9.3
非正規職員		15.9	25.2	17.8	14.0	4.7	6.5	2.8	0.9	2.8	9.3

介護保険の指定サービス事業の配置基準に基づき従事する従業員のうち、「正規職員」は、「1～4人」が28.0と最も高く、続いて、「5～9人」が21.5%となっています。

「非正規職員」は、「1～4人」が16.8%、「5～9人」が13.1%となっています。なお、「0人」の事業所は41.1%となっています。

【配置基準に基づき従事する従業員数】

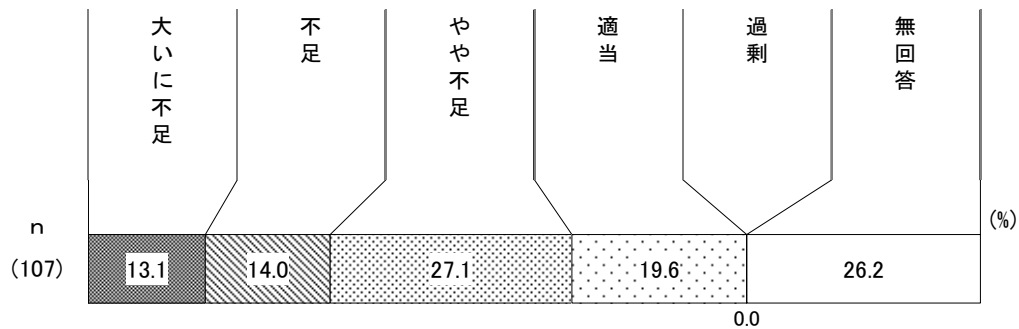
		(%)									
	n	0人	1～4人	5～9人	10～14人	15～19人	20～29人	30～39人	40～49人	50人以上	無回答
正規職員	107	22.4	28.0	21.5	7.5	3.7	0.9	3.7	1.9	0.9	9.3
非正規職員		41.1	16.8	13.1	7.5	1.9	5.6	2.8	-	1.9	9.3

2. 人材

◆ 人材不足の事業所が半数を超えています。

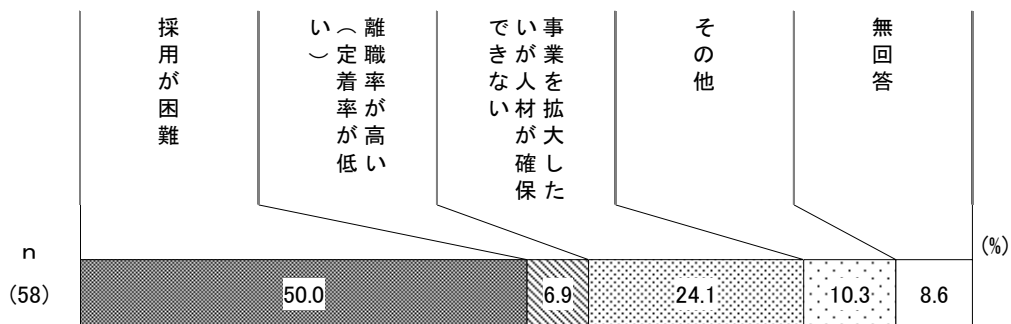
(1) 従業員の過不足状況

「大いに不足」の13.1%、「不足」の14.0%、「やや不足」の27.1%を合わせた『不足』は、54.2%と半数を超えています。



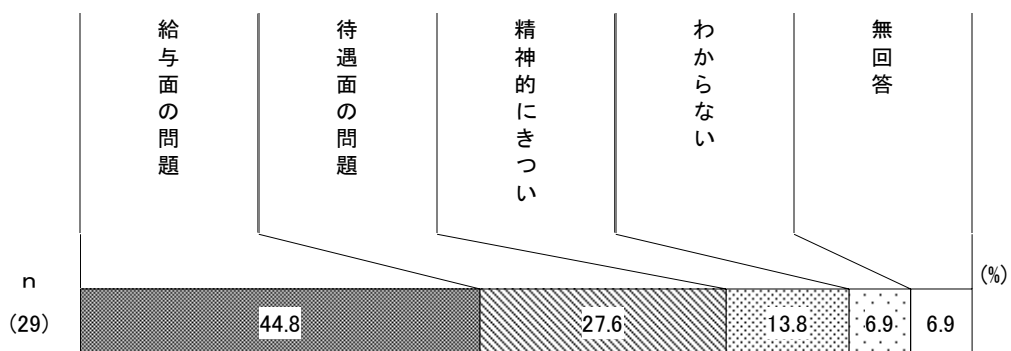
(2) 不足と感じる理由

『不足』と回答の事業所（58事業所）のうち、半数（29事業所）が「採用が困難」としています。



(3) 採用が困難な主な原因

「採用が困難」と回答した29事業所について、主な原因をみると、「給与面の問題」が44.8%（13事業所）と最も高く、「待遇面の問題」が27.6%（8事業所）、「精神的にきつい」が13.8%（4事業所）となっています。



(4) 来日10年以内の外国人雇用状況

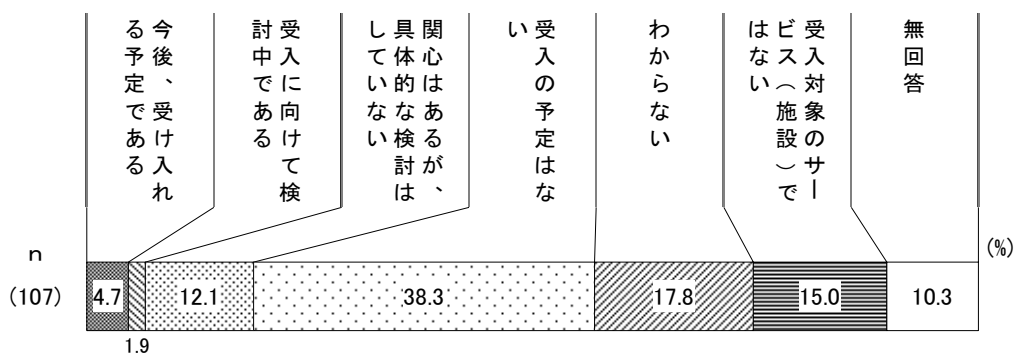
回答事業所全体では、「雇用している」が10.3%（11事業所）となっています。

【サービス別】

		n	雇用している	雇用していない	無回答	
全体		107	10.3	79.4	10.3	
介護給付サービス	居宅サービス	居宅介護支援	16	-	100.0	-
		訪問介護、訪問入浴介護	20	5.0	90.0	5.0
		訪問看護	19	-	89.5	10.5
		居宅療養管理指導	1	-	100.0	-
		通所介護	10	-	90.0	10.0
		短期入所生活介護	1	100.0	-	-
		特定施設入居者生活介護	2	-	100.0	-
	福祉用具貸与	2	-	100.0	-	
	施設サービス	介護老人福祉施設	4	25.0	-	75.0
		介護老人保健施設	2	100.0	-	-
	地域密着型サービス	夜間対応型訪問介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2	50.0	50.0	-
		認知症対応型通所介護	3	33.3	33.3	33.3
		小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護	3	25.0	75.0	-
認知症対応型共同生活介護		4	50.0	25.0	25.0	
地域密着型介護老人福祉施設		2	-	50.0	50.0	
地域密着型通所介護	6	-	100.0	-		
サ予 防 給 ス 付	居宅サービス	介護予防支援	1	-	100.0	-
		介護予防訪問看護	1	-	100.0	-
地域密着型サービス	介護予防認知症対応型共同生活介護	1	100.0	-	-	
総合サービス	通所型サービス	1	-	100.0	-	

(5) 今後の外国人材の受入予定

事業所におけるEPA（経済連携協定）、若しくは在留資格が創設されたこと等による外国人材の受入予定については、「今後、受入の予定はない」が38.3%と最も高くなっている一方、「今後、受け入れる予定である」の4.7%、「受入に向けて検討中である」の1.9%を合わせた『受け入れる方向』は、6.6%（7事業所）となっています。



(6) 介護人材確保のための取組状況

介護人材を確保するための取り組みとして、事業所の広報活動においては、「インターネット(求人サイト)」が75事業所と最も多く、続いて、「ハローワークの求人募集」が71事業所となっています。

また、企業方針においては、「採用にあたり、事業所の経営理念、運営方針、業務内容等を十分説明し、就労後のミスマッチの解消に努めている」が70事業所と最も多く、続いて、「従業員が育児や介護のために仕事と家庭生活の両立ができるよう、ワーク・ライフ・バランスの推進をしている」が64事業所、「教育研修や資格取得支援等を行い、従業員の人材育成に努めている」が58事業所、「従業員の賃金について、職能給や業績給などキャリアに連動した給与体系を整備している」、「従業員が悩みや不安・不満、疑問点等を上司や同僚に気軽に相談できる体制づくりや相談窓口を整備している」がともに52事業所の順となっています。

【従業員の過不足状況別】

(件)

	全 体	大いに 不足	不足	やや 不足	適当
n	107	14	15	29	21
インターネット(求人サイト)	75	11	10	23	16
ハローワークの求人募集	71	11	15	22	10
事業所見学・実習生の受け入れ等	30	6	2	9	8
就職相談会・説明会の開催	24	3	2	7	6
事業所員による勧誘活動	23	2	5	7	5
学校・養成施設等へのPR活動	22	1	2	7	8
介護の魅力を発信するイベント等を行っている	12	-	2	5	5
新聞・チラシの求人募集	11	1	1	4	2
広報活動/ その他	7	-	1	2	2
採用の際に経営理念等の十分な説明により 就労後のミスマッチの解消	70	8	12	22	15
従業員が仕事と家庭生活の両立ができるよう ワーク・ライフ・バランスの推進をしている	64	9	10	21	14
教育研修や資格取得支援等を行い、 従業員の人材育成に努めている	58	6	9	20	12
従業員の賃金についてキャリアに連動した 給与体系を整備している	52	6	11	15	9
従業員が気軽に相談できる体制づくりや 相談窓口を整備	52	5	9	16	10
企業方針/ その他	2	-	-	1	1
特になし	4	1	-	-	3
無回答	8	-	-	-	-

※従業員の過不足状況別の「過剰」は、該当事業者がいませんでした。

3. 事業内容

◆ 文京区内に不足していると思うサービスでは、居宅介護支援や訪問介護の割合が高くなっています。

(1) ダブルケアの有無

利用者家族のダブルケア（子育て等と介護を同時に行っているケース）の把握状況については、「ある」が30事業所、「ない」が60事業所となっています。

サービス別でみると、「訪問看護」が9事業所、「居宅介護支援」が5事業所、「訪問介護」、「通所介護」が4事業所となっています。

【サービス別】

	n	(子育て等と介護を同時に行っているケースがある)	ない	無回答
全体	107	30	60	17
居宅介護支援	16	5	8	3
訪問介護	19	4	15	-
訪問入浴介護	1	-	1	-
訪問看護	19	9	7	3
居宅療養管理指導	1	-	1	-
通所介護	10	4	5	1
短期入所生活介護	1	-	1	-
特定施設入居者生活介護	2	1	1	-
福祉用具貸与	2	-	2	-
介護老人福祉施設	4	-	1	3
介護老人保健施設	2	-	2	-
夜間対応型訪問介護	1	-	1	-
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	-	-	1
認知症対応型通所介護	3	-	2	1
小規模多機能型居宅介護	3	2	1	-
看護小規模多機能型居宅介護	1	-	1	-
認知症対応型共同生活介護	4	1	2	1
地域密着型介護老人福祉施設	2	1	-	1
地域密着型通所介護	6	1	5	-
介護予防支援	1	1	-	-
介護予防訪問看護	1	-	1	-
介護予防認知症対応型共同生活介護	1	-	-	1
通所型サービス	1	1	-	-

(2) ヤングケアラーの有無

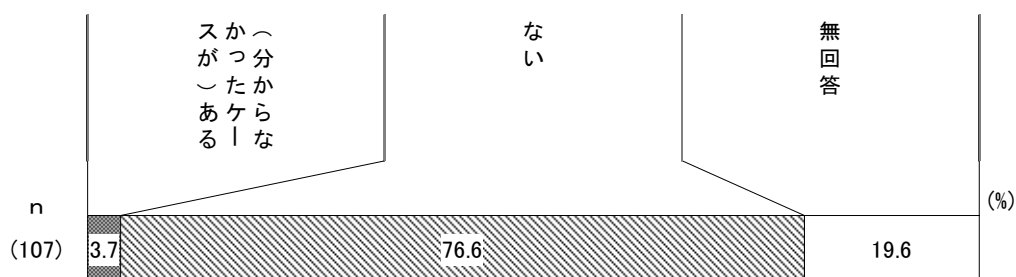
利用者の子ども等（20代頃まで）が主介護者であるケース（ヤングケアラー）の有無については、「ある」が2事業所で、「訪問介護」と「介護予防支援」が主サービスの事業所となっています。

【サービス別】

	n	(ヤングケアラーにあてはまるケースが)現時点である	ない	無回答
全体	107	2	85	20
居宅介護支援	16	-	12	4
訪問介護	19	1	17	1
訪問入浴介護	1	-	1	-
訪問看護	19	-	14	5
居宅療養管理指導	1	-	1	-
通所介護	10	-	10	-
短期入所生活介護	1	-	1	-
特定施設入居者生活介護	2	-	2	-
福祉用具貸与	2	-	2	-
介護老人福祉施設	4	-	1	3
介護老人保健施設	2	-	2	-
夜間対応型訪問介護	1	-	1	-
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	-	-	1
認知症対応型通所介護	3	-	2	1
小規模多機能型居宅介護	3	-	3	-
看護小規模多機能型居宅介護	1	-	1	-
認知症対応型共同生活介護	4	-	3	1
地域密着型介護老人福祉施設	2	-	-	2
地域密着型通所介護	6	-	6	-
介護予防支援	1	1	-	-
介護予防訪問看護	1	-	1	-
介護予防認知症対応型共同生活介護	1	-	1	-
通所型サービス	1	-	1	-

(3) 相談窓口や支援機関が分からなかったケースの有無

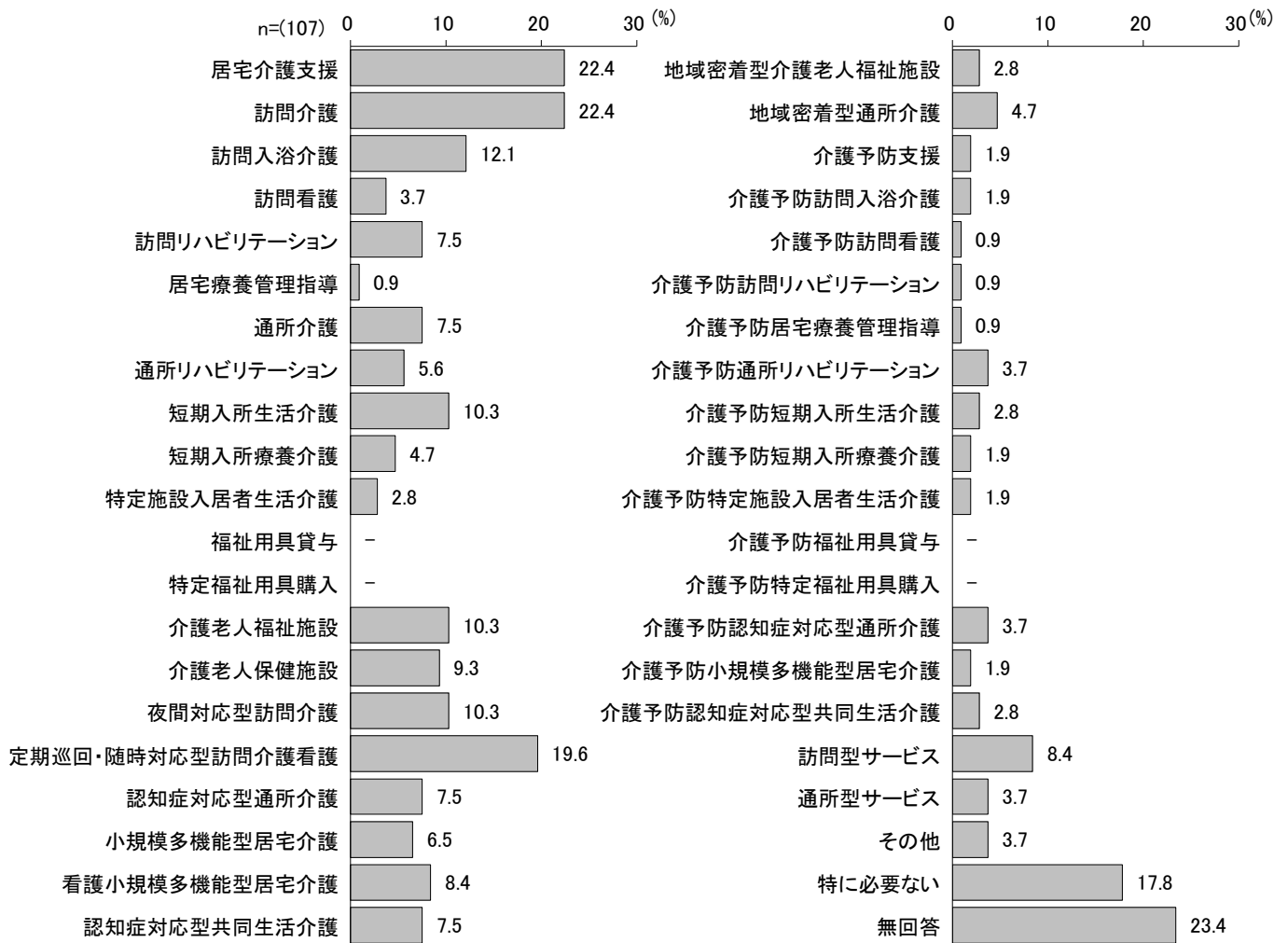
利用者やその家族から相談等を受け、つなぎ先が分からなかったケースは、「ない」が76.6%を占めています。



(4) 文京区内に不足していると思うサービス

「居宅介護支援」、「訪問介護」がともに22.4%と最も高く、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が19.6%となっています。一方、「特に必要ない」も17.8%となっています。

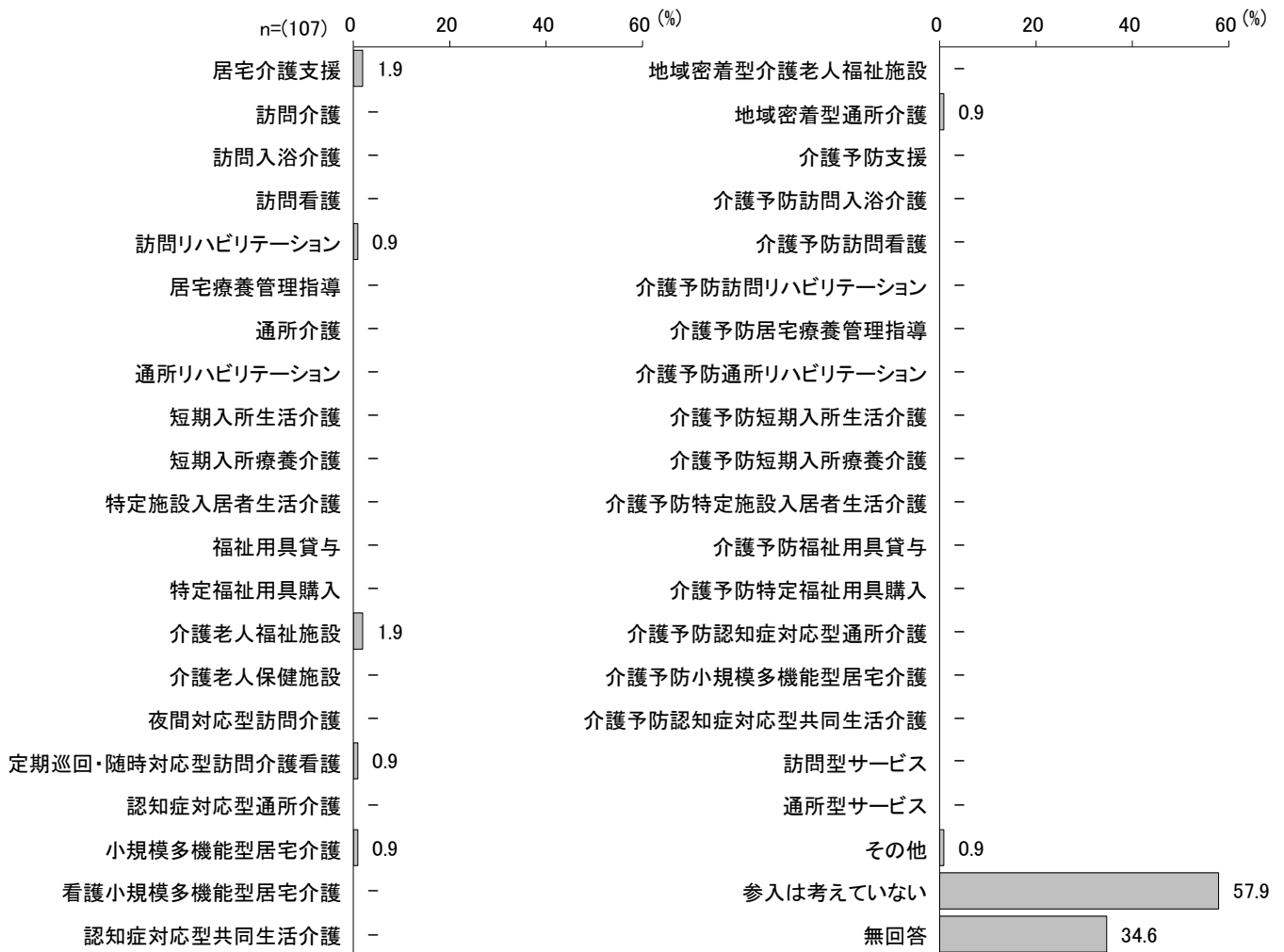
(複数回答)



(5) 今後参入を考えているサービス

「参入は考えていない」が57.9%と半数を超え、無回答を除くと、『参入を考えている』のは7.5%（8事業所）となっています。

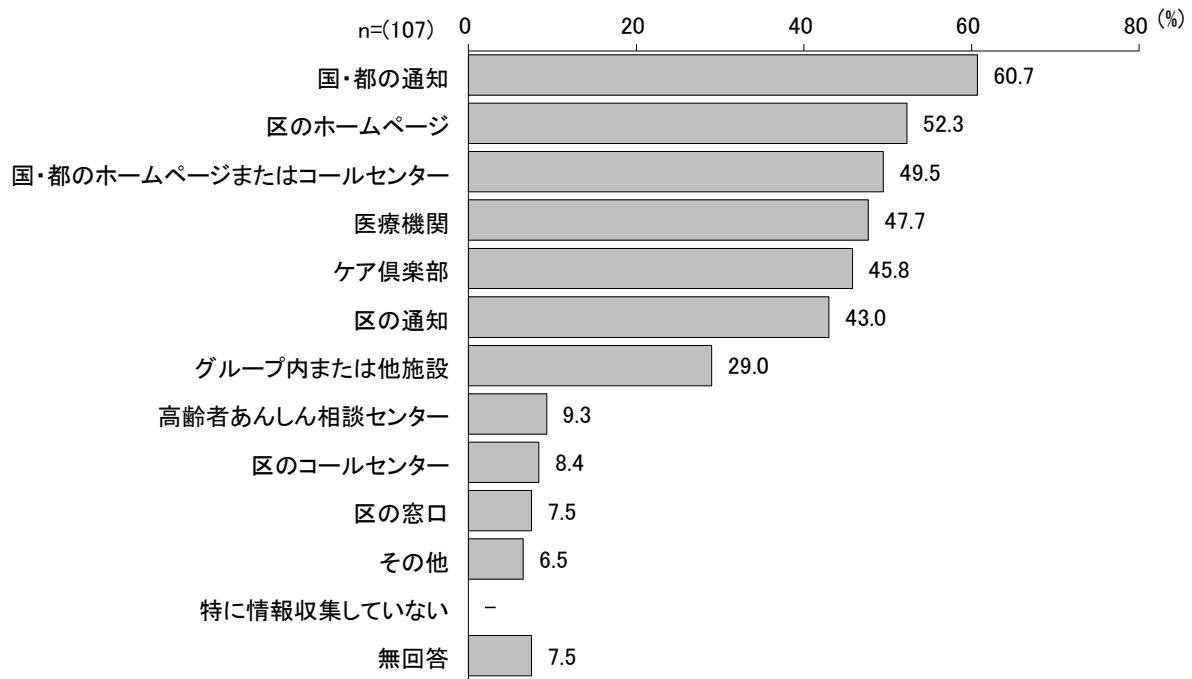
(複数回答)



(6) 新型コロナウイルス感染症の情報取得手段

「国・都の通知」が60.7%と最も高く、続いて、「区のホームページ」が52.3%、「国・都のホームページまたはコールセンター」が49.5%、「医療機関」が47.7%、「ケア倶楽部」が45.8%、「区の通知」が43.0%となっています。

(複数回答)



(注)「ケア倶楽部」は、自治体と介護サービス事業所やその他団体の連携のための会員制サイトです。

介護事業従業者調査

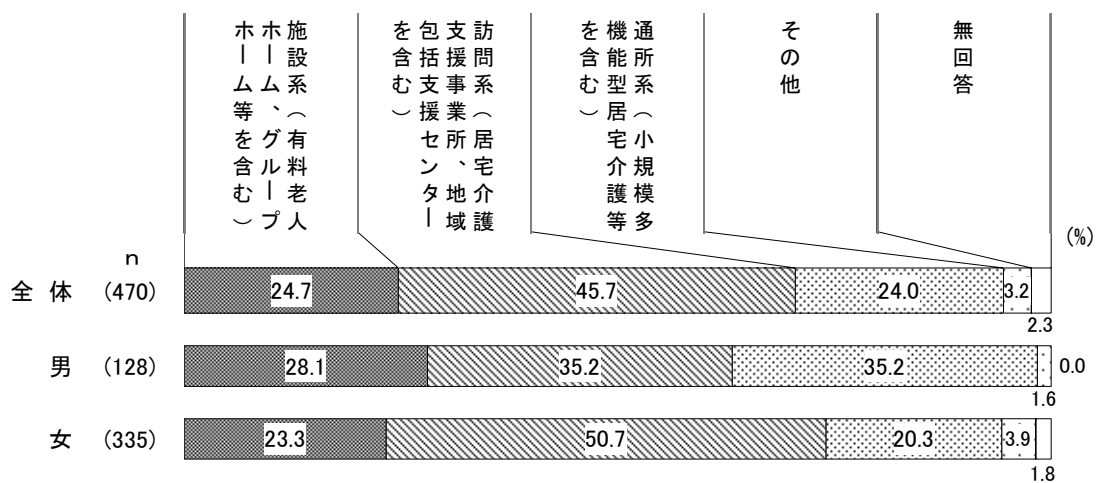
1. 従業者情報

(1) 職場のサービス種別

「訪問系（居宅介護支援事業所、地域包括支援センターを含む。）」が45.7%、「施設系（有料老人ホーム、グループホーム等を含む。）」が24.7%、「通所系（小規模多機能型居宅介護等を含む。）」が24.0%となっています。

性別で見ると、男性では、「訪問系」と「通所系」がともに35.2%となっています。女性では、「訪問系」が50.7%と半数を超えています。

【性別】



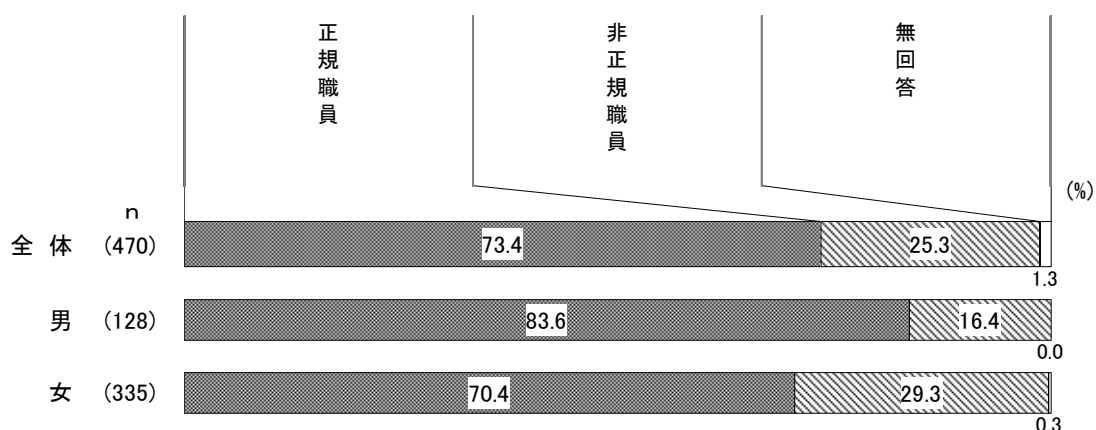
※性別を無回答とした方が7人いるため、全体と男女合計とは一致しません。

(2) 就業形態

「正規職員」が73.4%、「非正規職員」が25.3%となっています。

性別にみると、女性では、「非正規職員」が29.3%と、男性の16.4%より12.9ポイント高くなっています。

【性別】

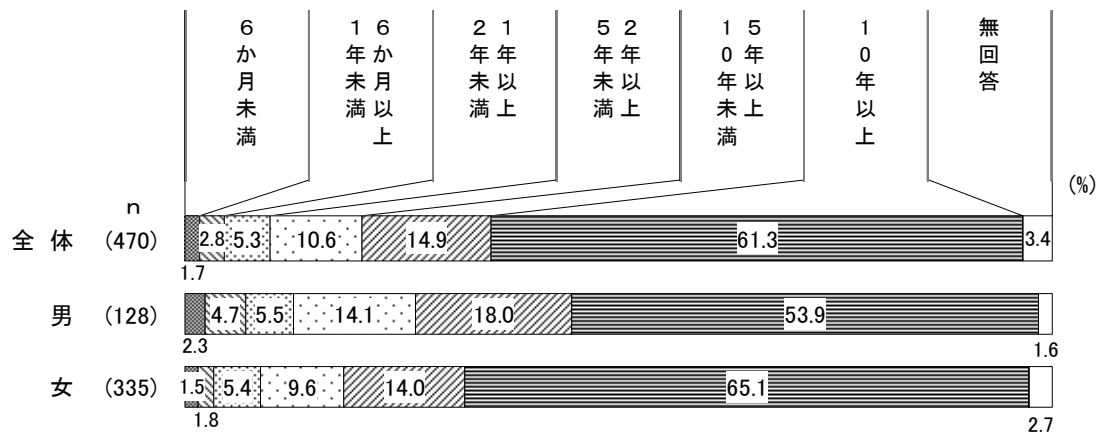


(3) 就労年数

「10年以上」が61.3%を占め、「5年以上10年未満」が14.9%、「2年以上5年未満」が10.6%となっています。

性別で見ると、女性では、「10年以上」が65.1%と、男性の53.9%より11.2ポイント高くなっています。

【性別】



(4) 取得している資格

「介護福祉士」が42.1%と最も高く、続いて、「ホームヘルパー2級」が27.0%、「介護支援専門員（ケアマネジャー）」が23.6%、「看護師・准看護師」が20.0%となっています。

年齢別でみると、「30歳以上」では、「介護福祉士」が最も高く、なかでも、「50歳～59歳」で52.5%と半数を超えています。また、「20歳～29歳」は、「介護職員初任者研修」が29.8%と最も高くなっています。また、「ホームヘルパー2級」では、年齢が上がるとともに取得割合が高くなっています。

職場のサービス別でみると、どのサービスも、「介護福祉士」が高く、なかでも、「施設系」では、51.7%と半数を超えています。また、「訪問系」では、「ホームヘルパー2級」の33.0%と「介護支援専門員（ケアマネジャー）」の32.6%で3割を超え、他サービスより高くなっています。

【年齢別、職場のサービス別】（複数回答）

（%）

	全 体	年齢別					職場のサービス別			
		20歳～ 29歳	30歳～ 39歳	40歳～ 49歳	50歳～ 59歳	60歳 以上	施設系	訪問系	通所系	その他
n	470	57	84	113	120	89	116	215	113	15
介護福祉士	42.1	17.5	38.1	46.0	52.5	41.6	51.7	40.5	38.1	20.0
介護職員実務者研修	13.6	15.8	14.3	11.5	12.5	15.7	19.0	13.0	10.6	6.7
介護職員初任者研修	12.3	29.8	16.7	7.1	10.0	7.9	13.8	11.2	15.0	6.7
介護職員基礎研修	1.1	1.8	1.2	-	0.8	2.2	-	2.3	-	-
ホームヘルパー1級	4.3	3.5	2.4	2.7	6.7	5.6	0.9	4.7	7.1	-
ホームヘルパー2級	27.0	5.3	20.2	23.9	34.2	40.4	21.6	33.0	23.9	6.7
主任介護支援専門員	5.5	-	-	3.5	10.8	9.0	-	11.6	-	-
介護支援専門員 （ケアマネジャー）	23.6	-	6.0	31.0	31.7	33.7	15.5	32.6	16.8	6.7
看護師・准看護師	20.0	19.3	16.7	26.5	17.5	20.2	12.1	26.5	12.4	53.3
理学療法士（PT）	4.3	7.0	8.3	4.4	3.3	-	5.2	4.7	3.5	-
作業療法士（OT）	2.8	-	4.8	5.3	1.7	1.1	1.7	3.7	2.7	-
言語聴覚士（ST）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
社会福祉士	7.0	3.5	7.1	8.8	7.5	4.5	6.0	7.0	8.0	-
福祉用具専門相談員	4.3	-	6.0	1.8	7.5	4.5	3.4	5.6	1.8	13.3
栄養士・管理栄養士	2.8	5.3	2.4	1.8	1.7	3.4	6.9	0.9	1.8	-
それ以外の 介護福祉関係の資格	8.5	8.8	11.9	7.1	7.5	7.9	7.8	8.8	9.7	6.7
その他	8.1	10.5	7.1	9.7	7.5	4.5	7.8	5.1	12.4	6.7
資格なし	4.3	14.0	-	3.5	2.5	5.6	4.3	2.8	7.1	6.7
無回答	2.6	3.5	7.1	0.9	1.7	1.1	1.7	2.3	2.7	6.7

※年齢別の「20歳未満」は該当者がいませんでした。

(5) 今後取得したい資格

「特にない」が53.2%と半数を超えて最も高く、取得希望のなかでは、「介護支援専門員（ケアマネジャー）」が13.8%、「介護福祉士」が11.1%となっています。

年齢別で見ると、取得希望のなかでは、「20歳～29歳」で「介護福祉士」が31.6%、「30歳～39歳」で「介護支援専門員（ケアマネジャー）」が25.0%、「社会福祉士」が20.2%と、他層より高くなっています。

同様に、取得希望のなかで職場のサービス別を見ると、「施設系」で「介護支援専門員（ケアマネジャー）」が26.7%、「通所系」で「介護福祉士」が18.6%と、他サービスより高くなっています。

【年齢別、職場のサービス別】（複数回答）

(%)

	全体	年齢別					職場のサービス別			
		20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳以上	施設系	訪問系	通所系	その他
n	470	57	84	113	120	89	116	215	113	15
介護福祉士	11.1	31.6	14.3	4.4	8.3	6.7	11.2	8.4	18.6	-
介護職員実務者研修	1.3	5.3	1.2	0.9	-	1.1	-	1.9	1.8	-
介護職員初任者研修	0.4	-	-	0.9	-	1.1	0.9	-	0.9	-
介護職員基礎研修	0.2	-	-	-	-	1.1	0.9	-	-	-
ホームヘルパー1級	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ホームヘルパー2級	0.2	-	-	-	0.8	-	-	-	0.9	-
主任介護支援専門員	4.0	-	9.5	4.4	5.0	-	5.2	5.1	1.8	-
介護支援専門員 (ケアマネジャー)	13.8	19.3	25.0	13.3	10.0	5.6	26.7	8.4	12.4	6.7
看護師・准看護師	0.6	3.5	1.2	-	-	-	0.9	0.5	0.9	-
理学療法士(PT)	1.7	1.8	-	4.4	0.8	1.1	-	1.9	3.5	-
作業療法士(OT)	0.4	-	1.2	0.9	-	-	-	0.9	-	-
言語聴覚士(ST)	0.4	-	2.4	-	-	-	-	0.5	0.9	-
社会福祉士	8.7	5.3	20.2	10.6	4.2	4.5	11.2	8.4	6.2	13.3
福祉用具専門相談員	2.1	1.8	2.4	3.5	2.5	-	2.6	0.9	3.5	6.7
栄養士・管理栄養士	0.9	-	1.2	-	0.8	2.2	0.9	0.9	0.9	-
それ以外の 介護福祉関係の資格	2.3	3.5	2.4	-	3.3	3.4	0.9	3.3	2.7	-
その他	6.6	8.8	7.1	8.8	7.5	-	5.2	7.4	7.1	-
特にない	53.2	33.3	38.1	56.6	58.3	68.5	46.6	60.9	45.1	46.7
無回答	5.1	5.3	6.0	4.4	3.3	7.9	3.4	3.7	6.2	26.7

2. 事業内容

◆ 介護業界での今後の就労意向は6割を超えますが、収入の満足度は低い傾向にあります。

(1) 現在の仕事の満足度

「とても満足」と「満足」を合わせた、『満足』とする割合をみると、「ア. 仕事の内容・やりがい」が51.1%と最も高く、続いて、「キ. 職場の人間関係、コミュニケーション」が43.0%、「ク. 雇用の安定性」が34.4%、「ウ. 労働時間・休日等の労働条件」が32.1%、「サ. 職場環境全体」が29.8%、「エ. 勤務体制」が28.9%、「カ. 職場の環境（施設の構造等）」が28.1%となっています。

性別でみると、男性の満足度については、「ア. 仕事の内容・やりがい」が49.2%と最も高く、続いて、「キ. 職場の人間関係、コミュニケーション」が39.1%、「ク. 雇用の安定性」が36.8%、「ウ. 労働時間・休日等の労働条件」が36.7%となっています。

また、女性の満足度についても、「ア. 仕事の内容・やりがい」が最も高く52.0%となっており、続いて、「キ. 職場の人間関係、コミュニケーション」が44.1%、「ク. 雇用の安定性」が33.8%、「ウ. 労働時間・休日等の労働条件」が30.5%となっており、上位の順列に性別の違いはありません。

第2章 共通質問の比較等

【性別】(全体n=470、男性n=128、女性n=335)

(%)

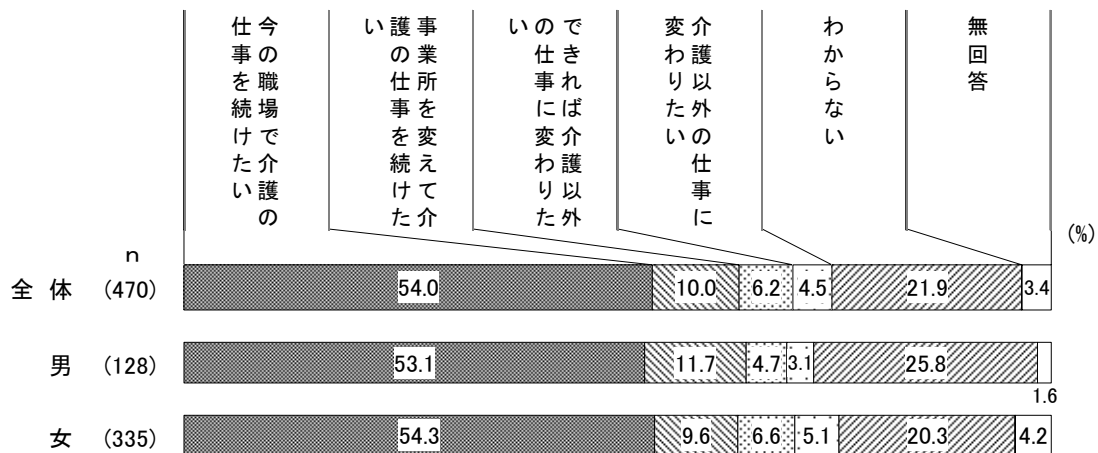
	性別	とても満足	満足	普通	不満	とても不満	無回答
ア. 仕事の内容・やりがい	全体	9.4	41.7	41.1	4.3	1.5	2.1
	男	10.9	38.3	43.8	4.7	1.6	0.8
	女	9.0	43.0	39.7	4.2	1.5	2.7
イ. キャリアアップの機会	全体	4.0	16.6	62.6	11.7	2.6	2.6
	男	3.9	18.8	64.1	8.6	3.1	1.6
	女	4.2	15.8	61.8	13.1	2.1	3.0
ウ. 労働時間・休日等の労働条件	全体	8.9	23.2	43.4	17.9	4.3	2.3
	男	12.5	24.2	45.3	11.7	4.7	1.6
	女	7.8	22.7	42.7	20.0	4.2	2.7
エ. 勤務体制	全体	6.8	22.1	45.5	19.6	3.2	2.8
	男	7.0	24.2	43.8	19.5	3.9	1.6
	女	6.9	21.2	45.7	20.0	3.0	3.3
オ. 人事評価・処遇のあり方	全体	5.3	14.9	52.8	20.0	4.5	2.6
	男	5.5	10.9	58.6	18.8	4.7	1.6
	女	5.4	16.4	50.7	20.3	4.2	3.0
カ. 職場の環境 (施設の構造等)	全体	4.5	23.6	48.1	16.0	4.7	3.2
	男	2.3	27.3	49.2	14.8	4.7	1.6
	女	5.4	21.8	48.1	16.4	4.8	3.6
キ. 職場の人間関係、 コミュニケーション	全体	8.5	34.5	42.8	9.6	2.6	2.1
	男	4.7	34.4	45.3	11.7	2.3	1.6
	女	10.1	34.0	41.8	9.0	2.7	2.4
ク. 雇用の安定性	全体	8.9	25.5	49.6	10.9	2.6	2.6
	男	10.2	26.6	49.2	10.2	1.6	2.3
	女	8.7	25.1	49.6	11.0	3.0	2.7
ケ. 福利厚生	全体	4.5	17.0	53.0	17.2	6.0	2.3
	男	4.7	19.5	54.7	15.6	3.9	1.6
	女	4.5	16.1	51.6	18.2	6.9	2.7
コ. 研修・能力開発のあり方	全体	2.1	15.3	58.1	18.7	3.2	2.6
	男	1.6	12.5	61.7	19.5	3.1	1.6
	女	2.4	16.7	56.4	18.5	3.0	3.0
サ. 職場環境全体	全体	4.5	25.3	51.5	12.3	4.3	2.1
	男	2.3	27.3	51.6	12.5	4.7	1.6
	女	5.1	24.5	51.9	11.9	4.2	2.4

(2) 介護の仕事の継続意向

「今の職場で介護の仕事を続けたい」が54.0%と半数を超え、「事業所を変えて介護の仕事を続けたい」の10.0%と合わせた『介護の仕事を続けたい』は64.0%となっています。

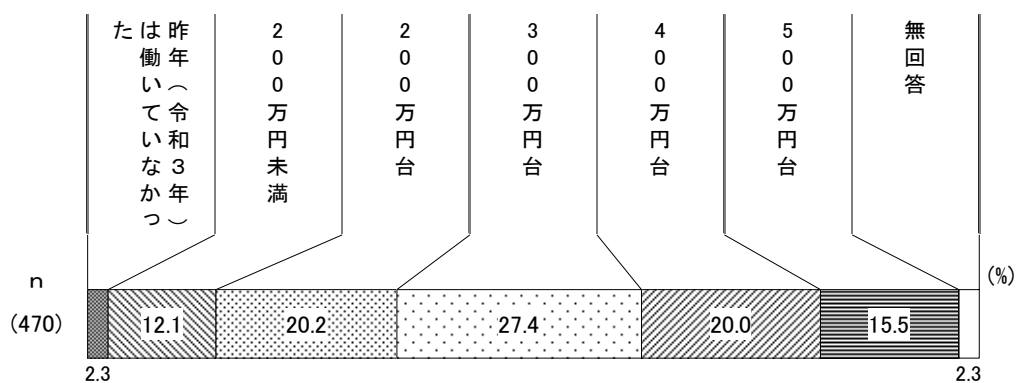
性別でも、大きな差異はありません。

【性別】



(3) 昨年1年間（令和3年1月1日～12月31日）の収入

昨年1年間の収入分布をみると、「300万円台」が27.4%で最も多く、続いて、「200万円台」が20.2%、「400万円台」が20.0%となっています。

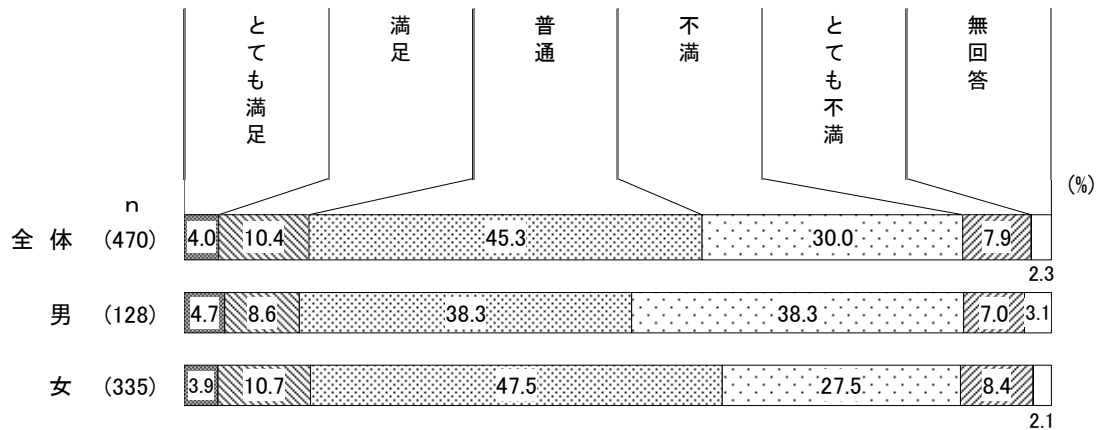


(4) 働きに見合った収入を得られている場合の満足度

働きに見合った収入を得られている場合の満足度については、「とても満足」と「満足」を合わせた『満足』した割合は14.4%、「普通」は45.3%、「不満」と「とても不満」を合わせた『不満』とした割合は37.9%となっています。

性別で見ると、男性は、『不満』が45.3%と女性の35.9%より高くなっています。一方、女性は、「普通」が47.5%と男性の38.3%より高くなっています。

【性別】

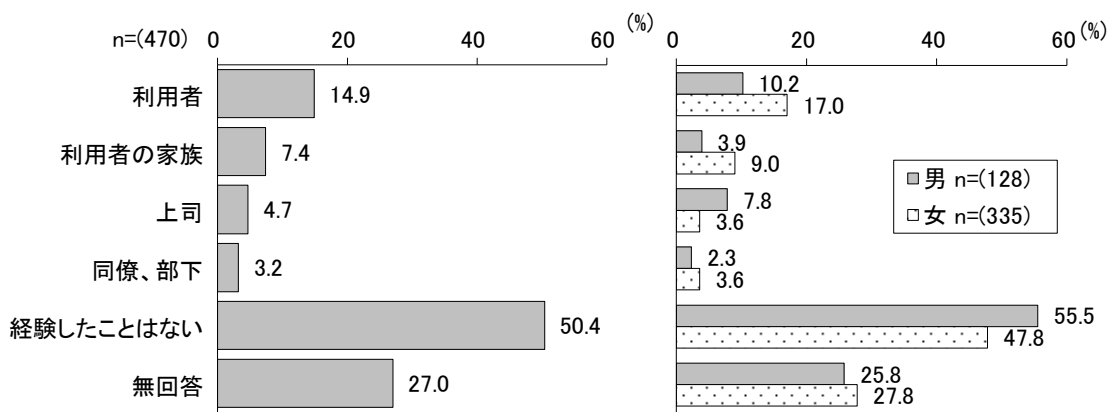


(5) セクハラ・パワハラ等の経験の有無

ハラスメントを受けた経験があると回答した割合（経験したことはない、無回答を除いた割合）は22.6%となっており、その相手は、「利用者」が14.9%で最も高くなっています。

性別で見ると、男性の18.7%、女性の24.4%がハラスメントを受けたとしており、ともに「利用者」からが、10.2%、17.0%と最も高くなっています。

【性別】（複数回答）



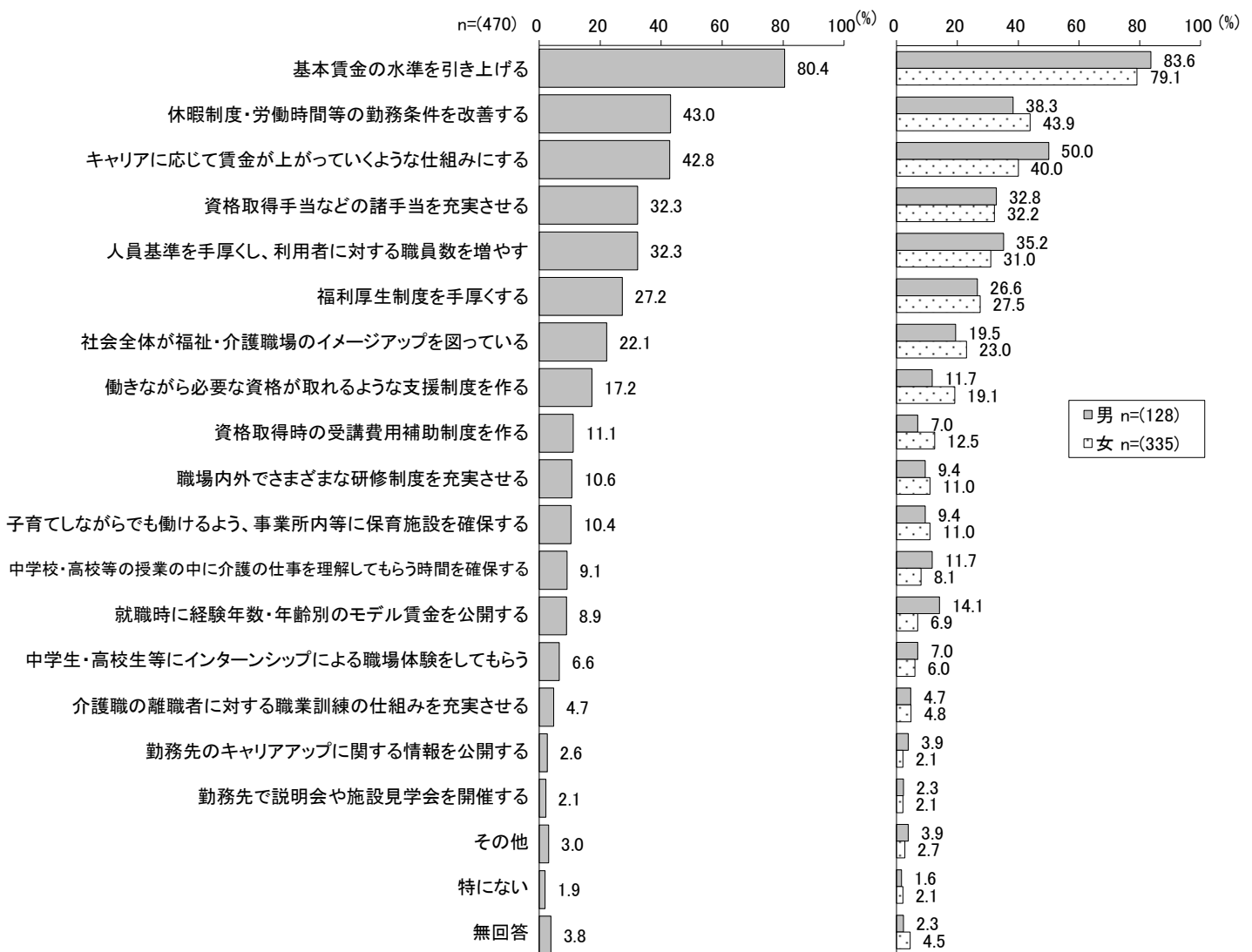
(6) 介護に携わる人材を増やすために必要なこと

「基本賃金の水準を引き上げる」が80.4%で最も高く、続いて、「休暇制度・労働時間等の勤務条件を改善する」が43.0%、「キャリアに応じて賃金が上がっていくような仕組みにする」が42.8%、「資格取得手当などの諸手当を充実させる」と「人員基準を手厚くし、利用者に対する職員数を増やす」がともに32.3%となっています。

性別にみると、男女ともに、「基本賃金の水準を引き上げる」が、それぞれ83.6%、79.1%と最も高くなっています。続いて、男性で、「キャリアに応じて賃金が上がっていくような仕組みにする」が50.0%と女性の40.0%より、女性で、「休暇制度・労働時間等の勤務条件を改善する」が43.9%と男性の38.3%より、それぞれ高くなっています。

また、全体では、8番目に当たる「働きながら必要な資格が取れるような支援制度を作る」では、女性で19.1%と男性の11.7%より高く、性別の差では2番目に大きくなっています。

【性別】(複数回答)



第3章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

第3章 目次

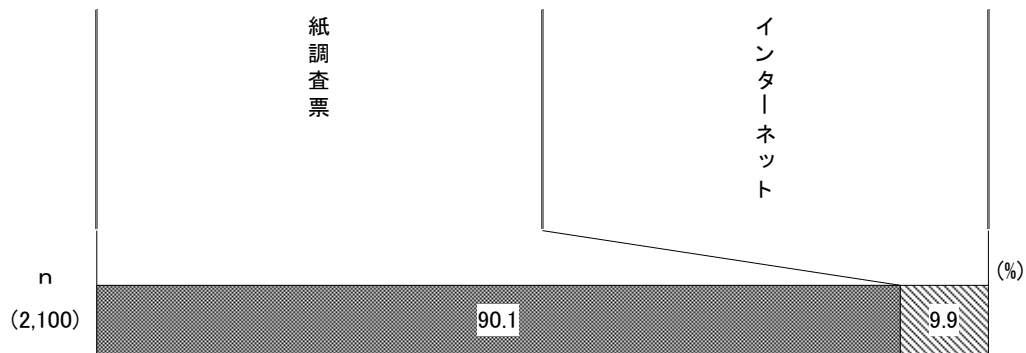
	頁
第3章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	75
1. 回答者の属性	79
回答方法	79
圏域	79
性別	79
調査票記入者	80
2. ご自身、家族や暮らし	81
問1 家族構成	81
問2 同居者の年齢が65歳以上か	82
問3 年齢	83
問4 介護認定の有無（介護度）	84
問5 暮らしの経済的状況	85
3. お住まい	86
問6 住居形態（一戸建てまたは集合住宅）	86
問7 現在の住まいでの在宅生活の継続性	87
問8 住まいについての不便や不安	88
4. 日常生活	90
問9～問13 からだを動かすこと	90
問14、問15 外出	96
問16～問19 食べること	98
問20 現在の生活での不安	107
問21 運転状況	109
問21-1 運転している理由	111
問22 物忘れ	112
問23～問27 日常生活動作	114
問28 働き方の希望	119
5. 介護等	121
問29 介護・介助の必要性の有無	121
問30 介護が必要になっても、地域で暮らし続けるために必要なこと	122
問31 介護が必要になった場合の暮らし方の実現性	124
問31-1 介護が必要になった場合の在宅生活の実現性	126
問31-2 入所したい施設の種類	127
問32 終末期を迎えたい場所	127
問33 介護の実施状況	129
問33-1 複数介護の状況	131
問33-1-1 複数介護の対象	132
問34 今後区に力を入れてほしいこと	133

問35	高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）の認知度	138
6.	地域での活動	140
問36	会・グループ等の参加頻度	140
問37	グループ活動への参加意向（参加者として）	146
問38	グループ活動への参加意向（世話役として）	147
7.	たすけあい	148
問39	心配や愚痴を聞いてくれる人	148
問40	心配や愚痴を聞いてあげる人	150
問41	看病してくれる人	151
問42	看病してあげる人	153
8.	健康・介護予防	155
問43	現在の健康状態	155
問44	現在の幸福度	156
問45、問46	うつ傾向	158
問47	喫煙状況	161
問48	介護予防の取組状況	162
問48-1	介護予防に取り組んでいない理由	164
問49	介護予防のために今後取り組みたいこと	167
9.	医療	170
問50	病気の状況	170
問51	かかりつけ医・歯科医・薬局の有無	172
問52	訪問診療の有無（受診した訪問診療の種類）	173
問53	新型コロナウイルスワクチン接種情報の取得手段	175
問54	新型コロナウイルス感染症による生活の変化	176
問55	新型コロナウイルス感染症下で健康・生活維持のために工夫したこと（記述）	178
問56	在宅医療の認知度（認知方法）	179
10.	認知症	180
問57	認知症症状がある人の有無	180
問58	認知症に対して認識している内容	180
問59	認知症相談窓口の認知度	182
問60	認知症相談窓口の利用意向	182
問61	認知症に関する区の事業の認知度	184
問62	認知症に関する情報取得方法	186
問63	必要と感じる認知症支援	188

1. 回答者の属性

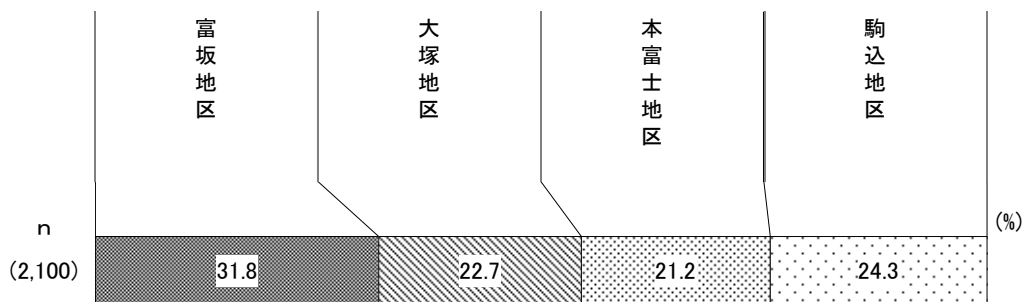
回答方法

回答方法では、「紙調査票」が90.1%、「インターネット」が9.9%となっています。



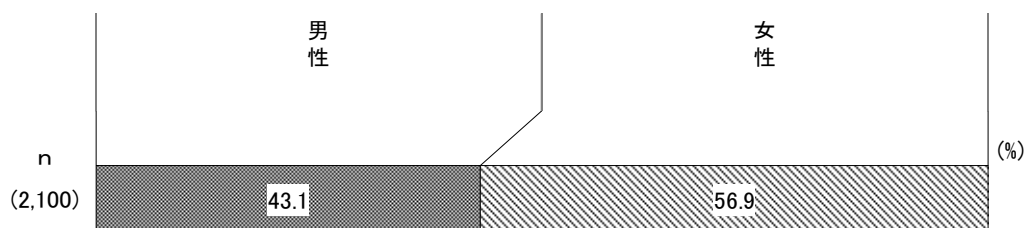
圏域

圏域では、「富坂地区」が31.8%で最も高く、以下、「駒込地区」が24.3%、「大塚地区」が22.7%、「本富士地区」が21.2%となっています。



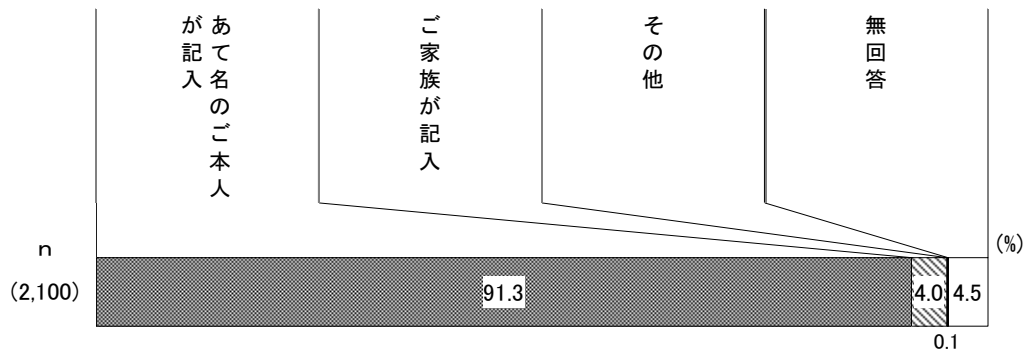
性別

性別では、「女性」が56.9%、「男性」が43.1%となっています。



調査票記入者

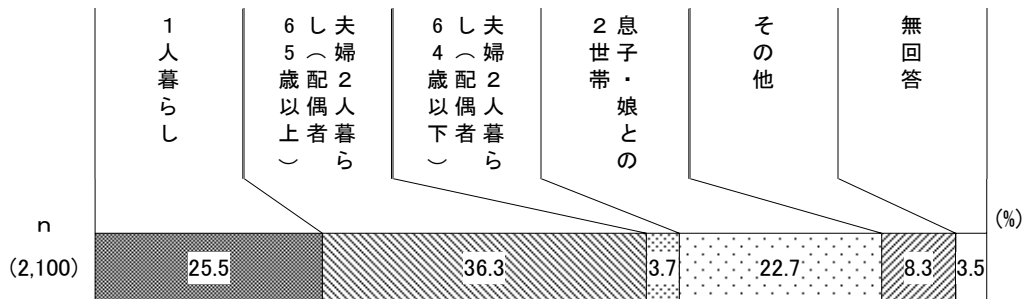
回答者では、「あて名のご本人が記入」が91.3%で最も高く、以下、「ご家族が記入」が4.0%となっています。



2. ご自身、家族や暮らし

問1 家族構成

家族構成では、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が36.3%で最も高く、以下、「1人暮らし」が25.5%、「息子・娘との2世帯」が22.7%となっています。



性別でみると、女性は、「1人暮らし」が32.0%と最も高くなっています。

年齢別でみると、高齢になるほど「1人暮らし」の割合が高くなる傾向にあり、85～89歳は41.4%となっています。

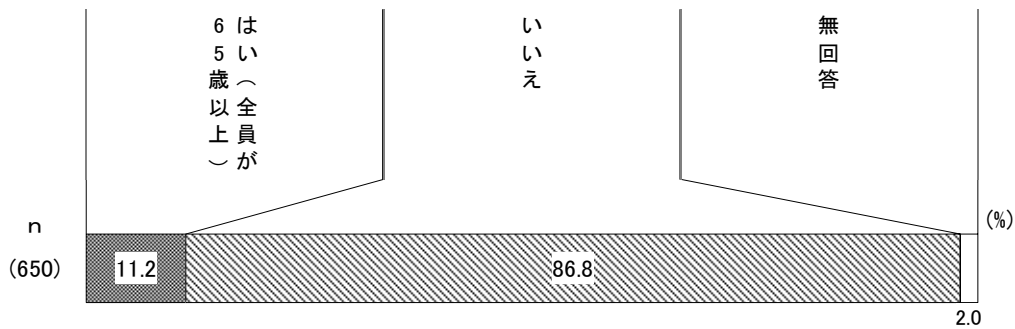
圏域別でみると、本富士地区では、「1人暮らし」が32.3%と、唯一3割を超えています。

【家族構成／性別、年齢別、圏域別】

		n	1人暮らし	夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	息子・娘との2世帯	その他	無回答
全体		2,100	25.5	36.3	3.7	22.7	8.3	3.5
性別	男性	905	17.0	44.0	8.0	20.1	8.6	2.3
	女性	1,195	32.0	30.5	0.5	24.6	8.0	4.4
年齢別	65～69歳	464	17.9	37.1	10.3	20.0	13.6	1.1
	70～74歳	576	24.5	41.0	4.2	18.4	8.9	3.1
	75～79歳	458	24.7	41.7	0.4	23.4	7.9	2.0
	80～84歳	286	30.8	34.6	0.7	27.3	3.8	2.8
	85～89歳	191	41.4	20.4	-	34.6	3.1	0.5
	90歳以上	56	33.9	17.9	-	35.7	10.7	1.8
圏域別	富坂地区	668	24.7	38.0	2.7	23.5	7.9	3.1
	大塚地区	476	21.0	40.8	3.8	19.5	9.9	5.0
	本富士地区	446	32.3	31.8	3.4	23.1	6.7	2.7
	駒込地区	510	24.9	33.9	5.3	24.1	8.6	3.1

問2 同居者の年齢が65歳以上か

同居者全員が65歳以上かでは、「いいえ」が86.8%、「はい（全員が65歳以上）」が11.2%となっています。



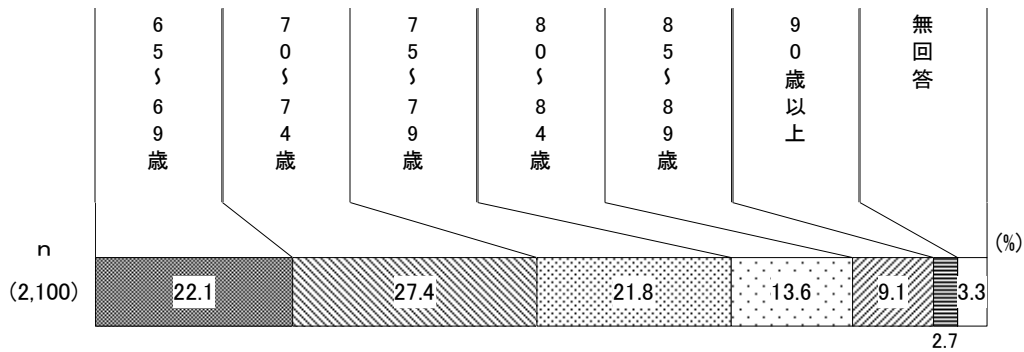
性別では、特に目立った違いはありません。
 年齢別でみると、90歳以上で「はい（全員が65歳以上）」が26.9%とやや高くなっています。
 圏域別では、特に目立った違いはありません。

【同居者の年齢が65歳以上か／性別、年齢別、圏域別】

		n	はい (全員 が65歳 以上)	いいえ	無回答
全体		650	11.2	86.8	2.0
性別	男性	260	10.4	88.5	1.2
	女性	390	11.8	85.6	2.6
年齢別	65～69歳	156	15.4	84.0	0.6
	70～74歳	157	14.0	83.4	2.5
	75～79歳	143	8.4	90.2	1.4
	80～84歳	89	4.5	92.1	3.4
	85～89歳	72	5.6	91.7	2.8
	90歳以上	26	26.9	73.1	-
圏域別	富坂地区	210	12.9	84.3	2.9
	大塚地区	140	12.1	86.4	1.4
	本富士地区	133	7.5	90.2	2.3
	駒込地区	167	11.4	87.4	1.2

問3 年齢

年齢（6区分）では、「70～74歳」が27.4%で最も高く、以下、「65～69歳」が22.1%、「75～79歳」が21.8%、「80～84歳」が13.6%となっています。



性別で見ると、男性は、「70～74歳」が26.5%、「65～69歳」が25.1%、「75～79歳」が22.4%の順で、女性は、「70～74歳」が28.1%、「75～79歳」が21.3%、「65～69歳」が19.8%の順で高くなっています。

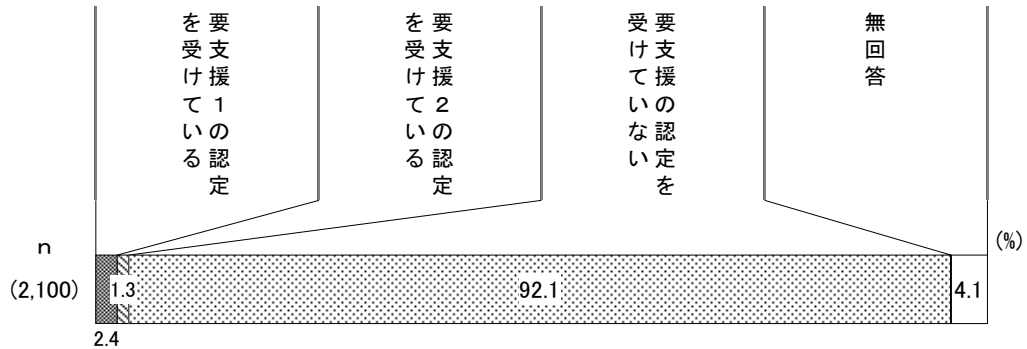
圏域別で見ると、本富士地区は、「75～79歳」が27.6%と他圏域よりも高く、「65～69歳」が19.5%と低くなっています。

【年齢／性別、圏域別】

		n	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	無回答
全体		2,100	22.1	27.4	21.8	13.6	9.1	2.7	3.3
性別	男性	905	25.1	26.5	22.4	13.5	7.2	2.7	2.7
	女性	1,195	19.8	28.1	21.3	13.7	10.5	2.7	3.8
圏域別	富坂地区	668	22.2	27.2	22.0	13.9	10.3	2.1	2.2
	大塚地区	476	23.1	29.8	19.1	12.2	8.0	3.6	4.2
	本富士地区	446	19.5	25.3	27.6	14.3	8.5	2.0	2.7
	駒込地区	510	23.3	27.3	19.0	13.9	9.0	3.1	4.3

問4 介護認定の有無（介護度）

要支援認定では、「要支援の認定を受けていない」が92.1%で最も高く、以下、「要支援1の認定を受けている」が2.4%、「要支援2の認定を受けている」が1.3%となっています。



性別では、特に目立った違いはありません。

年齢別でみると、「要支援の認定を受けていない」は、低年齢層ほど高い傾向にあります。

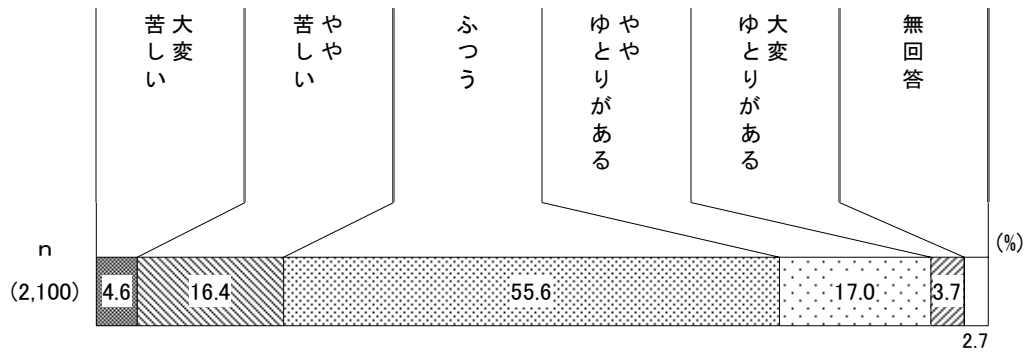
圏域別では、特に目立った違いはありません。

【介護認定の有無（介護度）／性別、年齢別、圏域別】

		n	要支援1の認定を受けている (%)	要支援2の認定を受けている (%)	要支援の認定を受けていない (%)	無回答 (%)
全体		2,100	2.4	1.3	92.1	4.1
性別	男性	905	2.2	0.6	93.5	3.8
	女性	1,195	2.5	1.9	91.1	4.4
年齢別	65～69歳	464	-	0.2	99.1	0.6
	70～74歳	576	0.5	0.3	97.7	1.4
	75～79歳	458	2.0	1.3	95.0	1.7
	80～84歳	286	5.6	2.1	88.5	3.8
	85～89歳	191	6.8	4.2	81.7	7.3
	90歳以上	56	16.1	8.9	69.6	5.4
圏域別	富坂地区	668	1.8	1.8	93.3	3.1
	大塚地区	476	3.8	0.4	91.2	4.6
	本富士地区	446	2.2	1.8	92.8	3.1
	駒込地区	510	2.0	1.2	91.0	5.9

問5 暮らしの経済的状況

暮らしの経済状況では、「ふつう」が55.6%で最も高く、以下、「ややゆとりがある」が17.0%、「やや苦しい」が16.4%、「大変苦しい」が4.6%となっています。



性別及び圏域別では、特に目立った違いはありません。
 年齢別でみると、90歳以上は、「大変苦しい」が1.8%と低い一方、「ふつう」が66.1%、「大変ゆとりがある」が8.9%と比較的高くなっています。
 家族構成別にみると、「ややゆとりがある」は、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）で23.1%とやや高くなっています。

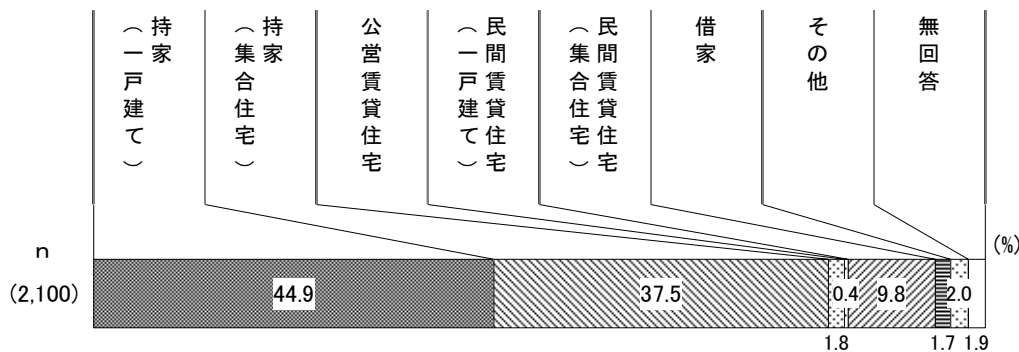
【暮らしの経済的状況／性別、年齢別、家族構成別、圏域別】

		n	大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答
全体		2,100	4.6	16.4	55.6	17.0	3.7	2.7
性別	男性	905	4.5	18.2	54.0	17.6	3.6	2.0
	女性	1,195	4.7	15.1	56.8	16.6	3.7	3.2
年齢別	65～69歳	464	4.5	17.7	52.8	18.5	6.3	0.2
	70～74歳	576	5.4	16.7	55.4	18.2	3.8	0.5
	75～79歳	458	2.8	15.5	60.5	17.7	2.6	0.9
	80～84歳	286	6.3	16.4	59.8	14.0	1.7	1.7
	85～89歳	191	6.3	18.3	53.9	17.3	2.1	2.1
	90歳以上	56	1.8	10.7	66.1	10.7	8.9	1.8
家族構成別	1人暮らし	536	5.2	20.5	53.7	15.1	3.0	2.4
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	763	4.6	12.6	57.1	19.9	4.8	0.9
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	78	5.1	12.8	52.6	23.1	6.4	-
	息子・娘との2世帯	476	4.8	18.3	57.4	15.8	2.9	0.8
	その他	174	3.4	18.4	60.3	14.9	2.3	0.6
圏域別	富坂地区	668	4.9	15.1	57.2	17.5	3.6	1.6
	大塚地区	476	4.6	18.7	52.1	18.3	2.5	3.8
	本富士地区	446	2.9	16.6	59.0	15.2	4.0	2.2
	駒込地区	510	5.7	15.9	53.9	16.7	4.5	3.3

3. お住まい

問6 住居形態（一戸建てまたは集合住宅）

住居形態では、「持家（一戸建て）」が44.9%で最も高く、以下、「持家（集合住宅）」が37.5%となっています。



性別でみると、男女間で目立った違いはありません。

年齢別でみると、65～69歳では、「持家（集合住宅）」が42.9%と最も高くなっています。

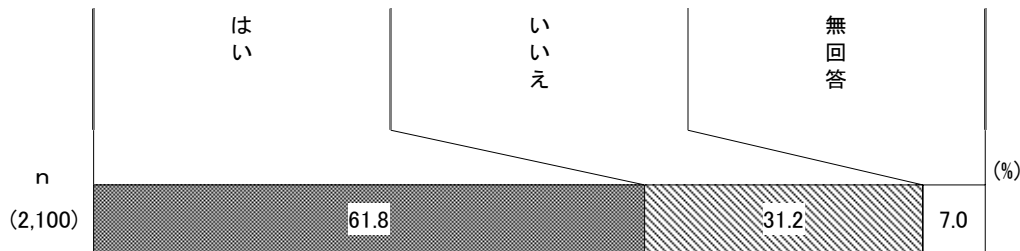
圏域別でみると、いずれも持家（一戸建て）が最も高くなっており、特に駒込地区では、51.6%と過半数となっています。

【住居形態（一戸建てまたは集合住宅）／性別、年齢別、圏域別】

		n	持家（一戸建て）	持家（集合住宅）	公営賃貸住宅	民間賃貸住宅（一戸建て）	民間賃貸住宅（集合住宅）	借家	その他	無回答
全体		2,100	44.9	37.5	1.8	0.4	9.8	1.7	2.0	1.9
性別	男性	905	46.4	35.4	2.0	0.6	9.8	1.9	2.1	1.9
	女性	1,195	43.7	39.1	1.7	0.3	9.8	1.6	2.0	1.9
年齢別	65～69歳	464	40.5	42.9	0.4	-	11.9	1.3	2.8	0.2
	70～74歳	576	41.3	38.4	1.9	0.7	12.5	1.9	2.3	1.0
	75～79歳	458	50.7	36.7	1.5	0.4	7.6	1.1	1.5	0.4
	80～84歳	286	48.6	35.3	2.8	0.7	8.0	2.8	1.4	0.3
	85～89歳	191	49.7	34.0	4.2	-	6.8	2.6	2.1	0.5
	90歳以上	56	55.4	32.1	3.6	-	5.4	-	3.6	-
圏域別	富坂地区	668	41.8	40.7	1.5	0.3	11.1	1.8	1.8	1.0
	大塚地区	476	43.1	40.3	1.5	0.4	8.4	1.7	2.1	2.5
	本富士地区	446	43.7	39.7	2.9	0.2	8.5	1.3	2.2	1.3
	駒込地区	510	51.6	28.6	1.6	0.6	10.6	2.0	2.2	2.9

問7 現在の住まいでの在宅生活の継続性

今後介護が必要な状態になった場合に、住み続けられる住まいかでは、「はい」が61.8%、「いいえ」が31.2%となっています。



性別、圏域別、要介護度別では、特に目立った違いはありません。
 年齢別でみると、いずれの年代も肯定的な意見が高く、特に90歳以上では80.4%となっています。
 家族構成別でみると、1人暮らしは他と比べて肯定的意見が56.7%と低くなっています。
 住居形態別でみると、持ち家や公営賃貸住宅では肯定的な意見が高い一方、民間賃貸住宅（集合住宅）では62.6%、借家では66.7%が否定的となっています。

【現在の住まいでの在宅生活の継続性／性別、年齢別、圏域別、家族構成別、住居形態別、要介護度別】

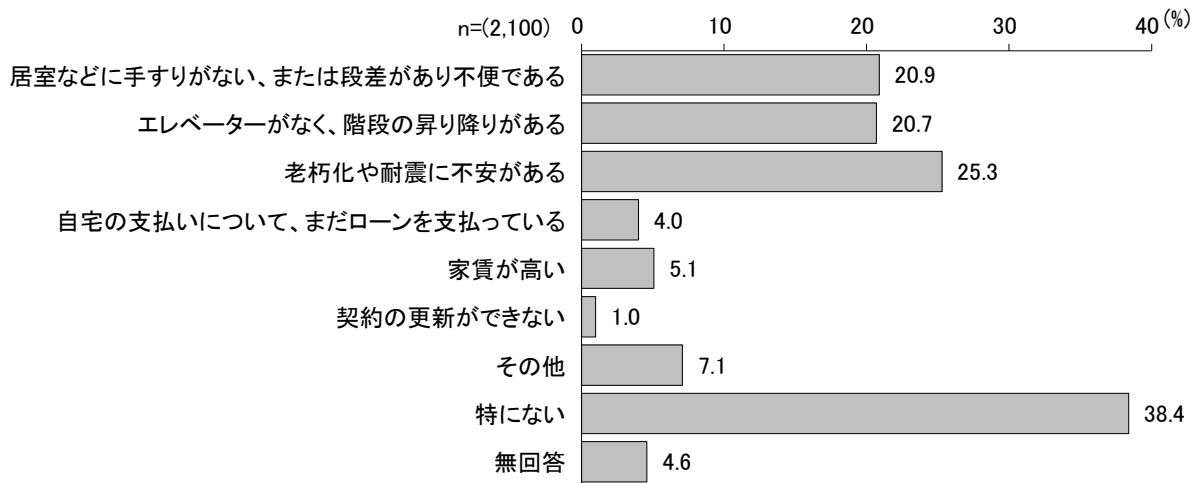
		n	（%）		
			はい	いいえ	無回答
全体		2,100	61.8	31.2	7.0
性別	男性	905	63.2	32.5	4.3
	女性	1,195	60.8	30.3	9.0
年齢別	65～69歳	464	65.3	33.0	1.7
	70～74歳	576	59.9	34.2	5.9
	75～79歳	458	63.1	31.7	5.2
	80～84歳	286	64.3	29.0	6.6
	85～89歳	191	57.1	30.9	12.0
	90歳以上	56	80.4	12.5	7.1
圏域別	富坂地区	668	62.4	32.3	5.2
	大塚地区	476	61.8	30.0	8.2
	本富士地区	446	60.3	33.2	6.5
	駒込地区	510	62.4	29.2	8.4
家族構成別	1人暮らし	536	56.7	36.0	7.3
	夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	763	66.7	27.4	5.9
	夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	78	61.5	34.6	3.8
	息子・娘との2世帯	476	61.1	33.8	5.0
	その他	174	67.8	29.9	2.3
住居形態別	持家（一戸建て）	942	65.5	29.4	5.1
	持家（集合住宅）	787	71.3	23.5	5.2
	公営賃貸住宅	38	63.2	28.9	7.9
	民間賃貸住宅（一戸建て）	8	12.5	87.5	-
	民間賃貸住宅（集合住宅）	206	30.1	62.6	7.3
	借家	36	22.2	66.7	11.1
	その他	43	44.2	46.5	9.3
要介護度別	要支援非認定者	1,935	62.9	31.7	5.3
	要支援1・2認定者	78	56.4	35.9	7.7

※「住居形態別」は、「問6 住居形態」の回答結果です。

問8 住まいについての不便や不安

住まいについて不便や不安に感じていることでは、「特にない」が38.4%を占めています。一方、具体的な選択肢の中では、「老朽化や耐震に不安がある」が25.3%で最も高く、以下、「居室などに手すりがない、または段差があり不便である」が20.9%、「エレベーターがなく、階段の昇り降りがある」が20.7%、「エレベーターがなく、階段の昇り降りがある」が20.7%となっています。

(複数回答)



性別、年齢別、圏域別、家族構成別では、特に目立った違いはありません。

住居形態別でみると、持家（一戸建て）では、「エレベーターがなく、階段の昇り降りがあ
る」が33.9%、民間賃貸住宅（集合住宅）では、「家賃が高い」が42.2%、借家では、「居室な
どに手すりがない、または段差があり不便である」が30.6%と高くなっています。

【住まいについての不便や不安／性別、年齢別、圏域別、家族構成別、住居形態別】

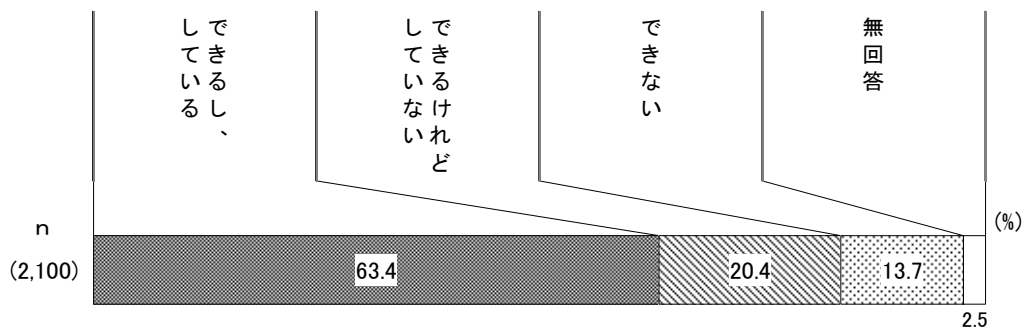
		n	居室な どに手 すりがない、 または 段差が あり不 便である	エレ ベ ー タ ーが なく、 階段の 昇り降 りがあ る	老朽化 や耐震 に不安 がある	自宅の 支払い につい て、ま だロー ンを支 払って いる	家賃が 高い	契約の 更新が できな い	その他	特にな い	無回答
全 体		2,100	20.9	20.7	25.3	4.0	5.1	1.0	7.1	38.4	4.6
性別	男性	905	22.4	22.8	27.6	4.8	4.6	1.1	4.4	37.5	3.3
	女性	1,195	19.7	19.2	23.6	3.5	5.4	0.8	9.2	39.1	5.5
年齢別	65～69歳	464	23.3	22.4	26.5	7.5	6.7	1.3	8.4	35.8	1.3
	70～74歳	576	24.8	21.2	27.1	4.7	7.5	1.0	8.0	35.2	2.4
	75～79歳	458	20.3	21.6	25.5	3.1	2.8	1.1	6.1	40.8	4.4
	80～84歳	286	14.7	17.8	24.8	1.4	3.1	0.7	6.3	44.8	4.9
	85～89歳	191	18.3	22.0	21.5	2.1	3.7	-	6.8	41.4	6.3
	90歳以上	56	16.1	16.1	23.2	-	3.6	-	8.9	48.2	-
圏域別	富坂地区	668	21.0	20.1	24.3	3.7	6.3	0.7	6.9	39.5	3.6
	大塚地区	476	21.8	21.2	24.8	6.1	3.6	0.8	8.4	38.2	5.5
	本富士地区	446	21.5	19.1	24.7	2.9	4.5	1.6	6.5	37.9	5.4
	駒込地区	510	19.4	22.5	27.8	3.5	5.5	0.8	6.9	37.5	4.3
家族 構成 別	1人暮らし	536	16.6	15.7	27.8	1.5	7.8	1.9	8.6	41.2	4.1
	夫婦2人暮らし （配偶者65歳以上）	763	26.5	22.4	22.1	4.3	4.1	0.3	7.2	37.9	3.1
	夫婦2人暮らし （配偶者64歳以下）	78	17.9	16.7	29.5	3.8	6.4	-	5.1	41.0	1.3
	息子・娘との2世帯 その他	476 174	18.9 19.5	22.7 27.0	25.8 32.8	7.1 2.9	4.4 2.9	0.8 1.7	5.9 9.2	38.0 38.5	3.2 1.1
住居 形態 別	持家（一戸建て）	942	21.4	33.9	31.1	3.8	-	0.2	6.8	32.2	3.4
	持家（集合住宅）	787	21.7	6.6	18.9	6.0	0.1	0.3	6.7	52.2	3.3
	公営賃貸住宅	38	7.9	7.9	13.2	-	15.8	-	13.2	47.4	5.3
	民間賃貸住宅 （一戸建て）	8	37.5	12.5	50.0	-	37.5	-	-	12.5	-
	民間賃貸住宅 （集合住宅）	206	17.5	20.9	28.2	-	42.2	6.8	9.2	23.3	1.5
	借家	36	30.6	19.4	27.8	-	27.8	5.6	2.8	13.9	2.8
	その他	43	18.6	18.6	18.6	4.7	-	-	16.3	41.9	2.3

4. 日常生活

問9～問13 からだを動かすこと

①階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか（問9）

階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかでは、「できるし、している」が63.4%で最も高く、以下、「できるけれどしていない」が20.4%、「できない」が13.7%となっています。



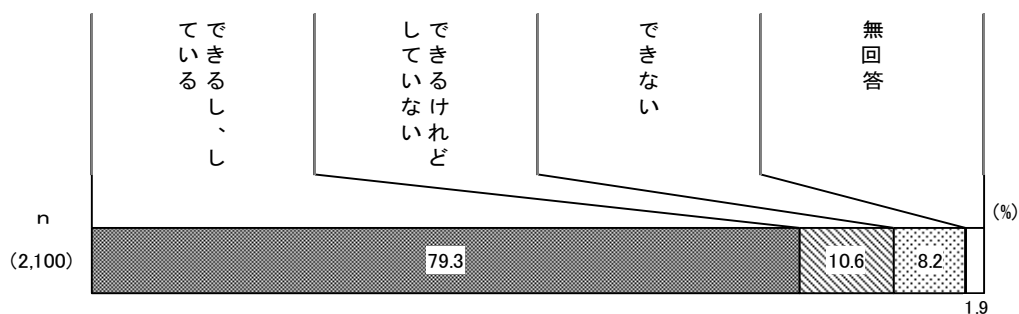
要介護度別にみると、要支援1・2認定者は、「できない」が59.0%と高くなっています。

【階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか／要介護度別】

		n	できるし、している (%)	できるけれどしていない (%)	できない (%)	無回答 (%)
全体		2,100	63.4	20.4	13.7	2.5
要介護度別	要支援非認定者	1,935	66.6	20.9	11.7	0.8
	要支援1・2認定	78	19.2	21.8	59.0	-

②椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか（問10）

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかでは、「できるし、している」が79.3%で最も高く、以下、「できるけれどしていない」が10.6%、「できない」が8.2%となっています。



要介護度別にみると、要支援1・2認定者は、「できない」が42.3%で、「できるし、している」の39.7%よりもやや高くなっています。

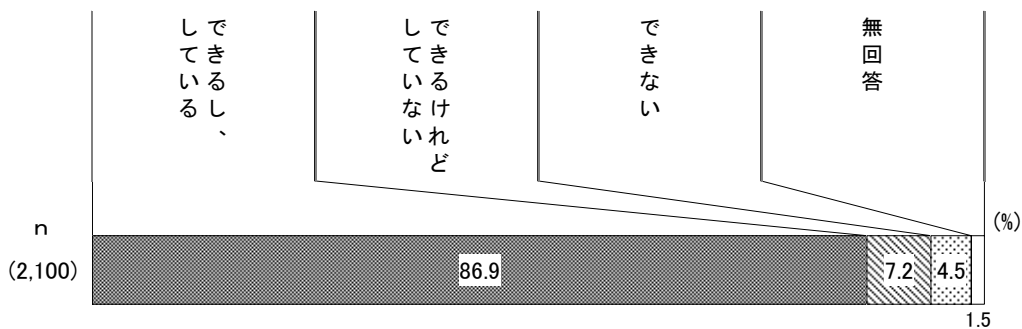
【椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか／要介護度別】

(%)

		n	できるし、している	できるけれどしていない	できない	無回答
全体		2,100	79.3	10.6	8.2	1.9
要介護度別	要支援非認定者	1,935	81.7	10.4	6.4	1.5
	要支援1・2認定	78	39.7	15.4	42.3	2.6

③15分位続けて歩いているか (問11)

15分位続けて歩いているかでは、「できるし、している」が86.9%で最も高く、以下、「できるけれどしていない」が7.2%、「できない」が4.5%となっています。



要介護度別にみると、要支援1・2認定者は、「できるし、している」が47.4%で、「できない」の37.2%を上回っています。

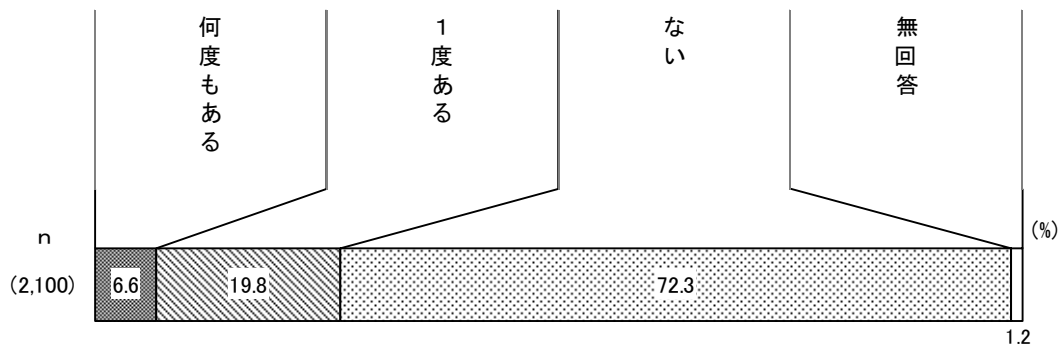
【15分位続けて歩いているか／要介護度別】

(%)

		n	できるし、している	できるけれどしていない	できない	無回答
全体		2,100	86.9	7.2	4.5	1.5
要介護度別	要支援非認定者	1,935	89.4	6.9	2.7	1.0
	要支援1・2認定	78	47.4	10.3	37.2	5.1

④過去1年間に転んだ経験があるか（問12）

過去1年間に転んだ経験があるかでは、「ない」が72.3%で最も高く、以下、「1度ある」が19.8%、「何度もある」が6.6%となっています。



要介護度別にみると、「何どもある」や「1度ある」は、要支援1・2認定者で高くなっています。

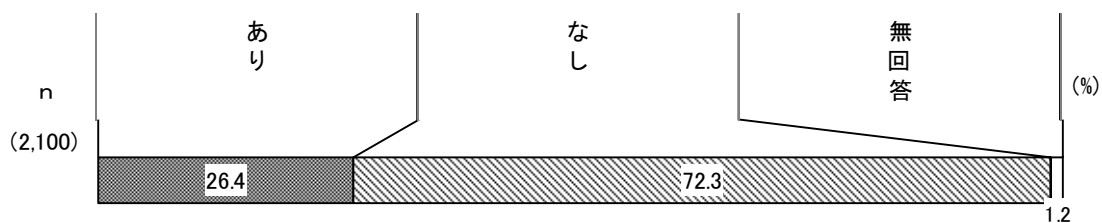
【過去1年間に転んだ経験があるか／要介護度別】

		n	何どもある (%)	1度ある (%)	ない (%)	無回答 (%)
全体		2,100	6.6	19.8	72.3	1.2
要介護度別	要支援非認定者	1,935	5.8	19.0	74.1	1.0
	要支援1・2認定	78	20.5	32.1	47.4	-

■転倒リスク

「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き（2022年8月 厚生労働省）」に基づき、「転倒リスクあり」に該当する高齢者の割合を算出しました。
 次の設問で該当した場合、「転倒リスクあり」に該当します。
 ・問12 過去1年間に転んだ経験があるか → 「何どもある」または「1度ある」

転倒リスク「あり」は、26.4%となっています。



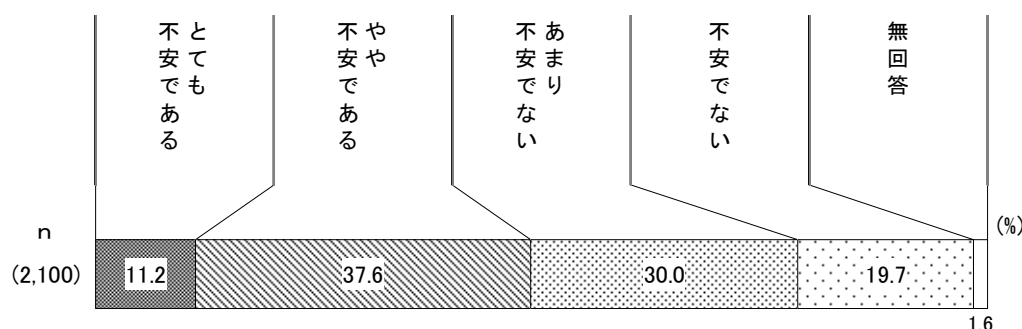
性/要支援別でみると、男女とも要支援1・2認定者は、転倒リスクが50%を超えています。
 年齢/要支援別でみると、年齢よりも要支援1・2認定の有無が転倒リスクに結びつく傾向にあります。
 圏域別では、特に目立った違いはありません。
 圏域/要支援別でみると、圏域による差は小さく、要支援1・2認定の有無がリスクに影響しています。

【転倒リスク～性/要支援別、年齢/要支援別、圏域別、圏域/要支援別】

		n	あり	なし	無回答
全体		2,100	26.4	72.3	1.2
性/要支援別	男性/要支援非認定者	846	22.6	76.5	0.9
	男性/要支援1・2認定者	25	52.0	48.0	-
	女性/要支援非認定者	1,089	26.6	72.3	1.1
	女性/要支援1・2認定者	53	52.8	47.2	-
年齢/要支援別	65～74歳/要支援非認定者	1,023	22.2	76.6	1.2
	75～84歳/要支援非認定者	688	26.0	73.5	0.4
	85歳以上/要支援非認定者	195	34.4	63.6	2.1
	65～74歳/要支援1・2認定者	6	66.7	33.3	-
	75～84歳/要支援1・2認定者	37	51.4	48.6	-
	85歳以上/要支援1・2認定者	35	51.4	48.6	-
圏域別	富坂地区	668	24.3	74.9	0.9
	大塚地区	476	26.1	72.3	1.7
	本富士地区	446	29.6	68.8	1.6
	駒込地区	510	26.9	72.2	1.0
圏域/要支援別	富坂地区 / 要支援非認定者	623	22.2	77.0	0.8
	大塚地区 / 要支援非認定者	434	24.2	74.2	1.6
	本富士地区 / 要支援非認定者	414	28.5	70.3	1.2
	駒込地区 / 要支援非認定者	464	25.9	73.5	0.6
	富坂地区 / 要支援1・2認定者	24	54.2	45.8	-
	大塚地区 / 要支援1・2認定者	20	50.0	50.0	-
	本富士地区 / 要支援1・2認定者	18	50.0	50.0	-
	駒込地区 / 要支援1・2認定者	16	56.3	43.8	-

⑤転倒に対する不安（問13）

転倒に対する不安では、「やや不安である」が37.6%で最も高く、以下、「あまり不安でない」が30.0%、「不安でない」が19.7%、「とても不安である」が11.2%、「無回答」が1.6%となっています。



要介護度別にみると、「とても不安である」と「やや不安である」を合わせた割合は、要支援1・2認定者で89.7%と極めて高くなっています。

【転倒に対する不安／要介護度別】

		n	(%)				
			とても不安である	やや不安である	あまり不安でない	不安でない	無回答
全体		2,100	11.2	37.6	30.0	19.7	1.6
要介護度別	要支援非認定者	1,935	9.5	37.4	31.2	20.7	1.3
	要支援1・2認定	78	35.9	53.8	7.7	-	2.6

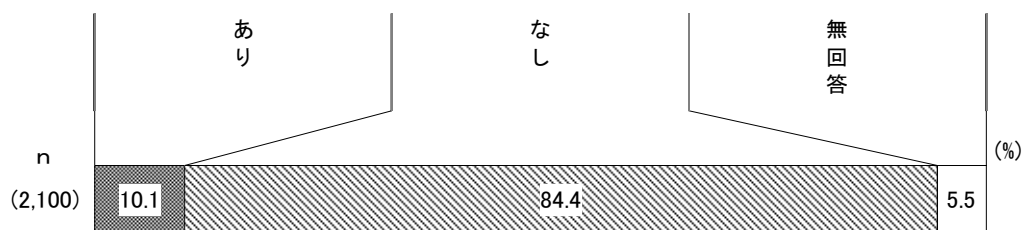
■運動器の機能低下

「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き（2022年8月 厚生労働省）」に基づき、「運動器の機能低下」に該当する高齢者の割合を算出しました。

次の5問中、3問以上該当した場合、「運動器の機能低下」に該当します。

- ・問9 階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか → 「できない」
- ・問10 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか → 「できない」
- ・問11 15分位続けて歩いているか → 「できない」
- ・問12 過去1年間に転んだ経験があるか → 「何度もある」または「1度ある」
- ・問13 転倒に対する不安 → 「とても不安である」または「やや不安である」

「運動器の機能低下」の該当は、10.1%となっています。



性/要支援別でみると、運動器の機能低下の割合が高いのは、「女性/要支援1・2認定者」の62.3%となっています。

年齢/要支援別でみると、75歳以上の要支援1・2認定者では、半数以上に機能低下がみられます。

圏域/要支援別でみると、いずれの圏域でも要支援1・2認定者で割合が高くなっています。

【運動器の機能低下～性/要支援別、年齢/要支援別、圏域別、圏域/要支援別】

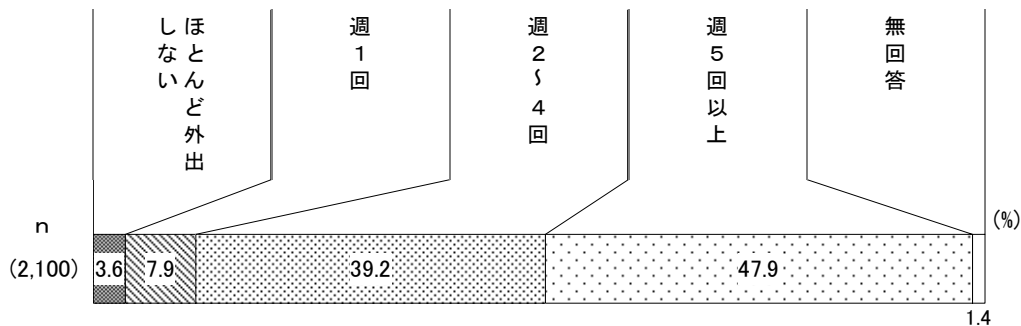
(%)

		n	あり	なし	無回答
全 体		2,100	10.1	84.4	5.5
性/要支援別	男性/要支援非認定者	846	5.6	91.1	3.3
	男性/要支援1・2認定者	25	40.0	52.0	8.0
	女性/要支援非認定者	1,089	9.9	86.1	3.9
	女性/要支援1・2認定者	53	62.3	28.3	9.4
年齢/要支援別	65～74歳/要支援非認定者	1,023	4.3	92.7	3.0
	75～84歳/要支援非認定者	688	9.2	86.5	4.4
	85歳以上/要支援非認定者	195	22.1	73.3	4.6
	65～74歳/要支援1・2認定者	6	33.3	66.7	-
	75～84歳/要支援1・2認定者	37	54.1	40.5	5.4
	85歳以上/要支援1・2認定者	35	60.0	25.7	14.3
圏域別	富坂地区	668	10.2	85.5	4.3
	大塚地区	476	10.7	81.7	7.6
	本富士地区	446	9.0	85.7	5.4
	駒込地区	510	10.4	84.3	5.3
圏域/要支援別	富坂地区 / 要支援非認定者	623	7.7	88.9	3.4
	大塚地区 / 要支援非認定者	434	8.5	86.2	5.3
	本富士地区/要支援非認定者	414	7.5	89.1	3.4
	駒込地区 / 要支援非認定者	464	8.4	88.8	2.8
	富坂地区 / 要支援1・2認定者	24	66.7	33.3	-
	大塚地区 / 要支援1・2認定者	20	60.0	40.0	-
	本富士地区/要支援1・2認定者	18	38.9	27.8	33.3
	駒込地区 / 要支援1・2認定者	16	50.0	43.8	6.3

問14、問15 外出

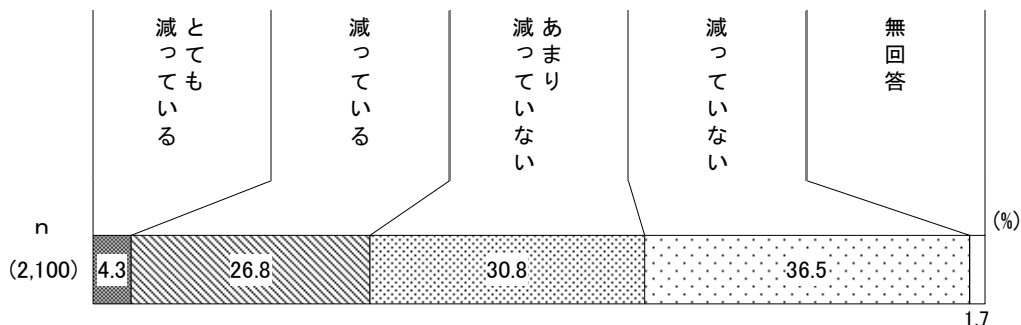
①週に1回以上の外出（問14）

週に1回以上は外出しているかでは、「週5回以上」が47.9%で最も高く、以下、「週2～4回」が39.2%、「週1回」が7.9%、「ほとんど外出しない」が3.6%となっています。



②外出頻度の昨年比（問15）

昨年と比べて外出の回数が減っているかでは、「減っていない」が36.5%で最も高く、以下、「あまり減っていない」が30.8%、「減っている」が26.8%、「とても減っている」が4.3%となっています。



要介護度別にみると、要支援非認定者では、「減っていない」が37.8%であるのに対して、要支援1・2認定者では、「減っている」が46.2%と半数近くとなっています。

【外出頻度の昨年比／要介護度別】

		n	とても減っている	減っている	あまり減っていない	減っていない	無回答
全体		2,100	4.3	26.8	30.8	36.5	1.7
要介護度別	要支援非認定者	1,935	3.7	26.5	30.7	37.8	1.3
	要支援1・2認定	78	12.8	46.2	24.4	12.8	3.8

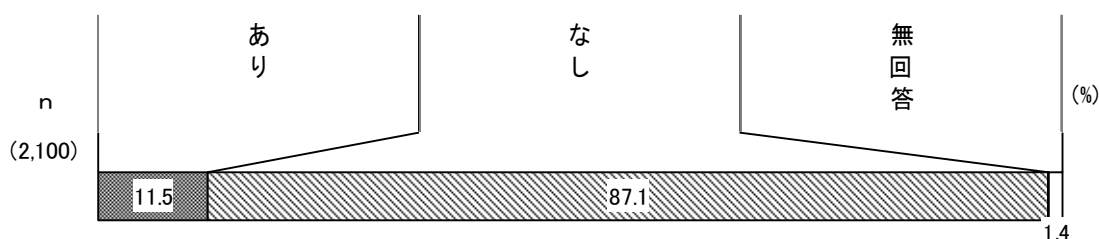
■閉じもり傾向

「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 実施の手引き（2022年8月 厚生労働省）」に基づき、「閉じこもり傾向」に該当する高齢者の割合を算出しました。

次の設問で該当した場合、「閉じこもり傾向」に該当します。

- ・問14 外出頻度 → 「ほとんど外出しない」または「週1回」

※「問15 外出頻度の昨年比」は、「閉じこもり傾向」の判定には使われていません。



性/要支援別でみると、閉じこもり傾向は、男女とも要支援1・2認定者で高くなる傾向にあります。

年齢/要支援別でみると、年齢が高くなるほど要支援非認定者も要支援1・2認定も閉じこもり傾向が強くなりますが、後者において、その傾向は顕著になっています。

圏域別では、特に目立った違いはありません。

圏域/要支援別でみると、圏域の違いよりも、要支援1・2認定者において、閉じこもり傾向が強くなっています。

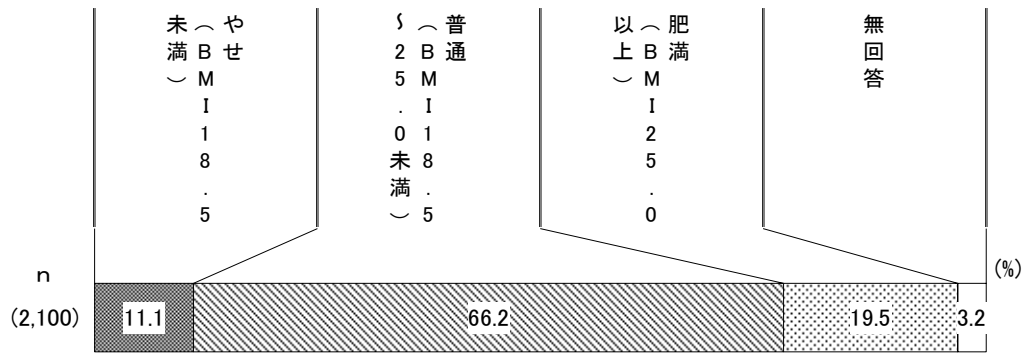
【閉じこもり傾向～性/要支援別、年齢/要支援別、圏域別、圏域/要支援別】

		n	あり (%)	なし (%)	無回答 (%)
全体		2,100	11.5	87.1	1.4
性/要支援別	男性/要支援非認定者	846	10.5	88.4	1.1
	男性/要支援1・2認定者	25	40.0	60.0	-
	女性/要支援非認定者	1,089	10.1	88.6	1.3
	女性/要支援1・2認定者	53	34.0	64.2	1.9
年齢/要支援別	65～74歳/要支援非認定者	1,023	5.5	93.5	1.1
	75～84歳/要支援非認定者	688	12.5	86.5	1.0
	85歳以上/要支援非認定者	195	27.2	70.3	2.6
	65～74歳/要支援1・2認定者	6	16.7	83.3	-
	75～84歳/要支援1・2認定者	37	29.7	67.6	2.7
	85歳以上/要支援1・2認定者	35	45.7	54.3	-
圏域別	富坂地区	668	10.6	88.0	1.3
	大塚地区	476	11.1	87.4	1.5
	本富士地区	446	13.9	84.1	2.0
	駒込地区	510	10.6	88.4	1.0
圏域/要支援別	富坂地区 / 要支援非認定者	623	9.1	89.7	1.1
	大塚地区 / 要支援非認定者	434	9.9	88.7	1.4
	本富士地区 / 要支援非認定者	414	12.8	85.5	1.7
	駒込地区 / 要支援非認定者	464	9.9	89.4	0.6
	富坂地区 / 要支援1・2認定者	24	41.7	54.2	4.2
	大塚地区 / 要支援1・2認定者	20	35.0	65.0	-
	本富士地区 / 要支援1・2認定者	18	38.9	61.1	-
	駒込地区 / 要支援1・2認定者	16	25.0	75.0	-

問16～問19 食べること

①BMI (問16)

身長、体重から算出するBMIでは、「普通 (BMI18.5～25.0未満)」が66.2%で最も高く、以下、「肥満 (BMI25.0以上)」が19.5%、「やせ (BMI18.5未満)」が11.1%となっています。



性/要支援別でみると、要支援の有無よりも男性は、「肥満」、女性は、「やせ」が比較的高くなっています。

年齢/要支援別でみると、年齢が高くなるほど要支援非認定者は、「やせ」がやや高くなり、「肥満」がやや低くなる傾向にあります。

圏域別では、特に目立った違いはありません。

圏域/要支援別でみると、各圏域の要支援1・2認定者数が少ないため、傾向がつかみにくくなっています。

要介護度別でみると、「やせ」や「肥満」は、要支援1・2認定者でやや高くなっています。

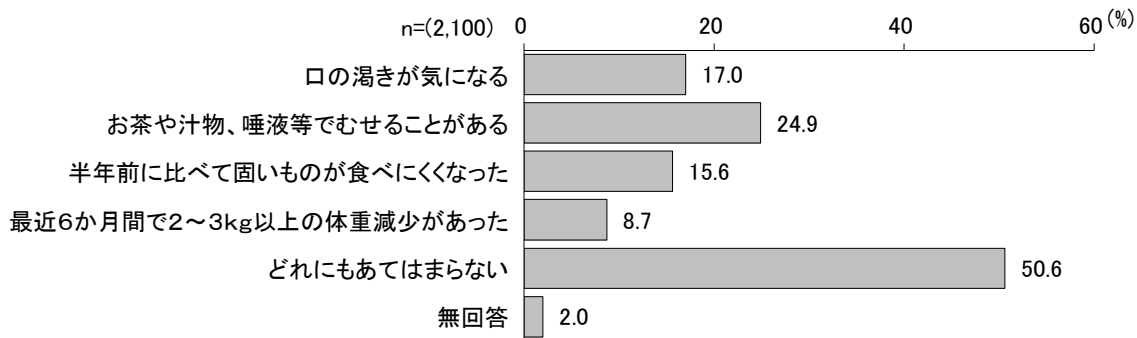
【BMI～性/要支援別、年齢/要支援別、圏域別、圏域/要支援別、要介護度別】

		n	やせ (BMI18.5未満)	普通 (BMI18.5～25.0未満)	肥満 (BMI25.0以上)	(%) 無回答
全体		2,100	11.1	66.2	19.5	3.2
性/要支援別	男性/要支援非認定者	846	5.2	68.6	24.3	1.9
	男性/要支援1・2認定者	25	8.0	60.0	28.0	4.0
	女性/要支援非認定者	1,089	15.0	66.1	15.4	3.5
	女性/要支援1・2認定者	53	18.9	56.6	18.9	5.7
年齢/要支援別	65～74歳/要支援非認定者	1,023	9.9	66.7	21.2	2.2
	75～84歳/要支援非認定者	688	11.5	67.9	18.5	2.2
	85歳以上/要支援非認定者	195	12.3	68.2	14.4	5.1
	65～74歳/要支援1・2認定者	6	16.7	50.0	33.3	-
	75～84歳/要支援1・2認定者	37	16.2	56.8	18.9	8.1
	85歳以上/要支援1・2認定者	35	14.3	60.0	22.9	2.9
圏域別	富坂地区	668	10.5	66.5	20.1	3.0
	大塚地区	476	10.3	68.3	17.4	4.0
	本富士地区	446	13.0	63.5	20.6	2.9
	駒込地区	510	11.2	66.3	19.6	2.9
圏域/要支援別	富坂地区 / 要支援非認定者	623	10.4	67.6	19.3	2.7
	大塚地区 / 要支援非認定者	434	9.9	70.0	16.8	3.2
	本富士地区 / 要支援非認定者	414	12.6	63.5	21.3	2.7
	駒込地区 / 要支援非認定者	464	10.1	67.2	20.0	2.6
	富坂地区 / 要支援1・2認定者	24	8.3	58.3	29.2	4.2
	大塚地区 / 要支援1・2認定者	20	15.0	55.0	15.0	15.0
	本富士地区 / 要支援1・2認定者	18	16.7	66.7	16.7	-
	駒込地区 / 要支援1・2認定者	16	25.0	50.0	25.0	-
要介護度別	要支援非認定者	1,935	10.7	67.2	19.3	2.8
	要支援1・2認定者	78	15.4	57.7	21.8	5.1

②食事・栄養や口腔について気になること（問17）

食事・栄養や口腔について気になることを聞いたところ、「どれにもあてはまらない」が50.6%と半数を超えているものの、「お茶や汁物、唾液等でむせることがある」が24.9%となっています。

（複数回答）



要介護度別でみると、「どれにもあてはまらない」割合は、要支援非認定者の52.0%に対して、要支援1・2認定者では、28.2%と低くなっています。

【食事・栄養や口腔について気になること／要介護度別】

		n	口の渇きが気になる	お茶や汁物、唾液等でむせることがある	半年前に比べて固いものが食べにくくなった	最近6か月間で2～3kg以上の体重減少があった	どれにもあてはまらない	無回答
全体		2,100	17.0	24.9	15.6	8.7	50.6	2.0
要介護度別	要支援非認定者	1,935	16.8	24.5	14.6	8.2	52.0	1.6
	要支援1・2認定	78	25.6	30.8	29.5	23.1	28.2	1.3

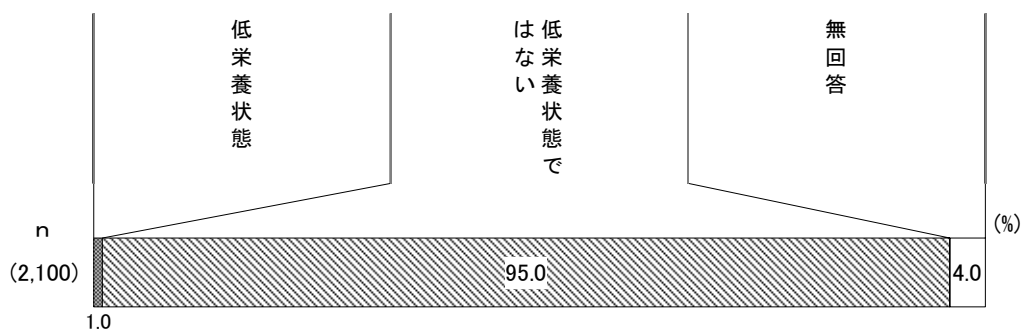
■低栄養状態

「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 実施の手引き（2022年8月 厚生労働省）」に基づき、「低栄養状態」に該当する高齢者の割合を算出しました。

次の2問中、2問両方に該当の場合、「低栄養状態」に該当します。

- ・問16 BMI（身長・体重から算出） → 「BMI < 18.5（やせ）」
- ・問17 食事・栄養や口腔について気になること → 「最近6か月間で2～3kg以上の体重減少があった」に回答

「低栄養状態」の該当は、1.0%となっています。



第3章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

性/要支援別でみると、「低栄養状態」は、女性/要支援1・2認定者で1.9%と他よりもわずかながら高い傾向にあります。

年齢/要支援別でみると、「低栄養状態」は、85歳以上/要支援1・2認定者で2.9%と他よりもわずかながら高い傾向にあります。

圏域別では、特に目立った違いはありません。

圏域/要支援別でみると、「低栄養状態」は、富坂地区/要支援1・2認定者で4.2%とやや高い傾向にあります。

【低栄養状態～性/要支援別、年齢/要支援別、圏域別、圏域/要支援別】

		n	低栄養状態	低栄養状態ではない	無回答
全体		2,100	1.0	95.0	4.0
性/要支援別	男性/要支援非認定者	846	0.7	96.7	2.6
	男性/要支援1・2認定者	25	-	96.0	4.0
	女性/要支援非認定者	1,089	1.1	94.7	4.2
	女性/要支援1・2認定者	53	1.9	92.5	5.7
年齢/要支援別	65～74歳/要支援非認定者	1,023	0.6	96.6	2.8
	75～84歳/要支援非認定者	688	1.3	95.9	2.8
	85歳以上/要支援非認定者	195	0.5	92.3	7.2
	65～74歳/要支援1・2認定者	6	-	100.0	-
	75～84歳/要支援1・2認定者	37	-	91.9	8.1
	85歳以上/要支援1・2認定者	35	2.9	94.3	2.9
圏域別	富坂地区	668	1.6	94.2	4.2
	大塚地区	476	0.6	94.5	4.8
	本富士地区	446	0.9	95.1	4.0
	駒込地区	510	0.6	96.3	3.1
圏域/要支援別	富坂地区 / 要支援非認定者	623	1.6	94.7	3.7
	大塚地区 / 要支援非認定者	434	0.2	95.9	3.9
	本富士地区/要支援非認定者	414	1.0	95.4	3.6
	駒込地区 / 要支援非認定者	464	0.6	96.6	2.8
	富坂地区 / 要支援1・2認定者	24	4.2	91.7	4.2
	大塚地区 / 要支援1・2認定者	20	-	85.0	15.0
	本富士地区/要支援1・2認定者	18	-	100.0	-
	駒込地区 / 要支援1・2認定者	16	-	100.0	-

■口腔機能の低下

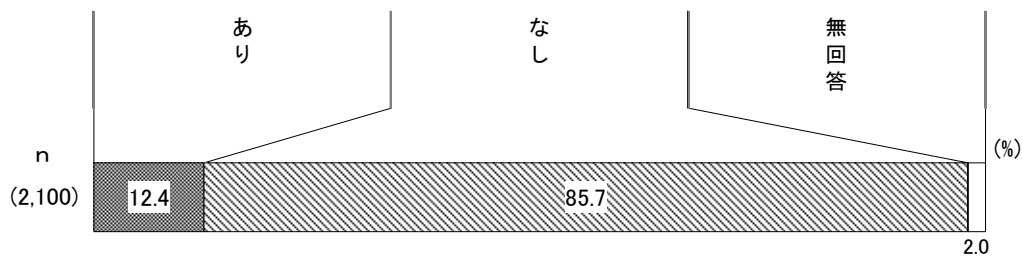
「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 実施の手引き（2022年8月 厚生労働省）」に基づき、「口腔機能の低下」に該当する高齢者の割合を算出しました。

次の設問で該当した場合、「口腔機能の低下」に該当します。

- ・問17 食事・栄養や口腔について気になること → 「口の渇きが気になる」、「お茶や汁物、唾液等でむせることがある」、「半年前に比べ固いものが食べにくくなった」の中で2項目以上に該当

※「問18 歯の数と入れ歯の利用状況」、「問19 共食の機会」は「口腔機能の低下」の判定には使われていません。

「口腔機能の低下」の該当は、12.4%となっています。



第3章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

性/要支援別でみると、機能低下「あり」は、男女とも要支援1・2認定者において高くなっています。

年齢/要支援別でみると、いずれの年齢層においても「あり」は、要支援1・2認定者において高くなっています。

圏域別では、特に目立った違いはありません。

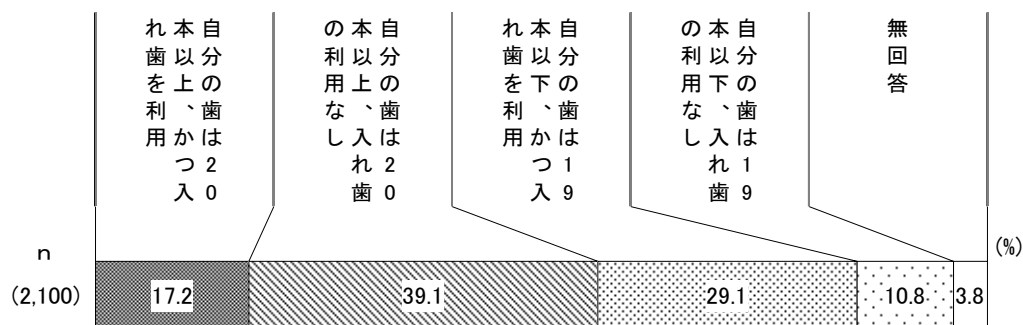
圏域/要支援別でみると、いずれの圏域においても「あり」は、要支援1・2認定者において高くなっています。

【口腔機能の低下・・・性/要支援別、年齢/要支援別、圏域別、圏域/要支援別】

		(%)			
		n	あり	なし	無回答
全体		2,100	12.4	85.7	2.0
性/要支援別	男性/要支援非認定者	846	11.3	87.1	1.5
	男性/要支援1・2認定者	25	24.0	76.0	-
	女性/要支援非認定者	1,089	11.8	86.6	1.6
	女性/要支援1・2認定者	53	22.6	75.5	1.9
年齢/要支援別	65～74歳/要支援非認定者	1,023	9.2	89.2	1.6
	75～84歳/要支援非認定者	688	14.4	84.6	1.0
	85歳以上/要支援非認定者	195	13.8	82.6	3.6
	65～74歳/要支援1・2認定者	6	33.3	66.7	-
	75～84歳/要支援1・2認定者	37	18.9	78.4	2.7
	85歳以上/要支援1・2認定者	35	25.7	74.3	-
圏域別	富坂地区	668	12.7	84.9	2.4
	大塚地区	476	10.5	87.6	1.9
	本富士地区	446	13.9	83.6	2.5
	駒込地区	510	12.4	86.7	1.0
圏域/要支援別	富坂地区 / 要支援非認定者	623	12.0	85.9	2.1
	大塚地区 / 要支援非認定者	434	9.9	88.7	1.4
	本富士地区/要支援非認定者	414	13.3	84.8	1.9
	駒込地区 / 要支援非認定者	464	11.2	88.1	0.6
	富坂地区 / 要支援1・2認定者	24	25.0	75.0	-
	大塚地区 / 要支援1・2認定者	20	20.0	75.0	5.0
	本富士地区/要支援1・2認定者	18	16.7	83.3	-
	駒込地区 / 要支援1・2認定者	16	31.3	68.8	-

③歯の数と入れ歯の利用状況（問18）

歯の数と入れ歯の利用状況では、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が39.1%で最も高く、以下、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が29.1%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が17.2%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が10.8%となっています。



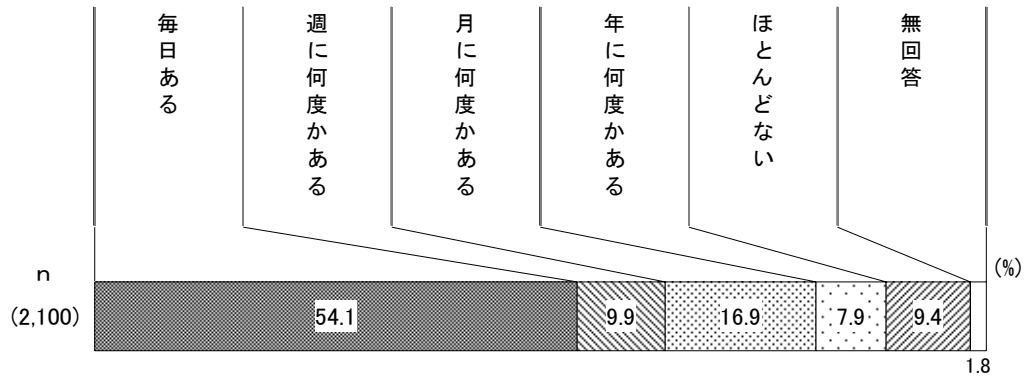
要介護度別で見ると、要支援非認定者は、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が40.6%、要支援1・2認定者は、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が41.0%でそれぞれ最も高くなっています。

【歯の数と入れ歯の利用状況／要介護度別】

		n	自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	無回答
全体		2,100	17.2	39.1	29.1	10.8	3.8
要介護度別	要支援非認定者	1,935	17.8	40.6	28.2	10.4	3.0
	要支援1・2認定	78	9.0	24.4	41.0	19.2	6.4

④共食の機会（問19）

誰かと食事をとにする機会では、「毎日ある」が54.1%で最も高く、以下、「月に何度かある」が16.9%、「週に何度かある」が9.9%、「ほとんどない」が9.4%となっています。



要介護度別で見ると、「毎日ある」割合は、要支援非認定者の55.7%に対して、要支援1・2認定者は37.2%であり、「ほとんどない」は、要支援1・2認定者で23.1%と高くなっています。

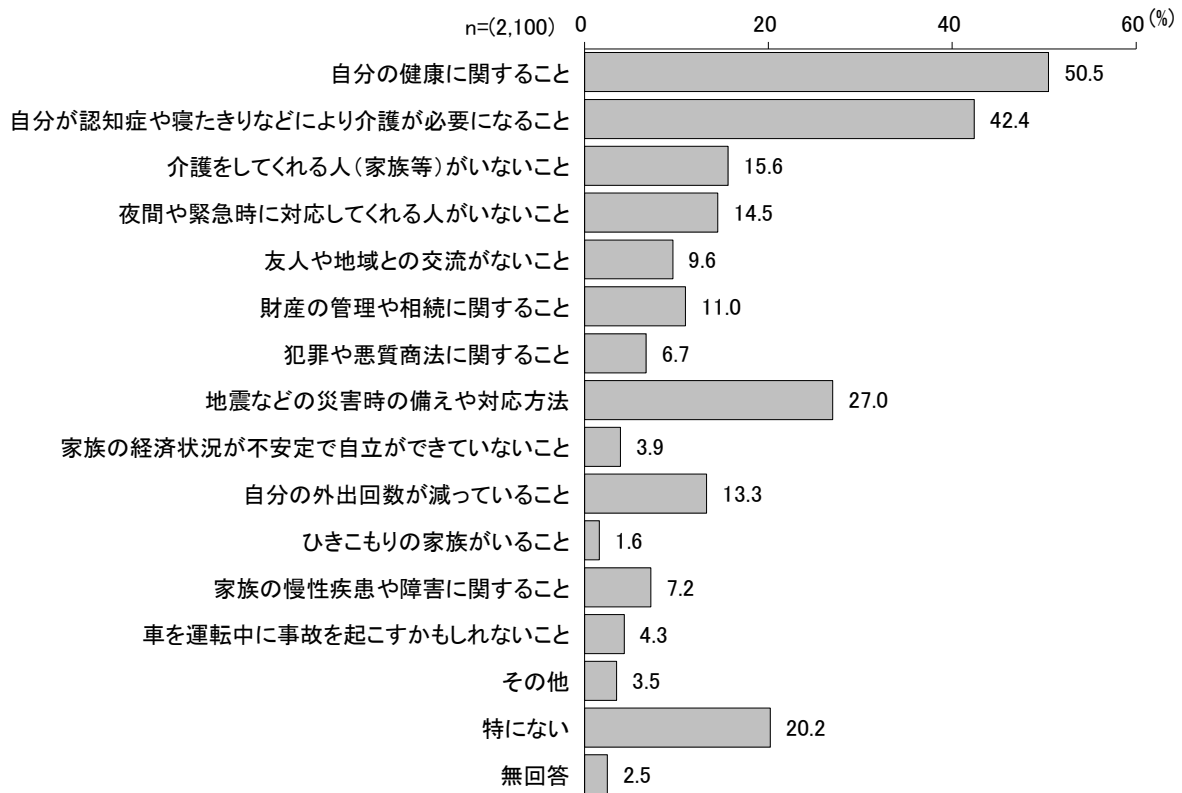
【共食の機会／要介護度別】

		n	（%）					無回答
			毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	
全体		2,100	54.1	9.9	16.9	7.9	9.4	1.8
要介護度別	要支援非認定者	1,935	55.7	9.9	16.5	7.7	8.7	1.6
	要支援1・2認定	78	37.2	10.3	15.4	11.5	23.1	2.6

問20 現在の生活での不安

現在の生活で不安に感じていることでは、「自分の健康に関すること」が50.5%で最も高く、以下、「自分が認知症や寝たきりなどにより介護が必要になること」が42.4%、「地震などの災害時の備えや対応方法」が27.0%、「介護をしてくれる人（家族等）がいないこと」が15.6%となっています。一方、「特にない」は、20.2%となっています。

（複数回答）



性別でみると、男性では、「自分の健康に関すること」が53.1%、女性は、「自分の健康に関すること」の48.5%と、「自分が認知症や寝たきりなどにより介護が必要になること」の46.4%が高くなっています。

年齢別でみると、「自分の健康に関すること」は、79歳以下で高くなっています。80歳以上では、「自分が認知症や寝たきりなどにより介護が必要になること」も同等の不安要因となっています。

圏域別でみると、本富士地区で「介護をしてくれる人（家族等）がいないこと」が19.1%、「夜間や緊急時に対応してくれる人がいないこと」が18.8%、「友人や地域との交流がないこと」が12.6%とやや高くなっています。

家族構成別でみると、1人暮らしで「介護をしてくれる人（家族等）がいないこと」が37.7%、「夜間や緊急時に対応してくれる人がいないこと」が43.3%と特に高くなっています。

健康感別でみると、健康がとても良い層では、「自分の健康に関すること」の18.2%よりも、「自分が認知症や寝たきりなどにより介護が必要になること」の23.1%や「特にない」の46.2%が高くなっています。

第3章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

【現在の生活での不安／性別、年齢別、圏域別、家族構成別、健康感別】

(%)

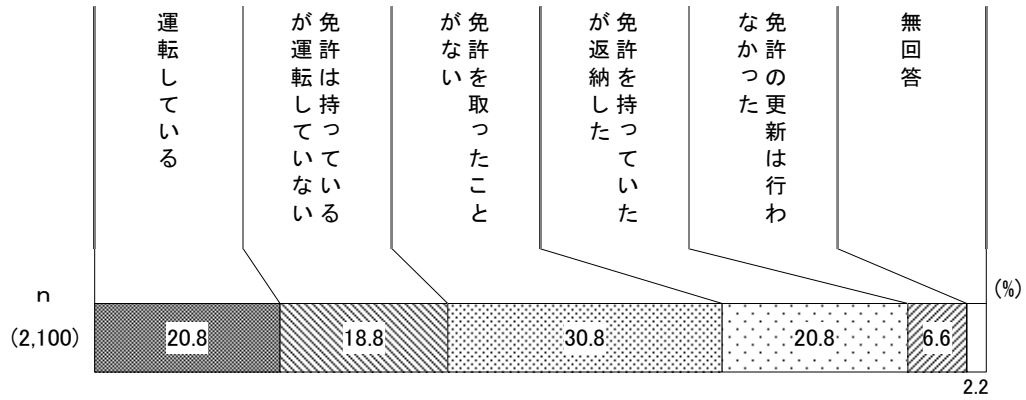
		n	自分の健康に関すること	自分が認知症や寝たきりなどにより介護が必要になること	介護をしてくれる人(家族等)がいないこと	夜間や緊急時に対応してくれる人がいないこと	友人や地域との交流がないこと	財産の管理や相続に関すること	犯罪や悪質商法に関すること	地震などの災害時の備えや対応方法	家族の経済状況が不安定で自立ができていないこと
全体		2,100	50.5	42.4	15.6	14.5	9.6	11.0	6.7	27.0	3.9
性別	男性	905	53.1	37.2	13.3	10.4	10.7	11.9	5.1	24.2	4.6
	女性	1,195	48.5	46.4	17.3	17.7	8.7	10.4	7.9	29.2	3.3
年齢別	65～69歳	464	45.7	38.4	15.1	10.8	9.5	14.4	6.7	29.3	5.4
	70～74歳	576	54.7	40.8	15.6	13.7	9.4	9.7	6.1	26.7	4.0
	75～79歳	458	49.8	41.9	12.0	13.3	8.7	10.0	3.9	25.8	2.8
	80～84歳	286	49.7	47.2	19.6	18.9	10.1	12.9	8.0	24.5	4.5
	85～89歳	191	54.5	55.0	16.8	18.8	11.0	7.9	9.9	30.4	3.1
	90歳以上	56	48.2	46.4	17.9	21.4	12.5	5.4	7.1	28.6	-
圏域別	富坂地区	668	51.8	43.6	14.4	12.6	8.8	9.6	6.7	27.1	3.9
	大塚地区	476	49.6	41.6	14.5	13.0	8.2	11.6	6.1	26.9	3.8
	本富士地区	446	48.7	43.7	19.1	18.8	12.6	10.8	7.8	25.1	4.7
	駒込地区	510	51.4	40.6	15.1	14.7	9.2	12.7	6.1	28.8	3.1
家族構成別	1人暮らし	536	51.9	51.1	37.7	43.3	14.9	14.0	8.0	30.0	1.5
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	763	52.8	39.3	7.5	5.4	8.0	11.3	5.2	26.1	2.1
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	78	44.9	33.3	5.1	-	9.0	9.0	6.4	24.4	3.8
	息子・娘との2世帯	476	49.6	44.1	7.4	2.9	6.5	8.8	8.0	29.0	8.6
	その他	174	46.0	32.8	12.1	6.9	8.6	10.3	4.6	21.3	5.7
健康感別	とても良い	247	18.2	23.1	8.5	9.3	5.3	6.9	3.2	16.6	2.4
	まあ良い	1,426	49.0	43.2	14.0	13.7	8.6	10.5	6.2	27.1	3.7
	あまり良くない	291	81.1	54.0	25.1	22.7	16.8	16.2	8.6	33.3	4.8
	良くない	51	92.2	56.9	41.2	23.5	17.6	17.6	11.8	39.2	11.8

		自分の外出回数が減っていること	ひきこもりの家族がいること	家族の慢性疾患や障害に関すること	車を運転中に事故を起こすかもしれないこと	その他	特になし	無回答
全体		13.3	1.6	7.2	4.3	3.5	20.2	2.5
性別	男性	12.4	2.1	7.7	7.8	2.4	21.0	2.8
	女性	14.1	1.2	6.8	1.7	4.3	19.7	2.3
年齢別	65～69歳	6.3	1.9	7.3	6.0	5.0	25.0	0.6
	70～74歳	9.7	1.4	8.0	5.6	3.3	17.7	2.8
	75～79歳	14.4	1.5	7.2	4.4	2.6	21.6	2.2
	80～84歳	17.8	2.1	8.0	2.1	3.5	18.9	3.1
	85～89歳	23.6	1.0	5.2	1.0	3.1	13.6	3.1
	90歳以上	39.3	-	1.8	1.8	-	26.8	-
圏域別	富坂地区	13.3	1.6	6.6	4.3	3.6	18.4	2.4
	大塚地区	13.2	1.5	7.1	4.0	3.2	21.4	3.2
	本富士地区	13.9	1.3	9.0	3.4	2.9	21.1	2.5
	駒込地区	12.9	1.8	6.5	5.5	4.1	20.8	2.0
家族構成別	1人暮らし	15.9	-	1.7	2.1	3.5	15.3	2.2
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	13.1	1.0	9.6	6.4	2.9	22.0	2.8
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	7.7	-	2.6	7.7	1.3	24.4	1.3
	息子・娘との2世帯	14.9	3.8	8.8	3.2	3.6	20.4	0.8
	その他	6.3	3.4	12.6	5.2	6.9	26.4	1.1
健康感別	とても良い	2.4	1.2	3.6	2.4	1.6	46.2	2.8
	まあ良い	10.0	1.5	6.3	4.8	2.8	19.6	2.0
	あまり良くない	33.0	1.7	13.1	3.1	6.9	4.8	1.0
	良くない	52.9	3.9	15.7	7.8	5.9	3.9	-

※「健康感別」は、「問43 現在の健康状態」の回答結果です。

問21 運転状況

現在車の運転をしているかでは、「免許を取ったことがない」が30.8%で最も高く、以下、「運転している」が20.8%、「免許を持っていたが返納した」が20.8%、「免許は持っているが運転していない」が18.8%となっています。



第3章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

性別で見ると、男性は、「運転している」が38.7%、女性は、「免許を取ったことがない」が45.8%と高くなっています。

年齢別で見ると、「運転している」は、低年齢層ほど、一方、「免許を取ったことがない」は、高年齢層ほど高くなっています。

圏域別で見ると、「運転している」は、本富士地区で17.0%と他地区よりも低くなっています。

家族構成別で見ると、夫婦2人暮らしは、配偶者の年齢によらず、「運転している」が、それ以外の構成では、「免許を取ったことがない」が最も高くなっています。

介護経験の有無別で見ると、現在、介護をしている人は、「運転している」が23.2%、「免許は持っているが運転していない」が26.8%、「免許を取ったことがない」が26.8%とそれぞれ近い割合となっています。

階段の昇り状況別で見ると、「運転している」と「免許は持っているが運転していない」は、昇り状況が良好なほど高く、一方、「免許を取ったことがない」と「免許を持っていたが返納した」では、低くなっています。

【運転状況／性別、年齢別、圏域別、家族構成別、介護経験の有無別、階段の昇り状況別】

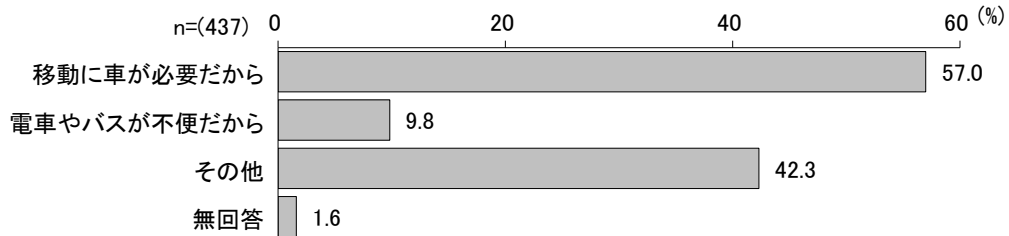
(%)

		n	運転している	免許は持っているが運転していない	免許を取ったことがない	免許を持っていたが返納した	免許の更新は行わなかった	無回答
全体		2,100	20.8	18.8	30.8	20.8	6.6	2.2
性別	男性	905	38.7	21.9	10.9	21.3	5.3	1.9
	女性	1,195	7.3	16.5	45.8	20.4	7.5	2.5
年齢別	65～69歳	464	31.9	44.4	17.7	2.8	2.8	0.4
	70～74歳	576	26.0	22.7	28.5	16.5	4.9	1.4
	75～79歳	458	19.0	5.9	32.8	33.6	7.4	1.3
	80～84歳	286	11.2	7.7	34.3	32.2	11.2	3.5
	85～89歳	191	4.2	2.1	47.6	31.4	7.3	7.3
	90歳以上	56	3.6	1.8	69.6	12.5	12.5	-
圏域別	富坂地区	668	21.0	17.5	32.3	19.5	7.3	2.4
	大塚地区	476	22.1	20.0	27.1	22.1	6.5	2.3
	本富士地区	446	17.0	17.9	32.3	23.1	6.3	3.4
	駒込地区	510	22.7	20.2	30.8	19.4	5.9	1.0
家族構成別	1人暮らし	536	8.0	18.5	37.5	23.9	9.1	3.0
	夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	763	26.2	22.3	24.1	20.6	5.1	1.7
	夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	78	50.0	30.8	9.0	7.7	1.3	1.3
	息子・娘との2世帯	476	20.0	13.7	36.6	21.0	6.9	1.9
	その他	174	24.7	19.5	33.3	17.2	5.2	-
介護経験の有無別	現在、介護をしている	138	23.2	26.8	26.8	15.2	5.8	2.2
	過去、介護をしたことがあるが、今はしていない	860	18.6	19.2	34.1	19.5	7.0	1.6
	介護をしたことがない	1,006	23.2	18.4	27.9	23.0	5.9	1.7
階段の昇り状況別	できるし、している	1,331	24.5	22.8	25.5	19.8	6.0	1.4
	できるけれどしていない	429	18.9	14.2	35.7	22.8	5.4	3.0
	できない	288	7.3	9.4	46.9	24.3	10.1	2.1

問21-1 運転している理由

運転している主な理由では、「移動に車が必要だから」が57.0%で最も高く、以下、「電車やバスが不便だから」が9.8%となっています。

(複数回答)



性別及び年齢別では、特に目立った違いはありません。
 圏域別でみると、大塚地区では、「移動に車が必要だから」が45.7%と唯一半数未満となっています。
 家族構成別でみると、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）では、「移動に車が必要だから」が43.6%と唯一半数未満となっています。

【運転している理由／性別、年齢別、圏域別、家族構成別】

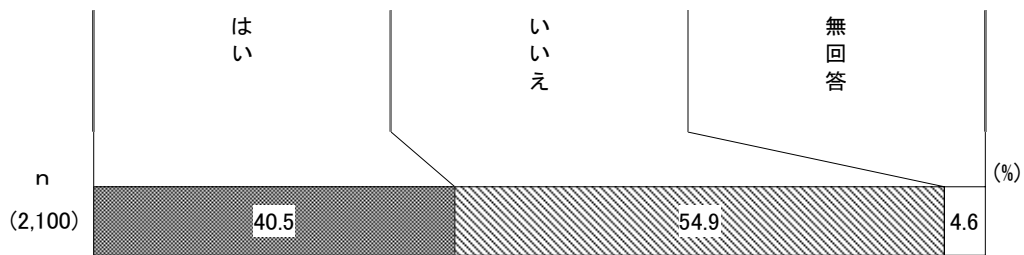
		n	移動に車が必要だから	電車やバスが不便だから	その他	無回答
全体		437	57.0	9.8	42.3	1.6
性別	男性	350	57.7	10.6	40.0	1.4
	女性	87	54.0	6.9	51.7	2.3
年齢別	65～69歳	148	56.1	10.8	42.6	0.7
	70～74歳	150	56.7	12.0	42.0	2.0
	75～79歳	87	59.8	9.2	41.4	-
	80～84歳	32	56.3	3.1	43.8	9.4
	85～89歳	8	75.0	-	25.0	-
	90歳以上	2	50.0	-	50.0	-
圏域別	富坂地区	140	67.9	10.0	34.3	2.9
	大塚地区	105	45.7	6.7	52.4	1.0
	本富士地区	76	59.2	5.3	42.1	2.6
	駒込地区	116	52.6	15.5	43.1	-
家族構成別	1人暮らし	43	58.1	9.3	46.5	2.3
	夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	200	59.5	11.0	40.0	1.5
	夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	39	43.6	28.2	48.7	-
	息子・娘との2世帯	95	56.8	4.2	43.2	3.2
	その他	43	58.1	4.7	39.5	-

問22 物忘れ

物忘れが多いと感じるかでは、「いいえ」が54.9%、「はい」が40.5%となっています。

■認知機能の低下

「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 実施の手引き（2022年8月 厚生労働省）」に基づき、「認知機能の低下」に該当する高齢者の割合を算出しました。
 次の設問で該当した場合、「認知機能の低下」に該当します。
 ・問22 物忘れが多いと感じるか → 「はい」



要介護度別でみると、物忘れが多いと感じるのは、要支援1・2認定者で48.7%と、要支援非認定者の40.2%を上回っています。

【物忘れ／要介護度別】

		n	(%)		
			はい	いいえ	無回答
全体		2,100	40.5	54.9	4.6
要介護度別	要支援非認定者	1,935	40.2	56.0	3.8
	要支援1・2認定	78	48.7	39.7	11.5

性/要支援別でみると、認知機能低下がある割合は、男女とも要支援1・2認定者において高くなっています。

年齢/要支援別でみると、85歳以上になると機能低下がある割合が高くなり、その傾向は、要支援1・2認定者で強くなっています。

圏域別では、特に目立った違いはありません。

圏域/要支援別でみると、いずれの圏域でも要支援非認定者は低下がない割合が高く、要支援1・2認定者では、低下がある割合が高くなる傾向にあります。

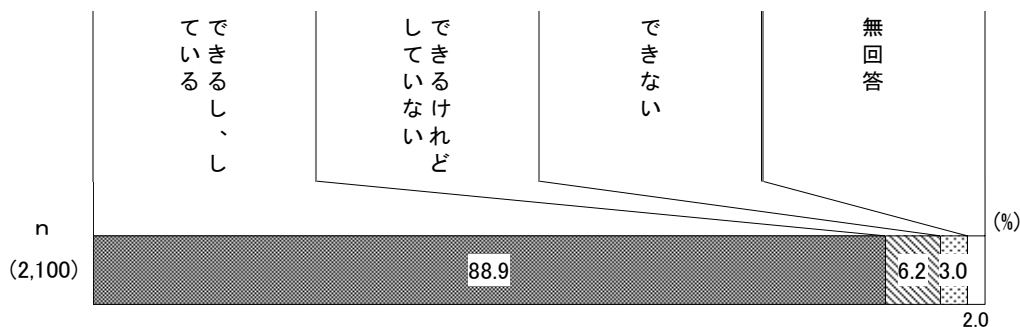
【認知機能の低下～性/要支援別、年齢/要支援別、圏域別、圏域/要支援別】

		n	（％）		
			あり	なし	無回答
全体		2,100	40.5	54.9	4.6
性/要支援別	男性/要支援非認定者	846	38.3	59.3	2.4
	男性/要支援1・2認定者	25	48.0	48.0	4.0
	女性/要支援非認定者	1,089	41.7	53.4	4.9
	女性/要支援1・2認定者	53	49.1	35.8	15.1
年齢/要支援別	65～74歳/要支援非認定者	1,023	37.0	60.2	2.7
	75～84歳/要支援非認定者	688	42.0	53.5	4.5
	85歳以上/要支援非認定者	195	49.2	44.6	6.2
	65～74歳/要支援1・2認定者	6	50.0	50.0	-
	75～84歳/要支援1・2認定者	37	43.2	43.2	13.5
	85歳以上/要支援1・2認定者	35	54.3	34.3	11.4
圏域別	富坂地区	668	39.7	54.6	5.7
	大塚地区	476	42.9	52.3	4.8
	本富士地区	446	40.1	54.5	5.4
	駒込地区	510	39.8	57.8	2.4
圏域/要支援別	富坂地区 / 要支援非認定者	623	39.8	55.5	4.7
	大塚地区 / 要支援非認定者	434	42.4	53.9	3.7
	本富士地区 / 要支援非認定者	414	38.9	56.3	4.8
	駒込地区 / 要支援非認定者	464	39.9	58.4	1.7
	富坂地区 / 要支援1・2認定者	24	41.7	37.5	20.8
	大塚地区 / 要支援1・2認定者	20	55.0	35.0	10.0
	本富士地区 / 要支援1・2認定者	18	55.6	33.3	11.1
	駒込地区 / 要支援1・2認定者	16	43.8	56.3	-

問23～問27 日常生活動作

①バスや電車を使って1人での外出（問23）

バスや電車を使って1人で外出しているかでは、「できるし、している」が88.9%で最も高く、以下、「できるけれどしていない」が6.2%、「できない」が3.0%となっています。



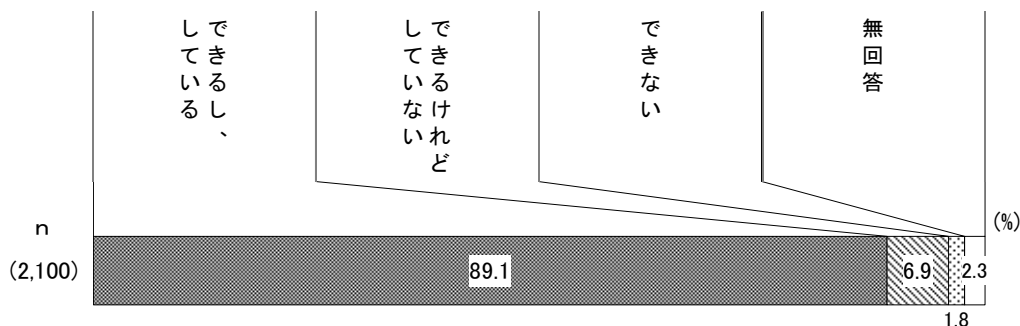
要介護度別でみると、要支援非認定者では、「できるし、している」が88.9%を占めています。要支援1・2認定者では、51.3%にとどまり、「できない」が24.4%となっています。

【バスや電車を使って1人での外出／要介護度別】

		n	(%)			
			できるし、している	できるけれどしていない	できない	無回答
全体		2,100	88.9	6.2	3.0	2.0
要介護度別	要支援非認定者	1,935	90.9	5.7	2.0	1.4
	要支援1・2認定	78	51.3	17.9	24.4	6.4

②食品・日用品の買物（問24）

自分で食品・日用品の買物をしているかでは、「できるし、している」が89.1%で最も高く、以下、「できるけれどしていない」が6.9%、「できない」が1.8%となっています。



要介護度別で見ると、要支援非認定者では、「できるし、している」が90.5%を占めています
が、要支援1・2認定者では、66.7%で、「できない」が12.8%となっています。

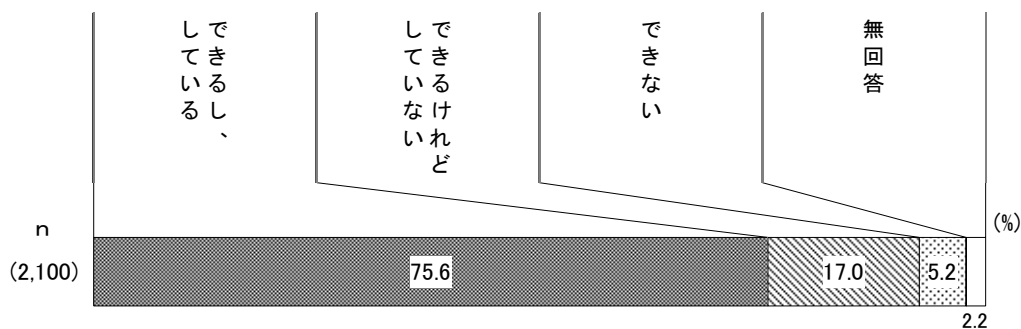
【食品・日用品の買物／要介護度別】

(%)

	n	できる し、し ている	できる けれど してい ない	できな い	無回答
全 体	2,100	89.1	6.9	1.8	2.3
要介護 度別					
要支援非認定者	1,935	90.5	6.6	1.2	1.7
要支援1・2認定	78	66.7	12.8	12.8	7.7

③食事の準備 (問25)

自分で食事の用意をしているかでは、「できるし、している」が75.6%で最も高く、以下、
「できるけれどしていない」が17.0%、「できない」が5.2%となっています。



要介護度別で見ると、要支援非認定者では、「できるし、している」が76.3%に対して、要支
援1・2認定者では、66.7%で、「できない」が14.1%となっています。

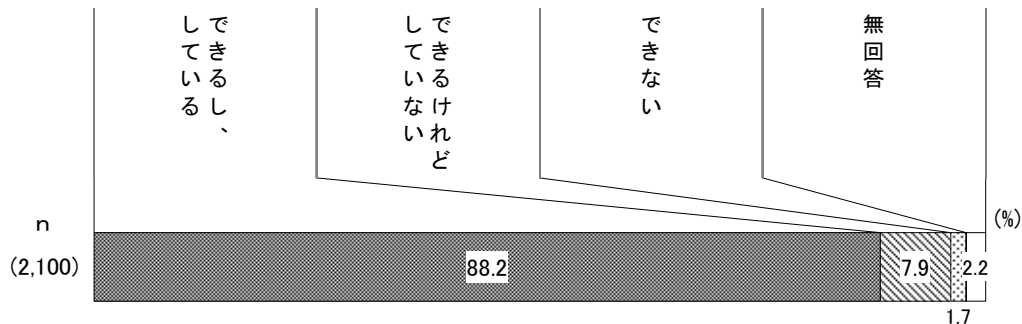
【食事の準備／要介護度別】

(%)

	n	できる し、し ている	できる けれど してい ない	できな い	無回答
全 体	2,100	75.6	17.0	5.2	2.2
要介護 度別					
要支援非認定者	1,935	76.3	17.3	4.9	1.6
要支援1・2認定	78	66.7	12.8	14.1	6.4

④請求書の支払い（問26）

自分で請求書の支払いをしているかでは、「できるし、している」が88.2%で最も高く、以下、「できるけれどしていない」が7.9%、「できない」が1.7%となっています。



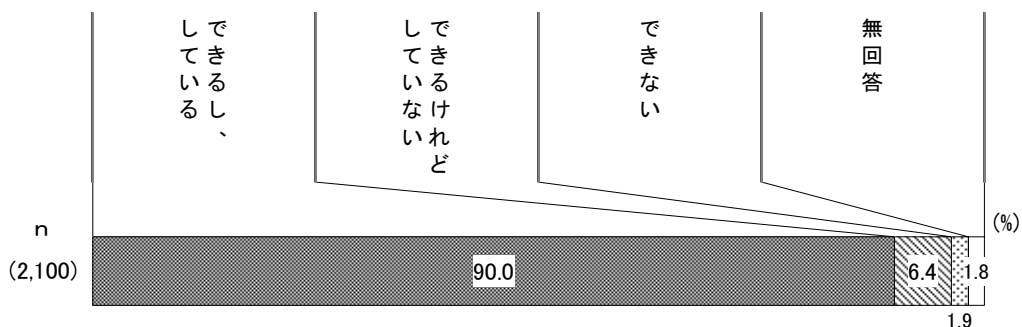
要介護度別で見ると、要支援非認定者では、「できるし、している」が89.6%に対して、要支援1・2認定者では、61.5%で、「できるけれどしていない」が24.4%となっています。

【請求書の支払い／要介護度別】

		n	できるし、している	できるけれどしていない	できない	無回答
全体		2,100	88.2	7.9	1.7	2.2
要介護度別	要支援非認定者	1,935	89.6	7.3	1.5	1.6
	要支援1・2認定	78	61.5	24.4	6.4	7.7

⑤預貯金の出し入れ（問27）

自分で預貯金の出し入れをしているかでは、「できるし、している」が90.0%で最も高く、以下、「できるけれどしていない」が6.4%、「できない」が1.9%となっています。



要介護度別で見ると、要支援非認定者では、「できるし、している」が91.2%を占めていますが、要支援1・2認定者では、74.4%で、「できない」が11.5%となっています。

【預貯金の出し入れ／要介護度別】

(%)

	n	できるし、している	できるけれどしていない	できない	無回答
全体	2,100	90.0	6.4	1.9	1.8
要介護度別					
要支援非認定者	1,935	91.2	6.1	1.4	1.3
要支援1・2認定	78	74.4	9.0	11.5	5.1

■手段的ADLの低下

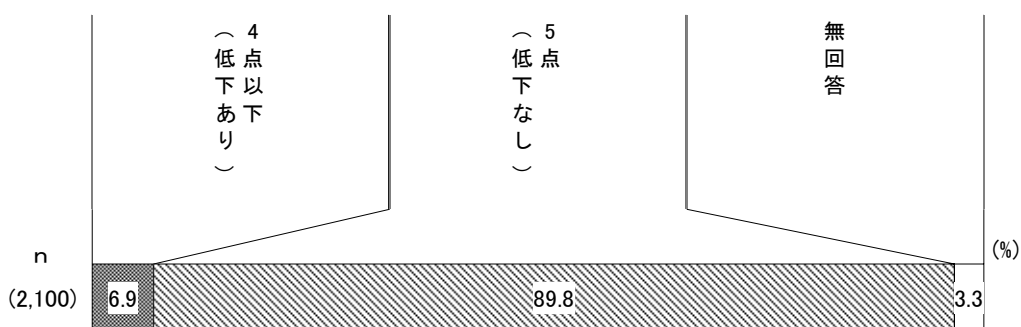
「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 実施の手引き（2022年8月 厚生労働省）」に基づき、「手段的ADLの低下」に該当する高齢者の割合を算出しました。

次の5問で、それぞれ「できない」が0点、「それ以外」が1点とし、5点満点中4点以下が「低下者」に該当します。

- ・問23 バスや電車を使って1人で外出しているか
- ・問24 自分で食品・日用品の買物をしているか
- ・問25 自分で食事の用意をしているか
- ・問26 自分で請求書の支払いをしているか
- ・問27 自分で預貯金の出し入れをしているか

※手段的ADL（Instrumental Activity of Daily Living：手段的日常生活動作）とは、日常生活を送る上で必要な動作の中で、ADL（日常生活動作）より高度なものです（交通機関の利用、買い物、家事、金銭管理などの動作・行動）。

「低下者」に該当する「4点以下」は、6.9%となっています。



第3章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

性/要支援別でみると、「4点以下」は、男女とも要支援1・2認定者で高く、女性よりも男性の方がやや高くなっています。

年齢/要支援別でみると、「4点以下」は、高年齢層、要支援1・2認定者で高くなっています。

圏域別では、特に目立った違いはありません。

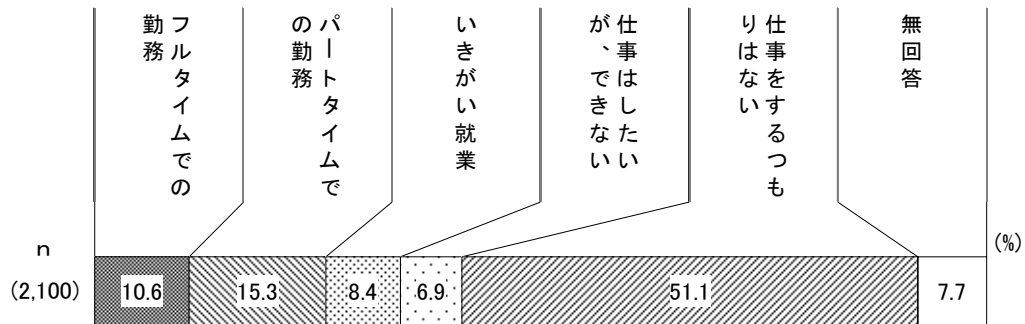
圏域/要支援別でみると、「4点以下」は、本富士地区の要支援1・2認定者で33.3%と高くなっています。

【手段的ADLの低下～性/要支援別、年齢/要支援別、圏域別、圏域/要支援別】

		n	4点以下 (低下あり)	5点 (低下なし)	無回答
全体		2,100	6.9	89.8	3.3
性/要支援別	男性/要支援非認定者	846	10.6	86.4	3.0
	男性/要支援1・2認定者	25	28.0	68.0	4.0
	女性/要支援非認定者	1,089	2.6	95.4	2.0
	女性/要支援1・2認定者	53	22.6	62.3	15.1
年齢/要支援別	65～74歳/要支援非認定者	1,023	3.2	95.2	1.6
	75～84歳/要支援非認定者	688	8.4	88.5	3.1
	85歳以上/要支援非認定者	195	13.3	81.5	5.1
	65～74歳/要支援1・2認定者	6	-	100.0	-
	75～84歳/要支援1・2認定者	37	13.5	73.0	13.5
	85歳以上/要支援1・2認定者	35	40.0	48.6	11.4
圏域別	富坂地区	668	6.6	90.0	3.4
	大塚地区	476	6.9	89.3	3.8
	本富士地区	446	7.4	88.1	4.5
	駒込地区	510	6.9	91.4	1.8
圏域/要支援別	富坂地区 / 要支援非認定者	623	5.9	91.7	2.4
	大塚地区 / 要支援非認定者	434	6.2	91.5	2.3
	本富士地区 / 要支援非認定者	414	6.0	90.1	3.9
	駒込地区 / 要支援非認定者	464	6.3	92.5	1.3
	富坂地区 / 要支援1・2認定者	24	20.8	66.7	12.5
	大塚地区 / 要支援1・2認定者	20	25.0	55.0	20.0
	本富士地区 / 要支援1・2認定者	18	33.3	55.6	11.1
	駒込地区 / 要支援1・2認定者	16	18.8	81.3	-

問28 働き方の希望

働き方の希望では、「仕事をするつもりはない」が51.1%で最も高く、以下、「パートタイムでの勤務」が15.3%、「フルタイムでの勤務」が10.6%、「いきがい就業」が8.4%となっています。



性別で見ると、「仕事をするつもりはない」は、男性の41.9%に対して、女性は58.2%と高くなっています。

年齢別で見ると、65～69歳では、「パートタイムでの勤務」が30.4%、それ以上の年齢層では、いずれも「仕事をするつもりはない」が最も高くなっています。

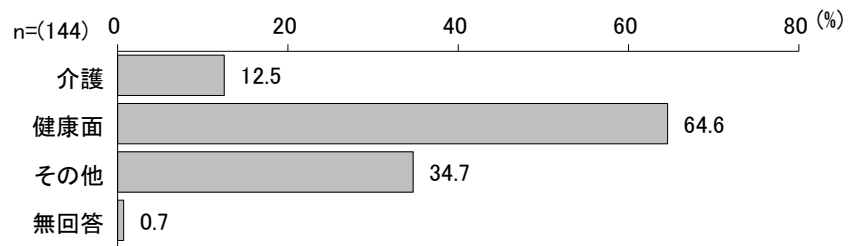
圏域別で見ると、「仕事をするつもりはない」は、大塚地区で47.3%と唯一5割未満となっています。

【働き方の希望／性別、年齢別、圏域別】

		n	フルタイムでの勤務	パートタイムでの勤務	いきがい就業	仕事はしたいが、できない	仕事をするつもりはない	無回答
全体		2,100	10.6	15.3	8.4	6.9	51.1	7.7
性別	男性	905	17.3	17.3	9.8	6.7	41.9	6.9
	女性	1,195	5.4	13.8	7.4	6.9	58.2	8.3
年齢別	65～69歳	464	20.7	30.4	9.9	6.0	29.3	3.7
	70～74歳	576	13.2	19.1	9.5	6.9	45.3	5.9
	75～79歳	458	7.0	10.0	8.3	7.0	61.1	6.6
	80～84歳	286	2.8	3.8	8.4	7.0	65.0	12.9
	85～89歳	191	3.7	3.1	2.6	8.9	67.5	14.1
	90歳以上	56	-	1.8	3.6	8.9	80.4	5.4
圏域別	富坂地区	668	10.9	13.8	8.5	5.7	53.6	7.5
	大塚地区	476	10.5	17.0	10.3	5.7	47.3	9.2
	本富士地区	446	8.5	15.0	7.4	9.4	50.4	9.2
	駒込地区	510	12.0	16.1	7.5	7.3	52.2	5.1

(仕事ができない理由)

仕事ができない理由としては、「健康面」が64.6%と高くなっています。



性別でみると、「健康面」が男女とも最も高くなっています。

年齢別でみると、高年齢層になると、「健康面」以外の理由も高くなる傾向にあります。

圏域別でみると、本富士地区と駒込地区では、「健康面」がやや低くなっています。

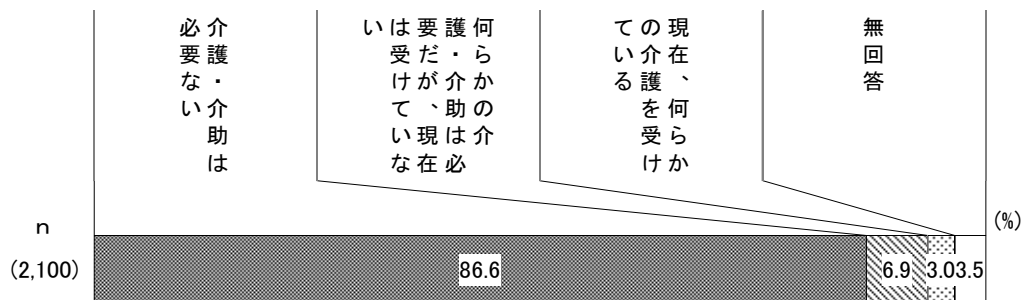
【仕事ができない理由／性別、年齢別、圏域別】

		n	介護	健康面	その他	無回答
全体		144	12.5	64.6	34.7	0.7
性別	男性	61	11.5	62.3	37.7	1.6
	女性	83	13.3	66.3	32.5	-
年齢別	65～69歳	28	32.1	60.7	32.1	-
	70～74歳	40	10.0	77.5	20.0	-
	75～79歳	32	-	68.8	31.3	3.1
	80～84歳	20	15.0	50.0	50.0	-
	85～89歳	17	11.8	52.9	58.8	-
	90歳以上	5	-	40.0	60.0	-
圏域別	富坂地区	38	15.8	73.7	28.9	-
	大塚地区	27	14.8	77.8	37.0	-
	本富士地区	42	7.1	59.5	38.1	-
	駒込地区	37	13.5	51.4	35.1	2.7

5. 介護等

問29 介護・介助の必要性の有無

普段の生活でどなたかの介護・介助が必要かでは、「介護・介助は必要ない」が86.6%で最も高く、以下、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が6.9%、「現在、何らかの介護を受けている」が3.0%となっています。



性別及び圏域別では、特に目立った違いはありません。

年齢別でみると、年齢層が高くなるほど「介護・介助は必要ない」が低く、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が高くなっており、90歳以上では、「現在、何らかの介護を受けている」が19.6%となっています。

家族構成別でみると、1人暮らしは、「介護・介助は必要ない」が82.1%で、他の家族構成に比べて低くなっています。

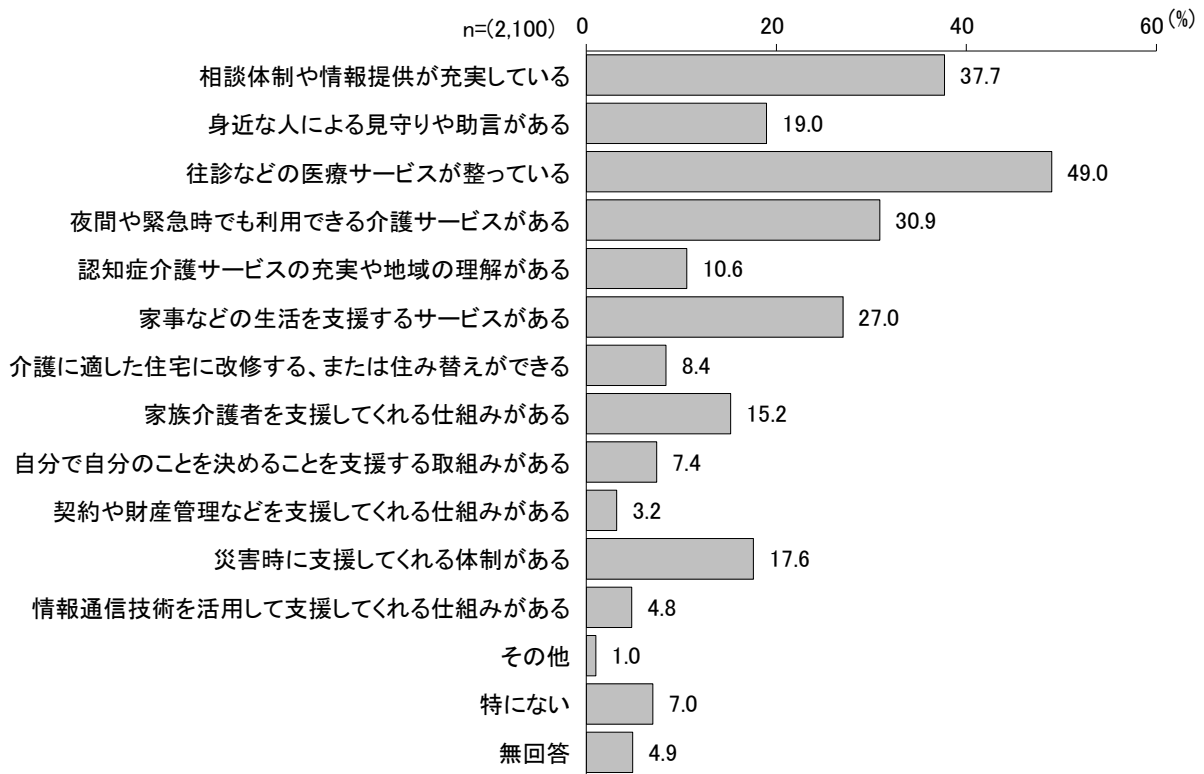
【介護・介助の必要性の有無／性別、年齢別、圏域別、家族構成別】

		n	介護・介助は必要ない (%)	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない (%)	現在、何らかの介護を受けている (%)	無回答 (%)
全体		2,100	86.6	6.9	3.0	3.5
性別	男性	905	88.5	6.6	1.9	3.0
	女性	1,195	85.2	7.1	3.8	3.9
年齢別	65～69歳	464	95.5	2.2	1.1	1.3
	70～74歳	576	93.1	3.5	1.2	2.3
	75～79歳	458	89.1	5.5	3.3	2.2
	80～84歳	286	79.4	10.8	3.5	6.3
	85～89歳	191	66.0	19.4	7.3	7.3
	90歳以上	56	55.4	21.4	19.6	3.6
圏域別	富坂地区	668	88.6	5.4	2.8	3.1
	大塚地区	476	85.3	7.8	2.5	4.4
	本富士地区	446	83.9	7.8	4.3	4.0
	駒込地区	510	87.6	7.3	2.4	2.7
家族構成別	1人暮らし	536	82.1	9.9	3.4	4.7
	夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	763	88.9	5.5	2.6	3.0
	夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	78	94.9	3.8	-	1.3
	息子・娘との2世帯	476	85.9	7.6	3.8	2.7
	その他	174	92.0	4.6	2.3	1.1

問30 介護が必要になっても、地域で暮らし続けるために必要なこと

介護が必要になっても安心して住み慣れた地域で暮らし続けるために必要なことでは、「往診などの医療サービスが整っている」が49.0%で最も高く、以下、「相談体制や情報提供が充実している」が37.7%、「夜間や緊急時でも利用できる介護サービスがある」が30.9%、「家事などの生活を支援するサービスがある」が27.0%となっています。

(複数回答)



性別及び圏域別では、特に目立った違いはありません。

年齢別でみると、「身近な人による見守りや助言がある」は、高年齢層ほど、一方、他の項目は、低年齢層で高い傾向にあります。

家族構成別でみると、1人暮らしは、「往診などの医療サービスが整っている」が40.5%と、他の家族に比べてやや低く、「自分で自分のことを決めることを支援する仕組みがある」が12.3%とやや高くなっています。

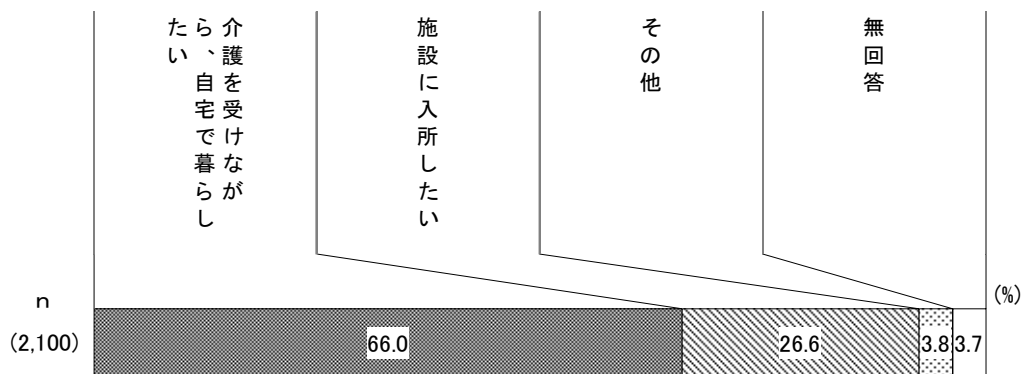
【介護が必要になっても、地域で暮らし続けるために必要なこと
／性別、年齢別、圏域別、家族構成別】

			(%)								
		n	相談体制 や情報提 供が充実 している	身近な人 による見 守りや助 言がある	往診など の医療 サービス が整って いる	夜間や緊 急時でも 利用できる 介護 サービス がある	認知症介 護サービ スの充実 や地域の 理解があ る	家事など の生活を 支援する サービス がある	介護に適 した住宅 に改修す る、また は住み替 えができ る	家族介護 者を支援 してくれ る仕組み がある	自分で自 分のこと を決める ことを支 援する取 組みがあ る
全 体		2,100	37.7	19.0	49.0	30.9	10.6	27.0	8.4	15.2	7.4
性別	男性	905	38.6	18.2	48.1	27.8	13.1	24.8	8.8	17.9	6.3
	女性	1,195	37.1	19.6	49.6	33.2	8.6	28.7	8.1	13.2	8.2
年齢別	65～69歳	464	39.4	16.2	52.8	35.1	11.9	31.9	10.8	21.8	5.4
	70～74歳	576	42.9	16.7	48.8	31.3	13.2	26.4	10.1	14.6	8.3
	75～79歳	458	38.0	17.0	53.5	32.1	10.9	29.3	7.4	12.7	7.0
	80～84歳	286	33.9	22.7	43.0	28.3	7.0	19.9	5.9	14.3	9.1
	85～89歳	191	31.9	31.4	42.4	25.7	5.2	25.7	4.2	9.4	6.3
	90歳以上	56	25.0	26.8	33.9	21.4	7.1	12.5	5.4	16.1	3.6
圏域別	富坂地区	668	38.6	20.4	46.7	28.9	11.1	26.9	8.4	15.9	6.4
	大塚地区	476	36.6	20.6	48.9	32.4	10.3	28.2	5.5	17.0	7.6
	本富士地区	446	38.6	16.4	49.6	29.6	10.1	27.8	9.4	12.6	7.8
	駒込地区	510	36.9	18.0	51.4	33.3	10.6	25.3	10.4	15.1	8.0
家族 構成 別	1人暮らし	536	40.5	18.5	40.5	35.1	7.6	26.9	8.4	4.1	12.3
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	763	37.0	16.4	53.9	31.1	12.6	30.5	9.3	16.8	5.2
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	78	39.7	17.9	48.7	39.7	11.5	30.8	10.3	25.6	3.8
	息子・娘との2世帯	476	36.1	24.6	50.0	23.3	10.1	22.1	8.2	20.2	6.7
	その他	174	37.4	16.1	55.2	37.4	10.3	24.7	5.7	23.0	4.6

		契約や 財産管 理など を支援 してく れる仕 組みが ある	災害時に 支援して くれる体 制がある	情報通信 技術を活 用して支 援してく れる仕組 みがある	その他	特にない	無回答
全 体		3.2	17.6	4.8	1.0	7.0	4.9
性別	男性	3.5	17.2	6.2	1.4	8.3	3.5
	女性	2.9	17.8	3.8	0.8	6.1	5.9
年齢別	65～69歳	5.0	16.8	6.3	1.3	5.4	2.8
	70～74歳	3.0	18.4	6.3	0.7	6.3	2.8
	75～79歳	1.7	18.8	4.6	0.9	7.6	4.1
	80～84歳	2.8	19.2	2.1	1.0	6.3	9.4
	85～89歳	3.1	13.6	2.6	2.1	9.9	6.8
	90歳以上	1.8	16.1	3.6	1.8	19.6	7.1
圏域別	富坂地区	3.0	19.8	4.8	1.6	7.2	3.6
	大塚地区	4.0	12.8	6.7	0.8	6.9	6.3
	本富士地区	2.7	18.2	3.6	1.1	7.2	6.3
	駒込地区	3.1	18.6	4.1	0.4	6.9	3.9
家族 構成 別	1人暮らし	3.9	19.4	4.5	1.3	7.3	7.1
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	3.3	17.3	5.4	1.2	6.3	4.1
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	5.1	16.7	7.7	1.3	5.1	1.3
	息子・娘との2世帯	1.9	16.6	4.0	0.6	8.0	4.4
	その他	3.4	16.1	5.7	1.1	9.2	0.6

問31 介護が必要になった場合の暮らし方の実現性

介護が必要になった場合に希望する暮らし方では、「介護を受けながら、自宅で暮らしたい」が66.0%で最も高く、以下、「施設に入所したい」が26.6%となっています。



令和元年度調査と比べると、「介護を受けながら、自宅で暮らしたい」の9.3ポイント増加に対して、「施設に入所したい」は、7.0ポイントの減少となっています。

性別では、特に目立った違いはありません。

年齢別でみると、90歳以上は、「介護を受けながら、自宅で暮らしたい」が76.8%と高い一方、「施設に入所したい」は、16.1%と低くなっています。

圏域別でみると、駒込地区では、「介護を受けながら、自宅で暮らしたい」が70.0%とやや高くなっています。

家族構成別でみると、1人暮らしは、「介護を受けながら、自宅で暮らしたい」が62.5%とやや低くなっています。

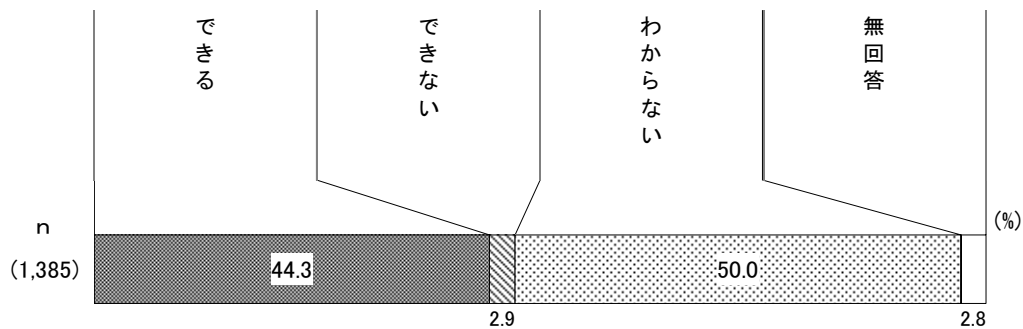
要介護度別でみると、要支援非認定者の「施設に入所したい」は、27.2%で、要支援1・2認定者の19.2%よりも高くなっています。

【介護が必要になった場合の暮らし方の実現性／性別、年齢別、圏域別、家族構成別、要介護度別】

		n	介護を受けながら、自宅で暮らしたい	施設に入所したい	その他	無回答
全体		2,100	66.0	26.6	3.8	3.7
令和元年度調査		2,079	56.7	33.6	2.0	7.7
性別	男性	905	67.2	27.5	3.0	2.3
	女性	1,195	65.0	25.9	4.4	4.8
年齢別	65～69歳	464	61.2	32.8	4.1	1.9
	70～74歳	576	66.3	26.0	4.3	3.3
	75～79歳	458	68.3	26.0	3.1	2.6
	80～84歳	286	67.5	23.4	3.5	5.6
	85～89歳	191	68.1	23.0	4.2	4.7
	90歳以上	56	76.8	16.1	1.8	5.4
圏域別	富坂地区	668	64.2	28.0	3.9	3.9
	大塚地区	476	64.3	25.6	4.4	5.7
	本富士地区	446	65.7	26.7	3.6	4.0
	駒込地区	510	70.0	25.5	3.1	1.4
家族構成別	1人暮らし	536	62.5	28.5	4.9	4.1
	夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	763	66.7	27.4	2.8	3.1
	夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	78	70.5	26.9	1.3	1.3
	息子・娘との2世帯	476	67.6	24.2	4.2	4.0
	その他	174	69.0	24.7	4.6	1.7
要介護度別	要支援非認定者	1,935	65.9	27.2	3.9	2.9
	要支援1・2認定者	78	70.5	19.2	2.6	7.7

問31-1 介護が必要になった場合の在宅生活の実現性

在宅生活を実現できると思うかでは、「わからない」が50.0%で最も高く、以下、「できる」が44.3%、「できない」が2.9%となっています。



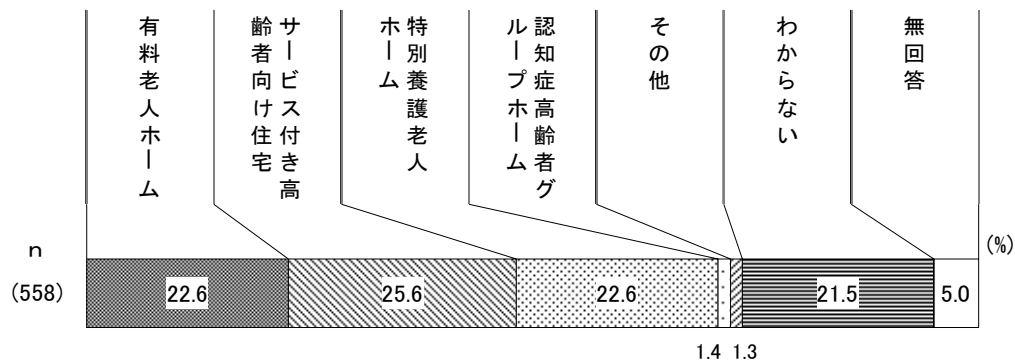
圏域別及び家族構成別では、特に目立った違いはありません。

【介護が必要になった場合の在宅生活の実現性／圏域別、家族構成別】

		n	できる	できない	わからない	無回答
全体		1,385	44.3	2.9	50.0	2.8
圏域別	富坂地区	429	43.4	3.0	52.0	1.6
	大塚地区	306	45.1	2.9	48.7	3.3
	本富士地区	293	42.7	2.4	51.2	3.8
	駒込地区	357	46.2	3.1	47.6	3.1
家族構成別	1人暮らし	335	44.5	2.1	49.0	4.5
	夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	509	45.8	3.5	48.7	2.0
	夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	55	47.3	3.6	49.1	-
	息子・娘との2世帯	322	43.5	1.6	52.2	2.8
	その他	120	43.3	4.2	50.8	1.7

問31-2 入所したい施設の種類の種類

入所したい施設では、「サービス付き高齢者向け住宅」が25.6%で最も高く、以下、「有料老人ホーム」が22.6%、「特別養護老人ホーム」が22.6%、「認知症高齢者グループホーム」が1.4%となっています。一方、「わからない」は 21.5%となっています。



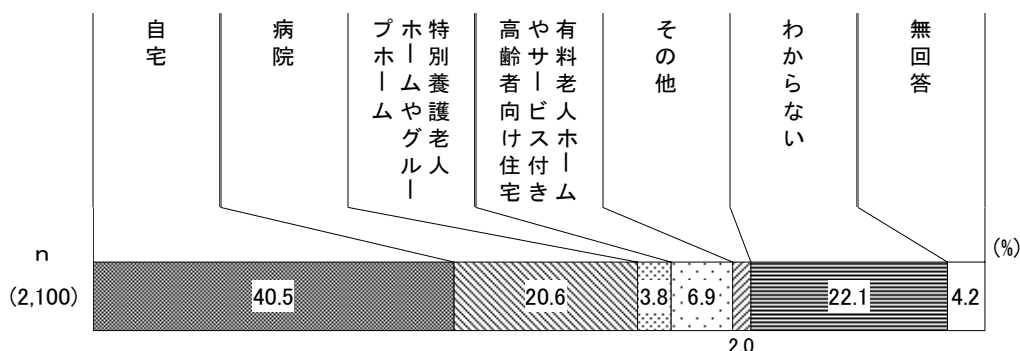
圏域別でみると、駒込地区では、「特別養護老人ホーム」が30.8%と、他地区に比べて高くなっています。

【入所したい施設の種類の種類／圏域別】

		n	有料老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅	特別養護老人ホーム	認知症高齢者グループホーム	その他	わからない	無回答
全体		558	22.6	25.6	22.6	1.4	1.3	21.5	5.0
圏域別	富坂地区	187	25.7	25.7	20.3	0.5	1.6	20.9	5.3
	大塚地区	122	18.0	28.7	21.3	2.5	2.5	22.1	4.9
	本富士地区	119	21.8	26.1	18.5	1.7	0.8	26.1	5.0
	駒込地区	130	23.1	22.3	30.8	1.5	-	17.7	4.6

問32 終末期を迎えたい場所

終末期を迎える場所の希望では、「自宅」が40.5%で最も高く、以下、「病院」が20.6%、「有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅」が6.9%、「特別養護老人ホームやグループホーム」が3.8%となっています。一方、「わからない」は 22.1%となっています。



第3章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

令和元年度調査と比べると、特に目立った変化はありません。

性別でみると、女性は、男性よりも「自宅」が48.6%、「病院」が21.5%と上回っています。

年齢別でみると、「自宅」の割合は、65～69歳で55.1%と唯一半数を超えて高くなっています。

圏域別でみると、「自宅」の割合は、最も高い大塚地区の43.7%と、最も低い本富士地区の33.2%の間に10ポイント以上の差があります。

家族構成別でみると、1人暮らしは、「自宅」が33.2%と、他の家族構成に比べて低くなっています。

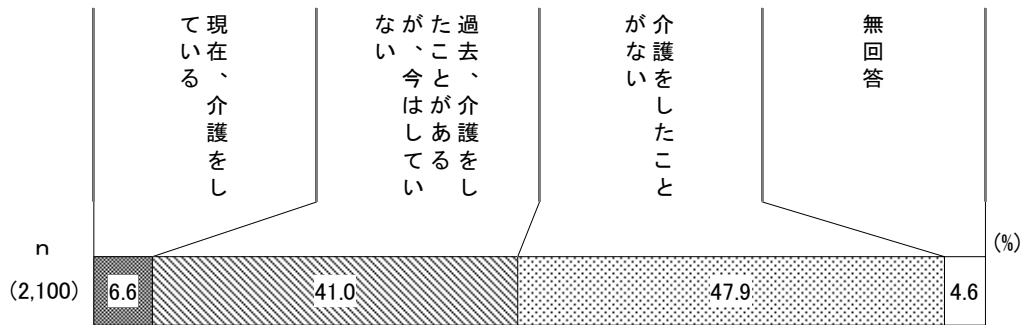
【終末期を迎えたい場所／性別、年齢別、圏域別、家族構成別】

(%)

		n	自宅	病院	特別養護老人ホームやグループホーム	有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅	その他	わからない	無回答
全体		2,100	40.5	20.6	3.8	6.9	2.0	22.1	4.2
令和元年度調査		2,079	39.7	17.8	5.2	6.5	1.8	24.5	4.5
性別	男性	467	42.6	16.5	4.3	7.1	1.9	25.5	2.1
	女性	325	48.6	21.5	2.5	5.2	2.2	15.4	4.6
年齢別	65～69歳	89	55.1	15.7	3.4	3.4	1.1	11.2	10.1
	70～74歳	573	34.0	19.9	3.0	9.9	2.3	28.4	2.4
	75～79歳	419	37.2	25.5	5.5	5.3	1.9	19.6	5.0
	80～84歳	158	44.9	22.2	2.5	3.8	1.3	19.6	5.7
	85～89歳	668	41.3	20.4	3.1	7.6	2.7	21.3	3.6
	90歳以上	476	38.2	19.7	3.8	6.7	1.5	24.8	5.3
圏域別	富坂地区	446	37.9	21.7	4.3	7.4	2.2	21.1	5.4
	大塚地区	510	43.7	20.8	4.1	5.7	1.2	21.6	2.9
	本富士地区	536	33.2	21.1	3.9	7.6	3.4	26.1	4.7
	駒込地区	763	41.5	20.8	2.8	8.5	1.7	20.6	4.1
家族構成別	1人暮らし	536	33.2	21.1	3.9	7.6	3.4	26.1	4.7
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	763	41.5	20.8	2.8	8.5	1.7	20.6	4.1
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	78	47.4	16.7	1.3	7.7	1.3	24.4	1.3
	息子・娘との2世帯	476	45.2	21.2	5.9	4.0	0.6	19.5	3.6
	その他	174	46.6	16.7	2.9	5.2	2.3	23.0	3.4

問33 介護の実施状況

家族、または身近な方の介護をしているかでは、「介護をしたことがない」が47.9%で最も高く、以下、「過去、介護をしたことがあるが、今はしていない」が41.0%、「現在、介護をしている」が6.6%となっています。



第3章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

性別で見ると、「介護をしたことがない」は、女性の37.9%に対して、男性は、61.1%と高くなっていますが、「現在、介護をしている」では、男女間に差はありません。

年齢別で見ると、「現在、介護をしている」は、低い年齢層ほど高くなっています。一方、「介護をしたことがない」は、90歳以上で66.1%と高くなっています。

圏域別では、特に目立った違いはありません。

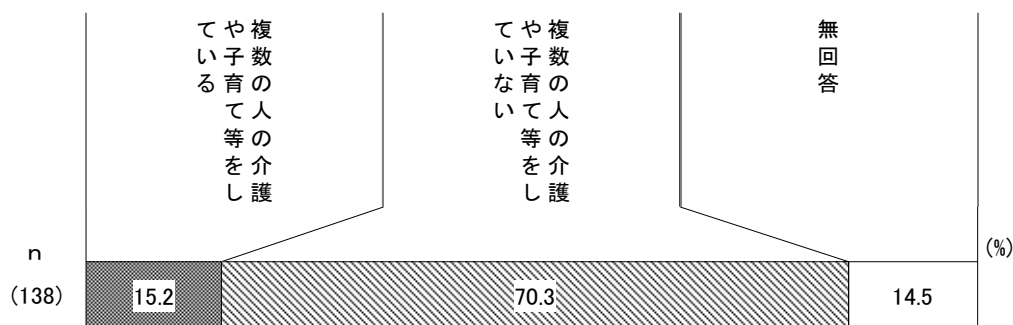
家族構成別で見ると、「夫婦2人暮らし」では、配偶者の年齢に関わらず「過去、介護をしたことがあるが、今はしていない」よりも「介護をしたことがない」が高くなっていますが、1人暮らしや息子・娘との2世帯では、両者が近い割合になっています。

【介護の実施状況／性別、年齢別、圏域別、家族構成別】

		n	(%)			無回答
			現在、 介護を している	過去、 介護を したこ とがあ るが、 今はし ていな い	介護を したこ とがあ ない	
全体		2,100	6.6	41.0	47.9	4.6
性別	男性	905	6.3	28.1	61.1	4.5
	女性	1,195	6.8	50.7	37.9	4.6
年齢別	65～69歳	464	11.0	40.9	45.9	2.2
	70～74歳	576	6.4	42.0	48.8	2.8
	75～79歳	458	5.5	39.5	51.3	3.7
	80～84歳	286	5.6	43.0	44.8	6.6
	85～89歳	191	3.7	41.4	44.5	10.5
	90歳以上	56	-	28.6	66.1	5.4
圏域別	富坂地区	668	5.1	42.8	48.5	3.6
	大塚地区	476	8.2	37.4	48.7	5.7
	本富土地区	446	6.7	41.5	45.7	6.1
	駒込地区	510	6.9	41.4	48.2	3.5
家族 構成 別	1人暮らし	536	1.5	48.9	44.2	5.4
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	763	7.9	34.5	53.9	3.8
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	78	6.4	35.9	55.1	2.6
	息子・娘との2世帯	476	7.1	44.1	44.1	4.6
	その他	174	16.7	34.5	46.0	2.9

問33-1 複数介護の状況

今介護している人以外に他の人の介護や子育て等をしているかでは、「複数の人の介護や子育て等をしていない」が70.3%、「複数の人の介護や子育て等をしている」が15.2%となっています。



性別では、特に目立った違いはありません。
 年齢別でみると、「複数の人の介護や子育て等をしている」は、65～69歳や80～84歳で高い傾向にあります。
 圏域別でみると、「複数の人の介護や子育て等をしている」は、本富士地区で26.7%と高くなっています。
 家族構成別では、人数の少ない層があるため、傾向がつかみにくくなっています。

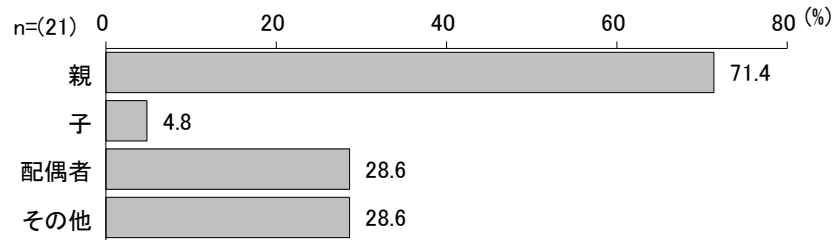
【複数介護の状況／性別、年齢別、圏域別、家族構成別】

		n	複数の人の介護や子育て等をしている (%)	複数の人の介護や子育て等をしていない (%)	無回答 (%)
全体		138	15.2	70.3	14.5
性別	男性	57	14.0	71.9	14.0
	女性	81	16.0	69.1	14.8
年齢別	65～69歳	51	25.5	68.6	5.9
	70～74歳	37	8.1	83.8	8.1
	75～79歳	25	4.0	76.0	20.0
	80～84歳	16	25.0	43.8	31.3
	85～89歳	7	-	42.9	57.1
	90歳以上	-	-	-	-
	圏域別	富坂地区	34	11.8	79.4
大塚地区	39	12.8	71.8	15.4	
本富士地区	30	26.7	56.7	16.7	
駒込地区	35	11.4	71.4	17.1	
家族構成別	1人暮らし	8	50.0	37.5	12.5
	夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	60	11.7	68.3	20.0
	夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	5	40.0	60.0	-
	息子・娘との2世帯	34	8.8	76.5	14.7
	その他	29	17.2	75.9	6.9

問33-1-1 複数介護の対象

介護される人及び子ども等全員とその人数では、「親」が71.4%で最も高く、以下、「配偶者」が28.6%、「子」が4.8%となっています。

(複数回答)



性別、年齢別、圏域別、家族構成別いずれも人数が少なく、傾向がつかみにくくなっています。

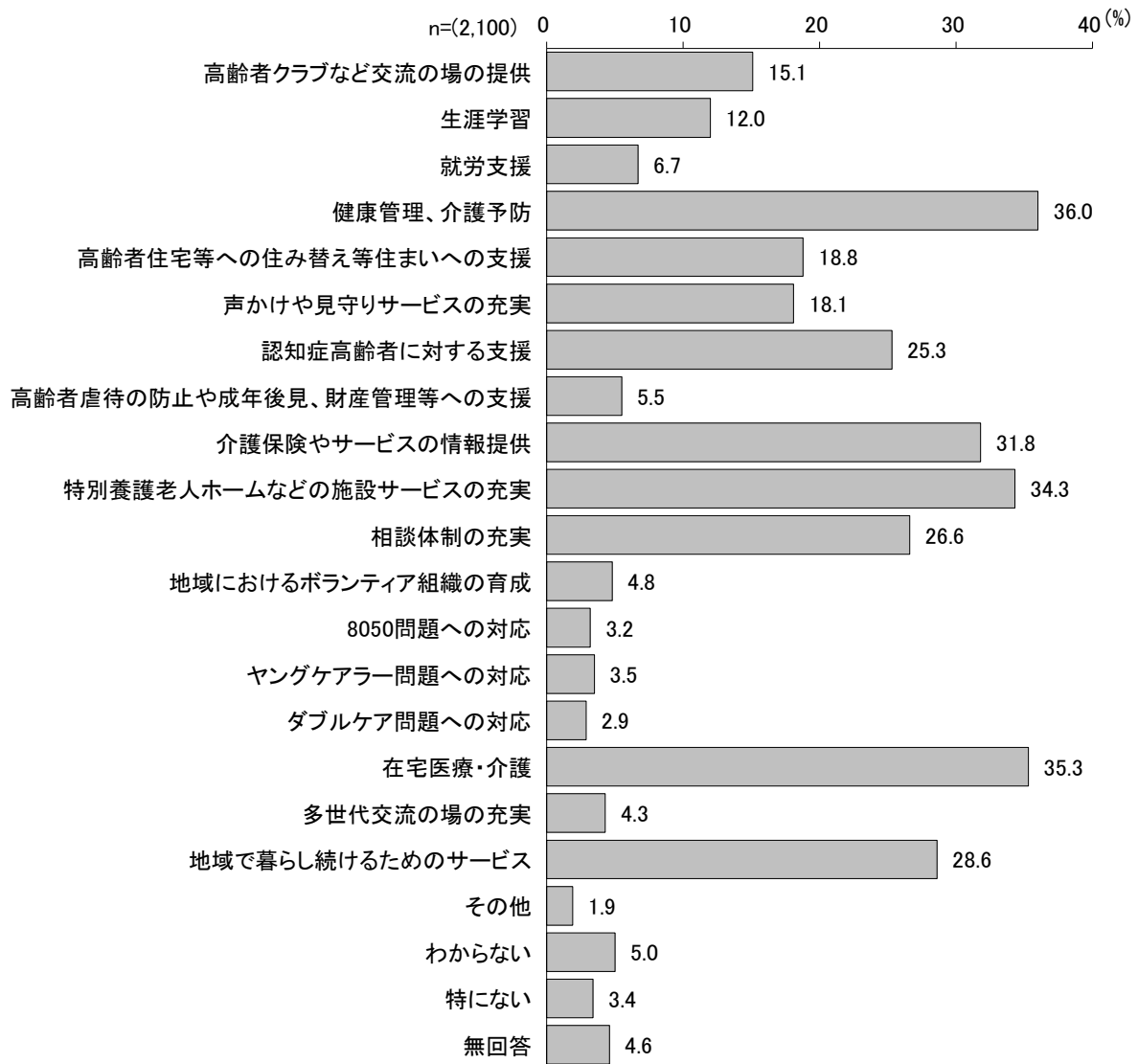
【複数介護の対象／性別、年齢別、圏域別、家族構成別】

		n	(%)				
			親	子	配偶者	その他	無回答
全体		21	71.4	4.8	28.6	28.6	-
性別	男性	8	50.0	12.5	37.5	25.0	-
	女性	13	84.6	-	23.1	30.8	-
年齢別	65～69歳	13	92.3	-	7.7	38.5	-
	70～74歳	3	100.0	-	-	33.3	-
	75～79歳	1	-	-	100.0	-	-
	80～84歳	4	-	25.0	100.0	-	-
	85～89歳	-	-	-	-	-	-
	90歳以上	-	-	-	-	-	-
圏域別	富坂地区	4	25.0	25.0	75.0	25.0	-
	大塚地区	5	80.0	-	-	60.0	-
	本富士地区	8	75.0	-	37.5	25.0	-
	駒込地区	4	100.0	-	-	-	-
家族構成別	1人暮らし	4	75.0	25.0	25.0	-	-
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	7	57.1	-	28.6	57.1	-
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	2	100.0	-	-	-	-
	息子・娘との2世帯	3	33.3	-	66.7	-	-
	その他	5	100.0	-	20.0	40.0	-

問34 今後区に力を入れてほしいこと

高齢者施策・介護保険事業について今後区に力を入れてほしいことでは、「健康管理、介護予防」が36.0%で最も高く、以下、「在宅医療・介護」が35.3%、「特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実」が34.3%、「介護保険やサービスの情報提供」が31.8%となっています。

(複数回答)



第3章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

性別でみると、「健康管理、介護予防」では、男性が41.8%で女性を約10ポイント上回り、「地域で暮らし続けるためのサービス」では、女性が33.8%で男性を約12ポイント上回っています。

年齢別でみると、「高齢者クラブなど交流の場の提供」、「声かけや見守りサービスの充実」、「在宅医療・介護」、「地域で暮らし続けるためのサービス」は、年齢による違いはほとんど見られません。一方、「就労支援」、「特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実」、「相談体制の充実」は、低年齢層ほど高い傾向にあります。

圏域別では、特に目立った違いはありません。

家族構成別でみると、「就労支援」、「健康管理、介護予防」、「高齢者住宅等への住み替え等住まいへの支援」、「相談体制の充実」は、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）で高くなっています。

【今後区に力を入れてほしいこと①／性別、年齢別、圏域別、家族構成別】

		n	高齢者クラブなど交流の場の提供	生涯学習	就労支援	健康管理、介護予防	高齢者住宅等への住み替え等住まいへの支援	声かけや見守りサービスの充実	認知症高齢者に対する支援	高齢者虐待の防止や成年後見、財産管理等への支援	介護保険やサービスの情報提供
全体		2,100	15.1	12.0	6.7	36.0	18.8	18.1	25.3	5.5	31.8
性別	男性	905	15.6	12.2	8.7	41.8	19.3	16.5	27.0	5.6	29.3
	女性	1,195	14.7	11.8	5.2	31.6	18.4	19.3	24.1	5.4	33.6
年齢別	65～69歳	464	13.4	13.8	15.3	39.0	23.7	17.9	27.4	6.3	31.7
	70～74歳	576	13.5	12.8	8.2	35.9	21.5	17.9	25.5	6.6	37.2
	75～79歳	458	16.2	13.5	2.6	37.3	18.1	15.3	27.3	4.1	30.1
	80～84歳	286	17.8	11.9	2.4	35.3	16.4	19.9	24.1	5.2	32.5
	85～89歳	191	15.7	5.2	0.5	33.0	9.4	20.4	19.9	4.2	22.5
	90歳以上	56	14.3	5.4	1.8	19.6	10.7	17.9	19.6	3.6	17.9
圏域別	富坂地区	668	13.9	12.7	7.2	36.7	18.6	18.0	24.6	4.9	32.2
	大塚地区	476	17.6	14.3	7.1	35.9	17.4	21.6	25.2	6.1	30.7
	本富士地区	446	14.3	9.9	4.5	33.6	18.6	16.1	26.5	5.8	28.9
	駒込地区	510	14.9	10.6	7.6	37.3	20.6	16.7	25.5	5.3	34.7
家族構成別	1人暮らし	536	15.3	11.0	6.2	33.4	22.4	23.7	20.7	7.1	30.2
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	763	16.5	13.9	5.6	38.3	19.5	17.7	28.0	5.0	33.2
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	78	14.1	16.7	14.1	46.2	28.2	11.5	24.4	3.8	37.2
	息子・娘との2世帯 その他	476 174	15.3 8.0	11.3 8.0	6.7 10.3	35.9 33.9	12.6 18.4	14.1 16.1	28.4 21.3	4.6 6.3	31.5 28.2

【今後区に力を入れてほしいこと②／性別、年齢別、圏域別、家族構成別】

(%)

		特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実	相談体制の充実	地域におけるボランティア組織の育成	8050問題への対応	ヤングケアラー問題への対応	ダブルケア問題への対応	在宅医療・介護	多世代交流の場の充実	地域で暮らし続けるためのサービス	その他
全体		34.3	26.6	4.8	3.2	3.5	2.9	35.3	4.3	28.6	1.9
性別	男性	35.0	25.9	5.2	3.8	3.0	3.0	37.6	4.9	21.7	1.8
	女性	33.7	27.1	4.4	2.8	3.8	2.8	33.6	3.8	33.8	1.9
年齢別	65～69歳	41.8	29.3	5.0	3.7	3.2	4.5	38.4	3.9	29.5	1.9
	70～74歳	34.9	30.0	3.1	3.6	3.5	3.1	35.8	5.7	28.1	2.3
	75～79歳	34.1	27.9	5.2	2.6	4.8	2.4	36.9	3.1	31.7	1.1
	80～84歳	29.4	21.0	5.9	3.1	2.1	1.4	30.8	3.1	28.0	2.1
	85～89歳	28.8	20.4	5.2	3.1	2.6	2.6	29.3	4.2	23.0	1.6
	90歳以上	28.6	14.3	5.4	1.8	3.6	1.8	32.1	7.1	25.0	-
圏域別	富坂地区	33.2	28.9	4.6	4.0	4.2	2.8	35.6	3.3	30.1	1.9
	大塚地区	31.5	26.5	5.0	2.9	4.4	2.5	33.6	6.3	27.1	2.1
	本富士地区	35.0	26.0	4.0	3.1	2.7	2.5	36.3	4.0	25.6	1.8
	駒込地区	37.6	24.1	5.3	2.5	2.4	3.7	35.5	3.9	30.6	1.6
家族構成別	1人暮らし	28.0	27.8	4.3	1.7	3.4	1.7	29.5	5.8	28.5	2.2
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	35.9	27.8	5.1	2.2	3.5	3.8	39.8	4.6	29.9	2.1
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	39.7	35.9	3.8	-	1.3	3.8	44.9	5.1	29.5	-
	息子・娘との2世帯	37.6	24.2	5.5	5.7	3.4	2.7	35.1	2.5	26.7	0.8
	その他	35.1	24.1	2.9	6.3	4.0	4.0	31.6	2.9	24.1	1.7

		わからない	特にない	無回答
全体		5.0	3.4	4.6
性別	男性	5.2	3.9	3.8
	女性	4.9	3.0	5.2
年齢別	65～69歳	3.7	3.0	1.7
	70～74歳	4.2	1.4	3.3
	75～79歳	5.0	3.9	5.2
	80～84歳	5.9	2.8	5.2
	85～89歳	6.8	6.3	9.4
	90歳以上	16.1	14.3	-
圏域別	富坂地区	4.6	3.0	4.2
	大塚地区	5.5	2.7	4.4
	本富士地区	5.6	4.7	7.2
	駒込地区	4.7	3.3	2.9
家族構成別	1人暮らし	7.8	3.9	4.3
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	3.4	3.0	3.8
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	1.3	1.3	2.6
	息子・娘との2世帯	5.0	3.2	5.3
	その他	5.7	5.7	4.0

(ヤングケアラー問題対応の具体例)

「ヤングケアラー問題への対応」を選んだ人に、具体的な内容を聞いたところ、31人から延べ39件の回答がありました。

ヤングケアラー問題への対応 今後区に力を入れてほしいこと	(件)
子どもの生活、学業優先	9
(単に)負担軽減、支援	8
専門職の導入、現状の把握	6
介護を他に任せる	4
経済的な支援	4
支える仕組みづくり	4
その他	4

【主な回答内容】

1. 「子どもの生活、学業優先」

- 学業や仕事と両立できるよう支援。若い人たちを犠牲にしないでほしいです。
- 子どもが、年相応の生き方が出来るように、支える仕組みを作る。外国で成功している例を参考に、日本に合う良い点を研究する。現状の良い点をもっと深く充実させる。
- 子供の成長期に教育、心の安定等、財政的にも、国、行政で援助することは必要。

2. 「(単に) 負担軽減、支援」

- 在宅主婦や元気な老人のボランティア希望者はたくさんいる。ただ、何かの時の責任問題などが行動を防んでいると思う。
- 子供にはあまり負担をかけない様、在宅サービスを増やすべき。

3. 「専門職の導入、現状の把握」

- 本人は、なかなか自分から100%言わない。なのでヤングケアラー専門職の導入を。
- 現状の把握をする。学校の先生、保健の先生からの発見。

4. 「介護を他に任せる」

- 地域や学校等の情報を基に、子供が安心して通学できるようにヘルパーさんの派遣を区が支援する。

5. 「経済的な支援」

- 柔軟な金銭的、時間的支援。

6. 「支える仕組みづくり」

- 声かけ見守りサービスと家事、介護サービス充実。

7. 「その他」

- 家庭内の状況はよその人にはわかりづらいものです。思い返して当時どうして欲しかったか、出入りする者に理解してもらいたかった。でもナカナカ！なまじ行政が介入するとかえって“恥をかかされた”とエスカレート！のおそれ、デリケートな事です。

(その他の具体例)

「その他」を選んだ人に、具体的な内容を聞いたところ、33人から延べ34件の回答がありました。

その他 今後区に力を入れてほしいこと	(件)
施設充実、サービス拡充	10
経済的支援、各種割引	4
介護職への待遇支援	3
就労、社会貢献の機会	3
安全、防犯対策	3
住宅の充実	2
入所を容易に	2
医療の充実	2
その他	5

【主な回答内容】

1. 「施設充実、サービス拡充」

- 保育園と高齢者施設を一体化してほしい。(今後建設される場合) 高齢者は一般的に小さい子を見ているだけで元気になるので(苦手な方は別枠で)。
- 一律のサービスではなく、それぞれの人の状況や希望に合致したサービスが、受けられるようなしくみを作ってほしい。
- 会社員だと平日におきていることがわからない。区報にのっているサービスは、平日昼間のものばかり。

2. 「経済的支援、各種割引」

- 65才以上は、スポーツ施設など半額にしてはどうですか。豊島区はそのようです。老人だけの集まりは、つまらないです。

3. 「就労、社会貢献の機会」

- 高齢者でも出来る(楽しみながら学習し、世の中の役に立つ)時間(パート)の支援。

4. 「安全、防犯対策」

- おれおれ詐欺など悪徳業者による対策。

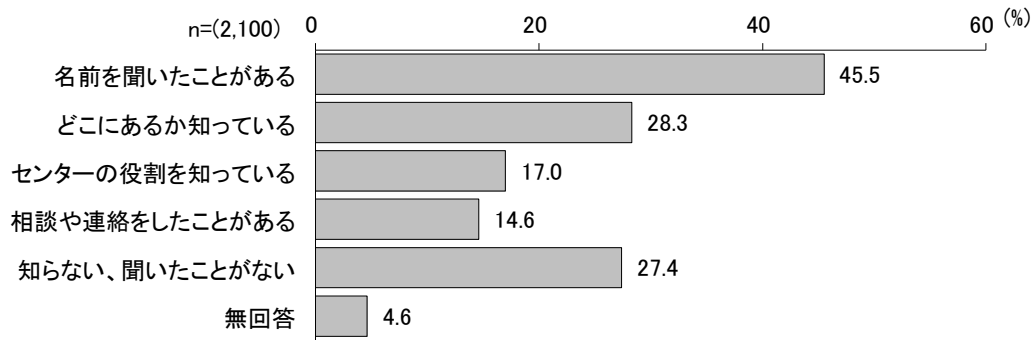
5. 「その他」

- 経済的なゆとりの実現への具体的な対応。

問35 高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）の認知度

高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）の認知度では、「名前を聞いたことがある」が45.5%で最も高く、以下、「どこにあるか知っている」が28.3%、「センターの役割を知っている」が17.0%、「相談や連絡をしたことがある」が14.6%となっています。一方、「知らない、聞いたことがない」は27.4%となっています。

（複数回答）



令和元年度調査と比べると、特に目立った変化はありません。

性別でみると、「知らない、聞いたことがない」は、男性の35.0%に対して、女性は21.6%と、女性の認知度が高くなっています。

年齢別でみると、「名前を聞いたことがある」は、80歳代で5割を超えています。

圏域別では、特に目立った違いはありません。

家族構成別でみると、「知らない、聞いたことがない」は、夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）で32.0%、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）で35.9%とやや高くなっています。

【高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）の認知度

／性別、年齢別、圏域別、家族構成別】

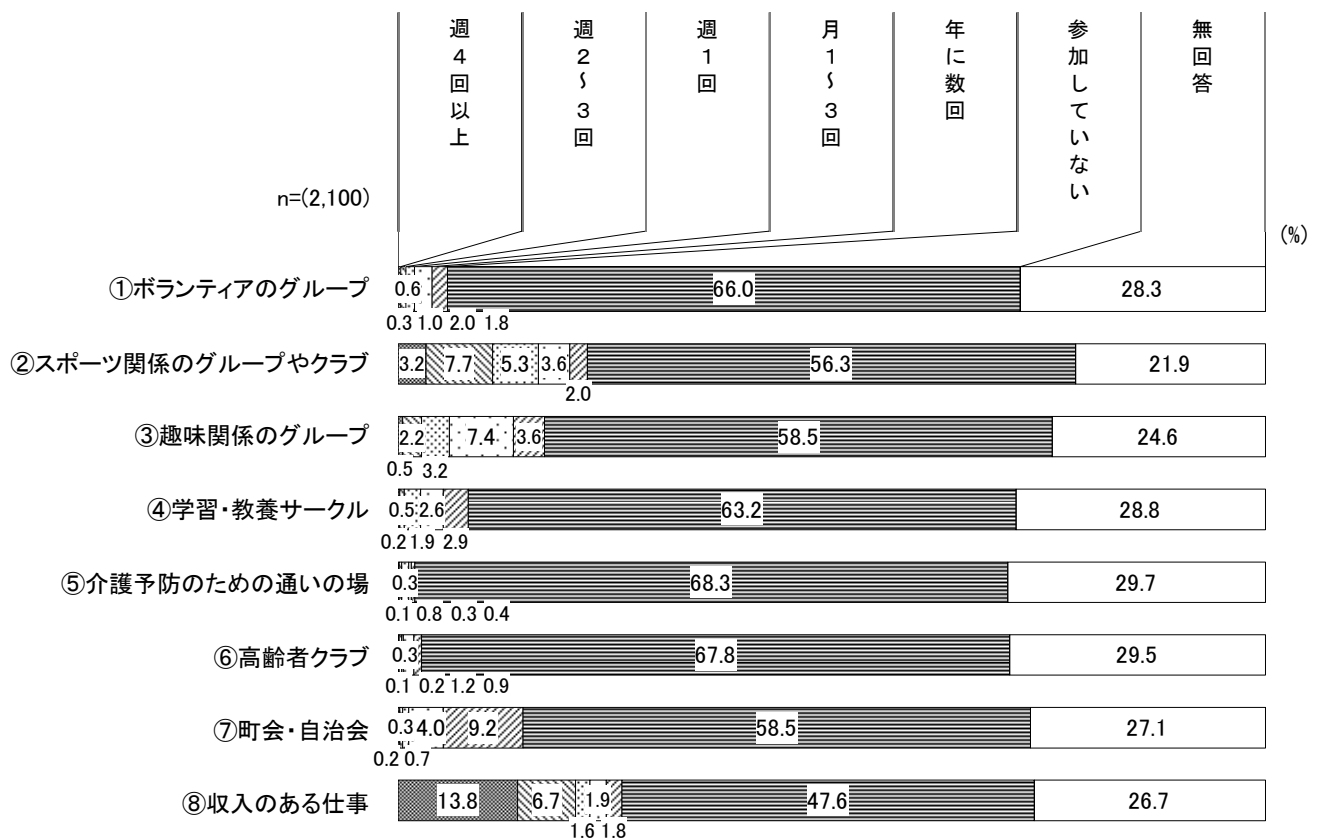
(%)

		n	名前を聞いたことがある	どこにあるか知っている	センターの役割を知っている	相談や連絡をしたことがある	知らない、聞いたことがない	無回答
全体		2,100	45.5	28.3	17.0	14.6	27.4	4.6
令和元年度調査		2,079	43.6	25.8	18.4	14.7	30.4	4.8
性別	男性	905	40.7	22.9	12.5	9.6	35.0	4.8
	女性	1,195	49.1	32.5	20.3	18.4	21.6	4.4
年齢別	65～69歳	464	39.2	16.8	13.4	14.2	38.6	1.9
	70～74歳	576	42.5	23.6	14.8	12.7	32.1	4.5
	75～79歳	458	48.5	31.4	18.3	13.5	25.3	3.7
	80～84歳	286	50.7	38.1	18.2	16.1	18.2	7.0
	85～89歳	191	52.4	47.1	26.2	16.2	9.9	7.3
	90歳以上	56	39.3	32.1	21.4	28.6	21.4	5.4
圏域別	富坂地区	668	47.2	27.8	14.2	13.0	28.4	4.2
	大塚地区	476	41.0	29.8	17.0	16.6	27.7	4.6
	本富士地区	446	48.7	26.2	17.5	14.1	25.8	4.5
	駒込地区	510	44.7	29.4	20.0	15.3	27.1	5.1
家族構成別	1人暮らし	536	47.4	34.1	18.8	16.2	22.8	5.4
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	763	43.1	23.7	15.6	11.3	32.0	4.6
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	78	43.6	19.2	12.8	10.3	35.9	3.8
	息子・娘との2世帯	476	45.8	30.9	18.9	16.2	26.5	3.2
	その他	174	48.9	27.6	14.4	20.7	25.3	1.1

6. 地域での活動

問36 会・グループ等の参加頻度

会・グループ等への参加頻度をみると、「週4回以上」から「年に数回」までを合わせた「参加している」という回答は、「収入のある仕事」が25.8%で最も高く、「スポーツ関係のグループやクラブ」も21.8%となっています。



①ボランティアのグループ

令和元年度調査と比べると、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、「参加していない」が37.6%から66.0%へと、大幅な増加となっています。

性別で見ると、「参加していない」は、女性の60.0%に対して、男性は74.0%と高くなっています。

年齢別で見ると、「参加していない」は、低年齢層ほど高い傾向にあります。

圏域別では、特に目立った違いはありません。

【参加頻度・ボランティアのグループ／性別、年齢別、圏域別】

		n	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		2,100	0.3	0.6	1.0	2.0	1.8	66.0	28.3
令和元年度調査		2,079	13.6	5.6	1.9	1.7	1.8	37.6	37.8
性別	男性	905	0.1	0.4	0.7	1.9	1.5	74.0	21.3
	女性	1,195	0.4	0.7	1.3	2.1	2.0	60.0	33.6
年齢別	65～69歳	464	0.4	0.6	0.9	2.4	2.2	82.3	11.2
	70～74歳	576	-	0.9	1.0	2.6	2.3	71.7	21.5
	75～79歳	458	0.7	0.4	2.0	2.0	2.0	62.7	30.3
	80～84歳	286	0.3	0.3	0.3	0.7	1.0	55.2	42.0
	85～89歳	191	-	0.5	0.5	1.0	0.5	42.4	55.0
	90歳以上	56	-	-	-	1.8	1.8	51.8	44.6
圏域別	富坂地区	668	0.3	0.3	0.4	2.4	0.9	68.0	27.7
	大塚地区	476	0.4	0.8	1.3	2.7	2.7	64.9	27.1
	本富士地区	446	0.2	1.1	1.8	1.3	1.3	63.7	30.5
	駒込地区	510	0.2	0.2	0.8	1.4	2.5	66.7	28.2

②スポーツ関係のグループやクラブ

令和元年度調査と比べると、「参加していない」が41.8%から56.3%へと増加しています。

性別で見ると、「参加していない」、女性の49.4%に対して、男性は、65.5%と高くなっています。

年齢別で見ると、「参加していない」は、低年齢層ほど高い傾向にあります。

圏域別では、特に目立った違いはありません。

【参加頻度・スポーツ関係のグループやクラブ／性別、年齢別、圏域別】

		n	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		2,100	3.2	7.7	5.3	3.6	2.0	56.3	21.9
令和元年度調査		2,079	3.4	9.6	7.5	4.4	1.1	41.8	32.2
性別	男性	905	2.4	5.7	3.2	3.0	2.3	65.5	17.8
	女性	1,195	3.8	9.2	6.9	4.1	1.7	49.4	24.9
年齢別	65～69歳	464	3.4	6.5	7.3	2.6	2.4	69.2	8.6
	70～74歳	576	3.8	9.2	4.7	4.2	1.9	60.1	16.1
	75～79歳	458	3.9	7.6	5.0	3.1	2.8	53.5	24.0
	80～84歳	286	2.4	9.1	5.2	2.1	0.7	49.0	31.5
	85～89歳	191	1.6	5.2	3.7	7.9	1.0	39.3	41.4
	90歳以上	56	-	3.6	1.8	-	1.8	48.2	44.6
圏域別	富坂地区	668	3.6	7.9	3.7	3.9	0.9	58.2	21.7
	大塚地区	476	2.7	8.4	5.5	3.4	2.7	56.7	20.6
	本富士地区	446	2.9	6.7	6.3	3.1	2.2	54.7	24.0
	駒込地区	510	3.5	7.6	6.3	3.9	2.4	54.9	21.4

③趣味関係のグループ

令和元年度調査と比べると、「参加していない」が41.4%から58.5%へと増加しています。
性別で見ると、「参加していない」は、女性の51.5%に対して、男性は、67.6%と高くなっています。
年齢別で見ると、「参加していない」は、低年齢層ほど高い傾向にあります。
圏域別では、特に目立った違いはありません。

【参加頻度・趣味関係のグループ／性別、年齢別、圏域別】

		n	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		2,100	0.5	2.2	3.2	7.4	3.6	58.5	24.6
令和元年度調査		2,079	0.9	3.8	6.2	11.5	3.3	41.4	32.9
性別	男性	905	0.1	1.7	2.7	4.9	3.8	67.6	19.3
	女性	1,195	0.8	2.7	3.6	9.3	3.5	51.5	28.6
年齢別	65～69歳	464	0.6	1.1	3.9	5.4	3.7	75.2	10.1
	70～74歳	576	0.5	2.1	2.6	7.3	4.0	63.7	19.8
	75～79歳	458	0.4	2.2	3.5	11.4	4.8	53.3	24.5
	80～84歳	286	0.3	4.2	3.5	4.2	2.8	49.3	35.7
	85～89歳	191	-	3.1	3.7	8.4	1.0	35.6	48.2
	90歳以上	56	-	1.8	-	7.1	1.8	46.4	42.9
圏域別	富坂地区	668	0.7	2.5	3.0	6.6	3.1	59.1	24.9
	大塚地区	476	0.6	1.7	2.7	8.8	3.4	59.0	23.7
	本富士地区	446	0.4	2.2	2.5	6.5	5.6	55.6	27.1
	駒込地区	510	-	2.4	4.5	7.8	2.7	59.6	22.9

④学習・教養サークル

令和元年度調査と比べると、「参加していない」が46.3%から63.2%へと増加しています。
性別で見ると、「参加していない」は、女性の56.5%に対して、男性は、72.2%と高くなっています。
年齢別で見ると、「参加していない」は、低年齢層ほど高い傾向にあります。
圏域別で見ると、「参加していない」は、本富士地区で59.2%と、唯一6割未満となっています。

【参加頻度・学習・教養サークル／性別、年齢別、圏域別】

		n	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		2,100	0.2	0.5	1.9	2.6	2.9	63.2	28.8
令和元年度調査		2,079	0.3	0.8	2.4	4.5	2.9	46.3	42.7
性別	男性	905	0.2	0.3	0.9	2.2	2.3	72.2	21.9
	女性	1,195	0.2	0.6	2.6	2.8	3.3	56.5	34.0
年齢別	65～69歳	464	0.2	0.9	2.4	2.8	3.9	78.9	11.0
	70～74歳	576	0.2	0.7	2.1	2.1	3.1	69.1	22.7
	75～79歳	458	0.2	0.4	2.0	3.3	3.7	59.4	31.0
	80～84歳	286	-	-	0.7	2.4	1.7	53.1	42.0
	85～89歳	191	0.5	-	1.0	2.1	0.5	39.8	56.0
	90歳以上	56	-	-	1.8	1.8	-	50.0	46.4
圏域別	富坂地区	668	0.1	0.4	1.5	2.4	1.6	65.0	28.9
	大塚地区	476	0.2	0.4	1.9	1.7	4.4	63.2	28.2
	本富士地区	446	-	0.2	2.5	4.3	2.7	59.2	31.2
	駒込地区	510	0.4	0.8	1.8	2.2	3.3	64.5	27.1

⑤介護予防のための通いの場

性別でみると、「参加していない」は、女性の62.3%に対して、男性は、76.2%と高くなっています。
 年齢別でみると、「参加していない」は、低年齢層ほど高い傾向にあります。
 圏域別では、特に目立った違いはありません。

【参加頻度・介護予防のための通いの場／性別、年齢別、圏域別】

		n	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		2,100	0.1	0.3	0.8	0.3	0.4	68.3	29.7
令和元年度調査		2,079	該当項目なし						
性別	男性	905	-	0.2	0.6	0.1	0.6	76.2	22.3
	女性	1,195	0.2	0.4	1.0	0.5	0.3	62.3	35.3
年齢別	65～69歳	464	0.2	-	0.4	-	-	87.3	12.1
	70～74歳	576	-	0.3	0.3	0.2	0.2	75.0	24.0
	75～79歳	458	0.2	0.7	1.3	1.1	0.9	63.8	32.1
	80～84歳	286	-	0.3	1.0	-	1.0	55.9	41.6
	85～89歳	191	-	-	1.6	-	0.5	41.4	56.5
	90歳以上	56	-	1.8	1.8	-	-	51.8	44.6
圏域別	富坂地区	668	-	0.4	0.9	0.3	0.6	69.0	28.7
	大塚地区	476	0.2	-	1.1	1.1	0.4	68.7	28.6
	本富士地区	446	0.2	0.2	0.4	-	0.4	65.0	33.6
	駒込地区	510	-	0.6	0.8	-	0.2	69.8	28.6

⑥高齢者クラブ

令和元年度調査と比べると、「参加していない」が51.5%から67.8%へと増加しています。
 性別でみると、「参加していない」は、女性の61.4%に対して、男性は、76.2%と高くなっています。
 年齢別でみると、「参加していない」は、低年齢層ほど高い傾向にあります。
 圏域別でみると、「参加していない」は、本富士地区で64.3%とやや低くなっています。

【参加頻度・高齢者クラブ／性別、年齢別、圏域別】

		n	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		2,100	0.1	0.3	0.2	1.2	0.9	67.8	29.5
令和元年度調査		2,079	0.1	0.3	0.3	1.9	0.9	51.5	45.0
性別	男性	905	-	0.1	0.1	0.6	0.7	76.2	22.3
	女性	1,195	0.2	0.4	0.3	1.8	1.0	61.4	34.9
年齢別	65～69歳	464	-	0.4	-	-	0.6	87.1	11.9
	70～74歳	576	-	-	-	0.5	0.7	74.5	24.3
	75～79歳	458	-	0.2	0.4	2.4	1.1	63.8	32.1
	80～84歳	286	0.3	0.7	-	0.3	1.0	56.6	40.9
	85～89歳	191	-	-	0.5	4.7	1.0	38.7	55.0
	90歳以上	56	-	-	3.6	-	1.8	48.2	46.4
圏域別	富坂地区	668	-	0.3	0.1	0.9	0.9	68.6	29.2
	大塚地区	476	0.2	0.2	0.6	1.9	0.8	68.9	27.3
	本富士地区	446	0.2	0.2	-	0.9	0.9	64.3	33.4
	駒込地区	510	-	0.4	0.2	1.4	0.8	68.8	28.4

⑦町会・自治会

令和元年度調査と比べると、「参加していない」が45.9%から58.5%へと増加しています。
性別でみると、「参加していない」は、女性の54.0%に対して、男性は、64.4%と高くなっています。
年齢別でみると、「参加していない」は、低年齢層ほど高い傾向にあります。
圏域別でみると、「参加していない」は、本富士地区で52.9%と低くなっています。

【参加頻度・町会・自治会／性別、年齢別、圏域別】

(%)

		n	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		2,100	0.2	0.3	0.7	4.0	9.2	58.5	27.1
令和元年度調査		2,079	0.3	0.6	0.7	3.8	7.1	45.9	41.7
性別	男性	905	0.1	0.4	1.0	5.3	9.9	64.4	18.8
	女性	1,195	0.3	0.2	0.5	3.0	8.6	54.0	33.5
年齢別	65～69歳	464	0.2	0.2	0.9	3.2	11.9	72.8	10.8
	70～74歳	576	-	-	0.7	4.0	8.2	65.8	21.4
	75～79歳	458	0.2	0.7	0.9	4.6	10.3	53.7	29.7
	80～84歳	286	0.3	0.3	0.7	5.6	9.1	47.6	36.4
	85～89歳	191	-	0.5	-	3.1	4.7	37.2	54.5
	90歳以上	56	-	-	-	3.6	7.1	44.6	44.6
圏域別	富坂地区	668	0.1	0.4	0.4	3.7	8.7	60.2	26.3
	大塚地区	476	0.4	0.2	1.3	4.6	8.2	60.3	25.0
	本富士地区	446	0.2	0.2	0.4	4.7	11.4	52.9	30.0
	駒込地区	510	-	0.2	0.8	3.1	8.8	59.4	27.6

⑧収入のある仕事

令和元年度調査と比べると、「参加していない」が37.8%から47.6%へと増加しています。
性別でみると、「週4回以上」は、女性の8.8%に対して、男性は、20.4%と高くなっています。
年齢別でみると、「週4回以上」は、低年齢層ほど高くなっています。
圏域別では、特に目立った違いはありません。

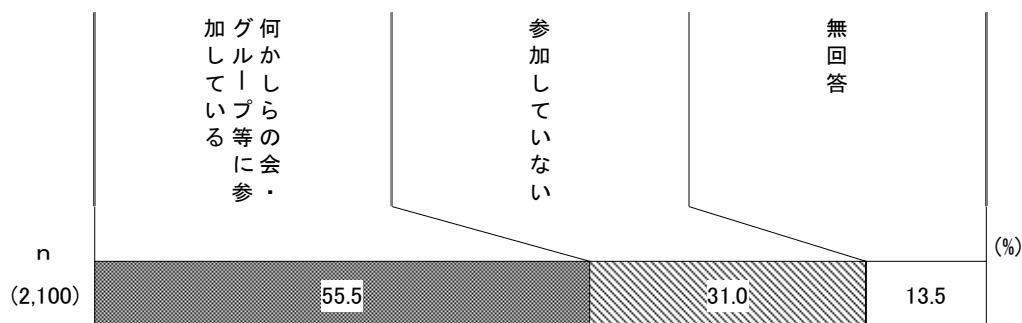
【参加頻度・収入のある仕事／性別、年齢別、圏域別】

(%)

		n	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		2,100	13.8	6.7	1.6	1.9	1.8	47.6	26.7
令和元年度調査		2,079	13.6	5.6	1.9	1.7	1.8	37.8	37.8
性別	男性	905	20.4	6.5	2.0	2.2	2.2	48.0	18.7
	女性	1,195	8.8	6.9	1.3	1.6	1.4	47.3	32.8
年齢別	65～69歳	464	29.5	11.6	1.5	1.9	1.9	45.3	8.2
	70～74歳	576	17.0	8.2	2.4	1.9	2.1	49.3	19.1
	75～79歳	458	8.3	5.5	0.4	2.6	1.7	50.9	30.6
	80～84歳	286	3.5	3.1	1.7	1.0	1.0	50.0	39.5
	85～89歳	191	1.0	0.5	1.0	1.0	1.6	38.2	56.5
	90歳以上	56	-	-	1.8	-	-	53.6	44.6
圏域別	富坂地区	668	14.4	5.4	1.0	1.5	1.5	49.4	26.8
	大塚地区	476	13.0	9.0	2.7	2.1	2.3	46.4	24.4
	本富士地区	446	11.9	5.8	0.9	2.5	1.3	47.1	30.5
	駒込地区	510	15.5	7.1	1.8	1.6	2.0	46.7	25.5

(会・グループ活動への参加状況)

「何かしらの会・グループ等に参加している」という人は、全体の55.5%となり、半数を超えています。



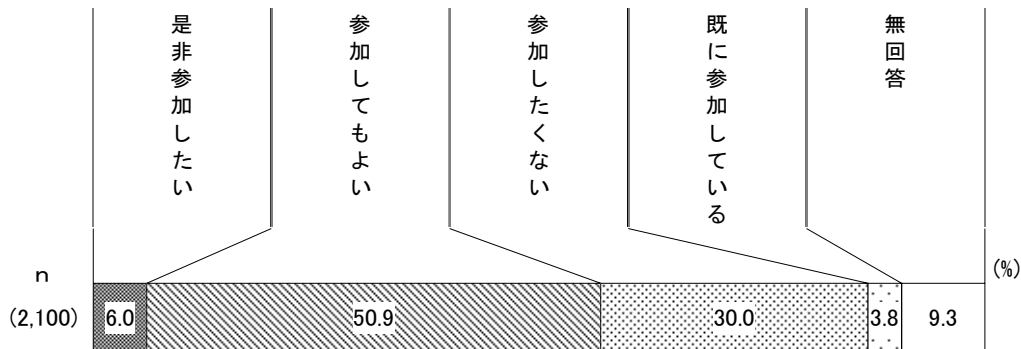
性別では、特に目立った違いはありません。
 年齢別でみると、「何かしらの会・グループ等に参加している」は、低年齢層ほど高く、90歳以上では、「参加していない」の方が高くなっています。

【会・グループ活動への参加状況／性別、年齢別】

		n	何かしらの会・グループ等に参加している (%)	参加していない (%)	無回答 (%)
全体		2,100	55.5	31.0	13.5
令和元年度調査		2,079	該当項目なし		
性別	男性	905	56.0	32.9	11.0
	女性	1,195	55.1	29.5	15.3
年齢別	65～69歳	464	67.0	28.2	4.7
	70～74歳	576	59.9	31.4	8.7
	75～79歳	458	53.9	32.3	13.8
	80～84歳	286	45.1	35.3	19.6
	85～89歳	191	41.4	27.7	30.9
	90歳以上	56	23.2	39.3	37.5

問37 グループ活動への参加意向（参加者として）

地域づくりを進める活動に参加者として参加したいかでは、「参加してもよい」が50.9%で最も高く、以下、「参加したくない」が30.0%、「是非参加したい」が6.0%、「既に参加している」が3.8%となっています。



性別で見ると、「是非参加したい」は、女性がやや高く、「参加したくない」は、男性がやや高くなっています。

年齢別で見ると、「参加してもよい」は、低年齢層ほど高い傾向にあり、90歳以上は、「参加したくない」が41.1%を占めています。

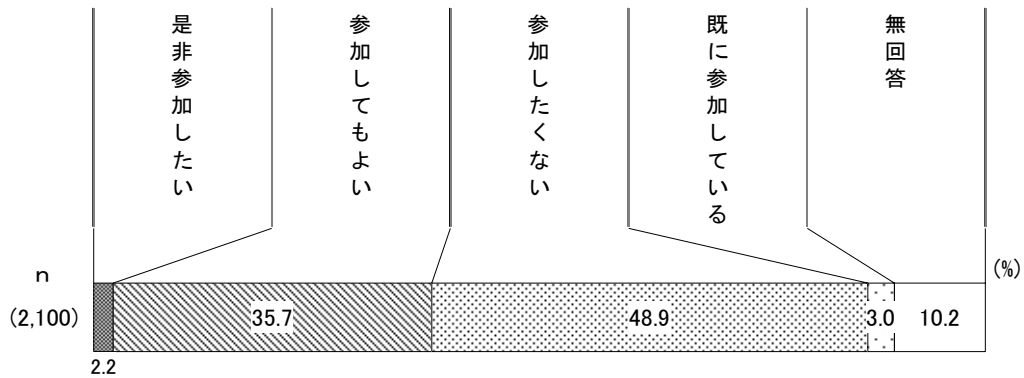
圏域別では、特に目立った違いはありません。

【グループ活動への参加意向（参加者として）／性別、年齢別、圏域別】

		n	是非参加 したい	参加して もよい	参加した くない	既に参加 している	無回答
全体		2,100	6.0	50.9	30.0	3.8	9.3
性別	男性	905	3.3	52.5	33.5	3.3	7.4
	女性	1,195	7.9	49.7	27.4	4.2	10.8
年齢別	65～69歳	464	5.6	63.1	26.7	1.9	2.6
	70～74歳	576	5.0	53.8	30.6	3.3	7.3
	75～79歳	458	6.8	50.2	29.5	4.4	9.2
	80～84歳	286	7.0	39.5	30.8	3.8	18.9
	85～89歳	191	6.8	35.6	34.0	7.3	16.2
	90歳以上	56	3.6	37.5	41.1	5.4	12.5
圏域別	富坂地区	668	4.9	51.8	31.6	3.9	7.8
	大塚地区	476	6.9	53.4	26.3	3.8	9.7
	本富士地区	446	7.0	50.9	28.5	3.1	10.5
	駒込地区	510	5.5	47.5	32.7	4.3	10.0

問38 グループ活動への参加意向（世話役として）

地域づくりを進める活動の企画・運営（お世話役）として参加したいかでは、「参加したくない」が48.9%で最も高く、以下、「参加してもよい」が35.7%、「既に参加している」が3.0%、「是非参加したい」が2.2%となっています。



性別で見ると、「参加してもよい」は、男性が39.2%で女性をやや上回っています。
 年齢別で見ると、「参加してもよい」は、79歳以下で比較的高くなっています。
 圏域別で見ると、「参加してもよい」は、大塚地区で38.2%とわずかながら高くなっています。

【グループ活動への参加意向（世話役として）／性別、年齢別、圏域別】

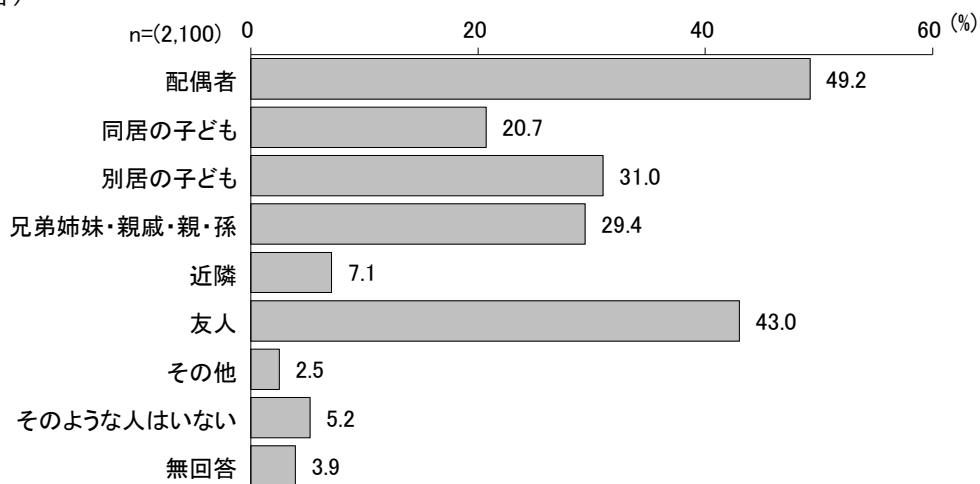
		n	是非参加 したい	参加して もよい	参加した くない	既に参加 している	無回答
全体		2,100	2.2	35.7	48.9	3.0	10.2
性別	男性	905	1.4	39.2	48.8	2.3	8.2
	女性	1,195	2.8	33.1	48.9	3.5	11.8
年齢別	65～69歳	464	3.2	45.0	45.9	1.7	4.1
	70～74歳	576	1.9	37.0	50.5	3.0	7.6
	75～79歳	458	1.3	35.6	49.3	3.5	10.3
	80～84歳	286	2.4	25.2	50.0	3.5	18.9
	85～89歳	191	2.1	29.3	47.6	3.1	17.8
	90歳以上	56	1.8	26.8	55.4	3.6	12.5
圏域別	富坂地区	668	2.1	35.0	51.2	3.1	8.5
	大塚地区	476	2.9	38.2	45.4	2.9	10.5
	本富士地区	446	1.6	36.5	47.8	2.5	11.7
	駒込地区	510	2.2	33.5	50.0	3.3	11.0

7. たすけあい

問39 心配や愚痴を聞いてくれる人

心配事や愚痴を聞いてくれる人では、「配偶者」が49.2%で最も高く、以下、「友人」が43.0%、「別居の子ども」が31.0%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が29.4%となっています。

(複数回答)



性別でみると、男性は、「配偶者」が66.5%、女性は、「友人」が53.8%で最も高くなっています。

年齢別でみると、65歳から84歳までの層では、「配偶者」が、85歳以上になると、「同居の子ども」や「別居の子ども」が高くなっています。

圏域別でみると、「配偶者」は、富坂地区で50.4%、大塚地区で52.1%と半数を超えています。

家族構成別でみると、1人暮らしは、「友人」が55.0%、夫婦2人暮らしは、配偶者の年齢に関わらず「配偶者」が8割以上、息子・娘との2世帯では、「同居の子ども」が66.0%で高くなっています。

【心配や愚痴を聞いてくれる人／性別、年齢別、圏域別、家族構成別】

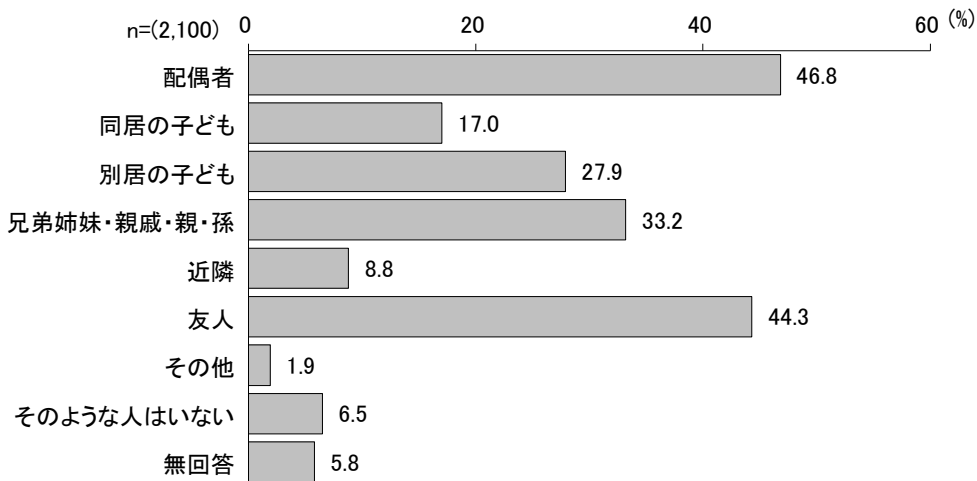
(%)

		n	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		2,100	49.2	20.7	31.0	29.4	7.1	43.0	2.5	5.2	3.9
性別	男性	905	66.5	15.8	21.9	19.9	2.3	28.7	2.0	7.5	4.2
	女性	1,195	36.2	24.4	37.8	36.6	10.8	53.8	2.9	3.5	3.6
年齢別	65～69歳	464	60.3	19.2	29.3	30.6	5.0	51.9	2.6	5.0	2.2
	70～74歳	576	53.0	16.1	31.3	27.3	6.3	47.2	1.6	6.6	3.3
	75～79歳	458	50.9	19.2	31.0	29.5	8.7	43.0	2.4	4.1	3.7
	80～84歳	286	43.7	24.8	30.4	32.5	8.7	35.7	2.4	3.8	4.5
	85～89歳	191	26.2	29.8	34.6	28.3	9.4	28.3	4.7	5.8	7.9
	90歳以上	56	26.8	37.5	37.5	23.2	5.4	21.4	3.6	10.7	1.8
圏域別	富坂地区	668	50.4	22.2	31.9	29.2	7.2	42.1	3.0	4.8	3.0
	大塚地区	476	52.1	18.7	32.1	31.5	8.6	47.3	1.3	4.6	3.8
	本富士地区	446	45.1	19.7	30.0	28.9	6.1	42.2	3.1	5.4	4.9
	駒込地区	510	48.6	21.6	29.4	28.0	6.7	41.0	2.5	6.3	4.1
家族構成別	1人暮らし	536	1.1	1.3	28.5	38.8	10.3	55.0	3.9	11.9	4.3
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	763	83.9	2.1	40.2	23.1	5.6	39.3	1.4	2.6	3.9
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	78	87.2	3.8	25.6	17.9	2.6	43.6	3.8	1.3	1.3
	息子・娘との2世帯	476	45.6	66.0	24.8	29.8	6.1	35.3	1.9	3.2	2.9
	その他	174	41.4	36.2	20.7	31.6	7.5	44.8	2.9	5.2	4.0

問40 心配や愚痴を聞いてあげる人

心配事や愚痴を聞いてあげる人では、「配偶者」が46.8%で最も高く、以下、「友人」が44.3%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が33.2%、「別居の子ども」が27.9%となっています。

(複数回答)



性別でみると、男性は、「配偶者」が65.1%、女性は、「友人」が54.7%で最も高くなっています。年齢別でみると、65歳から79歳までの層では、「配偶者」、80歳代は、「友人」、90歳以上は、「同居の子ども」や「別居の子ども」が高くなっています。

圏域別では、特に目立った違いはありません。

家族構成別でみると、1人暮らしは、「友人」、夫婦2人暮らしは、配偶者の年齢に関わらず「配偶者」、息子・娘との2世帯では、「同居の子ども」がそれぞれ最も高くなっています。

【心配や愚痴を聞いてあげる人／性別、年齢別、圏域別、家族構成別】

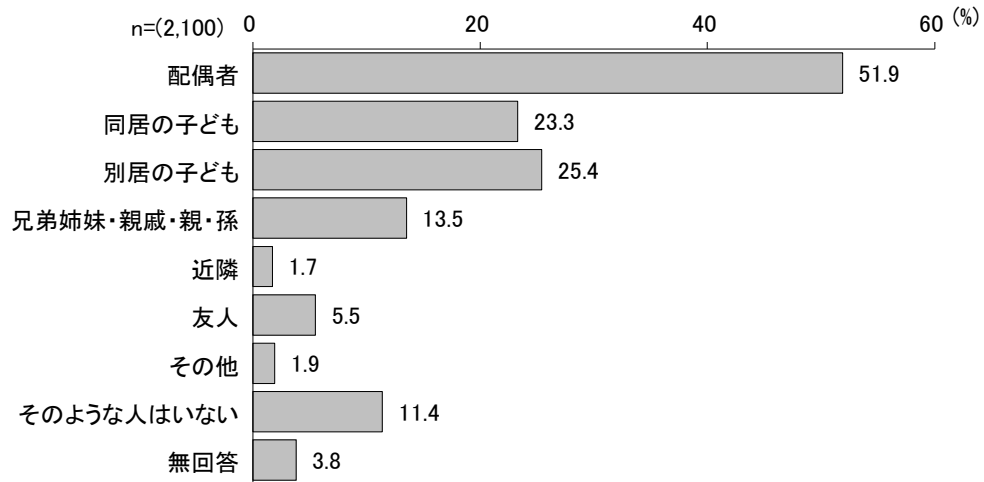
(%)

	n	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答	
全体	2,100	46.8	17.0	27.9	33.2	8.8	44.3	1.9	6.5	5.8	
性別	男性	905	65.1	15.2	22.9	24.8	4.1	30.5	2.0	7.0	6.0
	女性	1,195	32.9	18.4	31.6	39.6	12.3	54.7	1.8	6.2	5.7
年齢別	65～69歳	464	59.7	19.0	29.1	37.7	6.9	51.3	2.4	4.5	2.8
	70～74歳	576	51.6	14.6	29.9	31.3	9.0	47.0	2.3	5.9	4.7
	75～79歳	458	46.9	15.7	27.1	33.4	10.0	42.6	2.4	6.1	5.2
	80～84歳	286	38.8	18.9	25.5	35.0	9.4	41.6	0.7	7.0	6.3
	85～89歳	191	24.1	17.8	26.2	29.8	7.3	36.1	1.0	12.0	13.1
	90歳以上	56	19.6	23.2	25.0	23.2	7.1	21.4	1.8	12.5	10.7
圏域別	富坂地区	668	46.1	17.1	28.4	31.3	9.3	43.7	1.3	8.1	5.1
	大塚地区	476	50.0	17.4	28.6	35.7	9.2	46.4	1.7	3.6	6.3
	本富士地区	446	44.4	15.2	25.3	33.0	8.1	43.9	1.3	8.5	7.2
	駒込地区	510	46.7	18.2	28.6	33.5	8.2	43.3	3.3	5.5	5.1
家族構成別	1人暮らし	536	1.3	0.6	21.5	42.0	11.4	56.9	2.4	14.0	6.2
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	763	79.0	2.6	37.9	27.4	7.1	39.1	1.7	2.9	5.0
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	78	89.7	2.6	26.9	28.2	6.4	50.0	2.6	-	3.8
	息子・娘との2世帯	476	43.7	52.3	23.3	33.8	8.8	39.5	0.8	5.3	6.7
	その他	174	41.4	33.3	18.4	35.6	6.9	40.2	2.9	6.3	4.6

問41 看病してくれる人

病気の際看病や世話をしてくれる人では、「配偶者」が51.9%で最も高く、以下、「別居の子ども」が25.4%、「同居の子ども」が23.3%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が13.5%となっています。

(複数回答)



第3章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

性別で見ると、男性は、「配偶者」が70.7%を占めますが、女性は、「配偶者」が37.7%、「別居の子ども」が31.0%、「同居の子ども」が27.5%となっています。

年齢別で見ると、低年齢層ほど「配偶者」が、85歳以上は、「同居の子ども」や「別居の子ども」が高くなっています。

圏域別で見ると、本富士地区は、「配偶者」が46.2%で唯一半数未満となっています。

家族構成別で見ると、1人暮らしは、「そのような人はいない」や「別居の子ども」、夫婦2人暮らしは、配偶者の年齢に関わらず「配偶者」、息子・娘との2世帯では、「同居の子ども」がそれぞれ高くなっています。

【看病してくれる人／性別、年齢別、圏域別、家族構成別】

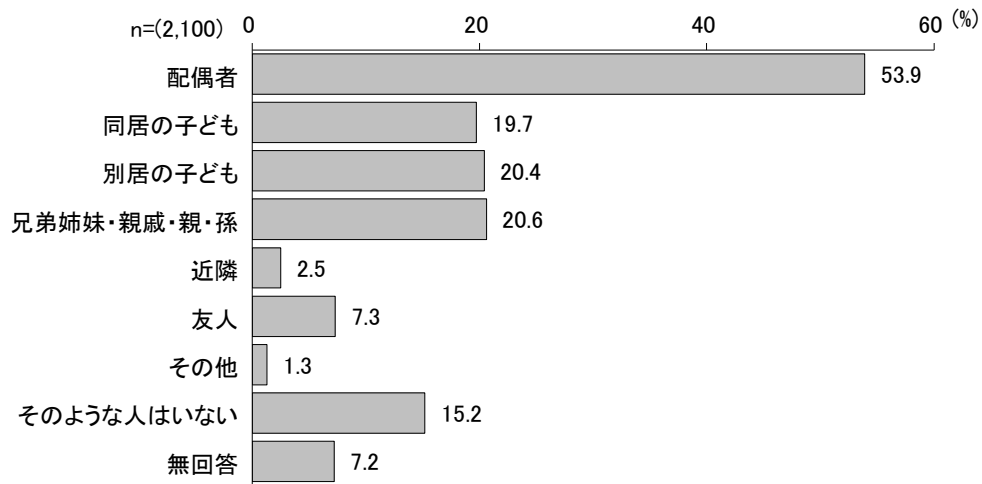
(%)

		n	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		2,100	51.9	23.3	25.4	13.5	1.7	5.5	1.9	11.4	3.8
性別	男性	905	70.7	17.8	18.1	9.5	0.3	2.7	1.0	10.2	3.9
	女性	1,195	37.7	27.5	31.0	16.5	2.8	7.7	2.6	12.3	3.8
年齢別	65～69歳	464	63.6	21.1	19.6	14.4	0.6	5.8	0.6	11.6	2.4
	70～74歳	576	56.1	18.1	24.0	11.5	1.9	6.1	1.7	13.7	3.3
	75～79歳	458	55.0	21.8	27.9	15.9	2.4	5.2	2.2	10.3	3.9
	80～84歳	286	43.7	27.6	27.3	12.6	1.4	6.6	3.1	10.5	4.2
	85～89歳	191	27.7	35.1	36.1	12.6	2.1	4.2	2.6	9.9	4.7
	90歳以上	56	26.8	39.3	28.6	17.9	1.8	-	1.8	7.1	3.6
圏域別	富坂地区	668	53.6	23.7	28.1	13.2	1.9	4.6	1.8	9.9	3.4
	大塚地区	476	54.2	20.8	23.7	12.6	1.9	5.9	1.7	9.2	4.2
	本富士地区	446	46.2	21.7	25.1	14.6	0.9	5.2	2.2	15.2	4.5
	駒込地区	510	52.5	26.7	23.7	13.7	2.0	6.7	2.0	12.0	3.3
家族構成別	1人暮らし	536	1.7	1.7	29.7	23.5	3.4	13.4	3.5	34.9	3.9
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	763	88.2	2.6	30.9	6.8	1.3	2.2	0.7	3.7	3.5
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	78	94.9	3.8	12.8	9.0	-	-	-	1.3	2.6
	息子・娘との2世帯	476	47.5	72.9	18.7	9.0	0.8	2.7	1.7	2.7	2.9
	その他	174	43.1	41.4	13.8	27.0	0.6	5.2	3.4	4.6	5.2

問42 看病してあげる人

病気の際看病や世話をしあける人では、「配偶者」が53.9%で最も高く、以下、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が20.6%、「別居の子ども」が20.4%、「同居の子ども」が19.7%となっています。

(複数回答)



第3章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

性別で見ると、男性は、「配偶者」が69.1%を占めますが、女性は、「配偶者」の42.3%をはじめ、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が25.5%、「別居の子ども」が24.9%となっています。

年齢別で見ると、低年齢層ほど「配偶者」が、90歳以上では、「そのような人はいない」が37.5%と高くなっています。

圏域別で見ると、本富士地区は、「配偶者」が47.8%で、唯一半数未満となっています。

家族構成別で見ると、1人暮らしは、「そのような人はいない」や「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、夫婦2人暮らしは、配偶者の年齢に関わらず、「配偶者」が9割前後、息子・娘との2世帯では、「同居の子ども」や「配偶者」が高くなっています。

【看病してあげる人／性別、年齢別、圏域別、家族構成別】

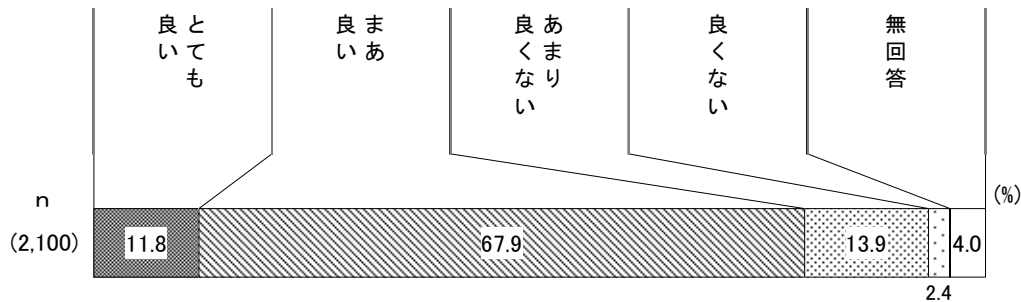
(%)

		n	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		2,100	53.9	19.7	20.4	20.6	2.5	7.3	1.3	15.2	7.2
性別	男性	905	69.1	18.2	14.5	14.1	0.4	3.3	1.0	12.9	6.1
	女性	1,195	42.3	20.8	24.9	25.5	4.1	10.4	1.6	16.9	8.1
年齢別	65～69歳	464	67.0	21.8	25.4	30.0	1.5	7.5	1.3	9.3	2.8
	70～74歳	576	59.0	18.8	22.9	22.0	2.6	8.5	1.2	14.9	4.2
	75～79歳	458	55.9	20.1	20.7	18.8	2.8	7.9	0.7	14.4	6.6
	80～84歳	286	45.1	19.6	16.4	16.8	2.8	8.0	2.8	17.1	9.1
	85～89歳	191	28.3	19.9	13.1	11.0	2.6	4.2	0.5	22.0	18.8
	90歳以上	56	19.6	12.5	3.6	3.6	-	-	3.6	37.5	21.4
圏域別	富坂地区	668	56.0	19.6	22.2	18.6	2.2	6.3	1.5	14.7	6.3
	大塚地区	476	57.4	20.0	20.4	19.7	3.6	7.8	1.1	13.4	7.8
	本富士地区	446	47.8	17.7	17.7	22.6	2.5	8.7	0.9	17.5	8.5
	駒込地区	510	53.1	21.4	20.4	22.4	2.0	7.1	1.8	15.5	6.9
家族構成別	1人暮らし	536	1.7	0.9	17.2	26.7	3.9	14.7	2.4	41.8	10.6
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	763	91.1	2.5	28.4	13.9	2.0	3.8	0.5	1.8	4.6
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	78	89.7	6.4	15.4	20.5	-	2.6	1.3	3.8	5.1
	息子・娘との2世帯	476	50.2	59.0	15.3	17.6	1.7	5.7	1.3	11.1	7.6
	その他	174	47.1	42.0	13.8	42.5	1.7	6.9	1.1	9.2	5.7

8. 健康・介護予防

問43 現在の健康状態

現在の健康状態では、「まあ良い」が67.9%で最も高く、以下、「あまり良くない」が13.9%、「とても良い」が11.8%、「良くない」が2.4%となっています。



性/年齢別で見ると、男女とも「とても良い」と「まあ良い」は、65～74歳で最も高くなっています。

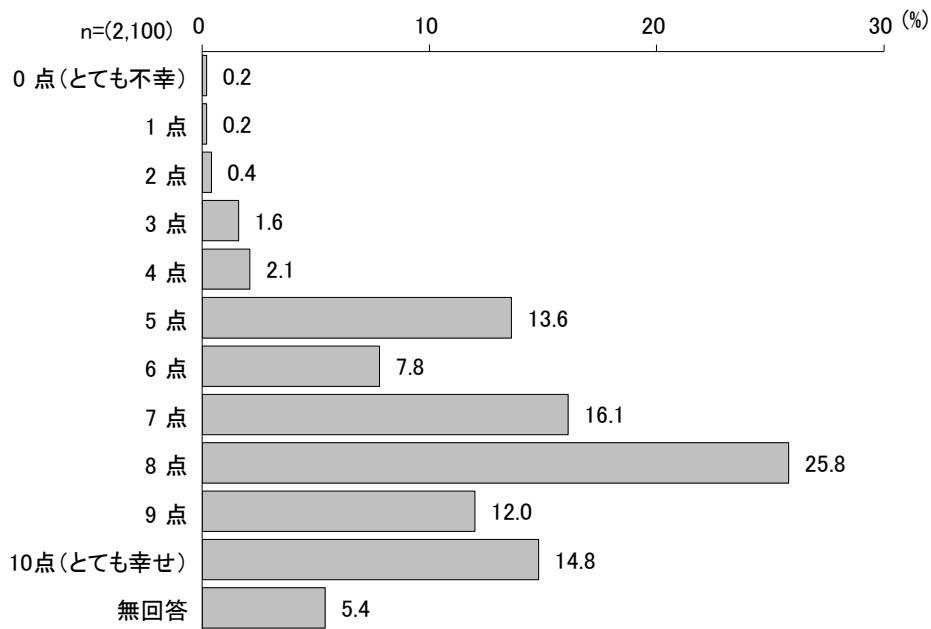
圏域別で見ると、「まあ良い」は、駒込地区で71.4%と、唯一7割を超えています。

【現在の健康状態～性/年齢別、圏域別】

		n	とても良い	まあ良い	あまり良くない	良くない	無回答
全体		2,100	11.8	67.9	13.9	2.4	4.0
性/年齢別	男性/65～74歳	467	13.5	70.0	11.1	2.1	3.2
	男性/75～84歳	325	8.3	67.7	19.1	1.8	3.1
	男性/85歳以上	89	9.0	58.4	19.1	6.7	6.7
	女性/65～74歳	573	14.1	71.7	9.2	1.2	3.7
	女性/75～84歳	419	11.2	65.2	16.0	2.9	4.8
女性/85歳以上	158	7.6	65.2	20.3	3.2	3.8	
圏域別	富坂地区	668	12.1	65.7	16.2	2.4	3.6
	大塚地区	476	11.8	68.7	12.4	1.9	5.3
	本富士地区	446	11.7	66.4	15.7	2.2	4.0
	駒込地区	510	11.4	71.4	10.6	3.1	3.5

問44 現在の幸福度

幸福感（点数化）では、「8点」が25.8%で最も高く、以下、「7点」が16.1%、「10点（とても幸せ）」が14.8%、「5点」が13.6%となっています。



性/年齢別で見ると、ほとんどの層で「8点」が、女性/85歳以上は、「10点（とても幸せ）」が19.6%で最も高くなっています。
 圏域別では、特に目立った違いはありません。

【現在の幸福度～性/年齢別、圏域別】

		n	0点 (とても不幸)	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点
全体		2,100	0.2	0.2	0.4	1.6	2.1	13.6	7.8	16.1	25.8
性/ 年齢別	男性/65～74歳	467	-	0.6	0.4	1.9	3.4	12.4	8.4	16.5	29.3
	男性/75～84歳	325	-	-	0.9	1.5	2.2	19.4	8.3	16.3	21.8
	男性/85歳以上	89	-	-	-	2.2	3.4	12.4	9.0	12.4	20.2
	女性/65～74歳	573	0.2	0.2	0.2	1.2	2.1	11.0	7.5	17.8	27.4
	女性/75～84歳	419	0.2	-	0.5	1.2	0.7	13.1	7.2	15.0	27.4
	女性/85歳以上	158	0.6	-	-	1.9	0.6	18.4	6.3	14.6	17.7
圏域別	富坂地区	668	0.1	0.3	0.4	1.3	3.0	13.2	7.5	18.1	26.0
	大塚地区	476	0.2	0.2	0.6	1.9	2.5	14.3	6.9	17.0	26.7
	本富士地区	446	0.4	-	0.2	1.3	1.3	14.8	8.3	14.3	24.4
	駒込地区	510	0.2	0.2	0.2	1.8	1.2	12.5	8.4	14.1	25.9

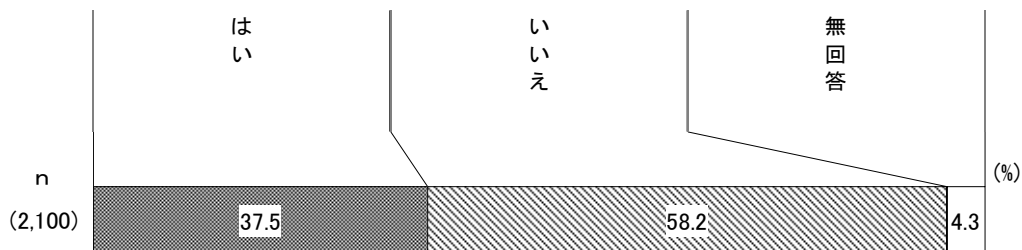
(%)

		9点	10点 (とても幸せ)	無回答
全体		12.0	14.8	5.4
性/ 年齢別	男性/65～74歳	10.1	12.2	4.7
	男性/75～84歳	12.3	11.4	5.8
	男性/85歳以上	12.4	19.1	9.0
	女性/65～74歳	13.8	14.3	4.4
	女性/75～84歳	10.7	18.9	5.0
	女性/85歳以上	12.7	19.6	7.6
圏域別	富坂地区	11.7	14.7	3.6
	大塚地区	8.8	13.4	7.4
	本富士地区	11.9	15.9	7.0
	駒込地区	15.5	15.3	4.7

問45、問46 うつ傾向

①この1か月間で気分が沈んだりゆううつな気持ちになったりしたこと（問45）

この1か月間、気分が沈んだりゆううつな気持ちになったりすることがあったかでは、「いいえ」が58.2%、「はい」が37.5%となっています。



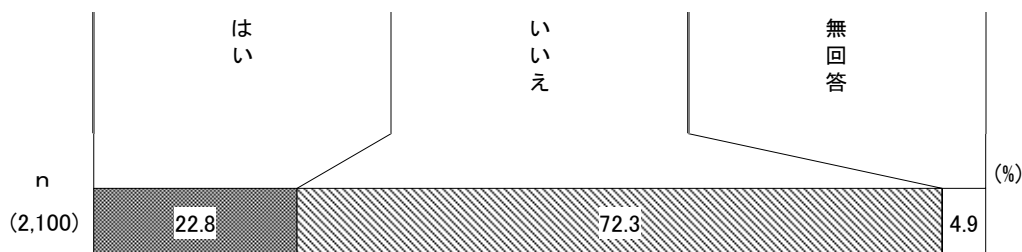
要介護度別でみると、要支援1・2認定者では、「はい」が59.0%で、「いいえ」の35.9%を大きく上回っています。

【この1か月間で気分が沈んだりゆううつな気持ちになったりしたこと／要介護度別】

		n	はい (%)	いいえ (%)	無回答 (%)
全体		2,100	37.5	58.2	4.3
要介護度別	要支援非認定者	1,935	36.7	59.4	3.9
	要支援1・2認定	78	59.0	35.9	5.1

②この1か月間で物事に対して興味がわかない、心から楽しめない感じがよくある（問46）

（問46）1か月間、物事に対して興味がわかない、心から楽しめない感じがよくあったかでは、「いいえ」が72.3%、「はい」が22.8%となっています。



要介護度別でみると、要支援1・2認定者では、「はい」が47.4%で、「いいえ」の43.6%を僅かに上回っています。

【この1か月間で物事に対して興味がわかない、心から楽しめない感じがよくある／要介護度】

		n	(%)		
			はい	いいえ	無回答
全体		2,100	22.8	72.3	4.9
要介護度別	要支援非認定者	1,935	21.7	74.3	4.1
	要支援1・2認定	78	47.4	43.6	9.0

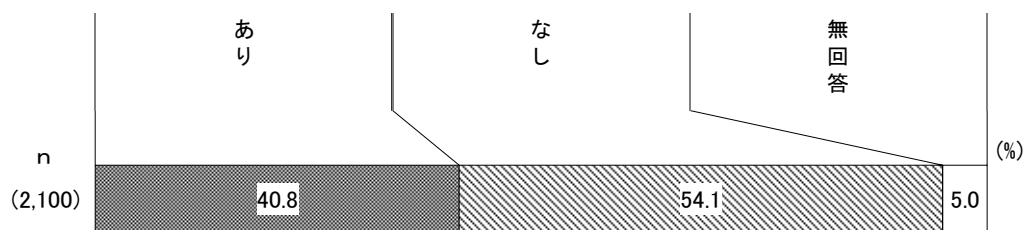
■うつ傾向

「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 実施の手引き（2022年8月 厚生労働省）」に基づき、「うつ傾向」に該当する高齢者の割合を算出しました。

次の2問中、いずれか1問でも該当の場合、「うつ傾向」に該当します。

- ・問46 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになることがあったか
→「はい」
- ・問47 この1か月間、物事に対して興味がわかない、心から楽しめない感じがあったか
→「はい」

「うつ傾向」の該当は40.8%となっています。



第3章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

性/要支援別でみると、男女とも要支援1・2認定者は、「あり」が「なし」を大幅に上回っています。

年齢/要支援別でみると、年齢に関わらず要支援1・2認定者では、「あり」が「なし」を大幅に上回っています。

圏域別でみると、「あり」は、富坂地区で44.0%とやや高く、駒込地区で37.8%とやや低くなっています。

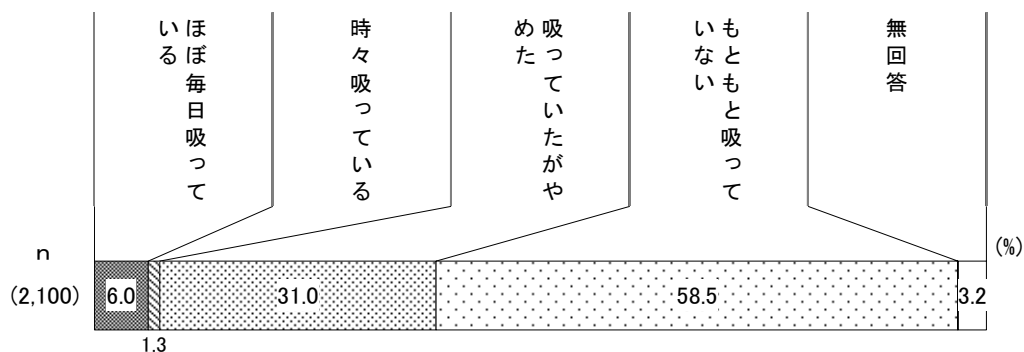
圏域/要支援別でみると、圏域に関わらず要支援1・2認定者では、「あり」が「なし」を大幅に上回っています。

【うつ傾向リスク～性/要支援別、年齢/要支援別、圏域別、圏域/要支援別】

		(%)			
		n	あり	なし	無回答
全 体		2,100	40.8	54.1	5.0
性/要支援別	男性/要支援非認定者	846	33.6	62.1	4.4
	男性/要支援1・2認定者	25	68.0	28.0	4.0
	女性/要支援非認定者	1,089	44.8	50.9	4.3
	女性/要支援1・2認定者	53	66.0	24.5	9.4
年齢/要支援別	65～74歳/要支援非認定者	1,023	40.1	56.4	3.5
	75～84歳/要支援非認定者	688	38.7	56.4	4.9
	85歳以上/要支援非認定者	195	41.5	52.3	6.2
	65～74歳/要支援1・2認定者	6	83.3	16.7	-
	75～84歳/要支援1・2認定者	37	70.3	24.3	5.4
	85歳以上/要支援1・2認定者	35	60.0	28.6	11.4
圏域別	富坂地区	668	44.0	51.0	4.9
	大塚地区	476	40.1	53.8	6.1
	本富土地区	446	40.1	55.2	4.7
	駒込地区	510	37.8	57.6	4.5
圏域/要支援別	富坂地区 / 要支援非認定者	623	43.8	52.0	4.2
	大塚地区 / 要支援非認定者	434	39.9	55.3	4.8
	本富土地区 / 要支援非認定者	414	38.6	57.0	4.3
	駒込地区 / 要支援非認定者	464	35.8	60.1	4.1
	富坂地区 / 要支援1・2認定者	24	62.5	29.2	8.3
	大塚地区 / 要支援1・2認定者	20	60.0	25.0	15.0
	本富土地区 / 要支援1・2認定者	18	77.8	16.7	5.6
	駒込地区 / 要支援1・2認定者	16	68.8	31.3	-

問47 喫煙状況

喫煙状況では、「もともと吸っていない」が58.5%で最も高く、以下、「吸っていたがやめた」が31.0%、「ほぼ毎日吸っている」が6.0%、「時々吸っている」が1.3%となっています。



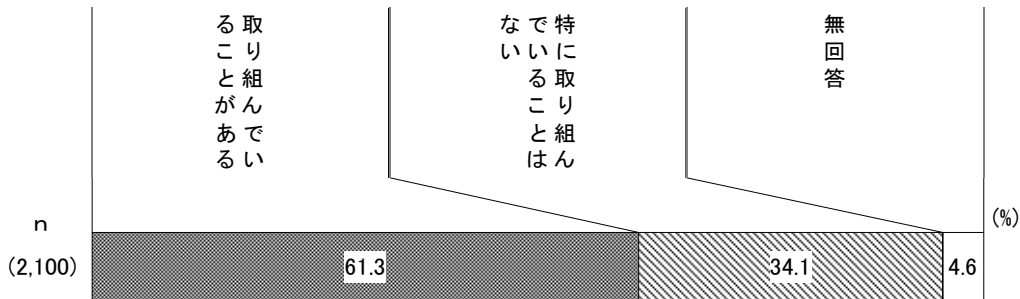
性別で見ると、女性は、「もともと吸っていない」が78.8%で、男性は、「吸っていたがやめた」が53.8%と高くなっています。
 年齢別で見ると、「もともと吸っていない」は、高年齢層ほど高くなる傾向にあります。
 圏域別で見ると、「もともと吸っていない」は、駒込地区で61.6%とやや高く、大塚地区で54.6%とやや低くなっています。

【喫煙状況／性別、年齢別、圏域別】

		n	ほぼ毎日吸っている (%)	時々吸っている (%)	吸っていたがやめた (%)	もともと吸っていない (%)	無回答 (%)
全体		2,100	6.0	1.3	31.0	58.5	3.2
性別	男性	905	9.8	1.3	53.8	31.6	3.4
	女性	1,195	3.0	1.3	13.7	78.8	3.1
年齢別	65～69歳	464	8.0	1.7	34.5	53.7	2.2
	70～74歳	576	7.3	1.7	31.4	56.4	3.1
	75～79歳	458	5.5	1.1	33.6	56.8	3.1
	80～84歳	286	3.8	1.0	30.1	61.5	3.5
	85～89歳	191	2.1	1.0	27.7	64.9	4.2
	90歳以上	56	5.4	-	10.7	78.6	5.4
圏域別	富坂地区	668	4.5	1.0	33.1	59.0	2.4
	大塚地区	476	9.0	2.1	29.6	54.6	4.6
	本富士地区	446	6.1	0.9	30.9	58.3	3.8
	駒込地区	510	4.9	1.4	29.6	61.6	2.5

問48 介護予防の取組状況

健康の維持・増進や介護予防のための取り組みの有無では、「取り組んでいることがある」が61.3%、「特に取り組んでいることはない」が34.1%となっています。



性別及び圏域別では、特に目立った違いはありません。

年齢別でみると、「取り組んでいることがある」は、低年齢層ほど高く、90歳以上では、「特に取り組んでいることはない」が50.0%となっています。

健康感別でみると、健康感が強くなるほど「取り組んでいることがある」が高く、健康が良くない層では、「特に取り組んでいることはない」が49.0%となっています。

運動機能低下の有無別、転倒リスクの有無別、閉じこもり傾向の有無別、低栄養状態の有無別では、それぞれ、運動器の機能低下なし、転倒リスクなし、閉じこもり傾向なし、低栄養状態ではない層で、「取り組んでいることがある」が高くなっています。

口腔機能低下の有無別及びADL低下の有無別では、それぞれ、口腔機能の低下なし、手段的ADL5点（低下なし）の層で、「取り組んでいることがある」が高くなっています。

認知機能低下の有無別、うつ傾向の有無別では、それぞれ、認知機能の低下なし、うつ傾向なしの層で、「取り組んでいることがある」が高くなっていますが、「特に取り組んでいることはない」との差は大きくありません。

【介護予防の取組状況／

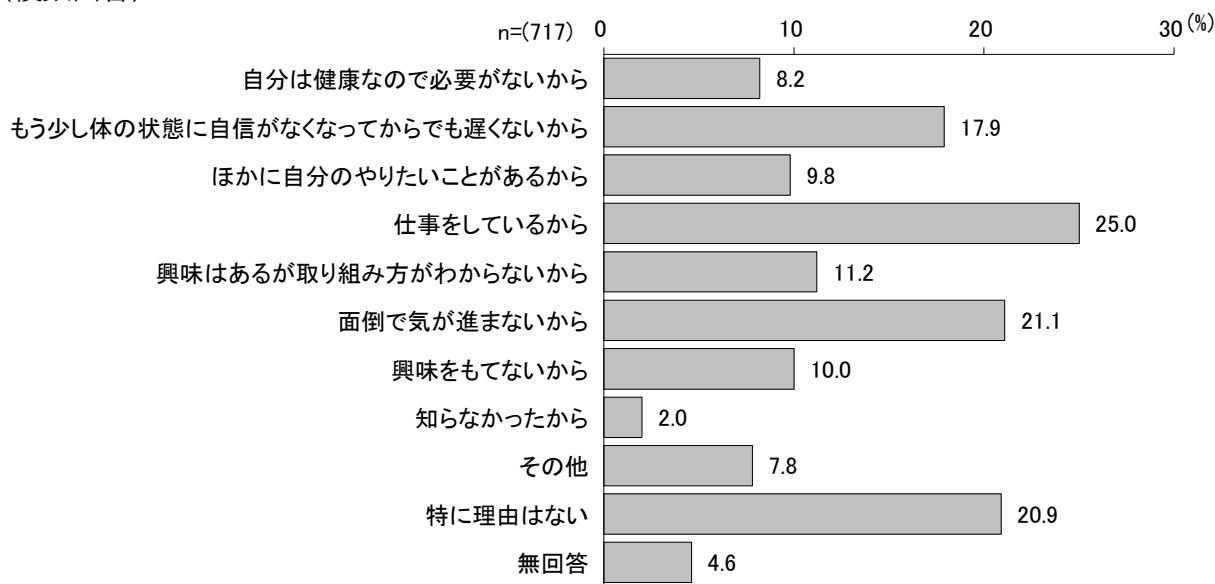
性別、年齢別、圏域別、健康感別、運動機能低下の有無別、転倒リスクの有無別、閉じこもり傾向の有無別、低栄養状態の有無別、口腔機能低下の有無別、認知機能低下の有無別、ADL低下の有無別、うつ傾向の有無別】

		n	取り組んでいることがある	特に取り組んでいることはない	(%) 無回答
全体		2,100	61.3	34.1	4.6
性別	男性	905	60.4	35.5	4.1
	女性	1,195	61.9	33.1	4.9
年齢別	65～69歳	464	69.4	28.4	2.2
	70～74歳	576	65.1	31.3	3.6
	75～79歳	458	58.5	36.0	5.5
	80～84歳	286	58.4	35.7	5.9
	85～89歳	191	49.2	42.9	7.9
	90歳以上	56	46.4	50.0	3.6
圏域別	富坂地区	668	62.4	33.4	4.2
	大塚地区	476	61.3	33.4	5.3
	本富士地区	446	61.2	33.2	5.6
	駒込地区	510	59.8	36.7	3.5
健康感別	とても良い	247	76.9	21.9	1.2
	まあ良い	1,426	63.7	34.6	1.8
	あまり良くない	291	52.2	45.7	2.1
	良くない	51	41.2	49.0	9.8
運動機能低下の有無別	運動器の機能低下あり	212	44.8	46.7	8.5
	運動器の機能低下なし	1,772	64.2	32.3	3.6
転倒リスクの有無別	転倒リスクあり	555	56.4	37.1	6.5
	転倒リスクなし	1,519	63.2	33.2	3.6
閉じこもり傾向の有無別	閉じこもり傾向あり	240	33.3	58.8	7.9
	閉じこもり傾向なし	1,830	65.3	30.9	3.8
低栄養状態の有無別	低栄養状態	21	33.3	52.4	14.3
	低栄養状態ではない	1,994	62.4	33.8	3.9
口腔機能低下の有無別	口腔機能の低下あり	260	53.8	42.3	3.8
	口腔機能の低下なし	1,799	62.9	33.1	4.1
認知機能低下の有無別	認知機能の低下あり	851	59.5	36.4	4.1
	認知機能の低下なし	1,152	63.9	32.4	3.7
ADL低下の有無別	手段的ADL4点以下 (低下あり)	145	46.2	49.7	4.1
	手段的ADL5点 (低下なし)	1,885	63.0	33.2	3.8
うつ傾向の有無別	うつ傾向あり	857	61.6	36.8	1.6
	うつ傾向なし	1,137	65.3	33.0	1.8

問48-1 介護予防に取り組んでいない理由

取り組んでいない主な理由では、「仕事をしているから」が25.0%で最も高く、以下、「面倒で気が進まないから」が21.1%、「もう少し体の状態に自信がなくなってからでも遅くないから」が17.9%、「興味はあるが取り組み方がわからないから」が11.2%となっています。一方、「特に理由はない」は20.9%となっています。

(複数回答)



性別で見ると、男性は、「仕事をしているから」が32.7%と特に高くなっています。

年齢別で見ると、「仕事をしているから」は、低年齢層で高い傾向にあります。

圏域別で見ると、富坂地区と本富士地区では、「仕事をしているから」が他地区よりもやや低くなっています。

健康感別で見ると、「自分は健康なので必要がないから」や「仕事をしているから」は、健康感が強くなるほど高く、一方、「興味はあるが取り組み方がわからないから」は、健康感が強くなるほど低くなっています。

運動機能低下の有無別における運動器の機能低下なし、転倒リスクの有無別における転倒リスクなし、閉じこもり傾向の有無別における閉じこもり傾向なし、低栄養状態の有無別における低栄養状態ではない層では、いずれも、「仕事をしているから」が最も高くなっています。

口腔機能低下の有無別における口腔機能の低下なし、認知機能低下の有無別における認知機能の低下なし、ADL低下の有無別における手段的ADL5点（低下なし）、うつ傾向の有無別におけるうつ傾向なしの層では、いずれも、「仕事をしているから」が最も高くなっています。

【介護予防に取り組んでいない理由①】

／性別、年齢別、圏域別、健康感別、運動機能低下の有無別、転倒リスクの有無別、閉じこもり傾向の有無別、低栄養状態の有無別、口腔機能低下の有無別、認知機能低下の有無別、ADL低下の有無別、うつ傾向の有無別】

		n	自分は健康なので必要がないから	もう少し体の状態に自信がなくなっても遅くから	ほかに自分のやりたいことがあるから	仕事をしているから	興味はあるが取り組み方がわからないから	面倒で気が進まないから	興味をもてないから	知らなかったから	その他
全体		717	8.2	17.9	9.8	25.0	11.2	21.1	10.0	2.0	7.8
性別	男性	321	10.9	19.0	12.5	32.7	9.0	22.1	10.3	1.9	5.6
	女性	396	6.1	16.9	7.6	18.7	12.9	20.2	9.8	2.0	9.6
年齢別	65～69歳	132	8.3	15.2	9.1	49.2	10.6	23.5	9.8	1.5	5.3
	70～74歳	180	8.3	23.9	13.9	30.6	14.4	22.2	11.1	2.8	7.2
	75～79歳	165	9.7	19.4	7.3	23.6	10.3	20.6	7.9	1.8	9.1
	80～84歳	102	10.8	17.6	7.8	7.8	8.8	21.6	11.8	2.0	10.8
	85～89歳	82	2.4	11.0	12.2	7.3	12.2	20.7	11.0	-	6.1
	90歳以上	28	10.7	3.6	7.1	14.3	3.6	14.3	14.3	3.6	10.7
圏域別	富坂地区	223	6.3	15.7	9.4	20.6	10.3	20.6	11.7	3.1	9.9
	大塚地区	159	11.3	18.2	7.5	29.6	15.1	23.9	14.5	1.9	7.5
	本富士地区	148	5.4	18.2	10.1	19.6	8.8	23.6	6.8	-	6.8
	駒込地区	187	10.2	19.8	11.8	30.5	10.7	17.1	7.0	2.1	6.4
健康感別	とても良い	54	29.6	16.7	9.3	33.3	3.7	3.7	-	1.9	5.6
	まあ良い	493	8.5	19.7	11.2	27.0	9.3	19.1	9.5	1.4	6.7
	あまり良くない	133	-	15.0	5.3	17.3	18.0	34.6	15.0	3.0	12.0
	良くない	25	-	-	4.0	12.0	28.0	24.0	16.0	4.0	12.0
運動機能低下の有無別	運動器の機能低下あり	99	1.0	15.2	4.0	13.1	17.2	29.3	19.2	3.0	13.1
	運動器の機能低下なし	572	10.0	18.7	10.8	27.8	10.5	19.6	8.6	1.7	7.2
転倒リスクの有無別	転倒リスクあり	206	8.3	16.0	10.7	23.3	15.0	28.2	11.7	3.4	8.7
	転倒リスクなし	505	8.3	18.8	9.3	25.5	9.7	17.8	9.3	1.4	7.5
閉じこもり傾向の有無別	閉じこもり傾向あり	141	4.3	10.6	4.3	8.5	12.8	27.0	15.6	2.8	9.2
	閉じこもり傾向なし	566	9.2	20.0	11.1	29.0	10.8	19.4	8.8	1.8	7.6
低栄養状態の有無別	低栄養状態	11	9.1	54.5	9.1	9.1	-	9.1	-	-	-
	低栄養状態ではない	673	8.5	17.5	10.1	25.6	11.6	20.8	10.4	1.9	8.2
口腔機能低下の有無別	口腔機能の低下あり	110	1.8	16.4	7.3	19.1	19.1	33.6	12.7	2.7	12.7
	口腔機能の低下なし	595	9.6	18.2	10.3	26.2	9.9	18.7	9.6	1.8	7.1
認知機能低下の有無別	認知機能の低下あり	310	6.1	16.5	10.0	23.2	13.2	29.0	11.0	2.6	8.7
	認知機能の低下なし	373	10.2	19.3	9.7	27.1	9.7	15.8	10.2	1.6	7.0
ADL低下の有無別	手段的ADL4点以下(低下あり)	72	6.9	11.1	8.3	16.7	11.1	29.2	20.8	6.9	11.1
	手段的ADL5点(低下なし)	625	8.5	18.7	10.1	26.1	11.2	20.0	8.8	1.4	7.5
うつ傾向の有無別	うつ傾向あり	315	2.9	15.6	6.0	20.3	15.6	29.8	12.4	2.5	11.7
	うつ傾向なし	375	12.8	19.5	13.3	29.6	8.0	14.4	7.7	1.6	4.8

【介護予防に取り組んでいない理由②】

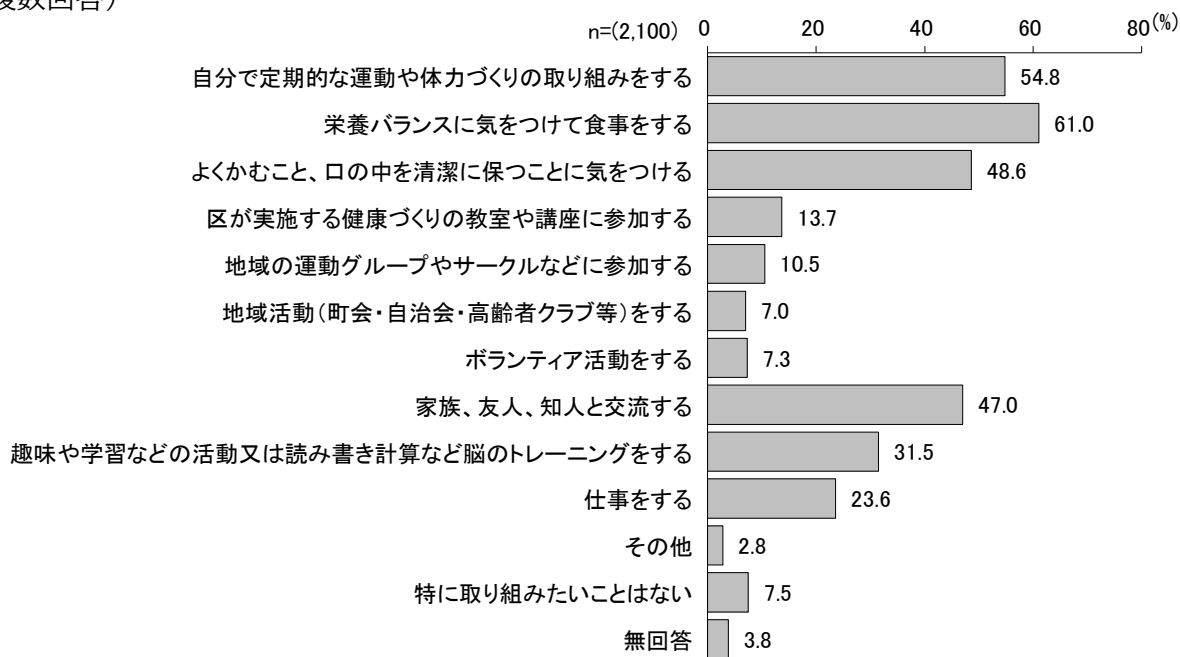
／性別、年齢別、圏域別、健康感別、運動機能低下の有無別、転倒リスクの有無別、閉じこもり傾向の有無別、低栄養状態の有無別、口腔機能低下の有無別、認知機能低下の有無別、ADL低下の有無別、うつ傾向の有無別】

		特に理由はない	無回答
全体		20.9	4.6
性別	男性	16.8	4.4
	女性	24.2	4.8
年齢別	65～69歳	19.7	-
	70～74歳	13.3	2.2
	75～79歳	18.8	5.5
	80～84歳	25.5	2.9
	85～89歳	29.3	12.2
	90歳以上	25.0	17.9
圏域別	富坂地区	20.6	4.9
	大塚地区	17.0	3.1
	本富士地区	24.3	6.8
	駒込地区	21.9	3.7
健康感別	とても良い	24.1	3.7
	まあ良い	22.9	3.9
	あまり良くない	12.0	7.5
	良くない	24.0	4.0
運動機能低下の有無別	運動器の機能低下あり	17.2	10.1
	運動器の機能低下なし	20.3	3.3
転倒リスクの有無別	転倒リスクあり	15.5	6.3
	転倒リスクなし	23.0	4.0
閉じこもり傾向の有無別	閉じこもり傾向あり	27.7	6.4
	閉じこもり傾向なし	19.1	4.2
低栄養状態の有無別	低栄養状態	27.3	9.1
	低栄養状態ではない	20.5	3.9
口腔機能低下の有無別	口腔機能の低下あり	15.5	6.4
	口腔機能の低下なし	21.5	4.0
認知機能低下の有無別	認知機能の低下あり	18.4	4.5
	認知機能の低下なし	22.0	3.2
ADL低下の有無別	手段的ADL4点以下（低下あり）	13.9	9.7
	手段的ADL5点（低下なし）	21.4	3.8
うつ傾向の有無別	うつ傾向あり	14.9	5.4
	うつ傾向なし	25.6	2.7

問49 介護予防のために今後取り組みたいこと

健康の維持・増進や介護予防のため今後取り組んでみたいことでは、「栄養バランスに気をつけて食事をする」が61.0%で最も高く、以下、「自分で定期的な運動や体力づくりの取り組みをする」が54.8%、「よくかむこと、口の中を清潔に保つことに気をつける」が48.6%、「家族、友人、知人と交流する」が47.0%となっています。

(複数回答)



性別で見ると、多くの項目で女性の方が高く、男性の方が高いものに「仕事をする」や「自分で定期的な運動や体力づくりの取り組みをする」があります。

年齢別で見ると、「栄養バランスに気をつけて食事をする」や「よくかむこと、口の中を清潔に保つことに気をつける」は、年齢による違いはなく、「自分で定期的な運動や体力づくりの取り組みをする」や「仕事をする」は、低年齢層ほど高くなっています。

圏域別では、特に目立った違いはありません。

健康感別で見ると、「栄養バランスに気をつけて食事をする」、「家族、友人、知人と交流する」、「仕事をする」は、健康感が強くなるほど高くなっています。

運動機能低下の有無別における運動器の機能低下なし、閉じこもり傾向の有無別における閉じこもり傾向なし、ADL低下の有無別における手段的ADL5点(低下なし)層では、いずれも、「栄養バランスに気をつけて食事をする」の高さが目立っています。

転倒リスク、認知機能低下、うつ傾向では、それぞれの有無に関係なく、「栄養バランスに気をつけて食事をする」が最も高くなっています。

口腔機能低下の有無別における、口腔機能の低下ありの層では、「よくかむこと、口の中を清潔に保つことに気をつける」が63.1%で最も高くなっています。

低栄養状態の有無別における低栄養状態の層では、「栄養バランスに気をつけて食事をする」が71.4%と高スコアですが、人数が少ないため、傾向がつかみにくくなっています。

第3章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

【介護予防のために今後取り組みたいこと①】

／性別、年齢別、圏域別、健康感別、運動機能低下の有無別、転倒リスクの有無別、閉じこもり傾向の有無別、低栄養状態の有無別、口腔機能低下の有無別、認知機能低下の有無別、ADL低下の有無別、うつ傾向の有無別】

		n	自分で定期的な運動や体力づくりの取り組みをする	栄養バランスに気をつけて食事をする	よくかむこと、口の中を清潔に保つことに気をつける	区が実施する健康づくりの教室や講座に参加する	地域の運動グループやサークルなどに参加する	(%) 地域活動(町会・自治会・高齢者クラブ等)をする
全体		2,100	54.8	61.0	48.6	13.7	10.5	7.0
性別	男性	905	56.7	54.7	39.9	8.5	6.7	7.5
	女性	1,195	53.4	65.8	55.1	17.7	13.3	6.5
年齢別	65～69歳	464	62.9	59.5	45.3	13.6	11.6	5.4
	70～74歳	576	60.9	59.9	45.5	13.4	10.1	4.7
	75～79歳	458	52.4	64.2	51.7	14.6	11.1	9.4
	80～84歳	286	50.7	61.2	51.7	15.0	9.1	9.4
	85～89歳	191	38.2	61.3	49.2	11.5	10.5	8.4
	90歳以上	56	33.9	57.1	53.6	10.7	3.6	8.9
圏域別	富坂地区	668	55.8	60.8	48.4	13.5	10.2	7.0
	大塚地区	476	55.9	59.5	46.0	13.9	11.3	7.6
	本富士地区	446	51.3	61.9	52.5	13.7	10.1	7.8
	駒込地区	510	55.5	62.0	47.8	13.9	10.4	5.5
健康感別	とても良い	247	63.2	66.0	48.2	14.6	14.6	10.9
	まあ良い	1,426	56.2	61.7	48.7	13.3	10.2	6.7
	あまり良くない	291	47.4	56.4	51.2	15.8	10.0	5.2
	良くない	51	35.3	54.9	49.0	9.8	5.9	3.9
運動機能低下の有無別	運動器の機能低下あり	212	41.0	54.2	48.6	12.7	5.7	6.1
	運動器の機能低下なし	1,772	57.3	62.8	49.0	13.7	10.9	7.0
転倒リスクの有無別	転倒リスクあり	555	51.0	57.8	50.1	15.9	9.5	5.8
	転倒リスクなし	1,519	56.4	62.3	48.1	12.9	10.7	7.2
閉じこもり傾向の有無別	閉じこもり傾向あり	240	36.3	50.4	45.4	10.4	4.6	8.3
	閉じこもり傾向なし	1,830	57.7	62.6	49.3	14.4	11.3	6.7
低栄養状態の有無別	低栄養状態	21	57.1	71.4	57.1	9.5	-	9.5
	低栄養状態ではない	1,994	55.5	61.5	48.7	14.1	10.9	6.8
口腔機能低下の有無別	口腔機能の低下あり	260	55.4	61.5	63.1	17.7	11.9	6.9
	口腔機能の低下なし	1,799	55.3	61.3	46.9	13.4	10.4	6.9
認知機能低下の有無別	認知機能の低下あり	851	55.8	59.8	50.5	16.9	11.6	6.9
	認知機能の低下なし	1,152	55.2	62.8	48.0	10.9	9.6	6.9
ADL低下の有無別	手段的ADL4点以下(低下あり)	145	43.4	40.7	39.3	8.3	2.8	4.8
	手段的ADL5点(低下なし)	1,885	56.6	63.2	49.9	14.2	11.4	7.1
うつ傾向の有無別	うつ傾向あり	857	54.6	60.4	51.5	15.2	11.4	4.8
	うつ傾向なし	1,137	56.6	62.5	48.0	13.4	10.5	8.6

【介護予防のために今後取り組みたいこと②

／性別、年齢別、圏域別、健康感別、運動機能低下の有無別、転倒リスクの有無別、閉じこもり傾向の有無別、低栄養状態の有無別、口腔機能低下の有無別、認知機能低下の有無別、ADL低下の有無別、うつ傾向の有無別】

(%)

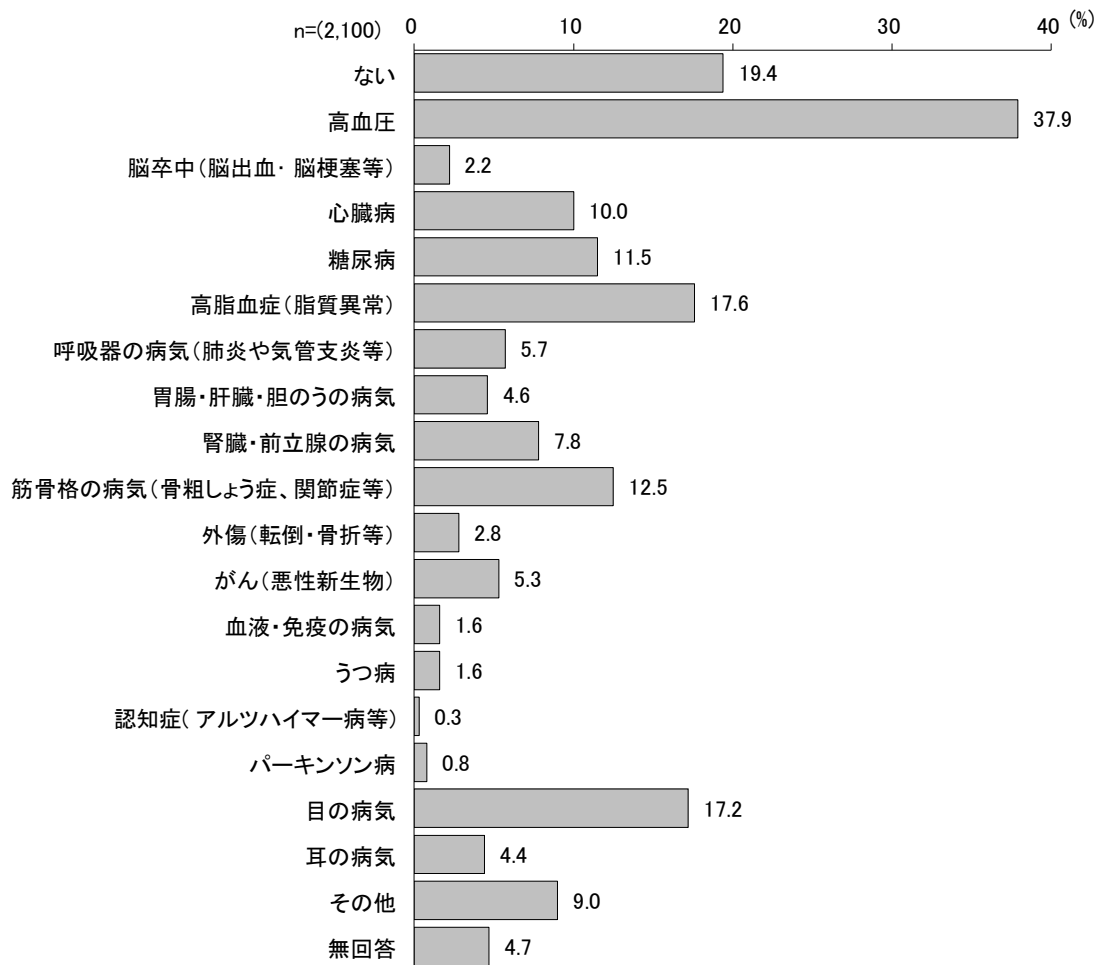
		ボランティア活動をする	家族、友人、知人と交流する	趣味や学習などの活動又は読み書き計算など脳のトレーニングをする	仕事をする	その他	特に取り組みたいことはない	無回答
全体		7.3	47.0	31.5	23.6	2.8	7.5	3.8
性別	男性	6.5	38.7	26.5	32.4	2.1	9.6	3.3
	女性	7.9	53.2	35.3	17.0	3.3	5.9	4.2
年齢別	65～69歳	10.6	49.1	31.0	39.9	1.9	6.9	1.7
	70～74歳	5.9	46.7	31.4	28.3	2.8	7.8	3.0
	75～79歳	8.5	49.3	36.0	18.1	2.6	4.8	3.9
	80～84歳	6.3	48.6	33.2	11.2	3.8	7.0	4.9
	85～89歳	5.2	39.3	25.1	7.3	5.2	12.0	7.3
	90歳以上	-	30.4	17.9	7.1	1.8	17.9	3.6
圏域別	富坂地区	7.2	46.6	30.5	20.8	2.5	6.9	3.9
	大塚地区	8.4	46.8	31.1	26.1	2.5	8.8	4.2
	本富士地区	7.6	43.9	33.4	24.0	3.1	6.7	4.7
	駒込地区	6.1	50.2	31.6	24.7	3.1	7.6	2.5
健康感別	とても良い	12.1	50.6	30.4	34.8	3.6	8.5	2.0
	まあ良い	6.9	47.3	32.5	24.0	2.6	7.2	3.5
	あまり良くない	6.2	41.2	31.6	14.8	3.1	8.9	2.7
	良くない	2.0	33.3	23.5	17.6	5.9	3.9	5.9
運動機能低下の有無別	運動器の機能低下あり	4.2	40.1	24.1	12.3	3.8	11.8	7.1
	運動器の機能低下なし	7.7	48.1	32.7	25.3	2.9	7.0	2.8
転倒リスクの有無別	転倒リスクあり	6.5	45.9	32.1	19.1	3.1	9.4	5.0
	転倒リスクなし	7.6	47.4	31.4	25.1	2.8	6.9	3.2
閉じこもり傾向の有無別	閉じこもり傾向あり	5.4	34.2	25.0	10.0	2.5	14.6	3.8
	閉じこもり傾向なし	7.6	48.9	32.7	25.4	2.8	6.6	3.6
低栄養状態の有無別	低栄養状態	4.8	42.9	14.3	23.8	-	9.5	-
	低栄養状態ではない	7.4	47.7	32.2	23.7	2.8	7.5	3.2
口腔機能低下の有無別	口腔機能の低下あり	8.5	46.5	36.2	15.8	2.3	6.5	3.5
	口腔機能の低下なし	7.2	47.4	31.2	24.8	2.9	7.8	3.3
認知機能低下の有無別	認知機能の低下あり	8.2	46.9	34.3	21.7	3.1	7.3	3.2
	認知機能の低下なし	6.7	48.0	30.1	25.8	2.7	7.8	3.0
ADL低下の有無別	手段的ADL4点以下（低下あり）	2.8	29.7	23.4	17.2	0.7	14.5	4.8
	手段的ADL5点（低下なし）	7.7	48.9	32.9	24.4	3.0	6.9	2.9
うつ傾向の有無別	うつ傾向あり	6.0	48.1	32.3	20.4	3.0	7.0	3.4
	うつ傾向なし	8.4	47.0	31.9	27.1	2.7	7.7	2.8

9. 医療

問50 病気の状況

現在治療中、または後遺症のある病気の有無では、「高血圧」が37.9%で最も高く、以下、「ない」が19.4%、「高脂血症（脂質異常）」が17.6%、「目の病気」が17.2%となっています。

(複数回答)



性/年齢別でみると、「高血圧」は、男女とも高年齢層ほど、84歳以下では、女性よりも男性の方が高い傾向ですが、85歳以上になると差はなくなっています。

圏域別では、特に目立った違いはありません。

健康感別でみると、とても良い層では、「ない」が46.6%、まあ良い、あまり良くない、良くない層では、いずれも「高血圧」が最も高くなっています。

【病気の状況～性/年齢別、圏域別、健康感別】

(%)

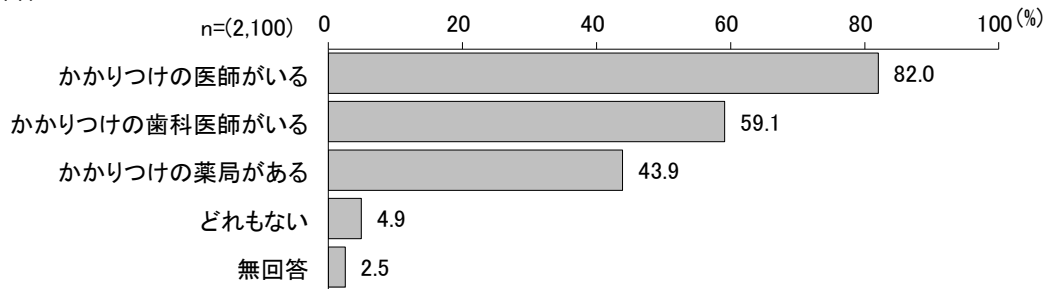
		n	ない	高血圧	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症 (脂質異常)	呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)
全体		2,100	19.4	37.9	2.2	10.0	11.5	17.6	5.7	4.6	7.8	12.5
性/ 年齢別	男性/65～74歳	467	21.8	40.5	1.9	7.5	12.6	17.3	4.7	5.4	12.2	3.9
	男性/75～84歳	325	13.2	45.5	3.1	17.8	22.2	12.3	7.4	4.3	21.5	4.0
	男性/85歳以上	89	12.4	49.4	6.7	23.6	19.1	10.1	7.9	4.5	24.7	1.1
	女性/65～74歳	573	27.1	27.9	0.7	4.0	6.5	22.5	4.9	3.5	0.5	14.3
	女性/75～84歳	419	15.5	36.0	2.9	11.0	7.6	20.8	6.7	5.7	1.2	21.7
	女性/85歳以上	158	11.4	51.3	2.5	10.8	11.4	10.1	4.4	5.7	1.9	30.4
圏域別	富坂地区	668	20.2	37.3	3.0	10.3	11.5	16.3	5.8	4.3	6.3	12.0
	大塚地区	476	20.0	38.7	1.9	8.4	12.4	17.9	4.6	3.8	8.2	14.7
	本富士地区	446	18.4	34.5	1.6	10.5	12.6	17.3	5.2	5.6	8.3	11.4
	駒込地区	510	18.8	41.0	2.0	10.4	9.8	19.4	7.1	4.9	8.8	12.0
健康感別	とても良い	247	46.6	22.3	1.2	2.4	6.9	16.2	1.2	0.8	2.8	4.0
	まあ良い	1,426	18.7	40.3	1.8	9.0	11.2	17.5	5.0	4.5	7.0	11.5
	あまり良くない	291	3.8	40.5	4.8	20.6	17.9	18.6	11.3	7.9	14.4	23.7
	良くない	51	2.0	39.2	3.9	23.5	11.8	23.5	15.7	9.8	17.6	25.5

		外傷 (転倒・骨折等)	がん(悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全体		2.8	5.3	1.6	1.6	0.3	0.8	17.2	4.4	9.0	4.7
性/ 年齢別	男性/65～74歳	0.6	7.9	1.7	2.1	-	0.2	14.8	3.2	8.6	3.6
	男性/75～84歳	1.8	7.1	1.5	0.6	0.6	1.5	17.2	4.9	7.4	3.4
	男性/85歳以上	2.2	1.1	1.1	1.1	-	1.1	14.6	6.7	6.7	7.9
	女性/65～74歳	2.4	4.2	1.2	1.4	-	1.2	15.2	2.8	9.9	4.4
	女性/75～84歳	5.3	4.1	1.4	1.9	0.2	0.2	20.8	6.2	10.3	6.0
	女性/85歳以上	5.7	3.8	2.5	3.2	2.5	0.6	21.5	8.2	5.7	5.1
圏域別	富坂地区	1.3	4.8	2.2	1.8	0.4	0.3	21.0	5.2	10.8	4.8
	大塚地区	3.4	5.3	1.5	2.1	0.2	1.1	16.8	4.4	6.5	4.0
	本富士地区	4.3	5.8	0.9	1.3	-	0.9	15.2	3.4	10.8	5.6
	駒込地区	2.9	5.5	1.4	1.2	0.6	1.0	14.5	4.3	7.3	4.3
健康感別	とても良い	0.4	2.0	-	0.4	0.4	-	9.7	1.2	4.9	5.7
	まあ良い	2.5	4.2	1.1	1.1	0.1	0.6	17.1	4.1	7.7	4.2
	あまり良くない	5.8	10.7	5.2	3.4	0.7	1.7	24.7	7.9	16.8	2.7
	良くない	5.9	27.5	2.0	9.8	3.9	5.9	23.5	5.9	17.6	3.9

問51 かかりつけ医・歯科医・薬局の有無

かかりつけ医・歯科医・薬局の有無では、「かかりつけの医師がいる」が82.0%で最も高く、以下、「かかりつけの歯科医師がいる」が59.1%、「かかりつけの薬局がある」が43.9%、「どれも無い」が4.9%となっています。

(複数回答)



性別でみると、女性は男性よりも「かかりつけの歯科医師がいる」で12ポイント、「かかりつけの薬局がある」で10.4ポイント高くなっています。

年齢別でみると、「かかりつけの医師がいる」は、高齢層ほど高くなっています。

圏域別でみると、「かかりつけの医師がいる」、「かかりつけの歯科医師がいる」、「かかりつけの薬局がある」は、いずれも駒込地区が最も高くなっています。

健康感別でみると、「かかりつけの医師がいる」と「かかりつけの薬局がある」はあまり良くない、良くない層で高くなっていますが、「かかりつけの歯科医師がいる」に関しては、そのような傾向は見られません。

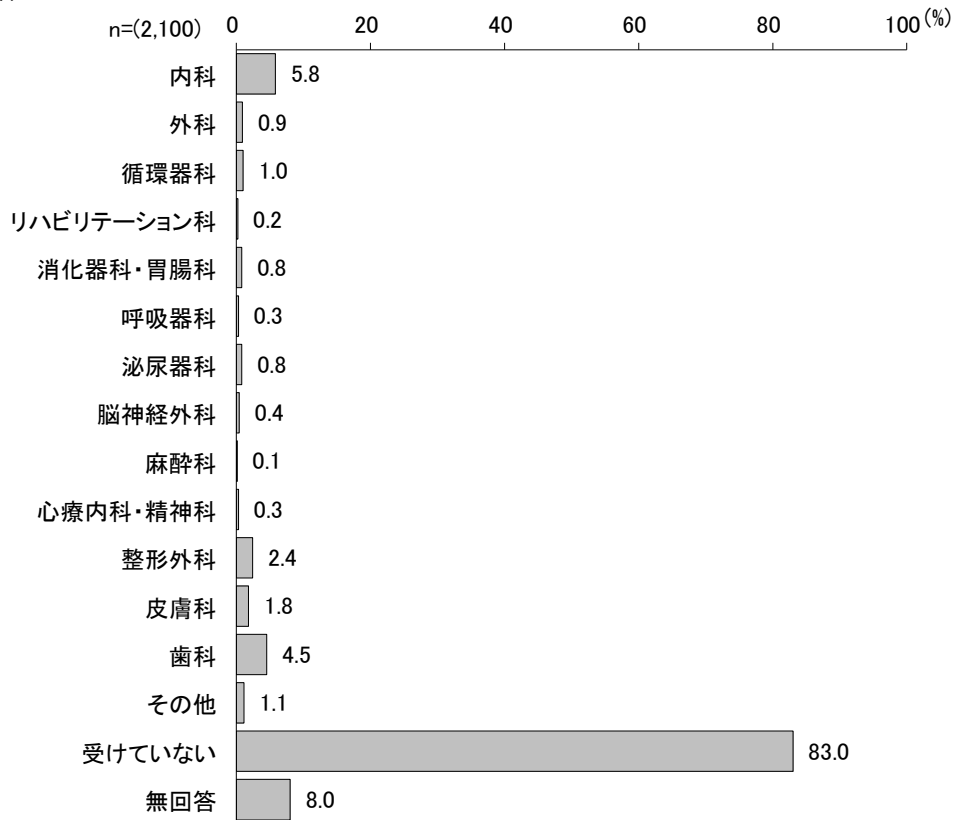
【かかりつけ医・歯科医・薬局の有無／性別、年齢別、圏域別、健康感別】

		n	かかりつけの医師がいる (%)	かかりつけの歯科医師がいる (%)	かかりつけの薬局がある (%)	どれも無い (%)	無回答 (%)
全体		2,100	82.0	59.1	43.9	4.9	2.5
性別	男性	905	83.2	52.3	38.0	5.3	2.3
	女性	1,195	81.1	64.3	48.4	4.5	2.7
年齢別	65～69歳	464	75.0	56.5	33.2	8.6	1.5
	70～74歳	576	78.3	58.9	39.1	5.0	2.3
	75～79歳	458	86.7	58.5	46.1	2.8	2.0
	80～84歳	286	87.8	67.1	55.2	3.5	2.8
	85～89歳	191	88.0	58.6	62.8	1.0	5.8
	90歳以上	56	92.9	53.6	41.1	5.4	-
圏域別	富坂地区	668	80.2	56.7	42.8	4.3	3.3
	大塚地区	476	80.7	58.6	41.0	4.8	2.7
	本富士地区	446	81.8	61.0	42.6	6.1	2.0
	駒込地区	510	85.7	61.0	49.2	4.5	1.8
健康感別	とても良い	247	70.9	61.5	36.8	8.1	1.2
	まあ良い	1,426	83.7	59.9	43.8	4.1	2.0
	あまり良くない	291	87.6	59.8	52.2	4.5	1.4
	良くない	51	84.3	43.1	51.0	5.9	3.9

問52 訪問診療の有無（受診した訪問診療の種類）

自宅で受けた訪問治療（往診）科目では、「受けていない」が83.0%を占めていた。一方、具体的な選択肢の中では、「内科」が5.8%と最も高く、以下、「歯科」が4.5%、「整形外科」が2.4%、「皮膚科」が1.8%となっています。

（複数回答）



第3章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

性別及び圏域別では、特に目立った違いはありません。
 年齢別でみると、「受けていない」は低年齢層ほど高い傾向となっています。
 健康感別でみると、「受けていない」は健康感が良くなるほど高くなっています。

【訪問診療の有無（受診した訪問診療の種類）／性別、年齢別、圏域別、健康感別】

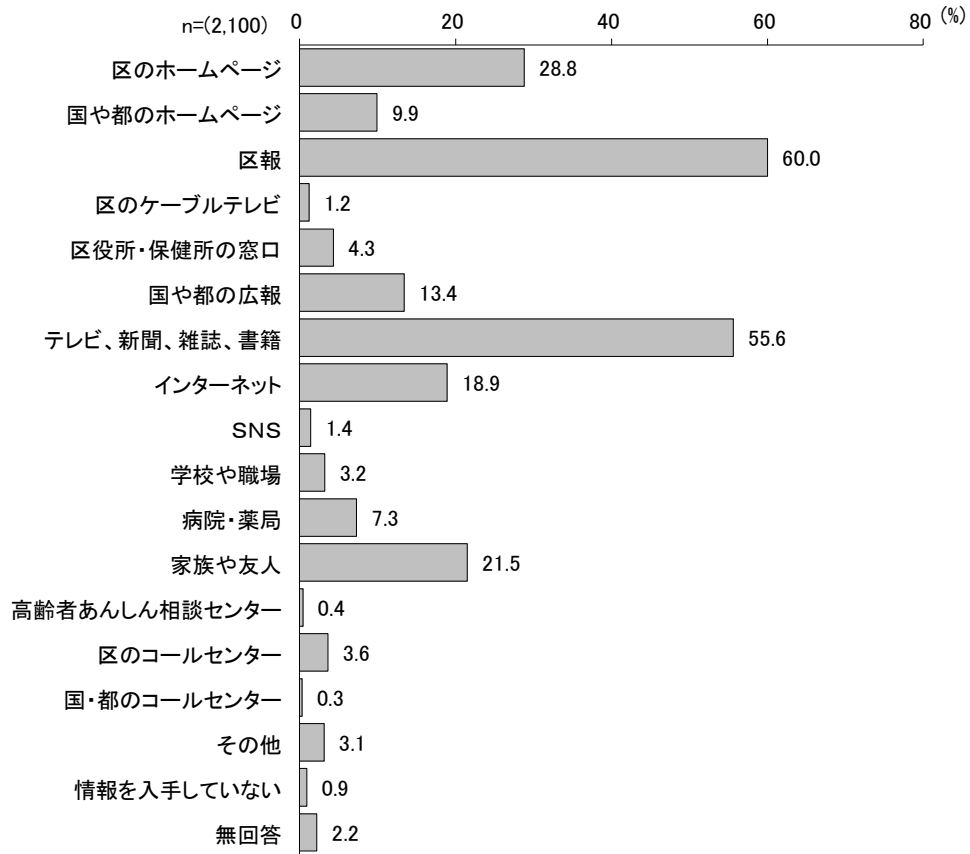
		n	内科	外科	循環器科	リハビリテーション科	消化器科・胃腸科	呼吸器科	泌尿器科	脳神経外科	麻酔科
全体		2,100	5.8	0.9	1.0	0.2	0.8	0.3	0.8	0.4	0.1
性別	男性	905	6.6	1.3	1.4	0.2	1.1	0.2	1.4	0.3	0.2
	女性	1,195	5.2	0.6	0.8	0.3	0.5	0.4	0.3	0.4	-
年齢別	65～69歳	464	4.1	0.2	0.9	-	1.3	0.2	0.2	-	-
	70～74歳	576	5.9	0.3	0.5	0.2	0.7	-	0.5	0.7	0.2
	75～79歳	458	4.6	0.4	0.9	0.2	0.4	0.4	0.9	0.2	-
	80～84歳	286	4.9	0.7	0.7	0.3	-	0.7	0.7	0.3	-
	85～89歳	191	11.5	4.2	3.7	-	0.5	1.0	2.1	0.5	0.5
	90歳以上	56	8.9	5.4	-	3.6	-	-	-	1.8	-
圏域別	富坂地区	668	5.7	0.4	0.7	-	0.6	0.1	0.7	0.4	0.1
	大塚地区	476	7.8	0.8	1.3	0.4	0.8	-	0.4	0.4	0.2
	本富士地区	446	4.5	0.7	1.3	0.4	0.4	1.1	0.4	-	-
	駒込地区	510	5.3	1.8	1.0	0.2	1.2	0.2	1.4	0.6	-
健康感別	とても良い	247	5.3	-	0.4	-	0.8	-	1.2	-	-
	まあ良い	1,426	4.8	0.6	1.1	0.1	0.6	0.4	0.4	0.4	-
	あまり良くない	291	7.9	2.1	1.0	1.0	1.0	-	1.4	0.7	0.3
	良くない	51	19.6	5.9	5.9	-	3.9	-	5.9	2.0	2.0

		心療内科・精神科	整形外科	皮膚科	歯科	その他	受けていない	無回答
全体		0.3	2.4	1.8	4.5	1.1	83.0	8.0
性別	男性	0.3	2.7	2.2	5.5	1.3	83.4	6.6
	女性	0.3	2.3	1.4	3.8	0.9	82.7	9.1
年齢別	65～69歳	0.2	2.4	1.3	3.4	1.3	89.7	3.4
	70～74歳	0.3	1.2	1.7	4.5	0.7	85.2	6.8
	75～79歳	0.4	2.4	2.4	3.1	0.9	81.7	9.8
	80～84歳	0.3	3.1	0.7	5.2	1.0	82.5	9.8
	85～89歳	-	4.2	2.6	8.4	3.1	70.2	12.0
	90歳以上	-	5.4	1.8	5.4	-	73.2	14.3
圏域別	富坂地区	0.3	2.8	1.3	3.9	1.5	82.3	9.4
	大塚地区	0.4	2.3	2.3	6.9	1.3	81.3	7.1
	本富士地区	0.2	1.8	1.6	3.8	0.4	84.1	8.1
	駒込地区	0.4	2.5	2.0	3.7	1.0	84.5	7.1
健康感別	とても良い	0.4	1.6	0.4	4.5	0.8	87.0	4.0
	まあ良い	0.2	1.8	1.8	4.1	1.0	85.4	7.2
	あまり良くない	0.7	4.8	2.1	4.1	1.7	77.0	11.7
	良くない	2.0	5.9	3.9	13.7	3.9	72.5	2.0

問53 新型コロナウイルスワクチン接種情報の取得手段

新型コロナウイルス感染症、ワクチン接種の情報の入手方法では、「区報」が60.0%で最も高く、以下、「テレビ、新聞、雑誌、書籍」が55.6%、「区のホームページ」が28.8%、「家族や友人」が21.5%となっています。

(複数回答)



圏域別でみると、駒込地区は、「テレビ、新聞、雑誌、書籍」や「区報」の他にも、「国や都のホームページ」で比較的高くなっています。

【新型コロナウイルスワクチン接種情報の取得手段／圏域別】

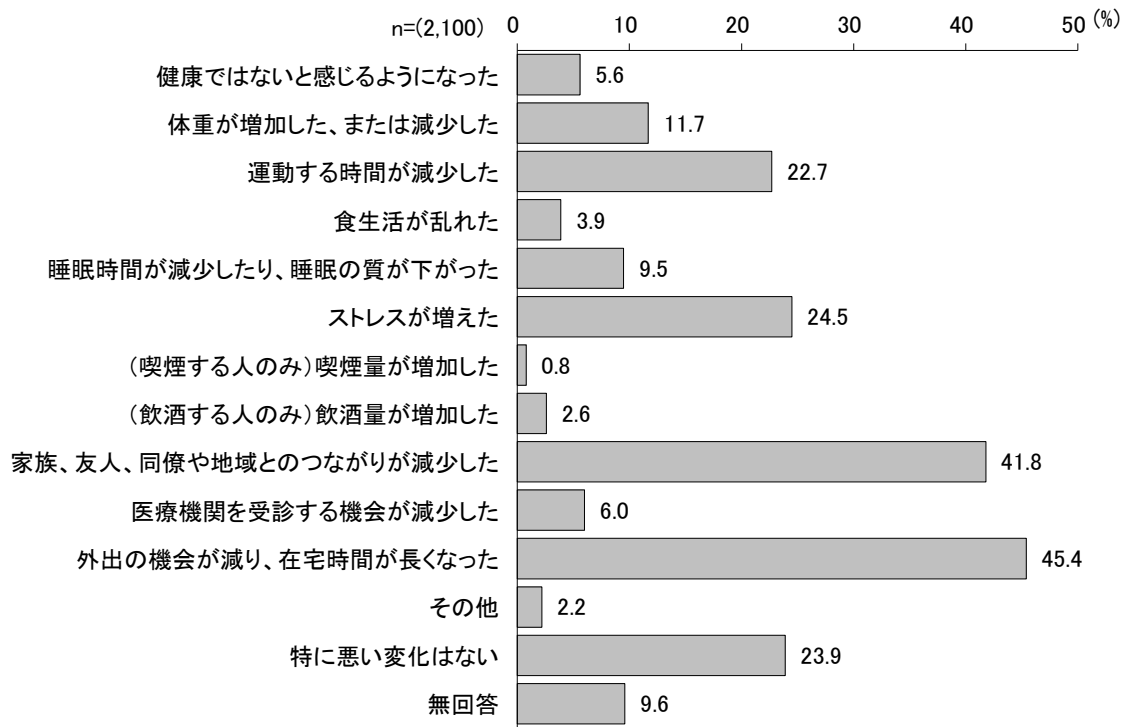
		n	区のホームページ	国や都のホームページ	区報	区のケーブルテレビ	区役所・保健所の窓口	国や都の広報	テレビ、新聞、雑誌、書籍	インターネット	SNS
全体		2,100	28.8	9.9	60.0	1.2	4.3	13.4	55.6	18.9	1.4
圏域別	富坂地区	668	31.3	8.8	62.0	1.3	4.9	13.5	52.2	18.7	1.9
	大塚地区	476	30.7	8.8	57.8	0.8	4.2	10.7	53.4	17.9	0.8
	本富士地区	446	24.2	7.8	60.3	1.1	4.7	13.2	58.5	18.4	1.3
	駒込地区	510	27.6	13.9	59.2	1.4	3.3	16.1	59.4	20.4	1.2

		学校や職場	病院・薬局	家族や友人	高齢者あんしん相談センター	区のコールセンター	国・都のコールセンター	その他	情報を入手していない	無回答
全体		3.2	7.3	21.5	0.4	3.6	0.3	3.1	0.9	2.2
圏域別	富坂地区	2.2	6.1	21.7	0.3	2.7	0.1	2.5	0.6	2.4
	大塚地区	3.6	6.9	22.1	0.6	2.7	-	3.2	0.8	2.5
	本富士地区	3.6	8.1	18.6	0.2	5.2	0.7	3.8	1.1	1.8
	駒込地区	3.9	8.6	23.1	0.4	4.1	0.6	3.1	1.0	2.2

問54 新型コロナウイルス感染症による生活の変化

新型コロナウイルス感染症により健康や生活に悪い変化はあったかでは、「外出の機会が減り、在宅時間が長くなった」が45.4%で最も高く、以下、「家族、友人、同僚や地域とのつながりが減少した」が41.8%、「ストレスが増えた」が24.5%、「運動する時間が減少した」が22.7%となっています。一方、「特に悪い変化はない」は23.9%となっています。

(複数回答)



性/年齢別でみると、年齢とは関係なく「ストレスが増えた」や「家族、友人、同僚や地域とのつながりが減少した」は、女性で高くなっています。
 圏域別では、特に目立った違いはありません。

【新型コロナウイルス感染症による生活の変化～性/年齢別、圏域別】

		n	健康ではないと感じるようになった	体重が増加した、または減少した	運動する時間が減少した	食生活が乱れた	睡眠時間が減少したり、睡眠の質が下がった	ストレスが増えた	(喫煙する人のみ)喫煙量が増加した	(飲酒する人のみ)飲酒量が増加した	(%) 家族、友人、同僚や地域とのつながりが減少した
全体		2,100	5.6	11.7	22.7	3.9	9.5	24.5	0.8	2.6	41.8
性/年齢別	男性/65～74歳	467	4.7	9.6	25.5	2.8	7.1	23.6	1.1	6.0	35.3
	男性/75～84歳	325	4.9	7.7	21.8	3.1	7.7	14.5	0.6	4.0	39.7
	男性/85歳以上	89	7.9	10.1	19.1	5.6	9.0	15.7	1.1	3.4	28.1
	女性/65～74歳	573	4.7	16.4	25.0	3.7	9.4	29.8	0.7	0.7	50.3
	女性/75～84歳	419	6.7	10.0	18.6	4.8	12.9	27.4	0.7	1.4	41.8
	女性/85歳以上	158	5.7	13.9	20.3	5.1	9.5	24.1	1.3	0.6	43.7
圏域別	富坂地区	668	5.8	11.2	22.2	4.6	10.3	25.3	0.6	2.5	43.7
	大塚地区	476	6.1	14.3	26.1	2.1	7.6	25.6	1.3	2.9	44.3
	本富士地区	446	5.4	10.1	20.4	4.3	11.0	25.1	0.7	1.6	40.8
	駒込地区	510	4.9	11.2	22.2	4.3	9.0	21.8	0.8	3.3	37.6

		医療機関を受診する機会が減少した	外出の機会が減り、在宅時間が長くなった	その他	特に悪い変化はない	無回答
全体		6.0	45.4	2.2	23.9	9.6
性/年齢別	男性/65～74歳	2.6	38.5	1.3	27.8	4.7
	男性/75～84歳	2.5	44.0	1.8	26.5	10.8
	男性/85歳以上	3.4	48.3	1.1	30.3	10.1
	女性/65～74歳	9.6	47.6	3.0	21.3	6.5
	女性/75～84歳	8.1	49.6	2.6	20.5	16.0
	女性/85歳以上	6.3	48.1	2.5	22.8	10.8
圏域別	富坂地区	6.9	45.4	2.4	21.3	9.6
	大塚地区	4.8	44.5	2.5	25.8	9.0
	本富士地区	5.2	45.5	1.6	22.2	11.4
	駒込地区	6.5	46.1	2.2	26.9	8.6

問55 新型コロナウイルス感染症下で健康・生活維持のために工夫したこと（記述）

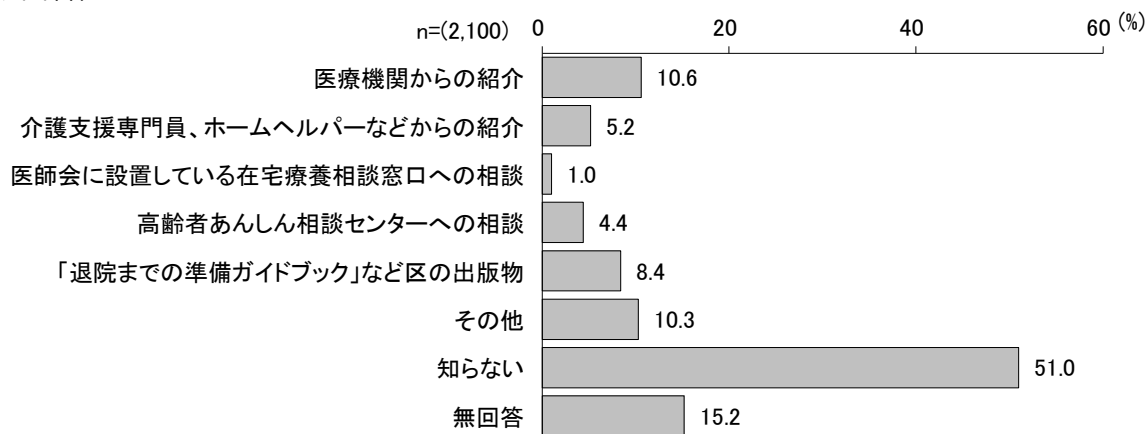
612人の回答者から、延べ1,247件の回答がありました。

項目	件数
マスク	183
手洗い	180
体力保持、ウォーキング	169
うがい	121
外出制限	93
ソーシャルディスタンス、三密回避	90
消毒	75
食生活、健康食品、サプリメント等	72
会合、会話制限	38
規則正しい生活、睡眠	34
外食制限	31
気分転換、リラックス、趣味	29
換気	24
（漠然と）注意、予防、清潔	23
ワクチン接種	14
交通機関使用制限	13
スマホ等でのコミュニケーション	13
空気清浄、着替え洗濯、入浴	7
PCR検査、検温、体重測定	5
片付け、整理整頓、生活の見直し	3
手袋（使い捨て含む）使用	3
宅配利用	2
禁煙	2
ペーパータオルの使用	2
引っ越し	2
その他	18

問56 在宅医療の認知度（認知方法）

在宅医療をどのようにして知ったかでは、「知らない」が51.0%で最も高く、以下、「医療機関からの紹介」が10.6%、「「退院までの準備ガイドブック」など区の出版物」が8.4%となっています。

（複数回答）



性別で見ると、「知らない」は女性の43.3%に対して、男性は、61.2%と高くなっています。年齢別および圏域別では特に目立った違いはありません。健康感別で見ると、「医療機関からの紹介」は、良くない層で17.6%と、比較的高くなっています。

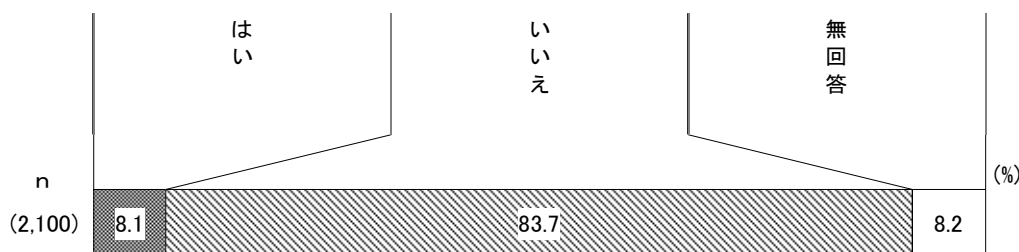
【在宅医療の認知度（認知方法）／性別、年齢別、圏域別、健康感別】

		n	医療機関からの紹介	介護支援専門員、ホームヘルパーなどからの紹介	医師会に設置している在宅療養相談窓口への相談	高齢者あんしん相談センターへの相談	「退院までの準備ガイドブック」など区の出版物	その他	知らない	無回答
全体		2,100	10.6	5.2	1.0	4.4	8.4	10.3	51.0	15.2
性別	男性	905	8.3	2.9	0.6	3.3	7.1	8.3	61.2	12.5
	女性	1,195	12.3	7.0	1.3	5.3	9.4	11.9	43.3	17.2
年齢別	65～69歳	464	11.6	7.3	0.2	4.5	7.3	13.6	56.9	5.6
	70～74歳	576	9.7	5.4	1.0	3.3	8.3	12.3	54.2	11.3
	75～79歳	458	9.4	4.6	1.5	3.5	9.0	8.7	49.6	19.0
	80～84歳	286	11.2	2.4	0.3	5.9	10.5	6.3	44.8	23.4
	85～89歳	191	13.6	6.3	0.5	5.8	7.9	8.9	42.4	23.6
	90歳以上	56	12.5	1.8	5.4	10.7	5.4	3.6	50.0	21.4
圏域別	富坂地区	668	9.0	4.5	0.9	4.2	9.7	10.5	53.4	13.2
	大塚地区	476	11.6	5.5	1.1	5.5	8.0	10.7	50.8	14.7
	本富士地区	446	11.9	5.2	0.7	4.5	7.6	10.8	48.2	17.5
	駒込地区	510	10.6	6.1	1.2	3.7	7.6	9.4	50.4	16.3
健康感別	とても良い	247	10.9	4.9	1.2	3.6	6.1	13.0	52.6	14.2
	まあ良い	1,426	10.7	5.8	1.0	4.1	9.0	10.4	51.8	13.7
	あまり良くない	291	7.9	2.7	1.0	7.2	9.3	9.3	52.9	15.8
	良くない	51	17.6	5.9	-	7.8	2.0	7.8	47.1	13.7

10. 認知症

問57 認知症症状がある人の有無

認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいるかでは、「いいえ」が83.7%、「はい」が8.1%となっています。



圏域別では、特に目立った違いはありません。

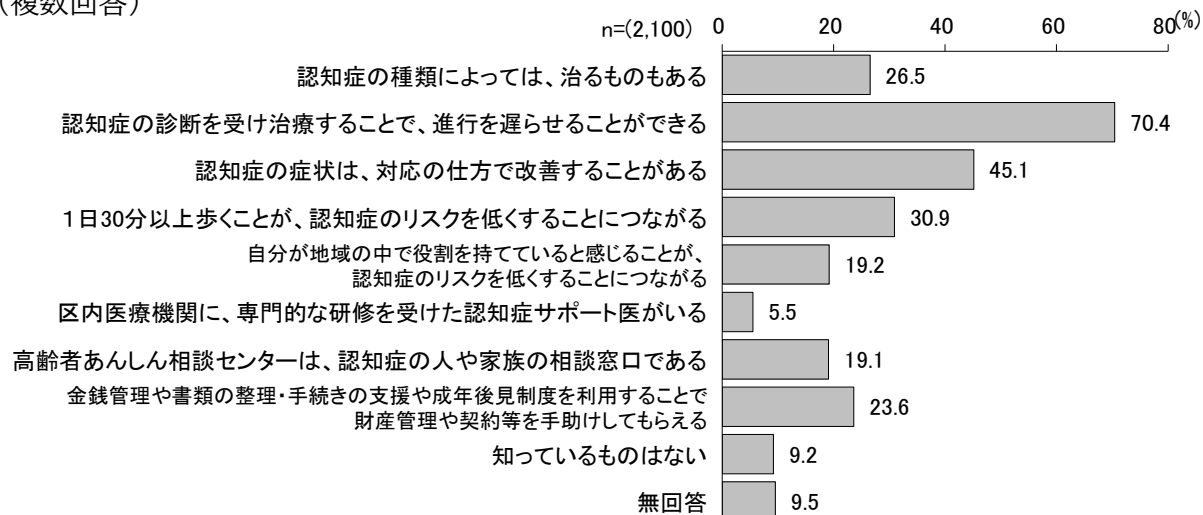
【認知症症状がある人の有無／圏域別】

		n	(%)		
			はい	いいえ	無回答
全体		2,100	8.1	83.7	8.2
圏域別	富坂地区	668	7.9	84.4	7.6
	大塚地区	476	6.1	85.9	8.0
	本富士地区	446	9.0	82.5	8.5
	駒込地区	510	9.4	81.8	8.8

問58 認知症に対して認識している内容

認知症について知っていることでは、「認知症の診断を受け治療することで、進行を遅らせることができる」が70.4%で最も高く、以下、「認知症の症状は、対応の仕方でも改善することができる」が45.1%、「1日30分以上歩くことが、認知症のリスクを低くすることにつながる」が30.9%、「認知症の種類によっては、治るものもある」が26.5%となっています。

(複数回答)



性別でみると、「認知症の診断を受け治療することで、進行を遅らせることができる」、「高齢者あんしん相談センターは、認知症の人や家族の相談窓口である」、「金銭管理や書類の整理・手続きの支援や成年後見制度を利用することで財産管理や契約等を手助けしてもらえる」は、いずれも女性で高くなっています。

年齢別でみると、「認知症の診断を受け治療することで、進行を遅らせることができる」、「認知症の症状は、対応の仕方で改善することがある」、「金銭管理や書類の整理・手続きの支援や成年後見制度を利用することで財産管理や契約等を手助けしてもらえる」は、いずれも低年齢層ほど高くなっています。

圏域別では、特に目立った違いはありません。

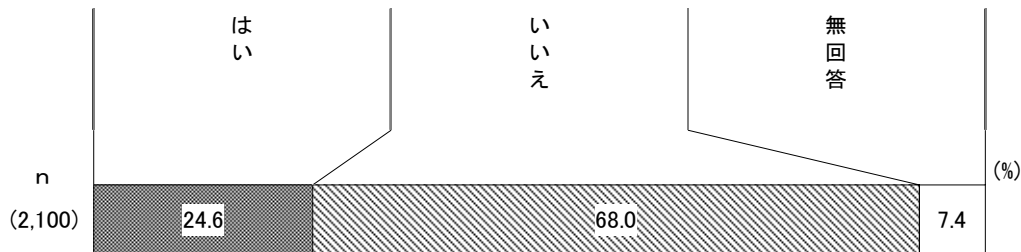
介護経験の有無別でみると、介護をしたことがない層は、いずれの項目においても認知率が低くなっています。

【認知症に対して認識している内容／性別、年齢別、圏域別、介護の経験の有無別】

		n	認知症の種類によっては、治るものもある	認知症の診断を受け治療することで、進行を遅らせることができる	認知症の症状は、対応の仕方で改善することができる	1日30分以上歩くことが、認知症のリスクを低くすることにつながる	自分が地域の中で役割を持っていると感じることが、認知症のリスクを低くすることにつながる	区内医療機関に、専門的な研修を受けた認知症サポート医がいる	高齢者あんしん相談センターは、認知症の人や家族の相談窓口である	金銭管理や書類の整理・手続きの支援や成年後見制度を利用することで財産管理や契約等を手助けしてもらえる	知っているものはない	(%)
												無回答
全体		2,100	26.5	70.4	45.1	30.9	19.2	5.5	19.1	23.6	9.2	9.5
性別	男性	905	26.4	66.1	41.8	30.7	17.9	4.0	13.1	18.7	13.6	8.3
	女性	1,195	26.6	73.7	47.7	31.0	20.2	6.6	23.7	27.3	5.9	10.5
年齢別	65～69歳	464	32.5	81.3	55.6	30.0	24.1	9.1	19.2	34.7	6.7	4.3
	70～74歳	576	27.8	74.8	48.3	33.3	18.2	5.7	19.1	25.7	7.5	6.8
	75～79歳	458	20.5	70.3	42.6	32.8	20.5	4.6	20.5	18.8	9.8	11.6
	80～84歳	286	25.5	67.8	43.7	31.8	17.5	2.4	19.2	18.2	8.7	11.5
	85～89歳	191	22.5	53.9	32.5	28.3	13.1	5.2	17.8	16.2	11.0	17.3
	90歳以上	56	25.0	32.1	14.3	17.9	12.5	-	19.6	7.1	35.7	10.7
圏域別	富坂地区	668	26.2	73.4	47.6	31.0	17.2	4.6	18.1	22.3	6.7	8.8
	大塚地区	476	27.3	68.9	42.4	30.3	19.1	5.5	19.5	24.6	10.3	9.2
	本富士地区	446	24.9	70.0	46.0	31.6	23.1	6.5	18.6	22.6	9.4	11.0
	駒込地区	510	27.6	68.4	43.7	30.6	18.4	5.7	20.6	25.1	11.2	9.4
介護経験の有無別	現在、介護をしている	138	36.2	75.4	54.3	33.3	26.1	8.0	31.2	30.4	6.5	5.8
	過去、介護をしたことがあるが、今はしていない	860	28.0	75.6	53.5	33.5	22.8	6.4	25.2	28.0	6.5	7.4
	介護をしたことがない	1,006	25.2	68.1	38.8	29.5	16.2	4.6	12.6	19.7	12.0	8.8

問59 認知症相談窓口の認知度

認知症に関する相談窓口を知っているかでは、「いいえ」が68.0%、「はい」が24.6%となっています。



圏域別では、特に目立った違いはありません。

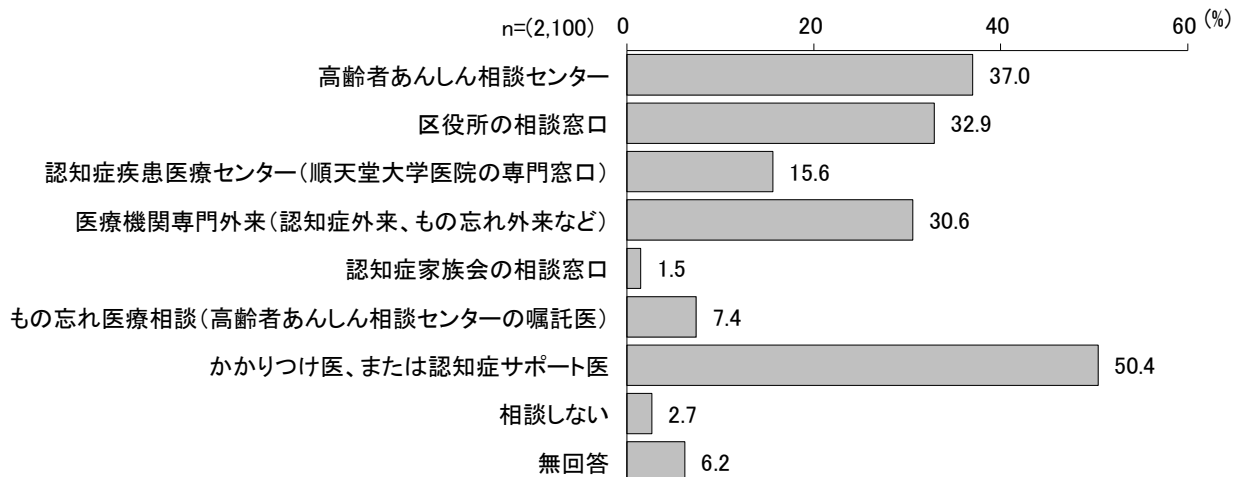
【認知症相談窓口の認知度／圏域別】

		n	はい (%)	いいえ (%)	無回答 (%)
全体		2,100	24.6	68.0	7.4
圏域別	富坂地区	668	24.0	69.8	6.3
	大塚地区	476	24.8	68.1	7.1
	本富士地区	446	24.4	66.8	8.7
	駒込地区	510	25.3	66.7	8.0

問60 認知症相談窓口の利用意向

認知症に関する相談をする場合、どちらの相談窓口を利用するかでは、「かかりつけ医、または認知症サポート医」が50.4%で最も高く、以下、「高齢者あんしん相談センター」が37.0%、「区役所の相談窓口」が32.9%、「医療機関専門外来（認知症外来、もの忘れ外来など）」が30.6%となっています。

(複数回答)



性別でみると、「区役所の相談窓口」は、男性、「医療機関専門外来（認知症外来、もの忘れ外来など）」は、女性が高くなっています。

年齢別でみると、「医療機関専門外来（認知症外来、もの忘れ外来など）」は、比較的低位年齢層で、また、「相談しない」は、90歳以上で12.5%と高くなっています。

圏域別でみると、駒込地区は、比較的「もの忘れ医療相談（高齢者あんしん相談センターの嘱託医）」が高く、「区役所の相談窓口」が低くなっています。

介護経験の有無別でみると、「区役所の相談窓口」が、介護をしたことがない層で36.9%と高くなっています。

【認知症相談窓口の利用意向／性別、年齢別、圏域別、介護の経験の有無別】

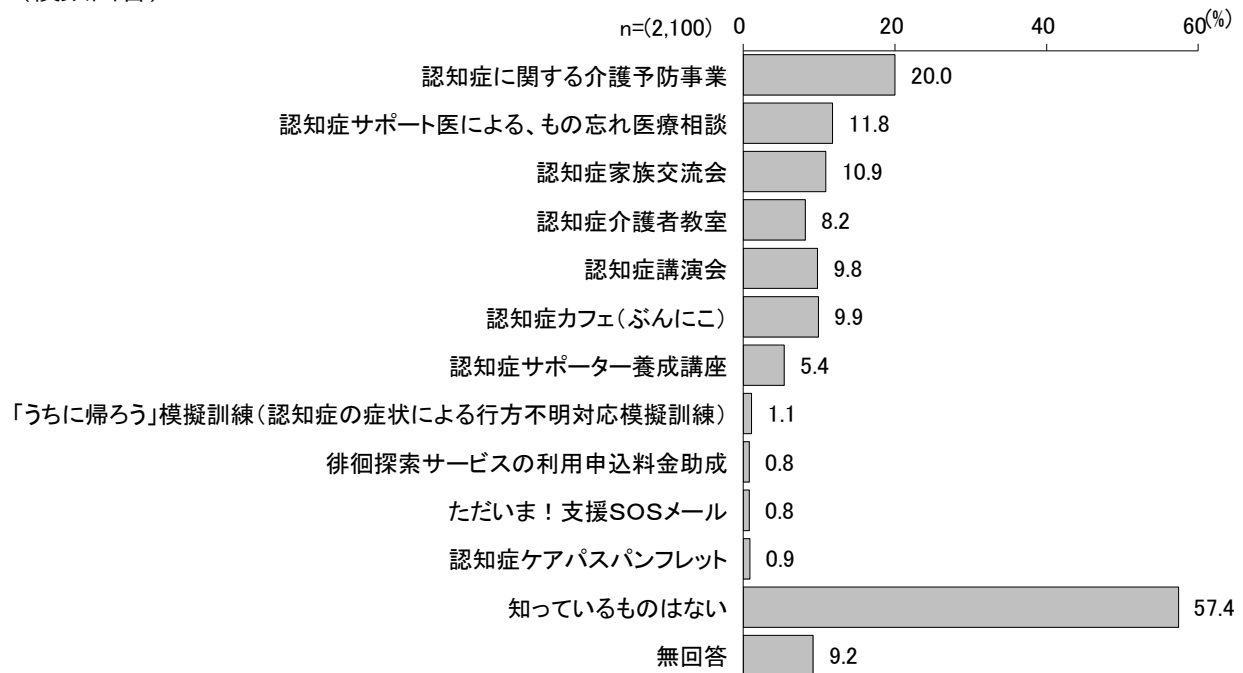
(%)

	n	高齢者 あんしん相談 センター	区役所 の相談 窓口	認知症 疾患医 療セン ター (順天 堂大学 医院の 専門窓 口)	医療機 関専門 外来 (認知 症外 来、も の忘れ 外来な ど)	認知症 家族会 の相談 窓口	もの忘 れ医療 相談 (高齢 者あん しん相 談セン ターの 嘱託 医)	かかり つけ 医、ま たは認 知症サ ポート 医	相談し ない	無回答	
全体	2,100	37.0	32.9	15.6	30.6	1.5	7.4	50.4	2.7	6.2	
性別	男性	905	36.5	35.9	13.9	26.3	1.0	5.1	48.3	4.0	6.2
	女性	1,195	37.4	30.5	16.8	33.9	1.9	9.2	52.0	1.7	6.2
年齢別	65～69歳	464	38.8	35.8	19.8	42.0	1.9	8.0	46.8	1.3	2.6
	70～74歳	576	34.7	33.5	13.2	36.1	0.9	6.8	48.3	3.3	5.6
	75～79歳	458	37.8	35.6	15.7	27.5	2.2	8.1	48.7	1.7	8.1
	80～84歳	286	38.5	33.6	18.5	18.9	2.1	8.4	58.7	2.8	5.9
	85～89歳	191	37.2	22.5	12.6	21.5	0.5	5.2	60.2	2.6	7.9
	90歳以上	56	30.4	17.9	8.9	5.4	-	7.1	51.8	12.5	8.9
圏域別	富坂地区	668	35.5	35.8	17.1	31.0	1.9	5.4	50.0	3.0	4.8
	大塚地区	476	40.3	32.4	14.3	27.7	1.3	6.7	50.2	3.2	7.4
	本富士地区	446	32.3	35.4	15.0	31.6	1.1	7.6	49.6	2.0	6.3
	駒込地区	510	40.0	27.3	15.3	32.0	1.6	10.6	51.8	2.4	6.9
介護 経験の 有無別	現在、介護をして いる	138	46.4	29.7	11.6	33.3	2.2	11.6	48.6	2.2	7.2
	過去、介護をした ことがあるが、今 はしていない	860	40.6	29.8	19.3	34.9	2.1	8.3	52.8	2.3	4.8
	介護をしたことが ない	1,006	34.2	36.9	14.1	28.3	1.1	6.8	49.5	3.0	5.0

問61 認知症に関する区の事業の認知度

認知症に関する区の事業の認知度では、「知っているものはない」が57.4%を占めています。一方、具体的な選択肢の中では、「認知症に関する介護予防事業」が20.0%と最も高く、以下、「認知症サポート医による、もの忘れ医療相談」が11.8%、「認知症家族交流会」が10.9%、「認知症カフェ（ぶんにご）」が9.9%となっています。

(複数回答)



性別でみると、ほとんどの事業で女性の方が高くなっています。
 年齢別でみると、「認知症に関する介護予防事業」や「認知症サポーター養成講座」は、低年齢層ほど認知度が高くなっています。
 圏域別では、特に目立った違いはありません。
 介護経験の有無別でみると、ほとんどの事業で、介護をしたことがない層は最も低くなっています。

【認知症に関する区の事業の認知度／性別、年齢別、圏域別、介護の経験の有無別】

(%)

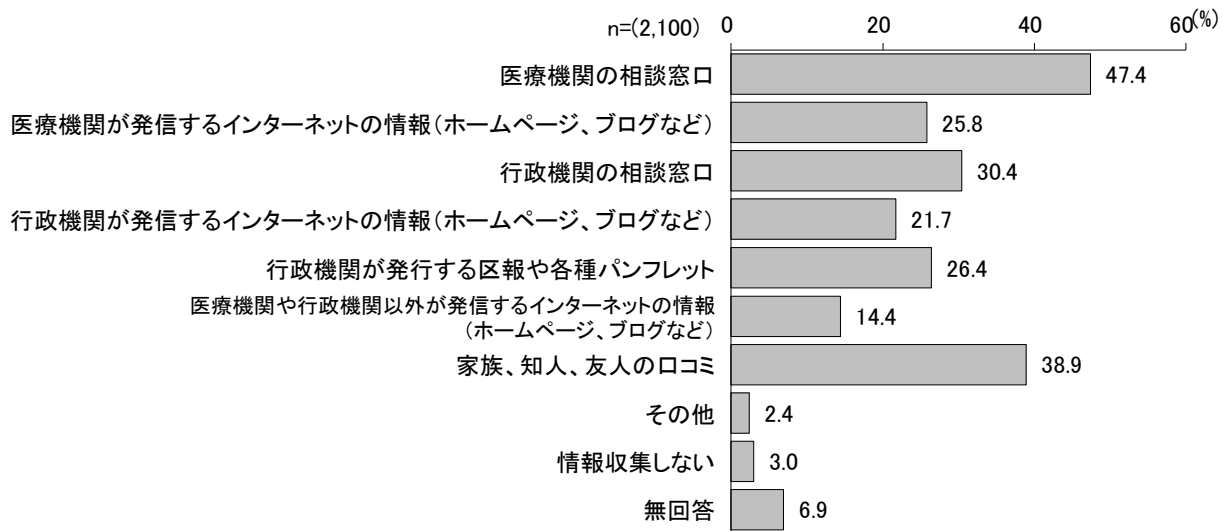
		n	認知症に関する介護予防事業	認知症サポーター医による、もの忘れ医療相談	認知症家族交流会	認知症介護者教室	認知症講演会	認知症カフェ（ぶんこ）
全体		2,100	20.0	11.8	10.9	8.2	9.8	9.9
性別	男性	905	16.7	9.4	3.6	4.2	5.6	3.8
	女性	1,195	22.6	13.6	16.3	11.3	13.0	14.6
年齢別	65～69歳	464	24.6	10.6	11.2	8.8	9.3	9.9
	70～74歳	576	22.7	11.8	13.2	9.2	10.9	11.5
	75～79歳	458	19.7	13.8	10.5	8.7	9.8	9.4
	80～84歳	286	16.1	13.3	10.1	7.0	9.4	8.7
	85～89歳	191	13.1	13.1	6.8	6.8	9.9	8.4
	90歳以上	56	7.1	5.4	5.4	3.6	8.9	14.3
圏域別	富坂地区	668	19.9	12.7	10.8	7.3	10.2	9.0
	大塚地区	476	20.2	12.0	10.9	8.6	10.1	10.1
	本富士地区	446	20.4	11.9	10.8	8.7	10.1	9.6
	駒込地区	510	19.8	10.4	11.0	8.6	8.8	11.2
介護経験の有無別	現在、介護をしている	138	24.6	12.3	14.5	13.8	10.9	13.0
	過去、介護をしたことがあるが、今はしていない	860	25.1	14.7	15.5	11.9	12.4	13.1
	介護をしたことがない	1,006	16.1	9.8	7.3	4.7	7.7	7.3

		認知症サポーター養成講座	「うちに帰ろう」模擬訓練（認知症の症状による行方不明対応模擬訓練）	徘徊探索サービスの利用申込料金助成	ただいま！支援SOSメール	認知症ケアパスパンフレット	知っているものはない	無回答
全体		5.4	1.1	0.8	0.8	0.9	57.4	9.2
性別	男性	2.8	0.8	0.6	0.4	1.1	66.5	7.7
	女性	7.4	1.4	0.9	1.1	0.7	50.5	10.4
年齢別	65～69歳	7.8	1.1	1.1	1.3	1.3	62.1	3.0
	70～74歳	6.4	1.4	0.3	0.7	0.5	56.9	8.0
	75～79歳	3.7	1.1	0.7	0.9	0.7	55.5	10.7
	80～84歳	4.2	0.7	1.0	0.3	1.7	55.6	10.5
	85～89歳	3.7	1.6	0.5	0.5	0.5	56.5	15.7
	90歳以上	3.6	1.8	1.8	-	-	58.9	14.3
圏域別	富坂地区	4.9	1.0	0.9	0.9	0.9	56.9	8.2
	大塚地区	5.7	1.3	0.4	0.4	0.8	58.2	9.5
	本富士地区	4.9	0.9	0.4	0.7	0.4	55.2	10.5
	駒込地区	6.1	1.4	1.2	1.2	1.2	59.4	9.2
介護経験の有無別	現在、介護をしている	3.6	-	-	2.9	0.7	52.9	11.6
	過去、介護をしたことがあるが、今はしていない	7.3	1.4	1.0	1.2	0.9	51.7	7.3
	介護をしたことがない	4.3	1.2	0.6	0.3	0.8	64.3	7.7

問62 認知症に関する情報取得方法

認知症についての情報収集の方法では、「医療機関の相談窓口」が47.4%で最も高く、以下、「家族、知人、友人の口コミ」が38.9%、「行政機関の相談窓口」が30.4%、「行政機関が発行する区報や各種パンフレット」が26.4%となっています。

(複数回答)



性別で見ると、「医療機関が発信するインターネットの情報（ホームページ、ブログなど）」や「行政機関が発信するインターネットの情報（ホームページ、ブログなど）」は、男性、「医療機関の相談窓口」や「家族、知人、友人の口コミ」では、女性が高くなっています。

年齢別で見ると、「医療機関が発信するインターネットの情報（ホームページ、ブログなど）」、「行政機関が発信するインターネットの情報（ホームページ、ブログなど）」、「医療機関や行政機関以外が発信するインターネットの情報（ホームページ、ブログなど）」は、低年齢層ほど高くなっています。

圏域別及び介護経験の有無別では、特に目立った違いはありません。

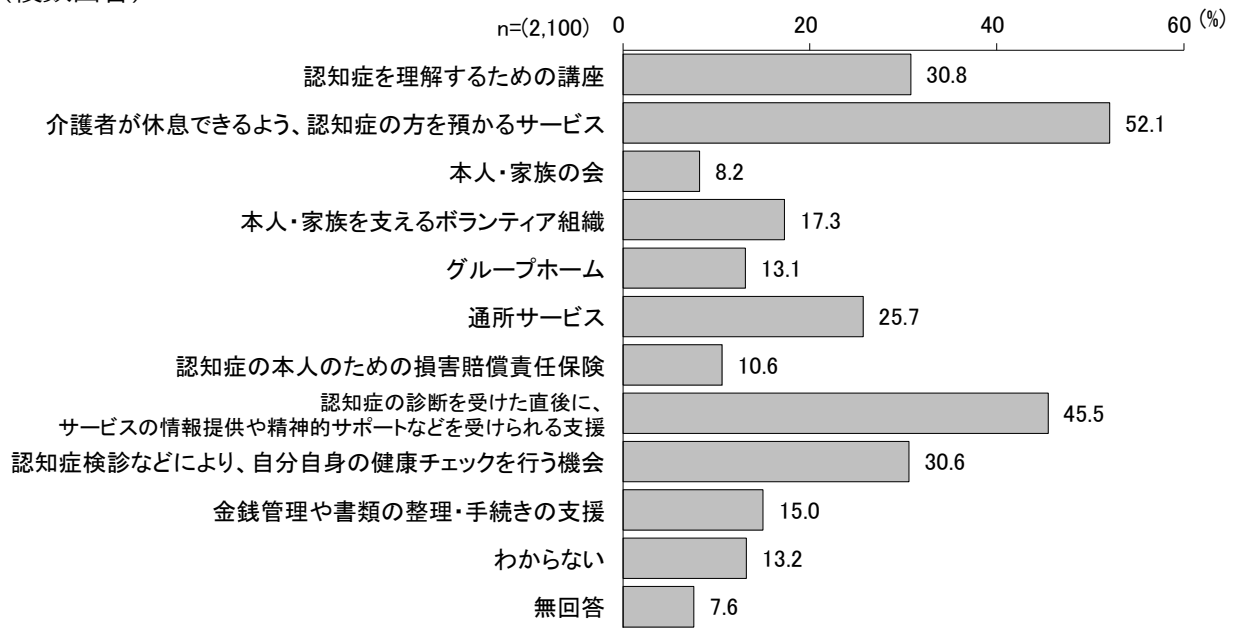
【認知症に関する情報取得方法／性別、年齢別、圏域別、介護の経験の有無別】

		n									(%)	
			医療機関の相談窓口	医療機関が発信するインターネットの情報（ホームページ、ブログなど）	行政機関の相談窓口	行政機関が発信するインターネットの情報（ホームページ、ブログなど）	行政機関が発信する区報や各種パンフレット	医療機関や行政機関以外が発信するインターネットの情報（ホームページ、ブログなど）	家族、知人、友人の口コミ	その他	情報収集しない	無回答
全体		2,100	47.4	25.8	30.4	21.7	26.4	14.4	38.9	2.4	3.0	6.9
性別	男性	905	42.4	29.8	30.8	26.1	24.3	17.8	31.5	2.4	4.4	6.0
	女性	1,195	51.1	22.7	30.0	18.4	28.0	11.8	44.5	2.4	1.8	7.5
年齢別	65～69歳	464	47.6	47.6	35.3	41.4	25.6	26.7	39.2	0.9	1.7	2.2
	70～74歳	576	44.6	29.9	30.4	24.8	27.6	16.0	36.8	2.6	2.8	5.2
	75～79歳	458	52.2	18.1	32.5	14.2	29.3	10.9	42.4	2.2	2.0	7.4
	80～84歳	286	53.5	12.2	26.9	10.8	26.9	8.7	38.1	3.8	4.9	7.0
	85～89歳	191	43.5	9.4	22.0	5.8	19.9	3.1	41.4	3.1	3.1	14.7
	90歳以上	56	30.4	-	21.4	1.8	16.1	-	35.7	3.6	5.4	14.3
圏域別	富坂地区	668	46.7	27.8	32.2	21.9	25.7	15.0	40.6	2.1	2.4	6.7
	大塚地区	476	46.4	23.7	30.5	22.1	23.1	13.2	38.0	2.3	3.6	8.0
	本富士地区	446	45.5	23.5	29.8	20.0	26.7	12.3	37.9	3.1	3.1	6.1
	駒込地区	510	50.8	26.9	28.4	22.7	30.2	16.5	38.4	2.4	2.9	6.7
介護経験の有無別	現在、介護をしている	138	51.4	31.9	32.6	21.0	21.0	15.9	38.4	1.4	2.2	7.2
	過去、介護をしたことがあるが、今はしていない	860	48.8	27.8	31.4	22.0	27.9	15.0	43.8	2.4	2.6	4.9
	介護をしたことがない	1,006	47.2	25.0	30.4	23.3	27.3	14.5	35.6	2.7	3.3	5.8

問63 必要と感じる認知症支援

認知症の本人や家族への必要と感じる支援では、「介護者が休息できるよう、認知症の方を預かるサービス」が52.1%で最も高く、以下、「認知症の診断を受けた直後に、サービスの情報提供や精神的サポートなどを受けられる支援」が45.5%、「認知症を理解するための講座」が30.8%、「認知症検診などにより、自分自身の健康チェックを行う機会」が30.6%となっています。

(複数回答)



性別で見ると、「介護者が休息できるよう、認知症の方を預かるサービス」、「グループホーム」、「通所サービス」、「認知症の診断を受けた直後に、サービスの情報提供や精神的サポートなどを受けられる支援」などは、女性で高くなっています。

年齢別で見ると、いずれの項目も低年齢層ほど高い傾向があります。

圏域別では、特に目立った違いはありません。

介護経験の有無別で見ると、「介護者が休息できるよう、認知症の方を預かるサービス」は、現在、介護をしている層で62.3%、過去、介護をしたことがあるが、今はしていない層で60.9%と高くなっています。

【必要と感じる認知症支援／性別、年齢別、圏域別、介護の経験の有無別】

		n	認知症を理解するための講座	介護者が休息できるように、認知症の方を預かるサービス	本人・家族の会	本人・家族を支えるボランティア組織	グループホーム	通所サービス	認知症の本人のための損害賠償責任保険	認知症の診断を受けた直後に、サービスの情報提供や精神的サポートなどを受けられる支援	認知症検診などにより、自分自身の健康チェックを行う機会
全体		2,100	30.8	52.1	8.2	17.3	13.1	25.7	10.6	45.5	30.6
性別	男性	905	29.8	43.8	6.1	15.1	9.8	19.3	10.8	40.3	32.0
	女性	1,195	31.5	58.5	9.8	19.0	15.6	30.5	10.4	49.5	29.5
年齢別	65～69歳	464	35.1	62.7	10.1	22.0	20.5	33.0	16.4	52.4	35.6
	70～74歳	576	32.3	56.9	7.8	17.4	13.9	26.9	10.2	48.8	32.6
	75～79歳	458	31.7	53.1	8.3	17.7	12.7	26.9	8.3	47.8	29.5
	80～84歳	286	29.7	43.0	7.7	13.6	6.6	18.5	9.1	38.1	29.7
	85～89歳	191	23.6	37.7	6.8	14.7	6.3	18.3	7.9	36.6	23.0
	90歳以上	56	14.3	16.1	5.4	1.8	1.8	7.1	1.8	17.9	14.3
圏域別	富坂地区	668	30.8	51.2	9.6	17.1	11.5	26.0	9.1	47.0	29.8
	大塚地区	476	31.7	53.8	6.5	20.6	12.4	25.2	11.3	45.0	31.1
	本富士地区	446	33.4	52.9	8.3	15.7	15.2	27.4	12.3	44.6	31.6
	駒込地区	510	27.6	51.2	7.8	16.1	13.9	24.3	10.2	44.9	30.2
介護経験の有無別	現在、介護をしている	138	29.0	62.3	5.8	15.9	16.7	34.1	15.2	52.2	31.9
	過去、介護をしたことがあるが、今はしていない	860	32.4	60.9	9.4	18.6	17.3	34.4	12.0	49.8	32.1
	介護をしたことがない	1,006	30.9	45.7	7.9	17.0	9.3	18.1	9.1	42.4	30.6

		金銭管理や書類の整理・手続きの支援	わからない	無回答
全体		15.0	13.2	7.6
性別	男性	14.4	17.0	7.5
	女性	15.4	10.3	7.7
年齢別	65～69歳	21.8	9.3	2.6
	70～74歳	13.7	12.2	4.9
	75～79歳	15.1	10.5	9.0
	80～84歳	11.9	17.5	9.8
	85～89歳	7.9	14.7	15.2
	90歳以上	8.9	44.6	14.3
圏域別	富坂地区	14.7	12.0	7.2
	大塚地区	15.3	13.4	8.0
	本富士地区	15.2	14.1	8.1
	駒込地区	14.7	13.7	7.5
介護経験の有無別	現在、介護をしている	15.9	7.2	9.4
	過去、介護をしたことがあるが、今はしていない	15.7	9.9	4.9
	介護をしたことがない	14.4	17.0	6.7

第4章 50歳以上の現役世代調査

第4章 目次

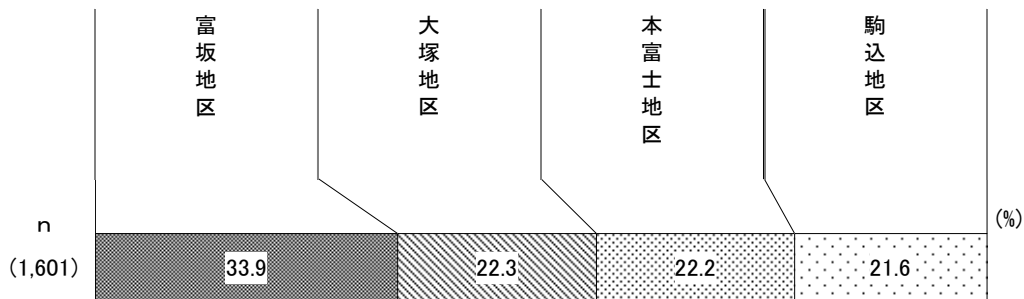
	頁
第4章 50歳以上の現役世代調査	191
1. 回答者の属性	195
圏域	195
性別	195
問1 年齢	195
問2 暮らしの経済的状況	196
2. ご自身、お住まい	197
問3 住居形態（一戸建てまたは集合住宅）	197
問4 現在の住まいでの在宅生活の継続性	198
問5 住まいについての不便や不安	199
3. 日常生活	201
問6 現在の生活での不安	201
問7 働き方の希望	203
4. 介護等	205
問8 介護が必要になっても、地域で暮らし続けるために必要なこと	205
問9 介護が必要になった場合の暮らし方の希望	207
問9-1 介護が必要になった場合の在宅生活の実現性	208
問9-2 入所したい施設の種類	208
問10 終末期を迎えたい場所	209
問11 介護の実施状況	210
問11-1 複数介護の状況	211
問11-1-1 複数介護の対象	212
問12 今後区に力を入れてほしいこと	214
問13 高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）の認知度	218
5. 地域での活動	219
問14 会・グループ等の参加頻度	219
問15 グループ活動への参加意向（参加者として）	224
問16 グループ活動への参加意向（世話役として）	225
6. たすけあい	227
問17 心配や愚痴を聞いてくれる人	227
問18 心配や愚痴を聞いてあげる人	228
問19 看病してくれる人	229
問20 看病してあげる人	230
7. 健康・介護予防	231
問21 現在の健康状態	231
問22 介護予防の取組状況	231
問22-1 介護予防に取り組んでいない理由	232

問23	介護予防のために今後取り組みたいこと	233
8.	医療	235
問24	病気の状況	235
問25	かかりつけ医・歯科医・薬局の有無	236
問26	新型コロナウイルスワクチン接種情報の取得手段	238
問27	新型コロナウイルス感染症による生活の変化	239
問28	新型コロナウイルス感染症下で健康・生活維持のために工夫したこと（記述）	240
9.	認知症	241
問29	認知症症状がある人の有無	241
問30	認知症に対して認識している内容	241
問31	認知症相談窓口の認知度	243
問32	認知症相談窓口の利用意向	243
問33	認知症に関する区の事業の認知度	245
問34	認知症に関する情報取得方法	247

1. 回答者の属性

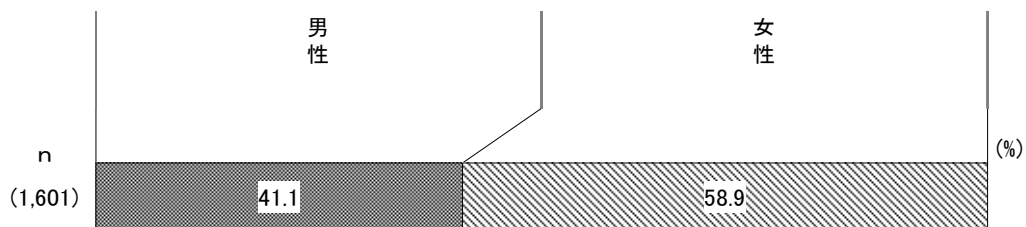
圏域

圏域では、「富坂地区」が33.9%で最も高く、以下、「大塚地区」が22.3%、「本富士地区」が22.2%、「駒込地区」が21.6%となっています。



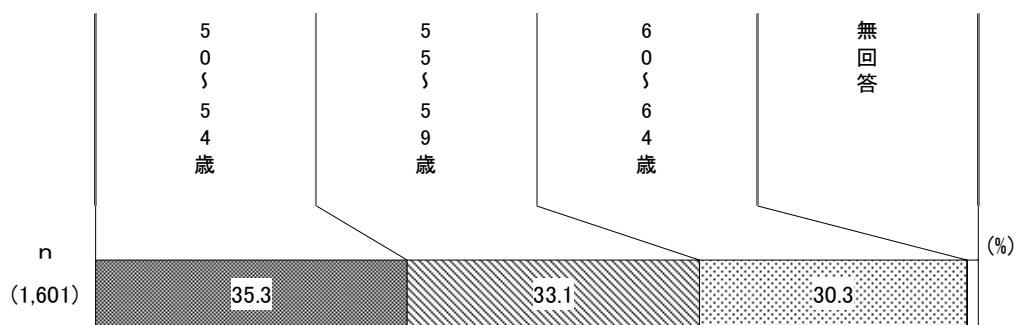
性別

性別では、「女性」が58.9%、「男性」が41.1%となっています。



問1 年齢

年齢（3区分）では、「50～54歳」が35.3%で最も高く、以下、「55～59歳」が33.1%、「60～64歳」が30.3%となっています。



第4章 50歳以上の現役世代調査

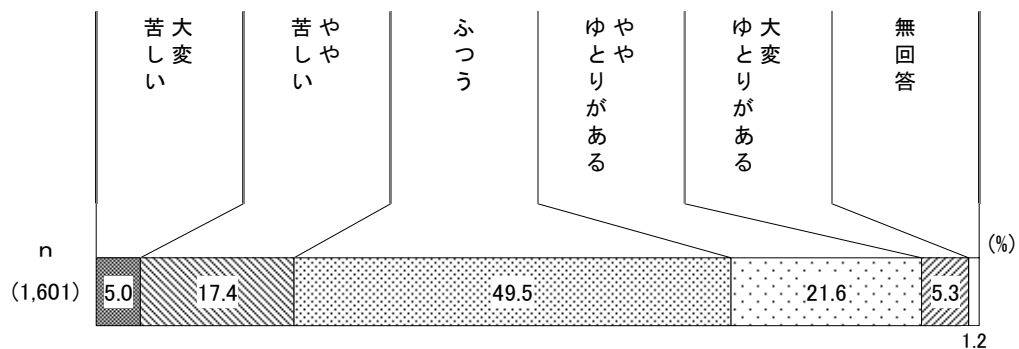
性別及び圏域別では、特に目立った違いはありません。

【年齢／性別、圏域別】

		n	(%)			
			50～54歳	55～59歳	60～64歳	無回答
全体		1,601	35.3	33.1	30.3	1.3
性別	男性	658	33.7	32.7	32.2	1.4
	女性	943	36.4	33.4	29.0	1.3
圏域別	富坂地区	543	34.6	35.0	29.3	1.1
	大塚地区	357	34.7	32.5	31.9	0.8
	本富士地区	355	35.8	34.1	28.2	2.0
	駒込地区	346	36.4	29.8	32.4	1.4

問2 暮らしの経済的状況

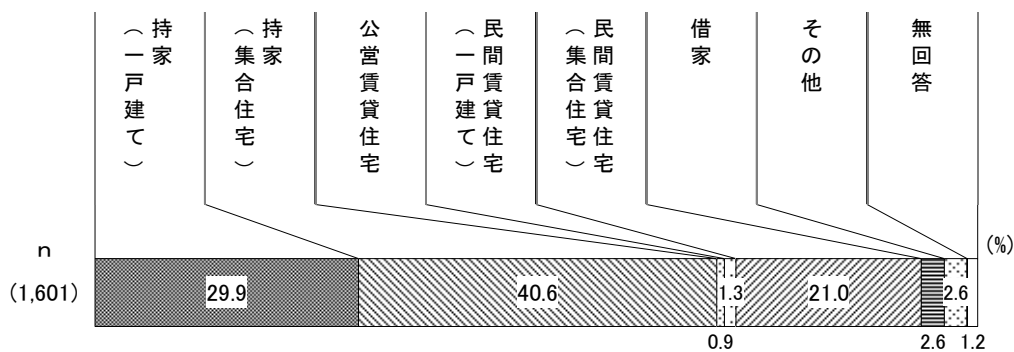
暮らしの状況では、「ふつう」が49.5%で最も高く、以下、「ややゆとりがある」が21.6%、「やや苦しい」が17.4%、「大変ゆとりがある」が5.3%となっています。



2. ご自身、お住まい

問3 住居形態（一戸建てまたは集合住宅）

住居形態では、「持家（集合住宅）」が40.6%で最も高く、以下、「持家（一戸建て）」が29.9%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が21.0%、となっています。



性別では、特に目立った違いはありません。

年齢別でみると、「持家（一戸建て）」は、高年齢層ほど、「民間賃貸住宅（集合住宅）」は、低年齢層ほど高くなっています。

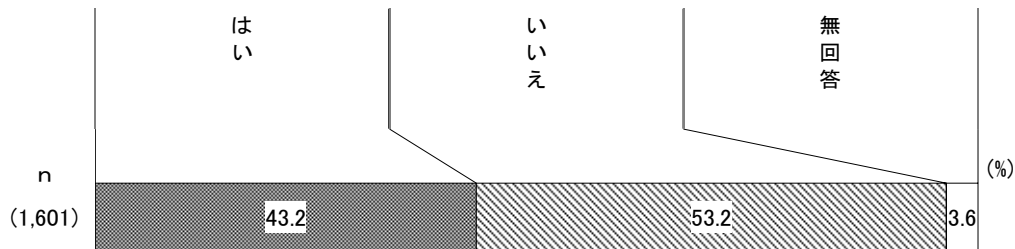
圏域別でみると、駒込地区では、他地域と異なり、「持家（一戸建て）」が37.9%で、「持家（集合住宅）」の32.1%よりも高くなっています。

【住居形態／性別、年齢別、圏域別】

		n	持家（一戸建て）	持家（集合住宅）	公営賃貸住宅	民間賃貸住宅（一戸建て）	民間賃貸住宅（集合住宅）	借家	その他	無回答
全体		1,601	29.9	40.6	0.9	1.3	21.0	2.6	2.6	1.2
性別	男性	658	30.9	39.4	0.9	0.9	21.0	2.3	3.8	0.9
	女性	943	29.3	41.5	0.8	1.6	21.0	2.8	1.7	1.4
年齢別	50～54歳	565	26.5	41.8	1.1	1.8	22.5	3.9	1.9	0.5
	55～59歳	530	30.4	40.2	0.8	1.1	21.7	2.1	3.2	0.6
	60～64歳	485	34.6	40.6	0.8	1.0	18.4	1.4	2.7	0.4
圏域別	富坂地区	543	27.6	44.9	0.9	2.0	19.3	2.8	1.3	1.1
	大塚地区	357	32.5	37.5	0.6	0.3	22.7	2.8	2.8	0.8
	本富士地区	355	23.1	45.4	0.8	0.8	21.7	2.5	3.9	1.7
	駒込地区	346	37.9	32.1	1.2	1.7	21.1	2.0	2.9	1.2

問4 現在の住まいでの在宅生活の継続性

今後介護が必要な状態になった場合に、住み続けられる住まいかでは、「いいえ」が53.2%、「はい」が43.2%となっています。



性別及び年齢別では、特に目立った違いはありません。
 圏域別でみると、大塚地区で「はい」が38.4%とやや低くなっています。
 住居形態別でみると、「はい」が高いのは、持家（集合住宅）と公営賃貸住宅のみで、他の形態は、いずれも「いいえ」が高くなっています。
 健康感別でみると、「はい」が高いのは、とても良い層のみで、他の層は、いずれも「いいえ」が高くなっています。

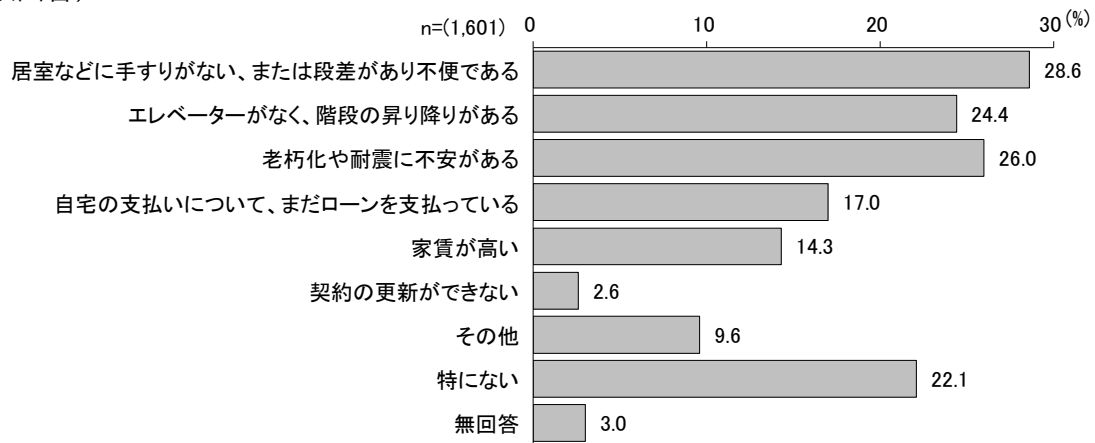
【現在の住まいでの在宅生活の継続性／性別、年齢別、圏域別、住居形態別、健康感別】

		n	はい	いいえ	無回答
全体		1,601	43.2	53.2	3.6
性別	男性	658	44.4	53.2	2.4
	女性	943	42.4	53.1	4.5
年齢別	50～54歳	565	45.3	52.6	2.1
	55～59歳	530	41.3	55.3	3.4
	60～64歳	485	43.7	51.8	4.5
圏域別	富坂地区	543	43.1	52.3	4.6
	大塚地区	357	38.4	57.4	4.2
	本富士地区	355	46.8	51.8	1.4
	駒込地区	346	44.8	51.4	3.8
住居形態別	持家（一戸建て）	479	38.6	58.0	3.3
	持家（集合住宅）	650	63.8	33.4	2.8
	公営賃貸住宅	14	57.1	35.7	7.1
	民間賃貸住宅（一戸建て）	21	9.5	90.5	-
	民間賃貸住宅（集合住宅）	336	18.2	78.3	3.6
	借家	41	14.6	82.9	2.4
	その他	41	22.0	73.2	4.9
健康感別	とても良い	341	50.4	46.6	2.9
	まあ良い	1,063	43.7	53.2	3.1
	あまり良くない	146	29.5	67.8	2.7
	良くない	19	36.8	63.2	-

問5 住まいについての不便や不安

住まいについて不便や不安を感じていることでは、「居室などに手すりがない、または段差があり不便である」が28.6%で最も高く、以下、「老朽化や耐震に不安がある」が26.0%、「エレベーターがなく、階段の昇り降りがある」が24.4%、「自宅の支払いについて、まだローンを支払っている」が17.0%となっています。一方、「特にない」は22.1%となっています。

(複数回答)



第4章 50歳以上の現役世代調査

性別では、特に目立った違いはありません。

年齢別でみると、「自宅の支払いについて、まだローンを支払っている」と「家賃が高い」は、低年齢層ほど高くなっています。

住居形態別でみると、「居室などに手すりがない、または段差があり不便である」が高いのは、公営賃貸住宅の35.7%、民間賃貸住宅（一戸建て）の33.3%、持家（一戸建て）の33.2%で、「エレベーターがなく、階段の昇り降りがある」が高いのは、持家（一戸建て）の51.8%、「老朽化や耐震に不安がある」が高いのは、借家の39.0%となっています。

健康感別でみると、「居室などに手すりがない、または段差があり不便である」、「エレベーターがなく、階段の昇り降りがある」、「家賃が高い」は、いずれも健康感が悪いほど高い傾向にあります。

【住まいについての不便や不安／性別、年齢別、住居形態別、健康感別】

(%)

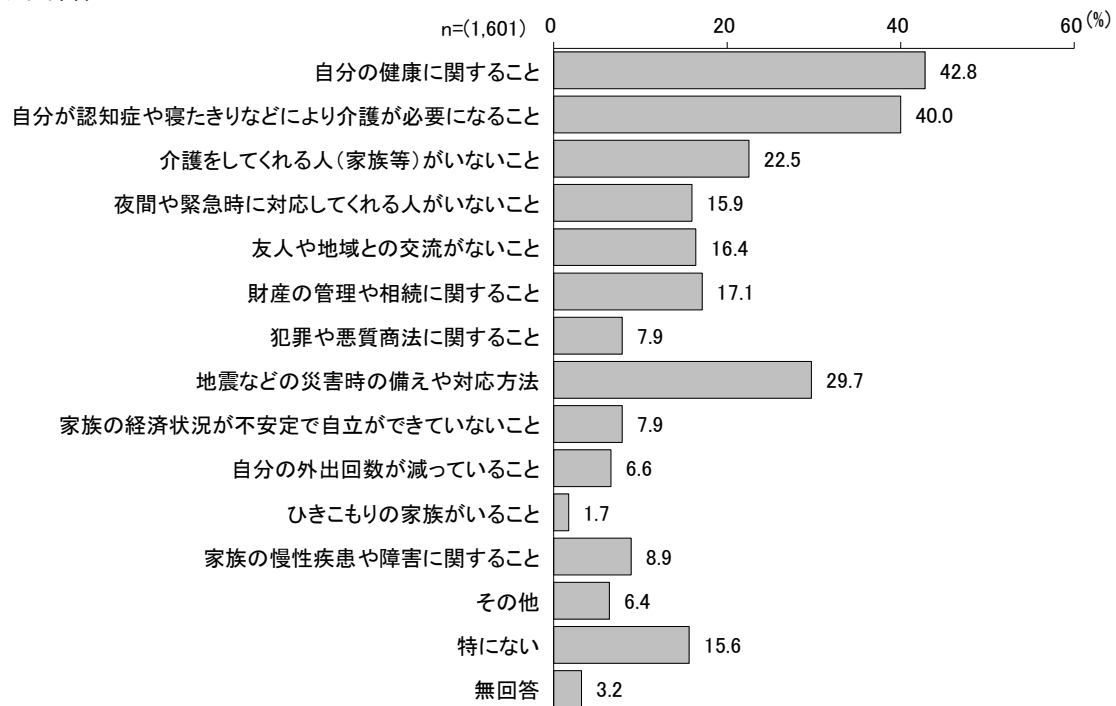
		n	居室などに手すりがない、または段差があり不便である	エレベーターがなく、階段の昇り降りがある	老朽化や耐震に不安がある	自宅の支払いについて、まだローンを支払っている	家賃が高い	契約の更新ができない	その他	特になし	無回答
全体		1,601	28.6	24.4	26.0	17.0	14.3	2.6	9.6	22.1	3.0
性別	男性	658	28.7	24.6	23.1	19.9	14.1	2.9	8.1	23.1	2.9
	女性	943	28.5	24.3	28.0	15.0	14.4	2.3	10.6	21.4	3.1
年齢別	50～54歳	565	25.7	24.1	26.9	22.7	18.1	0.7	9.7	19.6	1.9
	55～59歳	530	31.5	24.9	24.2	17.7	13.2	4.2	10.8	20.2	3.2
	60～64歳	485	29.1	24.5	26.8	10.1	11.1	2.9	8.2	27.4	2.9
住居形態別	持家（一戸建て）	479	33.2	51.8	30.9	22.3	-	-	8.1	15.9	2.3
	持家（集合住宅）	650	27.7	4.8	20.6	24.6	0.3	0.2	11.1	32.8	2.9
	公営賃貸住宅	14	35.7	7.1	28.6	-	35.7	7.1	21.4	7.1	7.1
	民間賃貸住宅（一戸建て）	21	33.3	42.9	33.3	-	38.1	19.0	9.5	14.3	-
	民間賃貸住宅（集合住宅）	336	21.7	20.2	27.1	1.2	58.6	8.9	8.3	12.5	2.4
	借家	41	26.8	36.6	39.0	-	34.1	7.3	12.2	19.5	-
	その他	41	46.3	36.6	31.7	-	4.9	4.9	9.8	17.1	4.9
健康感別	とても良い	341	23.5	20.5	15.5	16.7	13.5	2.1	10.3	33.1	1.8
	まあ良い	1,063	29.4	24.5	27.8	18.2	13.6	2.3	9.4	20.7	2.5
	あまり良くない	146	34.9	31.5	37.7	12.3	19.9	5.5	9.6	10.3	2.7
	良くない	19	57.9	36.8	31.6	-	26.3	10.5	10.5	15.8	-

3. 日常生活

問6 現在の生活での不安

現在の生活で不安に感じていることでは、「自分の健康に関すること」が42.8%で最も高く、以下、「自分が認知症や寝たきりなどにより介護が必要になること」が40.0%、「地震などの災害時の備えや対応方法」が29.7%、「介護をしてくれる人（家族等）がいないこと」が22.5%となっています。

（複数回答）



第4章 50歳以上の現役世代調査

性別でみると、女性は男性に比べて、「自分が認知症や寝たきりなどにより介護が必要になること」、「介護をしてくれる人（家族等）がいないこと」、「夜間や緊急時に対応してくれる人がいないこと」、「犯罪や悪質商法に関すること」、「地震などの災害時の備えや対応方法」が高くなっています。

年齢別でみると、「自分の健康に関すること」や「自分が認知症や寝たきりなどにより介護が必要になること」は、高年齢層ほど高くなっています。

健康感別でみると、とても良い層では、「自分が認知症や寝たきりなどにより介護が必要になること」が30.2%で、他の層では、「自分の健康に関すること」が最も高くなっています。

【現在の生活での不安／性別、年齢別、健康感別】

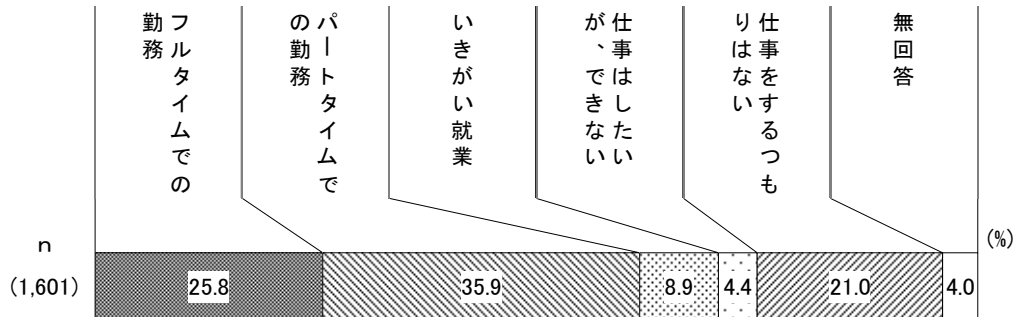
(%)

		n	自分の健康に関すること	自分が認知症や寝たきりなどにより介護が必要になること	介護をしてくれる人(家族等)がいないこと	夜間や緊急時に対応してくれる人がいないこと	友人や地域との交流がないこと	財産の管理や相続に関すること	犯罪や悪質商法に関すること	地震などの災害時の備えや対応方法	家族の経済状況が不安定で自立ができていないこと	自分の外出回数が減っていること
全体		1,601	42.8	40.0	22.5	15.9	16.4	17.1	7.9	29.7	7.9	6.6
性別	男性	658	44.7	36.6	17.8	10.3	16.3	17.3	4.9	25.4	7.3	6.5
	女性	943	41.5	42.3	25.8	19.8	16.4	16.9	10.0	32.7	8.4	6.7
年齢別	50～54歳	565	39.8	33.8	19.6	14.2	18.1	17.0	5.5	28.8	8.0	4.8
	55～59歳	530	43.2	42.5	25.5	17.2	15.1	17.9	9.2	30.8	7.7	7.2
	60～64歳	485	46.0	44.1	22.7	16.9	15.7	16.3	9.3	29.9	8.2	8.2
健康感別	とても良い	341	18.5	30.2	14.7	9.4	10.3	14.4	6.7	22.0	5.3	2.6
	まあ良い	1,063	44.3	41.5	23.0	16.4	17.3	17.1	7.2	31.0	7.3	6.5
	あまり良くない 良くない	146 19	88.4 78.9	53.4 63.2	37.7 36.8	28.1 26.3	24.7 21.1	22.6 36.8	15.8 10.5	37.0 36.8	16.4 36.8	16.4 15.8

		ひきこもりの家族がいること	家族の慢性疾患や障害に関すること	その他	特にない	無回答
全体		1.7	8.9	6.4	15.6	3.2
性別	男性	1.7	8.4	3.5	17.2	3.0
	女性	1.8	9.3	8.4	14.4	3.3
年齢別	50～54歳	1.4	9.0	8.3	17.9	2.5
	55～59歳	1.7	10.6	6.0	14.0	2.8
	60～64歳	2.3	7.2	4.5	15.1	3.3
健康感別	とても良い	1.5	7.0	6.7	29.0	1.8
	まあ良い	1.9	8.1	6.1	13.6	2.6
	あまり良くない 良くない	2.1 -	17.1 31.6	8.2 5.3	0.7 5.3	2.7 -

問7 働き方の希望

65歳以降の働き方の希望では、「パートタイムでの勤務」が35.9%で最も高く、以下、「フルタイムでの勤務」が25.8%、「仕事をするつもりはない」が21.0%となっています。



性別で見ると、男性は、「フルタイムでの勤務」が40.0%、女性は、「パートタイムでの勤務」が42.4%と高くなっています。

年齢別で見ると、「パートタイムでの勤務」は、低年齢層ほど、「仕事をしない」は、高年齢層ほど高くなっています。

性/年齢別で見ると、「フルタイムでの勤務」は、男性で、「パートタイムでの勤務」は、女性、特に低年齢層で高くなっています。

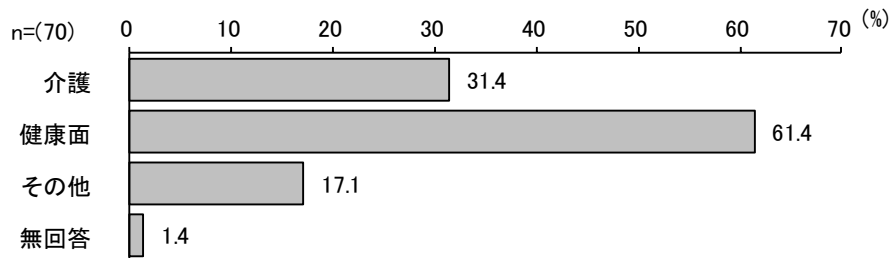
【働き方の希望/性別、年齢別、性/年齢別】

		n	フルタイムでの勤務	パートタイムでの勤務	いきがい就業	仕事はしたいが、できない	仕事をしないつもりはない	無回答
全体		1,601	25.8	35.9	8.9	4.4	21.0	4.0
性別	男性	658	40.0	26.6	8.7	2.9	18.7	3.2
	女性	943	15.9	42.4	9.1	5.4	22.6	4.6
年齢別	50~54歳	565	26.9	40.4	9.2	3.0	17.2	3.4
	55~59歳	530	23.6	36.6	10.4	4.0	21.3	4.2
	60~64歳	485	26.8	30.9	7.2	6.0	25.4	3.7
性/年齢別	男性/50~54歳	222	42.3	27.9	10.4	1.8	15.8	1.8
	男性/55~59歳	215	36.3	28.4	8.4	4.2	19.5	3.3
	男性/60~64歳	212	41.5	24.5	7.5	1.9	20.8	3.8
	女性/50~54歳	343	16.9	48.4	8.5	3.8	18.1	4.4
	女性/55~59歳	315	14.9	42.2	11.7	3.8	22.5	4.8
	女性/60~64歳	273	15.4	35.9	7.0	9.2	28.9	3.7

第4章 50歳以上の現役世代調査

仕事はしたいが、できない理由としては、「健康面」が61.4%、「介護」が31.4%となっています。

(複数回答)



性別で見ると、男女とも「健康面」が高くなっていますが、女性は、「介護」も35.3%と高くなっています。

年齢別で見ると、「介護」は、60～64歳の層で27.6%とやや低い傾向にあります。

【仕事はしたいが、できない理由／性別、年齢別】

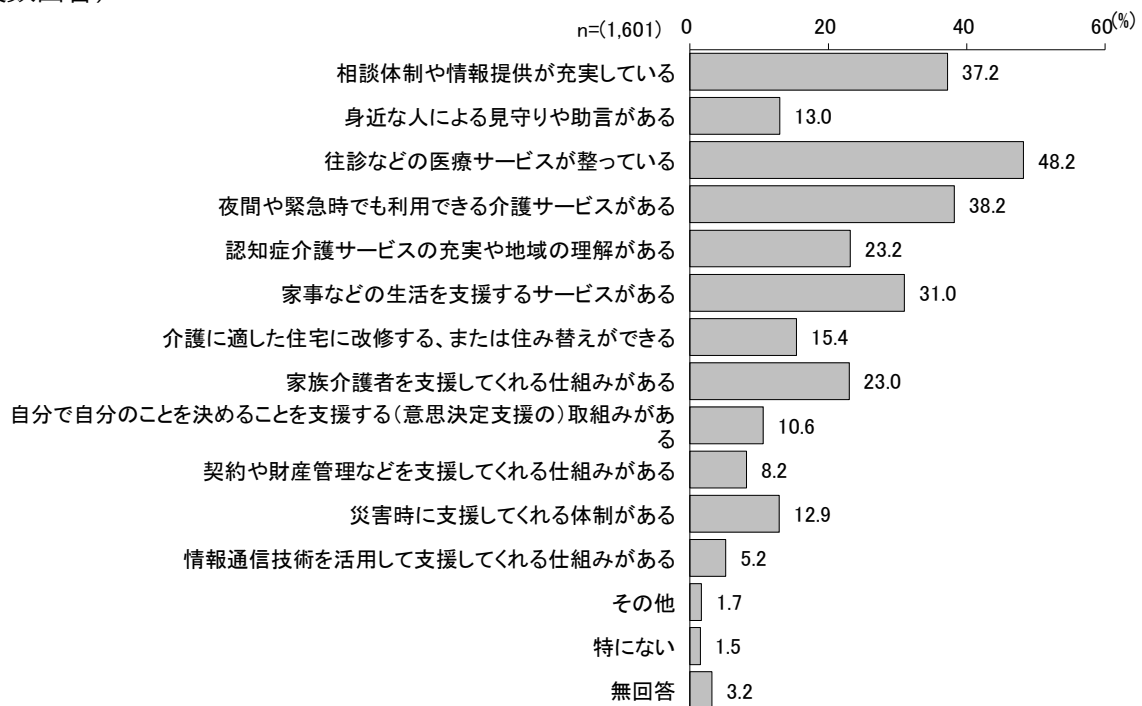
		n	介護	健康面	その他	無回答
全体		70	31.4	61.4	17.1	1.4
性別	男性	19	21.1	73.7	15.8	-
	女性	51	35.3	56.9	17.6	2.0
年齢別	50～54歳	17	35.3	58.8	17.6	-
	55～59歳	21	38.1	71.4	14.3	-
	60～64歳	29	27.6	55.2	20.7	-

4. 介護等

問8 介護が必要になっても、地域で暮らし続けるために必要なこと

介護が必要になっても、安心して、住み慣れた地域で暮らし続けるために必要なことでは、「往診などの医療サービスが整っている」が48.2%で最も高く、以下、「夜間や緊急時でも利用できる介護サービスがある」が38.2%、「相談体制や情報提供が充実している」が37.2%、「家事などの生活を支援するサービスがある」が31.0%となっています。

(複数回答)



第4章 50歳以上の現役世代調査

性別でみると、「災害時に支援してくれる体制がある」で、女性は、男性よりもやや高くなっています。
 年齢別でみると、「家族介護者を支援してくれる仕組みがある」は、低年齢層ほど高い傾向があります。

【介護が必要になっても、地域で暮らし続けるために必要なこと／性別、年齢別】

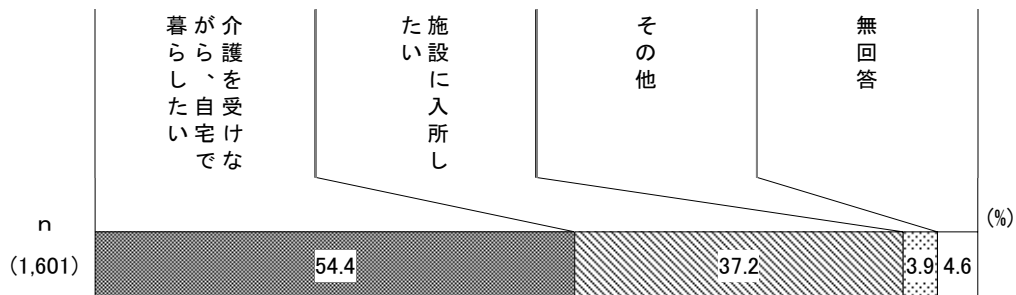
(%)

		n	相談体制や情報提供が充実している	身近な人による見守りや助言がある	往診などの医療サービスが整っている	夜間や緊急時でも利用できる介護サービスがある	認知症介護サービスの充実や地域の理解がある	家事などの生活を支援するサービスがある	介護に適した住宅に改修する、または住み替えができる	家族介護者を支援してくれる仕組みがある	自分で自分のことを決めることを支援する（意思決定支援の）仕組みがある	契約や財産管理などを支援してくれる仕組みがある
全体		1,601	37.2	13.0	48.2	38.2	23.2	31.0	15.4	23.0	10.6	8.2
性別	男性	658	36.8	14.9	48.9	36.0	23.7	31.8	15.0	22.9	9.3	6.8
	女性	943	37.5	11.7	47.7	39.8	22.8	30.4	15.6	23.1	11.6	9.1
年齢別	50～54歳	565	36.5	14.5	46.0	40.4	24.2	31.5	13.5	26.9	11.5	7.6
	55～59歳	530	37.2	10.9	50.2	36.8	24.7	30.9	17.5	22.3	10.9	8.7
	60～64歳	485	37.5	13.2	49.3	38.4	20.2	31.1	15.7	19.6	9.5	8.7

		災害時に支援してくれる体制がある	情報通信技術を活用して支援してくれる仕組みがある	その他	特にない	無回答
全体		12.9	5.2	1.7	1.5	3.2
性別	男性	9.6	6.5	0.9	2.6	3.0
	女性	15.3	4.3	2.3	0.7	3.3
年齢別	50～54歳	12.6	5.7	2.5	1.4	2.1
	55～59歳	11.5	5.3	1.9	1.3	3.4
	60～64歳	15.3	4.7	0.8	1.9	3.3

問9 介護が必要になった場合の暮らし方の希望

介護が必要になった場合に希望する暮らし方では、「介護を受けながら、自宅で暮らしたい」が54.4%で最も高く、以下、「施設に入所したい」が37.2%となっています。



令和元年度調査と比べると、「介護を受けながら、自宅で暮らしたい」がやや増加し、「施設に入所したい」はやや減少しています。

性別で見ると、「介護を受けながら、自宅で暮らしたい」は、男性、「施設に入所したい」は、女性が高くなっています。

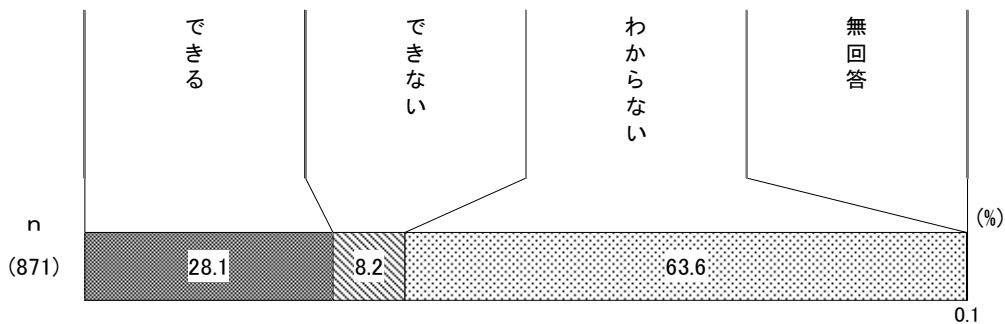
年齢別では、特に目立った違いはありません。

【介護が必要になった場合の暮らし方の希望／性別、年齢別】

		n	(%)			
		n	介護を受けながら、自宅で暮らしたい	施設に入所したい	その他	無回答
全体		1,601	54.4	37.2	3.9	4.6
令和元年度		1,607	48.2	44.1	2.3	5.4
性別	男性	658	59.7	33.1	2.9	4.3
	女性	943	50.7	40.0	4.6	4.8
年齢別	50～54歳	565	53.8	38.1	4.4	3.7
	55～59歳	530	55.8	36.4	3.8	4.0
	60～64歳	485	53.8	37.3	3.5	5.4

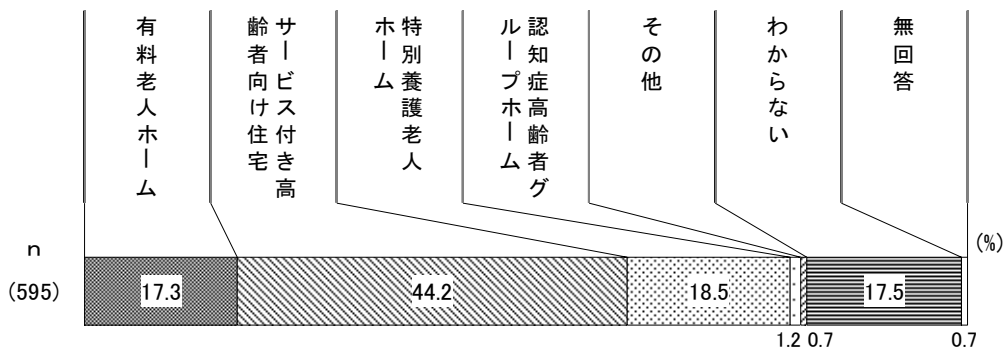
問9-1 介護が必要になった場合の在宅生活の実現性

介護を受けながら、自宅で暮らしたいと回答した方について、在宅生活を実現できると思うかは、「わからない」が63.6%で最も高く、以下、「できる」が28.1%、「できない」が8.2%となっています。



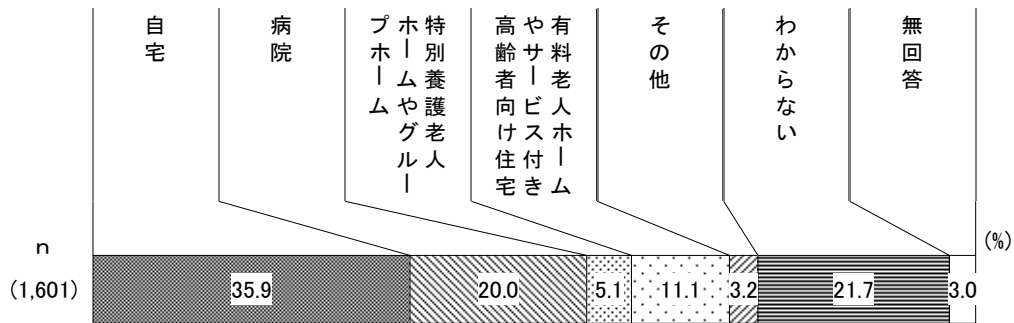
問9-2 入所したい施設の種類

施設に入所したいと回答した方について、入所したい施設は、「サービス付き高齢者向け住宅」が44.2%で最も高く、以下、「特別養護老人ホーム」が18.5%、「有料老人ホーム」が17.3%、「認知症高齢者グループホーム」が1.2%となっています。一方、「わからない」は17.5%となっています。



問10 終末期を迎えたい場所

終末期を迎える場所の希望では、「自宅」が35.9%で最も高く、以下、「病院」が20.0%、「有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅」が11.1%となっています。一方、「わからない」は21.7%となっています。



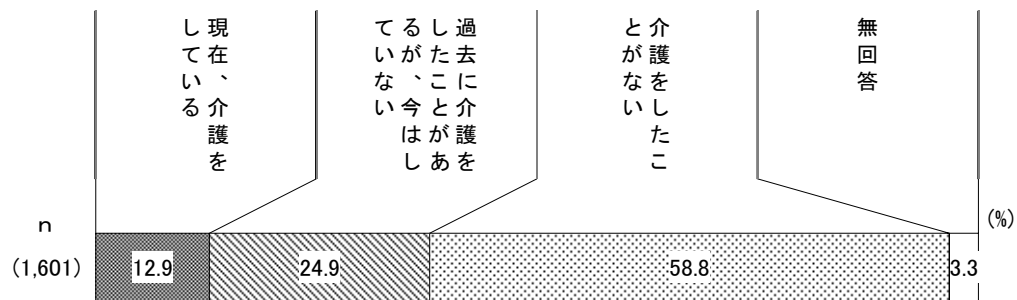
令和元年度調査と比べると、特に目立った変化はありません。
 性別で見ると、「自宅」は、男性、「有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅」は、女性で高くなっています。「病院」と「特別養護老人ホームやグループホーム」は、ほぼ同率となっています。
 年齢別では、特に目立った違いはありません。

【終末期を迎えたい場所／性別、年齢別】

		n	自宅	病院	特別養護老人ホームやグループホーム	有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅	その他	わからない	無回答
全体		1,601	35.9	20.0	5.1	11.1	3.2	21.7	3.0
令和元年度		1,607	38.5	15.9	4.8	10.0	2.9	25.0	3.0
性別	男性	658	42.9	19.9	4.9	7.9	2.3	19.6	2.6
	女性	943	31.0	20.0	5.2	13.4	3.9	23.2	3.3
年齢別	50～54歳	565	36.5	18.8	4.1	11.7	2.5	24.4	2.1
	55～59歳	530	37.5	19.1	5.7	10.8	4.3	20.0	2.6
	60～64歳	485	33.6	22.3	5.8	11.3	3.1	20.4	3.5

問11 介護の実施状況

家族、または身近な方の介護をしているかでは、「介護をしたことがない」が58.8%で最も高く、以下、「過去に介護をしたことがあるが、今はしていない」が24.9%、「現在、介護をしている」が12.9%となっています。



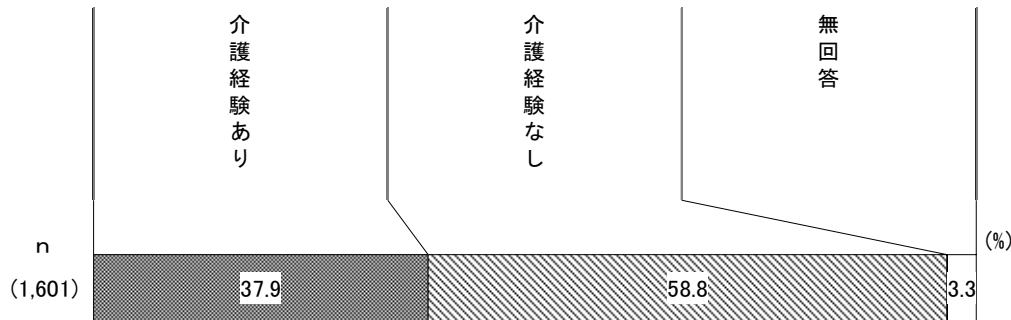
性別でみると、「現在、介護をしている」や「過去に介護をしたことがあるが、今はしていない」で、女性が男性を上回っています。

年齢別でみると、「介護をしたことがない」は、低年齢層ほど高くなっています。

【介護の実施状況／性別、年齢別】

		n	現在、介護をしている	過去に介護をしたことがあるが、今はしていない	介護をしたことがない	無回答
全体		1,601	12.9	24.9	58.8	3.3
性別	男性	658	10.8	18.2	67.3	3.6
	女性	943	14.4	29.6	52.9	3.1
年齢別	50～54歳	565	12.7	15.4	68.8	3.0
	55～59歳	530	14.9	25.8	56.6	2.6
	60～64歳	485	11.1	35.1	50.3	3.5

「介護経験あり」は、全体の37.9%となり、性別で見ると、男性の29.0%に対して、女性は44.0%と高くなっています。
 年齢別で見ると、「介護経験あり」は、高年齢層ほど高くなっています。

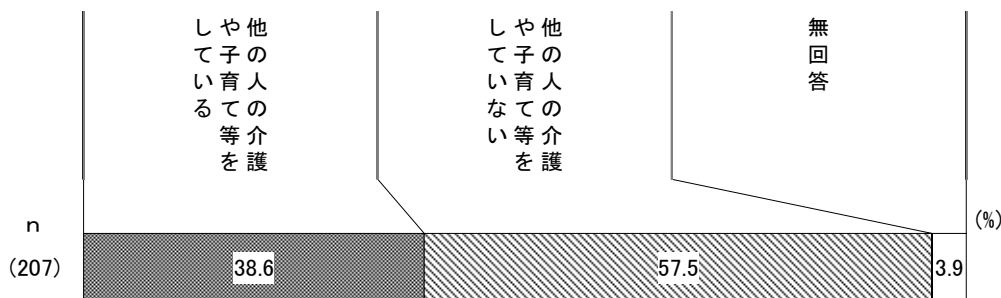


【介護の経験の有無／性別、年齢別】

		n	介護経験あり (%)	介護経験なし (%)	無回答 (%)
全体		1,601	37.9	58.8	3.3
性別	男性	658	29.0	67.3	3.6
	女性	943	44.0	52.9	3.1
年齢別	50～54歳	565	28.1	68.8	3.0
	55～59歳	530	40.8	56.6	2.6
	60～64歳	485	46.2	50.3	3.5

問11-1 複数介護の状況

現在、介護をしている人を含めて、複数の方の介護や子育て等をしているかでは、「他の人の介護や子育て等をしていない」が57.5%、「他の人の介護や子育て等をしている」が38.6%となっています。



性別では、特に目立った違いはありません。
 年齢別でみると、「他の人の介護や子育て等をしている」は、低年齢層ほど高くなっています。

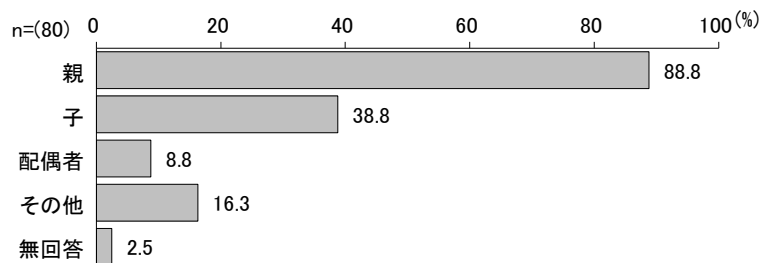
【複数介護の状況／性別、年齢別】

			(%)		
		n	他の人の 介護や子 育て等 をしている	他の人の 介護や子 育て等 をしてい ない	無回答
全 体		207	38.6	57.5	3.9
性別	男性	71	36.6	57.7	5.6
	女性	136	39.7	57.4	2.9
年齢別	50～54歳	72	50.0	47.2	2.8
	55～59歳	79	35.4	62.0	2.5
	60～64歳	54	27.8	64.8	7.4

問11-1-1 複数介護の対象

介護等の対象者の内訳は、「親」が88.8%で最も高く、以下、「子」が38.8%、「配偶者」が8.8%となっています。

(複数回答)



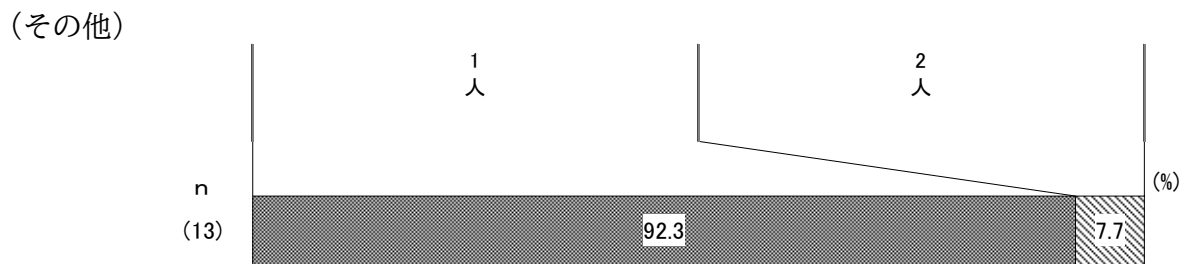
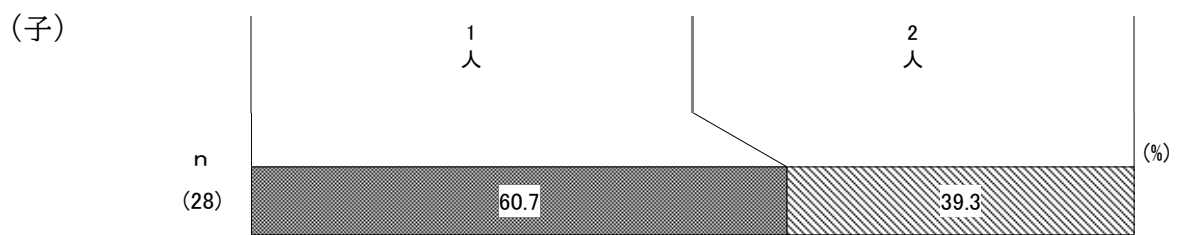
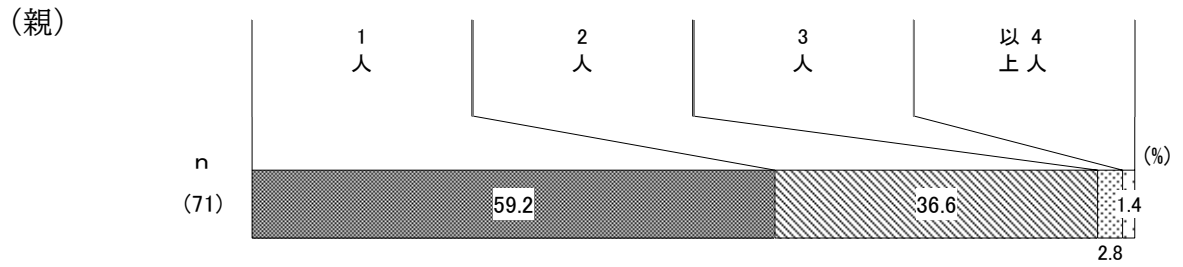
性別では、特に目立った違いはありません。
 年齢別では、人数の少ない層があるため、傾向がつかみにくくなっています。

【複数介護の対象／性別、年齢別】

			(%)				
		n	親	子	配偶者	その他	無回答
全 体		80	88.8	38.8	8.8	16.3	2.5
性別	男性	26	84.6	38.5	11.5	15.4	3.8
	女性	54	90.7	38.9	7.4	16.7	1.9
年齢別	50～54歳	36	86.1	58.3	8.3	5.6	5.6
	55～59歳	28	89.3	32.1	10.7	21.4	-
	60～64歳	15	93.3	6.7	6.7	33.3	-

【複数介護の対象人数】

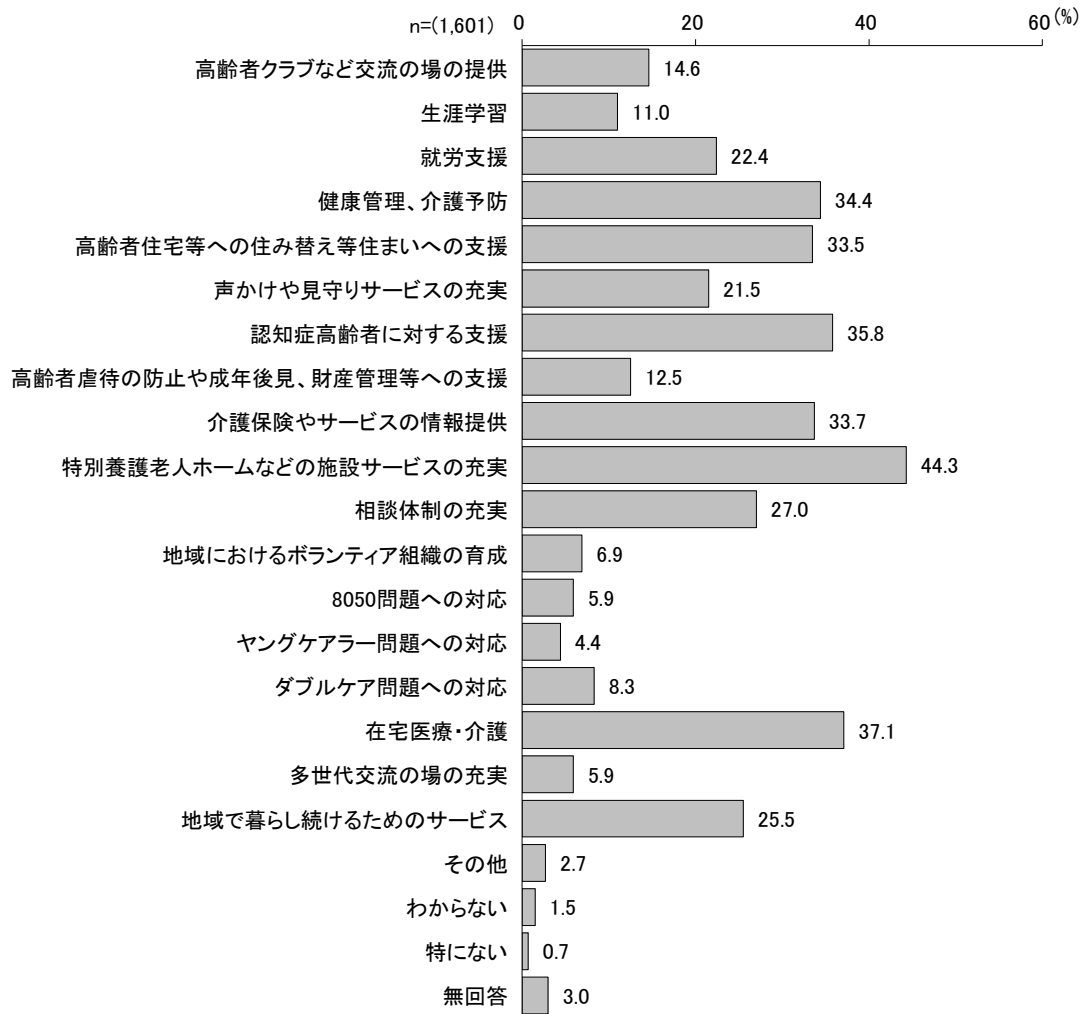
複数介護の人数としては、「親」は「1人」が59.2%、「子」も「1人」が60.7%で最も高くなっています。



問12 今後区に力を入れてほしいこと

高齢者施策、介護保険事業について、今後区に力を入れてほしいことでは、「特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実」が44.3%で最も高く、以下、「在宅医療・介護」が37.1%、「認知症高齢者に対する支援」が35.8%、「健康管理、介護予防」が34.4%となっています。

(複数回答)



性別でみると、「健康管理、介護予防」は、男性で、「介護保険やサービスの情報提供」は、女性で高くなっています。

年齢別でみると、「就労支援」や「高齢者住宅等への住み替え等住まいへの支援」は、低年齢層ほど高くなっています。

圏域別でみると、本富士地区では、「特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実」の38.0%よりも、「在宅医療・介護」の40.6%がやや高くなっています。

介護経験の有無別でみると、現在、介護をしている層では、「認知症高齢者に対する支援」が46.9%と比較的高く、介護をしたことがない層では、「就労支援」が25.9%と比較的高くなっています。

【今後区に力を入れてほしいこと／性別、年齢別、圏域別、介護経験の有無別】

		n	高齢者クラブなど交流の場の提供	生涯学習	就労支援	健康管理、介護予防	高齢者住宅等への住み替え等住まいへの支援	声かけや見守りサービスの充実	認知症高齢者に対する支援	高齢者虐待の防止や成年後見、財産管理等への支援	介護保険やサービスの情報提供	特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実	(%) 相談体制の充実
全体		1,601	14.6	11.0	22.4	34.4	33.5	21.5	35.8	12.5	33.7	44.3	27.0
性別	男性	658	12.9	10.3	23.3	38.8	31.3	18.7	37.7	10.9	28.9	44.5	25.1
	女性	943	15.7	11.5	21.7	31.4	35.0	23.5	34.5	13.6	37.1	44.2	28.3
年齢別	50～54歳	565	15.2	11.0	26.7	31.5	37.2	21.4	37.3	12.7	32.7	43.5	24.4
	55～59歳	530	16.4	12.1	22.8	36.0	33.0	23.6	34.3	13.0	31.5	44.7	26.2
	60～64歳	485	12.0	10.3	17.3	36.5	30.5	19.6	36.1	11.8	37.7	46.0	30.3
圏域別	富坂地区	543	12.5	10.9	23.0	33.1	33.3	19.7	36.3	13.8	33.5	45.7	27.8
	大塚地区	357	14.8	9.5	23.0	35.3	35.3	24.1	37.0	11.8	35.9	44.8	25.2
	本富士地区	355	16.3	12.4	20.8	34.9	31.3	22.3	32.4	10.1	34.1	38.0	27.3
	駒込地区	346	15.6	11.3	22.3	35.0	34.1	21.1	37.3	13.6	31.5	48.3	27.2
介護経験の有無別	現在、介護をしている	207	12.6	10.1	16.9	31.9	36.7	17.4	46.9	11.6	36.7	49.3	20.3
	過去に介護をしたことがあるが、今はしていない	399	15.5	8.5	18.8	36.1	32.1	23.1	35.3	11.0	39.1	46.9	29.6
	介護をしたことがない	942	15.3	12.7	25.9	36.1	34.9	22.5	35.2	13.9	32.5	44.4	28.5

		地域におけるボランティア組織の育成	8050問題への対応	ヤングケアラー問題への対応	ダブルケア問題への対応	在宅医療・介護	多世代交流の場の充実	地域で暮らし続けるためのサービス	その他	わからない	特にない	無回答
全体		6.9	5.9	4.4	8.3	37.1	5.9	25.5	2.7	1.5	0.7	3.0
性別	男性	7.0	6.2	3.5	6.4	39.7	6.5	24.5	1.5	1.4	1.2	2.4
	女性	6.8	5.7	5.1	9.7	35.3	5.5	26.2	3.5	1.6	0.4	3.4
年齢別	50～54歳	7.8	6.9	5.0	10.3	34.3	5.0	24.6	2.1	1.9	0.5	2.7
	55～59歳	7.2	6.4	4.7	7.4	40.2	7.7	24.5	3.8	1.5	0.4	2.3
	60～64歳	5.4	4.3	3.5	7.0	37.1	5.4	27.8	2.1	1.0	1.2	3.5
圏域別	富坂地区	6.1	5.5	4.1	8.8	34.4	5.2	23.4	3.1	2.4	0.9	2.9
	大塚地区	9.0	7.6	4.2	6.7	37.5	5.9	23.8	2.0	0.8	0.6	2.5
	本富士地区	7.0	4.8	4.8	7.6	40.6	7.0	26.5	2.8	1.4	1.1	3.7
	駒込地区	5.8	6.1	4.9	9.8	37.3	6.1	29.5	2.6	0.9	0.3	2.9
介護経験の有無別	現在、介護をしている	7.7	8.7	4.3	10.6	43.5	4.3	19.3	2.9	1.4	0.5	1.9
	過去に介護をしたことがあるが、今はしていない	7.0	6.5	6.8	10.0	35.6	5.5	29.6	3.8	1.3	0.5	1.0
	介護をしたことがない	7.0	5.3	3.6	7.3	38.1	6.8	26.4	1.9	1.7	0.8	0.2

(ヤングケアラー問題対応の具体例)

「ヤングケアラー問題への対応」を選んだ人に、具体的な内容を聞いたところ、20人から延べ26件の回答がありました。

ヤングケアラー問題への対応 今後区に力を入れてほしいこと	(件)
支える仕組みづくり、相談体制	6
子どもの生活、学業優先	4
介護を他に任せる	3
(単に)負担軽減、支援	2
自覚を促す	2
専門職の導入、現状の把握	2
経済的な支援	2
その他	5

【主な回答内容】

1. 「支える仕組みづくり、相談体制」

- 子どもに周囲の大人を頼ってよいことを教える機会。サポートボランティアの募集。専門のコーディネーター（相談員）の設置。
- 子供だけで介護させる事なく、すぐに相談できて、様々な支援を受けられる事があたり前になるようなしくみを作ってほしい。

2. 「子どもの生活、学業優先」

- 若い人達がスムーズに学校に通えるようにする。(希望をもって生活できるように)

3. 「介護を他に任せる」

- ヤングケアラーは0人にすべき。ヘルパーなど無料で人を派遣すべき。

4. 「その他」

- 施設等への優先的な入所。
- 子供は相談できないので、心のケアをしてほしい。金銭面は、ベーシックインカムの制度を早く実現してほしい。

(その他の具体例)

「その他」を選んだ人に、具体的な内容を聞いたところ、33人から延べ36件の回答がありました。

その他 今後区に力を入れてほしいこと	(件)
施設の充実（施設数、費用）	6
経済的支援	4
介護職への待遇改善	3
就労・起業支援	3
住宅対策	3
家事支援	2
防犯対策	2
医療体制の充実	2
相談体制の充実	2
情報発信・情報公開	2
老々介護対策	1
介護者の支援	1
区、施設職員の理解、意識向上	1
その他	4

【主な回答内容】

1. 「施設の充実（施設数、費用）」

- 終末を受け入れてくれる施設と苦しまない（本人も家族も）体制。
- 施設の数が少ない、文京区内で探すのがむずかしい。
- 介護が必要になったら、（自分達の親たちの介護の経験を踏まえ）有料老人ホームに入所することになるのではないかと思うが、文京区は高額すぎて現実的ではない。夫や子供の近くのホームに入りたいと思っても知らない土地に行くのは不安。

2. 「経済的支援」

- 経済的なゆとりの実現への具体的な対応。
- 区による支援金の給付。

3. 「介護職への待遇改善」

- 介護をする人（事業所の職員・社員）への報酬等を充実させて、人員増に力を入れて欲しい。厳しい仕事なのに給料は安い、休みが無いなど、内容に見合った待遇が必要！！

4. 「就労・起業支援」

- 高令者の起業支援。

5. 「住宅対策」

- 区営住宅の充実（入居希望しても入れない。空きがない）。

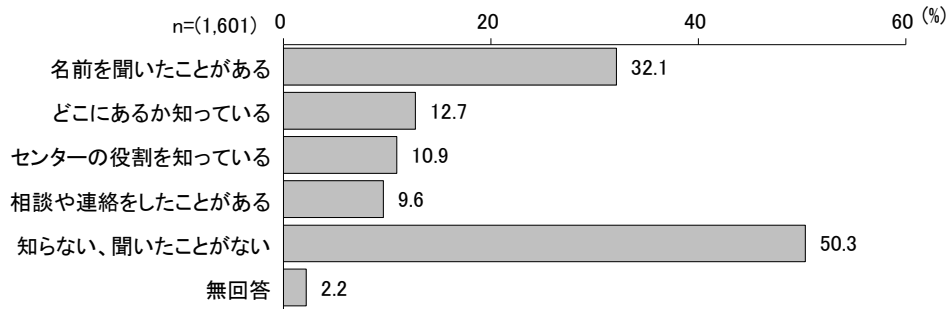
6. 「その他」

- 生存確認ができる地域の仲間クラブ。
- 高齢者が安心して歩道を歩けるように、危険な自転者を取り締まるなどの対策をして下さい。

問13 高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）の認知度

高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）の認知度では、「知らない、聞いたことがない」が50.3%で最も高く、以下、「名前を聞いたことがある」が32.1%、「どこにあるか知っている」が12.7%、「センターの役割を知っている」が10.9%、「相談や連絡をしたことがある」が9.6%、「知らない、聞いたことがない」が10.9%となっています。

（複数回答）



令和元年度調査と比べると、特に目立った変化はありません。
 性別で見ると、「知らない、聞いたことがない」は、男性の57.9%に対して、女性は、45.1%で、女性の認知度が高くなっています。
 年齢別で見ると、「知らない、聞いたことがない」は、低年齢層ほど、認知度は、高年齢層ほど高くなっています。
 圏域別で見ると、「名前を聞いたことがある」や「どこにあるか知っている」で、駒込地区が他地域よりもやや高くなっています。
 介護経験の有無別で見ると、「知らない、聞いたことがない」は、介護をしたことがない層で60.6%と高くなっています。

【高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）の認知度

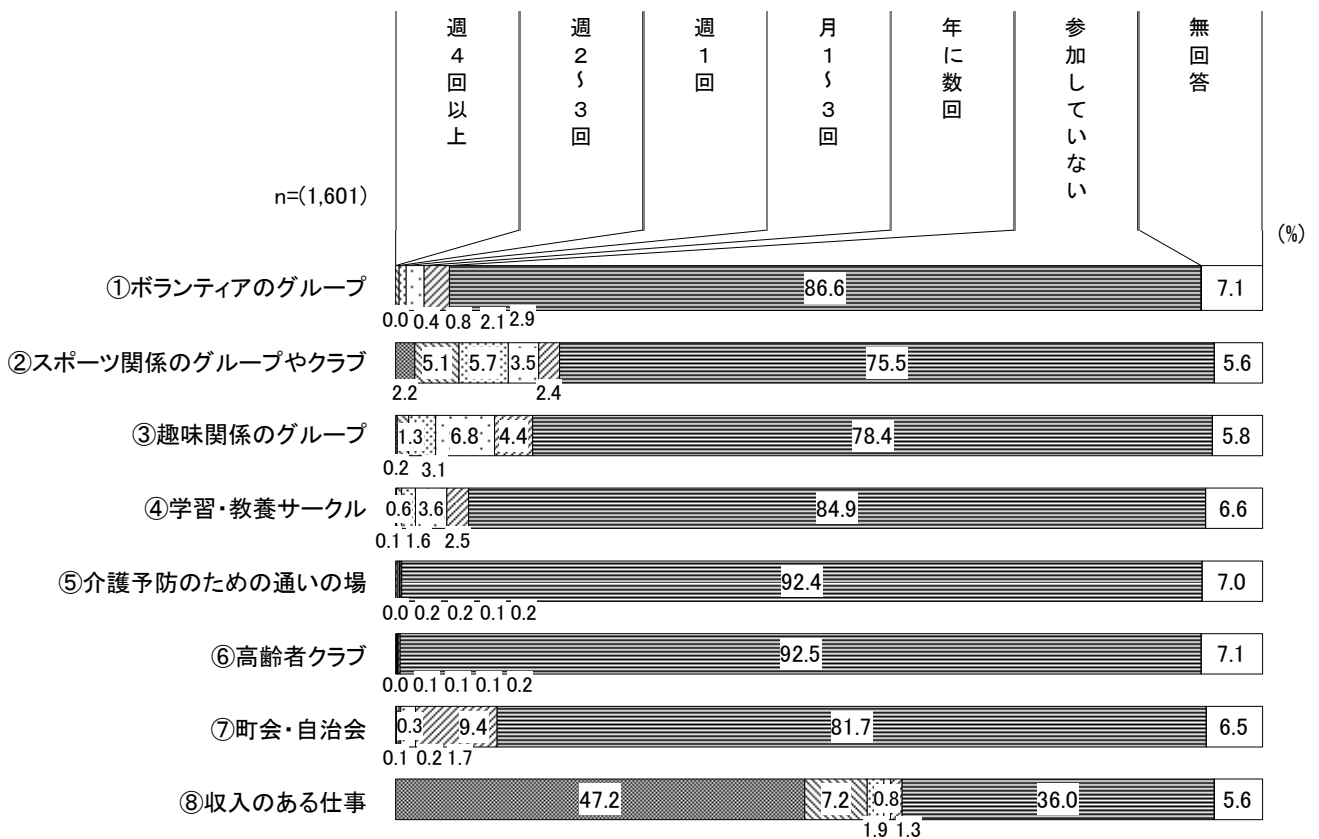
／性別、年齢別、圏域別、介護経験の有無別】

		n	名前を聞いたことがある	どこにあるか知っている	センターの役割を知っている	相談や連絡をしたことがある	知らない、聞いたことがない	無回答
全体		1,601	32.1	12.7	10.9	9.6	50.3	2.2
令和元年度		1,607	30.1	14.1	13.4	11.6	51.8	3.1
性別	男性	658	25.8	11.6	8.8	5.9	57.9	3.0
	女性	943	36.5	13.5	12.3	12.1	45.1	1.6
年齢別	50～54歳	565	29.4	11.0	8.3	8.0	54.2	2.3
	55～59歳	530	32.6	12.3	12.5	8.7	50.8	1.5
	60～64歳	485	34.6	15.3	12.4	12.8	46.2	1.4
圏域別	富坂地区	543	31.1	12.2	8.7	8.1	54.1	1.7
	大塚地区	357	31.9	11.5	13.4	9.2	49.3	3.6
	本富士地区	355	30.1	8.5	9.3	7.9	51.8	3.1
	駒込地区	346	35.8	19.1	13.3	13.9	43.9	0.6
介護経験の有無別	現在、介護をしている	207	35.7	20.3	17.4	25.6	30.4	1.9
	過去に介護をしたことがあるが、今はしていない	399	38.6	18.0	15.3	19.3	38.3	1.3
	介護をしたことがない	942	29.2	9.1	7.7	2.3	60.6	1.0

5. 地域での活動

問14 会・グループ等の参加頻度

ボランティアのグループでは、「参加していない」が86.6%で最も高く、以下、「年に数回」が2.9%、「月1～3回」が2.1%となっています。



①ボランティアのグループ

ボランティアのグループを令和元年度調査と比べると、「参加していない」が77.4%から86.6%に増加しています。

性別では、特に目立った違いはありません。

年齢別でみると、「参加していない」は、低年齢層ほど高くなっています。

【参加頻度・ボランティアのグループ／性別、年齢別】

		n	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		1,601	-	0.4	0.8	2.1	2.9	86.6	7.1
令和元年度		1,607	0.4	1.0	1.6	2.3	3.0	77.4	14.3
性別	男性	658	-	0.2	0.9	2.0	2.9	87.8	6.2
	女性	943	-	0.6	0.7	2.1	3.0	85.8	7.7
年齢別	50～54歳	565	-	0.5	1.1	1.4	2.5	90.3	4.2
	55～59歳	530	-	0.4	0.6	2.1	3.0	87.7	6.2
	60～64歳	485	-	0.4	0.8	2.9	3.5	82.5	9.9

②スポーツ関係のグループやクラブ

スポーツ関係のグループやクラブを令和元年度調査と比べると、「参加していない」が62.6%から75.5%に増加しています。

性別で見ると、「参加していない」は、男性が女性よりも6.8ポイント高くなっています。
年齢別で見ると、「参加していない」は、低年齢層ほど高くなっています。

【参加頻度・スポーツ関係のグループやクラブ／性別、年齢別】

(%)

		n	週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		1,601	2.2	5.1	5.7	3.5	2.4	75.5	5.6
令和元年度		1,607	3.2	8.1	6.9	4.7	3.0	62.6	11.6
性別	男性	658	1.4	3.3	4.4	3.2	2.9	79.5	5.3
	女性	943	2.9	6.3	6.6	3.7	2.0	72.7	5.8
年齢別	50~54歳	565	1.2	4.6	5.7	3.9	1.9	78.9	3.7
	55~59歳	530	2.6	4.9	4.9	3.0	2.6	76.6	5.3
	60~64歳	485	3.1	5.8	6.8	3.7	2.7	71.1	6.8

③趣味関係のグループ

趣味関係のグループを令和元年度調査と比べると、「参加していない」が64.6%から78.4%に増加しています。

性別で見ると、「参加していない」は、男性が女性よりも9.6ポイント高くなっています。
年齢別で見ると、「参加していない」は、低年齢層ほど高くなっています。

【参加頻度・趣味関係のグループ／性別、年齢別】

(%)

		n	週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		1,601	0.2	1.3	3.1	6.8	4.4	78.4	5.8
令和元年度		1,607	1.2	1.7	3.3	8.8	6.5	64.6	13.9
性別	男性	658	0.2	0.8	1.8	3.6	3.6	84.0	5.9
	女性	943	0.3	1.7	3.9	9.0	4.9	74.4	5.7
年齢別	50~54歳	565	0.4	1.1	3.0	6.7	4.4	80.7	3.7
	55~59歳	530	0.4	1.3	3.8	4.3	4.7	79.8	5.7
	60~64歳	485	-	1.6	2.5	9.5	4.1	75.3	7.0

④学習・教養サークル

学習・教養サークルを令和元年度調査と比べると、「参加していない」が74.9%から84.9%に増加しています。

性別でみると、「参加していない」は、男性が女性よりも8.6ポイント高くなっています。

年齢別でみると、「参加していない」は、低年齢層ほど高くなっています。

【参加頻度・学習・教養サークル／性別、年齢別】

		n						(%)	
			週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		1,601	0.1	0.6	1.6	3.6	2.5	84.9	6.6
令和元年度		1,607	0.3	0.7	1.6	2.7	2.9	74.9	16.8
性別	男性	658	0.2	0.3	0.8	1.8	1.7	90.0	5.3
	女性	943	0.1	0.8	2.2	4.9	3.1	81.4	7.4
年齢別	50～54歳	565	0.2	0.5	1.6	2.7	3.0	88.0	4.1
	55～59歳	530	0.2	0.6	1.1	3.6	2.1	86.4	6.0
	60～64歳	485	-	0.8	2.3	4.7	2.5	81.2	8.5

⑤介護予防のための通いの場

介護予防のための通いの場について、性別では、特に目立った違いはありません。

年齢別でみると、「参加していない」は、低年齢層ほど高くなっています。

【参加頻度・介護予防のための通いの場／性別、年齢別】

		n						(%)		
			週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	
全体		1,601	-	0.2	0.2	0.1	0.2	92.4	7.0	
令和元年度		1,607	該当項目なし							
性別	男性	658	-	-	-	-	-	94.1	5.9	
	女性	943	-	0.3	0.3	0.1	0.3	91.2	7.7	
年齢別	50～54歳	565	-	-	0.2	-	-	95.8	4.1	
	55～59歳	530	-	0.2	0.2	0.2	0.4	93.0	6.0	
	60～64歳	485	-	0.4	0.2	-	0.2	89.3	9.9	

⑥高齢者クラブ

高齢者クラブを令和元年度調査と比べると、「参加していない」が81.8%から92.5%に増加しています。

性別では、特に目立った違いはありません。

年齢別でみると、「参加していない」は、低年齢層ほど高くなっています。

【参加頻度・高齢者クラブ／性別、年齢別】

		n						(%)	
			週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		1,601	-	0.1	0.1	0.1	0.2	92.5	7.1
令和元年度		1,607	-	0.1	0.1	0.1	-	81.8	18.0
性別	男性	658	-	-	-	-	-	93.9	6.1
	女性	943	-	0.2	0.1	0.1	0.3	91.5	7.7
年齢別	50～54歳	565	-	-	-	-	-	95.8	4.2
	55～59歳	530	-	-	-	0.2	0.4	93.4	6.0
	60～64歳	485	-	0.4	0.2	-	0.2	89.3	9.9

⑦町会・自治会

町会・自治会を令和元年度調査と比べると、「参加していない」が72.0%から81.7%に増加しています。

性別では、特に目立った違いはありません。

年齢別でみると、「参加していない」は、低年齢層ほど高くなっています。

【参加頻度・町会・自治会／性別、年齢別】

		n						(%)	
			週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		1,601	0.1	0.3	0.2	1.7	9.4	81.7	6.5
令和元年度		1,607	0.2	0.1	0.3	2.9	8.6	72.0	15.8
性別	男性	658	-	0.5	0.5	2.1	10.8	80.9	5.3
	女性	943	0.1	0.2	0.1	1.5	8.5	82.3	7.3
年齢別	50～54歳	565	-	-	-	1.2	9.2	85.7	3.9
	55～59歳	530	-	0.4	0.4	1.7	9.2	82.8	5.5
	60～64歳	485	0.2	0.6	0.4	2.5	9.9	77.1	9.3

⑧収入のある仕事

収入のある仕事を令和元年度調査と比べると、「参加していない」が28.3%から36.0%に増加しています。

性別で見ると、「週4回以上」は、男性が女性よりも13.8ポイント高くなっています。

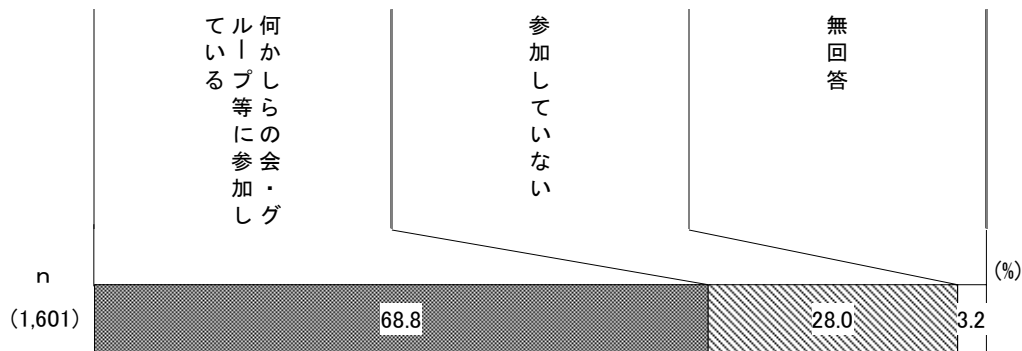
年齢別で見ると、「週4回以上」は、低年齢層ほど高くなっています。

【参加頻度・収入のある仕事／性別、年齢別】

		n	(%)						
			週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		1,601	47.2	7.2	1.9	0.8	1.3	36.0	5.6
令和元年度		1,607	50.9	8.3	1.4	1.5	1.1	28.3	8.6
性別	男性	658	55.3	2.0	0.9	0.5	0.9	34.7	5.8
	女性	943	41.5	10.9	2.5	1.1	1.6	37.0	5.4
年齢別	50~54歳	565	51.0	8.0	1.6	0.2	1.2	34.5	3.5
	55~59歳	530	46.8	6.6	2.1	0.4	0.8	38.1	5.3
	60~64歳	485	43.7	7.4	2.1	2.1	2.1	36.1	6.6

(会・グループ活動への参加状況)

「何かしらの会・グループ等に参加している」という人は、全体の68.8%となり、7割近くになっています。



第4章 50歳以上の現役世代調査

令和元年度調査と比べると、特に目立った変化はありません。

性別では、特に目立った違いはありません。

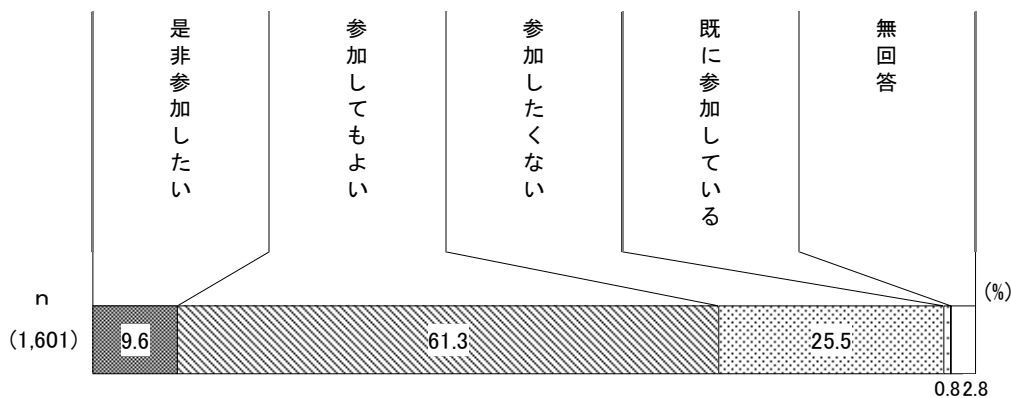
年齢別でみると、「何かしらの会・グループ等に参加している」は、55～59歳の層で72.7%とやや高くなっています。

【会・グループ活動への参加状況／性別、年齢別】

		n	何かしらの会・グループ等に参加している	参加していない	無回答
全体		1,601	68.8	28.0	3.2
令和元年度		658	66.6	29.3	4.1
性別	男性	943	70.3	27.1	2.5
	女性	543	68.0	29.1	2.9
年齢別	50～54歳	357	67.2	28.0	4.8
	55～59歳	355	72.7	24.2	3.1
	60～64歳	346	67.6	30.3	2.0

問15 グループ活動への参加意向（参加者として）

地域づくりを進める活動に参加者として参加したいかでは、「参加してもよい」が61.3%で最も高く、以下、「参加したくない」が25.5%、「是非参加したい」が9.6%となっています。



性別でみると、「是非参加したい」は、女性で、「参加したくない」は、男性で高くなっています。

年齢別でみると、「是非参加したい」は、60～64歳の層で7.4%とやや低くなっています。

圏域別では、特に目立った違いはありません。

健康感別でみると、「参加してもよい」は、健康状態が良いほど高い傾向にあります。

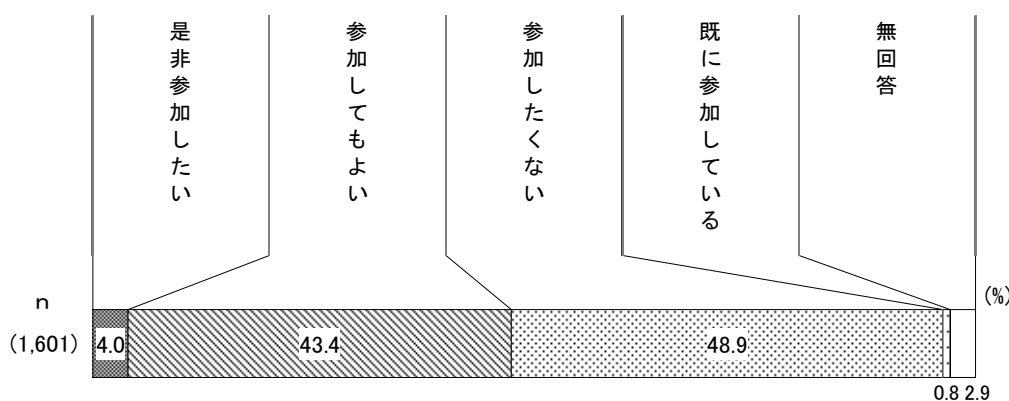
就労意向別でみると、「参加してもよい」は、仕事はしたいが、できない層で54.3%とやや低くなっています。

【グループ活動への参加意向（参加者として）／性別、年齢別、圏域別、健康感別、就労意向別】

			(%)				
		n	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
全体		1,601	9.6	61.3	25.5	0.8	2.8
性別	男性	658	5.8	61.1	29.5	0.6	3.0
	女性	943	12.2	61.5	22.7	1.0	2.7
年齢別	50～54歳	565	10.3	62.1	23.9	0.7	3.0
	55～59歳	530	11.1	61.3	24.9	0.6	2.1
	60～64歳	485	7.4	61.0	28.7	1.0	1.9
圏域別	富坂地区	543	11.2	61.1	24.9	0.9	1.8
	大塚地区	357	9.0	59.9	26.9	-	4.2
	本富士地区	355	8.5	61.7	25.4	1.1	3.4
	駒込地区	346	8.7	62.7	25.1	1.2	2.3
健康感別	とても良い	341	11.1	63.3	22.9	1.8	0.9
	まあ良い	1,063	9.0	63.0	25.3	0.7	2.0
	あまり良くない	146	10.3	54.1	34.2	-	1.4
	良くない	19	21.1	47.4	26.3	-	5.3
就労意向別	フルタイムでの勤務	413	5.6	64.9	25.4	1.5	2.7
	パートタイムでの勤務	575	11.1	60.7	26.4	0.3	1.4
	いきがい就業	143	18.2	68.5	10.5	2.1	0.7
	仕事はしたいが、できない	70	12.9	54.3	25.7	-	7.1
	仕事をするつもりはない	336	6.0	61.6	30.7	0.3	1.5

問16 グループ活動への参加意向（世話役として）

地域づくりを進める活動の企画・運営（お世話役）として参加したいかでは、「参加したくない」が48.9%で最も高く、以下、「参加してもよい」が43.4%、「是非参加したい」が4.0%となっています。



第4章 50歳以上の現役世代調査

性別、年齢別、圏域別では、特に目立った違いはありません。
 健康感別で見ると、「参加してもよい」は、健康状態が良いほど高い傾向にあります。
 就労意向別で見ると、「参加してもよい」は、いきがい就業の層で52.4%と高くなっています。

【グループ活動への参加意向（世話役として）／性別、年齢別、圏域別、健康感別、就労意向別】

(%)

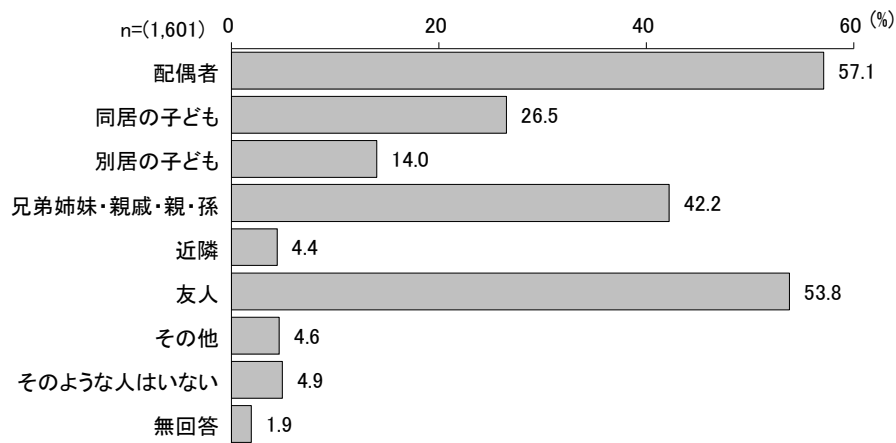
		n	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
全体		1,601	4.0	43.4	48.9	0.8	2.9
性別	男性	658	2.1	44.4	49.8	0.6	3.0
	女性	943	5.3	42.7	48.3	1.0	2.8
年齢別	50～54歳	565	5.3	45.0	45.7	0.9	3.2
	55～59歳	530	4.0	42.6	51.3	0.2	1.9
	60～64歳	485	2.7	43.5	50.7	1.0	2.1
圏域別	富坂地区	543	5.9	43.8	47.7	0.6	2.0
	大塚地区	357	2.8	43.1	49.3	0.6	4.2
	本富士地区	355	3.4	41.1	51.0	1.4	3.1
	駒込地区	346	2.9	45.4	48.3	0.9	2.6
健康感別	とても良い	341	4.7	49.0	44.0	1.5	0.9
	まあ良い	1,063	3.5	43.4	50.3	0.7	2.2
	あまり良くない	146	5.5	39.7	52.7	0.7	1.4
	良くない	19	15.8	31.6	52.6	-	-
就労意向別	フルタイムでの勤務	413	2.7	46.2	46.7	1.2	3.1
	パートタイムでの勤務	575	3.8	45.0	49.2	0.7	1.2
	いきがい就業	143	10.5	52.4	35.7	0.7	0.7
	仕事はしたいが、できない	70	4.3	40.0	47.1	-	8.6
	仕事をするつもりはない	336	1.5	38.1	58.9	0.3	1.2

6. たすけあい

問17 心配や愚痴を聞いてくれる人

心配事や愚痴を聞いてくれる人では、「配偶者」が57.1%で最も高く、以下、「友人」が53.8%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が42.2%、「同居の子ども」が26.5%となっています。

(複数回答)



性別でみると、「配偶者」は、男性で、「同居の子ども」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、「友人」は、女性で高くなっています。

年齢別でみると、「同居の子ども」は、低年齢層ほど、「別居の子ども」は、高年齢層ほど高くなっています。

圏域別では、特に目立った違いはありません。

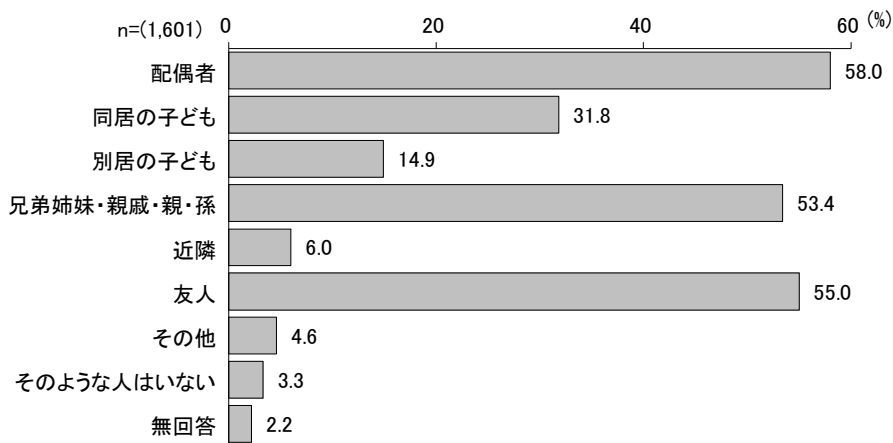
【心配や愚痴を聞いてくれる人／性別、年齢別、圏域別】

		n	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		1,601	57.1	26.5	14.0	42.2	4.4	53.8	4.6	4.9	1.9
性別	男性	658	67.0	21.1	10.6	31.6	3.0	40.4	3.6	7.0	2.7
	女性	943	50.2	30.2	16.3	49.5	5.3	63.2	5.2	3.4	1.3
年齢別	50～54歳	565	57.7	31.7	4.8	48.8	4.8	55.6	5.8	4.1	2.1
	55～59歳	530	59.1	27.0	15.8	37.5	2.5	52.3	4.7	5.5	1.1
	60～64歳	485	54.8	20.4	22.7	40.2	5.6	54.2	3.1	4.9	1.2
圏域別	富坂地区	543	56.4	27.1	14.5	43.3	5.7	53.0	4.4	4.6	1.8
	大塚地区	357	57.1	26.9	14.0	38.1	2.8	52.1	3.1	6.4	2.5
	本富士地区	355	56.6	22.3	14.4	42.8	4.5	53.2	5.1	5.6	1.7
	駒込地区	346	58.7	29.5	12.7	43.9	3.8	57.5	5.8	2.9	1.4

問18 心配や愚痴を聞いてあげる人

心配事や愚痴を聞いてあげる人では、「配偶者」が58.0%で最も高く、以下、「友人」が55.0%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が53.4%、「同居の子ども」が31.8%となっています。

(複数回答)



性別で見ると、「配偶者」は、男性で、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」や「友人」は、女性で高くなっています。

年齢別で見ると、「同居の子ども」や「兄弟姉妹・親戚・親・孫」は、低年齢層ほど高いのに対して、「別居の子ども」は、高年齢層ほど高くなっています。

圏域別では、特に目立った違いはありません。

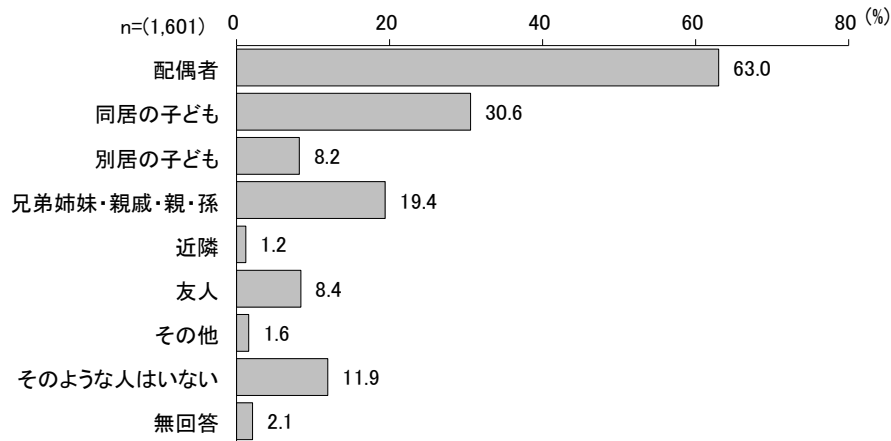
【心配や愚痴を聞いてあげる人／性別、年齢別、圏域別】

		n	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		1,601	58.0	31.8	14.9	53.4	6.0	55.0	4.6	3.3	2.2
性別	男性	658	69.9	28.9	11.1	40.6	4.4	40.6	3.8	5.9	3.3
	女性	943	49.6	33.8	17.6	62.4	7.1	65.1	5.2	1.5	1.5
年齢別	50～54歳	565	60.2	40.5	4.2	60.9	6.7	56.3	5.5	2.3	2.3
	55～59歳	530	58.3	31.3	17.2	51.3	3.6	54.2	5.7	3.8	1.5
	60～64歳	485	55.7	22.7	25.2	48.0	7.4	55.7	2.7	3.7	1.9
圏域別	富坂地区	543	57.8	30.6	14.7	55.1	7.0	53.2	3.9	2.6	2.0
	大塚地区	357	57.1	33.9	16.5	50.4	5.0	54.9	3.9	2.8	2.8
	本富士地区	355	57.7	28.7	14.9	52.7	6.5	55.8	5.4	5.4	2.0
	駒込地区	346	59.2	34.7	13.6	54.6	4.9	57.2	5.8	2.9	2.3

問19 看病してくれる人

病気の際、看病や世話をしてくれる人では、「配偶者」が63.0%で最も高く、以下、「同居の子ども」が30.6%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が19.4%となっています。一方、「そのような人はいない」は11.9%となっています。

(複数回答)



性別で見ると、「配偶者」は、男性で、「同居の子ども」、「別居の子ども」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、「友人」は、女性で高くなっています。

年齢別で見ると、「同居の子ども」は、低年齢層ほど高いのに対して、「別居の子ども」は、高年齢層ほど高くなっています。

圏域別では、特に目立った違いはありません。

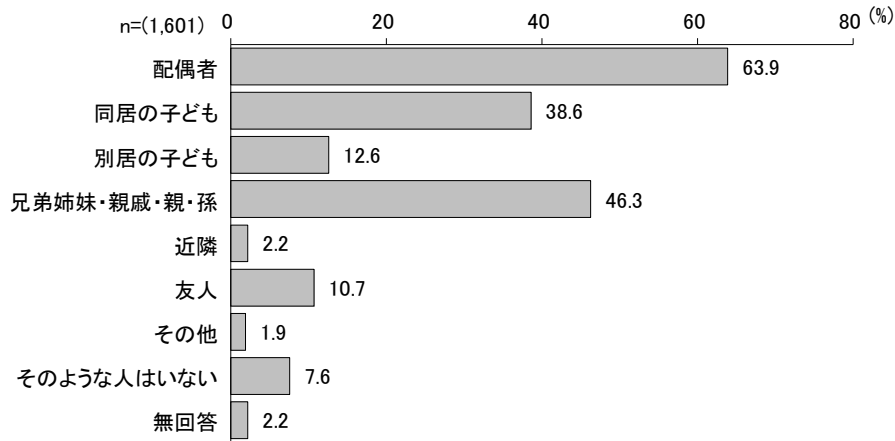
【看病してくれる人／性別、年齢別、圏域別】

		n	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		1,601	63.0	30.6	8.2	19.4	1.2	8.4	1.6	11.9	2.1
性別	男性	658	74.8	25.2	4.6	13.4	0.6	4.6	0.9	11.7	2.6
	女性	943	54.7	34.4	10.8	23.5	1.7	11.1	2.0	12.1	1.7
年齢別	50～54歳	565	66.4	37.5	1.6	23.4	1.2	8.1	1.8	11.0	1.9
	55～59歳	530	63.4	30.0	9.2	16.8	0.4	8.3	1.5	12.3	1.5
	60～64歳	485	59.6	23.5	14.6	17.9	2.1	8.9	1.4	12.8	1.6
圏域別	富坂地区	543	62.8	31.1	9.2	19.2	2.4	7.9	1.8	10.1	2.2
	大塚地区	357	63.0	30.0	9.5	18.8	-	9.0	1.4	12.9	2.5
	本富士地区	355	62.0	25.9	6.8	20.0	1.4	8.5	2.0	13.0	1.4
	駒込地区	346	64.2	35.3	6.9	19.7	0.6	8.7	0.9	12.7	2.0

問20 看病してあげる人

病気の際、看病や世話をしてあげる人では、「配偶者」が63.9%で最も高く、以下、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が46.3%、「同居の子ども」が38.6%、となっています。

(複数回答)



性別で見ると、「配偶者」は、男性で、「別居の子ども」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、「友人」は、女性で高くなっています。

年齢別で見ると、「同居の子ども」や「兄弟姉妹・親戚・親・孫」は、低年齢層ほど高いのに対して、「別居の子ども」は、高年齢層ほど高くなっています。

圏域別では、特に目立った違いはありません。

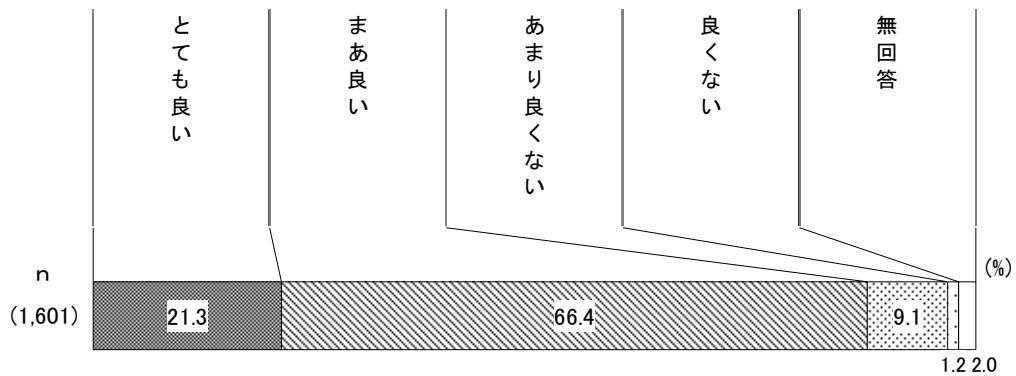
【看病してあげる人／性別、年齢別、圏域別】

		n	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		1,601	63.9	38.6	12.6	46.3	2.2	10.7	1.9	7.6	2.2
性別	男性	658	70.8	37.8	6.8	33.4	1.4	5.9	1.1	10.2	3.0
	女性	943	59.1	39.1	16.6	55.4	2.8	14.0	2.4	5.8	1.7
年齢別	50～54歳	565	66.9	50.3	4.8	52.4	1.9	10.4	2.5	5.7	2.1
	55～59歳	530	65.3	38.9	14.5	45.7	1.5	11.7	2.1	7.9	1.9
	60～64歳	485	60.2	25.4	19.8	41.0	3.1	10.1	1.0	9.3	1.6
圏域別	本富士地区	543	65.4	38.3	11.6	45.1	3.5	9.8	1.7	5.3	2.6
	駒込地区	357	61.9	41.5	13.4	46.5	0.6	9.5	1.7	9.8	2.5
	本富士地区	355	62.5	33.8	12.4	49.3	2.0	11.8	1.7	7.0	2.0
	駒込地区	346	65.0	41.0	13.6	45.1	2.0	12.1	2.6	9.5	1.7

7. 健康・介護予防

問21 現在の健康状態

現在の健康状態では、「まあ良い」が66.4%で最も高く、以下、「とても良い」が21.3%、「あまり良くない」が9.1%となっています。



性別では、特に目立った違いはありません。

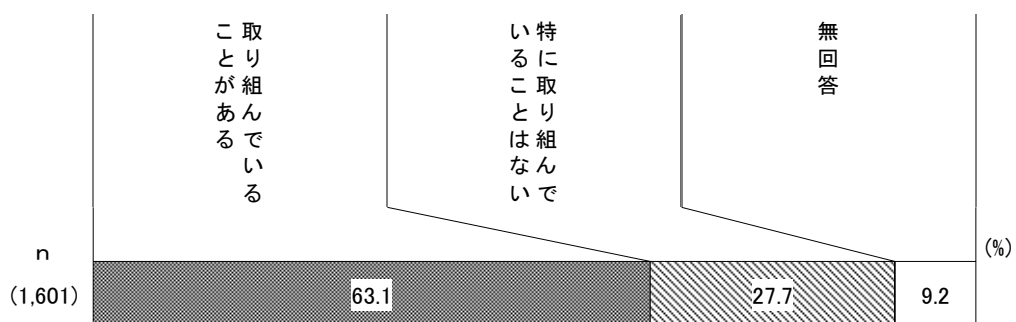
年齢別でみると、「とても良い」は、低年齢層ほど高くなっています。

【現在の健康状態／性別、年齢別】

		n	とても良い (%)	まあ良い (%)	あまり良くない (%)	良くない (%)	無回答 (%)
全体		1,601	21.3	66.4	9.1	1.2	2.0
性別	男性	658	21.7	64.6	9.3	1.8	2.6
	女性	943	21.0	67.7	9.0	0.7	1.6
年齢別	50～54歳	565	25.1	64.8	7.6	0.4	2.1
	55～59歳	530	19.8	67.5	9.8	1.5	1.3
	60～64歳	485	18.6	68.2	9.9	1.9	1.4

問22 介護予防の取組状況

健康の維持・増進のための取り組みの有無では、「取り組んでいることがある」が63.1%、「特に取り組んでいることはない」が27.7%となっています。



性別及び年齢別では、特に目立った違いはありません。

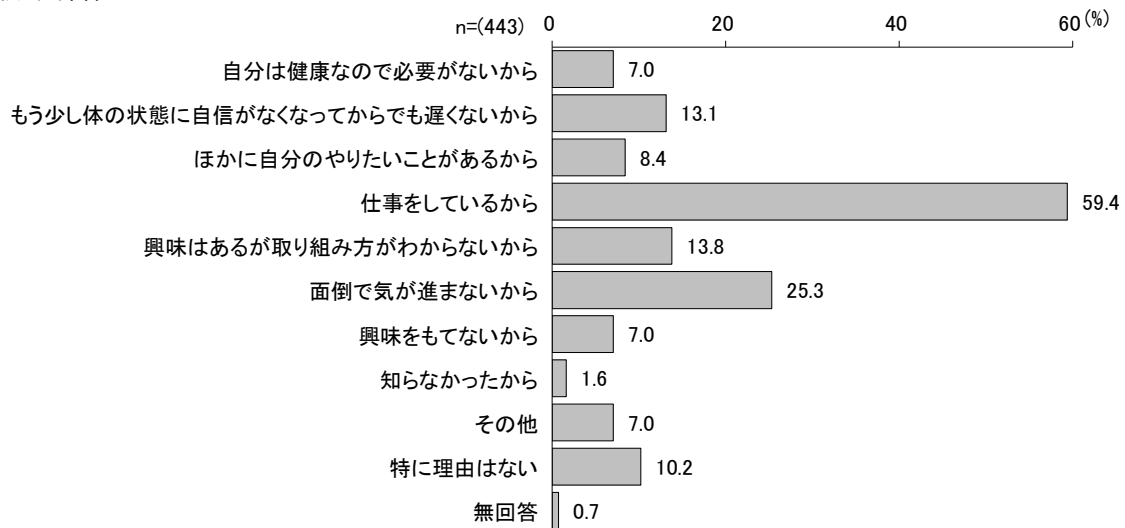
【介護予防の取組状況／性別、年齢別】

			(%)		
		n	取り組んでいることがある	特に取り組んでいることはない	無回答
全体		1,601	63.1	27.7	9.2
性別	男性	658	62.8	28.9	8.4
	女性	943	63.3	26.8	9.9
年齢別	50～54歳	565	62.5	28.7	8.8
	55～59歳	530	65.5	27.2	7.4
	60～64歳	485	62.5	27.2	10.3

問22-1 介護予防に取り組んでいない理由

取り組んでいない主な理由では、「仕事をしているから」が59.4%で最も高く、以下、「面倒で気が進まないから」が25.3%、「興味はあるが取り組み方がわからないから」が13.8%、「もう少し体の状態に自信がなくなってからでも遅くないから」が13.1%となっています。

(複数回答)



性別で見ると、男性は、「もう少し体の状態に自信がなくなってからでも遅くないから」、「仕事をしているから」、「面倒で気が進まないから」で高くなっています。

年齢別で見ると、「仕事をしているから」で、55～59歳の層が54.9%とやや低くなっています。

健康感別で見ると、「自分は健康なので必要がないから」、「もう少し体の状態に自信がなくなってからでも遅くないから」、「ほかに自分のやりたいことがあるから」、「仕事をしているから」は、健康状態が良い層ほど、一方、「興味はあるが取り組み方がわからないから」は、健康状態が良くない層ほど高くなっています。

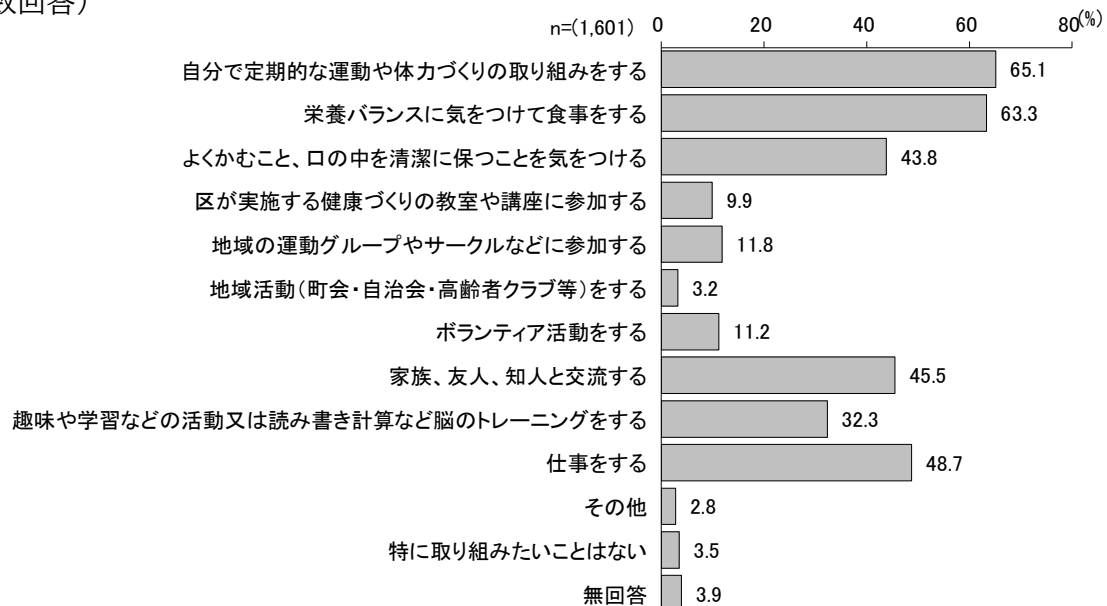
【介護予防に取り組んでいない理由／性別、年齢別、健康感別】

		n	自分は健康なので必要がないから	もう少し体の状態に自信がなくなつてからでも遅くないから	ほかに自分のやりたいことがあるから	仕事をしているから	興味はあるが取り組み方がわからないから	面倒で気が進まないから	興味をもてないから	知らなかったから	その他	特に理由はない	無回答
全体		443	7.0	13.1	8.4	59.4	13.8	25.3	7.0	1.6	7.0	10.2	0.7
性別	男性	190	6.3	17.9	7.9	68.9	11.1	30.0	5.8	1.1	2.6	8.4	1.1
	女性	253	7.5	9.5	8.7	52.2	15.8	21.7	7.9	2.0	10.3	11.5	0.4
年齢別	50～54歳	162	9.3	11.1	5.6	62.3	11.1	27.2	3.1	0.6	4.9	9.9	1.2
	55～59歳	144	5.6	15.3	8.3	54.9	14.6	26.4	7.6	2.1	9.7	10.4	-
	60～64歳	132	6.1	13.6	12.1	61.4	15.9	22.0	10.6	2.3	6.8	9.8	0.8
健康感別	とても良い	59	18.6	22.0	13.6	64.4	6.8	13.6	-	-	3.4	13.6	-
	まあ良い	330	6.1	12.1	8.2	60.0	14.5	26.1	7.6	1.8	6.4	10.3	0.3
	あまり良くない 良くない	45 7	- -	11.1 -	4.4 -	48.9 57.1	15.6 28.6	35.6 28.6	13.3 -	2.2 -	15.6 -	2.2 14.3	2.2 14.3

問23 介護予防のために今後取り組みたいこと

健康の維持・増進のため、今後取り組んでみたいことでは、「自分で定期的な運動や体力づくりの取り組みをする」が65.1%で最も高く、以下、「栄養バランスに気をつけて食事をする」が63.3%、「仕事をする」が48.7%、「家族、友人、知人と交流する」が45.5%となっています。

(複数回答)



第4章 50歳以上の現役世代調査

性別でみると、女性は、「よくかむこと、口の中を清潔に保つことを気をつける」、「区が実施する健康づくりの教室や講座に参加する」、「家族、友人、知人と交流する」、「趣味や学習などの活動又は読み書き計算など脳のトレーニングをする」において、男性を上回っています。

年齢別でみると、「栄養バランスに気をつけて食事をする」や「趣味や学習などの活動又は読み書き計算など脳のトレーニングをする」は、高齢年齢層ほど高い傾向にあります。

健康感別でみると、「栄養バランスに気をつけて食事をする」や「家族、友人、知人と交流する」は、健康感が良いほど高くなっています。

【介護予防のために今後取り組みたいこと／性別、年齢別、健康感別】

		n	自分で定期的な運動や体力づくりの取り組みをする	栄養バランスに気をつけて食事をする	よくかむこと、口の中を清潔に保つことを気をつける	区が実施する健康づくりの教室や講座に参加する	地域の運動グループやサークルなどに参加する	地域活動(町会・自治会・高齢者クラブ等)をする	ボランティア活動をする	家族、友人、知人と交流する	趣味や学習などの活動又は読み書き計算など脳のトレーニングをする	仕事を
全体		1,601	65.1	63.3	43.8	9.9	11.8	3.2	11.2	45.5	32.3	48.7
性別	男性	658	67.2	60.3	38.3	5.0	10.8	3.5	9.4	37.7	26.6	50.5
	女性	943	63.7	65.4	47.7	13.4	12.5	3.1	12.5	50.9	36.3	47.4
年齢別	50～54歳	565	67.3	60.7	41.4	9.7	13.8	2.5	12.7	43.5	29.2	47.6
	55～59歳	530	65.8	63.0	42.5	10.6	10.9	3.2	11.7	46.4	32.6	49.1
	60～64歳	485	63.3	67.8	49.1	9.5	10.5	4.3	9.3	47.4	35.9	50.5
健康感別	とても良い	341	68.6	68.9	47.8	8.8	12.6	2.6	14.1	53.1	36.7	56.0
	まあ良い	1,063	66.8	63.7	43.7	10.4	12.0	3.5	11.4	45.2	32.0	49.0
	あまり良くない	146	58.9	60.3	42.5	11.0	11.6	3.4	5.5	41.1	32.9	38.4
	良くない	19	63.2	57.9	52.6	10.5	5.3	5.3	15.8	21.1	21.1	52.6

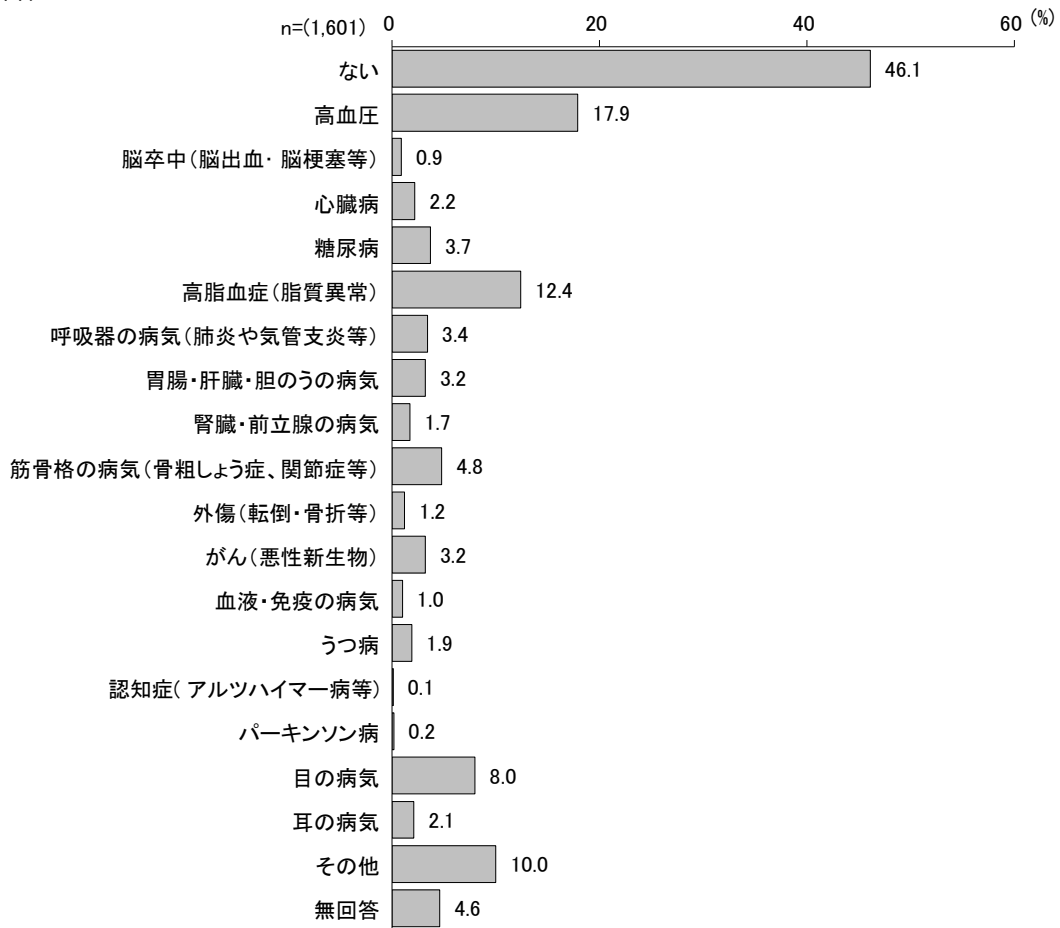
		その他	特に取り組みたいことはない	無回答
全体		2.8	3.5	3.9
性別	男性	2.1	4.6	5.0
	女性	3.3	2.8	3.1
年齢別	50～54歳	3.2	4.1	3.7
	55～59歳	2.8	3.4	3.2
	60～64歳	2.5	3.1	3.3
健康感別	とても良い	3.5	4.4	2.1
	まあ良い	2.4	3.0	2.0
	あまり良くない	4.1	5.5	3.4
	良くない	5.3	-	5.3

8. 医療

問24 病気の状況

現在治療中、または後遺症のある病気の有無では、「ない」が46.1%で最も高く、以下、「高血圧」が17.9%、「高脂血症（脂質異常）」が12.4%となっています。

(複数回答)



第4章 50歳以上の現役世代調査

性別で見ると、男性は、女性よりも、「高血圧」、「糖尿病」、「高脂血症（脂質異常）」で高くなっています。

年齢別で見ると、「高血圧」や「高脂血症（脂質異常）」は、高年齢層ほど高くなっています。

健康感別で見ると、「ない」は、健康感が良いほど高くなっています。また、「まあよい」層でも、「高血圧」や「高脂血症（脂質異常）」は、それぞれ18.7%、13.5%と比較的高くなっています。

【病気の状況／性別、年齢別、健康感別】

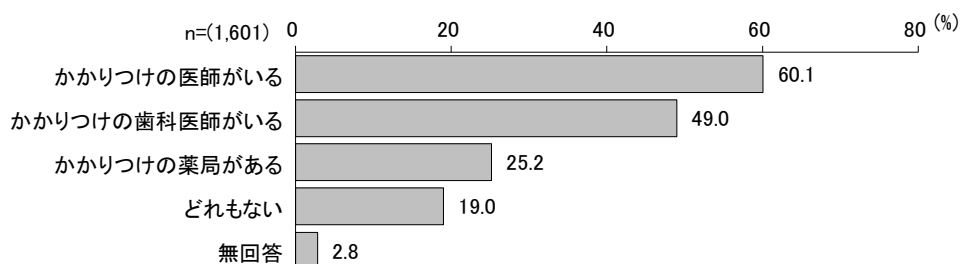
		n	ない	高血圧	脳卒中 (脳出血・ 脳梗塞 等)	心臓病	糖尿病	高脂血 症(脂質 異常)	呼吸器の 病気(肺 炎や気管 支炎等)	胃腸・肝 臓・胆の うの病気	腎臓・前 立腺の病 気	筋骨格の 病気(骨 粗しょう 症、関節 症等)	(%)
全体		1,601	46.1	17.9	0.9	2.2	3.7	12.4	3.4	3.2	1.7	4.8	
性別	男性	658	41.0	25.7	1.8	3.6	6.5	15.8	3.8	3.3	3.5	3.2	
	女性	943	49.6	12.5	0.3	1.3	1.7	10.1	3.1	3.1	0.4	5.9	
年齢別	50～54歳	565	57.2	10.4	0.9	1.2	1.9	7.1	3.0	2.5	0.4	1.9	
	55～59歳	530	44.3	18.1	0.9	2.6	4.5	13.2	3.8	3.2	1.1	5.1	
	60～64歳	485	35.9	26.6	1.0	3.1	4.9	18.1	3.5	3.7	3.9	7.4	
健康 感別	とても良い	341	67.7	12.0	0.3	0.3	1.2	8.8	1.5	0.9	0.6	0.9	
	まあ良い	1,063	45.9	18.7	0.5	2.2	3.3	13.5	3.3	3.5	1.5	5.8	
	あまり良くない	146	12.3	28.1	4.8	6.2	12.3	16.4	9.6	7.5	4.1	7.5	
	良くない	19	-	26.3	10.5	10.5	10.5	10.5	-	-	15.8	5.3	

		外傷 (転倒・ 骨折 等)	がん(悪 性新生 物)	血液・免 疫の病 気	うつ病	認知症(アルツ ハイマ ー病 等)	パーキン ソン病	目の病 気	耳の病 気	その他	無回答
全体		1.2	3.2	1.0	1.9	0.1	0.2	8.0	2.1	10.0	4.6
性別	男性	0.5	2.4	0.8	2.3	-	0.6	7.0	1.5	7.9	4.9
	女性	1.8	3.7	1.2	1.6	0.1	-	8.7	2.5	11.5	4.3
年齢別	50～54歳	1.1	2.1	1.4	1.8	0.2	-	4.1	1.4	10.3	5.0
	55～59歳	1.1	3.4	0.8	2.8	-	0.2	9.1	2.5	9.2	4.0
	60～64歳	1.6	4.3	0.8	1.0	-	0.6	11.3	2.7	10.5	3.7
健康 感別	とても良い	-	0.6	0.3	0.3	-	-	5.3	1.2	4.7	3.2
	まあ良い	1.6	2.4	0.8	0.8	-	0.1	7.7	2.4	10.3	2.7
	あまり良くない	1.4	11.6	3.4	13.0	0.7	1.4	16.4	2.7	22.6	1.4
	良くない	5.3	36.8	5.3	5.3	-	5.3	21.1	-	5.3	10.5

問25 かかりつけ医・歯科医・薬局の有無

かかりつけ医・歯科医・薬局の有無では、「かかりつけの医師がいる」が60.1%で最も高く、以下、「かかりつけの歯科医師がいる」が49.0%、「かかりつけの薬局がある」が25.2%、「どれも無い」が19.0%となっています。

(複数回答)



性別で見ると、女性は、「かかりつけの歯科医師がいる」と「かかりつけの薬局がある」で、男性よりも高くなっています。

年齢別で見ると、「かかりつけの薬局がある」は、年齢による違いが比較的小さくなっています。

健康感別で見ると、「かかりつけの歯科医師がいる」は、医師や薬局とは逆に、健康感が良いほど高くなっています。

【かかりつけ医・歯科医・薬局の有無／性別、年齢別、健康感別】

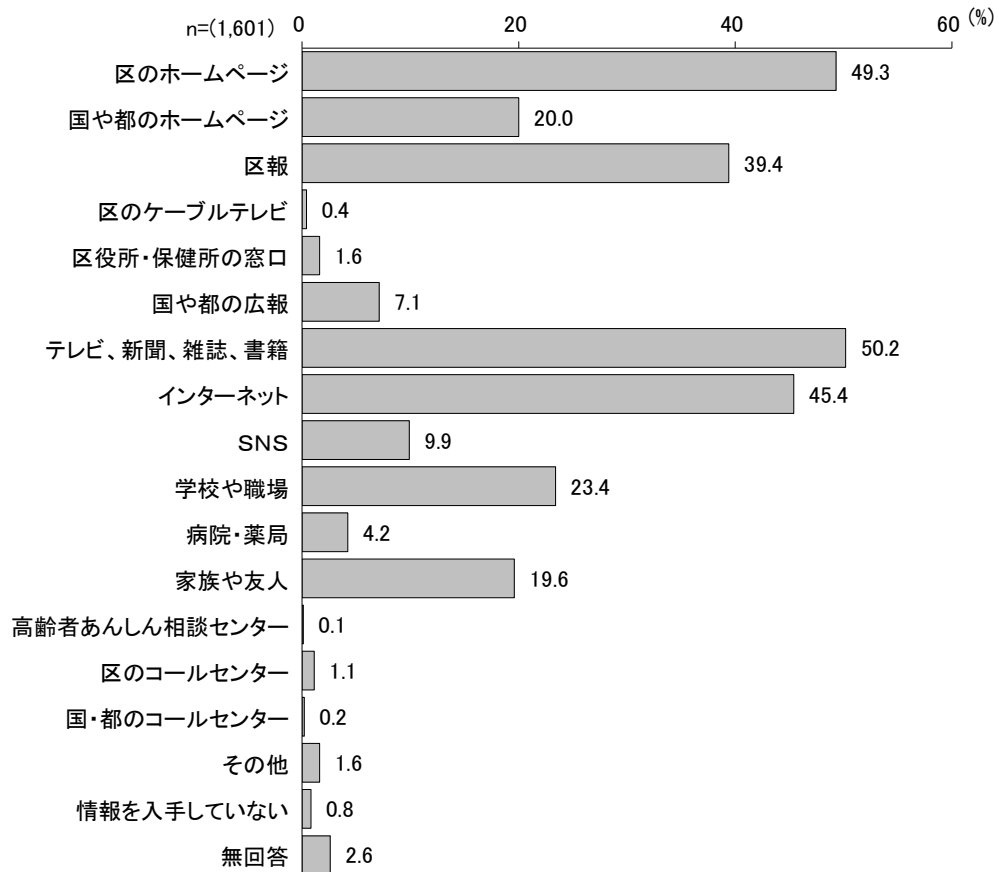
(%)

		n	かかりつ けの医師 がいる	かかりつ けの歯科 医師がい る	かかりつ けの薬局 がある	どれもな い	無回答
全 体		1,601	60.1	49.0	25.2	19.0	2.8
性別	男性	658	60.0	38.6	19.1	21.7	3.3
	女性	943	60.1	56.2	29.4	17.1	2.4
年齢別	50～54歳	565	52.4	45.3	22.5	23.5	3.0
	55～59歳	530	61.5	47.4	26.6	20.0	2.6
	60～64歳	485	67.8	56.3	27.2	12.8	1.9
健康 感別	とても良い	341	58.1	50.4	20.2	22.6	0.9
	まあ良い	1,063	59.3	49.6	25.2	18.9	1.8
	あまり良くない	146	77.4	49.3	37.7	13.0	2.1
	良くない	19	73.7	42.1	36.8	15.8	5.3

問26 新型コロナウイルスワクチン接種情報の取得手段

新型コロナウイルス感染症、ワクチン接種の情報の入手方法では、「テレビ、新聞、雑誌、書籍」が50.2%で最も高く、以下、「区のホームページ」が49.3%、「インターネット」が45.4%、「区報」が39.4%となっています。

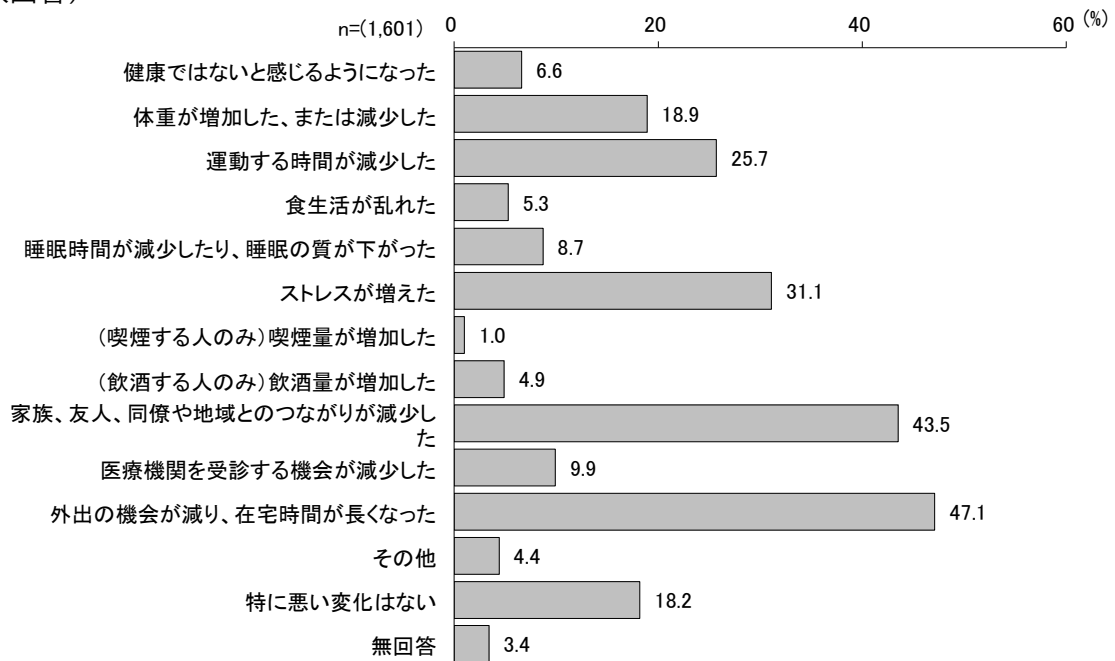
(複数回答)



問27 新型コロナウイルス感染症による生活の変化

新型コロナウイルス感染症により、あなたの健康や生活に悪い変化はあったかでは、「外出の機会が減り、在宅時間が長くなった」が47.1%で最も高く、以下、「家族、友人、同僚や地域とのつながりが減少した」が43.5%、「ストレスが増えた」が31.1%、「運動する時間が減少した」が25.7%となっています。

(複数回答)



性別で見ると、男女とも「外出の機会が減り、在宅時間が長くなった」が最も高くなっています。女性は、「(喫煙する人のみ) 喫煙量が増加した」と「(飲酒する人のみ) 飲酒量が増加した」以外は男性よりも、特に、「家族、友人、同僚や地域とのつながりが減少した」と「外出の機会が減り、在宅時間が長くなった」では10ポイント以上高くなっています。

【新型コロナウイルス感染症による生活の変化／性別】

		n	健康ではないと感じるようになった	体重が増加した、または減少した	運動する時間が減少した	食生活が乱れた	睡眠時間が減少したり、睡眠の質が下がった	ストレスが増えた	(喫煙する人のみ) 喫煙量が増加した	(飲酒する人のみ) 飲酒量が増加した	家族、友人、同僚や地域とのつながりが減少した	医療機関を受診する機会が減少した
全体		1,601	6.6	18.9	25.7	5.3	8.7	31.1	1.0	4.9	43.5	9.9
性別	男性	658	6.1	15.8	24.2	4.6	6.4	25.7	1.2	6.8	34.5	4.9
	女性	943	7.0	21.0	26.7	5.8	1.04	34.9	0.8	3.6	49.8	13.5

		外出の機会が減り、在宅時間が長くなった	その他	特に悪い変化はない	無回答
全体		47.1	4.4	18.2	3.4
性別	男性	41.2	2.6	22.9	4.7
	女性	51.2	5.6	15.0	2.5

問28 新型コロナウイルス感染症下で健康・生活維持のために工夫したこと（記述）

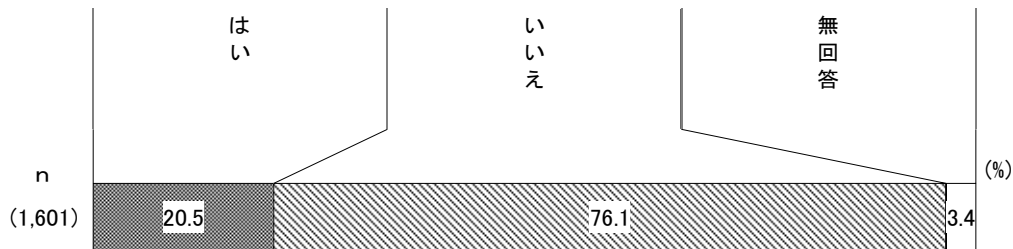
364人の回答者から、延べ722件の回答がありました。

項目	件数
体力保持、ウォーキング	130
手洗い	82
マスク	73
食生活、健康食品、サプリメント等	54
うがい	53
消毒	40
ソーシャルディスタンス、三密回避	35
規則正しい生活、睡眠	35
気分転換、リラックス、趣味	34
外出制限	30
会合、会話制限	21
外食制限	19
ワクチン接種	13
片付け、整理整頓、生活の見直し	12
交通機関使用制限	11
テレワーク実施、在宅勤務	10
空気清浄、着替え洗濯、入浴	9
スマホ等でのコミュニケーション	6
通販、宅配利用	6
家族で過ごす	6
情報収集	5
換気	4
（漠然と）注意、予防、清潔	4
PCR検査、検温、体重測定	3
主治医を持つ、医療相談	3
手すりや顔に触れない	3
特に何もしない、できない	2
引っ越し、転職	2
自宅にパーティション、別々に食事	2
禁煙	1
その他	14

9. 認知症

問29 認知症症状がある人の有無

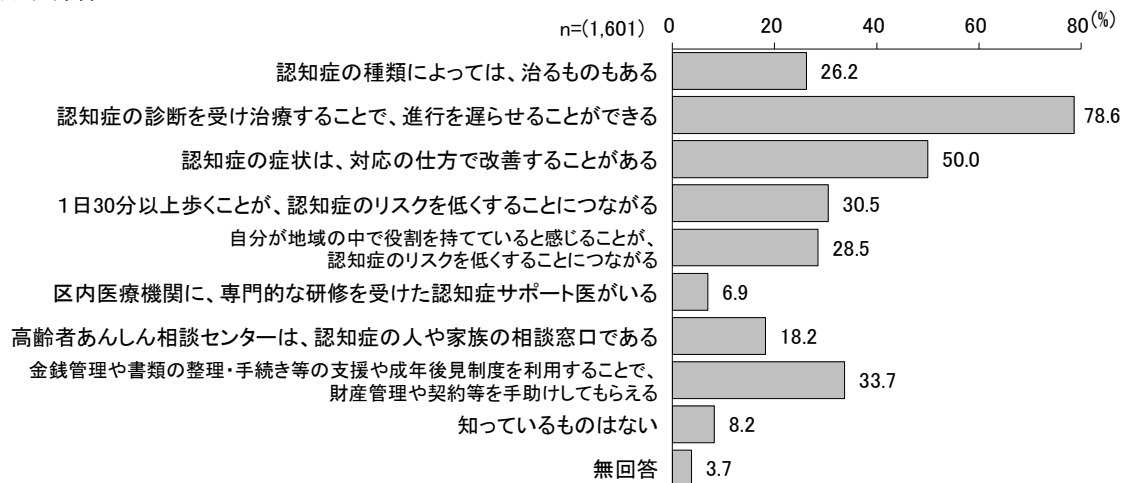
認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいるかでは、「いいえ」が76.1%、「はい」が20.5%となっています。



問30 認知症に対して認識している内容

認知症について知っていることでは、「認知症の診断を受け治療することで、進行を遅らせることができる」が78.6%で最も高く、以下、「認知症の症状は、対応の仕方でも改善することができる」が50.0%、「金銭管理や書類の整理・手続き等の支援や成年後見制度を利用することで、財産管理や契約等を手助けしてもらえる」が33.7%、「1日30分以上歩くことが、認知症のリスクを低くすることにつながる」が30.5%となっています。

(複数回答)



第4章 50歳以上の現役世代調査

性別でみると、男女とも「認知症の診断を受け治療することで、進行を遅らせることができる」が最も高く、男性は、「認知症の種類によっては、治るものもある」と「知っているものはない」が、それ以外では女性の方が高く、特に、「認知症の診断を受け治療することで、進行を遅らせることができる」、「高齢者あんしん相談センターは、認知症の人や家族の相談窓口である」、「金銭管理や書類の整理・手続き等の支援や成年後見制度を利用することで、財産管理や契約等を手助けしてもらえる」では、男性よりも10ポイント以上高くなっています。

年齢別でみると、50～54歳の層は、「認知症の診断を受け治療することで、進行を遅らせることができる」、「認知症の症状は、対応の仕方で改善することがある」、「金銭管理や書類の整理・手続き等の支援や成年後見制度を利用することで、財産管理や契約等を手助けしてもらえる」でやや低く、「知っているものはない」が高くなっています。

圏域別では、特に目立った違いはありません。

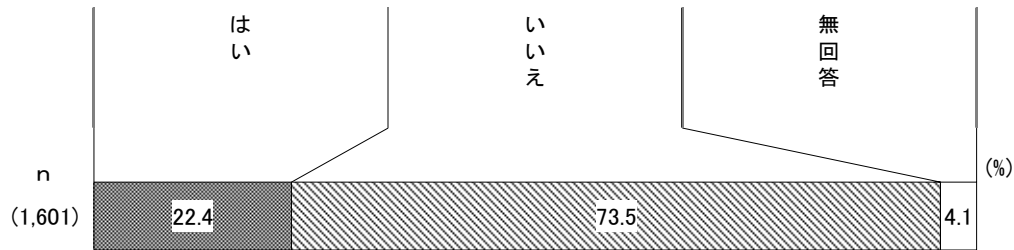
介護経験の有無別でみると、「介護をしたことがない」層は、「認知症の症状は、対応の仕方で改善することがある」、「高齢者あんしん相談センターは、認知症の人や家族の相談窓口である」、「金銭管理や書類の整理・手続き等の支援や成年後見制度を利用することで、財産管理や契約等を手助けしてもらえる」が低くなっています。

【認知症に対して認識している内容／性別、年齢別、圏域別、介護経験の有無別】

		n	認知症の種類によって、治るものもある	認知症の診断を受け治療することで、進行を遅らせることができる	認知症の症状は、対応の仕方で改善することがある	1日30分以上歩くことが、認知症のリスクを低くすることにつながる	自分が地域の中で役割を持っていると感じることが、認知症のリスクを低くすることにつながる	区内医療機関に、専門的な研修を受けたサポート医がいる	高齢者あんしん相談センターは、認知症の人や家族の相談窓口である	金銭管理や書類の整理・手続き等の支援や成年後見制度を利用することで、財産管理や契約等を手助けしてもらえる	知っているものはない	(%) 無回答
全体		1,601	26.2	78.6	50.0	30.5	28.5	6.9	18.2	33.7	8.2	3.7
性別	男性	658	29.0	72.3	47.0	28.9	24.9	6.1	12.3	27.4	11.4	4.4
	女性	943	24.3	82.9	52.2	31.7	31.0	7.5	22.4	38.2	5.9	3.2
年齢別	50～54歳	565	24.6	74.0	43.0	28.5	29.9	7.6	16.3	28.3	11.9	3.7
	55～59歳	530	27.2	83.2	54.9	34.0	30.4	7.4	20.8	37.5	5.8	3.6
	60～64歳	485	27.0	80.2	53.6	29.7	24.7	5.8	18.1	36.5	6.0	3.1
圏域別	富坂地区	543	23.2	77.3	50.1	31.3	25.6	4.6	17.5	31.1	8.8	4.1
	大塚地区	357	24.1	80.1	51.0	29.1	27.2	6.7	17.1	35.3	8.1	3.6
	本富士地区	355	30.4	76.9	50.1	30.1	30.4	9.9	16.6	36.9	8.2	3.9
	駒込地区	346	28.9	80.6	48.8	31.2	32.4	7.8	22.3	32.9	7.2	2.9
介護経験の有無別	現在、介護をしている	207	27.5	82.6	58.5	31.9	28.5	10.6	32.4	40.6	5.3	3.4
	過去に介護をしたことがあるが、今はしていない	399	25.6	83.2	57.4	31.3	29.6	9.5	22.6	39.8	5.3	3.5
	介護をしたことがない	942	26.1	76.5	46.2	30.4	28.7	5.1	13.6	30.5	10.4	2.3

問31 認知症相談窓口の認知度

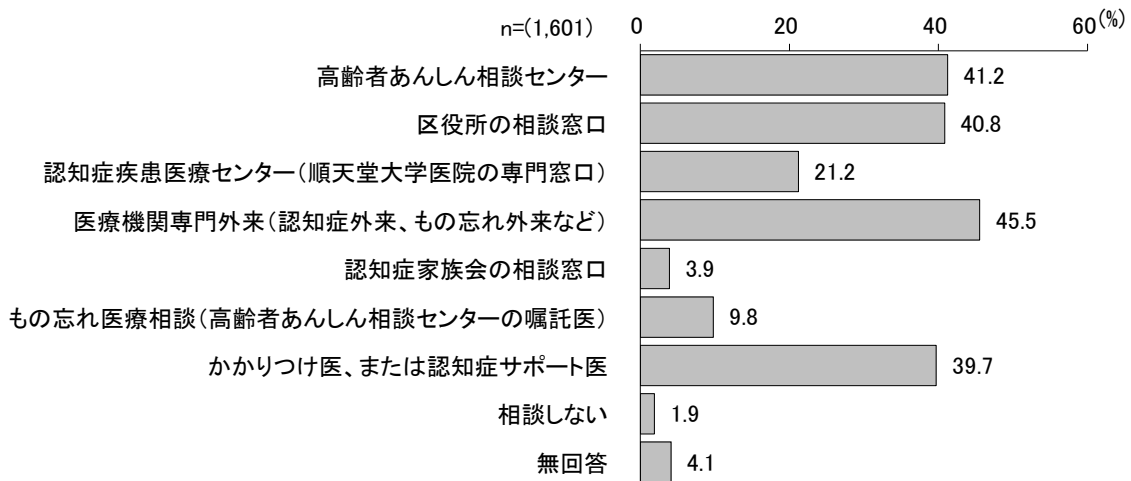
認知症に関する相談窓口を知っているかでは、「いいえ」が73.5%、「はい」が22.4%となっています。



問32 認知症相談窓口の利用意向

認知症に関する相談をする場合、どちらの相談窓口を利用するかでは、「医療機関専門外来（認知症外来、もの忘れ外来など）」が45.5%で最も高く、以下、「高齢者あんしん相談センター」が41.2%、「区役所の相談窓口」が40.8%、「かかりつけ医、または認知症サポート医」が39.7%となっています。

(複数回答)



第4章 50歳以上の現役世代調査

性別でみると、男性は、「区役所の相談窓口」、女性は、「医療機関専門外来（認知症外来、もの忘れ外来など）」が最も高く、「区役所の相談窓口」以外は、男性を上回っています。

年齢別でみると、「区役所の相談窓口」は、低年齢層ほど高くなっています。

圏域別でみると、駒込地区では、「認知症疾患医療センター（順天堂大学医院の専門窓口）」が比較的lowく、「高齢者あんしん相談センター」が高くなっています。

介護経験の有無別でみると、現在、介護をしている層で、「高齢者あんしん相談センター」や「かかりつけ医、または認知症サポート医」が高くなっています。

【認知症相談窓口の利用意向／性別、年齢別、圏域別、介護経験の有無別】

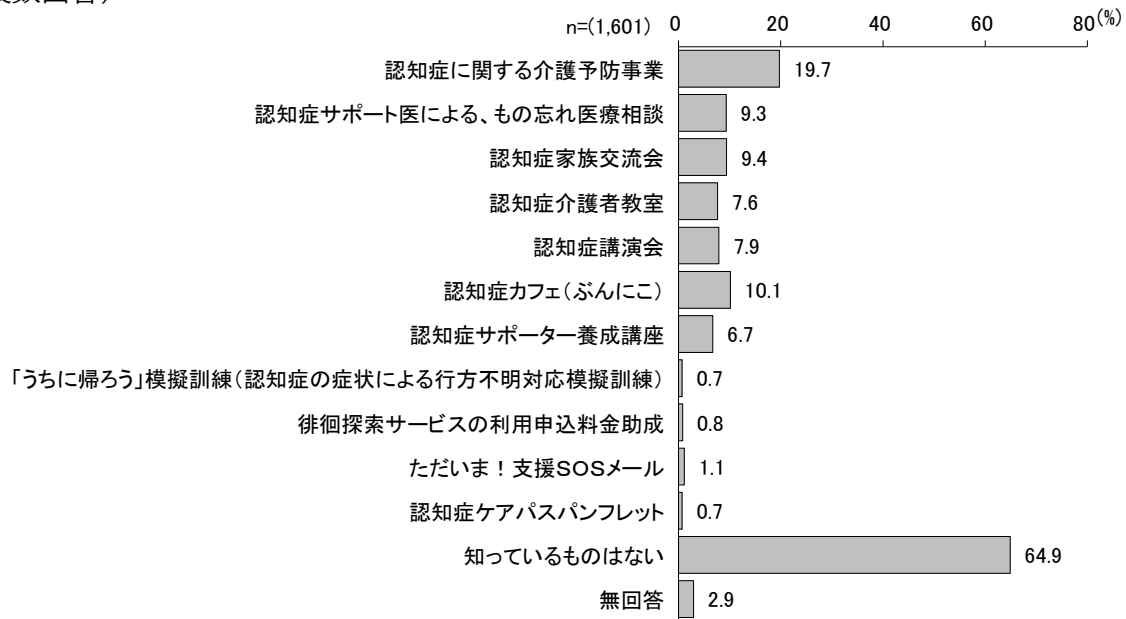
(%)

		n	高齢者あんしん相談センター	区役所の相談窓口	認知症疾患医療センター(順天堂大学医院の専門窓口)	医療機関専門外来(認知症外来、もの忘れ外来など)	認知症家族会の相談窓口	もの忘れ医療相談(高齢者あんしん相談センターの囑託医)	かかりつけ医、または認知症サポート医	相談しない	無回答
全体		1,601	41.2	40.8	21.2	45.5	3.9	9.8	39.7	1.9	4.1
性別	男性	658	39.7	42.4	19.0	39.2	2.4	5.8	37.2	2.3	4.9
	女性	943	42.2	39.8	22.8	49.8	4.9	12.6	41.4	1.7	3.5
年齢別	50～54歳	565	41.1	45.5	21.2	45.5	3.7	9.4	36.3	2.1	4.1
	55～59歳	530	41.3	41.3	21.5	42.6	4.9	10.6	40.4	1.7	4.2
	60～64歳	485	41.4	35.5	21.2	49.1	2.5	9.7	43.9	2.1	3.3
圏域別	富坂地区	543	39.2	40.3	21.9	45.9	4.1	9.4	39.2	2.2	3.5
	大塚地区	357	41.2	40.3	21.0	45.7	4.5	11.2	36.7	1.4	3.9
	本富士地区	355	39.4	41.1	25.6	46.5	2.5	8.5	38.9	2.0	4.5
	駒込地区	346	46.0	41.9	15.9	43.6	4.3	10.4	44.2	2.0	4.6
介護経験の有無別	現在、介護をしている	207	52.2	37.2	15.9	40.6	5.3	11.6	48.8	2.4	2.4
	過去に介護をしたことがあるが、今はしていない	399	43.4	38.8	21.3	45.1	3.3	11.3	45.1	1.3	4.0
	介護をしたことがない	942	38.4	43.1	22.5	47.0	3.8	9.0	36.3	2.2	2.9

問33 認知症に関する区の事業の認知度

認知症に関する区の事業の認知度では、「知っているものはない」が64.9%を占めています。一方、具体的な選択肢の中では、「認知症に関する介護予防事業」が19.7%で最も高く、以下、「認知症カフェ（ぶんにご）」が10.1%、「認知症家族交流会」が9.4%、「認知症サポート医による、もの忘れ医療相談」が9.3%となっています。

(複数回答)



第4章 50歳以上の現役世代調査

性別でみると、知っているものの中では、男女とも「認知症に関する介護予防事業」が最も高くなっています。女性は、「ただいま！支援SOSメール」以外は男性よりも高く、特に、「認知症家族交流会」や「認知症カフェ（ぶんここ）」では、男性よりも約9ポイント上回っています。

年齢別及び圏域別でみると、55～59歳は、「認知症サポート医による、もの忘れ医療相談」、「認知症家族交流会」、「認知症介護者教室」でやや高い傾向となっています。

介護経験の有無別でみると、すべての事業で、介護をしたことがない層の認知度は、最も低くなっています。

【認知症に関する区の事業の認知度／性別、年齢別、圏域別、介護経験の有無別】

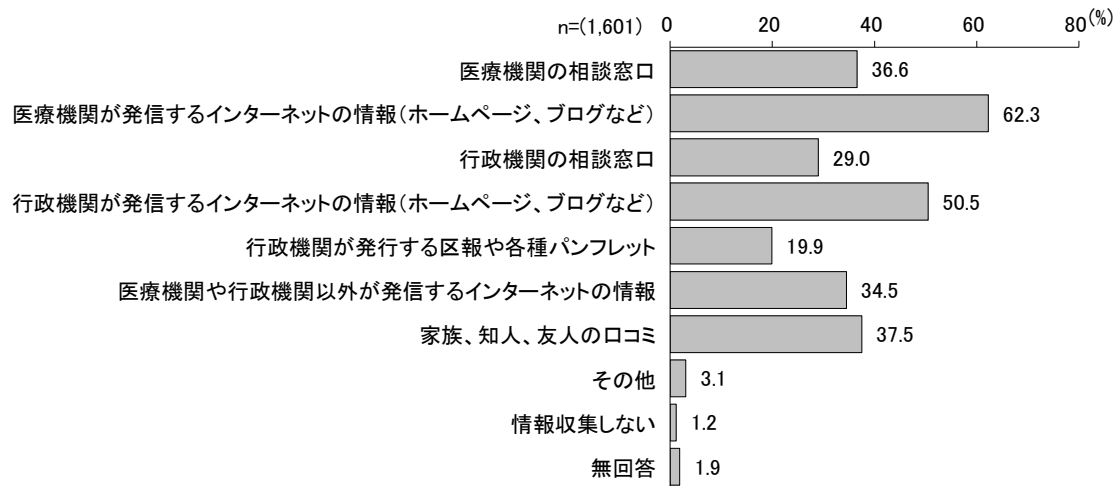
		n	認知症に関する介護予防事業	認知症サポート医による、もの忘れ医療相談	認知症家族交流会	認知症介護者教室	認知症講演会	認知症カフェ（ぶんここ）	認知症サポーター養成講座	「うちに帰ろう」模擬訓練（認知症の症状による行方不明対応模擬訓練）	徘徊探索サービスの利用申込料金助成	ただいま！支援SOSメール
全体		1,601	19.7	9.3	9.4	7.6	7.9	10.1	6.7	0.7	0.8	1.1
性別	男性	658	18.5	7.4	4.1	4.3	5.6	4.9	3.5	0.6	0.3	1.1
	女性	943	20.5	10.6	13.1	10.0	9.5	13.8	9.0	0.7	1.2	1.1
年齢別	50～54歳	565	18.6	8.3	6.9	5.3	6.7	10.3	6.9	0.5	0.7	1.6
	55～59歳	530	20.8	11.3	12.6	10.2	8.9	10.4	7.0	0.6	0.9	0.6
	60～64歳	485	20.4	8.2	9.1	7.8	8.5	9.7	6.4	0.8	0.6	0.8
圏域別	富坂地区	543	19.5	7.9	9.9	7.9	7.0	9.9	6.3	0.7	0.7	1.3
	大塚地区	357	20.2	10.9	7.6	6.2	7.3	9.2	5.3	0.8	0.8	1.1
	本富士地区	355	17.5	7.9	9.6	6.8	7.6	10.4	7.6	0.3	0.6	0.6
	駒込地区	346	21.7	11.3	10.4	9.5	10.4	11.0	8.1	0.9	1.2	1.2
介護経験の有無別	現在、介護をしている	207	28.0	12.6	18.8	13.0	15.9	15.5	11.1	1.0	1.0	2.4
	過去に介護をしたことがあるが、今はしていない	399	24.1	12.8	15.3	12.0	11.3	15.0	10.5	0.8	1.0	1.5
	介護をしたことがない	942	16.2	7.0	4.9	4.8	4.9	6.8	4.4	0.6	0.6	0.6

		認知症ケアパスパンフレット	知っているものはない	無回答
全体		0.7	64.9	2.9
性別	男性	0.5	72.0	3.2
	女性	0.8	59.9	2.8
年齢別	50～54歳	0.7	67.3	3.4
	55～59歳	0.9	62.8	2.8
	60～64歳	0.4	64.7	1.6
圏域別	富坂地区	0.7	64.8	3.7
	大塚地区	0.3	66.1	3.1
	本富士地区	0.8	68.2	2.0
	駒込地区	0.9	60.4	2.6
介護経験の有無別	現在、介護をしている	1.9	52.7	1.4
	過去に介護をしたことがあるが、今はしていない	0.8	54.4	2.5
	介護をしたことがない	0.4	73.1	2.0

問34 認知症に関する情報取得方法

認知症についての情報収集の方法では、「医療機関が発信するインターネットの情報（ホームページ、ブログなど）」が62.3%で最も高く、以下、「行政機関が発信するインターネットの情報（ホームページ、ブログなど）」が50.5%、「家族、知人、友人の口コミ」が37.5%、「医療機関の相談窓口」が36.6%となっています。

（複数回答）



第4章 50歳以上の現役世代調査

性別で見ると、男女とも「医療機関が発信するインターネットの情報（ホームページ、ブログなど）」が最も高く、女性は、「家族、知人、友人の口コミ」が、男性よりも10ポイント近く上回っています。

年齢別で見ると、「医療機関が発信するインターネットの情報（ホームページ、ブログなど）」、「行政機関が発信するインターネットの情報（ホームページ、ブログなど）」、「医療機関や行政機関以外が発信するインターネットの情報」は、低年齢層ほど高く、一方、「行政機関が発信する区報や各種パンフレット」は、低年齢層ほど低くなっています。

圏域別及び介護経験の有無別では、特に目立った違いはありません。

【認知症に関する情報取得方法／性別、年齢別、圏域別、介護経験の有無別】

		n	医療機関 の相談窓 口	医療機関 が発信す るインター ネットの情 報(ホーム ページ、ブ ログなど)	行政機関 の相談窓 口	行政機関 が発信す るインター ネットの情 報(ホーム ページ、ブ ログなど)	行政機関 が発信す る区報や 各種パン フレット	医療機関 や行政機 関以外が 発信する インター ネットの情 報	家族、知 人、友人 の口コミ	その他	情報収集 しない	無回答
全 体		1,601	36.6	62.3	29.0	50.5	19.9	34.5	37.5	3.1	1.2	1.9
性別	男性	658	37.4	60.8	28.7	50.2	16.6	33.3	31.8	2.9	1.8	2.3
	女性	943	36.1	63.3	29.2	50.7	22.2	35.3	41.5	3.2	0.7	1.6
年齢別	50～54歳	565	36.6	65.8	28.3	54.2	16.1	39.8	40.0	2.7	1.1	2.1
	55～59歳	530	36.4	61.5	29.1	50.4	20.0	32.8	36.2	4.0	1.5	1.7
	60～64歳	485	37.1	59.8	30.1	47.6	24.1	30.9	36.7	2.7	0.6	1.0
圏域別	富坂地区	543	35.7	59.7	29.8	54.0	20.1	35.5	35.5	3.1	0.9	1.8
	大塚地区	357	40.3	63.6	31.7	45.1	17.6	30.3	38.4	2.0	0.6	2.2
	本富士地区	355	36.9	65.4	27.0	50.7	20.8	33.8	34.6	4.2	2.3	1.4
	駒込地区	346	33.8	61.8	26.9	50.3	20.8	37.9	42.5	2.9	1.2	2.0
介護経験 の有無別	現在、介護をしている	207	32.9	61.4	28.5	47.8	24.6	39.1	40.1	5.3	1.0	-
	過去に介護をしたことがあるが、今はしていない	399	38.6	56.4	31.3	45.1	23.3	31.8	39.8	3.8	0.8	1.0
	介護をしたことがない	942	37.0	65.9	28.2	53.8	17.8	35.5	36.7	2.4	1.5	1.3

第5章 在宅介護実態調査（郵送）

第5章 目次

頁

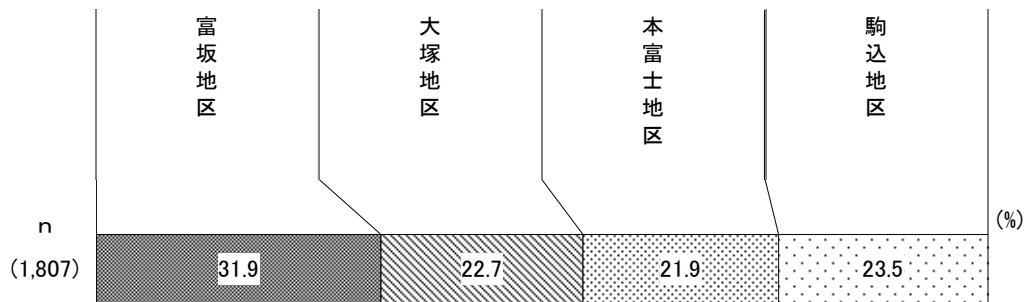
第5章 在宅介護実態調査（郵送）	249
1. 回答者の属性	253
圏域	253
性別	253
2. ご自身、家族や暮らし	254
F 1 調査票記入者	254
F 2 家族構成	255
F 2-1 同居人全員が65歳以上	257
F 3 年齢	258
F 4 要介護度	258
F 5 暮らしの経済的状況	259
3. お住まい	260
問1 住居形態（一戸建てまたは集合住宅）	260
問2 現在の住まいでの在宅生活の継続性	262
問3 住まいについての不便や不安	263
4. 介護等	265
問4 介護が必要になっても、地域で暮らし続けるために必要なこと	265
問5 介護が必要になった場合の暮らし方の希望	267
問5-1 介護が必要になった場合の在宅生活の実現性	268
問5-2 入所したい施設の種類	268
問6 終末期を迎えたい場所	269
問7 今後区に力を入れてほしいこと	271
問8 高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）の認知度	275
問9 施設入所の検討状況	277
問10 介護保険サービスの利用状況	279
問10-1 利用したサービス	280
問10-2 新型コロナウイルス感染症の影響によるサービスの利用状況	288
問10-3 介護保険サービスを利用しない理由	291
問11 認知している介護保険サービス	293
問12 今後利用したい介護保険サービス	295
問13 介護保険サービス以外の利用状況	297
問14 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス	299
5. 介護者	302
問15 介護を受ける頻度	302
問15-1 主な介護者	304
問15-2 主な介護者の性別	305
問15-3 主な介護者の年齢	306

問15-4	主な介護者が行っている介護の種類	307
問15-5	介護による離職経験	309
問15-6	複数介護の状況	311
問15-6-1	複数介護の対象	312
問16	主な介護者の勤務形態	313
問16-1	介護による働き方の調整	315
問16-2	仕事と介護の両立に効果があると思う支援	317
問16-3	主な介護者の仕事と介護の両立の継続可能性	319
問17	主な介護者の外出頻度	321
問17-1	主な介護者の人付き合いの状況	323
問17-2	主な介護者の人付き合いが変化した理由（記述）	325
問18	主な介護者の家族以外との会話の有無	326
問19	主な介護者が不安に感じる介護等	328
問20	主な介護者の介護についての相談先	331
問21	主な介護者の介護が必要だと思う支援	333
6.	健康・介護予防	335
問22	現在の健康状態	335
問23	介護予防の取組状況	336
問23-1	介護予防に取組んでいない理由	338
問24	介護予防のために今後取り組みたいこと	340
問25	病気の状況	342
7.	医療	344
問26	かかりつけ医・歯科医・薬局の有無	344
問27	訪問診療の有無（受診した訪問診療の種類）	346
問28	新型コロナウイルスワクチン接種情報の取得手段	349
問29	新型コロナウイルス感染症による生活の変化	350
問30	新型コロナウイルス感染症下で健康・生活維持のために工夫したこと（記述）	352
問31	在宅医療の認知度（認知方法）	353
8.	認知症	355
問32	認知症症状がある人の有無	355
問33	認知症に対して認識している内容	355
問34	認知症相談窓口の認知度	357
問35	認知症相談窓口の利用意向	357
問36	認知症に関する区の事業の認知度	359
問37	認知症に関する情報取得方法	361
問38	必要と感じる認知症支援	363

1. 回答者の属性

圏域

圏域では、「富坂地区」が31.9%で最も高く、以下、「駒込地区」が23.5%、「大塚地区」が22.7%、「本富士地区」が21.9%となっています。



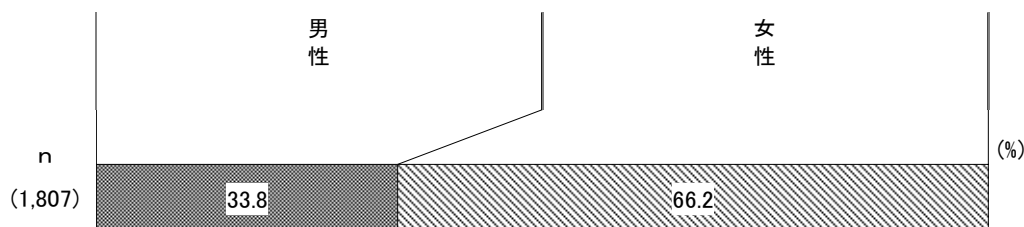
性別でみると、男性は、「大塚地区」で26.0%とやや高くなっています。

【圏域／性別】

		n	(%)			
			富坂地区	大塚地区	本富士地区	駒込地区
全体		1,807	31.9	22.7	21.9	23.5
性別	男性	611	29.8	26.0	19.5	24.7
	女性	1,196	33.0	21.0	23.1	22.9

性別

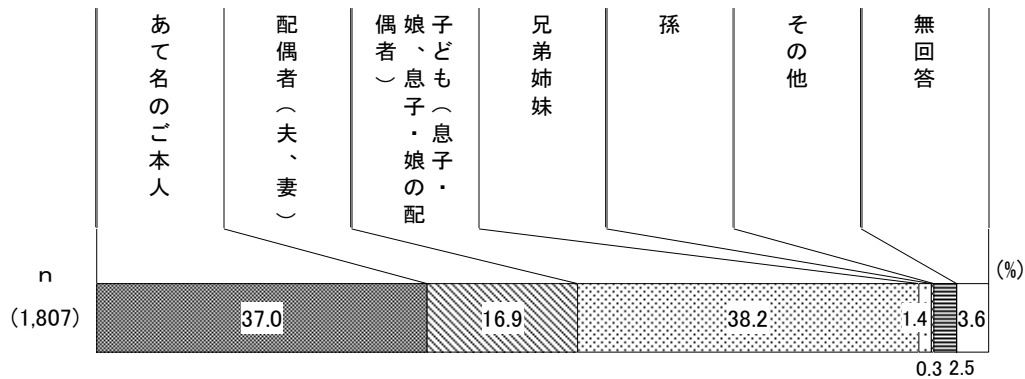
性別では、「女性」が66.2%、「男性」が33.8%となっています。



2. ご自身、家族や暮らし

F1 調査票記入者

調査回答者では、「子ども（息子・娘、息子・娘の配偶者）」が38.2%で最も高く、以下、「あて名のご本人」が37.0%、「配偶者（夫、妻）」が16.9%となっています。



性別で見ると、「配偶者（夫、妻）」は、女性の7.9%に比べて男性が34.5%、女性は、「子ども（息子・娘、息子・娘の配偶者）」が47.7%と高くなっています。

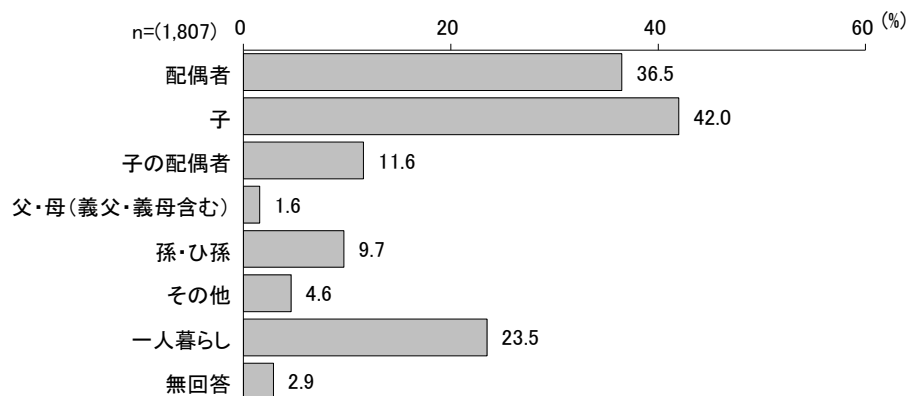
【調査票記入者／性別】

		n	(%)						
		あて名のご本人	配偶者（夫、妻）	子ども（息子・娘、息子・娘の配偶者）	兄弟姉妹	孫	その他	無回答	
全体		1,807	37.0	16.9	38.2	1.4	0.3	2.5	3.6
性別	男性	611	38.6	34.5	19.6	1.8	-	2.1	3.3
	女性	1,196	36.1	7.9	47.7	1.3	0.5	2.7	3.8

F2 家族構成

家族構成では、「子」が42.0%で最も高く、以下、「配偶者」が36.5%、「一人暮らし」が23.5%、「子の配偶者」が11.6%となっています。

（複数回答）



性別で見ると、男性は、「配偶者」、女性は、「子」、「子の配偶者」、「孫・ひ孫」、「一人暮らし」が高くなっています。

年齢別で見ると、「子の配偶者」や「孫・ひ孫」は、高年齢層ほど、「父・母（義父・義母含む）」は、65歳未満の層で25.6%と高くなっています。

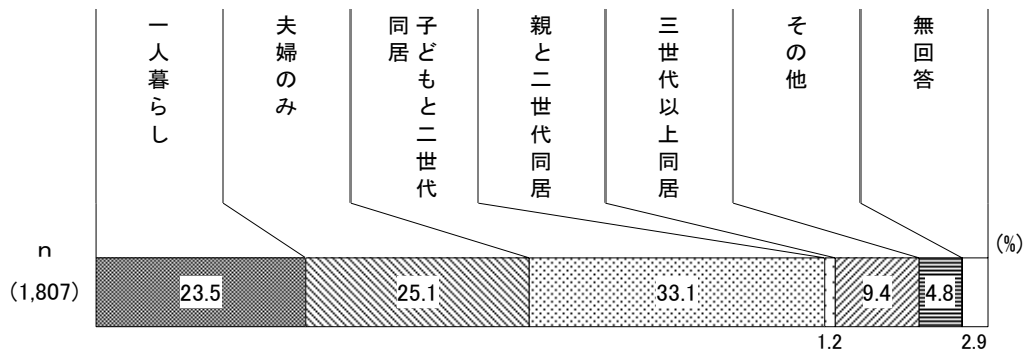
圏域別では、特に目立った違いはありません。

【家族構成／性別、年齢別、圏域別】

		n	配偶者	子	子の配偶者	父・母 (義父・ 義母含 む)	孫・ひ孫	その他	一人暮らし	無回答
全体		1,807	36.5	42.0	11.6	1.6	9.7	4.6	23.5	2.9
性別	男性	611	67.1	29.3	7.2	1.6	6.5	4.6	15.9	2.5
	女性	1,196	20.8	48.5	13.8	1.6	11.3	4.7	27.3	3.2
年齢別	65歳未満	39	46.2	33.3	-	25.6	-	5.1	20.5	5.1
	65～69歳	39	61.5	23.1	-	5.1	2.6	5.1	25.6	2.6
	70～74歳	93	51.6	17.2	6.5	2.2	7.5	10.8	29.0	3.2
	75～79歳	189	56.6	28.0	5.3	1.1	5.8	6.3	23.8	3.2
	80～84歳	357	47.3	40.3	7.8	0.8	9.2	4.8	17.6	3.4
	85～89歳	470	36.4	44.3	12.8	0.6	10.0	3.4	22.3	3.2
	90歳以上	542	17.2	53.3	18.1	1.3	12.4	4.2	26.9	1.5
圏域別	富坂地区	577	36.6	42.6	10.6	1.4	10.2	5.0	24.3	3.3
	大塚地区	410	39.8	43.2	11.2	2.0	8.8	4.6	20.5	2.7
	本富士地区	395	33.2	41.8	12.4	1.3	9.1	5.3	25.6	3.0
	駒込地区	425	36.2	40.2	12.5	1.9	10.4	3.5	23.3	2.6

第5章 在宅介護実態調査（郵送）

世帯状況でみると、「子どもと二世帯同居」が33.1%で最も高く、以下、「夫婦のみ」が25.1%、「一人暮らし」が23.5%となっています。



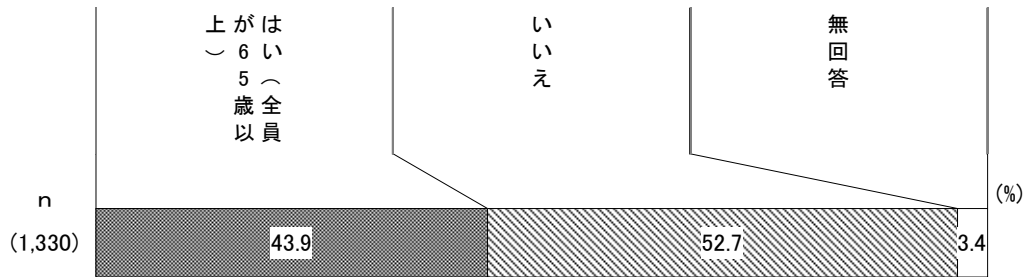
性別でみると、男性は、「夫婦のみ」、女性は、「子どもと二世帯同居」、「一人暮らし」が高くなっています。
 年齢別でみると、「夫婦のみ」は65歳から84歳の層で、「子どもと二世帯同居」は、90歳以上で43.4%と特に高くなっています。
 圏域別では、特に目立った違いはありません。

【世帯状況／性別、年齢別、圏域別】

		n	一人暮らし	夫婦のみ	子どもと二世帯同居	親と二世帯同居	三世帯以上同居	その他	無回答
全体		1,807	23.5	25.1	33.1	1.2	9.4	4.8	2.9
性別	男性	611	15.9	46.3	22.9	1.5	6.9	4.1	2.5
	女性	1,196	27.3	14.3	38.4	1.1	10.6	5.1	3.2
年齢別	65歳未満	39	20.5	17.9	25.6	17.9	7.7	5.1	5.1
	65～69歳	39	25.6	38.5	20.5	5.1	2.6	5.1	2.6
	70～74歳	93	29.0	38.7	9.7	2.2	6.5	10.8	3.2
	75～79歳	189	23.8	38.1	22.2	0.5	5.8	6.3	3.2
	80～84歳	357	17.6	32.8	31.7	0.6	9.5	4.5	3.4
	85～89歳	470	22.3	26.2	34.5	0.6	10.0	3.2	3.2
	90歳以上	542	26.9	11.6	43.4	0.9	10.9	4.8	1.5
圏域別	富坂地区	577	24.3	23.1	33.4	0.9	9.7	5.4	3.3
	大塚地区	410	20.5	27.6	34.6	1.2	8.8	4.6	2.7
	本富士地区	395	25.6	22.5	33.7	1.0	8.9	5.3	3.0
	駒込地区	425	23.3	28.0	30.8	1.9	9.9	3.5	2.6

F2-1 同居人全員が65歳以上

同居人全員が65歳以上では、「いいえ」が52.7%、「はい（全員が65歳以上）」が43.9%となっています。



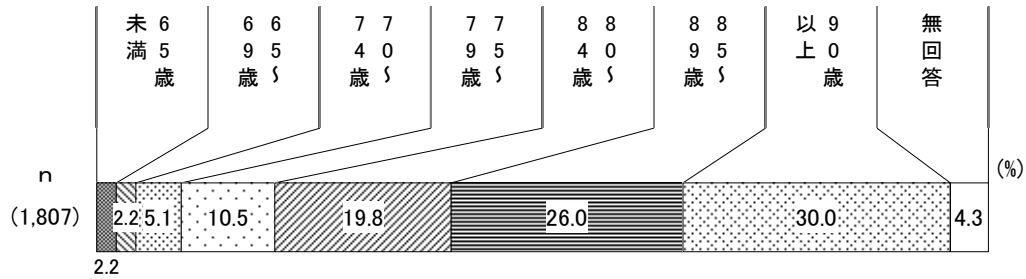
性別で見ると、男性は、「はい（全員が65歳以上）」が、女性は、「いいえ」が高くなっています。
 年齢別で見ると、「はい（全員が65歳以上）」は、70～74歳の層で68.3%、「いいえ」は、65歳未満の層で75.9%と高くなっています。
 圏域別では、特に目立った違いはありません。

【同居人全員が65歳以上／性別、年齢別、圏域別】

		n	はい(全員が65歳以上)	いいえ	無回答
全体		1,330	43.9	52.7	3.4
性別	男性	499	57.3	39.3	3.4
	女性	831	35.9	60.8	3.4
年齢別	65歳未満	29	20.7	75.9	3.4
	65～69歳	28	46.4	53.6	-
	70～74歳	63	68.3	31.7	-
	75～79歳	138	52.9	42.8	4.3
	80～84歳	282	41.8	56.4	1.8
	85～89歳	350	37.7	56.6	5.7
	90歳以上	388	44.1	53.4	2.6
圏域別	富坂地区	418	41.1	54.1	4.8
	大塚地区	315	43.5	52.7	3.8
	本富士地区	282	45.4	52.5	2.1
	駒込地区	315	46.7	51.1	2.2

F3 年齢

年齢（7区分）では、「90歳以上」が30.0%で最も高く、以下、「85～89歳」が26.0%、「80～84歳」が19.8%、「75～79歳」が10.5%となっています。



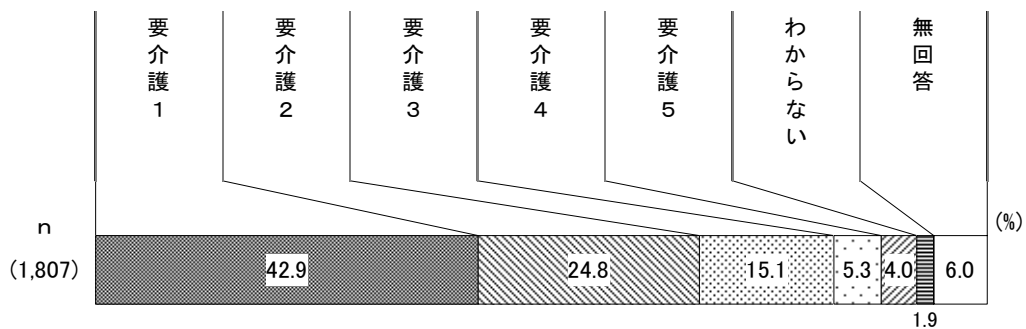
年齢別で見ると、男性は、「85～89歳」、女性は、「90歳以上」で最も高くなっています。圏域別で見ると、大塚地区は、「90歳以上」よりも「85～89歳」が最も高くなっています。

【年齢／性別、圏域別】

		n	（%）							
			65歳未満	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	無回答
全体		1,807	2.2	2.2	5.1	10.5	19.8	26.0	30.0	4.3
性別	男性	611	2.8	4.1	8.5	12.3	22.1	24.9	20.5	4.9
	女性	1,196	1.8	1.2	3.4	9.5	18.6	26.6	34.9	4.0
圏域別	富坂地区	577	2.1	2.3	4.3	9.9	21.3	23.2	32.6	4.3
	大塚地区	410	3.2	1.5	6.6	9.5	20.5	30.7	24.6	3.4
	本富士地区	395	1.3	2.0	4.8	11.9	16.5	25.6	33.7	4.3
	駒込地区	425	2.1	2.8	5.2	10.8	20.0	25.6	28.2	5.2

F4 要介護度

現在の要介護度では、「要介護1」が42.9%で最も高く、以下、「要介護2」が24.8%、「要介護3」が15.1%、「要介護4」が5.3%となっています。



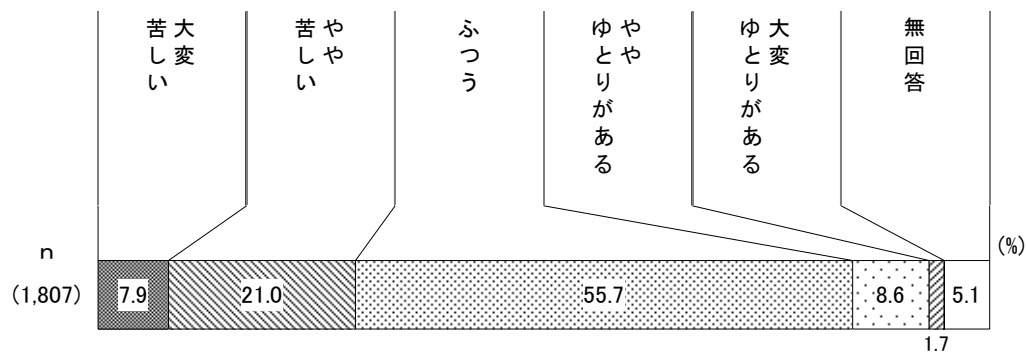
性別および圏域別では、特に目立った違いはありません。
 年齢別でみると、「要介護1」は、70歳以上の層で、「要介護2」は、65歳未満と65～69歳の層で、「要介護5」は、65歳未満の層で高くなっています。

【要介護度／性別、年齢別、圏域別】

		n	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	わからない	無回答
全体		1,807	42.9	24.8	15.1	5.3	4.0	1.9	6.0
性別	男性	611	41.4	27.7	13.4	3.8	4.9	2.5	6.4
	女性	1,196	43.6	23.4	15.9	6.1	3.5	1.7	5.8
年齢別	65歳未満	39	20.5	30.8	20.5	2.6	20.5	2.6	2.6
	65～69歳	39	17.9	38.5	25.6	5.1	5.1	5.1	2.6
	70～74歳	93	43.0	30.1	14.0	4.3	4.3	2.2	2.2
	75～79歳	189	40.7	29.1	16.4	4.2	5.3	2.6	1.6
	80～84歳	357	53.8	22.1	12.3	4.2	3.4	2.0	2.2
	85～89歳	470	46.8	25.7	14.0	4.7	3.2	2.8	2.8
90歳以上	542	41.5	24.9	18.5	8.1	3.7	0.9	2.4	
圏域別	富坂地区	577	45.1	23.2	15.8	5.2	3.5	1.7	5.5
	大塚地区	410	42.9	27.3	13.2	5.1	5.1	1.5	4.9
	本富士地区	395	43.8	20.8	14.9	7.1	4.1	2.0	7.3
	駒込地区	425	39.1	28.5	16.0	4.0	3.5	2.6	6.4

F5 暮らしの経済的状況

経済的にみた現在の暮らしの状況では、「ふつう」が55.7%で最も高く、以下、「やや苦しい」が21.0%、「ややゆとりがある」が8.6%、「大変苦しい」が7.9%となっています。



圏域別では、特に目立った違いはありません。

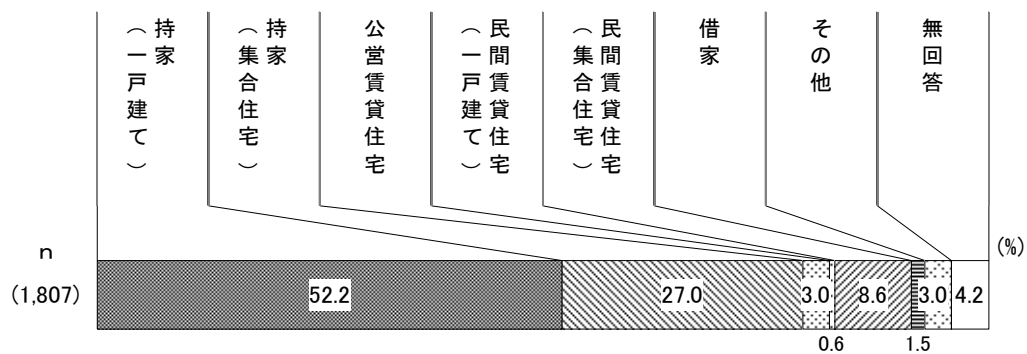
【暮らしの経済的状況／圏域別】

		n	大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答
全体		1,807	7.9	21.0	55.7	8.6	1.7	5.1
圏域別	富坂地区	577	7.8	22.2	56.0	7.8	1.6	4.7
	大塚地区	410	9.5	22.2	53.7	9.8	1.5	3.4
	本富士地区	395	8.1	18.0	57.2	8.4	2.0	6.3
	駒込地区	425	6.4	21.2	55.8	8.7	1.9	6.1

3. お住まい

問1 住居形態（一戸建てまたは集合住宅）

住居の形態では、「持家（一戸建て）」が52.2%で最も高く、以下、「持家（集合住宅）」が27.0%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が8.6%、「公営賃貸住宅」が3.0%となっています。



性別では、特に目立った違いはありません。

年齢別でみると、「持家（一戸建て）」は、高年齢層ほど、「民間賃貸住宅（集合住宅）」は、低年齢層ほど高くなっています。

圏域別でみると、駒込地区は、「持家（一戸建て）」がやや高く、「持家（集合住宅）」がやや低くなっています。

家族構成別でみると、三世代以上同居では、「持家（一戸建て）」が、一人暮らしでは、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が高くなっています。

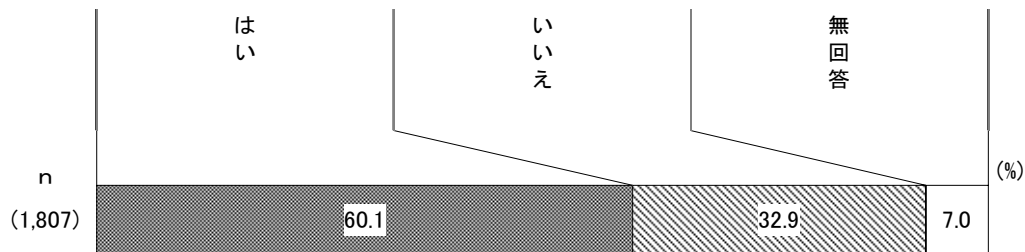
要介護度別では、特に目立った違いはありません。

【住居形態／性別、年齢別、圏域別、家族構成別、要介護度別】

			(%)							
		n	持家(一戸建て)	持家(集合住宅)	公営賃貸住宅	民間賃貸住宅(一戸建て)	民間賃貸住宅(集合住宅)	借家	その他	無回答
全体		1,807	52.2	27.0	3.0	0.6	8.6	1.5	3.0	4.2
性別	男性	611	51.7	27.8	2.8	1.1	8.2	1.8	2.0	4.6
	女性	1,196	52.4	26.5	3.1	0.3	8.8	1.3	3.6	4.0
年齢別	65歳未満	39	48.7	30.8	2.6	2.6	15.4	-	-	-
	65～69歳	39	48.7	30.8	5.1	2.6	12.8	-	-	-
	70～74歳	93	45.2	28.0	2.2	1.1	11.8	4.3	6.5	1.1
	75～79歳	189	47.1	33.9	2.1	0.5	13.2	-	2.1	1.1
	80～84歳	357	53.5	28.6	2.8	0.8	9.2	2.0	2.5	0.6
	85～89歳	470	55.7	28.9	4.0	0.2	6.2	1.1	3.0	0.9
	90歳以上	542	57.4	24.4	2.8	0.4	8.3	2.0	4.1	0.7
圏域別	富坂地区	577	50.1	28.6	3.6	0.5	9.4	1.2	2.6	4.0
	大塚地区	410	52.0	27.3	2.0	0.7	9.3	1.5	4.1	3.2
	本富士地区	395	50.9	30.6	2.3	0.8	6.1	2.5	3.0	3.8
	駒込地区	425	56.5	20.9	3.8	0.2	9.2	0.9	2.6	5.9
家族構成別	一人暮らし	424	38.4	27.4	6.4	1.2	17.2	1.4	4.0	4.0
	夫婦のみ	454	44.9	36.8	3.1	0.7	6.8	1.8	1.1	4.8
	子どもと二世帯同居	599	63.1	23.7	1.5	0.3	5.0	1.2	2.3	2.8
	親と二世帯同居	22	50.0	31.8	9.1	-	4.5	4.5	-	-
	三世代以上同居	169	71.0	16.6	-	-	4.7	-	1.8	5.9
	その他	86	51.2	18.6	1.2	-	4.7	4.7	15.1	4.7
要介護度別	要介護1	775	52.8	29.8	3.1	0.8	8.0	1.3	3.4	0.9
	要介護2	449	54.3	28.1	2.0	0.2	10.2	2.2	2.0	0.9
	要介護3	272	55.9	26.1	3.3	0.7	9.9	1.5	2.2	0.4
	要介護4	96	57.3	22.9	3.1	-	8.3	2.1	5.2	1.0
	要介護5	72	55.6	25.0	4.2	1.4	5.6	-	8.3	-

問2 現在の住まいでの在宅生活の継続性

介護が必要になった場合の現住居の居住の可否では、「はい」が60.1%、「いいえ」が32.9%となっています。



性別では、特に目立った違いはありません。

年齢別でみると、「はい」は、70歳以上の層で高くなっています。

圏域別でみると、大塚地区は、「はい」が56.1%とやや低くなっています。

住居形態別でみると、「はい」は、持家（一戸建て）、持家（集合住宅）、公営賃貸住宅、民間賃貸住宅（一戸建て）で、「いいえ」は、民間賃貸住宅（集合住宅）で高くなっています。

要介護度別でみると、「はい」は、要介護4、5でやや低くなっています。

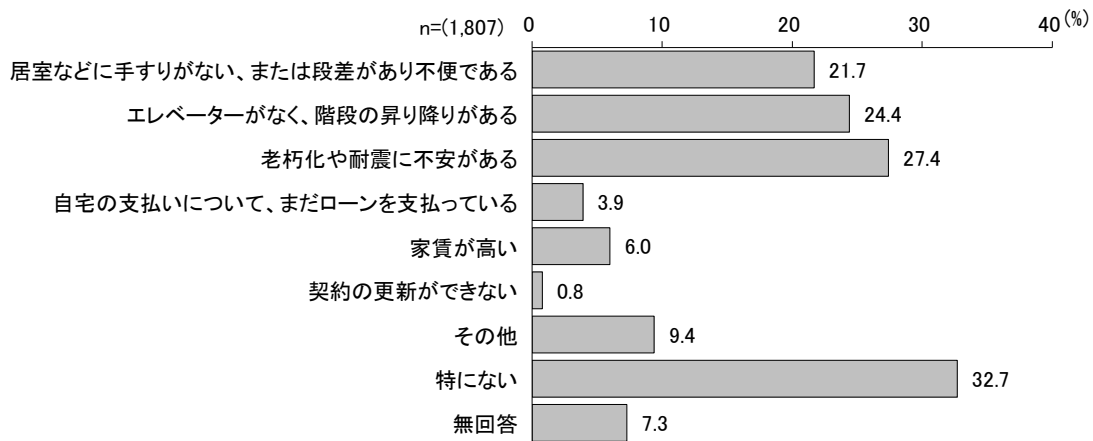
【現在の住まいでの在宅生活の継続性／性別、年齢別、圏域別、住居形態別、要介護度別】

		n	はい	いいえ	無回答
全体		1,807	60.1	32.9	7.0
性別	男性	611	60.4	30.8	8.8
	女性	1,196	59.9	33.9	6.1
年齢別	65歳未満	39	48.7	48.7	2.6
	65～69歳	39	51.3	35.9	12.8
	70～74歳	93	60.2	38.7	1.1
	75～79歳	189	63.5	32.8	3.7
	80～84歳	357	66.4	30.3	3.4
	85～89歳	470	61.3	35.5	3.2
	90歳以上	542	62.2	33.6	4.2
圏域別	富坂地区	577	60.3	31.4	8.3
	大塚地区	410	56.1	39.3	4.6
	本富士地区	395	62.3	32.2	5.6
	駒込地区	425	61.6	29.4	8.9
住居形態別	持家（一戸建て）	943	63.2	32.7	4.1
	持家（集合住宅）	487	68.8	27.9	3.3
	公営賃貸住宅	54	61.1	37.0	1.9
	民間賃貸住宅（一戸建て）	10	60.0	40.0	-
	民間賃貸住宅（集合住宅）	155	43.2	53.5	3.2
	借家	27	55.6	40.7	3.7
	その他	55	52.7	45.5	1.8
要介護度別	要介護1	775	60.3	35.0	4.8
	要介護2	449	65.0	32.1	2.9
	要介護3	272	64.3	32.4	3.3
	要介護4	96	56.3	43.8	-
	要介護5	72	55.6	40.3	4.2

問3 住まいについての不便や不安

現住居に感じている不便や不安では、「特にない」が32.7%を占めています。一方、具体的な選択肢の中では、「老朽化や耐震に不安がある」が27.4%と最も高く、以下、「エレベーターがなく、階段の昇り降りがある」が24.4%、「居室などに手すりがない、または段差があり不便である」が21.7%となっています。

（複数回答）



性別では、特に目立った違いはありません。

年齢別でみると、65歳未満は、「居室などに手すりがない、または段差があり不便である」、「エレベーターがなく、階段の昇り降りがある」、「老朽化や耐震に不安がある」、「家賃が高い」で高くなっています。

圏域別でみると、駒込地区は、「老朽化や耐震に不安がある」が31.3%とやや高くなっています。

家族構成別でみると、「エレベーターがなく、階段の昇り降りがある」は、子どもと二世帯同居や三世帯以上同居で、「老朽化や耐震に不安がある」は、親と二世帯同居で高くなっています。

住居形態別でみると、「居室などに手すりがない、または段差があり不便である」は、民間賃貸住宅（一戸建て）及び借家で、「エレベーターがなく、階段の昇り降りがある」は、持家（一戸建て）で、「老朽化や耐震に不安がある」は、借家で、「家賃が高い」は、民間賃貸住宅（集合住宅）、借家及び民間賃貸住宅（一戸建て）で高くなっています。

要介護度別でみると、「居室などに手すりがない、または段差があり不便である」や「エレベーターがなく、階段の昇り降りがある」は、介護度が上がるほど高い傾向にあります。

健康感別でみると、「居室などに手すりがない、または段差があり不便である」や「エレベーターがなく、階段の昇り降りがある」は、健康感が悪くなるほど高い傾向にあります。

第5章 在宅介護実態調査（郵送）

【住まいについての不便や不安

／性別、年齢別、圏域別、家族構成別、住居形態別、要介護度別、健康感別】

(%)

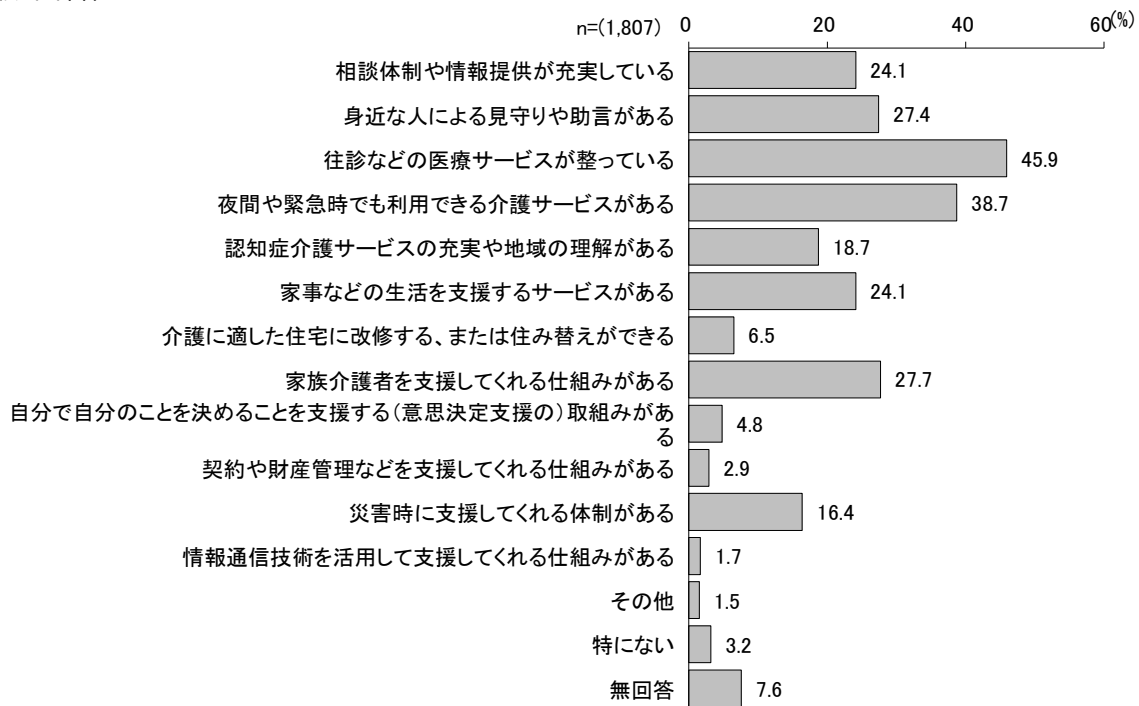
		n	居室などに手すりが ない、または段差が あり不便である	エレベーターがなく、 階段の昇り降りがある	老朽化や耐震に不安が ある	自宅の支払いについて、 まだローンを支払って いる	家賃が高い	契約の更新ができない	その他	特になし	無回答
全体		1,807	21.7	24.4	27.4	3.9	6.0	0.8	9.4	32.7	7.3
性別	男性	611	21.9	25.2	27.3	5.2	5.1	1.1	9.0	29.8	8.2
	女性	1,196	21.7	24.0	27.5	3.2	6.4	0.7	9.6	34.1	6.9
年齢別	65歳未満	39	33.3	33.3	35.9	12.8	20.5	2.6	15.4	20.5	5.1
	65～69歳	39	20.5	35.9	33.3	17.9	7.7	-	7.7	20.5	7.7
	70～74歳	93	25.8	22.6	34.4	9.7	6.5	-	9.7	26.9	3.2
	75～79歳	189	22.8	25.9	30.7	2.1	7.9	2.1	9.5	31.7	4.2
	80～84歳	357	20.7	29.4	26.3	3.6	5.3	0.8	9.8	33.9	3.6
	85～89歳	470	22.8	24.3	27.0	3.2	5.1	1.1	12.1	31.9	4.3
	90歳以上	542	22.5	22.7	28.6	3.0	5.9	0.4	7.4	39.5	3.1
圏域別	富坂地区	577	22.7	24.1	25.1	4.0	6.1	0.9	9.0	34.5	7.8
	大塚地区	410	19.3	22.4	26.3	3.9	8.3	0.5	12.4	31.5	7.6
	本富士地区	395	24.3	25.8	27.8	3.5	5.1	1.0	9.6	33.4	6.3
	駒込地区	425	20.5	25.4	31.3	4.0	4.5	0.9	6.8	30.6	7.3
家族構成別	一人暮らし	424	18.9	18.9	27.4	2.6	9.0	2.1	11.3	35.1	7.3
	夫婦のみ	454	20.9	20.9	27.5	4.6	6.2	0.7	8.8	32.2	8.1
	子どもと二世帯同居	599	25.5	30.1	29.2	4.2	4.5	0.3	8.3	31.1	5.7
	親と二世帯同居	22	22.7	9.1	31.8	-	13.6	-	18.2	31.8	4.5
	三世帯以上同居	169	18.9	30.8	23.7	4.7	1.8	0.6	11.8	29.6	5.9
	その他	86	24.4	25.6	25.6	3.5	5.8	-	8.1	38.4	8.1
住居形態別	持家(一戸建て)	943	23.0	36.4	35.5	3.7	0.2	0.2	7.8	28.3	3.9
	持家(集合住宅)	487	21.6	9.4	18.5	6.2	1.0	0.2	12.3	46.0	4.5
	公営賃貸住宅	54	18.5	9.3	18.5	-	14.8	-	5.6	40.7	3.7
	民間賃貸住宅(一戸建て)	10	40.0	20.0	30.0	-	40.0	-	10.0	10.0	-
	民間賃貸住宅(集合住宅)	155	26.5	18.1	23.2	1.9	46.5	3.9	11.6	24.5	3.9
	借家	27	37.0	18.5	48.1	3.7	44.4	7.4	14.8	18.5	-
	その他	55	9.1	18.2	14.5	1.8	7.3	1.8	14.5	50.9	3.6
要介護度別	要介護1	775	21.7	25.4	27.7	3.7	5.7	1.0	11.4	34.7	3.4
	要介護2	449	21.2	24.3	29.4	4.7	7.6	1.6	8.0	32.1	3.6
	要介護3	272	23.9	25.4	28.3	4.8	6.3	-	7.4	33.5	4.4
	要介護4	96	33.3	27.1	30.2	2.1	9.4	-	9.4	33.3	4.2
	要介護5	72	29.2	30.6	30.6	4.2	2.8	-	11.1	26.4	8.3
健康感別	とても良い	72	12.5	13.9	16.7	1.4	1.4	-	5.6	45.8	9.7
	まあ良い	959	18.7	22.9	24.8	3.6	5.3	1.0	8.1	37.7	6.8
	あまり良くない	536	27.1	27.6	35.4	4.3	7.6	0.7	10.3	24.6	6.7
	良くない	126	31.7	31.0	29.4	5.6	6.3	-	18.3	21.4	5.6

4. 介護等

問4 介護が必要になっても、地域で暮らし続けるために必要なこと

介護が必要になった場合に地域に必要なことでは、「往診などの医療サービスが整っている」が45.9%で最も高く、以下、「夜間や緊急時でも利用できる介護サービスがある」が38.7%、「家族介護者を支援してくれる仕組みがある」が27.7%、「身近な人による見守りや助言がある」が27.4%となっています。

（複数回答）



性別で見ると、女性は、男性よりも「認知症介護サービスの充実や地域の理解がある」で高くなっています。

年齢別で見ると、「相談体制や情報提供が充実している」は、65歳から74歳で、「身近な人による見守りや助言がある」は、85歳以上で、「介護に適した住宅に改修する、または住み替えができる」は、65歳未満でそれぞれ高くなっています。

圏域別では、特に目立った違いはありません。

家族構成別で見ると、「家族介護者を支援してくれる仕組みがある」は、三世代以上同居で46.2%と高くなっています。

要介護度別で見ると、「家族介護者を支援してくれる仕組みがある」は、介護度が上がるほど高い傾向にあります。

第5章 在宅介護実態調査（郵送）

【介護が必要になっても、地域で暮らし続けるために必要なこと
／性別、年齢別、圏域別、家族構成別、要介護度別】

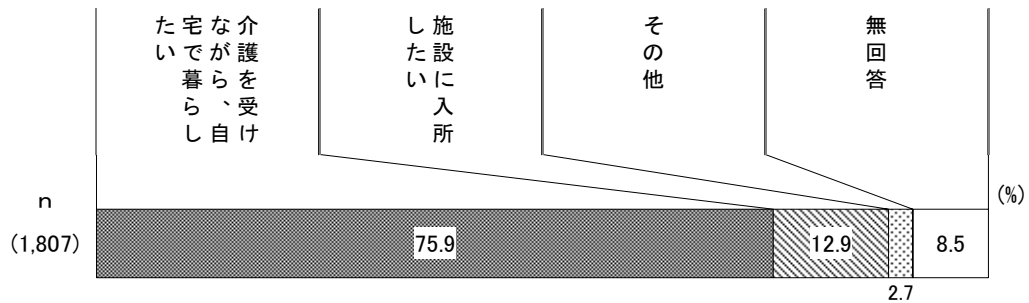
(%)

		n	相談体制や情報提供が充実している	身近な人による見守りや助言がある	往診などの医療サービスが整っている	夜間や緊急時でも利用できる介護サービスがある	認知症介護サービスの充実や地域の理解がある	家事などの生活を支援するサービスがある	介護に適した住宅に改修する、または住み替えができる	家族介護者を支援してくれる仕組みがある	自分で自分のことを決めることを支援する（意思決定支援の）取り組みがある	契約や財産管理などを支援してくれる仕組みがある
全体		1,807	24.1	27.4	45.9	38.7	18.7	24.1	6.5	27.7	4.8	2.9
性別	男性	611	25.2	22.3	47.5	37.3	13.4	21.3	6.4	27.8	4.3	2.8
	女性	1,196	23.5	30.1	45.2	39.5	21.4	25.5	6.5	27.7	5.0	3.0
年齢別	65歳未満	39	23.1	23.1	48.7	46.2	17.9	23.1	25.6	28.2	7.7	10.3
	65～69歳	39	33.3	28.2	48.7	46.2	7.7	23.1	5.1	38.5	7.7	2.6
	70～74歳	93	31.2	15.1	40.9	43.0	12.9	29.0	7.5	22.6	5.4	2.2
	75～79歳	189	25.4	27.0	46.0	38.6	19.6	29.6	5.8	27.0	6.3	2.1
	80～84歳	357	26.3	26.3	45.7	36.7	20.4	23.0	7.0	30.3	3.9	2.2
	85～89歳	470	21.9	31.5	48.7	40.2	20.4	26.0	5.3	27.7	4.7	3.6
	90歳以上	542	24.7	30.1	49.8	41.1	19.7	23.2	6.3	30.1	4.2	3.1
圏域別	富坂地区	577	25.5	29.5	49.2	38.1	17.3	26.0	5.7	26.5	4.5	2.3
	大塚地区	410	23.7	23.9	41.5	40.2	21.7	23.4	6.6	28.3	6.3	3.7
	本富士地区	395	22.8	29.6	44.3	40.8	18.7	25.3	7.1	29.4	5.6	2.5
	駒込地区	425	23.8	26.1	47.3	36.2	17.6	20.9	6.8	27.3	2.8	3.5
家族構成別	一人暮らし	424	23.3	33.0	41.0	40.3	14.6	37.3	4.7	11.6	8.5	4.2
	夫婦のみ	454	24.7	24.9	44.3	41.0	16.5	24.9	6.4	27.8	3.7	1.8
	子どもと二世帯同居	599	24.4	27.5	51.4	37.6	21.5	18.9	8.0	33.6	3.8	2.5
	親と二世帯同居	22	36.4	13.6	54.5	40.9	31.8	13.6	13.6	27.3	4.5	4.5
	三世帯以上同居	169	20.1	24.3	52.1	37.9	23.7	13.0	4.1	46.2	1.2	1.8
	その他	86	31.4	24.4	32.6	36.0	17.4	18.6	7.0	34.9	2.3	8.1
要介護度別	要介護1	775	25.5	29.8	47.6	36.9	19.7	28.3	5.5	25.2	5.5	2.6
	要介護2	449	26.1	27.2	47.9	41.6	18.5	22.9	6.7	29.4	4.0	2.7
	要介護3	272	20.2	27.6	48.2	48.2	21.0	22.8	7.7	33.5	4.0	4.0
	要介護4	96	27.1	26.0	52.1	44.8	24.0	18.8	11.5	37.5	4.2	-
	要介護5	72	23.6	22.2	47.2	43.1	19.4	19.4	8.3	45.8	4.2	5.6

		災害時に支援してくれる体制がある	情報通信技術を活用して支援してくれる仕組みがある	その他	特になし	無回答
全体		16.4	1.7	1.5	3.2	7.6
性別	男性	16.4	2.5	1.1	4.1	10.6
	女性	16.4	1.3	1.7	2.7	6.0
年齢別	65歳未満	12.8	5.1	2.6	-	2.6
	65～69歳	17.9	2.6	2.6	2.6	2.6
	70～74歳	16.1	1.1	1.1	5.4	4.3
	75～79歳	15.3	2.6	1.6	1.1	7.4
	80～84歳	15.7	1.4	0.8	5.6	5.3
	85～89歳	17.9	1.9	1.1	3.0	3.8
	90歳以上	17.9	1.5	2.0	2.6	4.1
圏域別	富坂地区	17.9	1.6	1.2	2.4	6.9
	大塚地区	16.3	1.7	1.7	5.6	5.4
	本富士地区	16.2	1.5	1.3	2.0	6.8
	駒込地区	14.6	2.1	1.9	2.8	11.3
家族構成別	一人暮らし	17.2	2.1	2.6	3.5	6.6
	夫婦のみ	17.8	2.0	1.5	2.2	9.3
	子どもと二世帯同居	16.9	1.2	0.8	3.2	5.7
	親と二世帯同居	22.7	-	-	-	4.5
	三世帯以上同居	11.8	3.6	1.2	3.0	8.3
	その他	11.6	-	-	7.0	8.1
要介護度別	要介護1	18.7	1.4	1.4	3.9	3.4
	要介護2	14.9	3.1	1.8	2.7	5.8
	要介護3	17.3	1.1	1.1	2.2	4.4
	要介護4	14.6	-	-	1.0	5.2
	要介護5	18.1	1.4	1.4	1.4	4.2

問5 介護が必要になった場合の暮らし方の希望

今後に希望する暮らし方では、「介護を受けながら、自宅で暮らしたい」が75.9%で最も高く、以下、「施設に入所したい」が12.9%となっています。



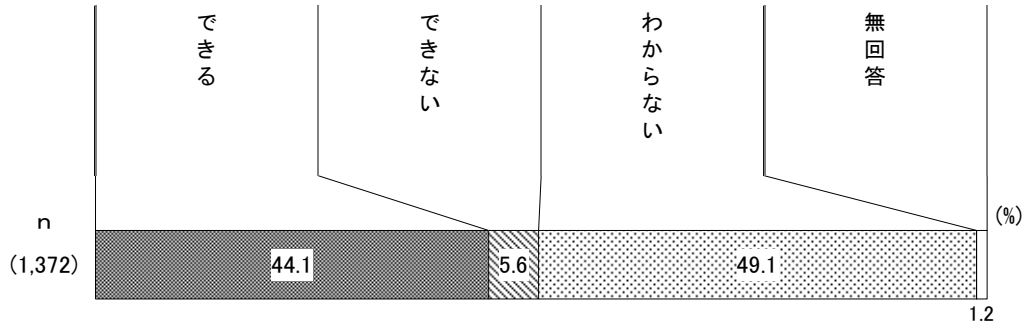
令和元年度調査と比べると、「施設に入所したい」は、4.9ポイントの減少となっています。性別及び要介護度別では、特に目立った違いはありません。年齢別でみると、65～69歳は、「介護を受けながら、自宅で暮らしたい」が92.3%と極めて高く、「施設に入所したい」は5.1%となっています。圏域別でみると、本富士地区が80.5%とやや高くなっています。家族構成別でみると、「介護を受けながら、自宅で暮らしたい」は、子どもと二世帯同居で84.5%と高くなっています。

【介護が必要になった場合の暮らし方の希望／性別、年齢別、圏域別、家族構成別、要介護度別】

		n	介護を受けながら、自宅で暮らしたい (%)	施設に入所したい (%)	その他 (%)	無回答 (%)
全体		1,807	75.9	12.9	2.7	8.5
令和元年度		1,555	75.8	17.8	2.1	4.4
性別	男性	611	76.9	11.9	2.3	8.8
	女性	1,196	75.4	13.4	2.9	8.3
年齢別	65歳未満	39	69.2	17.9	7.7	5.1
	65～69歳	39	92.3	5.1	2.6	-
	70～74歳	93	80.6	9.7	5.4	4.3
	75～79歳	189	77.2	13.2	3.7	5.8
	80～84歳	357	75.6	15.4	2.5	6.4
	85～89歳	470	80.4	13.0	1.7	4.9
	90歳以上	542	78.4	13.7	2.8	5.2
圏域別	富坂地区	577	74.7	13.3	2.1	9.9
	大塚地区	410	75.4	13.9	3.7	7.1
	本富士地区	395	80.5	9.6	3.8	6.1
	駒込地区	425	73.9	14.4	1.6	10.1
家族構成別	一人暮らし	424	70.3	17.7	2.8	9.2
	夫婦のみ	454	75.3	13.0	2.0	9.7
	子どもと二世帯同居	599	84.5	8.3	2.3	4.8
	親と二世帯同居	22	77.3	9.1	4.5	9.1
	三世帯以上同居	169	76.9	13.0	1.2	8.9
	その他	86	55.8	18.6	12.8	12.8
要介護度別	要介護1	775	78.8	13.8	2.6	4.8
	要介護2	449	80.0	11.6	3.1	5.3
	要介護3	272	79.4	15.1	0.7	4.8
	要介護4	96	72.9	15.6	5.2	6.3
	要介護5	72	76.4	13.9	4.2	5.6

問5-1 介護が必要になった場合の在宅生活の実現性

在宅生活の実現についての考えでは、「わからない」が49.1%で最も高く、以下、「できる」が44.1%、「できない」が5.6%となっています。



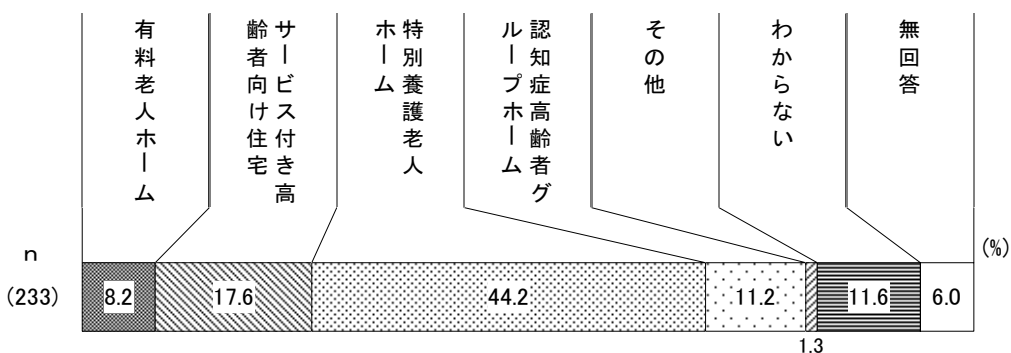
圏域別では、特に目立った違いはありません。
要介護度別でみると、「できない」は、要介護4及び5で高くなっています。

【介護が必要になった場合の在宅生活の実現性／圏域別、要介護度別】

		n	できる (%)	できない (%)	わからない (%)	無回答 (%)
全体		1,372	44.1	5.6	49.1	1.2
圏域別	富坂地区	431	42.0	5.1	51.7	1.2
	大塚地区	309	41.7	4.5	53.1	0.6
	本富士地区	318	48.1	6.9	43.7	1.3
	駒込地区	314	45.2	6.1	46.8	1.9
要介護度別	要介護1	611	42.2	4.9	51.2	1.6
	要介護2	359	45.1	4.5	49.6	0.8
	要介護3	216	48.1	4.6	46.8	0.5
	要介護4	70	38.6	14.3	47.1	-
	要介護5	55	40.0	14.5	43.6	1.8

問5-2 入所したい施設の種類の種類

入所したい施設では、「特別養護老人ホーム」が44.2%で最も高く、以下、「サービス付き高齢者向け住宅」が17.6%、「認知症高齢者グループホーム」が11.2%、「有料老人ホーム」が8.2%となっています。一方、「わからない」は11.6%となっています。



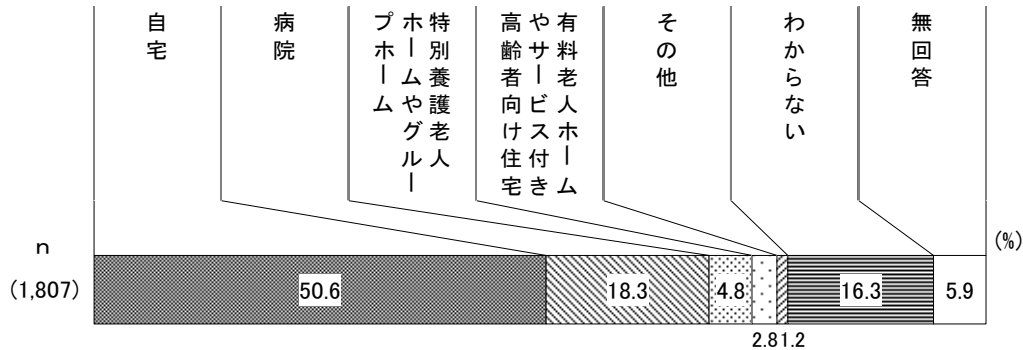
圏域別でみると、本富士地区は、「特別養護老人ホーム」や「有料老人ホーム」が高くなっています。

【入所したい施設の種類／圏域別】

		n	有料老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅	特別養護老人ホーム	認知症高齢者グループホーム	その他	わからない	無回答
全体		233	8.2	17.6	44.2	11.2	1.3	11.6	6.0
圏域別	富坂地区	77	6.5	22.1	39.0	7.8	2.6	14.3	7.8
	大塚地区	57	8.8	12.3	40.4	17.5	-	15.8	5.3
	本富士地区	38	18.4	10.5	52.6	13.2	-	2.6	2.6
	駒込地区	61	3.3	21.3	49.2	8.2	1.6	9.8	6.6

問6 終末期を迎えたい場所

終末期を迎えたい場所では、「自宅」が50.6%で最も高く、以下、「病院」が18.3%、「特別養護老人ホームやグループホーム」が4.8%、「有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅」が2.8%となっています。一方、「わからない」は16.3%となっています。



第5章 在宅介護実態調査（郵送）

令和元年度調査と比べると、「自宅」が4.5ポイント減少しています。

性/年齢別でみると、「自宅」は、男性の85歳以上で比較的高くなっています。

圏域別では、特に目立った違いはありません。

要介護度別でみると、「自宅」は、介護度が上がるほど、「病院」は、介護度が低いほど高い傾向にあります。

【終末期を迎えたい場所／性／年齢別、圏域別、要介護度別】

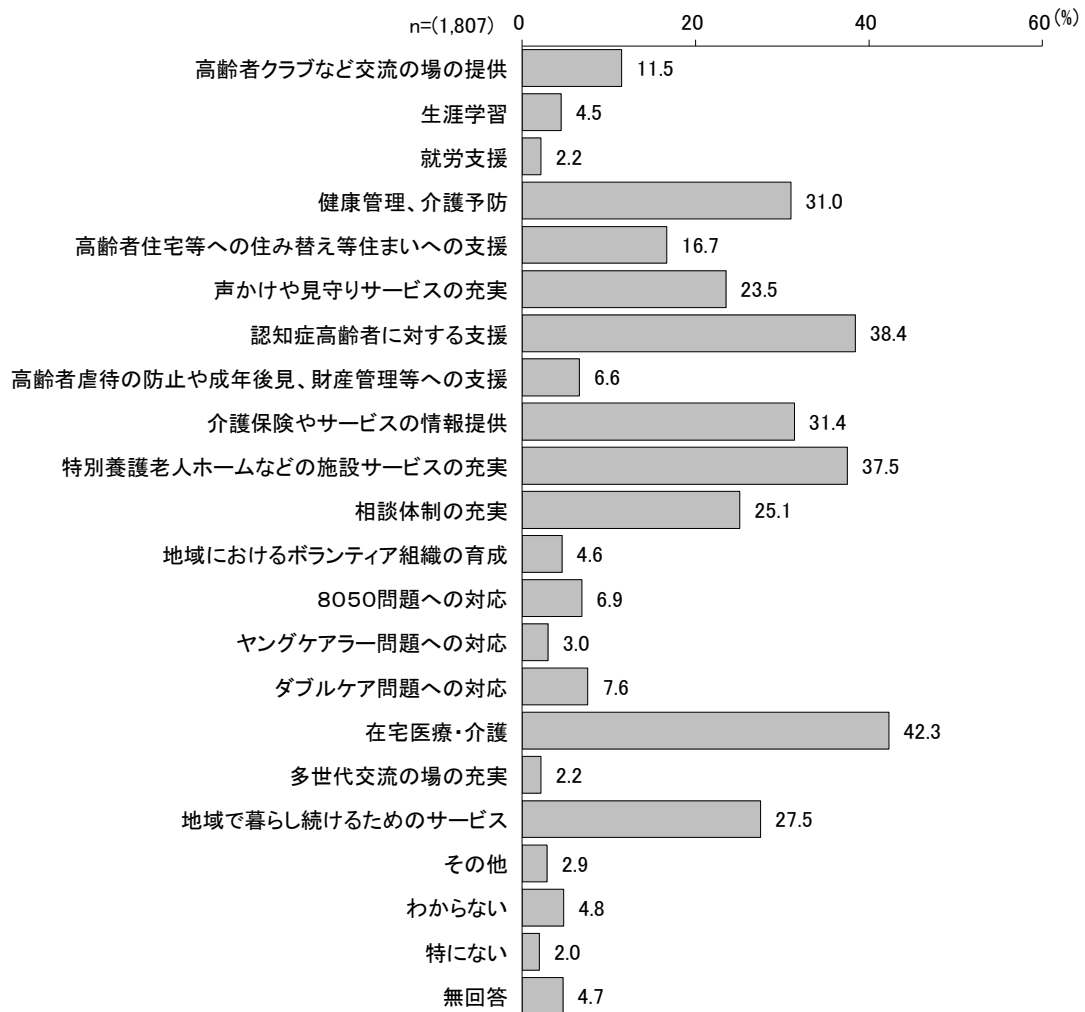
(%)

		n	自宅	病院	特別養護 老人ホームやグループ ホーム	有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅	その他	わからない	無回答
全体		1,807	50.6	18.3	4.8	2.8	1.2	16.3	5.9
令和元年度		1,555	55.1	18.3	4.6	2.6	0.7	15.2	3.5
性/ 年齢別	男性／65歳未満	17	52.9	17.6	5.9	-	5.9	11.8	5.9
	男性／65～69歳	25	44.0	32.0	4.0	-	-	20.0	-
	男性／70～74歳	52	51.9	13.5	1.9	5.8	3.8	17.3	5.8
	男性／75～79歳	75	45.3	18.7	8.0	1.3	2.7	18.7	5.3
	男性／80～84歳	135	45.2	15.6	5.2	1.5	3.7	20.7	8.1
	男性／85～89歳	152	57.2	18.4	2.0	2.6	-	14.5	5.3
	男性／90歳以上	125	58.4	14.4	4.0	3.2	1.6	12.0	6.4
	女性／65歳未満	22	45.5	27.3	-	4.5	4.5	18.2	-
	女性／65～69歳	14	85.7	-	7.1	-	-	7.1	-
	女性／70～74歳	41	43.9	24.4	4.9	7.3	2.4	12.2	4.9
	女性／75～79歳	114	48.2	18.4	7.0	4.4	-	19.3	2.6
	女性／80～84歳	222	52.7	17.1	2.3	0.9	0.5	20.7	5.9
女性／85～89歳	318	49.7	19.5	7.5	0.9	-	15.1	7.2	
女性／90歳以上	417	49.9	19.4	4.8	4.8	1.2	15.3	4.6	
圏域別	富坂地区	577	53.4	18.0	4.5	2.3	0.5	15.6	5.7
	大塚地区	410	46.3	20.2	5.1	2.7	1.5	17.8	6.3
	本富士地区	395	52.9	17.5	3.5	2.8	2.0	14.7	6.6
	駒込地区	425	48.7	17.6	6.1	3.8	1.2	17.4	5.2
要介護度別	要介護1	775	48.3	21.3	4.6	2.8	1.5	15.5	5.9
	要介護2	449	51.0	17.6	4.7	2.4	1.1	18.3	4.9
	要介護3	272	53.3	14.7	5.1	3.7	0.4	17.3	5.5
	要介護4	96	61.5	13.5	9.4	3.1	-	9.4	3.1
	要介護5	72	55.6	11.1	5.6	2.8	-	20.8	4.2

問7 今後区に力を入れてほしいこと

高齢者施策や介護保険事業について今後区に力を入れてほしいことでは、「在宅医療・介護」が42.3%で最も高く、以下、「認知症高齢者に対する支援」が38.4%、「特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実」が37.5%、「介護保険やサービスの情報提供」が31.4%となっています。

（複数回答）



第5章 在宅介護実態調査（郵送）

性別では、特に目立った違いはありません。

年齢別でみると、「認知症高齢者に対する支援」は、75歳以上の層で高くなっています。

圏域別では、特に目立った違いはありません。

家族構成別でみると、親と二世帯同居は、「健康管理、介護予防」、「認知症高齢者に対する支援」、「高齢者虐待の防止や成年後見、財産管理等への支援」で高く、三世帯以上同居では、「高齢者住宅等への住み替え等住まいへの支援」や「声かけや見守りサービスの充実」が低くなっています。

要介護度別でみると、「高齢者クラブなど交流の場の提供」や「声かけや見守りサービスの充実」は、介護度が低いほど高く、一方、「特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実」、「8050問題への対応」、「在宅医療・介護」は、介護度とともに高くなる傾向にあります。

主な介護者の年齢別でみると、50代から70代までの層では、「在宅医療・介護」が最も高くなっています。

【今後区に力を入れてほしいこと①】

／性別、年齢別、圏域別、家族構成別、要介護度別、主な介護者の年齢別】

		(%)											
	n	高齢者クラブなど交流の場の提供	生涯学習	就労支援	健康管理、介護予防	高齢者住宅等への住み替え等住まいへの支援	声かけや見守りサービスの充実	認知症高齢者に対する支援	高齢者虐待の防止や成年後見、財産管理等への支援	介護保険やサービスの情報提供	特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実	相談体制の充実	
全体	1,807	11.5	4.5	2.2	31.0	16.7	23.5	38.4	6.6	31.4	37.5	25.1	
性別	男性	611	10.1	4.7	2.8	29.6	15.7	22.6	34.2	5.6	32.1	37.0	27.7
	女性	1,196	12.2	4.3	1.9	31.8	17.1	24.0	40.6	7.2	31.0	37.7	23.8
年齢別	65歳未満	39	-	2.6	7.7	35.9	28.2	23.1	25.6	12.8	30.8	28.2	20.5
	65～69歳	39	7.7	12.8	10.3	33.3	15.4	12.8	20.5	10.3	28.2	33.3	30.8
	70～74歳	93	7.5	5.4	2.2	30.1	22.6	25.8	31.2	6.5	31.2	35.5	34.4
	75～79歳	189	13.2	4.8	2.1	37.0	19.6	22.2	42.9	5.3	31.2	33.9	30.2
	80～84歳	357	12.3	4.8	2.5	29.1	16.0	28.3	41.5	5.6	28.6	37.3	25.8
	85～89歳	470	11.7	4.3	1.5	30.2	15.3	26.6	38.7	8.1	33.2	38.3	24.5
90歳以上	542	10.3	3.7	2.0	30.6	15.5	19.6	39.3	5.7	32.5	39.7	22.9	
圏域別	富坂地区	577	11.4	2.9	1.7	30.7	17.0	22.9	38.5	7.1	30.8	39.2	26.5
	大塚地区	410	11.0	6.1	3.2	29.3	18.0	22.4	39.8	5.1	33.4	36.8	23.4
	本富士地区	395	11.6	4.6	1.0	33.2	13.4	21.5	38.0	5.3	30.4	35.7	24.8
	駒込地区	425	12.0	4.9	3.1	31.3	17.9	27.3	37.4	8.7	31.1	37.4	25.2
家族構成別	一人暮らし	424	11.3	6.6	1.7	29.7	17.9	31.1	28.5	8.5	29.2	35.4	22.2
	夫婦のみ	454	13.0	4.4	1.5	29.7	17.8	23.3	37.4	5.9	31.1	36.6	33.0
	子どもと二世帯同居	599	10.5	2.3	3.2	33.1	16.0	21.7	43.7	6.5	32.4	38.7	25.7
	親と二世帯同居	22	13.6	9.1	4.5	45.5	18.2	27.3	54.5	13.6	22.7	27.3	22.7
	三世帯以上同居	169	13.0	4.7	1.8	32.5	10.7	11.8	42.6	4.7	34.3	42.0	14.8
その他	86	9.3	5.8	1.2	27.9	20.9	22.1	46.5	3.5	33.7	41.9	20.9	
要介護度別	要介護1	775	12.8	4.9	2.2	33.5	16.4	25.4	36.8	5.0	31.7	33.0	27.2
	要介護2	449	10.9	4.9	3.3	29.0	18.9	22.3	39.4	5.3	27.4	39.9	24.1
	要介護3	272	9.6	1.8	1.1	30.9	15.1	23.9	43.4	9.6	34.2	43.4	22.8
	要介護4	96	8.3	4.2	2.1	31.3	18.8	20.8	46.9	10.4	36.5	49.0	24.0
	要介護5	72	4.2	1.4	1.4	15.3	13.9	18.1	37.5	8.3	34.7	47.2	31.9
主な介護者の年齢別	40代以下	87	9.2	2.3	6.9	37.9	16.1	16.1	41.4	2.3	33.3	33.3	26.4
	50代	375	12.5	6.4	3.2	29.6	17.9	25.6	43.2	7.5	31.5	40.3	22.4
	60代	406	13.1	3.9	2.2	28.6	15.8	20.9	41.1	5.4	34.5	43.1	25.9
	70代	274	12.4	3.3	0.7	33.9	18.2	23.7	35.8	3.3	32.5	35.8	23.7
	80歳以上	275	11.6	1.5	1.5	30.2	17.5	25.1	46.2	7.6	30.2	39.6	29.8

【今後区に力を入れてほしいこと②】

／性別、年齢別、圏域別、家族構成別、要介護度別、主な介護者の年齢別】

	地域におけるボランティア組織の育成	8050問題への対応	ヤングケアラー問題への対応	ダブルケア問題への対応	在宅医療・介護	多世代交流の場の充実	地域で暮らし続けるためのサービス	その他	わからない	特になし	無回答
全体	4.6	6.9	3.0	7.6	42.3	2.2	27.5	2.9	4.8	2.0	4.7
性別	男性	3.8	5.4	2.1	8.3	42.7	2.6	26.4	2.5	4.4	2.3
	女性	5.0	7.6	3.4	7.2	42.1	2.0	28.1	3.1	4.9	1.9
年齢別	65歳未満	2.6	7.7	2.6	7.7	48.7	2.6	28.2	17.9	-	2.6
	65～69歳	5.1	7.7	12.8	10.3	43.6	2.6	35.9	-	5.1	-
	70～74歳	6.5	8.6	3.2	7.5	33.3	4.3	23.7	3.2	2.2	3.2
	75～79歳	6.3	5.8	2.1	6.9	40.2	1.6	29.6	2.1	5.3	3.2
	80～84歳	3.1	8.7	2.5	9.0	37.5	2.0	29.4	2.8	4.8	1.7
	85～89歳	7.0	6.2	3.0	5.3	46.6	2.1	29.1	2.3	3.4	2.1
圏域別	90歳以上	2.8	6.6	2.8	8.7	45.8	2.2	25.5	3.0	6.5	1.7
	富坂地区	4.3	7.3	2.6	9.5	45.1	2.9	27.7	3.5	4.7	1.9
	大塚地区	4.4	6.8	3.7	7.1	37.3	2.2	24.4	3.2	3.2	2.0
	本富士地区	5.1	6.1	1.5	7.3	44.3	2.3	27.8	2.5	6.3	2.0
家族構成別	駒込地区	4.7	7.1	4.2	5.6	41.6	1.2	29.9	2.1	4.9	2.4
	一人暮らし	5.2	2.1	1.7	5.7	37.7	2.1	31.1	3.8	5.7	3.3
	夫婦のみ	5.1	4.2	2.6	11.2	42.7	2.2	28.9	1.8	2.6	1.1
	子どもと二世帯同居	3.5	11.2	4.0	5.5	47.2	2.2	23.9	2.8	5.0	2.0
	親と二世帯同居	-	13.6	-	4.5	36.4	-	22.7	9.1	-	-
	三世帯以上同居	4.7	10.1	5.9	13.0	43.8	3.6	27.2	3.0	4.7	1.8
要介護度別	要介護5	7.0	9.3	1.2	7.0	38.4	-	25.6	4.7	5.8	2.3
	要介護4	4.1	6.6	2.7	7.1	41.8	2.1	30.2	2.8	4.4	2.3
	要介護3	4.2	6.5	3.8	8.2	44.3	3.1	26.3	2.9	4.7	1.3
	要介護2	5.9	8.1	2.6	8.8	41.2	1.5	27.2	2.2	5.9	1.8
	要介護1	6.3	8.3	3.1	5.2	47.9	2.1	26.0	5.2	4.2	-
主な介護者の年齢別	要介護0	4.2	13.9	1.4	11.1	55.6	1.4	25.0	4.2	1.4	1.4
	40代以下	3.4	12.6	5.7	11.5	33.3	3.4	24.1	2.3	8.0	3.4
	50代	4.3	9.9	3.2	8.3	46.4	3.5	34.4	2.9	4.3	2.4
	60代	4.2	7.4	3.7	9.1	49.3	2.0	21.7	4.7	4.7	0.7
	70代	3.3	6.2	3.3	8.4	38.7	2.2	23.7	1.8	3.6	3.3
80歳以上	5.8	5.1	2.2	8.0	42.2	1.5	29.5	1.1	1.8	1.1	

（ヤングケアラー問題対応の具体例）

「ヤングケアラー問題への対応」を選んだ人に、具体的な内容を聞いたところ、15人から延べ18件の回答がありました。

ヤングケアラー問題への対応 今後区に力を入れてほしいこと	（件）
負担軽減、支援	5
支える仕組みづくり、相談体制	3
専門職の導入、現状の把握	2
子どもの生活、学業優先	2
介護を他に任せる	1
その他	5

【主な回答内容】

1. 「負担軽減、支援」

- 若い世代に負担をかけたくない！
- 長女が世話をしているが、長女の家庭がおろそかになり孫に負担がかかっている。

2. 「支える仕組みづくり、相談体制」

- 学校や地域の人が気づき通報。SNS相談窓口。

3. 「その他」

- 嫁の厚意で同居とすると行政ケアの優先度が下がる。
- 高齢化社会の重要課題だと思う。

（その他の具体例）

「その他」を選んだ人に、具体的な内容を聞いたところ、46人から延べ48件の回答がありました。

その他	(件)
今後区に力を入れてほしいこと	
施設の充実	11
介護者の支援	8
新たなサービス、幅広いサービス	6
老々介護対策	5
区、施設職員等の理解、意識向上	3
情報発信・情報公開	3
経済的支援	2
家事支援	2
就労・起業支援	1
住宅対策	1
相談体制の充実	1
その他	5

【主な回答内容】

1. 「施設の充実」

- 医療介助が多い人でも特養のように安い所で見てもらいたい。
- 特養に入るほど介護度はないのですが、経済的にサ高住やグループホームは入れません。シルバークロニクルも年齢的にポイントが不足しています。そのような方は多くいると思います。住み慣れた場所に入れる施設があればと思います。
- 医療ケアを必要とする場合の施設探しがとても大変です。ケア内容の条件が合ったとしても費用が高額なので、長期入居となった場合は先の事が不安です。
- 特別養護老人ホームを増やす、老健施設も増やす、介護士さんを良く教育して欲しい。介護保険を改革してほしい。取組を早くやって下さい。厚生労働省に言って下さい。

2. 「介護者の支援」

- 同居の家族がいる場合、生活介護が受けられないということであるが、家族が疲れてしまうことがないように、生活介護を可能とするようにすべきである。
- 介護にかかわる人の待遇、労働環境の向上、改善。
- 家族介護者を支援する仕組み。

3. 「新たなサービス、幅広いサービス」

- あまり規則にとらわれすぎず、時間内に何でもしてもらえること。
- 見まもり、話相手（短時間の声かけ等）、車椅子使用の為ヘルパーさんが見えない日は外に出られません。週2回の送迎をお願いしております。

4. 「老々介護対策」

- 老々介護問題（80代同士の介護）、夫・妻共に高齢で介護している現在（状態）。

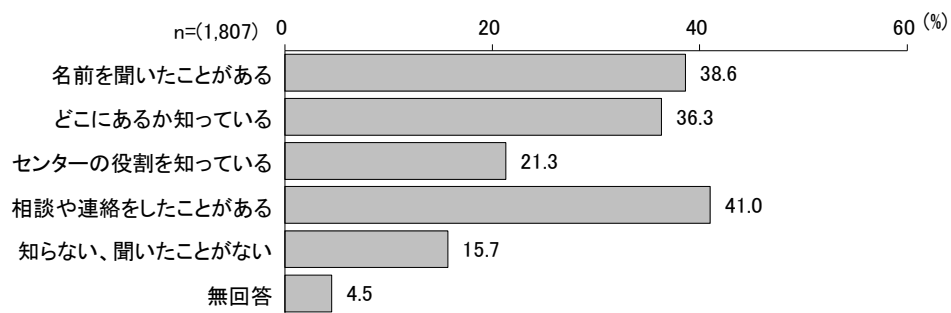
5. 「その他」

- 死後の事務を公的に支援する組織の育成を希望します。
- 公園にトイレを設ける（文京区にはトイレの無い公園がいくつかある）。

問8 高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）の認知度

高齢者あんしん相談センターの認知度では、「相談や連絡をしたことがある」が41.0%で最も高く、以下、「名前を聞いたことがある」が38.6%、「どこにあるか知っている」が36.3%、「センターの役割を知っている」が21.3%となっています。

（複数回答）



令和元年度調査と比べると、「名前を聞いたことがある」、「どこにあるか知っている」、「センターの役割を知っている」が、いずれも約4ポイント減少しています。

性別では、特に目立った違いはありません。

年齢別でみると、65～69歳は、「名前を聞いたことがある」が41.0%と高い一方で、「相談や連絡をしたことがある」は、28.2%と低くなっています。

圏域別でみると、富坂地区と本富士地区は、「名前を聞いたことがある」が他地区よりも高い一方で、「相談や連絡をしたことがある」は、他地区よりも低くなっています。

家族構成別でみると、一人暮らしは、「どこにあるか知っている」や「相談や連絡をしたことがある」がやや低くなっています。

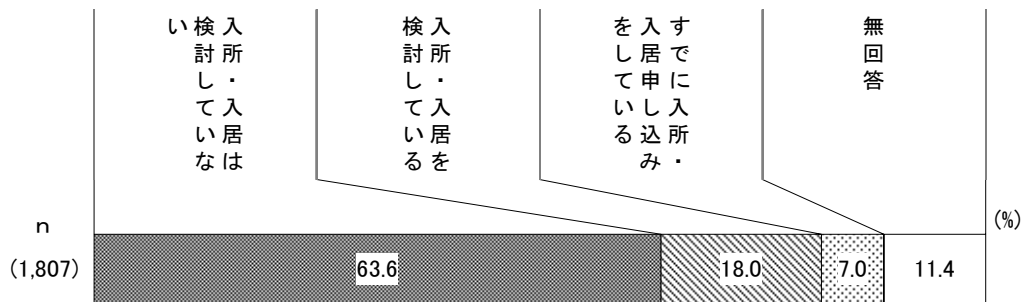
要介護度別でみると、「どこにあるか知っている」、「センターの役割を知っている」、「相談や連絡をしたことがある」は、いずれも要介護5で最も高くなっています。

**【高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）の認知度
／性別、年齢別、圏域別、家族構成別、要介護度別】**

		n	名前を聞いたことがある	どこにあるか知っている	センターの役割を知っている	相談や連絡をしたことがある	知らない、聞いたことがない	無回答
全体		1,807	38.6	36.3	21.3	41.0	15.7	4.5
令和元年度		1,555	42.9	40.5	25.3	39.2	18.0	3.2
性別	男性	611	39.1	37.6	23.2	38.6	17.8	5.4
	女性	1,196	38.3	35.6	20.3	42.1	14.5	4.0
年齢別	65歳未満	39	35.9	35.9	12.8	43.6	12.8	-
	65～69歳	39	41.0	28.2	17.9	28.2	28.2	-
	70～74歳	93	31.2	37.6	23.7	49.5	16.1	1.1
	75～79歳	189	36.5	38.1	25.4	39.7	19.0	3.2
	80～84歳	357	39.5	34.7	19.6	40.3	14.6	4.8
	85～89歳	470	40.4	37.9	20.0	41.1	14.0	5.1
	90歳以上	542	38.7	36.2	23.1	41.7	16.6	3.5
圏域別	富坂地区	577	40.7	36.2	21.8	36.2	16.8	5.0
	大塚地区	410	35.9	37.3	20.7	48.0	11.7	5.6
	本富士地区	395	40.5	31.9	20.8	38.2	15.7	4.6
	駒込地区	425	36.5	39.5	21.6	43.1	17.9	2.6
家族構成別	一人暮らし	424	36.8	28.3	17.5	37.5	20.0	4.2
	夫婦のみ	454	39.2	41.6	26.2	43.6	12.3	4.8
	子どもと二世帯同居	599	41.7	38.2	20.5	40.7	16.0	3.8
	親と二世帯同居	22	45.5	31.8	31.8	45.5	9.1	-
	三世帯以上同居	169	37.9	39.1	20.7	40.8	14.2	5.3
	その他	86	29.1	31.4	19.8	44.2	14.0	3.5
要介護度別	要介護1	775	39.1	35.0	22.5	41.0	14.8	4.0
	要介護2	449	41.4	38.8	22.5	38.8	16.9	4.7
	要介護3	272	39.0	35.3	19.1	43.0	15.4	3.7
	要介護4	96	29.2	36.5	16.7	51.0	15.6	3.1
	要介護5	72	26.4	45.8	26.4	55.6	13.9	-

問9 施設入所の検討状況

現時点での施設等への入所・入居の検討状況では、「入所・入居は検討していない」が63.6%で最も高く、以下、「入所・入居を検討している」が18.0%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が7.0%となっています。



第5章 在宅介護実態調査（郵送）

別では、特に目立った違いはありません。

年齢別でみると、「入所・入居を検討している」は、65歳未満で28.2%と比較的高くなっています。

圏域別でみると、「入所・入居を検討している」は、大塚地区で20.5%と僅かながら高くなっています。

家族構成別でみると、一人暮らしは、「入所・入居を検討している」が22.2%とやや高くなっています。

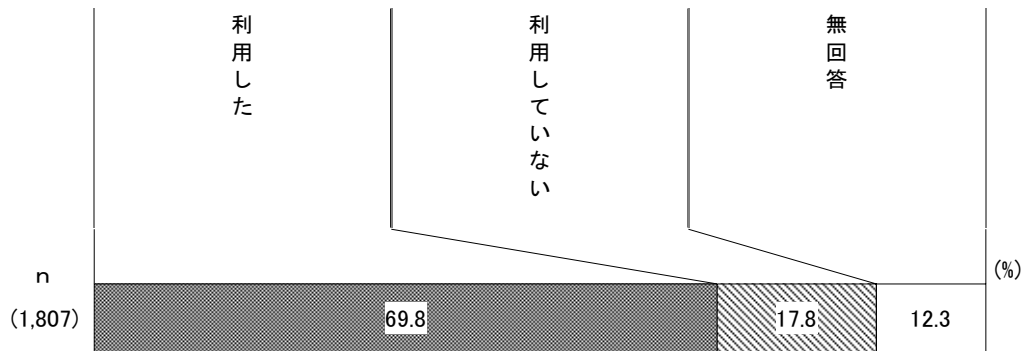
要介護度別でみると、「すでに入所・入居申し込みをしている」は、介護度とともに高くなっています。

【施設入所の検討状況／性別、年齢別、圏域別、家族構成別、要介護度別】

		n	入所・入居は検討していない	入所・入居を検討している	すでに入所・入居申し込みをしている	無回答
全体		1,807	63.6	18.0	7.0	11.4
性別	男性	611	61.7	17.2	7.0	14.1
	女性	1,196	64.5	18.5	6.9	10.0
年齢別	65歳未満	39	56.4	28.2	5.1	10.3
	65～69歳	39	82.1	12.8	-	5.1
	70～74歳	93	75.3	12.9	6.5	5.4
	75～79歳	189	59.8	19.6	7.9	12.7
	80～84歳	357	63.3	19.0	6.7	10.9
	85～89歳	470	68.1	15.5	5.1	11.3
	90歳以上	542	60.3	19.6	9.2	10.9
圏域別	富坂地区	577	65.7	18.7	6.2	9.4
	大塚地区	410	58.3	20.5	7.8	13.4
	本富士地区	395	65.1	15.2	6.6	13.2
	駒込地区	425	64.5	17.4	7.5	10.6
家族構成別	一人暮らし	424	59.2	22.2	5.4	13.2
	夫婦のみ	454	63.9	17.0	5.3	13.9
	子どもと二世帯同居	599	69.3	15.9	6.3	8.5
	親と二世帯同居	22	63.6	18.2	9.1	9.1
	三世帯以上同居	169	66.9	20.1	5.3	7.7
	その他	86	51.2	14.0	25.6	9.3
要介護度別	要介護1	775	67.2	17.5	3.1	12.1
	要介護2	449	67.3	18.0	2.9	11.8
	要介護3	272	57.4	23.9	14.7	4.0
	要介護4	96	52.1	16.7	22.9	8.3
	要介護5	72	48.6	9.7	26.4	15.3

問10 介護保険サービスの利用状況

介護保険サービス最近の1か月の利用状況では、「利用した」が69.8%、「利用していない」が17.8%となっています。



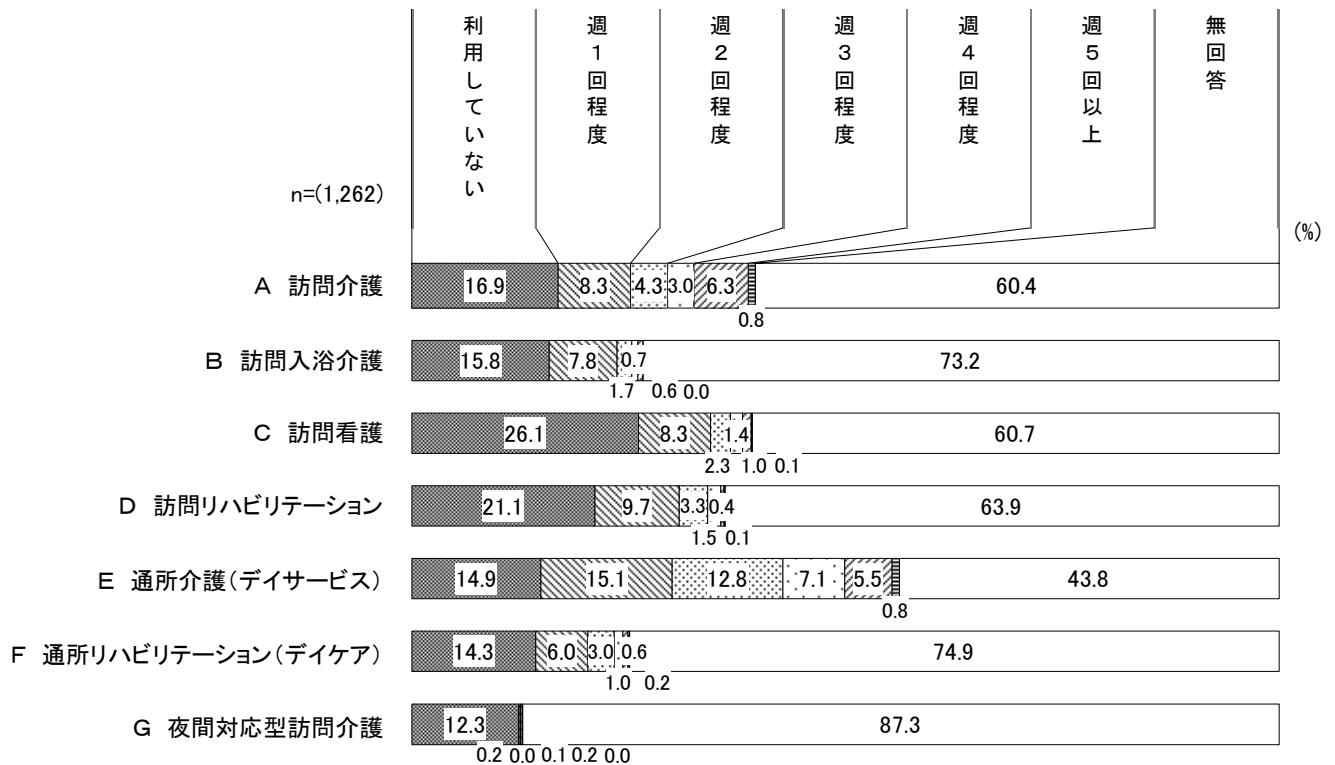
性別、圏域別、家族構成別では、特に目立った違いはありません。
 年齢別でみると、「利用した」は、65～69歳で61.5%とやや低くなっています。
 要介護度別でみると、「利用した」は、要介護2や要介護3で高く、要介護5では55.6%とやや低くなっています。

【介護保険サービスの利用状況／性別、年齢別、圏域別、家族構成別、要介護度別】

		n	利用した (%)	利用していない (%)	無回答 (%)
全体		1,807	69.8	17.8	12.3
性別	男性	611	66.8	20.1	13.1
	女性	1,196	71.4	16.6	12.0
年齢別	65歳未満	39	74.4	15.4	10.3
	65～69歳	39	61.5	28.2	10.3
	70～74歳	93	72.0	21.5	6.5
	75～79歳	189	67.7	21.7	10.6
	80～84歳	357	68.1	20.4	11.5
	85～89歳	470	71.5	14.5	14.0
	90歳以上	542	74.0	15.5	10.5
圏域別	富坂地区	577	68.8	18.2	13.0
	大塚地区	410	67.3	18.8	13.9
	本富士地区	395	73.4	15.2	11.4
	駒込地区	425	70.4	18.8	10.8
家族構成別	一人暮らし	424	70.8	16.0	13.2
	夫婦のみ	454	65.2	20.0	14.8
	子どもと二世帯同居	599	73.6	16.9	9.5
	親と二世帯同居	22	90.9	4.5	4.5
	三世帯以上同居	169	71.0	17.2	11.8
	その他	86	60.5	30.2	9.3
要介護度別	要介護1	775	68.8	19.7	11.5
	要介護2	449	75.7	12.5	11.8
	要介護3	272	80.5	9.6	9.9
	要介護4	96	71.9	20.8	7.3
	要介護5	72	55.6	33.3	11.1

問10-1 利用したサービス

利用したサービスをみると、「通所介護（デイサービス）」が高く、「週1回程度」が15.1%、「週2回程度」が12.8%、「週3回程度」が7.1%となっています。



A 訪問介護

圏域別でみると、「週5回以上」は、大塚地区で、週1～4回はいずれも本富士地区でやや高くなっています。
要介護度別でみると、週3回以上は、いずれも介護度が上がるほど高い傾向にあります。

【利用したサービス・訪問介護／圏域別、要介護度別】

		n	利用して いない	週1回程 度	週2回程 度	週3回程 度	週4回程 度	週5回以 上	無回答
全体		1,262	16.9	8.3	4.3	3.0	6.3	0.8	60.4
圏域 別	富坂地区	397	19.1	8.8	3.5	3.5	6.0	0.5	58.4
	大塚地区	276	19.9	6.9	4.7	0.7	5.4	1.4	60.9
	本富士地区	290	15.5	9.0	5.2	4.1	9.7	0.7	55.9
	駒込地区	299	12.4	8.4	4.0	3.3	4.3	0.7	66.9
要介 護度 別	要介護1	533	21.0	9.9	4.1	2.4	2.1	-	60.4
	要介護2	340	13.5	8.8	3.8	2.6	5.0	0.3	65.9
	要介護3	219	13.7	6.4	5.9	4.6	11.4	1.8	56.2
	要介護4	69	15.9	2.9	5.8	4.3	18.8	2.9	49.3
	要介護5	40	15.0	5.0	2.5	5.0	27.5	7.5	37.5

B 訪問入浴介護

圏域別でみると、「週1回程度」は、駒込地区でやや高くなっています。
要介護度別でみると、「週1回程度」は、介護度が上がるほど高くなっています。

【利用したサービス・訪問入浴介護／圏域別、要介護度別】

		n	利用して いない	週1回程 度	週2回程 度	週3回程 度	週4回程 度	週5回以 上	無回答
全 体		1,262	15.8	7.8	1.7	0.7	0.6	-	73.2
圏域 別	富坂地区	397	18.6	7.6	1.0	0.3	0.3	-	72.3
	大塚地区	276	17.0	7.2	1.8	0.4	0.7	-	72.8
	本富士地区	290	13.8	6.6	2.8	1.0	1.4	-	74.5
	駒込地区	299	13.0	10.0	1.7	1.3	0.3	-	73.6
要介 護度 別	要介護1	533	14.4	4.9	0.4	0.4	0.2	-	79.7
	要介護2	340	14.4	7.9	2.1	1.8	0.6	-	73.2
	要介護3	219	19.6	12.3	4.1	0.5	0.9	-	62.6
	要介護4	69	18.8	13.0	2.9	-	-	-	65.2
	要介護5	40	30.0	17.5	2.5	-	5.0	-	45.0

C 訪問看護

圏域別でみると、「利用していない」は、駒込地区でやや低くなっています。
要介護度別でみると、「週1回程度」は、要介護3及び5で、週2回から4回程度はいずれも要介護5で高くなっています。

【利用したサービス・訪問看護／圏域別、要介護度別】

		n	利用して いない	週1回程 度	週2回程 度	週3回程 度	週4回程 度	週5回以 上	無回答
全 体		1,262	26.1	8.3	2.3	1.4	1.0	0.1	60.7
圏域 別	富坂地区	397	29.7	8.8	2.5	1.0	1.3	-	56.7
	大塚地区	276	27.5	7.2	3.6	1.4	0.7	-	59.4
	本富士地区	290	27.9	9.3	1.4	1.7	1.4	-	58.3
	駒込地区	299	18.4	7.7	1.7	1.7	0.7	0.3	69.6
要介 護度 別	要介護1	533	23.6	6.6	1.7	0.9	0.6	-	66.6
	要介護2	340	25.3	6.2	1.5	1.5	0.3	-	65.3
	要介護3	219	28.8	14.6	4.1	0.5	1.4	0.5	50.2
	要介護4	69	36.2	8.7	1.4	4.3	1.4	-	47.8
	要介護5	40	37.5	17.5	10.0	7.5	12.5	-	15.0

第5章 在宅介護実態調査（郵送）

D 訪問リハビリテーション

圏域別では、特に目立った違いはありません。
要介護度別でみると、「週1回程度」は、介護度が上がるほど高くなっています。

【利用したサービス・訪問リハビリテーション／圏域別、要介護度別】

		n	利用して いない	週1回程 度	週2回程 度	週3回程 度	週4回程 度	週5回以 上	無回答	(%)
全 体		1,262	21.1	9.7	3.3	1.5	0.4	0.1	63.9	
圏域 別	富坂地区	397	21.7	10.6	3.3	1.3	0.3	-	63.0	
	大塚地区	276	21.4	10.1	2.5	0.7	-	0.4	64.9	
	本富士地区	290	20.7	10.7	4.1	2.8	1.0	-	60.7	
	駒込地区	299	20.4	7.4	3.3	1.3	0.3	-	67.2	
要介 護度 別	要介護1	533	16.3	8.4	2.8	0.9	0.4	-	71.1	
	要介護2	340	23.2	8.2	3.8	2.6	-	-	62.1	
	要介護3	219	24.7	11.4	3.7	0.5	1.4	0.5	58.0	
	要介護4	69	31.9	13.0	2.9	2.9	-	-	49.3	
	要介護5	40	35.0	20.0	7.5	2.5	-	-	35.0	

E 通所介護（デイサービス）

圏域別及び要介護度別では、特に目立った違いはありません。

【利用したサービス・通所介護（デイサービス）／圏域別、要介護度別】

		n	利用して いない	週1回程 度	週2回程 度	週3回程 度	週4回程 度	週5回以 上	無回答	(%)
全 体		1,262	14.9	15.1	12.8	7.1	5.5	0.8	43.8	
圏域 別	富坂地区	397	14.4	13.4	11.3	9.1	4.5	0.8	46.6	
	大塚地区	276	16.7	13.0	11.6	5.1	7.2	1.1	45.3	
	本富士地区	290	15.5	16.2	11.7	6.9	5.2	0.7	43.8	
	駒込地区	299	13.4	18.1	17.1	6.4	5.7	0.7	38.8	
要介 護度 別	要介護1	533	16.9	15.6	12.6	5.6	2.3	0.4	46.7	
	要介護2	340	13.8	15.3	14.7	7.9	7.1	0.3	40.9	
	要介護3	219	14.2	14.2	14.2	8.7	10.5	1.8	36.5	
	要介護4	69	11.6	15.9	8.7	10.1	5.8	2.9	44.9	
	要介護5	40	15.0	10.0	5.0	2.5	10.0	2.5	55.0	

F 通所リハビリテーション（デイケア）

圏域別では、特に目立った違いはありません。
要介護度別で見ると、「週1回程度」は、介護度が下がるほどやや高くなる傾向あります。

【利用したサービス・通所リハビリテーション（デイケア）／圏域別、要介護度別】

		n	利用して いない	週1回程 度	週2回程 度	週3回程 度	週4回程 度	週5回以 上	無回答
全 体		1,262	14.3	6.0	3.0	1.0	0.6	0.2	74.9
圏域 別	富坂地区	397	14.9	6.3	6.0	0.5	0.5	0.3	71.5
	大塚地区	276	15.6	8.3	1.8	1.4	1.4	-	71.4
	本富士地区	290	12.8	4.8	1.0	1.0	0.3	0.7	79.3
	駒込地区	299	13.7	4.7	2.0	1.0	0.3	-	78.3
要介 護度 別	要介護1	533	13.1	6.6	3.4	0.8	0.2	0.4	75.6
	要介護2	340	13.8	6.5	2.6	0.9	1.2	-	75.0
	要介護3	219	16.4	5.9	3.7	0.9	0.5	-	72.6
	要介護4	69	17.4	2.9	-	4.3	1.4	1.4	72.5
	要介護5	40	17.5	2.5	2.5	-	-	-	77.5

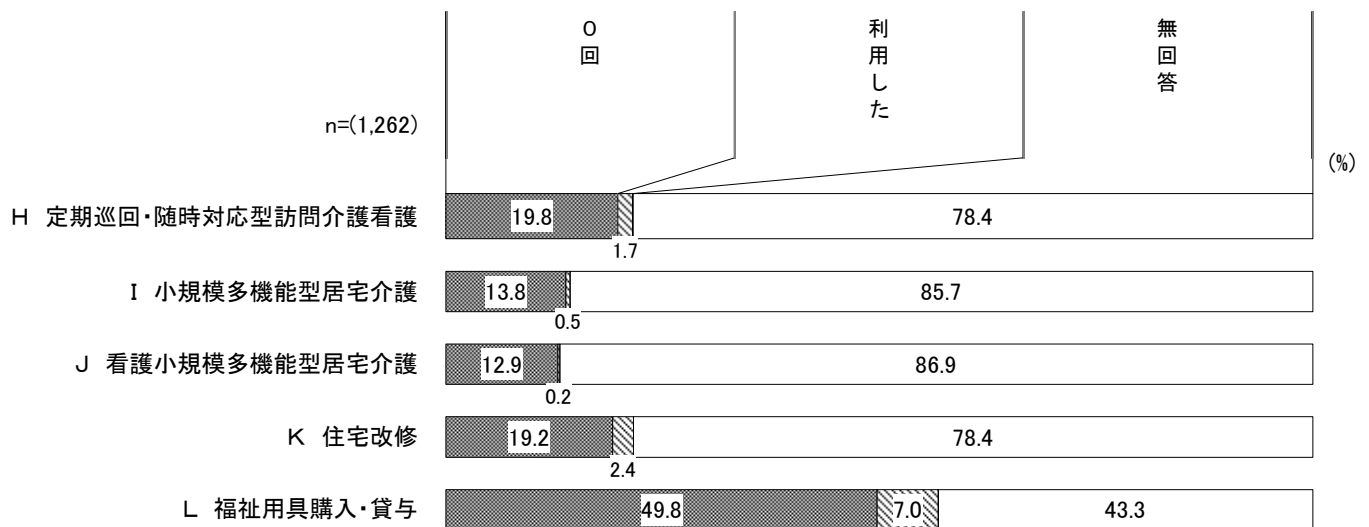
G 夜間対応型訪問介護

圏域別では、無回答が多く、傾向がつかみにくくなっています。
要介護度別では、無回答が多く、傾向がつかみにくくなっています。

【利用したサービス・夜間対応型訪問介護／圏域別、要介護度別】

		n	利用して いない	週1回程 度	週2回程 度	週3回程 度	週4回程 度	週5回以 上	無回答
全 体		1,262	12.3	0.2	-	0.1	0.2	-	87.3
圏域 別	富坂地区	397	13.9	-	-	-	0.3	-	85.9
	大塚地区	276	14.5	-	-	-	-	-	85.5
	本富士地区	290	11.7	0.7	-	0.3	-	-	87.2
	駒込地区	299	8.7	-	-	-	0.3	-	91.0
要介 護度 別	要介護1	533	12.0	-	-	-	-	-	88.0
	要介護2	340	10.6	0.3	-	-	-	-	89.1
	要介護3	219	16.4	0.5	-	-	0.9	-	82.2
	要介護4	69	13.0	-	-	1.4	-	-	85.5
	要介護5	40	20.0	-	-	-	-	-	80.0

「福祉用具購入・貸与」で、「利用した」が7.0%となっています。



H 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

圏域別でみると、「0回」は、駒込地区で16.1%とやや低くなっています。
要介護度別でみると、「0回」は、介護度とともに高くなる傾向にあります。

【利用したサービス・定期巡回・随時対応型訪問介護看護／圏域別、要介護度別】

		n	（%）		
			0回	利用した	無回答
全体		1,262	19.8	1.7	78.4
圏域別	富坂地区	397	21.2	1.3	77.6
	大塚地区	276	21.4	1.8	76.8
	本富士地区	290	20.3	3.1	76.6
	駒込地区	299	16.1	1.0	82.9
要介護度別	要介護1	533	17.6	1.5	80.9
	要介護2	340	19.7	1.5	78.8
	要介護3	219	22.8	2.3	74.9
	要介護4	69	23.2	2.9	73.9
	要介護5	40	37.5	2.5	60.0

I 小規模多機能型居宅介護

圏域別でみると、「0回」は、駒込地区で10.0%とやや低くなっています。
要介護度別でみると、「0回」は、介護度とともに高くなる傾向にあります。

【利用したサービス種別・小規模多機能型居宅介護／圏域別、要介護度別】

		n	（%）		
			0回	利用した	無回答
全体		1,262	13.8	0.5	85.7
圏域別	富坂地区	397	15.4	0.3	84.4
	大塚地区	276	16.7	1.1	82.2
	本富士地区	290	12.8	0.7	86.6
	駒込地区	299	10.0	-	90.0
要介護度別	要介護1	533	12.4	-	87.6
	要介護2	340	13.2	-	86.8
	要介護3	219	17.8	2.3	79.9
	要介護4	69	15.9	1.4	82.6
	要介護5	40	30.0	-	70.0

J 看護小規模多機能型居宅介護

圏域別でみると、「0回」は、本富士地区や駒込地区でやや低くなっています。
要介護度別でみると、「0回」は、介護度とともに高くなる傾向にあります。

【利用したサービス種別・看護小規模多機能型居宅介護／圏域別、要介護度別】

		n	（%）		
			0回	利用した	無回答
全体		1,262	12.9	0.2	86.9
圏域別	富坂地区	397	14.9	-	85.1
	大塚地区	276	15.2	-	84.8
	本富士地区	290	11.0	0.7	88.3
	駒込地区	299	10.0	-	90.0
要介護度別	要介護1	533	11.6	-	88.4
	要介護2	340	12.1	0.3	87.6
	要介護3	219	16.9	0.5	82.6
	要介護4	69	17.4	-	82.6
	要介護5	40	25.0	-	75.0

K 住宅改修

圏域別でみると、「0回」は、本富士地区や駒込地区でやや低くなっています。
要介護度別でみると、「0回」は、介護度とともに高くなる傾向にあります。

【利用したサービス種別・住宅改修／圏域別、要介護度別】

		n	0回	利用した	無回答
全体		1,262	19.2	2.4	78.4
圏域別	富坂地区	397	22.9	2.0	75.1
	大塚地区	276	21.0	2.5	76.4
	本富士地区	290	16.2	3.1	80.7
	駒込地区	299	15.4	2.0	82.6
要介護度別	要介護1	533	18.4	1.9	79.7
	要介護2	340	16.2	2.9	80.9
	要介護3	219	26.5	3.7	69.9
	要介護4	69	21.7	2.9	75.4
	要介護5	40	30.0	-	70.0

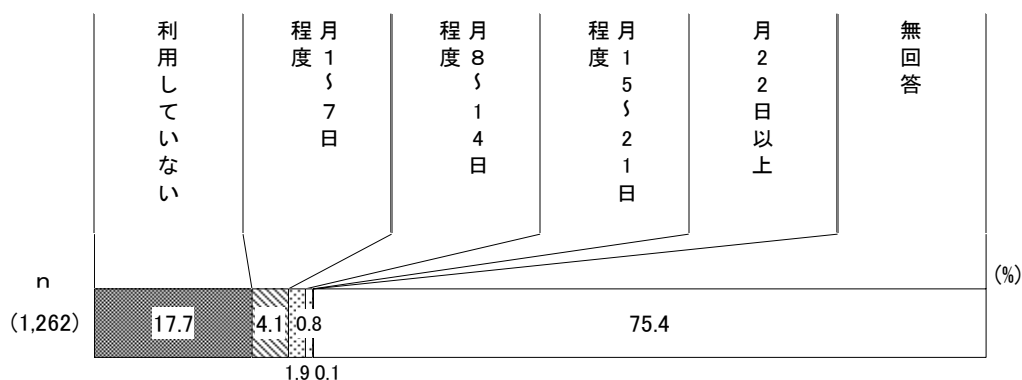
L 福祉用具購入・貸与

圏域別では、特に目立った違いはありません。
要介護度別でみると、「0回」は、介護度とともに高くなる傾向にあります。

【利用したサービス種別・福祉用具購入・貸与／圏域別、要介護度別】

		n	0回	利用した	無回答
全体		1,262	49.8	7.0	43.3
圏域別	富坂地区	397	47.9	8.8	43.3
	大塚地区	276	53.3	6.9	39.9
	本富士地区	290	47.6	6.2	46.2
	駒込地区	299	51.2	5.4	43.5
要介護度別	要介護1	533	41.8	5.4	52.7
	要介護2	340	55.0	5.9	39.1
	要介護3	219	56.6	12.3	31.1
	要介護4	69	60.9	7.2	31.9
	要介護5	40	60.0	15.0	25.0

「ショートステイ」の利用頻度を聞いたところ、「利用していない」が17.7%となっています。



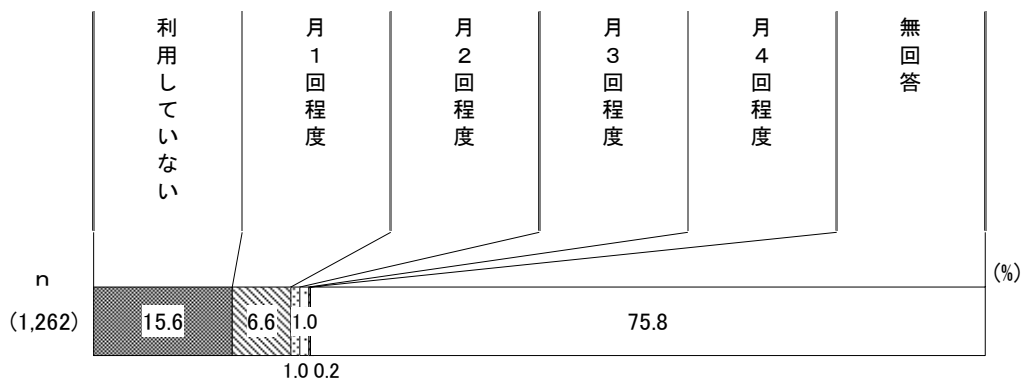
M ショートステイ

圏域別でみると、「利用していない」は、大塚地区で22.5%とやや高くなっています。
要介護度別でみると、「利用していない」は、介護度とともに高くなる傾向にあります。

【利用したサービス種別・ショートステイ／圏域別、要介護度別】

		n	利用して いない	月1~7 日程度	月8~14 日程度	月15~ 21日程	月22日 以上	無回答
全 体		1,262	17.7	4.1	1.9	0.8	0.1	75.4
圏域 別	富坂地区	397	18.1	3.3	2.5	0.8	0.3	75.1
	大塚地区	276	22.5	3.3	1.4	1.1	-	71.7
	本富士地区	290	17.6	4.1	1.7	0.7	-	75.9
	駒込地区	299	13.0	6.0	1.7	0.7	-	78.6
要介 護度 別	要介護1	533	15.4	2.3	1.3	-	-	81.1
	要介護2	340	18.2	3.5	1.2	1.2	-	75.9
	要介護3	219	24.7	7.8	3.7	0.5	0.5	63.0
	要介護4	69	20.3	7.2	4.3	4.3	-	63.8
	要介護5	40	25.0	5.0	2.5	5.0	-	62.5

「居宅療養管理指導」の利用頻度を聞いたところ、「利用していない」が15.6%となっています。



N 居宅療養管理指導

圏域別では、特に目立った違いはありません。
要介護度別でみると、「利用していない」は、要介護5で32.5%と高くなっています。

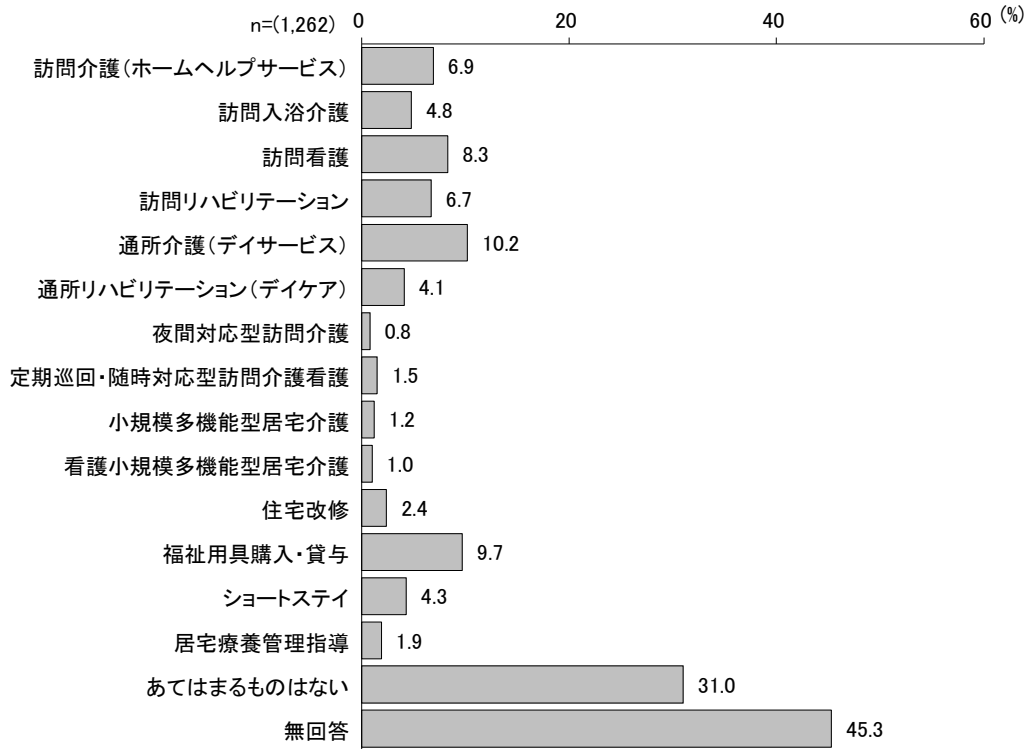
【利用したサービス種別・居宅療養管理指導／圏域別、要介護度別】

		n	利用して いない	月1回程 度	月2回程 度	月3回程 度	月4回程 度	無回答
全 体		1,262	15.6	6.6	1.0	1.0	0.2	75.8
圏域 別	富坂地区	397	16.6	7.6	1.5	0.8	-	73.6
	大塚地区	276	18.5	6.5	1.4	1.1	-	72.5
	本富士地区	290	14.8	6.9	0.7	1.0	0.7	75.9
	駒込地区	299	12.4	5.0	-	1.0	-	81.6
要介 護度 別	要介護1	533	14.6	3.8	1.5	0.9	0.2	79.0
	要介護2	340	15.6	6.8	0.3	0.3	-	77.1
	要介護3	219	16.4	10.5	0.9	1.4	-	70.8
	要介護4	69	18.8	11.6	1.4	-	-	68.1
	要介護5	40	32.5	15.0	-	2.5	2.5	47.5

問10-2 新型コロナウイルス感染症の影響によるサービスの利用状況

新型コロナウイルス感染症の影響により利用するようになったサービスとしては、「通所介護」が10.2%、「福祉用具購入・貸与」が9.7%、「訪問看護」が8.3%などとなっています。

（複数回答）



性別では、特に目立った違いはありません。

年齢別でみると、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」、「訪問リハビリテーション」は低年齢層で、「通所介護（デイサービス）」は、75歳以上の層で比較的高くなっています。

圏域別では、特に目立った違いはありません。

要介護度別でみると、要介護5は、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」、「訪問看護」、「福祉用具購入・貸与」、「居宅療養管理指導」で高くなっています。

**【新型コロナウイルス感染症の影響によるサービスの利用状況
／性別、年齢別、圏域別、要介護度別】**

(%)

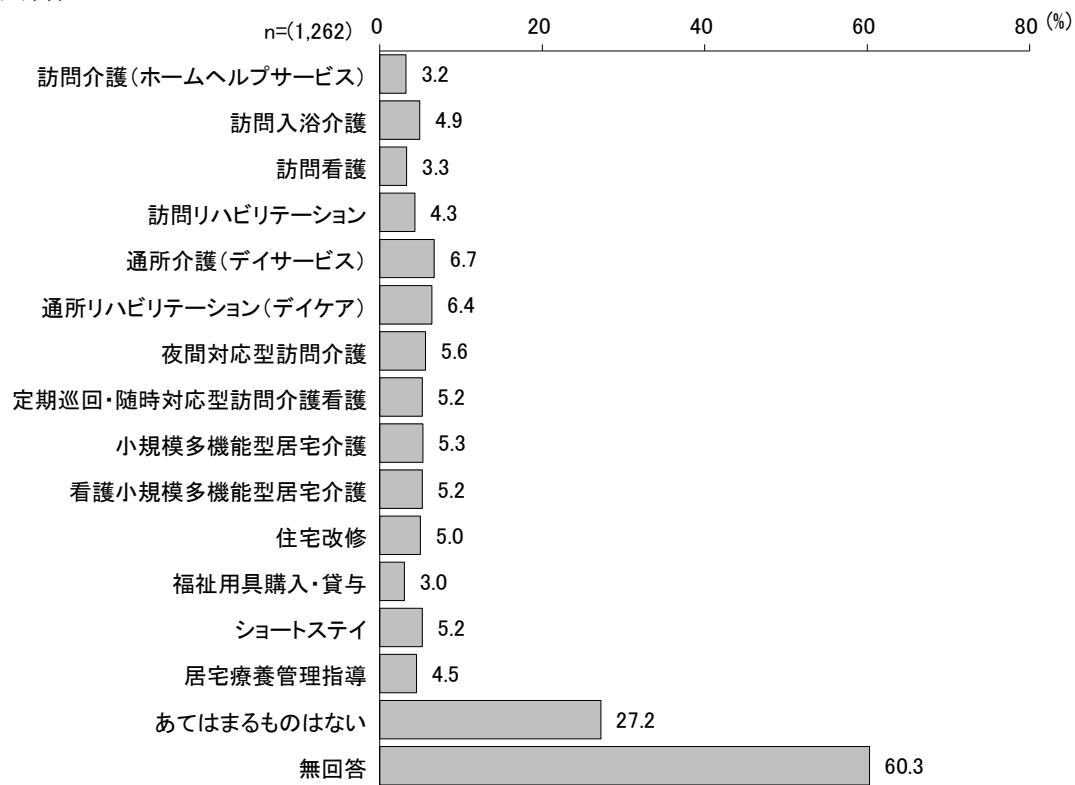
		n	訪問介護 (ホームヘルプ サービス)	訪問入 浴介護	訪問看 護	訪問リハ ビリテー ション	通所介 護(デイ サービス)	通所リハ ビリテー ション(デ イケア)	夜間対 応型訪 問介護	定期巡 回・随時 対応型 訪問介 護看護	小規模 多機能 型居宅 介護	看護小 規模多 機能型 居宅介 護
全体		1,262	6.9	4.8	8.3	6.7	10.2	4.1	0.8	1.5	1.2	1.0
性別	男性	408	4.7	5.4	9.8	9.3	11.0	4.9	0.7	1.5	0.7	0.2
	女性	854	8.0	4.6	7.6	5.5	9.8	3.7	0.8	1.5	1.4	1.3
年齢別	65歳未満	29	13.8	3.4	10.3	10.3	6.9	10.3	-	-	-	3.4
	65～69歳	24	4.2	-	8.3	12.5	4.2	8.3	4.2	4.2	4.2	-
	70～74歳	67	1.5	3.0	11.9	7.5	6.0	7.5	-	-	-	-
	75～79歳	128	3.9	3.1	6.3	7.8	13.3	4.7	0.8	0.8	0.8	0.8
	80～84歳	243	7.4	5.3	8.6	6.6	10.3	4.1	-	1.2	0.4	-
	85～89歳	336	6.5	4.8	8.0	7.4	11.6	3.6	2.1	1.8	0.9	1.5
	90歳以上	401	7.7	5.5	8.0	4.5	8.7	2.5	0.2	1.7	2.0	1.0
圏域別	富坂地区	397	7.8	3.8	8.1	6.0	11.1	5.5	0.3	2.0	1.3	1.0
	大塚地区	276	5.1	5.1	9.8	5.8	9.1	5.1	1.4	2.9	2.2	1.1
	本富士地区	290	8.3	6.6	9.7	7.9	9.0	2.8	1.4	1.0	1.4	1.4
	駒込地区	299	6.0	4.3	6.0	7.4	11.4	2.7	0.3	-	-	0.3
要介護度別	要介護1	533	6.2	2.4	6.4	5.1	6.9	4.3	0.4	0.6	-	-
	要介護2	340	4.7	5.3	6.8	8.2	12.6	4.1	0.9	0.6	0.9	0.9
	要介護3	219	10.0	8.7	12.3	6.8	14.6	3.2	1.4	3.7	3.7	2.3
	要介護4	69	7.2	4.3	8.7	4.3	7.2	1.4	1.4	4.3	1.4	1.4
	要介護5	40	15.0	10.0	22.5	10.0	10.0	5.0	2.5	5.0	5.0	5.0

		住宅改 修	福祉用 具購入・ 貸与	ショート ステイ	居宅療 養管理 指導	あてはま るものは ない	無回答
全体		2.4	9.7	4.3	1.9	31.0	45.3
性別	男性	2.2	13.0	4.2	2.0	20.6	50.2
	女性	2.5	8.1	4.3	1.9	35.9	43.0
年齢別	65歳未満	-	10.3	-	6.9	37.9	34.5
	65～69歳	-	4.2	4.2	-	37.5	37.5
	70～74歳	-	13.4	3.0	1.5	28.4	47.8
	75～79歳	3.1	8.6	6.3	0.8	34.4	41.4
	80～84歳	2.5	10.3	2.9	0.4	28.4	45.7
	85～89歳	2.7	9.5	5.7	2.4	29.5	46.4
	90歳以上	2.7	9.5	3.7	2.5	34.2	45.4
圏域別	富坂地区	2.3	11.8	3.3	2.8	31.7	43.1
	大塚地区	2.5	9.4	4.7	2.2	32.2	43.1
	本富士地区	3.4	6.9	4.8	1.4	27.9	51.0
	駒込地区	1.3	9.7	4.7	1.0	31.8	44.8
要介護度別	要介護1	2.1	6.9	1.9	0.6	33.8	46.0
	要介護2	2.6	12.9	5.3	1.8	27.9	46.2
	要介護3	3.7	10.5	7.3	3.7	31.1	41.6
	要介護4	1.4	8.7	5.8	2.9	34.8	43.5
	要介護5	2.5	20.0	10.0	10.0	32.5	40.0

第5章 在宅介護実態調査（郵送）

新型コロナウイルス感染症の影響により利用しなくなったサービスとしては、3～6%程度で多岐にわたり、突出しているものはありません。なお、「あてはまるものはない」は、27.2%となっています。

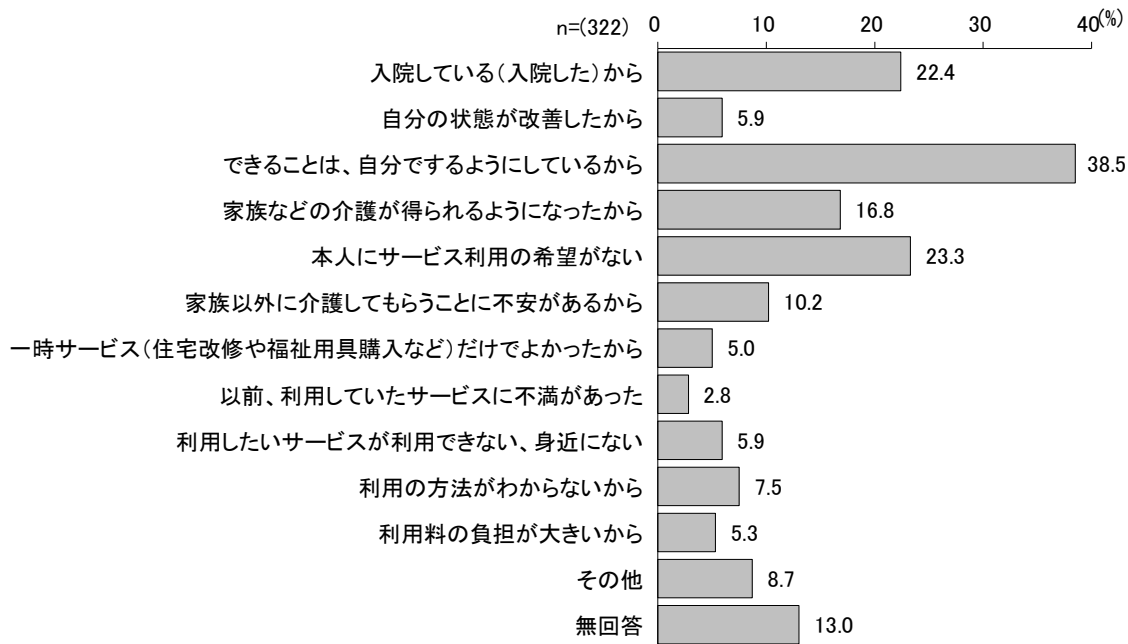
（複数回答）



問10-3 介護保険サービスを利用しない理由

介護保険サービスを利用していない理由では、「できることは、自分でするようにしているから」が38.5%で最も高く、以下、「本人にサービス利用の希望がない」が23.3%、「入院している（入院した）から」が22.4%、「家族などの介護が得られるようになったから」が16.8%となっています。

（複数回答）



性別では、特に目立った違いはありません。

年齢別でみると、75歳から89歳の層では、「できることは、自分でするようにしているから」が、90歳以上では、「入院している（入院した）から」や「本人にサービス利用の希望がない」が高くなっています。

圏域別でみると、駒込地区は、「入院している（入院した）から」や「できることは、自分でするようにしているから」がやや低くなっています。

家族構成別でみると、一人暮らし、夫婦のみ、子どもと二世帯同居は、「できることは、自分でするようにしているから」が、三世帯以上同居では、「本人にサービス利用の希望がない」が最も高くなっています。

要介護度別でみると、要介護1と2は、「できることは、自分でするようにしているから」、要介護3から5は、「入院している（入院した）から」が高い傾向となっています。

第5章 在宅介護実態調査（郵送）

【介護保険サービスを利用しない理由／性別、年齢別、圏域別、家族構成別、要介護度別】

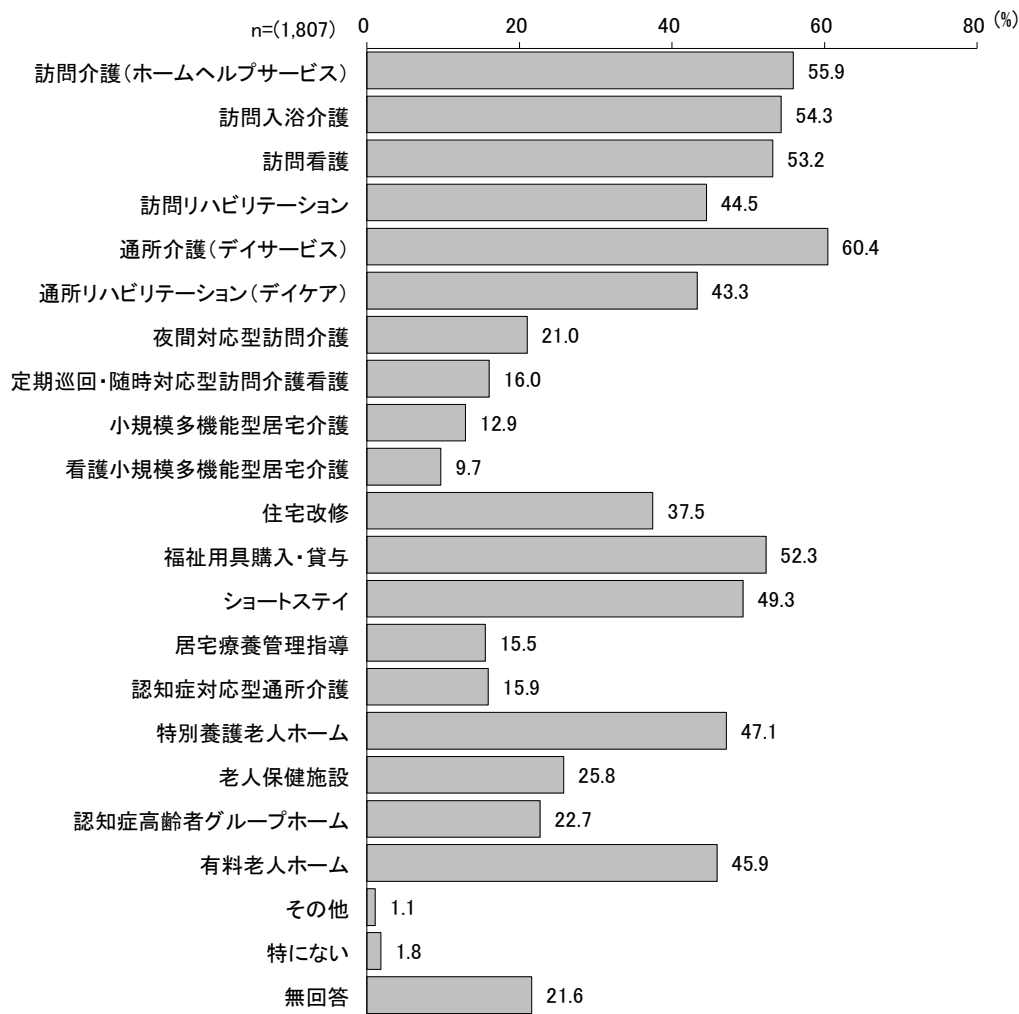
		n	入院している(入院した)から	自分の状態が改善したから	できることは、自分でしているから	家族などの介護が得られるようになったから	本人にサービス利用の希望がない	家族以外に介護してもらうことに不安があるから	一時サービス(住宅改修や福祉用具購入など)だけでよかったから	以前、利用していたサービスに不満があった	利用したいサービスが利用できない、身近にない	利用の方法がわからないから
全体		322	22.4	5.9	38.5	16.8	23.3	10.2	5.0	2.8	5.9	7.5
性別	男性	123	22.0	7.3	40.7	14.6	24.4	8.9	5.7	1.6	4.9	8.1
	女性	199	22.6	5.0	37.2	18.1	22.6	11.1	4.5	3.5	6.5	7.0
年齢別	65歳未満	6	50.0	-	-	-	16.7	-	-	-	-	16.7
	65～69歳	11	18.2	27.3	54.5	9.1	27.3	9.1	-	-	-	9.1
	70～74歳	20	40.0	10.0	35.0	10.0	10.0	5.0	5.0	-	-	10.0
	75～79歳	41	22.0	9.8	41.5	17.1	12.2	14.6	4.9	4.9	2.4	4.9
	80～84歳	73	16.4	5.5	43.8	12.3	27.4	11.0	4.1	1.4	12.3	11.0
	85～89歳	68	13.2	7.4	48.5	22.1	25.0	7.4	4.4	1.5	5.9	8.8
	90歳以上	84	29.8	-	27.4	17.9	28.6	11.9	7.1	6.0	4.8	2.4
圏域別	富坂地区	105	21.0	6.7	41.0	11.4	24.8	6.7	3.8	2.9	8.6	7.6
	大塚地区	77	24.7	6.5	40.3	19.5	26.0	11.7	3.9	2.6	6.5	6.5
	本富士地区	60	26.7	1.7	40.0	16.7	20.0	6.7	5.0	1.7	3.3	6.7
	駒込地区	80	18.8	7.5	32.5	21.3	21.3	16.3	7.5	3.8	3.8	8.8
家族構成別	一人暮らし	68	19.1	7.4	38.2	14.7	17.6	10.3	1.5	-	4.4	8.8
	夫婦のみ	91	15.4	9.9	49.5	15.4	25.3	14.3	4.4	2.2	4.4	9.9
	子どもと二世帯同居	101	23.8	2.0	36.6	23.8	24.8	7.9	8.9	6.9	7.9	5.9
	親と二世帯同居	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-
	三世帯以上同居	29	17.2	3.4	34.5	20.7	37.9	17.2	6.9	-	6.9	-
その他	26	61.5	3.8	15.4	-	11.5	-	-	-	7.7	11.5	
要介護度別	要介護1	153	7.8	5.9	52.3	19.0	32.7	11.8	7.2	3.3	6.5	7.2
	要介護2	56	5.4	12.5	35.7	19.6	23.2	12.5	5.4	5.4	5.4	10.7
	要介護3	26	46.2	3.8	26.9	19.2	11.5	11.5	3.8	3.8	7.7	-
	要介護4	20	80.0	-	5.0	5.0	-	5.0	-	-	5.0	-
	要介護5	24	95.8	-	4.2	4.2	4.2	4.2	-	-	-	4.2

		利用料の負担が大きいから	その他	無回答
全体		5.3	8.7	13.0
性別	男性	5.7	3.3	13.0
	女性	5.0	12.1	13.1
年齢別	65歳未満	-	-	16.7
	65～69歳	9.1	-	-
	70～74歳	-	15.0	5.0
	75～79歳	9.8	7.3	19.5
	80～84歳	6.8	12.3	12.3
	85～89歳	4.4	5.9	14.7
	90歳以上	3.6	8.3	10.7
圏域別	富坂地区	4.8	9.5	15.2
	大塚地区	9.1	7.8	11.7
	本富士地区	3.3	11.7	6.7
	駒込地区	3.8	6.3	16.3
家族構成別	一人暮らし	2.9	8.8	19.1
	夫婦のみ	6.6	5.5	14.3
	子どもと二世帯同居	6.9	9.9	8.9
	親と二世帯同居	-	-	-
	三世帯以上同居	-	10.3	3.4
その他	3.8	15.4	7.7	
要介護度別	要介護1	7.8	10.5	9.8
	要介護2	1.8	12.5	21.4
	要介護3	3.8	7.7	3.8
	要介護4	-	-	5.0
	要介護5	-	4.2	-

問11 認知している介護保険サービス

知っている介護サービスでは、「通所介護（デイサービス）」が60.4%で最も高く、以下、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」が55.9%、「訪問入浴介護」が54.3%、「訪問看護」が53.2%となっています。

（複数回答）



性別で見ると、すべてのサービスで女性の方が高く、中でも「訪問介護（ホームヘルプサービス）」、「訪問入浴介護」、「訪問看護」、「通所介護（デイサービス）」、「通所リハビリテーション（デイケア）」、「福祉用具購入・貸与」、「ショートステイ」、「有料老人ホーム」は、男性との差が10ポイント以上となっています。

年齢別で見ると、65～69歳では、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」が、他の年齢層は、いずれも「通所介護（デイサービス）」が最も高くなっています。

圏域別では、特に目立った違いはありません。

家族構成別で見ると、一人暮らしは、「通所介護（デイサービス）」とほぼ同率で「訪問介護（ホームヘルプサービス）」が高くなっています。

要介護度別で見ると、大部分のサービスで、要介護度が上がるほど高い傾向となっています。

第5章 在宅介護実態調査（郵送）

【認知している介護保険サービス／性別、年齢別、圏域別、家族構成別、要介護度別】

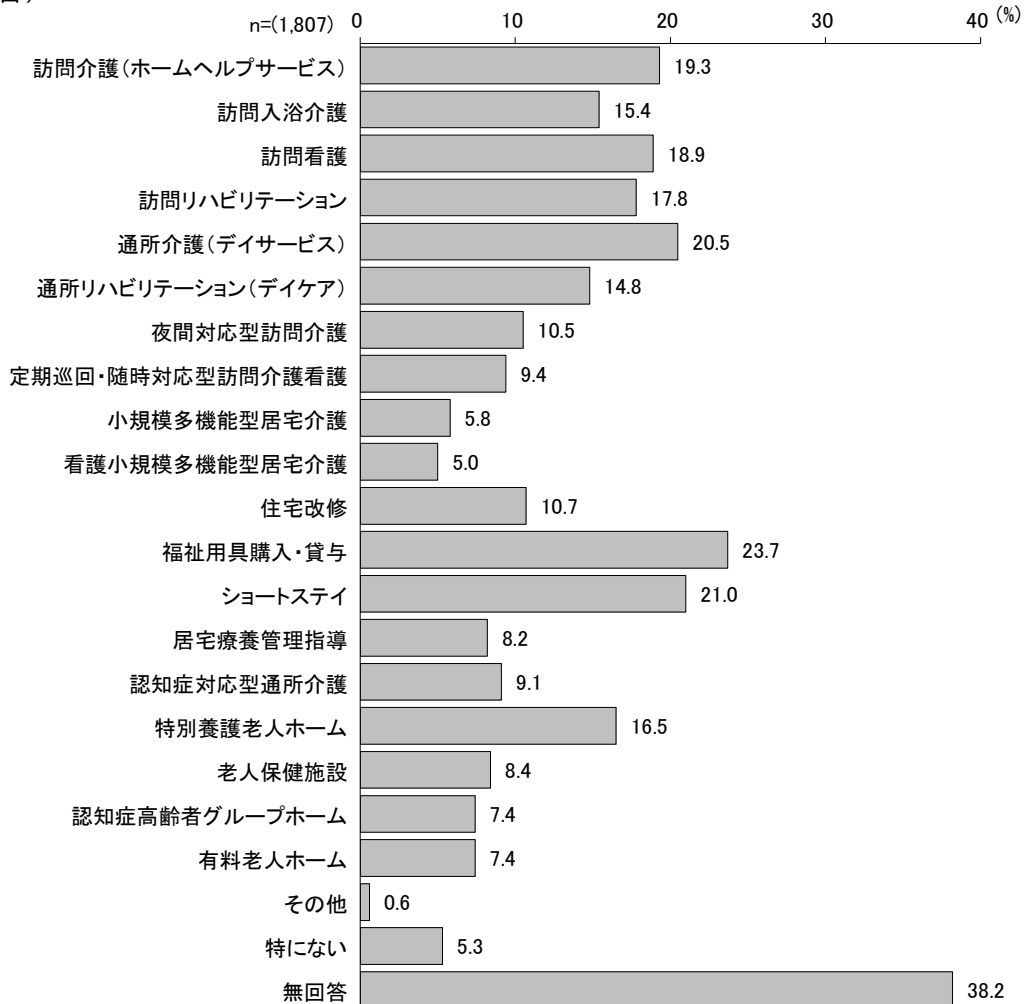
		n	訪問介護(ホームヘルプサービス)	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	通所介護(デイサービス)	通所リハビリテーション(デイケア)	夜間対応型訪問介護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護	(%) 住宅改修
全体		1,807	55.9	54.3	53.2	44.5	60.4	43.3	21.0	16.0	12.9	9.7	37.5
性別	男性	611	46.5	46.6	46.0	39.3	50.4	35.8	19.0	13.3	9.8	7.4	31.6
	女性	1,196	60.8	58.3	56.9	47.2	65.6	47.2	22.1	17.5	14.5	11.0	40.5
年齢別	65歳未満	39	74.4	71.8	69.2	76.9	76.9	66.7	41.0	30.8	35.9	23.1	56.4
	65～69歳	39	74.4	69.2	69.2	61.5	66.7	56.4	35.9	23.1	20.5	12.8	43.6
	70～74歳	93	54.8	55.9	52.7	45.2	62.4	39.8	19.4	16.1	10.8	7.5	35.5
	75～79歳	189	57.1	48.7	53.4	46.0	57.7	41.8	19.6	12.7	13.2	9.0	31.2
	80～84歳	357	53.5	52.4	52.4	45.4	59.7	45.4	20.7	16.5	14.6	10.9	36.7
	85～89歳	470	52.6	52.8	50.4	42.3	57.9	37.4	20.2	16.0	10.0	8.7	34.5
	90歳以上	542	60.0	58.7	57.0	45.4	65.5	48.5	21.4	16.1	13.8	10.3	43.0
圏域別	富坂地区	577	56.3	53.7	53.6	44.5	60.7	44.7	22.7	14.9	12.5	9.5	35.7
	大塚地区	410	55.1	53.2	52.2	45.9	61.0	45.6	19.0	16.8	14.4	10.0	38.5
	本富士地区	395	58.2	56.2	53.2	46.3	60.8	41.5	23.0	17.7	14.4	11.4	36.5
	駒込地区	425	54.1	54.6	53.6	41.6	59.3	40.9	18.8	15.3	10.6	8.2	39.8
家族構成別	一人暮らし	424	59.7	49.8	52.1	39.6	59.2	38.4	20.3	13.4	12.7	8.3	31.6
	夫婦のみ	454	48.9	50.9	49.6	42.1	54.6	38.1	19.4	16.1	9.9	8.1	31.9
	子どもと二世帯同居	599	58.4	59.4	55.9	48.9	65.8	50.4	23.5	16.7	14.9	11.5	44.2
	親と二世帯同居	22	59.1	63.6	68.2	68.2	68.2	54.5	36.4	36.4	27.3	22.7	50.0
	三世帯以上同居	169	60.9	60.9	58.0	53.3	68.6	50.3	20.7	18.3	13.6	10.7	45.6
	その他	86	54.7	53.5	52.3	39.5	54.7	43.0	20.9	19.8	16.3	11.6	39.5
要介護度別	要介護1	775	55.7	53.0	51.0	41.0	59.1	40.6	19.7	13.5	12.0	9.0	34.8
	要介護2	449	53.2	53.5	51.7	43.7	61.5	43.0	17.6	14.5	10.9	8.0	35.6
	要介護3	272	61.0	61.8	62.5	52.9	66.5	47.8	28.7	19.5	16.9	11.4	46.3
	要介護4	96	63.5	57.3	60.4	57.3	69.8	56.3	27.1	26.0	22.9	17.7	47.9
	要介護5	72	73.6	73.6	75.0	70.8	70.8	66.7	31.9	27.8	19.4	18.1	54.2

		福祉用具購入・貸与	ショートステイ	居宅療養管理指導	認知症対応型通所介護	特別養護老人ホーム	老人保健施設	認知症高齢者グループホーム	有料老人ホーム	その他	特になし	無回答
全体		52.3	49.3	15.5	15.9	47.1	25.8	22.7	45.9	1.1	1.8	21.6
性別	男性	43.2	40.9	13.3	12.6	41.1	22.6	17.2	39.1	0.8	1.6	29.3
	女性	56.9	53.6	16.6	17.6	50.3	27.4	25.6	49.4	1.2	1.8	17.7
年齢別	65歳未満	61.5	61.5	25.6	28.2	61.5	35.9	33.3	59.0	-	-	15.4
	65～69歳	64.1	56.4	23.1	23.1	56.4	30.8	25.6	59.0	2.6	-	12.8
	70～74歳	46.2	43.0	14.0	11.8	43.0	23.7	17.2	38.7	1.1	2.2	17.2
	75～79歳	46.6	50.3	14.8	18.5	47.6	28.6	21.2	40.7	1.1	0.5	21.7
	80～84歳	49.0	47.3	14.6	16.8	47.1	27.2	23.5	46.8	1.4	1.7	23.5
	85～89歳	53.0	48.5	14.3	14.3	45.5	23.2	22.3	44.0	0.4	2.3	23.2
	90歳以上	58.5	53.5	18.1	16.1	50.9	27.5	25.1	51.3	1.3	2.2	17.9
圏域別	富坂地区	53.4	50.6	14.7	15.9	47.8	27.6	22.4	46.6	0.9	1.6	22.0
	大塚地区	52.0	51.0	15.4	17.3	47.8	26.8	24.9	46.6	1.2	1.7	22.2
	本富士地区	51.1	47.3	18.2	17.0	41.3	24.3	20.5	41.8	1.0	0.8	21.0
	駒込地区	52.2	47.8	14.1	13.4	51.1	23.8	23.3	48.2	1.2	3.1	21.2
家族構成別	一人暮らし	51.7	44.6	12.7	13.2	43.6	27.4	23.3	44.6	0.9	1.9	20.8
	夫婦のみ	47.4	45.2	14.1	15.2	40.5	21.8	19.2	41.4	0.7	0.4	28.2
	子どもと二世帯同居	55.8	53.1	17.7	17.9	52.3	27.7	24.4	50.8	1.5	2.3	17.5
	親と二世帯同居	54.5	59.1	27.3	27.3	54.5	40.9	31.8	50.0	-	-	22.7
	三世帯以上同居	60.4	59.2	18.3	18.9	56.8	26.6	27.2	50.9	0.6	1.8	14.8
	その他	52.3	51.2	16.3	15.1	52.3	30.2	23.3	45.3	1.2	4.7	26.7
要介護度別	要介護1	47.7	47.0	13.2	13.0	45.0	23.4	21.0	45.5	0.9	2.2	21.4
	要介護2	55.9	49.0	12.9	15.4	49.7	24.9	22.9	43.9	1.1	1.1	21.6
	要介護3	61.4	58.1	22.1	22.4	52.6	33.1	30.9	52.2	1.8	1.1	16.9
	要介護4	62.5	57.3	30.2	25.0	52.1	39.6	31.3	55.2	-	4.2	17.7
	要介護5	68.1	65.3	25.0	22.2	66.7	36.1	26.4	61.1	-	1.4	15.3

問12 今後利用したい介護保険サービス

利用したい介護サービスでは、「福祉用具購入・貸与」が23.7%で最も高く、以下、「ショートステイ」が21.0%、「通所介護（デイサービス）」が20.5%、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」が19.3%となっています。

（複数回答）



性別で見ると、女性は、男性よりも「通所介護（デイサービス）」で10.8ポイント高くなっています。

年齢別で見ると、80歳以上の層では、いずれも「福祉用具購入・貸与」が最も高くなっています。

圏域別では、特に目立った違いはありません。

家族構成別で見ると、三世代以上同居は、「通所介護（デイサービス）」と「ショートステイ」がいずれも33.1%と高くなっています。

要介護度別で見ると、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」、「訪問入浴介護」、「訪問看護」、「居宅療養管理指導」は、要介護度とともに高い傾向にあります。また、要介護5は、「夜間対応型訪問介護」、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」、「住宅改修」においても、他の層より高くなっています。

第5章 在宅介護実態調査（郵送）

【今後利用したい介護保険サービス／性別、年齢別、圏域別、家族構成別、要介護度別】

		n	訪問介護(ホームヘルプサービス)	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	通所介護(デイサービス)	通所リハビリテーション(デイケア)	夜間対応型訪問介護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護	(%) 住宅改修
全体		1,807	19.3	15.4	18.9	17.8	20.5	14.8	10.5	9.4	5.8	5.0	10.7
性別	男性	611	16.5	14.9	19.0	18.5	13.4	14.4	9.3	7.5	4.1	3.1	8.8
	女性	1,196	20.7	15.6	18.8	17.5	24.2	15.1	11.1	10.4	6.6	5.9	11.6
年齢別	65歳未満	39	38.5	25.6	43.6	41.0	20.5	23.1	15.4	12.8	7.7	7.7	25.6
	65～69歳	39	23.1	15.4	17.9	23.1	-	12.8	10.3	5.1	10.3	7.7	12.8
	70～74歳	93	18.3	9.7	19.4	18.3	18.3	19.4	8.6	9.7	3.2	3.2	9.7
	75～79歳	189	20.1	11.6	16.9	16.9	16.9	11.1	10.1	10.1	4.8	4.8	12.2
	80～84歳	357	16.8	13.4	18.5	17.9	19.3	14.6	7.6	8.1	5.3	3.6	10.4
	85～89歳	470	21.1	16.2	20.4	19.1	23.0	17.2	13.4	11.7	6.2	5.7	10.4
	90歳以上	542	18.6	17.7	17.3	15.3	22.1	12.9	10.5	8.1	6.1	5.5	10.1
圏域別	富坂地区	577	19.6	15.3	19.9	17.9	21.0	15.6	11.4	9.4	6.9	5.4	9.5
	大塚地区	410	19.8	13.4	18.0	19.0	19.8	15.6	9.0	8.5	6.3	5.6	12.2
	本富士地区	395	18.7	16.2	17.0	18.0	19.7	12.7	10.9	9.9	4.8	4.6	10.6
	駒込地区	425	19.1	16.7	20.0	16.5	21.4	15.1	10.4	9.9	4.5	4.2	10.8
家族構成別	一人暮らし	424	23.6	12.7	17.2	15.8	17.0	11.8	12.3	9.2	5.9	5.7	8.3
	夫婦のみ	454	17.6	15.2	19.6	20.3	17.4	14.8	9.9	9.3	4.6	3.5	9.0
	子どもと二世帯同居	599	18.0	16.2	20.2	18.4	23.2	16.9	10.5	9.7	6.3	5.8	13.0
	親と二世帯同居	22	31.8	18.2	40.9	22.7	31.8	22.7	9.1	13.6	9.1	4.5	9.1
	三世帯以上同居	169	19.5	20.1	20.1	18.9	33.1	18.3	10.1	8.9	5.9	4.1	11.2
	その他	86	14.0	16.3	10.5	11.6	15.1	10.5	8.1	12.8	9.3	8.1	15.1
要介護度別	要介護1	775	19.5	12.8	17.8	17.4	20.1	15.0	9.7	8.8	4.3	3.4	8.4
	要介護2	449	18.5	15.1	19.6	16.7	21.4	15.4	10.5	9.6	7.8	6.7	11.6
	要介護3	272	18.4	16.5	18.0	17.3	23.2	12.9	10.7	8.5	7.7	6.3	14.3
	要介護4	96	20.8	26.0	19.8	27.1	20.8	14.6	10.4	9.4	5.2	7.3	13.5
	要介護5	72	33.3	30.6	36.1	25.0	16.7	18.1	22.2	18.1	8.3	8.3	19.4

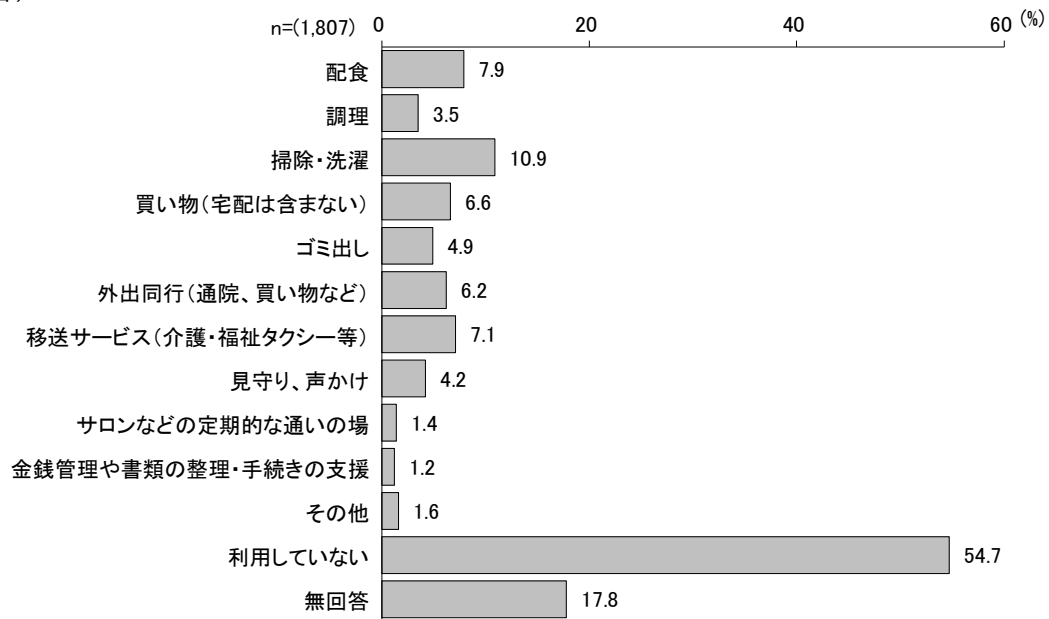
		福祉用具購入・貸与	ショートステイ	居宅療養管理指導	認知症対応型通所介護	特別養護老人ホーム	老人保健施設	認知症高齢者グループホーム	有料老人ホーム	その他	特になし	無回答
全体		23.7	21.0	8.2	9.1	16.5	8.4	7.4	7.4	0.6	5.3	38.2
性別	男性	22.1	18.7	7.4	7.5	15.2	8.7	6.2	6.7	0.8	3.6	43.5
	女性	24.5	22.2	8.6	9.9	17.2	8.3	8.0	7.8	0.4	6.2	35.5
年齢別	65歳未満	41.0	25.6	10.3	5.1	15.4	7.7	5.1	12.8	-	5.1	23.1
	65～69歳	23.1	7.7	10.3	2.6	7.7	7.7	5.1	2.6	-	-	43.6
	70～74歳	17.2	15.1	4.3	4.3	9.7	5.4	3.2	3.2	-	4.3	43.0
	75～79歳	19.6	19.0	7.4	9.5	18.0	5.8	7.4	6.3	0.5	5.3	39.2
	80～84歳	22.7	22.1	6.4	11.2	17.1	9.5	9.5	5.0	0.8	5.0	40.9
	85～89歳	27.4	23.6	8.7	10.2	17.7	10.9	8.9	7.2	0.6	5.5	34.5
	90歳以上	22.7	21.0	9.8	7.9	17.7	7.2	5.9	10.1	0.6	6.3	36.5
圏域別	富坂地区	23.6	19.6	9.9	8.0	15.6	8.3	7.3	7.3	0.5	3.8	39.2
	大塚地区	24.6	21.2	7.3	11.5	20.2	10.2	10.7	7.6	0.7	6.6	35.6
	本富士地区	20.5	21.8	8.4	9.9	14.4	7.6	5.3	5.1	0.5	5.6	42.0
	駒込地区	25.9	22.1	6.6	7.5	16.2	7.5	6.4	9.6	0.5	5.9	35.8
家族構成別	一人暮らし	20.0	14.6	8.0	6.8	16.3	8.3	6.4	9.4	0.7	5.0	40.6
	夫婦のみ	25.6	22.7	7.3	8.6	14.5	9.5	8.4	9.0	0.7	2.2	42.5
	子どもと二世帯同居	24.9	23.0	7.8	11.0	18.0	7.8	7.8	5.8	0.3	7.3	34.6
	親と二世帯同居	40.9	22.7	9.1	18.2	18.2	9.1	9.1	9.1	-	-	27.3
	三世帯以上同居	29.0	33.1	11.2	10.7	18.3	9.5	5.9	4.7	1.2	5.9	29.0
	その他	11.6	14.0	8.1	9.3	16.3	9.3	9.3	5.8	-	11.6	38.4
要介護度別	要介護1	21.7	18.3	5.8	8.9	14.8	8.8	7.5	6.1	0.4	5.4	38.1
	要介護2	25.2	22.9	9.1	9.6	15.6	7.8	8.0	9.6	0.4	4.5	37.6
	要介護3	26.5	26.5	9.9	10.7	21.3	5.5	8.1	9.2	1.1	4.4	34.2
	要介護4	29.2	24.0	13.5	9.4	29.2	13.5	10.4	6.3	-	10.4	31.3
	要介護5	30.6	25.0	15.3	4.2	19.4	12.5	2.8	5.6	1.4	8.3	38.9

問13 介護保険サービス以外の利用状況

保険外の支援・サービスの利用状況では、「利用していない」が54.7%を占めています。

一方、具体的な選択肢の中では、「掃除・洗濯」が10.9%と最も高く、以下、「配食」が7.9%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が7.1%、「買い物（宅配は含まない）」が6.6%となっています。

（複数回答）



性別及び圏域別では、特に目立った違いはありません。

年齢別でみると、「利用していない」は、65歳未満で74.4%、65～69歳で66.7%と高くなっています。

家族構成別でみると、一人暮らしは、「配食」で14.4%、「掃除・洗濯」で25.5%、「買い物（宅配は含まない）」で16.0%、「ゴミ出し」で13.7%、「外出同行（通院、買い物など）」で12.5%と高くなっています。

要介護度別でみると、要介護5は、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」で20.8%と高くなっています。

介護保険サービスの利用別でみると、利用した層では、「配食」で9.4%、「掃除・洗濯」で12.1%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」で8.1%と比較的高くなっています。

【介護保険サービス以外の利用状況

／性別、年齢別、圏域別、家族構成別、要介護度別、サービス利用別

		n	配食	調理	掃除・洗濯	買い物 (宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行 (通院、買い物など)	移送サービス (介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	金銭管理や書類の整理・手続きの支援
全体		1,807	7.9	3.5	10.9	6.6	4.9	6.2	7.1	4.2	1.4	1.2
性別	男性	611	4.9	2.6	9.2	4.9	3.3	5.2	8.2	3.6	1.0	0.8
	女性	1,196	9.4	4.0	11.8	7.5	5.8	6.7	6.5	4.4	1.7	1.4
年齢別	65歳未満	39	2.6	5.1	5.1	2.6	5.1	-	5.1	-	-	-
	65～69歳	39	2.6	5.1	12.8	10.3	7.7	7.7	7.7	-	-	-
	70～74歳	93	3.2	5.4	15.1	7.5	4.3	7.5	11.8	2.2	-	1.1
	75～79歳	189	7.9	2.1	10.1	8.5	4.2	4.8	9.5	3.2	1.6	2.1
	80～84歳	357	7.8	2.2	8.1	5.6	4.2	5.6	5.0	3.4	1.4	1.1
	85～89歳	470	8.5	4.0	10.4	6.4	4.7	7.0	6.6	4.5	1.7	0.9
	90歳以上	542	9.2	4.2	12.5	6.8	5.9	6.5	6.6	5.9	1.7	1.5
圏域別	富坂地区	577	7.5	3.6	10.2	6.8	5.4	4.9	7.8	4.3	1.9	1.4
	大塚地区	410	9.8	2.7	9.3	4.4	4.6	4.9	6.8	2.9	1.2	1.0
	本富士地区	395	7.8	3.8	12.9	8.1	5.1	9.4	6.8	4.6	1.0	1.3
	駒込地区	425	6.6	4.0	11.5	7.3	4.5	6.4	6.6	4.7	1.4	1.2
家族構成別	一人暮らし	424	14.4	7.8	25.5	16.0	13.7	12.5	7.8	7.5	1.2	3.1
	夫婦のみ	454	5.1	3.1	6.4	3.3	2.9	4.2	6.8	3.3	0.4	0.7
	子どもと二世帯同居	599	6.5	1.5	5.7	2.7	1.5	4.2	7.2	2.8	1.3	0.3
	親と二世帯同居	22	9.1	4.5	4.5	-	-	-	4.5	9.1	-	-
	三世帯以上同居	169	3.6	1.8	3.6	3.6	0.6	2.4	4.7	0.6	2.4	-
	その他	86	4.7	3.5	12.8	5.8	5.8	8.1	10.5	2.3	4.7	2.3
要介護度別	要介護1	775	7.7	2.7	11.1	7.1	3.6	5.9	3.7	3.2	0.9	1.2
	要介護2	449	8.2	5.1	9.6	6.7	5.3	6.2	7.8	4.5	2.2	0.7
	要介護3	272	10.7	5.1	14.3	7.4	8.8	8.1	10.3	7.4	1.8	2.2
	要介護4	96	5.2	2.1	8.3	5.2	4.2	5.2	9.4	4.2	2.1	2.1
	要介護5	72	5.6	1.4	4.2	2.8	1.4	2.8	20.8	2.8	1.4	1.4
サービス利用別	利用した	1,262	9.4	4.0	12.1	6.8	5.5	6.7	8.1	4.6	1.5	1.3
	利用していない	322	2.8	3.1	5.9	4.3	2.5	2.8	5.6	2.8	1.2	0.9

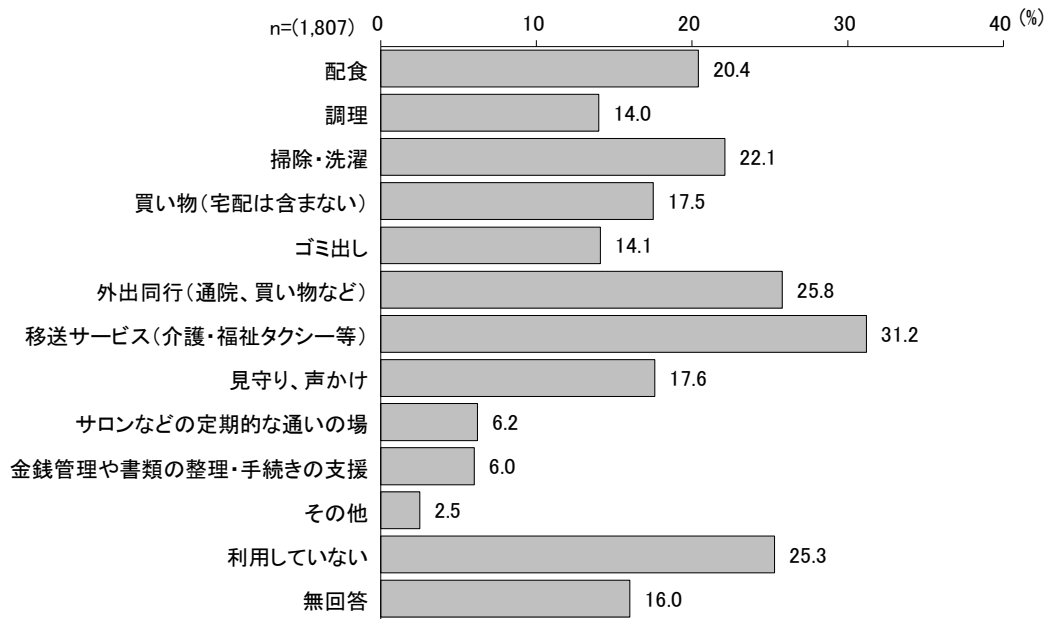
		その他	利用していない	無回答
全体		1.6	54.7	17.8
性別	男性	1.3	54.7	22.4
	女性	1.8	54.8	15.4
年齢別	65歳未満	-	74.4	12.8
	65～69歳	2.6	66.7	10.3
	70～74歳	1.1	53.8	18.3
	75～79歳	2.1	48.7	22.2
	80～84歳	2.2	58.3	16.8
	85～89歳	1.9	54.9	17.0
	90歳以上	1.1	54.4	17.0
圏域別	富坂地区	1.7	53.2	18.4
	大塚地区	2.0	56.6	16.3
	本富士地区	1.8	53.4	18.5
	駒込地区	0.9	56.2	17.6
家族構成別	一人暮らし	1.9	34.7	16.5
	夫婦のみ	1.8	57.9	23.3
	子どもと二世帯同居	1.2	63.1	14.5
	親と二世帯同居	-	54.5	27.3
	三世帯以上同居	2.4	71.0	13.0
	その他	2.3	61.6	14.0
要介護度別	要介護1	1.9	55.0	19.0
	要介護2	1.3	54.1	18.3
	要介護3	2.2	53.7	11.8
	要介護4	2.1	66.7	9.4
	要介護5	-	61.1	15.3
サービス利用別	利用した	1.6	55.5	14.1
	利用していない	1.9	63.7	19.9

※「サービス利用別」は、「問10 介護保険サービスの利用状況」の回答結果です。

問14 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービスでは、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が31.2%で最も高く、以下、「外出同行（通院、買い物など）」が25.8%、「掃除・洗濯」が22.1%、「配食」が20.4%となっています。一方、「利用していない」は 25.3%となっています。

（複数回答）



性/年齢別でみると、男性は、年齢に関わらず「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が、女性は、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」に加えて、「外出同行（通院、買い物など）」が特に65歳以上で高くなっています。

圏域別では、特に目立った違いはありません。

家族構成別でみると、一人暮らしは、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」よりも「掃除・洗濯」が35.1%で、「調理」、「買い物（宅配は含まない）」、「ゴミ出し」も他の家族に比べて高くなっています。

要介護度別でみると、要介護1は、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」と並んで、外出同行（通院、買い物など）も28.1%と高くなっています。「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が最も必要とされているのは、要介護5の45.8%となっています。

介護保険サービスの利用別でみると、利用した層では、「外出同行（通院、買い物など）」が28.5%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が35.2%で高くなっています。

介護者の就労状況別でみると、フルタイムで働いている層は、「掃除・洗濯」が31.5%、「外出同行（通院、買い物など）」が40.3%、「サロンなどの定期的な通いの場」が12.7%と比較的高くなっています。

【在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス①】

／性／年齢別、圏域別、家族構成別、要介護度別、サービス利用別、介護者の就労状況別】

(%)

		n	配食	調理	掃除・洗濯	買い物 (宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行(通院、買い物など)	移送サービス (介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	金銭管理や書類の整理・手続きの支援
全体		1,807	20.4	14.0	22.1	17.5	14.1	25.8	31.2	17.6	6.2	6.0
性/年齢別	男性/65歳未満	17	11.8	-	11.8	5.9	-	11.8	52.9	-	5.9	-
	男性/65～69歳	25	8.0	24.0	32.0	32.0	20.0	32.0	24.0	12.0	-	12.0
	男性/70～74歳	52	15.4	9.6	21.2	17.3	11.5	23.1	42.3	15.4	3.8	5.8
	男性/75～79歳	75	13.3	5.3	17.3	10.7	4.0	26.7	37.3	16.0	8.0	6.7
	男性/80～84歳	135	17.0	7.4	16.3	11.1	7.4	23.0	31.1	14.8	3.7	3.0
	男性/85～89歳	152	18.4	12.5	21.1	15.8	12.5	22.4	30.9	20.4	5.9	5.9
	男性/90歳以上	125	23.2	17.6	22.4	15.2	16.0	25.6	31.2	20.0	8.0	2.4
	女性/65歳未満	22	13.6	13.6	22.7	18.2	18.2	18.2	36.4	18.2	4.5	9.1
	女性/65～69歳	14	14.3	14.3	21.4	21.4	7.1	28.6	35.7	-	21.4	14.3
	女性/70～74歳	41	26.8	24.4	22.0	17.1	19.5	31.7	29.3	22.0	17.1	12.2
	女性/75～79歳	114	20.2	21.9	29.8	23.7	13.2	34.2	32.5	21.9	6.1	3.5
	女性/80～84歳	222	23.0	15.3	21.2	19.8	13.1	29.7	25.2	19.8	7.7	6.3
女性/85～89歳	318	21.7	12.6	23.3	19.8	17.9	27.4	32.7	19.8	5.0	7.9	
女性/90歳以上	417	23.0	15.8	23.3	18.0	15.8	24.0	30.2	15.3	5.3	6.0	
圏域別	富坂地区	577	21.7	15.1	21.8	18.4	15.3	24.4	31.7	16.1	6.1	5.7
	大塚地区	410	20.0	13.4	21.2	17.1	12.4	26.8	31.2	15.1	6.3	5.4
	本富士地区	395	19.2	13.9	22.8	16.2	12.7	24.8	30.1	17.5	6.3	5.3
	駒込地区	425	20.0	13.2	22.6	18.1	15.3	27.5	31.3	22.1	6.1	7.8
家族構成別	一人暮らし	424	24.5	20.5	35.1	27.8	24.8	29.2	23.8	25.5	5.4	8.3
	夫婦のみ	454	18.9	14.1	21.4	16.3	12.6	25.1	30.2	14.3	5.3	4.8
	子どもと二世帯同居	599	20.2	12.0	15.5	12.9	9.8	25.5	34.6	16.5	7.2	6.0
	親と二世帯同居	22	9.1	9.1	13.6	9.1	9.1	18.2	40.9	27.3	9.1	9.1
	三世帯以上同居	169	16.6	7.1	14.8	11.8	7.7	23.7	39.6	11.2	7.1	3.6
	その他	86	24.4	16.3	25.6	22.1	16.3	26.7	34.9	14.0	7.0	8.1
要介護度別	要介護1	775	21.5	14.2	23.1	17.7	13.2	28.1	27.2	17.7	5.4	6.2
	要介護2	449	17.6	14.3	19.2	17.1	13.6	26.3	34.5	16.5	6.7	4.9
	要介護3	272	23.2	16.2	25.7	20.6	16.2	25.7	36.0	19.9	6.3	7.0
	要介護4	96	22.9	12.5	21.9	13.5	16.7	20.8	34.4	16.7	6.3	5.2
	要介護5	72	26.4	12.5	19.4	15.3	15.3	25.0	45.8	20.8	11.1	8.3
サービス利用別	利用した	1,262	22.4	14.9	23.8	18.5	15.2	28.5	35.2	18.2	6.3	6.2
	利用していない	322	18.3	13.4	19.6	16.5	11.5	18.9	24.5	18.3	7.5	5.9
介護者の就労状況別	フルタイムで働いている	308	28.9	20.5	31.5	22.7	18.5	40.3	41.2	27.3	12.7	7.8
	パートタイムで働いている	209	24.9	17.2	24.9	21.5	14.4	29.2	37.8	24.4	5.7	5.7
	その他(就学含む)	70	25.7	20.0	24.3	20.0	21.4	25.7	21.4	7.1	4.3	7.1
	働いていない・就学していない	491	21.0	14.1	21.2	16.3	13.6	27.1	38.3	16.3	5.9	7.3

※「介護者の就労状況別」は、「問16 主介護者の勤務形態」の回答結果です。
「介護者の就労状況別」については、n=1,260となります。

【在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス②】

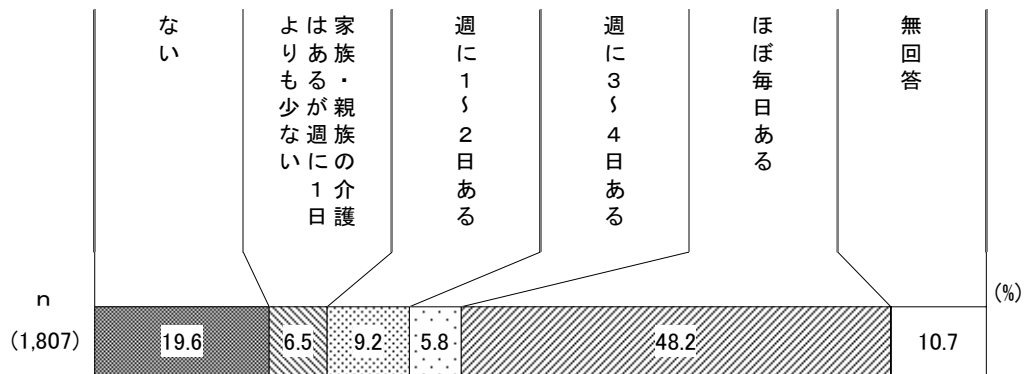
／性／年齢別、圏域別、家族構成別、要介護度別、サービス利用別、介護者の就労状況別】

		その他	利用して いない	無回答
全 体		2.5	25.3	16.0
性/ 年齢 別	男性／65歳未満	5.9	29.4	11.8
	男性／65～69歳	4.0	40.0	4.0
	男性／70～74歳	-	26.9	15.4
	男性／75～79歳	-	13.3	21.3
	男性／80～84歳	1.5	28.1	22.2
	男性／85～89歳	1.3	26.3	19.1
	男性／90歳以上	1.6	24.8	23.2
	女性／65歳未満	-	40.9	-
	女性／65～69歳	-	28.6	21.4
	女性／70～74歳	7.3	14.6	14.6
	女性／75～79歳	4.4	21.9	15.8
	女性／80～84歳	3.6	26.6	13.1
女性／85～89歳	2.5	21.4	13.2	
女性／90歳以上	2.6	29.5	13.7	
圏域 別	富坂地区	2.1	24.1	17.2
	大塚地区	3.2	27.6	15.1
	本富士地区	2.8	26.8	15.4
	駒込地区	2.1	23.3	15.8
家族 構成 別	一人暮らし	2.8	22.4	13.0
	夫婦のみ	1.5	22.9	22.0
	子どもと二世帯同居	2.3	28.9	13.2
	親と二世帯同居	4.5	18.2	13.6
	三世帯以上同居	4.7	27.8	11.8
	その他	2.3	27.9	15.1
要介 護度 別	要介護1	2.1	23.4	17.2
	要介護2	2.7	25.8	15.8
	要介護3	2.2	28.3	9.6
	要介護4	6.3	33.3	13.5
	要介護5	2.8	29.2	15.3
サービ ス利 用別	利用した	2.9	25.8	11.2
	利用していない	0.6	28.9	21.4
介護者 の就 労状 況別	フルタイムで働いて いる	3.2	19.5	7.5
	パートタイムで働い ている	1.9	20.1	8.1
	その他(就学含む)	4.3	38.6	5.7
	働いていない・就 学していない	2.4	26.3	10.6

5. 介護者

問15 介護を受ける頻度

家族や親族からの介護の日数では、「ほぼ毎日ある」が48.2%で最も高く、以下、「ない」が19.6%、「週に1～2日ある」が9.2%、「家族・親族の介護はあるが週に1日よりも少ない」が6.5%となっています。



性別でみると、女性は、男性よりも「ほぼ毎日ある」で10ポイント高くなっています。
 年齢別でみると、「ほぼ毎日ある」は、69歳以下や80歳以上の層で高くなっています。
 圏域別では、特に目立った違いはありません。

家族構成別でみると、「ない」は、一人暮らしで31.4%、「ほぼ毎日ある」は、子どもと二世
 代同居で67.6%、親と二世世代同居で68.2%、三世代以上同居で74.0%と高くなっています。

要介護度別でみると、「ほぼ毎日ある」は、要介護3で61.4%、「ない」は、要介護5で
 29.2%と最も高くなっています。

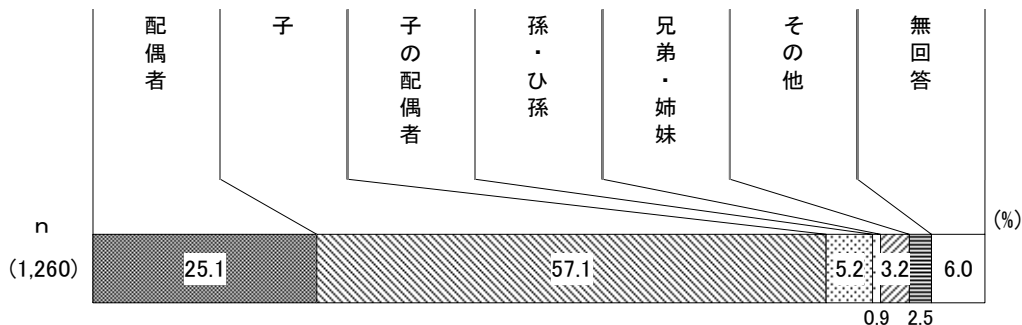
主な介護者の年齢別でみると、「ほぼ毎日ある」は、60代の68.0%、70代の64.2%で高く、
 「家族・親族の介護はあるが週に1日より少ない」や「週に1～2日ある」は、低年齢層ほど
 高い傾向にあります。

【介護を受ける頻度／性別、年齢別、圏域別、家族構成別、要介護度別、主な介護者の年齢別】

		n	ない	家族・親 族の介 護はある が週に1 日より少 ない	週に1～ 2日ある	週に3～ 4日ある	ほぼ毎日 ある	無回答
全 体		1,807	19.6	6.5	9.2	5.8	48.2	10.7
性別	男性	611	25.4	4.9	9.7	4.4	41.6	14.1
	女性	1,196	16.6	7.3	9.0	6.5	51.6	8.9
年齢別	65歳未満	39	30.8	7.7	7.7	2.6	43.6	7.7
	65～69歳	39	30.8	5.1	12.8	-	46.2	5.1
	70～74歳	93	35.5	5.4	4.3	5.4	36.6	12.9
	75～79歳	189	28.6	8.5	7.4	4.2	40.2	11.1
	80～84歳	357	21.0	6.2	7.8	5.9	47.9	11.2
	85～89歳	470	17.2	7.9	12.1	6.0	47.7	9.1
	90歳以上	542	13.3	5.2	9.2	7.2	55.7	9.4
圏域別	富坂地区	577	19.4	6.8	9.2	7.5	46.6	10.6
	大塚地区	410	20.2	6.1	9.0	4.6	49.3	10.7
	本富士地区	395	17.7	6.3	9.9	4.8	51.9	9.4
	駒込地区	425	20.9	6.6	8.9	5.6	45.9	12.0
家族構成別	一人暮らし	424	31.4	10.1	18.2	12.3	17.0	11.1
	夫婦のみ	454	19.8	6.4	9.7	4.8	44.9	14.3
	子どもと二世世代同居	599	12.7	4.5	4.8	3.2	67.6	7.2
	親と二世世代同居	22	9.1	-	9.1	4.5	68.2	9.1
	三世代以上同居	169	5.9	5.3	4.1	3.0	74.0	7.7
	その他	86	36.0	3.5	4.7	5.8	38.4	11.6
要介護度別	要介護1	775	20.3	8.3	11.1	7.0	41.7	11.7
	要介護2	449	16.5	6.0	7.3	6.7	54.8	8.7
	要介護3	272	16.5	5.1	8.1	4.4	61.4	4.4
	要介護4	96	19.8	3.1	5.2	5.2	57.3	9.4
	要介護5	72	29.2	5.6	8.3	1.4	47.2	8.3
主な介護者の年齢別	40代以下	87	5.7	16.1	16.1	8.0	50.6	3.4
	50代	375	4.5	9.9	14.7	9.1	58.7	3.2
	60代	406	1.5	6.7	11.1	8.6	68.0	4.2
	70代	274	8.0	7.3	8.8	5.1	64.2	6.6
	80歳以上	275	14.2	5.8	8.4	4.0	52.0	15.6

問15-1 主な介護者

主な介護者では、「子」が57.1%で最も高く、以下、「配偶者」が25.1%、「子の配偶者」が5.2%、「兄弟・姉妹」が3.2%となっています。



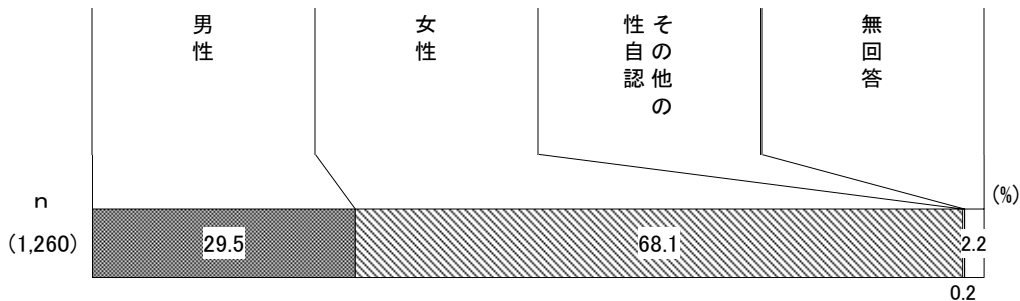
性別で見ると、男性は、「配偶者」が54.9%、女性は、「子」が68.1%と高くなっています。
 年齢別で見ると、79歳以下の層では、「配偶者」が、80歳以上の層では、「子」が高くなっています。
 圏域別では、特に目立った違いはありません。
 要介護度別で見ると、すべての要介護度で「子」が高く、要介護5では、「配偶者」も37.8%となっています。
 主な介護者の年齢別で見ると、60代以下は、「子」が圧倒的に高くなっていますが、70代以上では、「配偶者」が上回っています。

【主な介護者／性別、年齢別、圏域別、要介護度別、主な介護者の年齢別】

		n	配偶者	子	子の配偶者	孫・ひ孫	兄弟・姉妹	その他	無回答
全体		1,260	25.1	57.1	5.2	0.9	3.2	2.5	6.0
性別	男性	370	54.9	30.8	1.4	-	3.5	2.2	7.3
	女性	890	12.7	68.1	6.9	1.2	3.0	2.7	5.4
年齢別	65歳未満	24	41.7	25.0	-	-	8.3	20.8	4.2
	65～69歳	25	60.0	16.0	4.0	-	16.0	-	4.0
	70～74歳	48	60.4	12.5	-	-	20.8	2.1	4.2
	75～79歳	114	57.0	32.5	0.9	0.9	2.6	0.9	5.3
	80～84歳	242	28.5	57.9	3.7	0.8	2.5	0.8	5.8
	85～89歳	346	22.5	61.3	5.5	0.6	2.3	1.4	6.4
	90歳以上	419	8.1	71.6	7.6	1.2	1.2	4.3	6.0
圏域別	富坂地区	404	25.5	56.7	5.2	1.2	3.5	1.5	6.4
	大塚地区	283	26.5	57.2	3.9	0.7	3.5	2.8	5.3
	本富士地区	288	21.5	59.7	6.3	-	2.4	3.5	6.6
	駒込地区	285	26.7	55.1	5.6	1.4	3.2	2.8	5.3
要介護度別	要介護1	527	20.1	60.5	6.8	0.9	3.2	1.9	6.5
	要介護2	336	26.2	56.8	4.8	0.9	3.0	3.3	5.1
	要介護3	215	31.2	55.3	1.9	0.5	2.8	1.9	6.5
	要介護4	68	20.6	61.8	5.9	-	4.4	2.9	4.4
	要介護5	45	37.8	40.0	-	-	2.2	11.1	8.9
主な介護者の年齢別	40代以下	79	2.5	72.2	5.1	10.1	-	3.8	6.3
	50代	346	2.9	81.5	8.4	0.6	1.2	2.0	3.5
	60代	383	6.8	76.2	7.3	-	1.8	2.3	5.5
	70代	234	52.6	28.6	1.3	-	8.5	3.4	5.6
	80歳以上	193	79.8	6.2	1.0	-	4.1	2.1	6.7

問15-2 主な介護者の性別

主な介護者の性別では、「女性」が68.1%で最も高く、以下、「男性」が29.5%、「その他の性自認」が0.2%となっています。



性別で見ると、男性は、女性よりも「女性（介護者）」が20.3ポイント高くなっています。
 年齢別で見ると、85～89歳で71.4%、90歳以上で69.7%と「女性（介護者）」が高くなっています。
 圏域別及びサービス利用別では、特に目立った違いはありません。
 要介護度別で見ると、要介護4では、「女性（介護者）」が57.4%とやや低くなっています。
 主な介護者の年齢別で見ると、低年齢層ほど「女性（介護者）」が高くなっています。

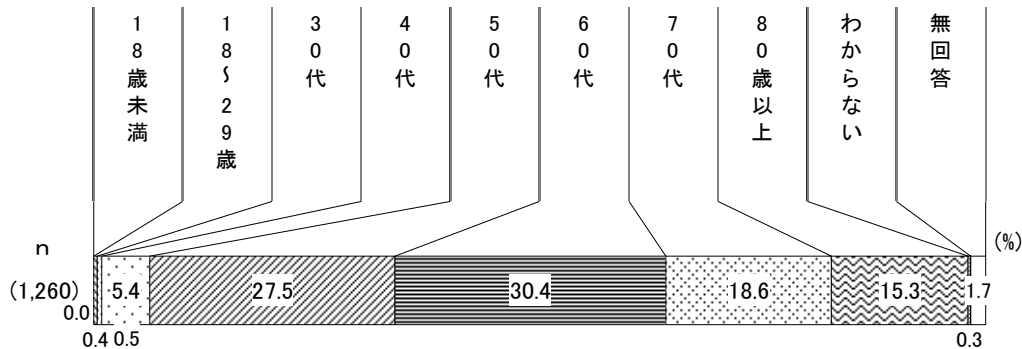
【主な介護者の性別

／性別、年齢別、圏域別、要介護度別、主な介護者の年齢別、サービスの利用別】

		n	男性	女性	その他の性自認	無回答
			(%)			
全体		1,260	29.5	68.1	0.2	2.2
性別	男性	370	14.6	82.4	-	3.0
	女性	890	35.7	62.1	0.2	1.9
年齢別	65歳未満	24	33.3	62.5	-	4.2
	65～69歳	25	40.0	56.0	-	4.0
	70～74歳	48	35.4	62.5	-	2.1
	75～79歳	114	36.0	63.2	-	0.9
	80～84歳	242	31.8	66.9	-	1.2
	85～89歳	346	26.3	71.4	0.3	2.0
	90歳以上	419	27.7	69.7	0.2	2.4
圏域別	富坂地区	404	30.9	66.8	0.5	1.7
	大塚地区	283	26.1	72.1	-	1.8
	本富士地区	288	30.9	65.6	-	3.5
	駒込地区	285	29.5	68.4	-	2.1
要介護度別	要介護1	527	28.3	68.3	0.4	3.0
	要介護2	336	28.6	70.2	-	1.2
	要介護3	215	31.2	67.4	-	1.4
	要介護4	68	41.2	57.4	-	1.5
	要介護5	45	35.6	62.2	-	2.2
主な介護者の年齢別	40代以下	79	19.0	78.5	-	2.5
	50代	346	28.0	70.2	-	1.7
	60代	383	28.2	70.2	0.3	1.3
	70代	234	30.8	68.4	-	0.9
	80歳以上	193	40.4	59.6	-	-
サービス利用別	利用した	989	31.2	66.7	0.1	1.9
	利用していない	171	25.7	71.3	0.6	2.3

問15-3 主な介護者の年齢

主な介護者の年齢では、「60代」が30.4%で最も高く、以下、「50代」が27.5%、「70代」が18.6%、「80歳以上」が15.3%となっています。



性別で見ると、男性は、「70代（の介護者）」が28.4%で、女性は、「60代（の介護者）」が35.2%で最も高くなっています。

年齢別で見ると、79歳までの層は、自身に比較的近い年齢の介護者が、80～89歳の層では、「50代（の介護者）」、90歳以上では、「60代（の介護者）」が高くなっています。

圏域別で見ると、富坂地区では、「50代（の介護者）」が30.2%、大塚地区と本富士地区では、「60代（の介護者）」がそれぞれ32.2%、35.4%で最も高くなっています。

要介護度別で見ると、要介護1では、「50代（の介護者）」、要介護2～4では、「60代（の介護者）」、要介護5では、「70代（の介護者）」がそれぞれ最も高くなっています。

サービス利用別では、特に目立った違いはありません。

【主な介護者の年齢／性別、年齢別、圏域別、要介護度別、サービスの利用別】

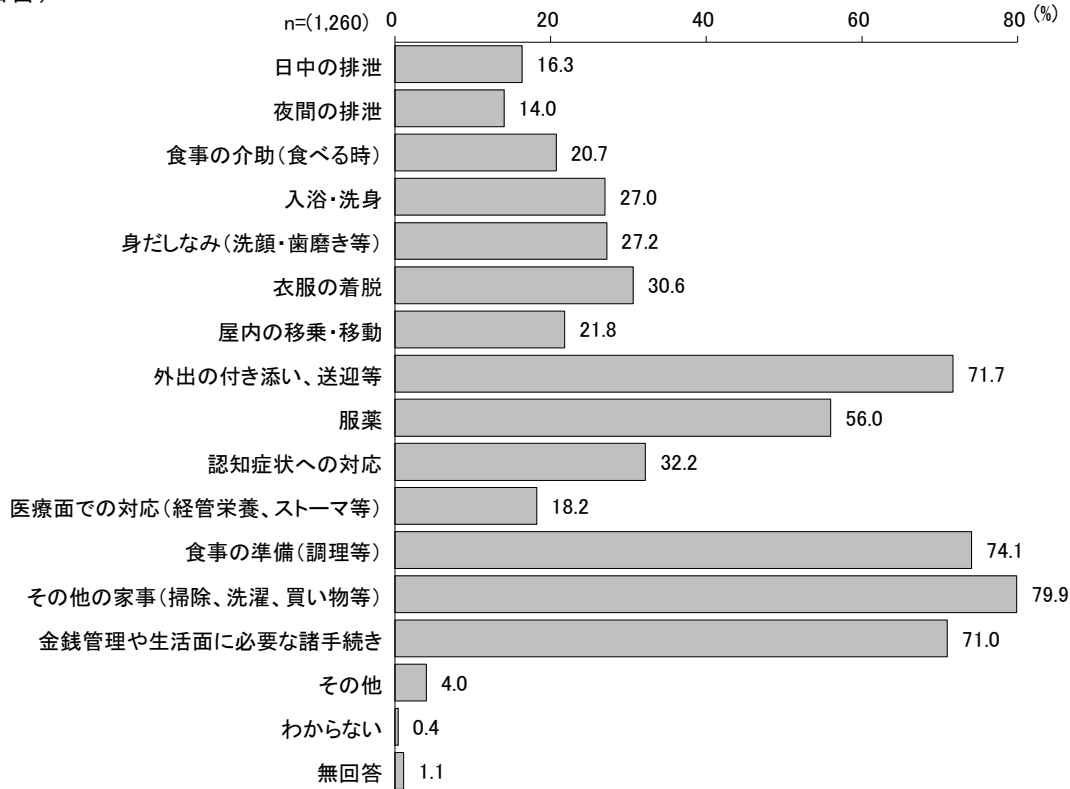
(%)

	n	18歳未満	18~29歳	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	わからない	無回答
全体	1,260	-	0.4	0.5	5.4	27.5	30.4	18.6	15.3	0.3	1.7
性別											
男性	370	-	0.3	0.3	4.3	16.2	18.9	28.4	28.1	-	3.5
女性	890	-	0.4	0.6	5.8	32.1	35.2	14.5	10.0	0.4	0.9
年齢別											
65歳未満	24	-	4.2	4.2	4.2	37.5	25.0	8.3	12.5	4.2	-
65~69歳	25	-	4.0	-	12.0	8.0	36.0	36.0	-	-	4.0
70~74歳	48	-	-	2.1	12.5	-	22.9	54.2	8.3	-	-
75~79歳	114	-	0.9	-	18.4	16.7	2.6	45.6	14.9	-	0.9
80~84歳	242	-	-	-	7.9	49.6	5.8	14.0	20.2	-	2.5
85~89歳	346	-	-	0.6	3.5	37.0	29.5	6.6	21.1	0.6	1.2
90歳以上	419	-	0.5	0.2	1.2	14.1	53.9	18.9	9.1	0.2	1.9
圏域別											
富坂地区	404	-	0.5	0.2	4.7	30.2	27.0	19.3	15.3	0.5	2.2
大塚地区	283	-	-	0.7	8.1	26.5	32.2	17.7	13.8	0.4	0.7
本富士地区	288	-	-	-	5.2	23.6	35.4	20.5	12.8	0.3	2.1
駒込地区	285	-	1.1	1.1	3.9	28.4	28.4	16.5	19.3	-	1.4
要介護度別											
要介護1	527	-	0.6	0.2	6.3	32.6	27.3	16.3	14.4	0.4	1.9
要介護2	336	-	0.6	0.6	5.4	25.0	32.7	17.3	16.7	0.3	1.5
要介護3	215	-	-	-	4.7	21.9	33.5	25.1	14.0	-	0.9
要介護4	68	-	-	1.5	2.9	29.4	33.8	14.7	14.7	-	2.9
要介護5	45	-	-	-	6.7	20.0	24.4	33.3	13.3	2.2	-
サービス利用別											
利用した	989	-	0.3	0.5	5.5	27.0	31.7	19.3	14.2	0.1	1.4
利用していない	171	-	1.2	-	7.0	29.8	25.7	16.4	15.8	1.2	2.9

問15-4 主な介護者が行っている介護の種類

主な介護者が行っている介護では、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が79.9%で最も高く、以下、「食事の準備（調理等）」が74.1%、「外出の付き添い、送迎等」が71.7%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が71.0%となっています。

（複数回答）



性別で見ると、男性は、女性よりも、「食事の介助（食べる時）」、「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」、「衣服の着脱」、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」で、女性は、男性よりも「認知症状への対応」や「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」で高くなっています。

年齢別で見ると、「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「食事の介助（食べる時）」、「入浴・洗身」、「衣服の着脱」は、69歳以下の層で、「認知症状への対応」は、75歳から89歳の層で高くなっています。

圏域別は、特に目立った違いはありません。

要介護度別で見ると、ほとんどの項目は、介護度とともに高くなっていますが、「外出の付き添い、送迎等」、「認知症状への対応」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」では、介護度の影響はほとんどみられません。

主な介護者の年齢別で見ると、すべての年代で、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が最も高くなっています。

介護者の属性/性別で見ると、すべての属性で、「他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が高く、配偶者/女性では、「食事の準備（調理等）」、子/男性や子の配偶者/女性では、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」も高くなっています。

第5章 在宅介護実態調査（郵送）

【主な介護者が行っている介護の種類

／性別、年齢別、圏域別、要介護度別、主な介護者の年齢別、介護者の属性／性別】

(%)

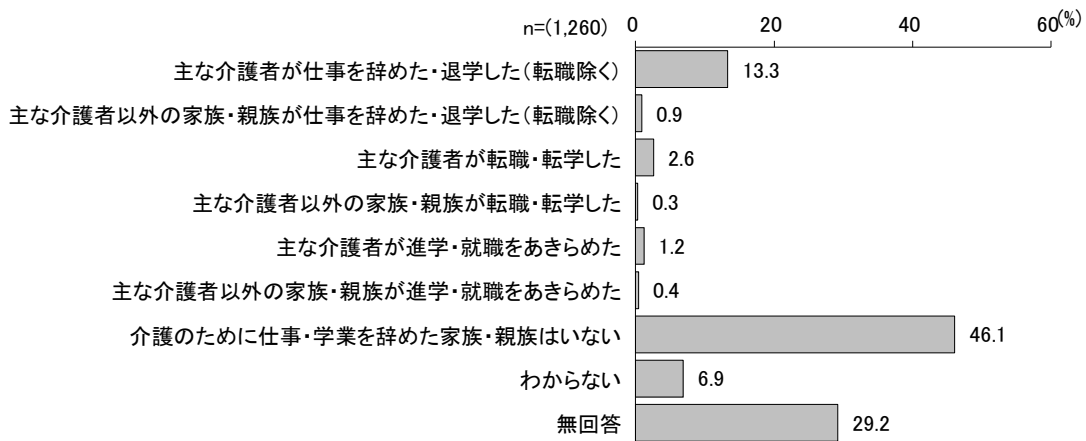
		n	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	認知症状への対応
全体		1,260	16.3	14.0	20.7	27.0	27.2	30.6	21.8	71.7	56.0	32.2
性別	男性	370	18.6	16.5	26.2	27.3	32.2	35.1	20.8	72.4	59.5	27.8
	女性	890	15.3	12.9	18.4	26.9	25.2	28.7	22.2	71.5	54.6	34.0
年齢別	65歳未満	24	33.3	25.0	29.2	41.7	25.0	45.8	37.5	66.7	50.0	20.8
	65～69歳	25	24.0	20.0	28.0	40.0	32.0	44.0	20.0	64.0	40.0	8.0
	70～74歳	48	14.6	14.6	18.8	18.8	22.9	27.1	16.7	60.4	43.8	22.9
	75～79歳	114	15.8	14.0	14.0	21.9	21.9	29.8	14.0	69.3	48.2	34.2
	80～84歳	242	15.7	15.3	18.2	26.9	29.3	30.2	21.5	76.0	62.4	43.0
	85～89歳	346	14.7	10.7	21.1	24.3	26.0	26.3	20.2	72.0	54.0	33.8
	90歳以上	419	17.2	15.5	23.4	29.8	29.6	33.9	25.8	73.0	60.4	27.7
圏域別	富坂地区	404	15.3	11.6	19.3	27.2	27.0	27.7	21.3	72.5	54.7	32.2
	大塚地区	283	14.8	10.6	20.1	21.2	27.9	31.4	21.2	74.6	55.8	29.3
	本富士地区	288	18.8	18.1	25.7	31.3	26.4	32.6	21.2	67.4	56.6	33.7
	駒込地区	285	16.5	16.5	18.2	28.1	27.7	31.6	23.9	72.3	57.5	33.7
要介護度別	要介護1	527	3.2	2.7	10.2	18.8	13.9	14.4	12.1	69.6	49.1	28.5
	要介護2	336	12.8	9.5	17.9	28.0	27.7	33.3	19.6	79.2	54.5	32.1
	要介護3	215	32.1	30.2	36.3	42.8	47.0	54.4	33.5	74.4	69.8	43.7
	要介護4	68	61.8	55.9	44.1	30.9	48.5	58.8	57.4	67.6	75.0	32.4
	要介護5	45	60.0	51.1	68.9	35.6	73.3	60.0	51.1	46.7	73.3	26.7
主な介護者の年齢別	40代以下	79	7.6	7.6	8.9	16.5	17.7	24.1	12.7	65.8	46.8	27.8
	50代	346	11.8	10.4	17.1	22.5	23.1	25.1	19.9	75.7	54.3	35.8
	60代	383	18.3	16.2	24.0	30.8	27.9	30.8	26.6	74.7	59.3	32.6
	70代	234	19.2	16.2	21.4	30.3	32.1	33.8	21.4	69.2	56.8	25.2
	80歳以上	193	20.7	16.6	24.9	28.0	31.1	39.9	20.7	66.8	58.5	37.8
介護者の属性／性別	配偶者/男性	110	20.0	12.7	22.7	29.1	21.8	41.8	25.5	66.4	50.0	32.7
	配偶者/女性	205	24.4	21.5	25.4	31.7	39.5	40.0	22.4	73.7	66.8	32.2
	子/男性	218	14.7	12.4	19.7	13.3	20.2	21.1	21.1	66.5	51.8	29.8
	子/女性	493	14.6	13.4	19.7	33.7	28.4	32.0	23.1	79.3	57.2	34.3
	子の配偶者/男性	5	-	-	20.0	20.0	-	-	20.0	100.0	60.0	20.0
	子の配偶者/女性	61	16.4	13.1	14.8	23.0	27.9	32.8	21.3	75.4	68.9	44.3
	その他/男性	24	8.3	8.3	12.5	25.0	16.7	8.3	16.7	45.8	33.3	16.7
	その他/女性	55	9.1	5.5	18.2	18.2	21.8	20.0	14.5	63.6	49.1	27.3

		医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	食事の準備(調理等)	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	わからない	無回答
全体		18.2	74.1	79.9	71.0	4.0	0.4	1.1
性別	男性	21.4	76.8	78.6	64.1	3.0	0.5	1.6
	女性	16.9	73.0	80.4	73.9	4.4	0.3	0.9
年齢別	65歳未満	8.3	87.5	83.3	58.3	-	-	-
	65～69歳	4.0	80.0	84.0	60.0	4.0	-	4.0
	70～74歳	10.4	68.8	79.2	41.7	8.3	-	-
	75～79歳	16.7	59.6	73.7	67.5	6.1	0.9	1.8
	80～84歳	21.1	76.0	84.7	74.0	2.9	-	1.2
	85～89歳	22.0	72.3	75.4	68.8	4.6	1.2	0.9
	90歳以上	15.3	79.0	82.3	78.0	3.1	-	0.7
圏域別	富坂地区	16.8	73.8	80.0	71.3	4.0	1.0	1.2
	大塚地区	20.5	74.2	82.0	71.0	5.3	0.4	0.4
	本富士地区	16.7	73.6	74.7	72.6	3.1	-	2.1
	駒込地区	19.3	75.1	83.2	69.1	3.5	-	0.7
要介護度別	要介護1	13.9	66.4	74.2	66.4	3.6	0.8	0.8
	要介護2	18.8	80.4	84.2	73.2	4.2	0.3	1.2
	要介護3	25.6	83.3	88.8	79.1	4.2	-	0.5
	要介護4	16.2	80.9	85.3	82.4	1.5	-	1.5
	要介護5	28.9	71.1	77.8	64.4	6.7	-	4.4
主な介護者の年齢別	40代以下	13.9	58.2	81.0	69.6	1.3	-	-
	50代	18.8	69.7	76.0	73.1	6.4	0.9	1.2
	60代	15.1	79.4	84.1	78.6	3.4	0.3	1.0
	70代	17.9	77.8	83.3	66.2	3.4	0.4	0.4
	80歳以上	25.9	78.8	78.8	64.8	3.1	-	0.5
介護者の属性／性別	配偶者/男性	21.8	71.8	80.9	67.3	1.8	-	-
	配偶者/女性	23.4	82.4	81.5	64.4	4.9	1.0	2.0
	子/男性	12.4	68.3	75.7	75.7	3.7	-	0.9
	子/女性	17.4	77.7	82.8	78.1	4.7	0.4	0.6
	子の配偶者/男性	40.0	60.0	100.0	60.0	-	-	-
	子の配偶者/女性	13.1	75.4	78.7	82.0	3.3	1.6	-
	その他/男性	16.7	37.5	75.0	45.8	4.2	-	4.2
	その他/女性	10.9	72.7	80.0	67.3	-	-	-

問15-5 介護による離職経験

介護のための離職の有無では、「介護のために仕事・学業を辞めた家族・親族はいない」が46.1%で最も高く、以下、「主な介護者が仕事を辞めた・退学した（転職除く）」が13.3%、「主な介護者が転職・転学した」が2.6%、「主な介護者が進学・就職をあきらめた」が1.2%となっています。一方、「わからない」は6.9%となっています。

（複数回答）



第5章 在宅介護実態調査（郵送）

性別では、特に目立った違いはありません。

年齢別でみると、69歳以下の層では、「主な介護者が仕事を辞めた・退学した（転職除く）」が比較的高くなっています。

圏域別では、特に目立った違いはありません。

要介護度別でみると、「主な介護者が仕事を辞めた・退学した（転職除く）」は、介護度とともに高くなる傾向にあります。

主な介護者の年齢別でみると、「介護のために仕事・学業を辞めた家族・親族はいない」は、低年齢層ほど高い傾向にあります。

介護者の属性/性別でみると、「介護のために仕事・学業を辞めた家族・親族はいない」は、子/男性で51.8%、子の配偶者/女性で52.5%、その他/男性で62.5%と高くなっています。

【介護による離職経験

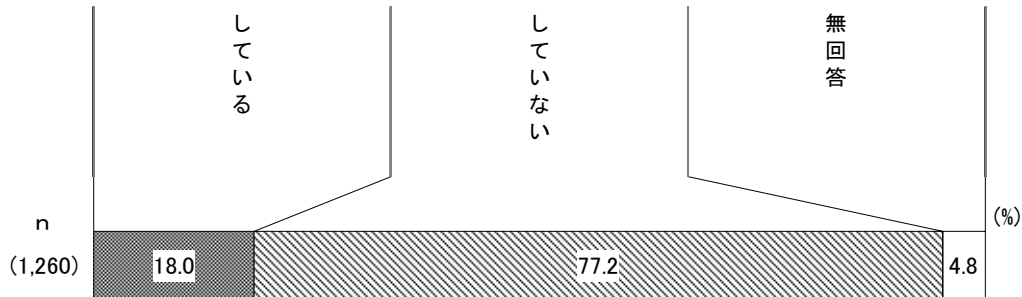
／性別、年齢別、圏域別、要介護度別、主な介護者の年齢別、介護者の属性／性別】

(%)

	n	主な介護者が仕事を辞めた・退学した（転職除く）	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた・退学した（転職除く）	主な介護者が転職・転学した	主な介護者以外の家族・親族が転職・転学した	主な介護者が進学・就職をあきらめた	主な介護者以外の家族・親族が進学・就職をあきらめた	介護のために仕事・学業を辞めた家族・親族はいない	わからない	無回答
全体	1,260	13.3	0.9	2.6	0.3	1.2	0.4	46.1	6.9	29.2
性別										
男性	370	10.0	1.1	1.6	0.3	0.3	0.3	43.5	7.8	35.9
女性	890	14.6	0.8	3.0	0.3	1.6	0.4	47.2	6.5	26.4
年齢別										
65歳未満	24	20.8	4.2	8.3	-	-	-	45.8	12.5	16.7
65～69歳	25	28.0	-	4.0	-	-	4.0	32.0	12.0	20.0
70～74歳	48	8.3	2.1	-	-	-	-	52.1	8.3	29.2
75～79歳	114	9.6	-	1.8	-	-	-	45.6	7.0	36.0
80～84歳	242	12.4	0.4	2.9	0.4	1.7	0.4	43.4	9.9	29.3
85～89歳	346	12.4	1.2	2.3	0.6	1.4	-	50.3	5.8	26.9
90歳以上	419	14.8	1.0	3.1	-	1.4	0.5	46.5	5.5	28.2
圏域別										
富坂地区	404	12.4	-	2.5	-	1.7	0.5	46.8	7.7	28.7
大塚地区	283	14.1	0.7	3.5	0.4	0.4	0.4	50.5	6.0	25.4
本富士地区	288	12.5	1.7	2.4	1.0	0.7	-	41.3	8.3	32.6
駒込地区	285	14.4	1.4	2.1	-	1.8	0.7	45.6	5.3	30.2
要介護度別										
要介護1	527	10.4	0.4	2.5	-	1.1	-	50.5	7.2	28.5
要介護2	336	14.0	0.9	3.0	0.6	0.6	-	43.2	7.7	31.0
要介護3	215	17.7	2.3	3.7	0.5	2.3	0.9	41.4	5.1	27.0
要介護4	68	13.2	-	-	-	-	1.5	55.9	7.4	23.5
要介護5	45	28.9	2.2	4.4	-	4.4	-	37.8	2.2	24.4
主な介護者の年齢別										
40代以下	79	10.1	1.3	1.3	-	1.3	-	63.3	10.1	12.7
50代	346	15.6	0.6	4.3	0.3	2.3	0.3	50.0	5.8	21.7
60代	383	18.0	1.6	3.9	0.5	1.0	0.5	46.5	6.3	23.5
70代	234	12.8	0.4	0.4	0.4	0.4	-	39.7	5.1	41.0
80歳以上	193	3.1	0.5	-	-	-	0.5	41.5	10.4	44.0
介護者の属性/性別										
配偶者/男性	110	8.2	-	0.9	-	-	-	42.7	10.9	37.3
配偶者/女性	205	9.3	2.0	1.0	0.5	0.5	0.5	38.0	6.3	43.4
子/男性	218	18.8	0.5	3.7	-	1.8	-	51.8	7.3	17.4
子/女性	493	16.4	0.8	3.9	0.4	1.6	0.2	47.7	5.1	24.5
子の配偶者/男性	5	-	-	-	-	-	-	20.0	20.0	60.0
子の配偶者/女性	61	11.5	1.6	-	1.6	1.6	1.6	52.5	1.6	31.1
その他/男性	24	4.2	-	4.2	-	-	-	62.5	4.2	25.0
その他/女性	55	7.3	1.8	3.6	-	-	1.8	43.6	14.5	27.3

問15-6 複数介護の状況

主な介護者の他の介護や子育ての有無では、「していない」が77.2%、「している」が18.0%となっています。



性別では、特に目立った違いはありません。

年齢別で見ると、「していない」は、70～74歳の81.3%や90歳以上の81.9%で高くなっています。

圏域別及び要介護度別は、特に目立った違いはありません。

主な介護者の年齢別で見ると、「していない」は、高齢層ほど高い傾向にあります。

介護者の属性/性別で見ると、「していない」は、配偶者/男性の88.2%、その他/男性の87.5%、配偶者/女性の85.9%、子/男性の83.9%で高くなっています。

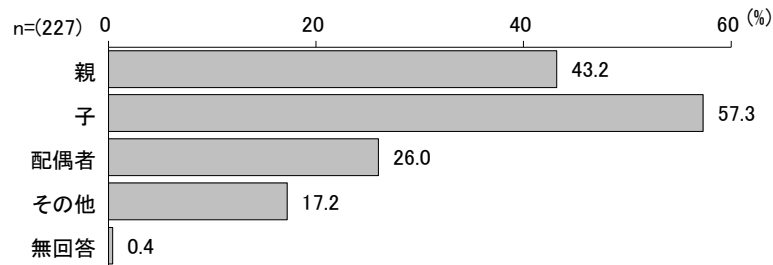
【複数介護の状況/性別、年齢別、圏域別、要介護度別、主な介護者の年齢別、介護者の属性/性別】

		n	(%)		
			している	してい ない	無回答
全体	全体		18.0	77.2	4.8
性別	男性	370	16.2	77.8	5.9
	女性	890	18.8	77.0	4.3
年齢別	65歳未満	24	20.8	75.0	4.2
	65～69歳	25	36.0	60.0	4.0
	70～74歳	48	16.7	81.3	2.1
	75～79歳	114	19.3	74.6	6.1
	80～84歳	242	24.4	71.1	4.5
	85～89歳	346	17.3	78.0	4.6
	90歳以上	419	13.6	81.9	4.5
圏域別	富坂地区	404	17.8	76.2	5.9
	大塚地区	283	19.1	77.0	3.9
	本富士地区	288	17.7	77.1	5.2
	駒込地区	285	17.5	78.9	3.5
要介護度別	要介護1	527	18.6	76.3	5.1
	要介護2	336	16.7	78.9	4.5
	要介護3	215	20.9	74.9	4.2
	要介護4	68	11.8	88.2	-
	要介護5	45	17.8	77.8	4.4
主な介護者の年齢別	40代以下	79	35.4	59.5	5.1
	50代	346	31.5	63.3	5.2
	60代	383	12.8	84.6	2.6
	70代	234	11.5	82.5	6.0
	80歳以上	193	5.2	90.7	4.1
介護者の属性/性別	配偶者/男性	110	6.4	88.2	5.5
	配偶者/女性	205	9.3	85.9	4.9
	子/男性	218	12.8	83.9	3.2
	子/女性	493	25.2	71.0	3.9
	子の配偶者/男性	5	20.0	80.0	-
	子の配偶者/女性	61	27.9	67.2	4.9
	その他/男性	24	12.5	87.5	-
	その他/女性	55	20.0	72.7	7.3

問15-6-1 複数介護の対象

介護される人及びその人数では、「子」が57.3%で最も高く、以下、「親」が43.2%、「配偶者」が26.0%となっています。

（複数回答）



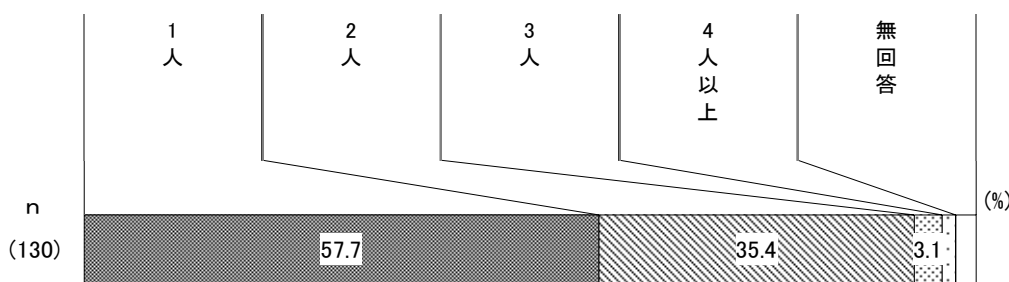
圏域別でみると、大塚地区では、「配偶者」が33.3%とやや高くなっています。
 主な介護者の年齢別でみると、「親」は、低年齢層ほど、「配偶者」は、高年齢層ほど高い傾向にあります。
 介護者の属性/性別では、人数の少ない層が多く、傾向がつかみにくくなっています。

【複数介護の対象／圏域別、主な介護者の年齢別、介護者の属性／性別】

		n	親 (%)	子 (%)	配偶者 (%)	その他 (%)	無回答 (%)
全体		227	43.2	57.3	26.0	17.2	0.4
圏域別	富坂地区	72	45.8	54.2	23.6	22.2	-
	大塚地区	54	40.7	61.1	33.3	11.1	-
	本富士地区	51	43.1	60.8	21.6	15.7	-
	駒込地区	50	42.0	54.0	26.0	18.0	2.0
主な介護者の年齢別	40代以下	28	42.9	78.6	21.4	10.7	-
	50代	109	51.4	64.2	18.3	14.7	-
	60代	49	46.9	44.9	26.5	10.2	2.0
	70代	27	14.8	29.6	44.4	48.1	-
	80歳以上	10	10.0	60.0	60.0	20.0	-
介護者の属性/性別	配偶者/男性	7	14.3	71.4	100.0	-	-
	配偶者/女性	19	31.6	36.8	42.1	26.3	-
	子/男性	28	39.3	60.7	10.7	7.1	-
	子/女性	124	46.0	58.1	21.0	17.7	-
	子の配偶者/男性	1	-	100.0	100.0	-	-
	子の配偶者/女性	17	64.7	64.7	23.5	5.9	5.9
	その他/男性	3	33.3	-	33.3	33.3	-
	その他/女性	11	36.4	27.3	36.4	36.4	-

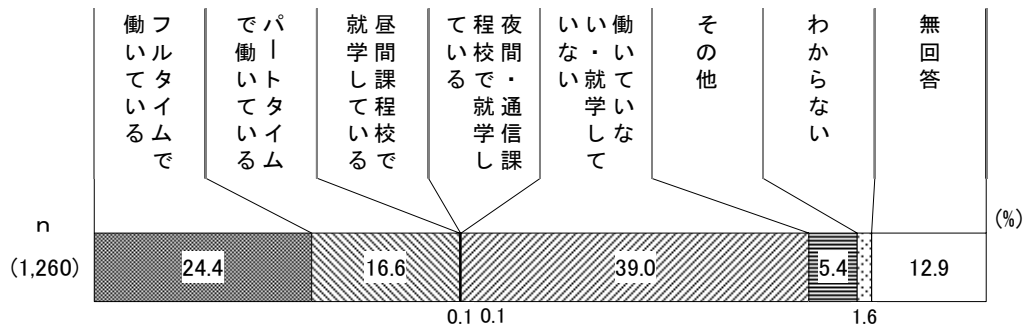
（子どもの人数）

子どもの人数は、「1人」が57.7%、「2人」が35.4%となっています。



問16 主な介護者の勤務形態

主な介護者の勤務形態では、「働いていない・就学していない」が39.0%で最も高く、以下、「フルタイムで働いている」が24.4%、「パートタイムで働いている」が16.6%となっています。



圏域別及びサービス利用別では、特に目立った違いはありません。

家族構成別でみると、「フルタイムで働いている」は、一人暮らしで32.0%、「働いていない・就学していない」は、夫婦のみで50.8%と高くなっています。

要介護度別でみると、「働いていない・就学していない」は、要介護5で51.1%と高くなっています。

主な介護者の年齢別でみると、「フルタイムで働いている」は、低年齢層ほど、一方、「働いていない・就学していない」は、高年齢層ほど高い傾向となっています。

介護者の性別でみると、「フルタイムで働いている」は、男性が33.1%、パートタイムで働いているは、女性が19.3%で高くなっています。

介護者の属性/性別では、子/男性は、「働いていない・就学していない」よりも、「フルタイムで働いている」が44.0%と高く、子の配偶者/女性は、「パートタイムで働いている」と「働いていない・就学していない」が31.1%となっています。

【主な介護者の勤務形態

／圏域別、家族構成別、要介護度別、主な介護者の年齢別、サービス利用別、介護者の性別、介護者の属性／性別】

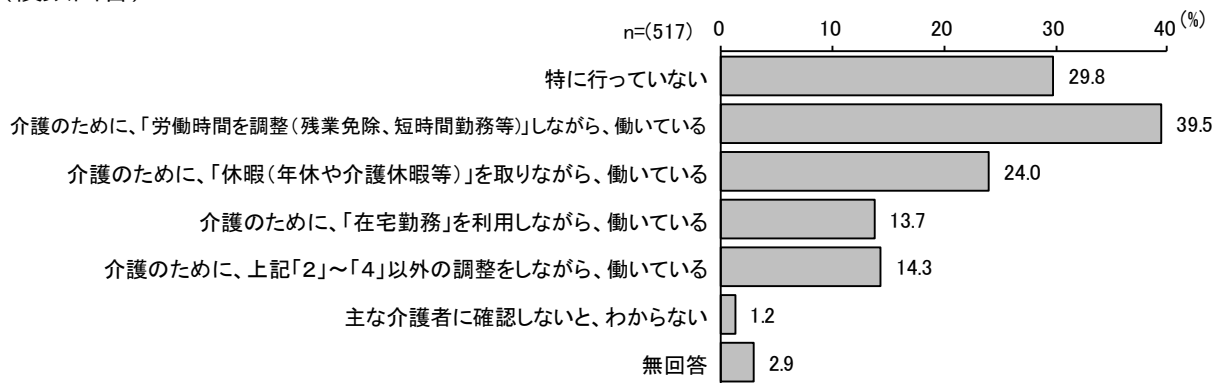
(%)

		n	フルタイムで働いている	パートタイムで働いている	昼間課程校で就学している	夜間・通信課程校で就学している	働いていない・就学していない	その他	わからない	無回答
全体		1,260	24.4	16.6	0.1	0.1	39.0	5.4	1.6	12.9
圏域別	富坂地区	404	24.3	16.6	0.2	-	38.6	5.9	1.5	12.9
	大塚地区	283	25.4	18.4	-	-	39.9	3.9	2.1	10.2
	本富士地区	288	24.7	16.3	-	-	36.1	6.6	1.4	14.9
	駒込地区	285	23.5	15.1	-	0.4	41.4	4.9	1.4	13.3
家族構成別	一人暮らし	244	32.0	21.7	-	-	30.3	3.3	2.0	10.7
	夫婦のみ	299	11.7	8.4	-	-	50.8	5.7	2.0	21.4
	子どもと二世帯同居	480	27.9	19.6	-	0.2	36.0	5.8	0.6	9.8
	親と二世帯同居	18	33.3	5.6	-	-	38.9	-	11.1	11.1
	三世帯以上同居	146	26.0	20.5	-	-	37.7	7.5	0.7	7.5
	その他	45	22.2	8.9	2.2	-	44.4	8.9	2.2	11.1
要介護度別	要介護1	527	28.7	18.8	0.2	-	35.9	5.1	1.5	9.9
	要介護2	336	21.4	14.0	-	0.3	41.4	5.1	2.4	15.5
	要介護3	215	19.5	15.3	-	-	42.8	7.0	0.9	14.4
	要介護4	68	25.0	20.6	-	-	32.4	5.9	1.5	14.7
	要介護5	45	20.0	11.1	-	-	51.1	4.4	2.2	11.1
主な介護者の年齢別	40代以下	79	35.4	25.3	1.3	-	21.5	3.8	1.3	11.4
	50代	346	43.1	19.1	-	-	24.6	5.5	1.2	6.6
	60代	383	23.8	21.7	-	0.3	36.8	6.5	0.8	10.2
	70代	234	9.4	13.7	-	-	56.8	4.3	2.1	13.7
	80歳以上	193	5.7	4.1	-	-	57.5	5.7	1.6	25.4
サービス利用別	利用した	989	23.2	17.9	0.1	0.1	40.1	5.8	1.5	11.3
	利用していない	171	29.8	12.3	-	-	37.4	4.7	1.8	14.0
介護者の性別	男性	372	33.1	11.3	-	0.3	39.5	5.6	0.8	9.4
	女性	858	20.2	19.3	0.1	-	39.7	5.2	1.6	13.8
	その他の性自認	2	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0
介護者の属性／性別	配偶者／男性	110	14.5	11.8	-	-	50.0	9.1	1.8	12.7
	配偶者／女性	205	3.9	6.3	-	-	57.1	5.4	2.4	24.9
	子／男性	218	44.0	11.0	-	-	33.5	4.6	-	6.9
	子／女性	493	27.4	23.1	-	-	33.3	5.3	1.0	9.9
	子の配偶者／男性	5	-	40.0	-	20.0	20.0	-	-	20.0
	子の配偶者／女性	61	14.8	31.1	-	-	31.1	13.1	-	9.8
	その他／男性	24	25.0	12.5	-	-	41.7	4.2	4.2	12.5
	その他／女性	55	12.7	20.0	1.8	-	43.6	-	5.5	16.4

問16-1 介護による働き方の調整

主な介護者の働き方の調整では、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務等）」しながら、働いている」が39.5%で最も高く、以下、「特に行っていない」が29.8%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が24.0%、「介護のために、上記「2」～「4」以外の調整をしながら、働いている」が14.3%となっています。

（複数回答）



圏域別及びサービス利用別では、特に目立った違いはありません。

家族構成別でみると、一人暮らしは、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務等）」しながら、働いている」よりも、「特に行っていない」が38.9%で最も高くなっています。

要介護度別でみると、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務等）」しながら、働いている」は、介護度とともに高くなる傾向にあります。

主な介護者の年齢別でみると、70代は、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務等）」しながら、働いている」よりも、「特に行っていない」が42.6%と高くなっています。

介護者の属性/性別でみると、子/男性は、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務等）」しながら、働いている」よりも、「特に行っていない」が38.3%と高くなっています。

第5章 在宅介護実態調査（郵送）

【介護による働き方の調整

／圏域別、家族構成別、要介護度別、主な介護者の年齢別、サービス利用別、介護者の属性／性別】

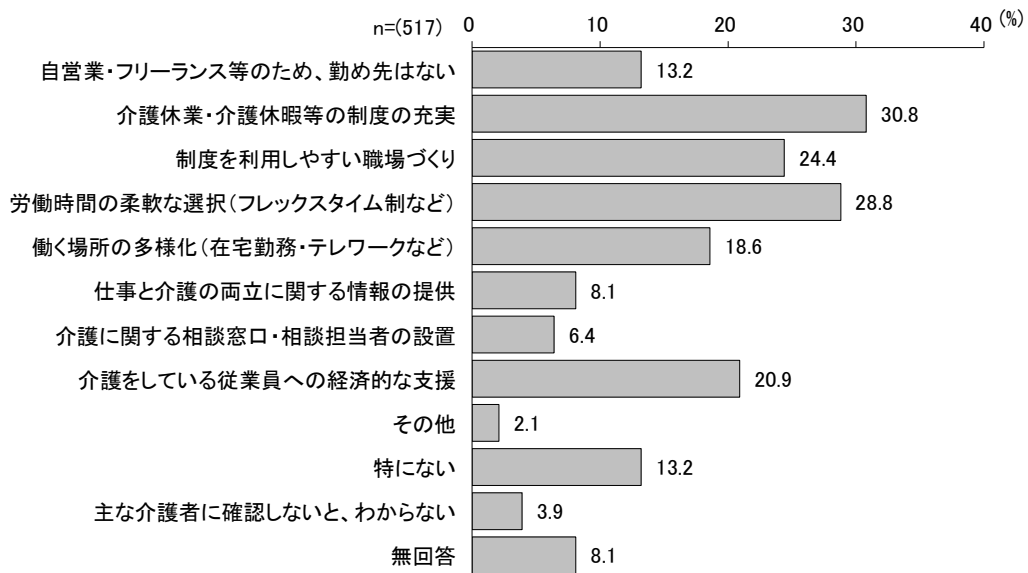
(%)

	n	特に行っていない	介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務等)」しながら、働いている	介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている	介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	介護のために、上記「2」～「4」以外の調整をしながら、働いている	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答	
全体	517	29.8	39.5	24.0	13.7	14.3	1.2	2.9	
圏域別	富坂地区	165	29.7	40.6	24.2	13.3	12.1	0.6	2.4
	大塚地区	124	25.8	40.3	28.2	15.3	17.7	-	2.4
	本富士地区	118	35.6	36.4	20.3	13.6	10.2	0.8	3.4
	駒込地区	110	28.2	40.0	22.7	12.7	18.2	3.6	3.6
家族構成別	一人暮らし	131	38.9	26.7	21.4	9.9	13.0	3.1	3.8
	夫婦のみ	60	28.3	41.7	23.3	16.7	13.3	-	3.3
	子どもと二世帯同居	228	25.9	44.3	25.0	17.1	14.9	0.4	3.1
	親と二世帯同居	7	42.9	28.6	42.9	-	14.3	-	-
	三世帯以上同居	68	25.0	50.0	25.0	10.3	13.2	1.5	-
その他	14	35.7	35.7	14.3	7.1	14.3	-	-	
要介護度別	要介護1	250	31.2	35.6	22.8	12.8	13.6	1.2	4.4
	要介護2	119	29.4	39.5	22.7	16.8	16.8	0.8	2.5
	要介護3	75	30.7	41.3	21.3	16.0	14.7	-	-
	要介護4	31	12.9	64.5	38.7	9.7	6.5	3.2	-
	要介護5	14	28.6	50.0	28.6	7.1	14.3	-	-
主な介護者の年齢別	40代以下	48	29.2	37.5	29.2	12.5	14.6	2.1	-
	50代	215	26.0	40.5	29.3	15.8	13.0	1.4	4.2
	60代	174	31.0	39.7	21.8	14.9	15.5	1.1	1.7
	70代	54	42.6	33.3	5.6	7.4	13.0	-	5.6
	80歳以上	19	26.3	47.4	26.3	-	15.8	-	-
サービス利用別	利用した	406	30.0	39.9	23.2	14.5	13.8	1.5	2.7
	利用していない	72	27.8	43.1	34.7	12.5	12.5	-	1.4
介護者の属性/性別	配偶者/男性	29	27.6	51.7	10.3	13.8	13.8	-	-
	配偶者/女性	21	14.3	42.9	23.8	14.3	42.9	-	-
	子/男性	120	38.3	31.7	22.5	15.8	10.0	-	3.3
	子/女性	249	21.7	43.8	31.7	16.5	14.5	1.6	2.8
	子の配偶者/男性	2	100.0	-	-	-	-	-	-
	子の配偶者/女性	28	35.7	50.0	10.7	-	10.7	-	3.6
	その他/男性	9	55.6	44.4	-	-	-	-	-
	その他/女性	18	38.9	22.2	5.6	5.6	16.7	5.6	11.1

問16-2 仕事と介護の両立に効果があると思う支援

仕事と介護の両立に向けて効果的と考えられる勤め先からの支援では、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が30.8%で最も高く、以下、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が28.8%、「制度を利用しやすい職場づくり」が24.4%、「介護をしている従業員への経済的な支援」が20.9%となっています。

（複数回答）



性別でみると、男性は、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が35.6%、女性は、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が30.0%と高くなっています。

圏域別でみると、本富士地区は、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」よりも、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が25.4%と高くなっています。

家族構成別でみると、夫婦のみは、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」よりも、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が30.0%と高くなっています。

要介護度別でみると、要介護5は、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」で57.1%、「仕事と介護の両立に関する情報の提供」で14.3%、「介護をしている従業員への経済的な支援」で42.9%と高くなっています。

主な介護者の年齢別でみると、「働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）」や「介護をしている従業員への経済的な支援」は、60代以下の層で高くなっています。

サービス利用別でみると、利用した層で高いのは、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」の30.8%、「働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）」の20.4%となっています。

介護者の属性/性別でみると、子/女性は、子/男性に比べて、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」で35.7%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」で34.5%と高くなっています。

【仕事と介護の両立に効果があると思う支援①

／性別、圏域別、家族構成別、要介護度別、主な介護者の年齢別、サービス利用別、介護者の属性／性別】

(%)

	n	自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	介護休業・介護休暇等の制度の充実	制度を利用しやすい職場づくり	労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)	働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど)	仕事と介護の両立に関する情報の提供	介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	介護をしている従業員への経済的な支援	その他	特になし
全体	517	13.2	30.8	24.4	28.8	18.6	8.1	6.4	20.9	2.1	13.2
性別											
男性	104	12.5	35.6	24.0	24.0	14.4	4.8	10.6	23.1	2.9	16.3
女性	413	13.3	29.5	24.5	30.0	19.6	9.0	5.3	20.3	1.9	12.3
圏域別											
富坂地区	165	10.3	30.3	24.2	29.7	17.6	6.7	6.1	23.6	2.4	13.3
大塚地区	124	12.9	37.9	26.6	30.6	18.5	8.9	5.6	20.2	3.2	14.5
本富士地区	118	17.8	22.9	21.2	25.4	17.8	9.3	6.8	14.4	1.7	14.4
駒込地区	110	12.7	31.8	25.5	29.1	20.9	8.2	7.3	24.5	0.9	10.0
家族構成別											
一人暮らし	131	14.5	26.0	21.4	20.6	16.8	6.9	6.1	11.5	1.5	12.2
夫婦のみ	60	11.7	21.7	21.7	30.0	16.7	5.0	8.3	13.3	8.3	21.7
子どもと二世帯同居	228	11.0	35.5	25.4	34.6	20.6	10.1	6.1	28.1	0.9	10.5
親と二世帯同居	7	14.3	28.6	-	42.9	42.9	14.3	14.3	14.3	-	28.6
三世帯以上同居	68	13.2	32.4	29.4	22.1	19.1	5.9	5.9	27.9	2.9	14.7
その他	14	21.4	28.6	21.4	28.6	7.1	14.3	7.1	-	-	21.4
要介護度別											
要介護1	250	10.8	31.6	24.0	28.8	20.8	6.0	6.8	21.2	1.6	13.6
要介護2	119	19.3	21.0	21.8	23.5	18.5	9.2	6.7	16.0	3.4	13.4
要介護3	75	16.0	38.7	28.0	36.0	20.0	9.3	5.3	20.0	-	14.7
要介護4	31	3.2	38.7	35.5	32.3	12.9	9.7	6.5	25.8	9.7	6.5
要介護5	14	21.4	57.1	21.4	35.7	-	14.3	-	42.9	-	14.3
主な介護者の年齢別											
40代以下	48	10.4	41.7	31.3	29.2	25.0	6.3	10.4	31.3	-	8.3
50代	215	11.6	34.0	30.2	30.7	18.6	9.3	6.0	22.8	2.8	7.9
60代	174	13.8	29.9	23.0	30.5	21.8	7.5	6.9	23.0	0.6	13.2
70代	54	18.5	9.3	5.6	18.5	7.4	9.3	1.9	3.7	5.6	35.2
80歳以上	19	15.8	36.8	15.8	26.3	5.3	5.3	10.5	10.5	5.3	15.8
サービス利用別											
利用した	406	12.3	30.3	25.6	30.8	20.4	7.1	6.2	20.9	2.0	12.6
利用していない	72	16.7	36.1	23.6	19.4	9.7	12.5	5.6	22.2	1.4	18.1
介護者の属性／性別											
配偶者/男性	29	13.8	17.2	13.8	31.0	17.2	10.3	3.4	13.8	3.4	20.7
配偶者/女性	21	14.3	42.9	23.8	33.3	9.5	9.5	9.5	28.6	4.8	28.6
子/男性	120	17.5	28.3	28.3	22.5	19.2	8.3	5.8	25.0	-	15.0
子/女性	249	10.8	35.7	27.3	34.5	22.9	8.4	7.6	22.1	2.4	7.2
子の配偶者/男性	2	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	50.0
子の配偶者/女性	28	14.3	21.4	14.3	28.6	7.1	3.6	10.7	14.3	-	17.9
その他/男性	9	-	22.2	33.3	33.3	-	33.3	11.1	11.1	-	11.1
その他/女性	18	16.7	16.7	16.7	5.6	-	5.6	-	16.7	-	22.2

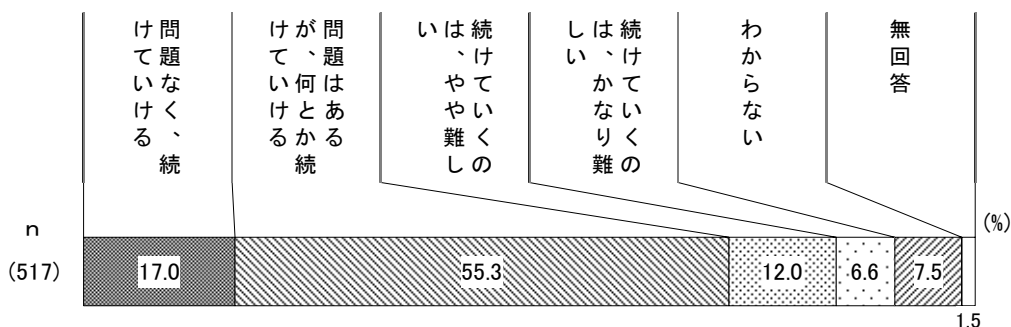
【仕事と介護の両立に効果があると思う支援②

／性別、圏域別、家族構成別、要介護度別、主な介護者の年齢別、サービス利用別、介護者の属性／性別】

		主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体		3.9	8.1
性別	男性	1.9	9.6
	女性	4.4	7.7
圏域別	富坂地区	3.6	12.1
	大塚地区	2.4	5.6
	本富士地区	3.4	6.8
	駒込地区	6.4	6.4
家族構成別	一人暮らし	7.6	11.5
	夫婦のみ	3.3	3.3
	子どもと二世帯同居	2.2	8.8
	親と二世帯同居	-	-
	三世帯以上同居	4.4	4.4
	その他	-	7.1
要介護度別	要介護1	4.8	9.6
	要介護2	3.4	6.7
	要介護3	-	5.3
	要介護4	3.2	6.5
	要介護5	-	-
主な介護者の年齢別	40代以下	8.3	2.1
	50代	3.7	8.8
	60代	3.4	7.5
	70代	1.9	13.0
	80歳以上	5.3	-
サービス利用別	利用した	4.4	7.1
	利用していない	1.4	8.3
介護者の属性／性別	配偶者／男性	3.4	3.4
	配偶者／女性	-	-
	子／男性	3.3	5.0
	子／女性	3.6	8.4
	子の配偶者／男性	-	-
	子の配偶者／女性	7.1	10.7
	その他／男性	11.1	-
	その他／女性	11.1	22.2

問16-3 主な介護者の仕事と介護の両立の継続可能性

主な介護者の就労継続見込みでは、「問題はあるが、何とか続けていける」が55.3%で最も高く、以下、「問題なく、続けていける」が17.0%、「続けていくのは、やや難しい」が12.0%、「わからない」が6.6%、「わからない」が7.5%となっています。



圏域別、要介護度別、サービス利用別では、特に目立った違いはありません。

家族構成別でみると、いずれの家族構成も「問題はあるが、何とか続けていける」が最も高く、一人暮らしは、「問題なく、続けていける」も23.7%となっています。

主な介護者の年齢別でみると、「問題なく、続けていける」は、低年齢層ほど高い傾向となっています。

介護者の属性/性別でみると、子/男性は、子/女性よりも、「問題なく、続けていける」で21.7%と高く、一方、子/女性は、「問題はあるが、何とか続けていける」が60.2%となっています。

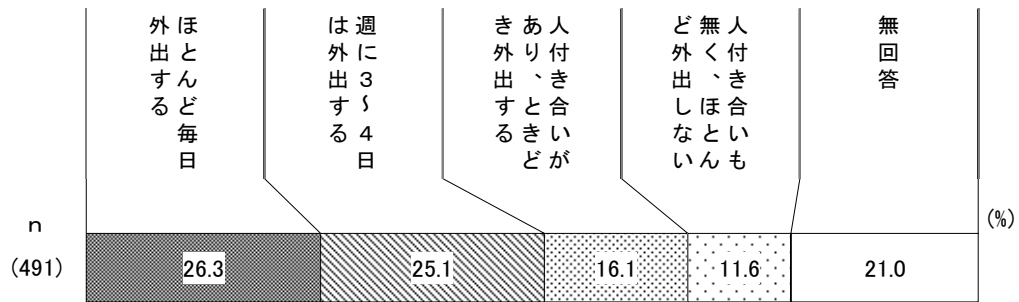
【主な介護者の仕事と介護の両立の継続可能性

／圏域別、家族構成別、要介護度別、主な介護者の年齢別、サービス利用別、介護者の属性/性別】

			(%)					
		n	問題なく、続けていける	問題はあるが、何とか続けていける	続けていくのは、やや難しい	続けていくのは、かなり難しい	わからない	無回答
全体		517	17.0	55.3	12.0	6.6	7.5	1.5
圏域別	富坂地区	165	18.2	54.5	12.1	3.6	9.7	1.8
	大塚地区	124	16.1	57.3	15.3	5.6	4.8	0.8
	本富士地区	118	16.9	52.5	10.2	9.3	9.3	1.7
	駒込地区	110	16.4	57.3	10.0	9.1	5.5	1.8
家族構成別	一人暮らし	131	23.7	48.1	9.9	4.6	11.5	2.3
	夫婦のみ	60	10.0	53.3	20.0	8.3	8.3	-
	子どもと二世帯同居	228	12.7	58.8	11.4	7.9	7.5	1.8
	親と二世帯同居	7	28.6	42.9	14.3	14.3	-	-
	三世帯以上同居	68	19.1	57.4	13.2	5.9	2.9	1.5
その他	14	42.9	57.1	-	-	-	-	
要介護度別	要介護1	250	19.2	52.0	12.0	6.4	8.8	1.6
	要介護2	119	16.8	55.5	13.4	6.7	6.7	0.8
	要介護3	75	9.3	65.3	16.0	5.3	2.7	1.3
	要介護4	31	12.9	54.8	6.5	12.9	6.5	6.5
	要介護5	14	35.7	50.0	7.1	7.1	-	-
主な介護者の年齢別	40代以下	48	20.8	58.3	4.2	8.3	8.3	-
	50代	215	18.1	50.7	14.0	6.5	8.4	2.3
	60代	174	14.9	61.5	12.1	5.2	5.7	0.6
	70代	54	16.7	53.7	11.1	9.3	7.4	1.9
80歳以上	19	10.5	52.6	15.8	10.5	10.5	-	
サービス利用別	利用した	406	16.5	56.2	12.1	6.4	7.1	1.7
	利用していない	72	20.8	56.9	6.9	6.9	8.3	-
介護者の属性/性別	配偶者/男性	29	13.8	55.2	13.8	13.8	3.4	-
	配偶者/女性	21	4.8	61.9	9.5	14.3	9.5	-
	子/男性	120	21.7	51.7	13.3	5.8	5.8	1.7
	子/女性	249	12.0	60.2	12.9	6.0	7.2	1.6
	子の配偶者/男性	2	50.0	50.0	-	-	-	-
	子の配偶者/女性	28	17.9	53.6	7.1	-	17.9	3.6
	その他/女性	18	44.4	38.9	-	-	16.7	-

問17 主な介護者の外出頻度

主な介護者の外出頻度では、「ほとんど毎日外出する」が26.3%で最も高く、以下、「週に3～4日は外出する」が25.1%、「人付き合いがあり、ときどき外出する」が16.1%、「人付き合いも無く、ほとんど外出しない」が11.6%となっています。



第5章 在宅介護実態調査（郵送）

圏域別でみると、「ほとんど毎日外出する」は、駒込地区で30.5%とやや高くなっています。家族構成別では、特に目立った違いはありません。

要介護度別でみると、「ほとんど毎日外出する」は、低い介護度ほど高い傾向にあります。

主な介護者の年齢別でみると、80歳以上は、「週に3～4日は外出する」よりも、「人付き合いがあり、ときどき外出する」が22.5%と高くなっています。

サービス利用別でみると、「ほとんど毎日外出する」は、利用していない層で35.9%と高くなっています。

介護者の属性/性別でみると、配偶者と子は、いずれも男性は、「ほとんど毎日外出する」、女性は、「週に3～4日は外出する」が高くなっています。

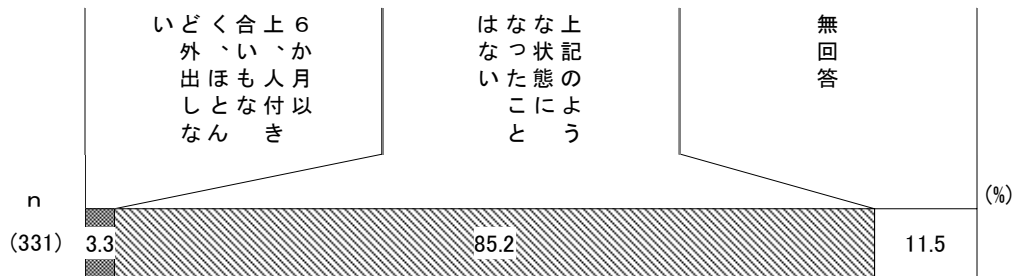
【主な介護者の外出頻度

／圏域別、家族構成別、要介護度別、主な介護者の年齢別、サービス利用別、介護者の属性/性別】

		n	(%)				無回答
			ほとんど毎日外出する	週に3～4日は外出する	人付き合いがあり、ときどき外出する	人付き合っても無く、ほとんど外出しない	
全体		491	26.3	25.1	16.1	11.6	21.0
圏域別	富坂地区	156	26.3	21.8	15.4	15.4	21.2
	大塚地区	113	24.8	27.4	16.8	9.7	21.2
	本富士地区	104	23.1	25.0	17.3	10.6	24.0
	駒込地区	118	30.5	27.1	15.3	9.3	17.8
家族構成別	一人暮らし	74	28.4	28.4	18.9	8.1	16.2
	夫婦のみ	152	25.7	25.7	15.1	11.2	22.4
	子どもと二世帯同居	173	23.7	23.1	15.0	14.5	23.7
	親と二世帯同居	7	57.1	14.3	28.6	-	-
	三世帯以上同居	55	27.3	29.1	18.2	10.9	14.5
	その他	20	40.0	20.0	15.0	10.0	15.0
要介護度別	要介護1	189	29.6	28.0	14.3	10.6	17.5
	要介護2	139	25.2	22.3	17.3	12.9	22.3
	要介護3	92	22.8	23.9	19.6	10.9	22.8
	要介護4	22	18.2	31.8	18.2	9.1	22.7
	要介護5	23	21.7	17.4	17.4	21.7	21.7
主な介護者の年齢別	40代以下	17	41.2	23.5	5.9	11.8	17.6
	50代	85	27.1	29.4	11.8	15.3	16.5
	60代	141	27.7	23.4	16.3	12.1	20.6
	70代	133	24.8	28.6	14.3	9.8	22.6
	80歳以上	111	24.3	18.9	22.5	10.8	23.4
サービス利用別	利用した	397	25.2	27.7	15.1	12.1	19.9
	利用していない	64	35.9	9.4	20.3	7.8	26.6
介護者の属性/性別	配偶者/男性	55	30.9	29.1	12.7	5.5	21.8
	配偶者/女性	117	21.4	23.9	17.9	15.4	21.4
	子/男性	73	34.2	19.2	9.6	15.1	21.9
	子/女性	164	26.8	27.4	17.7	9.8	18.3
	子の配偶者/男性	1	-	100.0	-	-	-
	子の配偶者/女性	19	31.6	31.6	5.3	15.8	15.8
	その他/男性	10	30.0	10.0	20.0	10.0	30.0
	その他/女性	24	16.7	25.0	29.2	8.3	20.8

問17-1 主な介護者の人付き合いの状況

6か月以上人付き合いもなくほとんど外出しない状態の有無では、「上記のような状態になったことはない」が85.2%、「6か月以上、人付き合いもなく、ほとんど外出しない」が3.3%となっています。



圏域別でみると、「上記のような状態になったことはない」は、駒込地区で91.9%と高くなっています。

家族構成別でみると、「上記のような状態になったことはない」は、夫婦のみで76.2%とやや低くなっています。

要介護度別では、人数の少ない層があるため、傾向がつかみにくくなっています。

主な介護者の年齢別でみると、「上記のような状態になったことはない」は、50代で98.3%と特に高くなっています。

サービス利用別及び介護者の属性/性別では、特に目立った違いはありません。

【主な介護者の人付き合いの状況

／圏域別、家族構成別、要介護度別、主な介護者の年齢別、サービス利用別、介護者の属性／性別】

		n	(%)		
			6か月以上、人付き合いもなく、ほとんど外出しない	上記のような状態になったことはない	無回答
全体		331	3.3	85.2	11.5
圏域別	富坂地区	99	5.1	81.8	13.1
	大塚地区	78	5.1	83.3	11.5
	本富士地区	68	1.5	83.8	14.7
	駒込地区	86	1.2	91.9	7.0
家族構成別	一人暮らし	56	-	89.3	10.7
	夫婦のみ	101	4.0	76.2	19.8
	子どもと二世帯同居	107	4.7	89.7	5.6
	親と二世帯同居	7	-	71.4	28.6
	三世帯以上同居	41	4.9	87.8	7.3
	その他	15	-	100.0	-
要介護度別	要介護1	136	1.5	84.6	14.0
	要介護2	90	3.3	86.7	10.0
	要介護3	61	4.9	91.8	3.3
	要介護4	15	6.7	86.7	6.7
	要介護5	13	15.4	46.2	38.5
主な介護者の年齢別	40代以下	12	16.7	75.0	8.3
	50代	58	1.7	98.3	-
	60代	95	4.2	83.2	12.6
	70代	90	2.2	84.4	13.3
	80歳以上	73	2.7	80.8	16.4
サービス利用別	利用した	270	3.0	87.0	10.0
	利用していない	42	4.8	81.0	14.3
介護者の属性/性別	配偶者/男性	40	5.0	82.5	12.5
	配偶者/女性	74	-	78.4	21.6
	子/男性	46	6.5	84.8	8.7
	子/女性	118	4.2	89.0	6.8
	子の配偶者/男性	1	-	100.0	-
	子の配偶者/女性	13	-	100.0	-
	その他/男性	6	-	100.0	-
	その他/女性	17	-	94.1	5.9

問17-2 主な介護者の人付き合いが変化した理由（記述）

現在の状態になったきっかけや役立ったことを聞いたところ、28人から延べ28件の回答がありました。

現在の状態になったきっかけや役立ったこと	（件）
自分や家族の病気	6
外出しない、やることがない	5
コロナのため	4
家族等の援助	4
ワクチン接種、病状回復	2
リハビリ、運動	2
主治医や情報収集	1
その他	4

【主な回答内容】

1. 「自分や家族の病気」

- 家族の病気の発症。
- 腰が悪い、痛い。

2. 「外出しない、やることがない」

- 通院と買物以外に外出する用が無い為。
- 何もやる（する）気にならなかった。

3. 「コロナのため」

- コロナのため、人と会うのを控えました。

4. 「家族等の援助」

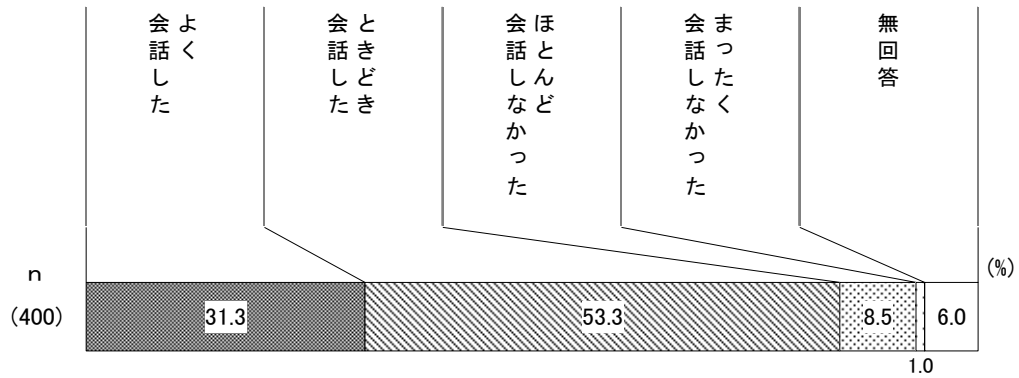
- コロナのため、人と会うのを控えました。

5. 「その他」

- よくわからない、人それぞれ。

問18 主な介護者の家族以外との会話の有無

最近6か月間の家族以外との会話の頻度では、「ときどき会話した」が53.3%で最も高く、以下、「よく会話した」が31.3%、「ほとんど会話しなかった」が8.5%、「まったく会話しなかった」が1.0%となっています。



圏域別でみると、「よく会話した」は、本富士地区で37.0%と高くなっています。
 家族構成別でみると、「よく会話した」は、一人暮らしで46.0%と高くなっています。
 要介護度別でみると、「よく会話した」は、低い介護度ほど高い傾向となっています。
 主な介護者の年齢別及び介護者の属性/性別では、特に目立った違いはありません。
 サービス利用別でみると、「よく会話した」は、利用した層で32.8%と高くなっています。

【主な介護者の家族以外との会話の有無

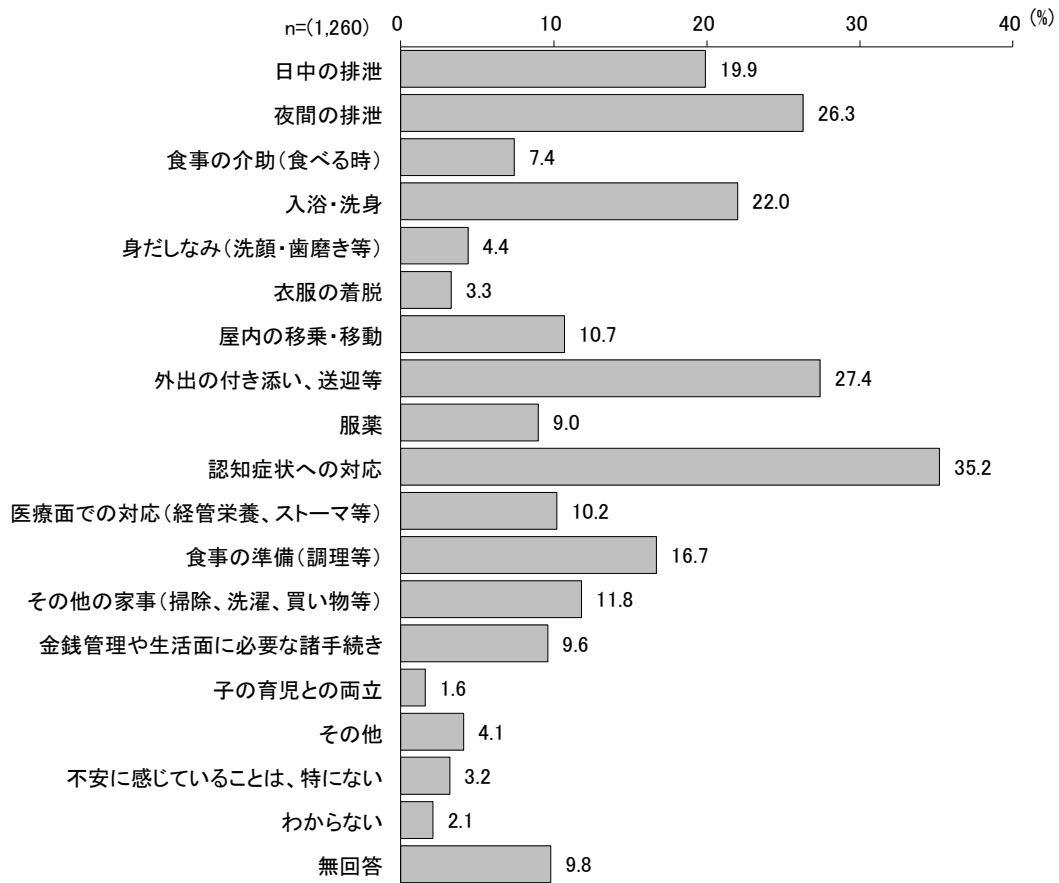
／圏域別、家族構成別、要介護度別、主な介護者の年齢別、サービス利用別、介護者の属性/性別】

			(%)				
		n	よく会話した	ときどき会話した	ほとんど会話しなかった	まったく会話しなかった	無回答
全体		400	31.3	53.3	8.5	1.0	6.0
圏域別	富坂地区	127	29.9	57.5	6.3	2.4	3.9
	大塚地区	91	30.8	45.1	13.2	-	11.0
	本富士地区	81	37.0	46.9	8.6	1.2	6.2
	駒込地区	101	28.7	60.4	6.9	-	4.0
家族構成別	一人暮らし	63	46.0	38.1	7.9	-	7.9
	夫婦のみ	112	33.0	52.7	6.3	0.9	7.1
	子どもと二世帯同居	150	25.3	58.7	10.7	1.3	4.0
	親と二世帯同居	5	20.0	60.0	20.0	-	-
	三世帯以上同居	49	22.4	59.2	8.2	2.0	8.2
	その他	17	41.2	58.8	-	-	-
要介護度別	要介護1	153	34.0	49.7	9.8	-	6.5
	要介護2	115	33.9	51.3	7.8	1.7	5.2
	要介護3	80	25.0	60.0	5.0	2.5	7.5
	要介護4	19	26.3	73.7	-	-	-
	要介護5	15	20.0	66.7	13.3	-	-
主な介護者の年齢別	40代以下	12	33.3	58.3	8.3	-	-
	50代	74	23.0	58.1	9.5	1.4	8.1
	60代	117	30.8	50.4	11.1	0.9	6.8
	70代	109	33.9	51.4	7.3	1.8	5.5
	80歳以上	85	32.9	56.5	5.9	-	4.7
サービス利用別	利用した	332	32.8	50.3	8.7	1.2	6.9
	利用していない	49	24.5	69.4	6.1	-	-
介護者の属性/性別	配偶者/男性	42	40.5	52.4	4.8	-	2.4
	配偶者/女性	92	27.2	56.5	7.6	2.2	6.5
	子/男性	63	25.4	55.6	15.9	1.6	1.6
	子/女性	138	29.0	50.7	8.7	-	11.6
	子の配偶者/男性	1	100.0	-	-	-	-
	子の配偶者/女性	17	17.6	70.6	5.9	5.9	-
	その他/女性	19	36.8	63.2	-	-	-

問19 主な介護者が不安に感じる介護等

主な介護者の方が不安に感じる介護では、「認知症状への対応」が35.2%で最も高く、以下、「外出の付き添い、送迎等」が27.4%、「夜間の排泄」が26.3%、「入浴・洗身」が22.0%となっています。

（複数回答）



性別で見ると、男性は、「外出の付き添い、送迎等」が37.0%、女性は、「認知症状への対応」が36.7%、「夜間の排泄」が27.1%と高くなっています。

圏域別で見ると、富坂地区で、「日中の排泄」が24.8%、大塚地区で、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」が13.1%と比較的高くなっています。

要介護度別で見ると、要介護1～3では、「認知症状への対応」、要介護3～5では、「夜間の排泄」が高くなっています。

主な介護者の年齢別で見ると、70代以下の各層では、「認知症状への対応」が、80歳以上では、「外出の付き添い、送迎等」が39.4%と高くなっています。

サービス利用別では、特に目立った違いはありません。

介護者の属性/性別で見ると、配偶者は、男女とも「外出の付き添い、送迎等」が、子は、男女とも「認知症状への対応」が高くなっています。

主な介護者の就労継続見込み別で見ると、問題なく、続けていける層では、「認知症状への対応」以上に、「外出の付き添い、送迎等」が27.3%と高くなっています。

【主な介護者が不安に感じる介護等①

／性別、圏域別、要介護度別、主な介護者の年齢別、サービス利用別、介護者の属性/性別、主な介護者の就労継続見込み】

		n	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	認知症状への対応 (%)
全体		1,260	19.9	26.3	7.4	22.0	4.4	3.3	10.7	27.4	9.0	35.2
性別	男性	370	17.3	24.3	7.8	24.1	5.4	3.8	11.1	37.0	9.7	31.4
	女性	890	21.0	27.1	7.2	21.1	4.0	3.0	10.6	23.4	8.8	36.7
圏域別	富坂地区	404	24.8	26.5	9.4	24.3	5.2	3.7	11.4	27.2	9.2	36.4
	大塚地区	283	20.1	25.4	6.7	18.4	4.2	2.8	12.0	29.7	6.7	36.7
	本富士地区	288	15.6	24.7	6.3	22.9	4.5	2.8	8.0	24.7	11.8	35.4
	駒込地区	285	17.2	28.4	6.3	21.4	3.5	3.5	11.2	28.1	8.4	31.6
要介護度別	要介護1	527	17.1	19.2	6.3	23.7	5.3	2.7	9.7	30.0	11.6	35.3
	要介護2	336	20.8	28.6	6.3	20.5	3.6	5.4	9.5	28.9	6.8	36.9
	要介護3	215	24.7	37.2	12.1	21.9	4.7	1.4	15.8	20.9	7.4	37.2
	要介護4	68	33.8	38.2	7.4	20.6	1.5	2.9	13.2	20.6	5.9	27.9
	要介護5	45	17.8	35.6	6.7	20.0	2.2	2.2	11.1	20.0	8.9	22.2
主な介護者の年齢別	40代以下	79	24.1	27.8	6.3	16.5	-	2.5	10.1	30.4	6.3	30.4
	50代	346	19.9	26.9	5.5	20.5	4.0	1.7	12.4	26.6	9.2	41.6
	60代	383	20.1	28.7	8.9	21.1	5.0	2.9	10.7	22.5	7.6	40.2
	70代	234	23.9	26.1	6.4	25.6	4.3	2.1	9.0	26.5	9.4	26.9
	80歳以上	193	14.0	19.7	9.3	23.8	6.2	8.3	10.4	39.4	12.4	29.5
サービス利用別	利用した	989	21.5	28.3	7.8	22.3	4.6	3.6	11.4	27.0	8.4	36.3
	利用していない	171	15.8	22.8	8.2	22.2	3.5	2.3	8.2	25.7	12.3	33.9
介護者の属性/性別	配偶者/男性	110	20.0	20.0	10.0	21.8	6.4	10.0	4.5	36.4	12.7	23.6
	配偶者/女性	205	15.6	21.5	6.3	26.3	6.8	5.4	10.7	42.4	9.3	33.7
	子/男性	218	27.1	32.6	6.9	25.2	3.7	1.4	11.0	22.9	9.2	35.3
	子/女性	493	19.5	27.8	7.1	20.3	3.7	1.6	13.4	22.7	7.7	39.6
	子の配偶者/男性	5	-	20.0	-	-	-	-	-	-	20.0	40.0
	子の配偶者/女性	61	23.0	27.9	9.8	11.5	6.6	4.9	4.9	21.3	8.2	41.0
	その他/男性	24	29.2	33.3	4.2	25.0	4.2	-	16.7	16.7	-	25.0
その他/女性	55	9.1	16.4	9.1	25.5	1.8	5.5	10.9	29.1	9.1	34.5	
主な介護者の就労継続見込み	問題なく、続けていける	88	12.5	15.9	2.3	20.5	3.4	3.4	8.0	27.3	10.2	25.0
	問題はあるが、何とか続けていける	286	22.7	27.3	7.0	23.8	5.6	2.1	12.9	31.1	10.8	39.9
	続けていくのは、やや難しい	62	24.2	25.8	9.7	27.4	3.2	-	11.3	24.2	8.1	45.2
	続けていくのは、かなり難しい	34	20.6	41.2	2.9	29.4	-	2.9	8.8	32.4	11.8	47.1
	わからない	39	12.8	12.8	-	23.1	7.7	2.6	10.3	10.3	10.3	20.5

第5章 在宅介護実態調査（郵送）

【主な介護者が不安に感じる介護等②】

／性別、圏域別、要介護度別、主な介護者の年齢別、サービス利用別、介護者の属性／性別、主な介護者の就労継続見込み】

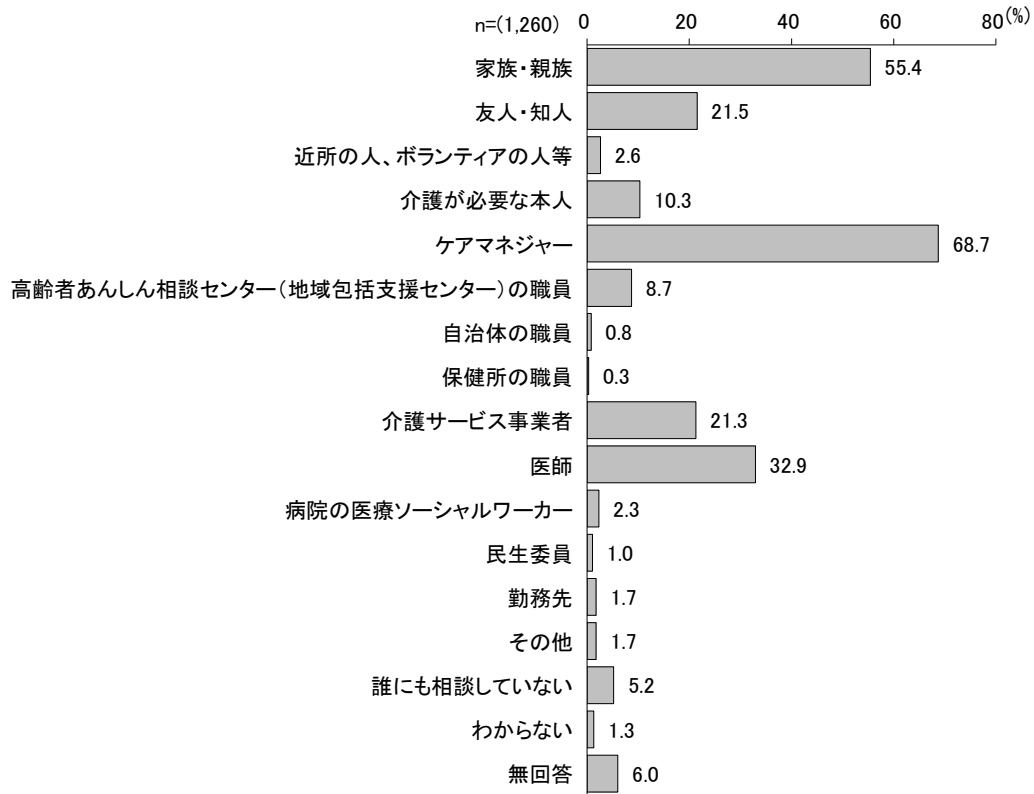
(%)

		医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	食事の準備(調理等)	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	子の育児との両立	その他	不安に感じていることは、特にない	わからない	無回答
全体		10.2	16.7	11.8	9.6	1.6	4.1	3.2	2.1	9.8
性別	男性	11.6	15.4	11.6	10.0	1.1	3.5	2.7	0.8	8.9
	女性	9.6	17.3	11.9	9.4	1.8	4.4	3.4	2.7	10.1
圏域別	富坂地区	9.7	14.6	11.1	11.4	1.2	3.2	2.2	2.2	8.9
	大塚地区	13.1	18.0	12.0	9.9	2.1	5.3	2.5	2.1	5.7
	本富士地区	8.3	19.1	12.2	9.7	1.0	5.9	3.1	2.8	12.8
	駒込地区	9.8	16.1	12.3	6.7	2.1	2.5	5.3	1.4	11.9
要介護度別	要介護1	9.9	18.4	14.4	11.0	1.1	2.5	4.4	2.7	8.9
	要介護2	8.6	17.6	11.9	9.2	2.4	6.0	0.9	2.7	10.4
	要介護3	13.0	15.3	10.2	7.0	0.9	3.7	2.3	0.9	6.5
	要介護4	10.3	8.8	1.5	5.9	1.5	5.9	8.8	-	11.8
	要介護5	17.8	22.2	2.2	8.9	4.4	6.7	2.2	2.2	6.7
主な介護者の年齢別	40代以下	10.1	10.1	12.7	15.2	10.1	2.5	5.1	5.1	8.9
	50代	11.3	16.8	12.4	12.4	2.3	4.6	2.3	2.6	8.1
	60代	10.4	13.6	10.7	7.0	0.3	5.7	4.2	2.1	10.7
	70代	6.8	23.9	11.5	10.7	0.4	3.0	3.0	1.3	8.5
	80歳以上	11.4	16.6	13.5	6.7	1.0	2.6	2.6	1.0	10.9
サービス利用別	利用した	10.2	16.6	11.3	9.3	1.6	3.9	2.9	1.9	8.8
	利用していない	9.4	15.8	13.5	8.8	0.6	4.1	5.3	3.5	9.9
介護者の属性／性別	配偶者/ 男性	5.5	21.8	14.5	7.3	-	3.6	5.5	0.9	7.3
	配偶者/ 女性	11.7	20.5	11.2	10.2	1.5	3.4	1.5	1.0	7.3
	子/ 男性	10.6	13.8	11.0	9.2	0.5	2.3	3.7	1.8	9.2
	子/ 女性	10.5	16.2	9.7	9.3	1.8	6.1	3.7	2.4	10.1
	子の配偶者/ 男性	60.0	40.0	20.0	-	-	-	-	-	20.0
	子の配偶者/ 女性	8.2	9.8	23.0	4.9	3.3	1.6	3.3	6.6	11.5
	その他/ 男性	-	8.3	12.5	8.3	-	-	4.2	8.3	12.5
その他/ 女性	10.9	10.9	9.1	21.8	3.6	1.8	1.8	1.8	10.9	
主な介護者の就労継続見込み	問題なく、続けていける	5.7	12.5	11.4	11.4	-	2.3	13.6	3.4	9.1
	問題はあるが、何とか続けていける	9.8	16.4	14.7	11.9	2.1	3.5	1.4	2.1	4.2
	続けていくのは、やや難しい	16.1	17.7	14.5	6.5	4.8	6.5	-	3.2	8.1
	続けていくのは、かなり難しい	8.8	11.8	8.8	5.9	2.9	20.6	2.9	-	2.9
	わからない	7.7	20.5	10.3	20.5	-	2.6	2.6	10.3	20.5

問20 主な介護者の介護についての相談先

主な介護者の介護についての相談先では、「ケアマネジャー」が68.7%で最も高く、以下、「家族・親族」が55.4%、「医師」が32.9%、「友人・知人」が21.5%となっています。

（複数回答）



圏域別でみると、大塚地区で、「高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）の職員」が13.1%とやや高くなっています。

要介護度別でみると、「友人・知人」は、低い介護度ほど、「介護サービス事業者」は、介護度とともに高くなる傾向にあります。

主な介護者の年齢別でみると、40代以下は、「ケアマネジャー」よりも、「家族・親族」が58.2%と高くなっています。

サービス利用別でみると、利用した層で高いものとして、「ケアマネジャー」の74.6%、「介護サービス事業者」の23.7%があります。

介護者の就労状況別でみると、いずれの状況も「ケアマネジャー」が最も高く、パートタイムで働いている層では、「友人・知人」も30.1%となっています。

介護者の属性/性別でみると、いずれの属性も「ケアマネジャー」が高く、配偶者と子の場合は、男女とも70%以上となっています。また、配偶者/女性は、配偶者/男性に比べて、「友人・知人」が22.4%と高くなっています。

【主な介護者の介護についての相談先①】

／圏域別、要介護度別、主な介護者の年齢別、サービス利用別、介護者の就労状況別、介護者の属性／性別】

		(%)										
	n	家族・親族	友人・知人	近所の人、ボランティアの人等	介護が必要な本人	ケアマネジャー	高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）の職員	自治体の職員	保健所の職員	介護サービス事業者	医師	
全体	1,260	55.4	21.5	2.6	10.3	68.7	8.7	0.8	0.3	21.3	32.9	
圏域別	富坂地区	404	57.2	21.8	2.2	8.9	67.1	7.2	1.7	0.5	18.6	29.7
	大塚地区	283	55.1	20.8	2.1	10.6	71.7	13.1	1.1	0.7	21.9	36.7
	本富士地区	288	50.3	22.2	2.4	12.2	66.3	7.3	-	-	25.3	32.3
	駒込地区	285	58.2	21.1	3.9	10.2	70.2	8.1	-	-	20.4	34.0
要介護度別	要介護1	527	56.7	21.4	2.5	9.5	63.4	8.9	1.5	0.6	18.4	30.9
	要介護2	336	58.0	24.1	3.3	10.7	74.4	8.0	-	0.3	20.8	34.8
	要介護3	215	48.8	22.8	2.3	8.8	76.7	6.5	-	-	21.9	33.5
	要介護4	68	52.9	17.6	5.9	14.7	75.0	13.2	-	-	27.9	30.9
	要介護5	45	53.3	15.6	-	8.9	71.1	13.3	2.2	-	46.7	40.0
主な介護者の年齢別	40代以下	79	58.2	24.1	1.3	8.9	53.2	3.8	1.3	1.3	12.7	19.0
	50代	346	58.7	24.9	3.5	10.1	67.9	10.4	1.7	0.9	18.5	30.6
	60代	383	56.9	23.5	3.1	9.9	73.6	7.3	0.3	-	25.3	32.6
	70代	234	50.4	18.8	0.9	11.5	70.9	7.7	-	-	23.1	40.2
	80歳以上	193	53.9	14.5	3.1	10.9	66.8	13.0	1.0	-	21.8	36.3
サービス利用別	利用した	989	56.4	21.4	2.6	10.5	74.6	8.2	0.7	0.4	23.7	33.7
	利用していない	171	53.2	21.1	1.2	9.4	38.0	10.5	0.6	-	8.8	30.4
介護者の就労状況別	フルタイムで働いている	308	52.9	19.8	1.3	11.4	66.9	11.0	1.3	0.3	21.1	27.6
	パートタイムで働いている	209	61.7	30.1	3.3	7.2	71.3	6.7	0.5	-	25.4	30.6
	その他（就学含む）	70	55.7	11.4	5.7	7.1	70.0	14.3	1.4	-	14.3	30.0
	働いていない・就学していない	491	60.5	21.4	2.4	12.4	74.7	8.4	0.8	-	23.2	40.3
介護者の属性/性別	配偶者/男性	110	50.0	8.2	0.9	18.2	70.0	10.9	0.9	-	22.7	37.3
	配偶者/女性	205	53.7	22.4	3.9	13.2	71.2	11.2	-	-	21.5	39.5
	子/男性	218	48.2	10.6	1.4	9.6	72.0	9.2	1.8	0.5	24.8	34.4
	子/女性	493	60.6	27.8	2.6	8.3	70.0	8.5	0.8	0.2	19.5	30.4
	子の配偶者/男性	5	20.0	20.0	-	-	60.0	20.0	-	-	-	20.0
	子の配偶者/女性	61	65.6	32.8	6.6	11.5	65.6	6.6	-	-	24.6	32.8
	その他/男性	24	50.0	16.7	4.2	16.7	58.3	-	-	-	29.2	37.5
	その他/女性	55	43.6	25.5	1.8	9.1	60.0	5.5	-	-	16.4	18.2

【主な介護者の介護についての相談先②

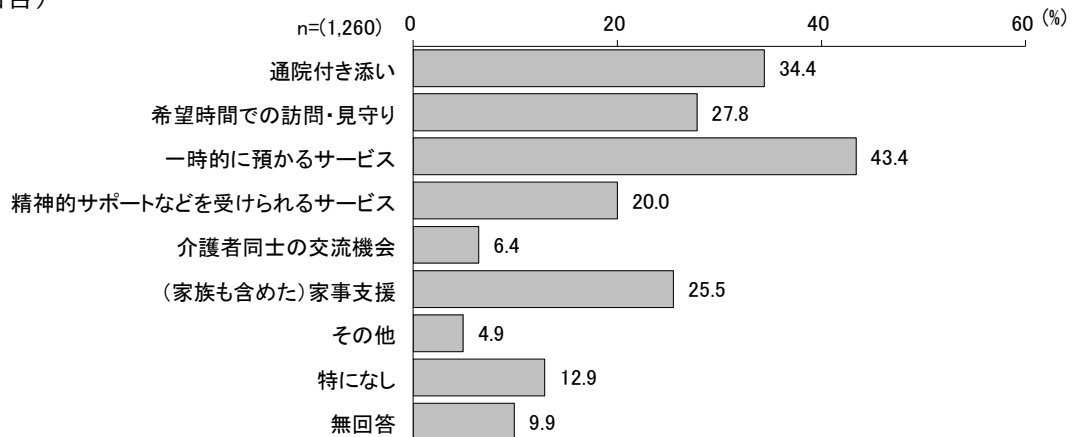
／圏域別、要介護度別、主な介護者の年齢別、サービス利用別、介護者の就労状況別、介護者の属性／性別】

		病院の医療ソーシャルワーカー	民生委員	勤務先	その他	誰にも相談していない	わからない	無回答
全体		2.3	1.0	1.7	1.7	5.2	1.3	6.0
圏域別	富坂地区	0.7	1.0	2.0	1.2	4.2	1.5	6.2
	大塚地区	3.9	1.4	2.5	2.1	5.3	0.7	4.2
	本富士地区	3.5	1.0	0.7	2.1	6.6	2.1	8.7
	駒込地区	1.8	0.7	1.4	1.4	4.9	1.1	4.6
要介護度別	要介護1	1.9	0.8	1.9	2.3	7.0	1.5	5.5
	要介護2	1.2	2.1	0.9	0.9	3.0	1.5	6.0
	要介護3	2.3	0.9	2.8	1.9	5.6	0.5	4.7
	要介護4	1.5	-	1.5	2.9	-	1.5	7.4
	要介護5	13.3	-	2.2	-	4.4	-	2.2
主な介護者の年齢別	40代以下	-	-	-	3.8	6.3	1.3	7.6
	50代	1.4	1.4	3.2	1.7	5.5	1.7	6.6
	60代	3.7	1.0	2.1	2.1	3.7	1.6	4.2
	70代	3.0	0.4	0.4	0.9	6.8	1.3	3.4
	80歳以上	1.6	1.6	0.5	1.0	5.2	0.5	7.3
サービス利用別	利用した	2.3	0.9	1.7	1.9	4.7	1.2	5.3
	利用していない	3.5	1.2	1.2	1.2	8.8	1.8	7.0
介護者の就労状況別	フルタイムで働いている	3.2	0.6	5.8	1.9	7.1	1.6	4.2
	パートタイムで働いている	1.9	1.4	1.4	0.5	3.3	1.9	4.8
	その他(就学含む)	2.9	1.4	-	5.7	7.1	1.4	2.9
	働いていない・就学していない	2.2	0.6	-	1.6	5.3	0.4	2.2
介護者の属性/性別	配偶者/男性	2.7	-	0.9	-	7.3	-	3.6
	配偶者/女性	2.9	1.5	-	2.0	5.4	1.0	2.9
	子/男性	4.6	0.5	3.7	2.3	6.4	1.8	5.0
	子/女性	1.0	1.4	2.2	2.2	3.7	0.6	6.7
	子の配偶者/男性	-	-	-	-	20.0	-	20.0
	子の配偶者/女性	1.6	3.3	-	-	6.6	-	8.2
	その他/男性	4.2	-	-	-	4.2	12.5	4.2
	その他/女性	1.8	-	1.8	1.8	9.1	5.5	5.5

問21 主な介護者の介護が必要だと思う支援

主な介護者自身にとって必要だと思う支援では、「一時的に預かるサービス」が43.4%で最も高く、以下、「通院付き添い」が34.4%、「希望時間での訪問・見守り」が27.8%、「(家族も含めた)家事支援」が25.5%となっています。

(複数回答)



第5章 在宅介護実態調査（郵送）

性別では、特に目立った違いはありません。

圏域別でみると、大塚地区では、「(家族も含めた)家事支援」が30.0%とやや高くなっています。

家族構成別でみると、一人暮らしは、「一時的に預かるサービス」よりも、「通院付き添い」の32.4%、「希望時間での訪問・見守り」の32.4%の方が高くなっています。

要介護度別でみると、要介護3は、「一時的に預かるサービス」が54.4%と特に高くなっています。

主な介護者の年齢別でみると、「通院付き添い」、「希望時間での訪問・見守り」は、50代以下の層で比較的高く、「精神的サポートなどを受けられるサービス」は、70代以上の層で低くなっています。

【主な介護者の介護が必要だと思う支援

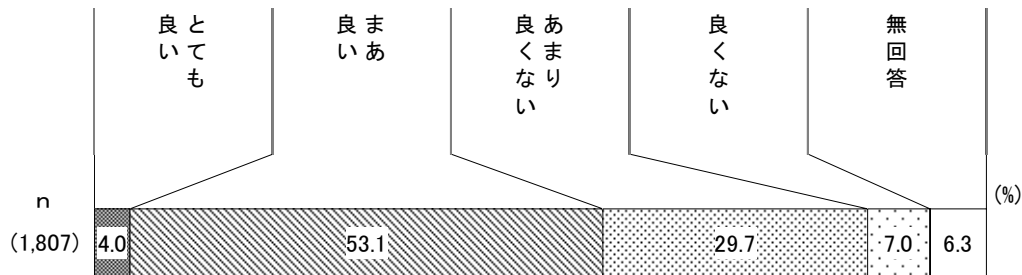
／性別、圏域別、家族構成別、要介護度別、主な介護者の年齢別】

		n	通院付き添い	希望時間での訪問・見守り	一時的に預かるサービス	精神的サポートなどを受けられるサービス	介護者同士の交流機会	(家族も含めた)家事支援	その他	特になし	無回答
全体		1,260	34.4	27.8	43.4	20.0	6.4	25.5	4.9	12.9	9.9
性別	男性	370	38.6	28.9	45.7	18.9	7.8	27.6	3.0	11.9	11.4
	女性	890	32.7	27.3	42.5	20.4	5.8	24.6	5.7	13.4	9.3
圏域別	富坂地区	404	32.2	28.0	46.0	17.1	6.2	22.0	5.4	13.4	10.9
	大塚地区	283	37.8	28.6	42.0	23.0	5.7	30.0	4.9	12.4	8.1
	本富士地区	288	31.3	30.2	39.6	19.8	8.3	25.3	3.1	14.9	12.2
	駒込地区	285	37.5	24.2	44.9	21.4	5.6	26.0	6.0	10.9	8.1
家族構成別	一人暮らし	244	32.4	32.4	28.7	14.3	5.3	25.4	6.1	15.2	12.3
	夫婦のみ	299	37.5	23.4	41.8	15.1	7.0	30.1	3.0	12.7	12.4
	子どもと二世帯同居	480	32.3	30.0	50.6	25.6	5.8	23.8	5.0	13.8	7.3
	親と二世帯同居	18	33.3	27.8	55.6	27.8	11.1	27.8	-	5.6	5.6
	三世帯以上同居	146	37.7	21.9	50.0	18.5	6.8	23.3	7.5	8.2	7.5
その他	45	33.3	24.4	40.0	31.1	13.3	22.2	2.2	15.6	11.1	
要介護度別	要介護1	527	35.7	24.9	39.8	19.4	5.7	25.0	5.3	14.8	9.3
	要介護2	336	37.2	27.1	44.0	20.8	6.0	26.2	3.6	10.1	10.7
	要介護3	215	32.6	33.0	54.4	21.4	8.4	26.5	5.1	10.7	8.4
	要介護4	68	27.9	39.7	45.6	20.6	5.9	27.9	5.9	11.8	11.8
	要介護5	45	26.7	35.6	42.2	20.0	6.7	22.2	4.4	22.2	4.4
主な介護者の年齢別	40代以下	79	40.5	31.6	41.8	24.1	7.6	27.8	2.5	8.9	8.9
	50代	346	42.8	34.7	43.4	23.4	7.8	28.9	8.1	9.8	8.4
	60代	383	29.0	28.7	44.1	21.7	6.0	21.4	6.0	13.3	8.1
	70代	234	26.5	22.2	45.7	13.7	5.6	23.5	0.9	16.7	11.1
	80歳以上	193	37.3	19.2	41.5	17.6	5.7	30.6	3.1	15.0	13.0

6. 健康・介護予防

問22 現在の健康状態

健康状態では、「まあ良い」が53.1%で最も高く、以下、「あまり良くない」が29.7%、「良くない」が7.0%、「とても良い」が4.0%となっています。



性別でみると、女性は、「まあ良い」が55.6%と、男性よりも高くなっています。

年齢別でみると、「まあ良い」は、80歳以上の各層で比較的高くなっています。

圏域別でみると、「まあ良い」は、富坂地区で57.9%、大塚地区で55.9%と高くなっています。

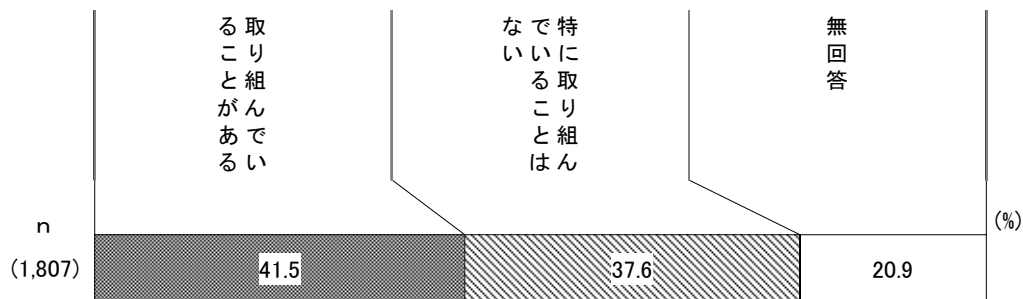
要介護度別でみると、要介護5は、「まあ良い」が33.3%と低く、「良くない」が25.0%となっています。

【現在の健康状態／性別、年齢別、圏域別、要介護度別】

		n	とても良い	まあ良い	あまり良くない	良くない	無回答
全体		1,807	4.0	53.1	29.7	7.0	6.3
性別	男性	611	2.9	48.1	32.6	8.5	7.9
	女性	1,196	4.5	55.6	28.2	6.2	5.5
年齢別	65歳未満	39	5.1	53.8	23.1	17.9	-
	65～69歳	39	2.6	46.2	41.0	10.3	-
	70～74歳	93	3.2	45.2	33.3	12.9	5.4
	75～79歳	189	5.3	43.9	34.4	7.9	8.5
	80～84歳	357	3.1	52.9	30.3	7.3	6.4
	85～89歳	470	4.0	54.7	28.7	6.0	6.6
	90歳以上	542	3.9	58.7	27.7	5.2	4.6
圏域別	富坂地区	577	2.8	57.9	27.9	5.5	5.9
	大塚地区	410	4.4	55.9	28.3	6.3	5.1
	本富士地区	395	6.6	47.8	28.9	8.4	8.4
	駒込地区	425	2.8	48.7	34.1	8.2	6.1
要介護度別	要介護1	775	4.3	54.7	30.3	5.2	5.5
	要介護2	449	3.6	55.7	27.6	6.2	6.9
	要介護3	272	2.6	54.4	31.6	7.4	4.0
	要介護4	96	1.0	53.1	30.2	8.3	7.3
	要介護5	72	8.3	33.3	31.9	25.0	1.4

問23 介護予防の取組状況

健康維持のため現在取り組んでいることの有無では、「取り組んでいることがある」が41.5%、「特に取り組んでいることはない」が37.6%となっています。



性別でみると、「特に取り組んでいることはない」は、女性で39.7%と高くなっています。
 年齢別でみると、「取り組んでいることがある」は、低年齢層ほど高い傾向にあります。
 圏域別でみると、本富士地区は、「特に取り組んでいることはない」が40%で、唯一、「取り組んでいることがある」よりも低い地区となっています。
 要介護度別でみると、「特に取り組んでいることはない」は、介護度とともに高くなる傾向にあります。
 健康感別でみると、「とても良い」層と、「まあ良い」層は、「取り組んでいることがある」が、「あまり良くない」層と、「良くない」層は、「特に取り組んでいることはない」が高くなっています。
 サービス利用別でみると、「利用した」層は、「取り組んでいることがある」が、「利用していない」層は、「特に取り組んでいることはない」が高くなっています。

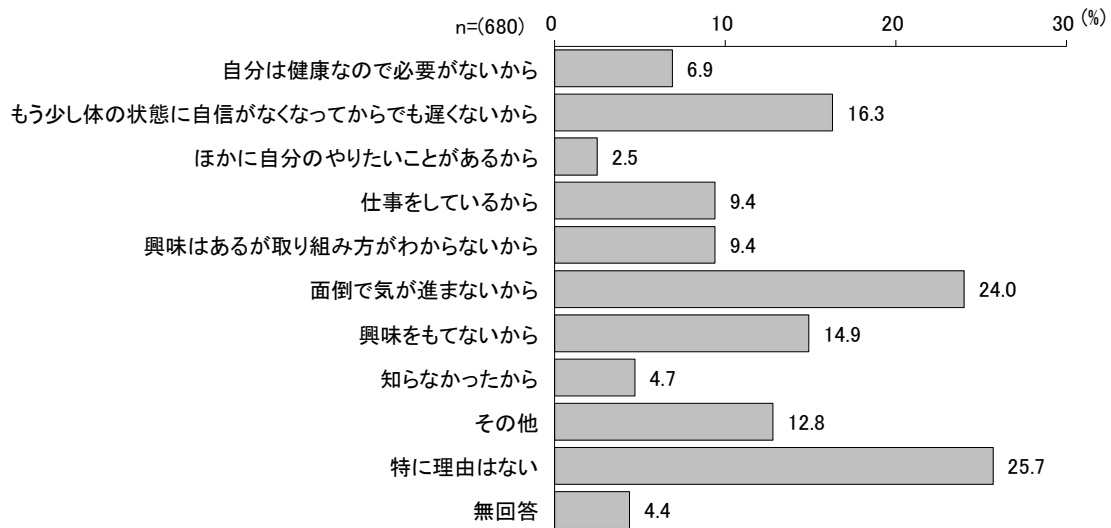
【介護予防の取組状況／性別、年齢別、圏域別、要介護度別、健康感別、サービス利用別】

		(%)			
		n	取り組んでいることがある	特に取り組んでいることはない	無回答
全体		1,807	41.5	37.6	20.9
性別	男性	611	43.4	33.6	23.1
	女性	1,196	40.6	39.7	19.7
年齢別	65歳未満	39	61.5	33.3	5.1
	65～69歳	39	61.5	28.2	10.3
	70～74歳	93	45.2	37.6	17.2
	75～79歳	189	41.3	35.4	23.3
	80～84歳	357	42.3	35.3	22.4
	85～89歳	470	38.9	40.2	20.9
	90歳以上	542	41.9	39.3	18.8
圏域別	富坂地区	577	42.1	37.6	20.3
	大塚地区	410	46.3	35.1	18.5
	本富士地区	395	38.2	40.0	21.8
	駒込地区	425	39.1	37.9	23.1
要介護度別	要介護1	775	43.5	36.0	20.5
	要介護2	449	41.2	37.6	21.2
	要介護3	272	44.9	41.2	14.0
	要介護4	96	40.6	40.6	18.8
	要介護5	72	40.3	43.1	16.7
健康感別	とても良い	72	54.2	34.7	11.1
	まあ良い	959	47.3	37.7	14.9
	あまり良くない	536	39.0	43.1	17.9
	良くない	126	34.1	46.0	19.8
サービス利用別	利用した	1,262	46.4	38.8	14.8
	利用していない	322	32.6	43.2	24.2

問23-1 介護予防に取り組んでいない理由

取り組んでいない理由では、「特に理由はない」が25.7%を占めています。一方、具体的な選択肢の中では、「面倒で気が進まないから」が24.0%で最も高く、以下、「もう少し体の状態に自信がなくなってからでも遅くないから」が16.3%、「興味をもてないから」が14.9%となっています。

（複数回答）



性別で見ると、男性は、女性に比べて「もう少し体の状態に自信がなくなってからでも遅くないから」が21.0%、女性は、「仕事をしているから」が10.9%、「興味をもてないから」が16.4%と高くなっています。

年齢別で見ると、多くの年齢層で、「面倒で気が進まないから」が最も高くなっていますが、70～74歳は、「もう少し体の状態に自信がなくなってからでも遅くないから」が28.6%と高くなっています。

圏域別で見ると、大塚地区は、「面倒で気が進まないから」が28.5%で最も高くなっています。

家族構成別で見ると、夫婦のみは、「もう少し体の状態に自信がなくなってからでも遅くないから」が26.3%で最も高くなっています。

要介護度別で見ると、「もう少し体の状態に自信がなくなってからでも遅くないから」、「面倒で気が進まないから」、「興味をもてないから」は、低い介護度ほど高い傾向にあります。

サービス利用別で見ると、「もう少し体の状態に自信がなくなってからでも遅くないから」は、「利用していない」層で23.7%と高くなっています。

記入者別で見ると、「もう少し体の状態に自信がなくなってからでも遅くないから」は、あて名の本人や配偶者（夫、妻）で、面倒で気が進まないからは、子ども（息子・娘、息子・娘の配偶者）で高くなっています。

【介護予防に取り組んでいない理由／

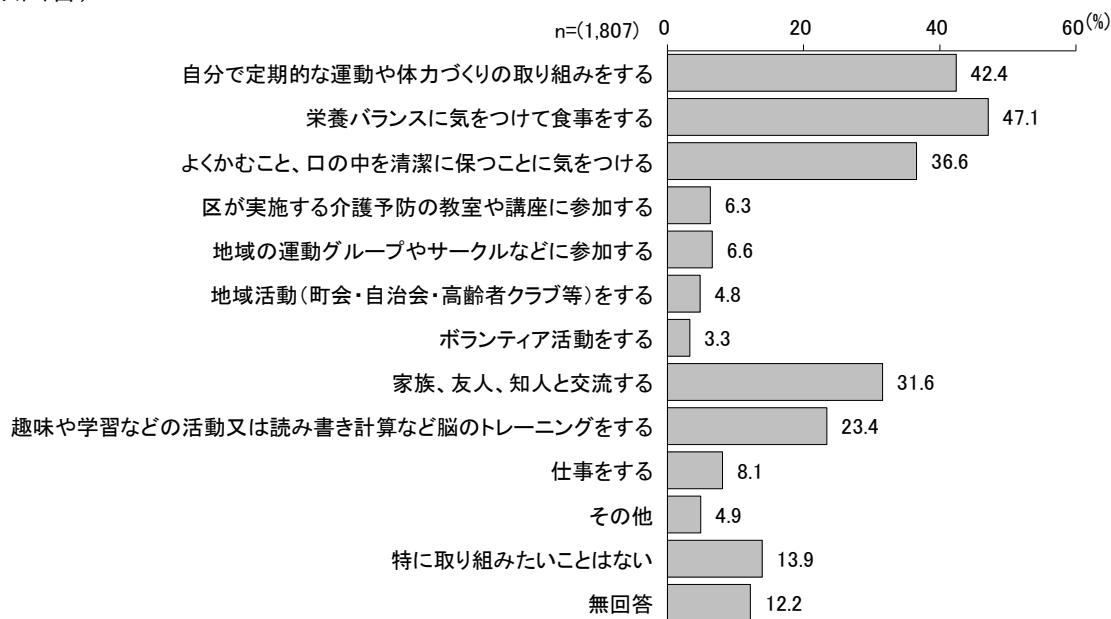
性別、年齢別、圏域別、家族構成別、要介護度別、サービス利用別、記入者別】

		n	自分は健康なので必要がないから	もう少し体の状態に自信がなくなっても遅くないから	ほかに自分のやりたいことがあるから	仕事をしているから	興味はあるが取り組み方がわからないから	面倒で気が進まないから	興味をもてないから	知らなかったから	その他	特に理由はない	無回答
全体		680	6.9	16.3	2.5	9.4	9.4	24.0	14.9	4.7	12.8	25.7	4.4
性別	男性	205	5.9	21.0	3.4	5.9	8.8	22.9	11.2	2.9	16.1	22.0	6.3
	女性	475	7.4	14.3	2.1	10.9	9.7	24.4	16.4	5.5	11.4	27.4	3.6
年齢別	65歳未満	13	7.7	7.7	-	7.7	7.7	15.4	7.7	7.7	23.1	30.8	-
	65～69歳	11	9.1	18.2	-	-	9.1	27.3	18.2	-	-	27.3	18.2
	70～74歳	35	2.9	28.6	-	5.7	20.0	22.9	8.6	2.9	17.1	20.0	2.9
	75～79歳	67	3.0	19.4	3.0	11.9	11.9	22.4	10.4	9.0	17.9	20.9	4.5
	80～84歳	126	9.5	15.9	1.6	11.1	8.7	28.6	18.3	5.6	10.3	15.9	6.3
	85～89歳	189	7.4	15.3	2.6	8.5	7.9	25.4	16.9	4.2	14.8	24.3	4.8
	90歳以上	213	6.1	13.1	2.8	9.4	8.0	20.7	13.1	2.8	10.8	36.2	3.3
圏域別	富坂地区	217	5.5	13.8	3.2	7.8	12.0	23.0	10.6	3.7	15.2	24.4	6.0
	大塚地区	144	6.3	13.2	2.8	9.7	9.0	28.5	19.4	4.2	13.9	25.0	5.6
	本富士地区	158	7.6	18.4	1.3	10.1	6.3	23.4	15.2	6.3	14.6	27.2	1.9
	駒込地区	161	8.7	20.5	2.5	10.6	9.3	21.7	16.1	5.0	6.8	26.7	3.7
家族構成別	一人暮らし	169	9.5	16.6	1.8	4.1	9.5	26.6	18.9	3.0	9.5	26.0	4.1
	夫婦のみ	133	7.5	26.3	2.3	8.3	11.3	22.6	12.0	6.0	11.3	18.8	4.5
	子どもと二世帯同居	257	5.1	12.8	3.1	10.9	8.9	22.2	12.5	5.8	14.4	27.6	5.1
	親と二世帯同居	6	16.7	-	-	16.7	-	50.0	-	-	-	33.3	-
	三世帯以上同居	62	6.5	11.3	3.2	17.7	11.3	30.6	22.6	3.2	14.5	22.6	3.2
	その他	38	5.3	15.8	2.6	13.2	5.3	21.1	15.8	5.3	18.4	34.2	-
要介護度別	要介護1	279	10.0	18.3	1.4	9.0	9.7	27.2	16.5	4.3	11.5	20.8	4.3
	要介護2	169	6.5	16.6	3.0	8.9	8.9	24.3	18.9	4.7	8.9	30.2	3.6
	要介護3	112	3.6	9.8	2.7	11.6	8.9	21.4	11.6	5.4	14.3	26.8	7.1
	要介護4	39	-	7.7	5.1	10.3	10.3	12.8	5.1	-	20.5	43.6	7.7
	要介護5	31	-	9.7	-	12.9	-	6.5	6.5	6.5	45.2	32.3	-
サービス利用別	利用した	490	6.3	13.9	1.4	9.2	9.8	25.5	16.7	4.5	11.8	27.3	5.1
	利用していない	139	8.6	23.7	5.8	11.5	8.6	22.3	11.5	3.6	15.1	18.7	2.2
記入者別	あて名のご本人	213	8.9	28.2	2.8	6.1	12.2	21.6	9.9	6.1	7.0	20.7	4.2
	配偶者(夫、妻)	100	6.0	23.0	5.0	10.0	8.0	17.0	11.0	4.0	19.0	22.0	7.0
	子ども(息子・娘、息子・娘の配偶者)	304	5.9	7.9	1.6	12.8	8.2	28.0	17.8	4.3	15.8	28.0	3.3
	兄弟姉妹	12	-	8.3	-	-	16.7	25.0	33.3	-	8.3	41.7	-
	孫	1	-	-	-	-	-	100.0	100.0	-	-	-	-
	その他	25	8.0	-	4.0	4.0	4.0	28.0	20.0	4.0	4.0	44.0	-

問24 介護予防のために今後取り組みたいこと

健康維持のため今後取り組みたいことでは、「栄養バランスに気をつけて食事をする」が47.1%で最も高く、以下、「自分で定期的な運動や体力づくりの取り組みをする」が42.4%、「よくかむこと、口の中を清潔に保つことに気をつける」が36.6%、「家族、友人、知人と交流する」が31.6%となっています。

（複数回答）



性別及び圏域別では、特に目立った違いはありません。

年齢別でみると、65～69歳は、「自分で定期的な運動や体力づくりの取り組みをする」と「栄養バランスに気をつけて食事をする」で59.0%、「よくかむこと、口の中を清潔に保つことに気をつける」で53.8%と高くなっています。

家族構成別でみると、親と二世帯同居は、「栄養バランスに気をつけて食事をする」と並んで、「自分で定期的な運動や体力づくりの取り組みをする」や「よくかむこと、口の中を清潔に保つことに気をつける」も高くなっています。

要介護度別でみると、要介護4、5では、「家族、友人、知人と交流する」や「趣味や学習などの活動又は読み書き計算など脳のトレーニングをする」が低くなっています。

記入者別でみると、子ども（息子・娘、息子・娘の配偶者）は、他に比べて「栄養バランスに気をつけて食事をする」が41.1%とやや低くなっています。

【介護予防のために今後取り組みたいこと

／性別、年齢別、圏域別、家族構成別、要介護度別、記入者別】

(%)

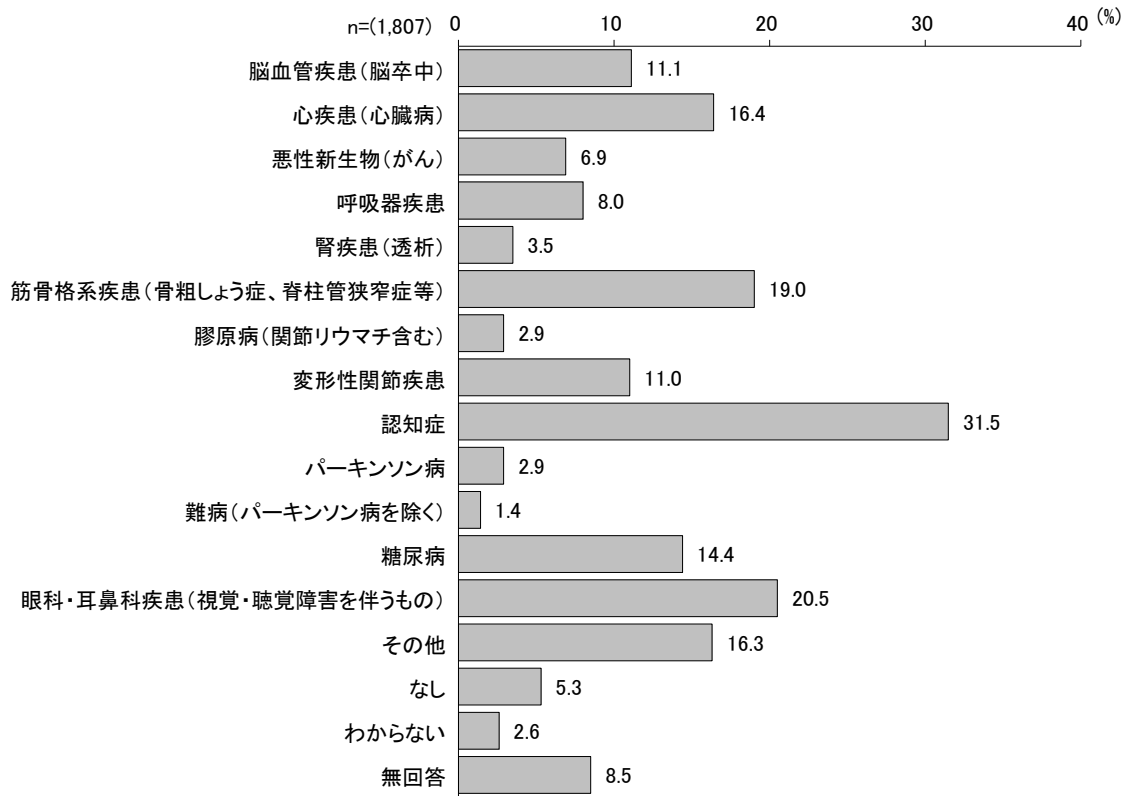
	n	自分で定期的な運動や体力づくりの取り組みをする	栄養バランスに気をつけて食事をする	よくかむこと、口の中を清潔に保つことに気をつける	区が実施する介護予防の教室や講座に参加する	地域の運動グループやサークルなどに参加する	地域活動(町会・自治会・高齢者クラブ等)をする	ボランティア活動をする	家族、友人、知人と交流する	趣味や学習などの活動又は読み書き計算など脳のトレーニングをする	仕事をする	
全体	1,807	42.4	47.1	36.6	6.3	6.6	4.8	3.3	31.6	23.4	8.1	
性別	男性	611	46.0	48.1	36.5	6.5	5.4	3.1	30.4	21.9	8.5	
	女性	1,196	40.6	46.6	36.7	6.2	6.6	4.5	3.3	32.2	24.2	7.9
年齢別	65歳未満	39	48.7	48.7	43.6	-	-	2.6	5.1	33.3	15.4	17.9
	65～69歳	39	59.0	59.0	53.8	5.1	7.7	-	2.6	23.1	28.2	15.4
	70～74歳	93	49.5	52.7	40.9	5.4	6.5	4.3	2.2	29.0	21.5	9.7
	75～79歳	189	46.0	48.1	35.4	5.8	6.9	6.9	5.3	36.0	24.3	7.9
	80～84歳	357	42.0	47.9	34.7	9.5	7.6	5.9	3.6	30.8	23.2	5.6
	85～89歳	470	40.4	47.9	38.1	6.4	6.6	4.5	2.8	35.3	21.3	7.4
	90歳以上	542	40.0	46.3	35.4	4.4	6.5	4.6	3.0	28.4	24.9	8.7
圏域別	富坂地区	577	41.1	46.3	35.9	6.8	6.2	3.6	2.9	30.5	24.1	7.1
	大塚地区	410	46.1	46.8	33.7	6.1	7.6	5.4	4.1	32.0	23.2	9.0
	本富士地区	395	39.7	45.6	37.0	6.6	5.8	4.8	2.5	30.9	22.3	6.8
	駒込地区	425	43.3	49.9	40.2	5.6	6.8	5.9	3.5	33.4	23.8	9.9
家族構成別	一人暮らし	424	39.9	47.2	36.3	5.4	6.1	3.3	3.8	29.2	23.6	7.3
	夫婦のみ	454	49.3	50.9	39.6	7.7	7.9	6.4	3.3	33.9	23.3	6.6
	子どもと二世帯同居	599	40.7	46.4	35.2	5.7	6.7	4.8	2.7	30.4	22.5	9.7
	親と二世帯同居	22	54.5	50.0	45.5	4.5	-	-	-	36.4	27.3	13.6
	三世帯以上同居	169	42.6	45.0	38.5	7.7	6.5	4.7	4.1	37.9	26.0	10.1
	その他	86	36.0	39.5	29.1	7.0	5.8	5.8	4.7	29.1	26.7	7.0
要介護度別	要介護1	775	43.5	50.2	37.8	8.3	8.5	5.5	3.5	32.6	24.0	6.6
	要介護2	449	41.4	46.1	35.4	2.7	3.8	4.9	3.1	32.7	24.1	7.6
	要介護3	272	41.9	49.6	37.5	6.3	7.0	4.0	2.9	33.5	23.5	11.4
	要介護4	96	36.5	38.5	37.5	4.2	2.1	1.0	1.0	22.9	16.7	6.3
	要介護5	72	45.8	50.0	37.5	4.2	5.6	6.9	5.6	20.8	15.3	16.7
	記入者別	あて名のご本人	668	48.5	53.4	47.0	9.1	8.7	5.8	4.5	38.3	27.4
配偶者(夫、妻)	306	41.5	49.3	34.6	7.2	7.2	6.9	1.0	31.4	19.6	5.6	
子ども(息子・娘、息子・娘の配偶者)	691	38.2	41.1	28.1	4.2	4.9	3.3	2.9	26.3	21.7	9.8	
兄弟姉妹	26	42.3	50.0	38.5	-	7.7	-	7.7	19.2	26.9	-	
孫	6	50.0	50.0	33.3	-	-	-	-	33.3	50.0	-	
その他	45	42.2	46.7	26.7	-	4.4	2.2	4.4	24.4	17.8	13.3	

	その他	特に取り組みたいことはない	無回答	
全体	4.9	13.9	12.2	
性別	男性	4.6	11.8	14.2
	女性	5.0	15.1	11.2
年齢別	65歳未満	5.1	17.9	5.1
	65～69歳	2.6	10.3	5.1
	70～74歳	8.6	7.5	10.8
	75～79歳	5.8	10.6	11.1
	80～84歳	4.2	12.9	14.3
	85～89歳	4.9	14.5	11.1
	90歳以上	4.8	16.6	11.6
圏域別	富坂地区	6.2	12.8	12.0
	大塚地区	5.1	17.1	10.5
	本富士地区	3.8	13.4	15.7
	駒込地区	3.8	12.9	11.1
家族構成別	一人暮らし	5.4	14.2	12.5
	夫婦のみ	5.1	10.6	13.2
	子どもと二世帯同居	3.7	15.4	10.7
	親と二世帯同居	4.5	13.6	9.1
	三世帯以上同居	5.3	14.2	10.1
	その他	10.5	18.6	10.5
要介護度別	要介護1	5.2	11.7	10.6
	要介護2	4.5	12.9	12.7
	要介護3	5.1	19.1	8.8
	要介護4	2.1	22.9	14.6
	要介護5	5.6	20.8	11.1
	記入者別	あて名のご本人	4.9	7.8
配偶者(夫、妻)	4.6	11.8	14.1	
子ども(息子・娘、息子・娘の配偶者)	5.6	19.7	11.4	
兄弟姉妹	-	23.1	7.7	
孫	16.7	16.7	-	
その他	2.2	24.4	6.7	

問25 病気の状況

現在抱えている傷病では、「認知症」が31.5%で最も高く、以下、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が20.5%、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が19.0%、「心疾患（心臓病）」が16.4%となっています。

（複数回答）



性/年齢別でみると、「脳血管疾患（脳卒中）」は男女とも、低い年齢層ほど高い傾向にあります。また、男性/75～79歳は、「糖尿病」が、男性の80歳以上、女性の75歳以上の各層では、「認知症」が高くなっています。

圏域別では、特に目立った違いはありません。

【病気の状況／性／年齢別、圏域別】

(%)

	n	脳血管疾患(脳卒中)	心疾患(心臓病)	悪性新生物(がん)	呼吸器疾患	腎疾患(透析)	筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)	膠原病(関節リウマチ含む)	変形性関節疾患	認知症	パーキンソン病
全体	1,807	11.1	16.4	6.9	8.0	3.5	19.0	2.9	11.0	31.5	2.9
性/年齢別	男性/65歳未満	17	52.9	11.8	11.8	11.8	5.9	5.9	5.9	5.9	-
	男性/65～69歳	25	44.0	4.0	8.0	-	16.0	8.0	-	4.0	4.0
	男性/70～74歳	52	28.8	11.5	17.3	9.6	3.8	5.8	-	5.8	17.3
	男性/75～79歳	75	26.7	14.7	16.0	10.7	5.3	10.7	-	4.0	24.0
	男性/80～84歳	135	15.6	19.3	10.4	11.9	5.2	11.1	1.5	8.1	30.4
	男性/85～89歳	152	10.5	17.8	8.6	11.8	4.6	14.5	1.3	5.3	27.6
	男性/90歳以上	125	14.4	20.8	4.8	11.2	7.2	12.0	1.6	8.0	28.8
	女性/65歳未満	22	31.8	-	18.2	4.5	-	13.6	-	-	13.6
	女性/65～69歳	14	28.6	-	14.3	7.1	-	14.3	-	-	14.3
	女性/70～74歳	41	12.2	7.3	9.8	7.3	2.4	12.2	7.3	2.4	24.4
	女性/75～79歳	114	13.2	12.3	11.4	7.9	2.6	16.7	7.0	12.3	33.3
女性/80～84歳	222	8.1	15.3	4.5	7.2	3.2	23.0	5.4	14.0	38.7	
女性/85～89歳	318	6.6	16.4	5.3	6.3	3.1	26.1	4.4	16.0	38.4	
女性/90歳以上	417	3.4	20.1	2.9	6.7	1.4	23.5	1.9	13.4	34.1	
圏域別	富坂地区	577	10.1	14.9	7.3	6.4	3.6	20.1	3.1	10.4	30.3
	大塚地区	410	12.7	16.1	7.6	9.8	4.9	19.5	2.2	12.9	33.4
	本富士地区	395	10.4	16.5	6.8	6.3	2.0	14.9	3.0	8.6	33.2
	駒込地区	425	11.5	18.8	5.6	10.1	3.3	20.7	3.1	12.0	29.9

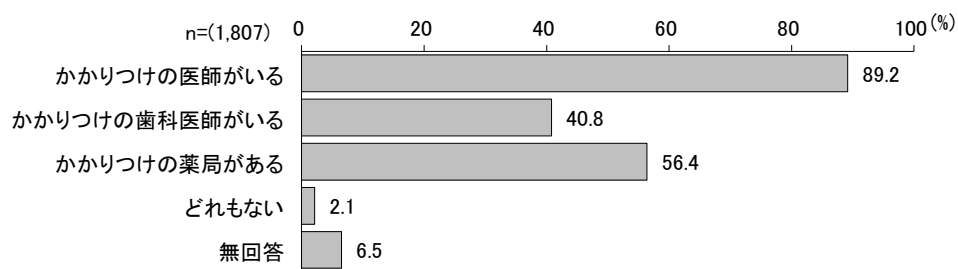
	難病(パーキンソン病を除く)	糖尿病	眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)	その他	なし	わからない	無回答
全体	1.4	14.4	20.5	16.3	5.3	2.6	8.5
性/年齢別	男性/65歳未満	5.9	23.5	5.9	17.6	5.9	-
	男性/65～69歳	4.0	28.0	16.0	12.0	8.0	4.0
	男性/70～74歳	1.9	11.5	9.6	19.2	1.9	5.8
	男性/75～79歳	1.3	33.3	21.3	17.3	1.3	2.7
	男性/80～84歳	1.5	24.4	19.3	12.6	3.7	3.0
	男性/85～89歳	-	22.4	24.3	11.2	7.9	5.3
	男性/90歳以上	-	13.6	28.0	13.6	4.8	0.8
	女性/65歳未満	4.5	4.5	4.5	18.2	4.5	4.5
	女性/65～69歳	14.3	-	-	21.4	-	14.3
	女性/70～74歳	7.3	12.2	17.1	31.7	2.4	-
	女性/75～79歳	1.8	14.0	18.4	25.4	3.5	0.9
女性/80～84歳	1.8	14.0	19.8	17.6	3.2	1.4	
女性/85～89歳	1.9	10.4	19.5	17.3	5.0	3.1	
女性/90歳以上	0.2	8.6	23.3	16.5	7.9	2.4	
圏域別	富坂地区	1.4	13.5	22.2	16.1	4.5	2.9
	大塚地区	1.0	14.1	21.5	16.6	6.8	2.0
	本富士地区	1.3	13.7	18.0	17.0	5.1	2.5
	駒込地区	2.1	16.5	19.8	15.8	4.9	2.8

7. 医療

問26 かかりつけ医・歯科医・薬局の有無

かかりつけ医師・歯科医・薬局の有無では、「かかりつけの医師がいる」が89.2%で最も高く、以下、「かかりつけの薬局がある」が56.4%、「かかりつけの歯科医師がいる」が40.8%、「どれも無い」が2.1%となっています。

（複数回答）



性別及び圏域別では、特に目立った違いはありません。

年齢別でみると、「かかりつけの歯科医師がいる」は、65歳未満の25.6%や、70～74歳の31.2%が特に低くなっています。

家族構成別でみると、「かかりつけの歯科医師がいる」は、一人暮らしの35.8%や、親と二世帯同居の36.4%で、また、「かかりつけの薬局がある」は、親と二世帯同居の40.9%で低くなっています。

要介護度別でみると、医師、歯科医師、薬局いずれも、低い要介護度ほど高い傾向となっています。

記入者別でみると、兄弟姉妹は、「かかりつけの歯科医師がいる」で26.9%、「かかりつけの薬局がある」で46.2%と低くなっています。

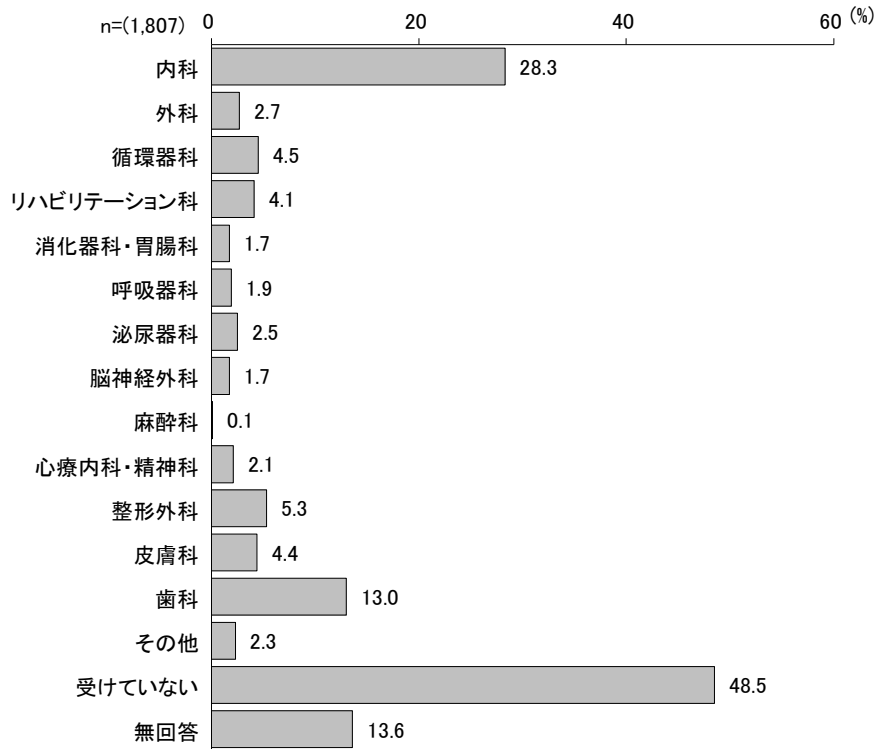
**【かかりつけ医・歯科医・薬局の有無
／性別、年齢別、圏域別、家族構成別、要介護度別、記入者別】**

		n	(%)				無回答
			かかりつけの医師がいる	かかりつけの歯科医師がいる	かかりつけの薬局がある	どれもない	
全体		1,807	89.2	40.8	56.4	2.1	6.5
性別	男性	611	87.7	42.2	58.3	2.1	7.4
	女性	1,196	89.9	40.1	55.4	2.1	6.1
年齢別	65歳未満	39	94.9	25.6	51.3	-	2.6
	65～69歳	39	92.3	46.2	51.3	2.6	2.6
	70～74歳	93	89.2	31.2	51.6	4.3	5.4
	75～79歳	189	87.8	46.0	57.7	2.1	4.8
	80～84歳	357	88.0	41.7	57.1	2.8	7.6
	85～89歳	470	90.0	44.9	58.9	1.7	6.2
圏域別	90歳以上	542	91.0	37.8	55.0	2.0	5.7
	富坂地区	577	87.3	39.2	54.2	3.3	6.9
	大塚地区	410	90.2	40.0	59.8	2.0	5.1
	本富士地区	395	88.6	41.5	52.2	1.3	7.8
家族構成別	駒込地区	425	91.1	43.1	60.0	1.4	6.1
	一人暮らし	424	86.8	35.8	54.5	2.8	7.8
	夫婦のみ	454	89.2	46.0	59.0	1.8	6.6
	子どもと二世帯同居	599	91.8	40.2	58.4	1.5	4.8
	親と二世帯同居	22	86.4	36.4	40.9	4.5	9.1
要介護度別	三世帯以上同居	169	89.9	43.8	52.7	1.2	5.9
	その他	86	88.4	40.7	48.8	5.8	4.7
	要介護1	775	91.6	44.1	57.9	1.3	5.2
	要介護2	449	90.2	39.2	61.7	1.3	6.2
	要介護3	272	89.7	38.6	55.1	2.9	5.5
記入者別	要介護4	96	86.5	34.4	40.6	5.2	8.3
	要介護5	72	83.3	30.6	44.4	4.2	8.3
	あて名のご本人	668	88.5	43.7	60.3	1.8	7.0
	配偶者(夫、妻)	306	88.9	48.0	60.5	2.6	5.6
	子ども(息子・娘、息子・娘の配偶者)	691	90.0	36.6	50.9	2.5	5.8
	兄弟姉妹	26	92.3	26.9	46.2	-	7.7
孫	6	100.0	33.3	50.0	-	-	
	その他	45	100.0	33.3	64.4	-	-

問27 訪問診療の有無（受診した訪問診療の種類）

過去1年間に自宅での往診を受けた科目では、「受けていない」が48.5%を占めています。
 一方、具体的な選択肢の中では、「内科」が28.3%で最も高く、以下、「歯科」が13.0%、「整形外科」が5.3%、「循環器科」が4.5%となっています。

（複数回答）



性別でみると、「泌尿器科」は、男性が4.9%と高くなっています。
 年齢別でみると、「内科」では、90歳以上が39.3%と特に高くなっています。
 圏域別でみると、「内科」では、本富士地区が32.7%とやや高くなっています。
 家族構成別では、特に目立った違いはありません。
 要介護度別でみると、「内科」や「歯科」は、介護度とともに高くなる傾向があります。
 健康感別でみると、「内科」は、健康感が悪くなるほど高い傾向にあります。
 サービス利用別でみると、利用した層が高い科目として、「内科」の31.5%、「歯科」の14.3%があります。
 記入者別でみると、子ども（息子・娘、息子・娘の配偶者）は、「内科」で33.4%とやや高くなっています。

【訪問診療の有無（受診した訪問診療の種類）①】

／性別、年齢別、圏域別、家族構成別、要介護度別、健康感別、サービス利用別、記入者別】

(%)

	n	内科	外科	循環器科	リハビリテーション科	消化器科・胃腸科	呼吸器科	泌尿器科	脳神経外科	麻酔科	心療内科・精神科
全体	1,807	28.3	2.7	4.5	4.1	1.7	1.9	2.5	1.7	0.1	2.1
性別											
男性	611	27.5	2.9	5.6	5.2	1.6	2.6	4.9	2.3	-	1.5
女性	1,196	28.8	2.6	3.9	3.5	1.7	1.6	1.3	1.3	0.2	2.4
年齢別											
65歳未満	39	17.9	-	2.6	17.9	-	2.6	-	7.7	-	2.6
65～69歳	39	28.2	-	-	2.6	-	-	2.6	-	-	2.6
70～74歳	93	24.7	3.2	3.2	5.4	1.1	3.2	3.2	1.1	-	5.4
75～79歳	189	18.5	2.1	5.3	5.3	2.1	2.1	3.7	2.1	0.5	4.2
80～84歳	357	20.2	2.8	3.6	3.6	1.4	2.2	1.7	1.4	-	2.2
85～89歳	470	28.1	3.6	4.7	4.3	2.6	0.9	3.0	1.3	-	1.5
90歳以上	542	39.3	2.2	5.2	2.8	1.5	2.6	2.4	1.7	0.2	1.5
圏域別											
富坂地区	577	26.0	2.9	4.5	4.5	2.1	1.7	1.6	1.6	0.2	2.6
大塚地区	410	26.8	3.7	3.9	5.4	2.2	3.2	2.9	2.4	0.2	2.4
本富士地区	395	32.7	2.3	3.8	3.0	1.0	0.8	2.3	1.3	-	1.3
駒込地区	425	28.9	1.9	5.6	3.3	1.2	2.1	3.5	1.4	-	1.9
家族構成別											
一人暮らし	424	28.8	4.2	3.5	3.5	0.9	2.8	2.6	1.2	0.2	1.9
夫婦のみ	454	26.2	2.0	4.6	4.8	2.2	2.4	3.7	1.3	-	1.5
子どもと二世帯同居	599	28.0	2.2	4.7	2.7	1.5	1.2	1.7	1.7	0.2	1.5
親と二世帯同居	22	36.4	-	-	13.6	4.5	4.5	9.1	9.1	-	4.5
三世帯以上同居	169	30.8	2.4	5.9	5.3	1.8	2.4	1.8	1.2	-	1.2
その他	86	29.1	3.5	7.0	7.0	3.5	-	2.3	2.3	-	10.5
要介護度別											
要介護1	775	22.2	2.3	2.7	3.5	1.4	1.7	1.9	0.9	0.1	2.2
要介護2	449	30.1	2.4	5.6	3.6	1.8	2.2	2.4	2.0	-	1.3
要介護3	272	36.0	2.2	5.5	4.4	2.6	1.8	3.3	2.2	-	0.7
要介護4	96	44.8	5.2	9.4	6.3	1.0	2.1	1.0	3.1	1.0	3.1
要介護5	72	47.2	4.2	5.6	9.7	2.8	2.8	9.7	2.8	-	5.6
健康感別											
とても良い	72	25.0	1.4	4.2	5.6	1.4	-	2.8	2.8	-	-
まあ良い	959	25.9	2.6	3.8	4.2	1.5	2.2	2.3	1.6	-	1.4
あまり良くない	536	34.9	2.2	6.0	4.7	1.9	2.2	3.0	1.3	0.2	4.1
良くない	126	34.9	5.6	5.6	3.2	3.2	0.8	3.2	2.4	-	2.4
サービス利用別											
利用した	1,262	31.5	2.5	4.7	4.4	1.7	1.7	2.6	1.8	0.1	1.9
利用していない	322	19.3	2.2	3.1	2.8	1.2	0.9	1.9	0.9	-	3.1
記入者別											
あて名のご本人	668	21.6	3.0	4.2	5.5	1.5	2.7	3.1	1.2	0.1	1.6
配偶者(夫、妻)	306	28.1	2.6	5.9	5.6	2.9	2.0	3.6	2.0	-	2.0
子ども(息子・娘、息子・娘の配偶者)	691	33.4	2.2	4.2	1.7	1.2	1.2	1.2	1.6	-	2.0
兄弟姉妹	26	19.2	3.8	3.8	11.5	7.7	-	7.7	-	-	15.4
孫	6	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	16.7
その他	45	51.1	4.4	4.4	4.4	-	4.4	6.7	2.2	-	-

第5章 在宅介護実態調査（郵送）

【訪問診療の有無（受診した訪問診療の種類）②】

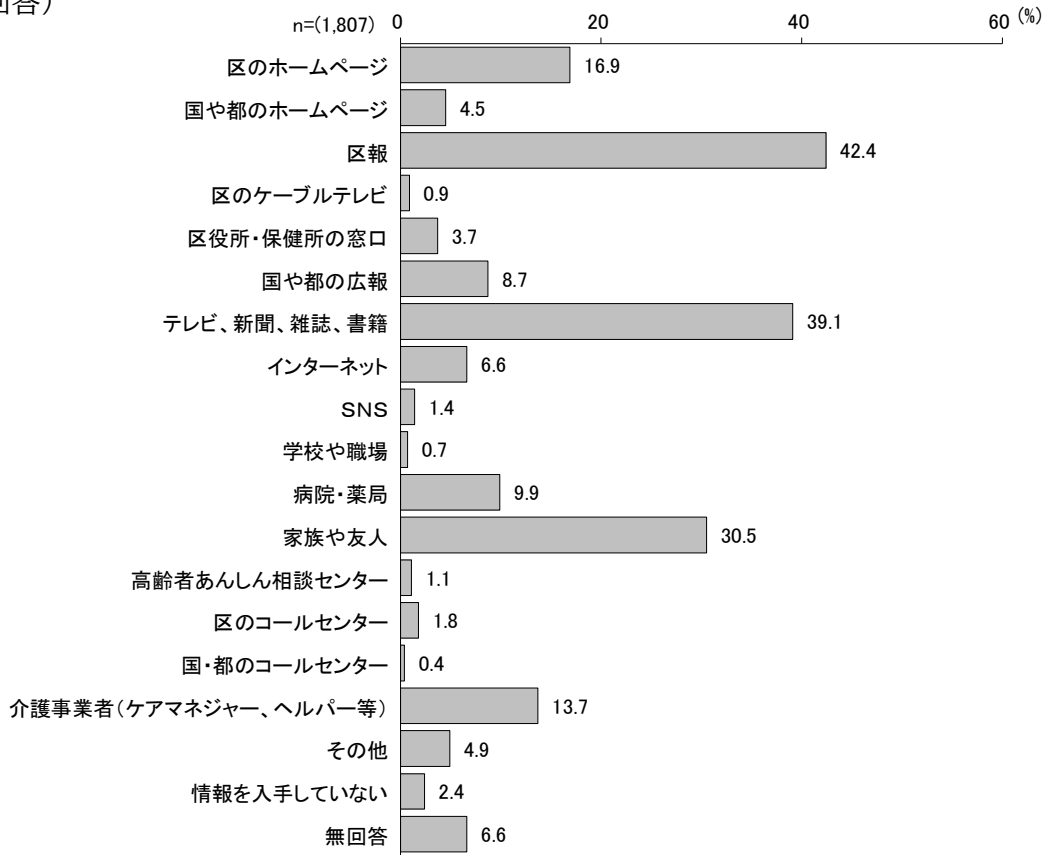
／性別、年齢別、圏域別、家族構成別、要介護度別、健康感別、サービス利用別、記入者別】

		整形外科	皮膚科	歯科	その他	受けていない	無回答
全体		5.3	4.4	13.0	2.3	48.5	13.6
性別	男性	3.4	5.6	13.1	1.3	46.6	14.9
	女性	6.3	3.8	13.0	2.8	49.5	12.9
年齢別	65歳未満	-	2.6	17.9	5.1	53.8	2.6
	65～69歳	-	7.7	10.3	2.6	56.4	2.6
	70～74歳	6.5	5.4	8.6	3.2	49.5	9.7
	75～79歳	3.7	3.2	13.8	2.1	54.5	15.9
	80～84歳	5.6	3.6	9.5	2.0	57.4	13.7
	85～89歳	5.7	3.6	12.3	2.1	49.1	14.0
	90歳以上	5.5	5.7	16.1	2.4	41.1	11.8
圏域別	富坂地区	5.4	4.3	12.7	2.4	51.0	12.8
	大塚地区	6.3	4.1	14.4	3.2	50.0	12.0
	本富士地区	5.3	3.5	11.9	1.5	44.6	14.7
	駒込地区	4.2	5.4	13.2	1.9	47.5	15.1
家族構成別	一人暮らし	5.4	3.8	13.2	2.6	45.8	13.9
	夫婦のみ	5.3	4.0	11.0	1.8	47.4	17.8
	子どもと二世帯同居	5.0	5.8	14.5	3.2	52.6	10.2
	親と二世帯同居	4.5	4.5	22.7	-	36.4	9.1
	三世帯以上同居	4.7	4.1	10.1	-	50.9	11.2
	その他	5.8	1.2	16.3	2.3	53.5	7.0
要介護度別	要介護1	5.3	3.7	9.2	2.2	55.6	13.9
	要介護2	5.3	4.5	13.4	1.3	48.1	13.4
	要介護3	5.1	4.4	15.4	3.3	43.0	8.1
	要介護4	7.3	5.2	20.8	3.1	31.3	12.5
	要介護5	2.8	8.3	29.2	5.6	34.7	6.9
健康感別	とても良い	8.3	8.3	15.3	1.4	59.7	4.2
	まあ良い	4.1	4.1	12.3	1.9	53.3	10.3
	あまり良くない	6.7	4.5	15.5	3.0	45.0	10.6
	良くない	7.1	5.6	11.9	4.0	46.8	11.1
サービス利用別	利用した	5.2	4.3	14.3	2.1	49.6	9.0
	利用していない	4.7	4.3	9.6	1.6	55.9	16.1
記入者別	あて名のご本人	6.7	5.1	11.5	1.9	48.4	18.9
	配偶者(夫、妻)	4.2	4.6	14.4	2.0	46.1	15.7
	子ども(息子・娘、息子・娘の配偶者)	4.2	3.8	13.5	2.7	51.4	7.5
	兄弟姉妹	-	-	15.4	3.8	53.8	7.7
	孫	-	-	16.7	-	50.0	-
	その他	8.9	6.7	20.0	-	44.4	-

問28 新型コロナウイルスワクチン接種情報の取得手段

新型コロナウイルス感染症やワクチン接種の情報の入手先では、「区報」が42.4%で最も高く、以下、「テレビ、新聞、雑誌、書籍」が39.1%、「家族や友人」が30.5%、「区のホームページ」が16.9%となっています。

（複数回答）



圏域別でみると、本富士地区は、「区報」で37.7%、「家族や友人」で28.9%とやや低くなっています。

【新型コロナウイルスワクチン接種情報の取得手段／圏域別】

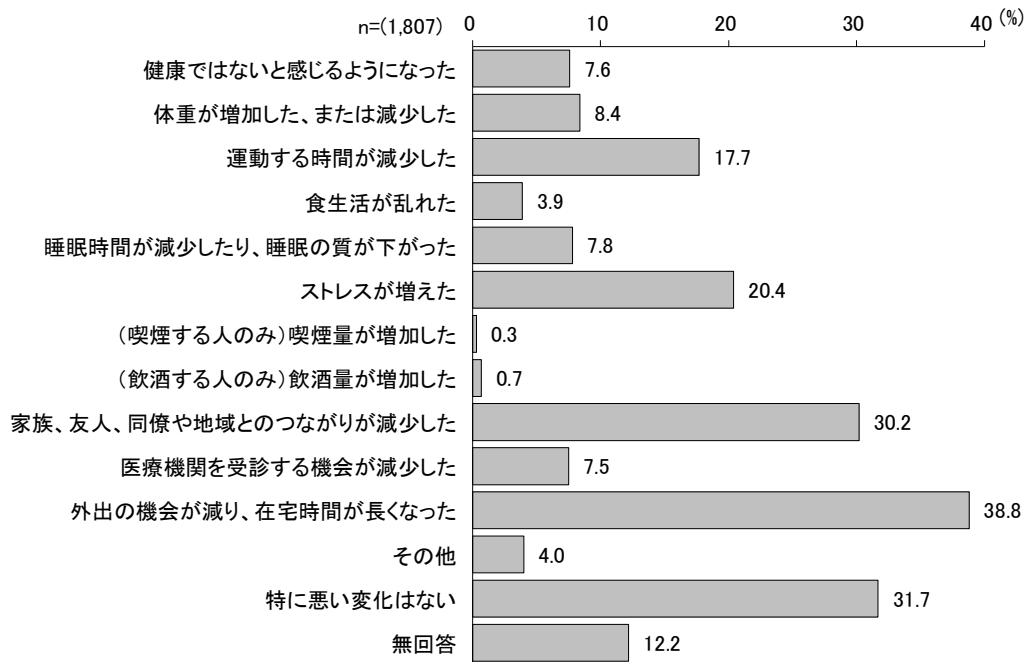
		n	区のホームページ	国や都のホームページ	区報	区のケーブルテレビ	区役所・保健所の窓口	国や都の広報	テレビ、新聞、雑誌、書籍	インターネット	SNS	学校や職場
全体		1,807	16.9	4.5	42.4	0.9	3.7	8.7	39.1	6.6	1.4	0.7
圏域別	富坂地区	577	16.8	4.5	42.6	1.4	3.5	9.0	38.0	6.1	1.2	0.5
	大塚地区	410	20.0	4.1	44.9	0.2	4.6	8.0	41.0	7.3	1.0	0.7
	本富士地区	395	16.2	5.1	37.7	1.0	4.3	8.6	37.5	6.8	1.5	0.5
	駒込地区	425	14.6	4.5	44.0	0.9	2.6	8.9	40.2	6.4	2.1	1.2

		病院・薬局	家族や友人	高齢者あんしん相談センター	区のコールセンター	国・都のコールセンター	介護事業者(ケアマネジャー、ヘルパー等)	その他	情報を入手していない	無回答
全体		9.9	30.5	1.1	1.8	0.4	13.7	4.9	2.4	6.6
圏域別	富坂地区	9.9	31.5	1.4	1.0	0.5	15.4	5.9	2.3	6.6
	大塚地区	9.3	31.0	1.0	2.2	0.7	13.9	5.6	2.0	4.6
	本富士地区	10.6	28.9	1.3	1.8	0.5	12.2	3.5	3.8	8.9
	駒込地区	9.9	30.1	0.5	2.4	-	12.5	4.2	1.9	6.4

問29 新型コロナウイルス感染症による生活の変化

新型コロナウイルス感染症による健康や生活への悪い変化では、「外出の機会が減り、在宅時間が長くなった」が38.8%で最も高く、以下、「家族、友人、同僚や地域とのつながりが減少した」が30.2%、「ストレスが増えた」が20.4%、「運動する時間が減少した」が17.7%となっています。一方、「特に悪い変化はない」は31.7%となっています。

（複数回答）



性/年齢別で見ると、「食生活が乱れた」では、女性/70～74歳の9.8%、「ストレスが増えた」では、男性の65歳未満の35.3%と65～69歳の36.0%、「家族、友人、同僚や地域とのつながりが減少した」では、女性/70～74歳の39.0%、80～84歳の男性35.6%と女性36.0%、「外出の機会が減り、在宅時間が長くなった」では、女性/65～69歳の50.0%と女性/80～84歳の46.8%でそれぞれ高くなっています。一方、「特に悪い変化はない」では、男性の70～74歳が38.5%、90歳以上が37.6%、女性の75～79歳が35.1%、90歳以上が37.2%でそれぞれ高くなっています。

圏域別で見ると、駒込地区は、「家族、友人、同僚や地域とのつながりが減少した」で33.6%、「外出の機会が減り、在宅時間が長くなった」で43.5%と高くなっています。

要介護度別で見ると、「家族、友人、同僚や地域とのつながりが減少した」では、要介護1が32.3%、要介護3が32.0%とやや高くなっています。また、「運動する時間が減少した」で、要介護5は23.6%と高い一方、「外出の機会が減り、在宅時間が長くなった」では22.2%と低くなっています。

【新型コロナウイルス感染症による生活の変化／性／年齢別、圏域別、要介護度別】

(%)

	n	健康ではないと感じようになった	体重が増加した、または減少した	運動する時間が減少した	食生活が乱れた	睡眠時間が減少したり、睡眠の質が下がった	ストレスが増えた	(喫煙する人のみ)喫煙量が増加した	(飲酒する人のみ)飲酒量が増加した	家族、友人、同僚や地域とのつながりが減少した	医療機関を受診する機会が減少した	
全体	1,807	7.6	8.4	17.7	3.9	7.8	20.4	0.3	0.7	30.2	7.5	
性／年齢別	男性／65歳未満	17	17.6	5.9	17.6	5.9	11.8	35.3	-	5.9	29.4	-
	男性／65～69歳	25	12.0	20.0	36.0	8.0	16.0	36.0	-	-	28.0	4.0
	男性／70～74歳	52	5.8	7.7	11.5	1.9	7.7	19.2	-	1.9	26.9	5.8
	男性／75～79歳	75	12.0	5.3	24.0	4.0	5.3	25.3	-	1.3	30.7	6.7
	男性／80～84歳	135	8.1	8.1	20.0	3.0	9.6	23.7	0.7	-	35.6	6.7
	男性／85～89歳	152	7.2	9.2	16.4	3.3	11.8	23.7	-	1.3	30.3	5.3
	男性／90歳以上	125	12.0	8.8	21.6	1.6	10.4	24.8	1.6	0.8	26.4	10.4
	女性／65歳未満	22	-	18.2	22.7	-	-	27.3	-	-	27.3	-
	女性／65～69歳	14	14.3	-	7.1	-	7.1	28.6	-	-	28.6	-
	女性／70～74歳	41	9.8	9.8	17.1	9.8	7.3	24.4	-	-	39.0	4.9
	女性／75～79歳	114	7.0	11.4	19.3	1.8	9.6	26.3	-	-	30.7	6.1
	女性／80～84歳	222	8.6	5.4	17.6	5.4	6.8	14.4	-	-	36.0	9.5
女性／85～89歳	318	6.6	9.7	16.4	6.0	8.2	18.2	-	1.3	28.6	7.9	
女性／90歳以上	417	5.5	7.0	15.8	2.9	4.8	16.5	0.2	0.7	28.3	8.9	
圏域別	富坂地区	577	6.2	8.8	16.1	3.5	8.1	19.9	0.5	0.5	28.9	9.0
	大塚地区	410	7.8	6.8	17.1	3.7	6.1	18.0	0.2	0.7	28.3	7.1
	本富士地区	395	9.1	8.1	19.7	3.0	6.6	18.0	-	1.0	30.4	6.1
	駒込地区	425	8.0	9.6	18.6	5.4	10.1	25.4	0.2	0.7	33.6	7.3
要介護度別	要介護1	775	7.9	8.0	19.1	4.0	8.5	19.2	0.4	0.6	32.3	7.4
	要介護2	449	8.2	8.2	17.1	3.3	6.5	20.3	0.2	0.2	28.5	6.9
	要介護3	272	7.0	9.2	16.2	3.7	8.5	23.2	0.4	1.5	32.0	9.9
	要介護4	96	6.3	5.2	12.5	2.1	7.3	21.9	-	2.1	29.2	7.3
	要介護5	72	11.1	12.5	23.6	6.9	6.9	19.4	-	-	27.8	4.2

	外出の機会が減り、在宅時間が長くなった	その他	特に悪い変化はない	無回答	
全体	38.8	4.0	31.7	12.2	
性／年齢別	男性／65歳未満	29.4	11.8	17.6	17.6
	男性／65～69歳	44.0	8.0	28.0	8.0
	男性／70～74歳	28.8	-	38.5	19.2
	男性／75～79歳	37.3	1.3	28.0	20.0
	男性／80～84歳	43.0	4.4	23.7	18.5
	男性／85～89歳	40.8	3.3	27.6	15.1
	男性／90歳以上	38.4	2.4	37.6	8.8
	女性／65歳未満	36.4	-	31.8	-
	女性／65～69歳	50.0	14.3	28.6	7.1
	女性／70～74歳	36.6	7.3	29.3	7.3
	女性／75～79歳	36.8	3.5	35.1	5.3
	女性／80～84歳	46.8	4.5	29.3	12.6
女性／85～89歳	37.7	4.4	31.8	11.9	
女性／90歳以上	36.7	4.6	37.2	8.9	
圏域別	富坂地区	39.2	3.3	32.6	11.4
	大塚地区	34.1	4.9	35.1	12.0
	本富士地区	38.2	4.6	30.1	15.4
	駒込地区	43.5	3.5	28.5	10.6
要介護度別	要介護1	42.1	3.7	30.8	11.2
	要介護2	40.3	3.6	32.3	12.0
	要介護3	36.4	4.4	33.8	9.6
	要介護4	34.4	2.1	32.3	15.6
	要介護5	22.2	8.3	36.1	11.1

問30 新型コロナウイルス感染症下で健康・生活維持のために工夫したこと（記述）

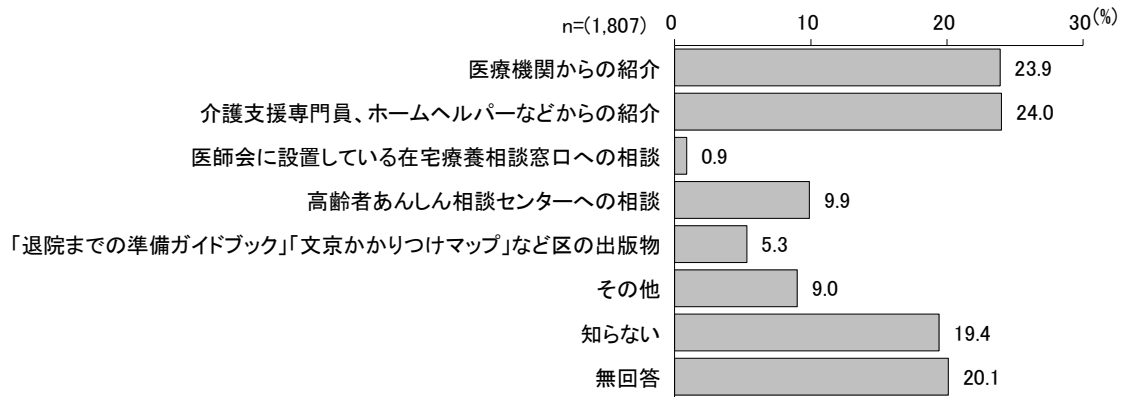
326人の回答者から、延べ661件の回答がありました。

項目	件数
マスク	116
手洗い	99
外出制限	74
うがい	66
消毒	53
ソーシャルディスタンス、三密回避	43
体力保持、ウォーキング	37
食生活、健康食品、サプリメント等	35
規則正しい生活、睡眠	19
会合、会話制限	19
気分転換、リラックス、趣味	13
（漠然と）注意、予防、清潔	12
外食制限	11
ワクチン接種	11
換気	8
福祉サービス利用（デイサービス、リハビリ等）	8
コロナに感染、体調悪化	7
特に何もしない、できない	5
スマホ等でのコミュニケーション	4
空気清浄、着替え洗濯、入浴	3
PCR検査、検温、体重測定	3
情報収集	2
生活苦になった	2
宅配利用	1
片付け、掃除	1
医療相談	1
別々に食事	1
接触到注意	1
その他	6

問31 在宅医療の認知度（認知方法）

在宅医療を知ったきっかけでは、「介護支援専門員、ホームヘルパーなどからの紹介」が24.0%で最も高く、以下、「医療機関からの紹介」が23.9%、「知らない」が19.4%、「高齢者あんしん相談センターへの相談」が9.9%となっています。

（複数回答）



第5章 在宅介護実態調査（郵送）

性別では、特に目立った違いはありません。

年齢別でみると、「医療機関からの紹介」は、65歳未満及び65～69歳で30.8%、「介護支援専門員、ホームヘルパーなどからの紹介」は、65～69歳で35.9%と高くなっています。

圏域別でみると、「介護支援専門員、ホームヘルパーなどからの紹介」は、本富士地区の28.4%でやや高くなっています。

家族構成別でみると、「医療機関からの紹介」は、親と二世帯同居の13.6%、「介護支援専門員、ホームヘルパーなどからの紹介」は、三世帯以上同居の18.3%で、それぞれ低くなっています。

要介護度別でみると、「介護支援専門員、ホームヘルパーなどからの紹介」は、要介護4で32.3%、また、「知らない」は、要介護1で23.2%と高くなっています。

記入者別でみると、「知らない」は、子ども（息子・娘、息子・娘の配偶者）で23.4%とやや高くなっています。

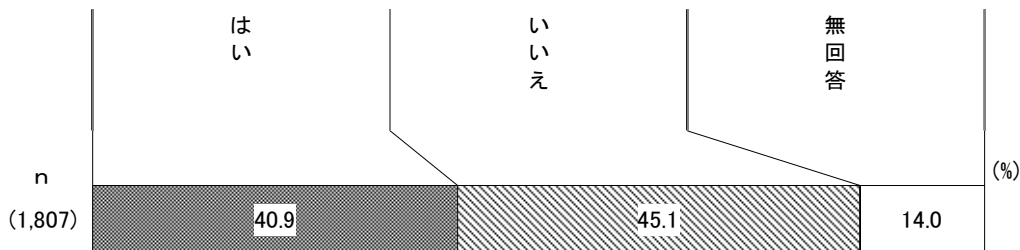
【在宅医療の認知度（認知方法）／性別、年齢別、圏域別、家族構成別、要介護度別、記入者別】

		n	医療機関からの紹介	介護支援専門員、ホームヘルパーなどからの紹介	医師会に設置している在宅療養相談窓口への相談	高齢者あしん相談センターへの相談	「退院までの準備ガイドブック」「文京かかりつけマップ」など区の出版物	その他	知らない	無回答
全体		1,807	23.9	24.0	0.9	9.9	5.3	9.0	19.4	20.1
性別	男性	611	23.4	21.1	0.2	8.3	4.7	8.5	19.0	25.0
	女性	1,196	24.2	25.5	1.3	10.7	5.6	9.3	19.6	17.6
年齢別	65歳未満	39	30.8	23.1	-	7.7	2.6	10.3	25.6	10.3
	65～69歳	39	30.8	35.9	2.6	5.1	7.7	10.3	15.4	10.3
	70～74歳	93	22.6	21.5	1.1	6.5	7.5	5.4	19.4	23.7
	75～79歳	189	27.5	25.9	-	9.5	5.3	10.6	18.5	15.9
	80～84歳	357	21.0	19.0	0.8	11.2	4.8	7.8	25.8	21.3
	85～89歳	470	25.5	23.8	0.9	9.4	5.5	9.8	17.9	20.2
	90歳以上	542	23.6	27.5	1.3	11.6	5.7	9.6	16.8	17.9
圏域別	富坂地区	577	25.1	21.7	1.6	9.5	5.5	8.3	19.8	21.1
	大塚地区	410	22.9	22.9	1.0	11.7	5.9	9.5	22.0	17.8
	本富士地区	395	23.0	28.4	0.5	9.9	3.8	9.6	16.2	22.0
	駒込地区	425	24.0	24.2	0.2	8.7	5.9	8.9	19.3	19.1
家族構成別	一人暮らし	424	22.6	28.1	1.9	9.2	4.2	10.4	18.2	18.6
	夫婦のみ	454	24.9	22.2	0.7	8.4	5.7	7.3	16.7	24.9
	子どもと二世帯同居	599	25.5	22.9	0.7	11.0	5.2	9.3	21.4	16.9
	親と二世帯同居	22	13.6	22.7	-	4.5	9.1	4.5	18.2	27.3
	三世帯以上同居	169	25.4	18.3	-	11.8	7.1	10.1	24.3	16.6
	その他	86	18.6	27.9	1.2	11.6	4.7	11.6	24.4	19.8
要介護度別	要介護1	775	21.9	21.8	1.0	10.5	5.4	9.4	23.2	19.1
	要介護2	449	25.6	25.8	0.7	9.6	5.1	8.5	17.1	18.7
	要介護3	272	28.7	27.2	0.4	10.7	7.4	9.6	15.4	15.1
	要介護4	96	25.0	32.3	1.0	8.3	5.2	6.3	18.8	20.8
	要介護5	72	27.8	26.4	1.4	12.5	1.4	13.9	11.1	18.1
記入者別	あて名のご本人	668	22.8	23.4	1.5	10.0	5.5	7.5	18.4	23.5
	配偶者(夫、妻)	306	29.1	20.9	0.3	11.8	5.6	8.5	13.7	24.2
	子ども(息子・娘、息子・娘の配偶者)	691	23.7	24.9	0.4	9.6	5.5	10.7	23.4	14.2
	兄弟姉妹	26	15.4	23.1	3.8	-	3.8	11.5	23.1	26.9
	孫	6	50.0	66.7	-	-	-	16.7	-	-
	その他	45	17.8	35.6	-	15.6	-	11.1	15.6	13.3

8. 認知症

問32 認知症症状がある人の有無

認知症の症状及び家族の認知症の有無では、「いいえ」が45.1%、「はい」が40.9%となっています。



圏域別では、特に目立った違いはありません。

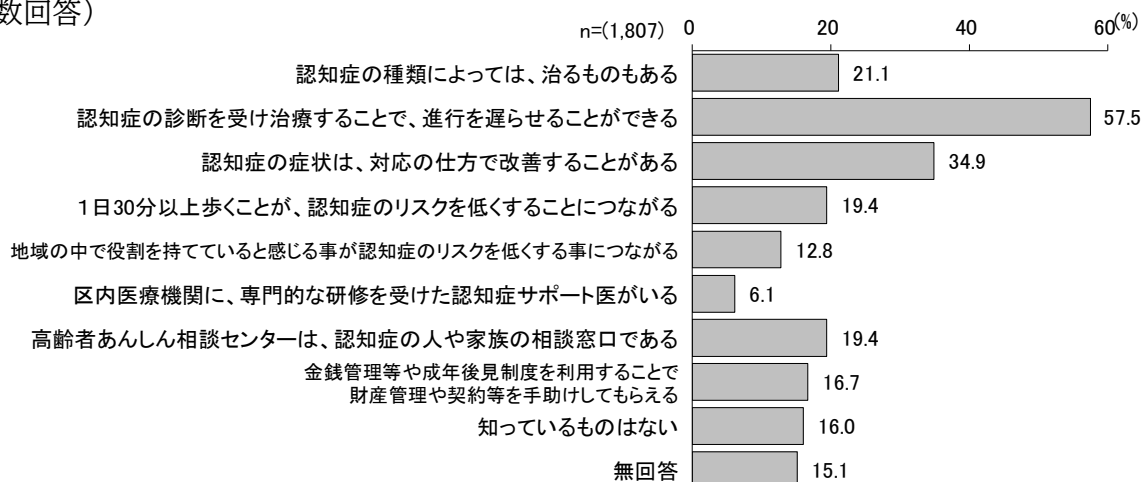
【認知症症状がある人の有無／圏域別】

		n	はい (%)	いいえ (%)	無回答 (%)
全体		1,807	40.9	45.1	14.0
圏域別	富坂地区	577	41.9	45.4	12.7
	大塚地区	410	41.2	44.4	14.4
	本富士地区	395	40.5	42.8	16.7
	駒込地区	425	39.5	47.5	12.9

問33 認知症に対して認識している内容

認知症に関する知識では、「認知症の診断を受け治療することで、進行を遅らせることができる」が57.5%で最も高く、以下、「認知症の症状は、対応の仕方によって改善することがある」が34.9%、「認知症の種類によっては、治るものもある」が21.1%、「1日30分以上歩くことが、認知症のリスクを低くすることにつながる」と「高齢者あんしん相談センターは、認知症の人や家族の相談窓口である」が19.4%となっています。

(複数回答)



第5章 在宅介護実態調査（郵送）

性別でみると、「高齢者あんしん相談センターは、認知症の人や家族の相談窓口である」は、女性が21.0%で、男性を4.6ポイント上回っています。

年齢別でみると、「認知症の診断を受け治療することで、進行を遅らせることができる」は、低年齢層ほど高い傾向となっています。

圏域別でみると、「認知症の種類によっては、治るものもある」と「認知症の診断を受け治療することで、進行を遅らせることができる」は、大塚地区と駒込地区でやや高く、富坂地区と本富士地区でやや低くなっています。

家族構成別でみると、「認知症の種類によっては、治るものもある」は、親と二世帯同居の27.3%で、「認知症の診断を受け治療することで、進行を遅らせることができる」は、夫婦のみの62.8%、三世帯以上同居の62.1%で高くなっています。

要介護度別でみると、「認知症の種類によっては、治るものもある」以外は、要介護5で最も高くなっています。

記入者別でみると、「認知症の診断を受け治療することで、進行を遅らせることができる」は、配偶者（夫、妻）で64.4%と高くなっています。

【認知症に対して認識している内容

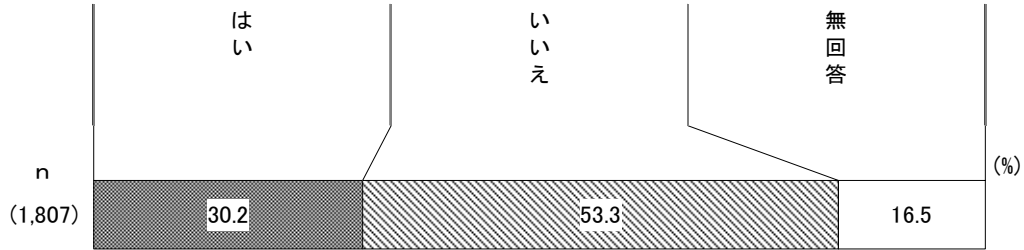
／性別、年齢別、圏域別、家族構成別、要介護度別、記入者別】

(%)

	n	認知症の種類によっては、治るものもある	認知症の診断を受け治療することで、進行を遅らせることができる	認知症の症状は、対応の仕方改善することができる	1日30分以上歩くことが、認知症のリスクを低くすることに繋がる	地域の中で役割を持っていて感じる事が認知症のリスクを低くする事につながる	区内医療機関に、専門的な研修を受けた認知症サポート医がいる	高齢者あんしん相談センターは、認知症の人や家族の相談窓口である	金銭管理や成年後見制度を利用して財産管理や契約等を手助けしてもらえる	知っているものはない	無回答
全体	1,807	21.1	57.5	34.9	19.4	12.8	6.1	19.4	16.7	16.0	15.1
性別											
男性	611	21.8	57.8	34.7	21.9	13.6	6.1	16.4	15.9	13.4	18.3
女性	1,196	20.8	57.4	34.9	18.1	12.5	6.2	21.0	17.1	17.3	13.5
年齢別											
65歳未満	39	30.8	76.9	38.5	15.4	12.8	5.1	25.6	15.4	10.3	5.1
65～69歳	39	25.6	61.5	41.0	33.3	20.5	7.7	25.6	30.8	15.4	15.4
70～74歳	93	19.4	61.3	30.1	16.1	14.0	3.2	12.9	15.1	12.9	18.3
75～79歳	189	24.3	61.9	36.5	22.2	12.7	6.3	23.3	19.6	14.3	12.2
80～84歳	357	20.4	58.0	35.0	22.7	14.3	7.0	20.2	18.2	16.0	14.8
85～89歳	470	19.4	59.6	35.7	17.9	13.4	6.4	20.4	16.2	13.8	15.5
90歳以上	542	21.8	53.9	35.1	17.5	12.0	6.1	17.7	15.9	19.7	13.8
圏域別											
富坂地区	577	17.7	55.1	30.8	19.8	12.3	6.4	19.2	15.3	18.5	16.1
大塚地区	410	24.6	61.5	37.3	19.5	15.6	5.6	20.2	17.8	15.9	12.9
本富士地区	395	19.7	54.9	35.9	16.2	11.1	5.3	16.2	15.7	12.4	18.2
駒込地区	425	23.8	59.3	36.9	21.9	12.5	7.1	21.9	18.6	16.0	12.9
家族構成別											
一人暮らし	424	19.6	51.2	31.1	18.2	10.8	5.0	16.0	15.8	20.3	17.2
夫婦のみ	454	22.9	62.8	38.8	23.3	13.9	6.4	18.1	18.5	9.9	16.7
子どもと二世帯同居	599	21.7	59.6	35.6	17.7	13.4	7.0	22.5	16.2	17.4	10.7
親と二世帯同居	22	27.3	54.5	22.7	27.3	13.6	9.1	31.8	22.7	13.6	27.3
三世帯以上同居	169	19.5	62.1	36.7	18.9	14.2	5.3	23.7	16.0	16.6	13.0
その他	86	22.1	52.3	37.2	19.8	16.3	5.8	15.1	18.6	18.6	16.3
要介護度別											
要介護1	775	20.6	57.8	32.5	19.5	11.7	5.9	18.5	15.5	15.7	14.7
要介護2	449	25.2	59.7	37.9	19.6	13.1	6.9	20.7	16.5	15.4	14.3
要介護3	272	22.1	60.7	37.1	18.0	14.3	5.9	21.3	20.6	18.8	10.7
要介護4	96	14.6	53.1	39.6	15.6	17.7	6.3	18.8	19.8	18.8	16.7
要介護5	72	19.4	66.7	41.7	26.4	20.8	8.3	27.8	22.2	11.1	11.1
記入者別											
あて名のご本人	668	25.0	55.5	35.6	22.8	14.2	5.2	16.6	17.4	13.9	18.1
配偶者(夫、妻)	306	20.6	64.4	35.6	22.9	12.1	6.5	20.6	16.7	9.2	15.4
子ども(息子・娘、息子・娘の配偶者)	691	18.5	58.3	35.6	15.6	12.3	6.7	22.4	16.4	20.7	10.9
兄弟姉妹	26	3.8	42.3	19.2	11.5	11.5	3.8	15.4	15.4	19.2	19.2
孫	6	33.3	66.7	33.3	16.7	16.7	16.7	16.7	33.3	33.3	-
その他	45	22.2	60.0	33.3	17.8	17.8	13.3	17.8	22.2	22.2	8.9

問34 認知症相談窓口の認知度

認知症に関する相談窓口の認知度では、「いいえ」が53.3%、「はい」が30.2%となっています。



圏域別では、特に目立った違いはありません。

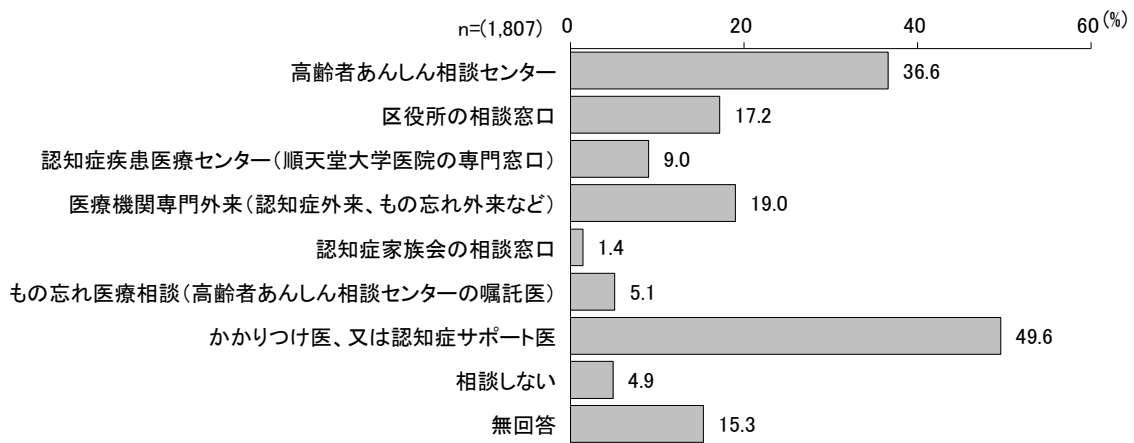
【認知症相談窓口の認知度／圏域別】

		n	はい (%)	いいえ (%)	無回答 (%)
全体		1,807	30.2	53.3	16.5
圏域別	富坂地区	577	27.6	56.0	16.5
	大塚地区	410	29.3	52.9	17.8
	本富士地区	395	32.7	51.1	16.2
	駒込地区	425	32.2	52.0	15.8

問35 認知症相談窓口の利用意向

利用したいと思う認知症に関する相談窓口では、「かかりつけ医、又は認知症サポート医」が49.6%で最も高く、以下、「高齢者あんしん相談センター」が36.6%、「医療機関専門外来（認知症外来、もの忘れ外来など）」が19.0%、「区役所の相談窓口」が17.2%となっています。

（複数回答）



第5章 在宅介護実態調査（郵送）

性別でみると、「かかりつけ医、又は認知症サポート医」は、女性が52.4%と高くなっています。

年齢別でみると、「高齢者あんしん相談センター」や「区役所の相談窓口」は、65歳未満で、「かかりつけ医、又は認知症サポート医」は、85歳以上の層で高くなっています。

圏域別でみると、「高齢者あんしん相談センター」は、大塚地区で40.7%、「かかりつけ医、又は認知症サポート医」は、駒込地区で53.6%とやや高くなっています。

家族構成別でみると、「高齢者あんしん相談センター」は、子どもと二世帯同居で39.9%と高くなっています。

要介護度別でみると、要介護5は、「区役所の相談窓口」、「医療機関専門外来（認知症外来、もの忘れ外来など）」、「もの忘れ医療相談（高齢者あんしん相談センターの嘱託医）」では、最も高くなっていますが、「かかりつけ医、又は認知症サポート医」では、最も低くなっています。

記入者別でみると、子ども（息子・娘、息子・娘の配偶者）は、「高齢者あんしん相談センター」で39.4%、「かかりつけ医、又は認知症サポート医」で55.3%と高くなっています。

【認知症相談窓口の利用意向／性別、年齢別、圏域別、家族構成別、要介護度別、記入者別】

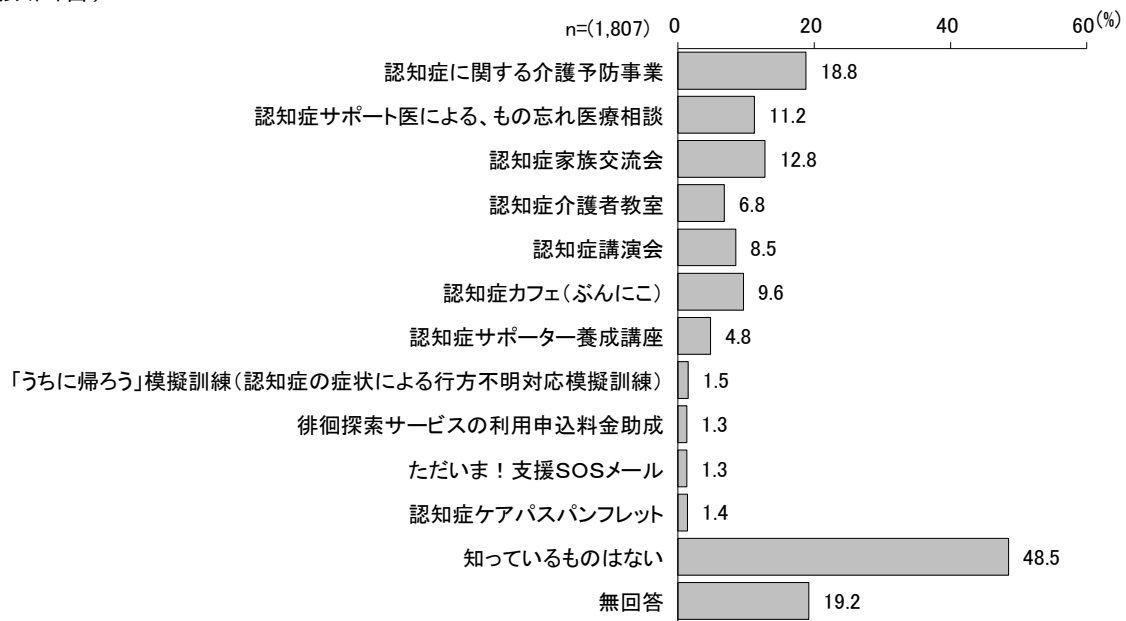
(%)

	n	高齢者 あんしん 相談セン ター	区役所 の相談 窓口	認知症 疾患医 療セン ター(順 天堂大 学医院 の専門 窓口)	医療機 関専門 外来(認 知症外 来、もの 忘れ外 来など)	認知症 家族会 の相談 窓口	もの忘れ 医療相 談(高齢 者あんし ん相談セ ンターの 嘱託医)	かかりつ け医、又 は認知 症サポ ート医	相談しな い	無回答
全体	1,807	36.6	17.2	9.0	19.0	1.4	5.1	49.6	4.9	15.3
性別										
男性	611	32.6	18.0	9.2	19.5	1.3	3.8	44.0	5.1	18.7
女性	1,196	38.7	16.8	8.9	18.8	1.4	5.9	52.4	4.8	13.5
年齢別										
65歳未満	39	41.0	38.5	10.3	23.1	-	10.3	43.6	-	10.3
65～69歳	39	33.3	25.6	-	15.4	7.7	2.6	43.6	5.1	12.8
70～74歳	93	32.3	25.8	11.8	23.7	1.1	4.3	38.7	4.3	15.1
75～79歳	189	39.2	20.1	10.1	23.8	2.1	5.3	49.2	4.8	13.8
80～84歳	357	33.9	20.2	8.1	22.4	1.4	4.5	45.1	3.4	17.9
85～89歳	470	36.8	13.4	9.1	19.4	1.1	4.7	53.8	4.5	15.5
90歳以上	542	38.2	14.0	9.0	14.4	1.1	6.5	53.9	7.0	12.2
圏域別										
富坂地区	577	35.5	19.2	9.2	18.7	1.6	6.1	49.4	4.7	15.4
大塚地区	410	40.7	18.8	10.0	18.8	1.5	5.4	50.0	4.9	15.1
本富士地区	395	36.7	16.7	9.9	19.7	1.8	4.6	45.1	4.8	15.9
駒込地区	425	34.1	13.4	7.1	19.1	0.7	4.2	53.6	5.4	14.6
家族構成別										
一人暮らし	424	33.3	16.5	8.3	16.3	1.4	6.6	45.3	6.8	18.9
夫婦のみ	454	35.5	17.6	11.9	21.8	1.1	4.2	48.2	3.1	17.6
子どもと二世帯同居	599	39.9	17.0	8.3	19.4	1.5	4.8	53.6	5.3	11.2
親と二世帯同居	22	36.4	9.1	9.1	22.7	-	4.5	54.5	-	13.6
三世帯以上同居	169	34.9	17.2	7.1	17.8	1.8	5.9	54.4	5.3	10.7
その他	86	44.2	23.3	10.5	23.3	2.3	5.8	50.0	2.3	10.5
要介護度別										
要介護1	775	39.4	15.7	9.9	17.7	1.5	4.9	52.5	4.1	14.6
要介護2	449	33.2	17.1	6.9	21.2	0.7	6.2	49.9	4.5	15.8
要介護3	272	34.9	18.0	7.7	18.4	1.8	4.0	52.2	5.1	11.4
要介護4	96	36.5	15.6	9.4	16.7	1.0	3.1	43.8	9.4	13.5
要介護5	72	37.5	23.6	9.7	22.2	-	6.9	43.1	6.9	11.1
記入者別										
あて名のご本人	668	35.5	19.6	12.3	19.2	1.6	6.6	44.9	3.9	18.7
配偶者(夫、妻)	306	34.6	17.6	11.4	20.6	1.3	3.3	50.3	3.3	16.0
子ども(息子・娘、息子・娘の配偶者)	691	39.4	14.2	6.2	19.8	1.3	4.6	55.3	6.2	10.0
兄弟姉妹	26	34.6	23.1	-	11.5	-	3.8	34.6	7.7	26.9
孫	6	33.3	16.7	-	-	-	16.7	83.3	-	-
その他	45	35.6	24.4	4.4	15.6	-	4.4	51.1	6.7	11.1

問36 認知症に関する区の事業の認知度

認知症に関する区の事業についての認知度では、「知っているものはない」が48.5%を占めています。一方、具体的な選択肢の中では、「認知症に関する介護予防事業」が18.8%で最も高く、以下、「認知症家族交流会」が12.8%、「認知症サポート医による、もの忘れ医療相談」が11.2%、「認知症カフェ（ぶんにご）が」が9.6%となっています。

（複数回答）



第5章 在宅介護実態調査（郵送）

性別では、特に目立った違いはありません。

年齢別でみると、70～74歳は、「認知症に関する介護予防事業」、「認知症サポート医による、もの忘れ医療相談」、「認知症介護者教室」において、最も低くなっています。

圏域別でみると、駒込地区は、「知っているものはない」が53.4%で最も高くなっています。

家族構成別でみると、「知っているものはない」は、一人暮らしの53.8%と、三世代以上同居の53.8%で高くなっています。

要介護度別でみると、「知っているものはない」は、要介護5で37.5%と低くなっています。

記入者別でみると、「認知症に関する介護予防事業」で、配偶者は23.5%と高くなっています。

【認知症に関する区の事業の認知度①】

／性別、年齢別、圏域別、家族構成別、要介護度別、記入者別

(%)

	n	認知症に関する介護予防事業	認知症サポート医による、もの忘れ医療相談	認知症家族交流会	認知症介護者教室	認知症講演会	認知症カフェ(ぶんこ)	認知症サポーター養成講座	「うちに帰ろう」模擬訓練(認知症の症状による行方不明対応模擬訓練)	徘徊探索サービスの利用申込料金助成	ただいま！支援SOSメール
全体	1,807	18.8	11.2	12.8	6.8	8.5	9.6	4.8	1.5	1.3	1.3
性別											
男性	611	19.1	10.3	13.1	6.7	8.8	9.5	4.7	1.1	0.8	0.7
女性	1,196	18.6	11.7	12.7	6.9	8.4	9.6	4.8	1.7	1.6	1.6
年齢別											
65歳未満	39	20.5	10.3	5.1	12.8	2.6	12.8	2.6	-	-	-
65～69歳	39	23.1	15.4	15.4	10.3	15.4	10.3	7.7	-	2.6	-
70～74歳	93	15.1	6.5	8.6	4.3	9.7	9.7	3.2	1.1	-	-
75～79歳	189	20.6	15.3	13.2	5.8	10.1	9.5	5.3	0.5	2.1	-
80～84歳	357	18.5	12.6	13.7	8.7	9.8	10.1	5.6	2.2	1.4	1.4
85～89歳	470	19.6	12.6	14.7	7.0	7.9	9.8	6.0	1.3	1.5	1.9
90歳以上	542	18.3	9.2	11.6	6.1	8.7	9.2	3.9	1.8	1.3	1.7
圏域別											
富坂地区	577	18.2	12.0	13.5	6.4	8.7	9.7	5.4	1.9	0.9	1.0
大塚地区	410	22.0	12.9	12.0	6.3	9.0	9.3	4.9	1.5	1.0	1.0
本富士地区	395	20.0	9.9	13.7	7.6	7.8	9.9	4.8	1.3	1.8	1.8
駒込地区	425	15.3	9.9	12.0	7.1	8.5	9.4	4.0	1.2	1.9	1.4
家族構成別											
一人暮らし	424	15.3	9.0	8.0	4.2	5.7	6.6	2.4	1.2	1.2	1.2
夫婦のみ	454	20.7	12.8	13.7	9.0	11.2	9.3	4.4	0.7	0.4	-
子どもと二世帯同居	599	19.4	11.2	16.2	6.8	8.5	11.4	5.8	1.8	1.7	1.3
親と二世帯同居	22	27.3	22.7	13.6	13.6	9.1	18.2	9.1	-	-	4.5
三世代以上同居	169	20.1	10.1	12.4	5.3	10.1	10.7	7.1	3.0	2.4	3.0
その他	86	25.6	18.6	14.0	12.8	10.5	11.6	9.3	3.5	3.5	4.7
要介護度別											
要介護1	775	16.9	10.8	10.2	5.3	7.9	9.0	3.6	1.2	1.0	0.6
要介護2	449	20.3	11.8	14.3	8.0	7.8	10.5	4.9	1.6	1.6	1.3
要介護3	272	21.3	14.0	17.6	9.9	14.3	11.8	9.2	1.8	2.2	2.6
要介護4	96	15.6	9.4	15.6	7.3	5.2	8.3	7.3	2.1	-	2.1
要介護5	72	29.2	9.7	18.1	11.1	13.9	12.5	5.6	4.2	2.8	2.8
記入者別											
あて名のご本人	668	16.9	10.8	8.1	5.1	7.3	7.3	2.8	0.9	1.0	0.4
配偶者(夫、妻)	306	23.5	15.0	18.0	11.4	13.4	12.4	5.2	1.3	1.0	-
子ども(息子・娘、息子・娘の配偶者)	691	19.1	10.7	15.9	6.7	7.8	11.1	6.9	1.9	1.7	2.3
兄弟姉妹	26	11.5	3.8	11.5	11.5	11.5	3.8	-	-	-	-
孫	6	16.7	33.3	16.7	-	16.7	16.7	16.7	-	-	-
その他	45	26.7	11.1	13.3	8.9	8.9	11.1	4.4	2.2	4.4	8.9

【認知症に関する区の事業の認知度②】

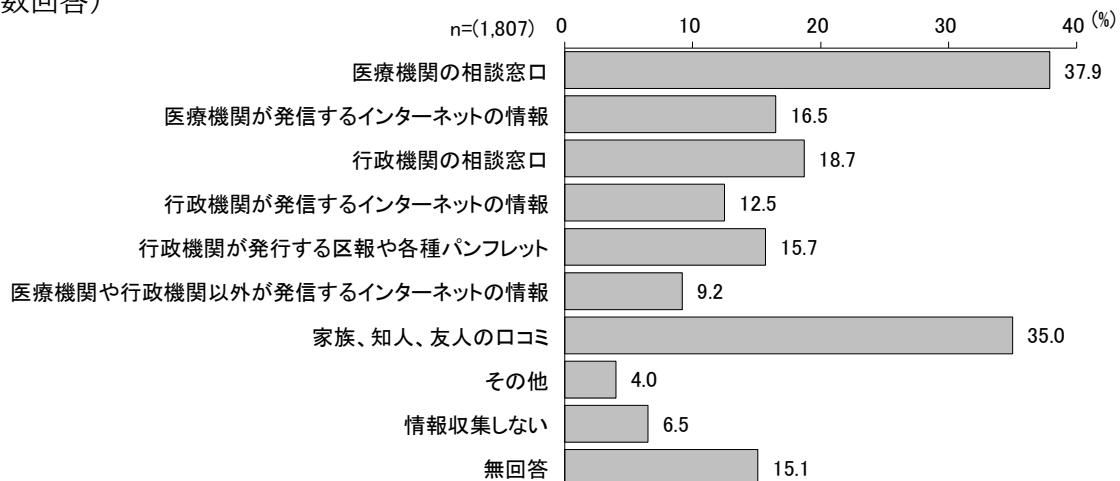
／性別、年齢別、圏域別、家族構成別、要介護度別、記入者別】

		認知症 ケアパ スパン フレット	知ってい るもの はない	無回答
全 体		1.4	48.5	19.2
性別	男性	1.5	43.5	24.9
	女性	1.3	51.0	16.3
年齢別	65歳未満	2.6	51.3	10.3
	65～69歳	-	53.8	15.4
	70～74歳	-	49.5	22.6
	75～79歳	1.1	46.6	18.5
	80～84歳	1.7	46.8	23.2
	85～89歳	1.9	48.7	17.4
	90歳以上	1.3	51.3	15.7
圏域別	富坂地区	1.0	47.0	20.1
	大塚地区	0.7	47.8	16.8
	本富士地区	1.5	46.1	21.5
	駒込地区	2.4	53.4	18.1
家族 構成 別	一人暮らし	1.2	53.8	19.3
	夫婦のみ	1.5	42.3	24.4
	子どもと二世帯同居	1.3	49.2	15.5
	親と二世帯同居	4.5	31.8	27.3
	三世帯以上同居	1.2	53.8	12.4
	その他	2.3	45.3	14.0
要介 護度 別	要介護1	1.2	52.4	18.2
	要介護2	2.0	47.0	19.6
	要介護3	2.2	46.3	13.6
	要介護4	-	52.1	17.7
	要介護5	1.4	37.5	16.7
記入 者別	あて名のご本人	1.0	46.6	25.1
	配偶者(夫、妻)	2.3	38.6	22.5
	子ども(息子・娘、息 子・娘の配偶者)	1.3	54.7	10.9
	兄弟姉妹	-	53.8	23.1
	孫	-	33.3	-
	その他	4.4	53.3	8.9

問37 認知症に関する情報取得方法

認知症についての情報収集の方法では、「医療機関の相談窓口」が37.9%で最も高く、以下、「家族、知人、友人の口コミ」が35.0%、「行政機関の相談窓口」が18.7%、「医療機関が発信するインターネットの情報」が16.5%となっています。

(複数回答)



第5章 在宅介護実態調査（郵送）

性別でみると、男性は、医療機関の相談窓口で41.9%、女性は、「医療機関が発信するインターネットの情報」で18.1%、「行政機関が発信するインターネットの情報」で14.0%、「家族、知人、友人の口コミ」で36.2%と高くなっています。

年齢別でみると、ほとんどの年齢層で「医療機関の相談窓口」が最も高い中、65歳未満では、「医療機関が発信するインターネットの情報」が38.5%で最も高くなっています。また、「家族、知人、友人の口コミ」は、74歳未満の層と75歳以上の層との間に隔たりがあります。

圏域別でみると、駒込地区で、「家族、知人、友人の口コミ」が39.1%と高くなっています。

家族構成別でみると、「家族、知人、友人の口コミ」は、子どもと二世帯同居の38.7%、三世帯以上同居の42.0%で高くなっています。

要介護度別では、特に目立った違いはありません。

記入者別でみると、「医療機関の相談窓口」は、あて名の本人の44.0%、配偶者（夫、妻）の46.7%で高くなっています。

【認知症に関する情報取得方法／性別、年齢別、圏域別、家族構成別、要介護度別、記入者別】

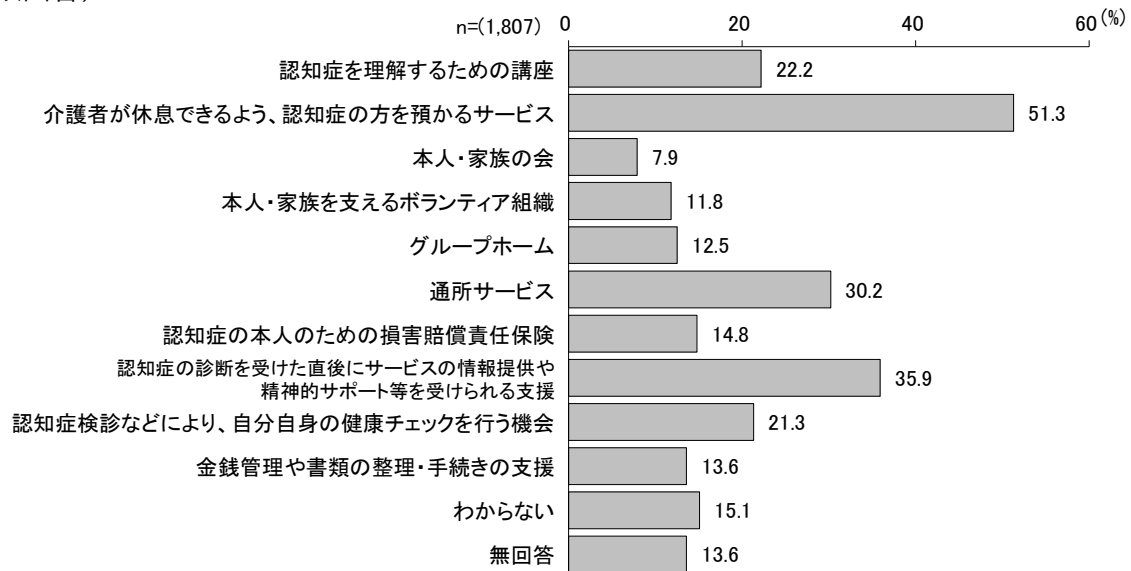
(%)

	n	医療機関の相談窓口	医療機関が発信するインターネットの情報	行政機関の相談窓口	行政機関が発信するインターネットの情報	行政機関が発信する区報や各種パンフレット	医療機関や行政機関以外が発信するインターネットの情報	家族、知人、友人の口コミ	その他	情報収集しない	無回答	
全体	1,807	37.9	16.5	18.7	12.5	15.7	9.2	35.0	4.0	6.5	15.1	
性別	男性	611	41.9	13.6	19.6	9.3	15.9	7.7	32.6	3.4	6.2	17.8
	女性	1,196	35.9	18.1	18.2	14.0	15.6	9.9	36.2	4.3	6.7	13.6
年齢別	65歳未満	39	23.1	38.5	20.5	23.1	7.7	15.4	23.1	5.1	2.6	10.3
	65～69歳	39	43.6	28.2	20.5	15.4	12.8	12.8	25.6	-	7.7	12.8
	70～74歳	93	40.9	19.4	19.4	11.8	20.4	8.6	26.9	5.4	5.4	14.0
	75～79歳	189	43.9	14.3	24.9	8.5	16.9	10.6	37.6	3.7	6.3	12.2
	80～84歳	357	38.4	13.7	20.2	9.8	17.4	9.5	35.9	3.9	7.0	19.0
	85～89歳	470	40.0	14.3	15.1	12.3	13.4	8.1	38.7	3.6	5.3	14.0
90歳以上	542	34.3	19.6	18.6	15.5	16.1	9.8	33.6	4.4	7.7	13.1	
圏域別	富坂地区	577	37.4	15.4	20.6	12.1	17.0	7.5	34.5	4.0	6.6	15.1
	大塚地区	410	41.0	17.8	19.5	12.9	16.1	11.0	34.4	4.1	6.3	13.4
	本富士地区	395	35.2	15.9	16.5	11.9	12.2	9.1	31.9	4.8	6.1	18.2
	駒込地区	425	38.1	17.4	17.4	12.9	16.9	9.9	39.1	3.3	7.1	13.6
家族構成別	一人暮らし	424	34.4	14.6	16.7	11.6	14.4	8.7	29.2	5.0	7.3	18.9
	夫婦のみ	454	46.5	11.9	20.5	7.0	18.1	5.1	35.0	4.0	4.8	17.2
	子どもと二世帯同居	599	36.4	19.5	18.9	16.2	15.2	12.2	38.7	3.2	7.2	10.4
	親と二世帯同居	22	22.7	27.3	13.6	18.2	9.1	4.5	22.7	-	13.6	22.7
	三世帯以上同居	169	32.5	20.7	20.1	15.4	17.2	12.4	42.0	3.6	5.9	10.7
その他	86	43.0	24.4	20.9	16.3	16.3	11.6	33.7	7.0	7.0	10.5	
要介護度別	要介護1	775	37.9	15.1	17.9	10.8	17.3	8.8	37.7	3.7	5.9	14.6
	要介護2	449	37.4	16.7	19.6	12.5	14.5	7.6	34.5	4.2	5.3	14.7
	要介護3	272	40.1	21.7	18.8	17.6	15.1	12.9	34.2	4.8	8.8	10.3
	要介護4	96	34.4	21.9	21.9	12.5	17.7	10.4	34.4	5.2	7.3	15.6
	要介護5	72	41.7	26.4	15.3	19.4	12.5	16.7	23.6	1.4	5.6	12.5
記入者別	あて名のご本人	668	44.0	9.4	19.9	6.4	15.0	5.1	31.7	3.3	6.3	19.2
	配偶者(夫、妻)	306	46.7	11.4	20.6	6.2	19.9	7.2	37.6	4.2	3.9	14.1
	子ども(息子・娘、息子・娘の配偶者)	691	29.7	26.9	17.1	21.9	15.5	15.3	38.5	4.5	7.7	9.8
	兄弟姉妹	26	38.5	7.7	23.1	3.8	11.5	3.8	19.2	-	7.7	23.1
	孫	6	16.7	33.3	-	16.7	16.7	16.7	66.7	-	-	-
	その他	45	33.3	13.3	22.2	11.1	13.3	4.4	24.4	8.9	13.3	13.3

問38 必要と感じる認知症支援

認知症の本人や家族への支援として必要と感じるものでは、「介護者が休息できるよう、認知症の方を預かるサービス」が51.3%で最も高く、以下、「認知症の診断を受けた直後にサービスの情報提供や精神的サポート等を受けられる支援」が35.9%、「通所サービス」が30.2%、「認知症を理解するための講座」が22.2%となっています。

（複数回答）



性別でみると、すべての項目で女性の方が高く、特に「通所サービス」は、両者間に9.5ポイントの差があります。

年齢別でみると、65歳未満は、「本人・家族を支えるボランティア組織」で20.5%、「グループホーム」で17.9%、「金銭管理や書類の整理・手続きの支援」で33.3%と高くなっています。

圏域別では、特に目立った違いはありません。

家族構成別でみると、三世代以上同居は、「介護者が休息できるよう、認知症の方を預かるサービス」で63.3%、「通所サービス」で41.4%、「認知症の診断を受けた直後にサービスの情報提供や精神的サポート等を受けられる支援」で45.0%と高くなっています。

要介護度別でみると、要介護5は、「介護者が休息できるよう、認知症の方を預かるサービス」で65.3%、「本人・家族を支えるボランティア組織」で23.6%、「認知症の診断を受けた直後にサービスの情報提供や精神的サポート等を受けられる支援」で44.4%、「金銭管理や書類の整理・手続きの支援」で26.4%と高くなっています。

記入者別でみると、子ども（息子・娘、息子・娘の配偶者）は、「介護者が休息できるよう、認知症の方を預かるサービス」で61.2%、「通所サービス」で39.9%と高くなっています。

第5章 在宅介護実態調査（郵送）

【必要と感じる認知症支援／性別、年齢別、圏域別、家族構成別、要介護度別、記入者別】

(%)

	n	認知症を理解するための講座	介護者が休息できるよう、認知症の方を預かるサービス	本人・家族の会	本人・家族を支えるボランティア組織	グループホーム	通所サービス	認知症の本人のための損害賠償責任保険	認知症の診断を受けた直後にサービスの情報提供や精神的サポート等を受けられる支援	認知症検診などにより、自分自身の健康チェックを行う機会	金銭管理や書類の整理・手続きの支援	
全体	1,807	22.2	51.3	7.9	11.8	12.5	30.2	14.8	35.9	21.3	13.6	
性別	男性	611	18.2	48.9	6.7	11.3	9.2	23.9	13.1	33.6	20.0	9.5
	女性	1,196	24.2	52.5	8.5	12.0	14.2	33.4	15.6	37.1	21.9	15.6
年齢別	65歳未満	39	30.8	59.0	15.4	20.5	17.9	28.2	17.9	46.2	23.1	33.3
	65～69歳	39	33.3	53.8	15.4	12.8	10.3	28.2	17.9	46.2	17.9	17.9
	70～74歳	93	18.3	51.6	9.7	12.9	10.8	33.3	11.8	34.4	18.3	16.1
	75～79歳	189	18.5	50.8	8.5	13.8	14.8	30.7	13.8	39.2	23.8	13.2
	80～84歳	357	24.4	51.3	7.3	11.5	10.4	29.4	14.6	33.3	21.8	11.8
	85～89歳	470	21.5	53.2	8.7	12.8	15.5	32.8	16.8	33.6	21.9	13.0
	90歳以上	542	22.3	51.1	6.3	10.7	11.4	30.1	14.0	37.6	20.5	13.5
圏域別	富坂地区	577	21.0	49.0	6.9	10.1	11.6	26.5	13.7	34.3	21.8	12.7
	大塚地区	410	20.0	51.7	6.3	12.4	13.7	28.0	13.7	32.7	19.8	12.9
	本富士地区	395	23.3	51.4	8.9	13.2	9.9	33.2	13.9	36.7	19.2	13.9
	駒込地区	425	24.9	53.9	9.9	12.2	15.1	34.6	18.1	40.5	23.8	15.1
家族構成別	一人暮らし	424	21.2	41.5	6.6	10.8	14.2	21.7	13.2	31.6	21.5	16.5
	夫婦のみ	454	22.0	51.8	7.7	10.1	10.6	27.1	12.1	35.5	22.0	10.1
	子どもと二世帯同居	599	21.7	56.8	7.5	13.5	11.4	35.2	17.7	38.1	20.5	13.5
	親と二世帯同居	22	36.4	45.5	9.1	18.2	9.1	31.8	13.6	36.4	13.6	18.2
	三世帯以上同居	169	24.3	63.3	8.9	9.5	17.8	41.4	16.0	45.0	23.1	14.2
	その他	86	29.1	50.0	14.0	18.6	16.3	36.0	16.3	36.0	23.3	17.4
要介護度別	要介護1	775	22.5	48.8	7.6	11.5	12.9	29.2	15.0	36.5	22.1	11.7
	要介護2	449	21.2	54.1	8.7	11.1	13.4	31.8	15.8	36.7	20.7	13.6
	要介護3	272	23.5	61.0	8.5	14.0	14.0	36.0	16.5	33.8	26.1	15.8
	要介護4	96	20.8	46.9	5.2	6.3	12.5	31.3	9.4	36.5	10.4	12.5
	要介護5	72	22.2	65.3	6.9	23.6	8.3	36.1	18.1	44.4	20.8	26.4
記入者別	あて名のご本人	668	24.7	40.0	9.7	12.9	9.1	21.4	13.3	32.6	19.9	12.4
	配偶者(夫、妻)	306	20.3	55.6	7.8	12.1	10.8	29.1	10.8	38.2	22.5	9.5
	子ども(息子・娘、息子・娘の配偶者)	691	22.1	61.2	6.1	11.1	16.8	39.9	18.2	39.8	21.9	15.6
	兄弟姉妹	26	11.5	50.0	-	15.4	11.5	26.9	11.5	42.3	19.2	23.1
	孫	6	16.7	50.0	33.3	16.7	16.7	50.0	33.3	83.3	33.3	-
	その他	45	15.6	53.3	8.9	8.9	11.1	26.7	15.6	22.2	22.2	22.2

	わからない	無回答	
全体	15.1	13.6	
性別	男性	14.6	17.2
	女性	15.3	11.8
年齢別	65歳未満	15.4	5.1
	65～69歳	23.1	7.7
	70～74歳	16.1	11.8
	75～79歳	15.9	12.7
	80～84歳	16.0	13.7
	85～89歳	13.4	14.3
	90歳以上	15.5	12.4
圏域別	富坂地区	15.6	14.7
	大塚地区	17.1	12.7
	本富士地区	12.7	14.2
	駒込地区	14.6	12.5
家族構成別	一人暮らし	20.8	15.3
	夫婦のみ	12.1	17.2
	子どもと二世帯同居	12.9	11.0
	親と二世帯同居	22.7	9.1
	三世帯以上同居	10.7	8.3
	その他	19.8	7.0
要介護度別	要介護1	14.8	13.8
	要介護2	13.8	12.9
	要介護3	17.3	9.2
	要介護4	15.6	12.5
	要介護5	11.1	6.9
記入者別	あて名のご本人	17.5	19.8
	配偶者(夫、妻)	11.8	13.7
	子ども(息子・娘、息子・娘の配偶者)	12.9	7.5
	兄弟姉妹	15.4	11.5
	孫	16.7	-
	その他	26.7	6.7

第6章 在宅介護実態調査（聞き取り）

第6章 目次

頁

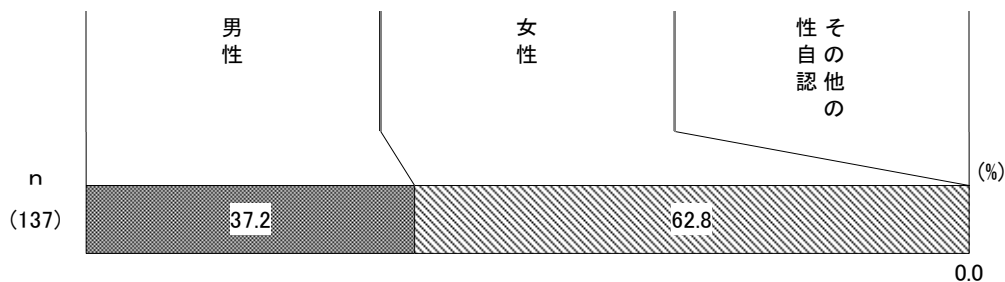
第6章 在宅介護実態調査（聞き取り）	365
1. 対象者属性	369
F 1-1 性別	369
F 1-2 年齢	369
F 1-3 要介護度	370
F-2 聞き取りを行った相手	371
問A 1 世帯構成	372
2. 介護者	373
問A 2 暮らしの経済的状況	373
問A 3 介護を受ける頻度	373
問A 4 主な介護者	374
問A 5 主な介護者の性別	375
問A 6 主な介護者の年齢	376
問A 7 主な介護者が行っている介護の種類	377
問A 8 介護による離職経験	379
問A 9 複数介護の状況	381
問A 10 複数介護の対象	382
3. 介護等	383
問A 11 介護保険サービスの利用状況	383
問A 12 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス	385
問A 13 施設入所の検討状況	386
問A 14 病気の状況	387
問A 15 訪問診療の有無（受診した訪問診療の種類）	389
問A 16 介護保険サービスの利用状況	390
問A 17① 新型コロナウイルス感染症の影響によるサービスの利用状況	391
問A 17② 新型コロナウイルス感染症の影響によるサービスの利用状況	393
問A 18 介護保険サービスを利用しない理由	394
問A 19 新型コロナウイルスワクチン接種情報の取得手段	395
問A 20 新型コロナウイルス感染症による生活の変化	396
問A 21 新型コロナウイルス感染症下で健康・生活維持のために工夫したこと（記述）	396
4. 主な介護者	397
問B 1 主な介護者の勤務形態	397
問B 2 介護による働き方の調整	398
問B 3 仕事と介護の両立に効果があると思う支援	399
問B 4 主な介護者の仕事と介護の両立の継続可能性	401
問B 5 主な介護者の外出頻度	402
問B 5-1 主な介護者の人付き合いの状況	403

問B5-1-1 主な介護者の人付き合いが変化した理由（記述）	403
問B5-2 主な介護者の家族以外との会話の有無	404
問B6 主な介護者が不安に感じる介護等	405

1. 対象者属性

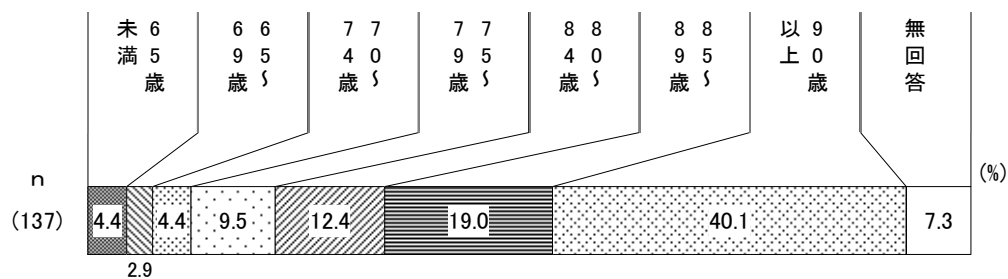
F1-1 性別

性別では、「女性」が62.8%で最も高く、以下、「男性」が37.2%、「その他の性自認」が0.0%となっています。



F1-2 年齢

年齢では、「90歳以上」が40.1%で最も高く、以下、「85-89歳」が19.0%、「80-84歳」が12.4%、「75-79歳」が9.5%となっています。



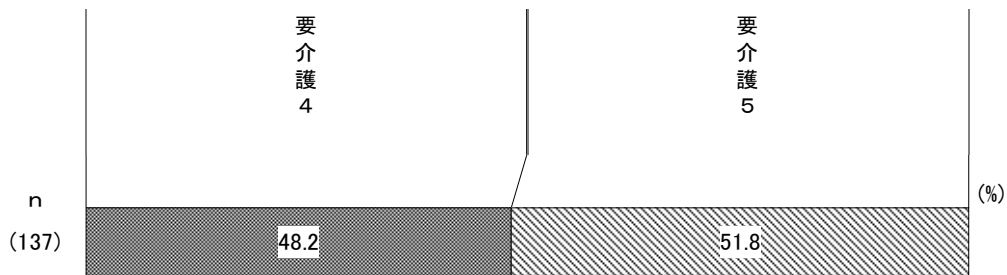
性別で見ると、89歳以下の各層では、男性が高い傾向にあり、90歳以上では、女性が46.5%となっています。
要介護度別で見ると、要介護5は、90歳以上で43.7%と高くなっています。

【年齢／性別、要介護度別】

		n	65歳未満	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳以上	無回答
全体		137	4.4	2.9	4.4	9.5	12.4	19.0	40.1	7.3
性別	男性	51	-	5.9	9.8	13.7	15.7	19.6	29.4	5.9
	女性	86	7.0	1.2	1.2	7.0	10.5	18.6	46.5	8.1
要介護度別	要介護4	66	3.0	3.0	4.5	6.1	16.7	22.7	36.4	7.6
	要介護5	71	5.6	2.8	4.2	12.7	8.5	15.5	43.7	7.0

F1-3 要介護度

要介護度では、「要介護5」が51.8%、「要介護4」が48.2%となっています。



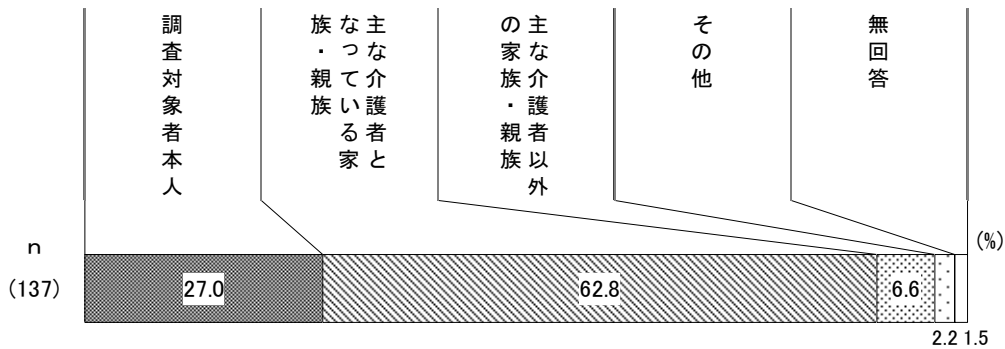
性別では、特に目立った違いはありません。
 年齢別でみると、80歳代は、要介護4が、90歳以上は、要介護5が高い傾向にあります。

【要介護度／性別、年齢別】

		n	（%）	
			要介護4	要介護5
全体		137	48.2	51.8
性別	男性	51	49.0	51.0
	女性	86	47.7	52.3
年齢別	65歳未満	6	33.3	66.7
	65-69歳	4	50.0	50.0
	70-74歳	6	50.0	50.0
	75-79歳	13	30.8	69.2
	80-84歳	17	64.7	35.3
	85-89歳	26	57.7	42.3
	90歳以上	55	43.6	56.4

F-2 聞き取りを行った相手

調査回答者では、「主な介護者となっている家族・親族」が62.8%で最も高く、以下、「調査対象者本人」が27.0%、「主な介護者以外の家族・親族」が6.6%、「その他」が2.2%となっています。



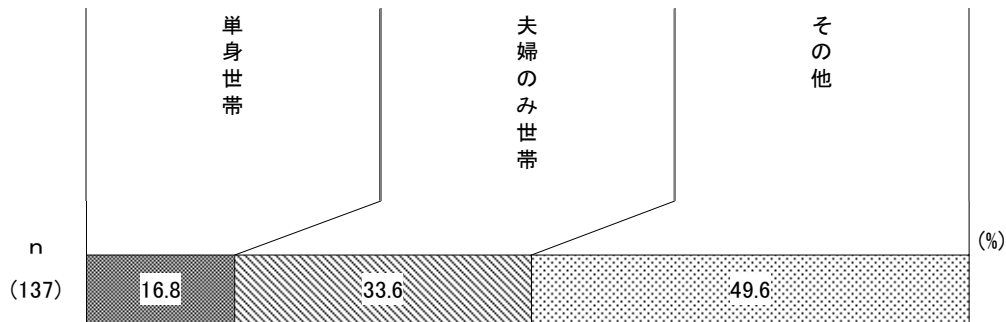
性別で見ると、「調査対象者本人」は、男性が33.3%で、女性よりも10ポイント高くなっています。
 年齢別で見ると、「主な介護者となっている家族・親族」は、80-84歳で70.6%、85-89歳で76.9%と高くなっています。
 要介護度別で見ると、「主な介護者となっている家族・親族」は、要介護5が69.0%と高くなっています。

【聞き取りを行った相手／性別、年齢別、要介護度別】

		n	調査対象者本人	主な介護者となっている家族・親族	主な介護者以外の家族・親族	その他	無回答
全体		137	27.0	62.8	6.6	2.2	1.5
性別	男性	51	33.3	58.8	2.0	5.9	-
	女性	86	23.3	65.1	9.3	-	2.3
年齢別	65歳未満	6	33.3	50.0	16.7	-	-
	65-69歳	4	50.0	50.0	-	-	-
	70-74歳	6	50.0	50.0	-	-	-
	75-79歳	13	46.2	46.2	7.7	-	-
	80-84歳	17	29.4	70.6	-	-	-
	85-89歳	26	19.2	76.9	3.8	-	-
	90歳以上	55	21.8	60.0	9.1	5.5	3.6
要介護度別	要介護4	66	34.8	56.1	4.5	3.0	1.5
	要介護5	71	19.7	69.0	8.5	1.4	1.4

問A1 世帯構成

世帯構成では、「その他」が49.6%で最も高く、以下、「夫婦のみ世帯」が33.6%、「単身世帯」が16.8%となっています。



性別で見ると、「単身世帯」では、男女間の差は4.5ポイントですが、「夫婦のみ世帯」では、男性が58.8%で、女性よりも40.2ポイント高くなっています。
 年齢別で見ると、90歳以上は、「単身世帯」が23.6%と高くなっています。
 要介護度別で見ると、要介護5では、「夫婦のみ世帯」が45.1%となっています。

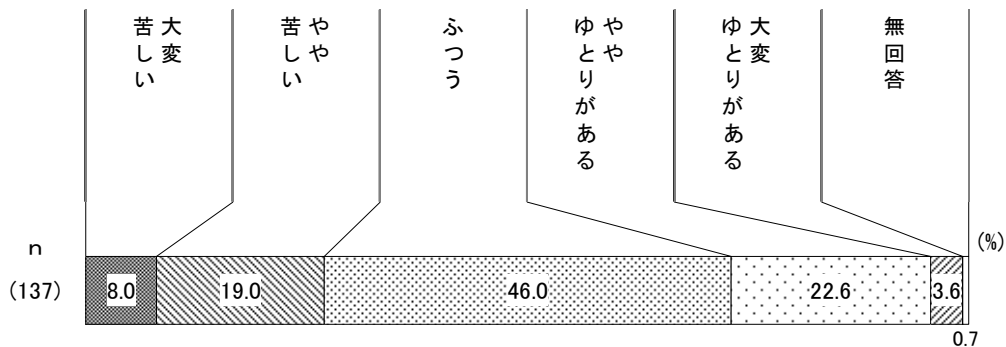
【世帯構成／性別、年齢別、要介護度別】

		n	（%）		
			単身世帯	夫婦のみ世帯	その他
全体		137	16.8	33.6	49.6
性別	男性	51	19.6	58.8	21.6
	女性	86	15.1	18.6	66.3
年齢別	65歳未満	6	-	50.0	50.0
	65-69歳	4	-	50.0	50.0
	70-74歳	6	16.7	50.0	33.3
	75-79歳	13	15.4	61.5	23.1
	80-84歳	17	11.8	58.8	29.4
	85-89歳	26	15.4	30.8	53.8
	90歳以上	55	23.6	14.5	61.8
要介護度別	要介護4	66	21.2	21.2	57.6
	要介護5	71	12.7	45.1	42.3

2. 介護者

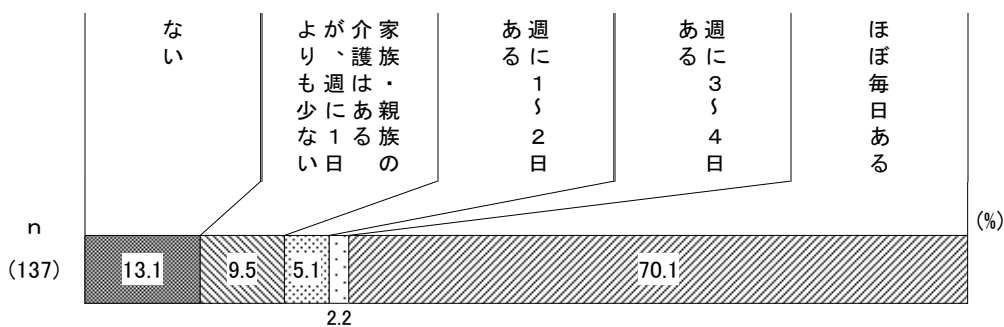
問A2 暮らしの経済的状況

経済的にみた現在の暮らしの状況では、「ふつう」が46.0%で最も高く、以下、「ややゆとりがある」が22.6%、「やや苦しい」が19.0%、「大変苦しい」が8.0%となっています。



問A3 介護を受ける頻度

家族等による介護の頻度では、「ほぼ毎日ある」が70.1%で最も高く、以下、「ない」が13.1%、「家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない」が9.5%、「週に1～2日ある」が5.1%となっています。



第6章 在宅介護実態調査（聞き取り）

性別でみると、「ほぼ毎日ある」は、男性の58.8%に対して、女性は、76.7%と高くなっています。

年齢別でみると、「ほぼ毎日ある」は、85-89歳の84.6%が最も高くなっています。

要介護度別では、特に目立った違いはありません。

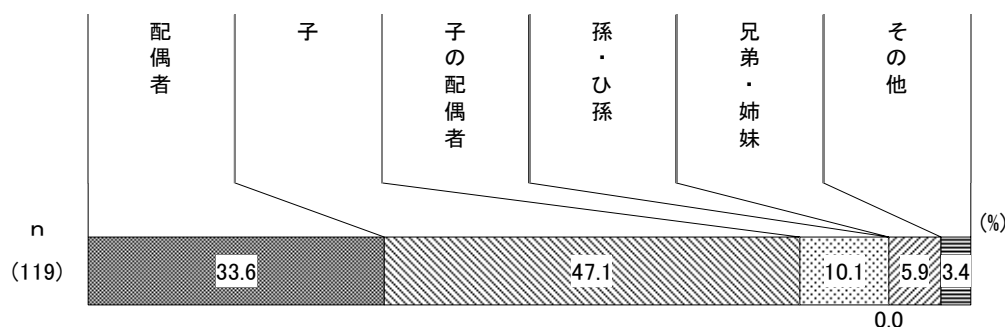
主な介護者の年齢別でみると、60代の介護者で、「ほぼ毎日ある」が85.7%となっています。

【介護を受ける頻度／性別、年齢別、要介護度別、主な介護者の年齢別】

		n	ない	家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない	週に1～2日ある	週に3～4日ある	ほぼ毎日ある
全体		137	13.1	9.5	5.1	2.2	70.1
性別	男性	51	17.6	15.7	5.9	2.0	58.8
	女性	86	10.5	5.8	4.7	2.3	76.7
年齢別	65歳未満	6	33.3	-	-	-	66.7
	65-69歳	4	-	-	25.0	-	75.0
	70-74歳	6	16.7	16.7	-	-	66.7
	75-79歳	13	15.4	7.7	-	7.7	69.2
	80-84歳	17	5.9	17.6	5.9	-	70.6
	85-89歳	26	11.5	-	3.8	-	84.6
	90歳以上	55	14.5	14.5	5.5	3.6	61.8
要介護度別	要介護4	66	12.1	7.6	7.6	-	72.7
	要介護5	71	14.1	11.3	2.8	4.2	67.6
主な介護者の年齢別	40代以下	11	-	-	-	9.1	90.9
	50代	23	-	17.4	4.3	-	78.3
	60代	35	-	2.9	8.6	2.9	85.7
	70代	31	-	19.4	3.2	-	77.4
	80歳以上	18	-	5.6	11.1	5.6	77.8

問A4 主な介護者

主な介護者の本人との関係では、「子」が47.1%で最も高く、以下、「配偶者」が33.6%、「子の配偶者」が10.1%、「兄弟・姉妹」が5.9%となっています。



性別でみると、男性では、「配偶者」が57.1%、女性では、「子」が61.0%と高くなっています。

年齢別でみると、85歳以上の各層では、「子」、84歳以下の各層では、「配偶者」が高くなっています。

要介護度別でみると、要介護4では、「配偶者」は22.4%と低くなっています。

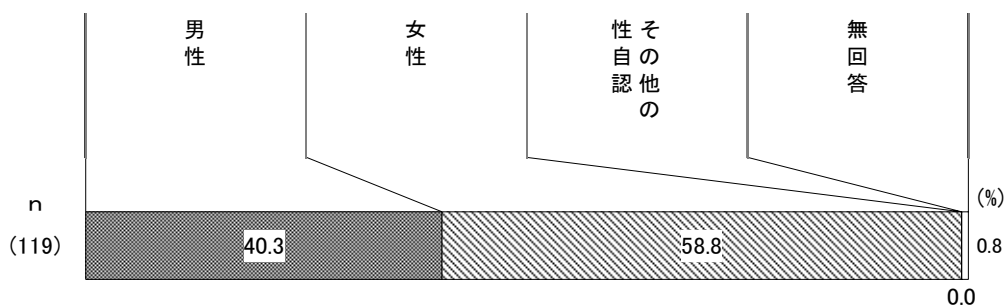
主な介護者の年齢別でみると、60代以下の各層では、「子」、70代以上の各層では、「配偶者」が高くなっています。

【主な介護者／性別、年齢別、要介護度別、主な介護者の年齢別】

		n	(%)					
			配偶者	子	子の配偶者	孫・ひ孫	兄弟・姉妹	その他
全体		119	33.6	47.1	10.1	-	5.9	3.4
性別	男性	42	57.1	21.4	4.8	-	14.3	2.4
	女性	77	20.8	61.0	13.0	-	1.3	3.9
年齢別	65歳未満	4	50.0	50.0	-	-	-	-
	65-69歳	4	75.0	-	-	-	25.0	-
	70-74歳	5	40.0	-	-	-	60.0	-
	75-79歳	11	63.6	36.4	-	-	-	-
	80-84歳	16	62.5	25.0	-	-	12.5	-
	85-89歳	23	34.8	52.2	13.0	-	-	-
	90歳以上	47	10.6	61.7	19.1	-	2.1	6.4
要介護度別	要介護4	58	22.4	50.0	13.8	-	8.6	5.2
	要介護5	61	44.3	44.3	6.6	-	3.3	1.6
主な介護者の年齢別	40代以下	11	-	100.0	-	-	-	-
	50代	23	4.3	73.9	21.7	-	-	-
	60代	35	17.1	62.9	11.4	-	2.9	5.7
	70代	31	51.6	19.4	9.7	-	16.1	3.2
	80歳以上	18	94.4	-	-	-	5.6	-

問A5 主な介護者の性別

主な介護者の性別では、「女性」が58.8%で最も高く、以下、「男性」が40.3%、「その他の性自認」が0.0%となっています。



第6章 在宅介護実態調査（聞き取り）

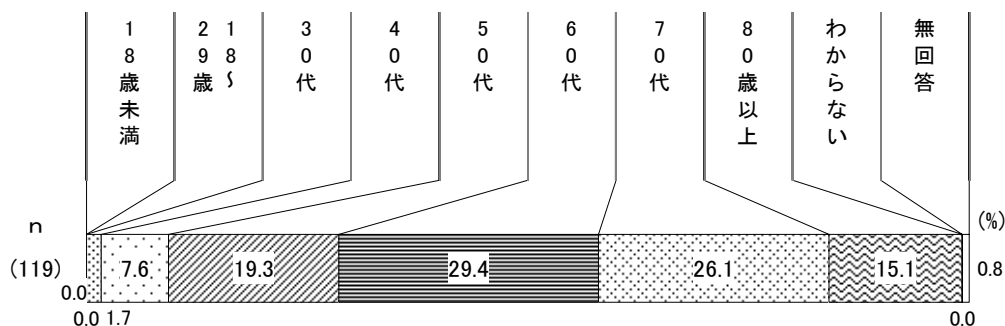
性別でみると、男性では、「女性（介護者）」が76.2%と高くなっています。
 年齢別でみると、75歳以上の各層では、「女性（介護者）」が高い傾向にあります。
 要介護度別でみると、いずれの介護度も、「女性（介護者）」が高くなっています。
 主な介護者の年齢別でみると、いずれの年齢層も、「女性（介護者）」が高い傾向にあります。

【主な介護者の性別／性別、年齢別、要介護度別、主な介護者の年齢別】

		n	男性	女性	その他の 性自認	無回答
全体		119	40.3	58.8	-	0.8
性別	男性	42	21.4	76.2	-	2.4
	女性	77	50.6	49.4	-	-
年齢別	65歳未満	4	50.0	50.0	-	-
	65-69歳	4	50.0	50.0	-	-
	70-74歳	5	60.0	40.0	-	-
	75-79歳	11	27.3	72.7	-	-
	80-84歳	16	50.0	50.0	-	-
	85-89歳	23	39.1	60.9	-	-
	90歳以上	47	34.0	63.8	-	2.1
要介護度別	要介護4	58	41.4	58.6	-	-
	要介護5	61	39.3	59.0	-	1.6
主な介護者の年齢別	40代以下	11	45.5	54.5	-	-
	50代	23	34.8	65.2	-	-
	60代	35	48.6	51.4	-	-
	70代	31	29.0	71.0	-	-
	80歳以上	18	50.0	50.0	-	-

問A6 主な介護者の年齢

主な介護者の年齢では、「60代」が29.4%で最も高く、以下、「70代」が26.1%、「50代」が19.3%、「80歳以上」が15.1%となっています。



性別で見ると、男性に対して、「70代」の介護者が38.1%、女性には、「60代」が35.1%と高くなっています。

年齢別で見ると、90歳代に対して、「60代」の介護者が48.9%、85-89歳には、「50代」が47.8%、70歳から84歳の各層に対しては、「70代」が高くなっています。

要介護度別で見ると、いずれの要介護に対しても、「60代」、「70代」の介護者が高くなっています。

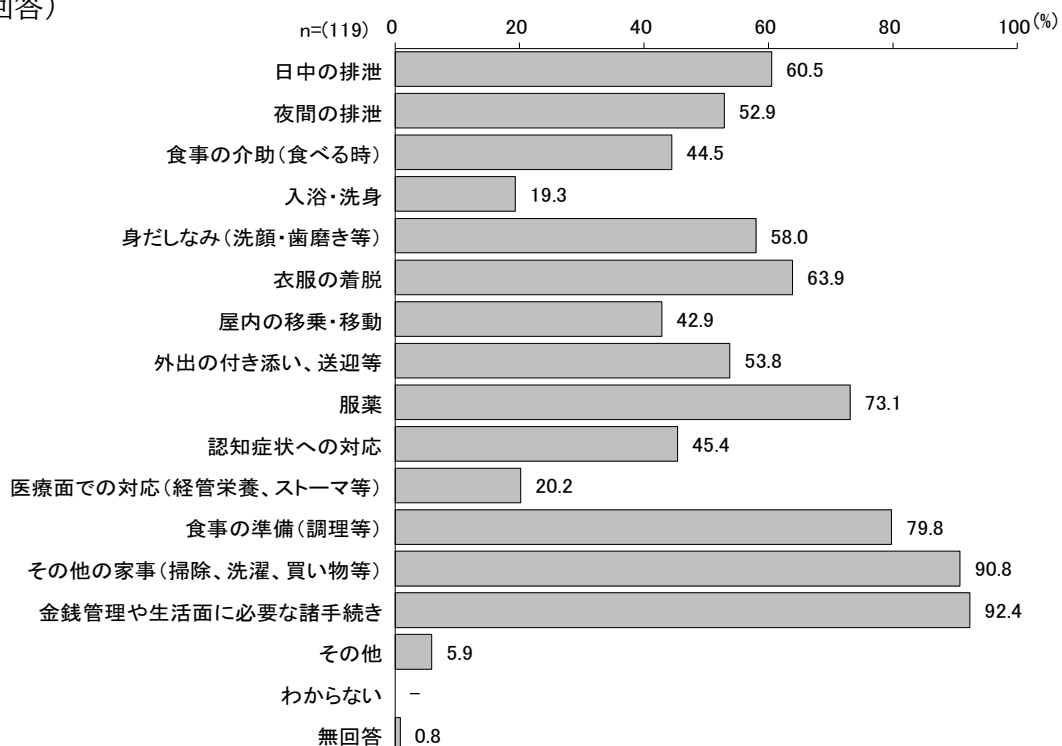
【主な介護者の年齢／性別、年齢別、要介護度別】

		n	18歳未満	18～29歳	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	わからない	無回答
全体		119	-	-	1.7	7.6	19.3	29.4	26.1	15.1	-	0.8
性別	男性	42	-	-	-	4.8	14.3	19.0	38.1	21.4	-	2.4
	女性	77	-	-	2.6	9.1	22.1	35.1	19.5	11.7	-	-
年齢別	65歳未満	4	-	-	50.0	-	25.0	-	25.0	-	-	-
	65-69歳	4	-	-	-	-	-	75.0	25.0	-	-	-
	70-74歳	5	-	-	-	-	-	20.0	80.0	-	-	-
	75-79歳	11	-	-	-	36.4	-	18.2	36.4	9.1	-	-
	80-84歳	16	-	-	-	18.8	6.3	6.3	43.8	25.0	-	-
	85-89歳	23	-	-	-	8.7	47.8	8.7	4.3	30.4	-	-
	90歳以上	47	-	-	-	-	17.0	48.9	21.3	10.6	-	2.1
要介護度別	要介護4	58	-	-	-	10.3	24.1	32.8	25.9	6.9	-	-
	要介護5	61	-	-	3.3	4.9	14.8	26.2	26.2	23.0	-	1.6

問A7 主な介護者が行っている介護の種類

主な介護者が行っている介護では、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が92.4%で最も高く、以下、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が90.8%、「食事の準備（調理等）」が79.8%、「服薬」が73.1%となっています。

（複数回答）



第6章 在宅介護実態調査（聞き取り）

性別でみると、女性は、男性よりも「日中の排泄」で23.6ポイント、「夜間の排泄」で26.6ポイント、「食事の介助（食べる時）」で10.0ポイント、「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」で16.0ポイント、「衣服の着脱」で14.0ポイント、「屋内の移乗・移動」で11.1ポイント、「認知症状への対応」で22.2ポイント、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」で11.5ポイント高くなっています。

年齢別でみると、85-89歳は、「日中の排泄」と「夜間の排泄」で78.3%、「食事の介助（食べる時）」で69.6%、「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」で73.9%、「衣服の着脱」で91.3%、「屋内の移乗・移動」で60.9%、「服薬」で82.6%、「認知症状への対応」で56.5%と高くなっています。

要介護度別でみると、要介護4は、「入浴・洗身」で27.6%、「屋内の移乗・移動」で48.3%、「外出の付き添い、送迎等」で72.4%と、要介護5よりも高くなっています。

主な介護者の年齢別でみると、「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」や「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」は、比較的低年齢層で高い傾向にあります。

介護者の属性/性別でみると、子の場合、「日中の排泄」は、女性が71.4%と高くなっていますが、「夜間の排泄」は、男性が64.3%とやや高くなっています。

【主な介護者が行っている介護の種類①】

／性別、年齢別、要介護度別、主な介護者の年齢別、介護者の属性／性別

		n	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	認知症状への対応
全体		119	60.5	52.9	44.5	19.3	58.0	63.9	42.9	53.8	73.1	45.4
性別	男性	42	45.2	35.7	38.1	21.4	47.6	54.8	35.7	52.4	69.0	31.0
	女性	77	68.8	62.3	48.1	18.2	63.6	68.8	46.8	54.5	75.3	53.2
年齢別	65歳未満	4	100.0	100.0	75.0	25.0	100.0	100.0	50.0	75.0	100.0	50.0
	65-69歳	4	75.0	50.0	25.0	-	50.0	75.0	50.0	75.0	75.0	-
	70-74歳	5	40.0	60.0	20.0	20.0	40.0	60.0	40.0	40.0	60.0	20.0
	75-79歳	11	45.5	27.3	18.2	27.3	45.5	45.5	45.5	63.6	63.6	18.2
	80-84歳	16	62.5	50.0	31.3	31.3	56.3	56.3	43.8	50.0	62.5	43.8
	85-89歳	23	78.3	78.3	69.6	17.4	73.9	91.3	60.9	56.5	82.6	56.5
	90歳以上	47	55.3	44.7	44.7	17.0	51.1	53.2	34.0	46.8	72.3	51.1
要介護度別	要介護4	58	56.9	48.3	36.2	27.6	56.9	65.5	48.3	72.4	70.7	43.1
	要介護5	61	63.9	57.4	52.5	11.5	59.0	62.3	37.7	36.1	75.4	47.5
主な介護者の年齢別	40代以下	11	63.6	54.5	36.4	27.3	72.7	63.6	54.5	54.5	72.7	45.5
	50代	23	56.5	47.8	47.8	13.0	60.9	60.9	52.2	65.2	60.9	43.5
	60代	35	57.1	51.4	48.6	20.0	57.1	74.3	45.7	65.7	82.9	54.3
	70代	31	67.7	61.3	38.7	29.0	58.1	64.5	48.4	51.6	64.5	45.2
	80歳以上	18	61.1	50.0	50.0	5.6	50.0	50.0	11.1	22.2	88.9	33.3
介護者の属性/性別	配偶者/男性	15	80.0	66.7	46.7	20.0	53.3	53.3	33.3	40.0	93.3	33.3
	配偶者/女性	25	52.0	52.0	48.0	20.0	60.0	68.0	40.0	48.0	84.0	40.0
	子/男性	28	53.6	64.3	46.4	14.3	57.1	67.9	57.1	67.9	71.4	57.1
	子/女性	28	71.4	57.1	46.4	25.0	64.3	64.3	53.6	64.3	67.9	50.0
	子の配偶者/男性	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	子の配偶者/女性	12	58.3	33.3	41.7	16.7	66.7	66.7	16.7	41.7	75.0	66.7
	その他/男性	5	40.0	20.0	-	-	20.0	60.0	40.0	40.0	20.0	-
	その他/女性	5	60.0	20.0	60.0	40.0	60.0	60.0	20.0	40.0	60.0	20.0

【主な介護者が行っている介護の種類②

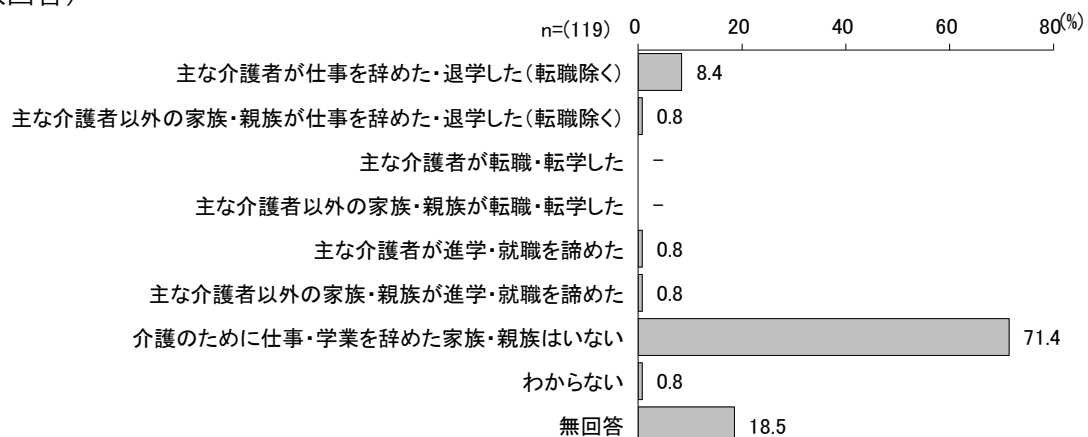
／性別、年齢別、要介護度別、主な介護者の年齢別、介護者の属性／性別】

		医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	食事の準備(調理等)	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	わからない	無回答
全体		20.2	79.8	90.8	92.4	5.9	-	0.8
性別	男性	19.0	78.6	83.3	85.7	4.8	-	2.4
	女性	20.8	80.5	94.8	96.1	6.5	-	-
年齢別	65歳未満	75.0	100.0	100.0	100.0	-	-	-
	65-69歳	25.0	75.0	100.0	75.0	-	-	-
	70-74歳	20.0	80.0	100.0	100.0	-	-	-
	75-79歳	27.3	90.9	100.0	90.9	-	-	-
	80-84歳	12.5	81.3	75.0	100.0	6.3	-	-
	85-89歳	8.7	91.3	100.0	91.3	4.3	-	-
	90歳以上	19.1	74.5	87.2	89.4	6.4	-	2.1
要介護度別	要介護4	17.2	77.6	89.7	89.7	6.9	-	-
	要介護5	23.0	82.0	91.8	95.1	4.9	-	1.6
主な介護者の年齢別	40代以下	36.4	90.9	100.0	90.9	9.1	-	-
	50代	21.7	65.2	82.6	91.3	8.7	-	-
	60代	22.9	85.7	97.1	97.1	8.6	-	-
	70代	16.1	80.6	87.1	93.5	3.2	-	-
	80歳以上	11.1	83.3	94.4	88.9	-	-	-
	介護者の属性／性別	配偶者/男性	13.3	86.7	93.3	100.0	-	-
	配偶者/女性	16.0	96.0	100.0	92.0	-	-	-
	子/男性	32.1	67.9	82.1	100.0	14.3	-	-
	子/女性	21.4	82.1	96.4	92.9	3.6	-	-
	子の配偶者/男性	-	-	-	-	-	-	-
	子の配偶者/女性	16.7	83.3	91.7	83.3	16.7	-	-
	その他/男性	20.0	40.0	80.0	60.0	-	-	-
	その他/女性	-	80.0	80.0	100.0	-	-	-

問A8 介護による離職経験

介護のための離職の有無では、「介護のために仕事・学業を辞めた家族・親族はいない」が71.4%で最も高く、以下、「主な介護者が仕事を辞めた・退学した（転職除く）」が8.4%、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた・退学した（転職除く）」、「主な介護者が進学・就職を諦めた」、「主な介護者以外の家族・親族が進学・就職を諦めた」がいずれも0.8%となっています。

(複数回答)



第6章 在宅介護実態調査（聞き取り）

性別で見ると、女性は、「主な介護者が仕事を辞めた・退学した（転職除く）」が10.4%と高くなっています。

年齢別では、人数の少ない層が多く、傾向がつかみにくくなっています。

要介護度別で見ると、「介護のために仕事・学業を辞めた家族・親族はいない」は、要介護4で74.1%とやや高くなっています。

主な介護者の年齢別では、特に目立った違いはありません。

介護者の属性/性別で見ると、男女とも配偶者は、子よりも、「介護のために仕事・学業を辞めた家族・親族はいない」が高い傾向にあります。

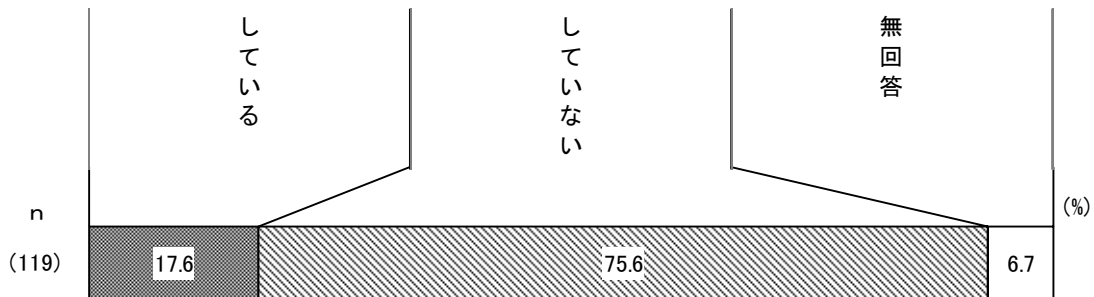
【介護による離職経験／性別、年齢別、要介護度別、主な介護者の年齢別、介護者の属性／性別】

(%)

	n	主な介護者が仕事を辞めた・退学した（転職除く）	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた・退学した（転職除く）	主な介護者が転職・転学した	主な介護者以外の家族・親族が転職・転学した	主な介護者が進学・就職を辞めた	主な介護者以外の家族・親族が進学・就職を辞めた	介護のために仕事・学業を辞めた家族・親族はいない	わからない	無回答
全体	119	8.4	0.8	-	-	0.8	0.8	71.4	0.8	18.5
性別	男性	4.8	-	-	-	2.4	2.4	73.8	-	21.4
	女性	10.4	1.3	-	-	-	-	70.1	1.3	16.9
年齢別	65歳未満	-	-	-	-	-	-	75.0	-	25.0
	65-69歳	-	-	-	-	-	-	50.0	-	50.0
	70-74歳	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
	75-79歳	-	-	-	-	-	-	81.8	-	18.2
	80-84歳	6.3	-	-	-	-	-	62.5	-	31.3
	85-89歳	21.7	-	-	-	4.3	4.3	73.9	4.3	-
90歳以上	6.4	2.1	-	-	-	-	70.2	-	21.3	
要介護度別	要介護4	8.6	-	-	-	-	-	74.1	1.7	15.5
	要介護5	8.2	1.6	-	-	1.6	1.6	68.9	-	21.3
主な介護者の年齢別	40代以下	-	-	-	-	-	-	81.8	-	18.2
	50代	21.7	-	-	-	4.3	4.3	69.6	4.3	4.3
	60代	11.4	-	-	-	-	-	65.7	-	22.9
	70代	3.2	3.2	-	-	-	-	67.7	-	25.8
	80歳以上	-	-	-	-	-	-	88.9	-	11.1
介護者の属性/性別	配偶者/男性	-	-	-	-	-	-	80.0	-	20.0
	配偶者/女性	4.0	-	-	-	-	-	68.0	-	28.0
	子/男性	14.3	-	-	-	-	-	64.3	-	21.4
	子/女性	14.3	3.6	-	-	3.6	3.6	64.3	-	17.9
	子の配偶者/男性	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	子の配偶者/女性	8.3	-	-	-	-	-	83.3	8.3	-
	その他/男性	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
	その他/女性	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-

問A9 複数介護の状況

主な介護者の他の介護や育児状況では、「していない」が75.6%、「している」が17.6%となっています。



性別では、特に目立った違いはありません。
 年齢別では、人数の少ない層が多く、傾向がつかみにくくなっています。
 要介護度別でみると、「している」は、要介護4で22.4%と高くなっています。
 主な介護者の年齢別でみると、「している」は、低年齢層ほど高い傾向となっています。
 介護者の属性/性別でみると、「している」は、男女とも配偶者よりも子でやや高くなっています。

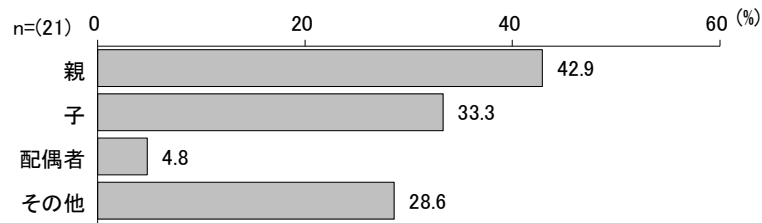
【複数介護の状況／性別、年齢別、要介護度別、主な介護者の年齢別、介護者の属性／性別】

		n	(%)		
			している	していない	無回答
全体		119	17.6	75.6	6.7
性別	男性	42	16.7	73.8	9.5
	女性	77	18.2	76.6	5.2
年齢別	65歳未満	4	25.0	75.0	-
	65-69歳	4	50.0	50.0	-
	70-74歳	5	-	80.0	20.0
	75-79歳	11	9.1	81.8	9.1
	80-84歳	16	25.0	68.8	6.3
	85-89歳	23	13.0	87.0	-
	90歳以上	47	19.1	70.2	10.6
要介護度別	要介護4	58	22.4	72.4	5.2
	要介護5	61	13.1	78.7	8.2
主な介護者の年齢別	40代以下	11	45.5	45.5	9.1
	50代	23	26.1	69.6	4.3
	60代	35	20.0	74.3	5.7
	70代	31	9.7	83.9	6.5
	80歳以上	18	-	94.4	5.6
介護者の属性/性別	配偶者/男性	15	6.7	93.3	-
	配偶者/女性	25	8.0	84.0	8.0
	子/男性	28	14.3	75.0	10.7
	子/女性	28	28.6	64.3	7.1
	子の配偶者/男性	-	-	-	-
	子の配偶者/女性	12	50.0	50.0	-
	その他/男性	5	-	100.0	-
	その他/女性	5	-	100.0	-

問A10 複数介護の対象

介護される人及び人数では、「親」が42.9%で最も高く、以下、「子」が33.3%、「その他」が28.6%、「配偶者」が4.8%となっています。

（複数回答）



主な介護者の年齢別では、人数の少ない層が多く、傾向がつかみにくくなっています。

【複数介護の対象／主な介護者の年齢別】

		n	（%）			
			親	子	配偶者	その他
全体		21	42.9	33.3	4.8	28.6
主な介護者の年齢別	40代以下	5	60.0	40.0	-	-
	50代	6	50.0	50.0	-	16.7
	60代	7	42.9	14.3	-	57.1
	70代	3	-	33.3	33.3	33.3
	80歳以上	-	-	-	-	-

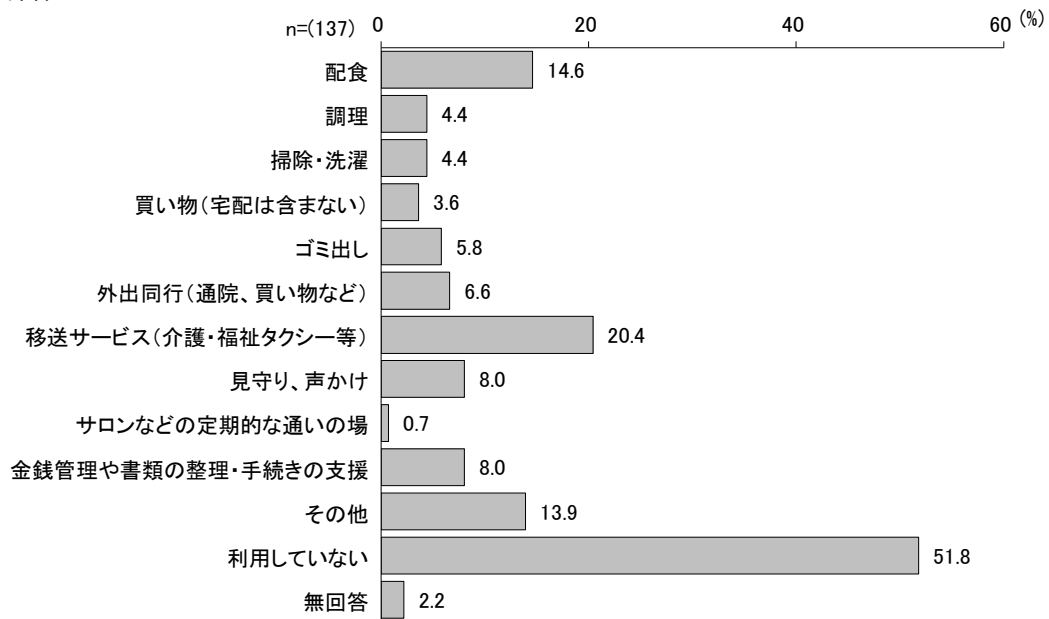
3. 介護等

問A11 介護保険サービスの利用状況

保険外の支援・サービスの利用状況では、「利用していない」が51.8%を占めています。

一方、具体的な選択肢の中では、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が20.4%と最も高く、以下、「配食」が14.6%、「その他」が13.9%、「見守り、声かけ」と「金銭管理や書類の整理・手続きの支援」が8.0%となっています。

（複数回答）



第6章 在宅介護実態調査（聞き取り）

性別では、特に目立った違いはありません。

年齢別では、人数の少ない層が多く、傾向がつかみにくくなっています。

要介護度別でみると、要介護5は、「配食」で18.3%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」で25.4%と高くなっています。

【介護保険サービスの利用状況／性別、年齢別、要介護度別】

(%)

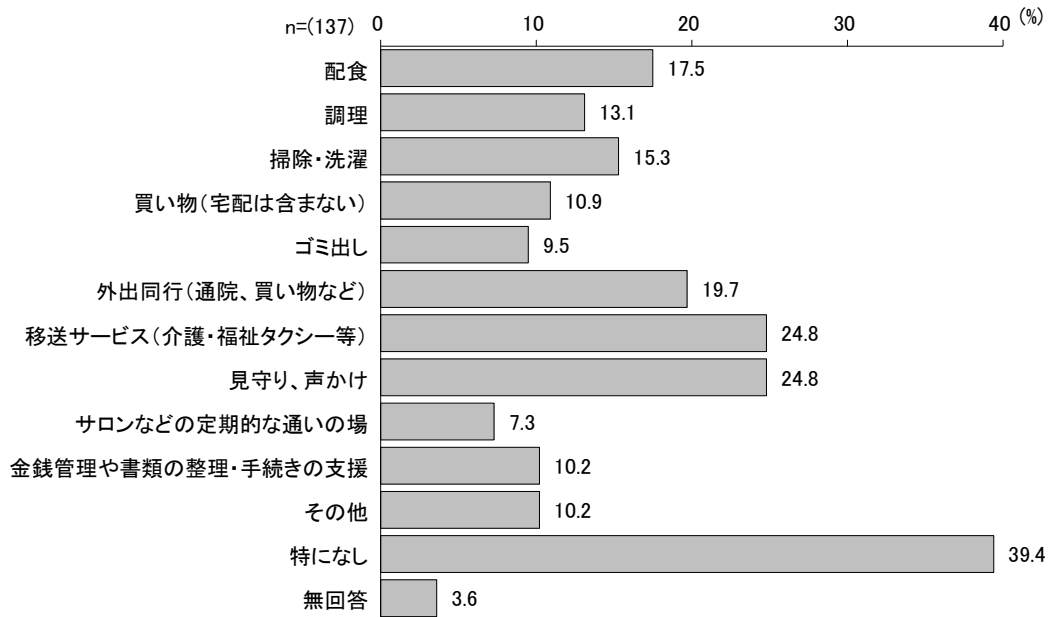
		n	配食	調理	掃除・洗濯	買い物 (宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行 (通院、買い物など)	移送サービス (介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	金銭管理や書類の整理・手続きの支援
全体		137	14.6	4.4	4.4	3.6	5.8	6.6	20.4	8.0	0.7	8.0
性別	男性	51	13.7	2.0	2.0	3.9	5.9	9.8	21.6	3.9	2.0	5.9
	女性	86	15.1	5.8	5.8	3.5	5.8	4.7	19.8	10.5	-	9.3
年齢別	65歳未満	6	-	-	-	-	-	-	16.7	-	-	-
	65-69歳	4	-	-	-	-	-	25.0	75.0	-	25.0	-
	70-74歳	6	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-
	75-79歳	13	15.4	-	-	-	7.7	-	30.8	-	-	-
	80-84歳	17	29.4	5.9	-	5.9	5.9	11.8	17.6	17.6	-	5.9
	85-89歳	26	7.7	-	-	-	-	3.8	3.8	-	-	3.8
	90歳以上	55	20.0	7.3	7.3	5.5	9.1	7.3	21.8	12.7	-	10.9
要介護度別	要介護4	66	10.6	6.1	6.1	4.5	6.1	9.1	15.2	9.1	-	9.1
	要介護5	71	18.3	2.8	2.8	2.8	5.6	4.2	25.4	7.0	1.4	7.0

		その他	利用していない	無回答
全体		13.9	51.8	2.2
性別	男性	15.7	49.0	3.9
	女性	12.8	53.5	1.2
年齢別	65歳未満	16.7	66.7	-
	65-69歳	-	-	25.0
	70-74歳	-	50.0	-
	75-79歳	7.7	53.8	-
	80-84歳	17.6	47.1	-
	85-89歳	11.5	73.1	-
	90歳以上	14.5	49.1	1.8
要介護度別	要介護4	15.2	56.1	3.0
	要介護5	12.7	47.9	1.4

問A12 在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス

在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービスでは、「特になし」が39.4%を占めています。一方、具体的な選択肢の中では、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」と「見守り、声かけ」がともに24.8%で最も高く、以下、「外出同行（通院、買い物など）」が19.7%、「配食」が17.5%となっています。

（複数回答）



第6章 在宅介護実態調査（聞き取り）

性別でみると、女性は、男性よりも、「配食」で6.1ポイント、「掃除・洗濯」で5.6ポイント、「買い物（宅配は含まない）」で5.0ポイント、「見守り、声かけ」で5.1ポイント高くなっています。

年齢別では、人数の少ない層が多く、傾向がつかみにくくなっています。

要介護度別でみると、ほとんどの支援サービスで、要介護4が要介護5よりも高くなっています。特に、「外出同行（通院、買い物など）」は、24.2%で、8.7ポイント差となっています。

【在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス／性別、年齢別、要介護度別】

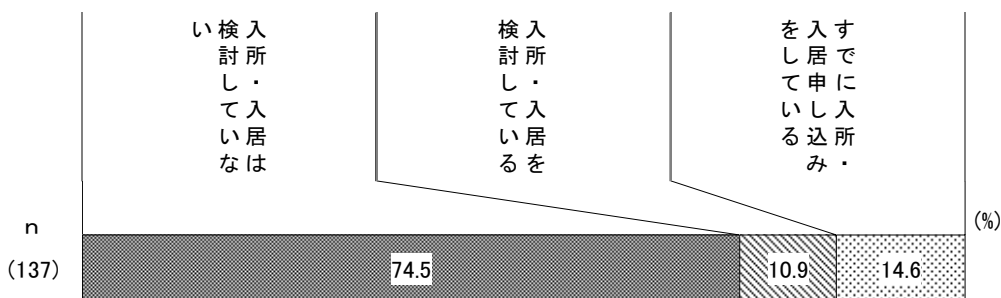
(%)

		n	配食	調理	掃除・洗濯	買い物 (宅配は 含まない)	ゴミ出し	外出同行 (通院、買 物など)	移送 サービス (介護・ 福祉タク シー等)	見守り、 声かけ	サロンな どの定期 的な通い の場	金銭管 理や書 類の整 理・手続 きの支援
全体		137	17.5	13.1	15.3	10.9	9.5	19.7	24.8	24.8	7.3	10.2
性別	男性	51	13.7	11.8	11.8	7.8	9.8	17.6	23.5	21.6	5.9	7.8
	女性	86	19.8	14.0	17.4	12.8	9.3	20.9	25.6	26.7	8.1	11.6
年齢別	65歳未満	6	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	33.3	16.7	33.3	-
	65-69歳	4	-	25.0	50.0	25.0	25.0	50.0	25.0	-	-	-
	70-74歳	6	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-	-
	75-79歳	13	15.4	15.4	15.4	7.7	7.7	23.1	30.8	7.7	15.4	7.7
	80-84歳	17	23.5	11.8	17.6	17.6	11.8	29.4	23.5	29.4	5.9	17.6
	85-89歳	26	19.2	11.5	19.2	11.5	7.7	15.4	26.9	19.2	7.7	11.5
90歳以上	55	16.4	10.9	10.9	9.1	7.3	18.2	21.8	36.4	3.6	10.9	
要介護 度別	要介護4	66	18.2	15.2	16.7	13.6	10.6	24.2	25.8	27.3	7.6	13.6
	要介護5	71	16.9	11.3	14.1	8.5	8.5	15.5	23.9	22.5	7.0	7.0

		その他	特になし	無回答
全体		10.2	39.4	3.6
性別	男性	9.8	43.1	7.8
	女性	10.5	37.2	1.2
年齢別	65歳未満	-	50.0	-
	65-69歳	-	-	50.0
	70-74歳	-	50.0	16.7
	75-79歳	7.7	53.8	-
	80-84歳	5.9	47.1	-
	85-89歳	7.7	38.5	3.8
90歳以上	12.7	36.4	1.8	
要介護 度別	要介護4	9.1	34.8	3.0
	要介護5	11.3	43.7	4.2

問A13 施設入所の検討状況

施設等検討の状況では、「入所・入居は検討していない」が74.5%で最も高く、以下、「すでに入所・入居申し込みをしている」が14.6%、「入所・入居を検討している」が10.9%となっています。



性別では、特に目立った違いはありません。
 年齢別では、人数の少ない層が多く、傾向がつかみにくくなっています。
 要介護度別でみると、「入所・入居を検討している」で、要介護4は13.6%と、要介護5の8.5%を上回っています。

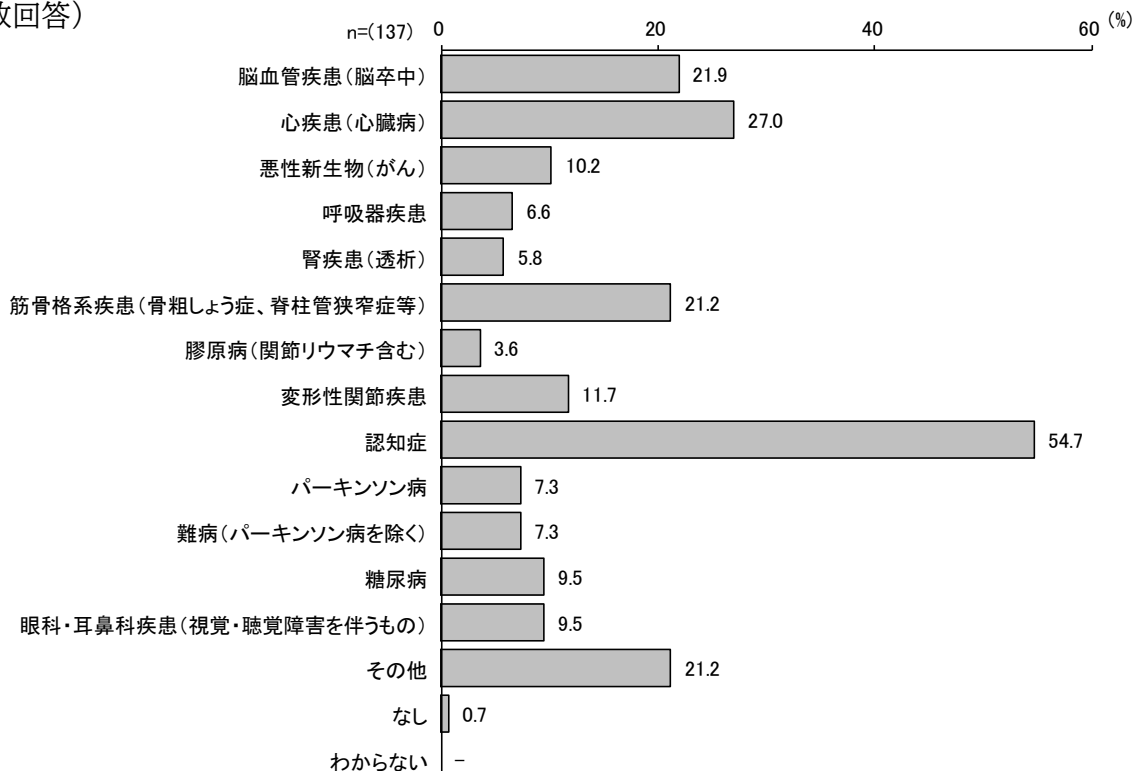
【施設入所の検討状況／性別、年齢別、要介護度別】

		n	(%)		
			入所・入居 は検討して いない	入所・入居 を検討して いる	すでに入 所・入居申 し込みをし ている
全体		137	74.5	10.9	14.6
性別	男性	51	72.5	13.7	13.7
	女性	86	75.6	9.3	15.1
年齢別	65歳未満	6	83.3	-	16.7
	65-69歳	4	100.0	-	-
	70-74歳	6	50.0	50.0	-
	75-79歳	13	92.3	7.7	-
	80-84歳	17	58.8	11.8	29.4
	85-89歳	26	61.5	7.7	30.8
	90歳以上	55	80.0	9.1	10.9
要介護度別	要介護4	66	72.7	13.6	13.6
	要介護5	71	76.1	8.5	15.5

問A14 病気の状況

本人が抱えている傷病では、「認知症」が54.7%で最も高く、以下、「心疾患（心臓病）」が27.0%、「脳血管疾患（脳卒中）」が21.9%、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が21.2%となっています。

（複数回答）



第6章 在宅介護実態調査（聞き取り）

性別でみると、男性は、「脳血管疾患（脳卒中）」が27.5%、「悪性新生物（がん）」が13.7%で、女性は、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が25.6%、「変形性関節疾患」が14.0%、「認知症」が60.5%と高くなっています。

年齢別でみると、「認知症」は、80歳以上の各層で高い傾向にあります。

要介護度別でみると、多くの項目で、要介護4が高くなっていますが、「脳血管疾患（脳卒中）」、「認知症」、「難病（パーキンソン病を除く）」、「糖尿病」は、要介護5がやや高くなっています。

【病気の状況／性別、年齢別、要介護度別】

(%)

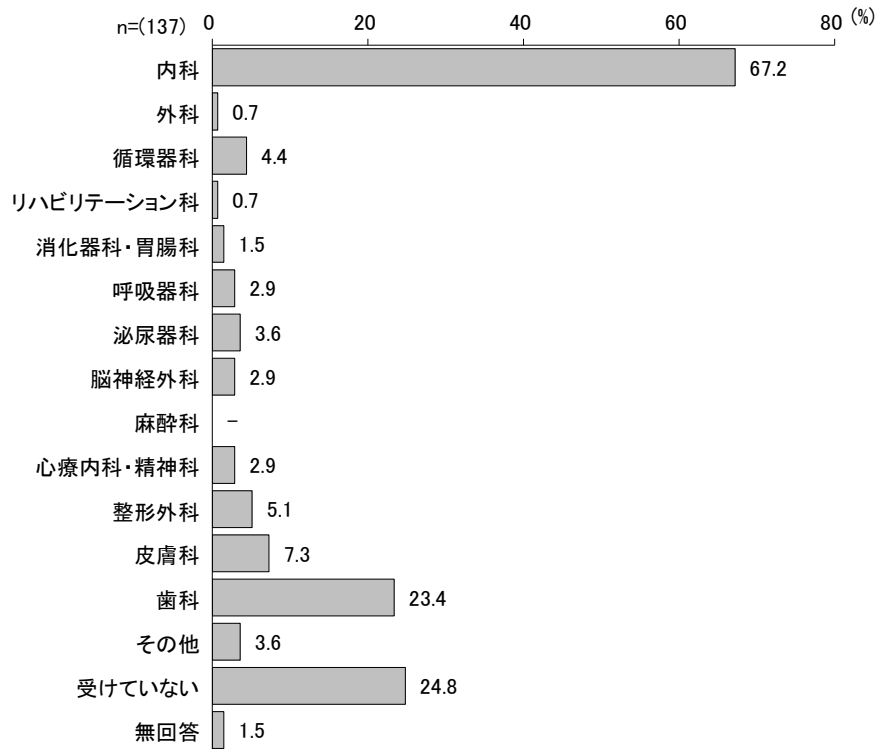
		n	脳血管疾患 (脳卒中)	心疾患(心 臓病)	悪性新生物 (がん)	呼吸器疾 患	腎疾患 (透析)	筋骨格系 疾患(骨 粗しょう 症、脊柱 管狭窄症 等)	膠原病 (関節リウ マチ含む)	変形性関 節疾患	認知症	パーキン ソン病
全体		137	21.9	27.0	10.2	6.6	5.8	21.2	3.6	11.7	54.7	7.3
性別	男性	51	27.5	27.5	13.7	5.9	7.8	13.7	-	7.8	45.1	7.8
	女性	86	18.6	26.7	8.1	7.0	4.7	25.6	5.8	14.0	60.5	7.0
年齢別	65歳未満	6	16.7	-	16.7	-	-	-	-	-	33.3	16.7
	65-69歳	4	-	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-
	70-74歳	6	33.3	16.7	-	-	16.7	16.7	16.7	33.3	16.7	16.7
	75-79歳	13	46.2	23.1	15.4	7.7	-	23.1	7.7	-	23.1	-
	80-84歳	17	11.8	23.5	17.6	5.9	11.8	11.8	-	5.9	58.8	17.6
	85-89歳	26	19.2	26.9	19.2	7.7	3.8	23.1	7.7	15.4	57.7	3.8
	90歳以上	55	20.0	34.5	3.6	9.1	3.6	27.3	1.8	10.9	69.1	7.3
要介護 度別	要介護4	66	19.7	30.3	10.6	7.6	9.1	24.2	4.5	15.2	50.0	7.6
	要介護5	71	23.9	23.9	9.9	5.6	2.8	18.3	2.8	8.5	59.2	7.0

		難病 (パーキ ンソン病 を除く)	糖尿病	眼科・耳鼻 科疾患(視 覚・聴覚障 害を伴うも の)	その他	なし	わからな い
全体		7.3	9.5	9.5	21.2	0.7	-
性別	男性	5.9	7.8	9.8	21.6	-	-
	女性	8.1	10.5	9.3	20.9	1.2	-
年齢別	65歳未満	33.3	-	-	16.7	16.7	-
	65-69歳	50.0	-	-	25.0	-	-
	70-74歳	16.7	16.7	16.7	-	-	-
	75-79歳	7.7	7.7	7.7	15.4	-	-
	80-84歳	5.9	5.9	-	35.3	-	-
	85-89歳	3.8	7.7	11.5	30.8	-	-
	90歳以上	1.8	10.9	14.5	16.4	-	-
要介護 度別	要介護4	4.5	9.1	15.2	21.2	-	-
	要介護5	9.9	9.9	4.2	21.1	1.4	-

問A15 訪問診療の有無（受診した訪問診療の種類）

訪問診療を受けた科目では、「内科」が67.2%で最も高く、以下、「歯科」が23.4%、「皮膚科」が7.3%、「整形外科」が5.1%となっています。一方、「受けていない」は24.8%となっています。

（複数回答）



第6章 在宅介護実態調査（聞き取り）

性別で見ると、女性は、男性よりも「内科」で10.1ポイント、「整形外科」で5.0ポイント、「歯科」で6.0ポイント高くなっています。
 年齢別では、特に目立った違いはありません。
 要介護度別で見ると、要介護5は、要介護4に比べて、「内科」の77.5%、「歯科」の28.2%で高くなっています。

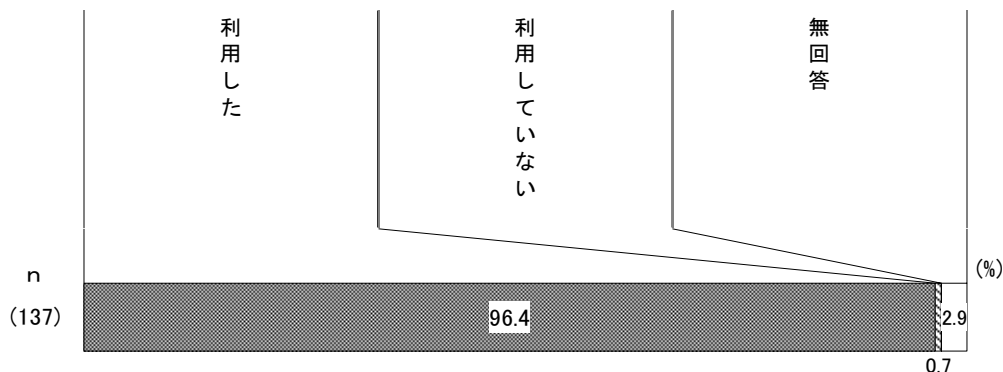
【訪問診療の有無（受診した訪問診療の種類）／性別、年齢別、要介護度別】

		n	内科	外科	循環器科	リハビリテーション科	消化器科・胃腸科	呼吸器科	泌尿器科	脳神経外科	麻酔科	心療内科・精神科	(%)
全体		137	67.2	0.7	4.4	0.7	1.5	2.9	3.6	2.9	-	2.9	
性別	男性	51	60.8	2.0	3.9	-	2.0	5.9	5.9	2.0	-	3.9	
	女性	86	70.9	-	4.7	1.2	1.2	1.2	2.3	3.5	-	2.3	
年齢別	65歳未満	6	66.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	65-69歳	4	100.0	-	-	-	-	25.0	-	-	-	-	
	70-74歳	6	66.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	75-79歳	13	46.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	80-84歳	17	52.9	-	5.9	-	5.9	5.9	5.9	5.9	-	-	
	85-89歳	26	69.2	-	3.8	-	-	-	7.7	3.8	-	7.7	
90歳以上	55	72.7	1.8	5.5	1.8	1.8	3.6	3.6	1.8	-	1.8		
要介護度別	要介護4	66	56.1	-	6.1	1.5	1.5	1.5	4.5	4.5	-	-	
	要介護5	71	77.5	1.4	2.8	-	1.4	4.2	2.8	1.4	-	5.6	

		整形外科	皮膚科	歯科	その他	受けていない	無回答
全体		5.1	7.3	23.4	3.6	24.8	1.5
性別	男性	2.0	7.8	19.6	3.9	33.3	-
	女性	7.0	7.0	25.6	3.5	19.8	2.3
年齢別	65歳未満	-	-	16.7	16.7	33.3	-
	65-69歳	-	50.0	-	-	-	-
	70-74歳	-	-	16.7	-	33.3	-
	75-79歳	7.7	7.7	23.1	-	46.2	-
	80-84歳	11.8	5.9	17.6	5.9	23.5	5.9
	85-89歳	-	-	26.9	-	26.9	3.8
90歳以上	7.3	7.3	25.5	5.5	20.0	-	
要介護度別	要介護4	4.5	7.6	18.2	4.5	34.8	1.5
	要介護5	5.6	7.0	28.2	2.8	15.5	1.4

問A16 介護保険サービスの利用状況

介護保険サービスの利用の有無では、「利用した」が96.4%、「利用していない」が0.7%となっています。



性別及び要介護度別では、特に目立った違いはありません。
 年齢別では、人数の少ない層が多く、傾向がつかみにくくなっています。

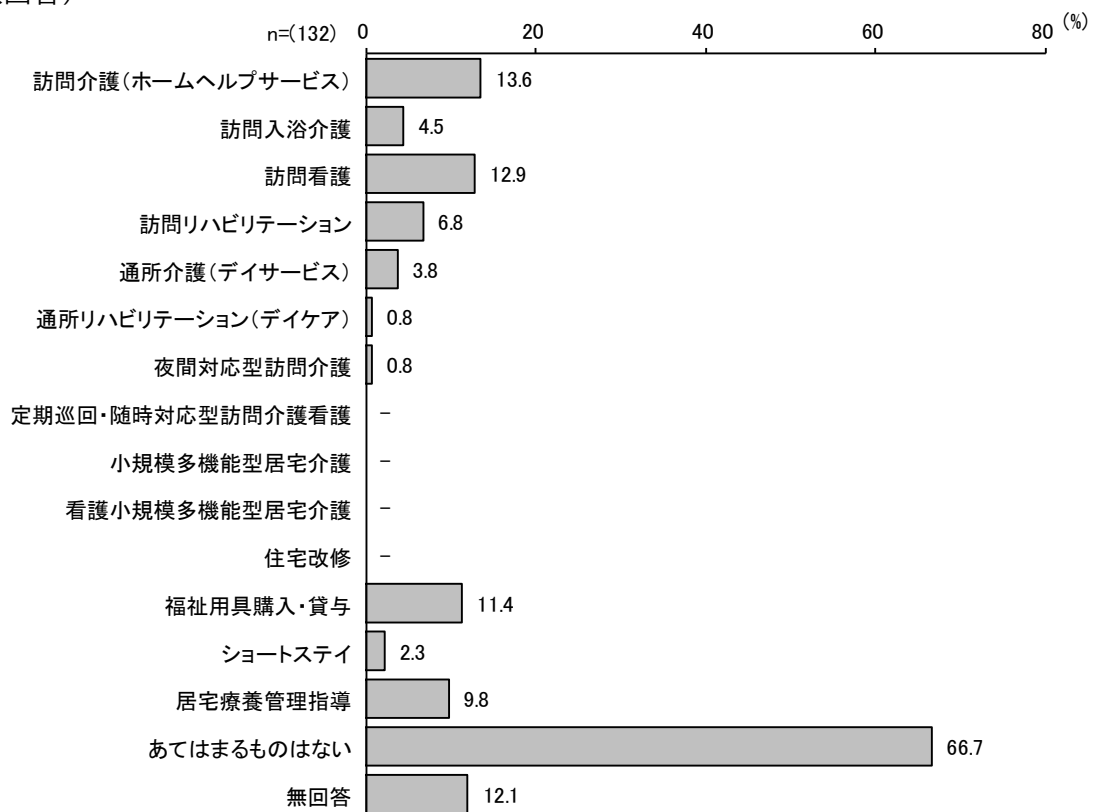
【介護保険サービスの利用状況／性別、年齢別、要介護度別】

		n	利用した	利用して いない	無回答
全体		137	96.4	0.7	2.9
性別	男性	51	96.1	-	3.9
	女性	86	96.5	1.2	2.3
年齢別	65歳未満	6	100.0	-	-
	65-69歳	4	100.0	-	-
	70-74歳	6	100.0	-	-
	75-79歳	13	100.0	-	-
	80-84歳	17	88.2	5.9	5.9
	85-89歳	26	92.3	-	7.7
	90歳以上	55	98.2	-	1.8
要介護 度別	要介護4	66	97.0	-	3.0
	要介護5	71	95.8	1.4	2.8

問A17① 新型コロナウイルス感染症の影響によるサービスの利用状況

新型コロナウイルス感染症の影響により利用するようになったサービスでは、「あてはまるものはない」が66.7%を占めています。一方、具体的な選択肢の中では、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」が13.6%と最も高く、以下、「訪問看護」が12.9%、「福祉用具購入・貸与」が11.4%、「居宅療養管理指導」が9.8%となっています。

（複数回答）



第6章 在宅介護実態調査（聞き取り）

性別でみると、「居宅療養管理指導」で、男性が14.3%と女性を7.1ポイント上回っています。

年齢別では、人数の少ない層が多く、傾向がつかみにくくなっています。

要介護度別でみると、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」、「訪問入浴介護」、「訪問リハビリテーション」、「居宅療養管理指導」で、要介護5は要介護4を上回っています。

【新型コロナウイルス感染症の影響によるサービスの利用状況／性別、年齢別、要介護度別】

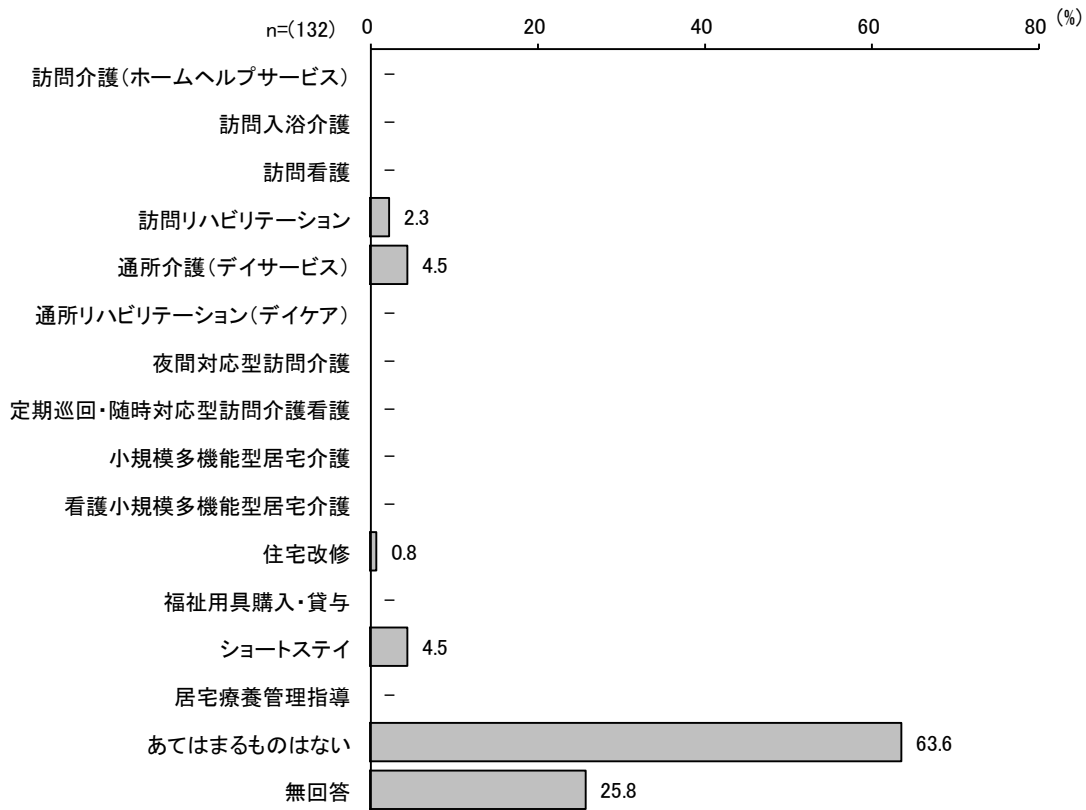
		n	訪問介護 (ホームヘルプサービス)	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	通所介護 (デイサービス)	通所リハビリテーション (デイケア)	夜間対応型訪問介護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護
全体		132	13.6	4.5	12.9	6.8	3.8	0.8	0.8	-	-	-
性別	男性	49	14.3	6.1	12.2	8.2	4.1	-	-	-	-	-
	女性	83	13.3	3.6	13.3	6.0	3.6	1.2	1.2	-	-	-
年齢別	65歳未満	6	16.7	16.7	-	-	-	16.7	-	-	-	-
	65-69歳	4	25.0	25.0	25.0	25.0	-	-	-	-	-	-
	70-74歳	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	75-79歳	13	7.7	-	-	7.7	7.7	-	-	-	-	-
	80-84歳	15	13.3	6.7	20.0	6.7	-	-	-	-	-	-
	85-89歳	24	16.7	8.3	20.8	12.5	8.3	-	-	-	-	-
	90歳以上	54	13.0	1.9	11.1	3.7	3.7	-	-	-	-	-
要介護度別	要介護4	64	10.9	1.6	10.9	3.1	3.1	1.6	-	-	-	-
	要介護5	68	16.2	7.4	14.7	10.3	4.4	-	1.5	-	-	-

		住宅改修	福祉用具購入・貸与	ショートステイ	居宅療養管理指導	あてはまるものはない	無回答
全体		-	11.4	2.3	9.8	66.7	12.1
性別	男性	-	12.2	2.0	14.3	63.3	16.3
	女性	-	10.8	2.4	7.2	68.7	9.6
年齢別	65歳未満	-	-	-	-	66.7	-
	65-69歳	-	25.0	-	25.0	25.0	50.0
	70-74歳	-	-	-	-	83.3	16.7
	75-79歳	-	7.7	-	-	84.6	-
	80-84歳	-	20.0	-	26.7	60.0	6.7
	85-89歳	-	12.5	4.2	12.5	70.8	8.3
	90歳以上	-	9.3	1.9	9.3	66.7	14.8
要介護度別	要介護4	-	9.4	1.6	7.8	64.1	15.6
	要介護5	-	13.2	2.9	11.8	69.1	8.8

問A17② 新型コロナウイルス感染症の影響によるサービスの利用状況

新型コロナウイルス感染症の影響により利用しなくなったサービスでは、「あてはまるものはない」が63.6%を占めています。一方、具体的な選択肢の中では、「通所介護（デイサービス）」と「ショートステイ」が4.5%と最も高く、以下、「訪問リハビリテーション」が2.3%、「住宅改修」が0.8%となっています。

（複数回答）



第6章 在宅介護実態調査（聞き取り）

性別では、特に目立った違いはありません。

年齢別では、人数の少ない層が多く、傾向がつかみにくくなっています。

要介護度別でみると、「通所介護（デイサービス）」で、要介護4が7.8%とやや高くなっています。

【新型コロナウイルス感染症の影響により利用しなくなったサービス／性別、年齢別、要介護度別】

		n	訪問介護 (ホームヘルプサービス)	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	通所介護 (デイサービス)	通所リハビリテーション (デイケア)	夜間対応型訪問介護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護
全体		132	-	-	-	2.3	4.5	-	-	-	-	-
性別	男性	49	-	-	-	2.0	2.0	-	-	-	-	-
	女性	83	-	-	-	2.4	6.0	-	-	-	-	-
年齢別	65歳未満	6	-	-	-	-	16.7	-	-	-	-	-
	65-69歳	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	70-74歳	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	75-79歳	13	-	-	-	7.7	-	-	-	-	-	-
	80-84歳	15	-	-	-	6.7	6.7	-	-	-	-	-
	85-89歳	24	-	-	-	-	4.2	-	-	-	-	-
	90歳以上	54	-	-	-	1.9	5.6	-	-	-	-	-
要介護度別	要介護4	64	-	-	-	3.1	7.8	-	-	-	-	-
	要介護5	68	-	-	-	1.5	1.5	-	-	-	-	-

		住宅改修	福祉用具購入・貸与	ショートステイ	居宅療養管理指導	あてはまるものはない	無回答
全体		0.8	-	4.5	-	63.6	25.8
性別	男性	-	-	6.1	-	63.3	28.6
	女性	1.2	-	3.6	-	63.9	24.1
年齢別	65歳未満	-	-	-	-	50.0	33.3
	65-69歳	-	-	25.0	-	25.0	50.0
	70-74歳	-	-	16.7	-	83.3	-
	75-79歳	-	-	-	-	69.2	23.1
	80-84歳	-	-	-	-	66.7	26.7
	85-89歳	-	-	-	-	70.8	25.0
	90歳以上	1.9	-	5.6	-	66.7	20.4
要介護度別	要介護4	1.6	-	3.1	-	59.4	28.1
	要介護5	-	-	5.9	-	67.6	23.5

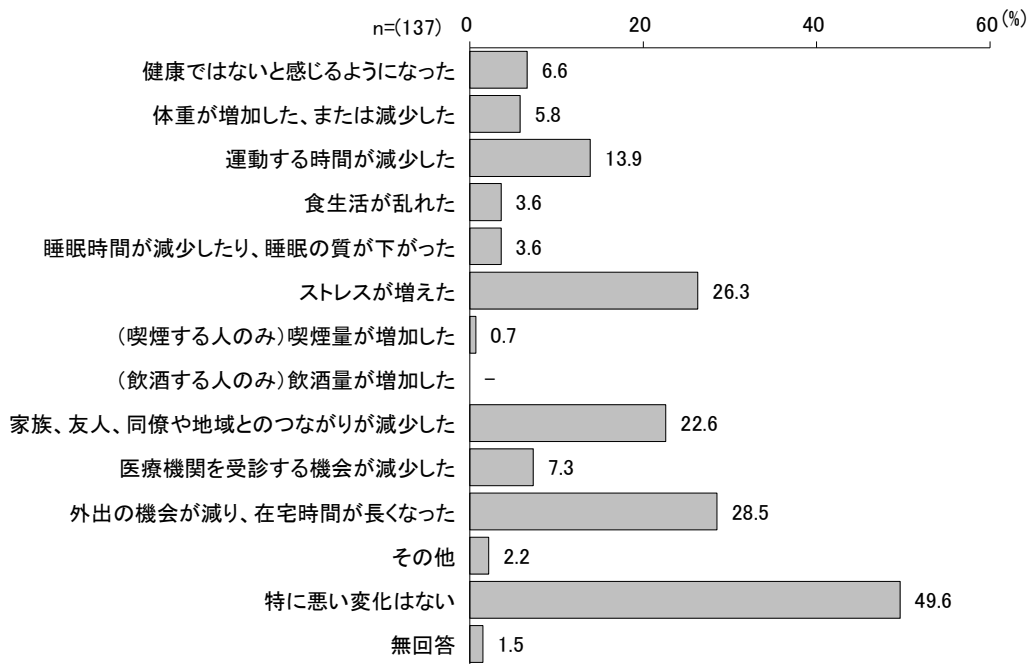
問A18 介護保険サービスを利用しない理由

介護保険サービスの未利用者1人（女性、80～84歳、要介護5）の理由は、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」となっています。

問A20 新型コロナウイルス感染症による生活の変化

新型コロナウイルスにより生じた悪い変化では、「特に悪い変化はない」が49.6%を占めています。一方、具体的な選択肢の中では、「外出の機会が減り、在宅時間が長くなった」が28.5%で最も高く、以下、「ストレスが増えた」が26.3%、「家族、友人、同僚や地域とのつながりが減少した」が22.6%、「運動する時間が減少した」が13.9%となっています。

（複数回答）



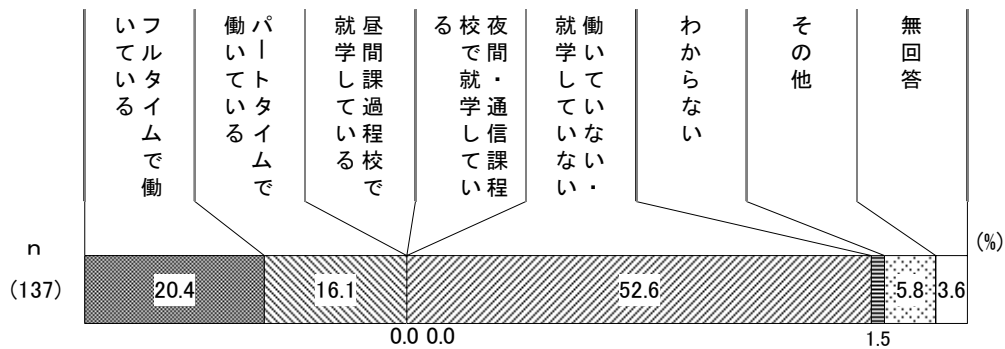
問A21 新型コロナウイルス感染症下で健康・生活維持のために工夫したこと（記述）

回答はありませんでした。

4. 主な介護者

問B1 主な介護者の勤務形態

主な介護者の勤務形態では、「働いていない・就学していない」が52.6%で最も高く、以下、「フルタイムで働いている」が20.4%、「パートタイムで働いている」が16.1%、「その他」が5.8%となっています。



性別でみると、「フルタイムで働いている」は、男性の9.8%に対して、女性は26.7%と高くなっています。

年齢別でみると、いずれの年齢層も、「働いていない・就学していない」が最も高くなっていますが、人数の少ない層が多く、傾向がつかみにくくなっています。

介護者の属性/性別でみると、子の場合、「フルタイムで働いている」は、男性の39.3%、「働いていない・就学していない」は、女性の42.9%が高くなっています。

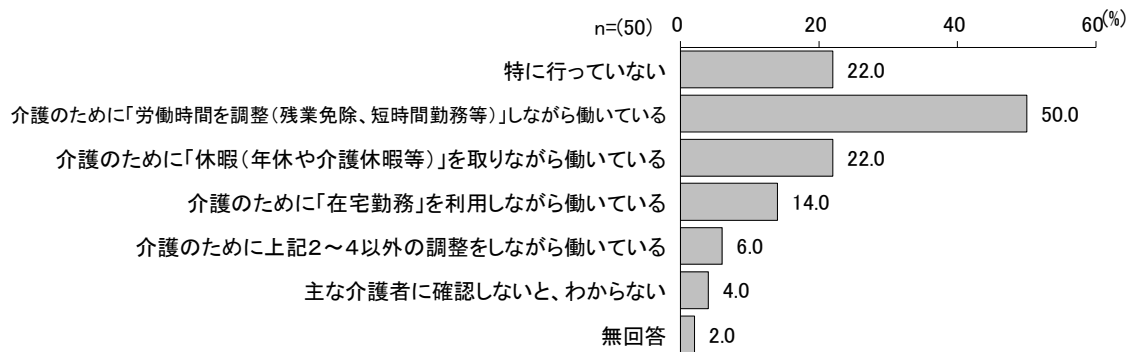
【主な介護者の勤務形態/性別、年齢別、介護者の属性/性別】

		n	フルタイムで働いている	パートタイムで働いている	昼間課程校で就学している	夜間・通信課程校で就学している	働いていない・就学していない	わからない	その他	無回答
全体		137	20.4	16.1	-	-	52.6	1.5	5.8	3.6
性別	男性	51	9.8	13.7	-	-	64.7	2.0	5.9	3.9
	女性	86	26.7	17.4	-	-	45.3	1.2	5.8	3.5
年齢別	65歳未満	6	50.0	16.7	-	-	33.3	-	-	-
	65-69歳	4	-	-	-	-	75.0	-	-	25.0
	70-74歳	6	-	16.7	-	-	83.3	-	-	-
	75-79歳	13	30.8	30.8	-	-	30.8	-	7.7	-
	80-84歳	17	11.8	5.9	-	-	70.6	5.9	5.9	-
	85-89歳	26	19.2	11.5	-	-	61.5	-	7.7	-
	90歳以上	55	23.6	16.4	-	-	45.5	1.8	5.5	7.3
介護者の属性/性別	配偶者/男性	15	13.3	6.7	-	-	80.0	-	-	-
	配偶者/女性	25	4.0	12.0	-	-	80.0	-	-	4.0
	子/男性	28	39.3	14.3	-	-	32.1	-	10.7	3.6
	子/女性	28	32.1	17.9	-	-	42.9	-	7.1	-
	子の配偶者/男性	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	子の配偶者/女性	12.0	8.3	33.3	-	-	58.3	-	-	-
	その他/男性	5	-	-	-	-	80.0	-	20.0	-
	その他/女性	5	-	40.0	-	-	60.0	-	-	-

問B2 介護による働き方の調整

主な介護者の働き方の調整では、「介護のために「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務等）」しながら働いている」が50.0%で最も高く、以下、「特に行っていない」、「介護のために「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら働いている」がともに22.0%、「介護のために「在宅勤務」を利用しながら働いている」が14.0%となっています。

（複数回答）



性別、年齢別、介護者の属性／性別いずれも、人数の少ない層が多く、傾向がつかみにくくなっています。

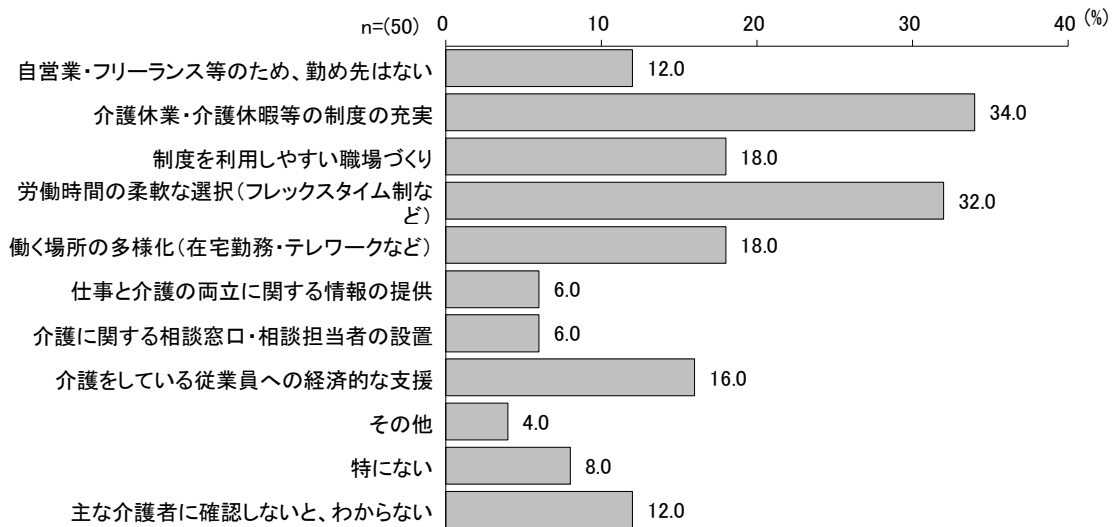
【介護による働き方の調整／性別、年齢別、介護者の属性／性別】

		n	特に行っていない	介護のために「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務等）」しながら働いている	介護のために「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら働いている	介護のために「在宅勤務」を利用しながら働いている	介護のために上記2～4以外の調整をしながら働いている	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体		50	22.0	50.0	22.0	14.0	6.0	4.0	2.0
性別	男性	12	16.7	58.3	8.3	-	8.3	16.7	-
	女性	38	23.7	47.4	26.3	18.4	5.3	-	2.6
年齢別	65歳未満	4	25.0	25.0	-	50.0	-	-	-
	65-69歳	-	-	-	-	-	-	-	-
	70-74歳	1	-	100.0	-	-	-	-	-
	75-79歳	8	12.5	50.0	25.0	-	-	12.5	-
	80-84歳	3	66.7	33.3	-	-	-	-	-
	85-89歳	8	12.5	50.0	37.5	25.0	12.5	-	-
90歳以上	22	22.7	54.5	27.3	13.6	4.5	4.5	4.5	
介護者の属性／性別	配偶者／男性	3	33.3	33.3	-	33.3	-	-	-
	配偶者／女性	4	-	75.0	-	-	-	25.0	-
	子／男性	15	40.0	40.0	26.7	6.7	6.7	-	-
	子／女性	14	21.4	57.1	21.4	21.4	7.1	7.1	-
	子の配偶者／男性	-	-	-	-	-	-	-	-
	子の配偶者／女性	5	-	80.0	40.0	-	-	-	-
	その他／男性	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他／女性	2	-	100.0	-	-	-	-	-

問B3 仕事と介護の両立に効果があると思う支援

介護との両立に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援では、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が34.0%で最も高く、以下、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が32.0%、「制度を利用しやすい職場づくり」と「働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）」が18.0%となっています。

（複数回答）



第6章 在宅介護実態調査（聞き取り）

性別で見ると、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が、女性で42.1%と高くなっています。

主な介護者の年齢別で見ると、40代以下では、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が37.2%と高くなっています。

介護者の属性/性別では、人数の少ない層が多く、傾向がつかみにくくなっています。

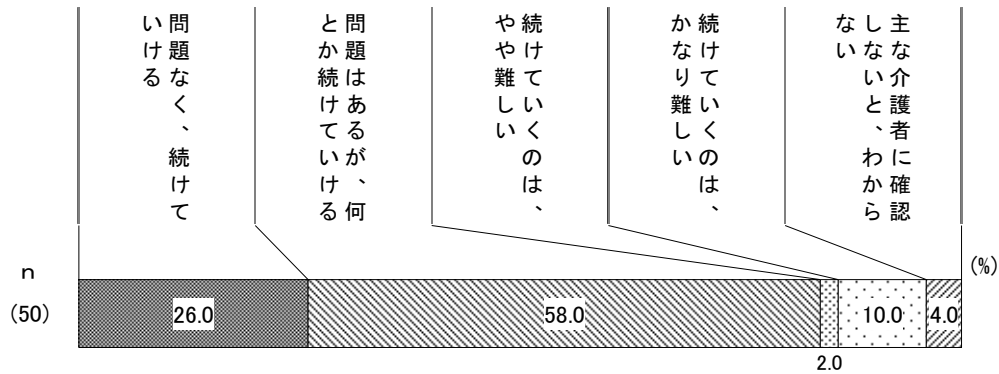
【仕事と介護の両立に効果があると思う支援/性別、主な介護者の年齢別、介護者の属性/性別】

		n	自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	介護休業・介護休暇等の制度の充実	制度を利用しやすい職場づくり	労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)	働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど)	仕事と介護の両立に関する情報の提供	介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	介護をしている従業員への経済的な支援	その他	特にない
全体		50	12.0	34.0	18.0	32.0	18.0	6.0	6.0	16.0	4.0	8.0
性別	男性	12	-	8.3	8.3	33.3	-	-	-	8.3	8.3	16.7
	女性	38	15.8	42.1	21.1	31.6	23.7	7.9	7.9	18.4	2.6	5.3
主な介護者の年齢別	40代以下	43	14.0	32.6	16.3	37.2	16.3	7.0	4.7	14.0	4.7	7.0
	50代	6	16.7	16.7	-	16.7	33.3	16.7	-	16.7	-	16.7
	60代	14	21.4	21.4	14.3	28.6	14.3	7.1	7.1	14.3	7.1	7.1
	70代	14	14.3	50.0	28.6	50.0	7.1	7.1	7.1	14.3	7.1	7.1
	80歳以上	8	-	37.5	12.5	50.0	12.5	-	-	12.5	-	-
介護者の属性/性別	配偶者/男性	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-
	配偶者/女性	4	-	-	-	25.0	-	-	-	-	25.0	-
	子/男性	15	33.3	20.0	6.7	33.3	13.3	6.7	6.7	13.3	-	6.7
	子/女性	14	7.1	57.1	28.6	28.6	21.4	14.3	7.1	21.4	7.1	7.1
	子の配偶者/男性	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	子の配偶者/女性	5	-	40.0	20.0	80.0	-	-	-	-	-	20.0
	その他/男性	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他/女性	2	-	50.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-

		主な介護者に確認しないと、わからない
全体		12.0
性別	男性	33.3
	女性	5.3
主な介護者の年齢別	40代以下	33.3
	50代	14.3
	60代	7.1
	70代	12.5
	80歳以上	-
介護者の属性/性別	配偶者/男性	-
	配偶者/女性	50.0
	子/男性	20.0
	子/女性	7.1
	子の配偶者/男性	-
	子の配偶者/女性	-
	その他/男性	-
	その他/女性	-

問B4 主な介護者の仕事と介護の両立の継続可能性

主な介護者の就労継続見込みでは、「問題はあるが、何とか続けていける」が58.0%で最も高く、以下、「問題なく、続けていける」が26.0%、「続けていくのは、かなり難しい」が10.0%、「主な介護者に確認しないと、わからない」が4.0%となっています。



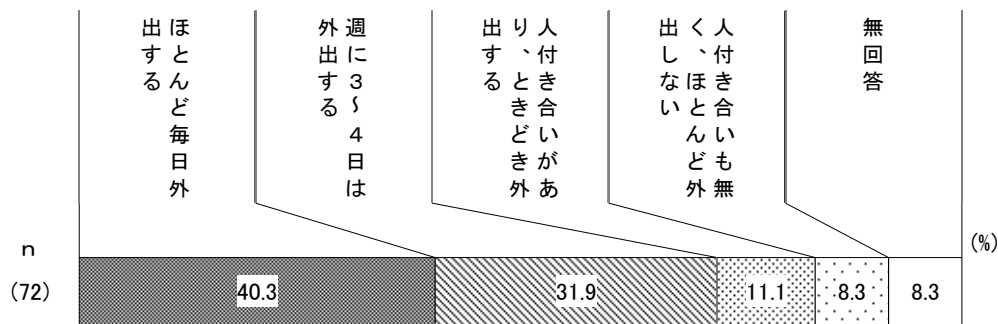
性別、年齢別、介護者の属性/性別いずれも、人数の少ない層が多く、傾向がつかみにくくなっています。

【主な介護者の仕事と介護の両立の継続可能性／性別、年齢別、介護者の属性／性別】

		n	（%）				
			問題なく、 続けていける	問題はあるが、 何とか続けていける	続けていくのは、 やや難しい	続けていくのは、 かなり難しい	主な介護者に 確認しないと、 わからない
全体		50	26.0	58.0	2.0	10.0	4.0
性別	男性	12	33.3	41.7	8.3	8.3	8.3
	女性	38	23.7	63.2	-	10.5	2.6
年齢別	65歳未満	4	50.0	50.0	-	-	-
	65-69歳	-	-	-	-	-	-
	70-74歳	1	-	-	100.0	-	-
	75-79歳	8	25.0	62.5	-	-	12.5
	80-84歳	3	-	100.0	-	-	-
	85-89歳	8	25.0	37.5	-	25.0	12.5
	90歳以上	22	27.3	63.6	-	9.1	-
介護者の属性/ 性別	配偶者/男性	3	33.3	66.7	-	-	-
	配偶者/女性	4	25.0	25.0	25.0	-	25.0
	子/男性	15	33.3	53.3	-	6.7	6.7
	子/女性	14	21.4	64.3	-	14.3	-
	子の配偶者/男性	-	-	-	-	-	-
	子の配偶者/女性	5	20.0	80.0	-	-	-
	その他/男性	-	-	-	-	-	-
	その他/女性	2	-	100.0	-	-	-

問B5 主な介護者の外出頻度

主な介護者の外出頻度では、「ほとんど毎日外出する」が40.3%で最も高く、以下、「週に3～4日は外出する」が31.9%、「人付き合いがあり、ときどき外出する」が11.1%、「人付き合いも無く、ほとんど外出しない」が8.3%となっています。



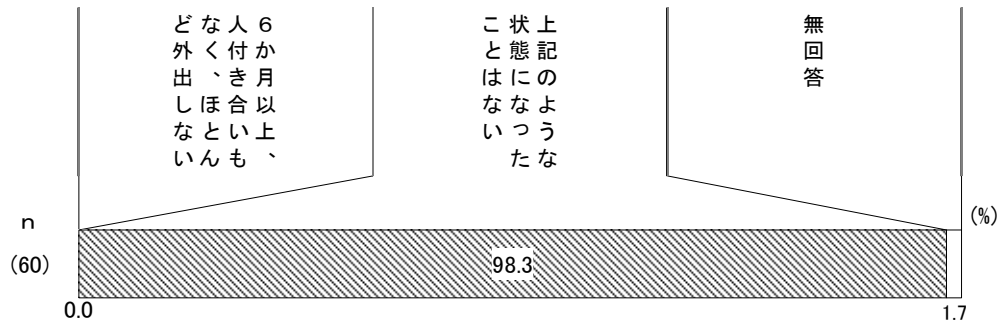
主な介護者の年齢別、介護者の属性/性別いずれも、人数の少ない層が多く、傾向がつかみにくくなっています。

【主な介護者の外出頻度／主な介護者の年齢別、介護者の属性／性別】

		n	ほとんど毎日外出する	週に3～4日は外出する	人付き合いがあり、ときどき外出する	人付き合いも無く、ほとんど外出しない	無回答
全体		72	40.3	31.9	11.1	8.3	8.3
主な介護者の年齢別	40代以下	3	100.0	-	-	-	-
	50代	7	57.1	28.6	14.3	-	-
	60代	17	29.4	41.2	11.8	-	17.6
	70代	23	47.8	30.4	8.7	8.7	4.3
	80歳以上	17	35.3	29.4	11.8	17.6	5.9
介護者の属性/性別	配偶者/ 男性	12	41.7	25.0	-	25.0	8.3
	配偶者/ 女性	20	30.0	50.0	10.0	10.0	-
	子/ 男性	9	33.3	33.3	11.1	-	22.2
	子/ 女性	12	66.7	16.7	8.3	-	8.3
	子の配偶者/ 男性	-	-	-	-	-	-
	子の配偶者/ 女性	7	42.9	42.9	14.3	-	-
	その他/ 男性	4	50.0	-	25.0	-	25.0
	その他/ 女性	3	66.7	-	33.3	-	-

問B5-1 主な介護者の人付き合いの状況

6か月以上、人付き合いもなくほとんど外出しない状態の有無では、「上記のような状態になったことはない」が98.3%となっています。



性別、年齢別、要介護度別いずれも人数の少ない層が多いため、傾向がつかみにくく、「上記のような状態になったことはない」がほとんどの層で100%となっています。

【主な介護者の人付き合いの状況／主な介護者の年齢別、介護者の属性／性別】

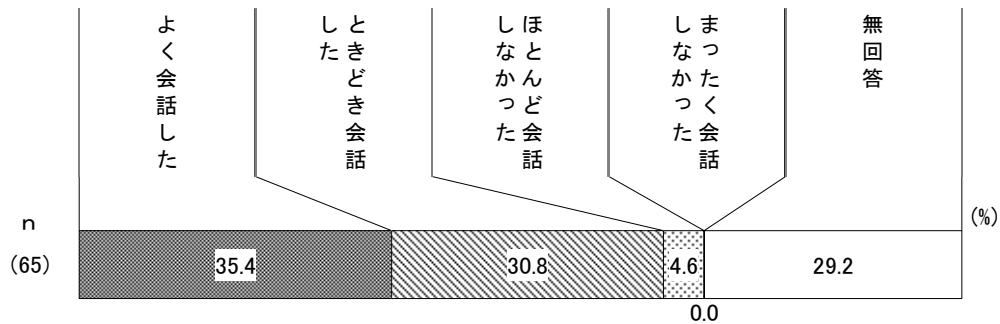
		n	6か月以上、人付き合いもなく、ほとんど外出しない	上記のような状態になったことはない	無回答
全体		60	-	98.3	1.7
主な介護者の年齢別	40代以下	3	-	100.0	-
	50代	7	-	85.7	14.3
	60代	14	-	100.0	-
	70代	20	-	100.0	-
	80歳以上	13	-	100.0	-
介護者の属性／性別	配偶者／男性	8	-	100.0	-
	配偶者／女性	18	-	100.0	-
	子／男性	7	-	100.0	-
	子／女性	11	-	100.0	-
	子の配偶者／男性	-	-	-	-
	子の配偶者／女性	7	-	85.7	14.3
	その他／男性	3	-	100.0	-
	その他／女性	3	-	100.0	-

問B5-1-1 主な介護者の人付き合いが変化した理由（記述）

現在の状態になったきっかけや、役立ったことに関する対象者はありませんでした。

問B5-2 主な介護者の家族以外との会話の有無

最近6か月間の家族以外との会話の頻度では、「よく会話した」が35.4%で最も高く、以下、「ときどき会話した」が30.8%、「ほとんど会話しなかった」が4.6%、「まったく会話しなかった」が0.0%となっています。



主な介護者の年齢別で見ると、70代と80歳以上で、「よく会話した」がそれぞれ40.9%、37.5%と高くなっています。

介護者の属性/性別では、人数の少ない層が多く、傾向がつかみにくくなっています。

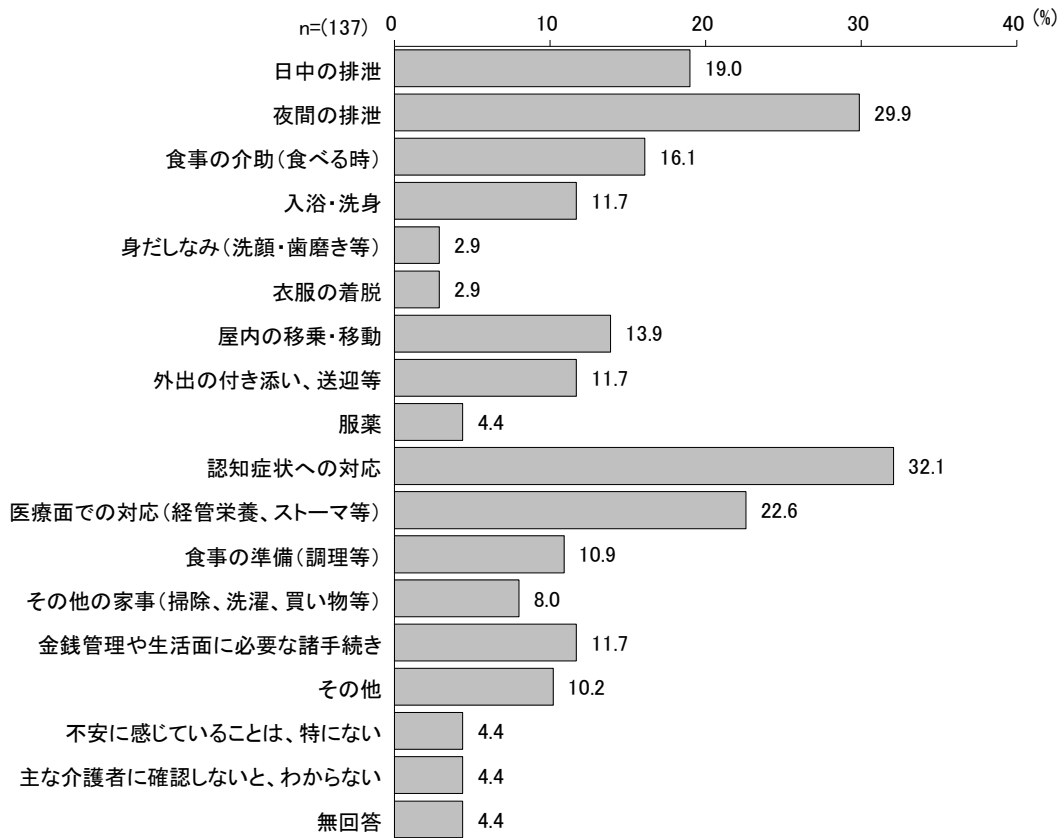
【主な介護者の家族以外との会話の有無／主な介護者の年齢別、介護者の属性／性別】

		n	よく会話した	ときどき会話した	ほとんど会話しなかった	まったく会話しなかった	無回答
全体		65	35.4	30.8	4.6	-	29.2
主な介護者の年齢別	40代以下	3	66.7	-	-	-	33.3
	50代	6	16.7	33.3	-	-	50.0
	60代	14	21.4	42.9	-	-	35.7
	70代	22	40.9	27.3	9.1	-	22.7
	80歳以上	16	37.5	25.0	6.3	-	31.3
介護者の属性/性別	配偶者/ 男性	11	36.4	36.4	9.1	-	18.2
	配偶者/ 女性	20	40.0	25.0	10.0	-	25.0
	子/ 男性	7	14.3	28.6	-	-	57.1
	子/ 女性	11	27.3	36.4	-	-	36.4
	子の配偶者/ 男性	-	-	-	-	-	-
	子の配偶者/ 女性	6	50.0	33.3	-	-	16.7
	その他/ 男性	3	33.3	-	-	-	66.7
	その他/ 女性	3	33.3	33.3	-	-	33.3

問B6 主な介護者が不安に感じる介護等

主な介護者が不安に感じる介護では、「認知症状への対応」が32.1%で最も高く、以下、「夜間の排泄」が29.9%、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」が22.6%、「日中の排泄」が19.0%となっています。

（複数回答）



第6章 在宅介護実態調査（聞き取り）

性別で見ると、女性は、「夜間の排泄」が36.0%、「認知症状への対応」が36.0%で、男性は、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」が27.5%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が15.7%と高くなっています。

主な介護者の年齢別で見ると、70代は、「夜間の排泄」の25.8%に比べて、「認知症状への対応」が38.7%と高くなっています。

介護者の属性/性別では、子の場合、男性は、「夜間の排泄」が39.3%、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が14.3%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が17.9%で、女性は、「食事の介助（食べる時）」が32.1%、「入浴・洗身」が25.0%、「屋内の移乗・移動」が21.4%、「服薬」が10.7%と高くなっています。

【主な介護者が不安に感じる介護等/性別、主な介護者の年齢別、介護者の属性/性別】

(%)

	n	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	認知症状への対応
全体	137	19.0	29.9	16.1	11.7	2.9	2.9	13.9	11.7	4.4	32.1
性別											
男性	51	17.6	19.6	13.7	9.8	3.9	5.9	15.7	15.7	3.9	25.5
女性	86	19.8	36.0	17.4	12.8	2.3	1.2	12.8	9.3	4.7	36.0
主な介護者の年齢別											
40代以下	11	18.2	18.2	36.4	9.1	-	-	18.2	-	-	27.3
50代	23	26.1	43.5	17.4	13.0	4.3	-	30.4	4.3	-	43.5
60代	35	28.6	40.0	17.1	11.4	-	5.7	17.1	11.4	8.6	37.1
70代	31	9.7	25.8	12.9	16.1	3.2	6.5	-	16.1	3.2	38.7
80歳以上	18	11.1	22.2	11.1	5.6	5.6	-	5.6	16.7	5.6	11.1
介護者の属性/性別											
配偶者/男性	15	26.7	46.7	13.3	13.3	-	-	6.7	20.0	-	6.7
配偶者/女性	25	16.0	24.0	8.0	12.0	8.0	12.0	8.0	20.0	4.0	32.0
子/男性	28	21.4	39.3	14.3	-	-	3.6	10.7	3.6	3.6	32.1
子/女性	28	17.9	28.6	32.1	25.0	-	-	21.4	7.1	10.7	39.3
子の配偶者/男性	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
子の配偶者/女性	12	33.3	25.0	16.7	16.7	8.3	-	25.0	-	-	75.0
その他/男性	5	-	20.0	-	-	-	-	20.0	40.0	-	-
その他/女性	5	-	40.0	20.0	-	-	-	-	-	-	40.0

	医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	食事の準備(調理等)	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	不安に感じていることは、特にない	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体	22.6	10.9	8.0	11.7	10.2	4.4	4.4	4.4
性別								
男性	27.5	11.8	3.9	15.7	17.6	3.9	7.8	5.9
女性	19.8	10.5	10.5	9.3	5.8	4.7	2.3	3.5
主な介護者の年齢別								
40代以下	36.4	18.2	18.2	27.3	-	-	-	-
50代	26.1	17.4	13.0	13.0	8.7	-	-	-
60代	17.1	5.7	5.7	8.6	2.9	5.7	-	2.9
70代	16.1	12.9	6.5	6.5	9.7	3.2	9.7	6.5
80歳以上	33.3	16.7	5.6	16.7	16.7	11.1	5.6	-
介護者の属性/性別								
配偶者/男性	20.0	6.7	6.7	6.7	13.3	6.7	-	6.7
配偶者/女性	28.0	12.0	4.0	16.0	12.0	4.0	8.0	-
子/男性	21.4	17.9	14.3	17.9	-	3.6	3.6	3.6
子/女性	21.4	14.3	7.1	7.1	3.6	3.6	-	-
子の配偶者/男性	-	-	-	-	-	-	-	-
子の配偶者/女性	25.0	-	8.3	-	16.7	-	-	-
その他/男性	20.0	40.0	20.0	40.0	20.0	-	-	-
その他/女性	20.0	-	-	-	-	20.0	20.0	20.0

第7章 介護サービス事業者調査

第7章 目次

頁

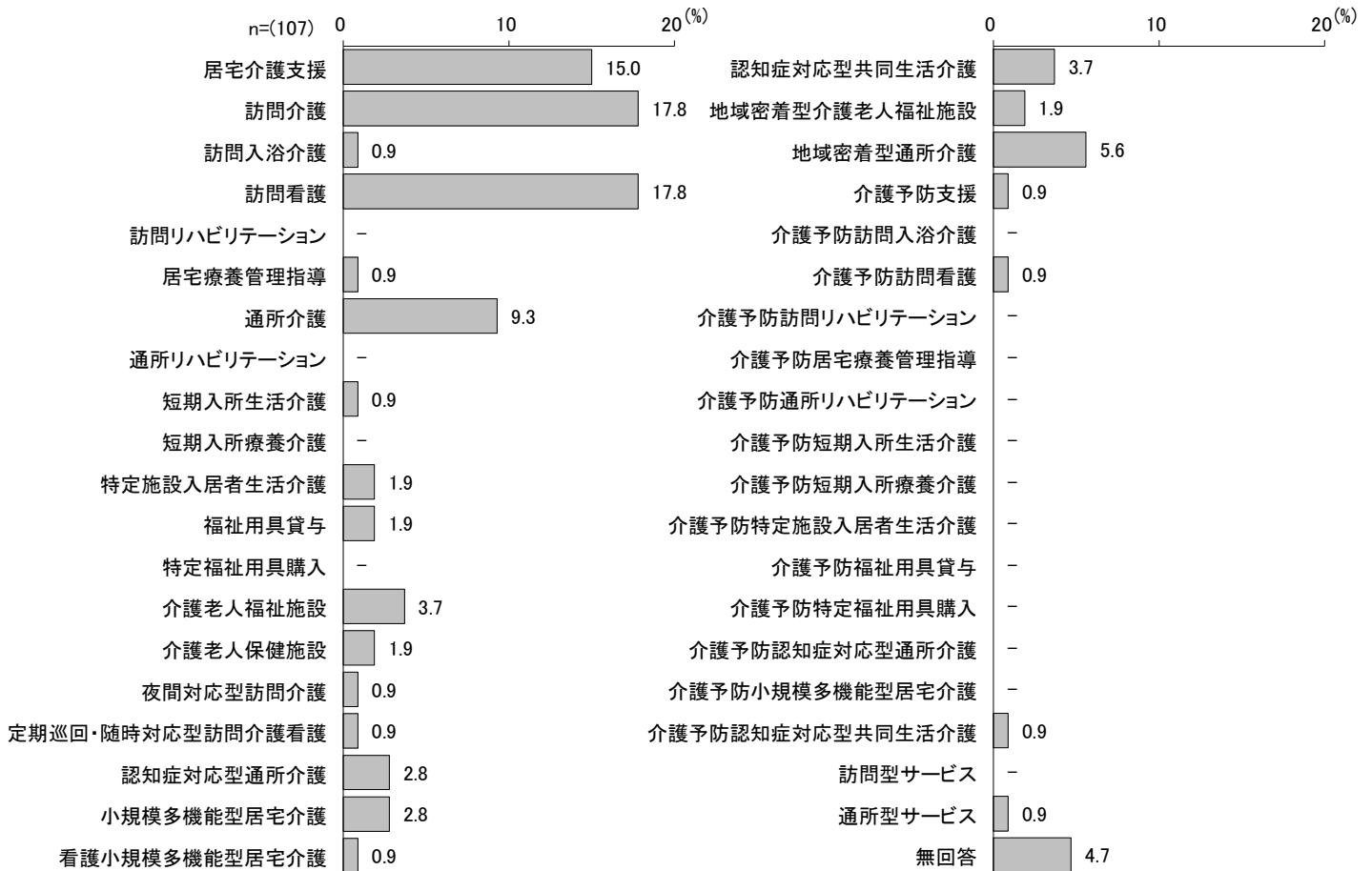
第7章 介護サービス事業者調査	407
1. 事業概要	411
問1 主とするサービス	411
問1-1 要介護度別利用者数（令和4年10月1日現在）	411
問2 事業収入指数	412
問3 介護事業収入に占める人件費の割合	414
問4 法人の種類	414
問5 全従業員数・職種別従業員数	416
2. 人材確保（人材確保の取組）	420
問6 1年間の採用者数と離職者数	420
問7 従業員の過不足状況	421
問7-1 不足と感じる理由	430
問7-1-1 採用が困難な原因	432
問7-1-2 採用が困難な要因（記述）	433
問7-1-3 夜勤及び日勤における採用が困難な職種	434
問8 介護人材確保のための取組状況	436
問9 今後取り組みたい人材確保策	438
問9-1 介護助手の人材確保ができる見込み	439
問9-2 介護助手の人材確保に必要な支援	440
問9-3 介護助手に期待する役割（記述）	440
3. 人材確保（外国人人材）	441
問10 来日10年以内の外国人雇用状況	441
問10-1 雇用している外国人の国籍と人数	442
問10-2 『経済連携協定（EPA）』等又は『在留資格「介護」「技能実習」 「特定技能1号又は2号」』により受け入れている職員の有無	442
問10-2-1 受け入れた効果	443
問11 今後の外国人人材の受け入れ予定	443
問11-1 受け入れる際の課題	445
4. 人材確保（職場環境）	446
問12 介護福祉機器の導入状況や効果	446
問13 ワーク・ライフ・バランス推進への取組	451
問14 育児休業・介護休業の取得申請があった場合の対応状況	452
問15 人材育成の取組状況	453
問16 人材の育成・定着のために有効だと思うポイント	455
問17 高齢者の権利擁護や虐待防止の取組状況	457
問18 従業員からの相談内容	461
問18-1 セクハラ及びパワハラ予防の取組状況	463

問18-2	カスタマーハラスメントに対する対応状況	464
5.	危機管理体制	466
問19	災害発生時に向けた準備・対策状況	466
問20	避難訓練の実施状況	468
問21	不審者等に対する対策状況	470
問22	感染症要望対策の取組状況	472
問23	新型コロナウイルスワクチン接種情報の取得手段	474
6.	サービス向上	475
問24	サービス品質向上のための取組状況	475
7.	医療との連携	477
問25	医療機関との連携内容	477
問26	医療との連携を進めるために必要だと思うこと（記述）	479
8.	ダブルケア	480
問27	ダブルケアの有無	480
問27-1	ダブルケアの把握件数	481
問28	ヤングケアラーの有無	482
問28-1	ヤングケアラーの把握件数	483
問29	若年者による介護により生じている問題	483
9.	相談対応	484
問30	相談窓口や支援機関が分からなかったケースの有無	484
問30-1	ケースの内容（記述）	484
10.	事業展開等	485
問31	文京区内に不足していると思うサービス	485
問32	今後参入を考えているサービス	489
問33	区に期待する支援（記述）	492

1. 事業概要

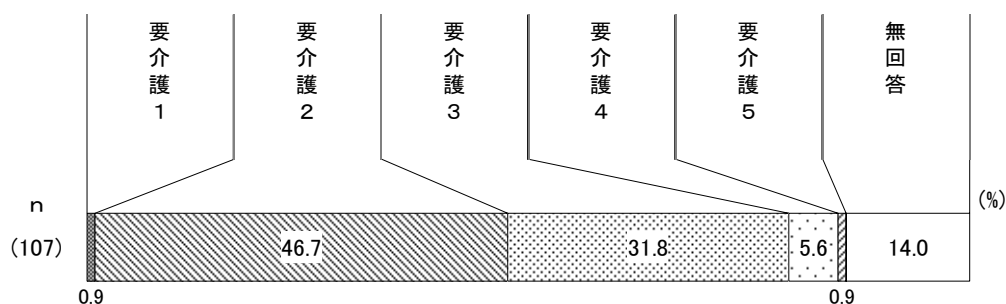
問1 主とするサービス

主とする介護サービスでは、「訪問介護」と「訪問看護」が17.8%で最も高く、以下、「居宅介護支援」が15.0%、「通所介護」が9.3%となっています。



問1-1 要介護度別利用者数（令和4年10月1日現在）

要介護度平均（5区分）では、「要介護2」が46.7%で最も高く、以下、「要介護3」が31.8%、「要介護4」が5.6%、「要介護1」と「要介護5」が0.9%となっています。



第7章 介護サービス事業者調査

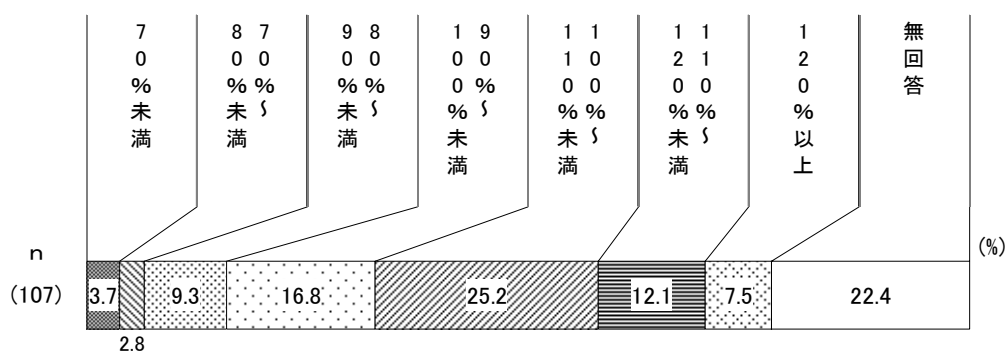
主とするサービス別でみると、居宅介護支援や訪問介護は、「要介護2」がそれぞれ81.3%と47.4%、訪問看護は、「要介護3」が63.2%で最も高くなっています。

【要介護度別利用者数／主とするサービス別】

		n	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答
全 体		107	0.9	46.7	31.8	5.6	0.9	14.0
主とするサービス別	居宅介護支援	16	-	81.3	6.3	-	-	12.5
	訪問介護	19	-	47.4	31.6	-	5.3	15.8
	訪問入浴介護	1	-	-	-	100.0	-	-
	訪問看護	19	-	31.6	63.2	-	-	5.3
	居宅療養管理指導	1	-	-	100.0	-	-	-
	通所介護	10	-	90.0	-	-	-	10.0
	短期入所生活介護	1	-	-	100.0	-	-	-
	特定施設入居者生活介護	2	-	-	50.0	50.0	-	-
	福祉用具貸与	2	-	50.0	-	-	-	50.0
	介護老人福祉施設	4	-	-	-	25.0	-	75.0
	介護老人保健施設	2	-	-	100.0	-	-	-
	夜間対応型訪問介護	1	-	-	-	100.0	-	-
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	-	-	100.0	-	-	-
	認知症対応型通所介護	3	-	-	66.7	-	-	33.3
	小規模多機能型居宅介護	3	-	-	66.7	-	-	33.3
	看護小規模多機能型居宅介護	1	-	-	100.0	-	-	-
	認知症対応型共同生活介護	4	-	75.0	25.0	-	-	-
	地域密着型介護老人福祉施設	2	-	-	-	100.0	-	-
	地域密着型通所介護	6	16.7	66.7	-	-	-	16.7
	介護予防支援	1	-	100.0	-	-	-	-
介護予防訪問看護	1	-	-	100.0	-	-	-	
介護予防認知症対応型共同生活介護	1	-	100.0	-	-	-	-	
通所型サービス	1	-	100.0	-	-	-	-	

問2 事業収入指数

令和2年度の事業収入では、「100%～110%未満」が25.2%で最も高く、以下、「90%～100%未満」が16.8%、「110%～120%未満」が12.1%、「80%～90%未満」が9.3%となっています。



主とするサービス別でみると、居宅介護支援、訪問（入浴）介護、訪問看護は、「100%～110%未満」がそれぞれ25.0%、35.0%、31.6%で最も高くなっています。

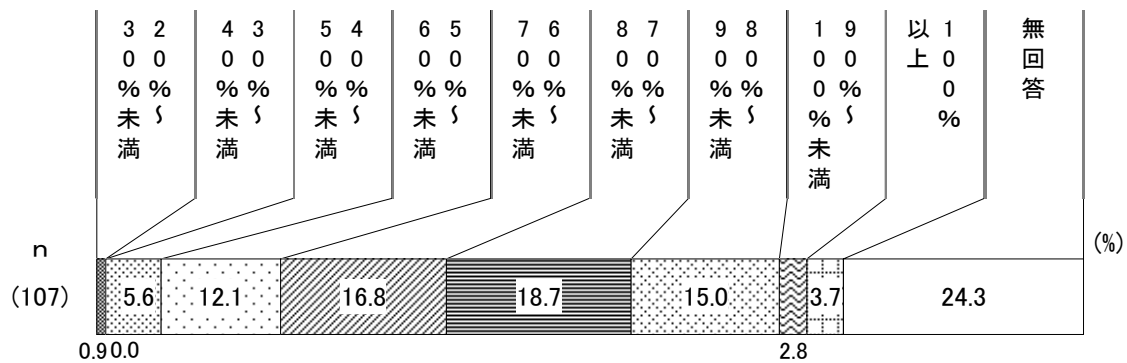
法人の種類別でみると、民間企業は、「100%～110%未満」で27.9%、社会福祉法人は、「110%～120%未満」が40.0%で最も高くなっています。

【事業収入指数／主とするサービス別、法人の種類別】

			(%)							
		n	70%未 満	70%～ 80%未 満	80%～ 90%未 満	90%～ 100% 未満	100% ～110 %未満	110% ～120 %未満	120% 以上	無回答
全 体		107	3.7	2.8	9.3	16.8	25.2	12.1	7.5	22.4
主 と す る サ ー ビ ス 別	居宅介護支援	16	12.5	6.3	6.3	18.8	25.0	12.5	6.3	12.5
	訪問（入浴）介護	20	10.0	5.0	5.0	20.0	35.0	5.0	5.0	15.0
	訪問看護	19	-	-	21.1	10.5	31.6	5.3	15.8	15.8
	居宅療養管理指導	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-
	通所介護	10	-	-	-	20.0	20.0	40.0	-	20.0
	短期入所生活介護	1	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	特定施設入居者生活 介護	2	-	-	-	50.0	-	-	-	50.0
	福祉用具貸与	2	-	50.0	-	-	50.0	-	-	-
	介護老人福祉施設	4	-	-	-	25.0	-	-	-	75.0
	介護老人保健施設	2	-	-	-	50.0	50.0	-	-	-
	夜間対応型訪問介護	1	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	定期巡回・随時対応 型訪問介護看護	1	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	認知症対応型通所介護	3	-	-	-	-	66.7	-	-	33.3
	（看護）小規模多機 能型居宅介護	4	-	-	25.0	-	50.0	-	25.0	-
	認知症対応型共同生 活介護	4	-	-	-	25.0	-	25.0	-	50.0
	地域密着型介護老人 福祉施設	2	-	-	-	-	-	100.0	-	-
	地域密着型通所介護	6	-	-	33.3	33.3	-	-	-	33.3
	介護予防支援	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-
介護予防訪問看護	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-	
介護予防認知症対応 型共同生活介護	1	-	-	-	-	-	-	-	100.0	
通所型サービス	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-	
法 人 の 種 類 別	民間企業	61	3.3	4.9	9.8	19.7	27.9	8.2	4.9	21.3
	社会福祉法人	15	6.7	-	-	20.0	20.0	40.0	6.7	6.7
	医療法人	8	12.5	-	12.5	-	25.0	-	25.0	25.0
	NPO法人	3	-	-	33.3	-	33.3	33.3	-	-
	一般社団法人・一般 財団法人	6	-	-	-	33.3	33.3	16.7	16.7	-
協同組合（農協・生 協）	5	-	-	40.0	20.0	20.0	-	20.0	-	

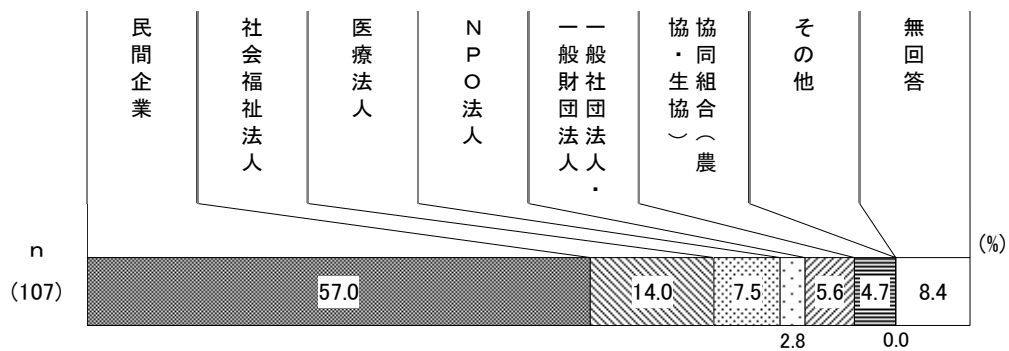
問3 介護事業収入に占める人件費の割合

介護事業収入に占める人件費の割合では、「70%～80%未満」が18.7%で最も高く、以下、「60%～70%未満」が16.8%、「80%～90%未満」が15.0%、「50%～60%未満」が12.1%となっています。



問4 法人の種類

法人の種類では、「民間企業」が57.0%で最も高く、以下、「社会福祉法人」が14.0%、「医療法人」が7.5%、「一般社団法人・一般財団法人」が5.6%となっています。



主とするサービス別でみると、居宅介護支援、訪問介護、訪問看護いずれも、「民間企業」がそれぞれ56.3%、89.5%、68.4%で最も高くなっています。

【法人の種類／主とするサービス別】

		(%)							
	n	民間企業	社会福祉法人	医療法人	NPO法人	一般社団法人・一般財団法人	協同組合（農協・生協）	その他	無回答
全体	107	57.0	14.0	7.5	2.8	5.6	4.7	-	8.4
主とするサービス別	居宅介護支援	16	56.3	18.8	6.3	-	12.5	6.3	-
	訪問介護	19	89.5	-	5.3	5.3	-	-	-
	訪問入浴介護	1	100.0	-	-	-	-	-	-
	訪問看護	19	68.4	-	10.5	-	10.5	5.3	-
	居宅療養管理指導	1	-	-	100.0	-	-	-	-
	通所介護	10	40.0	50.0	-	-	10.0	-	-
	短期入所生活介護	1	100.0	-	-	-	-	-	-
	特定施設入居者生活介護	2	100.0	-	-	-	-	-	-
	福祉用具貸与	2	50.0	-	-	-	50.0	-	-
	介護老人福祉施設	4	-	50.0	-	-	-	-	50.0
	介護老人保健施設	2	-	-	50.0	-	-	50.0	-
	夜間対応型訪問介護	1	-	-	-	-	-	-	100.0
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	100.0	-	-	-	-	-	-
	認知症対応型通所介護	3	-	66.7	-	-	-	-	33.3
	小規模多機能型居宅介護	3	66.7	33.3	-	-	-	-	-
	看護小規模多機能型居宅介護	1	-	-	-	-	-	100.0	-
	認知症対応型共同生活介護	4	25.0	-	25.0	25.0	-	-	25.0
	地域密着型介護老人福祉施設	2	-	100.0	-	-	-	-	-
	地域密着型通所介護	6	66.7	-	-	16.7	-	-	16.7
	介護予防支援	1	100.0	-	-	-	-	-	-
介護予防訪問看護	1	-	-	100.0	-	-	-	-	
介護予防認知症対応型共同生活介護	1	-	-	-	-	-	-	100.0	
通所型サービス	1	100.0	-	-	-	-	-	-	

問5 全従業員数・職種別従業員数

①全従業員数（1）正規職員合計（9区分）

全従業員数（1）正規職員合計（9区分）では、「1～4人」が41.1%で最も高く、以下、「5～9人」が26.2%、「10～14人」が8.4%、「15～19人」が4.7%となっています。

主とするサービス別でみると、居宅介護支援は、「1～4人」が93.8%、訪問介護は、「5～9人」が36.8%、訪問看護は、「1～4人」と「5～9人」が42.1%で最も高くなっています。

【全従業員数（1）正規職員合計（9区分）／主とするサービス別】

		n	0人	1～4人	5～9人	10～14人	15～19人	20～29人	30～39人	40～49人	50人以上	無回答	(%)
全体		107	0.9	41.1	26.2	8.4	4.7	2.8	3.7	1.9	0.9		9.3
主とするサービス別	居宅介護支援	16	-	93.8	6.3	-	-	-	-	-	-	-	-
	訪問介護	19	-	31.6	36.8	10.5	5.3	5.3	-	5.3	-	-	5.3
	訪問入浴介護	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	訪問看護	19	-	42.1	42.1	5.3	-	-	-	-	-	-	10.5
	居宅療養管理指導	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	通所介護	10	-	40.0	40.0	20.0	-	-	-	-	-	-	-
	短期入所生活介護	1	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-
	特定施設入居者生活介護	2	-	-	-	-	50.0	-	50.0	-	-	-	-
	福祉用具貸与	2	-	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	介護老人福祉施設	4	-	-	-	-	-	-	25.0	-	-	-	75.0
	介護老人保健施設	2	-	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0	-	-
	夜間対応型訪問介護	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	認知症対応型通所介護	3	-	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	-	33.3
	小規模多機能型居宅介護	3	-	-	66.7	-	-	-	-	-	-	-	33.3
	看護小規模多機能型居宅介護	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	認知症対応型共同生活介護	4	-	-	25.0	25.0	25.0	-	-	-	-	-	25.0
	地域密着型介護老人福祉施設	2	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-
	地域密着型通所介護	6	-	50.0	-	16.7	16.7	-	-	-	-	-	16.7
	介護予防支援	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
介護予防訪問看護	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	
介護予防認知症対応型共同生活介護	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
通所型サービス	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

②全従業員数（2）非正規職員合計（9区分）

全従業員数（2）非正規職員合計（9区分）では、「1～4人」が25.2%で最も高く、以下、「5～9人」が17.8%、「0人」が15.9%、「10～14人」が14.0%となっています。

主とするサービス別でみると、居宅介護支援は、「0人」が68.8%、訪問（入浴）介護は、「10～14人」が40.0%、訪問看護は、「5～9人」が42.1%で最も高くなっています。

【全従業員数（2）非正規職員合計（9区分）／主とするサービス別】

		n	(%)									無回答
			0人	1～4人	5～9人	10～14人	15～19人	20～29人	30～39人	40～49人	50人以上	
全体		107	15.9	25.2	17.8	14.0	4.7	6.5	2.8	0.9	2.8	9.3
主とするサービス別	居宅介護支援	16	68.8	25.0	-	-	-	6.3	-	-	-	-
	訪問（入浴）介護	20	-	10.0	5.0	40.0	10.0	15.0	5.0	-	10.0	5.0
	訪問看護	19	5.3	26.3	42.1	15.8	-	-	-	-	-	10.5
	居宅療養管理指導	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
	通所介護	10	-	20.0	40.0	20.0	10.0	10.0	-	-	-	-
	短期入所生活介護	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	特定施設入居者生活介護	2	-	-	-	-	50.0	-	50.0	-	-	-
	福祉用具貸与	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	介護老人福祉施設	4	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0	75.0
	介護老人保健施設	2	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0	-	-
	夜間対応型訪問介護	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	認知症対応型通所介護	3	-	-	33.3	-	-	33.3	-	-	-	33.3
	（看護）小規模多機能型居宅介護	4	-	-	75.0	-	-	-	-	-	-	25.0
	認知症対応型共同生活介護	4	-	75.0	-	-	-	-	-	-	-	25.0
	地域密着型介護老人福祉施設	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	地域密着型通所介護	6	33.3	33.3	16.7	-	-	-	-	-	-	16.7
	介護予防支援	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	介護予防訪問看護	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	介護予防認知症対応型共同生活介護	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-
通所型サービス	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	

第7章 介護サービス事業者調査

③サービス事業の従業員（1）正規職員合計（9区分）

うち指定サービス事業の従業員（1）正規職員合計（9区分）では、「1～4人」が28.0%で最も高く、以下、「0人」が22.4%、「5～9人」が21.5%、「10～14人」が7.5%となっています。

主とするサービス別でみると、居宅介護支援と訪問（入浴）介護は、「1～4人」がそれぞれ56.3%、30.0%、訪問看護は、「5～9人」が31.6%で最も高くなっています。

【サービス事業の従業員（1）正規職員合計（9区分）／主とするサービス別】

		(%)									
	n	0人	1～4人	5～9人	10～14人	15～19人	20～29人	30～39人	40～49人	50人以上	無回答
全体	107	22.4	28.0	21.5	7.5	3.7	0.9	3.7	1.9	0.9	9.3
主とするサービス別	居宅介護支援	16	37.5	56.3	6.3	-	-	-	-	-	-
	訪問（入浴）介護	20	15.0	30.0	20.0	15.0	5.0	5.0	5.0	-	5.0
	訪問看護	19	26.3	26.3	31.6	5.3	-	-	-	-	10.5
	居宅療養管理指導	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	通所介護	10	20.0	20.0	50.0	10.0	-	-	-	-	-
	短期入所生活介護	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	特定施設入居者生活介護	2	50.0	-	-	-	-	-	50.0	-	-
	福祉用具貸与	2	-	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-
	介護老人福祉施設	4	-	-	-	-	-	-	25.0	-	75.0
	介護老人保健施設	2	-	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0
	夜間対応型訪問介護	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	認知症対応型通所介護	3	-	33.3	33.3	-	-	-	-	-	33.3
	（看護）小規模多機能型居宅介護	4	-	-	75.0	-	-	-	-	-	25.0
	認知症対応型共同生活介護	4	-	-	25.0	25.0	25.0	-	-	-	25.0
	地域密着型介護老人福祉施設	2	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
地域密着型通所介護	6	-	50.0	-	33.3	-	-	-	-	16.7	
介護予防支援	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
介護予防訪問看護	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	
介護予防認知症対応型共同生活介護	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
通所型サービス	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	

④サービス事業の従業員（2）非正規職員合計（9区分）

うち指定サービス事業の従業員（2）非正規職員合計（9区分）では、「0人」が41.1%で最も高く、以下、「1～4人」が16.8%、「5～9人」が13.1%、「10～14人」が7.5%となっています。

主とするサービス別でみると、居宅介護支援と訪問看護は、「0人」がそれぞれ87.5%、36.8%、訪問（入浴）介護は、「10～14人」が25.0%で最も高くなっています。

【サービス事業の従業員（2）非正規職員合計（9区分）／主とするサービス別】

		(%)										
	n	0人	1～4人	5～9人	10～14人	15～19人	20～29人	30～39人	40～49人	50人以上	無回答	
全体	107	41.1	16.8	13.1	7.5	1.9	5.6	2.8	-	1.9	9.3	
主とするサービス別	居宅介護支援	16	87.5	6.3	-	-	-	6.3	-	-	-	
	訪問（入浴）介護	20	20.0	10.0	10.0	25.0	5.0	15.0	5.0	-	5.0	
	訪問看護	19	36.8	15.8	26.3	10.5	-	-	-	-	10.5	
	居宅療養管理指導	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
	通所介護	10	30.0	20.0	30.0	10.0	-	10.0	-	-	-	
	短期入所生活介護	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
	特定施設入居者生活介護	2	50.0	-	-	-	-	-	50.0	-	-	
	福祉用具貸与	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	
	介護老人福祉施設	4	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0	
	介護老人保健施設	2	-	-	-	-	50.0	-	50.0	-	-	
	夜間対応型訪問介護	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
	認知症対応型通所介護	3	-	-	33.3	-	-	33.3	-	-	33.3	
	（看護）小規模多機能型居宅介護	4	-	25.0	50.0	-	-	-	-	-	25.0	
	認知症対応型共同生活介護	4	25.0	50.0	-	-	-	-	-	-	25.0	
	地域密着型介護老人福祉施設	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	
	地域密着型通所介護	6	50.0	33.3	-	-	-	-	-	-	16.7	
	介護予防支援	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
介護予防訪問看護	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-		
介護予防認知症対応型共同生活介護	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-		
通所型サービス	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-		

2. 人材確保（人材確保の取組）

問6 1年間の採用者数と離職者数

令和3年度の採用者数と離職者数をみると、「訪問看護師」では、「訪問看護」の「採用者数」が33人、「離職者数」が23人でした。

また、「その他の介護職員」では、「介護老人福祉施設」の「採用者数」が18人、「離職者数」が15人、「特定施設入居者生活介護」の「採用者数」が16人、「離職者数」が10人、「通所介護」の「採用者数」が10人、「離職者数」が14人などとなっています。

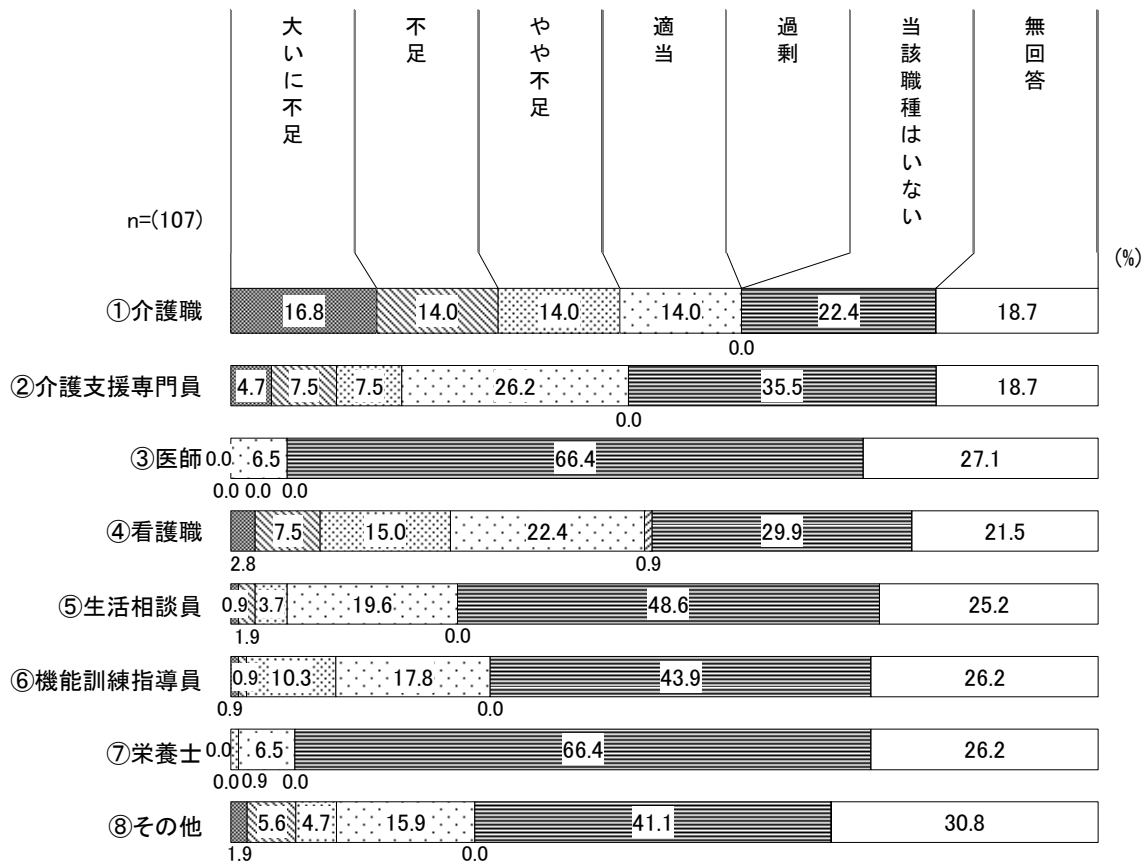
【1年間の採用者数と離職者数／主とするサービス別】

(人)

	【採用者数】		【離職者数】		
	①訪問 介護員 (計)	②その他 介護職員 (計)	①訪問 介護員 (計)	②その他 介護職員 (計)	
全体	42	86	28	83	
主 と す る サ ー ビ ス 別	居宅介護支援	-	-	2	-
	訪問介護	33	8	23	5
	訪問入浴介護	-	1	-	1
	訪問看護	3	3	-	5
	訪問リハビリテーション	-	-	-	-
	居宅療養管理指導	-	-	-	-
	通所介護	-	10	-	14
	通所リハビリテーション	-	-	-	-
	短期入所生活介護	-	-	-	-
	短期入所療養介護	-	-	-	-
	特定施設入居者生活介護	-	16	-	10
	福祉用具貸与	-	-	-	-
	特定福祉用具購入	-	-	-	-
	介護老人福祉施設	-	18	-	15
	介護老人保健施設	-	8	-	9
	夜間対応型訪問介護	-	-	1	-
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	4	-	-	-
	認知症対応型通所介護	-	3	-	9
	小規模多機能型居宅介護	-	5	2	4
	看護小規模多機能型居宅介護	1	-	-	-
	認知症対応型共同生活介護	-	2	-	-
	地域密着型介護老人福祉施設	-	-	-	3
	地域密着型通所介護	-	4	-	3
	介護予防支援	-	-	-	-
	介護予防訪問入浴介護	-	-	-	-
	介護予防訪問看護	-	-	-	-
	介護予防訪問リハビリテーション	-	-	-	-
	介護予防居宅療養管理指導	-	-	-	-
	介護予防通所リハビリテーション	-	-	-	-
	介護予防短期入所生活介護	-	-	-	-
	介護予防短期入所療養介護	-	-	-	-
	介護予防特定施設入居者生活介護	-	-	-	-
	介護予防福祉用具貸与	-	-	-	-
	介護予防特定福祉用具購入	-	-	-	-
介護予防認知症対応型通所介護	-	-	-	-	
介護予防小規模多機能型居宅介護	-	-	-	-	
介護予防認知症対応型共同生活介護	-	-	-	-	
訪問型サービス	-	-	-	-	
通所型サービス	-	2	-	1	

問7 従業員の過不足状況

介護職では、『不足』(大いに不足~やや不足)しているという回答が半数を超えています。



第7章 介護サービス事業者調査

①介護職

介護職では、「当該職種はいない」が22.4%で最も高く、以下、「大いに不足」が16.8%、「不足」、「やや不足」、「適当」の3つが14.0%となっています。

主とするサービス別でみると、居宅介護支援と訪問看護は、「当該職種はいない」がそれぞれ50.0%、57.9%、訪問（入浴）介護は、「大いに不足」が40.0%で最も高くなっています。

【従業員の過不足状況・介護職／主とするサービス別】

(%)

	n	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はいない	無回答	
全体	107	16.8	14.0	14.0	14.0	-	22.4	18.7	
主とするサービス別	居宅介護支援	16	12.5	-	-	-	50.0	37.5	
	訪問（入浴）介護	20	40.0	35.0	20.0	5.0	-	-	
	訪問看護	19	10.5	-	-	-	57.9	31.6	
	居宅療養管理指導	1	-	-	-	-	100.0	-	
	通所介護	10	-	10.0	30.0	50.0	-	10.0	
	短期入所生活介護	1	-	-	-	100.0	-	-	
	特定施設入居者生活介護	2	50.0	50.0	-	-	-	-	
	福祉用具貸与	2	-	-	-	-	-	100.0	-
	介護老人福祉施設	4	25.0	-	-	-	-	-	75.0
	介護老人保健施設	2	-	50.0	-	50.0	-	-	-
	夜間対応型訪問介護	1	100.0	-	-	-	-	-	-
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	-	-	100.0	-	-	-	-
	認知症対応型通所介護	3	-	33.3	33.3	-	-	-	33.3
	（看護）小規模多機能型居宅介護	4	-	50.0	25.0	25.0	-	-	-
	認知症対応型共同生活介護	4	-	25.0	25.0	25.0	-	-	25.0
	地域密着型介護老人福祉施設	2	-	-	50.0	-	-	-	50.0
	地域密着型通所介護	6	-	16.7	50.0	33.3	-	-	-
	介護予防支援	1	-	-	-	-	-	100.0	-
	介護予防訪問看護	1	-	-	-	-	-	100.0	-
	介護予防認知症対応型共同生活介護	1	100.0	-	-	-	-	-	-
通所型サービス	1	100.0	-	-	-	-	-	-	

②介護支援専門員

介護支援専門員では、「当該職種はいない」が35.5%で最も高く、以下、「適当」が26.2%、「不足」と「やや不足」が7.5%となっています。

主とするサービス別でみると、居宅介護支援と訪問（入浴）介護は、「適当」がそれぞれ50.0%、25.0%、訪問看護は、「当該職種はいない」が57.9%で最も高くなっています。

【従業員の過不足状況・介護支援専門員／主とするサービス別】

(%)

	n	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種 はいない	無回答	
全 体	107	4.7	7.5	7.5	26.2	-	35.5	18.7	
主とするサービス別	居宅介護支援	16	18.8	12.5	18.8	50.0	-	-	
	訪問（入浴）介護	20	5.0	15.0	10.0	25.0	-	20.0	
	訪問看護	19	-	10.5	-	-	-	57.9	31.6
	居宅療養管理指導	1	-	-	-	-	-	100.0	-
	通所介護	10	-	-	-	20.0	-	80.0	-
	短期入所生活介護	1	-	-	-	100.0	-	-	-
	特定施設入居者生活介護	2	-	-	50.0	50.0	-	-	-
	福祉用具貸与	2	-	-	-	-	-	100.0	-
	介護老人福祉施設	4	-	-	-	25.0	-	-	75.0
	介護老人保健施設	2	-	50.0	-	50.0	-	-	-
	夜間対応型訪問介護	1	-	-	-	-	-	-	100.0
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	-	-	-	-	-	-	100.0
	認知症対応型通所介護	3	-	-	-	-	-	66.7	33.3
	（看護）小規模多機能型居宅介護	4	-	-	25.0	75.0	-	-	-
	認知症対応型共同生活介護	4	-	-	-	75.0	-	-	25.0
	地域密着型介護老人福祉施設	2	50.0	-	-	-	-	-	50.0
	地域密着型通所介護	6	-	-	-	16.7	-	83.3	-
	介護予防支援	1	-	-	100.0	-	-	-	-
	介護予防訪問看護	1	-	-	-	-	-	100.0	-
	介護予防認知症対応型共同生活介護	1	-	-	-	100.0	-	-	-
通所型サービス	1	-	-	-	-	-	100.0	-	

③医師

医師では、「当該職種はいない」が66.4%で最も高く、続いて、「適当」が6.5%となっています。

主とするサービス別でみると、居宅介護支援、訪問（入浴）介護、訪問看護いずれも、「当該職種はいない」がそれぞれ56.3%、80.0%、63.2%で最も高くなっています。

【従業員の過不足状況・医師／主とするサービス別】

(%)

	n	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種 はいない	無回答	
全体	107	-	-	-	6.5	-	66.4	27.1	
主とするサービス別	居宅介護支援	16	-	-	-	6.3	-	56.3	37.5
	訪問（入浴）介護	20	-	-	-	-	-	80.0	20.0
	訪問看護	19	-	-	-	-	-	63.2	36.8
	居宅療養管理指導	1	-	-	-	100.0	-	-	-
	通所介護	10	-	-	-	-	-	90.0	10.0
	短期入所生活介護	1	-	-	-	100.0	-	-	-
	特定施設入居者生活介護	2	-	-	-	-	-	100.0	-
	福祉用具貸与	2	-	-	-	-	-	100.0	-
	介護老人福祉施設	4	-	-	-	25.0	-	-	75.0
	介護老人保健施設	2	-	-	-	100.0	-	-	-
	夜間対応型訪問介護	1	-	-	-	-	-	-	100.0
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	-	-	-	-	-	-	100.0
	認知症対応型通所介護	3	-	-	-	-	-	66.7	33.3
	（看護）小規模多機能型居宅介護	43	-	-	-	-	-	100.0	-
	認知症対応型共同生活介護	4	-	-	-	-	-	75.0	25.0
	地域密着型介護老人福祉施設	2	-	-	-	50.0	-	-	50.0
	地域密着型通所介護	6	-	-	-	-	-	100.0	-
	介護予防支援	1	-	-	-	-	-	100.0	-
	介護予防訪問看護	1	-	-	-	-	-	100.0	-
	介護予防認知症対応型共同生活介護	1	-	-	-	-	-	100.0	-
通所型サービス	1	-	-	-	-	-	100.0	-	

④看護職

看護職では、「当該職種はいない」が29.9%で最も高く、以下、「適当」が22.4%、「やや不足」が15.0%、「不足」が7.5%となっています。

主とするサービス別でみると、居宅介護支援と訪問（入浴）介護は、「当該職種はいない」がそれぞれ56.3%、70.0%、訪問看護は、「不足」と「やや不足」が31.6%で最も高くなっています。

【従業員の過不足状況・看護職／主とするサービス別】

		n						（%）	
			大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種 はいない	無回答
全体		107	2.8	7.5	15.0	22.4	0.9	29.9	21.5
主とするサービス別	居宅介護支援	16	-	-	6.3	-	-	56.3	37.5
	訪問（入浴）介護	20	-	-	5.0	5.0	-	70.0	20.0
	訪問看護	19	10.5	31.6	31.6	10.5	5.3	-	10.5
	居宅療養管理指導	1	-	-	-	-	-	-	100.0
	通所介護	10	-	10.0	30.0	50.0	-	-	10.0
	短期入所生活介護	1	-	-	-	100.0	-	-	-
	特定施設入居者生活介護	2	-	-	-	100.0	-	-	-
	福祉用具貸与	2	-	-	-	-	-	100.0	-
	介護老人福祉施設	4	-	-	-	25.0	-	-	75.0
	介護老人保健施設	2	-	50.0	50.0	-	-	-	-
	夜間対応型訪問介護	1	-	-	-	-	-	-	100.0
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	-	-	-	-	-	-	100.0
	認知症対応型通所介護	3	-	-	33.3	33.3	-	-	33.3
	（看護）小規模多機能型居宅介護	4	-	-	25.0	75.0	-	-	-
	認知症対応型共同生活介護	4	-	-	-	25.0	-	50.0	25.0
	地域密着型介護老人福祉施設	2	-	-	-	50.0	-	-	50.0
	地域密着型通所介護	6	-	-	16.7	16.7	-	66.7	-
	介護予防支援	1	-	-	-	-	-	100.0	-
介護予防訪問看護	1	-	-	100.0	-	-	-	-	
介護予防認知症対応型共同生活介護	1	-	-	-	100.0	-	-	-	
通所型サービス	1	-	-	-	100.0	-	-	-	

⑤生活相談員

生活相談員では、「当該職種はいない」が48.6%で最も高く、以下、「適当」が19.6%、「やや不足」が3.7%、「不足」が1.9%となっています。

主とするサービス別でみると、居宅介護支援、訪問（入浴）介護、訪問看護いずれも、「当該職種はいない」がそれぞれ56.3%、80.0%、68.4%で最も高くなっています。

【従業員の過不足状況・生活相談員／主とするサービス別】

		n	(%)						
			大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種 はいない	無回答
全体		107	0.9	1.9	3.7	19.6	-	48.6	25.2
主とするサービス別	居宅介護支援	16	-	-	-	6.3	-	56.3	37.5
	訪問（入浴）介護	20	-	-	-	-	-	80.0	20.0
	訪問看護	19	-	-	-	-	-	68.4	31.6
	居宅療養管理指導	1	-	-	-	-	-	100.0	-
	通所介護	10	-	-	20.0	70.0	-	-	10.0
	短期入所生活介護	1	-	-	-	100.0	-	-	-
	特定施設入居者生活介護	2	-	-	-	50.0	-	50.0	-
	福祉用具貸与	2	-	-	-	-	-	100.0	-
	介護老人福祉施設	4	-	-	25.0	-	-	-	75.0
	介護老人保健施設	2	-	50.0	-	50.0	-	-	-
	夜間対応型訪問介護	1	-	-	-	-	-	-	100.0
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	-	-	-	-	-	-	100.0
	認知症対応型通所介護	3	-	-	-	66.7	-	-	33.3
	（看護）小規模多機能型居宅介護	4	-	-	-	-	-	100.0	-
	認知症対応型共同生活介護	4	-	-	-	-	-	75.0	25.0
	地域密着型介護老人福祉施設	2	-	-	-	50.0	-	-	50.0
	地域密着型通所介護	6	16.7	-	16.7	66.7	-	-	-
	介護予防支援	1	-	-	-	-	-	100.0	-
	介護予防訪問看護	1	-	-	-	-	-	100.0	-
	介護予防認知症対応型共同生活介護	1	-	-	-	-	-	100.0	-
通所型サービス	1	-	-	-	100.0	-	-	-	

⑥機能訓練指導員

機能訓練指導員では、「当該職種はいない」が43.9%で最も高く、以下、「適当」が17.8%、「やや不足」が10.3%、「大いに不足」と「不足」が0.9%となっています。

主とするサービス別でみると、居宅介護支援、訪問（入浴）介護、訪問看護いずれも、「当該職種はいない」がそれぞれ56.3%、80.0%、47.4%で最も高くなっています。

【従業員の過不足状況・機能訓練指導員／主とするサービス別】

		n						（%）	
			大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種 はいない	無回答
全 体		107	0.9	0.9	10.3	17.8	-	43.9	26.2
主 と す る サ ー ビ ス 別	居宅介護支援	16	-	-	-	6.3	-	56.3	37.5
	訪問（入浴）介護	20	-	-	-	-	-	80.0	20.0
	訪問看護	19	5.3	-	5.3	10.5	-	47.4	31.6
	居宅療養管理指導	1	-	-	-	-	-	100.0	-
	通所介護	10	-	-	40.0	50.0	-	-	10.0
	短期入所生活介護	1	-	-	100.0	-	-	-	-
	特定施設入居者生活介護	2	-	-	-	100.0	-	-	-
	福祉用具貸与	2	-	-	-	-	-	100.0	-
	介護老人福祉施設	4	-	-	25.0	-	-	-	75.0
	介護老人保健施設	2	-	-	50.0	50.0	-	-	-
	夜間対応型訪問介護	1	-	-	-	-	-	-	100.0
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	-	-	-	-	-	-	100.0
	認知症対応型通所介護	3	-	-	-	66.7	-	-	33.3
	（看護）小規模多機能型居宅介護	4	-	-	-	-	-	100.0	-
	認知症対応型共同生活介護	4	-	-	-	-	-	75.0	25.0
	地域密着型介護老人福祉施設	2	-	-	-	50.0	-	-	50.0
	地域密着型通所介護	6	-	16.7	16.7	50.0	-	16.7	-
	介護予防支援	1	-	-	-	-	-	100.0	-
	介護予防訪問看護	1	-	-	-	100.0	-	-	-
	介護予防認知症対応型共同生活介護	1	-	-	-	-	-	100.0	-
通所型サービス	1	-	-	100.0	-	-	-	-	

第7章 介護サービス事業者調査

⑦栄養士

栄養士では、「当該職種はいない」が66.4%で最も高く、以下、「適当」が6.5%、「やや不足」が0.9%となっています。

主とするサービス別でみると、居宅介護支援、訪問（入浴）介護、訪問看護いずれも、「当該職種はいない」がそれぞれ56.3%、80.0%、68.4%で最も高くなっています。

【従業員の過不足状況・栄養士／主とするサービス別】

		n						（%）	
			大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種 はいない	無回答
全体		107	-	-	0.9	6.5	-	66.4	26.2
主とするサービス別	居宅介護支援	16	-	-	-	6.3	-	56.3	37.5
	訪問（入浴）介護	20	-	-	-	-	-	80.0	20.0
	訪問看護	19	-	-	-	-	-	68.4	31.6
	居宅療養管理指導	1	-	-	-	-	-	100.0	-
	通所介護	10	-	-	-	10.0	-	80.0	10.0
	短期入所生活介護	1	-	-	100.0	-	-	-	-
	特定施設入居者生活介護	2	-	-	-	-	-	100.0	-
	福祉用具貸与	2	-	-	-	-	-	100.0	-
	介護老人福祉施設	4	-	-	-	25.0	-	-	75.0
	介護老人保健施設	2	-	-	-	100.0	-	-	-
	夜間対応型訪問介護	1	-	-	-	-	-	-	100.0
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	-	-	-	-	-	-	100.0
	認知症対応型通所介護	3	-	-	-	33.3	-	33.3	33.3
	（看護）小規模多機能型居宅介護	4	-	-	-	-	-	100.0	-
	認知症対応型共同生活介護	4	-	-	-	-	-	75.0	25.0
	地域密着型介護老人福祉施設	2	-	-	-	50.0	-	-	50.0
	地域密着型通所介護	6	-	-	-	-	-	100.0	-
	介護予防支援	1	-	-	-	-	-	100.0	-
介護予防訪問看護	1	-	-	-	-	-	100.0	-	
介護予防認知症対応型共同生活介護	1	-	-	-	-	-	100.0	-	
通所型サービス	1	-	-	-	-	-	100.0	-	

⑧その他

その他では、「当該職種はいない」が41.1%で最も高く、以下、「適当」が15.9%、「不足」が5.6%、「やや不足」が4.7%となっています。

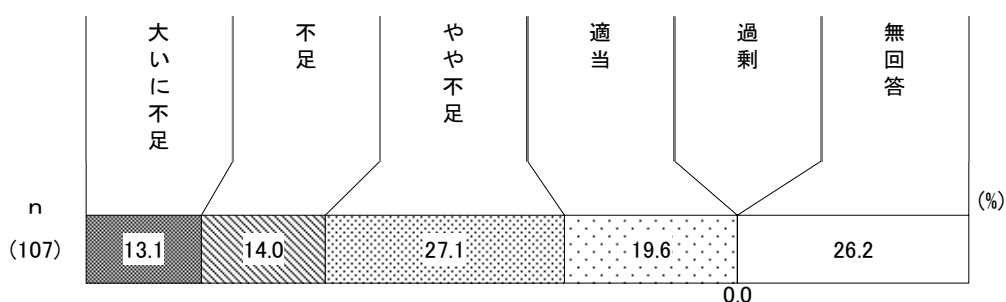
主とするサービス別でみると、居宅介護支援、訪問（入浴）介護、訪問看護いずれも、「当該職種はいない」がそれぞれ31.3%、50.0%、36.8%で最も高くなっています。

【従業員の過不足状況・その他／主とするサービス別】

		(%)							
	n	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種 はいない	無回答	
全体	107	1.9	5.6	4.7	15.9	-	41.1	30.8	
主とするサービス別	居宅介護支援	16	-	6.3	-	18.8	-	31.3	43.8
	訪問（入浴）介護	20	5.0	5.0	5.0	5.0	-	50.0	30.0
	訪問看護	19	-	5.3	10.5	15.8	-	36.8	31.6
	居宅療養管理指導	1	-	-	-	-	-	100.0	-
	通所介護	10	-	-	10.0	20.0	-	60.0	10.0
	短期入所生活介護	1	-	-	-	-	-	-	100.0
	特定施設入居者生活介護	2	-	-	-	50.0	-	50.0	-
	福祉用具貸与	2	-	50.0	-	50.0	-	-	-
	介護老人福祉施設	4	-	-	-	25.0	-	-	75.0
	介護老人保健施設	2	-	-	-	100.0	-	-	-
	夜間対応型訪問介護	1	-	-	-	-	-	-	100.0
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	-	-	-	-	-	-	100.0
	認知症対応型通所介護	3	-	-	-	-	-	66.7	33.3
	（看護）小規模多機能型居宅介護	4	-	-	-	-	-	75.0	25.0
	認知症対応型共同生活介護	4	-	25.0	-	-	-	50.0	25.0
	地域密着型介護老人福祉施設	2	-	-	-	50.0	-	-	50.0
	地域密着型通所介護	6	16.7	-	16.7	-	-	66.7	-
	介護予防支援	1	-	-	-	-	-	100.0	-
	介護予防訪問看護	1	-	-	-	-	-	100.0	-
	介護予防認知症対応型共同生活介護	1	-	-	-	-	-	-	100.0
通所型サービス	1	-	-	-	-	-	100.0	-	

⑨従業員全体でみた場合

従業員全体でみた場合では、「やや不足」が27.1%で最も高く、以下、「適当」が19.6%、「不足」が14.0%、「大いに不足」が13.1%となっています。



第7章 介護サービス事業者調査

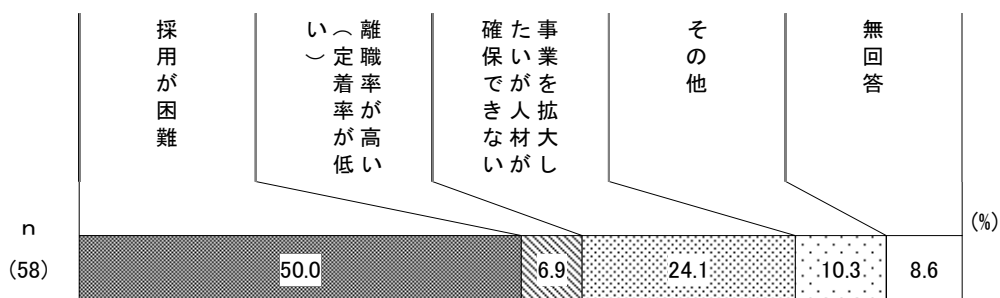
主とするサービス別で見ると、居宅介護支援は、「適当」が25.0%、訪問（入浴）介護は、「大いに不足」と「やや不足」が25.0%、訪問看護は、「やや不足」が26.3%で最も高くなっています。

【従業員の過不足状況・従業員全体／主とするサービス別】

		n	（％）					無回答
			大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	
全体		107	13.1	14.0	27.1	19.6	-	26.2
主とするサービス別	居宅介護支援	16	18.8	12.5	12.5	25.0	-	31.3
	訪問（入浴）介護	20	25.0	20.0	25.0	10.0	-	20.0
	訪問看護	19	5.3	21.1	26.3	15.8	-	31.6
	居宅療養管理指導	1	-	-	-	-	-	100.0
	通所介護	10	-	10.0	30.0	40.0	-	20.0
	短期入所生活介護	1	-	-	-	-	-	100.0
	特定施設入居者生活介護	2	-	-	50.0	50.0	-	-
	福祉用具貸与	2	-	-	50.0	50.0	-	-
	介護老人福祉施設	4	-	25.0	-	-	-	75.0
	介護老人保健施設	2	50.0	-	-	50.0	-	-
	夜間対応型訪問介護	1	-	-	-	-	-	100.0
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	-	-	-	-	-	100.0
	認知症対応型通所介護	3	-	-	66.7	-	-	33.3
	（看護）小規模多機能型居宅介護	4	-	25.0	50.0	25.0	-	-
	認知症対応型共同生活介護	4	-	25.0	25.0	25.0	-	25.0
	地域密着型介護老人福祉施設	2	-	-	50.0	-	-	50.0
	地域密着型通所介護	6	-	16.7	66.7	16.7	-	-
	介護予防支援	1	-	-	100.0	-	-	-
	介護予防訪問看護	1	-	-	100.0	-	-	-
	介護予防認知症対応型共同生活介護	1	100.0	-	-	-	-	-
通所型サービス	1	100.0	-	-	-	-	-	

問7-1 不足と感じる理由

不足と感じる理由では、「採用が困難」が50.0%で最も高く、以下、「事業を拡大したいが人材が確保できない」が24.1%、「離職率が高い（定着率が低い）」が6.9%となっています。



主とするサービス別でみると、居宅介護支援と訪問（入浴）介護で「採用が困難」が最も高く、訪問看護でも「採用が困難」と「事業を拡大したいが人材が確保できない」が高くなっています。

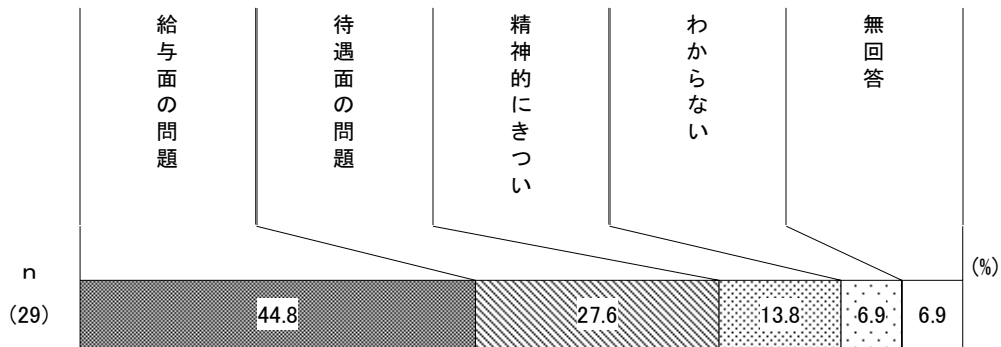
法人の種類別でみると、民間企業は、「採用が困難」が44.1%で最も高くなっています。

【不足と感じる理由／主とするサービス別、法人の種類別】

		(%)					
		n	採用が困難	離職率が高い（定着率が低い）	事業を拡大したいが人材が確保できない	その他	無回答
全体		58	50.0	6.9	24.1	10.3	8.6
主とするサービス別	居宅介護支援	7	71.4	-	28.6	-	-
	訪問（入浴）介護	14	64.3	7.1	21.4	7.1	-
	訪問看護	10	40.0	-	40.0	10.0	10.0
	居宅療養管理指導	-	-	-	-	-	-
	通所介護	4	25.0	25.0	25.0	-	25.0
	短期入所生活介護	-	-	-	-	-	-
	特定施設入居者生活介護	1	-	100.0	-	-	-
	福祉用具貸与	1	-	-	100.0	-	-
	介護老人福祉施設	1	-	-	-	-	100.0
	介護老人保健施設	1	100.0	-	-	-	-
	夜間対応型訪問介護	-	-	-	-	-	-
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	-	-	-	-	-	-
	認知症対応型通所介護	2	50.0	-	-	-	50.0
	（看護）小規模多機能型居宅介護	3	66.7	-	33.3	-	-
	認知症対応型共同生活介護	2	50.0	-	-	50.0	-
	地域密着型介護老人福祉施設	1	100.0	-	-	-	-
	地域密着型通所介護	5	20.0	-	20.0	40.0	20.0
	介護予防支援	1	100.0	-	-	-	-
	介護予防訪問看護	1	-	-	100.0	-	-
	介護予防認知症対応型共同生活介護	1	-	100.0	-	-	-
通所型サービス	1	-	-	-	100.0	-	
法人の種類別	民間企業	34	44.1	8.8	32.4	8.8	5.9
	社会福祉法人	8	62.5	-	-	-	37.5
	医療法人	6	66.7	-	16.7	16.7	-
	NPO法人	2	50.0	-	-	50.0	-
	一般社団法人・一般財団法人	3	-	-	66.7	33.3	-
	協同組合（農協・生協）	4	100.0	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-

問7-1-1 採用が困難な原因

採用が困難な原因では、「給与面の問題」が44.8%で最も高く、以下、「待遇面の問題」が27.6%、「精神的にきつい」が13.8%、「わからない」が6.9%となっています。



法人の種類別で見ると、民間企業は、「待遇面の問題」が46.7%で最も高くなっています。

【採用が困難な原因／法人の種類別】

		n	給与面 の問題	待遇面 の問題	精神的 にきつ い	わから ない	無回答
全体		29	44.8	27.6	13.8	6.9	6.9
法人の 種類 別	民間企業	15	20.0	46.7	13.3	6.7	13.3
	社会福祉法人	5	80.0	-	20.0	-	-
	医療法人	4	50.0	-	25.0	25.0	-
	NPO法人	1	100.0	-	-	-	-
	一般社団法人・一 般財団法人	-	-	-	-	-	-
	協同組合（農協・ 生協）	4	75.0	25.0	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-

問7-1-2 採用が困難な要因（記述）

採用が困難な要因を聞いたところ、18人から、延べ22件の回答がありました。

採用困難原因	(件)
収入が少ない、処遇に課題	6
理解されていない、魅力に欠ける、社会的評価低い	6
求人が少ない、広告費高い	4
トラブル多い、精神的にきつい	3
業務が多い、休みが少ない	2
資格取得の負担増、取得者減	1

【主な回答内容】

1. 「収入が少ない、処遇に課題」

- 処遇改善加算で賃金がアップしている介護職に比べ、介護支援専門員はあがらないまま。キャリアアップしても賃金が低くなるのが、なり手不足の大きな要因になっている。
- 人間関係、紹介会社を通じての採用がほとんどだが、処遇に課題がある職員もみられる。

2. 「理解されていない、魅力に欠ける、社会的評価低い」

- 訪問看護という働き方に興味をもたれていない。
- 労働人口が減少しており、他の職種でも人手不足が起きているので、仕方ない面はあるかもしれない。仕事の重要は認識されているが、まだ3Kのイメージがあって社会的評価が低いのかかもしれない。ハローワークでも事務職ならすぐ集まると言われた。

3. 「求人が少ない、広告費高い」

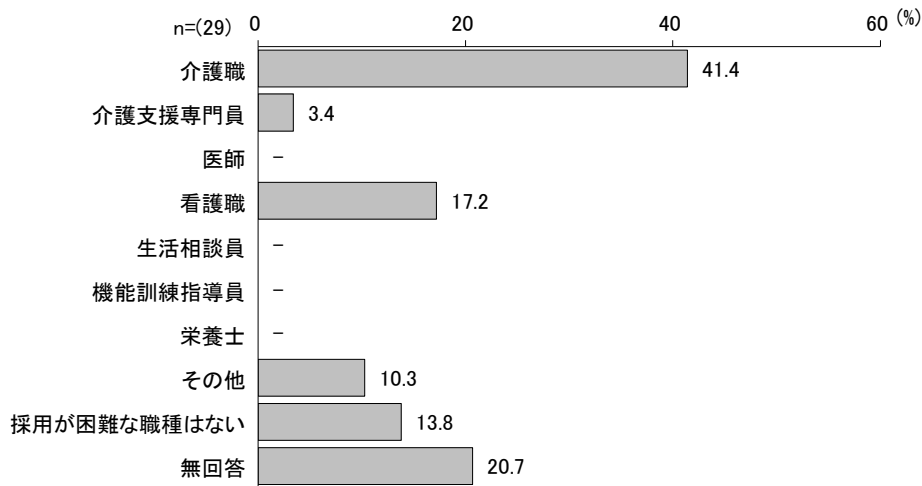
- 募集をかけても応募がこない。

問7-1-3 夜勤及び日勤における採用が困難な職種

①夜勤

採用が困難な職種①夜勤では、「介護職」が41.4%で最も高く、以下、「看護職」が17.2%、「介護支援専門員」が3.4%となっています。一方、「採用が困難な職種はない」は13.8%となっています。

(複数回答)



主とするサービス別では、人数の少ない層が多く、傾向がつかみにくくなっています。

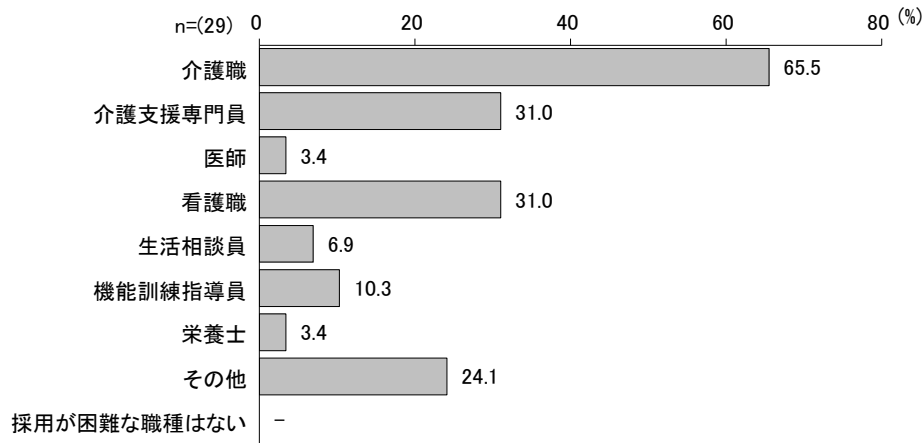
【夜勤及び日勤における採用が困難な職種・夜勤／主とするサービス別】

	n	介護職	介護支援専門員	医師	看護職	生活相談員	機能訓練指導員	栄養士	その他	採用が困難な職種はない	無回答
全体	29	41.4	3.4	-	17.2	-	-	-	10.3	13.8	20.7
主とするサービス別	在宅介護支援	5	20.0	-	20.0	-	-	-	20.0	20.0	40.0
	訪問(入浴)介護	9	66.7	-	-	-	-	-	11.1	11.1	11.1
	訪問看護	4	-	-	-	50.0	-	-	25.0	25.0	-
	居宅療養管理指導	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	通所介護	1	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	短期入所生活介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	福祉用具貸与	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	介護老人福祉施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	介護老人保健施設	1	100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	-
	夜間対応型訪問介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	認知症対応型通所介護	1	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	(看護)小規模多機能型居宅介護	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	認知症対応型共同生活介護	1	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	地域密着型介護老人福祉施設	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	地域密着型通所介護	1	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	介護予防支援	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
介護予防訪問看護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
介護予防認知症対応型共同生活介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
通所型サービス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

②昼勤

昼勤では、「介護職」が65.5%で最も高く、以下、「介護支援専門員」と「看護職」が31.0%となっています。

(複数回答)



主とするサービス別では、人数の少ない層が多く、傾向がつかみにくくなっています。

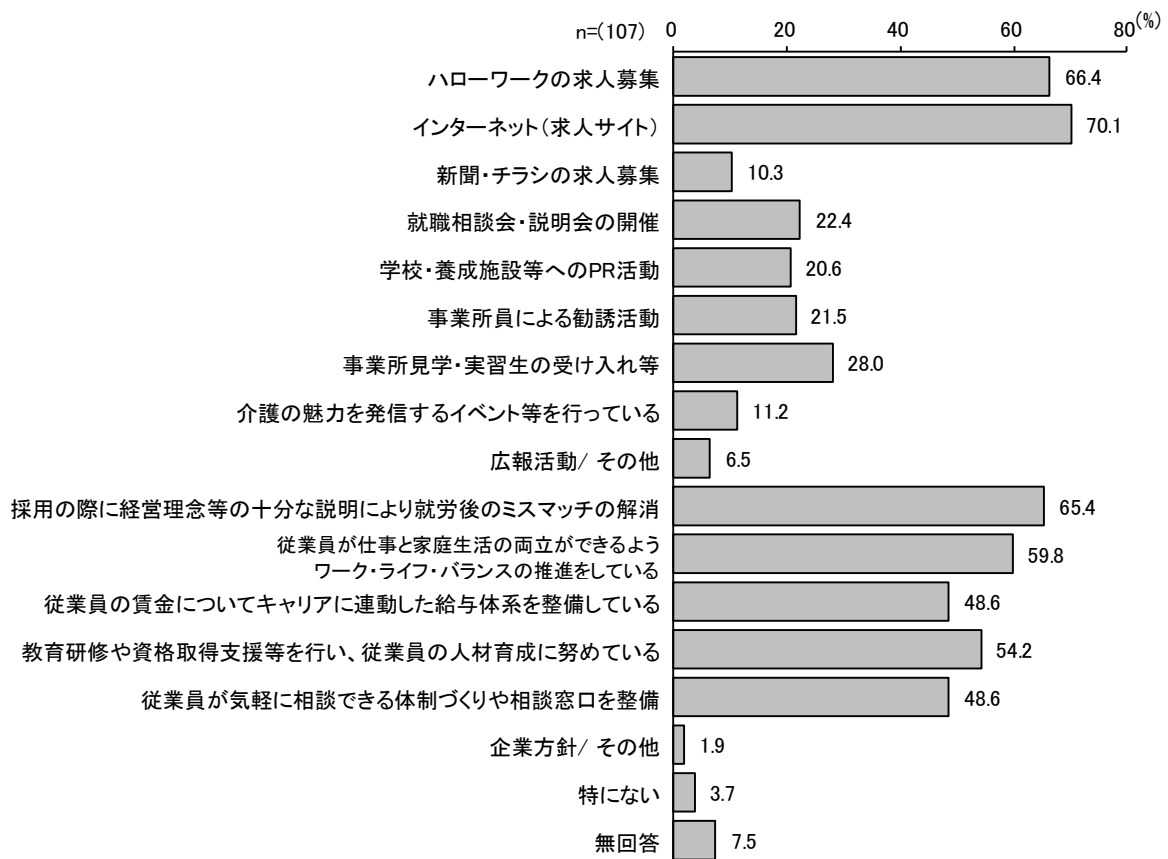
【夜勤及び日勤における採用が困難な職種・昼勤／主とするサービス別】

		(%)										
	n	介護職	介護支援専門員	医師	看護職	生活相談員	機能訓練指導員	栄養士	その他	採用が困難な職種はない	無回答	
全体	29	65.5	31.0	3.4	31.0	6.9	10.3	3.4	24.1	-	-	
主とするサービス別	居宅介護支援	5	40.0	60.0	-	-	-	-	-	20.0	-	-
	訪問(入浴)介護	9	100.0	22.2	-	-	-	-	-	11.1	-	-
	訪問看護	4	-	-	-	100.0	-	25.0	-	-	-	-
	居宅療養管理指導	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	通所介護	1	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
	短期入所生活介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	福祉用具貸与	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	介護老人福祉施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	介護老人保健施設	1	100.0	100.0	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-
	夜間対応型訪問介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	認知症対応型通所介護	1	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
	(看護)小規模多機能型居宅介護	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	認知症対応型共同生活介護	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-
	地域密着型介護老人福祉施設	1	100.0	100.0	-	100.0	-	-	-	100.0	-	-
	地域密着型通所介護	1	-	-	-	-	-	100.0	-	100.0	-	-
	介護予防支援	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
介護予防訪問看護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
介護予防認知症対応型共同生活介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
通所型サービス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

問8 介護人材確保のための取組状況

介護人材を確保するための取組では、「インターネット（求人サイト）」が70.1%で最も高く、以下、「ハローワークの求人募集」が66.4%、「採用の際に経営理念等の十分な説明により就労後のミスマッチの解消」が65.4%、「従業員が仕事と家庭生活の両立ができるようワーク・ライフ・バランスの推進をしている」が59.8%となっています。

(複数回答)



法人の種類別でみると、民間企業は、「インターネット（求人サイト）」が75.4%、社会福祉法人は、「教育研修や資格取得支援等を行い、従業員の人材育成に努めている」が80.0%で最も高くなっています。

従業員過不足状況別では、適当と回答した事業所は、「インターネット（求人サイト）」が76.2%、「従業員が仕事と家庭生活の両立ができるようワーク・ライフ・バランスの推進をしている」が66.7%となっています。

【介護人材確保のための取組状況／法人の種類別、従業員過不足状況別】

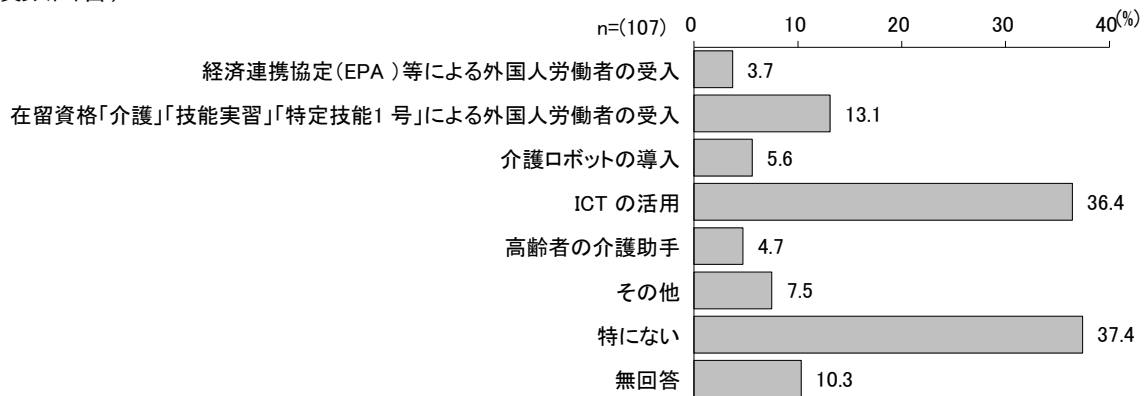
		n	(%)								
			ハローワークの求人募集	インターネット（求人サイト）	新聞・チラシの求人募集	就職相談会・説明会の開催	学校・養成施設等へのPR活動	事業所員による勧誘活動	事業所見学・実習生の受け入れ等	介護の魅力を発信するイベント等を行っている	広報活動／その他
全体		107	66.4	70.1	10.3	22.4	20.6	21.5	28.0	11.2	6.5
法人の種類別	民間企業	61	68.9	75.4	11.5	26.2	19.7	27.9	26.2	6.6	4.9
	社会福祉法人	15	60.0	73.3	20.0	33.3	46.7	20.0	46.7	33.3	6.7
	医療法人	8	87.5	75.0	-	-	-	-	12.5	-	-
	NPO法人	3	66.7	66.7	-	-	-	-	-	-	33.3
	一般社団法人・一般財団法人	6	50.0	50.0	-	-	-	16.7	16.7	33.3	16.7
	協同組合（農協・生協）	5	80.0	60.0	20.0	60.0	40.0	-	100.0	20.0	20.0
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
従業員過不足状況別	大いに不足	14	78.6	78.6	7.1	21.4	7.1	14.3	42.9	-	-
	不足	15	100.0	66.7	6.7	13.3	13.3	33.3	13.3	13.3	6.7
	やや不足	29	75.9	79.3	13.8	24.1	24.1	24.1	31.0	17.2	6.9
	適当	21	47.6	76.2	9.5	28.6	38.1	23.8	38.1	23.8	9.5
	過剰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

		採用の際に経営理念等の十分な説明により就労後のミスマッチの解消	従業員が仕事と家庭生活の両立ができるようワーク・ライフ・バランスの推進をしている	従業員の賃金についてキャリアに連動した給与体系を整備している	教育研修や資格取得支援等を行い、従業員の人材育成に努めている	従業員が気軽に相談できる体制づくりや相談窓口を整備	企業方針／その他	特になし	無回答
全体		65.4	59.8	48.6	54.2	48.6	1.9	3.7	7.5
法人の種類別	民間企業	68.9	57.4	50.8	55.7	47.5	3.3	6.6	1.6
	社会福祉法人	73.3	66.7	66.7	80.0	73.3	-	-	13.3
	医療法人	75.0	87.5	37.5	37.5	12.5	-	-	-
	NPO法人	33.3	66.7	66.7	33.3	33.3	-	-	-
	一般社団法人・一般財団法人	83.3	66.7	16.7	33.3	50.0	-	-	-
	協同組合（農協・生協）	60.0	100.0	80.0	60.0	100.0	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-
従業員過不足状況別	大いに不足	57.1	64.3	42.9	42.9	35.7	-	7.1	-
	不足	80.0	66.7	73.3	60.0	60.0	-	-	-
	やや不足	75.9	72.4	51.7	69.0	55.2	3.4	-	-
	適当	71.4	66.7	42.9	57.1	47.6	4.8	14.3	-
	過剰	-	-	-	-	-	-	-	-

問9 今後取り組みたい人材確保策

今後取り組みたい人材確保策では、「特にない」が37.4%を占めています。一方、具体的な選択肢の中では、「ICT の活用」が36.4%で最も高く、以下、「在留資格「介護」「技能実習」「特定技能1号」による外国人労働者の受入」が13.1%、「介護ロボットの導入」が5.6%となっています。

(複数回答)



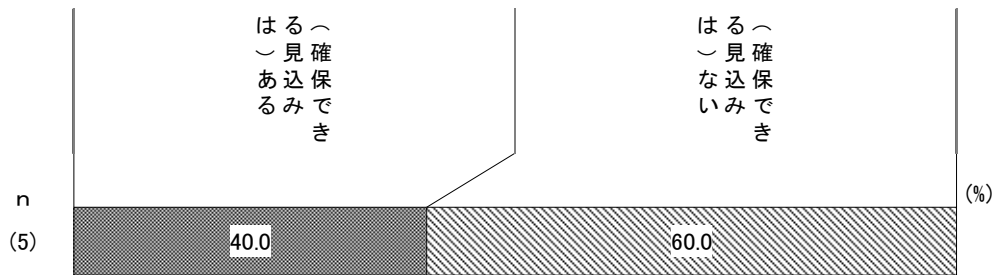
法人の種類別でみると、民間企業、社会福祉法人は、「ICT の活用」がそれぞれ45.9%、46.7%と高くなっています。
従業員過不足状況別では、適当と回答した事業所は、「特にない」が38.1%、「ICT の活用」が28.6%となっています。

【今後取り組みたい人材確保策／法人の種類別、従業員過不足状況別】

		n	経済連携協定(EPA)等による外国人労働者の受入	在留資格「介護」「技能実習」「特定技能1号」による外国人労働者の受入	介護ロボットの導入	ICT の活用	高齢者の介護助手	その他	特にない	無回答
全体		107	3.7	13.1	5.6	36.4	4.7	7.5	37.4	10.3
法人の種類別	民間企業	61	4.9	14.8	4.9	45.9	-	3.3	39.3	4.9
	社会福祉法人	15	6.7	20.0	6.7	46.7	13.3	26.7	13.3	20.0
	医療法人	8	-	-	-	12.5	-	12.5	75.0	-
	NPO法人	3	-	33.3	-	-	33.3	-	33.3	-
	一般社団法人・一般財団法人	6	-	-	16.7	-	-	16.7	66.7	-
	協同組合(農協・生協)	5	-	20.0	-	40.0	40.0	-	20.0	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-
従業員過不足状況別	大いに不足	14	-	7.1	-	50.0	7.1	14.3	35.7	-
	不足	15	-	6.7	-	53.3	6.7	13.3	26.7	-
	やや不足	29	10.3	17.2	6.9	44.8	3.4	10.3	41.4	3.4
	適当	21	-	23.8	9.5	28.6	9.5	4.8	38.1	4.8
	過剰	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問9-1 介護助手の人材確保ができる見込み

介護助手の人材確保ができる見込みでは、「(確保できる見込みは) ない」が60.0%、「(確保できる見込みは) ある」が40.0%となっています。



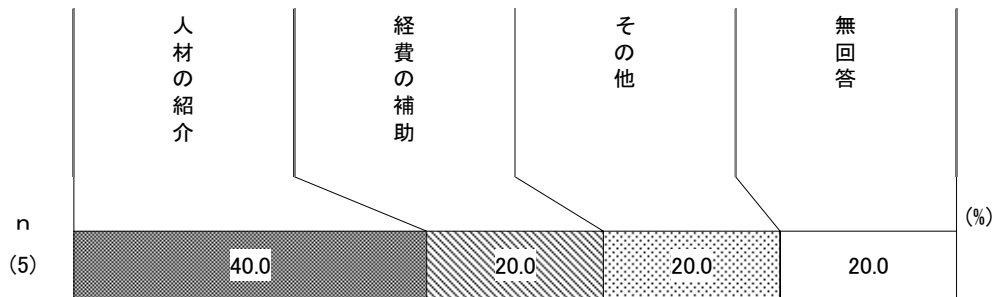
主とするサービス別では、人数の少ない層が多く、傾向がつかみにくくなっています。

【介護助手の人材確保ができる見込み/主とするサービス別】

		n	(確保できる見込みは) ある (%)	(確保できる見込みは) ない (%)	無回答 (%)
全体		5	40.0	60.0	-
主とするサービス別	居宅介護支援	-	-	-	-
	訪問(入浴)介護	1	-	100.0	-
	訪問看護	-	-	-	-
	居宅療養管理指導	-	-	-	-
	通所介護	2	100.0	-	-
	短期入所生活介護	-	-	-	-
	特定施設入居者生活介護	-	-	-	-
	福祉用具貸与	-	-	-	-
	介護老人福祉施設	-	-	-	-
	介護老人保健施設	1	-	100.0	-
	夜間対応型訪問介護	-	-	-	-
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	-	-	-	-
	認知症対応型通所介護	-	-	-	-
	(看護)小規模多機能型居宅介護	1	-	100.0	-
	認知症対応型共同生活介護	-	-	-	-
	地域密着型介護老人福祉施設	-	-	-	-
	地域密着型通所介護	-	-	-	-
	介護予防支援	-	-	-	-
	介護予防訪問看護	-	-	-	-
	介護予防認知症対応型共同生活介護	-	-	-	-
通所型サービス	-	-	-	-	

問9-2 介護助手の人材確保に必要な支援

介護助手の人材確保をするための支援では、「人材の紹介」が40.0%で最も高く、続いて、「経費の補助」が20.0%となっています。



主とするサービス別では、人数の少ない層が多く、傾向がつかみにくくなっています。

【介護助手の人材確保に必要な支援／主とするサービス別】

		n	人材の紹介 (%)	経費の補助 (%)	その他 (%)	無回答 (%)
全体		5	40.0	20.0	20.0	20.0
主とするサービス別	居宅介護支援	-	-	-	-	-
	訪問（入浴）介護	1	100.0	-	-	-
	訪問看護	-	-	-	-	-
	居宅療養管理指導	-	-	-	-	-
	通所介護	2	-	-	50.0	50.0
	短期入所生活介護	-	-	-	-	-
	特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-
	福祉用具貸与	-	-	-	-	-
	介護老人福祉施設	-	-	-	-	-
	介護老人保健施設	1	-	100.0	-	-
	夜間対応型訪問介護	-	-	-	-	-
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	-	-	-	-	-
	認知症対応型通所介護	-	-	-	-	-
	（看護）小規模多機能型居宅介護	1	100.0	-	-	-
	認知症対応型共同生活介護	-	-	-	-	-
	地域密着型介護老人福祉施設	-	-	-	-	-
	地域密着型通所介護	-	-	-	-	-
	介護予防支援	-	-	-	-	-
	介護予防訪問看護	-	-	-	-	-
	介護予防認知症対応型共同生活介護	-	-	-	-	-
通所型サービス	-	-	-	-	-	

問9-3 介護助手に期待する役割（記述）

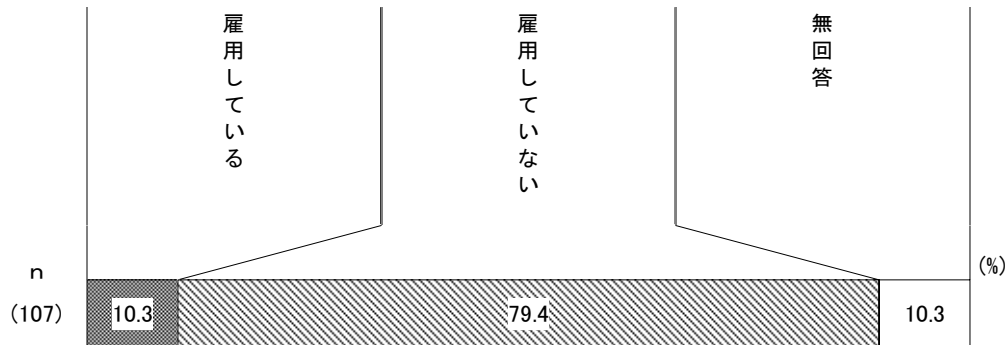
介護助手に期待する役割に関して、回答は1件でした。

- レクリエーションの補助など、見守りが必要な利用者の話し相手等していただければ、介助が必要な利用者へ職員が関わることができる。

3. 人材確保（外国人人材）

問10 来日10年以内の外国人雇用状況

外国人雇用状況では、「雇用していない」が79.4%、「雇用している」が10.3%となっています。



主とするサービス別でみると、居宅介護支援、訪問（入浴）介護、訪問看護いずれも、「雇用していない」がそれぞれ100.0%、90.0%、89.5%となっています。

【来日10年以内の外国人雇用状況／主とするサービス別】

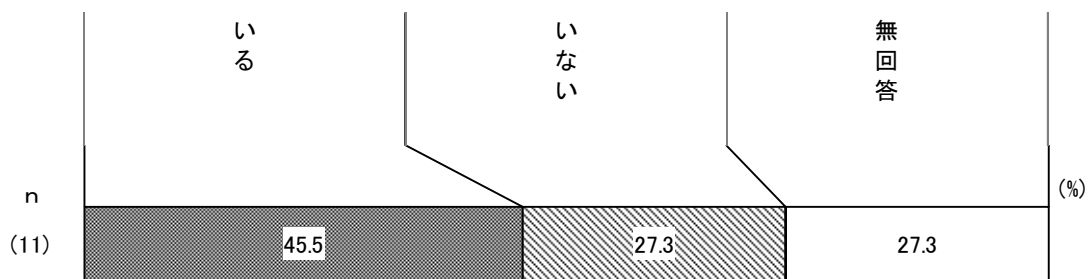
		n	(%)		
			雇用して いる	雇用して いない	無回答
全 体		107	10.3	79.4	10.3
主 と す る サ ー ビ ス 別	居宅介護支援	16	-	100.0	-
	訪問（入浴）介護	20	5.0	90.0	5.0
	訪問看護	19	-	89.5	10.5
	居宅療養管理指導	1	-	100.0	-
	通所介護	10	-	90.0	10.0
	短期入所生活介護	1	100.0	-	-
	特定施設入居者生活 介護	2	-	100.0	-
	福祉用具貸与	2	-	100.0	-
	介護老人福祉施設	4	25.0	-	75.0
	介護老人保健施設	2	100.0	-	-
	夜間対応型訪問介護	1	-	100.0	-
	定期巡回・随時対応 型訪問介護看護	1	100.0	-	-
	認知症対応型通所介 護	3	33.3	33.3	33.3
	（看護）小規模多機 能型居宅介護	4	25.0	75.0	-
	認知症対応型共同生 活介護	4	50.0	25.0	25.0
	地域密着型介護老人 福祉施設	2	-	50.0	50.0
	地域密着型通所介護	6	-	100.0	-
	介護予防支援	1	-	100.0	-
	介護予防訪問看護	1	-	100.0	-
	介護予防認知症対応 型共同生活介護	1	100.0	-	-
通所型サービス	1	-	100.0	-	

問10-1 雇用している外国人の国籍と人数

雇用している外国人の国籍に関しては、15人の回答があり、「フィリピン」が5件、「ベトナム」が4件、「ミャンマー」が3件、「台湾」、「ネパール」、「中国」が各1件となっています。

問10-2 『経済連携協定（EPA）』等又は『在留資格「介護」「技能実習」「特定技能1号又は2号』により受け入れている職員の有無

EPA又は在留資格により受け入れている職員では、「いる」が45.5%、「いない」が27.3%となっています。



【EPAの人数】

在留資格「介護」「技能実習」「特定技能1号」の人数 (%)

	n	いる	いない	無回答
全体	11	45.5	27.3	27.3

(1) EPAで受け入れている人数

	n	平均	最小値	最大値
全体	3	3.7	0.0	10.0

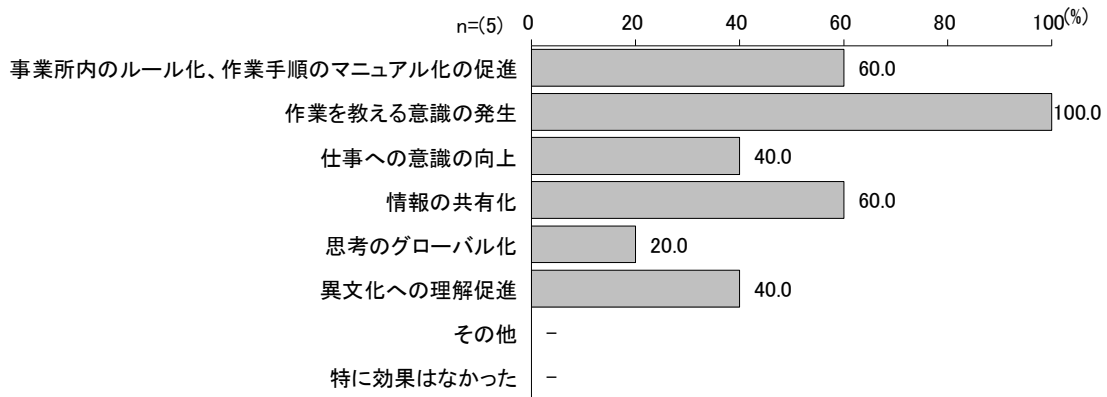
(2) 在留資格で受け入れている人数

	n	平均	最小値	最大値
全体	3	2.3	1.0	4.0

問10-2-1 受け入れた効果

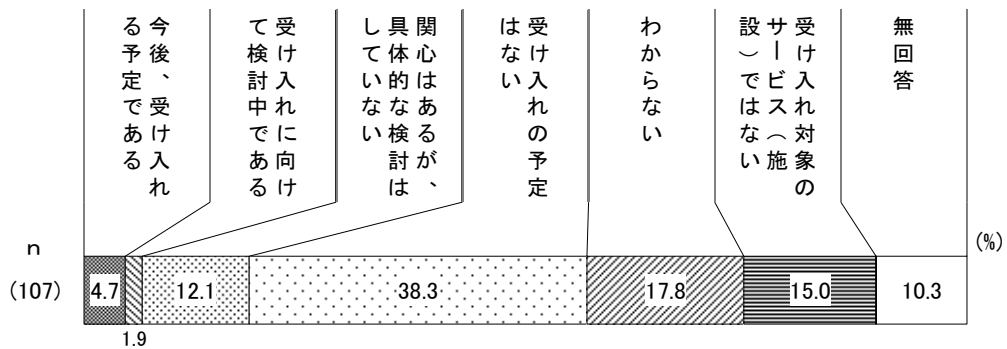
EPA又は在留資格により人材を受け入れた効果では、「作業を教える意識の発生」が100.0%で最も高く、以下、「事業所内のルール化、作業手順のマニュアル化の促進」と「情報の共有化」が60.0%、「仕事への意識の向上」と「異文化への理解促進」が40.0%となっています。

(複数回答)



問11 今後の外国人人材の受け入れ予定

EPA又は在留資格による今後の外国人人材の受け入れ予定では、「受け入れの予定はない」が38.3%で最も高く、以下、「わからない」が17.8%、「受け入れ対象のサービス（施設）ではない」が15.0%、「関心はあるが、具体的な検討はしていない」が12.1%となっています。



第7章 介護サービス事業者調査

主とするサービス別でみると、居宅介護支援、訪問（入浴）介護、訪問看護いずれも、「受け入れの予定がない」がそれぞれ31.3%、45.0%、42.1%と高くなっています。

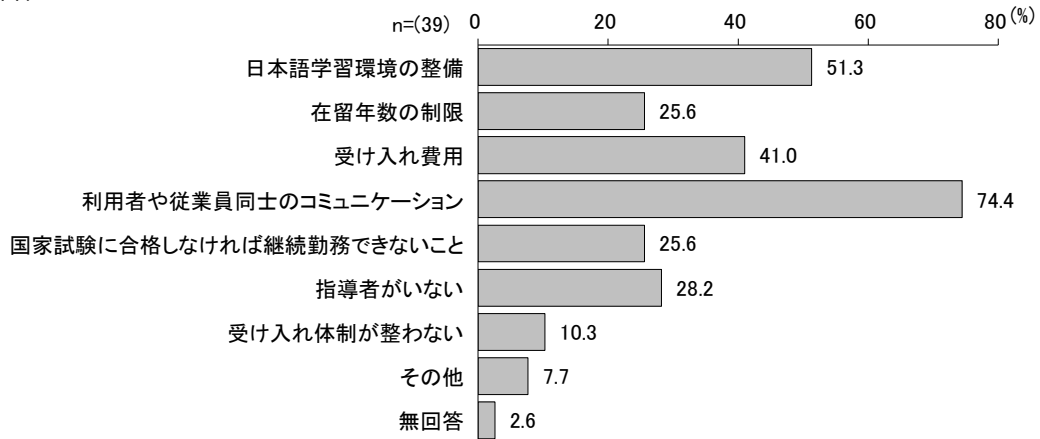
【今後の外国人人材の受け入れ予定／主とするサービス別】

		n	今後、受け入れる予定である	受け入れに向けて検討中である	関心はあるが、具体的な検討はしていない	受け入れの予定はない	わからない	受け入れ対象のサービス（施設）ではない	無回答
全体		107	4.7	1.9	12.1	38.3	17.8	15.0	10.3
主とするサービス別	居宅介護支援	16	6.3	-	-	31.3	25.0	31.3	6.3
	訪問（入浴）介護	20	-	-	25.0	45.0	15.0	15.0	-
	訪問看護	19	-	-	5.3	42.1	15.8	26.3	10.5
	居宅療養管理指導	1	-	-	-	100.0	-	-	-
	通所介護	10	-	-	20.0	50.0	30.0	-	-
	短期入所生活介護	1	100.0	-	-	-	-	-	-
	特定施設入居者生活介護	2	-	-	-	-	50.0	50.0	-
	福祉用具貸与	2	-	-	-	50.0	-	50.0	-
	介護老人福祉施設	4	25.0	-	-	-	-	-	75.0
	介護老人保健施設	2	-	-	50.0	50.0	-	-	-
	夜間対応型訪問介護	1	-	-	-	-	-	100.0	-
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	-	-	-	-	100.0	-	-
	認知症対応型通所介護	3	-	-	-	-	66.7	-	33.3
	（看護）小規模多機能型居宅介護	4	25.0	25.0	25.0	-	25.0	-	-
	認知症対応型共同生活介護	4	-	25.0	25.0	25.0	-	-	25.0
	地域密着型介護老人福祉施設	2	-	-	-	-	-	-	100.0
	地域密着型通所介護	6	16.7	-	16.7	50.0	-	-	16.7
	介護予防支援	1	-	-	-	100.0	-	-	-
	介護予防訪問看護	1	-	-	-	100.0	-	-	-
	介護予防認知症対応型共同生活介護	1	-	-	-	100.0	-	-	-
通所型サービス	1	-	-	-	100.0	-	-	-	

問11-1 受け入れる際の課題

受け入れる際の課題では、「利用者や従業員同士のコミュニケーション」が74.4%で最も高く、以下、「日本語学習環境の整備」が51.3%、「受け入れ費用」が41.0%、「指導者がいない」が28.2%となっています。

(複数回答)



主とするサービス別では、人数の少ない層が多く、傾向がつかみにくくなっています。

【受け入れる際の課題／主とするサービス別】

		n	日本語学習環境の整備	在留年数の制限	受け入れ費用	利用者や従業員同士のコミュニケーション	国家試験に合格しなければ継続勤務できないこと	指導者がいない	受け入れ体制が整わない	その他	無回答
全体		39	51.3	25.6	41.0	74.4	25.6	28.2	10.3	7.7	2.6
主とするサービス別	居宅介護支援	5	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	40.0	-	-	20.0
	訪問(入浴)介護	8	50.0	-	25.0	87.5	25.0	25.0	12.5	12.5	-
	訪問看護	4	25.0	25.0	50.0	75.0	75.0	75.0	25.0	25.0	-
	居宅療養管理指導	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	通所介護	5	80.0	60.0	80.0	80.0	20.0	20.0	20.0	20.0	-
	短期入所生活介護	1	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	特定施設入居者生活介護	1	-	-	-	100.0	-	100.0	-	-	-
	福祉用具貸与	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	介護老人福祉施設	1	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	-
	介護老人保健施設	1	100.0	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-
	夜間対応型訪問介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-
	認知症対応型通所介護	2	100.0	50.0	100.0	100.0	-	50.0	50.0	-	-
	(看護)小規模多機能型居宅介護	4	50.0	-	25.0	100.0	50.0	25.0	-	-	-
	認知症対応型共同生活介護	2	50.0	50.0	-	50.0	50.0	-	-	-	-
	地域密着型介護老人福祉施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	地域密着型通所介護	2	100.0	-	-	50.0	-	-	-	-	-
介護予防支援	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
介護予防訪問看護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
介護予防認知症対応型共同生活介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
通所型サービス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

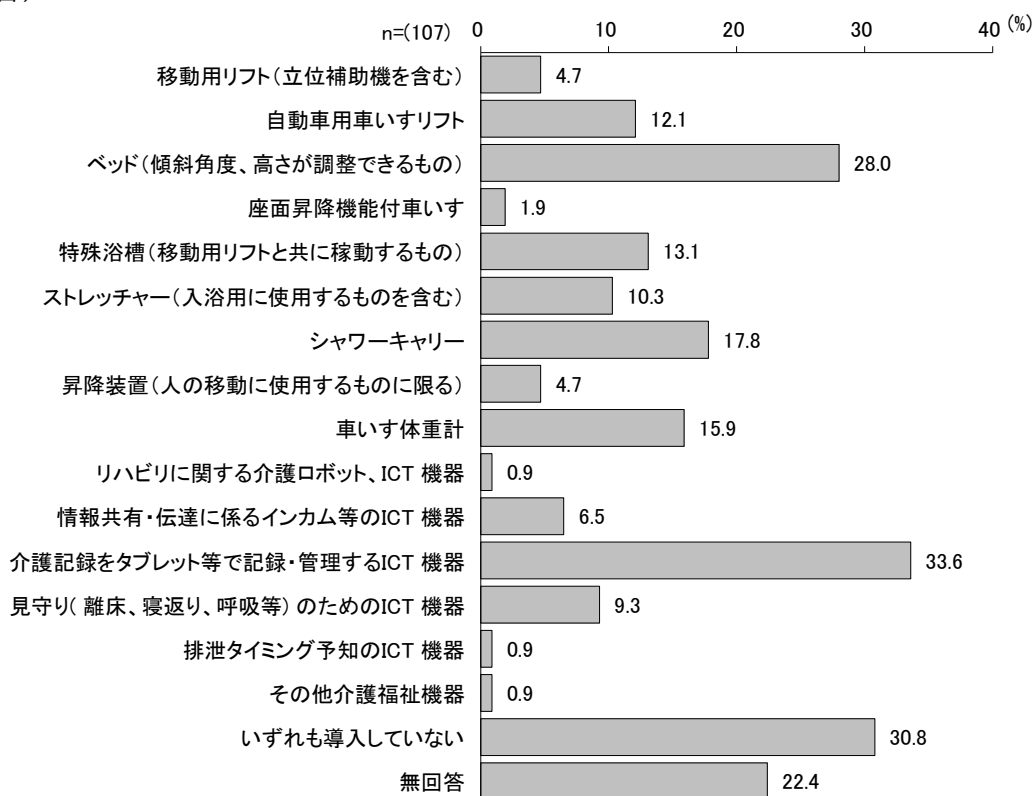
4. 人材確保（職場環境）

問12 介護福祉機器の導入状況や効果

①導入しているもの

介護福祉機器の導入状況（導入しているもの）では、「介護記録をタブレット等で記録・管理するICT機器」が33.6%で最も高く、以下、「ベッド（傾斜角度、高さが調整できるもの）」が28.0%、「シャワーキャリー」が17.8%、「車いす体重計」が15.9%となっています。一方、「いずれも導入していない」は30.8%となっています。

（複数回答）



主とするサービス別で見ると、居宅介護支援、訪問看護は、「いずれも導入していない」がそれぞれ43.8%、42.1%、訪問（入浴）介護は、「介護記録をタブレット等で記録・管理するICT機器」が40.0%で最も高くなっています。

【介護福祉機器の導入状況や効果・導入しているもの／主とするサービス別】

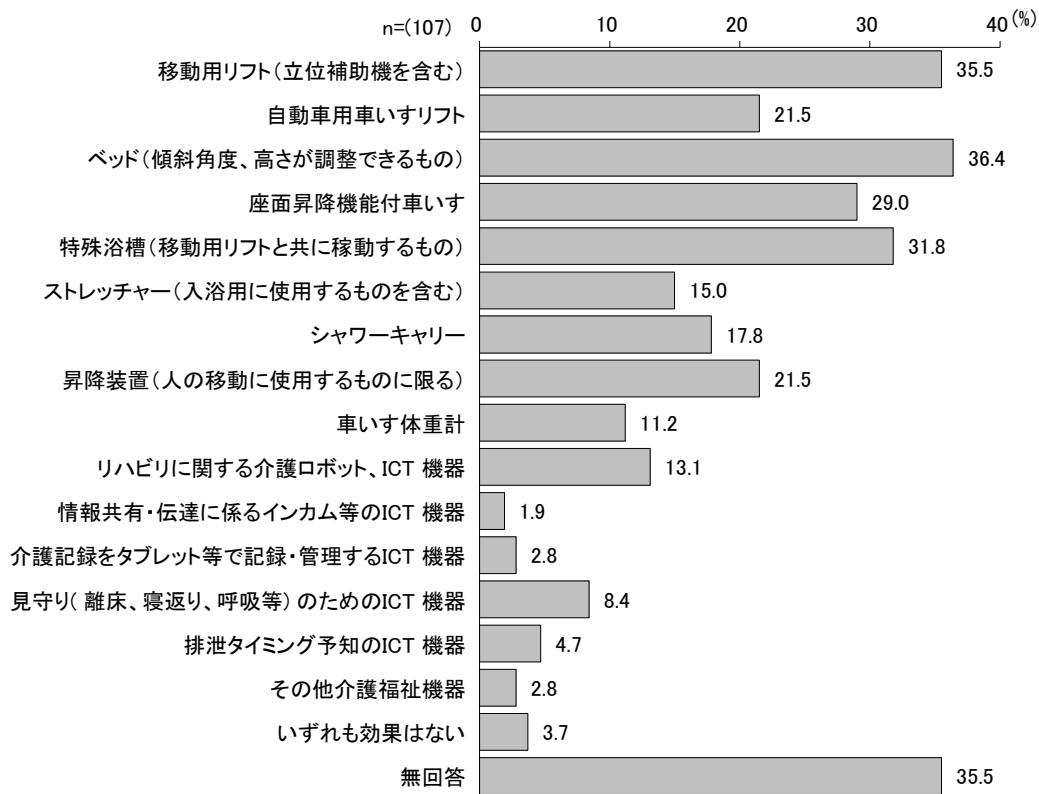
		(%)										
		n	移動用 リフト (立位 補助機 を含む)	自動車 用車い すリフ ト	ベッド (傾斜 角度、 高さ が調整 できる もの)	座面昇 降機能 付車い す	特殊浴 槽(移 動用リ フトと 共に稼 動する もの)	スト レッ チャー (入浴 用に使 用する ものを 含む)	シャ ワー キャ リー	昇降装 置(人 の移動 に使用 するも のに限 る)	車いす 体重計	リハビリ に関す る介護 ロボッ ト、ICT 機器
全体		107	4.7	12.1	28.0	1.9	13.1	10.3	17.8	4.7	15.9	0.9
主とするサービス別	在宅介護支援	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	訪問(入浴)介護	20	50.0	5.0	35.0	5.0	5.0	5.0	20.0	15.0	-	-
	訪問看護	19	-	-	10.5	-	-	-	-	-	-	-
	在宅療養管理指導	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	通所介護	10	-	60.0	70.0	-	30.0	20.0	50.0	-	70.0	-
	短期入所生活介護	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	特定施設入居者生活介護	2	-	-	-	-	-	50.0	50.0	-	50.0	-
	福祉用具貸与	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	介護老人福祉施設	4	-	25.0	25.0	-	25.0	25.0	25.0	-	25.0	-
	介護老人保健施設	2	50.0	50.0	100.0	-	100.0	50.0	50.0	-	100.0	-
	夜間対応型訪問介護	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	認知症対応型通所介護	3	-	66.7	66.7	-	66.7	66.7	66.7	-	66.7	-
	(看護)小規模多機能型居宅介護	4	50.0	-	100.0	-	75.0	25.0	75.0	25.0	25.0	-
	認知症対応型共同生活介護	4	-	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-
	地域密着型介護老人福祉施設	2	-	50.0	50.0	-	50.0	50.0	50.0	-	50.0	-
	地域密着型通所介護	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	介護予防支援	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
介護予防訪問看護	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
介護予防認知症対応型共同生活介護	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	
通所型サービス	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

		情報共有・伝達に係るインカム等のICT機器	介護記録をタブレット等で記録・管理するICT機器	見守り(離床、寝返り、呼吸等)のためのICT機器	排泄タイミン告知のICT機器	その他介護福祉機器	いずれも導入していない	無回答
全体		6.5	33.6	9.3	0.9	0.9	30.8	22.4
主とするサービス別	在宅介護支援	6.3	18.8	-	-	-	43.8	31.3
	訪問(入浴)介護	10.0	40.0	15.0	-	-	35.0	10.0
	訪問看護	-	21.1	-	-	-	42.1	26.3
	在宅療養管理指導	-	-	-	-	-	-	100.0
	通所介護	-	70.0	-	-	-	10.0	-
	短期入所生活介護	-	-	-	-	-	-	-
	特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-	50.0	-
	福祉用具貸与	-	-	-	-	-	100.0	-
	介護老人福祉施設	-	25.0	-	-	-	-	75.0
	介護老人保健施設	50.0	50.0	100.0	-	50.0	-	-
	夜間対応型訪問介護	-	100.0	-	-	-	-	-
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	-	-	-	-	-	100.0	-
	認知症対応型通所介護	-	66.7	-	-	-	-	33.3
	(看護)小規模多機能型居宅介護	25.0	75.0	75.0	-	-	-	-
	認知症対応型共同生活介護	-	25.0	-	-	-	25.0	25.0
	地域密着型介護老人福祉施設	-	50.0	50.0	-	-	-	50.0
	地域密着型通所介護	-	16.7	-	-	-	33.3	50.0
	介護予防支援	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	-
介護予防訪問看護	-	100.0	-	-	-	-	-	
介護予防認知症対応型共同生活介護	-	-	-	-	-	-	-	
通所型サービス	-	-	-	-	-	100.0	-	

②身体的負担軽減に効果があると思われるもの

介護福祉機器の導入状況（身体的負担軽減に効果があると思われるもの）では、「ベッド（傾斜角度、高さが調整できるもの）」が36.4%で最も高く、以下、「移動用リフト（立位補助機を含む）」が35.5%、「特殊浴槽（移動用リフトと共に稼動するもの）」が31.8%、「座面昇降機能付車いす」が29.0%となっています。

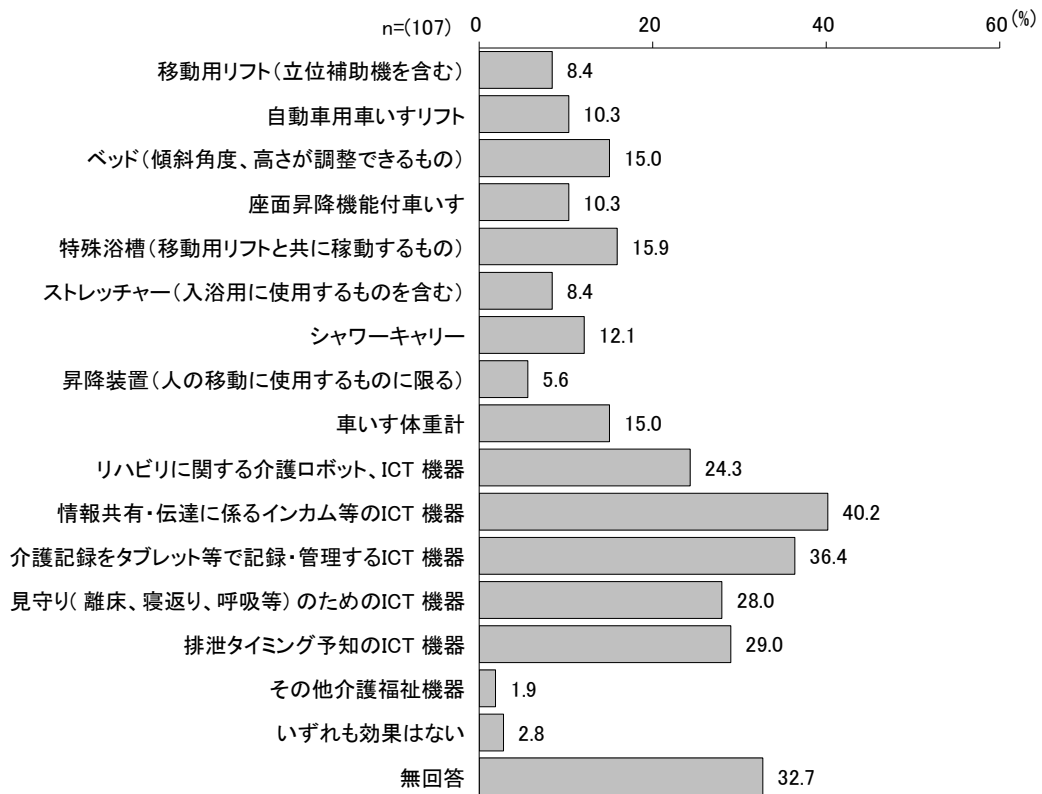
（複数回答）



③業務効率に効果があると思われるもの

介護福祉機器の導入状況（業務効率に効果があると思われるもの）では、「情報共有・伝達に係るインカム等のICT機器」が40.2%で最も高く、以下、「介護記録をタブレット等で記録・管理するICT機器」が36.4%、「排泄タイミング予知のICT機器」が29.0%、「見守り（離床、寝返り、呼吸等）のためのICT機器」が28.0%となっています。

（複数回答）



主とするサービス別でみると、居宅介護支援、訪問看護は、「情報共有・伝達に係るインカム等のICT機器」がそれぞれ37.5%、42.1%、訪問（入浴）介護は、「介護記録をタブレット等で記録・管理するICT機器」が60.0%で最も高くなっています。

【介護福祉機器の導入状況や効果・業務効率に効果があると思われるもの／主とするサービス別】

(%)

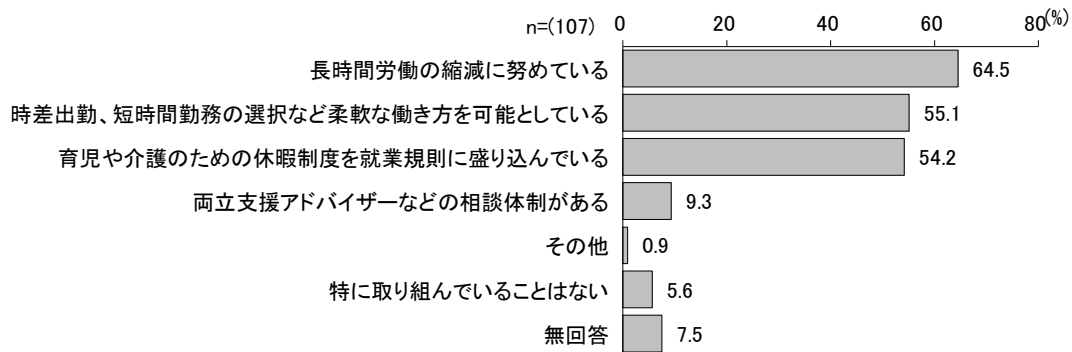
	n	移動用 リフト (立位 補助機 を含む)	自動車 用車い すリフ ト	ベッド (傾斜 角度、 高さ が調整 できる もの)	座面昇 降機能 付車い す	特殊浴 槽(移 動用リ フトと 共に稼 動する もの)	スト レッ チャー (入浴 用に使 用する ものを 含む)	シャ ワー キャ リー	昇降装 置(人 の移動 に使用 するも のに限 る)	車いす 体重計	リハビ リに関 する介 護ロボ ット、 ICT 機器
全体	107	8.4	10.3	15.0	10.3	15.9	8.4	12.1	5.6	15.0	24.3
主とするサービス別	居宅介護支援	16	-	6.3	-	-	-	-	-	12.5	25.0
	訪問(入浴)介護	20	5.0	10.0	30.0	-	20.0	10.0	10.0	5.0	15.0
	訪問看護	19	15.8	5.3	26.3	21.1	21.1	15.8	26.3	15.8	21.1
	居宅療養管理指導	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	通所介護	10	-	20.0	10.0	10.0	40.0	10.0	20.0	10.0	20.0
	短期入所生活介護	1	-	-	-	-	-	100.0	100.0	-	-
	特定施設入居者生活介護	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	福祉用具貸与	2	-	50.0	-	50.0	-	50.0	-	-	50.0
	介護老人福祉施設	4	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0
	介護老人保健施設	2	-	-	-	50.0	-	-	-	-	50.0
	夜間対応型訪問介護	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	認知症対応型通所介護	3	-	-	-	-	-	-	-	-	66.7
	(看護)小規模多機能型居宅介護	4	-	-	25.0	-	25.0	-	25.0	-	25.0
	認知症対応型共同生活介護	4	-	-	-	-	25.0	-	-	50.0	-
	地域密着型介護老人福祉施設	2	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	地域密着型通所介護	6	-	16.7	-	16.7	-	-	16.7	-	16.7
	介護予防支援	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-
介護予防訪問看護	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	100.0	
介護予防認知症対応型共同生活介護	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
通所型サービス	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	

	情報共有・伝達に係るインカム等のICT機器	介護記録をタブレット等で記録・管理するICT機器	見守り(離床、寝返り、呼吸等)のためのICT機器	排泄タイミング予知のICT機器	その他介護福祉機器	いずれも効果はない	無回答
全体	40.2	36.4	28.0	29.0	1.9	2.8	32.7
主とするサービス別	居宅介護支援	37.5	25.0	31.3	31.3	6.3	62.5
	訪問(入浴)介護	40.0	60.0	15.0	25.0	-	15.0
	訪問看護	42.1	26.3	26.3	26.3	-	5.3
	居宅療養管理指導	-	-	-	-	-	100.0
	通所介護	50.0	50.0	40.0	60.0	10.0	10.0
	短期入所生活介護	100.0	100.0	100.0	-	-	-
	特定施設入居者生活介護	-	-	50.0	-	-	50.0
	福祉用具貸与	-	50.0	-	-	50.0	-
	介護老人福祉施設	25.0	-	25.0	25.0	-	75.0
	介護老人保健施設	100.0	100.0	50.0	50.0	-	-
	夜間対応型訪問介護	-	-	-	-	-	100.0
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	-	-	-	-	-	100.0
	認知症対応型通所介護	66.7	33.3	66.7	66.7	-	33.3
	(看護)小規模多機能型居宅介護	75.0	75.0	50.0	25.0	-	-
	認知症対応型共同生活介護	-	25.0	25.0	-	-	25.0
	地域密着型介護老人福祉施設	50.0	50.0	-	50.0	-	50.0
	地域密着型通所介護	33.3	-	-	16.7	-	50.0
	介護予防支援	-	-	-	-	-	-
介護予防訪問看護	100.0	-	100.0	-	-	-	
介護予防認知症対応型共同生活介護	100.0	100.0	-	100.0	-	-	
通所型サービス	-	-	-	-	-	-	

問13 ワーク・ライフ・バランス推進への取組

ワーク・ライフ・バランスの推進の取組状況では、「長時間労働の縮減に努めている」が64.5%で最も高く、以下、「時差出勤、短時間勤務の選択など柔軟な働き方を可能としている」が55.1%、「育児や介護のための休暇制度を就業規則に盛り込んでいる」が54.2%、「両立支援アドバイザーなどの相談体制がある」が9.3%となっています。

(複数回答)



法人の種類別でみると、社会福祉法人は、「長時間労働の縮減に努めている」が80.0%と高くなっています。
従業員過不足状況別では、適当と回答した事業所は、「育児や介護のための休暇制度を就業規則に盛り込んでいる」が66.7%と高くなっています。

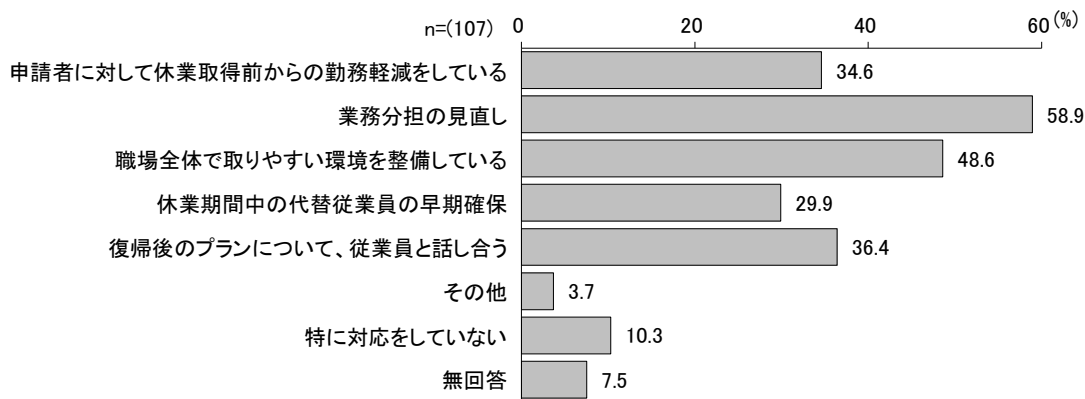
【ワーク・ライフ・バランス推進への取組／法人の種類別、従業員過不足状況別】

		n	長時間労働の縮減に努めている	時差出勤、短時間勤務の選択など柔軟な働き方を可能としている	育児や介護のための休暇制度を就業規則に盛り込んでいる	両立支援アドバイザーなどの相談体制がある	その他	特に取り組んでいることはない	無回答
全体		107	64.5	55.1	54.2	9.3	0.9	5.6	7.5
法人の種類別	民間企業	61	62.3	62.3	55.7	1.6	-	6.6	1.6
	社会福祉法人	15	80.0	60.0	73.3	40.0	6.7	-	13.3
	医療法人	8	87.5	25.0	50.0	-	-	-	-
	NPO法人	3	33.3	33.3	66.7	-	-	-	-
	一般社団法人・一般財団法人	6	66.7	66.7	33.3	16.7	-	-	-
	協同組合（農協・生協）	5	100.0	60.0	80.0	20.0	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-
従業員過不足状況別	大いに不足	14	64.3	50.0	50.0	7.1	-	14.3	-
	不足	15	66.7	66.7	80.0	6.7	-	-	-
	やや不足	29	79.3	55.2	51.7	10.3	3.4	-	-
	適当	21	57.1	61.9	66.7	9.5	-	14.3	-
	過剰	-	-	-	-	-	-	-	-

問14 育児休業・介護休業の取得申請があった場合の対応状況

育児休業・介護休業の取得申請があった場合の事務所としての対応では、「業務分担の見直し」が58.9%で最も高く、以下、「職場全体で取りやすい環境を整備している」が48.6%、「復帰後のプランについて、従業員と話し合う」が36.4%、「申請者に対して休業取得前からの勤務軽減をしている」が34.6%となっています。

(複数回答)



法人の種類別でみると、民間企業は、「業務分担の見直し」が63.9%、社会福祉法人は、「職場全体で取りやすい環境を整備している」と「休業期間中の代替従業員の早期確保」が66.7%で最も高くなっています。

ワーク・ライフ・バランス取組別でみると、取組んでいる事業所では、「業務分担の見直し」が65.6%となっています。

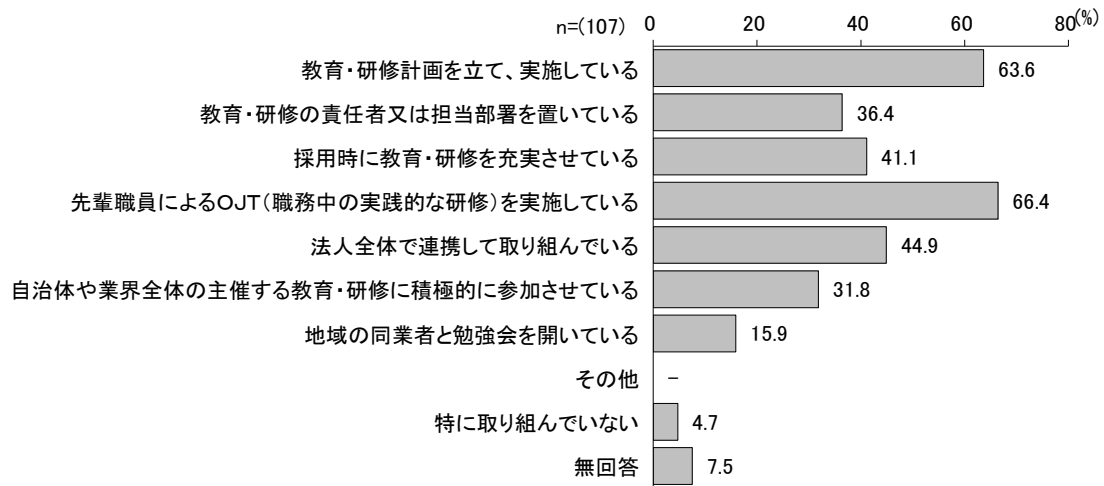
【育児休業・介護休業の取得申請があった場合の対応状況
／法人の種類別、ワーク・ライフ・バランス取組別】

	n	(%)								
		申請者に対して休業取得前からの勤務軽減をしている	業務分担の見直し	職場全体で取りやすい環境を整備している	休業期間中の代替従業員の早期確保	復帰後のプランについて、従業員と話し合う	その他	特に対応をしていない	無回答	
全体	107	34.6	58.9	48.6	29.9	36.4	3.7	10.3	7.5	
法人の種類別	民間企業	61	41.0	63.9	42.6	24.6	32.8	6.6	9.8	1.6
	社会福祉法人	15	46.7	60.0	66.7	66.7	53.3	-	6.7	13.3
	医療法人	8	37.5	75.0	62.5	37.5	50.0	-	-	-
	NPO法人	3	-	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-
	一般社団法人・一般財団法人	6	-	16.7	50.0	-	33.3	-	50.0	-
	協同組合（農協・生協）	5	20.0	100.0	100.0	20.0	40.0	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-
取組別	取組んでいる	93	39.8	65.6	55.9	33.3	39.8	4.3	8.6	-
	取組んでいない	6	-	33.3	-	16.7	33.3	-	50.0	-

問15 人材育成の取組状況

人材育成のための取組状況では、「先輩職員によるOJT（職務中の実践的な研修）を実施している」が66.4%で最も高く、以下、「教育・研修計画を立て、実施している」が63.6%、「法人全体で連携して取り組んでいる」が44.9%、「採用時に教育・研修を充実させている」が41.1%となっています。

（複数回答）



第7章 介護サービス事業者調査

主とするサービス別でみると、訪問（入浴）介護は、「先輩職員によるOJT（職務中の実践的な研修）を実施している」が75.0%、訪問看護は、「教育・研修計画を立て、実施している」と「先輩職員によるOJT（職務中の実践的な研修）を実施している」が68.4%、居宅介護支援は、「先輩職員によるOJT（職務中の実践的な研修）を実施している」と「自治体や業界全体の主催する教育・研修に積極的に参加させている」が62.5%で最も高くなっています。

法人の種類別でみると、民間企業、社会福祉法人は、「先輩職員によるOJT（職務中の実践的な研修）を実施している」がそれぞれ68.9%、80.0%で最も高くなっています。

従業員過不足状況別では、適当と回答した事業所は、「教育・研修計画を立て、実施している」が76.2%、「先輩職員によるOJT（職務中の実践的な研修）を実施している」となっています」が71.4%となっています。

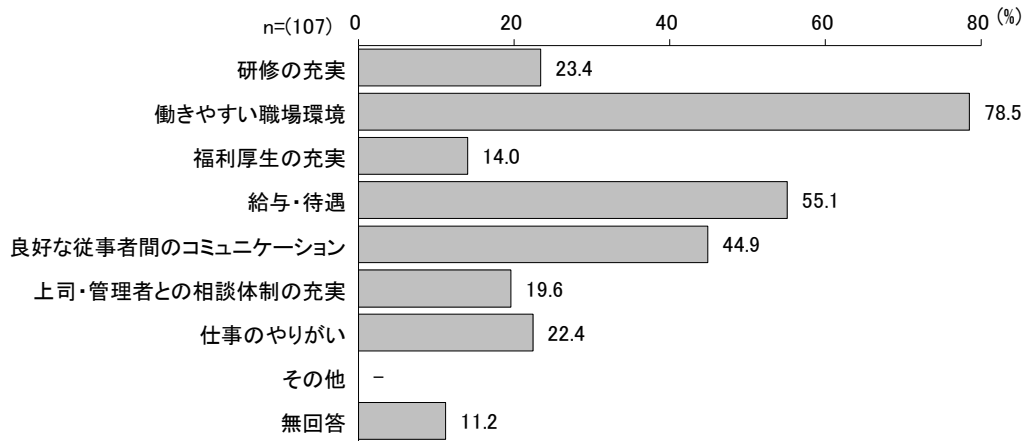
【人材育成の取組状況／主とするサービス別、法人の種類別、従業員過不足状況別】

		(%)										
	n	教育・研修計画を立て、実施している	教育・研修の責任者又は担当部署を置いている	採用時に教育・研修を実施させている	先輩職員によるOJT（職務中の実践的な研修）を実施している	法人全体で連携して取り組んでいる	自治体や業界全体の主催する教育・研修に積極的に参加させている	地域の同業者と勉強会を開いている	その他	特に取り組んでいない	無回答	
全体	107	63.6	36.4	41.1	66.4	44.9	31.8	15.9	-	4.7	7.5	
主とするサービス別	居宅介護支援	16	50.0	31.3	37.5	62.5	31.3	62.5	43.8	-	6.3	
	訪問（入浴）介護	20	65.0	35.0	65.0	75.0	45.0	35.0	5.0	-	5.0	
	訪問看護	19	68.4	42.1	36.8	68.4	42.1	42.1	21.1	-	10.5	
	居宅療養管理指導	1	-	-	-	100.0	-	-	100.0	-	-	
	通所介護	10	80.0	40.0	30.0	70.0	60.0	10.0	10.0	-	-	
	短期入所生活介護	1	100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	-	
	特定施設入居者生活介護	2	50.0	50.0	50.0	100.0	100.0	-	-	-	-	
	福祉用具貸与	2	100.0	-	-	-	-	50.0	-	-	-	
	介護老人福祉施設	4	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	-	-	75.0	
	介護老人保健施設	2	100.0	50.0	-	100.0	50.0	-	-	-	-	
	夜間対応型訪問介護	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	
	認知症対応型通所介護	3	66.7	66.7	33.3	66.7	66.7	33.3	-	-	33.3	
	（看護）小規模多機能型居宅介護	4	100.0	50.0	100.0	75.0	100.0	25.0	-	-	-	
	認知症対応型共同生活介護	4	25.0	-	-	50.0	25.0	-	-	-	25.0	
	地域密着型介護老人福祉施設	2	50.0	-	50.0	50.0	50.0	-	-	-	50.0	
	地域密着型通所介護	6	50.0	33.3	33.3	33.3	33.3	-	-	33.3	-	
	介護予防支援	1	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	
	介護予防訪問看護	1	-	-	-	100.0	100.0	-	-	-	-	
介護予防認知症対応型共同生活介護	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-		
通所型サービス	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-		
法人の種類別	民間企業	61	67.2	37.7	47.5	68.9	45.9	32.8	14.8	-	4.9	
	社会福祉法人	15	73.3	53.3	46.7	80.0	66.7	33.3	13.3	-	13.3	
	医療法人	8	50.0	12.5	12.5	75.0	37.5	12.5	25.0	-	-	
	NPO法人	3	33.3	-	-	66.7	-	-	-	33.3	-	
	一般社団法人・一般財団法人	6	66.7	16.7	50.0	33.3	33.3	50.0	33.3	-	-	
	協同組合（農協・生協）	5	100.0	80.0	60.0	80.0	60.0	80.0	40.0	-	-	
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
従業員過不足状況別	大いに不足	14	78.6	50.0	57.1	92.9	28.6	57.1	35.7	-	-	
	不足	15	73.3	53.3	33.3	80.0	40.0	40.0	6.7	-	-	
	やや不足	29	69.0	34.5	48.3	65.5	62.1	24.1	13.8	-	6.9	
	適当	21	76.2	33.3	42.9	71.4	47.6	38.1	19.0	-	9.5	
	過剰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

問16 人材の育成・定着のために有効だと思うポイント

人材の育成・定着のために有効なポイントでは、「働きやすい職場環境」が78.5%で最も高く、以下、「給与・待遇」が55.1%、「良好な従事者間のコミュニケーション」が44.9%、「研修の充実」が23.4%となっています。

(複数回答)



第7章 介護サービス事業者調査

主とするサービス別でみると、居宅介護支援、訪問（入浴）介護、訪問看護いずれも、「働きやすい職場環境」がそれぞれ93.8%、90.0%、84.2%で最も高くなっています。

法人の種類別でみると、民間企業、社会福祉法人は、「働きやすい職場環境」がそれぞれ83.6%、66.7%で最も高くなっています。

従業員過不足状況別では、適当と回答した事業所は、「働きやすい職場環境」が90.5%となっています。

【人材の育成・定着のために有効だと思うポイント

／主とするサービス別、法人の種類別、従業員過不足状況別】

(%)

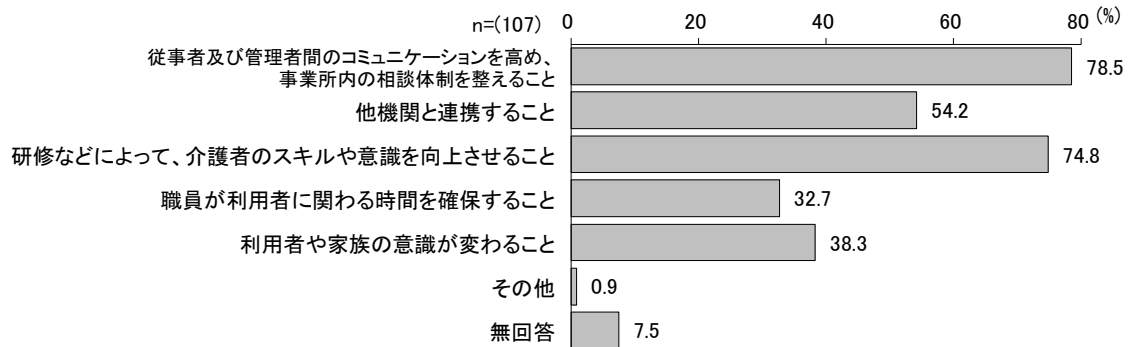
	n	研修の充実	働きやすい職場環境	福利厚生 の充実	給与・待遇	良好な 従事者 間のコ ミュニ ケー ション	上司・ 管理者 との相 談体制 の充実	仕事の やりが い	その他	無回答	
全体	107	23.4	78.5	14.0	55.1	44.9	19.6	22.4	-	11.2	
主とするサービス別	居宅介護支援	16	18.8	93.8	25.0	56.3	50.0	18.8	25.0	-	-
	訪問（入浴）介護	20	20.0	90.0	10.0	75.0	45.0	30.0	25.0	-	-
	訪問看護	19	21.1	84.2	5.3	42.1	57.9	26.3	10.5	-	15.8
	居宅療養管理指導	1	-	100.0	-	100.0	100.0	-	-	-	-
	通所介護	10	20.0	90.0	30.0	60.0	40.0	20.0	40.0	-	-
	短期入所生活介護	1	100.0	100.0	-	-	-	-	100.0	-	-
	特定施設入居者生活介護	2	-	50.0	-	50.0	50.0	-	-	-	50.0
	福祉用具貸与	2	50.0	100.0	-	50.0	-	-	-	-	-
	介護老人福祉施設	4	-	25.0	-	-	25.0	-	25.0	-	75.0
	介護老人保健施設	2	50.0	50.0	-	100.0	100.0	-	-	-	-
	夜間対応型訪問介護	1	-	100.0	-	100.0	100.0	-	-	-	-
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	認知症対応型通所介護	3	33.3	33.3	-	33.3	33.3	33.3	33.3	-	33.3
	（看護）小規模多機能型居宅介護	4	75.0	100.0	25.0	25.0	50.0	25.0	-	-	-
	認知症対応型共同生活介護	4	25.0	50.0	-	25.0	50.0	-	25.0	-	25.0
	地域密着型介護老人福祉施設	2	-	50.0	50.0	50.0	-	-	-	-	50.0
	地域密着型通所介護	6	16.7	50.0	16.7	83.3	33.3	-	50.0	-	16.7
介護予防支援	1	-	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	-	
介護予防訪問看護	1	100.0	100.0	-	-	-	-	100.0	-	-	
介護予防認知症対応型共同生活介護	1	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-	-	
通所型サービス	1	-	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	-	
法人の種類別	民間企業	61	23.0	83.6	21.3	60.7	39.3	21.3	19.7	-	8.2
	社会福祉法人	15	26.7	66.7	13.3	40.0	60.0	13.3	40.0	-	13.3
	医療法人	8	25.0	100.0	-	50.0	75.0	-	25.0	-	-
	NPO法人	3	-	66.7	-	100.0	33.3	-	33.3	-	-
	一般社団法人・一般財団法人	6	50.0	100.0	-	66.7	33.3	33.3	16.7	-	-
	協同組合（農協・生協）	5	20.0	80.0	-	40.0	80.0	60.0	20.0	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
従業員過不足状況別	大いに不足	14	21.4	85.7	14.3	57.1	50.0	21.4	28.6	-	-
	不足	15	13.3	93.3	13.3	53.3	66.7	13.3	13.3	-	6.7
	やや不足	29	27.6	75.9	20.7	65.5	41.4	13.8	31.0	-	6.9
	適当	21	28.6	90.5	4.8	61.9	52.4	33.3	14.3	-	-
	過剰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問17 高齢者の権利擁護や虐待防止の取組状況

①権利擁護

事業者として必要だと思う取組【権利擁護】では、「従事者及び管理者間のコミュニケーションを高め、事業所内の相談体制を整えること」が78.5%で最も高く、以下、「研修などによって、介護者のスキルや意識を向上させること」が74.8%、「他機関と連携すること」が54.2%、「利用者や家族の意識が変わること」が38.3%となっています。

(複数回答)



第7章 介護サービス事業者調査

主とするサービス別でみると、居宅介護支援、訪問（入浴）介護、訪問看護いずれも、「従事者及び管理者間のコミュニケーションを高め、事業所内の相談体制を整えること」がそれぞれ81.3%、90.0%、78.9%で最も高くなっています。

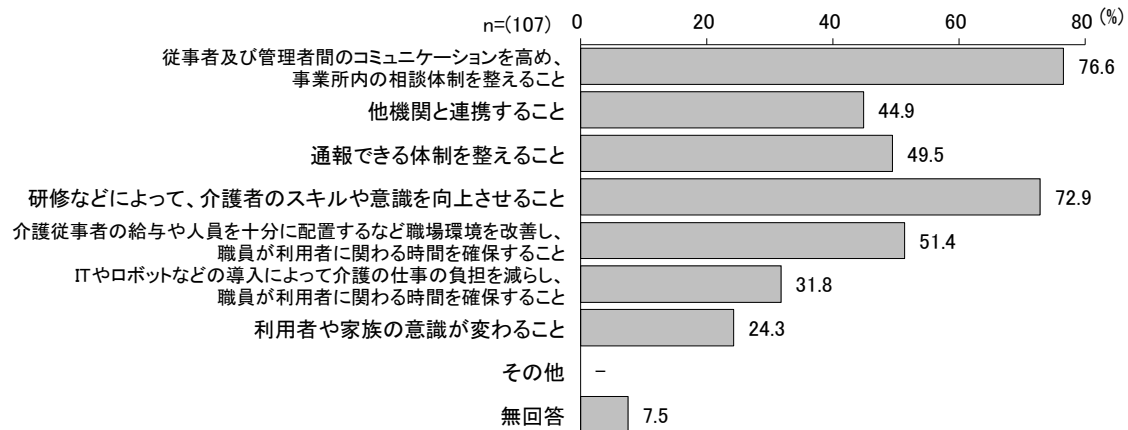
【高齢者の権利擁護や虐待防止の取組状況・権利擁護／主とするサービス別】

		n	(%)						無回答
			従事者及び管理者間のコミュニケーションを高め、事業所内の相談体制を整えること	他機関と連携すること	研修などによって、介護者のスキルや意識を向上させること	職員が利用者に関わる時間を確保すること	利用者や家族の意識が変わること	その他	
全体		107	78.5	54.2	74.8	32.7	38.3	0.9	7.5
主とするサービス別	居宅介護支援	16	81.3	81.3	68.8	31.3	56.3	-	-
	訪問（入浴）介護	20	90.0	45.0	80.0	15.0	20.0	-	-
	訪問看護	19	78.9	63.2	68.4	21.1	57.9	-	10.5
	居宅療養管理指導	1	-	100.0	100.0	-	-	-	-
	通所介護	10	80.0	70.0	90.0	50.0	40.0	10.0	-
	短期入所生活介護	1	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	-
	特定施設入居者生活介護	2	100.0	-	50.0	50.0	50.0	-	-
	福祉用具貸与	2	50.0	-	50.0	50.0	50.0	-	-
	介護老人福祉施設	4	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	-	75.0
	介護老人保健施設	2	50.0	-	100.0	50.0	-	-	-
	夜間対応型訪問介護	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	100.0	100.0	100.0	-	100.0	-	-
	認知症対応型通所介護	3	66.7	66.7	66.7	66.7	33.3	-	33.3
	（看護）小規模多機能型居宅介護	4	100.0	50.0	75.0	50.0	50.0	-	-
	認知症対応型共同生活介護	4	75.0	-	75.0	25.0	-	-	25.0
	地域密着型介護老人福祉施設	2	50.0	-	50.0	50.0	-	-	50.0
	地域密着型通所介護	6	66.7	33.3	83.3	33.3	16.7	-	-
	介護予防支援	1	-	-	-	100.0	-	-	-
	介護予防訪問看護	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-
	介護予防認知症対応型共同生活介護	1	100.0	-	100.0	-	-	-	-
通所型サービス	1	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	-	

②職員による虐待防止

事業者として必要だと思う取組【職員による虐待防止】では、「従事者及び管理者間のコミュニケーションを高め、事業所内の相談体制を整えること」が76.6%で最も高く、以下、「研修などによって、介護者のスキルや意識を向上させること」が72.9%、「介護従事者の給与や人員を十分に配置するなど職場環境を改善し、職員が利用者に関わる時間を確保すること」が51.4%、「通報できる体制を整えること」が49.5%となっています。

(複数回答)



第7章 介護サービス事業者調査

主とするサービス別でみると、居宅介護支援は、「従事者及び管理者間のコミュニケーションを高め、事業所内の相談体制を整えること」と「他機関と連携すること」が81.3%、訪問（入浴）介護、訪問看護は、「従事者及び管理者間のコミュニケーションを高め、事業所内の相談体制を整えること」がそれぞれ90.0%、78.9%で最も高くなっています。

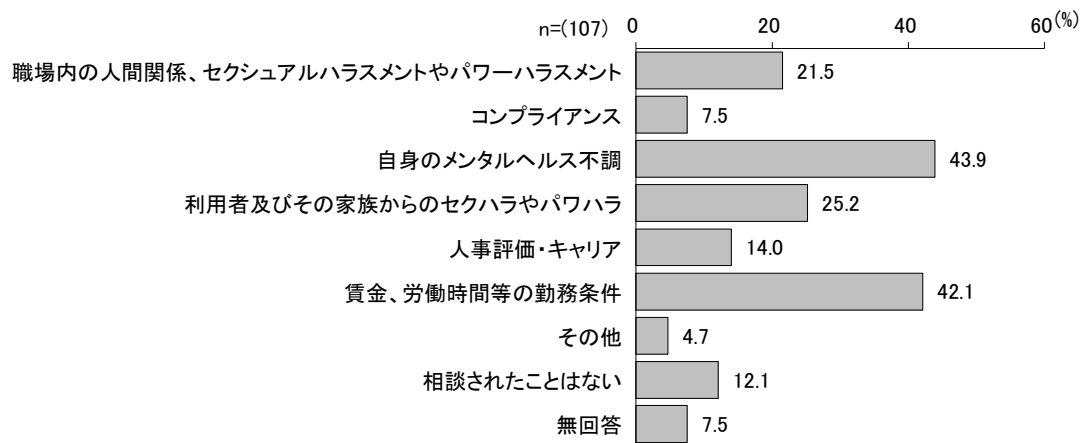
【高齢者の権利擁護や虐待防止の取組状況・職員による虐待防止／主とするサービス別】

		(%)						
	n	従事者及び管理者間のコミュニケーションを高め、事業所内の相談体制を整えること	他機関と連携すること	研修などによって、介護者のスキルや意識を向上させること	職員が利用者に関わる時間を確保すること	利用者や家族の意識が変わること	その他	無回答
全体	107	78.5	54.2	74.8	32.7	38.3	0.9	7.5
主とするサービス別	居宅介護支援	16	81.3	81.3	68.8	31.3	56.3	-
	訪問（入浴）介護	20	90.0	45.0	80.0	15.0	20.0	-
	訪問看護	19	78.9	63.2	68.4	21.1	57.9	10.5
	居宅療養管理指導	1	-	100.0	100.0	-	-	-
	通所介護	10	80.0	70.0	90.0	50.0	40.0	10.0
	短期入所生活介護	1	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-
	特定施設入居者生活介護	2	100.0	-	50.0	50.0	50.0	-
	福祉用具貸与	2	50.0	-	50.0	50.0	50.0	-
	介護老人福祉施設	4	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	75.0
	介護老人保健施設	2	50.0	-	100.0	50.0	-	-
	夜間対応型訪問介護	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	100.0	100.0	100.0	-	100.0	-
	認知症対応型通所介護	3	66.7	66.7	66.7	66.7	33.3	33.3
	（看護）小規模多機能型居宅介護	4	100.0	50.0	75.0	50.0	50.0	-
	認知症対応型共同生活介護	4	75.0	-	75.0	25.0	-	25.0
	地域密着型介護老人福祉施設	2	50.0	-	50.0	50.0	-	50.0
	地域密着型通所介護	6	66.7	33.3	83.3	33.3	16.7	-
	介護予防支援	1	-	-	-	100.0	-	-
	介護予防訪問看護	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-
	介護予防認知症対応型共同生活介護	1	100.0	-	100.0	-	-	-
通所型サービス	1	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	

問18 従業員からの相談内容

従業員からの相談内容では、「自身のメンタルヘルス不調」が43.9%で最も高く、以下、「賃金、労働時間等の勤務条件」が42.1%、「利用者及びその家族からのセクハラやパワハラ」が25.2%、「職場内の人間関係、セクシュアルハラスメントやパワーハラスメント」が21.5%となっています。

(複数回答)



第7章 介護サービス事業者調査

主とするサービス別でみると、居宅介護支援は、「自身のメンタルヘルス不調」と「利用者及びその家族からのセクハラやパワハラ」が31.3%、訪問（入浴）介護は、「自身のメンタルヘルス不調」が55.0%、訪問看護は、「利用者及びその家族からのセクハラやパワハラ」が47.4%で、最も高くなっています。

従業員過不足状況別では、不足の有無に関わらず、「自身のメンタルヘルス不調」や「賃金、労働時間等の勤務条件」が高い傾向となっています。

平均介護度別でみると、要介護2は、「自身のメンタルヘルス不調」が50.0%、要介護3は、「賃金、労働時間等の勤務条件」が50.0%で最も高くなっています。

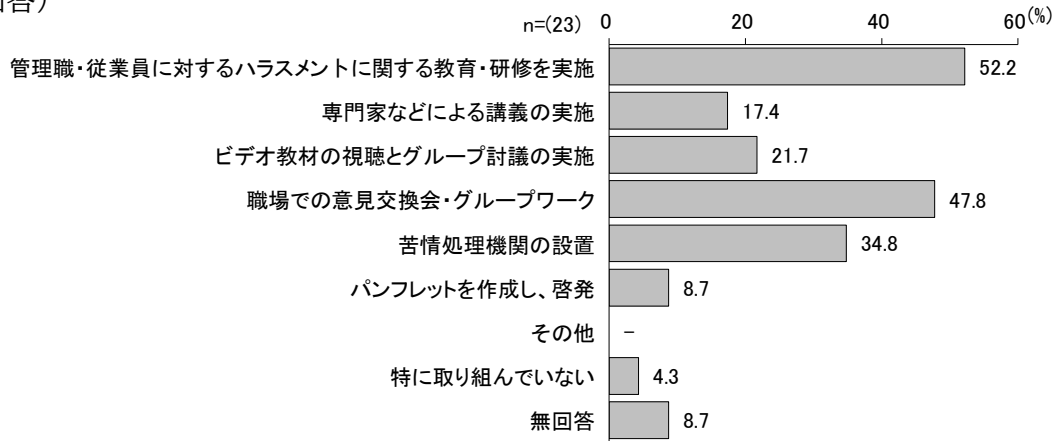
【従業員からの相談内容／主とするサービス別、従業員過不足状況別、平均介護度別】

		(%)									
	n	職場内の人間関係、セクシュアルハラスメントやパワハラ	コンプライアンス	自身のメンタルヘルス不調	利用者及びその家族からのセクハラやパワハラ	人事評価・キャリア	賃金、労働時間等の勤務条件	その他	相談されたことはない	無回答	
全体	107	21.5	7.5	43.9	25.2	14.0	42.1	4.7	12.1	7.5	
主とするサービス別	居宅介護支援	16	18.8	6.3	31.3	31.3	12.5	18.8	12.5	25.0	-
	訪問（入浴）介護	20	20.0	20.0	55.0	25.0	10.0	35.0	-	20.0	-
	訪問看護	19	21.1	10.5	26.3	47.4	10.5	42.1	-	10.5	10.5
	居宅療養管理指導	1	100.0	-	100.0	-	-	100.0	-	-	-
	通所介護	10	10.0	10.0	60.0	10.0	20.0	50.0	10.0	-	-
	短期入所生活介護	1	-	-	100.0	-	-	100.0	-	-	-
	特定施設入居者生活介護	2	50.0	-	100.0	50.0	-	50.0	-	-	-
	福祉用具貸与	2	-	-	50.0	50.0	-	50.0	-	50.0	-
	介護老人福祉施設	4	-	-	25.0	-	-	25.0	-	-	75.0
	介護老人保健施設	2	50.0	-	50.0	-	-	50.0	-	-	-
	夜間対応型訪問介護	1	-	-	100.0	-	100.0	100.0	-	-	-
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	-	-	-	-	100.0	100.0	-	-	-
	認知症対応型通所介護	3	-	-	66.7	33.3	-	33.3	-	-	33.3
	（看護）小規模多機能型居宅介護	4	50.0	-	50.0	25.0	-	75.0	25.0	-	-
	認知症対応型共同生活介護	4	75.0	-	25.0	-	-	50.0	-	-	25.0
	地域密着型介護老人福祉施設	2	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	50.0
	地域密着型通所介護	6	16.7	-	50.0	-	33.3	50.0	-	33.3	-
	介護予防支援	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-
	介護予防訪問看護	1	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
	介護予防認知症対応型共同生活介護	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
通所型サービス	1	-	-	-	-	100.0	100.0	-	-	-	
従業員過不足状況別	大いに不足	14	14.3	-	57.1	21.4	14.3	50.0	14.3	7.1	-
	不足	15	20.0	6.7	53.3	26.7	13.3	53.3	6.7	13.3	-
	やや不足	29	20.7	17.2	31.0	41.4	10.3	34.5	-	6.9	-
	適当	21	33.3	4.8	57.1	14.3	9.5	47.6	4.8	23.8	-
	過剰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
平均介護度別	要介護1	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
	要介護2	50	22.0	10.0	50.0	30.0	16.0	40.0	8.0	8.0	-
	要介護3	34	23.5	5.9	44.1	32.4	11.8	50.0	-	8.8	8.8
	要介護4	6	33.3	-	66.7	-	16.7	50.0	-	-	16.7
	要介護5	1	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-

問18-1 セクハラ及びパワハラ予防の取組状況

セクハラ及びパワハラ予防の取組状況では、「管理職・従業員に対するハラスメントに関する教育・研修を実施」が52.2%で最も高く、以下、「職場での意見交換会・グループワーク」が47.8%、「苦情処理機関の設置」が34.8%、「ビデオ教材の視聴とグループ討議の実施」が21.7%となっています。

(複数回答)



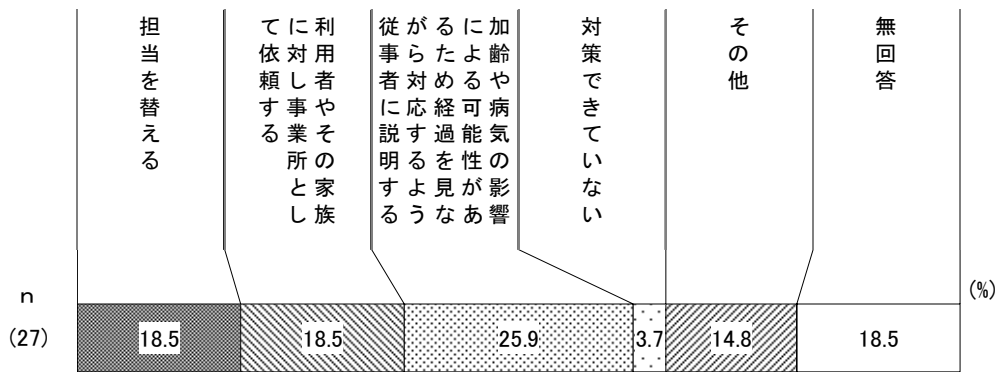
主とするサービス別では、人数の少ない層が多く、傾向がつかみにくくなっています。

【セクハラ及びパワハラ予防の取組状況／主とするサービス別】

	n	管理職・従業員に対するハラスメントに関する教育・研修を実施	専門家などによる講義の実施	ビデオ教材の視聴とグループ討議の実施	職場での意見交換会・グループワーク	苦情処理機関の設置	パンフレットを作成し、啓発	その他	特に取り組んでいない	無回答 (%)
全体	23	52.2	17.4	21.7	47.8	34.8	8.7	-	4.3	8.7
主とするサービス別	居宅介護支援	3	66.7	33.3	66.7	33.3	33.3	-	-	-
	訪問（入浴）介護	4	25.0	25.0	-	75.0	25.0	-	-	25.0
	訪問看護	4	100.0	50.0	50.0	50.0	25.0	-	-	-
	居宅療養管理指導	1	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	通所介護	1	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-
	短期入所生活介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	特定施設入居者生活介護	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-
	福祉用具貸与	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	介護老人福祉施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	介護老人保健施設	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-
	夜間対応型訪問介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	認知症対応型通所介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(看護)小規模多機能型居宅介護	2	-	-	-	50.0	50.0	-	-	-
	認知症対応型共同生活介護	3	66.7	-	-	66.7	33.3	-	-	-
	地域密着型介護老人福祉施設	1	100.0	-	-	-	100.0	100.0	-	-
	地域密着型通所介護	1	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	介護予防支援	-	-	-	-	-	-	-	-	-
介護予防訪問看護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
介護予防認知症対応型共同生活介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
通所型サービス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

問18-2 カスタマーハラスメントに対する対応状況

利用者やその家族からのハラスメントを受けた従業員等の対処方法では、「加齢や病気の影響による可能性があるため経過を見ながら対応するよう従事者に説明する」が25.9%で最も高く、以下、「担当を替える」と「利用者やその家族に対し事業所として依頼する」が18.5%となっています。



主とするサービス別では、人数の少ない層が多く、傾向がつかみにくくなっています。

【カスタマーハラスメントに対する対応状況／主とするサービス別】

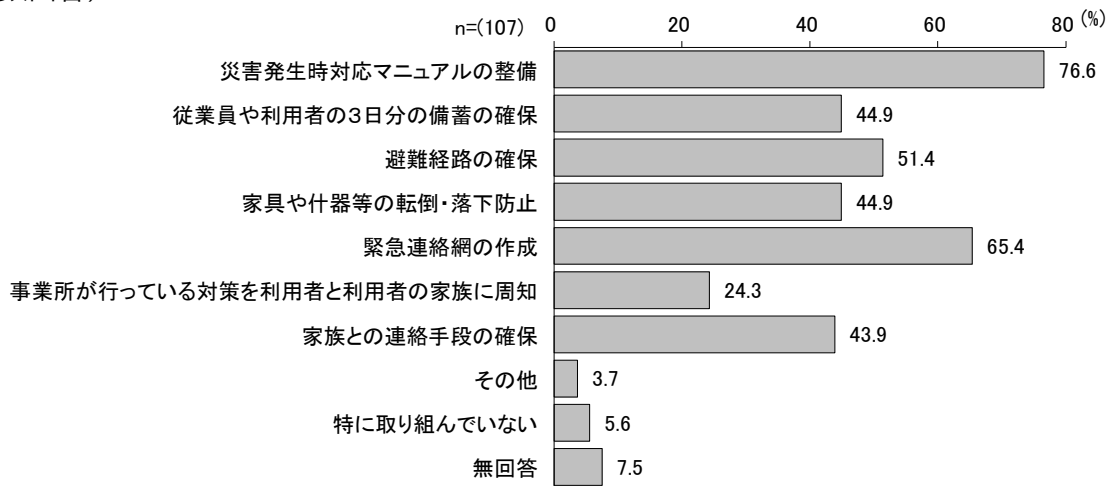
		n	担当を替える	利用者やその家族に対し事業所として依頼する	加齢や病気の影響による可能性があるため経過を見ながら対応するよう従事者に説明する	対策できていない	(%)	
							その他	無回答
全体		27	18.5	18.5	25.9	3.7	14.8	18.5
主とするサービス別	居宅介護支援	5	60.0	-	-	-	20.0	20.0
	訪問（入浴）介護	5	-	-	60.0	-	20.0	20.0
	訪問看護	9	22.2	33.3	11.1	-	-	33.3
	居宅療養管理指導	-	-	-	-	-	-	-
	通所介護	1	-	-	100.0	-	-	-
	短期入所生活介護	-	-	-	-	-	-	-
	特定施設入居者生活介護	1	-	-	-	-	100.0	-
	福祉用具貸与	1	-	-	-	100.0	-	-
	介護老人福祉施設	-	-	-	-	-	-	-
	介護老人保健施設	-	-	-	-	-	-	-
	夜間対応型訪問介護	-	-	-	-	-	-	-
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	-	-	-	-	-	-	-
	認知症対応型通所介護	1	-	-	100.0	-	-	-
	（看護）小規模多機能型居宅介護	1	-	100.0	-	-	-	-
	認知症対応型共同生活介護	-	-	-	-	-	-	-
	地域密着型介護老人福祉施設	-	-	-	-	-	-	-
	地域密着型通所介護	-	-	-	-	-	-	-
	介護予防支援	1	-	-	-	-	100.0	-
	介護予防訪問看護	-	-	-	-	-	-	-
	介護予防認知症対応型共同生活介護	-	-	-	-	-	-	-
通所型サービス	-	-	-	-	-	-	-	

5. 危機管理体制

問19 災害発生時に向けた準備・対策状況

災害発生時に向けた準備では、「災害発生時対応マニュアルの整備」が76.6%で最も高く、以下、「緊急連絡網の作成」が65.4%、「避難経路の確保」が51.4%、「従業員や利用者の3日分の備蓄の確保」と「家具や什器等の転倒・落下防止」が44.9%となっています。

(複数回答)



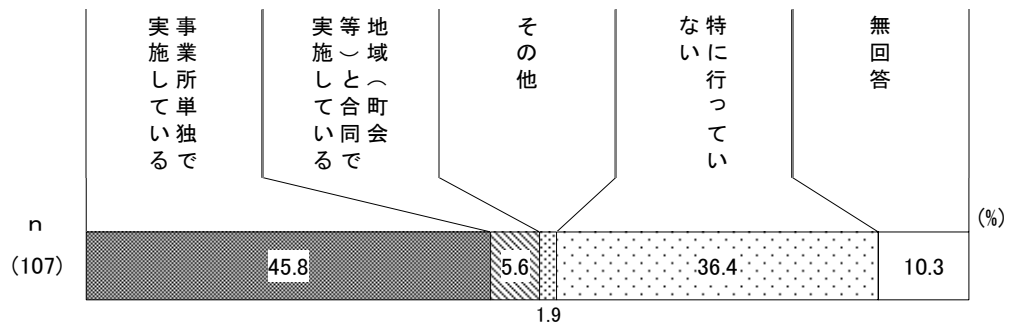
主とするサービス別でみると、居宅介護支援、訪問（入浴）介護は、「災害発生時対応マニュアルの整備」がそれぞれ68.8%、85.0%、訪問看護は、「災害発生時対応マニュアルの整備」と「緊急連絡網の作成」が68.4%で最も高くなっています。

【災害発生時に向けた準備・対策状況／主とするサービス別、法人の種類別】

		(%)											
		n	災害発生時対応マニュアルの整備	従業員や利用者の3日分の備蓄の確保	避難経路の確保	家具や什器等の転倒・落下防止	緊急連絡網の作成	事業所が行っている対策を利用者や利用者の家族に周知	家族との連絡手段の確保	その他	特に取り組んでいない	無回答	
全体		107	76.6	44.9	51.4	44.9	65.4	24.3	43.9	3.7	5.6	7.5	
主とするサービス別	居宅介護支援	16	68.8	37.5	50.0	43.8	62.5	25.0	56.3	-	6.3	-	
	訪問（入浴）介護	20	85.0	40.0	35.0	25.0	70.0	30.0	50.0	5.0	-	-	
	訪問看護	19	68.4	31.6	26.3	42.1	68.4	21.1	26.3	10.5	5.3	10.5	
	居宅療養管理指導	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	通所介護	10	90.0	70.0	100.0	70.0	60.0	20.0	60.0	-	-	-	
	短期入所生活介護	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	100.0	-	-	
	特定施設入居者生活介護	2	100.0	100.0	100.0	50.0	100.0	50.0	100.0	-	-	-	
	福祉用具貸与	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	介護老人福祉施設	4	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	-	-	75.0
	介護老人保健施設	2	100.0	50.0	50.0	50.0	100.0	50.0	50.0	50.0	-	-	-
	夜間対応型訪問介護	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	-
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	100.0	100.0	100.0	-	100.0	-	100.0	-	-	-	-
	認知症対応型通所介護	3	66.7	66.7	66.7	66.7	66.7	66.7	66.7	66.7	-	-	33.3
	（看護）小規模多機能型居宅介護	4	100.0	100.0	75.0	75.0	100.0	-	50.0	-	-	-	-
	地域密着型通所介護	6	66.7	16.7	50.0	66.7	50.0	16.7	33.3	-	33.3	-	-
	介護予防支援	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
介護予防訪問看護	1	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	
介護予防認知症対応型共同生活介護	1	100.0	-	-	-	100.0	-	100.0	-	-	-	-	
通所型サービス	1	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
法人の種類別	民間企業	61	78.7	41.0	47.5	42.6	65.6	21.3	44.3	4.9	6.6	1.6	
	社会福祉法人	15	86.7	73.3	80.0	80.0	73.3	46.7	66.7	-	-	13.3	
	医療法人	8	87.5	25.0	50.0	25.0	75.0	12.5	12.5	-	-	-	
	NPO法人	3	100.0	66.7	66.7	66.7	66.7	66.7	66.7	-	-	-	
	一般社団法人・一般財団法人	6	50.0	50.0	50.0	33.3	66.7	16.7	50.0	16.7	16.7	-	
	協同組合（農協・生協）	5	100.0	60.0	60.0	40.0	80.0	-	20.0	-	-	-	
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問20 避難訓練の実施状況

災害発生時の避難や安否確認に関する訓練の実施状況では、「事業所単独で実施している」が45.8%で最も高く、以下、「特に行っていない」が36.4%、「地域（町会等）と合同で実施している」が5.6%となっています。



主とするサービス別で見ると、居宅介護支援、訪問看護、訪問（入浴）介護は、「特に行っていない」がそれぞれ62.5%、52.6%、50.0%で最も高くなっています。

法人の種類別で見ると、民間企業、社会福祉法人は、「事業所単独で実施している」がそれぞれ49.2%、40.0%で最も高くなっています。

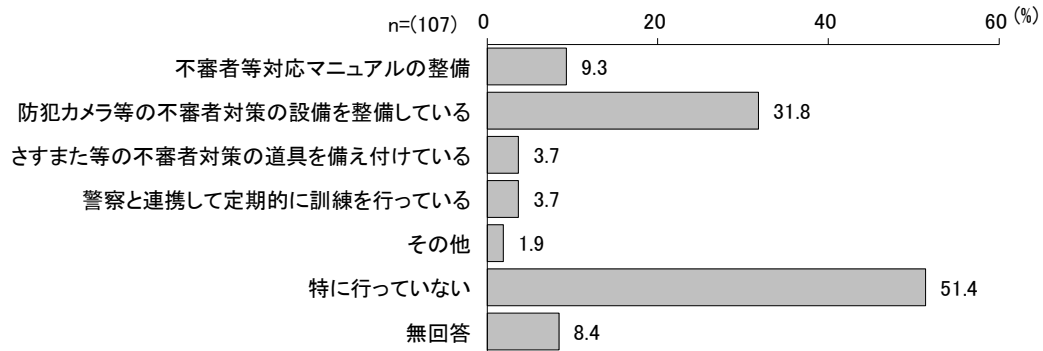
【避難訓練の実施状況／主とするサービス別、法人の種類別】

		(%)					
		n	事業所 単独で 実施し ている	地域 (町会 等)と 合同で 実施し ている	その他	特に 行っ てい ない	無回答
全 体		107	45.8	5.6	1.9	36.4	10.3
主 と す る サ ー ビ ス 別	居宅介護支援	16	25.0	12.5	-	62.5	-
	訪問（入浴）介護	20	45.0	-	5.0	50.0	-
	訪問看護	19	36.8	-	-	52.6	10.5
	居宅療養管理指導	1	-	-	-	100.0	-
	通所介護	10	70.0	10.0	-	10.0	10.0
	短期入所生活介護	1	100.0	-	-	-	-
	特定施設入居者生活 介護	2	100.0	-	-	-	-
	福祉用具貸与	2	-	-	-	100.0	-
	介護老人福祉施設	4	-	25.0	-	-	75.0
	介護老人保健施設	2	100.0	-	-	-	-
	夜間対応型訪問介護	1	-	-	100.0	-	-
	定期巡回・随時対応 型訪問介護看護	1	100.0	-	-	-	-
	認知症対応型通所介 護	3	-	33.3	-	-	66.7
	(看護)小規模多機 能型居宅介護	4	100.0	-	-	-	-
	認知症対応型共同生 活介護	4	25.0	25.0	-	25.0	25.0
	地域密着型介護老人 福祉施設	2	50.0	-	-	-	50.0
	地域密着型通所介護	6	50.0	-	-	33.3	16.7
	介護予防支援	1	-	-	-	100.0	-
	介護予防訪問看護	1	100.0	-	-	-	-
介護予防認知症対応 型共同生活介護	1	100.0	-	-	-	-	
通所型サービス	1	100.0	-	-	-	-	
法 人 の 種 類 別	民間企業	61	49.2	-	1.6	47.5	1.6
	社会福祉法人	15	40.0	26.7	-	6.7	26.7
	医療法人	8	37.5	12.5	-	50.0	-
	NPO法人	3	33.3	-	-	33.3	33.3
	一般社団法人・一般 財団法人	6	50.0	16.7	-	33.3	-
	協同組合（農協・生 協）	5	80.0	-	-	20.0	-
	その他	-	-	-	-	-	-

問21 不審者等に対する対策状況

不審者等に対して準備対策を行っているかでは、「特に行っていない」が51.4%を占めています。一方、具体的な選択肢の中では、「防犯カメラ等の不審者対策の設備を整備している」が31.8%で最も高く、以下、「不審者等対応マニュアルの整備」が9.3%、「さすまた等の不審者対策の道具を備え付けている」と「警察と連携して定期的に訓練を行っている」が3.7%となっています。

(複数回答)



主とするサービス別でみると、居宅介護支援、訪問看護、訪問（入浴）介護いずれも「特に行っていない」がそれぞれ56.3%、73.7%、75.0%で最も高くなっています。

法人の種類別でみると、民間企業は、「特に行っていない」が67.2%、社会福祉法人は、「防犯カメラ等の不審者対策の設備を整備している」が80.0%で最も高くなっています。

【不審者等に対する対策状況／主とするサービス別、法人の種類別】

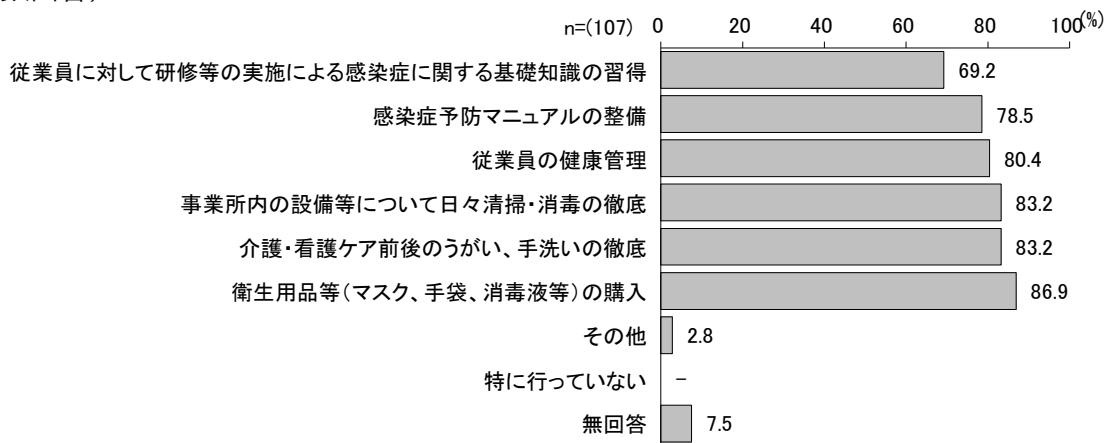
(%)

	n	不審者等 対応マ ニュアル の整備	防犯カメ ラ等の不 審者対策 の設備を 整備して いる	さすまた 等の不審 者対策の 道具を備 え付けて いる	警察と連 携して定 期的に訓 練を行っ ている	その他	特に行っ ていない	無回答
全 体	107	9.3	31.8	3.7	3.7	1.9	51.4	8.4
主とするサービス別	居宅介護支援	16	-	37.5	6.3	-	56.3	-
	訪問（入浴）介護	20	5.0	20.0	-	5.0	75.0	-
	訪問看護	19	5.3	10.5	-	-	73.7	10.5
	居宅療養管理指導	1	-	-	-	-	100.0	-
	通所介護	10	30.0	50.0	10.0	10.0	40.0	-
	短期入所生活介護	1	-	100.0	-	-	-	-
	特定施設入居者生活介護	2	50.0	50.0	-	-	-	-
	福祉用具貸与	2	-	-	-	-	100.0	-
	介護老人福祉施設	4	-	25.0	-	-	-	75.0
	介護老人保健施設	2	-	100.0	-	-	-	-
	夜間対応型訪問介護	1	-	-	-	-	100.0	-
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	100.0	100.0	-	-	-	-
	認知症対応型通所介護	3	33.3	66.7	33.3	33.3	-	33.3
	（看護）小規模多機能型居宅介護	4	-	75.0	25.0	-	-	25.0
	認知症対応型共同生活介護	4	-	50.0	-	-	-	25.0
	地域密着型介護老人福祉施設	2	-	50.0	-	-	-	50.0
	地域密着型通所介護	6	-	16.7	-	16.7	-	66.7
	介護予防支援	1	-	-	-	-	-	100.0
	介護予防訪問看護	1	100.0	-	-	-	-	-
	介護予防認知症対応型共同生活介護	1	-	100.0	-	-	-	-
通所型サービス	1	-	-	-	-	-	100.0	
法人の種類別	民間企業	61	8.2	21.3	1.6	3.3	67.2	3.3
	社会福祉法人	15	13.3	80.0	20.0	13.3	6.7	13.3
	医療法人	8	12.5	25.0	-	-	-	62.5
	NPO法人	3	-	33.3	-	-	-	66.7
	一般社団法人・一般財団法人	6	16.7	33.3	-	-	-	50.0
	協同組合（農協・生協）	5	-	60.0	-	-	-	40.0
	その他	-	-	-	-	-	-	-

問22 感染症要望対策の取組状況

感染症等の予防対策の実施状況では、「衛生用品等（マスク、手袋、消毒液等）の購入」が86.9%で最も高く、以下、「事業所内の設備等について日々清掃・消毒の徹底」が83.2%、「介護・看護ケア前後のうがい、手洗いの徹底」が83.2%、「従業員の健康管理」が80.4%となっています。

（複数回答）



主とするサービス別でみると、居宅介護支援、訪問看護、訪問（入浴）介護いずれも、「介護・看護ケア前後のうがい、手洗いの徹底」や「衛生用品等（マスク、手袋、消毒液等）の購入」が高くなっています。

法人の種類別でみると、民間企業は、「衛生用品等（マスク、手袋、消毒液等）の購入」が93.4%、社会福祉法人は、「感染症予防マニュアルの整備」、「従業員の健康管理」、「事業所内の設備等について日々清掃・消毒の徹底」が86.7%で最も高くなっています。

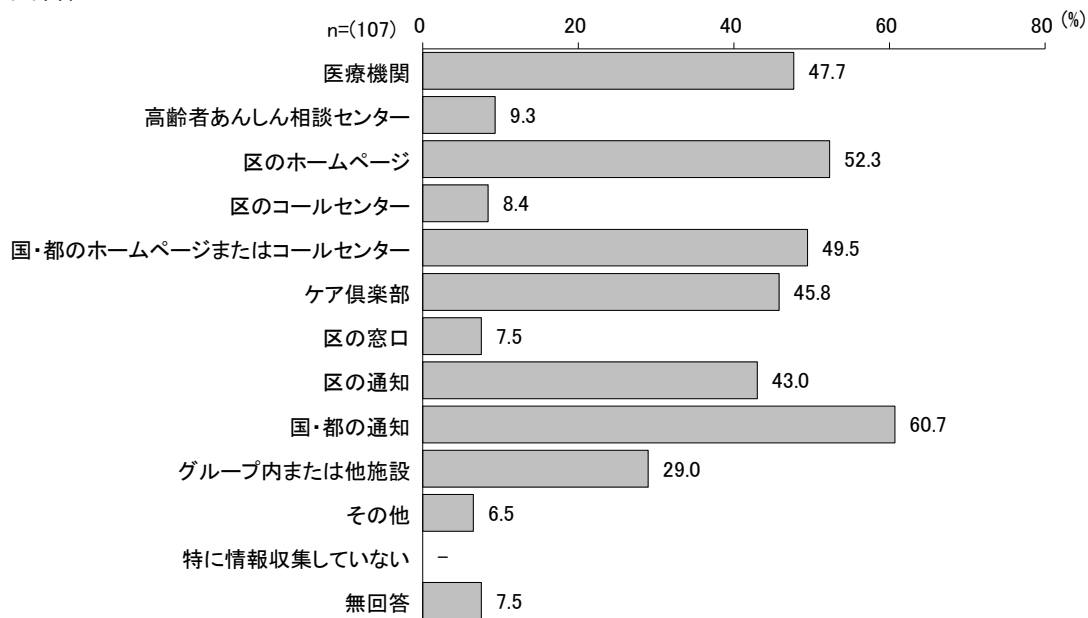
【感染症要望対策の取組状況／主とするサービス別、法人の種類別】

		n	従業員に対して研修等の実施による感染症に関する基礎知識の習得	感染症予防マニュアルの整備	従業員の健康管理	事業所内の設備等について日々清掃・消毒の徹底	介護・看護ケア前後のうがい、手洗いの徹底	衛生用品等（マスク、手袋、消毒液等）の購入	その他	特に行っていない	無回答
全体		107	69.2	78.5	80.4	83.2	83.2	86.9	2.8	-	7.5
主とするサービス別	居宅介護支援	16	62.5	81.3	81.3	87.5	93.8	93.8	-	-	-
	訪問（入浴）介護	20	80.0	85.0	85.0	90.0	90.0	100.0	5.0	-	-
	訪問看護	19	73.7	73.7	84.2	84.2	89.5	89.5	5.3	-	10.5
	居宅療養管理指導	1	-	100.0	100.0	100.0	-	100.0	-	-	-
	通所介護	10	80.0	90.0	80.0	90.0	80.0	80.0	-	-	-
	短期入所生活介護	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	-
	特定施設入居者生活介護	2	100.0	100.0	50.0	100.0	50.0	100.0	-	-	-
	福祉用具貸与	2	-	50.0	100.0	100.0	50.0	100.0	-	-	-
	介護老人福祉施設	4	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	-	-	75.0
	介護老人保健施設	2	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	-
	夜間対応型訪問介護	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	-
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	-
	認知症対応型通所介護（看護）小規模多機能型居宅介護	3	66.7	66.7	66.7	66.7	66.7	66.7	-	-	33.3
	認知症対応型共同生活介護	4	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	-
	認知症対応型共同生活介護	4	50.0	50.0	75.0	50.0	75.0	75.0	-	-	25.0
	地域密着型介護老人福祉施設	2	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	-	-	50.0
地域密着型通所介護	6	50.0	50.0	83.3	100.0	83.3	83.3	-	-	-	
介護予防支援	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	
介護予防訪問看護	1	100.0	100.0	100.0	-	100.0	100.0	-	-	-	
介護予防認知症対応型共同生活介護	1	-	100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	
通所型サービス	1	-	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	-	
法人の種類別	民間企業	61	73.8	80.3	82.0	90.2	86.9	93.4	1.6	-	1.6
	社会福祉法人	15	80.0	86.7	86.7	86.7	80.0	80.0	-	-	13.3
	医療法人	8	50.0	100.0	100.0	75.0	87.5	100.0	-	-	-
	NPO法人	3	100.0	66.7	66.7	100.0	100.0	100.0	33.3	-	-
	一般社団法人・一般財団法人	6	50.0	66.7	83.3	66.7	83.3	83.3	-	-	-
	協同組合（農協・生協）	5	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	20.0	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問23 新型コロナウイルスワクチン接種情報の取得手段

新型コロナウイルス感染症についての情報収集方法では、「国・都の通知」が60.7%で最も高く、以下、「区のホームページ」が52.3%、「国・都のホームページまたはコールセンター」が49.5%、「医療機関」が47.7%となっています。

(複数回答)

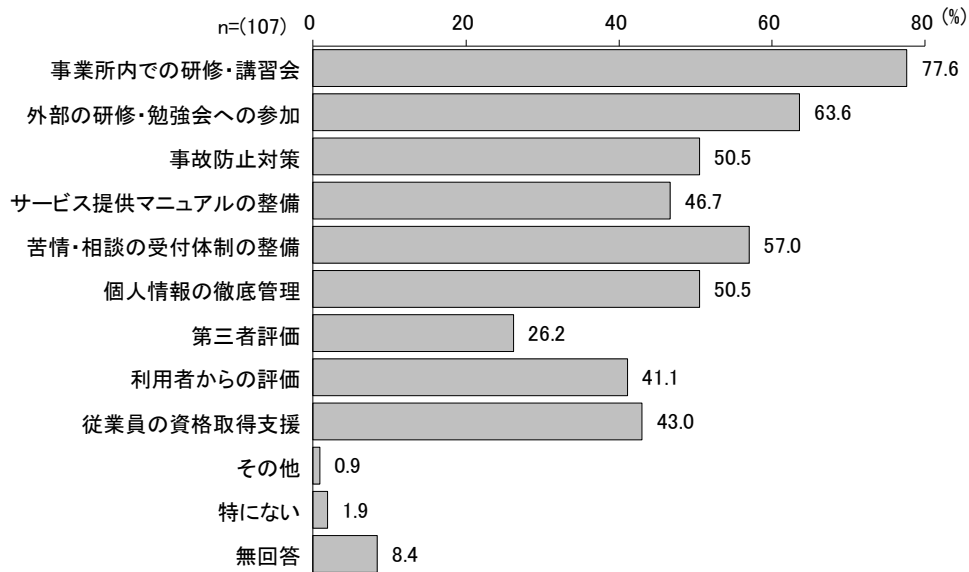


6. サービス向上

問24 サービス品質向上のための取組状況

サービスの質を向上させるための取組では、「事業所内での研修・講習会」が77.6%で最も高く、以下、「外部の研修・勉強会への参加」が63.6%、「苦情・相談の受付体制の整備」が57.0%、「事故防止対策」と「個人情報の徹底管理」が50.5%となっています。

(複数回答)



第7章 介護サービス事業者調査

主とするサービス別でみると、居宅介護支援、訪問看護は、「外部の研修・勉強会への参加」がそれぞれ87.5%、78.9%、訪問（入浴）介護は、「事業所内での研修・講習会」が90.0%で最も高くなっています。

法人の種類別でみると、民間企業は、「事業所内での研修・講習会」が83.6%、社会福祉法人は、「外部の研修・勉強会への参加」と「苦情・相談の受付体制の整備」が86.7%で最も高くなっています。

従業員過不足状況別では、不足の有無に関わらず、「自事業所内での研修・講習会」が高い傾向となっています。

【サービス品質向上のための取組状況／主とするサービス別、法人の種類別、従業員過不足状況別】

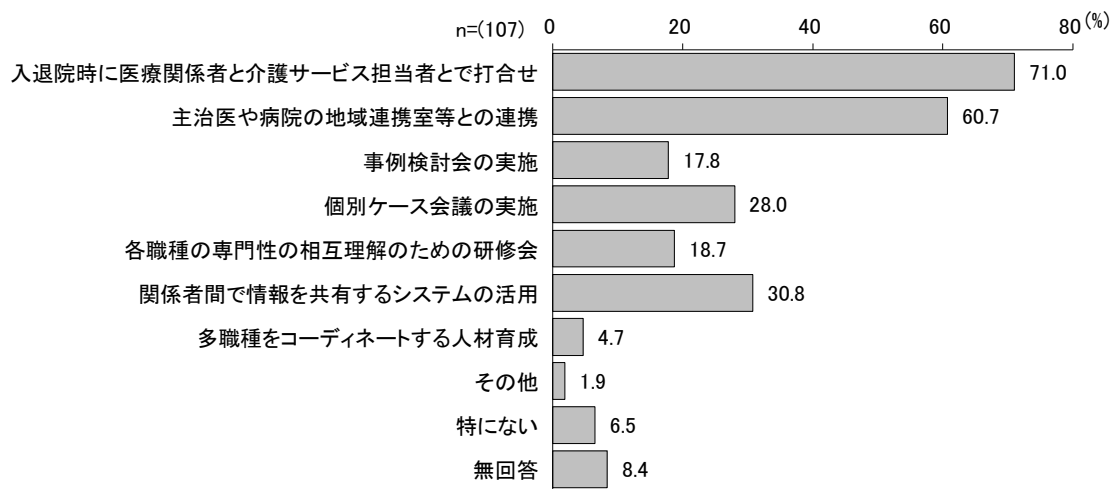
														(%)
	n	事業所内での研修・講習会	外部の研修・勉強会への参加	事故防止対策	サービス提供マニュアルの整備	苦情・相談の受付体制の整備	個人情報の徹底管理	第三者評価	利用者からの評価	従業員の資格取得支援	その他	特にな	無回答	
全体	107	77.6	63.6	50.5	46.7	57.0	50.5	26.2	41.1	43.0	0.9	1.9	8.4	
主とするサービス別	居宅介護支援	16	62.5	87.5	37.5	31.3	62.5	62.5	31.3	43.8	25.0	-	6.3	-
	訪問（入浴）介護	20	90.0	50.0	55.0	55.0	65.0	55.0	10.0	30.0	70.0	-	-	-
	訪問看護	19	73.7	78.9	36.8	42.1	57.9	42.1	15.8	47.4	26.3	-	-	15.8
	居宅療養管理指導	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	通所介護	10	90.0	70.0	70.0	70.0	60.0	70.0	60.0	60.0	50.0	-	-	-
	短期入所生活介護	1	100.0	-	100.0	-	100.0	-	-	100.0	100.0	-	-	-
	特定施設入居者生活介護	2	100.0	50.0	100.0	50.0	100.0	50.0	50.0	100.0	100.0	-	-	-
	福祉用具貸与	2	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-
	介護老人福祉施設	4	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	-	-	75.0
	介護老人保健施設	2	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	-	50.0	50.0	100.0	-	-	-
	夜間対応型訪問介護	1	100.0	-	100.0	100.0	100.0	100.0	-	100.0	100.0	-	-	-
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	100.0	-	-	-
	認知症対応型通所介護	3	66.7	66.7	66.7	66.7	66.7	66.7	66.7	66.7	33.3	-	-	33.3
	（看護）小規模多機能型居宅介護	4	100.0	50.0	100.0	75.0	75.0	50.0	50.0	25.0	50.0	25.0	-	-
	認知症対応型共同生活介護	4	50.0	25.0	50.0	-	25.0	25.0	75.0	25.0	25.0	-	-	25.0
	地域密着型介護老人福祉施設	2	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	50.0
	地域密着型通所介護	6	100.0	66.7	16.7	33.3	33.3	33.3	-	16.7	50.0	-	-	-
	介護予防支援	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
介護予防訪問看護	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	
介護予防認知症対応型共同生活介護	1	-	100.0	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	
通所型サービス	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
法人の種類別	民間企業	61	83.6	55.7	50.8	45.9	57.4	44.3	16.4	39.3	42.6	-	3.3	3.3
	社会福祉法人	15	80.0	86.7	80.0	80.0	86.7	73.3	66.7	60.0	53.3	-	-	13.3
	医療法人	8	75.0	75.0	50.0	37.5	37.5	37.5	25.0	37.5	12.5	-	-	-
	NPO法人	3	100.0	66.7	33.3	-	66.7	100.0	33.3	-	100.0	-	-	-
	一般社団法人・一般財団法人	6	50.0	100.0	33.3	33.3	50.0	66.7	16.7	33.3	50.0	-	-	-
	協同組合（農協・生協）	5	100.0	80.0	40.0	60.0	60.0	80.0	60.0	80.0	60.0	20.0	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
従業員過不足状況別	大いに不足	14	85.7	57.1	42.9	50.0	50.0	42.9	28.6	57.1	35.7	-	-	-
	不足	15	80.0	86.7	60.0	46.7	80.0	60.0	33.3	46.7	33.3	-	-	-
	やや不足	29	93.1	72.4	58.6	55.2	58.6	51.7	31.0	31.0	55.2	3.4	3.4	-
	適当	21	85.7	66.7	57.1	52.4	57.1	57.1	38.1	42.9	57.1	-	4.8	4.8
	過剰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

7. 医療との連携

問25 医療機関との連携内容

医療との連携について行っている取組では、「入退院時に医療関係者と介護サービス担当者として打合せ」が71.0%で最も高く、以下、「主治医や病院の地域連携室等との連携」が60.7%、「関係者間で情報を共有するシステムの活用」が30.8%、「個別ケース会議の実施」が28.0%となっています。

(複数回答)



第7章 介護サービス事業者調査

主とするサービス別でみると、居宅介護支援、訪問（入浴）介護は、「入退院時に医療関係者と介護サービス担当者との打合せ」がそれぞれ93.8%、75.0%、訪問看護は、「入退院時に医療関係者と介護サービス担当者との打合せ」と「主治医や病院の地域連携室等との連携」が84.2%で最も高くなっています。

【医療機関との連携内容／主とするサービス別】

		(%)									
	n	入退院時に医療関係者と介護サービス担当者との打合せ	主治医や病院の地域連携室等との連携	事例検討会の実施	個別ケース会議の実施	各職種の専門性の相互理解のための研修会	関係者間で情報を共有するシステムの活用	多職種をコーディネートする人材育成	その他	特になし	無回答
全体	107	71.0	60.7	17.8	28.0	18.7	30.8	4.7	1.9	6.5	8.4
主とするサービス別	居宅介護支援	16	93.8	87.5	6.3	25.0	25.0	50.0	-	-	-
	訪問（入浴）介護	20	75.0	45.0	15.0	30.0	20.0	15.0	5.0	5.0	-
	訪問看護	19	84.2	84.2	36.8	47.4	31.6	57.9	10.5	-	10.5
	居宅療養管理指導	1	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	通所介護	10	60.0	40.0	10.0	10.0	10.0	30.0	-	-	10.0
	短期入所生活介護	1	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	特定施設入居者生活介護	2	100.0	100.0	-	100.0	50.0	-	-	-	-
	福祉用具貸与	2	50.0	50.0	50.0	-	-	50.0	-	-	50.0
	介護老人福祉施設	4	25.0	25.0	-	-	-	25.0	-	-	75.0
	介護老人保健施設	2	50.0	100.0	-	50.0	-	-	-	-	-
	夜間対応型訪問介護	1	100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	-
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	100.0	100.0	100.0	-	100.0	-	100.0	-	-
	認知症対応型通所介護	3	66.7	66.7	-	-	-	33.3	-	-	33.3
	（看護）小規模多機能型居宅介護	4	75.0	25.0	50.0	75.0	25.0	50.0	-	-	-
	認知症対応型共同生活介護	4	50.0	50.0	-	-	-	-	25.0	-	25.0
	地域密着型介護老人福祉施設	2	-	50.0	-	-	-	-	-	-	50.0
	地域密着型通所介護	6	33.3	16.7	-	-	-	-	-	-	66.7
介護予防支援	1	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	
介護予防訪問看護	1	100.0	100.0	-	100.0	100.0	100.0	-	-	-	
介護予防認知症対応型共同生活介護	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	
通所型サービス	1	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	

問26 医療との連携を進めるために必要だと思うこと（記述）

医療との連携を進めるために必要だと思うことを聞いたところ、28人から、延べ29件の回答がありました。

医療との連携を進めるために必要なこと	(件)
ICT（MCS等）の活用、直接連絡	9
話し合いの機会を持つ、互いの理解	6
情報共有、用語の統一、知識レベルの均一	6
協力体制の整備	4
意向の明瞭化	2
多忙の緩和	2

【主な回答内容】

1. 「ICT（MCS等）の活用、直接連絡」

- 退院時は病院でカンファレンスがあるが、在宅の場合は応診の先生とはMCSで連携しているので、各ケアマネも対応する必要がある。
- Drと直接連絡がとれる体制、無資格の事務が間に入りややこしくなるケースが頻繁している。
- 気軽に連絡がとりあえるツールの使用（SNS）。

2. 「話し合いの機会を持つ、互いの理解」

- 気軽に話し合う機会の場を設ける事が大切だと思います。
- 医療機関には高齢者施設への理解を深めてほしい。

3. 「情報共有、用語の統一、知識レベルの均一」

- 医療、介護におけるそれぞれの用語の共通化。知識、レベルの統一。
- 施設の方針と医療機関の方針をすり合わせ、共有。

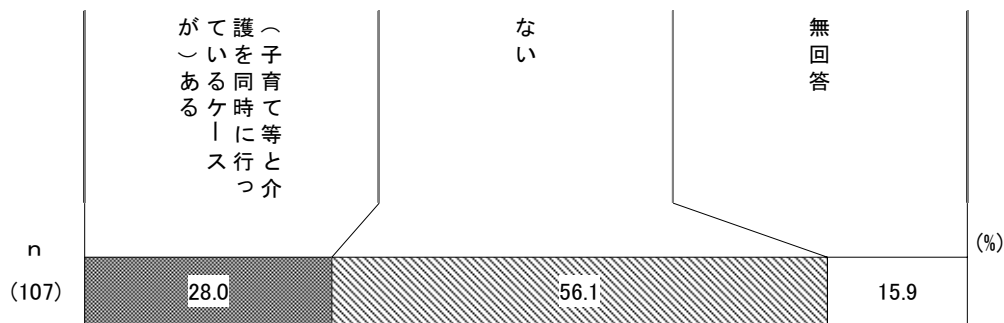
4. 「協力体制の整備」

- 病院のスタッフ1人ひとりが、他施設や地域と連携する意識やそもそもの教育が必要。「治療すればそれでよし」となっている傾向では、つながらないし、つながれない。

8. ダブルケア

問27 ダブルケアの有無

利用者家族のダブルケアの有無では、「ない」が56.1%、「(子育て等と介護を同時に行っているケースが) ある」が28.0%となっています。



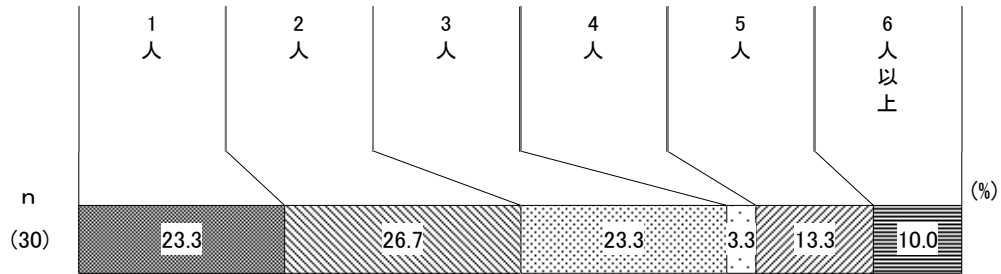
主とするサービス別でみると、居宅介護支援、訪問（入浴）介護は、「ない」がそれぞれ50.0%、80.0%、訪問看護は、「(子育て等と介護を同時に行っているケースが) ある」が47.4%で高くなっています。

【ダブルケアの有無/主とするサービス別】

		n	(子育て等と介護を同時に行っているケースが) ある (%)	ない (%)	無回答 (%)
全体		107	28.0	56.1	15.9
主とするサービス別	居宅介護支援	16	31.3	50.0	18.8
	訪問（入浴）介護	20	20.0	80.0	-
	訪問看護	19	47.4	36.8	15.8
	居宅療養管理指導	1	-	100.0	-
	通所介護	10	40.0	50.0	10.0
	短期入所生活介護	1	-	100.0	-
	特定施設入居者生活介護	2	50.0	50.0	-
	福祉用具貸与	2	-	100.0	-
	介護老人福祉施設	4	-	25.0	75.0
	介護老人保健施設	2	-	100.0	-
	夜間対応型訪問介護	1	-	100.0	-
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	-	-	100.0
	認知症対応型通所介護	3	-	66.7	33.3
	(看護)小規模多機能型居宅介護	4	50.0	50.0	-
	認知症対応型共同生活介護	4	25.0	50.0	25.0
	地域密着型介護老人福祉施設	2	50.0	-	50.0
	地域密着型通所介護	6	16.7	83.3	-
	介護予防支援	1	100.0	-	-
	介護予防訪問看護	1	-	100.0	-
	介護予防認知症対応型共同生活介護	1	-	-	100.0
通所型サービス	1	100.0	-	-	

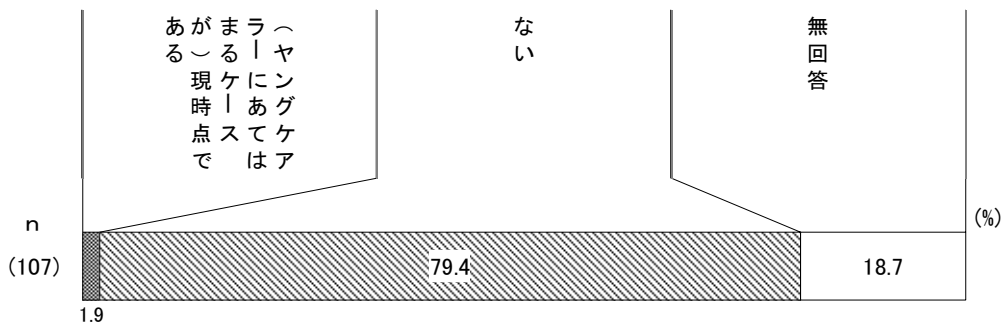
問27-1 ダブルケアの把握件数

ダブルケアの人数では、「2人」が26.7%で最も高く、以下、「1人」が23.3%、「3人」が23.3%、「5人」が13.3%となっています。



問28 ヤングケアラーの有無

区内介護サービス事業所において、利用者家族のヤングケアラーの有無を聞いたところ、「ある」が1.9%（2事業所）、「ない」が79.4%（85事業所）となっています。



利用者家族のヤングケアラーの有無について、「ある」と答えた事業所を主とするサービス別にみると、訪問（入浴）介護（1事業所）、介護予防支援（1事業所）となっています。

【ヤングケアラーの有無／主とするサービス別】

		n	(ヤング ケアラー にあては まるケー スが) 現 時点であ る	ない	(%) 無回答
全体		107	1.9	79.4	18.7
主とするサービス別	居宅介護支援	16	-	75.0	25.0
	訪問（入浴）介護	20	5.0	90.0	5.0
	訪問看護	19	-	73.7	26.3
	居宅療養管理指導	1	-	100.0	-
	通所介護	10	-	100.0	-
	短期入所生活介護	1	-	100.0	-
	特定施設入居者生活介護	2	-	100.0	-
	福祉用具貸与	2	-	100.0	-
	介護老人福祉施設	4	-	25.0	75.0
	介護老人保健施設	2	-	100.0	-
	夜間対応型訪問介護	1	-	100.0	-
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	-	-	100.0
	認知症対応型通所介護	3	-	66.7	33.3
	（看護）小規模多機能型居宅介護	4	-	100.0	-
	認知症対応型共同生活介護	4	-	75.0	25.0
	地域密着型介護老人福祉施設	2	-	-	100.0
	地域密着型通所介護	6	-	100.0	-
	介護予防支援	1	100.0	-	-
	介護予防訪問看護	1	-	100.0	-
	介護予防認知症対応型共同生活介護	1	-	100.0	-
通所型サービス	1	-	100.0	-	

問28-1 ヤングケアラーの把握件数

ヤングケアラーのケースを把握している2事業所について、その把握件数をみると、それぞれ「1件」、「3件」となっています。
 ケース内容をきいたところ、4件とも16~18歳（高校生世代）の孫がケアをしているケースとなっています。

【ヤングケアラーの件数】

		(%)					
	n	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上
全体	2	50.0	-	50.0	-	-	-

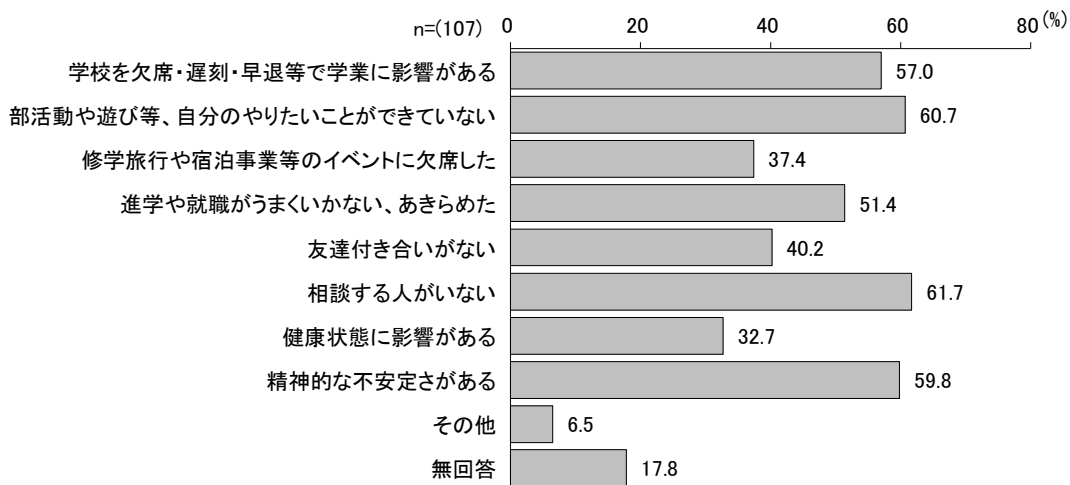
【ケース内容】

		利用者との続柄			
		子	孫	ひ孫	その他
年齢	12歳未満	-	-	-	-
	12~15歳	-	-	-	-
	16~18歳未満	-	4	-	-
	無回答	-	-	-	-

問29 若年者による介護により生じている問題

ヤングケアラーが介護を行うことにより生じている問題では、「相談する人がいない」が61.7%で最も高く、以下、「部活動や遊び等、自分のやりたいことができていない」が60.7%、「精神的な不安定さがある」が59.8%、「学校を欠席・遅刻・早退等で学業に影響がある」が57.0%となっています。

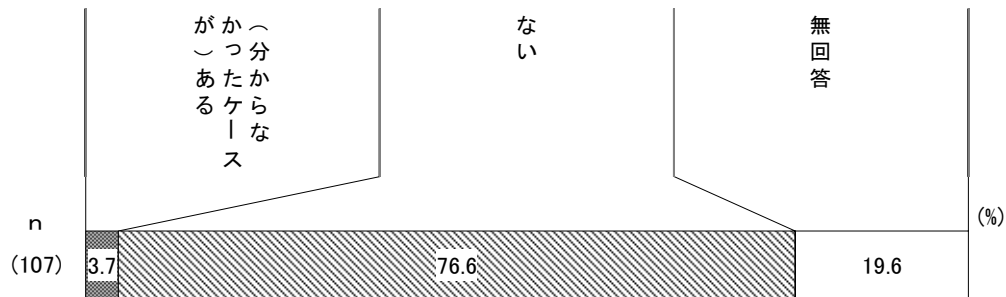
(複数回答)



9. 相談対応

問30 相談窓口や支援機関が分からなかったケースの有無

相談された際に相談窓口や支援機関つなぎ先が分からなかったケースでは、「ない」が76.6%、「(分からなかったケースが) ある」が3.7%となっています。



問30-1 ケースの内容（記述）

相談でつなぎ先が分からなかったケースの内容に関して、4人から回答がありました。

【主な回答内容】

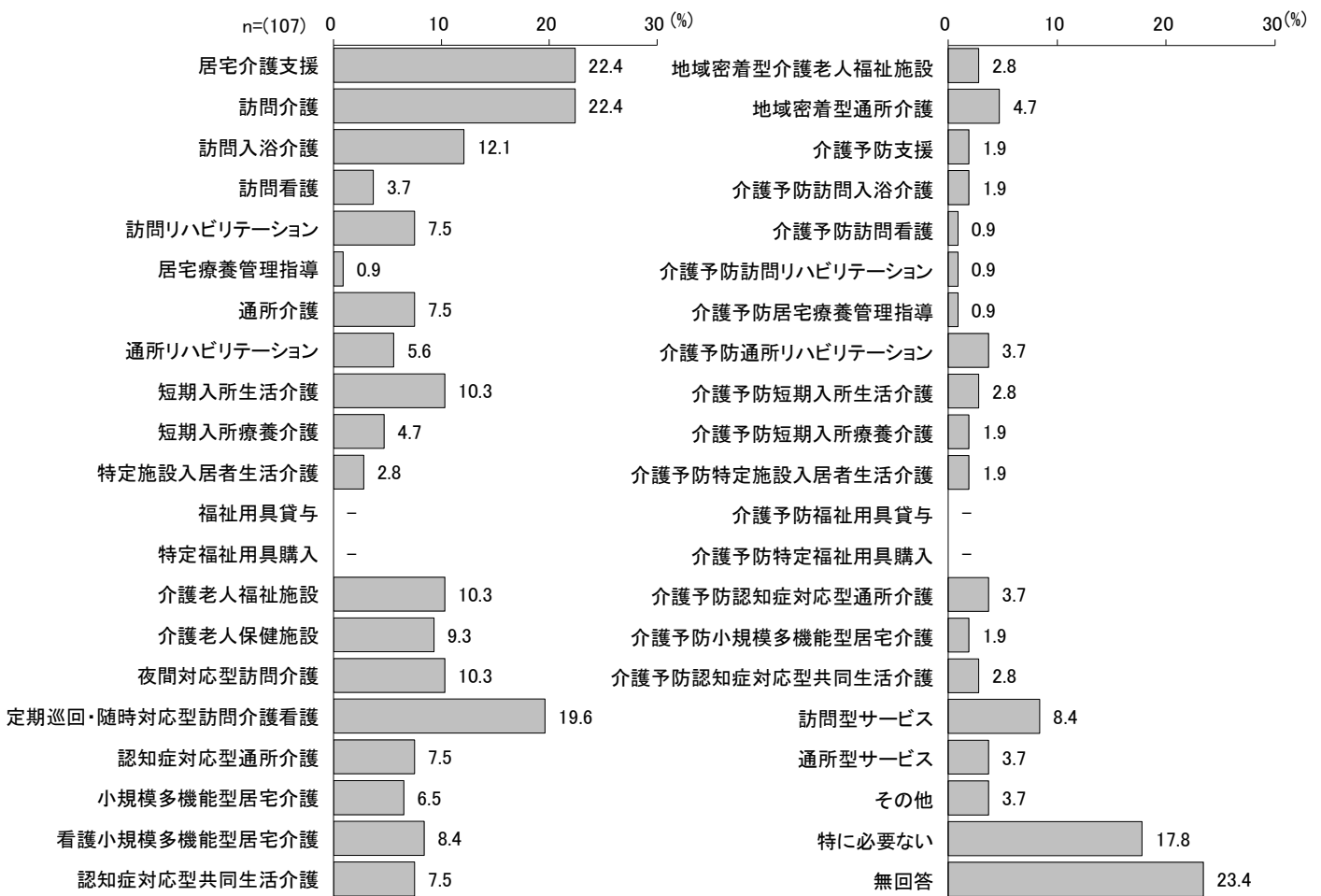
- 困難なケースは必ずたらい回しになり、ステーションが背負うことになる。実際どこも助けてくれません。
- 難病の方の吸引器の給付の手続きをするのが予防対策課か障害福祉課、どちらがするのか、なかなかわからなかった。

10. 事業展開等

問31 文京区内に不足していると思うサービス

区内において、不足していると思うサービスでは、「居宅介護支援」と「訪問介護」が22.4%で最も高く、以下、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が19.6%、「訪問入浴介護」が12.1%となっています。一方、「特に必要ない」は17.8%となっています。

(複数回答)



第7章 介護サービス事業者調査

主とするサービス別でみると、居宅介護支援は、「居宅介護支援」、「訪問介護」、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が43.8%、訪問（入浴）介護は、「特に必要ない」が35.0%、訪問看護は、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が26.3%で最も高くなっています。

従業員過不足状況別では、適当としている事業所は、「特に必要ない」が23.8%となっています。

【文京区内に不足していると思うサービス①／主とするサービス別、従業員過不足状況別】

		(%)										
		n	居宅介護支援	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	居宅療養管理指導	通所介護	通所リハビリテーション	短期入所生活介護	短期入所療養介護
全体		107	22.4	22.4	12.1	3.7	7.5	0.9	7.5	5.6	10.3	4.7
主とするサービス別	居宅介護支援	16	43.8	43.8	12.5	-	12.5	-	12.5	12.5	18.8	6.3
	訪問（入浴）介護	20	30.0	30.0	10.0	10.0	-	-	5.0	5.0	10.0	5.0
	訪問看護	19	10.5	5.3	10.5	-	5.3	-	-	5.3	-	5.3
	通所介護	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	短期入所生活介護	10	30.0	30.0	10.0	-	10.0	-	20.0	-	20.0	10.0
	福祉用具貸与	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	介護老人保健施設	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	夜間対応型訪問介護	2	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	認知症対応型通所介護	4	25.0	25.0	-	-	-	-	-	-	25.0	-
	（看護）小規模多機能型居宅介護	3	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-
	認知症対応型共同生活介護	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	地域密着型介護老人福祉施設	3	66.7	66.7	33.3	-	-	-	-	-	33.3	-
	地域密着型通所介護	3	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-
	介護予防支援	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
介護予防訪問看護	4	-	-	25.0	-	50.0	-	25.0	-	-	-	
介護予防認知症対応型共同生活介護	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
通所型サービス	6	-	-	-	16.7	16.7	-	-	-	-	-	
従業員過不足状況別	大いに不足	14	28.6	21.4	14.3	-	7.1	-	-	-	-	7.1
	不足	15	53.3	46.7	33.3	-	13.3	-	6.7	-	13.3	-
	やや不足	29	20.7	24.1	17.2	13.8	10.3	3.4	20.7	17.2	17.2	6.9
	適当	21	9.5	14.3	-	-	9.5	-	-	-	19.0	9.5
	過剰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【文京区内に不足していると思うサービス②／主とするサービス別、従業員過不足状況別】

		(%)										
		特定施設 入居者生 活介護	福祉用具 貸与	特定福祉 用具購入	介護老人 福祉施設	介護老人 保健施設	夜間対応 型訪問介 護	定期巡 回・随時 対応型訪 問介護看 護	認知症対 応型通所 介護	小規模多 機能型居 宅介護	看護小規 模多機能 型居宅介 護	認知症対 応型共同 生活介護
全 体		2.8	-	-	10.3	9.3	10.3	19.6	7.5	6.5	8.4	7.5
主とするサービス別	居宅介護支援	6.3	-	-	18.8	12.5	6.3	43.8	12.5	12.5	6.3	6.3
	訪問（入浴）介護	5.0	-	-	5.0	15.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	5.0
	訪問看護	-	-	-	10.5	10.5	15.8	26.3	-	5.3	21.1	10.5
	通所介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	短期入所生活介護	-	-	-	10.0	-	20.0	20.0	10.0	-	-	-
	福祉用具貸与	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	介護老人保健施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	夜間対応型訪問介護	50.0	-	-	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	認知症対応型通所介護	-	-	-	-	-	-	25.0	-	-	-	-
	（看護）小規模多機能型居宅介護	-	-	-	-	-	33.3	33.3	-	-	-	-
	認知症対応型共同生活介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	地域密着型介護老人福祉施設	-	-	-	-	-	33.3	66.7	-	-	-	-
	地域密着型通所介護	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-	33.3	-
	介護予防支援	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
介護予防訪問看護	-	-	-	25.0	25.0	-	-	-	25.0	-	50.0	
介護予防認知症対応型共同生活介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
通所型サービス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
従業員過不足状況別	大いに不足	-	-	-	14.3	7.1	7.1	28.6	7.1	7.1	7.1	-
	不足	-	-	-	6.7	13.3	20.0	40.0	6.7	-	13.3	13.3
	やや不足	6.9	-	-	10.3	13.8	10.3	13.8	10.3	10.3	10.3	13.8
	適当	-	-	-	19.0	14.3	4.8	14.3	14.3	4.8	14.3	9.5
	過剰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

		地域密着 型介護老 人福祉施 設	地域密着 型通所介 護	介護予防 支援	介護予防 訪問入浴 介護	介護予防 訪問看護	介護予防 訪問リハ ビリテー ション	介護予防 居宅療養 管理指導	介護予防 通所リハ ビリテー ション	介護予防 短期入所 生活介護	介護予防 短期入所 療養介護	介護予防 特定施設 入居者生 活介護
全 体		2.8	4.7	1.9	1.9	0.9	0.9	0.9	3.7	2.8	1.9	1.9
主とするサービス別	居宅介護支援	-	6.3	-	6.3	-	-	-	6.3	6.3	-	-
	訪問（入浴）介護	5.0	5.0	5.0	-	-	-	-	5.0	5.0	5.0	5.0
	訪問看護	5.3	5.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	通所介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	短期入所生活介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	福祉用具貸与	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	介護老人保健施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	夜間対応型訪問介護	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	認知症対応型通所介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	（看護）小規模多機能型居宅介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	認知症対応型共同生活介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	地域密着型介護老人福祉施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	地域密着型通所介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	介護予防支援	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
介護予防訪問看護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
介護予防認知症対応型共同生活介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
通所型サービス	-	16.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
従業員過不足状況別	大いに不足	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	不足	6.7	6.7	-	6.7	-	-	-	6.7	6.7	-	-
	やや不足	6.9	13.8	6.9	3.4	3.4	3.4	3.4	10.3	6.9	6.9	6.9
	適当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	過剰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第7章 介護サービス事業者調査

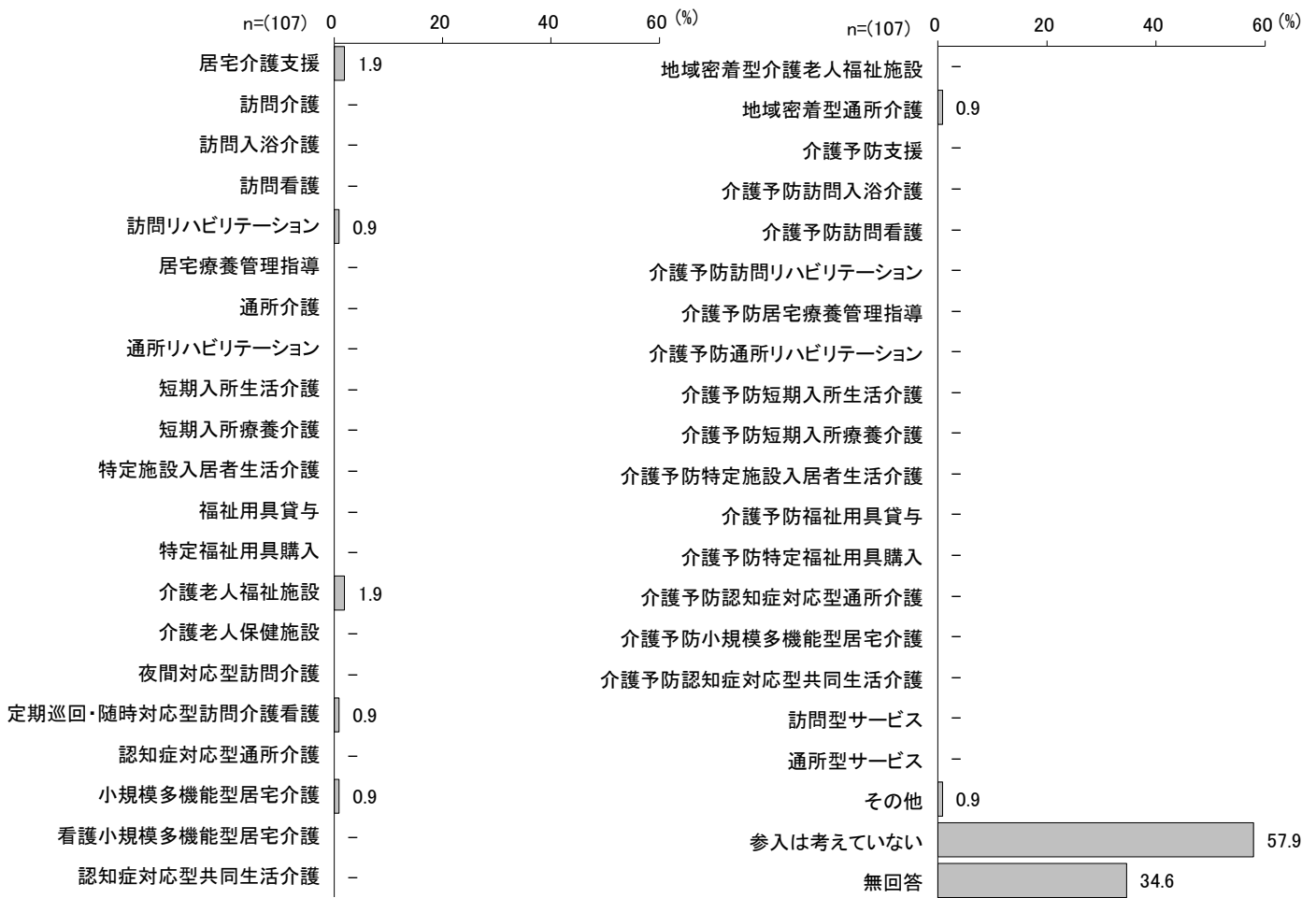
【文京区内に不足していると思うサービス③／主とするサービス別、従業員過不足状況別】

		(%)									
		介護予防 福祉用具 貸与	介護予防 特定福祉 用具購入	介護予防 認知症対 応型通所 介護	介護予防 小規模多 機能型居 宅介護	介護予防 認知症対 応型共同 生活介護	訪問型 サービス	通所型 サービス	その他	特に必要 ない	無回答
全	体	-	-	3.7	1.9	2.8	8.4	3.7	3.7	17.8	23.4
主 と す る サ ー ビ ス 別	居宅介護支援	-	-	6.3	-	6.3	12.5	6.3	6.3	6.3	-
	訪問（入浴）介護	-	-	5.0	5.0	5.0	10.0	-	-	35.0	-
	訪問看護	-	-	-	-	-	-	5.3	15.8	5.3	26.3
	通所介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	短期入所生活介護	-	-	-	-	-	10.0	-	-	10.0	20.0
	福祉用具貸与	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	介護老人保健施設	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0
	夜間対応型訪問介護	-	-	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	-	50.0	-
	認知症対応型通所介護	-	-	-	-	-	25.0	-	-	-	75.0
	（看護）小規模多機能型居宅介護	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-
	認知症対応型共同生活介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	地域密着型介護老人福祉施設	-	-	-	-	-	33.3	-	-	-	33.3
	地域密着型通所介護	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-
	介護予防支援	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	介護予防訪問看護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0
介護予防認知症対応型共同生活介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	
通所型サービス	-	-	16.7	-	-	-	-	-	-	33.3	50.0
従業員過不足状況別	大いに不足	-	-	-	-	-	14.3	-	14.3	14.3	14.3
	不足	-	-	6.7	-	6.7	13.3	6.7	-	20.0	-
	やや不足	-	-	10.3	6.9	6.9	13.8	6.9	3.4	24.1	17.2
	適当	-	-	-	-	-	4.8	-	4.8	23.8	14.3
	過剰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問32 今後参入を考えているサービス

今後参入を考えている介護保険サービスでは、「参入は考えていない」が57.9%を占めています。一方、具体的な選択肢の中では、「居宅介護支援」と「介護老人福祉施設」が1.9%で、「訪問リハビリテーション」、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」、「小規模多機能型居宅介護」、「地域密着型通所介護」が0.9%となっています。

(複数回答)



第7章 介護サービス事業者調査

主とするサービス別でみると、居宅介護支援、訪問（入浴）介護、訪問看護いずれも、「参入は考えていない」がそれぞれ68.8%、75.0%、68.4%で最も高くなっています。

【今後参入を考えているサービス①/主とするサービス別】

(%)

	n	居宅介護支援	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	居宅療養管理指導	通所介護	通所リハビリテーション	短期入所生活介護	短期入所療養介護
全体	107	1.9	-	-	-	0.9	-	-	-	-	-
主とするサービス別	居宅介護支援	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	訪問（入浴）介護	20	5.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	訪問看護	19	5.3	-	-	-	-	-	-	-	-
	通所介護	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	短期入所生活介護	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	福祉用具貸与	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	介護老人保健施設	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	夜間対応型訪問介護	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	認知症対応型通所介護	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	（看護）小規模多機能型居宅介護	3	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-
	認知症対応型共同生活介護	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	地域密着型介護老人福祉施設	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	地域密着型通所介護	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	介護予防支援	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
介護予防訪問看護	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
介護予防認知症対応型共同生活介護	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
通所型サービス	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

	特定施設入居者生活介護	福祉用具貸与	特定福祉用具購入	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	夜間対応型訪問介護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	認知症対応型通所介護	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護	認知症対応型共同生活介護
全体	-	-	-	1.9	-	-	0.9	-	0.9	-	-
主とするサービス別	居宅介護支援	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	訪問（入浴）介護	-	-	-	-	-	-	-	5.0	-	-
	訪問看護	-	-	-	-	-	5.3	-	-	-	-
	通所介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	短期入所生活介護	-	-	-	10.0	-	-	-	-	-	-
	福祉用具貸与	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	介護老人保健施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	夜間対応型訪問介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	認知症対応型通所介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	（看護）小規模多機能型居宅介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	認知症対応型共同生活介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	地域密着型介護老人福祉施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	地域密着型通所介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	介護予防支援	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
介護予防訪問看護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
介護予防認知症対応型共同生活介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
通所型サービス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

【今後参入を考えているサービス②／主とするサービス別】

(%)

	地域密着型介護老人福祉施設	地域密着型通所介護	介護予防支援	介護予防訪問入浴介護	介護予防訪問看護	介護予防訪問リハビリテーション	介護予防居宅療養管理指導	介護予防通所リハビリテーション	介護予防短期入所生活介護	介護予防短期入所療養介護	介護予防特定施設入居者生活介護
全体	-	0.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-
主とするサービス別	居宅介護支援	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	訪問（入浴）介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	訪問看護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	通所介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	短期入所生活介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	福祉用具貸与	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	介護老人保健施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	夜間対応型訪問介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	認知症対応型通所介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	（看護）小規模多機能型居宅介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	認知症対応型共同生活介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	地域密着型介護老人福祉施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	地域密着型通所介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	介護予防支援	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
介護予防訪問看護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
介護予防認知症対応型共同生活介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
通所型サービス	-	16.7	-	-	-	-	-	-	-	-	

	介護予防福祉用具貸与	介護予防特定福祉用具購入	介護予防認知症対応型通所介護	介護予防小規模多機能型居宅介護	介護予防認知症対応型共同生活介護	訪問型サービス	通所型サービス	その他	参入は考えていない	無回答
全体	-	-	-	-	-	-	-	0.9	57.9	34.6
主とするサービス別	居宅介護支援	-	-	-	-	-	-	6.3	68.8	25.0
	訪問（入浴）介護	-	-	-	-	-	-	-	75.0	15.0
	訪問看護	-	-	-	-	-	-	-	68.4	21.1
	通所介護	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	短期入所生活介護	-	-	-	-	-	-	-	30.0	60.0
	福祉用具貸与	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	介護老人保健施設	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	夜間対応型訪問介護	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	認知症対応型通所介護	-	-	-	-	-	-	-	25.0	75.0
	（看護）小規模多機能型居宅介護	-	-	-	-	-	-	-	33.3	33.3
	認知症対応型共同生活介護	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	地域密着型介護老人福祉施設	-	-	-	-	-	-	-	33.3	66.7
	地域密着型通所介護	-	-	-	-	-	-	-	66.7	33.3
	介護予防支援	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
介護予防訪問看護	-	-	-	-	-	-	-	75.0	25.0	
介護予防認知症対応型共同生活介護	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	
通所型サービス	-	-	-	-	-	-	-	66.7	16.7	

問33 区に期待する支援（記述）

介護保険制度について区からの支援に関して、15人から回答がありました。

【主な回答内容】

- 文京区のデイサービスはエリアがあるため、自宅がそのデイに近くともエリア外と言われたり、入浴希望でも一杯で入れない事が多い。リハビリができ、入浴があるデイが少ない。ショートステイは緊急時は入れない。他区を使用するが、送迎がない所もあり不便です。
- 昨今のコロナ禍において、家族が罹患し、認知症の高齢者が一人で家に残されたり、独居高齢者が罹患した場合、なかなかサービスが手配できない場合が多い。介護者の安全第一ではあるが、区独自の施設ができないものか。今後も又、この様な事が起こり得ると思う。災害等でも同じく、安心できるスペースを確保して頂けると有難いと思います。
- おむつの支給について、軽度（介護1等）の方からの申請を可能にして欲しい。24時間365日介護相談ができる行政の窓口を設置して欲しい。高齢、介護、障害、生活保護、住宅、年金、医療保険…など、異なる区の窓口が互いに連携して区民（高齢者等）の困り事に対し、一緒に解決の方法を考えて欲しい。地域包括支援センターの取り組みや方針を区内で統一して欲しい。法改正や区の取り組みの変更等、早めにプリントやリーフレットを作成し、ケアマネジャーが説明をしやすくして欲しい。今回のアンケートについて居宅介護支援と他介護職を分けて実施した方が良かったのではないかな？
- 以前はネットの会の様にケアマネジャーの集まりがあり、研修や情報交換ができ有益であった。しかし有志に頼るものであったため終了となった。ケアマネジャーの協議会の設立に支援が欲しい。また他区ではサービス提供責任者の集まりがあるので、文京区でもサービス提供責任者の協議会の様なものがあれば良い。

第8章 介護事業従事者調査

第8章 目次

頁

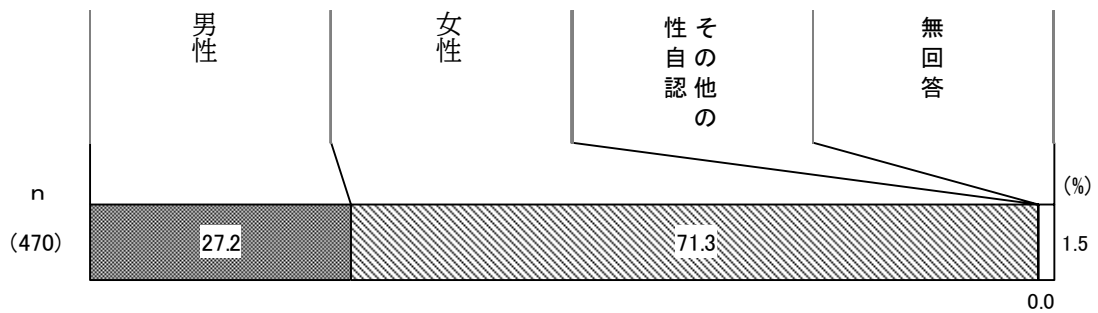
第8章 介護事業従事者調査	493
1. 基礎情報	497
問1 性別	497
問2 年齢	498
問3 通勤状況	498
問4 職場のサービス種別	502
問5 事業所の全体職員数	503
2. 就業形態	504
問6 就業形態	504
問7 担当する仕事内容	505
問8 職位	507
問9 上位の職位への向上心	508
問10 就労年数	509
問11 介護の仕事に興味を持った主なきっかけ	512
問12 現在の介護職を選んだ理由	513
問13 現在の職場のことを知ったきっかけ	514
問14 現在の職場を選んだ理由	515
3. 資格	517
問15 取得している資格	517
問16 今後取得したい資格	519
4. 研修・講習会	521
問17 職場以外で行われた介護分野に関する研修・講習会の参加状況（過去1年間）	521
問17-1 文京区主催の研修等への参加状況	522
問17-2 参加した研修・講習会の内容と業務への活用度	523
問17-3 不参加の理由	529
問18 文京区で参加したい研修・講習会	530
5. 勤務条件	532
問19 収入（賞与及び残業・交通費等諸手当等を含む）	532
問20 1週間の労働日数	537
問21 1週間の労働時間	538
問22 深夜勤務の有無	539
問22-1 1か月当たりの平均深夜勤務日数	540
問23 有給休暇の年間取得状況	541
6. 職場環境	542
問24 現在の仕事の満足度	542
問25 介護の仕事の継続意向	549
問26 労働条件、仕事の負担への悩み、不安、不満等	550

問27	職場の人間関係等への悩み、不安、不満等	552
問28	人材の育成・定着のために有効だと思うポイント	553
問29	利用者への悩み、不安、不満等	553
問30	利用者家族への悩み、不安、不満等	555
問31	この1年間におけるセクハラ・パワハラ等の経験	556
問32	現在の職場でやりがい（働きがい）を感じる事	561
問33	介護に携わる人材を増やすために必要な事	563
問34	介護の仕事を人に勧めたいか	565
問34-1	問34の回答理由（記述）	565
7.	意見・要望	567
問35	区への意見、要望（記述）	567

1. 基礎情報

問1 性別

性別では、「女性」が71.3%で最も高く、以下、「男性」が27.2%となっています。



年齢別年齢別でみると、30歳～39歳では、男女同率になっています。

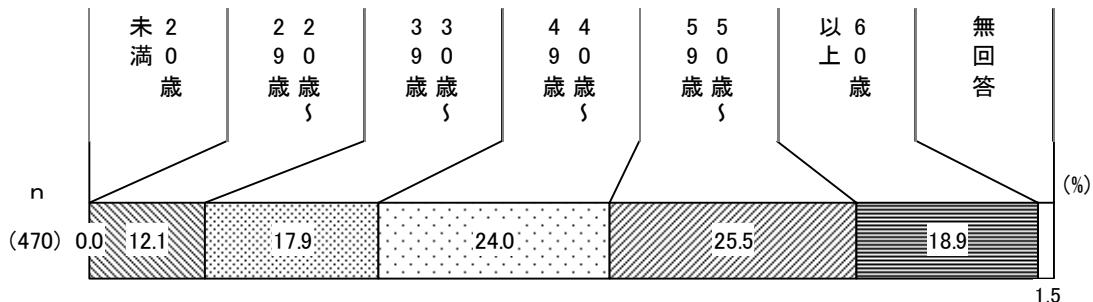
就業形態別でみると、正規職員の男性は、31.0%に対して、非正規職員は17.6%となっています。

【性別／年齢別、就業形態別】

		n	男性	女性	その他の性自認	無回答
全体		470	27.2	71.3	-	1.5
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	57	33.3	64.9	-	1.8
	30歳～39歳	84	50.0	50.0	-	-
	40歳～49歳	113	25.7	73.5	-	0.9
	50歳～59歳	120	20.8	79.2	-	-
	60歳以上	89	14.6	85.4	-	-
就業形態別	正規職員	345	31.0	68.4	-	0.6
	非正規職員	119	17.6	82.4	-	-

問2 年齢

年齢では、「50歳～59歳」が25.5%で最も高く、以下、「40歳～49歳」が24.0%、「60歳以上」が18.9%、「30歳～39歳」が17.9%となっています。



性別で見ると、男性は、「30歳～39歳」が32.8%、女性は、「50歳～59歳」が28.4%で最も高くなっています。
 就業形態別で見ると、正規職員は、「40歳～49歳」が27.2%、非正規職員は、「60歳以上」が41.2%で最も高くなっています。

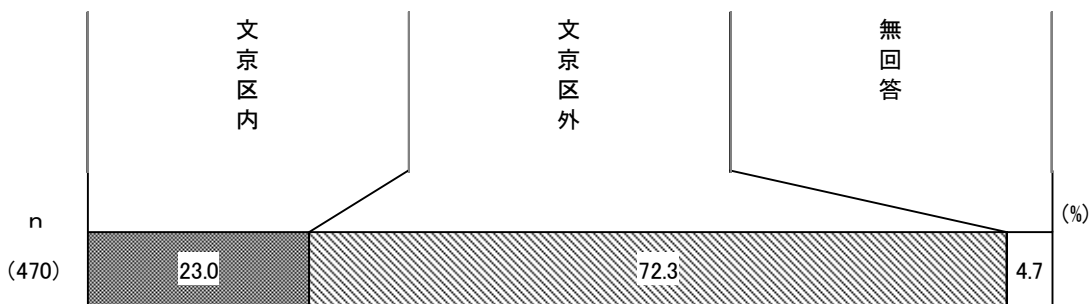
【年齢／性別、就業形態別】

		n	(%)						
			20歳未満	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳以上	無回答
全体		470	-	12.1	17.9	24.0	25.5	18.9	1.5
性別	男性	128	-	14.8	32.8	22.7	19.5	10.2	-
	女性	335	-	11.0	12.5	24.8	28.4	22.7	0.6
就業形態別	正規職員	345	-	14.8	20.3	27.2	25.8	11.6	0.3
	非正規職員	119	-	5.0	10.9	16.0	26.1	41.2	0.8

問3 通勤状況

①住まいについて

住まいでは、「文京区外」が72.3%、「文京区内」が23.0%となっています。



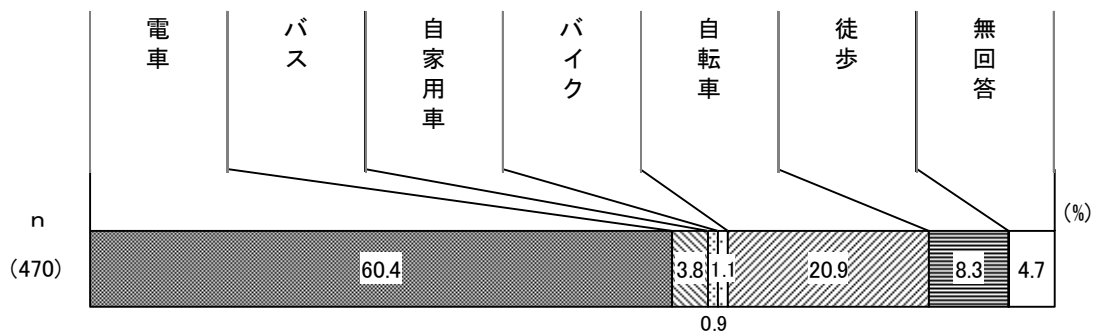
性別で見ると、「文京区内」では、女性が25.4%で、男性よりも高くなっています。
 年齢別で見ると、「文京区内」は、高年齢層ほど高くなっています。
 就業形態別で見ると、「文京区内」は、非正規職員が31.9%と高くなっています。

【通勤状況・住まいについて／性別、年齢別、就業形態別】

		n	(%)		
			文京区内	文京区外	無回答
全体		470	23.0	72.3	4.7
性別	男性	128	17.2	79.7	3.1
	女性	335	25.4	70.7	3.9
年齢別	20歳未満	-	-	-	-
	20歳～29歳	57	15.8	80.7	3.5
	30歳～39歳	84	21.4	77.4	1.2
	40歳～49歳	113	24.8	74.3	0.9
	50歳～59歳	120	24.2	73.3	2.5
	60歳以上	89	27.0	61.8	11.2
就業形態別	正規職員	345	20.3	77.1	2.6
	非正規職員	119	31.9	62.2	5.9

②主な通勤手段

主な通勤手段では、「電車」が60.4%で最も高く、以下、「自転車」が20.9%、「徒歩」が8.3%、「バス」が3.8%となっています。



性別で見ると、男女とも「電車」が最も高くなっています。特に男性は69.5%で、女性は「自転車」の24.2%が男性の13.3%を上回っています。

年齢別で見ると、いずれの年齢層も「電車」が最も高くなっていますが、低年齢層ほどその傾向が強く、一方、「自転車」は、高年齢層ほど高くなっています。

就業形態別で見ると、いずれの形態も「電車」が最も高くなっていますが、非正規職員は44.5%にとどまり、「自転車」が34.5%と正規職員の16.5%を上回っています。

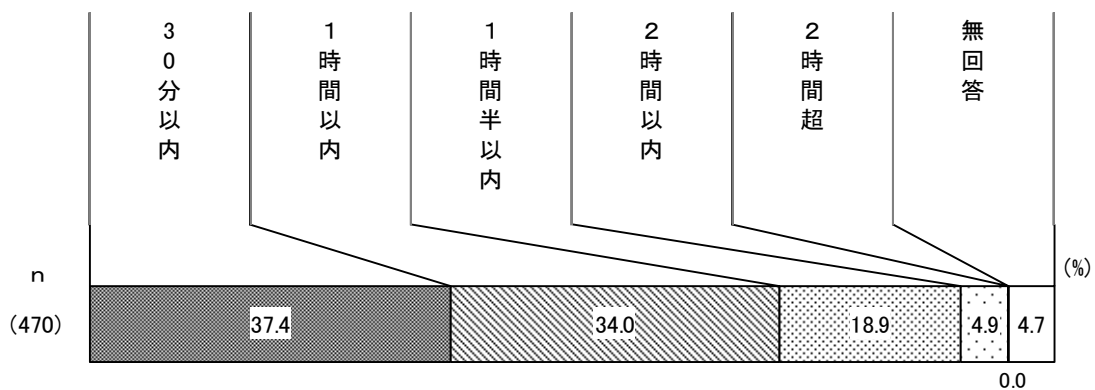
【通勤状況・主な交通手段／性別、年齢別、就業形態別】

(%)

		n	電車	バス	自家用車	バイク	自転車	徒歩	無回答
全体		470	60.4	3.8	0.9	1.1	20.9	8.3	4.7
性別	男性	128	69.5	2.3	2.3	2.3	13.3	8.6	1.6
	女性	335	57.6	4.5	0.3	0.6	24.2	8.4	4.5
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	57	82.5	1.8	1.8	-	10.5	3.5	-
	30歳～39歳	84	65.5	2.4	-	-	19.0	8.3	4.8
	40歳～49歳	113	61.1	3.5	0.9	0.9	21.2	8.8	3.5
	50歳～59歳	120	58.3	3.3	-	2.5	20.8	11.7	3.3
	60歳以上	89	47.2	7.9	2.2	1.1	30.3	5.6	5.6
就業形態別	正規職員	345	67.0	2.9	0.9	1.4	16.5	9.0	2.3
	非正規職員	119	44.5	6.7	0.8	-	34.5	6.7	6.7

③通勤時間

通勤時間では、「30分以内」が37.4%で最も高く、以下、「1時間以内」が34.0%、「1時間半以内」が18.9%、「2時間以内」が4.9%となっています。



性別で見ると、女性は、「30分以内」が42.1%と高くなっています。

年齢別で見ると、「30分以内」は、高年齢層ほど、「1時間以内」や「2時間以内」は、低年齢層ほど高くなっています。

就業形態別で見ると、非正規職員は、「30分以内」が46.2%と高くなっています。

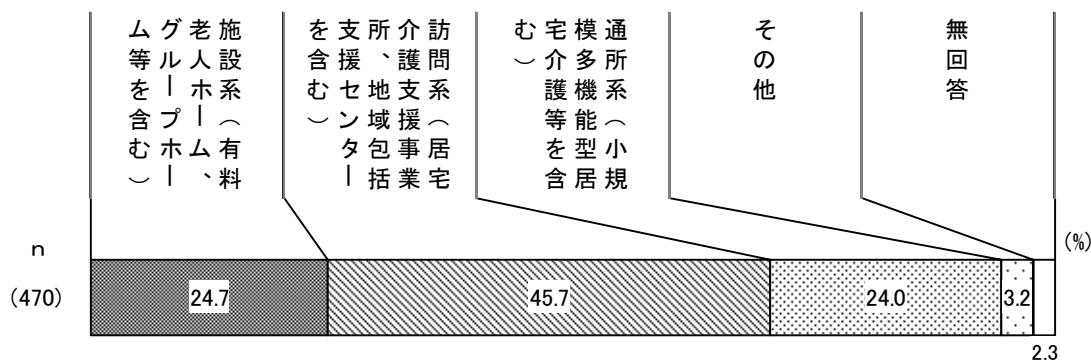
【通勤時間／性別、年齢別、就業形態別】

(%)

		n	30分以内	1時間以内	1時間半以内	2時間以内	2時間超	無回答
全体		470	37.4	34.0	18.9	4.9	-	4.7
性別	男性	128	25.8	35.2	25.8	9.4	-	3.9
	女性	335	42.1	34.3	16.7	3.3	-	3.6
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	57	26.3	33.3	22.8	10.5	-	7.0
	30歳～39歳	84	25.0	42.9	21.4	6.0	-	4.8
	40歳～49歳	113	36.3	33.6	21.2	5.3	-	3.5
	50歳～59歳	120	45.8	36.7	11.7	4.2	-	1.7
	60歳以上	89	48.3	24.7	22.5	1.1	-	3.4
就業形態別	正規職員	345	35.1	36.8	18.8	5.8	-	3.5
	非正規職員	119	46.2	27.7	20.2	2.5	-	3.4

問4 職場のサービス種別

職場のサービス種別では、「訪問系（居宅介護支援事業所、地域包括支援センターを含む）」が45.7%で最も高く、以下、「施設系（有料老人ホーム、グループホーム等を含む）」が24.7%、「通所系（小規模多機能型居宅介護等を含む）」が24.0%となっています。



性別でみると、女性は、「訪問系（居宅介護支援事業所、地域包括支援センターを含む）」が50.7%と高くなっています。

年齢別でみると、20歳～29歳は、「通所系（小規模多機能型居宅介護等を含む）」が36.8%で、30歳以上の各層は、「訪問系（居宅介護支援事業所、地域包括支援センターを含む）」が最も高くなっています。

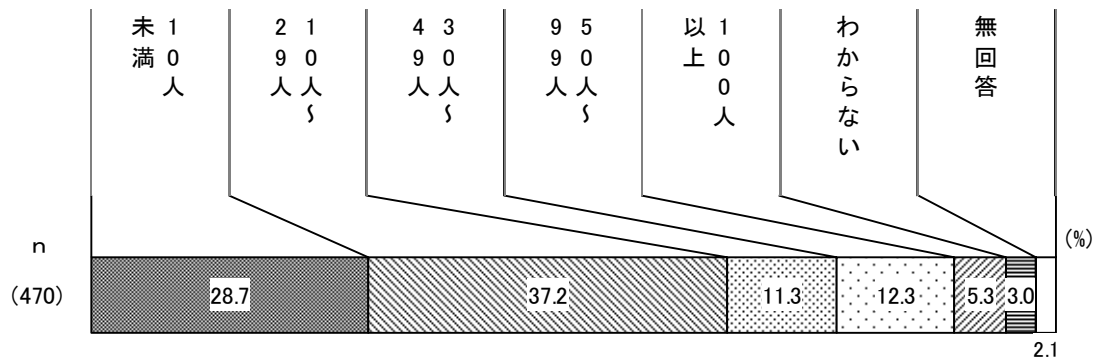
就業形態別でみると、正規職員は、「施設系（有料老人ホーム、グループホーム等を含む）」が27.0%とやや高くなっています。

【職場のサービス種別／性別、年齢別、就業形態別】

		n	施設系(有料老人ホーム、グループホーム等を含む)	訪問系(居宅介護支援事業所、地域包括支援センターを含む)	通所系(小規模多機能型居宅介護等を含む)	その他	無回答
全体		470	24.7	45.7	24.0	3.2	2.3
性別	男性	128	28.1	35.2	35.2	1.6	-
	女性	335	23.3	50.7	20.3	3.9	1.8
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	57	35.1	28.1	36.8	-	-
	30歳～39歳	84	29.8	46.4	19.0	3.6	1.2
	40歳～49歳	113	18.6	49.6	24.8	5.3	1.8
	50歳～59歳	120	26.7	48.3	22.5	2.5	-
	60歳以上	89	19.1	50.6	23.6	3.4	3.4
就業形態別	正規職員	345	27.0	45.8	22.9	3.8	0.6
	非正規職員	119	19.3	47.9	28.6	1.7	2.5

問5 事業所の全体職員数

勤務先の事業所の全体職員数（パート・アルバイト・派遣・委託含む）では、「10人～29人」が37.2%で最も高く、以下、「10人未満」が28.7%、「50人～99人」が12.3%、「30人～49人」が11.3%となっています。



性別では、特に目立った違いはありません。
 年齢別でみると、20歳～29歳は、「10人未満」が35.1%で、30歳以上の各層は、「10人～29人」が最も高くなっています。
 就業形態別でみると、「10人～29人」では、非正規職員が42.9%と高く、「30人～49人」や「50人～99人」では、正規職員の方が上回っています。

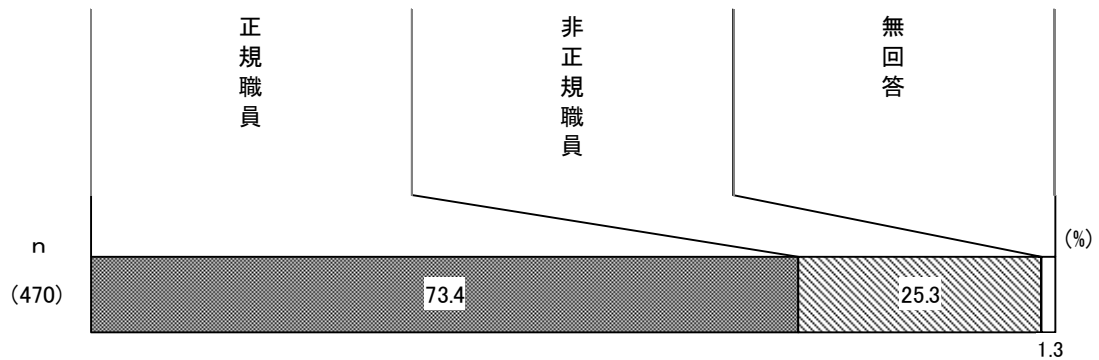
【事業所の全体職員数／性別、年齢別、就業形態別】

		n	10人未満	10人～29人	30人～49人	50人～99人	100人以上	わからない	無回答
全体		470	28.7	37.2	11.3	12.3	5.3	3.0	2.1
性別	男性	128	31.3	36.7	13.3	12.5	6.3	-	-
	女性	335	28.1	38.2	10.7	12.2	5.1	4.2	1.5
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	57	35.1	29.8	14.0	7.0	7.0	7.0	-
	30歳～39歳	84	28.6	35.7	15.5	14.3	1.2	2.4	2.4
	40歳～49歳	113	30.1	41.6	6.2	14.2	6.2	1.8	-
	50歳～59歳	120	30.8	35.0	11.7	15.0	5.0	1.7	0.8
60歳以上	89	21.3	42.7	12.4	9.0	7.9	4.5	2.2	
就業形態別	正規職員	345	29.3	35.9	12.5	14.8	4.3	2.9	0.3
	非正規職員	119	28.6	42.9	8.4	5.9	8.4	3.4	2.5

2. 就業形態

問6 就業形態

就業形態では、「正規職員」が73.4%、「非正規職員」が25.3%となっています。



性別でみると、「正規職員」では、男性が83.6%と高くなっています。

年齢別でみると、「正規職員」は、低年齢層ほど、60歳以上では、「非正規職員」が55.1%と高くなっています。

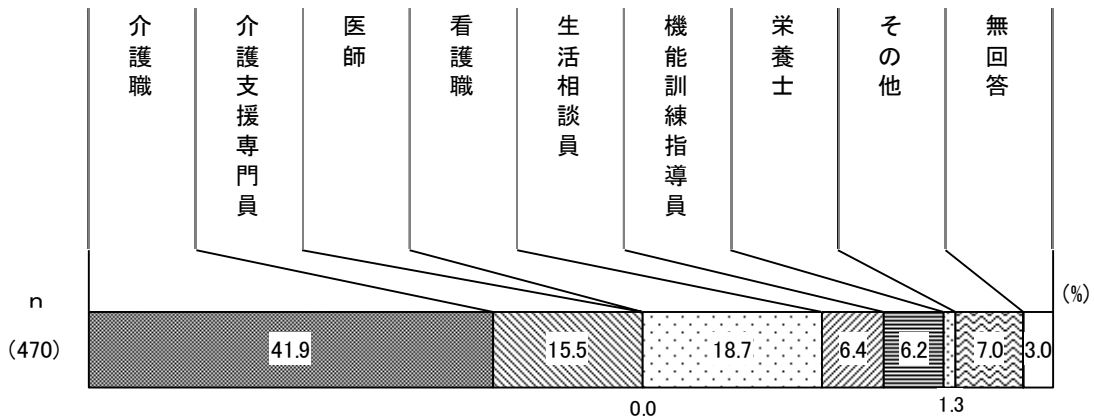
【就業形態／性別、年齢別】

		n	(%)		
			正規職員	非正規職員	無回答
全体		470	73.4	25.3	1.3
性別	男性	128	83.6	16.4	-
	女性	335	70.4	29.3	0.3
年齢別	20歳未満	-	-	-	-
	20歳～29歳	57	89.5	10.5	-
	30歳～39歳	84	83.3	15.5	1.2
	40歳～49歳	113	83.2	16.8	-
	50歳～59歳	120	74.2	25.8	-
	60歳以上	89	44.9	55.1	-

問7 担当する仕事内容

①主なもの

担当する仕事①主なものでは、「介護職」が41.9%で最も高く、以下、「看護職」が18.7%、「介護支援専門員」が15.5%となっています。



性別で見ると、男性は、「介護職」で53.9%、「機能訓練指導員」で11.7%、女性は、「介護支援専門員」で18.8%、「看護職」で24.2%と高くなっています。
 年齢別で見ると、「介護支援専門員」は、比較的高齢層で高くなっています。
 就業形態別では、特に目立った違いはありません。

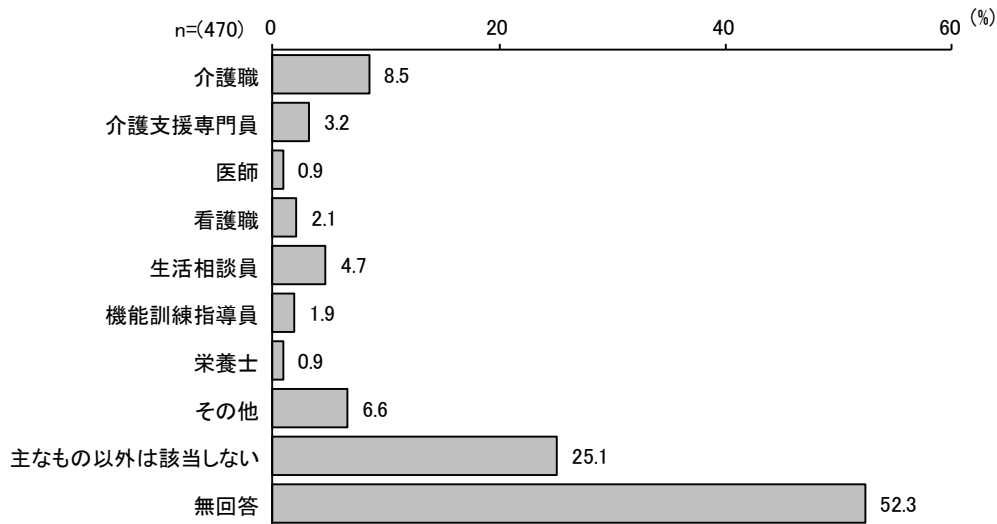
【担当する仕事内容・主なもの／性別、年齢別、就業形態別】

		n	介護職	介護支援専門員	医師	看護職	生活相談員	機能訓練指導員	栄養士	その他	無回答
全体		470	41.9	15.5	-	18.7	6.4	6.2	1.3	7.0	3.0
性別	男性	128	53.9	7.8	-	5.5	9.4	11.7	-	10.9	0.8
	女性	335	37.6	18.8	-	24.2	5.4	4.2	1.8	5.7	2.4
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	57	54.4	-	-	21.1	10.5	8.8	1.8	1.8	1.8
	30歳～39歳	84	44.0	4.8	-	16.7	8.3	11.9	2.4	8.3	3.6
	40歳～49歳	113	32.7	14.2	-	27.4	8.0	2.7	1.8	13.3	-
	50歳～59歳	120	40.0	27.5	-	15.8	3.3	7.5	0.8	3.3	1.7
60歳以上	89	47.2	22.5	-	13.5	4.5	2.2	-	6.7	3.4	
就業形態別	正規職員	345	41.4	16.2	-	17.4	8.4	6.7	1.7	7.2	0.9
	非正規職員	119	45.4	14.3	-	23.5	0.8	5.0	-	6.7	4.2

②主なものの以外で該当するもの

担当する仕事②主なものの以外で該当するものでは、「主なものの以外は該当しない」が25.1%を占めています。一方、具体的な選択肢の中では、「介護職」が8.5%で最も高く、以下、「生活相談員」が4.7%、「介護支援専門員」が3.2%となっています。

(複数回答)



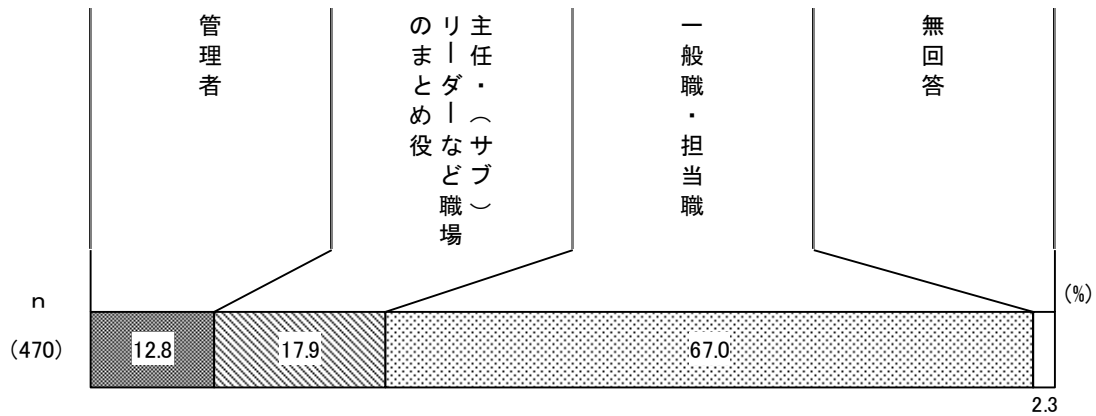
性別及び就業形態別では、特に目立った違いはありません。
 年齢別でみると、「主なものの以外は該当しない」は、低年齢層で高い傾向にあります。
 就業形態別では、特に目立った違いはありません。

【担当する仕事内容・主なものの以外で該当するもの／性別、年齢別、就業形態別】

		n	介護職	介護支援専門員	医師	看護職	生活相談員	機能訓練指導員	栄養士	その他	主なものの以外は該当しない	無回答
全体		470	8.5	3.2	0.9	2.1	4.7	1.9	0.9	6.6	25.1	52.3
性別	男性	128	9.4	4.7	2.3	3.9	7.8	3.9	2.3	8.6	21.9	49.2
	女性	335	8.4	2.7	0.3	1.5	3.6	1.2	0.3	6.0	26.9	52.5
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	57	10.5	5.3	1.8	5.3	3.5	7.0	3.5	7.0	35.1	40.4
	30歳～39歳	84	8.3	1.2	3.6	3.6	7.1	2.4	2.4	9.5	33.3	44.0
	40歳～49歳	113	8.8	6.2	-	-	5.3	-	-	7.1	31.9	40.7
	50歳～59歳	120	9.2	2.5	-	1.7	4.2	2.5	-	6.7	18.3	56.7
	60歳以上	89	6.7	1.1	-	2.2	3.4	-	-	3.4	13.5	73.0
就業形態別	正規職員	345	8.7	3.8	0.9	2.3	5.2	2.0	0.9	7.0	25.8	49.6
	非正規職員	119	8.4	1.7	0.8	1.7	3.4	1.7	0.8	5.9	24.4	58.0

問8 職位

職位では、「一般職・担当職」が67.0%で最も高く、以下、「主任・(サブ)リーダーなど職場のまとめ役」が17.9%、「管理者」が12.8%となっています。



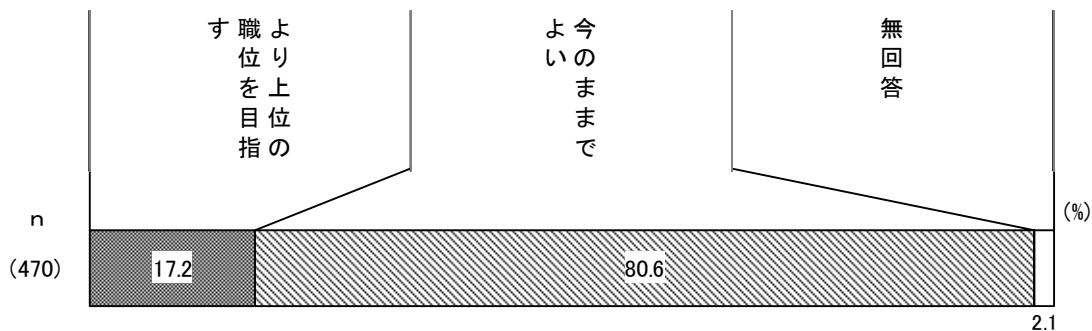
性別で見ると、男性は、「主任・(サブ)リーダーなど職場のまとめ役」で23.4%、女性は、「一般職・担当職」で71.0%と高くなっています。
 年齢別で見ると、「主任・(サブ)リーダーなど職場のまとめ役」は、40歳～49歳が24.8%と高くなっています。
 就業形態別で見ると、正規職員は、「管理者」で16.8%、「主任・(サブ)リーダーなど職場のまとめ役」で23.2%と高く、非正規職員は、「一般職・担当職」で92.4%となっています。

【職位／性別、年齢別、就業形態別】

		n	管理者	主任・(サブ)リーダーなど職場のまとめ役	一般職・担当職	無回答
全体		470	12.8	17.9	67.0	2.3
性別	男性	128	15.6	23.4	59.4	1.6
	女性	335	11.9	15.8	71.0	1.2
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	57	5.3	19.3	75.4	-
	30歳～39歳	84	8.3	19.0	70.2	2.4
	40歳～49歳	113	15.9	24.8	58.4	0.9
	50歳～59歳	120	14.2	17.5	68.3	-
	60歳以上	89	16.9	7.9	71.9	3.4
就業形態別	正規職員	345	16.8	23.2	59.4	0.6
	非正規職員	119	1.7	3.4	92.4	2.5

問9 上位の職位への向上心

今より上位の職位を目指すかでは、「今のままでよい」が80.6%、「より上位の職位を目指す」が17.2%となっています。



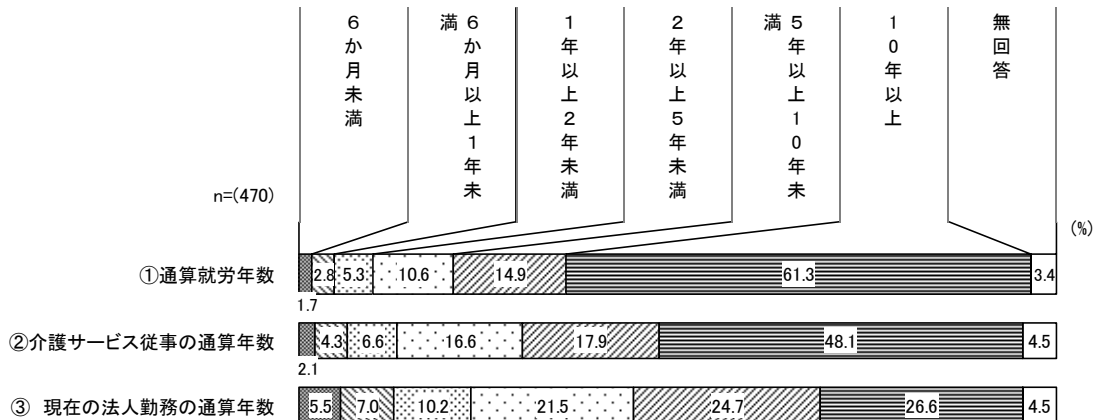
性別で見ると、男性は、「より上位の職位を目指す」が35.2%、女性は、「今のままでよい」が88.4%と高くなっています。
 年齢別で見ると、「より上位の職位を目指す」は、低年齢層ほど高くなっています。
 就業形態別で見ると、正規職員は、「より上位の職位を目指す」が21.4%、非正規職員は、「今のままでよい」が92.4%となっています。

【上位の職位への向上心／性別、年齢別、就業形態別】

		n	より上位の 職位を目指す	今のままで よい	無回答
全体		470	17.2	80.6	2.1
性別	男性	128	35.2	63.3	1.6
	女性	335	10.7	88.4	0.9
年齢別	20歳未満	-	-	-	-
	20歳～29歳	57	29.8	70.2	-
	30歳～39歳	84	26.2	71.4	2.4
	40歳～49歳	113	18.6	81.4	-
	50歳～59歳	120	15.0	84.2	0.8
	60歳以上	89	3.4	94.4	2.2
就業 形態別	正規職員	345	21.4	78.0	0.6
	非正規職員	119	5.9	92.4	1.7

問10 就労年数

通算就労年数では、「10年以上」が61.3%で最も高くなっています。



①通算就労年数

通算就労年数では、「10年以上」が61.3%で最も高く、以下、「5年以上10年未満」が14.9%、「2年以上5年未満」が10.6%、「1年以上2年未満」が5.3%となっています。

性別で見ると、男性は、10年未満の各層で女性よりもやや高く、女性は、「10年以上」が65.1%となっています。
 年齢別で見ると、20歳～29歳は、「2年以上5年未満」が42.1%、30歳以上の各層は、「10年以上」が高くなっています。
 就業形態別では、特に目立った違いはありません。

【就労年数・通算就労年数／性別、年齢別、就業形態別】

		n	6か月未満	6か月以上1年未満	1年以上2年未満	2年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上	無回答
全体		470	1.7	2.8	5.3	10.6	14.9	61.3	3.4
性別	男性	128	2.3	4.7	5.5	14.1	18.0	53.9	1.6
	女性	335	1.5	1.8	5.4	9.6	14.0	65.1	2.7
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	57	5.3	8.8	14.0	42.1	28.1	-	1.8
	30歳～39歳	84	2.4	6.0	6.0	8.3	28.6	45.2	3.6
	40歳～49歳	113	-	0.9	3.5	6.2	8.8	80.5	-
	50歳～59歳	120	-	1.7	5.0	6.7	7.5	77.5	1.7
	60歳以上	89	3.4	-	2.2	4.5	11.2	73.0	5.6
就業形態別	正規職員	345	1.7	2.0	6.1	10.4	16.8	61.4	1.4
	非正規職員	119	1.7	5.0	3.4	11.8	10.1	63.9	4.2

②介護サービス従事の通算年数

介護サービス従事の通算年数では、「10年以上」が48.1%で最も高く、以下、「5年以上10年未満」が17.9%、「2年以上5年未満」が16.6%、「1年以上2年未が満」が6.6%となっています。

性別で見ると、男性は、「5年以上10年未満」が28.1%、女性は、「10年以上」が52.2%と高くなっています。

年齢別で見ると、20歳～29歳は、「2年以上5年未満」が36.8%、30歳以上の各層は、「10年以上」が高くなっています。

就業形態別では、特に目立った違いはありません。

【就労年数・介護サービス従事の通算年数／性別、年齢別、就業形態別】

		n	(%)						
			6か月未満	6か月以上 1年未満	1年以上2 年未満	2年以上5 年未満	5年以上10 年未満	10年以上	無回答
全体		470	2.1	4.3	6.6	16.6	17.9	48.1	4.5
性別	男性	128	2.3	3.9	5.5	18.8	28.1	39.1	2.3
	女性	335	2.1	4.2	7.2	16.1	14.3	52.2	3.9
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	57	5.3	17.5	19.3	36.8	17.5	-	3.5
	30歳～39歳	84	2.4	6.0	7.1	20.2	29.8	29.8	4.8
	40歳～49歳	113	1.8	1.8	3.5	13.3	16.8	61.1	1.8
	50歳～59歳	120	0.8	2.5	5.8	10.8	16.7	60.0	3.3
	60歳以上	89	2.2	-	2.2	13.5	11.2	66.3	4.5
就業 形態別	正規職員	345	2.3	4.1	6.4	16.2	19.4	48.4	3.2
	非正規職員	119	1.7	5.0	7.6	18.5	14.3	49.6	3.4

③現在の法人勤務の通算年数

現在の法人勤務の通算年数では、「10年以上」が26.6%で最も高く、以下、「5年以上10年未満」が24.7%、「2年以上5年未満」が21.5%、「1年以上2年未満」が10.2%となっています。

性別で見ると、男性は、「2年以上5年未満」、「5年以上10年未満」が26.6%、女性は、「10年以上」が29.9%と高くなっています。

年齢別で見ると、20歳～29歳は、「2年以上5年未満」が33.3%、30歳～39歳は、「5年以上10年未満」が31.0%、40歳以上の各層は、「10年以上」が高くなっています。

就業形態別で見ると、正規職員は、「5年以上10年未満」が28.1%、非正規職員は、「10年以上」が31.1%となっています。

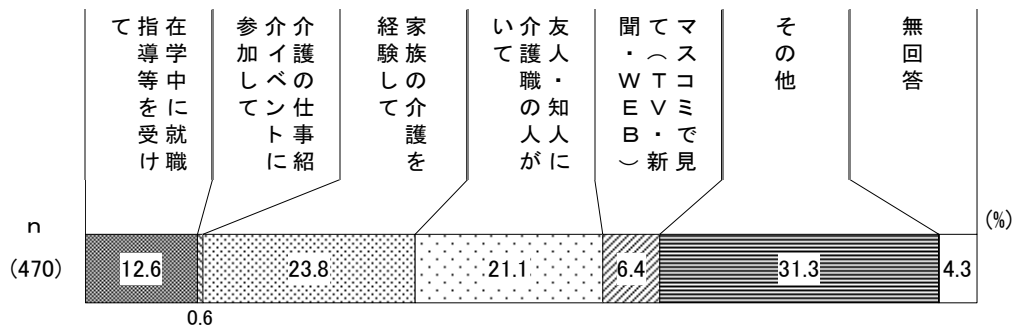
【就労年数・現在の法人勤務の通算年数／性別、年齢別、就業形態別】

(%)

		n	6か月未満	6か月以上 1年未満	1年以上2 年未満	2年以上5 年未満	5年以上10 年未満	10年以上	無回答
全体		470	5.5	7.0	10.2	21.5	24.7	26.6	4.5
性別	男性	128	5.5	7.0	11.7	26.6	26.6	19.5	3.1
	女性	335	5.7	6.9	9.9	19.7	24.5	29.9	3.6
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	57	12.3	17.5	19.3	33.3	12.3	-	5.3
	30歳～39歳	84	7.1	10.7	8.3	27.4	31.0	10.7	4.8
	40歳～49歳	113	4.4	4.4	10.6	22.1	27.4	30.1	0.9
	50歳～59歳	120	2.5	5.8	11.7	16.7	26.7	35.8	0.8
	60歳以上	89	5.6	2.2	3.4	15.7	22.5	42.7	7.9
就業 形態別	正規職員	345	4.6	6.7	10.4	22.3	28.1	25.5	2.3
	非正規職員	119	8.4	8.4	10.1	20.2	16.0	31.1	5.9

問11 介護の仕事に興味を持った主なきっかけ

介護の仕事に興味を持ったきっかけでは、「その他」が31.3%で最も高く、以下、「家族の介護を経験して」が23.8%、「友人・知人に介護職の人がいて」が21.1%、「在学中に就職指導等を受けて」が12.6%となっています。



性別では、特に目立った違いはありません。
 年齢別でみると、20歳～29歳は、「在学中に就職指導等を受けて」が33.3%、「マスコミで見て(TV・新聞・WEB)」が10.5%、50歳以上の層では、「家族の介護を経験して」が高くなっています。
 就業形態別でみると、正規職員は、「在学中に就職指導等を受けて」が13.9%、非正規職員は、「家族の介護を経験して」が27.7%となっています。

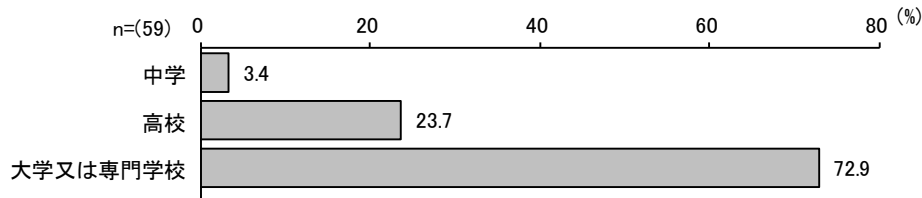
【介護の仕事に興味を持った主なきっかけ／性別、年齢別、就業形態別】

		n	在学中に就職指導等を受けて	介護の仕事紹介イベントに参加して	家族の介護を経験して	友人・知人に介護職の人がいて	マスコミで見て(TV・新聞・WEB)	その他	無回答
全体		470	12.6	0.6	23.8	21.1	6.4	31.3	4.3
性別	男性	128	14.8	0.8	18.8	18.0	6.3	36.7	4.7
	女性	335	11.9	0.6	25.7	22.7	6.6	28.4	4.2
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	57	33.3	1.8	15.8	14.0	10.5	21.1	3.5
	30歳～39歳	84	19.0	-	15.5	22.6	3.6	31.0	8.3
	40歳～49歳	113	11.5	0.9	22.1	15.9	4.4	43.4	1.8
	50歳～59歳	120	5.8	0.8	30.8	24.2	7.5	25.8	5.0
60歳以上	89	4.5	-	30.3	27.0	6.7	28.1	3.4	
就業形態別	正規職員	345	13.9	0.3	22.6	20.3	7.0	32.2	3.8
	非正規職員	119	9.2	1.7	27.7	24.4	5.0	26.9	5.0

(就職指導等を受けた学校)

在学中に就職指導等を受けたことが主なきっかけになったと回答した人に、指導を受けた学校を聞いたところ、「大学又は専門学校」が72.9%を占めています。

(複数回答)



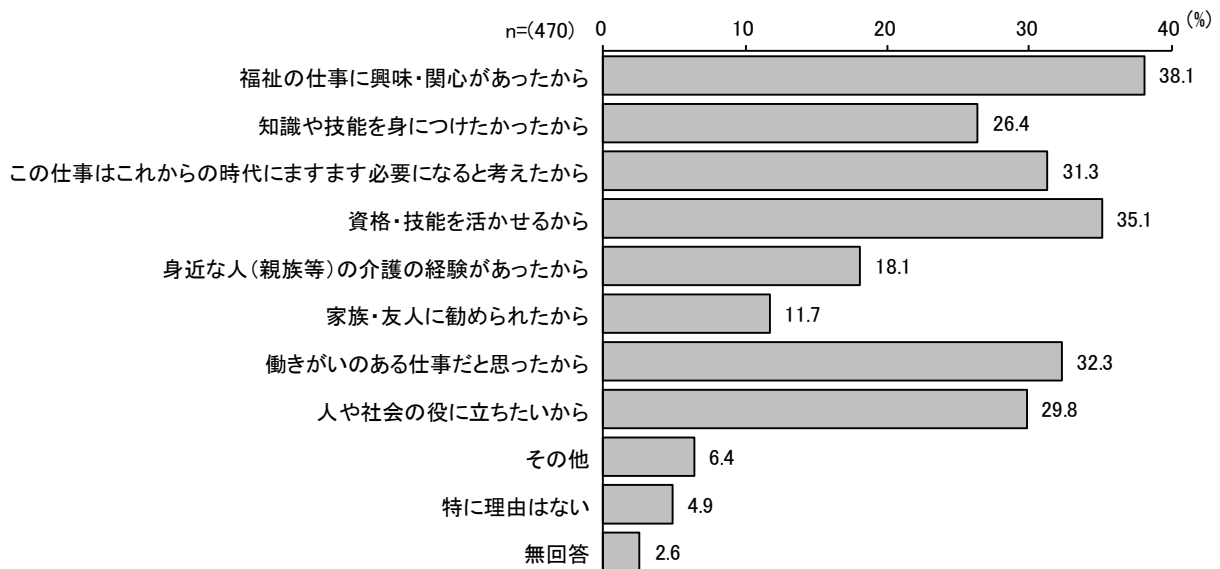
(参加した介護の仕事紹介イベント)

介護の仕事紹介イベントに参加したことが主なきっかけになった方は1人で、具体的なイベント名は、「覚えていません」としています。

問12 現在の介護職を選んだ理由

現在の職業を選択した理由では、「福祉の仕事に興味・関心があったから」が38.1%で最も高く、以下、「資格・技能を活かせるから」が35.1%、「働きがいのある仕事だと思ったから」が32.3%、「この仕事はこれからの時代にますます必要になると考えたから」が31.3%となっています。

(複数回答)



性別でみると、男性は、「福祉の仕事に興味・関心があったから」が43.0%、女性は、「資格・技能を活かせるから」が39.4%と高くなっています。

年齢別でみると、50歳～59歳は、「福祉の仕事に興味・関心があったから」よりも「資格・技能を活かせるから」が、60歳以上では、「人や社会の役に立ちたいから」も36.0%と高くなっています。

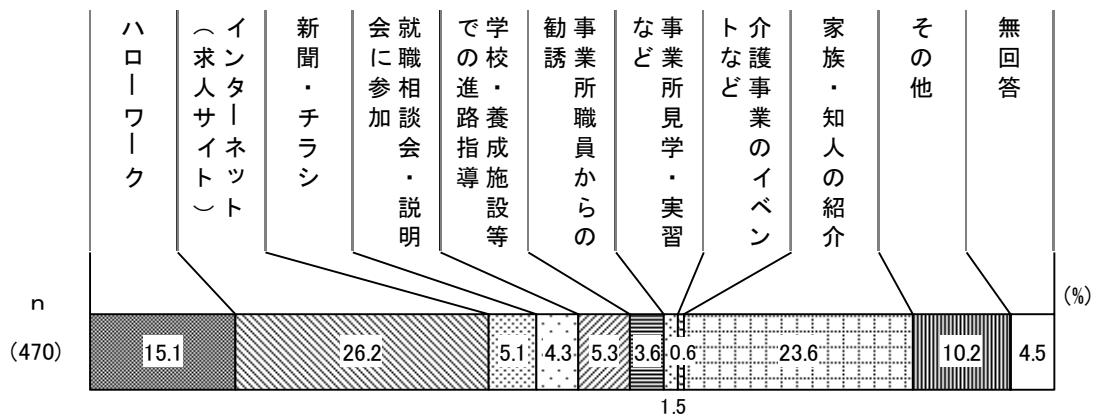
就業形態別でみると、非正規職員は、「資格・技能を活かせるから」が44.5%と高くなっています。

【現在の介護職を選んだ理由／性別、年齢別、就業形態別】

		n	福祉の仕事に興味・関心があったから	知識や技能を身につけたかったから	この仕事はこれからの時代にますます必要になると考えたから	資格・技能を活かせるから	身近な人(親族等)の介護の経験があったから	家族・友人に勧められたから	働きがいのある仕事だと思ったから	人や社会の役に立ちたいから	その他	特に理由はない	無回答
全体		470	38.1	26.4	31.3	35.1	18.1	11.7	32.3	29.8	6.4	4.9	2.6
性別	男性	128	43.0	25.0	32.0	24.2	11.7	10.9	28.9	28.9	6.3	5.5	2.3
	女性	335	37.0	26.9	31.0	39.4	20.3	11.6	33.7	30.7	6.6	4.5	2.7
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	57	38.6	26.3	29.8	26.3	12.3	15.8	36.8	28.1	1.8	7.0	1.8
	30歳～39歳	84	36.9	31.0	36.9	34.5	10.7	13.1	31.0	26.2	4.8	8.3	7.1
	40歳～49歳	113	43.4	28.3	30.1	36.3	15.0	7.1	36.3	32.7	12.4	4.4	0.9
	50歳～59歳	120	35.8	25.0	29.2	40.0	22.5	12.5	29.2	26.7	5.8	2.5	1.7
60歳以上	89	36.0	20.2	31.5	33.7	27.0	12.4	29.2	36.0	4.5	3.4	2.2	
就業形態別	正規職員	345	38.0	27.0	31.3	31.9	16.8	12.2	32.8	30.7	6.7	4.6	2.0
	非正規職員	119	40.3	24.4	31.1	44.5	21.8	10.1	31.1	28.6	5.9	5.0	3.4

問13 現在の職場のことを知ったきっかけ

現在の職場のことを知ったきっかけでは、「インターネット（求人サイト）」が26.2%で最も高く、以下、「家族・知人の紹介」が23.6%、「ハローワーク」が15.1%となっています。



性別では、特に目立った違いはありません。

年齢別でみると、「インターネット（求人サイト）」、「就職相談会・説明会に参加」、「学校・養成施設等での進路指導」は、低年齢層ほど、「ハローワーク」は、40歳以上の層で高くなっています。また、「家族・知人の紹介」は、60歳以上で31.5%となっています。

就業形態別でみると、正規職員は、「インターネット（求人サイト）」が27.5%、非正規職員は、「家族・知人の紹介」が26.1%と高くなっています。

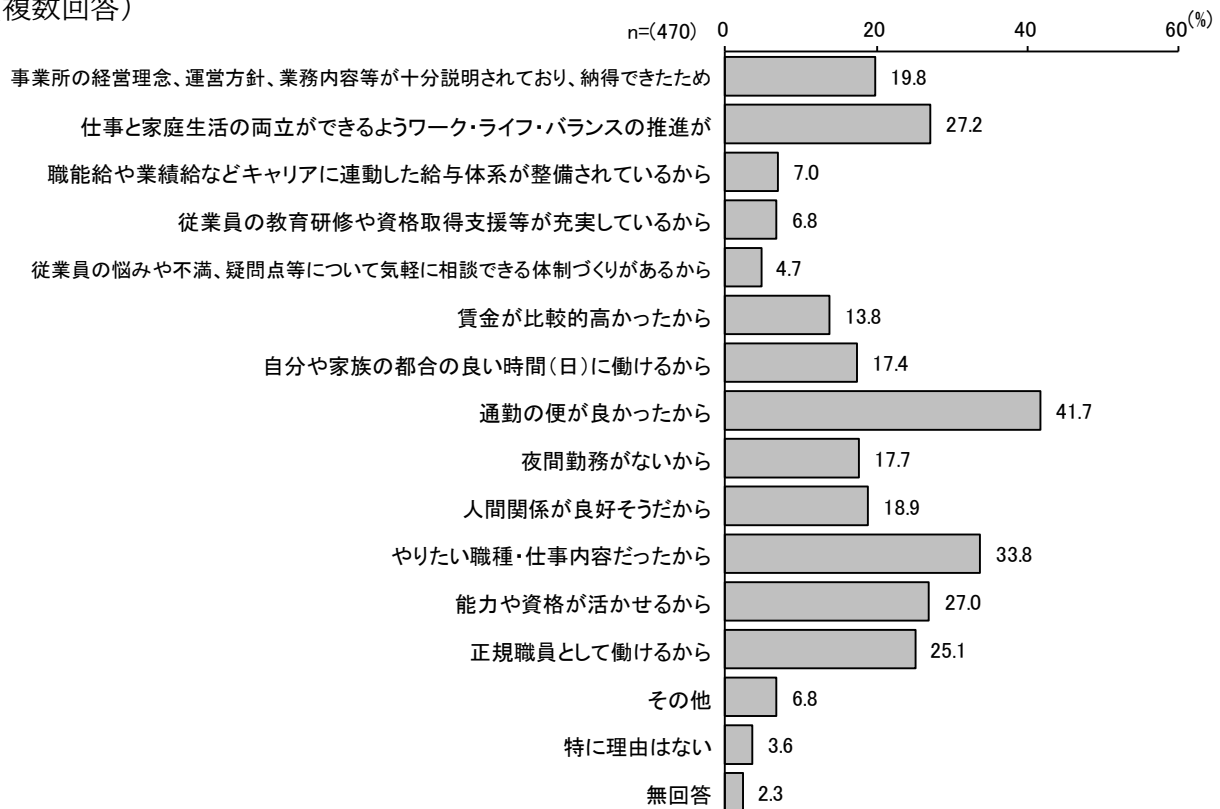
【現在の職場のことを知ったきっかけ／性別、年齢別、就業形態別】

		n	ハローワーク	インターネット(求人サイト)	新聞・チラシ	就職相談会・説明会に参加	学校・養成施設等での進路指導	事業所職員からの勧誘	事業所見学・実習など	介護事業のイベントなど	家族・知人の紹介	その他	無回答
全体		470	15.1	26.2	5.1	4.3	5.3	3.6	1.5	0.6	23.6	10.2	4.5
性別	男性	128	18.0	24.2	1.6	8.6	7.8	0.8	3.1	1.6	20.3	8.6	5.5
	女性	335	13.7	26.9	6.6	2.7	4.5	4.8	0.9	0.3	24.8	10.7	4.2
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	57	-	36.8	-	14.0	12.3	1.8	1.8	-	24.6	5.3	3.5
	30歳～39歳	84	7.1	28.6	1.2	7.1	9.5	3.6	1.2	2.4	21.4	7.1	10.7
	40歳～49歳	113	21.2	28.3	4.4	2.7	4.4	1.8	-	-	25.7	9.7	1.8
	50歳～59歳	120	20.0	24.2	7.5	1.7	2.5	5.8	3.3	-	17.5	14.2	3.3
60歳以上	89	15.7	15.7	10.1	1.1	2.2	4.5	1.1	1.1	31.5	12.4	4.5	
就業形態別	正規職員	345	13.9	27.5	4.1	4.9	6.4	2.6	2.0	0.9	22.9	11.0	3.8
	非正規職員	119	17.6	21.8	8.4	2.5	2.5	6.7	-	-	26.1	8.4	5.9

問14 現在の職場を選んだ理由

現在の職場を選択した理由では、「通勤の便が良かったから」が41.7%で最も高く、以下、「やりたい職種・仕事内容だったから」が33.8%、「仕事と家庭生活の両立ができるようワーク・ライフ・バランスの推進が」が27.2%、「能力や資格を活かせるから」が27.0%となっています。

(複数回答)



第8章 介護事業従事者調査

性別で見ると、男性は、「やりたい職種・仕事内容だったから」が28.9%で最も高く、「賃金が比較的高かったから」が23.4%で女性の10.1%を上回ります。女性は、「仕事と家庭生活の両立ができるようワーク・ライフ・バランスの推進がなされているから」が30.7%、「通勤の便が良かったから」が48.7%、「人間関係が良好そうだから」が22.4%、「やりたい職種・仕事内容だったから」が35.8%、「能力や資格を活かせるから」が29.6%で、いずれも男性を上回っています。

年齢別で見ると、20歳～29歳は、「仕事と家庭生活の両立ができるようワーク・ライフ・バランスの推進がなされているから」が36.8%、30歳～39歳と40歳～49歳は、「通勤の便が良かったから」や「やりたい職種・仕事内容だったから」、50歳～59歳と60歳以上は、「通勤の便が良かったから」が高くなっています。

就業形態別で見ると、いずれの形態も「通勤の便が良かったから」が最も高くなっています。正規職員は、「やりたい職種・仕事内容だったから」が35.1%、「正規職員として働けるから」が32.5%と、非正規職員に比べて高くなっています。非正規職員は、「自分や家族の都合の良い時間（日）に働けるから」が36.1%、「仕事と家庭生活の両立ができるようワーク・ライフ・バランスの推進がなされているから」が33.6%となっています。

【現在の職場を選んだ理由／性別、年齢別、就業形態別】

(%)

	n	事業所の経営理念、運営方針、業務内容等が十分説明されており、納得できたため	仕事と家庭生活の両立ができるようワーク・ライフ・バランスの推進がなされているから	職能給や業績給などキャリアに連動した給与体系が整備されているから	従業員の教育研修や資格取得支援等が充実しているから	従業員の悩みや不満、疑問点等について気軽に相談できる体制づくりがあるから	賃金が比較的高かったから	自分や家族の都合の良い時間（日）に働けるから	通勤の便が良かったから	夜間勤務がないから	(%)	
											人間関係が良好そうだから	
全体	470	19.8	27.2	7.0	6.8	4.7	13.8	17.4	41.7	17.7	18.9	
性別	男性	128	22.7	18.8	7.8	7.0	-	23.4	12.5	22.7	14.1	10.9
	女性	335	18.8	30.7	6.9	6.9	6.6	10.1	19.1	48.7	19.4	22.4
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	57	22.8	36.8	10.5	10.5	5.3	19.3	15.8	22.8	12.3	26.3
	30歳～39歳	84	16.7	28.6	9.5	2.4	1.2	20.2	16.7	29.8	16.7	14.3
	40歳～49歳	113	23.0	33.6	8.8	7.1	6.2	16.8	18.6	39.8	21.2	17.7
	50歳～59歳	120	16.7	22.5	4.2	6.7	5.8	6.7	18.3	55.0	22.5	23.3
	60歳以上	89	21.3	19.1	4.5	9.0	4.5	10.1	16.9	48.3	12.4	15.7
就業形態別	正規職員	345	19.7	25.2	7.2	7.0	4.1	15.7	11.0	40.3	17.4	18.6
	非正規職員	119	20.2	33.6	6.7	6.7	6.7	8.4	36.1	44.5	19.3	21.0

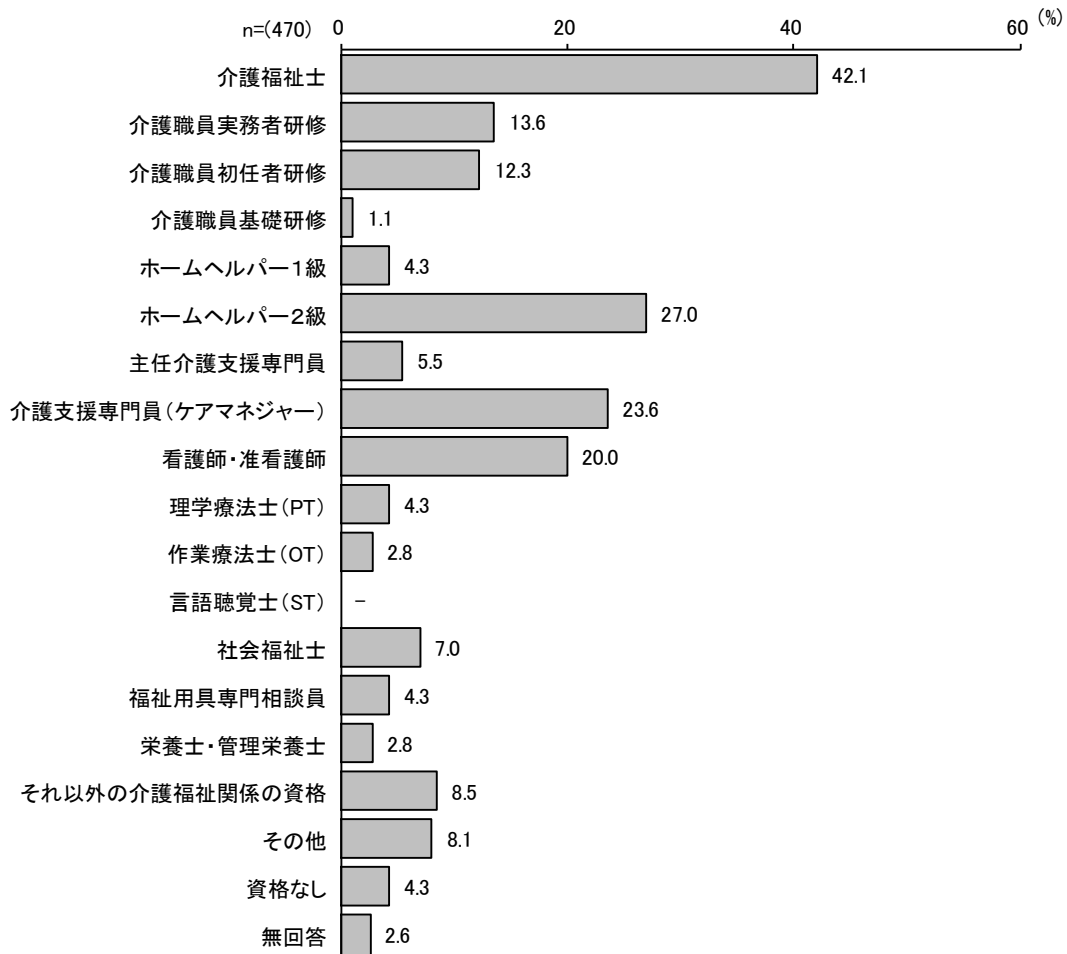
	n	やりたい職種・仕事内容だったから	能力や資格を活かせるから	正規職員として働けるから	その他	特に理由はない	無回答
全体	33.8	27.0	25.1	6.8	3.6	2.3	
性別	男性	28.9	20.3	21.1	8.6	5.5	1.6
	女性	35.8	29.6	26.9	6.0	3.0	2.7
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	28.1	22.8	26.3	7.0	8.8	-
	30歳～39歳	29.8	19.0	16.7	6.0	8.3	7.1
	40歳～49歳	42.5	32.7	31.0	8.0	1.8	0.9
	50歳～59歳	34.2	30.0	27.5	5.0	0.8	1.7
	60歳以上	28.1	24.7	22.5	9.0	2.2	2.2
就業形態別	正規職員	35.1	26.1	32.5	8.4	3.8	1.7
	非正規職員	30.3	29.4	4.2	2.5	3.4	3.4

3. 資格

問15 取得している資格

現在取得している資格では、「介護福祉士」が42.1%で最も高く、以下、「ホームヘルパー2級」が27.0%、「介護支援専門員（ケアマネジャー）」が23.6%、「看護師・准看護師」が20.0%となっています。

（複数回答）



第8章 介護事業従事者調査

性別でみると、女性は、「介護支援専門員（ケアマネジャー）」が26.9%、「看護師・准看護師」が26.3%と高くなっています。

年齢別でみると、「介護福祉士」、「ホームヘルパー2級」は、高年齢層ほど高く、「介護職員初任者研修」は、20歳～29歳で29.8%となっています。

職場のサービス別でみると、「介護福祉士」は、施設系（有料老人ホーム、グループホーム等を含む）で51.7%、訪問系（居宅介護支援事業所、地域包括支援センターを含む）で40.5%、通所系（小規模多機能型居宅介護等を含む）で38.1%となっています。

就業形態別でみると、正規職員は、「介護福祉士」が45.8%、非正規職員は、「ホームヘルパー2級」が33.6%と高くなっています。

【取得している資格／性別、年齢別、職場のサービス別、就業形態別】

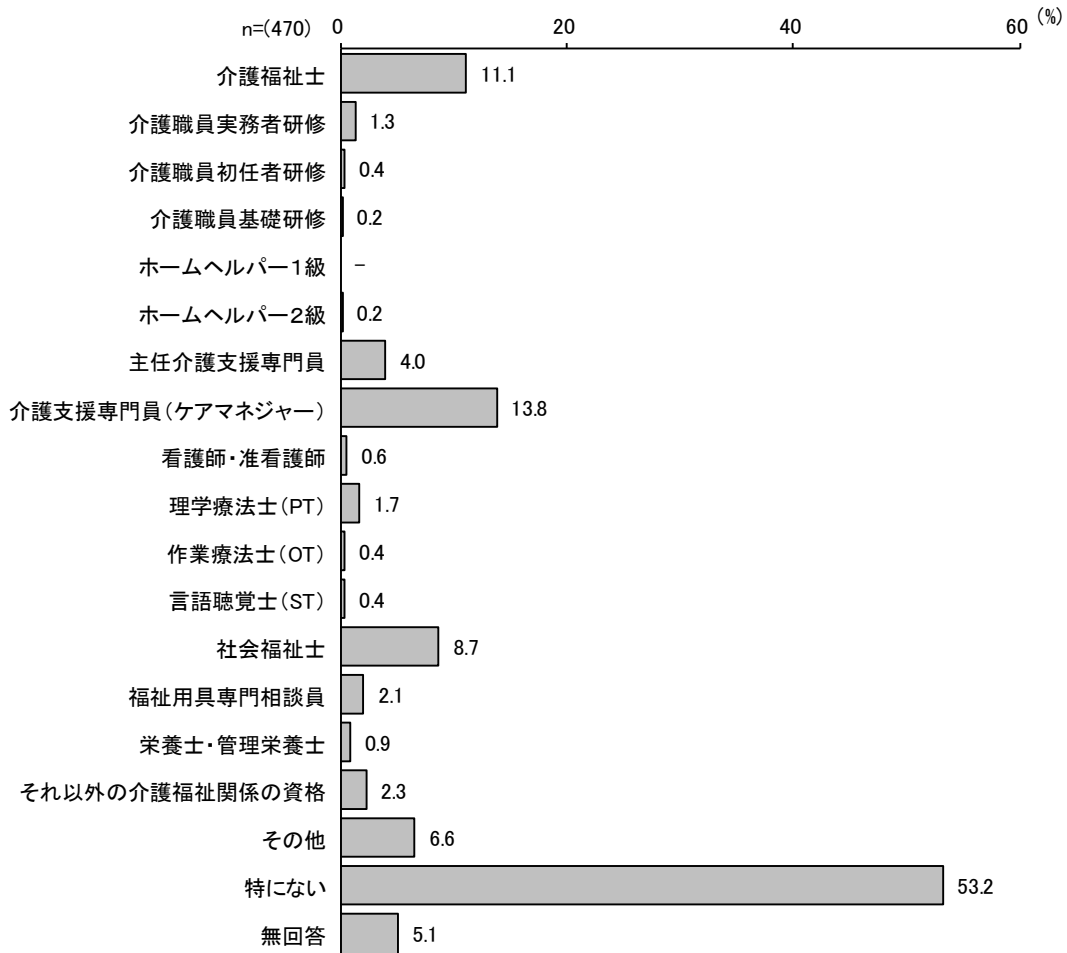
		(%)										
		n	介護福祉士	介護職員実務者研修	介護職員初任者研修	介護職員基礎研修	ホームヘルパー1級	ホームヘルパー2級	主任介護支援専門員	介護支援専門員(ケアマネジャー)	看護師・准看護師	理学療法士(PT)
全体		470	42.1	13.6	12.3	1.1	4.3	27.0	5.5	23.6	20.0	4.3
性別	男性	128	41.4	18.0	17.2	0.8	2.3	25.0	3.1	14.8	4.7	10.9
	女性	335	41.8	11.9	10.7	1.2	5.1	28.1	6.3	26.9	26.3	1.8
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	57	17.5	15.8	29.8	1.8	3.5	5.3	-	-	19.3	7.0
	30歳～39歳	84	38.1	14.3	16.7	1.2	2.4	20.2	-	6.0	16.7	8.3
	40歳～49歳	113	46.0	11.5	7.1	-	2.7	23.9	3.5	31.0	26.5	4.4
	50歳～59歳	120	52.5	12.5	10.0	0.8	6.7	34.2	10.8	31.7	17.5	3.3
	60歳以上	89	41.6	15.7	7.9	2.2	5.6	40.4	9.0	33.7	20.2	-
職場のサービス別	施設系(有料老人ホーム、グループホーム等を含む)	116	51.7	19.0	13.8	-	0.9	21.6	-	15.5	12.1	5.2
	訪問系(居宅介護支援事業所、地域包括支援センターを含む)	215	40.5	13.0	11.2	2.3	4.7	33.0	11.6	32.6	26.5	4.7
	通所系(小規模多機能型居宅介護等を含む)	113	38.1	10.6	15.0	-	7.1	23.9	-	16.8	12.4	3.5
	その他	15	20.0	6.7	6.7	-	-	6.7	-	6.7	53.3	-
就業形態別	正規職員	345	45.8	15.4	13.3	1.2	4.6	24.9	6.4	23.8	18.3	4.3
	非正規職員	119	31.1	8.4	10.1	0.8	3.4	33.6	2.5	22.7	26.1	4.2

		作業療法士(OT)	言語聴覚士(ST)	社会福祉士	福祉用具専門相談員	栄養士・管理栄養士	それ以外の介護福祉関係の資格	その他	資格なし	無回答
全体		2.8	-	7.0	4.3	2.8	8.5	8.1	4.3	2.6
性別	男性	3.9	-	9.4	7.0	-	6.3	9.4	4.7	2.3
	女性	2.4	-	5.7	3.3	3.6	9.6	7.2	4.2	2.7
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	-	-	3.5	-	5.3	8.8	10.5	14.0	3.5
	30歳～39歳	4.8	-	7.1	6.0	2.4	11.9	7.1	-	7.1
	40歳～49歳	5.3	-	8.8	1.8	1.8	7.1	9.7	3.5	0.9
	50歳～59歳	1.7	-	7.5	7.5	1.7	7.5	7.5	2.5	1.7
	60歳以上	1.1	-	4.5	4.5	3.4	7.9	4.5	5.6	1.1
職場のサービス別	施設系(有料老人ホーム、グループホーム等を含む)	1.7	-	6.0	3.4	6.9	7.8	7.8	4.3	1.7
	訪問系(居宅介護支援事業所、地域包括支援センターを含む)	3.7	-	7.0	5.6	0.9	8.8	5.1	2.8	2.3
	通所系(小規模多機能型居宅介護等を含む)	2.7	-	8.0	1.8	1.8	9.7	12.4	7.1	2.7
	その他	-	-	-	13.3	-	6.7	6.7	6.7	6.7
就業形態別	正規職員	2.9	-	8.4	5.2	3.2	9.6	7.5	4.1	2.3
	非正規職員	2.5	-	1.7	1.7	0.8	5.9	8.4	5.0	2.5

問16 今後取得したい資格

今後取得したい資格では、「特にない」が53.2%を占めています。一方、具体的な選択肢の中では、「介護支援専門員（ケアマネジャー）」が13.8%と最も高く、以下、「介護福祉士」が11.1%、「社会福祉士」が8.7%となっています。

(複数回答)



第8章 介護事業従事者調査

性別でみると、男性は、「介護福祉士」が18.8%、「社会福祉士」が17.2%と高くなっています。

年齢別でみると、「介護福祉士」は、20歳～29歳で31.6%、「介護支援専門員（ケアマネジャー）」と「社会福祉士」は、30歳～39歳でそれぞれ25.0%、20.2%と高くなっています。

職場のサービス別でみると、施設系（有料老人ホーム、グループホーム等を含む）で、「介護支援専門員（ケアマネジャー）」が26.7%と高くなっています。

就業形態別でみると、正規職員は、「介護福祉士」が12.8%、「介護支援専門員（ケアマネジャー）」が16.8%、「社会福祉士」が10.7%と高くなっています。

【今後取得したい資格／性別、年齢別、職場のサービス別、就業形態別】

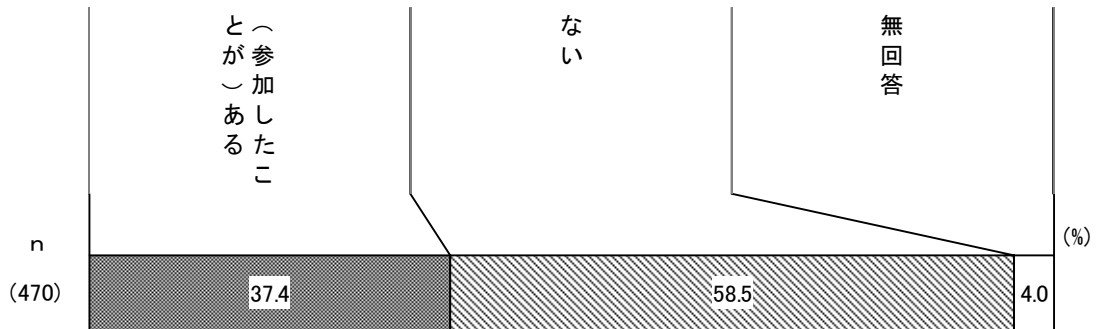
		(%)										
		n	介護福祉士	介護職員実務者研修	介護職員初任者研修	介護職員基礎研修	ホームヘルパー1級	ホームヘルパー2級	主任介護支援専門員	介護支援専門員(ケアマネジャー)	看護師・准看護師	理学療法士(PT)
全体		470	11.1	1.3	0.4	0.2	-	0.2	4.0	13.8	0.6	1.7
性別	男性	128	18.8	2.3	0.8	-	-	-	6.3	16.4	1.6	2.3
	女性	335	8.4	0.9	0.3	0.3	-	0.3	3.3	12.8	0.3	1.5
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	57	31.6	5.3	-	-	-	-	-	19.3	3.5	1.8
	30歳～39歳	84	14.3	1.2	-	-	-	-	9.5	25.0	1.2	-
	40歳～49歳	113	4.4	0.9	0.9	-	-	-	4.4	13.3	-	4.4
	50歳～59歳	120	8.3	-	-	-	-	0.8	5.0	10.0	-	0.8
	60歳以上	89	6.7	1.1	1.1	1.1	-	-	-	5.6	-	1.1
職場のサービス別	施設系(有料老人ホーム、グループホーム等を含む)	116	11.2	-	0.9	0.9	-	-	5.2	26.7	0.9	-
	訪問系(居宅介護支援事業所、地域包括支援センターを含む)	215	8.4	1.9	-	-	-	-	5.1	8.4	0.5	1.9
	通所系(小規模多機能型居宅介護等を含む)	113	18.6	1.8	0.9	-	-	0.9	1.8	12.4	0.9	3.5
	その他	15	-	-	-	-	-	-	-	6.7	-	-
就業形態別	正規職員	345	12.8	1.4	0.3	0.3	-	-	5.2	16.8	0.6	2.3
	非正規職員	119	6.7	0.8	0.8	-	-	0.8	0.8	5.0	0.8	-

		作業療法士(OT)	言語聴覚士(ST)	社会福祉士	福祉用具専門相談員	栄養士・管理栄養士	それ以外の介護福祉関係の資格	その他	特にない	無回答
全体		0.4	0.4	8.7	2.1	0.9	2.3	6.6	53.2	5.1
性別	男性	0.8	0.8	17.2	0.8	1.6	2.3	5.5	40.6	3.1
	女性	0.3	0.3	5.7	2.7	0.6	2.4	6.6	58.2	5.7
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	-	-	5.3	1.8	-	3.5	8.8	33.3	5.3
	30歳～39歳	1.2	2.4	20.2	2.4	1.2	2.4	7.1	38.1	6.0
	40歳～49歳	0.9	-	10.6	3.5	-	-	8.8	56.6	4.4
	50歳～59歳	-	-	4.2	2.5	0.8	3.3	7.5	58.3	3.3
	60歳以上	-	-	4.5	-	2.2	3.4	-	68.5	7.9
職場のサービス別	施設系(有料老人ホーム、グループホーム等を含む)	-	-	11.2	2.6	0.9	0.9	5.2	46.6	3.4
	訪問系(居宅介護支援事業所、地域包括支援センターを含む)	0.9	0.5	8.4	0.9	0.9	3.3	7.4	60.9	3.7
	通所系(小規模多機能型居宅介護等を含む)	-	0.9	6.2	3.5	0.9	2.7	7.1	45.1	6.2
	その他	-	-	13.3	6.7	-	-	-	46.7	26.7
就業形態別	正規職員	0.6	0.3	10.7	2.6	0.3	1.7	6.7	49.6	3.5
	非正規職員	-	0.8	3.4	0.8	2.5	4.2	5.9	63.9	9.2

4. 研修・講習会

問17 職場以外で行われた介護分野に関する研修・講習会の参加状況（過去1年間）

過去1年間に職場以外で行われた介護分野に関する研修・講習会に参加状況では、「ない」が58.5%、「(参加したことが)ある」が37.4%となっています。



性別で見ると、「(参加したことが)ある」は、女性が40.6%と、男性の29.7%を上回っています。

年齢別で見ると、「(参加したことが)ある」は、50歳～59歳が42.5%、40歳～49歳が40.7%、30歳～39歳が40.5%と高くなっています。

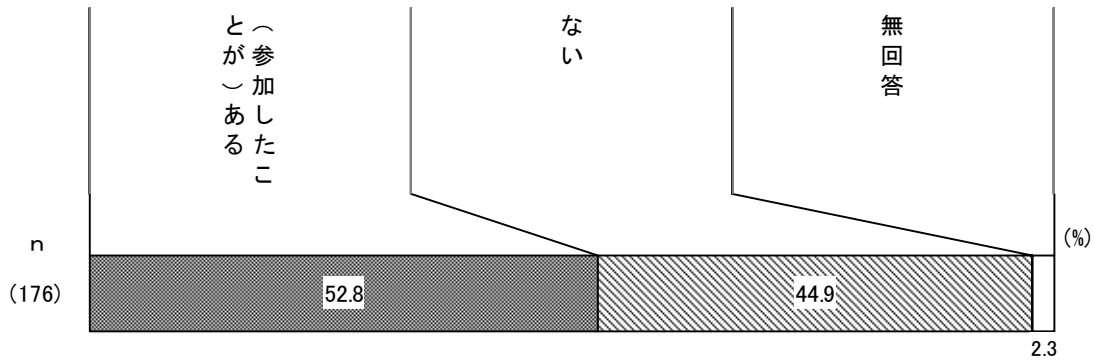
就業形態別で見ると、「(参加したことが)ある」は、正規職員が40.6%、非正規職員が28.6%となっています。

【職場以外で行われた介護分野に関する研修・講習会の参加状況／性別、年齢別、就業形態別】

		n	(参加したことが)ある (%)	ない (%)	無回答 (%)
全体		470	37.4	58.5	4.0
性別	男性	128	29.7	64.8	5.5
	女性	335	40.6	55.8	3.6
年齢別	20歳未満	-	-	-	-
	20歳～29歳	57	21.1	77.2	1.8
	30歳～39歳	84	40.5	53.6	6.0
	40歳～49歳	113	40.7	54.0	5.3
	50歳～59歳	120	42.5	56.7	0.8
	60歳以上	89	33.7	59.6	6.7
就業形態別	正規職員	345	40.6	55.4	4.1
	非正規職員	119	28.6	68.1	3.4

問17-1 文京区主催の研修等への参加状況

文京区が主催の研修等への参加状況では、「(参加したことが) ある」が52.8%、「ない」が44.9%となっています。



性別で見ると、「(参加したことが) ある」は、女性が53.7%、男性が50.0%となっています。
 年齢別で見ると、「(参加したことが) ある」は、60歳以上が66.7%と高くなっています。
 就業形態別では、特に目立った違いはありません。

【文京区主催の研修等への参加状況／性別、年齢別、就業形態別】

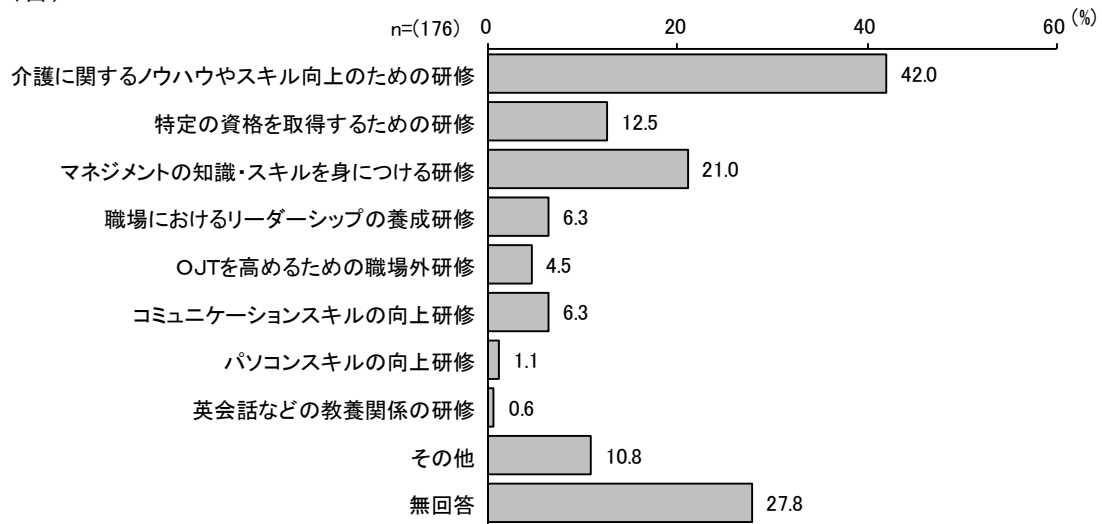
		n	(参加したことが) ある (%)	ない (%)	無回答 (%)
全体		176	52.8	44.9	2.3
性別	男性	38	50.0	50.0	-
	女性	136	53.7	43.4	2.9
年齢別	20歳未満	-	-	-	-
	20歳～29歳	12	41.7	58.3	-
	30歳～39歳	34	38.2	58.8	2.9
	40歳～49歳	46	58.7	39.1	2.2
	50歳～59歳	51	51.0	45.1	3.9
	60歳以上	30	66.7	33.3	-
就業形態別	正規職員	140	53.6	43.6	2.9
	非正規職員	34	50.0	50.0	-

問17-2 参加した研修・講習会の内容と業務への活用度

①参加した研修・講習会の内容

参加した研修・講習会の内容では、「介護に関するノウハウやスキル向上のための研修」が42.0%で最も高く、以下、「マネジメントの知識・スキルを身につける研修」が21.0%、「特定の資格を取得するための研修」が12.5%となっています。

(複数回答)



性別でみると、男性は、「介護に関するノウハウやスキル向上のための研修」で55.3%、「特定の資格を取得するための研修」で21.1%、「マネジメントの知識・スキルを身につける研修」で26.3%と高くなっています。

年齢別でみると、「介護に関するノウハウやスキル向上のための研修」は、低年齢層ほど高くなっています。

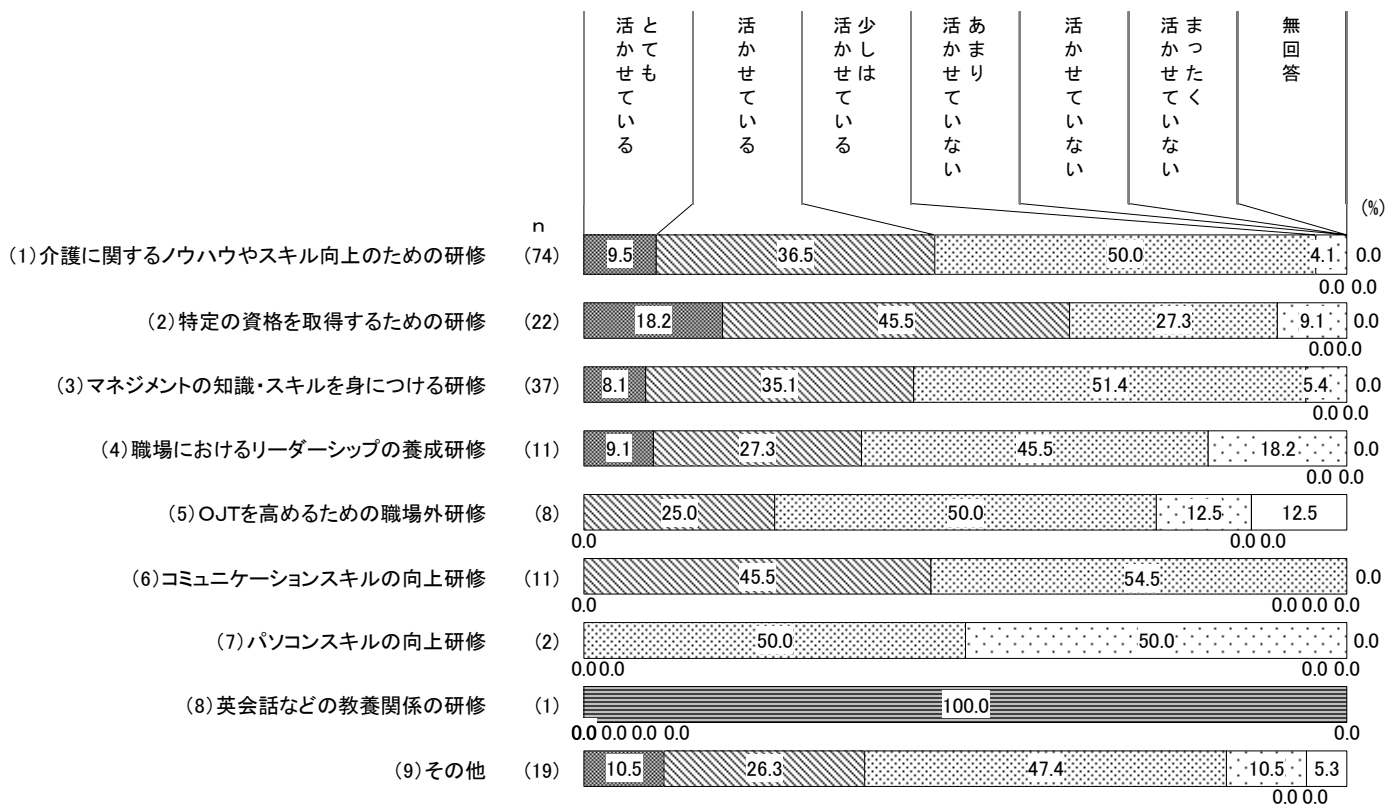
就業形態別でみると、正規職員は、「マネジメントの知識・スキルを身につける研修」で22.1%、非正規職員は、「特定の資格を取得するための研修」が17.6%とやや高くなっています。

【参加した研修・講習会の内容／性別、年齢別、就業形態別】

		n	介護に関するノウハウやスキル向上のための研修	特定の資格を取得するための研修	マネジメントの知識・スキルを身につける研修	職場におけるリーダーシップの養成研修	OJTを高めるための職場外研修	コミュニケーションスキルの向上研修	パソコンスキルの向上研修	英会話などの教養関係の研修	その他	無回答
全体		176	42.0	12.5	21.0	6.3	4.5	6.3	1.1	0.6	10.8	27.8
性別	男性	38	55.3	21.1	26.3	10.5	7.9	10.5	2.6	-	5.3	21.1
	女性	136	38.2	9.6	19.1	5.1	3.7	5.1	0.7	0.7	12.5	30.1
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	12	75.0	8.3	8.3	16.7	-	8.3	-	-	8.3	16.7
	30歳～39歳	34	50.0	23.5	17.6	8.8	8.8	8.8	2.9	-	11.8	11.8
	40歳～49歳	46	43.5	2.2	30.4	2.2	4.3	6.5	-	-	13.0	30.4
	50歳～59歳	51	37.3	9.8	23.5	9.8	3.9	5.9	2.0	-	5.9	35.3
60歳以上	30	26.7	20.0	10.0	-	3.3	3.3	-	3.3	16.7	33.3	
就業形態別	正規職員	140	42.1	10.7	22.1	7.1	4.3	6.4	1.4	0.7	9.3	30.0
	非正規職員	34	41.2	17.6	14.7	2.9	5.9	5.9	-	-	17.6	20.6

②業務への活用度

業務への活用度をみると、「介護に関するノウハウやスキル向上のための研修」と「マネジメントの知識・スキルを身につける研修」では、『活かされている』（とても活かされている～少しは活かされている）が9割を超えています。



②-1 介護に関するノウハウやスキル向上のための研修

介護に関するノウハウやスキル向上のための研修では、「少しは活かしている」が50.0%で最も高く、以下、「活かしている」が36.5%、「とても活かしている」が9.5%、「あまり活かしていない」が4.1%となっています。

性別で見ると、男性は、「とても活かしている」で19.0%、女性は、「少しは活かしている」で55.8%と高くなっています。
 年齢別で見ると、人数の少ない層があるため、傾向がつかみにくくなっています。
 就業形態別で見ると、正規職員は、「活かしている」が40.7%と高くなっています。

【業務への活用度・介護に関するノウハウやスキル向上のための研修／性別、年齢別、就業形態別】

		n	(%)					無回答
			とても活かしている	活かしている	少しは活かしている	あまり活かしていない	活かしていない	まったく活かしていない
全体		74	9.5	36.5	50.0	4.1	-	-
性別	男性	21	19.0	33.3	38.1	9.5	-	-
	女性	52	5.8	36.5	55.8	1.9	-	-
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	9	22.2	11.1	44.4	22.2	-	-
	30歳～39歳	17	11.8	47.1	41.2	-	-	-
	40歳～49歳	20	10.0	35.0	55.0	-	-	-
	50歳～59歳	19	5.3	36.8	57.9	-	-	-
	60歳以上	8	-	37.5	50.0	12.5	-	-
就業形態別	正規職員	59	5.1	40.7	50.8	3.4	-	-
	非正規職員	14	28.6	14.3	50.0	7.1	-	-

②-2 特定の資格を取得するための研修

特定の資格を取得するための研修では、「活かしている」が45.5%で最も高く、以下、「少しは活かしている」が27.3%、「とても活かしている」が18.2%、「あまり活かしていない」が9.1%となっています。

性別、年齢別、就業形態別いずれも、人数の少ない層が多く、傾向がつかみにくくなっています。

【業務への活用度・特定の資格を取得するための研修／性別、年齢別、就業形態別】

		n	(%)					無回答
			とても活かしている	活かしている	少しは活かしている	あまり活かしていない	活かしていない	まったく活かしていない
全体		22	18.2	45.5	27.3	9.1	-	-
性別	男性	8	25.0	25.0	50.0	-	-	-
	女性	13	15.4	53.8	15.4	15.4	-	-
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	1	-	100.0	-	-	-	-
	30歳～39歳	8	37.5	25.0	25.0	12.5	-	-
	40歳～49歳	1	-	100.0	-	-	-	-
	50歳～59歳	5	-	40.0	40.0	20.0	-	-
	60歳以上	6	16.7	50.0	33.3	-	-	-
就業形態別	正規職員	15	13.3	46.7	26.7	13.3	-	-
	非正規職員	6	33.3	33.3	33.3	-	-	-

②-3 マネジメントの知識・スキルを身につける研修

マネジメントの知識・スキルを身につける研修では、「少しは活かしている」が51.4%で最も高く、以下、「活かしている」が35.1%、「とても活かしている」が8.1%、「あまり活かしていない」が5.4%となっています。

性別、年齢別、就業形態別いずれも、人数の少ない層が多く、傾向がつかみにくくなっています。

【業務への活用度・マネジメントの知識・スキルを身につける研修／性別、年齢別、就業形態別】

(%)

		n	とても活かしている	活かしている	少しは活かしている	あまり活かしていない	活かしていない	まったく活かしていない	無回答
全体		37	8.1	35.1	51.4	5.4	-	-	-
性別	男性	10	10.0	30.0	50.0	10.0	-	-	-
	女性	26	7.7	38.5	50.0	3.8	-	-	-
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	1	-	-	100.0	-	-	-	-
	30歳～39歳	6	-	16.7	83.3	-	-	-	-
	40歳～49歳	14	14.3	57.1	21.4	7.1	-	-	-
	50歳～59歳	12	8.3	33.3	50.0	8.3	-	-	-
	60歳以上	3	-	-	100.0	-	-	-	-
就業形態別	正規職員	31	9.7	32.3	51.6	6.5	-	-	-
	非正規職員	5	-	60.0	40.0	-	-	-	-

②-4 職場におけるリーダーシップの要請研修

職場におけるリーダーシップの養成研修では、「少しは活かしている」が45.5%で最も高く、以下、「活かしている」が27.3%、「あまり活かしていない」が18.2%、「とても活かしている」が9.1%となっています。

性別、年齢別、就業形態別いずれも、人数の少ない層が多く、傾向がつかみにくくなっています。

【業務への活用度・職場におけるリーダーシップの要請研修／性別、年齢別、就業形態別】

(%)

		n	とても活かしている	活かしている	少しは活かしている	あまり活かしていない	活かしていない	まったく活かしていない	無回答
全体		11	9.1	27.3	45.5	18.2	-	-	-
性別	男性	4	-	25.0	25.0	50.0	-	-	-
	女性	7	14.3	28.6	57.1	-	-	-	-
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	2	-	50.0	50.0	-	-	-	-
	30歳～39歳	3	-	-	66.7	33.3	-	-	-
	40歳～49歳	1	-	-	-	100.0	-	-	-
	50歳～59歳	5	20.0	40.0	40.0	-	-	-	-
	60歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-
就業形態別	正規職員	10	10.0	30.0	40.0	20.0	-	-	-
	非正規職員	1	-	-	100.0	-	-	-	-

②-5 OJTを高めるための職場外研修

OJTを高めるための職場外研修では、「少しは活かしている」が50.0%で最も高く、以下、「活かしている」が25.0%、「あまり活かしていない」が12.5%となっています。

性別、年齢別、就業形態別いずれも、人数の少ない層が多く、傾向がつかみにくくなっています。

【業務への活用度・OJTを高めるための職場外研修／性別、年齢別、就業形態別】

		n	とても活かしている	活かしている	少しは活かしている	あまり活かしていない	活かしていない	まったく活かしていない	無回答	(%)
全体		8	-	25.0	50.0	12.5	-	-	12.5	
性別	男性	3	-	33.3	33.3	33.3	-	-	-	
	女性	5	-	20.0	60.0	-	-	-	20.0	
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	
	20歳～29歳	-	-	-	-	-	-	-	-	
	30歳～39歳	3	-	33.3	33.3	33.3	-	-	-	
	40歳～49歳	2	-	50.0	-	-	-	-	50.0	
	50歳～59歳	2	-	-	100.0	-	-	-	-	
	60歳以上	1	-	-	100.0	-	-	-	-	
就業形態別	正規職員	6	-	33.3	33.3	16.7	-	-	16.7	
	非正規職員	2	-	-	100.0	-	-	-	-	

②-6 コミュニケーションスキルの向上研修

コミュニケーションスキルの向上研修では、「少しは活かしている」が54.5%で最も高く、以下、「活かしている」が45.5%となっています。

性別、年齢別、就業形態別いずれも、人数の少ない層が多く、傾向がつかみにくくなっています。

【業務への活用度・コミュニケーションスキルの向上研修／性別、年齢別、就業形態別】

		n	とても活かしている	活かしている	少しは活かしている	あまり活かしていない	活かしていない	まったく活かしていない	無回答	(%)
全体		11	-	45.5	54.5	-	-	-	-	
性別	男性	4	-	-	100.0	-	-	-	-	
	女性	7	-	71.4	28.6	-	-	-	-	
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	
	20歳～29歳	1	-	-	100.0	-	-	-	-	
	30歳～39歳	3	-	-	100.0	-	-	-	-	
	40歳～49歳	3	-	66.7	33.3	-	-	-	-	
	50歳～59歳	3	-	66.7	33.3	-	-	-	-	
	60歳以上	1	-	100.0	-	-	-	-	-	
就業形態別	正規職員	9	-	44.4	55.6	-	-	-	-	
	非正規職員	2	-	50.0	50.0	-	-	-	-	

②-7 パソコンスキルの向上研修

(7) パソコンスキルの向上研修では、「少しは活かしている」と「あまり活かしていない」が50.0%となっています。

性別、年齢別、就業形態別いずれも、人数の少ない層が多く、傾向がつかみにくくなっています。

【業務への活用度・パソコンスキルの向上研修／性別、年齢別、就業形態別】

(%)

		n	とても活かしている	活かしている	少しは活かしている	あまり活かしていない	活かしていない	まったく活かしていない	無回答
全体		2	-	-	50.0	50.0	-	-	-
性別	男性	1	-	-	100.0	-	-	-	-
	女性	1	-	-	-	100.0	-	-	-
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	-	-	-	-	-	-	-	-
	30歳～39歳	1	-	-	100.0	-	-	-	-
	40歳～49歳	-	-	-	-	-	-	-	-
	50歳～59歳	1	-	-	-	100.0	-	-	-
	60歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-
就業形態別	正規職員	2	-	-	50.0	50.0	-	-	-
	非正規職員	-	-	-	-	-	-	-	-

②-8 英会話などの教養関係の研修

英会話などの教養関係の研修では、「まったく活かしていない」が100.0%となっています。

性別、年齢別、就業形態別いずれも、人数の少ない層が多く、傾向がつかみにくくなっています。

【業務への活用度・英会話などの教養関係の研修／性別、年齢別、就業形態別】

(%)

		n	とても活かしている	活かしている	少しは活かしている	あまり活かしていない	活かしていない	まったく活かしていない	無回答
全体		1	-	-	-	-	-	100.0	-
性別	男性	-	-	-	-	-	-	-	-
	女性	1	-	-	-	-	-	100.0	-
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	-	-	-	-	-	-	-	-
	30歳～39歳	-	-	-	-	-	-	-	-
	40歳～49歳	-	-	-	-	-	-	-	-
	50歳～59歳	-	-	-	-	-	-	-	-
	60歳以上	1	-	-	-	-	-	100.0	-
就業形態別	正規職員	1	-	-	-	-	-	100.0	-
	非正規職員	-	-	-	-	-	-	-	-

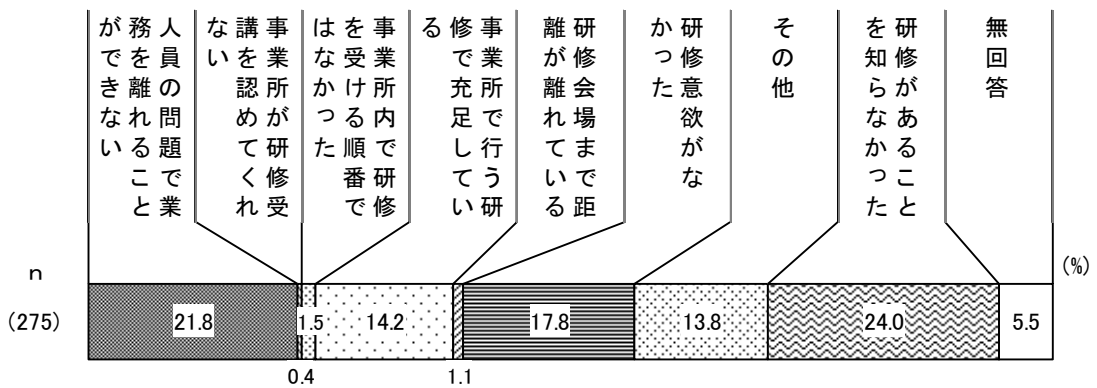
②-9 その他

その他では、「少しは活かしている」が47.4%で最も高く、以下、「活かしている」が26.3%、「とても活かしている」と「あまり活かしていない」が10.5%となっています。

	n	とても活かしている	活かしている	少しは活かしている	あまり活かしていない	活かしていない	まったく活かしていない	(%) 無回答
全体	19	10.5	26.3	47.4	10.5	-	-	5.3

問17-3 不参加の理由

不参加の理由では、「研修があることを知らなかった」が24.0%を占めています。一方、具体的な選択肢の中では、「人員の問題で業務を離れることができない」が21.8%で最も高く、以下、「研修意欲がなかった」が17.8%、「事業所で行う研修で充足している」が14.2%となっています。



性別で見ると、男性は、「研修意欲がなかった」で25.3%、女性は、「研修があることを知らなかった」で26.2%と高くなっています。

年齢別で見ると、「研修があることを知らなかった」は、60歳以上で35.8%となっています。また、「研修意欲がなかった」は、低年齢層ほど高く、20～29歳では27.3%となっています。

就業形態別で見ると、正規職員は、「人員の問題で業務を離れることができない」で25.1%、非正規職員は、「研修があることを知らなかった」で34.6%と高くなっています。

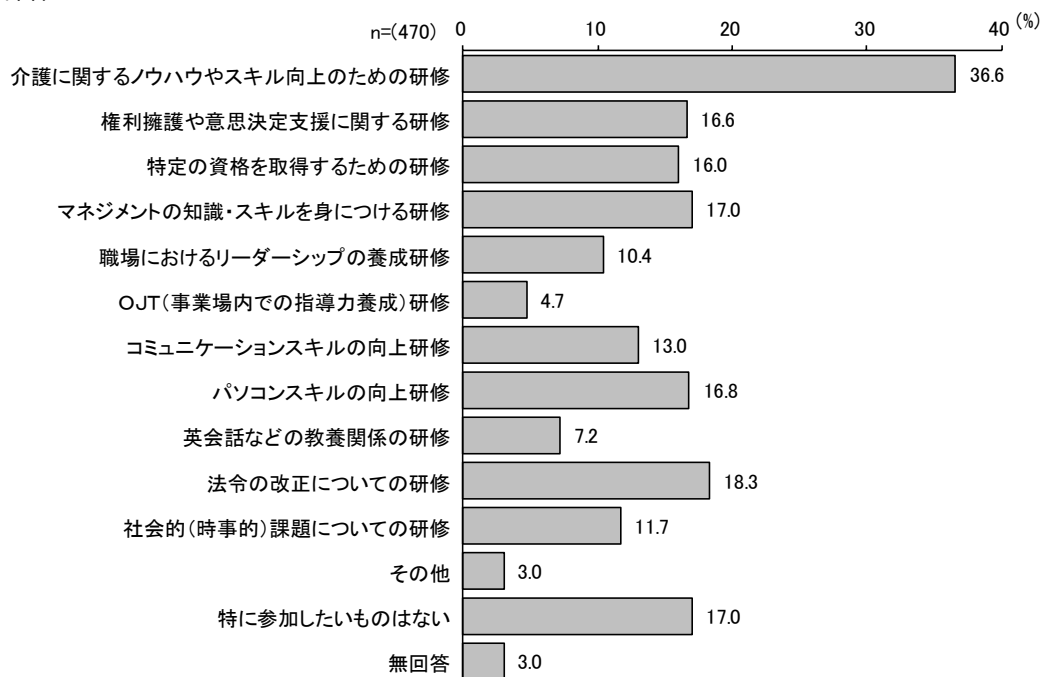
【不参加の理由／性別、年齢別、就業形態別】

		n	人員の問題で業務を離れることができない	事業所が研修受講を認めてくれない	事業所内で研修を受ける順番ではなかった	事業所で行う研修で充足している	研修会場まで距離が離れている	研修意欲がなかった	その他	研修があることを知らなかった	無回答
全体		275	21.8	0.4	1.5	14.2	1.1	17.8	13.8	24.0	5.5
性別	男性	83	24.1	-	1.2	16.9	1.2	25.3	12.0	19.3	-
	女性	187	21.4	0.5	1.6	12.8	1.1	14.4	15.0	26.2	7.0
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	44	20.5	-	-	13.6	-	27.3	4.5	27.3	6.8
	30歳～39歳	45	13.3	-	-	20.0	-	24.4	13.3	26.7	2.2
	40歳～49歳	61	26.2	-	-	4.9	1.6	21.3	24.6	13.1	8.2
	50歳～59歳	68	29.4	1.5	1.5	20.6	1.5	11.8	13.2	19.1	1.5
60歳以上	53	17.0	-	5.7	11.3	1.9	7.5	11.3	35.8	9.4	
就業形態別	正規職員	191	25.1	-	0.5	15.7	1.0	16.8	15.2	19.4	6.3
	非正規職員	81	14.8	1.2	3.7	9.9	1.2	19.8	11.1	34.6	3.7

問18 文京区で参加したい研修・講習会

文京区で参加したい研修・講習会では、「介護に関するノウハウやスキル向上のための研修」が36.6%で最も高く、以下、「法令の改正についての研修」が18.3%、「マネジメントの知識・スキルを身につける研修」が17.0%、「パソコンスキルの向上研修」が16.8%となっています。一方、「特に参加したいものはない」は17.0%となっています。

(複数回答)



性別では、特に目立った違いはありません。

年齢別で見ると、30歳～39歳は、「介護に関するノウハウやスキル向上のための研修」が42.9%、「コミュニケーションスキルの向上研修」が20.2%と高くなっています。

就業形態別で見ると、正規職員は、「マネジメントの知識・スキルを身につける研修」が19.1%、「職場におけるリーダーシップの養成研修」が13.0%、「法令の改正についての研修」が20.9%と、いずれも非正規職員に比べて高くなっています。

【文京区で参加したい研修・講習会／性別、年齢別、就業形態別】

(%)

	n	介護に関するノウハウやスキル向上のための研修	権利擁護や意思決定支援に関する研修	特定の資格を取得するための研修	マネジメントの知識・スキルを身につける研修	職場におけるリーダーシップの養成研修	OJT(事業場内での指導力養成)研修	コミュニケーションスキルの向上研修	パソコンスキルの向上研修	英会話などの教養関係の研修	法令の改正についての研修
全体	470	36.6	16.6	16.0	17.0	10.4	4.7	13.0	16.8	7.2	18.3
性別											
男性	128	41.4	18.0	17.2	19.5	12.5	5.5	10.2	10.2	4.7	18.8
女性	335	35.2	15.8	15.5	15.8	9.9	4.5	14.3	19.1	8.1	18.2
年齢別											
20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20歳～29歳	57	31.6	12.3	28.1	10.5	5.3	5.3	7.0	10.5	12.3	8.8
30歳～39歳	84	42.9	9.5	19.0	16.7	14.3	7.1	20.2	9.5	7.1	9.5
40歳～49歳	113	36.3	17.7	12.4	19.5	15.0	4.4	8.8	20.4	5.3	22.1
50歳～59歳	120	38.3	23.3	16.7	21.7	9.2	1.7	10.8	16.7	5.8	27.5
60歳以上	89	32.6	14.6	9.0	10.1	5.6	6.7	19.1	24.7	7.9	14.6
就業形態別											
正規職員	345	37.1	16.5	16.2	19.1	13.0	5.8	12.2	17.4	7.2	20.9
非正規職員	119	37.0	16.0	16.0	10.1	3.4	1.7	16.0	16.0	6.7	10.9

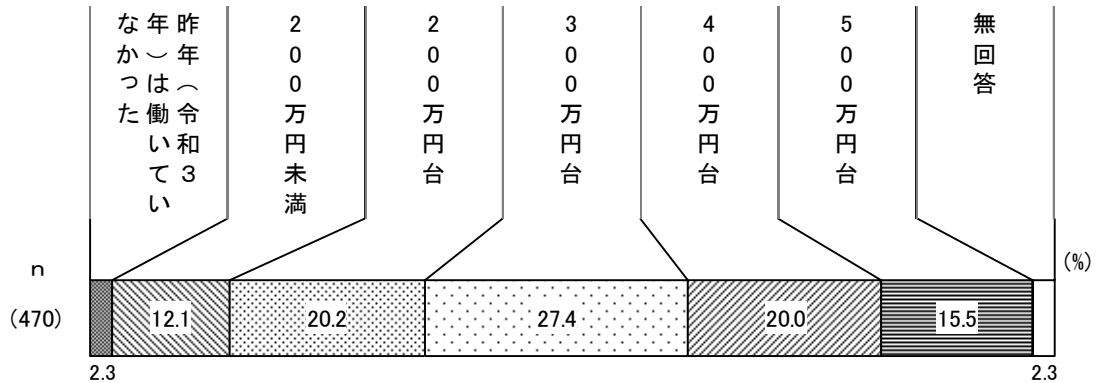
	社会的(時事的)課題についての研修	その他	特に参加したいものはない	無回答
全体	11.7	3.0	17.0	3.0
性別				
男性	8.6	1.6	19.5	1.6
女性	12.2	3.6	16.4	3.6
年齢別				
20歳未満	-	-	-	-
20歳～29歳	7.0	5.3	28.1	-
30歳～39歳	15.5	1.2	19.0	6.0
40歳～49歳	7.1	2.7	16.8	1.8
50歳～59歳	9.2	4.2	11.7	2.5
60歳以上	18.0	2.2	16.9	4.5
就業形態別				
正規職員	10.4	2.9	15.7	2.0
非正規職員	13.4	3.4	21.8	5.0

5. 勤務条件

問19 収入（賞与及び残業・交通費等諸手当等を含む）

①-1 昨年1年間の全収入

昨年1年間の全収入では、「300万円台」が27.4%で最も高く、以下、「200万円台」が20.2%、「400万円台」が20.0%、「500万円台」が15.5%となっています。



性別で見ると、男女とも「300万円台」が最も高く、400万円台以上では、男性、200万円台以下では、女性が高くなっています。

年齢別で見ると、20歳～29歳は、200万円台で29.8%、300万円台で33.3%、40歳～49歳は、400万円台から800万円未満で最も高くなっています。

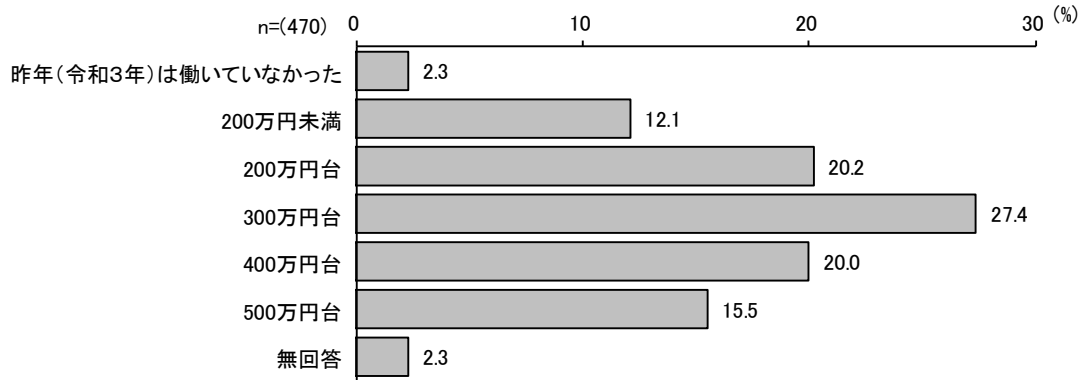
就業形態別で見ると、正規職員は、「300万円台」で31.6%、非正規職員は、「200万円台」で35.3%と高くなっています。

【昨年1年間の全収入／性別、年齢別、就業形態別】

	n	昨年(令和3年)は働いていなかった	(%)									
			103万円未満(課税対象とならず、配偶者控除が受けられる範囲)	103～130万円未満(社会保険の被保険者とならない範囲)	130～200万円未満	200万円台	300万円台	400万円台	500万円台	600～800万円未満	800万円以上	無回答
全体	470	2.3	3.8	1.9	6.4	20.2	27.4	20.0	12.6	2.6	0.4	2.3
性別	男性	128	3.1	0.8	3.9	17.2	25.8	22.7	18.0	4.7	0.8	2.3
	女性	335	2.1	5.1	2.4	7.5	21.5	27.8	19.1	10.4	1.8	0.3
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	57	8.8	3.5	-	7.0	29.8	33.3	10.5	3.5	-	3.5
	30歳～39歳	84	3.6	1.2	1.2	6.0	21.4	23.8	20.2	15.5	2.4	4.8
	40歳～49歳	113	-	1.8	0.9	4.4	12.4	31.9	23.9	18.6	5.3	0.9
	50歳～59歳	120	1.7	5.8	1.7	5.8	15.8	28.3	23.3	12.5	3.3	1.7
60歳以上	89	1.1	6.7	5.6	10.1	29.2	18.0	16.9	7.9	-	1.1	
就業形態別	正規職員	345	2.3	1.2	-	4.1	15.1	31.6	24.6	15.9	2.6	0.6
	非正規職員	119	2.5	11.8	7.6	13.4	35.3	15.1	6.7	2.5	-	2.5

●全収入（6区分）

全収入（6区分）では、「300万円台」が27.4%で最も高く、以下、「200万円台」が20.2%、「400万円台」が20.0%、「500万円台」が15.5%となっています。



性別で見ると、男女とも「300万円台」が最も高く、400万円台以上では、男性、200万円台以下では、女性が高くなっています。

年齢別で見ると、20歳～29歳は、200万円台で29.8%、300万円台で33.3%、40歳～49歳は、400万円台で23.9%、500万円台で24.8%とそれぞれ他の年齢層を上回っています。

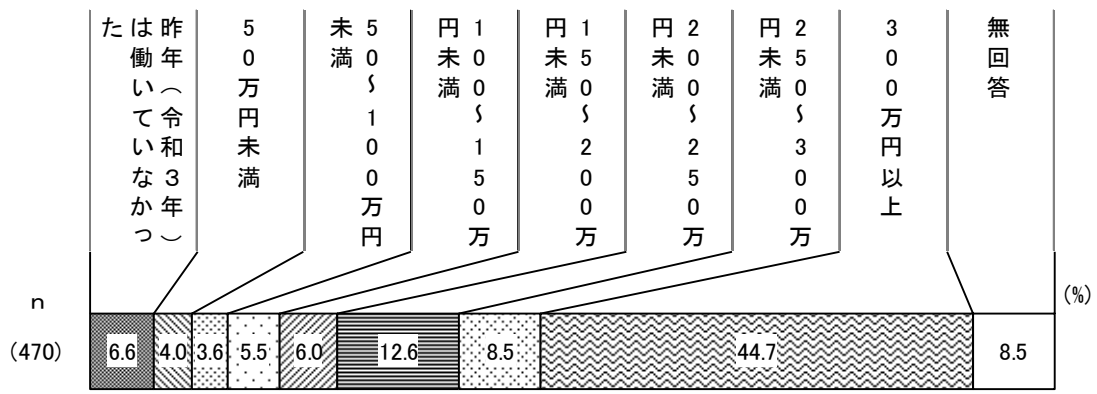
就業形態別で見ると、正規職員は、「300万円台」が31.6%、非正規職員は、「200万円台」が35.3%と高くなっています。

【全収入（6区分）／性別、年齢別、就業形態別】

		n	昨年(令和3年)は働いていなかった	200万円未満	200万円台	300万円台	400万円台	500万円台	無回答
全体		470	2.3	12.1	20.2	27.4	20.0	15.5	2.3
性別	男性	128	3.1	5.5	17.2	25.8	22.7	23.4	2.3
	女性	335	2.1	14.9	21.5	27.8	19.1	12.5	2.1
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	57	8.8	10.5	29.8	33.3	10.5	3.5	3.5
	30歳～39歳	84	3.6	8.3	21.4	23.8	20.2	17.9	4.8
	40歳～49歳	113	-	7.1	12.4	31.9	23.9	24.8	-
	50歳～59歳	120	1.7	13.3	15.8	28.3	23.3	15.8	1.7
	60歳以上	89	1.1	22.5	29.2	18.0	16.9	9.0	3.4
就業形態別	正規職員	345	2.3	5.2	15.1	31.6	24.6	19.1	2.0
	非正規職員	119	2.5	32.8	35.3	15.1	6.7	5.0	2.5

①-2 昨年1年間の介護による収入

昨年1年間の介護による収入では、「300万円以上」が44.7%で最も高く、以下、「200～250万円未満」が12.6%、「250～300万円未満」が8.5%、「昨年（令和3年）は働いていなかった」が6.6%となっています。



性別で見ると、男性は、「300万円以上」が57.0%と女性の40.0%に比べて高くなっています。

年齢別で見ると、いずれの年齢層も300万円以上が最も高く、中でも40歳～49歳は、59.3%となっています。20歳～29歳は、「昨年（令和3年）は働いていなかった」と「200～250万円未満」がいずれも24.6%と他の年齢層を上回っています。

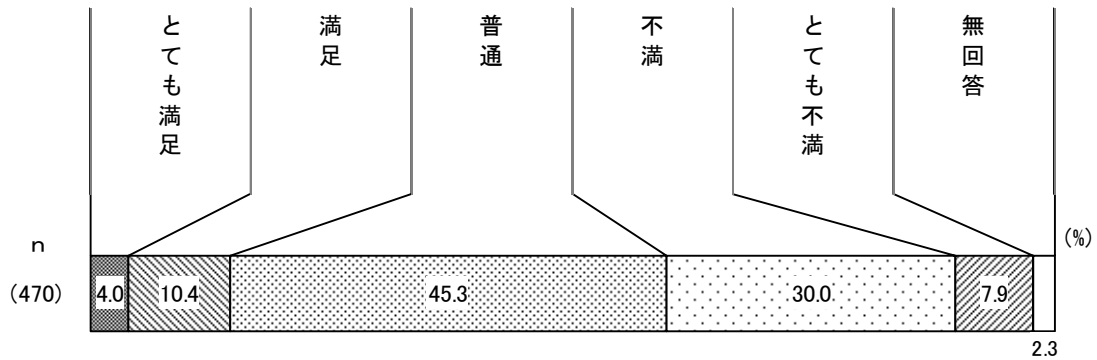
就業形態別で見ると、正規職員は、「300万円以上」が56.2%、非正規職員は、「200～250万円未満」が17.6%と高くなっています。

【昨年1年間の介護による収入／性別、年齢別、就業形態別】

		n	昨年(令和3年)は働いていなかった	50万円未満	50～100万円未満	100～150万円未満	150～200万円未満	200～250万円未満	250～300万円未満	300万円以上	無回答
全体		470	6.6	4.0	3.6	5.5	6.0	12.6	8.5	44.7	8.5
性別	男性	128	7.0	2.3	3.1	2.3	3.9	10.2	8.6	57.0	5.5
	女性	335	6.6	4.8	3.6	6.9	6.9	13.4	8.1	40.0	9.9
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	57	24.6	3.5	1.8	1.8	3.5	24.6	7.0	29.8	3.5
	30歳～39歳	84	7.1	3.6	1.2	4.8	7.1	11.9	8.3	48.8	7.1
	40歳～49歳	113	3.5	2.7	1.8	1.8	4.4	8.0	8.8	59.3	9.7
	50歳～59歳	120	4.2	7.5	5.8	6.7	5.0	7.5	7.5	45.0	10.8
	60歳以上	89	2.2	2.2	6.7	11.2	10.1	18.0	9.0	31.5	9.0
就業形態別	正規職員	345	7.0	2.6	0.9	1.7	4.1	10.7	9.0	56.2	7.8
	非正規職員	119	5.9	8.4	11.8	16.8	11.8	17.6	5.9	11.8	10.1

②-1 全収入の満足度

全収入の満足度では、「普通」が45.3%で最も高く、以下、「不満」が30.0%、「満足」が10.4%、「とても不満」が7.9%となっています。



性別で見ると、男性は、「普通」と「不満」が38.3%、女性は、「普通」が47.5%と高くなっています。

年齢別で見ると、20歳～29歳は、「とても不満」が14.0%と高くなっています。

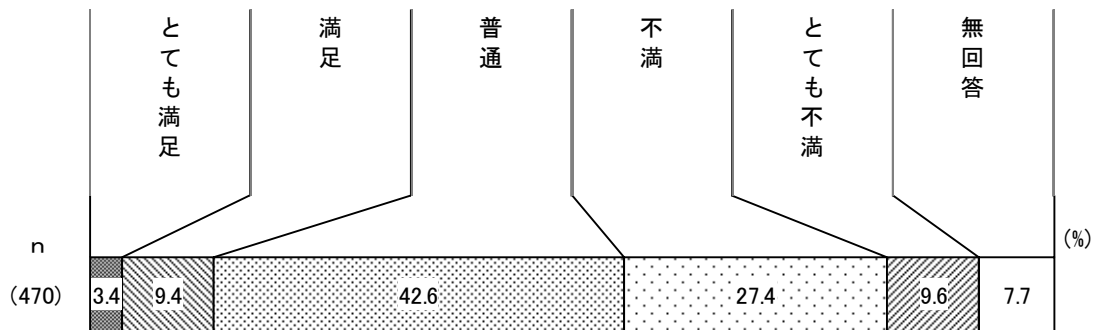
就業形態別で見ると、正規職員は、「不満」が32.2%と高くなっています。

【全収入の満足度／性別、年齢別、就業形態別】

		n	とても満足	満足	普通	不満	とても不満	無回答
全体		470	4.0	10.4	45.3	30.0	7.9	2.3
性別	男性	128	4.7	8.6	38.3	38.3	7.0	3.1
	女性	335	3.9	10.7	47.5	27.5	8.4	2.1
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	57	3.5	1.8	49.1	31.6	14.0	-
	30歳～39歳	84	4.8	10.7	42.9	28.6	8.3	4.8
	40歳～49歳	113	5.3	8.0	47.8	32.7	5.3	0.9
	50歳～59歳	120	4.2	11.7	43.3	30.8	8.3	1.7
	60歳以上	89	2.2	16.9	41.6	28.1	6.7	4.5
就業形態別	正規職員	345	3.8	10.1	43.5	32.2	9.0	1.4
	非正規職員	119	5.0	10.9	49.6	25.2	5.0	4.2

②-2 介護による収入の満足度

介護による収入の満足度では、「普通」が42.6%で最も高く、以下、「不満」が27.4%、「とても不満」が9.6%、「満足」が9.4%となっています。



性別でみると、男性は、「不満」が女性よりも高くなっています。

年齢別でみると、いずれの年齢層も「普通」が最も高く、20歳～29歳は、「とても不満」が17.5%、50歳～59歳は、「不満」が33.3%と、他の年齢層を上回っています。

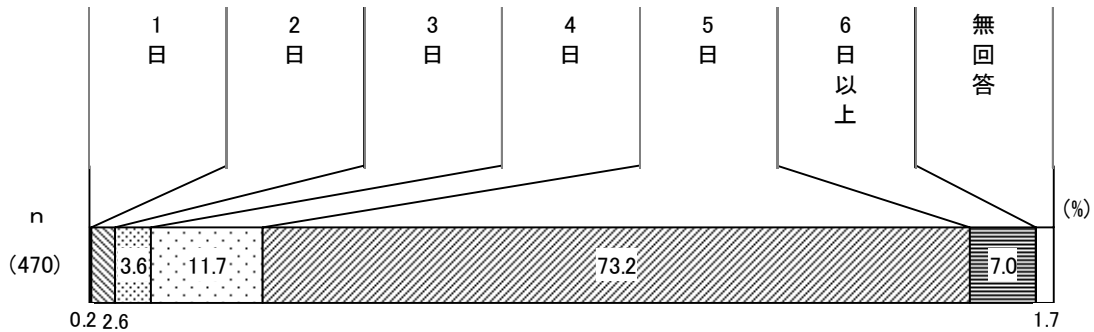
就業形態別でみると、正規職員は、「不満」、「とても不満」がやや高くなっています。

【介護による収入の満足度／性別、年齢別、就業形態別】

		n	とても満足	満足	普通	不満	とても不満	無回答	(%)
全体		470	3.4	9.4	42.6	27.4	9.6	7.7	
性別	男性	128	4.7	7.0	36.7	33.6	10.2	7.8	
	女性	335	3.0	9.9	44.5	25.4	9.6	7.8	
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	
	20歳～29歳	57	1.8	3.5	47.4	29.8	17.5	-	
	30歳～39歳	84	3.6	11.9	41.7	27.4	9.5	6.0	
	40歳～49歳	113	4.4	7.1	46.9	23.9	8.0	9.7	
	50歳～59歳	120	5.0	8.3	35.8	33.3	8.3	9.2	
	60歳以上	89	1.1	14.6	41.6	23.6	9.0	10.1	
就業形態別	正規職員	345	3.2	9.6	40.3	29.0	10.7	7.2	
	非正規職員	119	4.2	8.4	48.7	23.5	6.7	8.4	

問20 1週間の労働日数

1週間の労働日数では、「5日」が73.2%で最も高く、以下、「4日」が11.7%、「6日以上」が7.0%、「3日」が3.6%となっています。



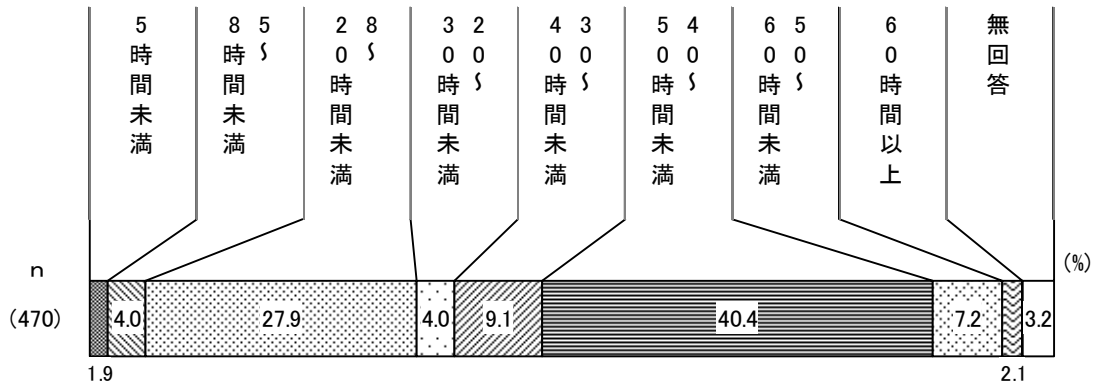
性別で見ると、男女とも「5日」が最も高く、女性は、「4日」が13.7%と男性の4.7%に比べて高くなっています。
 年齢別で見ると、40歳～49歳は、「5日」が85.8%と特に高くなっています。
 就業形態別で見ると、正規職員は、全員が4日以上で、「5日」が87.5%となっています。

【1週間の労働日数／性別、年齢別、就業形態別】

		n	1日	2日	3日	4日	5日	6日以上	無回答
全体		470	0.2	2.6	3.6	11.7	73.2	7.0	1.7
性別	男性	128	0.8	-	3.9	4.7	82.0	7.0	1.6
	女性	335	-	3.6	3.6	13.7	70.1	7.2	1.8
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	57	-	-	3.5	15.8	77.2	3.5	-
	30歳～39歳	84	-	2.4	6.0	10.7	70.2	6.0	4.8
	40歳～49歳	113	0.9	0.9	1.8	6.2	85.8	3.5	0.9
	50歳～59歳	120	-	3.3	2.5	10.8	75.0	6.7	1.7
60歳以上	89	-	5.6	5.6	16.9	56.2	14.6	1.1	
就業形態別	正規職員	345	-	-	-	5.2	87.5	5.8	1.4
	非正規職員	119	0.8	10.1	14.3	29.4	32.8	10.9	1.7

問21 1週間の労働時間

1週間の労働時間（8区分）では、「40～50時間未満」が40.4%で最も高く、以下、「8～20時間未満」が27.9%、「30～40時間未満」が9.1%、「50～60時間未満」が7.2%となっています。



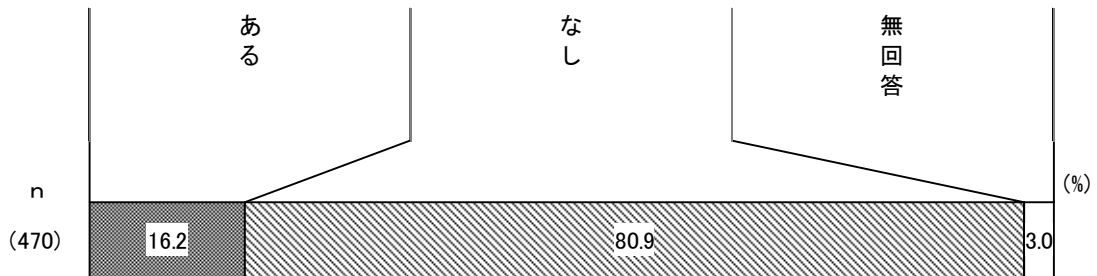
性別で見ると、男性は、「40～50時間未満」や「50～60時間未満」で女性を上回っています。年齢別で見ると、「8～20時間未満」や「40～50時間未満」は、低年齢層で高い傾向があります。就業形態別で見ると、正規職員は、「40～50時間未満」が48.4%、非正規職員は、「8～20時間未満」が30.3%と高くなっています。

【1週間の労働時間／性別、年齢別、就業形態別】

		n	5時間未満	5～8時間未満	8～20時間未満	20～30時間未満	30～40時間未満	40～50時間未満	50～60時間未満	60時間以上	無回答
全体		470	1.9	4.0	27.9	4.0	9.1	40.4	7.2	2.1	3.2
性別	男性	128	3.9	1.6	25.8	3.9	3.1	45.3	10.9	1.6	3.9
	女性	335	1.2	4.8	28.1	4.2	11.6	39.1	6.0	2.4	2.7
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	57	1.8	1.8	33.3	1.8	3.5	47.4	3.5	1.8	5.3
	30歳～39歳	84	2.4	1.2	31.0	6.0	6.0	38.1	6.0	2.4	7.1
	40歳～49歳	113	0.9	6.2	23.9	1.8	8.8	47.8	7.1	2.7	0.9
	50歳～59歳	120	4.2	4.2	26.7	3.3	9.2	38.3	10.0	2.5	1.7
60歳以上	89	-	4.5	25.8	7.9	16.9	32.6	7.9	1.1	3.4	
就業形態別	正規職員	345	2.0	2.3	26.4	1.4	4.9	48.4	9.3	2.6	2.6
	非正規職員	119	1.7	8.4	30.3	11.8	21.8	19.3	1.7	0.8	4.2

問22 深夜勤務の有無

深夜勤務の有無では、「なし」が80.9%、「ある」が16.2%となっています。



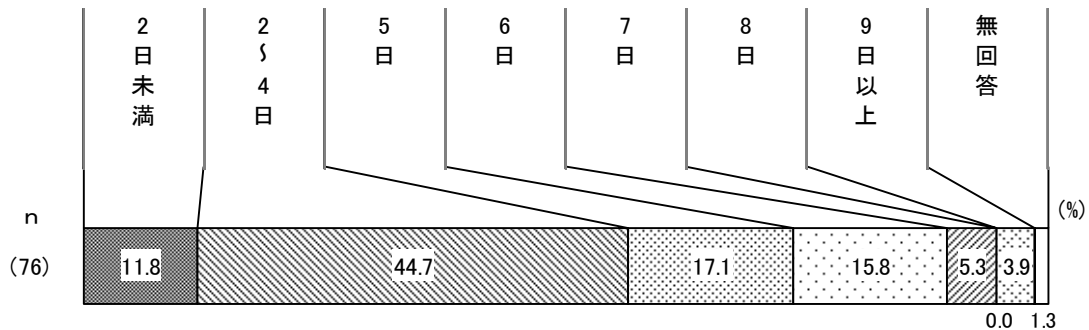
性別でみると、男性は、「ある」が20.3%、女性は、13.7%となっています。
 年齢別でみると、「ある」は、低年齢層ほど高い傾向にあります。
 就業形態別でみると、非正規職員は、「なし」が95.8%となっています。

【深夜勤務の有無／性別、年齢別、就業形態別】

		n	(%)		
			ある	なし	無回答
全体		470	16.2	80.9	3.0
性別	男性	128	20.3	77.3	2.3
	女性	335	13.7	83.0	3.3
年齢別	20歳未満	-	-	-	-
	20歳～29歳	57	29.8	64.9	5.3
	30歳～39歳	84	20.2	73.8	6.0
	40歳～49歳	113	14.2	84.1	1.8
	50歳～59歳	120	15.0	82.5	2.5
	60歳以上	89	6.7	92.1	1.1
就業形態別	正規職員	345	20.6	76.2	3.2
	非正規職員	119	2.5	95.8	1.7

問22-1 1か月当たりの平均深夜勤務日数

1か月当たりの平均深夜勤務日数（7区分）では、「2～4日」が44.7%で最も高く、以下、「5日」が17.1%、「6日」が15.8%、「2日未満」が11.8%となっています。



性別で見ると、男性は、「2～4日」の53.8%に続いて「6日」が23.1%、女性は、「2～4日」の39.1%に続いて「2日未満」が19.6%となっています。

年齢別では、人数の少ない層があるため、傾向がつかみにくくなっています。

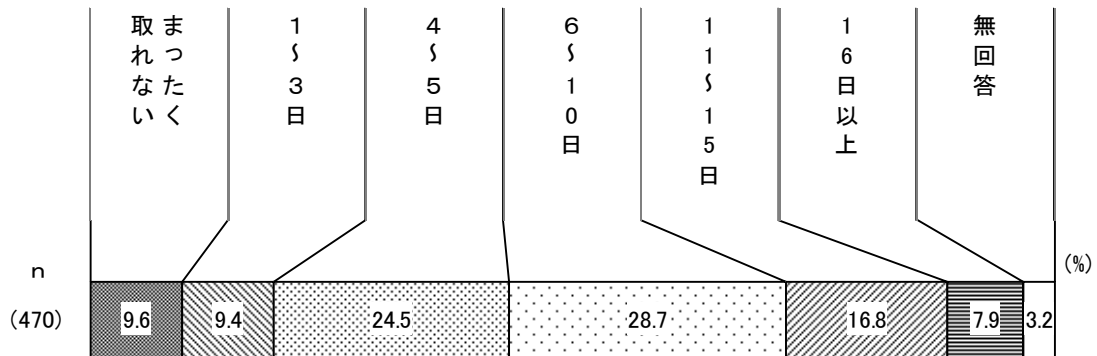
就業形態別で見ると、正規職員は、「2～4日」が43.7%となっています。

【1か月当たりの平均深夜勤務日数／性別、年齢別、就業形態別】

		n	2日未満	2～4日	5日	6日	7日	8日	9日以上	無回答	(%)
全体		76	11.8	44.7	17.1	15.8	5.3	-	3.9	1.3	
性別	男性	26	-	53.8	19.2	23.1	3.8	-	-	-	
	女性	46	19.6	39.1	15.2	13.0	6.5	-	6.5	-	
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	20歳～29歳	17	11.8	41.2	23.5	11.8	5.9	-	-	5.9	
	30歳～39歳	17	5.9	41.2	17.6	35.3	-	-	-	-	
	40歳～49歳	16	18.8	50.0	12.5	12.5	6.3	-	-	-	
	50歳～59歳	18	5.6	50.0	22.2	11.1	-	-	11.1	-	
	60歳以上	6	33.3	16.7	-	-	33.3	-	16.7	-	
就業形態別	正規職員	71	12.7	43.7	18.3	16.9	4.2	-	2.8	1.4	
	非正規職員	3	-	33.3	-	-	33.3	-	33.3	-	

問23 有給休暇の年間取得状況

有給休暇の年間取得状況では、「6～10日」が28.7%で最も高く、以下、「4～5日」が24.5%、「11～15日」が16.8%、「まったく取れない」が9.6%となっています。



性別では特に目立った違いはありません。
 年齢別で見ると、50歳～59歳は、「4～5日」が31.7%、他の年齢層は、いずれも「6～10日」が最も高くなっています。
 就業形態別で見ると、正規職員は、「6～10日」が33.3%、非正規職員は、「4～5日」が26.1%と高くなっています。

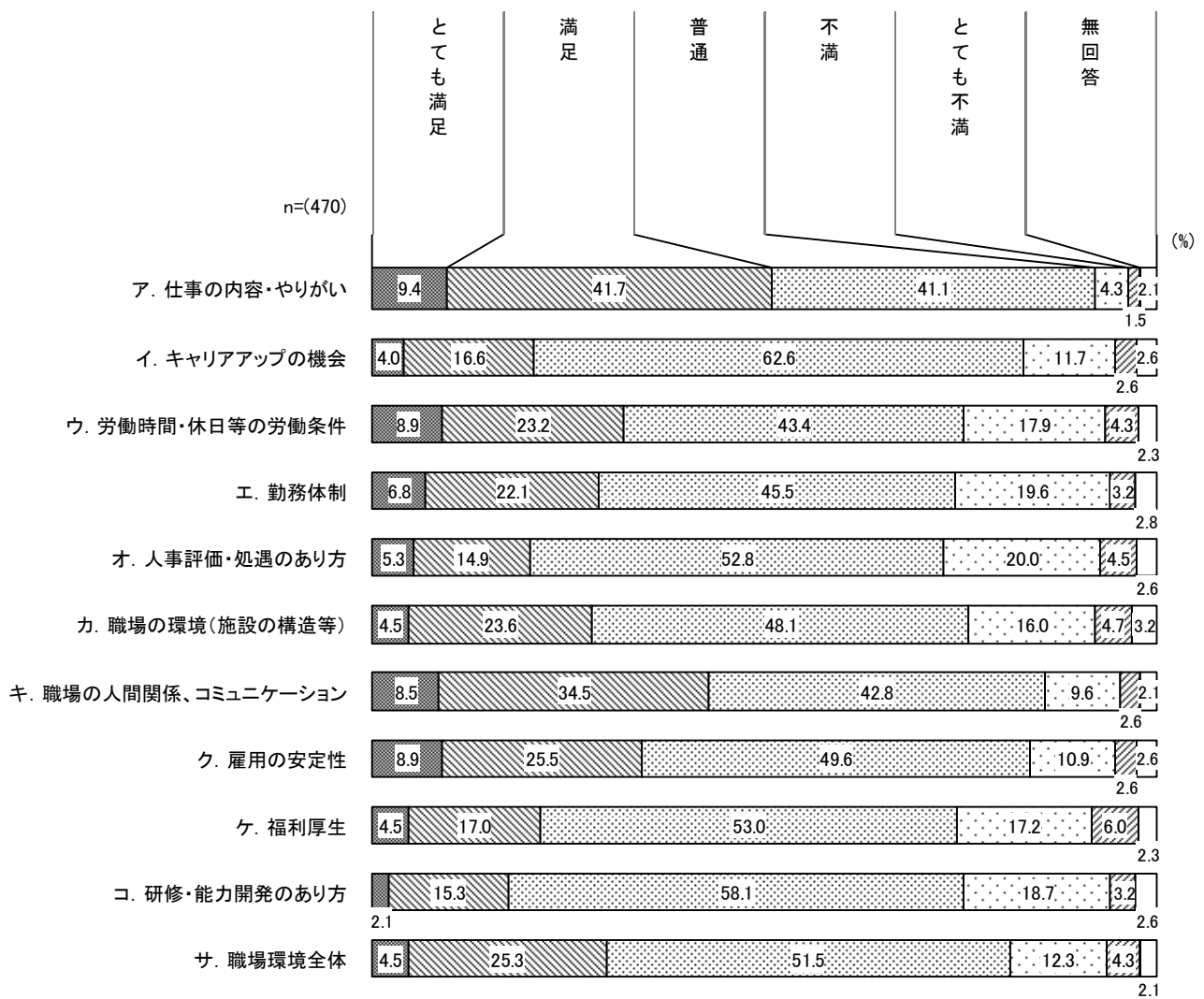
【有給休暇の年間取得状況／性別、年齢別、就業形態別】

		n	まったく取れない	1～3日	4～5日	6～10日	11～15日	16日以上	無回答
全体		470	9.6	9.4	24.5	28.7	16.8	7.9	3.2
性別	男性	128	6.3	9.4	28.1	31.3	17.2	5.5	2.3
	女性	335	11.0	9.6	23.3	27.5	16.4	8.7	3.6
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	57	7.0	10.5	15.8	43.9	15.8	3.5	3.5
	30歳～39歳	84	11.9	7.1	23.8	29.8	19.0	4.8	3.6
	40歳～49歳	113	8.0	9.7	25.7	33.6	14.2	7.1	1.8
	50歳～59歳	120	10.8	9.2	31.7	20.8	15.8	10.8	0.8
	60歳以上	89	10.1	11.2	20.2	22.5	18.0	10.1	7.9
就業形態別	正規職員	345	7.0	7.2	24.1	33.3	18.3	8.1	2.0
	非正規職員	119	17.6	16.0	26.1	16.0	11.8	6.7	5.9

6. 職場環境

問24 現在の仕事の満足度

「仕事の内容・やりがい」で『満足度』（とても満足～満足）が最も最も高く、5割を超えています。



ア. 仕事の内容・やりがい

ア. 仕事の内容・やりがいでは、「満足」が41.7%で最も高く、以下、「普通」が41.1%、「とても満足」が9.4%、「不満」が4.3%となっています。

性別で見ると、男性は、「普通」が43.8%、女性は、「満足」が43.0%と高くなっています。
 年齢別で見ると、「とても満足」と「満足」を合わせた割合で最も高いのは、20歳～29歳の56.1%となっています。
 就業形態別で見ると、正規職員は、「満足」が43.2%、非正規職員は、「普通」が45.4%と高くなっています。

【現在の仕事の満足度：仕事の内容・やりがい／性別、年齢別、就業形態別】

		n	とても満足	満足	普通	不満	とても不満	無回答
全体		470	9.4	41.7	41.1	4.3	1.5	2.1
性別	男性	128	10.9	38.3	43.8	4.7	1.6	0.8
	女性	335	9.0	43.0	39.7	4.2	1.5	2.7
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	57	14.0	42.1	36.8	1.8	3.5	1.8
	30歳～39歳	84	3.6	42.9	44.0	3.6	2.4	3.6
	40歳～49歳	113	14.2	39.8	36.3	5.3	1.8	2.7
	50歳～59歳	120	10.0	38.3	44.2	5.8	0.8	0.8
	60歳以上	89	5.6	47.2	41.6	3.4	-	2.2
就業形態別	正規職員	345	9.0	43.2	39.7	4.6	2.0	1.4
	非正規職員	119	10.9	37.0	45.4	3.4	-	3.4

イ. キャリアアップの機会

イ. キャリアアップの機会では、「普通」が62.6%で最も高く、以下、「満足」が16.6%、「不満」が11.7%、「とても満足」が4.0%となっています。

性別、就業形態別では、特に目立った違いはありません。
 年齢別で見ると、「とても満足」と「満足」を合わせた割合で最も高いのは、20歳～29歳の29.8%となっています。

【現在の仕事の満足度：キャリアアップの機会／性別、年齢別、就業形態別】

		n	とても満足	満足	普通	不満	とても不満	無回答
全体		470	4.0	16.6	62.6	11.7	2.6	2.6
性別	男性	128	3.9	18.8	64.1	8.6	3.1	1.6
	女性	335	4.2	15.8	61.8	13.1	2.1	3.0
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	57	14.0	15.8	57.9	7.0	3.5	1.8
	30歳～39歳	84	-	16.7	64.3	10.7	4.8	3.6
	40歳～49歳	113	2.7	19.5	59.3	13.3	2.7	2.7
	50歳～59歳	120	5.0	15.8	63.3	13.3	0.8	1.7
	60歳以上	89	2.2	15.7	66.3	11.2	1.1	3.4
就業形態別	正規職員	345	3.8	17.7	62.0	12.2	2.3	2.0
	非正規職員	119	5.0	14.3	63.9	10.9	2.5	3.4

ウ.労働時間・休日などの労働条件

ウ.労働時間・休日等の労働条件では、「普通」が43.4%で最も高く、以下、「満足」が23.2%、「不満」が17.9%、「とても満足」が8.9%となっています。

性別で見ると、男性は、「とても満足」が12.5%、女性は、「不満」が20.0%とやや高くなっています。
 年齢別で見ると、20歳～29歳は「とても満足」が12.3%、「満足」が29.8%とやや高くなっています。
 就業形態別では、特に目立った違いはありません。

【現在の仕事の満足度：労働時間・休日などの労働条件／性別、年齢別、就業形態別】

		n	とても満足	満足	普通	不満	とても不満	無回答
全体		470	8.9	23.2	43.4	17.9	4.3	2.3
性別	男性	128	12.5	24.2	45.3	11.7	4.7	1.6
	女性	335	7.8	22.7	42.7	20.0	4.2	2.7
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	57	12.3	29.8	36.8	15.8	3.5	1.8
	30歳～39歳	84	9.5	27.4	44.0	9.5	6.0	3.6
	40歳～49歳	113	9.7	22.1	46.0	15.0	5.3	1.8
	50歳～59歳	120	10.8	17.5	43.3	23.3	4.2	0.8
	60歳以上	89	3.4	22.5	44.9	22.5	2.2	4.5
就業形態別	正規職員	345	9.0	22.6	44.6	16.8	5.5	1.4
	非正規職員	119	9.2	24.4	41.2	20.2	0.8	4.2

エ.勤務体制

エ.勤務体制では、「普通」が45.5%で最も高く、以下、「満足」が22.1%、「不満」が19.6%、「とても満足」が6.8%となっています。

性別及び就業形態別では、特に目立った違いはありません。
 年齢別で見ると、20歳～29歳は、「普通」が38.6%とやや低くなっています。

【現在の仕事の満足度：勤務体制／性別、年齢別、就業形態別】

		n	とても満足	満足	普通	不満	とても不満	無回答
全体		470	6.8	22.1	45.5	19.6	3.2	2.8
性別	男性	128	7.0	24.2	43.8	19.5	3.9	1.6
	女性	335	6.9	21.2	45.7	20.0	3.0	3.3
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	57	10.5	22.8	38.6	17.5	8.8	1.8
	30歳～39歳	84	2.4	29.8	42.9	17.9	3.6	3.6
	40歳～49歳	113	8.0	21.2	46.9	21.2	0.9	1.8
	50歳～59歳	120	9.2	16.7	45.8	22.5	5.0	0.8
	60歳以上	89	4.5	21.3	49.4	18.0	-	6.7
就業形態別	正規職員	345	6.7	21.4	47.0	18.8	4.3	1.7
	非正規職員	119	7.6	23.5	41.2	22.7	-	5.0

オ. 人事評価・処遇のあり方

オ. 人事評価・処遇のあり方では、「普通」が52.8%で最も高く、以下、「不満」が20.0%、「満足」が14.9%、「とても満足」が5.3%となっています。

性別で見ると、男性は、「普通」が58.6%、女性は、50.7%と高くなっています。
 年齢別で見ると、20歳～29歳は、「とても満足」が14.0%と、他の年齢層に比べて高い一方、「とても不満」も10.5%と高くなっています。
 就業形態別では、特に目立った違いはありません。

【現在の仕事の満足度：人事評価・処遇のあり方／性別、年齢別、就業形態別】

		n	とても満足	満足	普通	不満	とても不満	無回答
全体		470	5.3	14.9	52.8	20.0	4.5	2.6
性別	男性	128	5.5	10.9	58.6	18.8	4.7	1.6
	女性	335	5.4	16.4	50.7	20.3	4.2	3.0
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	57	14.0	15.8	42.1	15.8	10.5	1.8
	30歳～39歳	84	2.4	10.7	59.5	19.0	4.8	3.6
	40歳～49歳	113	4.4	18.6	55.8	17.7	1.8	1.8
	50歳～59歳	120	6.7	12.5	53.3	22.5	4.2	0.8
	60歳以上	89	2.2	18.0	48.3	22.5	3.4	5.6
就業形態別	正規職員	345	4.9	14.8	53.0	21.2	4.6	1.4
	非正規職員	119	6.7	16.0	52.9	16.0	3.4	5.0

カ. 職場の環境（施設の構造等）

カ. 職場の環境（施設の構造等）では、「普通」が48.1%で最も高く、以下、「満足」が23.6%、「不満」が16.0%、「とても不満」が4.7%となっています。

性別および就業形態別では、特に目立った違いはありません。
 年齢別で見ると、20歳～29歳は、「とても満足」と「とても不満」が12.3%と、他の年齢層に比べて高くなっています。

【現在の仕事の満足度：職場の環境（施設の構造等）／性別、年齢別、就業形態別】

		n	とても満足	満足	普通	不満	とても不満	無回答
全体		470	4.5	23.6	48.1	16.0	4.7	3.2
性別	男性	128	2.3	27.3	49.2	14.8	4.7	1.6
	女性	335	5.4	21.8	48.1	16.4	4.8	3.6
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	57	12.3	29.8	28.1	14.0	12.3	3.5
	30歳～39歳	84	1.2	29.8	50.0	9.5	6.0	3.6
	40歳～49歳	113	4.4	21.2	52.2	16.8	3.5	1.8
	50歳～59歳	120	5.8	20.0	51.7	17.5	4.2	0.8
	60歳以上	89	1.1	21.3	49.4	19.1	1.1	7.9
就業形態別	正規職員	345	4.9	23.8	47.8	15.9	5.5	2.0
	非正規職員	119	3.4	22.7	49.6	16.0	2.5	5.9

キ. 職場の人間関係、コミュニケーション

キ. 職場の人間関係、コミュニケーションでは、「普通」が42.8%で最も高く、以下、「満足」が34.5%、「不満」が9.6%、「とても満足」が8.5%となっています。

性別でみると、女性は、「とても満足」が10.1%と高くなっています。
 年齢別でみると、20歳～29歳は、「とても満足」が21.1%と高くなっています。
 就業形態別では、特に目立った違いはありません。

【現在の仕事の満足度：職場の人間関係、コミュニケーション／性別、年齢別、就業形態別】

		n	とても満足	満足	普通	不満	とても不満	無回答
全体		470	8.5	34.5	42.8	9.6	2.6	2.1
性別	男性	128	4.7	34.4	45.3	11.7	2.3	1.6
	女性	335	10.1	34.0	41.8	9.0	2.7	2.4
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	57	21.1	24.6	42.1	3.5	7.0	1.8
	30歳～39歳	84	8.3	38.1	40.5	7.1	2.4	3.6
	40歳～49歳	113	8.0	29.2	47.8	11.5	1.8	1.8
	50歳～59歳	120	5.8	34.2	46.7	12.5	-	0.8
	60歳以上	89	4.5	43.8	33.7	10.1	4.5	3.4
就業形態別	正規職員	345	9.0	33.3	43.2	10.4	2.6	1.4
	非正規職員	119	7.6	37.0	42.0	7.6	2.5	3.4

ク. 雇用の安定性

ク. 雇用の安定性では、「普通」が49.6%で最も高く、以下、「満足」が25.5%、「不満」が10.9%、「とても満足」が8.9%となっています。

性別では、特に目立った違いはありません。
 年齢別でみると、20歳～29歳は、「とても満足」が21.1%と高くなっています。
 就業形態別でみると、正規職員は、「満足」が27.0%、非正規職員は、「不満」が13.4%とやや高くなっています。

【現在の仕事の満足度：雇用の安定性／性別、年齢別、就業形態別】

		n	とても満足	満足	普通	不満	とても不満	無回答
全体		470	8.9	25.5	49.6	10.9	2.6	2.6
性別	男性	128	10.2	26.6	49.2	10.2	1.6	2.3
	女性	335	8.7	25.1	49.6	11.0	3.0	2.7
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	57	21.1	17.5	49.1	7.0	3.5	1.8
	30歳～39歳	84	3.6	33.3	44.0	9.5	4.8	4.8
	40歳～49歳	113	10.6	27.4	49.6	8.8	1.8	1.8
	50歳～59歳	120	10.0	25.8	50.8	10.8	1.7	0.8
	60歳以上	89	3.4	20.2	53.9	15.7	2.2	4.5
就業形態別	正規職員	345	9.9	27.0	49.0	9.9	2.6	1.7
	非正規職員	119	6.7	21.0	52.1	13.4	2.5	4.2

ケ. 福利厚生

ケ. 福利厚生では、「普通」が53.0%で最も高く、以下、「不満」が17.2%、「満足」が17.0%、「とても不満」が6.0%となっています。

性別では、特に目立った違いはありません。

年齢別でみると、30歳～39歳は、「満足」が26.2%とやや高くなっています。

就業形態別でみると、正規職員は、「満足」が18.6%、非正規職員は、「不満」が21.0%とやや高くなっています。

【現在の仕事の満足度：福利厚生／性別、年齢別、就業形態別】

(%)

		n	とても満足	満足	普通	不満	とても不満	無回答
全体		470	4.5	17.0	53.0	17.2	6.0	2.3
性別	男性	128	4.7	19.5	54.7	15.6	3.9	1.6
	女性	335	4.5	16.1	51.6	18.2	6.9	2.7
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	57	5.3	21.1	47.4	21.1	3.5	1.8
	30歳～39歳	84	1.2	26.2	50.0	13.1	6.0	3.6
	40歳～49歳	113	6.2	19.5	54.9	16.8	0.9	1.8
	50歳～59歳	120	7.5	11.7	56.7	15.0	8.3	0.8
	60歳以上	89	1.1	10.1	50.6	22.5	11.2	4.5
就業形態別	正規職員	345	5.8	18.6	52.2	16.2	5.8	1.4
	非正規職員	119	0.8	12.6	54.6	21.0	6.7	4.2

コ. 研修・能力開発のあり方

コ. 研修・能力開発のあり方では、「普通」が58.1%で最も高く、以下、「不満」が18.7%、「満足」が15.3%、「とても不満」が3.2%となっています。

性別及び就業形態別では、特に目立った違いはありません。

年齢別でみると、40歳～49歳は「満足」が22.1%と、他の年齢層よりも高くなっています。一方、「不満」は60歳以上で24.7%、40歳～49歳で21.2%と高くなっています。

【現在の仕事の満足度：研修・能力開発のあり方／性別、年齢別、就業形態別】

(%)

		n	とても満足	満足	普通	不満	とても不満	無回答
全体		470	2.1	15.3	58.1	18.7	3.2	2.6
性別	男性	128	1.6	12.5	61.7	19.5	3.1	1.6
	女性	335	2.4	16.7	56.4	18.5	3.0	3.0
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	57	3.5	15.8	63.2	10.5	5.3	1.8
	30歳～39歳	84	1.2	16.7	57.1	15.5	6.0	3.6
	40歳～49歳	113	-	22.1	54.0	21.2	0.9	1.8
	50歳～59歳	120	4.2	9.2	65.0	17.5	3.3	0.8
	60歳以上	89	2.2	14.6	51.7	24.7	1.1	5.6
就業形態別	正規職員	345	2.0	15.7	59.1	19.1	2.6	1.4
	非正規職員	119	2.5	15.1	55.5	17.6	4.2	5.0

サ. 職場環境全体

サ. 職場環境全体では、「普通」が51.5%で最も高く、以下、「満足」が25.3%、「不満」が12.3%、「とても満足」が4.5%となっています。

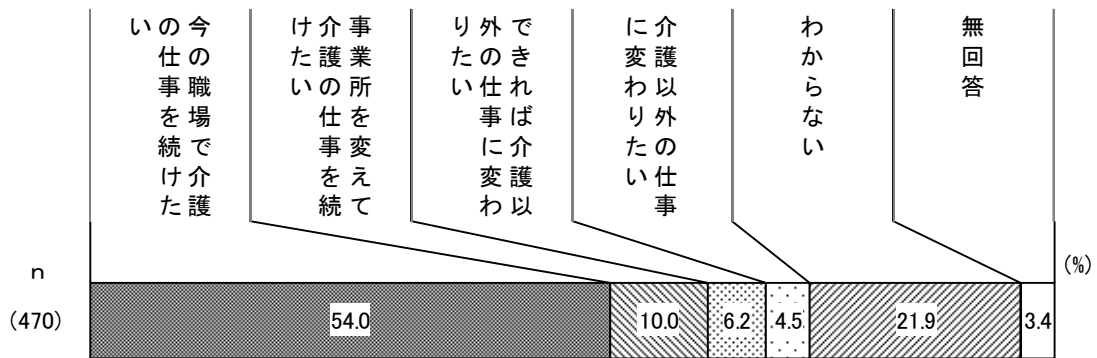
性別および就業形態別では、特に目立った違いはありません。
年齢別でみると、20歳～29歳は、「とても満足」が10.5%と高くなっています。

【現在の仕事の満足度：職場環境全体／性別、年齢別、就業形態別】

			(%)					
		n	とても満足	満足	普通	不満	とても不満	無回答
全体		470	4.5	25.3	51.5	12.3	4.3	2.1
性別	男性	128	2.3	27.3	51.6	12.5	4.7	1.6
	女性	335	5.1	24.5	51.9	11.9	4.2	2.4
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	57	10.5	21.1	45.6	14.0	7.0	1.8
	30歳～39歳	84	1.2	33.3	50.0	6.0	6.0	3.6
	40歳～49歳	113	4.4	27.4	53.1	9.7	3.5	1.8
	50歳～59歳	120	5.0	21.7	54.2	15.8	2.5	0.8
	60歳以上	89	3.4	21.3	52.8	14.6	4.5	3.4
就業形態別	正規職員	345	4.3	25.2	51.3	12.8	4.9	1.4
	非正規職員	119	5.0	25.2	53.8	10.1	2.5	3.4

問25 介護の仕事の継続意向

介護の仕事の継続意向では、「今の職場で介護の仕事を続けたい」が54.0%で最も高く、以下、「わからない」が21.9%、「事業所を変えて介護の仕事を続けたい」が10.0%、「できれば介護以外の仕事に変わりたい」が6.2%、「できれば介護以外の仕事に変わりたい」が4.5%、「できれば介護以外の仕事に変わりたい」が3.4%となっています。



性別及び就業形態別では、特に目立った違いはありません。
 年齢別でみると、「今の職場で介護の仕事を続けたい」は、高年齢層ほど高い傾向にあります。

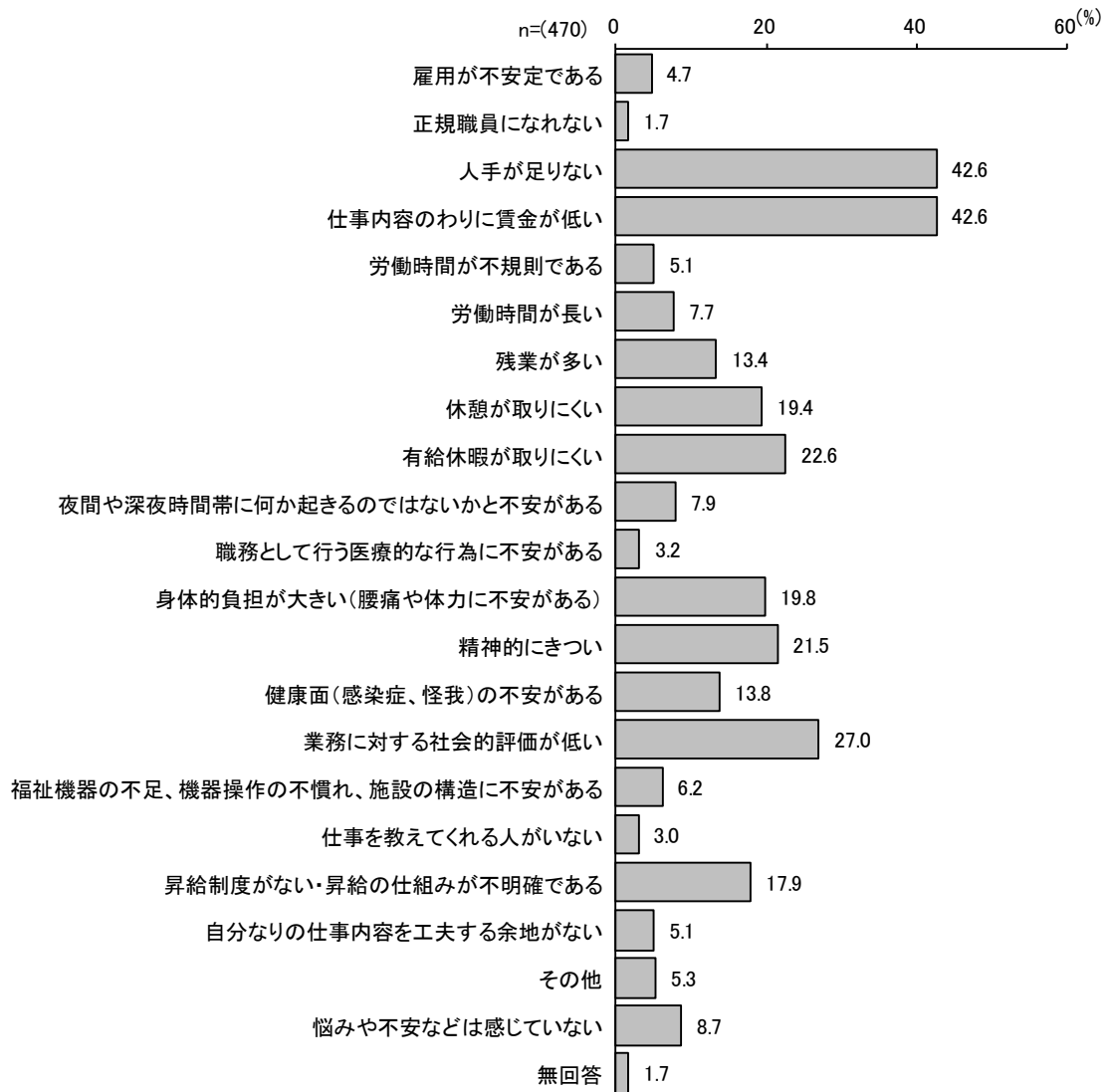
【介護の仕事の継続意向／性別、年齢別、就業形態別】

		n	今の職場で介護の仕事を続けたい	事業所を変えて介護の仕事を続けたい	できれば介護以外の仕事に変わりたい	介護以外の仕事に変わりたい	わからない	無回答
全体		470	54.0	10.0	6.2	4.5	21.9	3.4
性別	男性	128	53.1	11.7	4.7	3.1	25.8	1.6
	女性	335	54.3	9.6	6.6	5.1	20.3	4.2
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	57	47.4	7.0	7.0	8.8	28.1	1.8
	30歳～39歳	84	42.9	15.5	4.8	2.4	28.6	6.0
	40歳～49歳	113	53.1	8.8	4.4	5.3	23.0	5.3
	50歳～59歳	120	56.7	8.3	9.2	1.7	21.7	2.5
	60歳以上	89	66.3	11.2	4.5	5.6	11.2	1.1
就業形態別	正規職員	345	52.2	11.0	6.4	4.9	22.3	3.2
	非正規職員	119	59.7	7.6	5.0	3.4	21.0	3.4

問26 労働条件、仕事の負担への悩み、不安、不満等

労働条件、仕事の負担への悩み、不安、不満等では、「人手が足りない」と「仕事内容のわりに賃金が低い」が42.6%と高く、以下、「業務に対する社会的評価が低い」が27.0%、「有給休暇が取りにくい」が22.6%となっています。

(複数回答)



性別で見ると、男女ともに高いものとして、「人手が足りない」、「仕事内容のわりに賃金が低い」、「業務に対する社会的評価が低い」、「精神的にきつい」があり、男性は、「仕事内容のわりに賃金が低い」が42.2%で最も高く、「精神的にきつい」が26.6%と女性の20.0%を上回っています。女性は、「人手が足りない」が43.6%で最も高く、「健康面（感染症、怪我）の不安がある」が16.1%と男性の8.6%を上回っています。

年齢別で見ると、50歳～59歳は、「仕事内容のわりに賃金が低い」が51.7%と特に高くなっています。

就業形態別で見ると、正規職員は、「仕事内容のわりに賃金が低い」が45.8%、「残業が多い」が16.5%、「有給休暇が取りにくい」が24.3%、「精神的にきつい」が23.8%、非正規職員は、「休憩が取りにくい」が23.5%と比較的高くなっています。

【労働条件、仕事の負担への悩み、不安、不満等／性別、年齢別、就業形態別】

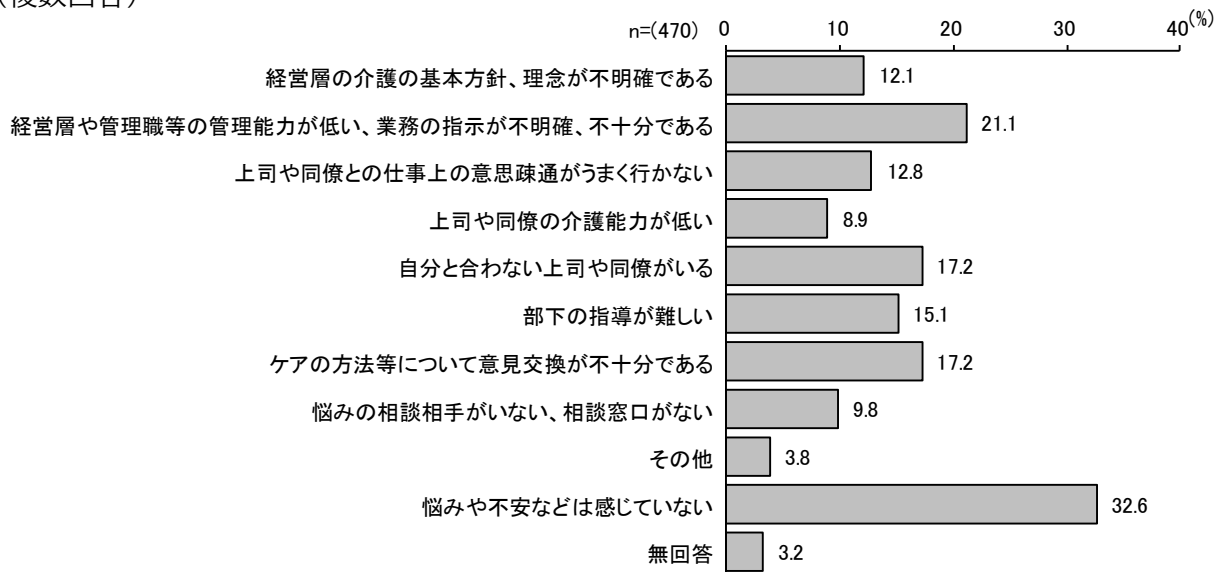
		(%)											
	n	雇用が不安定である	正規職員になれない	人手が足りない	仕事内容のわりに賃金が低い	労働時間が不規則である	労働時間が長い	残業が多い	休憩が取りにくい	有給休暇が取りにくい	夜間や深夜時間帯に何か起きるのではないかと不安がある	職務として行う医療的な行為に不安がある	
全体	470	4.7	1.7	42.6	42.6	5.1	7.7	13.4	19.4	22.6	7.9	3.2	
性別	男性	128	4.7	0.8	39.8	42.2	6.3	8.6	14.1	17.2	19.5	4.7	1.6
	女性	335	4.8	2.1	43.6	43.0	4.5	7.5	13.4	20.3	23.6	9.0	3.9
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	20歳～29歳	57	7.0	-	49.1	47.4	7.0	7.0	14.0	8.8	8.8	14.0	5.3
	30歳～39歳	84	4.8	2.4	40.5	39.3	10.7	7.1	10.7	15.5	17.9	9.5	6.0
	40歳～49歳	113	4.4	2.7	38.1	37.2	2.7	7.1	16.8	20.4	24.8	12.4	2.7
	50歳～59歳	120	1.7	1.7	42.5	51.7	2.5	8.3	18.3	24.2	25.8	4.2	1.7
60歳以上	89	7.9	1.1	46.1	39.3	4.5	9.0	5.6	21.3	29.2	2.2	2.2	
就業形態別	正規職員	345	3.8	0.3	44.3	45.8	5.2	8.1	16.5	18.0	24.3	9.9	2.6
	非正規職員	119	7.6	5.9	37.8	34.5	4.2	6.7	5.0	23.5	17.6	2.5	5.0

	身体的負担が大きい(腰痛や体力に不安がある)	精神的にきつい	健康面(感染症、怪我)の不安がある	業務に対する社会的評価が低い	福祉機器の不足、機器操作の不慣れ、施設の構造に不安がある	仕事を教えてくれる人がいない	昇給制度がない・昇給の仕組みが不明確である	自分なりの仕事内容を工夫する余地がない	その他	悩みや不安などは感じていない	無回答	
全体	19.8	21.5	13.8	27.0	6.2	3.0	17.9	5.1	5.3	8.7	1.7	
性別	男性	17.2	26.6	8.6	30.5	6.3	4.7	16.4	3.9	7.0	9.4	0.8
	女性	21.2	20.0	16.1	26.0	6.3	2.4	18.5	5.4	4.8	8.4	2.1
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	17.5	17.5	8.8	21.1	10.5	1.8	10.5	3.5	8.8	12.3	1.8
	30歳～39歳	21.4	20.2	13.1	23.8	6.0	6.0	17.9	3.6	1.2	8.3	3.6
	40歳～49歳	17.7	24.8	14.2	25.7	8.0	2.7	15.0	3.5	8.8	6.2	1.8
	50歳～59歳	21.7	22.5	16.7	31.7	3.3	3.3	16.7	7.5	4.2	7.5	-
60歳以上	21.3	20.2	14.6	29.2	5.6	1.1	27.0	4.5	4.5	11.2	2.2	
就業形態別	正規職員	20.6	23.8	14.5	26.7	6.4	3.2	17.7	5.2	4.9	8.7	0.9
	非正規職員	18.5	16.0	12.6	28.6	5.9	2.5	18.5	4.2	6.7	8.4	3.4

問27 職場の人間関係等への悩み、不安、不満等

職場の人間関係等への悩み、不安、不満等では、「悩みや不安などは感じていない」が32.6%を占めています。一方、具体的な選択肢の中では、「経営層や管理職等の管理能力が低い、業務の指示が不明確、不十分である」が21.1%で最も高く、以下、「自分と合わない上司や同僚がいる」と「ケアの方法等について意見交換が不十分である」が17.2%、「部下の指導が難しい」が15.1%となっています。

(複数回答)



性別でみると、男性は、「経営層の介護の基本方針、理念が不明確である」が17.2%、「上司や同僚との仕事上の意思疎通がうまく行かない」が18.0%、女性は、「ケアの方法等について意見交換が不十分である」が19.1%と比較的高くなっています。

年齢別でみると、「悩みや不安などは感じていない」は、低年齢層ほど高い傾向にあります。

就業形態別でみると、正規職員は、「経営層や管理職等の管理能力が低い、業務の指示が不明確、不十分である」が24.1%、「上司や同僚との仕事上の意思疎通がうまく行かない」が14.8%、「部下の指導が難しい」が18.0%と比較的高くなっています。

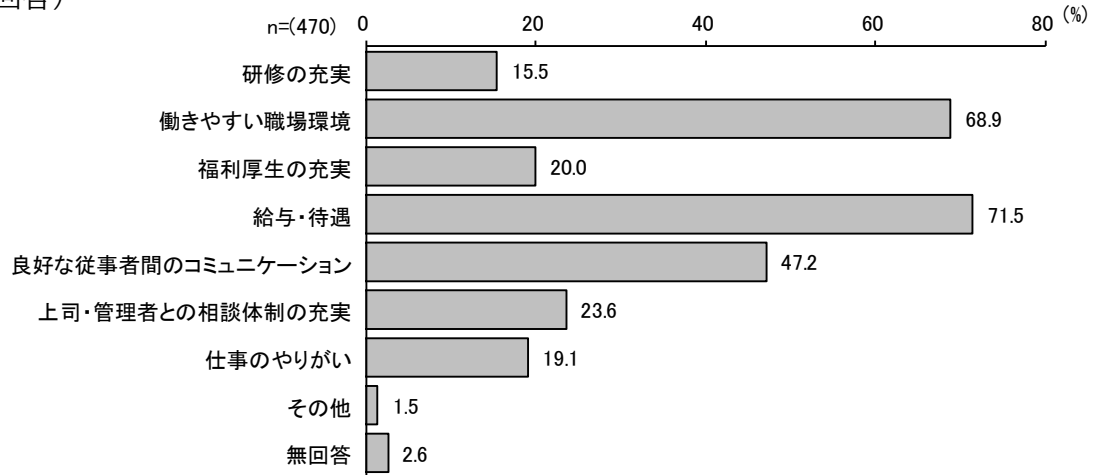
【職場の人間関係等への悩み、不安、不満等／性別、年齢別、就業形態別】

		n	経営層の介護の基本方針、理念が不明確である	経営層や管理職等の管理能力が低い、業務の指示が不明確、不十分である	上司や同僚との仕事上の意思疎通がうまく行かない	上司や同僚の介護能力が低い	自分と合わない上司や同僚がいる	部下の指導が難しい	ケアの方法等について意見交換が不十分である	悩みの相談相手がない、相談窓口がない	その他	悩みや不安などは感じていない	無回答
全体		470	12.1	21.1	12.8	8.9	17.2	15.1	17.2	9.8	3.8	32.6	3.2
性別	男性	128	17.2	21.1	18.0	8.6	16.4	14.1	13.3	8.6	3.9	34.4	1.6
	女性	335	10.4	21.2	11.0	8.7	17.6	15.2	19.1	10.1	3.9	31.9	3.6
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	57	10.5	24.6	17.5	5.3	12.3	8.8	21.1	7.0	3.5	38.6	3.5
	30歳～39歳	84	16.7	21.4	11.9	6.0	8.3	14.3	16.7	10.7	3.6	38.1	3.6
	40歳～49歳	113	8.8	19.5	13.3	8.0	17.7	22.1	11.5	9.7	5.3	30.1	4.4
	50歳～59歳	120	9.2	23.3	11.7	10.8	25.0	13.3	19.2	9.2	5.0	27.5	1.7
60歳以上	89	18.0	18.0	12.4	11.2	18.0	11.2	20.2	10.1	1.1	34.8	3.4	
就業形態別	正規職員	345	11.9	24.1	14.8	8.1	17.4	18.0	16.8	10.4	4.1	31.3	2.3
	非正規職員	119	13.4	12.6	7.6	10.1	16.8	5.9	19.3	7.6	3.4	37.0	5.0

問28 人材の育成・定着のために有効だと思うポイント

人材の育成・定着のために有効だと思うポイントでは、「給与・待遇」が71.5%で最も高く、以下、「働きやすい職場環境」が68.9%、「良好な従事者間のコミュニケーション」が47.2%、「上司・管理者との相談体制の充実」が23.6%となっています。

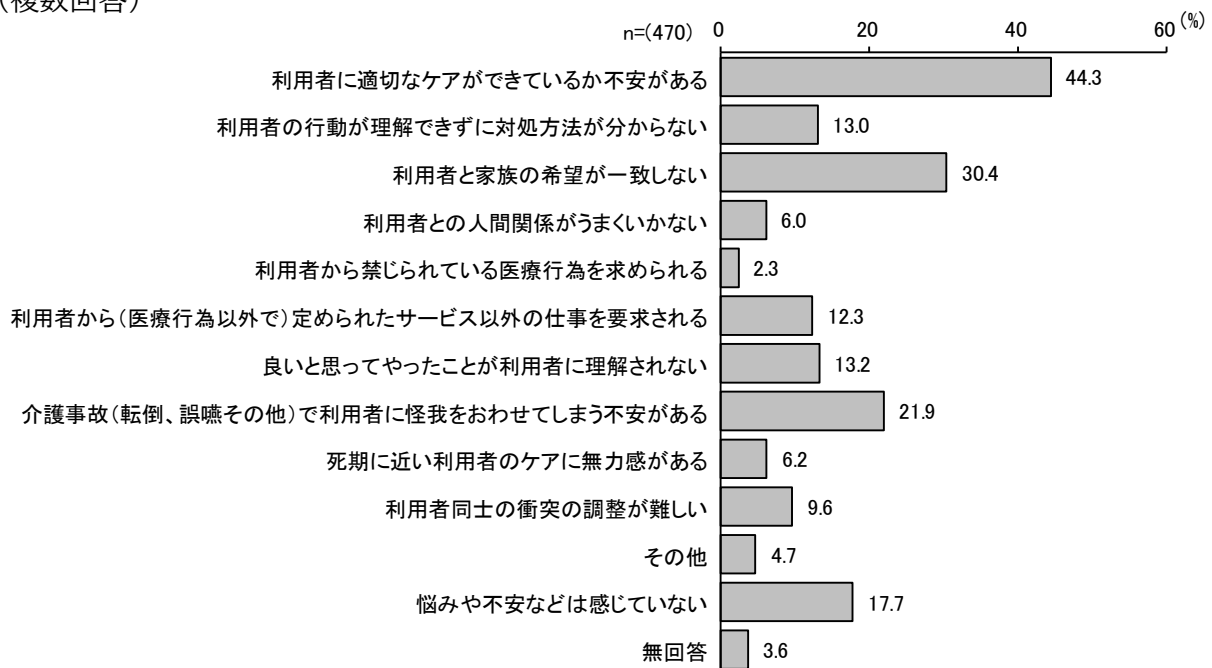
(複数回答)



問29 利用者への悩み、不安、不満等

利用者への悩み、不安、不満等では、「利用者に適切なケアができていないか不安がある」が44.3%で最も高く、以下、「利用者との希望が一致しない」が30.4%、「介護事故（転倒、誤嚥その他）で利用者に怪我をおわせてしまう不安がある」が21.9%、「良いと思ってやったことが利用者に理解されない」が13.2%となっています。一方、「悩みや不安などは感じていない」は17.7%となっています。

(複数回答)



第8章 介護事業従事者調査

性別では、特に目立った違いはありません。

年齢別でみると、「悩みや不安などは感じていない」は、20歳～29歳が24.6%、40歳～49歳が23.0%と高くなっています。

就業形態別でみると、正規職員は、「利用者と家族の希望が一致しない」が31.6%、「利用者から（医療行為以外で）定められたサービス以外の仕事を要求される」が13.9%と、非正規職員に比べて高くなっています。

【利用者への悩み、不安、不満等／性別、年齢別、就業形態別】

(%)

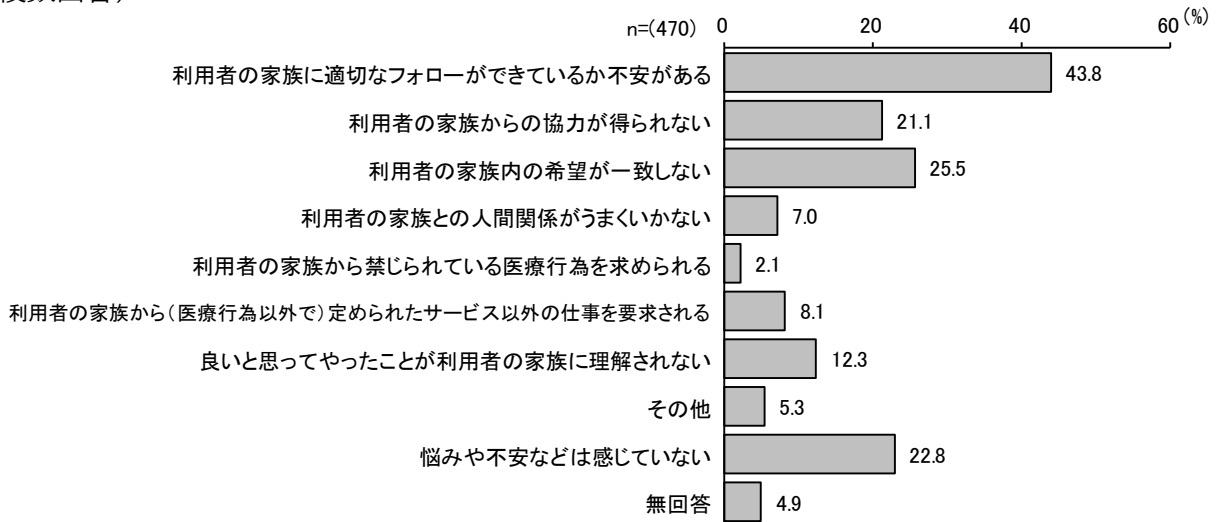
		n	利用者に適切なケアができていないか不安がある	利用者の行動が理解できずに対処方法が分からない	利用者と家族の希望が一致しない	利用者との人間関係がうまくいかない	利用者から禁じられている医療行為を求められる	利用者から（医療行為以外で）定められたサービス以外の仕事を要求される	良いと思ってやったことが利用者に理解されない	介護事故（転倒、誤嚥その他）で利用者に怪我をおわせてしまう不安がある	死期に近い利用者のケアに無力感がある	利用者同士の衝突の調整が難しい
全体		470	44.3	13.0	30.4	6.0	2.3	12.3	13.2	21.9	6.2	9.6
性別	男性	128	43.8	14.1	29.7	8.6	1.6	9.4	17.2	21.1	5.5	12.5
	女性	335	44.8	11.9	31.0	5.1	2.7	13.7	11.9	22.4	6.3	8.4
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	57	49.1	19.3	17.5	8.8	3.5	8.8	5.3	22.8	3.5	19.3
	30歳～39歳	84	46.4	20.2	31.0	6.0	4.8	17.9	15.5	25.0	9.5	9.5
	40歳～49歳	113	46.0	8.0	27.4	7.1	-	8.0	9.7	20.4	6.2	3.5
	50歳～59歳	120	43.3	7.5	34.2	6.7	2.5	14.2	15.8	24.2	8.3	10.8
	60歳以上	89	38.2	14.6	37.1	2.2	2.2	13.5	18.0	18.0	1.1	9.0
就業形態別	正規職員	345	44.3	12.5	31.6	4.9	1.7	13.9	13.3	21.7	5.8	10.1
	非正規職員	119	44.5	13.4	27.7	9.2	4.2	8.4	13.4	23.5	6.7	8.4

		その他	悩みや不安などは感じていない	無回答
全体		4.7	17.7	3.6
性別	男性	3.9	14.1	3.9
	女性	5.1	18.8	3.6
年齢別	20歳未満	-	-	-
	20歳～29歳	3.5	24.6	1.8
	30歳～39歳	2.4	16.7	4.8
	40歳～49歳	4.4	23.0	5.3
	50歳～59歳	4.2	14.2	0.8
	60歳以上	9.0	12.4	5.6
就業形態別	正規職員	4.9	16.5	3.5
	非正規職員	4.2	21.0	3.4

問30 利用者家族への悩み、不安、不満等

利用者家族への悩み、不安、不満等では、「利用者の家族に適切なフォローができていないか不安がある」が43.8%で最も高く、以下、「利用者の家族内の希望が一致しない」が25.5%、「利用者の家族からの協力が得られない」が21.1%、「良いと思ってやったことが利用者の家族に理解されない」が12.3%となっています。一方、「悩みや不安などは感じていない」は22.8%となっています。

(複数回答)



性別でみると、女性は、「利用者の家族からの協力が得られない」が23.3%と高くなっています。

年齢別でみると、20歳～29歳は、「悩みや不安などは感じていない」が40.4%と高くなっています。

就業形態別でみると、正規職員は、「利用者の家族に適切なフォローができていないか不安がある」が47.5%と高くなっています。

【利用者家族への悩み、不安、不満等／性別、年齢別、就業形態別】

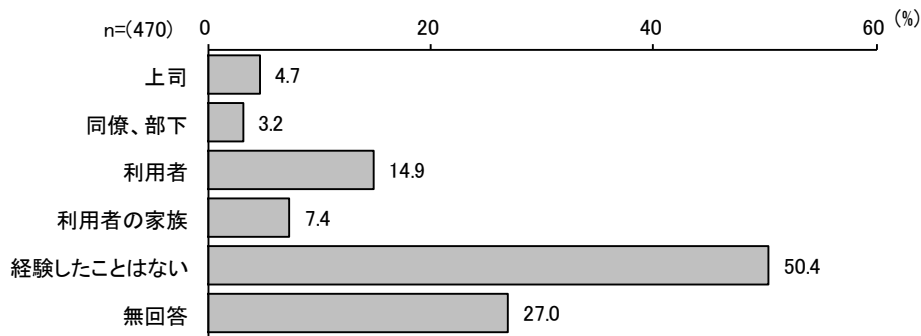
		n	利用者の家族に適切なフォローができていないか不安がある	利用者の家族からの協力が得られない	利用者の家族内の希望が一致しない	利用者の家族との人間関係がうまくいかない	利用者の家族から禁じられている医療行為を求められる	利用者の家族から(医療行為以外で)定められたサービス以外の仕事を要求される	良いと思ってやったことが利用者の家族に理解されない	その他	悩みや不安などは感じていない	無回答
全体		470	43.8	21.1	25.5	7.0	2.1	8.1	12.3	5.3	22.8	4.9
性別	男性	128	46.9	14.1	22.7	9.4	1.6	7.0	11.7	3.9	24.2	3.9
	女性	335	42.7	23.3	26.9	6.3	2.4	8.7	12.8	6.0	22.1	5.4
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	57	43.9	8.8	10.5	7.0	1.8	8.8	3.5	5.3	40.4	3.5
	30歳～39歳	84	56.0	11.9	26.2	9.5	4.8	6.0	13.1	2.4	19.0	4.8
	40歳～49歳	113	49.6	23.0	24.8	5.3	2.7	8.0	14.2	7.1	19.5	5.3
	50歳～59歳	120	40.0	29.2	30.0	7.5	0.8	11.7	15.0	7.5	19.2	1.7
	60歳以上	89	30.3	22.5	29.2	6.7	1.1	5.6	12.4	3.4	23.6	10.1
就業形態別	正規職員	345	47.5	22.0	25.8	7.0	1.7	9.9	12.2	5.5	21.2	4.3
	非正規職員	119	32.8	17.6	25.2	7.6	3.4	3.4	13.4	5.0	27.7	5.9

問31 この1年間におけるセクハラ・パワハラ等の経験

①経験の有無

この1年間におけるセクハラ・パワハラ等の経験の有無では、「経験したことはない」が50.4%を占めています。一方、具体的な選択肢の中では、「利用者」が14.9%で最も高く、以下、「利用者の家族」が7.4%、「上司」が4.7%、「同僚、部下」が3.2%となっています。

(複数回答)



性別でみると、「経験したことはない」が男性で55.5%、女性で47.8%となっています。年齢別でみると、20歳～29歳は、「経験したことはない」が70.2%と高くなっています。就業形態別でみると、「経験したことはない」は、正規職員で48.4%、非正規職員で55.5%となっています。

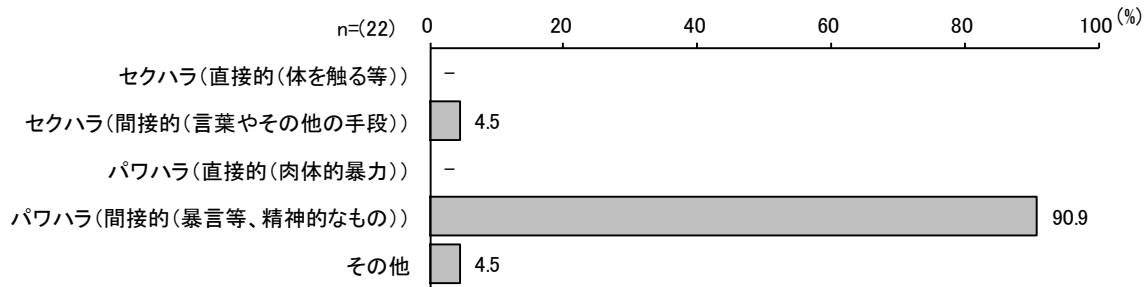
【この1年間におけるセクハラ・パワハラ等の経験・経験の有無／性別、年齢別、就業形態別】

		(%)						
	n	上司	同僚、部下	利用者	利用者の家族	経験したことはない	無回答	
全体	470	4.7	3.2	14.9	7.4	50.4	27.0	
性別	男性	128	7.8	2.3	10.2	3.9	55.5	25.8
	女性	335	3.6	3.6	17.0	9.0	47.8	27.8
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	
	20歳～29歳	57	-	1.8	14.0	5.3	70.2	14.0
	30歳～39歳	84	7.1	4.8	16.7	6.0	52.4	22.6
	40歳～49歳	113	8.0	1.8	12.4	8.8	53.1	23.9
	50歳～59歳	120	3.3	5.8	20.8	9.2	38.3	33.3
	60歳以上	89	3.4	1.1	10.1	6.7	46.1	36.0
就業形態別	正規職員	345	4.9	4.3	14.8	7.5	48.4	28.1
	非正規職員	119	4.2	-	16.0	7.6	55.5	23.5

②-1 上司からのセクハラ・パワハラ等

上司からのセクハラ・パワハラ等では、「パワハラ（間接的（暴言等、精神的なもの）」が90.9%で最も高く、以下、「セクハラ（間接的（言葉やその他の手段）」と「その他」が4.5%となっています。

（複数回答）



性別、年齢別、就業形態別いずれも、人数の少ない層が多く、傾向がつかみにくくなっています。

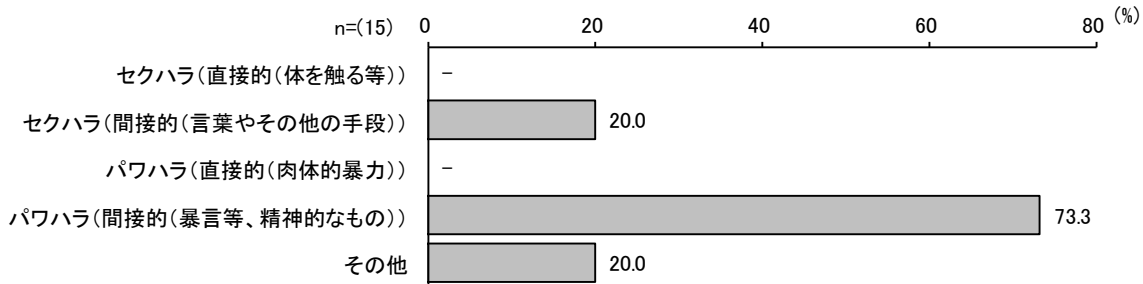
【上司からのセクハラ・パワハラ等／性別、年齢別、就業形態別】

		n	セクハラ (直接的 (体を触る 等))	セクハラ (間接的 (言葉やそ 他の手段))	パワハラ (直接的 (肉体的暴 力))	パワハラ (間接的 (暴言等、 精神的な もの))	その他
全体		22	-	4.5	-	90.9	4.5
性別	男性	10	-	10.0	-	90.0	-
	女性	12	-	-	-	91.7	8.3
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	-	-	-	-	-	-
	30歳～39歳	6	-	16.7	-	66.7	16.7
	40歳～49歳	9	-	-	-	100.0	-
	50歳～59歳	4	-	-	-	100.0	-
	60歳以上	3	-	-	-	100.0	-
就業 形態別	正規職員	17	-	5.9	-	88.2	5.9
	非正規職員	5	-	-	-	100.0	-

②-2 同僚・部下からのセクハラ・パワハラ等

同僚、部下からのセクハラ・パワハラ等では、「パワハラ（間接的（暴言等、精神的なもの））」が73.3%で最も高く、続いて、「セクハラ（間接的（言葉やその他の手段））」と「その他」が20.0%となっています。

（複数回答）



性別、年齢別、就業形態別いずれも、人数の少ない層が多く、傾向がつかみにくくなっています。

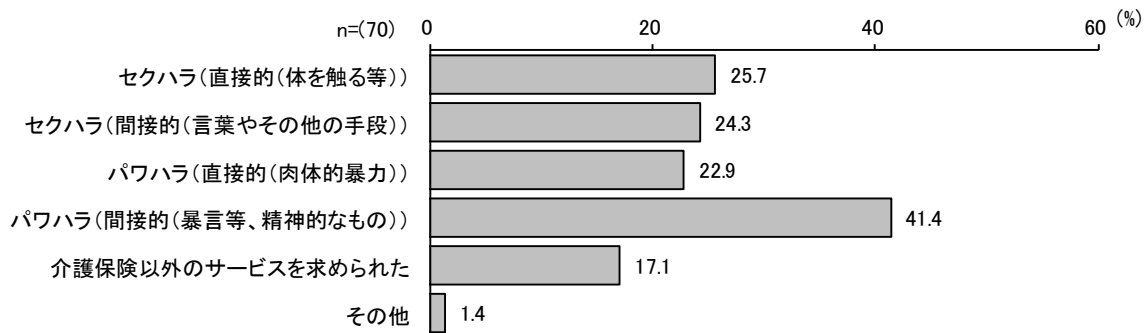
【同僚・部下からのセクハラ・パワハラ等／性別、年齢別、就業形態別】

		n	セクハラ (直接的 (体を触る 等))	セクハラ (間接的 (言葉やそ 他の手 段))	パワハラ (直接的 (肉体的暴 力))	パワハラ (間接的 (暴言等、 精神的な もの))	その他
全体		15	-	20.0	-	73.3	20.0
性別	男性	3	-	-	-	100.0	-
	女性	12	-	25.0	-	66.7	25.0
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	1	-	100.0	-	-	100.0
	30歳～39歳	4	-	25.0	-	100.0	-
	40歳～49歳	2	-	-	-	100.0	-
	50歳～59歳	7	-	14.3	-	57.1	28.6
	60歳以上	1	-	-	-	100.0	-
就業 形態別	正規職員	15	-	20.0	-	73.3	20.0
	非正規職員	-	-	-	-	-	-

②-3 利用者からのセクハラ・パワハラ等

利用者からのセクハラ・パワハラ等では、「パワハラ（間接的（暴言等、精神的なもの）」が41.4%で最も高く、以下、「セクハラ（直接的（体を触る等）」が25.7%、「セクハラ（間接的（言葉やその他の手段）」が24.3%、「パワハラ（直接的（肉体的暴力）」が22.9%となっています。

（複数回答）



性別で見ると、男女とも「パワハラ（間接的（暴言等、精神的なもの）」が最も高くなっています。

年齢別では、人数の少ない層が多く、傾向がつかみにくくなっています。

就業形態別で見ると、正規職員は、「パワハラ（間接的（暴言等、精神的なもの）」が45.1%と高くなっています。

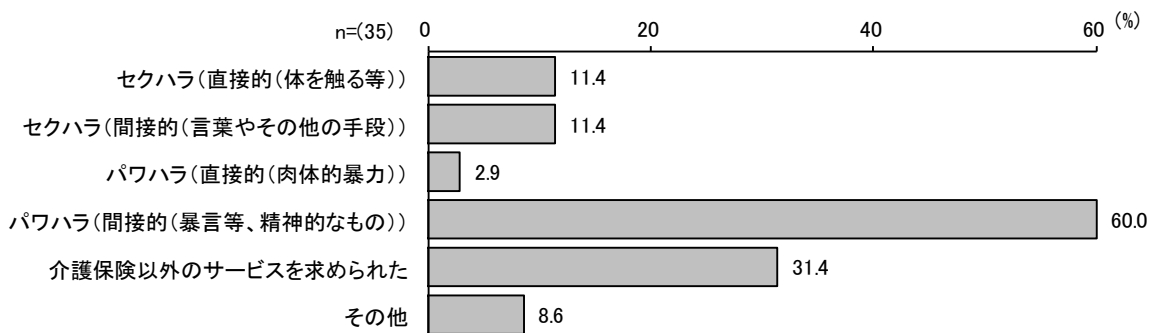
【利用者からのセクハラ・パワハラ等／性別、年齢別、就業形態別】

		n	セクハラ (直接的 (体を触る 等))	セクハラ (間接的 (言葉やそ 他の手 段))	パワハラ (直接的 (肉体的暴 力))	パワハラ (間接的 (暴言等、 精神的な もの))	介護保険 以外の サービスを 求められた	その他
全体		70	25.7	24.3	22.9	41.4	17.1	1.4
性別	男性	13	15.4	7.7	30.8	61.5	30.8	-
	女性	57	28.1	28.1	21.1	36.8	14.0	1.8
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	8	12.5	25.0	50.0	25.0	12.5	-
	30歳～39歳	14	21.4	14.3	14.3	64.3	35.7	-
	40歳～49歳	14	28.6	35.7	21.4	28.6	-	-
	50歳～59歳	25	28.0	28.0	20.0	32.0	20.0	-
	60歳以上	9	33.3	11.1	22.2	66.7	11.1	11.1
就業 形態別	正規職員	51	23.5	21.6	23.5	45.1	19.6	-
	非正規職員	19	31.6	31.6	21.1	31.6	10.5	5.3

②-4 利用者家族からのセクハラ・パワハラ等について

利用者家族からのセクハラ・パワハラ等では、「パワハラ（間接的（暴言等、精神的なもの）」が60.0%で最も高く、以下、「介護保険以外のサービスを求められた」が31.4%、「セクハラ（直接的（体を触る等）」と「セクハラ（間接的（言葉やその他の手段）」が11.4%となっています。

（複数回答）



性別で見ると、女性は、「パワハラ（間接的（暴言等、精神的なもの）」が63.3%と高くなっています。
 年齢別では、人数の少ない層が多く、傾向がつかみにくくなっています。
 就業形態別で見ると、非正規職員の人数が少なく、傾向がつかみにくくなっています。

【利用者家族からのセクハラ・パワハラ等／性別、年齢別、就業形態別】

		n	セクハラ (直接的 (体を触る 等))	セクハラ (間接的 (言葉やそ 他の手段))	パワハラ (直接的 (肉体的暴 力))	パワハラ (間接的 (暴言等、 精神的な もの))	介護保険 以外の サービスを 求められた	その他
全体		35	11.4	11.4	2.9	60.0	31.4	8.6
性別	男性	5	-	-	-	40.0	60.0	-
	女性	30	13.3	13.3	3.3	63.3	26.7	10.0
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	3	-	-	-	-	100.0	-
	30歳～39歳	5	-	20.0	20.0	60.0	40.0	-
	40歳～49歳	10	10.0	20.0	-	80.0	20.0	10.0
	50歳～59歳	11	18.2	9.1	-	54.5	36.4	-
	60歳以上	6	16.7	-	-	66.7	-	33.3
就業 形態別	正規職員	26	15.4	11.5	3.8	53.8	38.5	3.8
	非正規職員	9	-	11.1	-	77.8	11.1	22.2

(具体的な内容)

セクハラ、パワハラ等の具体的な内容を聞いたところ、回答は12件でした。

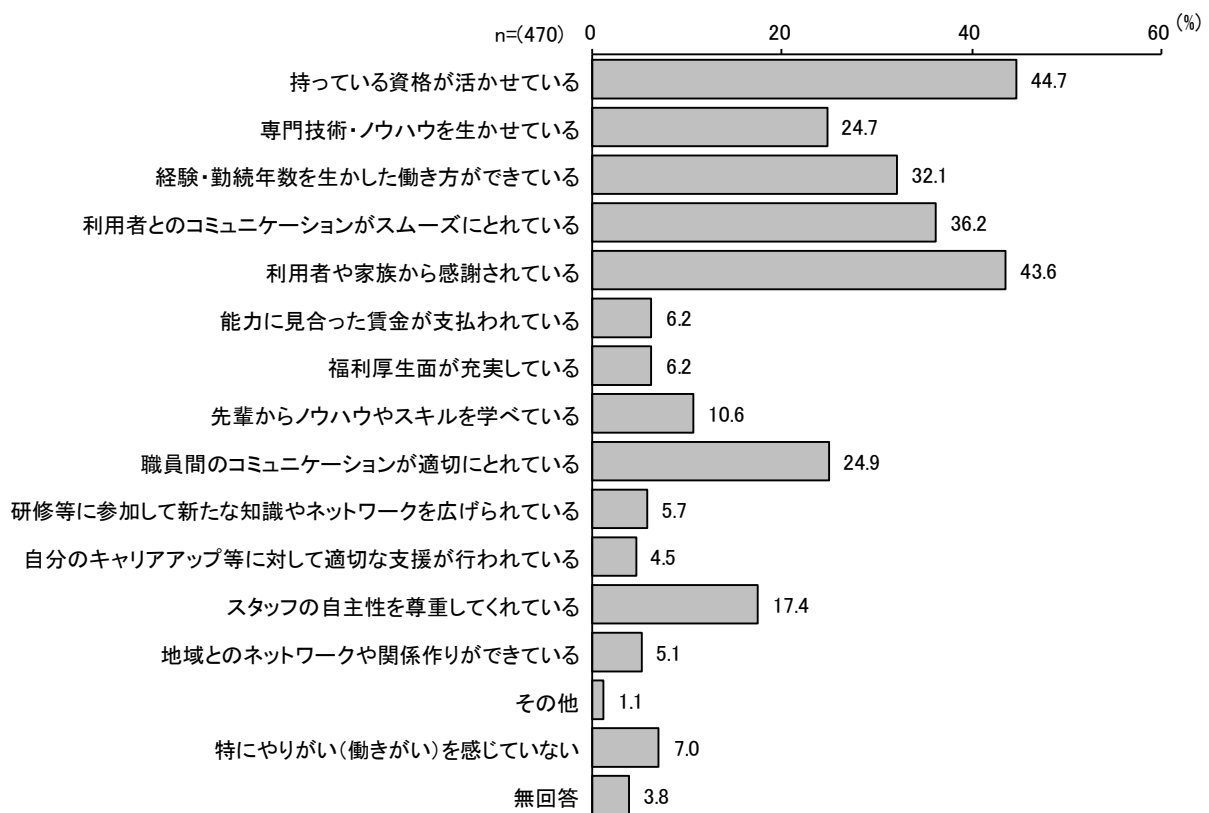
【主な回答内容】

- 日によって態度が違う。強い口調で上から目線で話す。
- ブロック長より仕事量の負担を多く求められる。
- 仕事出来ない奴と暴言、仕事を教えない。

問32 現在の職場でやりがい（働きがい）を感じること

現在の職場でやりがい（働きがい）を感じることでは、「持っている資格が活かしている」が44.7%で最も高く、以下、「利用者や家族から感謝されている」が43.6%、「利用者とのコミュニケーションがスムーズにとれている」が36.2%、「経験・勤続年数を生かした働き方ができている」が32.1%となっています。

(複数回答)



第8章 介護事業従事者調査

性別でみると、女性は、「持っている資格が活かしている」が49.0%と高くなっています。

年齢別でみると、20歳～29歳は、「スタッフの自主性を尊重してくれている」が24.6%、60歳以上は、「経験・勤続年数を生かした働き方ができている」が44.9%と他の年齢層に比べて高くなっています。

就業形態別でみると、正規職員は、「利用者や家族から感謝されている」が45.5%と高くなっています。

【現在の職場でやりがい（働きがい）を感じること／性別、年齢別、就業形態別】

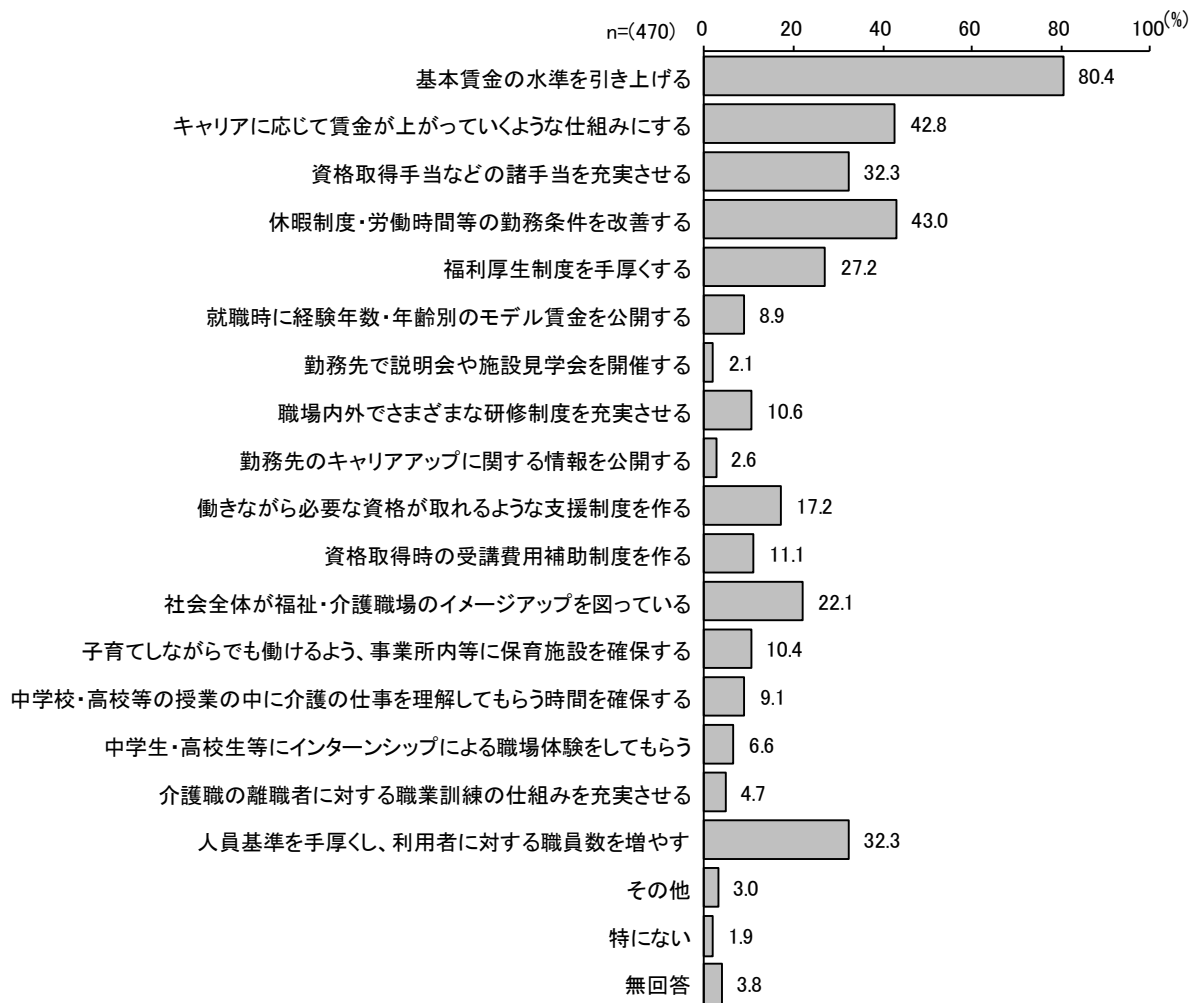
			(%)									
		n	持っている資格が活かしている	専門技術・ノウハウを生かしている	経験・勤続年数を生かした働き方ができている	利用者とのコミュニケーションがスムーズにとれている	利用者や家族から感謝されている	能力に見合った賃金が支払われている	福利厚生面が充実している	先輩からノウハウやスキルを学べている	職員間のコミュニケーションが適切にとれている	研修等に参加して新たな知識やネットワークを広げられている
全体		470	44.7	24.7	32.1	36.2	43.6	6.2	6.2	10.6	24.9	5.7
性別	男性	128	32.0	25.0	29.7	33.6	39.8	8.6	6.3	10.2	18.0	3.9
	女性	335	49.0	24.5	32.5	37.0	44.8	5.4	6.0	10.7	27.5	6.6
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	57	45.6	24.6	15.8	31.6	40.4	3.5	7.0	15.8	19.3	3.5
	30歳～39歳	84	41.7	22.6	29.8	36.9	44.0	6.0	8.3	7.1	31.0	2.4
	40歳～49歳	113	42.5	31.0	26.5	31.9	42.5	6.2	7.1	9.7	29.2	9.7
	50歳～59歳	120	50.0	21.7	36.7	36.7	44.2	8.3	5.0	10.0	20.8	4.2
60歳以上	89	41.6	22.5	44.9	42.7	42.7	5.6	3.4	13.5	23.6	7.9	
就業形態別	正規職員	345	44.1	24.6	30.7	34.8	45.5	5.2	7.5	9.9	25.8	4.6
	非正規職員	119	45.4	24.4	35.3	39.5	37.0	9.2	1.7	13.4	22.7	9.2

		自分のキャリアアップ等に対して適切な支援が行われている	スタッフの自主性を尊重してくれている	地域とのネットワークや関係作りができている	その他	特にやりがい（働きがい）を感じていない	無回答
全体		4.5	17.4	5.1	1.1	7.0	3.8
性別	男性	2.3	18.8	5.5	1.6	10.9	3.9
	女性	5.4	17.0	5.1	0.9	5.7	3.9
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	5.3	24.6	-	1.8	8.8	1.8
	30歳～39歳	1.2	19.0	1.2	1.2	8.3	4.8
	40歳～49歳	5.3	18.6	8.0	1.8	7.1	4.4
	50歳～59歳	5.8	14.2	5.0	-	7.5	2.5
60歳以上	4.5	15.7	9.0	1.1	4.5	5.6	
就業形態別	正規職員	4.1	18.6	6.1	0.9	8.1	3.8
	非正規職員	5.9	15.1	2.5	1.7	4.2	3.4

問33 介護に携わる人材を増やすために必要なこと

介護に携わる人材を増やすために必要なことでは、「基本賃金の水準を引き上げる」が80.4%で最も高く、以下、「休暇制度・労働時間等の勤務条件を改善する」が43.0%、「キャリアに応じて賃金が上がっていくような仕組みにする」が42.8%、「資格取得手当などの諸手当を充実させる」が32.3%となっています。

(複数回答)



第8章 介護事業従事者調査

性別でみると、男性は、「キャリアに応じて賃金が上がっていくような仕組みにする」が50.0%、「就職時に経験年数・年齢別のモデル賃金を公開する」が14.1%、女性は、「働きながら必要な資格が取れるような支援制度を作る」が19.1%と比較的高くなっています。

年齢別でみると、30歳～39歳は、「休暇制度・労働時間等の勤務条件を改善する」が53.6%、「福利厚生制度を手厚くする」が39.3%、「子育てしながらでも働けるよう、事業所内等に保育施設を確保する」が21.4%と比較的高くなっています。

就業形態別でみると、正規職員は、「休暇制度・労働時間等の勤務条件を改善する」が44.1%、「社会全体が福祉・介護職場のイメージアップを図っている」が24.1%と比較的高くなっています。

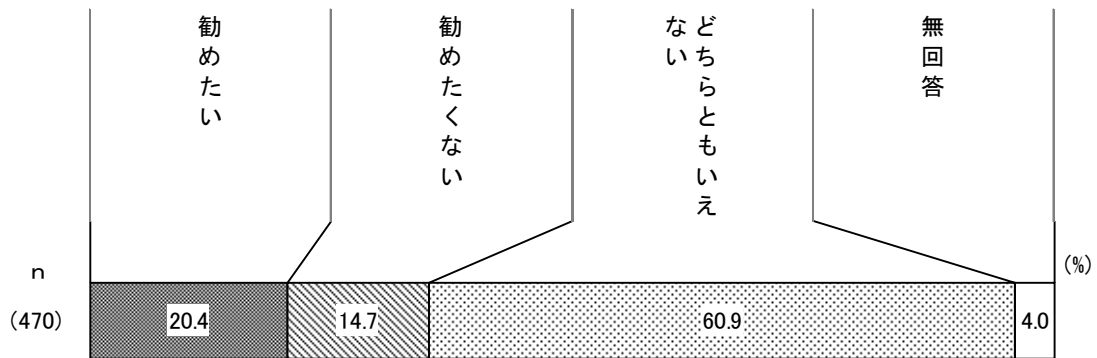
【介護に携わる人材を増やすために必要なこと／性別、年齢別、就業形態別】

		n	基本賃金の水準を引き上げる	キャリアに応じて賃金が上がっていくような仕組みにする	資格取得手当などの諸手当を充実させる	休暇制度・労働時間等の勤務条件を改善する	福利厚生制度を手厚くする	就職時に経験年数・年齢別のモデル賃金を公開する	勤務先で説明会や施設見学会を開催する	職場内外でさまざまな研修制度を充実させる	勤務先のキャリアアップに関する情報を公開する	働きながら必要な資格が取れるような支援制度を作る
全体		470	80.4	42.8	32.3	43.0	27.2	8.9	2.1	10.6	2.6	17.2
性別	男性	128	83.6	50.0	32.8	38.3	26.6	14.1	2.3	9.4	3.9	11.7
	女性	335	79.1	40.0	32.2	43.9	27.5	6.9	2.1	11.0	2.1	19.1
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	57	78.9	47.4	31.6	36.8	29.8	12.3	1.8	12.3	5.3	15.8
	30歳～39歳	84	73.8	40.5	36.9	53.6	39.3	8.3	4.8	8.3	3.6	9.5
	40歳～49歳	113	85.0	48.7	35.4	44.2	28.3	4.4	1.8	10.6	0.9	14.2
	50歳～59歳	120	86.7	39.2	31.7	45.8	20.8	7.5	1.7	11.7	2.5	22.5
	60歳以上	89	74.2	39.3	27.0	29.2	21.3	14.6	1.1	11.2	2.2	22.5
就業形態別	正規職員	345	81.7	42.6	32.5	44.1	27.2	8.7	1.7	9.6	2.9	16.8
	非正規職員	119	76.5	43.7	32.8	37.8	27.7	9.2	3.4	14.3	1.7	18.5

		資格取得時の受講費用補助制度を作る	社会全体が福祉・介護職場のイメージアップを図っている	子育てしながらでも働けるよう、事業所内等に保育施設を確保する	中学校・高校等の授業の中に介護の仕事を理解してもらう時間を確保する	中学生・高校生等にインターンシップによる職場体験してもらう	介護職の離職者に対する職業訓練の仕組みを充実させる	人員基準を手厚くし、利用者に対する職員数を増やす	その他	特にない	無回答
全体		11.1	22.1	10.4	9.1	6.6	4.7	32.3	3.0	1.9	3.8
性別	男性	7.0	19.5	9.4	11.7	7.0	4.7	35.2	3.9	1.6	2.3
	女性	12.5	23.0	11.0	8.1	6.0	4.8	31.0	2.7	2.1	4.5
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	8.8	14.0	10.5	12.3	8.8	1.8	31.6	1.8	3.5	1.8
	30歳～39歳	9.5	21.4	21.4	4.8	3.6	6.0	38.1	1.2	3.6	4.8
	40歳～49歳	9.7	23.9	8.0	10.6	8.0	2.7	34.5	2.7	-	4.4
	50歳～59歳	8.3	26.7	8.3	9.2	8.3	5.0	29.2	5.0	0.8	1.7
	60歳以上	18.0	16.9	6.7	9.0	2.2	7.9	29.2	3.4	3.4	6.7
就業形態別	正規職員	9.9	24.1	11.6	8.7	5.2	4.6	32.8	3.8	1.7	3.8
	非正規職員	14.3	16.0	7.6	10.1	9.2	5.0	31.1	0.8	2.5	3.4

問34 介護の仕事に人を勧めたいか

介護の仕事に人を勧めたいかでは、「どちらともいえない」が60.9%で最も高く、以下、「勧めたい」が20.4%、「勧めたくない」が14.7%となっています。



問34-1 問34の回答理由（記述）

介護職を勧めたい（勧めたくない）理由を聞いた結果は、以下のとおりです。

●勧めたい理由	(件)
やりがい、誇り、充実感、役立つ	23
人間性を高める、勉強になる	15
出会い、楽しみ	12
必須の仕事、責任性	12
ネガティブなイメージを払拭したい	5
人材が不足している	5
長く続けられる、失業がない	3
この仕事を広く知ってもらいたい	3
手に職が付く	3
都合に合った働き方ができる	2
若い人に勧めたい	1

(55人、延べ84件の回答)

●勧めたくない理由	(件)
薄給、改善の見込みがない、共働き必至	14
きつい、身体的に大変	11
辛い、精神的に大変、死と直面	8
休日出勤、有給取りづらい、不定期、辞めづらい	4
職は自分で決めるべきなので勧めない	3
拘束、就労時間長い、研修	3
社会的地位が低い	3
仕事の範囲が曖昧	2
やる気だけでは勤まらない	1
業界の行方に希望が持てない	1
人手不足	1
その他	4

(32人、延べ55件の回答)

第8章 介護事業従事者調査

●どちらともいえない理由	(件)
向き不向きがある、ケースバイケースなので	31
やりがい、誇り、充実感	29
薄給	25
きつい、身体的に大変	22
自らの興味や意思	19
辛い、精神的に大変、死と直面	15
必須の仕事、責任性	6
やる気だけでは勤まらない	6
有給取りづらい、不定期、辞めづらい	5
勉強になる	4
社会的地位が低い	4
出会い、楽しみ	3
若い人に勧めたい	3
手に職が付く、資格	2
業界の行方に希望が持てない	2
人手不足	2
仕事の範囲が曖昧	2
その他	15

(103人、延べ195件の回答)

7. 意見・要望

問35 区への意見、要望（記述）

区の施策、制度への意見へは、52人、延べ59件の回答がありました。

区の施策、制度への意見	(件)
支援のあり方再考	10
給与面の改善	10
よくやっている、感謝	8
情報収集、提供	6
人材不足解消	6
若い世代へのアプローチ	4
現場の視察	2
保険外サービス、ケアマネネットワーク	2
連携強化	2
業務軽減	2
その他	7

【主な回答内容】

1. 「支援のあり方再考」

- 家事の仕方は時代によって変わります。電気化されたり、配達したり、今の生活スタイルに合ったケア内容を介護保険でも検討しても良いかもしれません。例えば、スマホ操作で注文をする等。
- 介護保険制度には訪問介護にてのやっちはいけない事が多過ぎる。色々利用者様の希望を聞いてやってあげたい。
- 利用者さんは通所以外は、ほとんど外出の機会もなく、家にいることが多いようで、外出の機会や人との会話ができる機会が増えるよう、介護タクシーの補助とか買い物、散歩同行等がもっと増えるといいのではないかと思います。

2. 「給与面の改善」

- ケアマネジャーよりケアワーカーの方が賃金が高いことが多いため、ケアマネジャーにも処遇改善を行ってほしい。
- 介護業界で働く人全体の賃金を上げて欲しい。仕事内容と報酬が合っていないという声はよく聞く。介護保険料の引き上げ、徴取年齢の引き下げなどを行っても構わないので、待遇改善をしないと、なかなか人は定着しないと思う。
- 給料が上がる、何かしらの仕組みをお願いします。現場は疲れ切っています。

3. 「よくやっている、感謝」

- 文京区の福祉部や介護関係の方々はとても優しく、良くやったださっています。いつまでも弱者の見方になってください。どうぞ宜しくお願い致します。
- コロナ対策に対する支援に感謝しております。

4. 「情報収集、提供」

- 介護予防について、文京区独自の良いサービスがあるが、知らない人が多いと感じる。
- 介護サービスの利用の仕組みをわかりやすく案内して欲しい。冊子等を見ても理解されない方から直に事業所に相談がくることがある（要介護が出ていない、認定調査を受けていない方など）。サービスが始まると、利用者を囲んで各事業所がチームとなって支援するが、上下関係があると思っている利用者（家族）が多く、現場のヘルパーを下に見ていることがあるので、エコマップ等を用いた表記をして欲しい。

5. 「人材不足解消」

- ケアマネジャーが足りていない。介護保険サービスを利用したくてもケアマネがいないので、住民はどうしたらよいのか。早急な対応を望みます。
- 利用者の増加に伴い、介護職員の数が足りない。家事支援の買い物代行は自担でも良いと思う。特に重い物は宅配の利用が望ましい。受け取れないので、頼む事になっているとは思いますが…。文京区の訪問介護事業所の介護職員の高齢化。職員の新採用も無い状態です。人手不足でケアのニーズに応えられず、心苦しい限りです。資格取得後に経験が必要です。

6. 「若い世代へのアプローチ」

- 文京区ではボランティアの活動もされていますが、何かもっと気軽に関わられる活動や何かがあれば、若い人達が知る事ができると思います。看護師になろうと思う若者は高校生の時に決断します。中・高生へのアプローチをもっと考えてください。

7. 「その他」

- 以前まではボランティアの方によるイベントや介護業務へのサポート（皿洗い等）があり、私の職場でもボランティアの受け入れを行っていました。しかしコロナが流行し、現状、ボランティアの受け入れが難しいです。利用者の方も外部との関わりが持てるよい機会でもありました。これは施設、現場でも考えていかなければいけない事ではありますが、現場へのいいアドバイスや方針等を決めて頂けると動きやすいと思います。
- 実際、要望を訴えても改善されたことはありません。このことが全てケアマネの離職に繋がっていると思います。

資料編

資料編 目次

	頁
資料編	569
1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	573
2. 50歳以上の現役世代調査	583
3. 在宅介護実態調査（郵送）	589
4. 在宅介護実態調査（聞き取り）	599
5. 介護サービス事業者調査	604
6. 介護事業従事者調査	614

1. 介護予防・日常生活圏域二一ス調査

記入日	月	日
調査票を記入されるのはどなたですか。(1つに○)		
1. あて名のご本人が記入		
2. ご家族が記入 (あて名のご本人からみられた続柄)		
3. その他		

あなたご自身、家族や暮らしについて		
問1 家族構成をお教えてください。(1つに○)		
1. 1人暮らし	4. 息子・娘との2世帯	
2. 夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	5. その他 ()	
3. 夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)		
【問1で「4または5」と回答した方におかがいします。】		
問2 同居の方は全員が65歳以上ですか。(1つに○)		
1. はい (全員が65歳以上)	2. いいえ	
問3 あなたの年齢 (令和4年10月1日現在)をお答えください。		
[] 歳 ※全体の年齢でも結構です。		
問4 あなた (あて名のご本人) は要支援認定を受けていますか。(1つに○)		
1. 要支援1の認定を受けている	3. 要支援の認定を受けていない	
2. 要支援2の認定を受けている		
問5 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つに○)		
1. 大変苦しい	3. ふつう	4. ややゆとりがある
2. やや苦しい		5. 大変ゆとりがある

第1号被保険者又は要支援認定者(65歳以上)の方を対象とした調査
<調査票>

《 回答のしかた 》
この調査は、調査票(紙)のほか、パソコン、タブレット、スマートフォンからインターネットによって回答(オンライン回答)することができます。
次の2つの方法から、いずれか1つを選び回答してください。

①	②
調査票(この冊子)に直接記入し、郵送(返信用封筒を同封しております。)	パソコン・タブレット・スマートフォンでオンライン回答
下記記入にあたってのお願いを ご覧いただきご記入ください。	別紙インターネットによる回答方法 をご覧いただきご回答ください。

【記入にあたってのお願い】

- ◆調査票を記入する際は、各項目で該当する数字に○をつけ、または記入してください。
- ◆調査票記入後は、同封の返信用封筒に入れて、**10月21日(金)**までに投函してください。(インターネットによりご回答いただく場合は調査票を返信いただく必要ありません。)

個人情報保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。
なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

【個人情報保護および活用目的について】

- この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、文京区高齢者・介護保険事業計画策定の目的以外には利用いたしません。また、当該情報については、文京区内で適切に管理いたします。
- ただし、高齢者・介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する文京区外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

お住まいについて	
問6 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(1つに○)	
1. 持家 (一戸建て)	5. 民間賃貸住宅 (集合住宅)
2. 持家 (集合住宅)	6. 借家
3. 公営賃貸住宅	7. その他
4. 民間賃貸住宅 (一戸建て)	()
問7 あなた現在の住まいは、今後介護が必要な状態になった場合に、住み続けられるお住まいだと思いますか。(1つに○)	
1. はい	2. いいえ
問8 現在のお住まいに関して、 <u>不便を感じていること</u> 、 <u>不安に感じていること</u> はありますか。(あてはまるものすべてに○)	
1. 居室などに手すりがなく、または段差があり不便である	
2. エレベーターがなく、階段の昇り降りがある	
3. 老朽化や耐震に不安がある	
4. 自宅の支払いについて、まだローンを支払っている	
5. 家賃が高い	
6. 契約の更新ができない	
7. その他 (具体的に:)	
8. 特になし	

問10 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つに○)			
1. できるし、している	2. できるけれどしていない	3. できない	
問11 15分位続けて歩いていますか。(1つに○)			
1. できるし、している	2. できるけれどしていない	3. できない	
問12 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つに○)			
1. 何度もある	2. 1度ある	3. ない	
問13 転倒に対する不安は大きいですか。(1つに○)			
1. とても不安である	2. やや不安である	3. あまり不安でない	4. 不安でない
問14 週に1回以上は外出していますか。(1つに○)			
1. ほとんど外出しない	2. 週1回	3. 週2~4回	4. 週5回以上
問15 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つに○)			
1. とても減っている	2. 減っている	3. あまり減っていない	4. 減っていない
問16 身長・体重 (整数で記入) ※小数点以下は四捨五入をしてください。			
身長 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> cm	体重 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> kg		
※おおよその身長でも結構です。 ※おおよその体重でも結構です。			
問17 食事・栄養、口の健康について、あなたがあてはまることはありますか。(あてはまるものすべてに○)			
1. 口の渇きが気になる			
2. お茶や汁物、唾液等でむせることがある			
3. 半年前に比べて固いものが食べにくくなった			
4. 最近6か月間で2~3kg以上の体重減少があった			
5. どれにもあてはまらない			

日常生活について		
問9 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つに○)		
1. できるし、している	2. できるけれどしていない	3. できない

<p>問18 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(1つに○) (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)</p> <p>1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし 3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし</p>
<p>問19 どなたかと食事をもにする機会がありますか。(1つに○)</p> <p>1. 毎日ある 3. 月に何度かある 5. ほとんどない 2. 週に何度かある 4. 年に何度かある</p>
<p>問20 あなたは、現在の生活で不安に感じていることはありますか。 (あてはまるものすべてに○)</p> <p>1. 自分の健康に関すること 2. 自分が認知症や寝たきりなどにより介護が必要になること 3. 介護をしてくれる人(家族等)がいないこと 4. 夜間や緊急時に対応してくれる人がいないこと 5. 友人や地域との交流がないこと 6. 財産の管理や相続に関すること 7. 犯罪や悪質商法に関すること 8. 地震などの災害時の備えや対応方法 9. 家族の経済状況が不安定で自立ができていないこと 10. 自分の外出回数が減っていること 11. ひきこもりの家族がいること 12. 家族の慢性疾患や障害に関すること 13. 車を運転中に事故を起こすかもしれないこと 14. その他(具体的に: 15. 特にない)</p>
<p>問21 あなたは、現在車の運転をしていますか。(1つに○)</p> <p>1. 運転している 4. 免許を持っていたが返納した 2. 免許は持っているが運転していない 5. 免許の更新は行わなかった 3. 免許を取ったことがない</p>

<p>【問21で「1. 運転している」に○をした方におうかがいます。】 問21-1 運転している主な理由は何か。(あてはまるものすべてに○)</p> <p>1. 移動に車が必要だから 3. その他 2. 電車やバスが不便だから (具体的に:)</p>
<p>問22 物忘れが多いと感じますか。(1つに○)</p> <p>1. はい 2. いいえ</p>
<p>問23 バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)。(1つに○)</p> <p>1. できるし、している 2. できるけれどしていない 3. できない</p>
<p>問24 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(1つに○)</p> <p>1. できるし、している 2. できるけれどしていない 3. できない</p>
<p>問25 自分で食事の用意をしていますか。(1つに○)</p> <p>1. できるし、している 2. できるけれどしていない 3. できない</p>
<p>問26 自分で請求書の支払いをしていますか。(1つに○)</p> <p>1. できるし、している 2. できるけれどしていない 3. できない</p>
<p>問27 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(1つに○)</p> <p>1. できるし、している 2. できるけれどしていない 3. できない</p>
<p>問28 今後どのような働き方を希望しますか。(近いもの1つに○)</p> <p>1. フルタイムでの勤務(例:常勤の社員) 2. パートタイムでの勤務(例:パート、アルバイト) 3. いきがい就業(例:シルバー人材センター) 4. 仕事はしたいが、できない(あてはまる理由すべてに○) ↳ 理由: 1. 介護 2. 健康面 3. その他() 5. 仕事をすつもりはない</p>

介護等について	
問29 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つに○)	
1. 介護・介助は必要ない	
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	
3. 現在、何らかの介護を受けている (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)	
問30 介護が必要になっても、安心して、住み慣れた地域で暮らし続けるためには、あなたはどのようなことが必要だと考えますか。(3つ以内)に○	
1. 相談体制や情報提供が充実している	
2. 身近な人による見守りや助言がある	
3. 往診などの医療サービスが整っている	
4. 夜間や緊急時でも利用できる介護サービスがある	
5. 認知症介護サービスの充実や地域の理解がある	
6. 家事などの生活を支援するサービスがある	
7. 介護に適した住宅に改修する、または住み替えができる	
8. 家族介護者を支援してくれる仕組みがある	
9. 自分で自分のことを決めることを支援する(意思決定支援の)取組みがある	
10. 契約や財産管理などを支援してくれる仕組みがある	
11. 災害時に支援してくれる体制がある	
12. 情報通信技術を活用して支援してくれる仕組みがある	
13. その他(具体的に:)	
14. 特にない	
問31 あなたは、介護が必要になった場合、どのような暮らし方を希望しますか。 (最も近い考え1つに○)	
1. 介護を受けながら、自宅で暮らしたい	
2. 施設に入所したい	
3. その他(具体的に:)	

【問31で「1. 介護を受けながら、自宅で暮らしたい」に○をした方におうかがいします。】	
問31-1 在宅生活を営めると思いますか。(1つに○)	
1. できる	2. できない
3. わからない	
【問31で「2. 施設に入所したい」に○をした方におうかがいします。】	
問31-2 入所したい施設をお答えください。(1つに○)	
1. 有料老人ホーム	5. その他
2. サービス付き高齢者向け住宅(※) (具体的に:)	
3. 特別養護老人ホーム	6. わからない
4. 認知症高齢者グループホーム	
(※) サービス付き高齢者向け住宅・高齢者の居住の安定を確保することを目的として、バリアフリー構造等を有し、介護・医療と連携し高齢者を支援するサービスを提供する、都知事への登録をした住宅	
問32 あなたは、終末期(※)をどこで迎えたいと思いますか。(1つに○)	
1. 自宅	5. その他
2. 病院 (具体的に:)	
3. 特別養護老人ホームやグループホーム	6. わからない
4. 有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅	
(※) 終末期・治療・回復の思ひがなくなり、数か月以内に死亡すると予測される状態になった時期	
問33 あなた(あて名のご本人)は、ご家族、または身近な方の介護をしていますか。 (1つに○) * ホームヘルパーやボランティアとしての介護は除きます。	
1. 現在、介護をしている	3. 介護をしたことがない
2. 過去、介護をしたことがあるが、今はしていない	
【問33で「1. 現在、介護をしている」に○をした方におうかがいします。】	
問33-1 問33で今介護している人を含めて、複数の人の介護や子育て等をしていま すか。(1つに○)	
1. 複数の人の介護や子育て等をしている	2. 複数の人の介護や子育て等をしていない
【問33-1で「1. 複数の人の介護や子育て等をしている」に○をした方におうかがい します。】	
問33-1-1 介護される人及び子ども等全員とその人数をお答えください(あては まるものすべてに○をし、その人数を記入してください。)	
1. 親 (人)	3. 配偶者
2. 子 (人)	4. その他(続柄) (人)

問34 あなたは、高齢者施策、介護保険事業について、今後区に力を入れてほしいこととはどんなことですか。(5つ以内)○

1. 高齢者クラブなど交流の場の提供
2. 生涯学習
3. 就労支援
4. 健康管理、介護予防
5. 高齢者住宅等への住み替え等住まいへの支援
6. 声かけや見守りサービス等の充実
7. 認知症高齢者に対する支援
8. 高齢者虐待の防止や成年後見、財産管理等への支援
9. 介護保険やサービスなどの施設サービス等の充実
10. 特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実
11. 相談体制の充実
12. 地域におけるボランティア組織の育成
13. 8050問題(※)への対応
14. ヤングケアラー問題(※)への対応
 [具体的に:]
15. ダブルケア問題(※)への対応
16. 在宅医療・介護
17. 多世代交流の場の充実
18. 地域で暮らし続けるためのサービス
19. その他
 [具体的に:]
20. わからない
21. 特にない

(※) 8050問題 …80代の親と50代の子の親子関係を例えとして、親の高齢化や子どもの引きこもりの長期化に伴い、収入や介護などに関する問題が生じ、生活が困難な状態になること。
 (※) ヤングケアラー問題…子どもが家族の介護を行うことで重い負担を負い、子ども自身に影響を及ぼす問題。
 (※) ダブルケア問題 …高齢化、核家族化等により、子育て等と同時に介護を行うことで負担が増す問題。

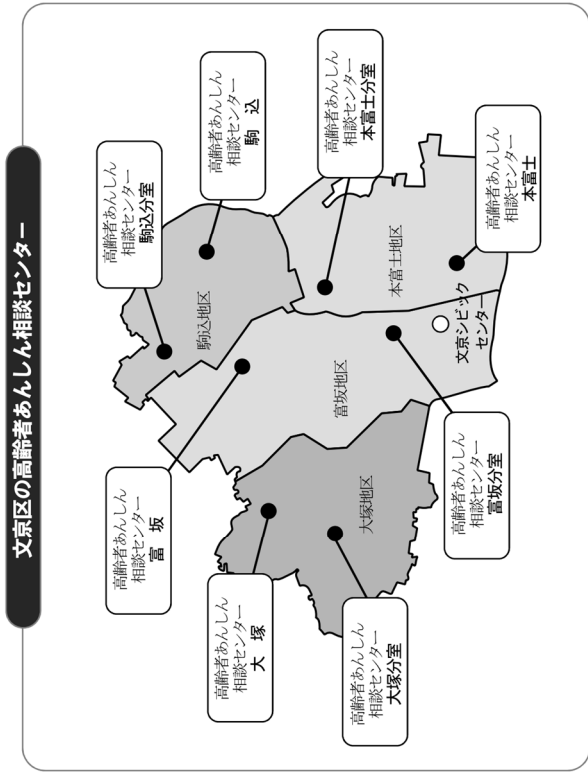
◆ 区では、高齢者が住み慣れた地域での暮らしを継続できるよう、高齢者あんしん相談センター(地域包括支援センター)を富坂・大塚・本富士・駒込地区に2か所ずつ設置しています。

【主な業務】

- 介護保険、高齢者福祉サービス、介護予防サービスについての相談・申請受付
- 高齢者の抱える介護、介護予防、生活上の悩みなどについての相談
- 高齢者虐待についての通報・相談

問35 あなたは、高齢者あんしん相談センター(地域包括支援センター)をご存知ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 名前を聞いたことがある
2. どこにあるか知っている
3. センターの役割を知っている
4. 相談や連絡をしたことがある
5. 知らない、聞いたことがない



地域活動について						
週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	
①ボランティアのグループ	1	2	4	5	6	
②スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	4	5	6	
③趣味関係のグループ	1	2	4	5	6	
④学習・教養サークル	1	2	4	5	6	
⑤(かよひ～など)介護予防のための通いの場	1	2	4	5	6	
⑥高齢者クラブ	1	2	4	5	6	
⑦町会・自治会	1	2	4	5	6	
⑧収入のある仕事	1	2	4	5	6	
問37 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つに○)						
1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加してる						
問38 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(1つに○)						
1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加してる						

たすけあいについて あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。	
問39 あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(あてはまるものすべてに○)	1. 配偶者 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 7. その他() 2. 同居の子ども 5. 近隣 8. そのような人はいない 3. 別居の子ども 6. 友人
問40 問39とは反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(あてはまるものすべてに○)	1. 配偶者 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 7. その他() 2. 同居の子ども 5. 近隣 8. そのような人はいない 3. 別居の子ども 6. 友人
問41 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(あてはまるものすべてに○)	1. 配偶者 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 7. その他() 2. 同居の子ども 5. 近隣 8. そのような人はいない 3. 別居の子ども 6. 友人
問42 問41とは反対に、看病や世話をしてあげる人(あてはまるものすべてに○)	1. 配偶者 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 7. その他() 2. 同居の子ども 5. 近隣 8. そのような人はいない 3. 別居の子ども 6. 友人
健康・介護予防について	
問43 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つに○)	1. とても良い 2. まあ良い 3. あまり良くない 4. 良くない

<p>問44 あなたは、現在のどの程度幸せですか。(1つに○) (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、あてはまる点数に○をおつけください。)</p>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">とても 不幸</td> <td style="text-align: center;">とても 幸せ</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">0点</td> <td style="text-align: center;">10点</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1点</td> <td style="text-align: center;">9点</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2点</td> <td style="text-align: center;">8点</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3点</td> <td style="text-align: center;">7点</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4点</td> <td style="text-align: center;">6点</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5点</td> <td style="text-align: center;">5点</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">6点</td> <td style="text-align: center;">4点</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">7点</td> <td style="text-align: center;">3点</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">8点</td> <td style="text-align: center;">2点</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">9点</td> <td style="text-align: center;">1点</td> </tr> </table>	とても 不幸	とても 幸せ	0点	10点	1点	9点	2点	8点	3点	7点	4点	6点	5点	5点	6点	4点	7点	3点	8点	2点	9点	1点
とても 不幸	とても 幸せ																						
0点	10点																						
1点	9点																						
2点	8点																						
3点	7点																						
4点	6点																						
5点	5点																						
6点	4点																						
7点	3点																						
8点	2点																						
9点	1点																						
<p>問45 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりして、あてはまる点数に○がありましたか。(1つに○)</p>	<p>1. はい</p> <p>2. いいえ</p>																						
<p>問46 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(1つに○)</p>	<p>1. はい</p> <p>2. いいえ</p>																						
<p>問47 タバコは吸っていますか。(1つに○)</p>	<p>1. ほぼ毎日吸っている</p> <p>2. 時々吸っている</p> <p>3. 吸っていたがやめた</p> <p>4. もともと吸っていない</p>																						
<p>問48 あなたは、健康の維持・増進や介護予防のため、現在取り組んでいることがありますか。(1つに○)</p>	<p>1. 取り組んでいることがある</p> <p>2. 特に取り組んでいることはない</p>																						
<p>【問48で「2. 特に取り組んでいることはない」に○をした方におうかがいします。】 問48-1 取り組んでいない主な理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)</p>	<p>1. 自分は健康なので必要がないから</p> <p>2. もう少し体の状態に自信がなくなっただけでも遅くないから</p> <p>3. ほかに自分のやりたいことがあるから</p> <p>4. 仕事をしているから</p> <p>5. 興味はあるが取り組み方がわからないから</p> <p>6. 面倒で気が進まないから</p> <p>7. 興味をもてないから</p> <p>8. 知らなかったから</p> <p>9. その他 (具体的に:)</p> <p>10. 特に理由はない</p>																						

問49 あなたは、健康の維持・増進や介護予防のため、今後取り組んでみたいことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自分で定期的な運動や体力づくりの取り組みをする
2. 栄養バランスに気をつけて食事をする
3. よくかむこと、口の中を清潔に保つことに気をつける
4. 区が実施する健康づくりの教室や講座に参加する
5. 地域の運動グループやサークルなどに参加する
6. 地域活動 (町会・自治会・高齢者クラブ等) をする
7. ボランティア活動をする
8. 家族、友人、知人と交流する
9. 趣味や学習などの活動又は読み書き計算など脳のトレーニングをする
10. 仕事をする
11. その他 (具体的に:)
12. 特に取り組みたいことはない

医療について

問50 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(いくつでも)

1. ない
2. 高血圧
のうすちやうちやう
3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)
のうしゅつちやうちやう・のうこうそくなど
4. 心臓病
しんざうびょう
5. 糖尿病
とうにょうびょう
6. 高脂血症 (脂質異常)
こうしじやうちやう
7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)
8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気
いじやう・かんざう・たんじやう
9. 腎臓・前立腺の病気
じんざう・ぜんりつせん
10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等) ()
11. 外傷 (転倒・骨折等)
がいしやう
12. がん (悪性新生物)
がん
13. 血液・免疫の病気
けつえき・めんぎ
14. うつ病
うつびょう
15. 認知症 (アルツハイマー病等)
にんちしやう
16. パーキンソン病
ぱーきんそんびょう
17. 目の病気
めのびょう
18. 耳の病気
みみびょう
19. その他 ()

<p>問51 あなたには、かかりつけ医・歯科医・薬局（※）がいますか。（あてはまるものすべてに○）</p> <p>（※）かかりつけ医・歯科医・薬局…普段からかかりつけている患者の健康状態や病歴のことなどを把握しており、医療や健康に関することを気軽に相談できる医師、歯科医師や薬局のこと。医師などが特定されなくても、かかりつけの病院などがあればそれも含まれます。</p> <p>1. かかりつけの医師がいる 3. かかりつけの薬局がある</p> <p>2. かかりつけの歯科医師がいる 4. どれもなし</p>	<p>問54 新型コロナウイルス感染症によって、あなたの健康や生活に悪い変化はありましたか。（あてはまるものすべてに○）</p> <p>1. 健康ではないと感じるようになった</p> <p>2. 体重が増加した、または減少した</p> <p>3. 運動する時間が減少した</p> <p>4. 食生活が乱れた</p> <p>5. 睡眠時間が減少したり、睡眠の質が下がった</p> <p>6. ストレスが増えた</p> <p>7. （喫煙する人のみ）喫煙量が増加した</p> <p>8. （飲酒する人のみ）飲酒量が増加した</p> <p>9. 家族、友人、同僚や地域とのつながりが減少した</p> <p>10. 医療機関を受診する機会が減少した</p> <p>11. 外出の機会が減り、在宅時間が長くなった</p> <p>12. その他（具体的に： ）</p> <p>13. 特に悪い変化はない</p>
<p>問52 あなたが、過去1年間に病気やけが等で医師や歯科医師に自宅等での訪問による治療（往診）を受けた科目は何ですか。（あてはまるものすべてに○）</p> <p>1. 内科 9. 麻酔科</p> <p>2. 外科 10. 心療内科・精神科</p> <p>3. 循環器科 11. 整形外科</p> <p>4. リハビリテーション科 12. 皮膚科</p> <p>5. 消化器科・胃腸科 13. 歯科</p> <p>6. 呼吸器科 14. その他（具体的に： ）</p> <p>7. 泌尿器科 15. 受けていない</p> <p>8. 脳神経外科</p>	<p>問55 新型コロナウイルス感染症が拡大する中で、あなたの健康や生活を改善するために工夫したことがあれば、以下に記入してください。</p>
<p>問53 あなたは新型コロナウイルス感染症や新型コロナウイルスワクチン接種の情報をどのような方法で入手していますか。（あてはまるものすべてに○）</p> <p>1. 区のホームページ 10. 学校や職場</p> <p>2. 国や都のホームページ 11. 病院・薬局</p> <p>3. 区報 12. 家族や友人</p> <p>4. 区のケーブルテレビ 13. 高齢者あんしん相談センター</p> <p>5. 区役所・保健所の窓口 14. 区のコールセンター</p> <p>6. 国や都の広報 15. 国・都のコールセンター</p> <p>7. テレビ、新聞、雑誌、書籍 16. その他（具体的に： ）</p> <p>8. インターネット</p> <p>9. SNS（※） 17. 情報を入力していない</p>	<p>問56 あなたは在宅医療をどのようにして知りましたか。（あてはまるものすべてに○）</p> <p>1. 医療機関からの紹介</p> <p>2. 介護支援専門員、ホームヘルパーなどからの紹介</p> <p>3. 医師会に設置している在宅療養相談窓口への相談</p> <p>4. 高齢者あんしん相談センターへの相談</p> <p>5. 「退院までの準備ガイドブック」「文京かかりつけマップ」など区の出版物</p> <p>6. その他（具体的に： ）</p> <p>7. 知らない</p>

（※）SNS…ソーシャルネットワークサービス（Social Networking Service）の略で、登録された利用者同士が交流できるWebサイトの会員制サービスのこと。

認知症について	
問57 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか。(1つに○)	1. はい 2. いいえ
問58 あなたは、認知症についてどのようなことをご存知ですか。(知っているものすべてに○)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症の種類によっては、治るものもある 2. 認知症の診断を受け治療することで、進行を遅らせることができる 3. 認知症の症状は、対応の仕方で改善することがある 4. 1日30分以上歩くことが、認知症のリスクを低くすることにつながる 5. 自分が地域の中で役割を持っていると感ずることが、認知症のリスクを低くすることにつながる 6. 区内医療機関に、専門的な研修を受けた認知症サポート医(※)がいる 7. 高齢者あんしん相談センターは、認知症の人や家族の相談窓口である 8. 金銭管理や書類の整理・手続きの支援や成年後見制度を利用することで、財産管理や契約等を手助けしてもらえる 9. 知っているものはない <p>(※) 認知症サポート医…認知症サポート医養成研修を修了し、「かかりつけ医」への助言等の支援を行うとともに、専門医療機関や高齢者あんしん相談センター等との連携役となる医師。</p>
問59 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つに○)	1. はい 2. いいえ

問60 あなたは、認知症に関する相談をする場合、どちらの相談窓口を利用すると思いますか。(あてはまるものすべてに○)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者あんしん相談センター 2. 区役所の相談窓口 3. 認知症疾患医療センター (順天堂大学医院の専門窓口) 4. 医療機関専門外来 (認知症外来、もの忘れ外来など) 5. 認知症家族会の相談窓口 6. もの忘れ医療相談 (高齢者あんしん相談センターの嘱託医) 7. かかりつけ医、または認知症サポート医 8. 相談しない
問61 あなたは、認知症に関する区の事業についてどのようなことをご存知ですか。(あてはまるものすべてに○)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症に関する介護予防事業 2. 認知症サポート医による、もの忘れ医療相談 3. 認知症家族交流会 4. 認知症介護者教室 5. 認知症講演会 6. 認知症カフェ (ぶんにご) 7. 認知症サポートーター養成講座 8. 「うちに帰ろう」模擬訓練 (認知症の症状による行方不明対応模擬訓練) 9. 徘徊探索サービスの利用申込料金助成 10. ただいま！支援SOSメール 11. 認知症ケアパスパンフレット 12. 知っているものはない

<p>問62 認知症について知りたいと思ったとき、どのような方法で情報を収集しますか。 (あてはまるものすべてに○)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療機関の相談窓口 2. 医療機関が発信するインターネットの情報（ホームページ、ブログなど） 3. 行政機関の相談窓口 4. 行政機関が発信するインターネットの情報（ホームページ、ブログなど） 5. 行政機関が発信する区報や各種パンフレット 6. 医療機関や行政機関以外が発信するインターネットの情報（ホームページ、ブログなど） 7. 家族、知人、友人のロコミ 8. その他（具体的に： _____） 9. 情報収集しない 	<p>問63 認知症の本人や家族への支援として必要と感じるものは何ですか。 (あてはまるものすべてに○)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症を理解するための講座 2. 介護者が休息できるよう、認知症の方を預かるサービス 3. 本人・家族の会 4. 本人・家族を支えるボランティア組織 5. グループホーム 6. 通所サービス 7. 認知症の本人のための損害賠償責任保険 8. 認知症の診断を受けた直後に、サービスの情報提供や精神的サポートなどを受けられる支援（例：医療・介護等の専門職による訪問相談） 9. 認知症検診などにより、自分自身の健康チェックを行う機会 10. 金銭管理や書類の整理・手続きの支援 11. わからない
---	--

■■■■ 以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました ■■■■

◆ 介護等について ◆

問8 介護が必要になっても、安心して、住み慣れた地域で暮らし続けるためには、あなたにはどのようなことが必要だと考えますか。(3つ以内に○)

1. 相談体制や情報提供が充実している
2. 身近な人による見守りや助言がある
3. 往診などの医療サービスが整っている
4. 夜間や緊急時でも利用できる介護サービスがある
5. 認知症介護サービスの充実や地域の理解がある
6. 家事などの生活を支援するサービスがある
7. 介護に適した住宅に改修する、または住み替えができる
8. 家族介護者を支援してくれる仕組みがある
9. 自分で自分のことを決めることを支援する(意思決定支援の)取組みがある
10. 契約や財産管理などを支援してくれる仕組みがある
11. 災害時に支援してくれる体制がある
12. 情報通信技術を活用して支援してくれる仕組みがある
13. その他(具体的に:)
14. 特にない

問9 あなたは、介護が必要になった場合、どのような暮らし方を希望しますか。(最も近い考え1つに○)

1. 介護を受けながら、自宅で暮らしたい → 問9-1△
2. 施設に入所したい → 問9-2△
3. その他(具体的に:) → 問10△

【問9で「1. 介護を受けながら、自宅で暮らしたい」に○をした方におうかがいします。】

問9-1 在宅生活を実現できると思えますか。(1つに○)

1. できる
2. できない
3. わからない

【問9で「2. 施設に入所したい」に○をした方におうかがいします。】

問9-2 入所したい施設をお答えください。(1つに○)

1. 有料老人ホーム
2. サービス付き高齢者向け住宅(※)
3. 特別養護老人ホーム
4. 認知症高齢者グループホーム
5. その他(具体的に:)
6. わからない

※サービス付き高齢者向け住宅…高齢者の居住の安定を確保することを目的として、バリアフリー構造等を有し、介護・医療と連携し高齢者を支援するサービスを提供する、都知事への登録をした住宅。

【すべての方におうかがいします。】

問10 あなたは、終末期(※)をどこで迎えたいと思いますか。(1つに○)
※終末期…治療で回復の見込みがなく、数週間～数か月のうちに死亡するだろうと予測される状態になった時期。

1. 自宅
2. 病院
3. 特別養護老人ホームやグループホーム
4. 有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅
5. その他(具体的に:)
6. わからない

問11 あなた(あて名のご本人)は、ご家族、または身近な方の介護をしていますか。(1つに○)

*ホームヘルパーやボランティアとしての介護は除きます。

1. 現在、介護をしている → 問11-1△
2. 過去に介護をしたことがあるが、今はしていない → 問12△
3. 介護をしたことがない → 問12△

【問11で「1. 現在、介護をしている」に○をした方におうかがいします。】

問11-1 問11で現在、介護している人を含めて、複数の方の介護や子育て等をしていきますか。(1つに○)

1. 他の人の介護や子育て等をしている → 問11-1-1△
2. 他の人の介護や子育て等をしていない → 問12△

【問11-1で「1. 他の人の介護や子育て等をしている」に○をした方におうかがいします。】

問11-1-1 介護される人及び子ども等全員とその人数をお答えください。(あてはまるものすべてに○をし、その人数を記入してください。)

1. 親()人
2. 子()人
3. 配偶者
4. その他(続柄) ()人

◆ 地域での活動について ◆

問14 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

※①～⑧それぞれに回答してください。(それぞれ1つに○)

回答例 →	週4回 以上	週2 ～3回	週1回 ③	月1 ～3回	年に 数回	参加して いない
①ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
②スポーツ関係の グループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤(かよい～のなど) 介護予防のための 通いの場	1	2	3	4	5	6
⑥高齢者クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦町会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

問15 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたははその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つに○)

1. 是非参加したい	3. 参加したくない
2. 参加してもよい	4. 既に参加している

問16 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたははその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(1つに○)

1. 是非参加したい	3. 参加したくない
2. 参加してもよい	4. 既に参加している

◆ たすけあいについて ◆

◆ あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。

問17 あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(あてはまるものすべてに○)

1. 配偶者	4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	7. その他
2. 同居の子ども	5. 近隣	()
3. 別居の子ども	6. 友人	8. そのような人はいない

問18 問17とは反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(あてはまるものすべてに○)

1. 配偶者	4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	7. その他
2. 同居の子ども	5. 近隣	()
3. 別居の子ども	6. 友人	8. そのような人はいない

問19 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(あてはまるものすべてに○)

1. 配偶者	4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	7. その他
2. 同居の子ども	5. 近隣	()
3. 別居の子ども	6. 友人	8. そのような人はいない

問20 問19とは反対に、看病や世話をしてあげる人(あてはまるものすべてに○)

1. 配偶者	4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	7. その他
2. 同居の子ども	5. 近隣	()
3. 別居の子ども	6. 友人	8. そのような人はいない

◆ 健康・介護予防について ◆

問21 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つに○)

1. とても良い	2. まあ良い	3. あまり良くない	4. 良くない
----------	---------	------------	---------

問22 あなたは、健康の維持・増進のため、現在取り組んでいることがありますか。(1つに○)

1. 取り組んでいることがある	→ 問23へ
2. 特に取り組んでいることはない	→ 問22-1へ

【問22で「2. 特に取り組んでいることはない」に○をした方におうかがいします。】

問22-1 取り組んでいない主な理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自分は健康なので必要がないから
2. もう少しい体の状態に自信がなくなってきたから
3. ほかに自分のやりたいことがあるから
4. 仕事をしているから
5. 興味はあるが取り組む方がわからないから
6. 面倒で気が進まないから
7. 興味をもちないから
8. 知らなかったから
9. その他
(具体的に：)
10. 特に理由はない

【すべての方におうかがいします。】

問23 あなたは、健康の維持・増進のため、今後取り組んでみたいことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自分で定期的な運動や体力づくりの取り組みをする
2. 栄養バランスに気をつけて食事をする
3. よくかむこと、口の中を清潔に保つことを気をつける
4. 区が実施する健康づくりの教室や講座に参加する
5. 地域の運動グループやサークルなどに参加する
6. 地域活動(町会・自治会・高齢者クラブ等)をする
7. ホンティア活動をする
8. 家族、友人、知人と交流する
9. 趣味や学習などの活動又は読み書き計算など脳のトレーニングをする
10. 仕事をする
11. その他(具体的に：)
12. 特に取り組みたいことはない

◆ 医療について ◆

問24 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. ない
2. 高血圧
3. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)
4. 心臓病
5. 糖尿病
6. 高脂血症(脂質異常)
7. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)
8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気
9. 腎臓・前立腺の病気
10. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等) ()
11. 外傷(転倒・骨折等)
12. がん(悪性新生物)
13. 血液・免疫の病気
14. うつ病
15. 認知症(アルツハイマー病等)
16. パーキンソン病
17. 目の病気
18. 耳の病気
19. その他 ()

問25 あなたには、かかりつけ医・歯科医・薬局(※)がありますか。

(あてはまるものすべてに○)

※かかりつけ医・歯科医・薬局…普段からかかりつけている患者の健康状態や病歴のことなどを把握しており、医療や健康に関することを気軽に相談できる医師、歯科医師や薬局のこと。医師などが特定されなくても、かかりつけの病院などがあればそれも含まれます。

1. かかりつけの医師がいる
2. かかりつけの歯科医師がいる
3. かかりつけの薬局がある
4. どれもない

問26 あなたは新型コロナウイルス感染症や新型コロナウイルスワクチン接種の情報などをどのような方法で入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 区のホームページ
2. 国や都のホームページ
3. 区報
4. 区のケーブルテレビ
5. 区役所・保健所の窓口
6. 国や都の広報
7. テレビ、新聞、雑誌、書籍
8. インターネット
9. SNS
10. 学校や職場
11. 病院・薬局
12. 家族や友人
13. 高齢者あんしん相談センター
14. 区のコールセンター
15. 国・都のコールセンター
16. その他()
17. 情報を入手していない

問27 新型コロナウイルス感染症によって、あなたの健康や生活に悪い変化はありましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 健康ではないと感じるようになった
2. 体重が増加した、または減少した
3. 運動する時間が減少した
4. 食生活が乱れた
5. 睡眠時間が減少したり、睡眠の質が下がった
6. ストレスが増えた
7. (喫煙する人のみ)喫煙量が増加した
8. (飲酒する人のみ)飲酒量が増加した
9. 家族、友人、同僚や地域とのつながりが減少した
10. 医療機関を受診する機会が減少した
11. 外出の機会が減り、在宅時間が長くなった
12. その他
(具体的に：)
13. 特に悪い変化はない

問28 新型コロナウイルス感染症が拡大する中で、あなたの健康や生活を改善するために工夫したことがあれば、以下に記入してください。

◆ 認知症について ◆

問29 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか。(1つに○)

1. はい 2. いいえ

問30 あなたは、認知症についてどのようなことをご存知ですか。(知っているものすべてに○)

1. 認知症の種類によっては、治るものもある
2. 認知症の診断を受け治療することで、進行を遅らせることができる
3. 認知症の症状は、対応の仕方次第で改善することがある
4. 1日30分以上歩くことが、認知症のリスクを低くすることにつながる
5. 自分が地域の中で役割を持っていると感じることが、認知症のリスクを低くすることにつながる
6. 区内医療機関に、専門的な研修を受けた認知症サポーター医(※)がいる
7. 高齢者あんしん相談センターは、認知症の人や家族の相談窓口である
8. 金銭管理や書類の整理・手続き等の支援や成年後見制度を利用することで、財産管理や契約等を手助けしてもらえる
9. 知っているものはない

※認知症サポーター医…認知症サポーター医養成研修を修了し、「かかりつけ医」への助言等の支援を行うとともに、専門医療機関や高齢者あんしん相談センター等との連携役となる医師。

問31 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つに○)

1. はい 2. いいえ

問32 あなたは、認知症に関する相談をする場合、どちらの相談窓口を利用すると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 高齢者あんしん相談センター
2. 区役所の相談窓口
3. 認知症疾患医療センター(順天堂大学医院の専門窓口)
4. 医療機関専門外来(認知症外来、もの忘れ外来など)
5. 認知症家族会の相談窓口
6. もの忘れ医療相談(高齢者あんしん相談センターの嘱託医)
7. かかりつけ医、または認知症サポーター医
8. 相談しない

問33 あなたは、認知症に関する区の事業についてどのようなことをご存知ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 認知症に関する介護予防事業
2. 認知症サポーター医による、もの忘れ医療相談
3. 認知症家族交流会
4. 認知症介護者教室
5. 認知症講演会
6. 認知症カフェ(ふんにこ)
7. 認知症サポーター養成講座
8. 「うちに帰ろう」模擬訓練(認知症の症状による行方不明対応模擬訓練)
9. 徘徊探索サービスの利用申込料金助成
10. たいま!支援SOSメール
11. 認知症ケアバスハンフレット
12. 知っているものはない

問34 認知症について知りたいと思ったとき、どのような方法で情報を収集しますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 医療機関の相談窓口
2. 医療機関が発信するインターネットの情報(ホームページ、ブログなど)
3. 行政機関の相談窓口
4. 行政機関が発信するインターネットの情報(ホームページ、ブログなど)
5. 行政機関が発信する区報や各種ハンフレット
6. 医療機関や行政機関以外が発信するインターネットの情報(ホームページ、ブログなど)
7. 家族、知人、友人の口コミ
8. その他(具体的に:)
9. 情報収集しない

◇ 長時間にわたって調査にご協力いただき、ありがとうございました。

◇ ご記入いただいた調査票は、10月21日(金)までに、同封の返信用封筒にてご返送ください。
(インターネットによりご回答いただいた場合は、調査票を返信いただく必要ありません。)

3. 在宅介護実態調査（郵送）

要介護認定者の方を対象とした調査

<調査票>

《 回答のしかた 》

この調査は、調査票（紙）のほか、パソコン、タブレット、スマートフォンからインターネットによって回答（オンライン回答）することができます。次の2つの方法から、いずれか1つを選び回答してください。

①	調査票(この冊子)に直接記入し、郵送(返信用封筒を同封しております。)
②	パソコン・タブレット・スマートフォンでオンライン回答 別紙「インターネットによる回答方法」をご覧ください。

【記入にあたってのお願い】

- ◆ 回答は、あて名のご本人がお答えください。
- ◆ ご本人がお答えが困難な場合には、ご家族の方などがご本人の意向を汲み取り、代わりに回答してください。
- ◆ 問16～問21は、あて名のご本人を主に介護しているご家族の方がお答えください。

◆ あなたご自身、家族や暮らしについて ◆

F 1 この調査票を記入している方はどなたですか。(1つに○)

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1. あて名のご本人 | 4. 兄弟姉妹 |
| 2. 配偶者(夫、妻) | 5. 孫 |
| 3. 子ども(息子・娘、息子・娘の配偶者) | 6. その他(具体的に:) |

F 2 あなた(あて名ご本人)は、どなたと一緒にお住まいですか。
(あてはまるものすべてに○) ※「配偶者」には内縁を含みます。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 配偶者 | 5. 孫・ひ孫 |
| 2. 子 | 6. その他(具体的に:) |
| 3. 子の配偶者 | 7. 一人暮らし → F 3へ |
| 4. 父・母(養父・養母含む) | |

【F2で「1～6」と回答した方(同居者がいる方)におうかがいします。】

F 2-1 同居の方は全員が65歳以上ですか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|--------|
| 1. はい(全員が65歳以上) | 2. いいえ |
|-----------------|--------|

【すべての方におうかがいします。】

F 3 あなた(あて名ご本人)の年齢(令和4年10月1日現在)をお答えください。

[] 歳 ※大体の年齢でも結構です。

F 4 あなたの現在の要介護度をお答えください。(1つに○)

- | | | |
|---------|---------|----------|
| 1. 要介護1 | 3. 要介護3 | 6. わからない |
| 2. 要介護2 | 4. 要介護4 | |
| | 5. 要介護5 | |

F 5 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つに○)

- | | | |
|----------|--------|-------------|
| 1. 大変苦しい | 3. ぶつう | 4. ややゆとりがある |
| 2. やや苦しい | | 5. 大変ゆとりがある |

◆ あなたのお住まいについて ◆

問1 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 持家(一戸建て) | 5. 民間賃貸住宅(集合住宅) |
| 2. 持家(集合住宅) | 6. 借家 |
| 3. 公営賃貸住宅 | 7. その他 |
| 4. 民間賃貸住宅(一戸建て) | () |

問2 あなたの現在のお住まいは、今後介護が必要な状態になった場合に、住み続けられるお住まいだと思いますか。(1つに○)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問3 現在のお住まいに関して、不便を感じていること、不安に感じていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|------------------------------|
| 1. 居室などに手すりが無い、または段差があり不便である |
| 2. エレベーターがなく、階段の昇り降りがある |
| 3. 老朽化や耐震に不安がある |
| 4. 自宅の支払いについて、まだローンを支払っている |
| 5. 家具が高い |
| 6. 契約の更新ができない |
| 7. その他(具体的に:) |
| 8. 特になし |

◆ 介護等について ◆

問4 介護が必要になっても、安心して、住み慣れた地域で暮らし続けるためには、あなたにどのようなことが必要だと考えますか。(3つ以内)○

<ol style="list-style-type: none"> 1. 相談体制や情報提供が充実している 2. 身近な人による見守りや助言がある 3. 往診などの医療サービスが整っている 4. 夜間や緊急時でも利用できる介護サービスがある 5. 認知症介護サービスの充実や地域の理解がある 6. 家事などの生活を支援するサービスがある 7. 介護に適した住宅に改修する、または住み替えができる 8. 家族介護者を支援してくれる仕組みがある 9. 自分で自分のことを決めることを支援する(意思決定支援の)取組みがある 10. 契約や財産管理などを支援してくれる仕組みがある 11. 災害時に支援してくれる体制がある 12. 情報通信技術を活用して支援してくれる仕組みがある 13. その他(具体的に:) 14. 特 に ない
--

問5 あなたは、今後、どのよう な暮らし方を希望しますか。(最も近い考え1つに○)

<ol style="list-style-type: none"> 1. 介護を受けながら、自宅で暮らしたい → 問5-1△ 2. 施設に入所したい → 問5-2△ 3. その他(具体的に:) → 問6△

【問5で「1. 介護を受けながら、自宅で暮らしたい」に○をした方におうかがいします。】

問5-1 在宅生活を実現できると思えますか。(1つに○)

<ol style="list-style-type: none"> 1. できる 2. できない 3. わからない

【問5で「2. 施設に入所したい」に○をした方におうかがいします。】

問5-2 入所したい施設をお答えください。(1つに○)

<ol style="list-style-type: none"> 1. 有料老人ホーム 2. サービス付き高齢者向け住宅(※) 3. 特別養護老人ホーム 4. 認知症高齢者グループホーム 5. その他(具体的に:) 6. わからない

※サービス付き高齢者向け住宅…高齢者の居住の安定を確保することを目的として、バリアフリー構造等を有し、介護・医療と連携し高齢者を支援するサービスを提供する、都知事への登録をした住宅。

【すべての方におうかがいします。】

問6 あなたは、終末期(※)をどこで迎えたいと思いますか。(1つに○)
 ※終末期…治療で回復の見込みがなく、数週間～数か月のうちに死亡するだろうと予測される状態になった時期。

<ol style="list-style-type: none"> 1. 自宅 2. 病院 3. 特別養護老人ホームやグループホーム 4. 有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅 5. その他(具体的に:) 6. わからない
--

問7 あなたは、高齢者施策、介護保険事業について、今後区に力を入れてほしいことはどんなことですか。(5つ以内)○

<ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者クラブなど交流の場の提供 2. 生涯学習 3. 就労支援 4. 健康管理、介護予防 5. 高齢者住宅等への住み替え等住まいへの支援 6. 声かけや見守りサービスの充実 7. 認知症高齢者に対する支援 8. 高齢者虐待の防止や成年後見、財産管理等への支援 9. 介護保険やサービスの情報提供 10. 特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実 11. 相談体制の充実 12. 地域におけるボランティア組織の育成 13. 8050問題(※)への対応 14. ヤングケアラー問題(※)への対応 <p>(具体的に:)</p> <ol style="list-style-type: none"> 15. ダブルケア問題(※)への対応 16. 在宅医療・介護 17. 多世代交流の場の充実 18. 地域で暮らし続けるためのサービス 19. その他(具体的に:) 20. わからない 21. 特 に ない
--

※8050問題 ……80代の親と50代の子の親子関係を例えとして、親の高齢化や子どもの引きこもりの長期化に伴い、取入や介護などに関しての問題が生じ、生活が困難な状態になること。
 ※ヤングケアラー問題…子どもが家族の介護を行うことで重い負担を負い、子ども自身に影響を及ぼす問題。
 ※ダブルケア問題 ……高齢化、核家族化等により、子育て等と同時に介護を行うことで負担が増す問題。

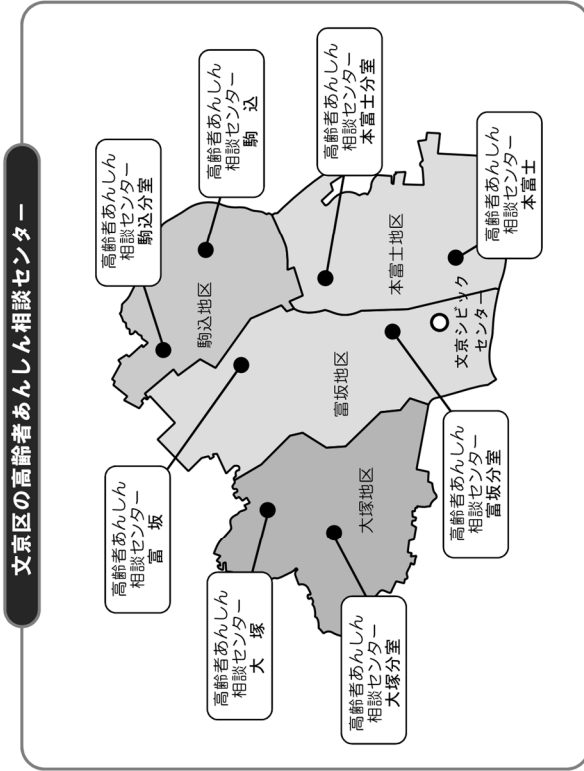
◆ 本区では、高齢者が住み慣れた地域での暮らしを継続できるよう、高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）を富坂・大塚・駒込地区に2か所ずつ設置しています。

【主な業務】

- 介護保険、高齢者福祉サービス、介護予防サービスについての相談・申請受付
- 高齢者の抱える介護、介護予防、生活上の悩みなどについての相談
- 高齢者虐待についての通報・相談

問8 あなたは、高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）をご存知ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 名前を聞いたことがある
2. どこにあるか知っている
3. センターの役割を知っている
4. 相談や連絡をしたことがある
5. 知らない、聞いたことがない



問9 現時点での、施設等（※）への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。（1つに○）

※施設等…特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

1. 入所・入居を検討していない
2. 入所・入居を検討している
3. すでに入所・入居申し込みをしている

問10 最近の1か月間に、介護保険サービスを利用しましたか。（1つに○）

1. 利用した → 問10-1へ
2. 利用していない → 問10-3へ

【問10で「1. 利用した」に○をした方におうかがいします。】

問10-1 以下の介護保険サービスについて、最近の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない（0回）」を選択してください。（各サービスそれぞれ1つに○）

	1週間あたりの利用回数（それぞれ1つに○）						
	利用していない	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上	
（※回答例）●●●サービス	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上	
A. 訪問介護（ホームヘルプサービス）	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上	
B. 訪問入浴介護	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上	
C. 訪問看護	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上	
D. 訪問リハビリテーション	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上	
E. 通所介護（デイサービス）	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上	
F. 通所リハビリテーション（デイケア）	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上	
G. 夜間対応型訪問介護（※訪問のあった回数を回答）	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上	

（次ページへつづく）

H. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 (※訪問の有無を回答)	利用の有無 (それぞれ1つに○)	
	0回	利用した
I. 小規模多機能型居宅介護	0回	利用した
J. 看護小規模多機能型居宅介護	0回	利用した
K. 住宅改修	0回	利用した
L. 福祉用具購入・貸与	0回	利用した

M. ショートステイ	1か月あたりの利用日数 (1つに○)			
	利用して いない	月1～7日 程度	月8～14日 程度	月15～21日 程度
0回	0回	8～14日	15～21日	22日以上

N. 居宅療養管理指導	1か月あたりの利用回数 (1つに○)			
	利用して いない	月1回 程度	月2回 程度	月3回 程度
0回	1回	2日	3回	4回

問10-2 新型コロナウイルス感染症の影響で、①利用するようになつた、または、②利用しなくなつたサービスはありますか。(それぞれあてはまるものすべてに○)

A. 訪問介護 (ホームヘルプサービス)	利用の有無 (A～Nそれぞれあてはまるものすべてに○)	
	①利用する ようになつた	②利用しな かつた
B. 訪問入浴介護	1	1
C. 訪問看護	2	2
D. 訪問リハビリテーション	3	3
E. 通所介護 (デイサービス)	4	4
F. 通所リハビリテーション (デイケア)	5	5
G. 夜間対応型訪問介護	6	6
H. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	7	7
I. 小規模多機能型居宅介護	8	8
J. 看護小規模多機能型居宅介護	9	9
K. 住宅改修	10	10
L. 福祉用具購入・貸与	11	11
M. ショートステイ	12	12
N. 居宅療養管理指導	13	13
あてはまるものはない	14	14
	15	15

【問10で「2. 利用していない」と回答した方におうかがいします。】

問10-3 あなたが、介護保険サービスを利用していない(しなくなった)理由は
何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 入院している (入院した) から
2. 自分の状態が改善したから
3. できることは、自分でできるようにしているから
4. 家族などの介護が得られるようになったから
5. 本人にサービス利用の希望がない
6. 家族以外に介護してもらうことに不安があるから
7. 一時サービス (住宅改修や福祉用具購入など) だけでよかつたから
8. 以前、利用していたサービスに不満があつた
9. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
10. 利用の方法がわからないから
11. 利用料の負担が大きいかから
12. その他 (具体的に:)

【すべての方におうかがいします。】

問11 次のうち、あなたが知つている介護保険サービスはありますか。問10-1でお
答えの方はそのサービスを各、ご回答ください。(あてはまるものすべてに○)
※次ページの介護保険サービスの説明を参考に答えください。

問12 次のうち、あなたが今後、利用したい介護保険サービスはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

	問11 知つているもの	問12 利用したいもの
1. 訪問介護 (ホームヘルプサービス)	1	1
2. 訪問入浴介護	2	2
3. 訪問看護	3	3
4. 訪問リハビリテーション	4	4
5. 通所介護 (デイサービス)	5	5
6. 通所リハビリテーション (デイケア)	6	6
7. 夜間対応型訪問介護	7	7
8. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	8	8
9. 小規模多機能型居宅介護	9	9
10. 看護小規模多機能型居宅介護	10	10
11. 住宅改修	11	11
12. 福祉用具購入・貸与	12	12
13. ショートステイ	13	13
14. 居宅療養管理指導	14	14

(次ページへつづく)

問13 現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。(あてはまるものすべてに○)
 ※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含まれます。

1. 配食	8. 見守り、声かけ
2. 調理	9. サロンなどの定期的な通いの場
3. 掃除・洗濯	10. 金銭管理や書類の整理・手続きの支援
4. 買い物(宅配は含まない)	11. その他 (具体的に:)
5. ゴミ出し	12. 利用していない
6. 外出同行(通院、買い物など)	
7. 移送サービス (介護・福祉タクシー等)	

問14 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください。
 (あてはまるものすべてに○)
 ※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含まれます。

1. 配食	8. 見守り、声かけ
2. 調理	9. サロンなどの定期的な通いの場
3. 掃除・洗濯	10. 金銭管理や書類の整理・手続きの支援
4. 買い物(宅配は含まない)	11. その他 (具体的に:)
5. ゴミ出し	12. 特になし
6. 外出同行(通院、買い物など)	
7. 移送サービス (介護・福祉タクシー等)	

◆ 介護者について ◆

問15 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(同居していない子どもや親族等からの介護を含みます。)(1つに○)

1. ない	→ 問22へ	4. 週に3~4日ある
2. 家族・親族の介護はあるが週に1日より少ない		5. ほぼ毎日ある
3. 週に1~2日ある		

【問15-1~6は、問15で2~5と回答した方におうかがいします。】

問15-1 主な介護者の方は、どなたですか。(1つに○)

※「配偶者」には内縁を含みます。

1. 配偶者	3. 子の配偶者	5. 兄弟・姉妹
2. 子	4. 孫・ひ孫	6. その他(具体的に:)

	問11 知っているもの	問12 利用したもの
15. 認知症対応型通所介護	15	15
16. 特別養護老人ホーム	16	16
17. 老人保健施設	17	17
18. 認知症高齢者グループホーム	18	18
19. 有料老人ホーム	19	19
20. その他(具体的に:)	20	20
21. 特になし	21	21

【介護保険サービスの説明】

- 家庭を訪問して提供されるサービス
 - ◇ 訪問介護…ホームヘルパーが自宅を訪問し、身体介護や家事等の支援を行う
 - ◇ 訪問入浴介護…自宅に組み立て式の浴槽を持ち込み、入浴の介護を行う
 - ◇ 訪問リハビリテーション…理学療法士等が自宅を訪問し、リハビリを行う
 - ◇ 訪問看護…看護師等が自宅を訪問し、療養上の世話や診療補助を行う
 - ◇ 居宅療養管理指導…医師・歯科医師等が自宅を訪問し、療養上の管理や指導を行う
 - ◇ 夜間対応型訪問介護…自宅への定時訪問や通報システムによる緊急訪問等の夜間専用の介護を行う
- ◇ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護…日中・夜間を通じて、短時間の定期巡回型訪問と随時対応のサービスを行う
- 施設に通って提供されるサービス
 - ◇ 通所リハビリテーション…老人保健施設等で医師の管理のもとリハビリを行う
 - ◇ 通所介護…施設等に通り、食事、入浴等の支援やリハビリを行う
 - ◇ 認知症対応型通所介護…認知症の高齢者を対象とした通所介護
- 施設に短期間入所して提供されるサービス
 - ◇ ショートステイ…特別養護老人ホーム等に短期入所し、日常生活上の支援やリハビリ等を行う
- 日常生活での自立を助けるサービス
 - ◇ 福祉用具…車いすやボーターダブルトイレ等の福祉用具を貸与・購入費の一部を支給する
 - ◇ 住宅改修…手すりの取り付け等の住宅改修費用の一部を支給する
- 複数のサービスを組み合わせて提供されるサービス
 - ◇ 小規模多機能型居宅介護…施設への通所を中心として、ショートステイや自宅へのホームヘルパーの訪問を組み合わせたサービスを行う
 - ◇ 看護小規模多機能型居宅介護…小規模多機能型居宅介護と訪問看護の複数のサービスを組み合わせた複合型事業所による医療ニーズの高い要介護者へのサービス
- 特別養護老人ホーム
 - ◇ 特別養護老人ホーム…常に介護が必要で、在宅での介護が難しい方が対象の施設で、食事、入浴など日常生活の介護や健康管理を行う
- 老人保健施設
 - ◇ 老人保健施設…病状が安定し、リハビリに重点を置いた介護が必要な方が対象の施設で、在宅生活への復帰をめざし医学的な管理のもとでの介護や看護、リハビリを行う
- 認知症高齢者グループホーム
 - ◇ 認知症高齢者グループホーム…認知症(急性を除く)の高齢者に対して、共同生活起居で、家庭的な環境と地域住民との交流の下、入浴・排泄・食事等の介護などの日常生活上の世話と機能訓練を行い、能力に応じ、自立した日常生活を営めるようにするもの

問15-2 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(1つに○)

1. 男性 2. 女性 3. その他の性自認

問15-3 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(1つに○)

1. 18歳未満 4. 40代 7. 70代
2. 18～29歳 5. 50代 8. 80歳以上
3. 30代 6. 60代 9. わからない

問15-4 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(あてはまるものすべてに○)

- [身体介護]
1. 日中の排泄 7. 屋内の移乗・移動
2. 夜間の排泄 8. 外出の付き添い、送迎等
3. 食事の介助(食べる時) 9. 服薬
4. 入浴・洗身 10. 認知症状への対応
5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ(※)等)
- [生活援助・その他]
12. 食事の準備(調理等) 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き
13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等))
15. その他(具体的に:)
16. わからない

※ストーマ…大腸等から直接、排便できる医療的に対応。

問15-5 ご家族やご親族の中で、あて名のご本人の介護のために、過去に仕事を辞めた方はいいますか。(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません。)(あてはまるものすべてに○)

※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

1. 主な介護者が仕事を辞めた・退学した(転職除く)
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた・退学した(転職除く)
3. 主な介護者が転職・転学した
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職・転学した
5. 主な介護者が進学・就職をあきらめた
6. 主な介護者以外の家族・親族が進学・就職をあきらめた
7. 介護のために仕事・学業を辞めた家族・親族はいいない
8. わからない

問15-6 主な介護者の方は、ご本人以外に他の人の介護や子育て等をしていきますか。(1つに○)

1. している → 問15-6-1へ 2. していない → 問16へ

【問15-6で「1. している」と回答した方におうかがいします。】

問15-6-1 介護される人及び子ども等全員とその人数をお答えください。(あてはまるものすべてに○をし、その人数を記入してください。)

1. 親()人 3. 配偶者
2. 子()人 4. その他(続柄) ()人

問16～問21は、問15で「2」～「5」を選んだ方(介護を受けている方)におうかがいします。

主な介護者に回答をお願いできる場合は、主な介護者の方がご回答・ご記入ください。

※主な介護者に回答をお願いできない場合は、あて名のご本人がご回答ください。(あて名のご本人が回答することが困難な場合は無回答で結構です。)

問16 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(1つに○)

1. フルタイムで働いている → 問16-1～3へ
2. パートタイム(※)で働いている → 問16-1～3へ
3. 風間課程校で就学している → 問19へ
4. 夜間・通信課程校で就学している → 問19へ
5. 働いていない・就学していない → 問17へ
6. その他(具体的に:) → 問19へ
7. わからない → 問19へ

※パートタイム…「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」「嘱託」「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」「パートタイム」のいずれかを選択してください。

【問16で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方におうかがいします。

問16-1 主な介護者の方は、介護をするに当たって、何か働き方についての調整等をしていきますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 特に行っていいない
2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、上記「2」～「4」以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問16-2 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両方に効果があられると思いますか。(3つ以内に○)

1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
3. 制度を利用しやすい職場づくり
4. 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）
5. 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）
6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
8. 介護をしている従業員への経済的な支援
9. その他（具体的に：)
10. 特になし
11. 主な介護者に確認しないと、わからない

問16-3 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(1つに○)

1. 問題なく、続けていける
2. 問題はあるが、何とか続けていける
3. 続けていくのは、やや難しい
4. 続けていくのは、かなり難しい
5. わからない

【問16で「5. 働いていない・就学していない」と回答した方におかがいします。】

問17 ふだんどのくらい外出しますか。(1つに○)

1. ほとんど毎日外出する
 2. 週に3～4日は外出する
 3. 人付き合いがあり、ときどき外出する
 4. 人付き合いも無く、ほとんど外出しない
- 問17-1へ
→ 問18へ

【問17で1～3と回答した方におかがいします。】

問17-1 あなたは今までに、以下のような状態になったことはありませんか。(1つに○)

1. 6か月以上、人付き合いもなく、ほとんど外出しない → 問17-2へ
2. 上記のような状態になったことはない → 問18へ

【問17-1で「1. 6か月以上～」と回答した方におかがいします。】

問17-2 その状態から、問17で回答した現在の状態になったきっかけや役立ったこととは何だと思えますか。ご自由にお書きください。

【問17で「4. 人付き合いもなく、ほとんど外出しない」または、問17-1で「2. 上記のような状態になったことはない」と回答した方におかがいします。】

問18 最近6か月間に家族以外の人と会話をしましたか。(1つに○)

1. よく会話をした
2. ときどき会話をした
3. ほとんど会話しなかった
4. まったく会話しなかった

【すべての介護者の方におかがいします。】

問19 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。(現状で行っているか否かは問いません)
(3つ以内に○)

- 【身体介護】

 1. 日中の排泄
 2. 夜間の排泄
 3. 食事の介助（食べる時）
 4. 入浴・洗身
 5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等）
 6. 衣服の着脱
 7. 屋内の移乗・移動
 8. 外出の付き添い、送迎等
 9. 服薬
 10. 認知症状への対応
 11. 医療面での対応
(経管栄養、ストーマ(※)等)

【生活援助・その他】

 12. 食事の準備（調理等）
 13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）
 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き
 15. 子の育児との両立
 16. その他（具体的に：)
 17. 不安に感じていることは、特にならない
 18. わからない

※ストーマ…犬脚等から直接、排便できる医療的に対応。

問20 主な介護者の方は、介護について誰かに相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族・親族
2. 友人・知人
3. 近所の人、ボランティアの人等
4. 介護が必要な本人
5. ケアマネジャー
6. 高齢者あんしん相談センター
(地域包括支援センター)の職員
7. 自治体の職員
8. 保健所の職員
9. 介護サービス事業者
10. 医師
11. 病院の医療ソーシャルワーカー
12. 民生委員
13. 勤務先
14. その他
(具体的に：)
15. 誰にも相談していない
16. わからない

問21 主な介護者の方ご自身にとっても、必要だと思える支援は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 通院付き添い
2. 希望時間での訪問・見守り
3. 一時的に預かるサービス
4. 精神的サポートなどを受けられるサービス
5. 介護者同士の交流機会
6. (家族も含めた) 家事支援
7. その他 (具体的に:)
8. 特になし

【すべての方におうかがいします。】

◆ あなたの健康・介護予防について ◆

問22 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つに○)

1. とても良い
2. まあ良い
3. あまり良くない
4. 良くない

問23 あなたは、健康の維持・増進及び病気の予防や要介護状態の改善のため、現在取り組んでいることがありますか。(1つに○)

1. 取り組んでいることがある →問24へ
2. 特に取り組んでいることはない →問23-1へ

【問23で「2. 特に取り組んでいることはない」と回答した方におうかがいします。】

問23-1 取り組んでいない主な理由は何か。(あてはまるものすべてに○)

1. 自分は健康なので必要がないから
2. もう少しい体の状態に自信がなくなっただけからでも遅くないから
3. ほかに自分のやりたいことがあるから
4. 仕事をしているから
5. 興味はあるが取り組み方がわからないから
6. 面倒で気が進まないから
7. 興味をもてないから
8. 知らなかったから
9. その他 (具体的に:)
10. 特に理由はない

【すべての方におうかがいします。】

問24 あなたは、健康の維持増進及び病気の予防や要介護状態の改善のため、今後取り組んでみたいことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自分で定期的な運動や体力づくりの取り組みをする
2. 栄養バランスに気をつけて食事をする
3. よくかむこと、口の中を清潔に保つことに気をつける
4. 区が実施する介護予防の教室や講座に参加する
5. 地域の運動グループやサークルなどに参加する
6. 地域活動(町会・自治会・高齢者クラブ等)をする
7. ボランティア活動をする
8. 家族、友人、知人と交流する
9. 趣味や学習などの活動又は読み書き計算など脳のトレーニングをする
10. 仕事をする
11. その他 (具体的に:)
12. 特に取り組むたいことはない

問25 ご本人(認定調査対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。

(あてはまるものすべてに○)

1. 脳血管疾患(脳卒中)
2. 心疾患(心臓病)
3. 悪性新生物(がん)
4. 呼吸器疾患
5. 腎疾患(透析)
6. 筋骨格系疾患(骨粗しよう症、脊柱管狭窄症等)
7. 膠原病(関節リウマチ含む)
8. 変形性関節疾患
9. 認知症
10. パーキンソン病
11. 難病(パーキンソン病を除く)
12. 糖尿病
13. 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)
14. その他(具体的に:)
15. なし
16. わからない

◆ 医療について ◆

問26 あなたには、かかりつけ医・歯科医・薬局(※)がありますか。

(あてはまるものすべてに○)

※かかりつけ医・歯科医・薬局…普段からかかりつけている患者の健康状態や病歴のことなどを把握しており、医療や健康に関することを気軽に相談できる医師、歯科医師や薬局のこと。医師などが特定されなくても、かかりつけの病院などがあればそれも含みます。

1. かかりつけの医師がいる
2. かかりつけの歯科医師がいる
3. かかりつけの薬局がある
4. どれもなし

問27 あなたが、過去1年間に病氣やけが等で医師や歯科医師に自宅等での訪問による治療（往診）を受けた科目は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 内科 | 9. 麻酔科 |
| 2. 外科 | 10. 心療内科・精神科 |
| 3. 循環器科 | 11. 整形外科 |
| 4. リハビリテーション科 | 12. 皮膚科 |
| 5. 消化器科・胃腸科 | 13. 歯科 |
| 6. 呼吸器科 | 14. その他 |
| 7. 泌尿器科 | (具体的に：) |
| 8. 脳神経外科 | 15. 受けていない |

問28 あなたは新型コロナウイルス感染症や新型コロナウイルスワクチン接種の情報などをどのような方法で入手していますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. 区のホームページ | 11. 病院・薬局 |
| 2. 国や都のホームページ | 12. 家族や友人 |
| 3. 区報 | 13. 高齢者あんしん相談センター |
| 4. 区のケーブルテレビ | 14. 区のコールセンター |
| 5. 区役所・保健所の窓口 | 15. 国・都のコールセンター |
| 6. 国や都の広報 | 16. 介護事業者 |
| 7. テレビ、新聞、雑誌、書籍 | (ケアマネジャー、ヘルパー等) |
| 8. インターネット | 17. その他 |
| 9. SNS（※） | (具体的に：) |
| 10. 学校や職場 | 18. 情報を入手していない |

※SNS …ソーシャルネットワークサービス (Social Networking Service) の略で、登録された利用者が交流できる Web サイトの会員制サービスのこと。

問29 新型コロナウイルス感染症によって、あなたの健康や生活に悪い変化はありましたか。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|---------------------------|
| 1. 健康ではないと感じるようになった |
| 2. 体重が増加した、または減少した |
| 3. 運動する時間が減少した |
| 4. 食生活が乱れた |
| 5. 睡眠時間が減少したり、睡眠の質が下がった |
| 6. ストレスが増えた |
| 7. (喫煙する人のみ) 喫煙量が増加した |
| 8. (飲酒する人のみ) 飲酒量が増加した |
| 9. 家族、友人、同僚や地域とのつながりが減少した |
| 10. 医療機関を受診する機会が減少した |
| 11. 外出の機会が減り、在宅時間が長くなった |
| 12. その他 (具体的に：) |
| 13. 特に悪い変化はない |

問30 新型コロナウイルス感染症が拡大する中で、あなたの健康や生活を改善するために工夫したことがあれば、以下に記入してください。

--

問31 あなたは在宅医療をどのようにして知りましたか。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 医療機関からの紹介 |
| 2. 介護支援専門員、ホームヘルパーなどからの紹介 |
| 3. 医師会に設置している在宅療養相談窓口への相談 |
| 4. 高齢者あんしん相談センターへの相談 |
| 5. 「退院までの準備ガイドブック」「文京かかりつけマップ」など区の出版物 |
| 6. その他 (具体的に：) |
| 7. 知らない |

◆ 認知症について ◆

問32 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。（1つに○）

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問33 あなたは、認知症についてどのようなことをご存知ですか。

(知っているものすべてに○)

- | |
|--|
| 1. 認知症の種類によっては、治るものもある |
| 2. 認知症の診断を受け治療することで、進行を遅らせることができる |
| 3. 認知症の症状は、対応の仕方によって改善することがある |
| 4. 1日30分以上歩くことが、認知症のリスクを低くすることにつながる |
| 5. 自分が地域の中で役割を持っていると感じることが、認知症のリスクを低くすることにつながる |
| 6. 区内医療機関に、専門的な研修を受けた認知症サポーター医（※）がいる |
| 7. 高齢者あんしん相談センターは、認知症の人や家族の相談窓口である |
| 8. 金銭管理や書類の整理・手続き等の支援や成年後見制度を利用することで、財産管理や契約等を手助けしてもらえない |
| 9. 知っているものはない |

※認知症サポーター医…認知症サポーター医養成研修を修了し、「かかりつけ医」への助言等の支援を行うとともに、専門医療機関や高齢者あんしん相談センター等との連携役となる医師。

4. 在宅介護実態調査（聞き取り）

在宅介護実態調査（聞き取り） 調査票

【記入にあたってのお願い】

- ◆ 問Aについては、調査対象者ご本人にお聞きください。ご本人がお答えになれない場合は、ご家族の方などがご本人の意向を汲み取り、代わりに回答してください。
- ◆ 問Bについては、調査対象者ご本人を主に介護しているご家族の方がお答えください。

F 1 【調査対象の方について】

F 1-1 性別（1つに○） 1. 男性 2. 女性 3. その他の性自認

F 1-2 年齢（令和4年10月1日現在） 歳

F 1-3 要介護度（1つに○） 1. 要介護4 2. 要介護5

F 2 【聞き取りを行った相手の方は、どなたですか】（1つに○）

1. 調査対象者本人 3. 主な介護者以外の家族・親族
 2. 主な介護者となっている家族・親族 4. その他

問A

問A 1 世帯類型について、ご回答ください。（1つに○）

1. 単身世帯 2. 夫婦のみ世帯 3. その他

問A 2 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。（1つに○）

1. 大変苦しい 4. ややゆとりがある
 2. やや苦しい 5. 大変ゆとりがある
 3. ふつう

問A 3 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）。（1つに○）

1. ない → 問A11へ

2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない
 3. 週に1～2日ある
 4. 週に3～4日ある
 5. ほぼ毎日ある

問A 4～9へ

【問A 3で2.～5.と回答した方】

問A 4 主な介護者の方は、どなたですか。（1つに○）

1. 配偶者 2. 子 3. 子の配偶者 4. 孫・ひ孫 5. 兄弟・姉妹 6. その他

【問A 3で2.～5.と回答した方】

問A 5 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。（1つに○）

1. 男性 2. 女性 3. その他の性自認

【問A 3で2.～5.と回答した方】

問A 6 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。（1つに○）

1. 18歳未満 4. 40代 7. 70代
 2. 18～29歳 5. 50代 8. 80歳以上
 3. 30代 6. 60代 9. わからない

【問A 3で2.～5.と回答した方】

問A 7 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。（あてはまるものすべてに○）

〔身体介護〕

1. 日中の排泄 7. 屋内の移乗・移動
 2. 夜間の排泄 8. 外出の付き添い、送迎等
 3. 食事の介助（食べる時） 9. 服薬
 4. 入浴・洗身 10. 認知症状への対応
 5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等） 11. 医療面での対応
 6. 衣服の着脱（経管栄養、ストーマ（※）等）

〔生活援助・その他〕

12. 食事の準備（調理等）
 13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）
 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き
 15. その他（具体的に：
 16. わからない

（※）ストーマ…大腸等から直接、排便できる医療的な対応

【問A3で2.～5.と回答した方】

問A8 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）。（あてはまるものすべてに○）
※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

1. 主な介護者が仕事を辞めた・退学した（転職除く）
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた・退学した（転職除く）
3. 主な介護者が転職・転学した
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職・転学した
5. 主な介護者が進学・就職を諦めた
6. 主な介護者以外の家族・親族が進学・就職を諦めた
7. 介護のために仕事・学業を辞めた家族・親族はいない
8. わからない

【問A3で2.～5.と回答した方】

問A9 現在、主な介護者の方は、ご本人以外に他の人の介護や子育て等をしていただけますか。（1つに○）

1. している	→	問A10へ
2. していない	→	問A11へ

● 問A9で「1. している」を回答した場合は、問A10も回答してください。

問A10 介護される人及び子ども等全員とその人数をお答えください。
（あてはまるものすべてに○をし、その人数を記入してください。）

1. 親	()	人	2. 子	()	人	3. 配偶者	4. その他(続柄)	()	人
------	-----	---	------	-----	---	--------	------------	-----	---

● ここから再び、全員に調査してください。

問A11 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。（あてはまるものすべてに○）

※ 総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含まれます。

1. 配食	7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等）
2. 調理	8. 見守り、声かけ
3. 掃除・洗濯	9. サロンなどの定期的な通いの場
4. 買い物（宅配は含まない）	10. 金銭管理や書類の整理・手続きの支援
5. ゴミ出し	11. その他（具体的に：)
6. 外出同行（通院、買い物など）	12. 利用していない

問A12 今後の在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。
（あてはまるものすべてに○）

※ 介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含まれます。

1. 配食	7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等）
2. 調理	8. 見守り、声かけ
3. 掃除・洗濯	9. サロンなどの定期的な通いの場
4. 買い物（宅配は含まない）	10. 金銭管理や書類の整理・手続きの支援
5. ゴミ出し	11. その他（具体的に：)
6. 外出同行（通院、買い物など）	12. 特になし

問A13 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。
（1つに○）

※ 「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

1. 入所・入居を検討していない	3. すでに入所・入居申し込みをしている
2. 入所・入居を検討している	

問A14 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。
 （あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-------------------------------|--------------------|
| 1. 脳血管疾患（脳卒中） | 9. 認知症 |
| 2. 心疾患（心臓病） | 10. パーキンソン病 |
| 3. 悪性新生物（がん） | 11. 難病（パーキンソン病を除く） |
| 4. 呼吸器疾患 | 12. 糖尿病 |
| 5. 腎疾患（透析） | 13. 眼科・耳鼻科疾患 |
| 6. 筋骨格系疾患
（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等） | 14. その他（具体的に：
） |
| 7. 膠原病（関節リウマチ含む） | 15. なし |
| 8. 変形性関節疾患 | 16. わからない |

問A15 あなたが、過去1年間に病气やけが等で医師や歯科医師に自宅等での訪問による治療（往診）を受けた科目は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---------------|------------------------|
| 1. 内科 | 9. 麻酔科 |
| 2. 外科 | 10. 心療内科・精神科 |
| 3. 循環器科 | 11. 整形外科 |
| 4. リハビリテーション科 | 12. 皮膚科 |
| 5. 消化器科・胃腸科 | 13. 歯科 |
| 6. 呼吸器科 | 14. その他
（具体的に：
） |
| 7. 泌尿器科 | 15. 受けていない |
| 8. 脳神経外科 | |

問A16 最近の1か月間に、介護保険サービスを利用しましたか。（1つに○）

- | | |
|---------------------------------|------------------------------------|
| 1. 利用した → 問A17へ | 2. 利用していない → 問A18へ |
|---------------------------------|------------------------------------|

● 問A16で「1. 利用した」を回答した場合は、問A17も調査してください。

問A17 新型コロナウイルス感染症の影響で、①利用するようになった、又は、②利用しなくなったサービスはありますか。（それぞれあてはまるものすべてに○）

	利用の有無 (A～Nそれぞれあてはまるものすべてに○)	
	①利用するようになった	②利用しなくなった
A. 訪問介護（ホームヘルプサービス）	1	1
B. 訪問入浴介護	2	2
C. 訪問看護	3	3
D. 訪問リハビリテーション	4	4
E. 通所介護（デイサービス）	5	5
F. 通所リハビリテーション（デイケア）	6	6
G. 夜間対応型訪問介護	7	7
H. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	8	8
I. 小規模多機能型居宅介護	9	9
J. 看護小規模多機能型居宅介護	10	10
K. 住宅改修	11	11
L. 福祉用具購入・貸与	12	12
M. ショートステイ	13	13
N. 居宅療養管理指導	14	14
あてはまるものはない	15	15

● 問A16で「2. 利用していない」を回答した場合は、問A18も調査してください。

問A18 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。
 （あてはまるものすべてに○）

- | |
|--|
| 1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2. 本人にサービス利用の希望がない
3. 家族が介護をするため必要ない
4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用料を支払うのが難しい
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない
9. その他（具体的に：
） |
|--|

● ここから再び、全員に調査してください。

問A19 あなたは新型コロナウイルス感染症や新型コロナウイルスワクチン接種の情報をごどのような方法で入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|------------------------------|
| 1. 区のホームページ | 11. 病院・薬局 |
| 2. 区や都のホームページ | 12. 家族や友人 |
| 3. 区報 | 13. 高齢者あんしん相談センター |
| 4. 区のケーブルテレビ | 14. 区のコールセンター |
| 5. 区役所・保健所の窓口 | 15. 国・都のコールセンター |
| 6. 国や都の広報 | 16. 介護事業者
(ケアマネジャー、ヘルパー等) |
| 7. テレビ、新聞、雑誌、書籍 | 17. その他
(具体的に：) |
| 8. インターネット | 18. 情報を入手していない |
| 9. SNS | |
| 10. 学校や職場 | |

問A20 新型コロナウイルス感染症によって、あなたの健康や生活に悪い変化はありましたか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---------------------------|
| 1. 健康ではないと感じるようになった |
| 2. 体重が増加した、または減少した |
| 3. 運動する時間が減少した |
| 4. 食生活が乱れた |
| 5. 睡眠時間が減少したり、睡眠の質が下がった |
| 6. ストレスが増えた |
| 7. (喫煙する人のみ) 喫煙量が増加した |
| 8. (飲酒する人のみ) 飲酒量が増加した |
| 9. 家族、友人、同僚や地域とのつながりが減少した |
| 10. 医療機関を受診する機会が減少した |
| 11. 外出の機会が減り、在宅時間が長くなった |
| 12. その他 (具体的に：) |
| 13. 特に悪い変化はない |

問A21 新型コロナウイルス感染症が拡大する中で、あなたの健康や生活を改善するために工夫したことがあれば、以下に記入してください。

--

問B

問B1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(1つに○)

- | | |
|----------------------|---------|
| 1. フルタイムで働いている | 問B 2～4へ |
| 2. パートタイム (※) で働いている | |
| 3. 昼間課過程校で就学している | 問B 5へ |
| 4. 夜間・通信課程校で就学している | |
| 5. 働いていない・就学していない | |
| 6. わからない | |
| 7. その他 (具体的に：) | |

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」、「パートタイム」のいずれかを選択してください。

【問B1で「1. フルタイム～」 「2. パートタイム～」と回答した方】

問B2 主な介護者の方は、介護をするに当たって、何か働き方についての調整等をしていきますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1. 特に行っていない |
| 2. 介護のために、「労働時間を調整 (残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている |
| 3. 介護のために、「休暇 (年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている |
| 4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている |
| 5. 介護のために、上記2～4以外の調整をしながら、働いている |
| 6. 主な介護者に確認しないと、わからない |

【問B1で「1. フルタイム～」 「2. パートタイム～」と回答した方】

問B3 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(3つまで○)

<ol style="list-style-type: none"> 1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない 2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実 3. 制度を利用しやすい職場づくり 4. 労働時間の柔軟な選択 (フレックスタイトム制など) 5. 働く場所の多様な選択 (在宅勤務・テレワークなど) 6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供 7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置 8. 介護をしている従業員への経済的な支援 9. その他 (具体的に:) 10. 特にない 11. 主な介護者に確認しないと、わからない
--

【問B1で「1. フルタイム～」 「2. パートタイム～」と回答した方】

問B4 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(1つに○)

<ol style="list-style-type: none"> 1. 問題なく、続けていける 2. 問題はあるが、何とか続けていける 3. 続けていくのは、やや難しい 4. 続けていくのは、かなり難しい 5. 主な介護者に確認しないと、わからない

【問B1で「5. 働いていない・就学していない」と回答した方】

問B5 ふだんどのくらい外出しますか。(1つに○)

<ol style="list-style-type: none"> 1. ほとんど毎日外出する 2. 週に3～4日は外出する 3. 人付き合いがあり、ときどき外出する 4. 人付き合いも無く、ほとんど外出しない 	<p>↑</p> <p>問B5-1へ</p>	<p>→</p> <p>問B5-2へ</p>
--	------------------------	------------------------

【問B5で「1～3」と回答した方】

問B5-1 あなたは今までに、以下のような状態になったことはありますか。(1つに○)

<ol style="list-style-type: none"> 1. 6か月以上、人付き合いもなく、ほとんど外出しない 2. 上記のような状態になったことはない 	<p>→</p> <p>問B5-1-1へ</p>	<p>→</p> <p>問B5-2へ</p>
---	--------------------------	------------------------

【問B5-1で「1. 6か月以上～」と回答した方】

問B5-1-1 その状態から、問B5で回答した現在の状態になったきっかけや役立ったことは何だと思えますか。ご自由にお書きください。

--

【問B5で「4. 人付き合いも無く～」、または問B5-1で「2. 上記のような～」と回答した方】

問B5-2 最近6か月間に家族以外の人と会話しましたか。(1つに○)

<ol style="list-style-type: none"> 1. よく会話をした 2. ときどき会話をした 3. ほとんど会話をしなかった 4. まったく会話をしなかった
--

● 問B6は、全員の方におうかがいします。

問B6 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください (現状で行っているか否かは問いません)。(3つまで○)

<p>(身体介護)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日中の排泄 2. 夜間の排泄 3. 食事の介助 (食べる時) 4. 入浴・洗身 5. 身だしなみ (洗顔・歯磨き等) 6. 衣服の着脱 <p>(生活援助・その他)</p> <ol style="list-style-type: none"> 12. 食事の準備 (調理等) 13. その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等) 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き 15. その他 (具体的に:) 16. 不安に感じていることは、特にない 17. 主な介護者に確認しないと、わからない 	<ol style="list-style-type: none"> 7. 屋内の移乗・移動 8. 外出の付き添い、送迎等 9. 服薬 10. 認知症状への対応 11. 医療面での対応 (経管栄養、ストーマ (※) 等)
--	---

(※) ストーマ…大腸等から直接、排便できる医療的な対応

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

5. 介護サービス事業者調査

問1 貴事業所で提供している介護保険の指定介護サービス事業についておかがいします。同一事業所内で実施している主とするサービスの種類はどれですか。以下のうち、1つだけお選びください。

*「主とするサービス」とは、同一事業所内で実施しているサービスのうち最も事業収入が多い介護保険の指定介護サービスをいいます。

サービスの種類		主とするサービス1つに○
居宅サービス	1. 居宅介護支援	1
	2. 訪問介護	2
	3. 訪問入浴介護	3
	4. 訪問看護	4
	5. 訪問リハビリテーション	5
	6. 居宅療養管理指導	6
	7. 通所介護	7
	8. 通所リハビリテーション	8
	9. 短期入所療養介護	9
	10. 短期入所介護	10
	11. 特定施設入居者生活介護	11
	12. 福祉用具貸与	12
	13. 特定福祉用具購入	13
	14. 介護老人福祉施設	14
施設サービス	15. 介護老人保健施設	15
	16. 夜間対応型訪問介護	16
	17. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	17
	18. 認知症対応型通所介護	18
	19. 小規模多機能型居宅介護	19
	20. 看護小規模多機能型居宅介護	20
	21. 認知症対応型共同生活介護	21
	22. 地域密着型介護老人福祉施設	22
	23. 地域密着型通所介護	23
	24. 介護予防支援	24
予防給付サービス	25. 介護予防訪問入浴介護	25
	26. 介護予防訪問看護	26
	27. 介護予防訪問リハビリテーション	27
	28. 介護予防居宅療養管理指導	28
	29. 介護予防通所リハビリテーション	29
	30. 介護予防短期入所生活介護	30
	31. 介護予防短期入所療養介護	31
	32. 介護予防特定施設入居者生活介護	32
	33. 介護予防福祉用具貸与	33
	34. 介護予防特定福祉用具購入	34
	35. 介護予防認知症対応型通所介護	35
	36. 介護予防小規模多機能型居宅介護	36
	37. 介護予防認知症対応型共同生活介護	37
	38. 訪問型サービス	38
	39. 通所型サービス	39

介護サービス事業者調査

日頃から、文京区の介護保険事業の円滑な運営にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

高齢者人口が増加する中、介護サービスを支える人材が全国的に不足しており、介護サービスを安定的に提供していくためには、介護人材の確保と定着が喫緊の課題となっております。

そこで、文京区においては、区内の介護サービス事業所における介護人材の現状とともに、防災対策等の危機管理体制や介護保険サービスの質の向上への取組状況を把握し、今後の介護サービスの提供基盤の整備に資するため、区内の介護サービス事業所を対象（原則として事業所番号を単位）として、本調査を実施することといたしました。

この調査結果は、統計的に処理を行い、令和5年度に策定する高齢者・介護保険事業計画（令和6年度～8年度）の基礎資料とさせていただきます。

ご多忙のところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年9月

文京区長 成澤 廣修

一ご記入にあたってのお願いー

1. この調査票は、**管理者またはそれに準ずる方がご記入**ください。
2. 特にことわりのない限り、令和4年9月1日現在の状況でお答えください。
3. ご回答いただきました調査票は、**10月21日(金)**までに、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにポストに投かんしてください。
(インターネットによりご回答いただく場合は、調査票を返信いただく必要ありません。)

事業所名をご記入ください。

【調査実施主体】 文京区福祉部 介護保険課 介護保険管理係
〒112-8555 文京区春日1-16-21 電話：03-5803-1389

この調査の実施・問合せセンターの運営は、株式会社サーベイリサーチセンターに委託しています。ご不明な点等ございましたら、お手数ですが下記の問合せセンターへお問合せください。

高齢者・介護保険事業計画のための調査 問合せセンター
＜通話無料＞ 0120-200-680
月曜日～土曜日（祝祭日を除く）午前9時～午後5時

※サーベイリサーチセンターは、日本情報処理開発協会より個人情報の適切な取り扱いを行う事業者が付与されるプライバシーマークの付与認定を受けています。

問 1-1 問 1 で○をつけた「主とするサービス」の、要介護度別の利用者数を令和 4 年 9 月 1 日現在でご回答ください。

(※ 主とするサービス以外の利用者数を除く)

要支援 1	人	要介護 1	人
要支援 2	人	要介護 2	人
		要介護 3	人
		要介護 4	人
		要介護 5	人

問 2 令和 2 年度（令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日）の事業収入を 100% とした場合、令和 3 年度（令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日、以下同じ）1 年間の事業収入はどのようになりましたか。（概算の数値をご記入ください。）

* 令和 3 年 4 月以降に事業所開始した事業所は回答不要です。

令和 3 年度の事業収入	約	%
--------------	---	---

問 3 貴事業所の令和 3 年度の収支状況において、介護事業収入に占める人件費の割合を概算の数値でご記入ください。

* 社会保険料、交通費等を含めて算出してください。人件費には派遣職員に要する経費及び委託費（外注費等）を含みます。

介護事業収入に占める人件費の割合	約	%
------------------	---	---

問 4 貴事業所の属する法人の種類はどれですか。（1 つに○）

- | | |
|--|---|
| 1. 民間企業
2. 社会福祉法人
3. 医療法人
4. NPO 法人
5. 一般社団法人・一般財団法人
6. 協同組合（農協・生協）
7. その他（具体的に： |) |
|--|---|

問 5 貴事業所の令和 4 年 3 月 31 日現在の全従業員は何人ですか。そのうち、介護保険の指定介護サービス事業の配置基準に基づき従事する従業員の職種別従業員数について、令和 4 年 3 月 31 日現在の人数を記入ください。（兼務している場合は主たる職種を記載）
該当者がいない欄は、「0」をご記入ください。

職種別 (下記の職種のみのみ) ^(注1)	1. 正社員 ^(注2)			2. 非正社員 ^(注2)		
	男性	女性	その他の 性自認 ^(注3)	男性	女性	その他の 性自認 ^(注3)
① 全従業員数 ^(注4)	人	人	人	人	人	人
② うち介護保険の指定サービス事業の配置基準に基づき従事する従業員数 ^(注5) ②-1～8 合計	人	人	人	人	人	人
②-1 介護職	人	人	人	人	人	人
②-2 介護支援専門員	人	人	人	人	人	人
②-3 医師	人	人	人	人	人	人
②-4 看護職	人	人	人	人	人	人
②-5 生活相談員	人	人	人	人	人	人
②-6 機能訓練指導員	人	人	人	人	人	人
②-7 栄養士	人	人	人	人	人	人
②-8 その他	人	人	人	人	人	人

(注 1) 資格ではなく、従事している仕事（職種）に着目してご記入ください。
なお、兼務している職員については、主として従事する仕事（職種）のみご記入ください。

(注 2) 正規職員・非正規職員とは
正規職員（雇用している労働者で労働時間に関係なく雇用期間の定めのない者）
非正規職員（正規職員以外の労働者（契約、嘱託、パートなど））

(注 3) 派遣・委託の欄には、非正規職員の内数としてご記入ください。

(注 4) 貴事業所の全従業員数とは
職種や役職等に関係なく、貴事業所が実施するすべての事業に従事する者の在籍者総数（常勤労働者換算ではありません）です。

(注 5) うち介護保険の指定介護サービス事業に従事する従業員数とは
職種や役職等に関係なく、介護保険の指定介護サービス事業に従事する者の総数です。

なお、該当者がいない場合は、「0」をご記入ください。

問6 貴事業所の介護保険の指定介護サービス事業に従事する従業員（問5の②-1介護職員）について、ア.の欄に1年間（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）の採用者数と離職者数（注1）をご記入ください。

また、イ.の欄に1年間で離職した者のうち、勤務年数が「1年未満の者」及び「1年以上3年未満の者」の人数をご記入ください。ウ.の欄に1年間で離職した者のうち、年代が「20代以下」、「30～50代」及び「60代以上」の人数をご記入ください。

該当者がいない欄は、「0」をご記入ください。

ア.	1年間の採用者・離職者		ウ. (注4)
	採用者数	離職者数	
イ.	離職者の内数 (勤務年数別)	離職者の内数 (年代別)	ウ. (注4)
	1年以上3年未満の者の数	20代以下 30～50代 60代以上	
2 職種 (計)	人	人	人
① 訪問介護員 (注2)	訪問介護員 (計)	人	人
	1. 正規職員	人	人
	2. 非正規職員 (計)	人	人
	常勤労働者	人	人
	短時間労働者	人	人
② その他介護職員 (注3)	その他介護職員 (計)	人	人
	1. 正規職員	人	人
	2. 非正規職員 (計)	人	人
	常勤労働者	人	人
	短時間労働者	人	人

(注1) 「離職者」とは、調査対象期間中に事業所を退職したり、解雇された者をいい、他企業への出向者・出向復帰者を含み、同一企業内での転出入者を除きます。

(注2) 「訪問介護員」とは、訪問介護及び訪問入浴に従事する介護職員をいいます。

(注3) 「その他介護職員」とは、訪問介護員以外の介護職員をいう。看護職員は含まれません。

(注4) ウの「20代以下」「30～50代」「60代以上」の計は、同じ行のアの「離職者数」と一致する。

問7 従業員の過不足の状況はどうですか。職種別（注1）と、従業員全体についてご回答ください。（①～⑧と全体でみた場合、それぞれ1つに○）

職種	過不足状況					6. 当該職種はない
	1. 大いに不足	2. 不足	3. やや不足	4. 適当	5. 過剰	
①介護職	1	2	3	4	5	6
②介護支援専門員	1	2	3	4	5	6
③医師	1	2	3	4	5	6
④看護職	1	2	3	4	5	6
⑤生活相談員	1	2	3	4	5	6
⑥機能訓練指導員	1	2	3	4	5	6
⑦栄養士	1	2	3	4	5	6
⑧その他	1	2	3	4	5	6
従業員全体でみた場合 (上記①～⑧について)	1	2	3	4	5	6

(注1) 資格保有者ではなく、その仕事（職種）に就く者について記入する。

問7-1へ

【問7-1は、問7「従業員全体でみた場合」で「1. 大いに不足」「2. 不足」「3. やや不足」と回答した事業所におうかがいします。それ以外の事業所は問8へ進んでください。】

問7-1 不足（注2）と感じる主な理由は何ですか。（1つに○）

1. 採用が困難 → 問7-1-1～3へ

2. 離職率が高い（定着率が低い）

3. 事業を拡大したいが人材が確保できない

4. その他（具体的に：)

問8へ

(注2) 「不足」とは、募集する必要がある状態をいう。

【問7-1-1～3は、問7-1で「1. 採用が困難」と回答した事業所におうかがいします。】

問7-1-1 採用が困難な主な原因はどこにあると考えていますか。(1つに○)

1. 給与面の問題 (例：賃金が低い) 2. 待遇面の問題 (例：休みが取りにくい、社会的評価が低い) 3. 精神的にきつい 4. わからない
--

問7-1-2 上記以外に特筆すべき要因があればご記入ください。

--

問7-1-3 夜勤及び日勤において、採用が困難な職種はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

① 夜勤

1. 介護職	5. 生活相談員	9. 採用が困難な職種はない
2. 介護支援専門員	6. 機能訓練指導員	
3. 医師	7. 栄養士	
4. 看護職	8. その他(注1)	

② 昼勤

1. 介護職	5. 生活相談員	9. 採用が困難な職種はない
2. 介護支援専門員	6. 機能訓練指導員	
3. 医師	7. 栄養士	
4. 看護職	8. その他(注1)	

(注1) 例：事務職、ドライバー

※ 夜勤と日勤の概念については事業所により異なるため、事業所の見解によりご記入いただいて構いません。

【ここからすべての事業所におうかがいします。】

問8 介護人材を確保するため、どのような取組を実施されていますか。(あてはまるものすべてに○)

広報活動等 1. ハローワークの求人募集 2. インターネット(求人サイト) 3. 新聞・チラシの求人募集 4. 就職相談会・説明会の開催 5. 学校・養成施設等へのPR活動 6. 事業所員による勧誘活動 7. 事業所見学・実習生の受け入れ等 8. 介護の魅力を発信するイベント等を行っている 9. その他(具体的に：)
企業方針等 10. 採用にあたり、事業所の経営理念、運営方針、業務内容を十分説明し、就労後のミスマッチの解消に努めている 11. 従業員が育児や介護のために仕事と家庭生活の両立ができるよう、ワーク・ライフ・バランスの推進をしている 12. 従業員の賃金について、職能給や業績給などキャリアに連動した給与体系を整備している 13. 教育研修や資格取得支援等を行い、従業員の人材育成に努めている 14. 従業員が悩みや不安・不満、疑問点を上司や同僚に気軽に相談できる体制づくりや相談窓口を整備している 15. その他(具体的に：) 16. 特にない

問9 今後取り組みたい人材確保策はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 経済連携協定(EPA(注1))等による外国人労働者の受入 2. 在留資格「介護」「技能実習」「特定技能1号」による外国人労働者の受入 3. 介護ロボットを導入 4. ICT(注2)の活用 5. 高齢者の介護助手(注3) → 問9-1～3へ 6. その他(具体的に：) 7. 特にない
--

(注1) EPA…経済連携協定 (Economic Partnership Agreement)。
 (注2) ICT…情報通信技術 (Information and Communication Technology)。
 (注3) 介護助手…明確な定義はないが通常、掃除やベッドメイク、食事の配膳など介護の周辺業務を手掛ける職員を指す。1日3時間、週3日程度で勤務するケースが多い。高齢者の活躍の場として活かすことができ、介護職員の負担軽減につながる。高年齢者の活躍の場として活かすことができ、介護職員の負担軽減につながる。高年齢者の活躍の場として活かすことができ、介護職員の負担軽減につながる。

【問9-1～3は、問9で「5. 高齢者の介護助手」と回答した事業所におうかがいします。】

問9-1 介護助手の人材確保ができる見込みはありますか。(1つに○)

1. (確保できる見込み) がある 2. (確保できる見込み) はない

問9-2 介護助手の人材確保をするためには、どのような支援があればよいと思いますか。最も重要と思われる施策を1つお選びください。(1つに○)

1. 人材の紹介 3. その他(具体的に: _____)

2. 経費の補助

問9-3 高齢者の介護助手に、具体的に何をしてもらうことで、どのような負担軽減が見込めますか。ご自由ににご記入ください。

(例) 日中、高齢者の話し相手となってもえれば、他の職員の業務が重点的に行える。

【すべての事業所におうかがいします。】

問10 貴事業所では、令和4年9月1日現在、概ね10年以内に来日した外国人を雇用していますか。(1つに○)

1. 雇用している → 問10-1・2へ 2. 雇用していない → 問11へ

【問10-1・2は、問10で「1. 雇用している」と回答した事業所におうかがいします。】

問10-1 その方の国籍と人数をご記入ください。

国籍	人数
	人
	人
	人
	人
	人

問10-2 問9の1又は2により受け入れている職員は何人いますか。いる場合はそれぞれの人数をご記入ください。

1. いる → ■EPA(_____)人
 ■在留資格「介護」「技能実習」「特定技能1号」(_____)人
 2. いない → 問11へ

【問10-2-1は、問10-2で「1. いる」と回答した事業所におうかがいします。】
 問10-2-1 問9の1又は2で人材を受け入れたことでのどのような効果がありましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 事業所内のルール化、作業手順のマニュアル化の促進
 2. 作業を教える意識の発生
 3. 仕事への意識の向上
 4. 情報の共有化
 5. 思考のプロセスの可視化
 6. 異文化への理解促進
 7. その他(具体的に: _____)
 8. 特に効果はなかった

【すべての事業所におうかがいします。】

問11 今後、問9の1または2により人材を受け入れる予定はありますか。(1つに○)

1. 今後、受け入れる予定である
 2. 受け入れに向けて検討中である
 3. 関心はあるが、具体的な検討はしていない
 4. 受け入れの予定はない
 5. わからない → 問11-1へ
 6. 受け入れ対象のサービス(施設)ではない

→ 問11-1へ

【問11で1～3、または5と回答した事業所におうかがいします。】

問11-1 問9の1または2を活用して人材を受け入れるに当たり、課題と思われるものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 日本語学習環境の整備
 2. 在留数の制限
 3. 受け入れ費用
 4. 利用者や従業員同士のコミュニケーション
 5. 国家試験に合格しなければ継続勤務できないこと
 6. 指導者がいない
 7. 受け入れ体制が整わない(例: 宗教上の配慮)
 8. その他(具体的に: _____)

【ここからすべての事業所の方におかがいします。】

問12 (1) 次の介護福祉機器（介護ロボット・ICT機器等）を導入していますか。
 (あてはまるものすべてに○)
 また、導入の有無にかかわらず、(2) 従業員の身体的負担軽減や腰痛予防、緩和に効果があると思われるもの、(3) 従業員の業務効率に効果があると思われるものについて○をつけてください。(それぞれ主なもの5つに○)

※ 15.については、() 内に記入をお願いします。
 ※ 16及び17に○をつけた場合は、それぞれの列において他の番号に○はつけないでください。

回答例 ↓	(1)	(2)	(3)
	も導 の入 し て い る	もる減身 のとに体 思効的 わ負負 れが担 るあ軽	わ果業 れが務 るあ効 もる整 るのこに 思効
1. 移動用リフト（立位補助機（スタンディングマシーン）を含む）	1	1	1
2. 自動車用車いすリフト（福祉車両の場合は、車両本体を除いたリフト部分のみ）	2	2	2
3. ベッド（傾斜角度、高さが調整できるもの。マットレスは除く）	3	3	3
4. 座面昇降機能付車いす	4	4	4
5. 特殊浴槽（移動用リフトと共に移動するもの、側面が開閉可能なもの）	5	5	5
6. ストレッチャー（入浴用に使用するものを含む）	6	6	6
7. シャワーキャリー	7	7	7
8. 昇降装置（人の移動に使用するものに限る）	8	8	8
9. 車いす体重計	9	9	9
10. リハビリに関する介護ロボット、ICT機器	10	10	10
11. 情報共有・伝達に係るインカム等のICT機器	11	11	11
12. 介護記録をタブレット等で記録・管理するICT機器	12	12	12
13. 見守り（離床、寝返り、呼吸等）のためのICT機器	13	13	13
14. 排泄タイミング予知のICT機器	14	14	14
15. その他介護福祉機器 ()	15	15	15
16. いずれも導入していない	16	16	
17. いずれも効果はない	17	17	17

問13 ワーク・ライフ・バランスの推進について、どのような取組をしていますか。
 (あてはまるものすべてに○)

1. 長時間労働の縮減に努めている
2. 時差出勤、短時間勤務の選択など柔軟な働き方を可能としている
3. 育児や介護のための休暇制度を就業規則に盛り込んでいる
4. 両立支援アドバイザーなどの相談体制がある
5. その他（具体的に：)
6. 特に取り組んでいることはない

問14 育児休業・介護休業の取得申請があった場合に、貴事業所としてどのような対応をしていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 申請者に対して休業取得前からの勤務軽減をしている
2. 業務分担の見直し
3. 職場全体で取りやすい環境を整備している
4. 休業期間中の代替従業員の早期確保
5. 復帰後のプランについて、従業員と話し合う
6. その他（具体的に：)
7. 特に対応をしていない

問15 人材育成のために具体的にどのような取組を行っていますか。
 (あてはまるものすべてに○)

1. 教育・研修計画を立て、実施している
2. 教育・研修の責任者又は担当部署を置いている
3. 採用時に教育・研修を充実させている
4. 先輩職員によるOJT（職務中の実践的な研修）を実施している
5. 法人全体で連携して取り組んでいる
6. 自治体や業界全体の主催する教育・研修に積極的に参加させている
7. 地域の同業者と勉強会を開いている
8. その他（具体的に：)
9. 特に取り組んでいない

問16 人材の育成・定着のために有効だと思うポイントは何ですか。（3つまでに○）

1. 研修の充実
2. 働きやすい職場環境
3. 福利厚生の充実
4. 給与・待遇
5. 良好な従事者間のコミュニケーション
6. 上司・管理者との相談体制の充実
7. 仕事のやりがい
8. その他（具体的に：)

問17 高齢者の権利擁護（成年後見制度、意思決定支援等）や職員による虐待防止のため
に、事業者として必要だと思う取組は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

【権利擁護】

1. 従事者及び管理者間のコミュニケーションを高め、事業所内の相談体制を整えること
2. 他機関と連携すること
3. 研修などによって、介護者のスキルや意識を向上させること
4. 職員が利用者に関わる時間を確保すること
5. 利用者や家族の意識が変わること
6. その他（具体的に： _____）

【職員による虐待防止】

1. 従事者及び管理者間のコミュニケーションを高め、事業所内の相談体制を整えること
2. 他機関と連携すること
3. 通報できる体制を整えること
4. 研修などによって、介護者のスキルや意識を向上させること
5. 介護従事者の給与や人員を十分に配置するなど職場環境を改善し、職員が利用者に関わる時間を確保すること
6. ITやロボットなどの導入によって介護の仕事の負担を減らし、職員が利用者に関わる時間を確保すること
7. 利用者や家族の意識が変わること
8. その他（具体的に： _____）

問18 従事者から具体的にどのような相談が多いですか。（3つまでに○）

1. 職場内の人間関係、セクシュアルハラスメント（セクハラ）やパワーハラスメント（パワーハラ） →問18-1へ
2. コンプライアンス
3. 自身のメンタルヘルス不調
4. 利用者及びその家族からのセクハラやパワーハラ →問18-2へ
5. 人事評価・キャリア
6. 賞金、労働時間等の勤務条件
7. その他（具体的に： _____）
8. 相談されたことはない

（問18で「1.」「4.」を回答されていない事業所の方は、問19へ）

【問18-1は、問18で「1. 職場内の人間関係、セクハラやパワーハラ」と回答した事業所
におうかがいします。】

問18-1 セクハラ及びパワーハラの予防のためにどのようなことに取り組んでいますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 管理職・従業員に対するハラスメントに関する理解を深めるための教育・研修を実施
2. 専門家などによる講義の実施
3. ビデオ教材の視聴とグループ討議の実施
4. 職場での意見交換会・グループワーク
5. 苦情処理機関の設置
6. ハンフレットを作成し、啓発
7. その他（具体的に： _____）
8. 特に取り組んでいない

【問18-2は、問18で「4. 利用者及びその家族からのセクハラやパワーハラ」と回答した
事業所におうかがいします。】

問18-2 「利用者やその家族からのハラスメントを受けた」と従業員等からの相談を受
けた場合、どのように対処されることが多いですか。主なものを1つだけお選び
ください。（1つに○）

1. 担当を替える
2. 利用者やその家族に対して、ハラスメントをしないように事業所として依頼する
3. 加齢や病気の影響による可能性があるため、経過を見ながら対応するよう従事者に説明している
4. 対策できていない
5. その他（具体的に： _____）

【ここからすべての事業所の方におうかがいします。】

問19 災害発生時に向けてどのような準備・対策を行っていますか。
（あてはまるものすべてに○）

1. 災害発生時対応マニュアルの整備
2. 従業員や利用者の3日分の備蓄の確保
3. 避難経路の確保
4. 家具や什器等の転倒・落下防止
5. 緊急連絡網の作成
6. 事業所が行っている対策を利用者と利用者の家族に周知
7. 家族との連絡手段の確保
8. その他（具体的に： _____）
9. 特に取り組んでいない

問20 災害発生時の避難や安否確認に関する訓練を実施していますか。(1つに○)

1. 事業所単独で実施している
 2. 地域(町会等)と合同で実施している
 3. その他(具体的に：
 4. 特に行っていない)

問21 不審者等に対し、どのような準備対策を行っていますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 不審者対策マニュアルの整備
 2. 防犯カメラ等の不審者対策の設備を整備している
 (具体的に：
 3. さすまた等の不審者対策の道具を備え付けている
 (具体的に：
 4. 警察と連携して定期的な訓練を行っている
 5. その他(具体的に：
 6. 特に行っていない)

問22 感染症等の予防に向けて一般的にどのような対策を実施していますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. (従業員に対して)研修等の実施による感染症に関する基礎知識の習得
 2. 感染症予防マニュアルの整備
 3. 従業員の健康管理
 4. 事業所内の設備等について日々清掃・消毒の徹底
 5. 介護・看護ケア前後のうがい、手洗いの徹底
 6. 衛生用品等(マスク、手袋、消毒液等)の購入
 7. その他(具体的に：
 8. 特に行っていない)

問23 新型コロナウイルス感染症について、どちらから情報収集していますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 医療機関
 2. 高齢者あんしん相談センター
 3. 区のホームページ
 4. 区のコールセンター
 5. 国・都のホームページまたはコールセンター
 6. ケア倶楽部
 7. 区の窓口
 8. 区の通知
 9. 国・都の通知
 10. グループ内または他施設
 11. その他(具体的に：
 12. 特に情報収集していない)

問24 サービスの質を向上させるために、どのような取組を行っていますか。
 (あてはまるものすべてに○)

1. 事業所内での研修・講習会
 2. 外部の研修・勉強会への参加
 3. 事故防止対策
 4. サービス提供マニュアルの整備
 5. 苦情・相談の受付体制の整備
 6. 個人情報保護の徹底管理
 7. 第三者評価
 8. 利用者からの評価
 9. 従業員の資格取得支援
 10. その他
 (具体的に：
 11. 特にない)

問25 医療との連携について具体的に取組はありますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 入院時に医療関係者と介護サービス担当者で打合せ
 2. 主治医や病院の地域連携室等との連携
 3. 事例検討会の実施
 4. 個別ケース会議の実施
 5. 各職種専門性の相互理解のための研修会
 6. 関係者間で情報を共有するシステムの活用
 7. 多職種をコーディネートする人材育成
 8. その他(具体的に：
 9. 特にない)

問26 医療との連携を更に進めるためには、ということが必要だと思いますか。ご自由
 にご記入ください。

(ここに自由記入欄)

問27 ダブルケアについての設問です。利用者の家族に子育て等(※)と介護を同時に行
 っているケースがあります(ありました)か。事業所として把握していない場合でも、
 介護従事者の体験などを参考に回答してください。

(本調査は事業所単位で行っていますので、本設問に関しては、同一法人内で調整の
 上、回答が重複しないようにお願いします。)

※「子育て等」とは…18歳未満の子育てや、障害者の介助などを指す。

1. (子育て等と介護を同時に行っているケースが) ある → 問27-1へ
 2. ない → 問28へ (1つに○)

【問27-1は、問27で「1. ある」と回答した事業所におうかがいします。】

問27-1 件数は何件程度ですか。() 件程度

【すべての事業所の方におうかがいします。】

問28 ヤングケアラー（※）についての設問です。介護者にヤングケアラーにあてはまるケースがありますか。（本調査は事業所単位で行っていますので、本設問に関しては同一法人内で調整の上、回答が重複しないようお願いいたします。）

※ ヤングケアラーとは…家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートを行っている、18歳未満の子どものこと。（1つに○）

1. (ヤングケアラー)にあてはまるケースが) 現時点である → 問28-1・2へ
 2. ない → 問29へ

【問28-1・2は、問28で「1. 現時点である」と回答した事業所におうかがいします。】

問28-1 件数は何件程度ですか。() 件程度

問28-2 ケース内容をお答えください。

No.	記載例	1	2	3
利用者との続柄	① 子 2. 孫 3. ひ孫 4. その他 ()	1. 子 2. 孫 3. ひ孫 4. その他 ()	1. 子 2. 孫 3. ひ孫 4. その他 ()	1. 子 2. 孫 3. ひ孫 4. その他 ()
年齢	1. 12歳未満 ② 12～15歳 3. 16～18歳未満	1. 12歳未満 2. 12～15歳 3. 16～18歳未満	1. 12歳未満 2. 12～15歳 3. 16～18歳未満	1. 12歳未満 2. 12～15歳 3. 16～18歳未満
ケースNo.	1			

※ 一人の利用者に対して複数人の子どもによる介護がある場合には、ケースNoを同一にしてください。

【すべての事業所の方におうかがいします。】

問29 ヤングケアラーが介護を行うことにより生じてくるまたは生じた問題はありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 学校を欠席・遅刻・早退等で学業に影響がある
2. 部活動や遊び等、自分のやりたいことができている
3. 修学旅行や宿泊事業等のイベントに欠席した
4. 進学や就職がうまくいかない、あきらめた
5. 友達付き合いがない
6. 相談する人がいない
7. 健康状態に影響がある
8. 精神的な不安定さがある
9. その他(具体的に:)

問30 利用者やその家族等から受けた相談の中で、相談窓口や支援機関つなぎ先が分からなかったケースはありますか。(1つに○)

1. (分からなかったケースが) ある 2. ない

問30-1 問30で「1. ある」と回答した事業所におうかがいします。
 そのケースの内容をご記入ください。

【すべての事業所の方におうかがいします。】

問31、問32 文京区内において、どのようなサービスが不足していると思いますか。
 (あてはまるものすべてに○)

また、貴事業所で今後参入を考えている介護保険サービスはありますか。
 (あてはまるものすべてに○)

⇒回答は次ページ

問33 文京区の高齢福祉施策や介護保険制度について、区からどのような支援があると良いと思いますか。ご自由にご記入ください。

- ◇ 長時間にわたって調査にご協力いただき、ありがとうございます。
- ◇ ご記入いただいた調査票は、10月21日（金）までに、同封の返信用封筒にてご返送ください。

サービスの種類		問 31 不足	問 32 今後参入	
介護給付サービス	1. 居宅介護支援	1	1	
	2. 訪問介護	2	2	
	3. 訪問入浴介護	3	3	
	4. 訪問看護	4	4	
	5. 訪問リハビリテーション	5	5	
	6. 居宅療養管理指導	6	6	
	7. 通所介護	7	7	
	8. 通所リハビリテーション	8	8	
	9. 短期入所生活介護	9	9	
	10. 短期入所療養介護	10	10	
	11. 特定施設入居者生活介護	11	11	
	12. 福祉用具貸与	12	12	
	13. 特定福祉用具購入	13	13	
	14. 介護老人福祉施設	14	14	
15. 介護老人保健施設	15	15		
施設サービス	16. 夜間対応型訪問介護	16	16	
	17. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	17	17	
	18. 認知症対応型通所介護	18	18	
	19. 小規模多機能型居宅介護	19	19	
	20. 看護小規模多機能型居宅介護	20	20	
	21. 認知症対応型共同生活介護	21	21	
	22. 地域密着型介護老人福祉施設	22	22	
	23. 地域密着型通所介護	23	23	
	24. 介護予防支援	24	24	
	25. 介護予防訪問入浴介護	25	25	
	26. 介護予防訪問看護	26	26	
	27. 介護予防訪問リハビリテーション	27	27	
	28. 介護予防居宅療養管理指導	28	28	
	29. 介護予防通所リハビリテーション	29	29	
30. 介護予防短期入所生活介護	30	30		
居宅サービス	31. 介護予防短期入所療養介護	31	31	
	32. 介護予防特定施設入居者生活介護	32	32	
	33. 介護予防福祉用具貸与	33	33	
	34. 介護予防特定福祉用具購入	34	34	
	35. 介護予防認知症対応型通所介護	35	35	
	36. 介護予防小規模多機能型居宅介護	36	36	
	37. 介護予防認知症対応型共同生活介護	37	37	
	38. 訪問型サービス	38	38	
	39. 通所型サービス	39	39	
	40. その他（ ）	40	40	
	41. 特に必要ない	41	—	
	42. 参入は考えていない	42	—	
	予防給付サービス	1. 居宅介護支援	1	1
		2. 訪問介護	2	2
3. 訪問入浴介護		3	3	
4. 訪問看護		4	4	
5. 訪問リハビリテーション		5	5	
6. 居宅療養管理指導		6	6	
7. 通所介護		7	7	
8. 通所リハビリテーション		8	8	
9. 短期入所生活介護		9	9	
10. 短期入所療養介護		10	10	
11. 特定施設入居者生活介護		11	11	
12. 福祉用具貸与		12	12	
13. 特定福祉用具購入		13	13	
14. 介護老人福祉施設		14	14	
15. 介護老人保健施設	15	15		
地域密着型サービス	16. 夜間対応型訪問介護	16	16	
	17. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	17	17	
	18. 認知症対応型通所介護	18	18	
	19. 小規模多機能型居宅介護	19	19	
	20. 看護小規模多機能型居宅介護	20	20	
	21. 認知症対応型共同生活介護	21	21	
	22. 地域密着型介護老人福祉施設	22	22	
	23. 地域密着型通所介護	23	23	
	24. 介護予防支援	24	24	
	25. 介護予防訪問入浴介護	25	25	
	26. 介護予防訪問看護	26	26	
	27. 介護予防訪問リハビリテーション	27	27	
	28. 介護予防居宅療養管理指導	28	28	
	29. 介護予防通所リハビリテーション	29	29	
30. 介護予防短期入所生活介護	30	30		
地域密着型サービス	31. 介護予防短期入所療養介護	31	31	
	32. 介護予防特定施設入居者生活介護	32	32	
	33. 介護予防福祉用具貸与	33	33	
	34. 介護予防特定福祉用具購入	34	34	
	35. 介護予防認知症対応型通所介護	35	35	
	36. 介護予防小規模多機能型居宅介護	36	36	
	37. 介護予防認知症対応型共同生活介護	37	37	
	38. 訪問型サービス	38	38	
	39. 通所型サービス	39	39	
	40. その他（ ）	40	40	
	41. 特に必要ない	41	—	
	42. 参入は考えていない	42	—	
	総合サービス	1. 居宅介護支援	1	1
		2. 訪問介護	2	2
3. 訪問入浴介護		3	3	
4. 訪問看護		4	4	
5. 訪問リハビリテーション		5	5	
6. 居宅療養管理指導		6	6	
7. 通所介護		7	7	
8. 通所リハビリテーション		8	8	
9. 短期入所生活介護		9	9	
10. 短期入所療養介護		10	10	
11. 特定施設入居者生活介護		11	11	
12. 福祉用具貸与		12	12	
13. 特定福祉用具購入		13	13	
14. 介護老人福祉施設		14	14	
15. 介護老人保健施設	15	15		
地域密着型サービス	16. 夜間対応型訪問介護	16	16	
	17. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	17	17	
	18. 認知症対応型通所介護	18	18	
	19. 小規模多機能型居宅介護	19	19	
	20. 看護小規模多機能型居宅介護	20	20	
	21. 認知症対応型共同生活介護	21	21	
	22. 地域密着型介護老人福祉施設	22	22	
	23. 地域密着型通所介護	23	23	
	24. 介護予防支援	24	24	
	25. 介護予防訪問入浴介護	25	25	
	26. 介護予防訪問看護	26	26	
	27. 介護予防訪問リハビリテーション	27	27	
	28. 介護予防居宅療養管理指導	28	28	
	29. 介護予防通所リハビリテーション	29	29	
30. 介護予防短期入所生活介護	30	30		
総合サービス	31. 介護予防短期入所療養介護	31	31	
	32. 介護予防特定施設入居者生活介護	32	32	
	33. 介護予防福祉用具貸与	33	33	
	34. 介護予防特定福祉用具購入	34	34	
	35. 介護予防認知症対応型通所介護	35	35	
	36. 介護予防小規模多機能型居宅介護	36	36	
	37. 介護予防認知症対応型共同生活介護	37	37	
	38. 訪問型サービス	38	38	
	39. 通所型サービス	39	39	
	40. その他（ ）	40	40	
	41. 特に必要ない	41	—	
	42. 参入は考えていない	42	—	

6. 介護事業従事者調査

介護事業従事者調査

◇◇◇ 調査ご協力のお願い ◇◇◇

皆様には日頃から、文京区の介護保険事業の円滑な運営にご理解とご協力をいただき、厚く御申し上げます。

さて、文京区では、令和3年3月に「文京区高齢者・介護保険事業計画」を策定し、介護保険をはじめとした高齢福祉施策や介護保険事業の計画的な推進に努めているところです。現在、令和6年3月を目途に計画の改定を予定しておりますが、これに先立ち、区内の介護事業所に就業されている介護事業従事者の皆様のご意見をお伺いする調査を実施することといたしました。

調査結果につきましては、高齢福祉施策や介護保険制度を検討する際の重要な基礎資料とさせていただきますので、お手数をおかけしますが、ご回答いただきますようお願い申し上げます。

令和4年9月

文京区長 成澤 廣修

【ご記入にあたってのお願い】

- 1. 記入の方法**
回答は、この調査票またはインターネットによりご回答ください。
- 2. 調査対象者**
区内介護事業所に就業されている、介護事業従事者の方。
- 3. 回答者(記入者)**
上記2の対象者ご本人がご回答(記入) ください。
- 4. 返送の方法**
同封の返信用封筒(切手不要)に、ご記入いただいた調査票を入れて、**令和4年10月21日(金)**までにご返送ください。
(インターネットによりご回答いただく場合は、調査票を返信いただく必要ありません。)
- 5. ご返送いただいた回答について**
回答は無記名でいただきますので、回答者が特定されることはありません。
また、回答はすべて統計的に処理し、個々の調査票を外部に出すことはありません。
ご多忙のところ大変恐縮ですが、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

【担当】文京区 福祉部 介護保険課 介護保険管理係
〒112-8555 文京区春日1-16-21 電話03-5803-1389

この調査の実施・問合せセンターの運営は、株式会社サーベイリサーチセンターに委託しています。ご不明な点等ございましたら、お手数ですが下記の問合せセンターへお問合せください。

高齢者・介護保険事業計画のための調査 問合せセンター
＜通話無料＞ 0120-200-680
月曜日～土曜日(祝祭日を除く) 午前9時～午後5時

※サーベイリサーチセンターは、日本情報処理開発協会より個人情報保護の適切な取扱いを
行う事業者に付与されるプライバシーマークの付与認定を受けています。

1

問1 性別をお答えください。(いずれかに○)

1. 男 2. 女 3. その他の性自認

問2 令和4年9月1日現在の年齢は、おいくつですか。(1つに○)

1. 20歳未満 3. 30歳～39歳 5. 50歳～59歳
2. 20歳～29歳 4. 40歳～49歳 6. 60歳以上

問3 お住まい及び通勤状況について、当てはまるものはどれですか。
(それぞれ1つに○)

①住 ま い	1. 文京区内	2. 文京区外	
②主な通勤手段	1. 電車	3. 自家用車	5. 自転車
	2. バス	4. バイク	6. 徒歩
③通勤時間 (片道)	1. 30分以内	3. 1時間半以内	5. 2時間超
	2. 1時間以内	4. 2時間以内	

問4 あなたの職場のサービス種別はどれですか。(1つに○)

1. 施設系(有料老人ホーム、グループホーム等を含む。)
2. 訪問系(居宅介護支援事業所、地域包括支援センターを含む。)
3. 通所系(小規模多機能型居宅介護等を含む。)
4. その他(具体的に:)

問5 あなたの勤務している事業所の全体職員数(パート・アルバイト・派遣・委託含む)はおおよそ何人ですか。(1つに○)

1. 10人未満 3. 30人～49人 5. 100人以上
2. 10人～29人 4. 50人～99人 6. わからない

問6 あなたの就業形態はつぎのうちどれですか。(1つに○)

1. 正規職員 2. 非正規職員(契約職員、嘱託職員、派遣、パートなど)

問7 あなたの担当する仕事は何ですか。

(①主なもの1つに○、②主なもの以外であてはまるものすべてに○)

	①主なもの (1つに○)	②主なもの以外で 該当するもの (あてはまるもの すべてに○)
1. 介護職	1	1
2. 介護支援専門員	2	2
3. 医師	3	3
4. 看護職	4	4
5. 生活相談員	5	5
6. 機能訓練指導員	6	6
7. 栄養士	7	7
8. その他 ()	8	8
9. 主なもの以外は該当しない	—	9

問8 あなたの職位はつぎのうちどれですか。(1つに○)

1. 管理者
2. 主任・(サブ)リーダーなど職場のまとめ役
3. 一般職・担当職

問9 あなたは今より上位の職位を目指しますか。(1つに○)

1. より上位の職位を目指す
2. 今のままでよい

問10 就労^(注1)年数についてお答えをお願いします。(令和4年9月1日時点)

- ① 通算就労年数はおおよそ何年ですか。 ※介護サービス以外で就労している場合も含める
② ①のうち、介護サービスの仕事に携わっている通算年数はおおよそ何年ですか。
③ 現在勤務する事業所での勤続年数はおおよそ何年ですか。

(下欄からそれぞれ1つずつ選び、番号に○をしてください)

	6か月 未満	6か月以上 1年未満	1年以上 2年未満	2年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上
回答例 →	1	2	3	④	5	6
① 通算就労年数	1	2	3	4	5	6
② 介護サービス従事の 通算年数 ^(注2)	1	2	3	4	5	6
③ 現在の法人勤務の 通算年数	1	2	3	4	5	6

(注1) 学校卒業後に就いた取入を伴う仕事で、アルバイトやパート等も含む。
(注2) 派遣等で従事した場合を含む。

問11 介護の仕事に興味を持った主なきっかけは何ですか。(1つに○)

1. 在学中に就職指導等を受けて
⇒指導を受けた学校 (あてはまるものに○) :
1. 中学 2. 高校 3. 大学又は専門学校
2. 介護の仕事紹介イベントに参加して
⇒イベント名: _____
3. 家族の介護を経験して
4. 友人・知人に介護職の人がいて
5. マスコミで見て (TV・新聞・WEB)
6. その他 (具体的に: _____)

問12 あなたが現在の職業を選んだ理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 福祉の仕事に興味・関心があったから
2. 知識や技能を身につけたかったから
3. この仕事はこれからの時代にますます必要になると考えたから
4. 資格・技能を活かせるから
5. 身近な人(親族等)の介護の経験があったから
6. 家族・友人に勧められたから
7. 働きたいのある仕事だと思ったから
8. 人や社会の役に立ちたいから
9. その他 (具体的に: _____)
10. 特に理由はない

問13 あなたが現在の職場のことを知った主なきっかけは何ですか。(1つに○)

1. ハローワーク
2. インターネット (求人サイト)
3. 新聞・チラシ
4. 就職相談会・説明会に参加
5. 学校・養成施設等での進路指導
6. 事業所職員からの勧誘
7. 事業所見学・実習など
8. 介護事業のイベントなど
9. 家族・知人の紹介
10. その他 (具体的に: _____)

問14 あなたが現在の職場を選んだ理由は何か。(あてはまるものすべてに○)

1. 事業所の経営理念、運営方針、業務内容等が十分説明されており、納得できたため
2. 仕事と家庭生活の両立ができるよう、ワーク・ライフ・バランスの推進がなされているから
3. 職能給や業績給などキャリアに連動した給与体系が整備されているから
4. 従業員の教育研修や資格取得支援等が充実しているから
5. 従業員の悩みや不満、疑問点等について気軽に相談できる体制づくりがあるから
6. 賃金比較的高かったから
7. 自分や家族の都合の良い時間(日)に働けるから
8. 通勤の便が良かったから
9. 夜間勤務がないから
10. 人間関係が良好そうだから
11. やりたい職種・仕事内容だったから
12. 能力や資格を活かせるから
13. 正規職員として働けるから
14. その他(具体的に:)
15. 特に理由はない

問15 あなたが現在取得している資格は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 介護福祉士
2. 介護職員実務者研修
3. 介護職員初任者研修
4. 介護職員基礎研修
5. ホームヘルパー1級
6. ホームヘルパー2級
7. 主任介護支援専門員
8. 介護支援専門員(ケアマネジャー) ()
9. 看護師・准看護師
10. 理学療法士(PT) 18. 資格なし
11. 作業療法士(OT)
12. 言語聴覚士(ST)
13. 社会福祉士
14. 福祉用具専門相談員
15. 栄養士・管理栄養士
16. 前掲(「1」～「15」)以外の介護福祉関係の資格
17. その他

問16 あなたが今後取得したい資格は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 介護福祉士
2. 介護職員実務者研修
3. 介護職員初任者研修
4. 介護職員基礎研修
5. ホームヘルパー1級
6. ホームヘルパー2級
7. 主任介護支援専門員
8. 介護支援専門員(ケアマネジャー) ()
9. 看護師・准看護師
10. 理学療法士(PT)
11. 作業療法士(OT)
12. 言語聴覚士(ST)
13. 社会福祉士
14. 福祉用具専門相談員
15. 栄養士・管理栄養士
16. 前掲(「1」～「15」)以外の介護福祉関係の資格
17. その他
18. 特になし

問17 過去1年間に職場以外で行われた介護分野に関する研修・講習会に参加したことがありますか。(1つに○)

1. (参加したことが) ある → 問17-1・2へ
2. ない → 問17-3へ

【問17-1・2は、問17で「1.(参加したことが)ある」と回答した方におうかがいします。】

問17-1 文京区が主催した研修等に参加したことはありますか。(1つに○)

1. (参加したことが) ある 2. ない

【問17で「1. (参加したことが) ある」と回答した方におうかがいします。】

問17-2 ① どのような内容の研修・講習会ですか。
 ② 研修・講習会はその後の業務に活かしていますか。

① 参加・受講したことがある (あてはまるものすべてに○)	② 参加・受講後の業務への活用 (①で答えた項目について、 それぞれ1つに○)					
	活 と せ も い る	活 か せ て い る	活 か せ て い ない	活 か せ て い ない	活 か せ て い ない	活 か せ て い ない
⑦ 回答例	1	2	③	4	5	6
1. 介護に関するノウハウやスキル向上のための研修	1	2	3	4	5	6
2. 特定の資格を取得するための研修	1	2	3	4	5	6
3. マネジメントの知識・スキルを身につける研修	1	2	3	4	5	6
4. 職場におけるリーダーシップの養成研修	1	2	3	4	5	6
5. OJT(注1)を高めるための職場外研修	1	2	3	4	5	6
6. コミュニケーションスキルの向上研修	1	2	3	4	5	6
7. パソコンスキルの向上研修	1	2	3	4	5	6
8. 英会話などの教養関係の研修	1	2	3	4	5	6
9. その他()	1	2	3	4	5	6

(注1) OJT…現任訓練 (On-the-Job Training)。職場で業務を通して指導を行うこと。

【問17で「2. ない」と回答した方におうかがいします。】

問17-3 その主な理由は何ですか。(1つに○)

1. 人員の問題で業務を離れることができない	()
2. 事業所が研修受講を認めてくれない	
3. 事業所内で研修を受ける順番ではなかった	
4. 事業所で行う研修で充足している	
5. 研修会場まで距離が離れている	
6. 研修意欲がなかった	
7. その他(具体的に:)	
8. 研修があることを知らなかった	

【すべての方におうかがいします。】

問18 今後、文京区でどのような研修・講習会に参加したいですか。(3つ以内に○)

1. 介護に関するノウハウやスキル向上のための研修	()
2. 権利擁護や意思決定支援に関する研修	
3. 特定の資格を取得するための研修	
4. マネジメントの知識・スキルを身につける研修	
5. 職場におけるリーダーシップの養成研修	
6. OJT(事業場内での指導力養成)研修	
7. コミュニケーションスキルの向上研修	
8. パソコンスキルの向上研修	
9. 英会話などの教養関係の研修	
10. 法令の改正についての研修	
11. 社会的(時事的)課題についての研修	
12. その他(具体的に:)	
13. 特に参加したいものはない	

問19 収入(賞与及び雑業・交通費等諸手当等を含む)についておうかがいします。

① 昨年1年間(令和3年1月1日～12月31日)の収入はいくらでしたか。
 (それぞれ1つずつに○)

【全収入】

1. 昨年(令和3年)は働いていなかった	()
2. 103万円未満(講師対象とならず、配偶者控除が受けられる範囲)	
3. 103～130万円未満(社会保険の被保険者とならない範囲)	
4. 130～200万円未満	
5. 200万円台	
6. 300万円台	
7. 400万円台	
8. 500万円台	
9. 600～800万円未満	
10. 800万円以上	

【介護による収入】

1. 昨年（令和3年）は働いていなかった 5. 150～200万円未満
 2. 50万円未満 6. 200～250万円未満
 3. 50～100万円未満 7. 250～300万円未満
 4. 100～150万円未満 8. 300万円以上

② 働さに応合った収入を得られている場合の満足度を「3. 普通」とした場合に、ご自身の満足度をご記入ください。（それぞれ1つずつに○）

※ 昨年、転職された等で介護事業従業者としての在籍期間が1年に満たない場合は、介護事業従業者として継続して勤務したとした1年間の収入を想定してお答えください。

【全収入】

1. とても満足 2. 満足 3. 普通 4. 不満 5. とても不満

【介護による収入】

1. とても満足 2. 満足 3. 普通 4. 不満 5. とても不満

問20 あなたが通常、1週間に働く労働日数は何日ですか。（1つに○）

1. 1日 2. 2日 3. 3日 4. 4日 5. 5日 6. 6日以上

問21 あなたが通常、1週間に働く労働時間（残業時間含む労働時間）は何時間ですか。

_____ 時間（※整数でご記入ください。）

問22 深夜勤務はありますか。（1つに○）

1. ある → 問22-1ハ 2. なし → 問23へ

【問22で「1. ある」と回答した方におうかがいします。】

問22-1 平均して1か月当たり、深夜勤務日数は何日ありますか。

_____ 日

【すべての方におうかがいします。】

問23 年間の有給休暇の取得状況は次のうちどれになりますか。（1つに○）

1. まったく取れない 3. 4～5日 5. 11～15日
 2. 1～3日 4. 6～10日 6. 16日以上

問24 現在の仕事の満足度についておうかがいします。各項目につき、あてはまる番号に○をつけてください。（それぞれ1つずつに○）

	とても満足	満足	普通	不満	とても不満
回答例 →	1	②	3	4	5
ア. 仕事の内容・やりがい	1	2	3	4	5
イ. キャリアアップの機会	1	2	3	4	5
ウ. 労働時間・休日等の労働条件	1	2	3	4	5
エ. 勤務体制	1	2	3	4	5
オ. 人事評価・処遇のあり方	1	2	3	4	5
カ. 職場の環境（施設の構造等）	1	2	3	4	5
キ. 職場の人間関係、コミュニケーション	1	2	3	4	5
ク. 雇用の安定性	1	2	3	4	5
ケ. 福利厚生	1	2	3	4	5
コ. 研修・能力開発のあり方	1	2	3	4	5
サ. 職場環境全体	1	2	3	4	5

問25 今後も介護の仕事続けたいと思いますか。（主なもの1つに○）

1. 今の職場で介護の仕事続けたい
 2. 事業所を変えて介護の仕事続けたい
 3. てきれば介護以外の仕事に変わりたい
 4. 介護以外の仕事に変わりたい
 5. わからない

問26 労働条件、仕事の負担について悩み、不安、不満等を感じていることは何ですか。(主なものを5つ以内に○)

1. 雇用が不安定である
2. 正規職員になれない
3. 人手が足りない
4. 仕事内容のわりに賃金が低い
5. 労働時間が不規則である
6. 労働時間が長い
7. 残業が多い
8. 休暇が取りにくい
9. 有給休暇が取りにくい
10. 夜間や深夜時間帯に何かが起きるのではないかと不安がある
11. 職務として行う医療的な行為に不安がある
12. 身体的負担が大きい(腰痛や体力に不安がある)
13. 精神的にきつい
14. 健康面(感染症、怪我)の不安がある
15. 業務に対する社会的評価が低い
16. 福祉機器の不足、機器操作の不慣れ、施設の構造に不安がある
17. 仕事を教えてくれる人がいない
18. 昇給制度がない・昇給の仕組みが不明確である
19. 自分なりの仕事内容を工夫する余地がない
20. その他(具体的に:)
21. 悩みや不安などは感じていない

問27 職場の人間関係等について悩み、不安、不満等を感じていることは何ですか。(主なものを3つ以内に○)

1. 経営層の介護の基本方針、理念が不明確である
2. 経営層や管理職等の管理能力が低い、業務の指示が不明確、不十分である
3. 上司や同僚との仕事上の意思疎通がうまく行かない
4. 上司や同僚の介護能力が低い
5. 自分と合わない上司や同僚がいる
6. 部下の指導が難しい
7. ケアの方法等について意見交換が不十分である
8. 悩みの相談相手がない、相談窓口がない
9. その他(具体的に:)
10. 悩みや不安などは感じていない

問28 人材の育成・定着のために有効だと思うポイントは何ですか。(主なものを3つ以内に○)

1. 研修の充実
2. 働きやすい職場環境
3. 福利厚生充実
4. 給与・待遇
5. 良好な従事者間のコミュニケーション
6. 上司・管理者との相談体制の充実
7. 仕事のやりがい
8. その他(具体的に:)

問29 利用者について、あなたが悩み、不安、不満等を感じていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 利用者に適切なケアができているか不安がある
2. 利用者の行動が理解できずに対処方法が分からない
3. 利用者や家族の希望が一致しない
4. 利用者との人間関係がうまくいかない
5. 利用者から禁じられている医療行為を求められる
6. 利用者から(医療行為以外で)定められたサービス以外の仕事を要求される
7. 良いと思ってやったことが利用者に理解されない
8. 介護事故(転倒、誤嚥その他)で利用者に怪我をおわせてしまう不安がある
9. 死期に近い利用者のケアに無力感がある
10. 利用者同士の衝突の調整が難しい
11. その他(具体的に:)
12. 悩みや不安などは感じていない

問30 利用者の家族について、あなたが悩み、不安、不満等を感じていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 利用者の家族に適切なフォローができているか不安がある
2. 利用者の家族からの協力が得られない
3. 利用者の家族内の希望が一致しない
4. 利用者の家族との人間関係がうまくいかない
5. 利用者の家族から禁じられている医療行為を求められる
6. 利用者の家族から(医療行為以外で)定められたサービス以外の仕事を要求される
7. 良いと思ってやったことが利用者の家族に理解されない
8. その他(具体的に:)
9. 悩みや不安などは感じていない

問31 あなたは過去1年間に利用者やその家族、上司、同僚、部下から次のようなこと（セクハラ・パワハラ等）を経験しましたか。

（対象者に○をした後、あてはまる項目にそれぞれに○）

対象者	あてはまる項目に○				具体的な内容
	セクハラ (性的嫌がらせ) (直接的な身体的接触等)	パワハラ (直接的な身体的暴力)	ハワハラ (間接的な身体的暴力等の言葉精業)	求職活動の機会を奪われたこと以外	
(回答例) ①. 上司	1	2	3	④	6
1. 上司	1	2	3	4	6
2. 同僚、 部下	1	2	3	4	6
3. 利用者	1	2	3	4	6
4. 利用者の 家族	1	2	3	4	6

5. 上記「1. 上司」～「4. 利用者の家族」いずれについても、経験したことはない

問32 あなたは、現在の職場に就業していて、どのようなことにやりがい（働きたい）を感じますか。（主なもの5つ以内○）

<ol style="list-style-type: none"> 1. 持っている資格が活かされている 2. 専門技術・ノウハウを生かしている 3. 経験・勤続年数を生かした働き方ができている 4. 利用者とのコミュニケーションがスムーズにとれている 5. 利用者や家族から感謝されている 6. 能力に見合った賃金が支払われている 7. 福利厚生面が充実している 8. 先輩からノウハウやスキルを学べている 9. 職場間のコミュニケーションが適切にとれている 10. 研修等に参加して新たな知識やネットワークを広げられている 11. 自分のキャリアアップ等に対して適切な支援が行われている 12. スタッフの自主性を尊重してくれている 13. 地域とのネットワークや関係作りができている 14. その他（具体的に：） 15. 特にやりがい（働きたい）を感じていない

問33 今後、介護に携わる人材を増やすためには、どのようなことが必要だと思いますか。（主なもの5つ以内に○）

<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本賃金の水準を引き上げる 2. キャリアに応じて賃金が上がっていくような仕組みにする 3. 資格取得手当などの諸手当を充実させる 4. 休暇制度・労働時間等の勤務条件を改善する 5. 福利厚生制度を手厚くする 6. 就職時に経験年数・年齢別のモデル賃金を公開する 7. 勤務先で説明会や施設見学会を開催する 8. 職場内外でさまざまな研修制度を充実させる 9. 勤務先のキャリアアップに関する情報を公開する 10. 働きながら必要な資格が取れるような支援制度を作る 11. 資格取得時の受講費用補助制度を作る 12. 社会全体が福祉・介護職場のイメージを困っている 13. 子育てしながらでも働けるよう、事業所内等に保育施設を確保する 14. 中学校・高校等の授業の中に介護の仕事を理解してもらい時間を確保する 15. 中学生・高校生等にインターンシップによる職場体験をしてもらう 16. 介護職の離職者に対する職業訓練の仕組みを充実させる 17. 人員基準を手厚くし、利用者に対する職員数を増やす 18. その他（具体的に：） 19. 特になし

問34 介護の仕事に人を働めたいですか。（1つに○）

<ol style="list-style-type: none"> 1. 働めたい 2. 働めたくない 3. どちらともいえない
<p>問34-1 問34の回答を選んだ理由を、ご自由にご記入ください。</p>

問35 最後に、文京区の高齢福祉施策や介護保険制度へのご意見やご要望がありましたら、ご自由にご記入ください。

アンケートは、以上で終わりです。
ご協力いただきありがとうございます。
お名前、ご住所の記入は不要です。同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに10月21日（金）までに投函してください。

令和4年度文京区高齢者等実態調査報告書

令和5年3月発行

発行 文京区福祉部介護保険課
〒112-8555
文京区春日一丁目16番21号
電話 03-3812-7111 (代表)
<https://www.city.bunkyo.lg.jp/>

実施 株式会社サーベイリサーチセンター
〒116-8581
荒川区西日暮里二丁目40番10号
電話 03-3802-6711 (代表)

印刷物番号 E0522059

有償頒布価格 930円



◆「ハートフルネットワーク」とは、文京区で生活する高齢者の方々が住み慣れた地域で、安心して、いきいきとした生活をするために、地域で支え合うネットワークです。